



Satera

MF7825F

ユーザーズガイド

もくじ

本機について	3
対応オプション一覧	4
目的別オプション一覧	7
仕上げ機能対応オプション一覧	8
2 段カセットペディスタル・BB	11
長尺用給紙トレイ・A／長尺用排紙トレイ・F	12
インナーフィニッシャー・N／インナー 2/4 穴パンチャー・D	14
第 1 コピートレイキット・C	19
コピートレイ・T	21
インナー 2 ウェイトレイ・M	23
ハンドセット	25
ADF アクセスハンドル・A	26
スタンプユニット・B	27
システムオプション	28
管理者権限とパスワード	29
不正アクセス防止対策	30
各部の名称とはたらき	32
前面	33
背面	35
内部	36
操作パネル	37
両面同時読取フィーダー	39
手差しトレイ	41
給紙カセット	42
使用可能な用紙	44
用紙を取り扱うときの注意事項	49
仕様	50
基本仕様	51
両面同時読取フィーダーの仕様	54
プリントの仕様	56
スキヤンの仕様	58
ファクスの仕様	60
ネットワークの仕様	62
セキュリティ／管理機能の仕様	64
サポート環境	71
おすすめ機能	73
効率化	74
管理／運用	76
画質／仕上げ	77

セットアップ	80
初期設定をする - 設定ナビ	82
ネットワークの設定	91
副回線を使用するときの注意事項	94
ネットワーク設定のロックを解除する	96
ネットワークへの接続方法を選択する	97
有線 LAN に接続する	99
無線 LAN に接続する	101
ルーターのボタン操作で無線 LAN に接続する - プッシュボタン方式	104
PIN コードを入力して無線 LAN に接続する - WPS PIN コード方式	105
ルーターを探索して無線 LAN に接続する - アクセスポイント選択方式	106
詳細を設定して無線 LAN に接続する - 手動入力方式	108
IPv4 アドレスを設定する	110
副回線の IPv4 アドレスを設定する	112
IPv6 アドレスを設定する	114
使用するネットワーク環境に合わせる	116
Ethernet を手動で設定する	117
DNS を設定する	118
副回線の DNS を設定する	121
SMB を設定する	122
WINS を設定する	124
LDAP サーバーを登録する	125
SNMP を設定する	128
静的ルーティングを設定する	131
SNTP を設定する	133
SLP 通信を設定する	135
BMLinkS を設定する	136
ネットワークの接続状況や設定を確認する	137
パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール	140
基本操作	143
電源を入れる／切る	144
電源を入れる	145
電源を切る	146
再起動する	148
消費電力を抑える - スリープモード	150
操作パネルの使用方法	152
操作パネルに表示される画面	153
[ホーム] 画面	156
操作パネルの操作方法	161
文字を入力する	164
タイムラインの表示と操作	166
操作パネルの画面のカスタマイズ	170
[ホーム] 画面をカスタマイズする	172
[ホーム] 画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン	174

スキャン／ファクス／コピーの画面をカスタマイズする	178
「よく使う設定」を登録する／呼び出す	181
初期設定を変更する	186
表示言語を切り替える	188
自分に合った表示／操作性に変更する - 個人設定	189
ログイン方法	191
自分だけの画面／データを利用する - パーソナライズ	194
原稿のセット方法	196
ロゴ入り用紙にコピーするときの原稿の向き	202
ホチキスするときの原稿の向きとホチキス位置の設定（オプション）	205
パンチ穴をあけるときの原稿の向き（オプション）	209
用紙のセット方法	211
給紙カセットに用紙をセットする	212
手差しトレイに用紙をセットする	221
長尺用給紙トレイ・A に用紙をセットする（オプション）	224
封筒をセットする準備と向き	226
封筒をセットする向き - 給紙カセット	228
封筒をセットする向き - 手差しトレイ	233
はがきをセットする向き	236
ロゴ入り用紙をセットする向き	240
用紙サイズと用紙種類の設定	246
給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する	247
手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する	251
手差しトレイで使用する用紙サイズと用紙種類を固定する	255
手差しトレイでよく使用する用紙を登録する	259
定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙	263
機能ごとに適切な給紙部を使用する	265
排紙先の設定	267
宛先の登録 - アドレス帳	270
アドレス帳の機能と画面	271
宛先表の種類と使用できるアドレス帳	273
アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル	276
アドレス帳にグループを登録する - 操作パネル	284
アドレス帳の宛先を編集／削除する - 操作パネル	288
アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI	291
アドレス帳にグループを登録する - リモート UI	297
アドレス帳の宛先を編集／削除する - リモート UI	301
宛先に設定できる項目	305
宛先の指定	313
宛先を指定する - アドレス帳	315
宛先を指定する - 直接入力	318
宛先を指定する - LDAP サーバー	320
宛先を指定する - モバイル機器のアドレス帳	322
宛先を指定する - 送信履歴	323
USB メモリーを差し込む／取り外す	325

音量の調整	327
音量を調整する（ファクス機能がある場合）	328
音量を調整する（ファクス機能がない場合）	330
[音量設定] ／ [その他の音量設定] 画面	331

プリントする 334

プリントの準備	336
ドライバを使用してプリントするための準備	337
プリンターポートを設定する（Windows のみ）	340
外部ネットワークからプリントするための準備 - IPP プリント	343
本機の IPP プリント機能を設定する	344
パソコンで IPP プリントを設定する	346
プリントサーバーを使用するための準備	352
Universal Print を使用するための準備	356
クラウドサービスに本機を登録する	357
パソコンに本機を登録する	360
仮想プリンターを使用するための準備	361
プリントする	363
パソコンに定形外サイズ of 用紙を登録する - ユーザー設定用紙	366
指定した時刻にプリントする - 予約プリント	368
プリントのセキュリティを高める	371
暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント	372
いろいろなプリント方法	376
Web ブラウザーを使用してプリントする - ダイレクトプリント	378
Universal Print を使用してプリントする	380
仮想プリンターを使用してプリントする	381
登録している文書を印刷する - 定型文書プリント	382
強制的に留め置かれた文書をプリントする	384
留め置かれた文書をログイン時に自動プリントする	385
プリントの画面	386
プリントを中止する	389
プリント状況や履歴を確認する	392

スキャンする 396

スキャンの準備	398
スキャンして送信／保存するための準備	399
メールサーバーの情報を設定する	400
OAuth2.0 を利用してクラウドメールサーバーを使用する	403
FTP の PASV モードを設定する	408
パソコンからスキャンするための準備（Windows のみ）	409
本機を WSD スキャナーとしてパソコンに登録する	411
スキャンして送信する	412
スキャンして保存する	421
スキャンして USB メモリーに保存する	425
スキャンデータの確認やページ整理をして送信／保存する	429

スキャンデータを確認／ページ整理する - プレビュー	430
スキャンデータのセキュリティを高める	432
パソコンからスキャンする (Windows のみ)	437
スキャンの設定	441
スキャンの画面	443
サイズ／向きの設定	445
色の設定	448
画質の調整	451
両面スキャンの設定	456
原稿に応じた設定	457
ファイル／分割の設定	461
文字が正しく OCR 処理されない	467
メール／I ファックスの設定	470
タイマー送信の設定	473
送信結果通知の設定	474
スキャンを中止する	477
スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する	479

ファクスする 483

ファクスの準備	485
本機でファクスを送受信するための準備	486
パソコンからファクスを送信するための準備	491
ファクスの転送／バックアップの設定	493
送信したファクスを自動転送／バックアップする	494
受信したファクスを自動転送／バックアップする	497
ファクスを送信する	502
内容や相手を確認してからファクスを送信する	506
スキャンした原稿の内容を確認／ページ整理する - プレビュー	507
相手につながったことを確認してから送信する - ダイレクト送信	509
通話に続けてファクスを送信する - 手動送信	512
パソコンからファクスを送信する - PC ファクス	515
PC ファクスを安全に送信するために	518
ファクスの送信設定	519
ファクスの画面	521
原稿サイズの設定	522
画質の調整	525
両面スキャンの設定	530
原稿に応じた設定	531
発信元の設定	534
タイマー送信の設定	536
送信結果通知の設定	537
ファクスを受信する	539
電話機の操作でファクスを受信する - リモート受信	541
受信したファクスのプリント設定を変更する	542

メモリー受信したファクスを確認／プリント／転送する	545
親展受信したファクスを確認／プリントする	547
ファクスの送信を中止する	549
ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する	551
インターネットファクスを使用する -I ファクス	554
リモートファクスを使用する	560

コピーする 563

コピーする	565
すぐにコピーする - 割り込み	569
仕上がりを確認してからコピーする	571
コピーの基本設定	574
コピーの画面	576
用紙の設定	578
拡大／縮小の設定	579
画質の調整	581
両面コピーの設定	586
レイアウトの設定	588
原稿に応じたコピーの設定	592
定形外サイズ of 原稿をコピーする	594
見開き原稿を 2 ページに分割してコピーする	595
サイズの異なる原稿をコピーする - 原稿サイズ混載	598
大量 of 原稿をコピーする - 連続読込	600
ID カードの両面を 1 枚 of 用紙にコピーする	601
白紙ページをコピーしないようにする - 白紙節約	602
仕上げ／製本 of 設定	603
仕上げ機能を設定する	604
とじしろを付ける	608
小冊子を作る - 製本コピー	610
コピー of 便利な機能	614
コピー of 終了をメールで通知する	615
コピーを中止する	616
コピー状況や履歴を確認する	617

保存スペースの利用 621

保存スペースを利用するための準備	622
ネットワーク上 of 他機／サーバーを利用するための準備	623
USB メモリーを利用するための準備	626
ネットワーク上 of 他機／サーバーを利用する	627
文書をスキャンして他機／サーバーに保存する	628
他機／サーバー of ファイルを操作する	629
他機／サーバー of ファイルをプリントする	631
USB メモリーを利用する	634
文書をスキャンして USB メモリーに保存する	635

USB メモリーのファイルを操作する	636
USB メモリーのファイルをプリントする	639
【保存ファイルの利用】 画面	642
[ネットワーク／メモリーメディア] ファイル選択画面	643
[ネットワーク／メモリーメディア] プリント設定画面	645

モバイル連携 650

モバイル連携の準備	652
ダイレクト接続するための準備	653
AirPrint を使用するための準備	656
Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備	659
モバイル機器を本機に接続する	661
モバイル機器から無線 LAN ルーターを介して接続する - LAN 接続	662
モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続	663
専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT	666
Mopria®を使用してプリント／スキャンする	667
AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する	668
IPP プリントの設定を登録する	672
Android からプリント／スキャンする	674
Chrome OS からプリント／スキャンする	676
Windows 10 Mobile からプリントする	677

セキュリティ 680

ユーザー認証／グループ管理	681
ローカルデバイス認証設定の流れ	685
ログインサービスを確認する	686
ローカルデバイスにユーザー情報を登録する	687
[ユーザーの追加] ／ [ユーザー情報の編集] 画面	694
CSV ファイルを使用したユーザー情報の編集	697
IPP プリントの情報を各ユーザーに関連付ける	700
Universal Print の情報を各ユーザーに関連付ける	703
外部サーバー認証設定の流れ	706
認証サーバー情報を登録する	707
認証機能やログイン画面を設定する	716
[基本設定の編集] 画面	720
パーソナライズ機能の利用	724
パーソナライズ機能を有効／無効にする	725
パーソナライズできる項目一覧	726
部門 ID によるグループ管理 - 部門別 ID 管理	728
管理者用の部門 ID／暗証番号を変更する	730
部門 ID／暗証番号を登録する	732
部門別 ID 管理を有効にする	737
部門 ID ごとの使用状況を確認する	739
パソコンにユーザー管理情報を設定する	741
宛先をグループで共有する - ユーザーグループ	745

マイフォルダーを設定する	749
ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用する	753
複数のキヤノン複合機で同じ設定を使用する - パーソナライズデータの同期	755
同期を開始／終了する（クライアント機）	758
同期するキヤノン複合機を変更する	762
ユーザー設定情報を削除する	763
ネットワークの保護	764
ファイアウォールを設定する	765
プロキシを使用する	773
副回線のプロキシを設定する	775
TLS を使用する	777
IPSec を使用する	780
IEEE 802.1X を使用する	786
鍵と証明書を管理／検証する	789
鍵と証明書を生成する	790
鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する	792
鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する	795
証明書の発行要求状況にエラーが表示された場合	800
発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する	802
S/MIME 証明書を登録する	804
受信した証明書の検証方法を設定する	805
誤送信／漏えい／改ざんの防止	807
指定できる宛先を制限する	808
ファクス送信を制限する／宛先を確認する	812
メモリーメディアの使用を制限する	815
プリントを制限する	817
パソコンからのプリントを禁止する	818
パソコンからの文書をすぐにプリントしないようにする - 強制留め置き	819
パソコンからのプリントを暗号化セキュアプリントに限定する	823
受信したファクスをすぐにプリントしないようにする	824
ファクスボックスを設定する	827
スキャンデータに電子署名を付ける	829
メールを S/MIME で暗号化する	833
接続先の SFTP サーバーを認証する	835
不正使用の防止	836
アドレス帳の使用を制限する	837
リモート UI を使用できないようにする	840
パソコンと USB 接続できないようにする	841
LPD/RAW/WSD を設定する	842
HTTP 通信を使用できないようにする	844
本機データの保護	845
本機に保存されるデータ	846
環境に適したセキュリティー設定	847
セキュリティー通知を設定する	848
セキュリティーポリシーの導入	849
セキュリティーポリシー設定をパスワードで保護する	850

セキュリティポリシーを設定する	852
本機に適用されているセキュリティポリシーを確認する	854
セキュリティポリシーの項目	855
ログの管理	861

本機を管理する 868

日付／時刻を設定する	870
本機の画面の管理／設定	872
[ホーム] 画面のタイムライン表示／操作性を設定する	873
表示言語切り替えボタンを追加する	876
よく使用する機能のショートカットを登録する	877
設定メニューのショートカットを登録する	879
本機の画面にお知らせを表示する	881
パソコンによる本機の管理- リモート UI	886
リモート UI を起動する	887
リモート UI のポータル画面	890
リモート UI で使用状況／履歴を確認する	893
使用状況／設定の確認	896
本機の稼働状況を確認する	897
使用ページ数を確認する - カウンター	899
通信管理レポートをプリント／確認する	900
送受信／エラー時にレポートを自動的にプリントする	904
登録情報や設定をプリントする	907
本機に装着しているオプションを確認する	910
エラーをメールで通知する	911
アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする	913
個別にインポート／エクスポートする	916
CSV ファイルを使用したアドレス帳の編集	920
一括インポート／エクスポートする	924
アップデート／拡張	928
ファームウェアをアップデートする	929
システムオプションをインストールする	932
機能を拡張する - MEAP	935
MEAP アプリケーションをインストールする	936
MEAP アプリケーションやライセンスファイルを管理する	938
SMS の画面	943
ユーザー認証のログインサービスを変更する	946
DepartmentID Authentication 使用時の設定／操作	947
設定／データを初期化する	951

[設定/登録] メニュー一覧 957

[設定/登録] メニューの設定に必要な権限	958
[環境設定]	959
[用紙設定]	961
[表示設定]	965

[タイマー/電力設定]	975
[ネットワーク]	981
[TCP/IP 設定]	990
[IPv4 設定]	1001
[IPv6 設定]	1003
[DNS 設定]	1006
[ファイアウォール設定]	1009
[IPv4 アドレスフィルター]	1010
[IPv6 アドレスフィルター]	1012
[MAC アドレスフィルター]	1014
[無線 LAN]	1015
[ダイレクト接続設定]	1017
[副回線設定]	1020
[ファイアウォール設定]	1023
[システムデータ通信用設定]	1026
[外部インターフェイス]	1028
[アクセシビリティ]	1030
[調整/メンテナンス]	1032
[画質調整]	1033
[動作調整]	1036
[メンテナンス]	1037
[メンテナンス方法の確認]	1039
[消耗品レポート出力]	1041
[ファンクション設定]	1042
[共通]	1044
[給紙動作]	1046
[排紙動作]	1048
[印刷動作]	1051
[レポート出力のデフォルト設定]	1053
[スキャン動作]	1054
[ファイル生成]	1057
[認証方式設定]	1061
[コピー]	1063
[プリンター]	1066
[送信]	1071
[レポート出力]	1072
[共通設定]	1073
[E メール/I ファクス設定]	1084
[ファクス設定]	1093
[回線設定]	1102
[リモートファクス送信設定]	1104
[リモートファクス設定]	1106
[受信/転送]	1107
[レポート出力]	1108
[共通設定]	1109
[受信トレイ設定]	1113
[ファクス設定]	1116
[ファイル保存/利用]	1120

[共通設定]	1121
[スキャンして保存設定]	1122
[保存ファイルの利用設定]	1123
[ネットワーク設定]	1124
[メモリーメディア設定]	1126
[プリント]	1127
[宛先設定]	1132
[リモートアドレス帳取得設定]	1138
[リモートアドレス帳公開設定]	1140
[管理設定]	1141
[ユーザー管理]	1142
[認証管理]	1144
[シンプルログイン]	1149
[キーボード認証]	1151
[デバイス管理]	1153
[機能制限モード]	1161
[個人設定]	1162
[ライセンス/その他]	1164
[MEAP 設定]	1168
[データ管理]	1170
[インポート/エクスポート]	1171
[セキュリティ設定]	1173
[認証/パスワード設定]	1176
[認証機能の設定]	1177
[パスワード設定]	1179
[暗号設定]	1183
プリンター設定メニュー	1185
[仕様設定]	1186
[給紙]	1193
[排紙]	1195
[印字調整]	1197
[レイアウト]	1202
[LIPS/エミュレーション設定]	1205
[LIPSLX 設定]	1208
[LIPS4 設定]	1209
[N201 設定]	1219
[ESC/P 設定]	1223
[I5577 設定]	1227
[HP-GL 設定]	1232
[HP-GL/2 設定]	1236
[PCL 設定]	1239
[PS 設定]	1245
[Imaging]	1248
[PDF]	1251
[XPS]	1254
[ユーティリティ]	1256
配信／インポート／エクスポートできる設定項目	1257
対応状況一覧の見かた	1258

〔環境設定〕	1259
〔用紙設定〕	1260
〔表示設定〕	1261
〔タイマー/電力設定〕	1263
〔ネットワーク〕	1264
〔TCP/IP 設定〕	1266
〔副回線設定〕	1268
〔外部インターフェイス〕	1269
〔アクセシビリティ〕	1270
〔調整/メンテナンス〕	1271
〔ファンクション設定〕	1272
〔共通〕	1273
〔印刷動作〕	1274
〔ファイル生成〕	1275
〔コピー〕	1276
〔プリンター〕	1277
〔送信〕	1278
〔共通設定〕	1279
〔E メール/I ファクス設定〕	1280
〔ファクス設定〕	1281
〔受信/転送〕	1283
〔共通設定〕	1284
〔ファクス設定〕	1285
〔ファイル保存/利用〕	1286
〔共通設定〕	1287
〔プリント〕	1288
〔宛先設定〕	1289
〔管理設定〕	1290
〔ユーザー管理〕	1291
〔認証管理〕	1292
〔デバイス管理〕	1293
〔証明書設定〕	1294
〔ライセンス/その他〕	1295
〔データ管理〕	1296
〔セキュリティ設定〕	1297
プリンター設定メニュー	1298
〔仕様設定〕	1299
〔ユーティリティ〕	1302
音量調整	1303

調整／メンテナンス 1306

本機の清掃	1308
本機の表面を清掃する	1310
原稿台ガラスを清掃する	1311
フィーダーを清掃する	1313
本機の内部を清掃する	1318
LED プリントヘッドを清掃する	1319

消耗品／消耗部品の交換	1322
トナー容器を交換する	1323
回収トナー容器を交換する	1326
ドラムユニットを交換する	1329
スタンプカートリッジを交換する（オプション）	1332
ホチキス針を補充する（オプション）	1334
インナーフィニッシャーのホチキス針を補充する	1335
消耗品／消耗部品の残量を確認する	1338
消耗品／消耗部品一覧	1339
無償保証や保守サービスについて	1342
無償保証について	1343
キヤノンサービスパック（CSP）	1344
キヤノン・ケア・ギャランティ（CCG）	1346
NETEYE について	1348
パンチくずを捨てる（オプション）	1350
インナーフィニッシャーのパンチくずを捨てる	1351
よく使用する用紙種類を登録する	1353
[詳細/編集] 画面	1355
画質の調整	1357
階調を補正する	1359
濃度を補正する	1362
濃淡のムラを補正する	1363
輪郭や階調をなめらかにする - ディザパターンの設定	1368
プリント画像の転写状態を調整する	1370
光沢のムラを補正する	1372
プリント位置を調整する	1373
給紙部ごとにプリント位置を調整する	1374
コピー画像のプリントサイズを調整する	1376

困ったときは 1379

プリント結果のトラブル	1381
プリントがずれる／斜めになる	1383
プリントにムラがある／かすれる	1384
プリントが汚れる／黒ずむ	1385
黒いすじ（線）が入る	1386
白いすじ（線）が入る	1387
裏写りする	1388
意図した面にプリントされない	1389
思ったとおりのサイズでプリントされない	1391
部分的に白く抜ける	1392
セットアップ／ネットワーク	1393
無線 LAN に接続できない	1394
無線 LAN への切り替えができない	1396
本機の IP アドレスがわからない	1397

プリント／コピー	1398
プリント／コピーできない	1400
プリントできない - 無線 LAN	1401
プリントできない - 有線 LAN	1403
プリントできない - USB 接続	1405
プリントできない - プリントサーバー経由	1406
接続するプリントサーバーが見つからない	1407
共有プリンターに接続できない	1408
AirPrint できない	1409
手差しトレイからはがきにプリントしたい	1410
手差しトレイから封筒にプリントしたい	1413
スキャン	1416
スキャンデータをメール送信できない	1417
スキャンデータを共有フォルダーに保存できない	1418
共有フォルダーの情報をアドレス帳に登録したい	1421
スキャンデータが裏写りする	1424
思ったとおりにスキャンできない - かんたんスキャン	1425
ファクス／電話	1427
ファクスが送信できない	1428
ファクスが受信できない	1431
電話とファクスが自動的に切り替わらない	1433
ひかり電話／IP 電話環境でファクスが送受信できない	1434
海外へファクスを送信できない	1435
相手の電話／ファクス番号がディスプレイに表示されない	1436
管理／環境設定	1437
他機からインポートした設定が一部反映されていない	1438
長尺原稿が表示されず、使用できない	1439
確認音やファクスの通信音などの音量を変更したい	1440
スリープモードになるまでの時間を変更したい	1441
システム管理者用のパスワードや ID／暗証番号がわからない	1442
通信管理レポートや送信結果レポートをプリントしないようにしたい	1443
赤い縁のエラー画面がポップアップで表示された	1444
メッセージが表示された	1446
ログイン時に 6 桁の数字が表示された	1489
終了コードが表示された (#xxx)	1493
紙／ホチキス針がつまった	1518
フィーダーに原稿がつまった	1520
本体内部に用紙がつまった	1523
本体内部に用紙がつまった（インナーフィニッシャーを装着している場合）	1533
給紙部に用紙がつまった	1538
フィニッシャーに用紙がつまった（オプション）	1543
紙づまりが繰り返し起こる	1547
ホチキス針がつまった（オプション）	1550
トラブルが解決しないときは	1552

付録	1554
ユーザズガイドの使いかた	1555
パソコンの操作例	1557
環境情報／法規制／規格	1569
おことわり	1571

本機について

本機について	3
対応オプション一覧	4
目的別オプション一覧	7
仕上げ機能対応オプション一覧	8
2 段カセットペディスタル・BB	11
長尺用給紙トレイ・A／長尺用排紙トレイ・F	12
インナーフィニッシャー・N／インナー 2/4 穴パンチャー・D	14
第 1 コピートレイ キット・C	19
コピートレイ・T	21
インナー 2 ウェイトレイ・M	23
ハンドセット	25
ADF アクセスハンドル・A	26
スタンプユニット・B	27
システムオプション	28
管理者権限とパスワード	29
不正アクセス防止対策	30
各部の名称とはたらき	32
前面	33
背面	35
内部	36
操作パネル	37
両面同時読取フィーダー	39
手差しトレイ	41
給紙カセット	42
使用可能な用紙	44
用紙を取り扱うときの注意事項	49
仕様	50
基本仕様	51
両面同時読取フィーダーの仕様	54
プリントの仕様	56
スキヤンの仕様	58
ファクスの仕様	60
ネットワークの仕様	62
セキュリティー／管理機能の仕様	64

サポート環境	71
おすすめ機能	73
効率化	74
管理／運用	76
画質／仕上げ	77

本機について

EJ83-000

本機を使用する前に、対応しているオプションや、各部の名称、各機能の仕様など、基本情報を確認します。本機の管理体制やセキュリティリスクへの対策についても検討します。

基本情報

本機が対応しているオプションを一覧で確認します。
オプションの仕様についても、ここで確認できます。

➡対応オプション一覧 (P. 4)

必要に応じて、本機の各部の名称、使用できる用紙、各機能の仕様を確認します。

➡各部の名称とはたらき (P. 32)

➡使用可能な用紙 (P. 44)

➡仕様 (P. 50)

管理／設定に必要な情報

本機の管理／設定を行う際には、管理者ユーザーでログインします。
工場出荷時は、Administrator 権限を持つ管理者ユーザーが登録されています。

➡管理者権限とパスワード (P. 29)

本機をネットワーク環境で使用する場合は、不正アクセス防止対策の一例を確認し、検討／実施します。

➡不正アクセス防止対策 (P. 30)

活用のヒント

目的や課題の解決に役立つおすすめの機能を紹介します。

➡おすすめ機能 (P. 73)

対応オプション一覧

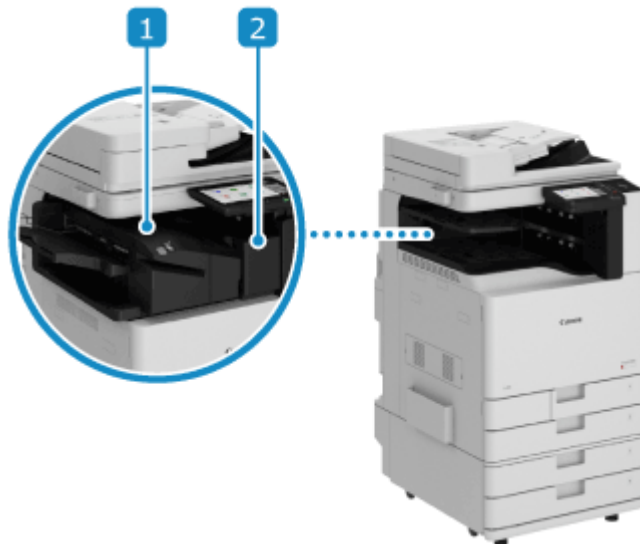
EJ83-001

本機にオプションを取り付けることで、本機でできることを増やしたり、より便利に本機を使用したりできます。目的や各仕上げ機能に応じたオプションを、以下の一覧で確認できます。

- 🔗 目的別オプション一覧 (P. 7)
- 🔗 仕上げ機能対応オプション一覧 (P. 8)

オプション装着時の外観

インナーフィニッシャー・N 装着時



- 1 インナーフィニッシャー・N**
プリント／コピーされた用紙が排出されます。ホチキスなどの仕上げ機能を使用できます。🔗 **インナーフィニッシャー・N／インナー 2/4 穴パンチャー・D (P. 14)**
- 2 インナー 2/4 穴パンチャー・D**
フィニッシャーに取り付けることで、パンチ穴をあけることができます。🔗 **インナーフィニッシャー・N／インナー 2/4 穴パンチャー・D (P. 14)**

その他のオプション装着時



① ハンドセット

本機で音声電話を利用したり、手動でファクスを送受信したりできます。▶[ハンドセット \(P. 25\)](#)

② コピートレイ・T

本機の右側面に排紙トレイを追加できます。▶[コピートレイ・T \(P. 21\)](#)

③ 2 段カセットペディスタル・BB

給紙カセットを追加できます。▶[2 段カセットペディスタル・BB \(P. 11\)](#)

④ インナー 2 ウェイトレイ・M

第 1 コピートレイ キット・C 装着時に、排紙トレイを上下 2 箇所に分けることができます。▶[インナー 2 ウェイトレイ・M \(P. 23\)](#)

⑤ 第 1 コピートレイ キット・C

プリント／コピーされた用紙が排出されます。▶[第 1 コピートレイ キット・C \(P. 19\)](#)

⑥ 長尺用排紙トレイ・F

プリント／コピーされた長尺用紙が排出されます。▶[長尺用給紙トレイ・A／長尺用排紙トレイ・F \(P. 12\)](#)

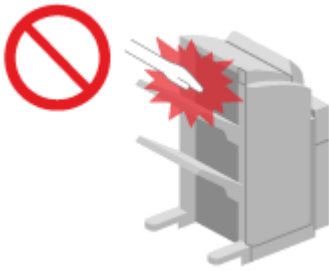
⑦ 長尺用給紙トレイ・A

長尺用紙をセットできます。▶長尺用給紙トレイ・A／長尺用排紙トレイ・F (P. 12)

オプションについての注意事項

注意

- フィニッシャーを装着しているときは、トレイ内のホチキスされる場所やローラー部に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。



- フィニッシャーの動作中は、動作部に手や指を触れないでください。けがやフィニッシャーの故障の原因になることがあります。
- フィニッシャーのトレイから用紙をとるときは、フィニッシャーの排紙口側に手をかけないでください。トレイが上昇して、手をはさむ恐れがあります。



重要

- フィニッシャーのトレイは、コピー／プリント中に位置が移動するため、トレイの下には物を置かないでください。トレイの故障や破損の原因になります。
- フィニッシャーのトレイの上には排出された用紙以外は載せないでください。トレイの破損の原因になります。

メモ

- 組み合わせ可能なオプションについては、販売店または担当サービスにお問い合わせください。
- 本機に装着しているオプション機器や機能を確認できます。▶本機に装着しているオプションを確認する (P. 910)

目的別オプション一覧

EJ83-002

目的に応じたオプションを、以下の一覧で確認できます。

用紙のセット

給紙カセットを追加したい

➤ 2 段カセットペディスタル・BB (P. 11)

長尺用紙をセットしたい

➤ 長尺用給紙トレイ・A／長尺用排紙トレイ・F (P. 12)

仕上げ／排紙

ホチキスや折りなどの仕上げ機能を使用したい

➤ インナーフィニッシャー・N／インナー 2/4 穴パンチャー・D (P. 14)

※使用したい仕上げ機能によって、必要なオプションが異なります。 ➤ 仕上げ機能対応オプション一覧 (P. 8)

フィニッシャーを使用せずに排紙したい／排紙先を増やしたい

➤ 第 1 コピートレイキット・C (P. 19)

➤ コピートレイ・T (P. 21)

➤ インナー 2 ウェイトレイ・M (P. 23)

操作のサポート／機能の追加

電話を利用したい／手動でファクスを送受信したい

➤ ハンドセット (P. 25)

フィーダーを閉めるための補助がほしい

➤ ADF アクセスハンドル・A (P. 26)

スキャンしていない原稿とスキャンが完了した原稿を一目で区別したい

➤ スタンプユニット・B (P. 27)

スキャンするときに原稿の重なりを自動的に検知したい

➤ 両面同時読取フィーダー (P. 39)

機能を追加したい／性能を高めたい

➤ システムオプション (P. 28)

仕上げ機能対応オプション一覧

EJ83-003

使用したい仕上げ機能によって、必要なオプションが異なります。各仕上げ機能に応じたオプションを、以下の一覧で確認できます。

- ④ 仕分け機能対応オプション (P. 8)
- ④ ホチキス機能対応オプション (P. 9)
- ④ パンチ機能対応オプション (P. 10)

メモ

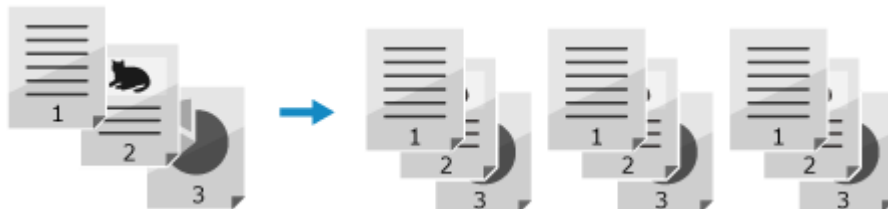
- 各仕上げ機能の使用方法については、以下を参照してください。
 - ④ 仕上げ機能を設定する (P. 604)
- 用紙サイズや用紙種類によっては、仕上げ機能を使用できません。④ 仕上げ機能を使用可能な用紙 (P. 48)

仕分け機能対応オプション

仕分け機能の種類

ソート

複数ページの原稿を複数部プリントするときに、原稿のページ順どおりに1部ずつ仕分けて排紙します。



グループ

複数ページの原稿を複数部プリントするときに、原稿のページごとに指定部数を排紙します。



シフト

部単位またはページ単位で排紙位置をずらします。



90度回転

部数単位またはページ単位で「タテ向き、ヨコ向き、タテ向き…」と交互に排紙します。



対応オプション一覧

○：対応 ×：非対応

機能	インナーフィニッシャー・N	第1コピートレイキット・C	コピートレイ・T	インナー2ウェイトレイ・M
ソート ^{*1}	○	○	○	○
グループ ^{*1}	○	○	○	○
シフト	○	×	×	×
90度回転 ^{*1}	×	○	○ ^{*2}	○

^{*1} 本体のみでも標準対応している機能です。

^{*2} 第1コピートレイキット・C装着時のみ使用できます。

ホチキス機能対応オプション

ホチキス機能の種類

コーナー

部単位またはページ単位で、用紙の角をホチキスして排紙します。



ダブル

部単位またはページ単位で、用紙の端の2箇所をホチキスして排紙します。



針なしとし

部単位またはページ単位で、ホチキス針を使用せずに用紙の角を圧着させて排紙します。

圧着部分を指で押すと用紙をかんとするにはがすることができるため、ホチキス針の節約のほか、一時的に用紙をとじておきたい場合にも便利です。

マニュアルステイブル

用紙をスリット部に差し込み、用紙の角を手動でホチキスすることができます。

ホチキスされていた原稿から針を外してスキャンしたあとに、原稿をホチキスしなおしたい場合などに便利です。

対応オプション一覧

○：対応 ×：非対応

機能	インナーフィニッシャー・N	第1コピートレイキット・C	コピートレイ・T	インナー2ウェイトレイ・M
コーナー	○	×	×	×
ダブル	○	×	×	×
針なしとじ	○	×	×	×
マニュアルステイプル	○	×	×	×

パンチ機能対応オプション

パンチ機能の種類

パンチ穴

ファイリング用のパンチ穴をあけて排紙します。



対応オプション一覧

○：対応 ×：非対応

機能	インナーフィニッシャー・N	第1コピートレイキット・C	コピートレイ・T	インナー2ウェイトレイ・M
パンチ穴	○ ^{*1}	×	×	×

^{*1} インナー2/4穴パンチャー・D装着時のみ使用できます。

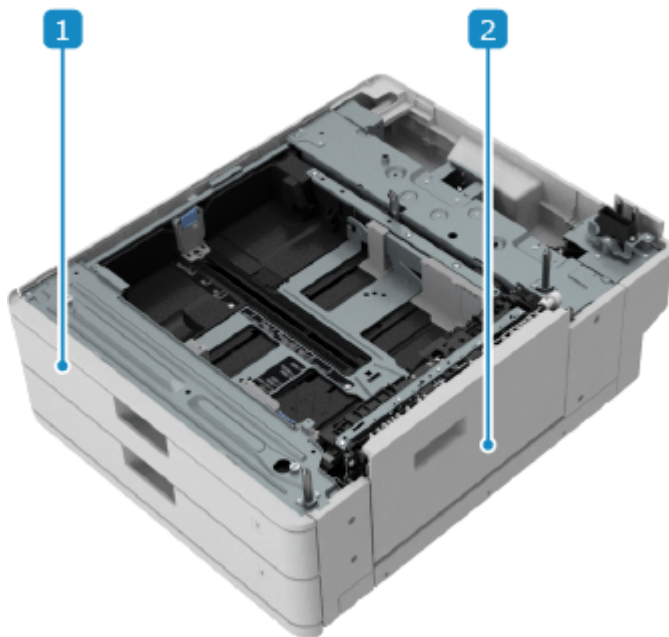
2 段カセットペディスタル・BB

EJ83-004

サイズや種類が異なる用紙をよく使用する場合や、用紙を多めにセットしておきたい場合は、オプションの 2 段カセットペディスタル・BB を取り付けます。用紙をセットする手間を軽減できます。

- ①各部の名称とはたらき (P. 11)
- ②仕様 (P. 11)

各部の名称とはたらき



- ① 給紙カセット
用紙をセットします。▶給紙カセットに用紙をセットする (P. 212)
- ② カセット右下カバー
用紙が詰まったときに開けます。

仕様

用紙サイズ／種類／坪量	▶使用可能な用紙 (P. 44)
給紙方式／給紙容量	給紙カセット × 2 640 枚/段 (64 g/m ²) 550 枚/段 (75 g/m ² 、80 g/m ²) ● OHP フィルム：100 枚/段
大きさ (幅×奥行×高さ)	565 mm × 688 mm × 248 mm (本体装着時)
質量	約 17.9 kg

長尺用給紙トレイ・A／長尺用排紙トレイ・F

EJ83-005

以下のいずれかのオプション機器の組み合わせで、長尺用紙を手差しトレイにセットしてプリントすることができます。

- 長尺用給紙トレイ・A／長尺用排紙トレイ・F
- 長尺用給紙トレイ・A／インナーフィニッシャー・N

①各部の名称とはたらき (P. 12)

②仕様 (P. 13)

各部の名称とはたらき



① 長尺用排紙トレイ・F

プリント／コピーされた用紙が排出されます。

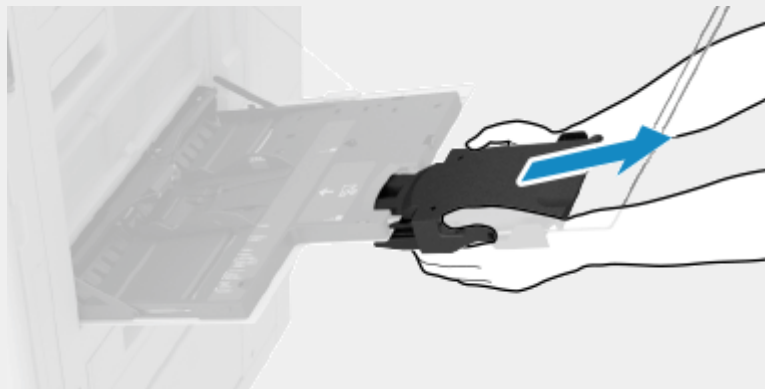
※オプションの第1コピーレイキット・C装着時に使用します。その他の組み合わせでは使用できません。

② 長尺用給紙トレイ・A

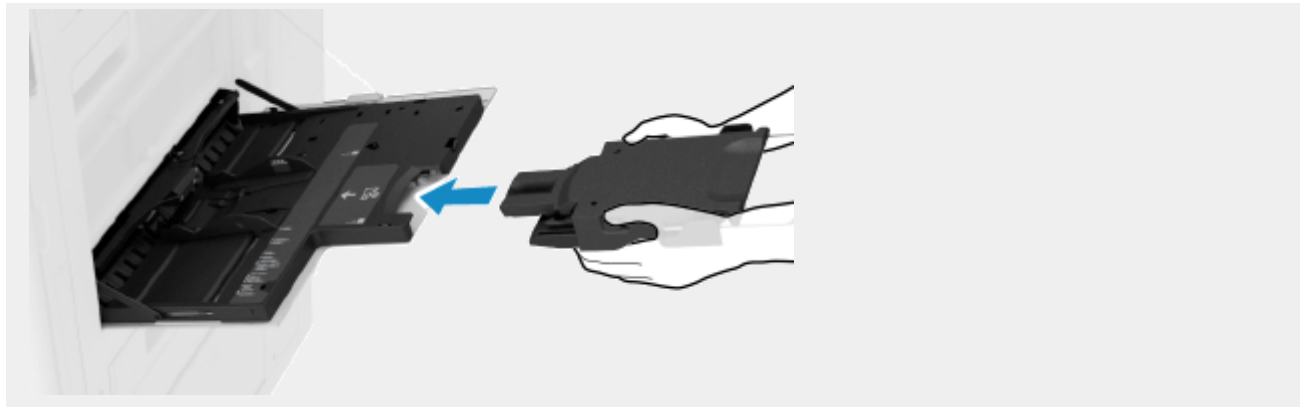
手差しトレイに取り付けて、用紙をセットします。用紙は1枚ずつセットします。

長尺用給紙トレイ・Aの取り外し／取り付け方法

長尺用給紙トレイを取り外す場合は、左右のロック解除ボタンを押しながら、トレイを引き抜きます。



長尺用給紙トレイを取り付ける場合は、カチッと音がするまでゆっくりと手差しトレイに押し込みます。



仕様

用紙サイズ／種類／坪量	長尺用給紙トレイ・A 本体の「手差しトレイ」と同じ ●使用可能な用紙 (P. 44) 長尺用排紙トレイ・F 本体通紙可能な用紙すべて ●使用可能な用紙 (P. 44)
給紙方式／給紙容量	長尺用給紙トレイ・A - 長尺用紙：1枚（ヨコ方向の長さが 457.3 mm ～ 1,200 mm まで） - 上記以外：本体の「手差しトレイ」と同じ ●基本仕様 (P. 51)
排紙容量	長尺用排紙トレイ・F 装着時 - 長尺用紙：1枚（ヨコ方向の長さが 457.3 mm ～ 1,200 mm まで） - 上記以外：本体の「インナートレイ容量」と同じ ●基本仕様 (P. 51) インナーフィニッシャー・N 装着時 インナーフィニッシャーの「排紙トレイ容量」と同じ ●インナーフィニッシャー・N／インナー 2/4 穴パンチャー・D (P. 14)
大きさ （幅×奥行×高さ）	長尺用給紙トレイ・A 522 mm × 150 mm × 345 mm 長尺用排紙トレイ・F 357 mm × 270 mm × 434 mm
質量	長尺用給紙トレイ・A 約 0.3 kg 長尺用排紙トレイ・F 約 0.7 kg

インナーフィニッシャー・N／インナー 2/4 穴パンチャー・D

EJ83-006

ホチキスなどの仕上げ機能を使用する場合は、オプションのインナーフィニッシャー・Nを取り付けます。
フィニッシャーにインナー 2/4 穴パンチャー・Dを取り付けることでパンチ機能を使用することもできます。

- ④ 使用できる仕上げ機能 (P. 14)
- ④ 仕上げ機能使用時の注意事項 (P. 14)
- ④ マニュアルステイブルの使用方法 (P. 15)
- ④ 長尺用紙にプリントするときの準備 (P. 15)
- ④ 各部の名称とはたらき (P. 16)
- ④ 仕様 (P. 17)

使用できる仕上げ機能

インナーフィニッシャー・N 装着時に、使用できる仕上げ機能は以下のとおりです。

仕分け機能

- ソート
- グループ
- シフト

ホチキス機能

- コーナー
- ダブル
- 針なしとじ
- マニュアルステイブル

パンチ機能

- パンチ穴^{*1}

^{*1} インナー 2/4 穴パンチャー・D 装着時のみ使用できます。

メモ

- 各仕上げ機能の詳細については、以下を参照してください。
④ 仕上げ機能対応オプション一覧 (P. 8)

仕上げ機能使用時の注意事項

ホチキス使用時の注意事項

- 用紙の種類や厚さによってホチキス可能な枚数が異なります。④ 仕様 (P. 17)
とじることができない場合は、用紙を変更するか、とじる枚数を減らします。
- ホチキス処理中の用紙は、途中で取り除かず、完全にトレイに排紙されてから取り除きます。
- [ホチキスユニットの針を補給してください。] と表示された場合は、針ケースを交換してホチキス針を補充します。④ ホチキス針を補充する (オプション) (P. 1334)

- トレイが下限位置に達したり、ホチキスした用紙が 30 部に達したりすると、プリントが一時停止します。排出されている用紙を取り除くと、プリントが再開されます。

針なしとじ使用時の注意事項

- 両面プリントできない用紙の場合や、用紙サイズが混在している場合は、とじ位置によっては、針なしとじを使用できません。
- 使用環境や用紙の種類によっては、針なしとじの圧着部分がはがれやすくなる場合があります。

マニュアルステイプルの使用方法

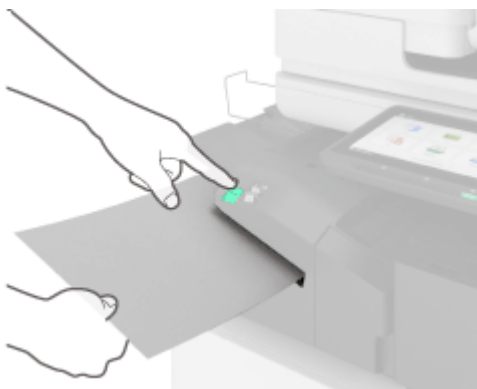
フィニッシャーのスリット部に、用紙束を差し込んで一定時間待つと、用紙束が検知されて自動的にホチキスされます。用紙束を検知するとステイプルボタンが点滅し、ホチキスが完了すると消灯します。ステイプルボタンが消灯したら、用紙束を引き抜きます。



- 用紙束のオモテ面を下にして、ホチキスしたい角をまっすぐ差し込みます。
- プリント中はマニュアルステイプルできません。

メモ

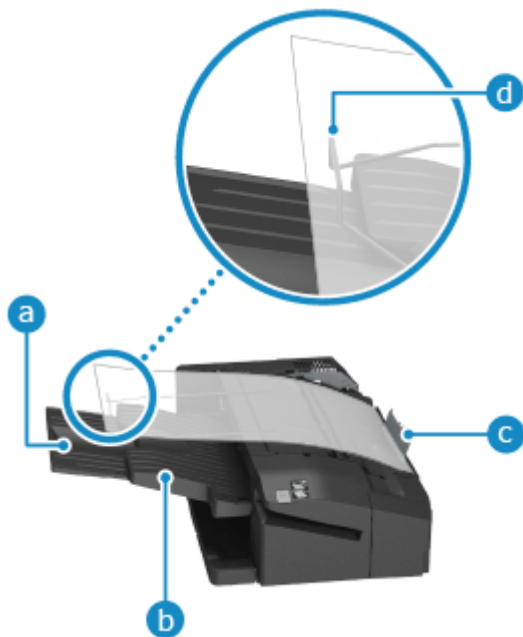
- 用紙束を差し込んでから自動的にホチキスされるまでの時間は変更できます。▶ **【ホチキスモード時のホチキス実行時間】 (P. 1036)**
- ステイプルボタンを押すと、ホチキス実行時間を待たずにホチキスすることができます。



長尺用紙にプリントするときの準備

長尺用紙をプリントする場合は、以下の準備をします。

- オプションの長尺用給紙トレイ・A が必要です。



- 排紙トレイから用紙が落ちないようにするために、補助トレイ（**a**）を引き出します。
- 排紙トレイ（トレイ A）（**b**）に用紙が排紙されている場合は、すべて取り除きます。
- ヨコ方向の長さを 500 mm ～ 550 mm にカットした長尺用紙を、紙づまり防止のために排紙トレイ（トレイ B）の積載壁（**c**）に突き当ててセットします。このとき、長尺用紙がワイヤーの先端（**d**）に載っていることを確認してください。

各部の名称とはたらき



- 1 補助トレイ**
大きいサイズ of 用紙を排出するときは、排紙トレイから用紙が落ちないようにするために、このトレイを引き出します。
- 2 排紙トレイ（トレイ A）**
プリント／コピーされた用紙が排出されます。どの機能の排紙先として使用するが設定できます。▶ **排紙先の設定 (P. 267)**
- 3 排紙トレイ（トレイ B）**
プリント／コピーされた用紙が排出されます。どの機能の排紙先として使用するが設定できます。▶ **排紙先の設定 (P. 267)**
- 4 スリット部**
マニュアルステイプルするときは、ここに用紙束を差し込みます。
- 5 ステイプルボタン**

マニュアルステイプル時に、ホチキス実行時間を待たずにホチキスすることができます。

※スリット部に用紙束を差し込んで一定時間待つと、ステイプルボタンを押さなくても、自動的にホチキスされます。 ➤

マニュアルステイプルの使用方法 (P. 15)

6 右カバー（インナー 2/4 穴パンチャー・D）

パンチくずを捨てるときに開けます。

7 左カバー（インナーフィニッシャー・N）

用紙／ホチキス針がつまったときや、ホチキス針を補充するときに開けます。

仕様

用紙サイズ／種類／坪量	本体通紙可能な用紙すべて ^{*1} ➤使用可能な用紙 (P. 44)
排紙トレイ容量（トレイ A） ^{*2}	仕上げ設定なし、ソート、グループ ● A4、B5、A5、A5R、レター、ステートメント、ステートメント R、エグゼクティブ：高さ 52 mm（500 枚相当） ● A3、B4、A4R、B5R、リーガル、レター R、11"×17"：250 枚 または 高さ 26 mm ● A6R：30 枚 ● 320×450mm（SRA3）、305×457mm、封筒：10 枚 仕上げ設定なし、ソート、グループ（サイズ混載時） ● A4、B5、レターのみ組み合わせ：高さ 52 mm（500 枚相当） ● 上記以外の組み合わせ：250 枚 または 高さ 26 mm シフト ● A4、B5、レター、エグゼクティブ：高さ 52 mm（500 枚相当） ● A3、B4、A4R、リーガル、レター R、11"×17"：250 枚 または 高さ 26 mm ホチキス（コーナー／ダブル） ● A4、B5、レター、エグゼクティブ：30 部 または 高さ 52 mm ● A3、B4、A4R、リーガル、レター R、11"×17"：30 部 または 高さ 26 mm 針なしとじ ● A4、B5、レター：30 部 または 高さ 52 mm ● A3、B4、11"×17"：30 部 または 高さ 26 mm
排紙トレイ容量（トレイ B）	仕上げ設定なし、ソート、グループ 高さ 5.2 mm ● 50 枚相当（64 g/m²、75 g/m²） ● 45 枚相当（80 g/m²） ● 長尺用紙：1 枚（ヨコ方向の長さが 900 mm まで）^{*3}
ホチキス可能枚数 ^{*4}	コーナー／ダブル（コート紙以外） ● A4、B5、レター、エグゼクティブ ● 52 g/m²～90 g/m²：50 枚 ● 91 g/m²～105 g/m²：30 枚 ● 106 g/m²～256 g/m²：2 枚 ● A4R、レター R ● 52 g/m²～90 g/m²：40 枚 ● 91 g/m²～105 g/m²：30 枚 ● 106 g/m²～256 g/m²：2 枚 ● A3、B4、リーガル、11"×17"

	• 52 g/m² ～ 90 g/m² : 30 枚 • 91 g/m² ～ 105 g/m² : 20 枚 • 106 g/m² ～ 256 g/m² : 2 枚 コーナー／ダブル (コート紙) 106 g/m² ～ 256 g/m² : 2 枚 針なしとじ A3、B4、A4、B5、レター、11"×17" • 52 g/m² ～ 64 g/m² : 10 枚 • 65 g/m² ～ 81.4 g/m² : 8 枚 • 82 g/m² ～ 105 g/m² : 6 枚 マニュアルステイプル 厚さ 4.0 mm 以下 • 50 枚程度 (52 g/m²) • 45 枚程度 (64 g/m²) • 40 枚程度 (75 g/m²、80 g/m²)
パンチ (インナー 2/4 穴パン チャー・D 装着時)	パンチ穴数 2 穴、4 穴 用紙サイズ • 2 穴 : A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、リーガル、レター、レター R、エグゼクティブ、11"×17" • 4 穴 : A3、A4、レター、エグゼクティブ、11"×17" 用紙坪量 52 g/m² ～ 300 g/m²
大きさ (幅×奥行×高さ)	469 mm × 525 mm × 219 mm
質量	約 9.5 kg

*1 薄紙 2 (52 g/m² ～ 59 g/m²) の両面プリントを除く。

*2 64 g/m²、75 g/m²、80 g/m² の場合。それ以外は容量が異なります。

*3 オプションの長尺用給紙トレイ・A 装着時。

*4 標準ステイプルカートリッジ装着時。用紙の種類や厚さによってホチキス可能枚数が少なくなることがあります。

第1 コピートレイ キット・C

EJ83-007

フィニッシャーを装着しない場合は、オプションの第1 コピートレイ キット・C を取り付けます。プリント／コピーされた用紙が排出されます。

- ④ 使用できる仕上げ機能 (P. 19)
- ④ 各部の名称とはたらき (P. 19)
- ④ 仕様 (P. 20)

使用できる仕上げ機能

第1 コピートレイ キット・C 装着時に、使用できる仕上げ機能は以下のとおりです。

仕分け機能

- ソート
- グループ
- 90 度回転

メモ

- 各仕上げ機能の詳細については、以下を参照してください。
 - ④ 仕上げ機能対応オプション一覧 (P. 8)

各部の名称とはたらき



① 排紙トレイガイド

排紙トレイから用紙が落ちないようにするために、このガイドを起こします。

2 排紙トレイ

プリント／コピーされた用紙が排出されます。

仕様

用紙サイズ／種類 ／坪量	本体通紙可能な用紙すべて ▶使用可能な用紙 (P. 44)
排紙トレイ容量	片面 ● A4、B5、A5、A5R、A6R、レター、ステートメント、ステートメント R：250 枚（64 g/m²、75 g/m²、80 g/m²） ● A3、B4、A4R、B5R、320×450mm（SRA3）、305×457mm、リーガル、レター R、エグゼクティブ、11"×17"：100 枚（64 g/m²、75 g/m²、80 g/m²） 両面 ● A4、B5、A5、A5R、A6R、レター、ステートメント、ステートメント R：200 枚（64 g/m²、75 g/m²、80 g/m²） ● A3、B4、A4R、B5R、320×450mm（SRA3）、305×457mm、リーガル、レター R、エグゼクティブ、11"×17"：100 枚（64 g/m²、75 g/m²、80 g/m²）
大きさ （幅×奥行×高さ）	422 mm × 485 mm × 78 mm
質量	約 0.9 kg

コピートレイ・T

EJ83-008

本機の右側面に排紙トレイを追加する場合は、オプションのコピートレイ・Tを取り付けます。機能ごとに排紙先を分けることで、プリント／コピーされた用紙を探す手間を軽減できます。

- ④使用できる仕上げ機能 (P. 21)
- ④各部の名称とはたらき (P. 21)
- ④仕様 (P. 22)

使用できる仕上げ機能

コピートレイ・T 装着時に、使用できる仕上げ機能は以下のとおりです。

仕分け機能

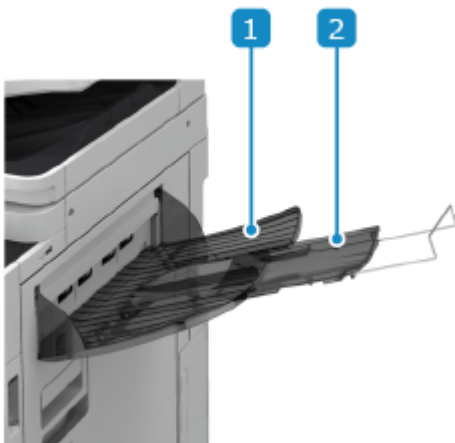
- ソート
- グループ
- 90 度回転^{*1}

^{*1} 第 1 コピートレイ キット・C と組み合わせて装着している場合のみ使用できます。

メモ

- 各仕上げ機能の詳細については、以下を参照してください。
- ④仕上げ機能対応オプション一覧 (P. 8)

各部の名称とはたらき



① 排紙トレイ

プリント／コピーされた用紙が排出されます。どの機能の排紙先として使用するか設定できます。④排紙先の設定 (P. 267)

② 補助トレイ

大きいサイズの用紙を排出するときは、排紙トレイから用紙が落ちないようにするために、このトレイを引き出します。

仕様

用紙サイズ	- 最大：297.0 mm × 431.8 mm - 最小：98.0 mm × 182.0 mm
用紙種類	薄紙（52 g/m ² ～63 g/m ² ）、普通紙（64 g/m ² ～105 g/m ² ）、厚紙（106 g/m ² ～220 g/m ² ）、再生紙、パンチ済み紙、色紙、レターヘッド、ボンド紙
用紙坪量	52 g/m ² ～220 g/m ²
排紙トレイ容量	片面／両面 - A4、B5、A5R、レター、ステートメント R：100 枚（64 g/m²、75 g/m²、80 g/m²） - A3、B4、A4R、B5R、リーガル、レター R、エグゼクティブ、11"×17"：75 枚（64 g/m²、75 g/m²、80 g/m²）
大きさ （幅×奥行×高さ）	258 mm × 373 mm × 103 mm
質量	約 0.5 kg

インナー 2 ウェイトレイ・M

第 1 コピートレイキット・C 装着時に、排紙トレイを上下 2 箇所に分ける場合は、オプションのインナー 2 ウェイトレイ・M を取り付けます。機能ごとに排紙先を分けることで、プリント／コピーされた用紙を探す手間を軽減できます。

- ① 使用できる仕上げ機能 (P. 23)
- ② 各部の名称とはたらき (P. 23)
- ③ 仕様 (P. 24)

使用できる仕上げ機能

インナー 2 ウェイトレイ・M 装着時に、使用できる仕上げ機能は以下のとおりです。

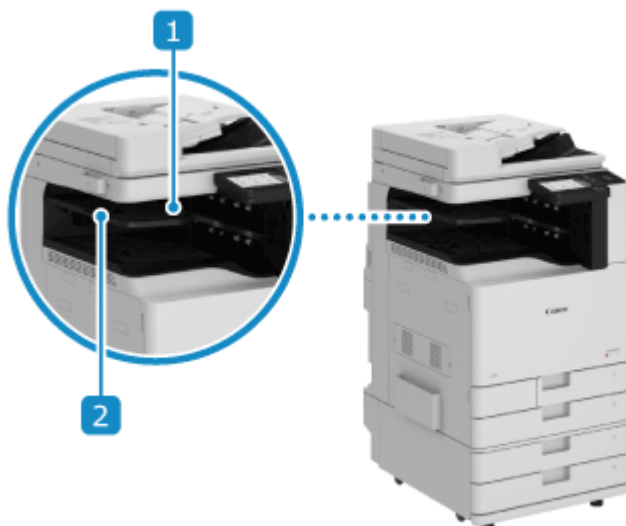
仕分け機能

- ソート
- グループ
- 90 度回転

メモ

- 各仕上げ機能の詳細については、以下を参照してください。
④ 仕上げ機能対応オプション一覧 (P. 8)

各部の名称とはたらき



① 排紙トレイ

プリント／コピーされた用紙が排出されます。どの機能の排紙先として使用するか設定できます。⑤ 排紙先の設定 (P. 267)

② 排紙トレイガイド

排紙トレイから用紙が落ちないようにするために、このガイドを起こします。

仕様

用紙サイズ／種類／坪量	本体通紙可能な用紙すべて ▶使用可能な用紙 (P. 44)
排紙トレイ容量	片面／両面 ● A4、B5、A5、A5R、A6R、レター、ステートメント、ステートメント R：100 枚（64 g/m²、75 g/m²、80 g/m²） ● A3、B4、A4R、B5R、320×450mm（SRA3）、305×457mm、リーガル、レター R、エグゼクティブ、11"×17"：50 枚（64 g/m²、75 g/m²、80 g/m²）
大きさ （幅×奥行×高さ）	428 mm × 405 mm × 88 mm
質量	約 0.7 kg

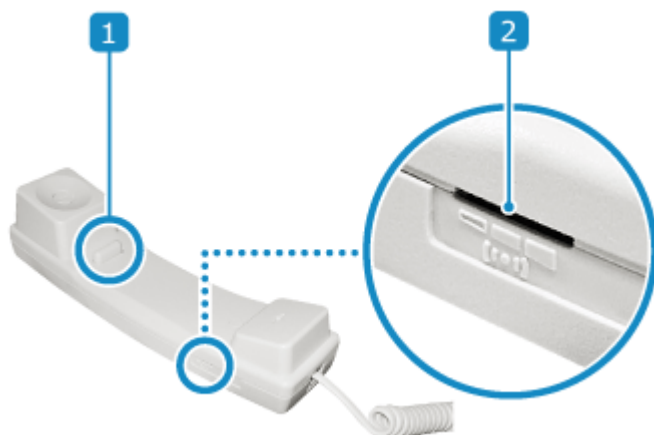
ハンドセット

EJ83-00C

本機で音声電話を利用する場合^{*1}は、オプションのハンドセットを取り付けます。

ハンドセットを使用して、手動でファクスを送受信することもできます。▶ **通話に続けてファクスを送信する - 手動送信 (P. 512)**

^{*1} 本機を電話回線に接続する必要があります。



1 フックボタン

2 呼び出し音量スイッチ

電話着信時の呼び出し音量を、「大」／「小」／「切」の3段階で調整できます。

メモ

- 受信時にファクスと電話を切り替えるようにする場合は、受信モードを設定します。▶ **【受信モード選択】 (P. 1116)**
- 通話中にハウリングする場合は、アラーム音量や通信音量を小さくします。▶ **音量を調整する（ファクス機能がある場合） (P. 328)**
- 使用後はハンドセットのコードを正しい位置に戻します。



ADF アクセスハンドル・A

EJ83-00E

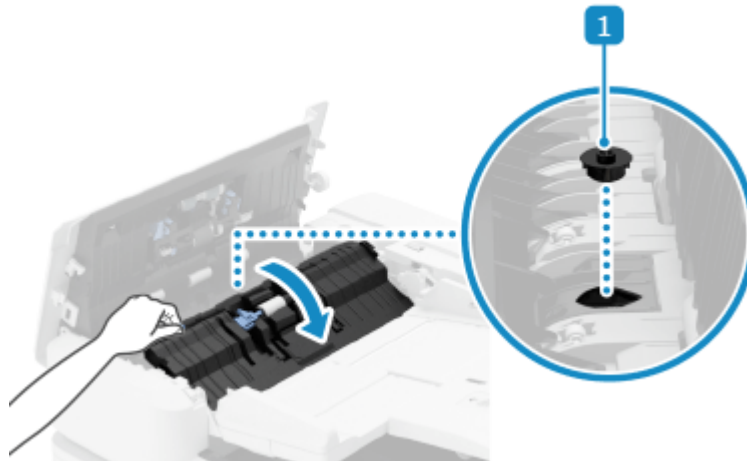
フィーダーを閉めるための補助が必要な場合は、オプションの ADF アクセスハンドル・A を使用します。
フィーダーの手前にハンドルの先を掛けて、静かに手前に引くことでフィーダーを閉めることができます。



スタンプユニット・B

EJ83-00H

フィーダーを使用してスキャンする場合に、スキャンが完了した原稿にスタンプを付けたい場合は、オプションのスタンプユニット・Bを取り付けます。詳細については、販売店または担当サービスにお問い合わせください。



1 スタンプインクカートリッジ・C

原稿に付けたスタンプがかすれてきたときは、カートリッジを交換できます。④スタンプカートリッジを交換する（オプション）（P. 1332）

システムオプション

EJ83-00J

システムオプションをインストールすることで、使用できる機能を追加したり、本機の性能をさらに高めたりすることができます。

- ① LIPS V 拡張キット (P. 28)
- ① アウトライン PDF 拡張キット (P. 28)
- ① ユーザー署名拡張キット (P. 28)
- ① データストレージキット (P. 28)

LIPS V 拡張キット

本機を LIPS V プリンターとして使用する場合は、LIPS V 拡張キットをインストールします。
LIPS V プリンターは以下の動作モードに対応しています。

- LIPS モード
- N201 エミュレーションモード
- ESC/P エミュレーションモード
- I5577 エミュレーションモード
- HP-GL エミュレーションモード
- HP-GL/2 エミュレーションモード

アウトライン PDF 拡張キット

文書をアウトライン化した PDF で送信／保存する場合は、アウトライン PDF 拡張キットをインストールします。
文書内の文字部と線画をアウトライン化することで、文字部の表示品位を保つことができます。また、Adobe Illustrator を使用すると、文字部のほか、アウトライン化された線画部を再利用できます。

ユーザー署名拡張キット

文書をユーザー固有の電子署名を付加した PDF/XPS で送信／保存する場合は、ユーザー署名拡張キットをインストールします。
認証局から入手したユーザー固有の電子証明書を使うことで、どのユーザーによって署名された文書かを、受信者に対して証明できます。

データストレージキット

本製品に留め置く文書の保存領域サイズを増やす場合は、データストレージキットを取り付けます。

重要

- データストレージキットを装着すると、それまで本製品に留め置いていた文書は文書リストから削除され印刷できなくなります。データストレージキット装着前に留め置いていた文書を印刷するか、データストレージキット装着後に再度留め置く文書をプリントしてください。

管理者権限とパスワード

EJ83-00K

本機の重要な設定を変更するには、管理者権限を持つユーザーでログインする必要があります。➡ **ログイン方法 (P. 191)**

管理者権限の種類

担当業務に応じた管理者権限をユーザーに付与することで、多岐にわたる本機の管理タスクを分担して運用することができます。

Administrator	本機のすべての設定を変更できます。
NetworkAdmin	ネットワークに関する設定を変更できます。
DeviceAdmin	プリント／スキャン／ファクス／コピーなどの基本機能に関する設定や、デバイス情報に関する設定を変更できます。

※ 「NetworkAdmin」と「DeviceAdmin」で変更できる設定の詳細については、以下を参照してください。

➡ **【設定/登録】メニュー一覧 (P. 957)**

初期設定では、Administrator 権限を持つ以下の管理者ユーザーが登録されています。

ユーザー名	Administrator
パスワード	7654321

情報漏えいや不正使用のリスク軽減のため、必ず以下のどちらかの方法で運用します。

ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーを使用する場合

情報保護のため、ユーザー名「Administrator」のパスワードを初期設定から変更して、特定の管理者のみが新しいパスワードを知っているようにします。

任意のユーザー名の管理者ユーザーを使用する場合

Administrator 権限を持つ管理者ユーザーを新規登録し、ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーを無効にします。情報保護のため、特定の管理者のみが新規登録した管理者ユーザーの情報を知っているようにします。

ユーザー情報を変更／登録する方法については、以下を参照してください。

➡ **ローカルデバイスにユーザー情報を登録する (P. 687)**

メモ

Administrator 権限を持つ管理者ユーザーのパスワードを忘れた場合

- 操作パネルから以下の手順で、ユーザー名「Administrator」のパスワードを初期化します。

[カウンター/機器情報] ➡ [機器情報/その他] ➡ [管理者パスワードの初期化] ➡ ライセンスキーを入力 ➡ [実行] ➡ [OK]

ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーが無効になっていた場合は有効に戻り、初期設定のパスワードでログインできるようになります。

※パスワードの初期化を禁止するように設定することもできます。➡ **【管理者パスワードの初期化を禁止】 (P. 1159)**

不正アクセス防止対策

EJ83-00L

ネットワーク環境で本機を使用する場合は、ご利用の前に必ずお読みください。

本機は、ネットワークに接続することでさまざまな機能が利用可能となります。その反面、外部からの不正アクセスや盗聴などネットワーク上の脅威にさらされるため、セキュリティリスクへの対策が不可欠です。

ここでは、ネットワーク環境で本機を使用する場合に、セットアップ時に必ず検討／実施いただきたい不正アクセス防止対策の一例を説明します。

①プライベート IP アドレスでの運用 (P. 30)

②パスワード／暗証番号／パターンによる情報保護 (P. 31)

③リモート UI 使用時の注意 (P. 31)

重要

- 本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由して接続してください。

メモ

- 上記以外にも、ファイアウォールによる通信の制限や、TLS 暗号化通信による盗聴／改ざんの防止など、本機でできるセキュリティリスク対策があります。使用環境に合わせて必要な対策を行ってください。➡**セキュリティ (P. 680)**

プライベート IP アドレスでの運用

IP アドレスには、インターネット接続に使用される「グローバル IP アドレス」と、社内 LAN などのローカルエリアネットワークで使用される「プライベート IP アドレス」があります。

本機にグローバル IP アドレスが設定されている場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーが本機へアクセス可能な状態になります。そのため、外部からの不正アクセスによる情報漏えいなどのリスクが高まります。

一方、プライベート IP アドレスが設定されている場合は、本機へのアクセスがローカルエリアネットワーク上のユーザーのみに限定されます。そのため、グローバル IP アドレス設定時よりも不正アクセスのリスクが軽減します。

基本的には、本機にプライベート IP アドレスを設定して運用してください。

プライベート IP アドレスには、以下のいずれかの範囲のアドレスを使用します。

プライベート IP アドレスの範囲

- 10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
- 192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

IP アドレスを設定／確認する方法については、以下を参照してください。

➡IPv4 アドレスを設定する (P. 110)

➡IPv6 アドレスを設定する (P. 114)

本機にグローバル IP アドレスを設定して運用したい場合は、ファイアウォールなどで外部からのアクセスを防御する環境を構築すると、不正アクセスのリスクは軽減されます。ネットワークセキュリティの構築は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

パスワード／暗証番号／パターンによる情報保護

万が一、悪意のある第三者から不正アクセスを受けたとしても、本機が持つ情報をパスワード／暗証番号／パターンで保護しておけば、情報漏えいや不正使用のリスクを軽減できます。

本機では、以下の機能でパスワード／暗証番号／パターンを設定できます。パスワード／暗証番号／パターンを知っているユーザーのみが、これらの機能を使用して情報にアクセスできるようにします。

メモ

不正アクセスを受けないための強力なパスワードを設定するヒント

- 最低でも 8 文字以上、可能であれば 15 文字以上をおすすめします。
- 以下は容易に推測されるため、おすすめしません。
 - 「aaa」や「abcabc」のような文字や単語の繰り返し
 - 本人に関する日付や年
 - 辞書に掲載されている一単語のみ
 - 一般的な名前
 - 「apple」を逆さまに変換した「elppa」のような単語
 - 「a」の代わりに「@」を使用するような予測可能な置換

ユーザー認証

本機を使用する際に、ユーザーごとに登録したユーザー名とパスワード／暗証番号／パターンの入力が必要になるようにします。

🔑ユーザー認証／グループ管理 (P. 681)

- 「ロール」と呼ばれる権限レベルをユーザーごとに設定することで、管理者ユーザーのみが重要な設定を閲覧／変更できるようになります。

アドレス帳

アドレス帳を登録／編集する際に、アドレス帳の暗証番号の入力が必要になるようにします。

🔑アドレス帳に暗証番号を設定して登録／編集を制限する (P. 837)

リモート UI 使用時の注意

- リモート UI の使用中は、他の Web サイトにアクセスしないでください。
- リモート UI を使用したあとは、ログアウトし、Web ブラウザーを必ず閉じてください。

各部の名称とはたらき

EJ83-00R

外部前面

本機を使用するときは、おもに前面の各部を確認しながら操作します。

▶ 前面 (P. 33)

- 本機の操作／設定は、操作パネルで行います。

▶▶ 操作パネル (P. 37)

- 複数枚の原稿をまとめてセットするときは、フィーダーにセットします。

▶▶▶ 両面同時読取フィーダー (P. 39)

- プリント／コピーする用紙は、以下の給紙部にセットします。

▶▶▶▶ 手差しトレイ (P. 41)

▶▶▶▶▶ 給紙カセット (P. 42)

外部背面

本機を設置／接続するときは、背面の各部を確認しながら作業します。

▶ 背面 (P. 35)

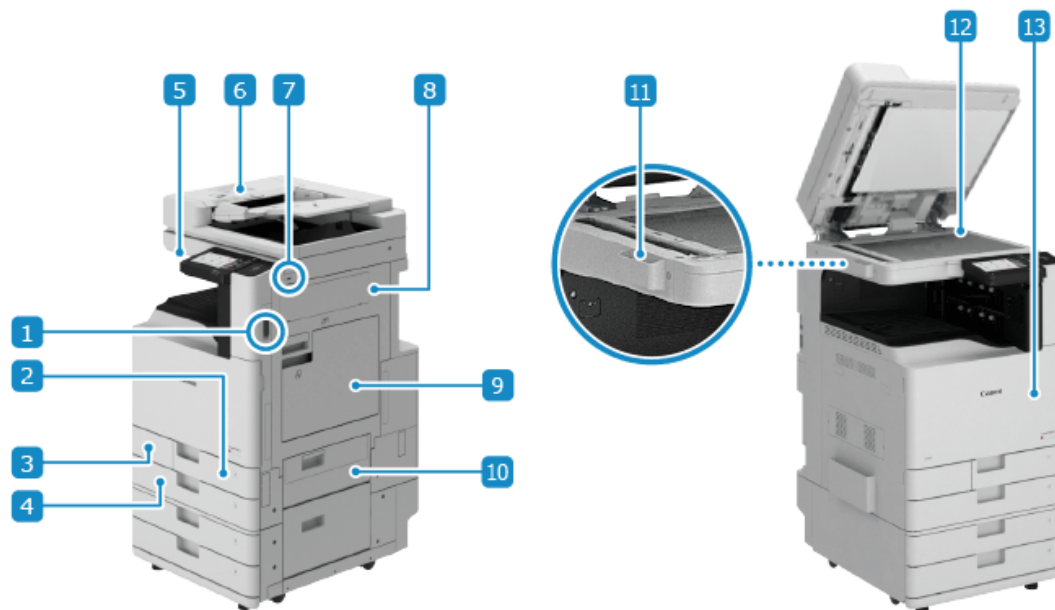
内部

トナー容器／回収トナー容器、ドラムユニットを交換するときや、LED プリントヘッドを清掃するときは、内部を開けて作業します。

▶ 内部 (P. 36)

前面

EJ83-00S



- 1 電源スイッチ
本機の電源を入れたり切ったりします。▶ **電源を入れる／切る (P. 144)**
- 2 給紙カセット 1
普段よく使用する用紙をセットします。▶ **給紙カセット (P. 42)**
- 3 回収トナーカバー
回収トナー容器を交換するときに開けます。
- 4 給紙カセット 2
普段よく使用する用紙をセットします。給紙カセット 1 にセットできないサイズの用紙もセットできます。▶ **給紙カセット (P. 42)**
- 5 操作パネル
タッチパネルディスプレイを使用して、本機の操作や状況確認を行います。▶ **操作パネル (P. 37)**
- 6 フィーダー
複数枚の原稿をまとめてセットできます。セットした原稿は、1 枚ずつ自動的に送られて読み取られます。▶ **両面同時読取フィーダー (P. 39)**
- 7 USB ポート (USB 機器用 - 右側面前)
市販の USB メモリーや USB キーボードを接続できます。
※USB 2.0 に対応しています。
- 8 本体右カバー
本機内部に用紙が詰まったときに開けます。
- 9 手差しトレイ
給紙カセットにセットされていない用紙を一時的に使用するときは、ここにセットします。▶ **手差しトレイ (P. 41)**
- 10 カセット右カバー
用紙が詰まったときに開けます。

11 ガラス清掃シート保管 BOX

ガラス清掃シートを収納します。

12 原稿台ガラス

書籍／厚紙／薄紙など、フィーダーにセットできない原稿をセットします。セットした原稿は、静止した状態で読み取られます。▶**原稿のセット方法 (P. 196)**

13 本体前カバー

トナー容器を交換するときや、LED プリントヘッドを清掃するときに開けます。

重要

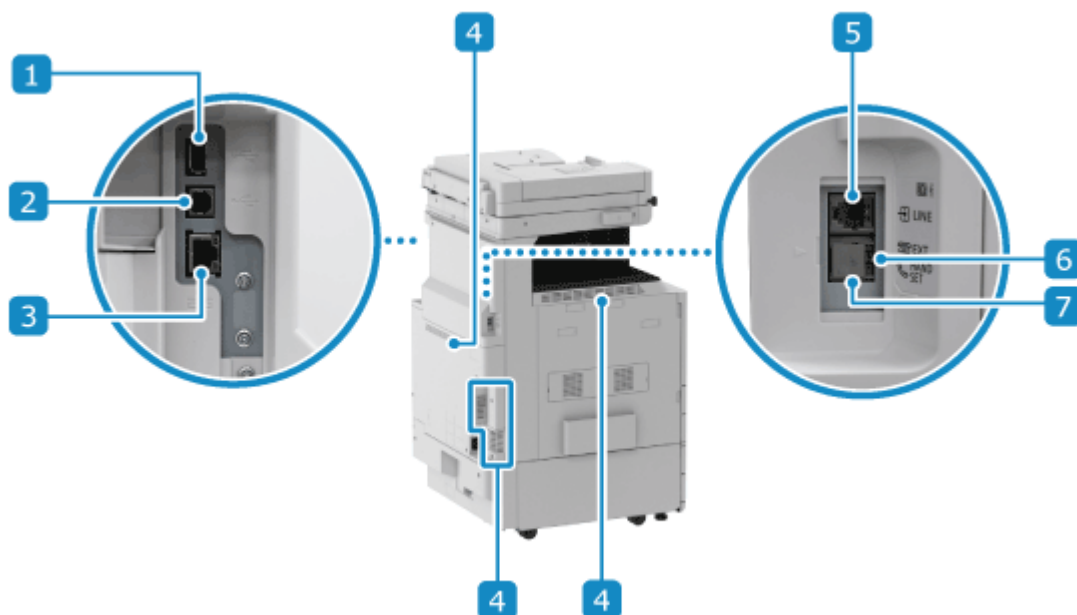
- USB ポート（USB 機器用）に、以下の給電容量を超える機器を接続すると、本機が故障する原因になります。
 - 右側面前：5 V 500 mA
 - 右側面奥：5 V 900 mA
- 原稿台ガラスに本や雑誌などの厚い原稿をセットする場合は、フィーダーを閉めるときに強く押さないでください。

メモ

- オプション装着時の本機の構成と、オプション機器の各部の名称については、以下を参照してください。
 - ▶**対応オプション一覧 (P. 4)**
- 本機を快適に使用するために、本機の表面と原稿台ガラスは定期的に清掃します。
 - ▶**本機の表面を清掃する (P. 1310)**
 - ▶**原稿台ガラスを清掃する (P. 1311)**
- フィーダー使用時に以下の症状が見られる場合は、フィーダーを清掃します。▶**フィーダーを清掃する (P. 1313)**
 - 原稿が汚れる
 - 原稿がひんぱんにつまる
 - スキャン／ファクス送信／コピーの結果に汚れが写り込む
 - 原稿サイズが正しく検知されない

背面

EJ83-00U



1 USB ポート（USB 機器用 - 右側面奥）

市販の USB キーボードや外部ストレージなどの機器を接続できます。

本機を 2 系統の有線 LAN に接続する場合は、USB-LAN アダプターを接続して、副回線の有線 LAN に接続します。

※USB 3.0 に対応しています。

2 USB ポート（パソコン接続用）

市販の USB ケーブルを使用してパソコンを接続できます。

※USB 2.0 に対応しています。

3 LAN ポート

市販の LAN ケーブルを使用して有線 LAN に接続します。

4 通気口

本機内部を換気して冷却します。

換気の妨げになるため、通気口のそばには物を置かないようにご注意ください。

5 電話回線端子（LINE 1）

電話回線に接続します。

6 ハンドセット接続端子（HAND SET）

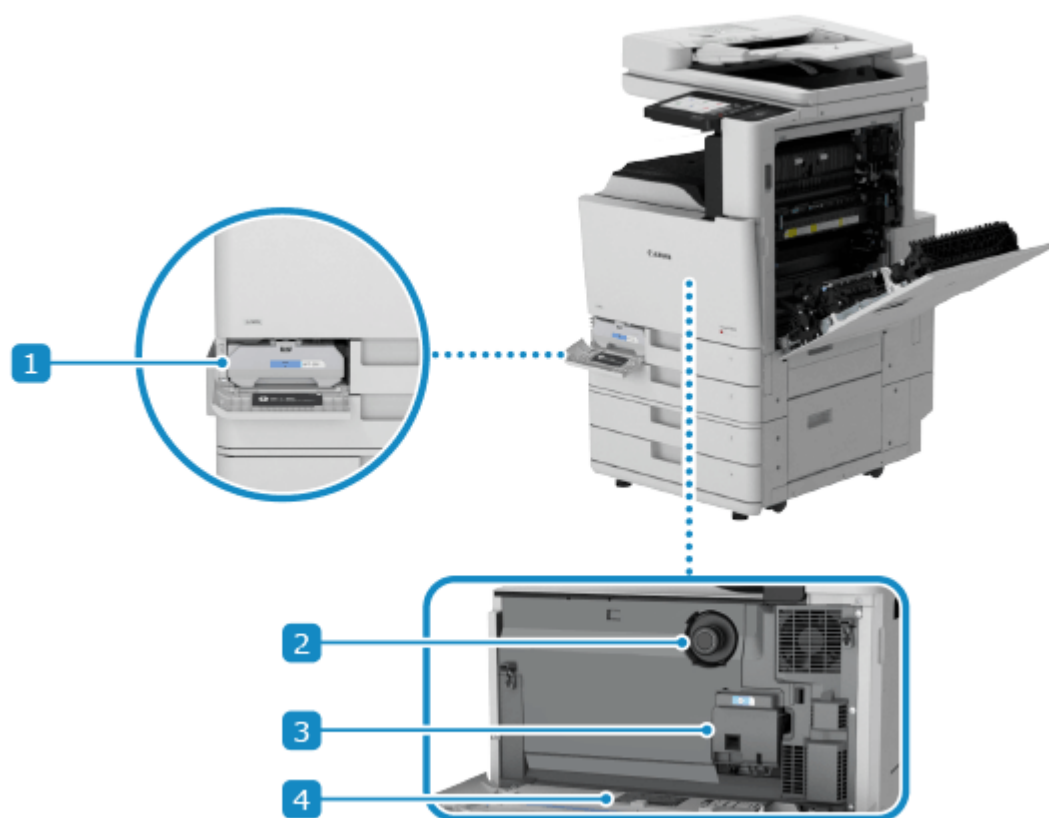
オプションのハンドセットを接続します。

7 外付け電話機用端子（EXT.）

電話機を接続します。

内部

EJ83-00W



1 回収トナー容器

回収トナーがいっぱいになったときに取り出して、新しい回収トナー容器と交換します。▶[回収トナー容器を交換する \(P. 1326\)](#)

2 トナー容器

トナーがなくなったときに取り出して、新しいトナー容器と交換します。▶[トナー容器を交換する \(P. 1323\)](#)

3 ドラムユニット

プリントする用紙にトナーを付着させるためのユニットです。▶[ドラムユニットを交換する \(P. 1329\)](#)

4 清掃棒

LED プリントヘッドを清掃するときに取り出します。▶[LED プリントヘッドを清掃する \(P. 1319\)](#)

操作パネル

EJ83-00X

本機の操作／設定を行う部分です。



1 ディスプレー

各機能を操作する画面や使用状況、メッセージなどが表示されます。タッチパネルになっているため、画面に指で直接触れて操作します。▶ [操作パネルの使用方法 \(P. 152\)](#)

2 [カウンター/機器情報] キー

これまでにプリント／送信した総ページ数を確認できます。本機の IP アドレスやオプション構成などを確認することもできます。

- ▶ [使用ページ数を確認する - カウンター \(P. 899\)](#)
- ▶ [本機の IP アドレスを確認する \(P. 138\)](#)
- ▶ [本機に装着しているオプションを確認する \(P. 910\)](#)

3 [節電] キー

消費電力を抑える「スリープモード」にします。スリープモード中はキーが点灯します。▶ [消費電力を抑える - スリープモード \(P. 150\)](#)

4 [ホーム] キー

[ホーム] 画面を表示します。▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

5 [ストップ] キー

実行中の動作を中止します。

6 エラーランプ

紙づまりなどのエラーが発生したときに、点滅または点灯します。

- 点滅している場合は、ディスプレイに表示されているメッセージに従って対処します。
- 点灯している場合は、販売店または担当サービスにご連絡ください。

7 実行/メモリーランプ

通信中／プリント中など、何らかの動作を行っているときに点滅します。
処理待ちのデータがあるときは点灯します。

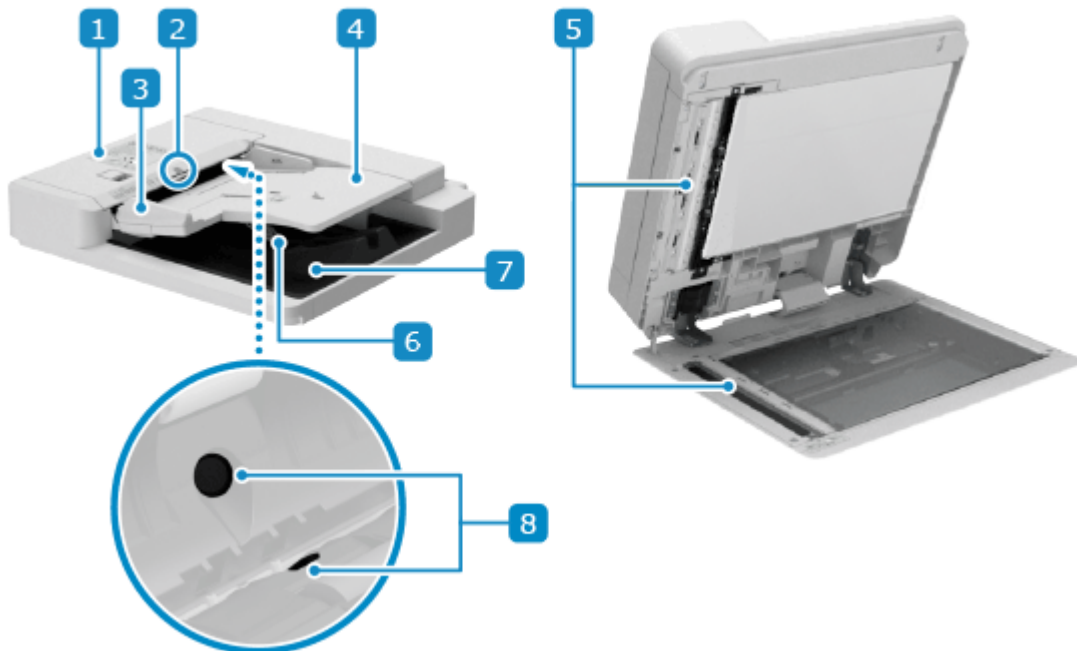
8 操作パネルタッチペン

タッチパネルを操作するときに使用します。

両面同時読取フィーダー

EJ83-00Y

フィーダーの各部名称や用途について説明します。



- 1 フィーダーカバー**
フィーダー内部を清掃するときや、フィーダーに用紙がつまったときに開けます。
- 2 原稿セットランプ**
原稿給紙トレイに原稿がセットされたときに点灯します。
- 3 原稿ガイド**
原稿を正しくセットするために、このガイドを原稿の幅に合わせます。
- 4 原稿給紙トレイ**
複数枚の原稿をまとめてセットできます。▶**原稿のセット方法 (P. 196)**
- 5 フィーダー原稿読み取りエリア**
フィーダーにセットした原稿をスキャンします。
- 6 原稿排紙トレイ**
スキャンされた原稿が排紙されます。
- 7 ドキュメントフィーダー用重送検知キット・A (オプション)**
用紙が重なってスキャンされたことを検知することができます。

重要

- 原稿排紙トレイに物を置かないでください。原稿損傷の原因になります。
- 原稿台ガラスに本や雑誌などの厚い原稿をセットする場合は、フィーダーを閉めるときに強く押さないでください。

メモ

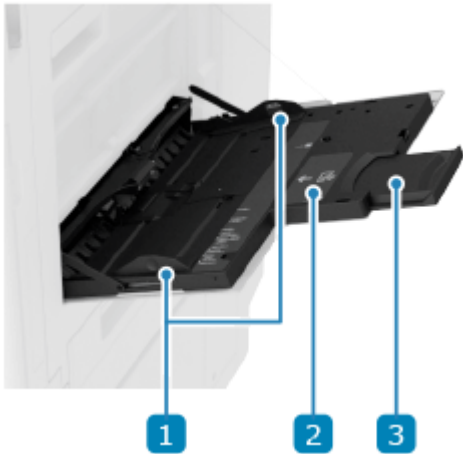
- フィーダー使用時に以下の症状が見られる場合は、フィーダーを清掃します。▶**フィーダーを清掃する (P. 1313)**

- 原稿が汚れる
- 原稿がひんぱんにつまる
- スキャン／ファクス送信／コピーの結果に汚れが写り込む
- 原稿サイズが正しく検知されない

手差しトレイ

EJ83-010

手差しトレイには、一時的に使用する用紙や、給紙カセットにセットできない用紙をセットします。▶[手差しトレイに用紙をセットする \(P. 221\)](#)



1 用紙ガイド

用紙を正しくセットするために、このガイドを用紙の幅に合わせます。

2 用紙トレイ

用紙をセットするときは、ここにセットします。

3 延長トレイ

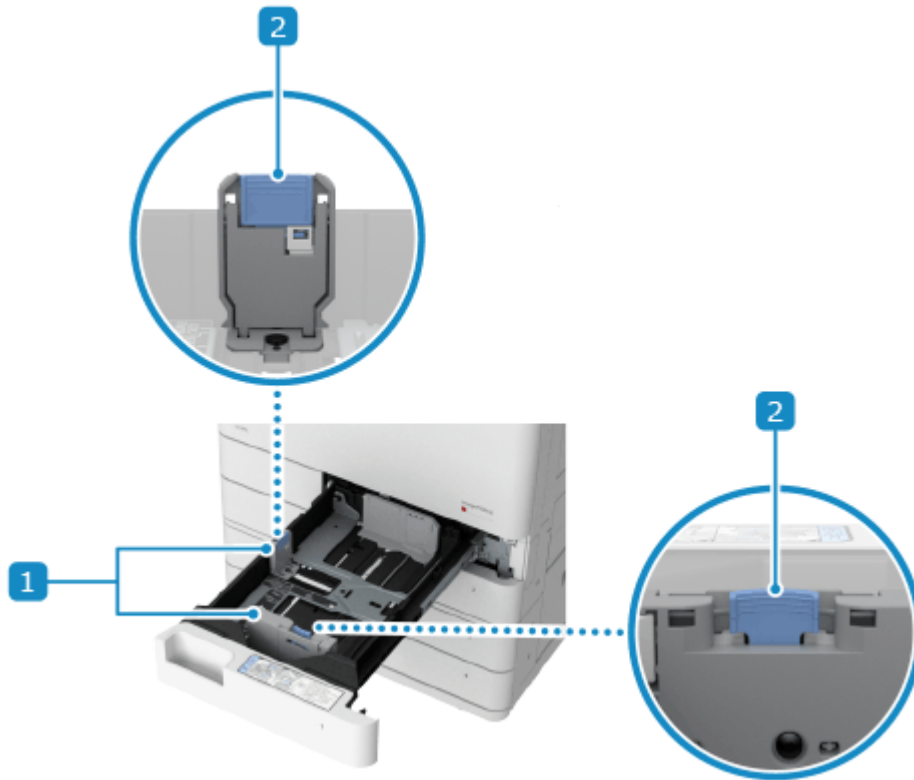
大きいサイズの下紙をセットするときは、用紙トレイから用紙が垂れ下がらないようにするために、このトレイを引き出します。

給紙カセット

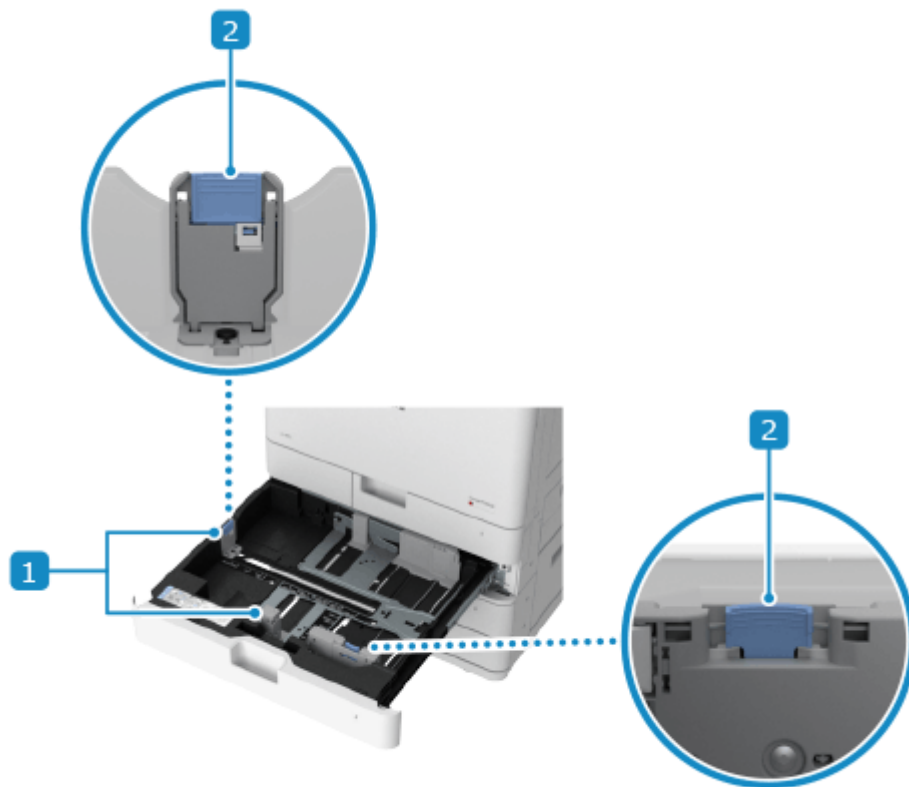
EJ83-011

給紙カセットには、普段よく使用する用紙をセットします。▶[給紙カセットに用紙をセットする \(P. 212\)](#)

給紙カセット 1



給紙カセット 2



1 用紙ガイド

用紙を正しくセットするために、このガイドを用紙の幅に合わせます。

2 ロック解除レバー

このレバーをつまみながら、用紙ガイドを動かします。

メモ

用紙サイズラベルを貼る

- 用紙サイズを示すラベルを貼っておくと、各給紙力セットにセットされている用紙がわかりやすくなります。
- 番号ラベルと同じ高さに、5 mm ほど離して貼ることをおすすめします。



使用可能な用紙

EJ83-012

本機で利用できる用紙と使用できない用紙は以下のとおりです。機能によっては、利用できる用紙などに制限があります。

- ④ 使用可能な用紙サイズ (P. 44)
- ④ 使用可能な用紙種類 (P. 45)
- ④ 使用できない用紙 (P. 47)
- ④ 機能による用紙の使用条件 (P. 47)
- ④ 自動検知可能な用紙サイズ (P. 48)

メモ

- 用紙の取り扱い／保管には注意が必要です。④ 用紙を取り扱うときの注意事項 (P. 49)
- 排紙オプション装着時に利用できる用紙については、各オプションの仕様を参照してください。④ 対応オプション一覧 (P. 4)

使用可能な用紙サイズ

○：使用可 ×：使用不可

用紙サイズ	給紙箇所（標準）			給紙箇所（オプション）
	給紙カセット 1	給紙カセット 2	手差しトレイ	2 段カセットベディスタル・BB
A3	×	○	○	○
B4	×	○	○	○
A4	○	○	○	○
A4R ^{*1}	×	○	○	○
B5	○	○	○	○
B5R ^{*1}	×	○	○	○
A5	○	○	○	○
A5R ^{*1}	○	○	○	○
A6R ^{*1}	○	○	○	○
320×450mm (SRA3)	×	×	○	×
305×457mm	×	○	○	○
リーガル (LGL)	×	○	○	○
レター (LTR)	○	○	○	○
レター R (LTRR) ^{*1}	×	○	○	○
ステートメント (STMT)	×	×	○	×
ステートメント R (STMTR) ^{*1}	○	○	○	○

用紙サイズ	給紙箇所（標準）			給紙箇所（オプション）
	給紙カセット 1	給紙カセット 2	手差しトレイ	2 段カセットベディスタル・BB
エグゼクティブ（EXEC）	○	○	○	○
11"×17"	×	○	○	○
長尺用紙（297x1200mm）	×	×	○ ^{*2}	×
長尺用紙（297x900mm）	×	×	○ ^{*2}	×
フリーサイズ	×	×	○ ^{*3*4}	×
ユーザー設定サイズ	○ ^{*5}	○ ^{*6}	○ ^{*7*8}	○ ^{*6}
長形 3 号	○	○	○	×
長形 4 号	×	○	×	×
長形 40 号	×	○	×	×
洋形長 3 号	○	○	○	×
角形 2 号	×	○	○	×
No.10 (COM10)	○	○	○	×
ISO-C5	○	×	○	×
DL	○	○	○	×
Monarch	×	○	○	×
はがき	○	○	○	○
往復はがき	○	○	○	○
4 面はがき	○	○	○	○

*1 各サイズの下紙をヨコ置きにセットしたときの表記です。

*2 長尺用給紙トレイ・A 装着時。

*3 139.7 mm × 98.4 mm ～ 457.2 mm × 320 mm までの下紙を使用できます。

*4 長尺用給紙トレイ・A 装着時。457.3 mm × 98.4 mm ～ 1,200 mm × 320 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。

*5 148.0 mm × 105 mm ～ 215.9 mm × 297 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。

*6 148.0 mm × 105 mm ～ 457.2 mm × 304.8 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。

*7 139.7 mm × 98.4 mm ～ 457.2 mm × 320 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。

*封筒は 98 mm × 98 mm ～ 457.2 mm × 320 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。（手差しトレイのみ）

*8 長尺用給紙トレイ・A 装着時。457.3 mm × 98.4 mm ～ 1,200 mm × 320 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。

使用可能な下紙種類

○：使用可 ×：使用不可

下紙種類	坪量	給紙箇所（標準）			給紙箇所（オプション）
		給紙カセット 1	給紙カセット 2	手差しトレイ	2 段カセットベディスタル・BB
薄紙 2	52 g/m ² ～ 59 g/m ²	○	○	○	○
薄紙 1	60 g/m ² ～ 63 g/m ²	○	○	○	○

本機について

用紙種類	坪量	給紙箇所（標準）			給紙箇所（オプション）
		給紙カセット 1	給紙カセット 2	手差しトレイ	2 段カセットペディスタル・BB
普通紙 1	64 g/m ² ～ 75 g/m ²	○	○	○	○
普通紙 2	76 g/m ² ～ 90 g/m ²	○	○	○	○
普通紙 3	91 g/m ² ～ 105 g/m ²	○	○	○	○
厚紙 1	106 g/m ² ～ 128 g/m ²	○	○	○	○
厚紙 2	129 g/m ² ～ 150 g/m ²	○	○	○	○
厚紙 3	151 g/m ² ～ 163 g/m ²	○	○	○	○
厚紙 4	164 g/m ² ～ 180 g/m ²	○	○	○	○
厚紙 5	181 g/m ² ～ 220 g/m ²	○	○	○	○
厚紙 6	221 g/m ² ～ 256 g/m ²	○	○	○	○
厚紙 7	257 g/m ² ～ 300 g/m ²	×	×	○	×
再生紙 1 * ¹	64 g/m ² ～ 75 g/m ²	○	○	○	○
再生紙 2 * ¹	76 g/m ² ～ 90 g/m ²	○	○	○	○
再生紙 3 * ¹	91 g/m ² ～ 105 g/m ²	○	○	○	○
パンチ済み紙 1	64 g/m ² ～ 75 g/m ²	○	○	○	○
パンチ済み紙 2	76 g/m ² ～ 90 g/m ²	○	○	○	○
OHP フィルム * ²	121 g/m ² ～ 220 g/m ²	○	○	○	○
ラベル用紙	118 g/m ² ～ 185 g/m ²	×	×	○	×
色紙	64 g/m ² ～ 82 g/m ²	○	○	○	○
レターヘッド 1	64 g/m ² ～ 75 g/m ²	○	○	○	○
レターヘッド 2	76 g/m ² ～ 90 g/m ²	○	○	○	○
レターヘッド 3	91 g/m ² ～ 105 g/m ²	○	○	○	○
レターヘッド 4	106 g/m ² ～ 128 g/m ²	○	○	○	○
レターヘッド 5	129 g/m ² ～ 150 g/m ²	○	○	○	○
レターヘッド 6	151 g/m ² ～ 163 g/m ²	○	○	○	○
レターヘッド 7	164 g/m ² ～ 180 g/m ²	○	○	○	○
ボンド紙	83 g/m ² ～ 99 g/m ²	○	○	○	○
第 2 原図 * ³	64 g/m ² ～ 99 g/m ²	×	×	○	×
片面コート紙 1	106 g/m ² ～ 128 g/m ²	×	×	○	×
片面コート紙 2	129 g/m ² ～ 163 g/m ²	×	×	○	×
片面コート紙 3	164 g/m ² ～ 220 g/m ²	×	×	○	×

用紙種類	坪量	給紙箇所（標準）			給紙箇所（オプション）
		給紙カセット 1	給紙カセット 2	手差しトレイ	2 段カセットベディスタル・BB
片面コート紙 4	221 g/m ² ～ 256 g/m ²	×	×	○	×
両面コート紙 1	106 g/m ² ～ 128 g/m ²	×	×	○	×
両面コート紙 2	129 g/m ² ～ 163 g/m ²	×	×	○	×
両面コート紙 3	164 g/m ² ～ 220 g/m ²	×	×	○	×
両面コート紙 4	221 g/m ² ～ 256 g/m ²	×	×	○	×
封筒	75 g/m ² ～ 105 g/m ²	○ *4	○ *5	○	×
はがき*6	164 g/m ² ～ 220 g/m ²	○	○	○	○

*1 古紙配合率 100 %の再生紙が使用できます。

*2 A4 またはレターサイズ of 用紙が使用できます。

*3 第 2 原図用紙の種類によっては使用できないものもあります。

*4 封筒アタッチメントが必要です。

*5 封筒アタッチメントが一部必要です。

*6 インクジェット用の郵便はがきを使用することはできません。

使用できない用紙

紙づまりやプリント不良の原因になるため、以下の用紙は使用できません。

- しわ／折り目がある紙、カールしている紙*1、破れている紙、湿っている紙*2
- 薄いわら半紙、非常に薄い紙、目の粗い紙、つるつるした紙
- 熱転写プリンターでプリントされた紙、プリントされた紙のウラ面
- のりなどの粘着剤がはみ出している用紙、裏紙が簡単にはがれるラベル用紙
- インクジェット専用の郵便はがき

*1 カール量が 5 mm を超える場合は、用紙の端を伸ばしてカールを取り除いてください。特に下向きにカールしている厚紙は、紙づまりが発生しやすくなります。

*2 湿った用紙にプリントすると、排紙部周辺から湯気が出たり、排紙部に水滴が付いたりすることがありますが、異常ではありません。これは、トナーを定着するときの熱によって、用紙に含まれる水分が蒸発しているためです。室温が低い場合に発生しやすくなります。

機能による用紙の使用条件

機能によっては、使用できる用紙に制限があったり、使用する用紙によって機能が制限されたりします。

両面プリント可能な用紙

両面プリントできる用紙は以下のとおりです。

用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、305×457mm、リーガル、レター、レター R、ステートメント R、エグゼクティブ、11"×17"、ユーザー設定サイズ（139.7 mm × 182.0 mm ～ 304.8 mm × 457.2 mm）
用紙種類	薄紙 1～2、普通紙 1～3、厚紙 1～5、再生紙 1～3、パンチ済み紙 1～2、色紙、レターヘッド 1～7、ボンド紙
用紙坪量	52 g/m ² ～ 220 g/m ²

上記以外の用紙を使用して両面プリント／両面コピーしたい場合は、片面をプリントしてから手差しトレイにセットしなおし、反対面をプリントします（手動両面プリント）。

※プリント済み用紙のウラ面にプリントするときは、用紙の種類を設定する画面で「両面 2 面目」を選択します。👉**手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 251)**

仕上げ機能を使用可能な用紙

標準対応している仕上げ機能は、以下の用紙にプリント／コピーする場合に使用できます。

用紙サイズ	ソート／グループ 本機で使用可能なすべての用紙サイズ 👉使用可能な用紙サイズ (P. 44) 90 度回転 A4、A4R、B5、B5R、レター、レター R
用紙種類	ソート／グループ 本機で使用可能なすべての用紙種類 👉使用可能な用紙種類 (P. 45) 90 度回転 薄紙 1～2、普通紙 1～3、厚紙 1～7、色紙、再生紙 1～3、片面コート紙 1～4、両面コート紙 1～4、レターヘッド 1～7、ボンド紙

排紙オプション装着時の仕上げ機能で利用できる用紙については、各オプションの仕様を参照してください。👉**対応オプション一覧 (P. 4)**

製本プリント可能な用紙

製本プリントできる用紙は以下のとおりです。

用紙サイズ	A3、B4、A4R、リーガル、レター R、11"×17"
用紙種類	薄紙 1～2、普通紙 1～3、厚紙 1～5、再生紙 1～3、色紙、レターヘッド 1～7、ボンド紙
用紙坪量	52 g/m ² ～ 220 g/m ²

自動検知可能な用紙サイズ

各給紙部に用紙をセットしたときに、自動検知される用紙サイズは以下のとおりです。

給紙カセット 1	A/B サイズに限定されている場合 A4、B5、A5、A5R インチサイズに限定されている場合 レター、ステートメント R、エグゼクティブ
給紙カセット 2 給紙カセット 3 ^{*1} 給紙カセット 4 ^{*1}	A/B サイズに限定されている場合 A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、A6R インチサイズに限定されている場合 リーガル、レター、レター R、ステートメント R、エグゼクティブ、11"×17"、305×457mm

^{*1} オプションの 2 段カセットペディスタル・BB

メモ

- 初期設定では、自動検知される用紙サイズは A/B サイズに限定されています。👉**【用紙カセットの自動検知サイズ】 (P. 961)**

※給紙カセットの場合は、A/B サイズとインチサイズの両方が検知されるように設定することもできます。

用紙を取り扱うときの注意事項

EJ83-013

紙づまりなどのエラーを防止し、きれいにプリントするために、使用する用紙の取り扱い／保管には注意が必要です。プリントした用紙の品質を保つためには、保管方法やのり付け方法に留意します。

使用する用紙の取り扱い／保管

使用する環境に用紙を慣らす

本機が設置されている環境に十分慣らしてから、用紙を使用します。異なる温度／湿度で保管されていた用紙をすぐに使用すると、紙づまりやプリント不良の原因になることがあります。

使用前の用紙の保管方法

- 用紙は開封後すぐに使用することをおすすめします。残った用紙は入っていた包装紙に再度包み、平らな場所に保管します。
- 湿気や乾燥を防ぐため、使用するまでは包装したまま保管します。
- 用紙が丸まったり折れ目が付いたりするような置きかたで保管しないようにします。
- 用紙を立てたり多く積み重ねたりして保管しないようにします。
- 直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、乾燥した場所、使用環境との温度差や湿度差が著しい場所には保管しないようにします。

プリントした用紙の保管／のり付け

用紙の保管方法

- 平らな場所に保管します。
- クリアホルダーなど PVC（ポリ塩化ビニル）素材のものと一緒に保管しないようにします。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付くことがあります。
- 折れたりしわになったりしないように保管します。トナーがはがれることがあります。
- 高温の場所には保管しないようにします。
- 長期間（2 年以上）保管するときは、バインダーなどに入れて保管します。
- 長期間保管すると、用紙の変色によりプリントした画像が変色したように見えることがあります。

プリントした用紙にのり付けする場合の注意

- 必ず不溶性の接着剤を使用します。
- 不要になったプリント済み用紙で試してからのにり付けします。
- のり付けした用紙は、完全に乾いてから重ねます。

仕様

EJ83-014

製品の改良により仕様が変更されたり、今後発売される製品によって内容が更新されたりすることがあります。製品に関する情報は、キヤノンホームページを参照してください。

<https://global.canon/>

本体の仕様

- ▶ 基本仕様 (P. 51)
- ▶ 両面同時読取フィーダーの仕様 (P. 54)

機能の仕様

- ▶ プリントの仕様 (P. 56)
- ▶ スキャンの仕様 (P. 58)
- ▶ ファックスの仕様 (P. 60)
- ▶ ネットワークの仕様 (P. 62)
- ▶ セキュリティー／管理機能の仕様 (P. 64)

動作環境や対応ソフトウェア／サーバー

- ▶ サポート環境 (P. 71)

関連項目

オプションの仕様を確認できます。

- ▶ 対応オプション一覧 (P. 4)

基本仕様

EJ83-015

名称	キヤノン Satera MF7825F
形式	デスクトップ
読み取り解像度	白黒：600 dpi × 600 dpi、300 dpi × 600 dpi、300 dpi × 300 dpi フルカラー：300 dpi × 600 dpi
書き込み解像度 ^{*1}	4,800 dpi × 2,400 dpi
階調	256 階調
複写原稿	原稿サイズ 最大：297.0 mm × 431.8 mm 原稿種類 シート、ブック原稿 自動検知できる原稿サイズ A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、B6、A6R
複写サイズ／複写用紙	用紙サイズ ●使用可能な用紙 (P. 44) 画像欠け幅 ● 先端：4.0 mm ● 左端：2.5 mm ● 右端：0.0 mm ● 後端：2.5 mm 用紙坪量 ● 給紙カセット：52 g/m² ～ 256 g/m² ● 手差しトレイ：52 g/m² ～ 300 g/m²
用紙種類	●使用可能な用紙 (P. 44)
ウォームアップタイム ^{*2}	主電源立ち上げ時 40 秒^{*3} スリープモードからの立ち上げ時 10 秒
ファーストコピータイム	7.0 秒
連続複写速度 ^{*4} (A4 普通紙等倍)	25 枚/分
複写倍率	定型 400 %、200 %、141.4 %、122.4 %、115.4 %、100 %、86.5 %、81.6 %、70.7 %、61 %、50 %、25 % ズーム 25 % ～ 400 % (1 %刻み) ※等倍時誤差： ● タテ：± 0.8 %

	● ヨコ：± 0.9 %
給紙方式／給紙容量	給紙カセット（上段） 640 枚（64 g/m²） 550 枚（75 g/m²、80 g/m²） ● OHP フィルム：100 枚 ● 封筒：25 枚 給紙カセット（下段） 640 枚（64 g/m²） 550 枚（75 g/m²、80 g/m²） ● OHP フィルム：100 枚 ● 封筒：高さ 45 mm 手差しトレイ 120 枚（64 g/m²） 100 枚（75 g/m²、80 g/m²） ● 封筒：10 枚 ● コート紙：1 枚 ● 薄紙、厚紙、ボンド紙、第二原図、ラベル用紙、はがき、OHP フィルム：高さ 11 mm
インナートレイ容量 （第 1 コピートレイキット・C 装着時）	片面 ● A4、B5、A5、A5R、A6R、レター、ステートメント、ステートメント R：250 枚（64 g/m²、75 g/m²、80 g/m²） ● A3、B4、A4R、B5R、320×450mm（SRA3）、305×457mm、リーガル、レター R、エグゼクティブ、11"×17"：100 枚（64 g/m²、75 g/m²、80 g/m²） 両面 ● A4、B5、A5、A5R、A6R、レター、ステートメント、ステートメント R：200 枚（64 g/m²、75 g/m²、80 g/m²） ● A3、B4、A4R、B5R、320×450mm（SRA3）、305×457mm、リーガル、レター R、エグゼクティブ、11"×17"：100 枚（64 g/m²、75 g/m²、80 g/m²）
連続複写枚数	9,999 枚
電源	AC 100 V、8.5 A、50 Hz / 60 Hz 共通
消費電力	最大消費電力 1,500 W スリープ時の消費電力 0.8 W（[スリープ時の消費電力] が [少ない] の場合） 主電源 OFF 時 ● [主電源 ON 時の高速起動] が [ON] の場合：0.8 W ● [主電源 ON 時の高速起動] が [OFF] の場合：0.3 W
エネルギー消費効率 省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値	41 kWh/年（区分名：複合機 c）
大きさ （幅×奥行×高さ）	565 mm × 712 mm × 862 mm
質量 （トナー容器を含む）	約 69 kg
機械占有寸法 （幅×奥行）	894 mm × 712 mm *5

メモリー容量	RAM：3.0 GB eMMC：64 GB（使用可能領域：30 GB）
使用環境	● 温度：10 °C ～ 30 °C ● 湿度：20 ～ 80 %（相対湿度・結露しないこと）

*1 コピー時は 600 dpi × 600 dpi となります。

*2 使用環境や使用条件によって変わる場合があります。

*3 「主電源 ON 時の高速起動」を「ON」にして主電源を立ち上げた場合、4 秒以内に操作パネルが使用可能になります。なお、使用状況によっては高速起動されない場合があります。

*4 A4／普通紙／片面に、同一データを連続コピーした場合の速度です。出力解像度、はがきや小さいサイズ of 用紙など、用紙の種類／サイズ／送り方向の設定によっては、コピー速度が低下します。また連続コピー時に、本体の温度調整や画質調整のため動作が休止または遅くなる場合があります。

*5 手差しトレイを伸ばしたサイズです。

両面同時読取フィーダーの仕様

EJ83-016

原稿送り装置の種類	自動両面原稿送り装置
原稿サイズ／種類	原稿サイズ - 最大：304.8 mm × 431.8 mm（長尺原稿の場合は 304.8 mm × 630.0 mm）^{*1*2} - 最小：48.0 mm × 85.0 mm ^{*3} 原稿坪量 - 片面読み込み - A/B サイズ：38 g/m² ～ 128 g/m² - インチサイズ：50 g/m² ～ 128 g/m² - 名刺サイズ：128 g/m² ～ 220 g/m² - 長尺原稿：60 g/m² ～ 90 g/m² ^{*4} - 両面読み込み - A/B サイズ、インチサイズ：50 g/m² ～ 128 g/m² - 名刺サイズ：128 g/m² ～ 220 g/m² 自動検知できる原稿サイズ A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、B6R、A6R まとめてセットできる原稿サイズの組み合わせ ^{*5} - 幅が同じ原稿：A3 と A4、B4 と B5、A4R と A5 - 幅が異なる原稿：A3 と B4、B4 と A4R、A4 と B5、B5R と A5R、A5R と A6R、B6R と A6R
原稿の収容可能枚数	110 枚（64 g/m ² ） ^{*6} 100 枚（75 g/m ² 、80 g/m ² ） 10 枚（39 g/m ² ～ 49 g/m ² ） 1 枚（38 g/m ² ） 85 mm 幅以下の原稿：50 枚 名刺サイズ：35 枚 送り方向 432 mm を超える原稿：1 枚
原稿読み取り速度 (A4)	スキャン時（300 dpi × 300 dpi）^{*7} 片面読み取り - フルカラー：35 ページ/分 - 白黒：35 ページ/分 両面同時読み取り - フルカラー：70 ページ/分 - 白黒：70 ページ/分 コピー時（600 dpi × 600 dpi） 片面読み取り - フルカラー：30 ページ/分 - 白黒：30 ページ/分 両面同時読み取り - フルカラー：40 ページ/分 - 白黒：60 ページ/分

^{*1} 読み取り最大幅：297 mm

^{*2} 長尺の長さは、システム機能（ファクス／スキャン等）により異なります。

*³ 名刺：48 mm × 85 mm～55 mm × 91 mm

*⁴ 432 mm 超える原稿：1 枚

*⁵ ほかの組み合わせでセットすると、原稿の破損や紙づまりの原因になることがあります。

*⁶ CS-064 を除く 64 g/m² 以下の原稿：100 枚

*⁷ スキャンの設定や原稿によって異なります。

プリントの仕様

EJ83-017

- ④ LIPS LX プリンター機能 (P. 56)
- ④ LIPS V プリンター機能 (オプション) (P. 56)
- ④ 留め置きプリント機能 (P. 57)

LIPS LX プリンター機能

形式	内蔵型
プリントサイズ	④ 使用可能な用紙 (P. 44)
連続プリント速度	本体の「連続複写速度」と同じ ④ 基本仕様 (P. 51)
データ処理解像度	1,200 dpi × 1,200 dpi 600 dpi × 600 dpi
ページ記述言語	LIPS LX
対応プロトコル	TCP/IP : LPD、Port9100、IPP、IPPS、FTP、WSD
対応 OS	Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025 macOS 11.7 以降
内蔵フォント	なし
インターフェイス	USB USB 2.0 Hi-Speed 有線 LAN 10Base-T、100Base-TX、1000Base-T (IEEE 802.3 準拠) 無線 LAN IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n

LIPS V プリンター機能 (オプション)

名称	LIPS V 拡張キット
形式	内蔵型
プリントサイズ	④ 使用可能な用紙 (P. 44)
連続プリント速度	本体の「連続複写速度」と同じ ④ 基本仕様 (P. 51)
データ処理解像度	LIPS LX 1,200 dpi × 1,200 dpi 600 dpi × 600 dpi LIPS IV、LIPS III、LIPS II + 600 dpi × 600 dpi

ページ記述言語	LIPS V (LIPS LX、LIPS IV、LIPS III、LIPS II+)
対応プロトコル	TCP/IP : LPD、Port9100、IPP、IPPS、FTP、WSD
対応 OS	Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025
内蔵フォント	和文 平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5、丸ゴシック体 欧文 Courier、Dutch、Swiss、Symbol その他 ラインプリンタ、バーコード (EAN-128、CODE39、NW-7、JAN、郵便バーコード、OCR フォント)
エミュレーション	ESC/P、N201、IBM5577、HP-GL、HP-GL2
インターフェイス	USB USB 2.0 Hi-Speed 有線 LAN 10Base-T、100Base-TX、1000Base-T (IEEE 802.3 準拠) 無線 LAN IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n

留め置きプリント機能^{*1}

最大ユーザー数	200 ユーザー ^{*2}
保存可能ジョブ数	2,000 件
保存可能文書サイズ	2 GB
最低保証保存領域サイズ ^{*3}	4 GB (オプションのデータストレージキット装着時は 193GB)

^{*1} セキュアプリントジョブも留め置きプリント機能に含まれます。

^{*2} 共有文書を留め置きした場合は、共有文書のユーザーとして 1 ユーザー扱いになります。

^{*3} 本製品のデータ保存領域で留め置きプリント機能向けに確保しているデータ容量。

スキャンの仕様

EJ83-018

- ② 本機からスキャンする場合 (P. 58)
- ③ パソコンからスキャンする場合 (P. 59)

本機からスキャンする場合

形式	カラーキャナー
原稿読み取りサイズ	原稿台ガラス 本体の「複写原稿」と同じ ② 基本仕様 (P. 51) フィーダー フィーダーの「原稿サイズ／種類」と同じ ② 両面同時読取フィーダーの仕様 (P. 54)
読み取り解像度	100 dpi × 100 dpi 150 dpi × 150 dpi 200 dpi × 100 dpi (ノーマル) 200 dpi × 200 dpi (ファイン) 200 dpi × 400 dpi (スーパー) 300 dpi × 300 dpi (一部 150 dpi) 400 dpi × 400 dpi (ウルトラ) *1 600 dpi × 600 dpi*1
原稿読み取り速度 (フィーダー)	フィーダーの「原稿読み取り速度」と同じ ② 両面同時読取フィーダーの仕様 (P. 54)
インターフェイス	有線 LAN 10Base-T、100Base-TX、1000Base-T (IEEE 802.3 準拠) 無線 LAN IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n
対応プロトコル	ファイル SMB (TCP/IP)、FTP (TCP/IP)、SFTP (TCP/IP)、FTPS (TCP/IP)、WebDAV メール／ファクス SMTP (送信)、POP3 (受信)
出力フォーマット*2	JPEG (シングルページ) TIFF (MMR) PDF (アウトライン、高圧縮、OCR、機器署名、ユーザー署名、暗号化、PDF/A (PDF/A-1a、PDF/A-1b、PDF/A-2a、PDF/A-2b、PDF/A-2u、PDF/A-3a、PDF/A-3b、PDF/A-3u) 準拠) XPS (高圧縮、OCR、機器署名、ユーザー署名) OOXML (Word、PowerPoint)

*1 [白黒] のみ

*2 設定の組み合わせによっては、選択できない出力フォーマットがあります。

一度に送信／保存できる宛先数とページ数

宛先数	最大 256 件 ※グループを宛先として指定した場合は、そのグループに登録されている各宛先を 1 件と数えます。
ページ数	最大 999 ページ

メモ

保持される送信／保存ジョブの件数

- スキャンデータの送信／保存をはじめ、本機で行われる処理はジョブとして管理されています。送信／保存ジョブは最大 64 件まで保持されます。
ただし、以下のような場合は、保持される件数が少なくなることがあります。
 - 一度に複数のデータを送信／保存した場合
 - 大きなサイズのデータを送信／保存した場合
 - 受信トレイで大量にメモリーを使用している場合

パソコンからスキャンする場合

原稿読み取りサイズ	原稿台ガラス 本体の「複写原稿」と同じ ④基本仕様 (P. 51) フィーダー フィーダーの「原稿サイズ／種類」と同じ ④両面同時読取フィーダーの仕様 (P. 54)
画像モード	カラー／モノクロ自動切替、カラー、モノクロ（2 値）、グレースケール
読み取り解像度	75 dpi × 75 dpi、100 dpi × 100 dpi、150 dpi × 150 dpi、200 dpi × 200 dpi、300 dpi × 300 dpi、400 dpi × 400 dpi ^{*1} 、600 dpi × 600 dpi ^{*1}
対応 OS	Windows 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025
インターフェイス	USB USB 2.0 Hi-Speed 有線 LAN 10Base-T、100Base-TX、1000Base-T（IEEE 802.3 準拠） 無線 LAN IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n
対応プロトコル	TCP/IP
ドライバー	TWAIN 準拠、WIA 準拠（Color Network ScanGear 2 を利用して TWAIN/WIA 双方利用可能）

*1 [白黒] のみ

ファクスの仕様

- ② ファクス (P. 60)
- ③ インターネットファクス (I ファクス) (P. 60)

ファクス

機種によっては、ファクス機能を使用するには、オプションの装着が必要です。④ システムオプション (P. 28)

適用回線*1	一般加入電話回線、ファクシミリ通信網 (F ネット)
走査線密度	標準モード G3 : 8 dot/mm × 3.85 ライン/mm ファインモード G3 : 8 dot/mm × 7.7 ライン/mm スーパーファインモード G3 : 8 dot/mm × 15.4 ライン/mm ウルトラファインモード G3 : 16 dot/mm × 15.4 ライン/mm
通信速度	- SuperG3 : 33.6 kbps - G3 : 14.4 kbps
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信モード	SuperG3、G3
送信原稿サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5*2、B5R*3、A5*3、A5R*3、リーガル、レター、レター R、ステートメント R、11"×17"
記録紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、リーガル、レター、レター R、ステートメント R、11"×17"
代行受信件数	最大 320 ジョブ
電送時間	約 2.6 秒*4

*1 IP 電話経由ではファクシミリ通信が正常に行えないことがあります。ファクシミリ通信は一般電話（加入電話／F ネット）回線経由での使用をおすすめします。

*2 B4 短尺として送信されます。

*3 A4 として送信されます。

*4 A4 : 自社原稿、標準モード、ECM (JBIG) 送信時

一度に送信できる宛先数

一度にファクス送信できる宛先数は、最大 256 件です。

※グループを宛先として指定した場合は、そのグループに登録されている各宛先を 1 件と数えます。

インターネットファクス (I ファクス)

通信プロトコル	インターネットファクス
---------	-------------

	SMTP（送信） ^{*1} 、POP3（受信） ^{*2} イントラネットファクス SMTP（送受信） ^{*1}
I ファクス通信モード	Simple モード、Full モード（ITU-T T.37 および W-NET FAX 準拠）
最大通信可能用紙サイズ	A3
解像度	200 dpi × 100 dpi 200 dpi × 200 dpi 200 dpi × 400 dpi ^{*3} 300 dpi × 300 dpi ^{*3} 400 dpi × 400 dpi ^{*3} 600 dpi × 600 dpi ^{*3}

^{*1} SMTP 認証、TLS 暗号化通信に対応

^{*2} 送信前の POP 認証（POP before SMTP）、APOP 認証、TLS 暗号化通信に対応

^{*3} 相手先設定（受信機的能力設定）により可能

一度に送信できる宛先数とページ数

一度に I ファクス送信できる宛先数とページ数は、スキヤンの仕様と同じです。

①一度に送信／保存できる宛先数とページ数 (P. 59)

ネットワークの仕様

- ④有線 LAN (P. 62)
- ④無線 LAN (P. 62)
- ④各プロトコルで使用するポート番号 (P. 62)

メモ

- 2 系統のネットワークで本機を利用する場合は、副回線を使用するときの注意事項を確認してください。➡副回線を使用するときの注意事項 (P. 94)

有線 LAN

インターフェイス (主回線／副回線)	10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T 共用 (RJ-45)
対応プロトコル	TCP/IP ● フレームタイプ：Ethernet II ● プリントアプリケーション：LPD、RAW、WSD、IPP、IPPS、BMLinkS^{*1}、FTP、Mopria、AirPrint、Windows 10 Mobile Print、Universal Print、IPP Everywhere

^{*1} IPv6 には対応していません。

無線 LAN

準拠規格	IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n
伝送方式	IEEE 802.11b (変調方式：DS-SS) IEEE 802.11g (変調方式：OFDM 方式) IEEE 802.11n (変調方式：OFDM 方式)
セキュリティ (暗号方式)	インフラストラクチャーモード時 WPA-PSK (AES-CCMP) WPA2-PSK (AES-CCMP) WPA3-SAE (AES-CCMP) WPA-EAP (AES-CCMP) WPA2-EAP (AES-CCMP) WPA3-EAP (AES-CCMP) アクセスポイントモード時 WPA2-PSK (AES-CCMP)
設定方法	WPS (Wi-Fi Protected Setup)、手動設定

各プロトコルで使用するポート番号

種別	プロトコル	ポート番号
TCP	HTTP	80、8000、8080
	HTTPS	443、8443

種別	プロトコル	ポート番号
	LPD	515
	RAW	9100
	WSD	5357、5358
	IPP	80、631
	IPPS	443、10443
	CPCA（キヤノン独自プロトコル）	9013
UDP	DHCPv4	67、68
	mDNS	5353
	SNMP	161
	WSD	3702
	CPCA（キヤノン独自プロトコル）	47545

セキュリティ／管理機能の仕様

EJ83-01C

- ④ 認証機能 (P. 64)
- ④ 副回線のファイアウォールの初期設定 (P. 65)
- ④ TLS (P. 65)
- ④ IPSec (P. 66)
- ④ 鍵と証明書 (P. 67)
- ④ 「弱い暗号」の定義 (P. 68)
- ④ FIPS140 準拠のアルゴリズム (P. 68)
- ④ ログの種類 (P. 69)
- ④ ビジュアルメッセージ (P. 70)

認証機能

以下のサーバーを外部認証サーバーとして使用できます。

- Active Directory がインストールされた Windows Server
- LDAP サーバー
- Microsoft Entra ID を使用するクラウドサーバー

Active Directory がインストールされた Windows Server を使用する場合

ソフトウェア (OS) ^{*1}	Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025 ^{*2}
Kerberos の暗号化の種類 ^{*3}	AES (Advanced Encryption Standard) 128 bit AES (Advanced Encryption Standard) 256 bit DES (Data Encryption Standard) RC4
ポート番号	DNS サーバーとの通信 53 KDC (Key Distribution Center) との通信 88 LDAP サービスとの通信 389 ^{*4}

^{*1} KDC に関するポリシー（グループポリシー）で Kerberos Armoring を有効にすると、ユーザーが Active Directory 認証でログインできなくなります。Kerberos Armoring は無効にして使用してください。

^{*2} Windows Server 2025 以降の OS は、Windows Server のデフォルトの設定では LDAP/LDAPS の通信ができません。Windows Server にサーバー証明書をインストールし、LDAPS (TLS) で通信してください。

^{*3} 使用可能な暗号化の種類は、Active Directory の設定に応じて変わります。また、使用可能な暗号化の種類のうち、暗号強度の強いものが自動的に選択されます。

^{*4} 初期設定の場合のポート番号です。LDAP サービス側で設定を変更している場合は異なります。

LDAP サーバーを使用する場合

ソフトウェア	OpenLDAP
--------	----------

動作 OS	LDAP サーバー製品の仕様に準拠
ポート番号 ^{*1}	TLS を利用する場合 636 TLS を利用しない場合 389

^{*1} 初期設定の場合のポート番号です。LDAP サーバー側の設定に応じて変更することができます。

副回線のファイアウォールの初期設定

副回線は、初期設定で IP アドレスの送信フィルタと受信フィルタが設定されています。そのため、初期設定では、以下の例外アドレスと例外ポート番号のみが副回線で通信可能です。

デフォルトポリシー	拒否
例外アドレス	0.0.0.1 ~ 255.255.255.255
例外ポート番号	53、67、68、80、161、443、515 ^{*1} 、631 ^{*1} 、3702、5353、5357、5358、8000 ^{*1} 、8080、8443 ^{*1} 、9013、9100 ^{*1} 、10443 ^{*1} 、20010 ^{*1} 、47545

^{*1} 受信フィルタのみ

TLS

本機で利用できる TLS バージョンとアルゴリズムの組み合わせは、以下のとおりです。

○：使用可 ×：使用不可

アルゴリズム	TLS バージョン			
	TLS 1.3	TLS 1.2	TLS 1.1	TLS 1.0
暗号化アルゴリズム				
AES-CBC (256 bit)	×	○	○	○
AES-GCM (256 bit)	○	○	×	×
3DES-CBC	×	○	○	○
AES-CBC (128 bit)	×	○	○	○
AES-GCM (128 bit)	○	○	×	×
CHACHA20-POLY1305	○	×	×	×
鍵交換アルゴリズム				
RSA	×	○	○	○
ECDHE	○	○	○	○
X25519	○	×	×	×
署名アルゴリズム				
RSA	○	○	○	○

アルゴリズム	TLS バージョン			
	TLS 1.3	TLS 1.2	TLS 1.1	TLS 1.0
ECDSA	○	○	○	○
HMAC アルゴリズム				
SHA1	×	○	○	○
SHA256	○	○	×	×
SHA384	○	○	×	×

IPSec

本機の IPSec は RFC2407、RFC2408、RFC2409、RFC4109、RFC4301、RFC4302、RFC4303、RFC4305 に準拠しています。

対向機器の OS	Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025
接続モード	トランスポートモード
鍵交換プロトコル	IKEv1（メインモード）
	認証方式 事前共有鍵方式 電子署名方式
	ハッシュアルゴリズム（および鍵長） HMAC-SHA1-96 HMAC-SHA2（256 bit または 384 bit）
	暗号化アルゴリズム（および鍵長） 3DES-CBC AES-CBC（128 bit、192 bit、256 bit）
	鍵交換アルゴリズム／グループ（および鍵長） Diffie-Hellman (DH) - Group 14（2048 bit） - ECDH-P256 - ECDH-P384
ESP	ハッシュアルゴリズム HMAC-SHA1-96
	暗号化アルゴリズム（および鍵長） 3DES-CBC AES-CBC（128 bit、192 bit、256 bit）
	ハッシュ／暗号化アルゴリズム（および鍵長） AES-GCM（128 bit、192 bit、256 bit）
AH	ハッシュアルゴリズム HMAC-SHA1-96

メモ

- ユニキャストアドレス（単一の相手）に対する通信のみ対応しています。

鍵と証明書

自己生成鍵と自己署名証明書／CSR

公開鍵のアルゴリズム (および鍵長)	RSA (512 bit、1024 bit、2048 bit、4096 bit) ECDSA (P256、P384、P521)
証明書の署名アルゴリズム	RSA SHA-256、SHA-384 ^{*1} 、SHA-512 ^{*1} ECDSA SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512

^{*1} 鍵長が 1024 bit 以上の場合にのみ使用できます。

インストールする場合の鍵と証明書／CA 証明書／S/MIME 証明書

形式	鍵と証明書 ^{*1} PKCS#12 ユーザー署名用の鍵と証明書 PKCS#12 CA 証明書、S/MIME 証明書 X.509 DER 形式、PEM 形式
ファイルの拡張子	鍵と証明書 ^{*1} 「.p12」、「.pfx」 ユーザー署名用の鍵と証明書 「.p12」、「.pfx」 CA 証明書、S/MIME 証明書 「.cer」、「.pem」
公開鍵のアルゴリズム (および鍵長)	RSA (512 bit ^{*2} 、1024 bit、2048 bit、4096 bit ^{*2}) DSA (1024 bit、2048 bit、3072 bit) ^{*2} ECDSA (P256、P384、P521)
証明書の署名アルゴリズム	RSA SHA-1、SHA-256、SHA-384 ^{*3} 、SHA-512 ^{*3} 、MD2 ^{*2} 、MD5 ^{*2} DSA SHA-1 ^{*2} ECDSA SHA-1 ^{*2} 、SHA-256、SHA-384、SHA-512

^{*1} TLS、IEEE 802.1X、IPSec、機器署名に使用します。

^{*2} ユーザー署名用には使用できません。

^{*3} 鍵長が 1024 bit 以上の場合にのみ使用できます。

登録可能な鍵と証明書の数

登録可能数	鍵と証明書 ^{*1} 6 個 ユーザー署名用の鍵と証明書 100 人分 (1 個/ユーザー) CA 証明書 150 個 S/MIME 証明書 2,000 個
-------	---

^{*1} TLS、IEEE 802.1X、IPSec、機器署名に使用します。

CRL（証明書失効リスト）の登録

CRL は 50 個まで登録できます。ただし、以下の場合は登録できません。

- CRL のサイズが 1 MB を超える場合
- サポートしない署名アルゴリズムを利用している場合
- 1 個の CRL に登録されている失効証明書数が 10,000 件を超える場合

「弱い暗号」の定義

「弱い暗号の使用を禁止」を「ON」に設定した場合は、以下のアルゴリズムが使用禁止となります。▶ **【弱い暗号の使用を禁止】 (P. 1183)**

ハッシュ	MD4、MD5、SHA-1
HMAC	HMAC-MD5
共通鍵暗号	RC2、RC4、DES
公開鍵暗号	RSA 暗号 (512 bit / 1024 bit) RSA 署名 (512 bit / 1024 bit) DSA (512 bit / 1024 bit) DH (512 bit / 1024 bit)

メモ

- 「弱い暗号を用いた鍵/証明書の使用を禁止」を「ON」に設定しても、ルート証明書の署名に用いられるハッシュアルゴリズム SHA-1 は使用できます。

FIPS140 準拠のアルゴリズム

「暗号方式を FIPS 140 準拠にする」を「ON」に設定した場合は、以下のアルゴリズムが使用禁止となります。▶ **【暗号方式を FIPS 140 準拠にする】 (P. 1183)**

ハッシュ	MD2、MD4、MD5、SHA-1 (TLS 以外の用途)
共通鍵暗号	RC2、RC4、RC5、DES、ChaCha20-Poly1305、3DES
公開鍵暗号	RSA 暗号 (512 bit / 1024 bit)

	RSA 署名 (512 bit / 1024 bit) DSA 署名 (512 bit / 1024 bit) DH (512 bit / 1024 bit) X25519
--	---

メモ

- 暗号方式を FIPS140 準拠にした場合は、TLS の設定や通信が以下のとおり制限されます。
 - [TLS 設定] の [使用可能なバージョンの指定] で [TLS 1.0] または [TLS 1.1] が設定されている場合は、[TLS 1.2] に変更されます。また、バージョンを [TLS 1.0] または [TLS 1.1] に変更した場合は、[暗号方式を FIPS 140 準拠にする] が [OFF] に変更され、暗号方式が FIPS140 準拠されなくなります。
 - TLS で使用するアルゴリズムの [3DES-CBC]、[CHACHA20-POLY1305]、[X25519] が無効になります。

ログの種類

本機では以下のログを管理できます。収集したログは CSV ファイルにエクスポートすることもできます。

ログの種類	CSV ファイルに「ログの種類」として記載される番号	概要
ユーザー認証ログ	4098	ユーザー認証の認証状況（ログイン／ログアウト、認証成功／失敗）、User Authentication で管理されているユーザー情報の登録／変更／削除、ACCESS MANAGEMENT SYSTEM のロール管理（追加／設定／削除）に関するログです。
ジョブログ	1001	プリント／スキャン／ファクス／コピーのジョブに関するログです。
送受信ログ	8193	送受信に関するログです。
アドバンスドボックス保存ログ	8196	ネットワーク（他機のアドバンスドボックス）、メモリーメディアへのファイル保存に関するログです。
ボックス操作ログ	8197	システムボックス／ファクスボックス内のデータ操作に関するログです。
ボックス認証ログ	8199	システムボックス／ファクスボックスの認証状況に関するログです。
本体管理ログ	8198	本機の起動／終了、  設定/登録 による設定変更などに関するログです。 販売店または担当サービスが点検や修理中に、ユーザー情報やセキュリティに関わる設定が変更された場合も、本体管理ログに記録されます。
ネットワーク認証ログ	8200	IPSec 通信に失敗した場合に記録されるログです。
一括インポート／エクスポートログ	8202	設定の一括インポート／エクスポートに関するログです。
ボックスバックアップログ	8203	以下のバックアップに関するログです。 ● システムボックス内のデータ ● ファクスボックス内のデータ
アプリケーション／ソフトウェア管理画面での操作ログ	3101	SMS（Service Management Service）、ソフトウェアの登録／更新、MEAP アプリケーションインストーラーなどの操作に関するログです。
セキュリティポリシーログ	8204	セキュリティポリシーの設定状況に関するログです。

ログの種類	CSV ファイルに「ログの種類」として記載される番号	概要
グループ管理ログ	8205	ユーザーグループの設定状況（登録／変更／削除）に関するログです。
システムメンテナンスログ	8206	ファームウェアのアップデート、MEAP アプリケーションのバックアップ／復元などに関するログです。
認証プリントログ	8207	留め置きプリントジョブの情報や操作履歴に関するログです。
設定の同期のログ	8208	パーソナライズデータの同期に関するログです。 ④複数のキヤノン複合機で同じ設定を使用する - パーソナライズデータの同期 (P. 755)
監査ログ管理機能のログ	3001	ログの記録開始／終了や、ログのエクスポートなどに関するログです。

メモ

- ログは最大 40,000 件まで記録できます。40,000 件を超えた場合は、古いログから順に消去されます。

ビジュアルメッセージ

ファイル形式	JPEG、PNG、BMP、GIF、アニメーション GIF、HTML（イントラネット内、インターネット）
ファイルサイズ	最大 10 MB
コンテンツ表示サイズ	639 ピクセル × 400 ピクセル JPEG、PNG、BMP、GIF、アニメーション GIF ● 上記サイズを超える場合：画像のタテヨコの比率を保ったまま縮小して表示 ● 上記サイズ未満の場合：拡大せずにそのままのサイズで表示 HTML ● 上記サイズを超える場合：縮小せずにそのままのサイズで表示（スクロール対応） ● 上記サイズ未満の場合：拡大せずにそのままのサイズで表示
通信プロトコル	SMB、WebDAV、HTTP

サポート環境

EJ83-01E

- ②動作環境 (P. 71)
- ②対応ソフトウェア／サーバー (P. 71)

動作環境

WSD スキャン時のシステム環境	Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025
AirPrint の動作環境	②AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する (P. 668)
リモート UI の動作環境 ^{*1}	Windows Microsoft Edge Google Chrome macOS Safari 11 以降 Google Chrome

^{*1} Web ブラウザーで Cookie と JavaScript を利用できるように設定する必要があります。

対応ソフトウェア／サーバー

メール／I ファクス転送用サーバーソフトウェア	Microsoft Exchange Server 2016 Microsoft Exchange Server 2019 Microsoft Exchange Online Google Workspace
メール／I ファクス受信用サーバーソフトウェア	Microsoft Exchange Server 2016 Microsoft Exchange Server 2019 Microsoft Exchange Online Google Workspace
ファイル送信可能なファイルサーバー	SMB Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025 macOS Ventura / Sonoma / Sequoia FTP Windows 10 / 11 / Server 2016 / Server 2019 / Server 2022 / Server 2025 : Internet Information Services 10 SFTP Windows 11 Windows Server 2019 / 2022 / 2025 WebDAV Windows 10 / 11 / Server 2016 / Server 2019 / Server 2022 / Server 2025 : Internet Information Services 10 macOS Ventura / Sonoma / Sequoia
使用可能な LDAP サーバー	Windows Server 2016 with Active Directory Windows Server 2019 with Active Directory

	Windows Server 2022 with Active Directory Windows Server 2025 with Active Directory
--	--

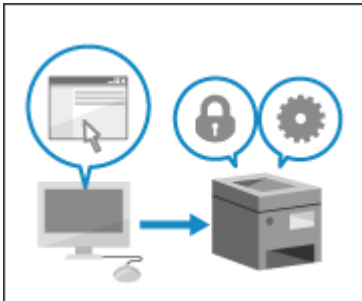
おすすめ機能

EJ83-01F

目的や課題の解決に役立つおすすめの機能を紹介します。



④ 効率化 (P. 74)



④ 管理／運用 (P. 76)



④ 画質／仕上げ (P. 77)

効率化

EJ83-01H

直感的なユーザーインターフェイスと、多様なユーザーや環境に対応した機能により、本機の占有時間を短縮し、日々の業務効率を高めることができます。

タッチパネルですばやく操作

使いやすくカスタマイズ

よく使用する機能をすばやく実行できるようにしたり、表示や設定を変更して操作しやすくしたりできます。

🔗 操作パネルの画面のカスタマイズ (P. 170)

ユーザーごとに最適化 - パーソナライズ

本機にログインすると、各ユーザーが自分に合った設定で本機を使用できます。自分専用の画面や個別のアドレス帳などを使用できるほか、使用した設定が自動で保存されるので、すばやく快適に操作できます。

🔗 自分だけの画面／データを利用する - パーソナライズ (P. 194)

※パーソナライズ機能を利用するには、本機の設定が必要です。🔗 パーソナライズ機能を有効／無効にする (P. 725)

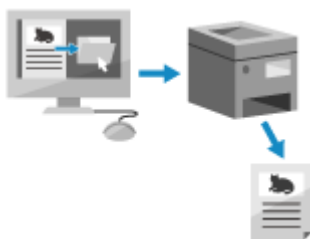


業務の効率化

ドライバーを介さずにすばやくプリント

OS の標準機能やクラウドサービスを使用してプリントすることもできます。

🔗 プリントする (P. 334)



スマートフォン／タブレットを活用

本機と接続したモバイル機器から、アプリを使ってデータをプリントできます。ダイレクト接続にも対応しているため、無線 LAN ルーターを介することなく簡単な設定で接続できます。

🔗 モバイル連携 (P. 650)



ファクス文書をデータで確認／バックアップ

送受信したファクスを電子化して保存したり、特定の宛先に転送したりできます。受信したファクスの内容を本機と離れた場所で確認したいときや、送受信したファクスをバックアップしたいときに便利です。

➡ **ファクスの転送／バックアップの設定 (P. 493)**



スキャン／コピー時のミスや手間を減らす

原稿の重なりを検知する重送検知により、フィーダーから複数枚の原稿をスキャン／コピーするときのミスを減らすことができます。また、サイズの異なる原稿をまとめてスキャン／コピーしたり、白紙と判定されたページを自動削除したりして、より効率よくスキャン／コピーできます。

- スキャンするとき ➡ **原稿に応じた設定 (P. 457)**
- コピーするとき ➡ **原稿に応じたコピーの設定 (P. 592)**

※重送検知は初期設定で有効になっています。 ➡ **【フィーダー重送検知のデフォルト設定】 (P. 1054)**

※機種によっては、重送検知は、オプションのドキュメントフィーダー用重送検知キット・Aの装着が必要です。

管理／運用

EJ83-01J

本機の使用環境に合わせた管理や運用を行うことができます。

誤送信や情報漏えいの防止

スキャン／ファクス時の送信先の制限や、パソコンからのファクス送信の制限、プリント時の強制留め置きなど、機能の利用状況に応じた対策を行うことができます。

➡ 誤送信／漏えい／改ざんの防止 (P. 807)

用紙の使用枚数などの制限／管理

本機を使用するユーザーに「部門 ID」を割り当てることで、部門 ID ごとに用紙の使用枚数などを管理できます。

➡ 部門 ID によるグループ管理 - 部門別 ID 管理 (P. 728)

複合機のリモート管理

パソコンの Web ブラウザーを使用して、離れた場所から本機の管理／設定ができ、また、手間のかかる設定や登録をパソコンで効率よく行うことができます。

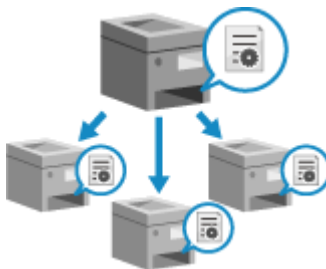
➡ パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)



複数の複合機の管理

インポート／エクスポート機能を使用して、アドレス帳や設定データを他機と共有することもできます。

➡ アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする (P. 913)



画質／仕上げ

EJ83-01K

本機の高画質プリントと高精度スキャンによって、文書やスキャンデータの品質向上を実現しています。各種設定や調整をしたり、仕上げ機能を使用したりすることで、幅広い原稿や目的にも対応できます。

画質の調整

原稿や目的に応じた設定

各機能を使用するときに、原稿や目的に応じて設定を変更できます。

- プリントするとき
プリンタードライバーの画面の［ヘルプ］をクリックしてヘルプを参照してください。
- スキャンするとき
 ➡ **スキャンの設定 (P. 441)**
- ファクスするとき
 ➡ **ファクスの送信設定 (P. 519)**
- コピーするとき
 ➡ **コピーの基本設定 (P. 574)**
 ➡ **原稿に応じたコピーの設定 (P. 592)**



再現性や仕上がりの調整

期待どおりの結果にならない場合は、画質やプリントサイズを調整できます。

- ➡ **画質の調整 (P. 1357)**
- ➡ **コピー画像のプリントサイズを調整する (P. 1376)**

よく使用する用紙の特性に合わせた調整も可能です。

- ➡ **よく使用する用紙種類を登録する (P. 1353)**

いろいろなニーズに応える仕上げ機能

プリント／コピーするときに、ホチキスなどの仕上げ機能を設定したり、小冊子になるようにページを割り付けたりするなど、資料の作成に役立つ設定を行うことができます。

- プリントするとき
プリンタードライバーの画面の［ヘルプ］をクリックしてヘルプを参照してください。
- コピーするとき
 ➡ **仕上げ／製本の設定 (P. 603)**

※使用できる機能は、装着されているオプションによって異なります。 ➡ **仕上げ機能対応オプション一覧 (P. 8)**



セットアップ

セットアップ	80
初期設定をする - 設定ナビ	82
ネットワークの設定	91
副回線を使用するときの注意事項	94
ネットワーク設定のロックを解除する	96
ネットワークへの接続方法を選択する	97
有線 LAN に接続する	99
無線 LAN に接続する	101
ルーターのボタン操作で無線 LAN に接続する - プッシュボタン方式	104
PIN コードを入力して無線 LAN に接続する - WPS PIN コード方式	105
ルーターを探索して無線 LAN に接続する - アクセスポイント選択方式	106
詳細を設定して無線 LAN に接続する - 手動入力方式	108
IPv4 アドレスを設定する	110
副回線の IPv4 アドレスを設定する	112
IPv6 アドレスを設定する	114
使用するネットワーク環境に合わせる	116
Ethernet を手動で設定する	117
DNS を設定する	118
副回線の DNS を設定する	121
SMB を設定する	122
WINS を設定する	124
LDAP サーバーを登録する	125
SNMP を設定する	128
静的ルーティングを設定する	131
SNTP を設定する	133
SLP 通信を設定する	135
BMLinkS を設定する	136
ネットワークの接続状況や設定を確認する	137
パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール	140

セットアップ

EJ83-01L

本機を設置したあと、各機能を使用できる状態にするために必要な設定を、以下の流れで行います。

Step 1 ～ Step 2 は、本機の設定です。

Step 3 は、パソコンから本機を使用するための設定です。本機を使用するパソコンごとに設定します。

Step 1

初期設定をする

初めて本機の電源を入れると、本機を使用するために必要な項目を設定する画面（設定ナビ）が操作パネルに表示されます。画面の案内に従って設定します。

➡初期設定をする - 設定ナビ (P. 82)



Step 2

ネットワークの設定をする

設定ナビに含まれていないネットワークの設定を行います。
設定ナビでネットワークに接続しなかった場合は、ここで接続します。

➡ネットワークの設定 (P. 91)



Step 3

ソフトウェア／ドライバーをインストールする

本機を使用するための各種ソフトウェアや、プリンター／ファクスなどのドライバーをパソコンにインストールします。

➡パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール (P. 140)



Step 4

各機能の設定をする

使用する機能によっては、個別に設定が必要です。各機能で必要な設定については、以下を参照してください。

➡プリントの準備 (P. 336)

➡スキヤンの準備 (P. 398)

➡ファクスの準備 (P. 485)

➡モバイル連携の準備 (P. 652)

メモ

パソコンから本機を管理する

- ネットワークの設定が完了したら、パソコンの Web ブラウザーからリモート UI を使用できます。リモート UI を使用すると、本機の稼働状況／状態を確認したり、設定の変更やアドレス帳の登録を行ったりできます。 ➡パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)

関連項目

不正アクセス防止対策の実施を検討する

本機をネットワーク環境で使用する場合、セキュリティリスクへの対策が不可欠です。本機でできる対策の一例を確認します。

➡不正アクセス防止対策 (P. 30)

本機の管理者を選定する

本機を運用するにあたり、管理者を選定します。選定された管理者は、本機の運用ルールを決め、ネットワークやセキュリティに関する設定をします。一般のユーザーは、管理者が定めた運用ルールに従って本機を利用します。

🔗 **管理者権限とパスワード (P. 29)**

他機の設定データをインポートする

他機と設定内容を共有したり、登録や設定の手間を省いたりすることができます。同一機種 of データをパソコンに保存（エクスポート）して、そのデータを本機に読み込む（インポート）ことで設定を反映できます。

🔗 **アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする (P. 913)**

初期設定をする - 設定ナビ

EJ83-11R

初めて本機の電源を入ると、本機を使用するための項目を設定する画面（設定ナビ）が操作パネルに表示されます。画面の案内に従って、以下の手順で設定します。

- ① Step 1：表示言語とキーボードの配列を設定する (P. 82)
- ② Step 2：用紙の設定を確認する (P. 83)
- ③ Step 3：管理者としてログインする (P. 83)
- ④ Step 4：ユーザー認証の設定をする (P. 84)
- ⑤ Step 5：オプションの排紙先を設定する (P. 86)
- ⑥ Step 6：日付／時刻を設定する (P. 86)
- ⑦ Step 7：IP アドレスを設定する (P. 86)
- ⑧ Step 8：DNS を設定する (P. 87)
- ⑨ Step 9：プロキシを設定する (P. 88)
- ⑩ Step 10：ファクスを設定する (P. 89)
- ⑪ Step 11：自動階調補正を行う (P. 89)
- ⑫ Step 12：リストをプリントする (P. 89)

メモ

設定ナビを終了する／再度起動する

- 画面左下の「設定ナビの終了」を押すと、設定ナビが終了します。
- 設定ナビは、以下の手順で再度起動できます。
Administrator 権限が必要です。

本機に管理者ユーザーでログイン ▶  [設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ▶ [設定ナビの開始] ▶ [開始]

※設定ナビを再度起動したときは、Step 3 は省略されます。

※以下の場合、設定ナビを再度起動できません。

- 部門別 ID 管理が有効になっている
- DepartmentID Authentication が有効になっている

設定した内容を個別に変更する

- 設定ナビで設定した内容は、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] から個別に変更できます。▶  [設定/登録] ✕
ニューズ一覧 (P. 957)

Step 1：表示言語とキーボードの配列を設定する

画面に表示させる言語を選択します。言語によっては、文字を入力するときに表示されるキーボードの配列を変更できます。

1 [表示言語/キーボードの切替] 画面で、一覧から言語を選択する

選択した言語のキーボード配列に種類がある場合は、[設定] を押し、配列の種類を変更することができます。

2 [OK] を押す

→ [用紙の設定] 画面が表示されます。

メモ

表示言語切り替えボタンを表示する

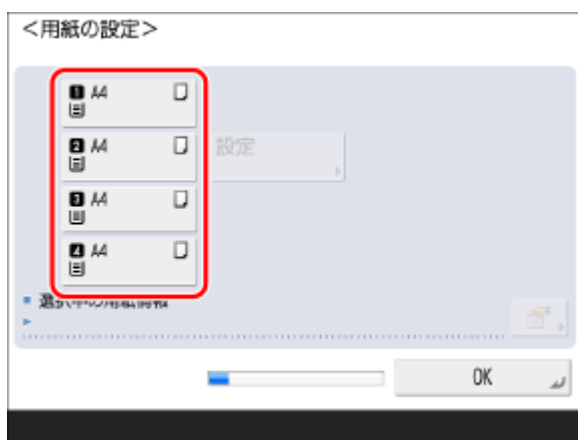
- 表示言語をひんぱんに切り替える場合は、切り替え用のボタンを画面に表示させておくとう便利です。初期設定完了後に設定します。▶[表示言語切り替えボタンを追加する \(P. 876\)](#)

Step 2：用紙の設定を確認する

給紙カセットに用紙をセットし、セットした用紙が正しく設定されているか確認します。

1 給紙カセットに用紙をセットする ▶[給紙カセットに用紙をセットする \(P. 212\)](#)

2 [用紙の設定] 画面で、セットした用紙のサイズが表示されていることを確認する



- 各給紙カセットは、以下のアイコンで表示されます。装着されているオプションによって、表示される給紙部は異なります。

- 1：給紙カセット 1
- 2：給紙カセット 2
- 3：給紙カセット 3
- 4：給紙カセット 4

- 定形サイズ of 用紙をセットした場合、用紙サイズは自動検知されます。セットした用紙と異なる用紙サイズが表示された場合や、定形外サイズの用紙をセットした場合は、以下を参照してください。

▶[給紙カセット of 用紙サイズと用紙種類を設定する \(P. 247\)](#)

3 [OK] を押す

→ [認証ログイン] 画面が表示されます。

Step 3：管理者としてログインする

Step 4 以降で、Administrator 権限が必要な設定を行うため、Administrator 権限を持つ管理者ユーザーでログインします。

1 [認証ログイン] 画面で、[ログイン] を押す

→ ユーザーの一覧画面が表示されます。

Administrator 権限が必要な設定を行わない場合は、[スキップ] を押し、Step 11 に進みます。🔗**Step 11：自動階調補正を行う (P. 89)**

2 管理者ユーザーを選択し、暗証番号を入力する

- 暗証番号は操作パネルのテンキーを使用して入力します。
- 工場出荷時は、Administrator 権限を持つ以下の管理者ユーザーが登録されています。

ユーザー名	Administrator
暗証番号	7654321

3 再度 [ログイン] を押し、[OK] を押す

→ [ユーザー認証を使用] 画面が表示されます。

Step 4：ユーザー認証の設定をする

本機のセキュリティを高めるために、ユーザー認証を使用する設定にします。

「Administrator」以外の管理者ユーザーが登録されていない場合は、Administrator 権限を持つ管理者ユーザーを新規登録します。

※本機は、ログインサービスに User Authentication という認証アプリケーションを使用する設定になっています。User Authentication の詳細については、以下を参照してください。

🔗**ユーザー認証／グループ管理 (P. 681)**

1 [ユーザー認証を使用] 画面で、[ON] を押す

ユーザー認証を使用しない場合は、[OFF] ▶ [OK] を押し、Step 5 または Step 6 に進みます。🔗**Step 5：オプションの排紙先を設定する (P. 86)**、🔗**Step 6：日付／時刻を設定する (P. 86)**

2 使用するログイン方法を [ON] に設定し、[次へ] を押す

→ Administrator 権限を持つ管理者ユーザーを新規登録するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
メッセージが表示されなかった場合は、手順 5 に進みます。
※すでに「Administrator」以外の管理者ユーザーが登録されている場合、メッセージは表示されません。

各ログイン方法の詳細については、以下を参照してください。

🔗**ログイン方法 (P. 682)**

3 メッセージを確認し、[はい] を押す

→ [管理者ユーザーの登録] 画面が表示されます。

ここで Administrator 権限を持つ管理者ユーザーを新規登録すると、ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーは、次回ログイン時から無効になります。

ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーを今後も使用する場合は、[いいえ] を押し、手順 5 に進みます。

4 [管理者ユーザーの登録] 画面で、新規登録する管理者ユーザーの情報を入力し、[OK] を押す

→ [ログイン画面の表示設定] 画面が表示されます。

- [ユーザー名] と [パスワード] を押し、新規登録する管理者ユーザーのユーザー名とパスワードを入力します。
 - 必要に応じて、[E メールアドレス] / [部門 ID] / [表示名] を設定します。
各項目の詳細については、以下を参照してください。
- ➡ [ユーザーの追加] / [ユーザー情報の編集] 画面 (P. 694)

5 [ログイン画面の表示設定] 画面で、ログイン画面を表示するタイミングを設定する

操作を開始するときにログイン画面を表示する場合

[操作開始時に表示] に設定します。

本機を使用するときにログインが必要となります。

機能を選択したあとにログイン画面を表示する場合

[機能選択時に表示] を押し、[認証が必要な機能の設定] や [認証が必要な「設定/登録」の項目] で、ログイン画面を表示させる機能や項目を設定します。

設定した対象を使用するときのみ、ログインが必要となります。

対象外の機能や項目は、ログインすることなく誰でも使用可能となります。

6 [次へ] または [OK] を押す

手順 2 で設定したログイン方法によって、表示される画面と次に進む手順が異なります。

- [テンキー入力のみによる認証を使用] 画面が表示された場合は、手順 7 に進みます。
- [シンプルログイン時に暗証番号かパターンを必ず使用] 画面が表示された場合は、手順 9 に進みます。
- [オプション排紙トレイの ON/OFF] 画面が表示された場合は、Step 5 に進みます。 ➡ **Step 5：オプションの排紙先を設定する (P. 86)**
- [日付/時刻の設定] 画面が表示された場合は、Step 6 に進みます。 ➡ **Step 6：日付／時刻を設定する (P. 86)**

7 [テンキー入力のみによる認証を使用] 画面で、テンキー入力のみでログインできるようにするかどうかを設定する

ユーザー名とパスワードが数字のみで構成されている場合に、キーボード認証時にテンキー入力のみでログインできるようにするときは [ON] に設定します。

8 [次へ] または [OK] を押す

手順 2 で設定したログイン方法によって、表示される画面と次に進む手順が異なります。

- [シンプルログイン時に暗証番号かパターンを必ず使用] 画面が表示された場合は、手順 9 に進みます。
- [オプション排紙トレイの ON/OFF] 画面が表示された場合は、Step 5 に進みます。 ➡ **Step 5：オプションの排紙先を設定する (P. 86)**
- [日付/時刻の設定] 画面が表示された場合は、Step 6 に進みます。 ➡ **Step 6：日付／時刻を設定する (P. 86)**

9 [シンプルログイン時に暗証番号かパターンを必ず使用] 画面で、暗証番号やパターンの入力を必須にするかどうかを設定し、[次へ] を押す

➔ [シンプルログイン画面をプリント向けに設定] 画面が表示されます。

10 プリント機能に適した状態でシンプルログインを使用するかどうかを設定し、[次へ] を押す

➔ [シンプルログイン画面のプリセットボタン数] 画面が表示されます。

[ON] に設定した場合

本機の設定が以下のとおり変更されます。

- [強制留め置き] が [ON] になります。
パソコンから本機に送信した文書（プリントデータ）をすぐにプリントせず、いったん本機に留め置くようにします。➡ **パソコンからの文書をすぐにプリントしないようにする - 強制留め置き (P. 819)**
- [ユーザーの登録方法] の [ジョブ投入時に自動で登録] が [ON] になります。
留め置きしたプリントデータのユーザー情報を利用して、シンプルログインを使用するユーザーを本機に自動登録するようにします。➡ **ユーザーの登録方法 (P. 1149)**
- [シンプルログイン画面のデフォルト表示の変更] が [プリント] になります。
シンプルログインのログイン画面が表示されたときに、留め置きしたプリントデータの待機順にユーザーが並ぶようにします。➡ **シンプルログイン画面のデフォルト表示の変更 (P. 1150)**

11 シンプルログイン画面にあらかじめ作成しておくボタン数を選択し、[OK] を押す

- [オプション排紙トレイの ON/OFF] 画面が表示された場合は、Step 5 に進みます。➡ **Step 5：オプションの排紙先を設定する (P. 86)**

→ [日付/時刻の設定] 画面が表示された場合は、Step 6 に進みます。➡ **Step 6：日付／時刻を設定する (P. 86)**

Step 5：オプションの排紙先を設定する

オプション機器のトレイへ排紙する場合は、設定します。

1 [オプション排紙トレイの ON/OFF] 画面で、排紙先に使用するトレイを設定し、[OK] を押す

→ [日付/時刻の設定] 画面が表示されます。

Step 6：日付／時刻を設定する

本機の日付と時刻を設定します。

日付／時刻情報を利用する機能の基準となるため、正確に設定する必要があります。

1 [日付/時刻の設定] 画面で、日付と時刻を入力し、[OK] を押す

→ [IP アドレスを使用] 画面が表示されます。

タイムゾーンやサマータイムは、必要に応じて設定します。詳細については、以下を参照してください。

➡ **日付／時刻を設定する (P. 870)**

Step 7：IP アドレスを設定する

ネットワークに接続するために、IP アドレスを設定します。

必要な準備

- 本機に使用するネットワーク環境の情報や、必要なネットワークの設定を確認します。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。➡ **ネットワークの設定 (P. 91)**

1 [IP アドレスを使用] 画面で、使用するプロトコルを [ON] に設定し、[次へ] または [OK] を押す

- IPv4 と IPv6 を併用する場合は、[IPv4 を使用] と [IPv6 を使用] の両方を [ON] に設定します。
- 使用するプロトコルによって、表示される画面と次に進む手順が異なります。
 - [IP アドレス設定] 画面が表示された場合は、手順 2 に進みます。
 - [ステートレスアドレス設定] 画面が表示された場合は、手順 3 に進みます。
- ネットワークの設定をしない場合は、[IPv4 を使用] と [IPv6 を使用] の両方を [OFF] に設定し、Step 10 に進みます。🔗 **Step 10：ファクスを設定する (P. 89)**

2

[IPv4：IP アドレス設定] 画面で、IPv4 アドレスを設定し、[次へ] または [OK] を押す

- IPv4 アドレスを自動的に割り当てる場合は、[DHCP] や [Auto IP] を押して、選択した状態にします。
- IPv4 アドレスを手動で設定する場合は、[DHCP] と [Auto IP] の選択が解除されていることを確認し、IP アドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレスを入力します。
- IPv4 アドレス設定の詳細については、以下を参照してください。
 - 🔗 **IPv4 アドレスを設定する (P. 110)**
- IPv6 を併用するかどうかによって、表示される画面と次に進む手順が異なります。
 - [ステートレスアドレス設定] 画面が表示された場合は、手順 3 に進みます。
 - [DNS サーバーアドレス設定] 画面が表示された場合は、Step 8 に進みます。🔗 **Step 8：DNS を設定する (P. 87)**

3

[ステートレスアドレス設定] 画面で、ステートレスアドレスを使用するかどうかを設定し、[次へ] を押す

→ [IPv6：手動アドレス設定] 画面が表示されます。

IPv6 アドレス設定の詳細については、以下を参照してください。

🔗 **IPv6 アドレスを設定する (P. 114)**

4

手動アドレスを使用するかどうかを設定し、[次へ] を押す

→ [IPv6：DHCPv6 を使用] 画面が表示されます。

[手動アドレスを使用] を [ON] に設定した場合は、手動アドレス／プレフィックス長／デフォルトルーターアドレスを入力します。

5

DHCPv6 を使用するかどうかを設定し、[OK] を押す

→ [DNS サーバーアドレスの設定] 画面が表示されます。

Step 8：DNS を設定する

DNS (Domain Name System) を導入している環境で本機を使用する場合は、DNS サーバーの情報を設定します。DNS 設定の詳細については、以下を参照してください。

🔗 **DNS を設定する (P. 118)**

1

[DNS サーバーアドレスの設定] 画面で、DNS サーバーの IP アドレスを入力し、[次へ] を押す

→ [DNS のホスト名/ドメイン名の設定] 画面が表示されます。

DNS の設定をしない場合は、そのまま [次へ] を押します。

2 本機のホスト名やドメイン名を入力し、[次へ] を押す

→ [DNS の動的更新設定] 画面が表示されます。

- IPv4 と IPv6 を併用する場合に、IPv4 で設定したホスト名とドメイン名を IPv6 でも使用するときは、[IPv4 と同じホスト名/ドメイン名を使用] を [ON] に設定します。
- DNS の設定をしない場合は、そのまま [次へ] を押します。

3 DNS の動的更新を使用するかどうかを設定し、[OK] を押す

→ [プロキシ設定] 画面が表示されます。

- DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新する場合は、[DNS の動的更新] を [ON] に設定します。
IPv6 の場合は、DNS サーバーに登録したいアドレスの種類に応じて、[ステートレスアドレスの登録] / [手動アドレスの登録] / [ステートフルアドレスの登録] を [ON] に設定します。
- DNS の設定をしない場合は、そのまま [OK] を押します。

Step 9：プロキシを設定する

プロキシサーバーを経由してネットワークに接続する場合に必要な設定をします。
プロキシ設定の詳細については、以下を参照してください。

🔗 プロキシを使用する (P. 773)

必要な準備

- プロキシサーバーのアドレス/ポート番号/認証情報を手元に用意します。

1 [プロキシ設定] 画面で、[プロキシを使用] を [ON] に設定する

プロキシを使用しない場合は、[OFF] ▶ [OK] を押し、Step 10 に進みます。 🔗 Step 10：ファクスを設定する (P. 89)

2 プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力する

- [サーバーアドレス] に、IP アドレスやホスト名などを入力します。
- [ポート番号] に、ポート番号を入力します。

3 使用環境に合わせて、適用範囲や認証情報などを設定する

同じドメインの機器との通信にも指定したプロキシサーバーを使用する場合
[同一ドメインにもプロキシを使用] を [ON] に設定します。

プロキシサーバー接続時に認証が必要な場合

1. [認証設定] を押す

→ [認証設定] 画面が表示されます。

2. [プロキシ認証を使用] を [ON] に設定し、認証で使用するユーザー名やパスワードを入力する
3. [OK] を押す

→ [プロキシ設定] 画面に戻ります。

4 [OK] を押す

機種やオプションによって、表示される画面と次に進む Step が異なります。

- [ユーザー電話番号の登録] 画面が表示された場合は、Step 10 に進みます。▶ **Step 10：ファクスを設定する (P. 89)**
- [自動階調補正] 画面が表示された場合は、Step 11 に進みます。▶ **Step 11：自動階調補正を行う (P. 89)**

Step 10：ファクスを設定する

ファクス機能を使用する場合に必要な設定をします。
ファクス設定の詳細については、以下を参照してください。

▶ **本機でファクスを送受信するための準備 (P. 486)**

1 [ユーザー電話番号の登録] 画面で、本機のファクス番号を入力し、[次へ] を押す

→ [ユーザー略称の登録] 画面が表示されます。

2 [設定] を押して名前や会社名を入力し、[次へ] を押す

→ [回線種類の選択] 画面が表示されます。

3 使用する電話回線の種類を選択し、[次へ] を押す

→ [受信モード選択] 画面が表示されます。

4 使用する受信モードを選択し、[OK] を押す

→ [自動階調補正] 画面が表示されます。

- オプションのハンドセットや電話機を接続しないで使用する場合は、[自動受信] を選択します。ファクスの着信時は自動的に受信し、電話がかかってきても通話はできません。
- オプションのハンドセットまたは電話機を接続して使用する場合は、[FAX/TEL 切替] を選択します。ファクスの着信時は自動的に受信し、電話がかかってきたときは呼び出し音が鳴ります。

Step 11：自動階調補正を行う

階調とは、色の濃さや明るさが徐々に変化するグラデーションのことです。自動階調補正を実行することで、プリント時のグラデーションの再現性を高めます。

よりよいプリント結果を得るために、自動階調補正することをおすすめします。

- 機種によって、操作手順が異なります。自動階調補正の詳細については、以下を参照してください。
▶ **階調を補正する (P. 1359)**
- 自動階調補正を行わない場合は、[スキップ] を押し、Step 12 に進みます。▶ **Step 12：リストをプリントする (P. 89)**

Step 12：リストをプリントする

設定ナビで設定した内容を確認するために、以下のリストをプリントできます。

- ネットワークユーザーデータリスト
ネットワークの設定内容を確認できます。
- ファクスユーザーデータリスト
ファクスの設定内容を確認できます。
- 調整値リスト
各種調整値を確認できます。

1 [レポート出力] 画面で、プリントしたいリストの [プリント開始] を押す
プリントしない場合は、そのまま [OK] を押し、手順 **3** に進みます。

2 リストのプリントが完了したら、[OK] を押す

3 [設定ナビの終了] 画面で、[OK] を押す

→ 本機が再起動し、設定ナビで設定した内容が反映されます。

ネットワークの設定

パソコンから本機を操作したり、サーバーと連携したりするために、本機をネットワークに接続します。
有線 LAN または無線 LAN による単一接続のほか、有線 LAN と無線 LAN を組み合わせるなど、2 系統のネットワーク環境で本機を使用することもできます。

※ネットワークの設定を行うには、管理者権限が必要です。▶[管理者権限とパスワード \(P. 29\)](#)

▶[本機をネットワークに接続するときの流れ \(P. 91\)](#)

▶[2 系統のネットワークに接続する場合 \(P. 92\)](#)

重要

- 適切なセキュリティ対策をしないままネットワークに接続すると、第三者から不正にアクセスされるおそれがあります。本機で扱う情報を守るため、使用環境に合わせて必要な対策を行ってください。▶[ネットワークの保護 \(P. 764\)](#)

メモ

パソコン／モバイル機器と本機を直接接続する

- USB ケーブルでパソコンと接続できます。ただし、本機と USB 接続したパソコンは、データの送信／保存／転送先として指定できません。また、USB 接続でリモート UI は使用できません。

※本機の右側面奥にあるパソコン接続用の USB ポートを使用して接続します。▶[背面 \(P. 35\)](#)

- モバイル機器と本機を Wi-Fi で直接接続できます。▶[モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続 \(P. 663\)](#)

本機をネットワークに接続するときの流れ

以下の流れで、本機をネットワークに接続し、使用するネットワーク環境に合わせて本機の設定をします。

ネットワーク設定前の準備

- 本機の使用環境に応じて、LAN ケーブルやルーターを用意します。
- 本機を使用するネットワーク環境の情報や、必要なネットワークの設定を確認します。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ネットワーク内で使用するパソコンとルーターが正しく接続されていることを確認し、ネットワーク設定を完了させます。接続方法については、それぞれの機器のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

ネットワーク設定の流れ

Step 1

本機のネットワークに関する設定を変更できるよう、ネットワーク設定のロックを解除します。

▶[ネットワーク設定のロックを解除する \(P. 96\)](#)



Step 2

有線 LAN／無線 LAN のどちらを使用するか選択してから、ネットワークに接続します。

- 有線 LAN に接続する場合

- ネットワークへの接続方法を選択する (P. 97)
- 有線 LAN に接続する (P. 99)
- 無線 LAN に接続する場合
 - ネットワークへの接続方法を選択する (P. 97)
 - 無線 LAN に接続する (P. 101)



Step 3

- IP アドレスを設定します。
- IPv4 アドレスを設定する (P. 110)
 - IPv6 アドレスを設定する (P. 114)



Step 4

- 必要に応じて、使用するネットワーク環境に合わせて本機の設定をします。
- 使用するネットワーク環境に合わせる (P. 116)

ネットワーク設定後の確認

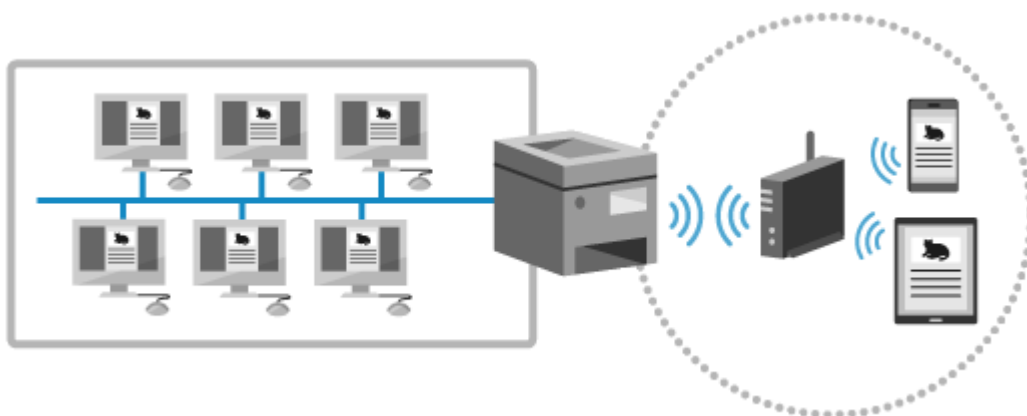
ネットワークに適切に接続されているかどうかを確認します。
必要に応じて、本機の IP アドレスや MAC アドレスの情報なども確認します。

- ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)

2 系統のネットワークに接続する場合

本機は、「有線 LAN と無線 LAN」または「有線 LAN と USB-LAN アダプター^{*1} で接続した別の有線 LAN」といった、2 系統のネットワークに同時に接続して使用できます。
本機およびユーザーズガイド（本マニュアル）では、2 系統ネットワークにおいてメインで使用する回線を「主回線」、サブで使用する回線を「副回線」と呼びます。

^{*1} 使用可能な USB-LAN アダプターについては、販売店または担当サービスにお問い合わせください。



たとえば、従業員用と来客者用のようにネットワークを分離している環境でも、従業員は主回線を介して、来客者は副回線を介して、それぞれ本機を利用できるようになります。ネットワークごとに複合機を設置する必要がなくなるため、コスト削減にもつながります。

副回線のネットワークでは、主回線に比べ、一部利用できないネットワーク機能やサービスなどがあります。2 系統のネットワークで本機を利用する場合は、副回線を使用するときの注意事項を確認してください。 ➤ 副回線を使用するときの注意事項 (P. 94)

ネットワーク設定前の準備

- 本機の使用環境に応じて、LAN ケーブル／ルーター／USB-LAN アダプターを用意します。
- 本機を使用するネットワーク環境の情報や、必要なネットワークの設定を確認します。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ネットワーク内で使用するパソコンとルーターが正しく接続されていることを確認し、ネットワーク設定を完了させます。接続方法については、それぞれの機器のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

ネットワーク設定の流れ

Step 1

本機のネットワークに関する設定を変更できるよう、ネットワーク設定のロックを解除します。
 ▶ ネットワーク設定のロックを解除する (P. 96)



Step 2

「有線 LAN と無線 LAN」／「有線 LAN と別の有線 LAN」のどちらの組み合わせを使用するか選択してから、ネットワークに接続します。
 ▶ ネットワークへの接続方法を選択する (P. 97)
 ▶ 有線 LAN に接続する (P. 99)
 ▶ 無線 LAN に接続する (P. 101)



Step 3

主回線の IP アドレスと、副回線の IPv4 アドレスを設定します。
 ▶ IPv4 アドレスを設定する (P. 110)
 ▶ IPv6 アドレスを設定する (P. 114)
 ▶ 副回線の IPv4 アドレスを設定する (P. 112)



Step 4

必要に応じて、使用するネットワーク環境に合わせて本機の設定をします。
 ▶ 使用するネットワーク環境に合わせる (P. 116)



Step 5

必要に応じて、使用する副回線のネットワーク環境に合わせて副回線固有の設定をします。

- Ethernet の設定を変更する場合（副回線が有線 LAN の場合のみ）
 ▶ Ethernet を手動で設定する (P. 117)
- ルーターを介して他のネットワークに接続する場合
 ▶ 静的ルーティングを設定する (P. 131)
- DNS を使用して特定のシステムデータ通信を行う場合
 ▶ 副回線の DNS を設定する (P. 121)

ネットワーク設定後の確認

- ネットワークに適切に接続されているかどうかを確認します。
 必要に応じて、本機の IP アドレスや MAC アドレスの情報なども確認します。
 ▶ ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)

副回線を使用するときの注意事項

EJ83-01U

副回線のネットワークでは、主回線に比べ、一部利用できないネットワーク機能やサービスなどがあります。

主回線と同時に利用できない機能

- DNS サーバー設定
- WINS サーバー設定

副回線で利用が制限される機能やサービス

副回線では、以下のネットワーク機能は利用できません。

- IPv6 アドレス設定
- IPsec
- NetBIOS
- FTP (ACTIVE モード)
- DHCP オプション設定
- DNS の動的更新設定
- マルチキャスト探索設定
- AutoIP による IP アドレス設定
- SMB プロトコルを使用した参照

上記に伴い、以下のような機能やサービスは利用できません。

- MEAP アプリケーションで、サーバー接続を行う印刷／集計システムの構築
- Active Directory サーバーへの認証システムの構築
- SMB および WebDAV プロトコルから、DNS の名前解決や NetBIOS 名での名前解決を使用したファイル送信^{*1}
- マルチキャスト探索を使用した、副回線側の他機の自動探索^{*1}
- 主回線の IP アドレスを参照する以下の機能
 - セキュリティポリシー設定
 - リモートアドレス帳公開設定
 - 一括インポート／エクスポート
 - ビジュアルメッセージ
 - BMLinkS
- リモートファクス (クライアント)
- Universal Print

^{*1} IP アドレスを直接指定して送信や探索してください。

メモ

副回線のファイアウォール設定

- 副回線のファイアウォール設定は、主回線とは別に設定が必要です。▶ [副回線の IP アドレスフィルターを設定する \(P. 769\)](#)

副回線のプロキシ設定

- 副回線でプロキシを介して特定のシステムデータ通信を行う場合は、主回線とは別に設定が必要です。▶ [副回線のプロキシを設定する \(P. 775\)](#)
※システムデータ通信以外の用途でプロキシを使用する場合は、主回線の設定に副回線で使用するアドレスやポート番号を登録します。▶ [プロキシを使用する \(P. 773\)](#)

ネットワーク設定のロックを解除する

EJ83-01W

ネットワークに関する設定を閲覧／変更できるようにします。

工場出荷時は、ネットワーク設定が不用意に変更されないよう、設定の閲覧／変更が制限されています。この状態の場合、ネットワーク関連のエラー発生時にメッセージも表示されません。

ロックの解除は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して解除することはできません。Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする  ログイン方法 (P. 191)
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 設定/登録 を押す  [ホーム] 画面 (P. 156)
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 [環境設定]  [ネットワーク]  [ネットワークの設定変更/接続の確認表示] を押す
→ [ネットワークの設定変更/接続の確認表示] 画面が表示されます。
- 4 [ON] に設定し、[OK] を押す
→ ネットワーク設定のロックが解除されます。

ネットワークへの接続方法を選択する

本機をネットワークに接続する方法を設定します。接続方法には、以下の4種類があります。

- 有線 LAN のみ
- 無線 LAN のみ
- 有線 LAN と無線 LAN を同時に接続^{*1}
- 有線 LAN と USB-LAN アダプターで接続した別の有線 LAN を同時に接続^{*1}

^{*1} 同時に接続する場合は、ネットワークごとに設定が必要です。▶2 系統のネットワークに接続する場合 (P. 92)

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

IP アドレスを設定したあとは、パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- ネットワークの設定を変更できるように、工場出荷時のロックを解除します。▶ネットワーク設定のロックを解除する (P. 96)

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ログイン方法 (P. 191)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [インターフェイス選択] を押す

→ [インターフェイス選択] 画面が表示されます。

4 ネットワークの接続方法を選択する

接続パターン		[主回線]	[副回線]
有線 LAN のみ	有線 LAN (主回線) のみ	[有線 LAN]	[使用しない]
無線 LAN のみ	無線 LAN (主回線) のみ	[無線 LAN]	[使用しない]
有線 LAN と無線 LAN を同時に接続 ^{*1}	有線 LAN (主回線) + 無線 LAN (副回線)	[有線 LAN]	[無線 LAN]
	有線 LAN (副回線) + 無線 LAN (主回線) ^{*2}	[無線 LAN]	[有線 LAN]
有線 LAN と別の有線 LAN を同時に接続	有線 LAN (主回線) + 有線 LAN (副回線) ^{*3}	[有線 LAN]	[有線 LAN]

^{*1} 無線 LAN を [主回線] から [副回線]、または [副回線] から [主回線] に設定変更した場合、それまでの無線 LAN 接続の設定内容はクリアされるため、無線 LAN に接続しなおす必要があります。

^{*2} 本機の LAN ポートに接続した有線 LAN が副回線になります。USB-LAN アダプターで接続した有線 LAN は副回線で使用できません。

^{*3} 本機の LAN ポートに接続した有線 LAN が主回線に、USB-LAN アダプターで接続した有線 LAN が副回線になります。

5 [OK] を押す

→ 設定が反映されます。

続いて、有線 LAN または無線 LAN に接続します。

- ▶ 有線 LAN に接続する (P. 99)
- ▶ 無線 LAN に接続する (P. 101)

メモ

[主回線] を [有線 LAN]、[副回線] を [使用しない] 以外に設定した場合

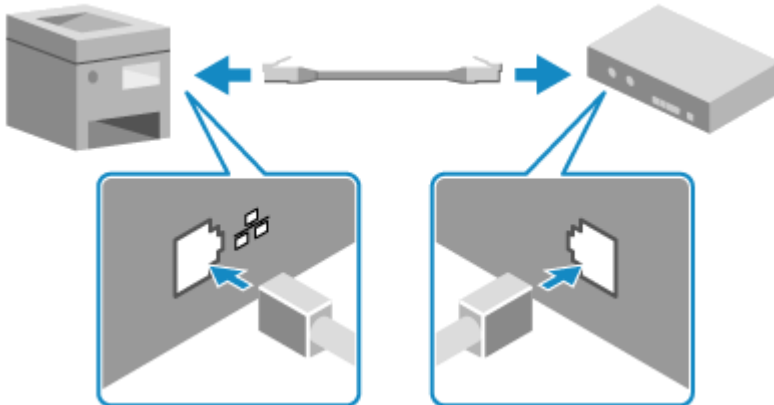
- スリープモード中の消費電力が多くなるように設定されます。 ▶ [スリープ時の消費電力] (P. 979)

有線 LAN に接続する

EJ83-01Y

ルーターを介して本機とパソコンを接続します。本機とルーターとの接続には LAN ケーブルを使用します。

1 LAN ケーブルを本機とルーターに接続する



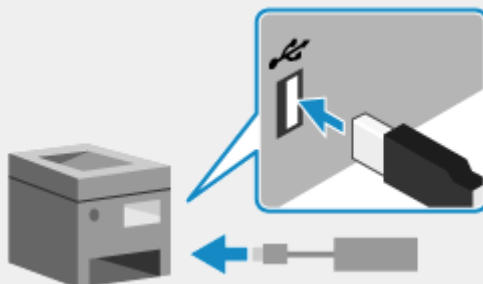
- 本機の LAN ポートは右側面奥にあります。▶ **背面 (P. 35)**
- コネクタが LAN ポートにしっかりと収まるよう、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

本機を 2 系統の有線 LAN に接続する場合

本機の LAN ポートには主回線の有線 LAN を接続し、副回線の有線 LAN は USB-LAN アダプターを使用して接続します。

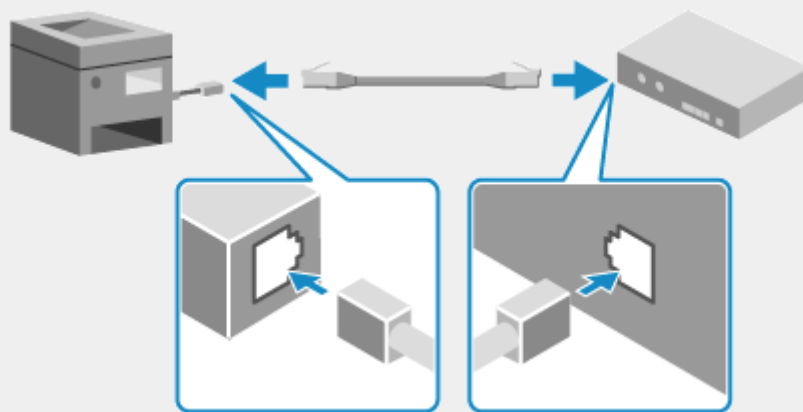
※使用可能な USB-LAN アダプターについては、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

1. USB-LAN アダプターを本機の USB ポートに接続する



- 本機の USB ポートは右側面奥にあります。▶ **背面 (P. 35)**
- 複数の USB-LAN アダプターを接続することはできません。

2. LAN ケーブルを USB-LAN アダプターとルーターに接続する



2

IP アドレスを設定する

- IPv4 アドレスを設定する (P. 110)
- IPv6 アドレスを設定する (P. 114)
- 副回線の IPv4 アドレスを設定する (P. 112)

無線 LAN に接続する

EJ83-020

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を介して、本機とパソコンを接続します。

使用する無線 LAN ルーターによって接続方式／セキュリティ規格が異なります。無線 LAN ルーターと本機の両方が対応している接続方式／セキュリティ規格を確認し、接続方式に応じた手順で接続します。

接続方式によっては、無線 LAN ルーターのセキュリティ情報などの入力が必要となります。

①本機が対応している接続方式／セキュリティ規格の確認 (P. 101)

②接続時に必要な無線 LAN ルーターの情報 (P. 102)

重要

セキュリティで保護されたネットワーク環境で接続する

- 無線通信に使用する電波は、一定の範囲内であれば壁などの障害物を越えてしまいます。そのため、適切なセキュリティで保護されていないネットワークに接続した場合は、個人情報などが第三者に漏えいするおそれがあります。本機を無線 LAN に接続する場合は、お客様ご自身の判断と責任において使用してください。➡**ネットワークの保護 (P. 764)**

メモ

消費電力を抑える

- パワーセーブモードを設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。
➡ **【パワーセーブモード】 (P. 1015)**

本機が対応している接続方式／セキュリティ規格の確認

接続方式

使用する無線 LAN ルーターが対応している方式で接続します。認証や暗号化などセキュリティ方式を詳細に指定する場合は、手動入力方式で接続します。

本機が対応している接続方式は以下のとおりです。

プッシュボタン方式 - WPS (Wi-Fi Protected Setup)



無線 LAN ルーターの外装箱、または機器本体のボタンに上記のマークが表記されている場合は、ボタン操作で簡単に接続できます。

①ルーターのボタン操作で無線 LAN に接続する - プッシュボタン方式 (P. 104)

※無線 LAN ルーターが WEP 認証を使用するように設定されている場合は、WPS で接続できません。

WPS PIN コード方式

プッシュボタン方式に対応していない WPS 対応ルーターを使用する場合は、PIN コードを入力して接続します。

②PIN コードを入力して無線 LAN に接続する - WPS PIN コード方式 (P. 105)

※無線 LAN ルーターが WEP 認証を使用するように設定されている場合は、WPS で接続できません。

アクセスポイント選択方式

無線 LAN ルーターを本機から探索し、ネットワークキー（パスワード）を手動で入力して接続します。

① ルーターを探索して無線 LAN に接続する - アクセスポイント選択方式 (P. 106)

アクセスポイント選択方式で接続すると、以下の認証方式や暗号化方式で設定されます。

- WPA/WPA2/WPA3 の暗号化方式：選択した無線 LAN ルーターに合わせて、自動的に AES-CCMP

異なる認証方式や暗号化方式を指定する場合は、手動入力方式で接続します。

手動入力方式

SSID（ネットワーク名）やネットワークキーの情報のほか、認証方式や暗号化方式など、無線 LAN の設定をすべて手動で入力して接続します。

② 詳細を設定して無線 LAN に接続する - 手動入力方式 (P. 108)

セキュリティ規格

本機の無線 LAN は、以下のセキュリティ規格に対応しています。使用する無線 LAN ルーターが対応しているかどうかについては、無線 LAN ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

- WPA-PSK (AES-CCMP)
- WPA2-PSK (AES-CCMP)
- WPA3-SAE (AES-CCMP)
- WPA-EAP (AES-CCMP)
- WPA2-EAP (AES-CCMP)
- WPA3-EAP (AES-CCMP)

重要

- 有線 LAN と無線 LAN を同時に接続する場合は、WPA/WPA2-EAP は使用できません。
- 弱い暗号を使用できないように本機が設定されている場合は、以下の無線 LAN ルーターとは接続できません。➡ **【弱い暗号の使用を禁止】 (P. 1183)**
 - セキュリティが設定されていない

接続時に必要な無線 LAN ルーターの情報

アクセスポイント選択方式または手動入力方式で接続する場合は、以下の情報を設定する必要があります。

これらの情報は無線 LAN ルーター本体などに表記されています。詳しくは、無線 LAN ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

SSID

無線 LAN ルーターを識別するための名前です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」などと表記されることもあります。

ネットワークキー

データの暗号化に使用されるキーワード、またはネットワークの認証時に使用されるパスワードです。「暗号化キー」、「WPA/WPA2 パスフレーズ」、「PSK」、「事前共有キー」などと表記されることもあります。

セキュリティ規格

手動入力方式で接続する場合に必要です。以下の情報を確認しておきます。

セキュリティ規格

- WPA-PSK
- WPA2-PSK
- WPA3-SAE
- WPA-EAP
- WPA2-EAP
- WPA3-EAP

WPA/WPA2/WPA3 の暗号化方式

- AES-CCMP
- IEEE 802.1X 認証

ルーターのボタン操作で無線 LAN に接続する - プッシュボタン方式

EJ83-021

無線 LAN ルーターが WPS のプッシュボタン方式に対応している場合は、本機の操作パネルでの操作と、無線 LAN ルーターのボタン操作だけで簡単に接続できます。

無線 LAN の接続には、Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする [🔗ログイン方法 \(P. 191\)](#)
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[\[⚙️ 設定/登録\]](#) を押す [🔗 \[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [無線 LAN] ▶ [無線 LAN 設定] を押す
→ [無線 LAN 設定] 画面が表示されます。
- 4 [WPS プッシュボタン方式] を押す
→ アクセスポイントの探索が開始されます。
- 5 探索開始後 2 分以内に、無線 LAN ルーターのボタンを押す
 - 無線 LAN ルーターによってはボタンを長押しします。
 - ボタンの操作方法については、使用している無線 LAN ルーターのマニュアルを参照してください。
- 6 本機の画面に、[接続しました。] と表示されたら、[OK] を押す
- 7 IP アドレスを設定する
 - [🔗IPv4 アドレスを設定する \(P. 110\)](#)
 - [🔗IPv6 アドレスを設定する \(P. 114\)](#)
 - [🔗副回線の IPv4 アドレスを設定する \(P. 112\)](#)

メモ

操作中にエラーメッセージが表示され、接続できなかった場合

- [OK] を押し、手順 [4](#) から操作しなおします。

PIN コードを入力して無線 LAN に接続する - WPS PIN コード方式

EJ83-022

無線 LAN ルーターが WPS PIN コード方式に対応している場合は、本機で生成した PIN コードを無線 LAN ルーターに登録して接続します。PIN コードの登録には、パソコンなどを使用します。

無線 LAN の接続には、Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- パソコンなどから無線 LAN ルーターにアクセスし、WPS PIN コードを登録できる状態にします。
※WPS PIN コードの登録方法については、使用している無線 LAN ルーターのマニュアルを参照してください。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする [🔵 ログイン方法 \(P. 191\)](#)
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[\[⚙️ 設定/登録\]](#) を押す [🔵 \[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 [\[環境設定\]](#) [▶](#) [\[ネットワーク\]](#) [▶](#) [\[無線 LAN\]](#) [▶](#) [\[無線 LAN 設定\]](#) を押す
→ [無線 LAN 設定] 画面が表示されます。
- 4 [\[WPS PIN コード方式\]](#) を押す
→ PIN コードが生成され、本機の画面に表示されます。
PIN コードが表示されてから 2 分以内に、WPS PIN コードを無線 LAN ルーターに登録する必要があります。
- 5 パソコンなどから無線 LAN ルーターにアクセスし、WPS PIN コードを無線 LAN ルーターに登録する
- 6 本機の画面に、[\[接続しました。\]](#) と表示されたら、[\[OK\]](#) を押す
- 7 IP アドレスを設定する
 - [🔵 IPv4 アドレスを設定する \(P. 110\)](#)
 - [🔵 IPv6 アドレスを設定する \(P. 114\)](#)
 - [🔵 副回線の IPv4 アドレスを設定する \(P. 112\)](#)

メモ

操作中にエラーメッセージが表示され、接続できなかった場合

- [\[OK\]](#) を押し、手順 [4](#) から操作しなおします。

ルーターを探索して無線 LAN に接続する - アクセスポイント選択方式

EJ83-023

接続する無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を本機から探索し、ネットワークキー（パスワード）を入力して接続します。

アクセスポイント選択方式で接続すると、以下の認証方式や暗号化方式で設定されます。

- WPA/WPA2/WPA3 の暗号化方式：選択した無線 LAN ルーターに合わせて、自動的に AES-CCMP

異なる認証方式や暗号化方式を指定する場合は、手動入力方式で接続します。▶ [詳細を設定して無線 LAN に接続する - 手動入力方式 \(P. 108\)](#)

無線 LAN の接続には、Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- 接続する無線 LAN ルーターの、SSID（ネットワーク名）とネットワークキーの情報を手元に用意します。▶ [接続時に必要な無線 LAN ルーターの情報 \(P. 102\)](#)
- セキュリティー規格が、WPA/WPA2/WPA3-EAP の無線 LAN ルーターに接続する場合は、IEEE 802.1X を設定します。
▶ [IEEE 802.1X を使用する \(P. 786\)](#)

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [無線 LAN] ▶ [無線 LAN 設定] を押す

→ [無線 LAN 設定] 画面が表示されます。

4 [手動設定] ▶ [アクセスポイント選択] を押す

→ 無線 LAN ルーターの探索が開始されます。

5 接続する無線 LAN ルーターの SSID を選択し、[OK] を押す

→ [ネットワークキーの入力] 画面が表示されます。

セキュリティ規格が WPA/WPA2/WPA3-EAP の無線 LAN ルーターの場合は、[接続には「IEEE 802.1X 設定」の設定値が適用されます。] というメッセージが表示されます。[OK] を押し、手順 [7](#) に進みます。

接続する無線 LAN ルーターが見つからない場合は、無線 LAN ルーターが探索できる状態かどうか確認します。▶ [無線 LAN に接続できない \(P. 1394\)](#)

6 [暗号化キー] を押してネットワークキーを入力し、[OK] を押す

7 本機の画面に、「接続しました。」と表示されたら、[OK] を押す

8 IP アドレスを設定する

- ▶ IPv4 アドレスを設定する (P. 110)
- ▶ IPv6 アドレスを設定する (P. 114)
- ▶ 副回線の IPv4 アドレスを設定する (P. 112)

メモ

操作中にエラーメッセージが表示され、接続できなかった場合

- [OK] を押し、接続する無線 LAN ルーターの情報（SSID とネットワークキー）を確認して、手順 **4** から操作しなおします。

詳細を設定して無線 LAN に接続する - 手動入力方式

EJ83-024

SSID（ネットワーク名）／ネットワークキー（パスワード）／セキュリティ設定など、無線 LAN ルーターの情報をすべて手動で入力して接続します。

無線 LAN の接続には、Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- 接続する無線 LAN ルーターの情報を手元に用意します。 [▶接続時に必要な無線 LAN ルーターの情報 \(P. 102\)](#)
- セキュリティ規格が、WPA/WPA2/WPA3-EAP の無線 LAN ルーターに接続する場合は、IEEE 802.1X を設定します。
[▶IEEE 802.1X を使用する \(P. 786\)](#)

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする [▶ログイン方法 \(P. 191\)](#)
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す [▶ \[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [無線 LAN] ▶ [無線 LAN 設定] を押す
→ [無線 LAN 設定] 画面が表示されます。
- 4 [手動設定] ▶ [詳細入力] を押す
→ [詳細入力] 画面が表示されます。
- 5 [SSID] を押して SSID を入力する
- 6 [セキュリティ設定] で、セキュリティ規格を選択し、認証や暗号化の設定をする

WPA/WPA2-PSK または WPA3-SAE を使用する場合

1. [WPA/WPA2-PSK] ／ [WPA2-PSK/WPA3-SAE] ／ [WPA3-SAE] を押す
→ [セキュリティ設定] 画面が表示されます
2. [暗号化キー] を押してネットワークキーを入力する
3. [OK] を押す
→ [詳細入力] 画面に戻ります。

WPA/WPA2/WPA3-EAP を使用する場合

[WPA/WPA2-EAP] を押します。

セキュリティを設定しない場合
[なし] を押します。

7 [OK] を押す

→ 接続が開始されます。

[セキュリティ設定] を [WPA/WPA2-EAP] に設定した場合は、[接続には「IEEE 802.1X 設定」の設定値が適用されます。] というメッセージが表示されます。[OK] を押すと、接続が開始されます。

8 本機の画面に、[接続しました。] と表示されたら、[OK] を押す

9 IP アドレスを設定する

- ▶ IPv4 アドレスを設定する (P. 110)
- ▶ IPv6 アドレスを設定する (P. 114)
- ▶ 副回線の IPv4 アドレスを設定する (P. 112)

メモ

操作中にエラーメッセージが表示され、接続できなかった場合

- [OK] を押し、接続する無線 LAN ルーターの情報を確認して、手順 **4** から操作しなおします。

IPv4 アドレスを設定する

EJ83-025

IPv4 アドレスの設定は、DHCP などを使用して自動的に割り当てる方法と、手動で入力する方法があります。使用環境や用途に合わせて、自動割り当てまたは手動入力のどちらかを選択します。

※本機を2系統のネットワークに接続している場合、ここでは主回線で使用する IPv4 アドレスを設定します。副回線で使用する IPv4 アドレスを設定する場合は、以下を参照してください。

🔗副回線の IPv4 アドレスを設定する (P. 112)

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

IP アドレスを設定したあとは、パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。🔗パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

1 本機に管理者ユーザーでログインする 🔗ログイン方法 (P. 191)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す 🔗 [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定] ▶ [IPv4 を使用] を押す

→ [IPv4 を使用] 画面が表示されます。

4 [ON] に設定し、[OK] を押す

5 [IP アドレス設定] を押す

→ [IP アドレス設定] 画面が表示されます。

6 IP アドレスを設定する

IP アドレスを自動的に割り当てる場合

[DHCP] や [Auto IP] を押して、選択した状態にします。

- Auto IP は、使用しているネットワーク内で使用可能な IP アドレスを自動的に検索し、各項目の値を割り当てる機能です。DHCP サーバーを運用せずに自動的に IP アドレスを割り当てることができますが、ルーターを越えた通信はできません。
- 両方を選択した場合は、DHCP で取得された IP アドレスが優先され、DHCP から応答がない場合などに Auto IP が使用されます。
- DHCP や Auto IP が使用できない環境では、[DHCP] や [Auto IP] の選択を解除しておくことをおすすめします。選択した状態のままにしておくと、ネットワーク内で自動取得の確認を続けるため、不要な通信が発生します。

IP アドレスを手動で設定する場合

1. [DHCP] と [Auto IP] の選択が解除されていることを確認する
選択されている状態の場合は、それぞれのボタンを押して、選択を解除します。
2. IP アドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレスを入力する
入力する項目を押し、選択した状態にしてから入力します。

7 [OK] を押す

8 [設定/登録] ▶ [はい] を押す

→ 設定が反映されます。

IPv4 アドレスが適切に設定されているか確認するために、接続テストをします。🔗 **ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)**

メモ

IP アドレスを自動取得できなかった場合に、手動入力した IP アドレスを使用する設定にする

- 手順 6 で、[DHCP] や [Auto IP] を選択した状態にしたまま、IP アドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレスを入力します。その後、パソコンからリモート UI を使用して以下の設定をします。🔗 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)**

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [IPv4 設定] ▶ [DHCP サーバーからアドレスを取得できなかった場合は前回取得したアドレスを解放する] のチェックマークを外す ▶ [OK] ▶ [設定の反映]

プリンタードライバーのインストール後に IP アドレスを変更した場合

- Windows の場合は、新しいポートを追加する必要があります。🔗 **ポートを追加する (P. 340)**
- macOS の場合は、パソコンに本機を登録しなおす必要があります。本機を登録する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

※DHCP を使用して本機の IP アドレスを自動取得している場合は、IP アドレスが自動的に変更されることがあります。

副回線の IPv4 アドレスを設定する

EJ83-026

本機を 2 系統のネットワークに接続している場合に、副回線で使用する IPv4 アドレスを設定します。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

IP アドレスを設定したあとは、パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [IP アドレス設定] を押す

→ [IP アドレス設定] 画面が表示されます。

4 IP アドレスを設定する

IP アドレスを自動的に割り当てる場合
[DHCP] を押して、選択した状態にします。

※DHCP が使用できない環境では、[DHCP] の選択を解除しておくことをおすすめします。選択した状態のままにしておくと、ネットワーク内で自動取得の確認を続けるため、不要な通信が発生します。

IP アドレスを手動で設定する場合

1. [DHCP] の選択が解除されていることを確認する
2. IP アドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレスを入力する
入力する項目を押し、選択した状態にしてから入力します。

5 [OK] を押す

6  [設定/登録] ▶ [はい] を押す

→ 設定が反映されます。

副回線の IPv4 アドレスが適切に設定されているか確認するために、接続テストをします。▶ [ネットワークの接続状況や設定を確認する \(P. 137\)](#)

メモ

IP アドレスを自動取得できなかった場合に、手動入力した IP アドレスを使用する設定にする

- 手順 4 で、[DHCP] を選択した状態にしたまま、IP アドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレスを入力します。その後、パソコンからリモート UI を使用して以下の設定をします。🔗 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)**

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [IPv4 設定] ▶ [DHCP サーバーからアドレスを取得できなかった場合は前回取得したアドレスを解放する] のチェックマークを外す ▶ [OK] ▶ [設定の反映]

ルーターを介して他のネットワークに接続する場合

- 手順 4 で、IP アドレスを手動で設定して、ゲートウェイアドレスを入力します。その後、静的ルーティングを設定します。🔗 **静的ルーティングを設定する (P. 131)**

IPv6 アドレスを設定する

IPv6 環境では、以下の複数の IPv6 アドレスを設定して同時に使用することができます。

- リンクローカルアドレス
同一リンク内のみ使用できるアドレスです。ルーターを越える範囲の通信には使用できません。
IPv6 アドレスの使用を有効にすると、自動的に設定されます。
- ステートレスアドレス
ルーターから通知されるプレフィックスと本機の MAC アドレスから自動生成されるアドレスです。
4 つまで登録できます。本機の再起動または電源 ON 時に破棄されます。
- 手動アドレス
IP アドレス／プレフィックス長／デフォルトルーターアドレスを、手動で入力するアドレスです。
- ステートフルアドレス
DHCPv6 を使って DHCP サーバーから取得するアドレスです。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

IP アドレスを設定したあとは、パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。🔗 [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする 🔗 [ログイン方法 \(P. 191\)](#)
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す 🔗 [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv6 設定] ▶ [IPv6 を使用] を押す
→ [IPv6 を使用] 画面が表示されます。
- 4 [IPv6 を使用] を [ON] に設定し、[OK] を押す
- 5 使用する IPv6 アドレスを設定する

ステートレスアドレスを使用する場合

1. [ステートレスアドレス設定] を押す
→ [ステートレスアドレス設定] 画面が表示されます。
2. [ステートレスアドレスを使用] を [ON] に設定し、[OK] を押す

手動アドレスを使用する場合

1. [手動アドレス設定] を押す
→ [手動アドレス設定] 画面が表示されます。
2. [手動アドレスを使用] を [ON] に設定する

3. 手動アドレス／プレフィックス長／デフォルトルーターアドレスを入力し、[OK] を押す

手動アドレスを入力する場合

[手動アドレス] を押して入力します。

※以下のアドレスは入力できません。

- マルチキャストアドレス（「ff」で始まるアドレス）
- すべて「0」で構成されるアドレス
- IPv4 互換アドレス（上位 96 bit が「0」で、下位 32 bit に IPv4 アドレスが入っている IPv6 アドレス）
- IPv4 射影アドレス（上位 96 bit が「0:0:0:0:ffff:」で、下位 32 bit に IPv4 アドレスが入っている IPv6 アドレス）

プレフィックス長を入力する場合

[プレフィックス長] を押し、選択した状態にしてから入力します。

デフォルトルーターアドレスを入力する場合

[デフォルトルーターアドレス] を押して入力します。

※以下のアドレスは入力できません。

- マルチキャストアドレス（「ff」で始まるアドレス）
- すべて「0」で構成されるアドレス

※デフォルトルーターアドレスを指定しない場合は、空欄のままにしておきます。

4. [OK] を押す

ステートフルアドレスを使用する場合

1. [DHCPv6 を使用] を押す

→ [DHCPv6 を使用] 画面が表示されます。

2. [ON] ▶ [OK] を押す

ステートフルアドレスの前半部分のみを取得する場合

1. [ステートフルアドレスのプレフィックスのみ取得] を押す

→ [ステートフルアドレスのプレフィックスのみ取得] 画面が表示されます。

2. [ON] ▶ [OK] を押す

6 [⚙️ 設定/登録] ▶ [はい] を押す

→ 本機が再起動し、設定が反映されます。

IPv6 アドレスが適切に設定されているか確認するために、接続テストをします。🔗 **ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)**

メモ

プリンタードライバーのインストール後に IP アドレスを変更した場合

- Windows の場合は、新しいポートを追加する必要があります。🔗 **ポートを追加する (P. 340)**
- macOS の場合は、パソコンに本機を登録しなおす必要があります。本機を登録する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

使用するネットワーク環境に合わせる

EJ83-028

ネットワークの規模や形態は、目的／用途によってさまざまです。本機は多くの環境に適合するよう、多様な技術を採用しています。

必要に応じて、使用するネットワーク環境に合わせて設定します。

- 🔗 [Ethernet を手動で設定する \(P. 117\)](#)
- 🔗 [DNS を設定する \(P. 118\)](#)
- 🔗 [SMB を設定する \(P. 122\)](#)
- 🔗 [WINS を設定する \(P. 124\)](#)
- 🔗 [LDAP サーバーを登録する \(P. 125\)](#)
- 🔗 [SNMP を設定する \(P. 128\)](#)
- 🔗 [静的ルーティングを設定する \(P. 131\)](#)
- 🔗 [SNTP を設定する \(P. 133\)](#)
- 🔗 [SLP 通信を設定する \(P. 135\)](#)
- 🔗 [BMLinkS を設定する \(P. 136\)](#)

関連項目

不正アクセスや盗聴などの脅威を低減するため、ネットワーク環境に合わせてセキュリティに関する設定を行うことをおすすめします。

- 🔗 [ネットワークの保護 \(P. 764\)](#)

メモ

IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境での利用

- IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境に本機を接続する場合は、認証サーバーが管理している認証方式などを本機側で設定する必要があります。🔗 [IEEE 802.1X を使用する \(P. 786\)](#)

Ethernet を手動で設定する

有線 LAN に接続した場合、初期設定では、Ethernet の通信方式や種類が自動検出されるため、そのまま使用できます。使用環境によっては、周辺機器の設定などに合わせて、Ethernet の設定を変更する必要があります。また、有線 LAN 通信時の消費電力を抑える EEE 機能を使用するかどうかも設定できます。

※本機を 2 系統の有線 LAN に接続している場合は、主回線と副回線のそれぞれに Ethernet の設定があります。必要に応じて、それぞれの設定を変更します。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。副回線の設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Ethernet ドライバー設定] を押す

→ [Ethernet ドライバー設定] 画面が表示されます。

副回線の設定を変更する場合

[環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [Ethernet ドライバー設定] を押します。

4 [自動検出] を [OFF] に設定する

5 通信方式を選択する

通常は [全二重] を選択します。接続するルーターが半二重通信に設定されている場合は、[半二重] を選択します。

6 Ethernet の種類を選択する

7 EEE 機能を使用するかどうかを設定し、[OK] を押す

EEE 機能を使用する場合は、[EEE を使用] を [ON] に設定します。

※ネットワーク環境によっては、本機とネットワークの接続が不安定になることがあります。その場合は、[EEE を使用] を [OFF] に設定すると、症状が改善されることがあります。

8  [設定/登録] ▶ [はい] を押す

→ 設定が反映されます。

副回線の設定を変更した場合は、本機が自動的に再起動します。

DNS を設定する

DNS（Domain Name System）を導入している環境で本機を使用する場合は、DNS サーバーの情報や DHCP オプションを設定します。

DNS を導入していない場合でも、mDNS (multicast DNS) を設定することで、DNS の機能を使用できます。mDNS は Bonjour などで使用されています。

※本機を 2 系統のネットワークに接続している場合に、副回線で DNS を使用して特定のシステムデータ通信を行うときは、ここでの設定とは別に副回線の DNS も設定する必要があります。 [副回線の DNS を設定する \(P. 121\)](#)

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- IPv6 の DNS を設定する場合は、IPv6 アドレスを使用するように設定します。 [IPv6 アドレスを設定する \(P. 114\)](#)

1 本機に管理者ユーザーでログインする [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] を押す

4 DHCP オプションの設定をする

DHCP オプションを設定しない場合は、手順 [5](#) に進みます。

1. [IPv4 設定] または [IPv6 設定] ▶ [DHCP オプション設定] を押す

→ [DHCP オプション設定] 画面が表示されます。

2. 有効にする項目を [ON] に設定する

[ホスト名の取得] (IPv4 のみ)

DHCP サーバーからホスト名 (オプション 12) を取得します。

[DNS の動的更新] (IPv4 のみ)

本機に代わって DHCP サーバーがホスト名の対応付けの情報 (オプション 81) を自動更新します。

[DNS サーバーアドレスの取得]

DHCP サーバーから DNS サーバーアドレス (IPv4 はオプション 6 / IPv6 はオプション 23) を取得します。

[ドメイン名の取得]

DHCP サーバーからドメイン名 (IPv4 はオプション 15 / IPv6 はオプション 24) を取得します。

[WINS サーバーアドレスの取得] (IPv4 のみ)

DHCP サーバーから WINS サーバーアドレス (オプション 44) を取得します。

〔SMTP サーバーアドレスの取得〕（IPv4 のみ）
DHCP サーバーから SMTP サーバーアドレス（オプション 69）を取得します。

〔POP サーバーアドレスの取得〕（IPv4 のみ）
DHCP サーバーから POP3 サーバーアドレス（オプション 70）を取得します。

3. [OK] を押す
4. [上へ] を押す

5 [DNS 設定] を押す

6 DNS サーバーの情報を設定する

- 設定情報については、プロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。パソコンの設定を参考にすることもできます。▶ **パソコンのネットワーク接続情報を確認する (P. 1563)**
- DNS サーバーの情報を設定しない場合は、手順 7 に進みます。

1. [DNS サーバーアドレスの設定] を押す

→ [DNS サーバーアドレスの設定] 画面が表示されます。

2. DNS サーバーの IP アドレスを入力し、[OK] を押す

- [プライマリー DNS サーバー] に、DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
- セカンダリー DNS サーバーを使用している場合は、[セカンダリー DNS サーバー] に、その IP アドレスを入力します。

※セカンダリー DNS サーバーを設定しない場合は、IPv4 は「0.0.0.0」、IPv6 は空欄のままにしておきます。

IPv4 の場合

[プライマリー DNS サーバー] や [セカンダリー DNS サーバー] を押し、選択した状態にしてから入力します。

IPv6 の場合

[プライマリー DNS サーバー] や [セカンダリー DNS サーバー] を押して入力します。

※以下のアドレスは入力できません。

- マルチキャストアドレス（「ff」で始まるアドレス）
- すべて「0」で構成されるアドレス
- リンクローカルアドレス

3. [DNS のホスト名/ドメイン名の設定] を押す

→ [DNS のホスト名/ドメイン名の設定] 画面が表示されます。

4. 本機のホスト名やドメイン名を入力し、[OK] を押す

〔IPv4 と同じホスト名/ドメイン名を使用〕（IPv6 のみ）

IPv4 と IPv6 を併用する場合に、IPv4 で設定したホスト名とドメイン名を IPv6 でも使用するときは、[ON] に設定します。

IPv6 のホスト名とドメイン名を個別に設定する場合は、[OFF] に設定し、[ホスト名] と [ドメイン名] を入力します。

〔ホスト名〕

DNS サーバーに登録するホスト名を半角英数字で入力します。

〔ドメイン名〕

本機が属するドメイン名を半角英数字で入力します。

入力例：

example.com

※IPv6 アドレスの設定で DHCPv6 を使用するように設定されている場合、IPv6 のドメイン名は、DHCPv6 サーバーから取得したドメイン名が使用されます。

5. [DNS の動的更新設定] を押す

→ [DNS の動的更新設定] 画面が表示されます。

6. DNS の動的更新を使用するかどうかを設定し、[OK] を押す

DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新する場合は、[DNS の動的更新] を [ON] に設定します。

IPv6 の場合は、DNS サーバーに登録したいアドレスの種類に応じて、[ステートレスアドレスの登録] / [手動アドレスの登録] / [ステートフルアドレスの登録] を [ON] に設定します。

7

mDNS の設定をする

mDNS を設定しない場合は、手順 8 に進みます。

1. [mDNS 設定] を押す

→ [mDNS 設定] 画面が表示されます。

2. mDNS を使用するかどうかを設定する

IPv4 の場合

mDNS を使用する場合は、[IPv4 mDNS を使用] を [ON] に設定し、mDNS 名を入力します。

IPv6 の場合

mDNS を使用する場合は、[IPv6 mDNS を使用] を [ON] に設定し、IPv4 と同じ mDNS 名を使用するかどうかを設定します。

- IPv4 と IPv6 を併用する場合に、IPv4 で設定した mDNS 名を IPv6 でも使用するときは、[IPv4 と同じ mDNS 名を使用] を [ON] に設定します。
- IPv6 の mDNS 名を個別に設定する場合は、[IPv4 と同じ mDNS 名を使用] を [OFF] に設定し、mDNS 名を入力します。

3. [OK] を押す

8

DNS サーバーとの通信を TLS で暗号化する

- DNS サーバーとの通信を TLS で暗号化することで、セキュリティを高めることができます。
- 暗号化での通信に失敗した場合は、暗号化されていない通信には切り替わらず、DNS サーバーに接続できなくなります。
- DNS サーバーとの通信を TLS で暗号化しない場合は、手順 9 に進みます。

1. [DNS 暗号化設定] を押す

→ [DNS 暗号化設定] 画面が表示されます。

2. [DNS over TLS を使用] を [ON] に設定する

3. [使用するポート番号] と [検証するホスト名] を入力する

[検証するホスト名] には、DNS サーバーから取得した証明書の SAN (Subject Alternative Name) に記載されているホスト名を入力します。

4. [OK] を押す

9

[設定/登録] ▶ [はい] を押す

→ 設定が反映されます。

副回線の DNS を設定する

EJ83-02C

本機を 2 系統のネットワークに接続している場合に、副回線で DNS を使用して特定のシステムデータ通信を行うときは、副回線で使用する DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

※副回線の DNS 設定は、特定のシステムデータ通信にのみ使用可能で、通常のインターネット接続では使用できません。
※特定のシステムデータ通信以外の用途で副回線に DNS を使用する場合は、主回線の DNS 設定に、副回線で使用する DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 [🔗DNS を設定する \(P. 118\)](#)

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 [🔗パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)
Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

1 本機に管理者ユーザーでログインする [🔗ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す [🔗 \[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [システムデータ通信用設定] ▶ [DNS サーバーアドレスの設定] を押す

→ [DNS サーバーアドレスの設定] 画面が表示されます。

4 DNS サーバーの IP アドレスを入力し、[OK] を押す

- [プライマリー DNS サーバー] を押し、選択した状態にしてから、DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
- セカンダリー DNS サーバーを使用している場合は、[セカンダリー DNS サーバー] を押し、選択した状態にしてから、その IP アドレスを入力します。

※セカンダリー DNS サーバーを設定しない場合は、「0.0.0.0」のままにしておきます。

- 設定情報については、プロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。パソコンの設定を参考にすることもできます。 [🔗パソコンのネットワーク接続情報を確認する \(P. 1563\)](#)

5  [設定/登録] ▶ [はい] を押す

→ 設定が反映されます。

SMB を設定する

本機では、スキャンデータを共有フォルダーに保存する場合などに、通信プロトコルの SMB を使用します。ネットワーク環境によっては、本機のコンピューター名とワークグループ名の設定や、SMB クライアントとして接続するときの設定をする必要があります。

① コンピューター名とワークグループ名を設定する (P. 122)

② SMB クライアントの設定をする (P. 122)

コンピューター名とワークグループ名を設定する

ネットワーク上で本機を識別するための名前であるコンピューター名と、本機が所属するワークグループ名を設定します。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [コンピューター名/ワークグループ名の設定] を押す

→ [コンピューター名/ワークグループ名の設定] 画面が表示されます。

4 本機のコンピューター名とワークグループ名を入力し、[OK] を押す

半角英数字で入力します。

WINS を導入している環境の場合

- [NetBIOS を使用] を [ON] に設定します。
- アスタリスク (*) で始まる名前は WINS サーバーに登録できません。

5  [設定/登録] ▶ [はい] を押す

→ 本機が再起動し、設定が反映されます。

SMB クライアントの設定をする

本機を SMB クライアントとして SMB サーバー（共有フォルダーがあるパソコンなど）に接続するときの設定や、使用する SMB バージョンを設定します。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)
Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [SMB クライアント設定] を押す

→ [SMB クライアント設定] 画面が表示されます。

4 SMB サーバーに接続するときの設定をし、[OK] を押す

[認証タイプ]

SMB サーバーの認証プロトコルに合わせて選択します。

[接続には SMB 署名が必要]

SMB サーバーへの接続時に、SMB パケット署名を要求する場合は、[ON] に設定します。

[接続には暗号化が必要]

SMB v3.0 暗号化通信に対応した SMB サーバーにのみ接続する場合は、[ON] に設定します。

[タイムアウト]

SMB サーバーが応答するまでの待ち時間を入力します。

※スキャンデータの保存などが完了する前にタイムアウトになる場合は、待ち時間を長く設定します。

5 [SMB クライアントのバージョン指定] を押す

→ [SMB クライアントのバージョン指定] 画面が表示されます。

6 接続する SMB サーバーと同じバージョンに設定し、[OK] を押す

手順 [4](#) で、[接続には暗号化が必要] を [ON] に設定した場合は、3.0 以降のバージョンに設定します。

7  [設定/登録] ▶ [はい] を押す

→ 設定が反映されます。

WINS を設定する

EJ83-02F

NetBIOS と TCP/IP を併用しているネットワーク環境で使用する場合は、NetBIOS 名を IP アドレスに変換する WINS (Windows Internet Name Service) を設定します。

WINS を使用するには、WINS サーバーを指定します。IPv6 環境では使用できません。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- コンピューター名とワークグループ名を設定します。▶ [コンピューター名とワークグループ名を設定する \(P. 122\)](#)

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [WINS 設定] を押す

→ [WINS 設定] 画面が表示されます。

4 [WINS による名前解決] を [ON] に設定する

5 WINS サーバーの IPv4 アドレスを入力し、[OK] を押す

DHCP サーバーから WINS サーバーの IPv4 アドレスを取得した場合は、取得したアドレスが優先されます。▶ [DNS を設定する \(P. 118\)](#)

6  [設定/登録] ▶ [はい] を押す

→ 設定が反映されます。

LDAP サーバーを登録する

EJ83-02H

宛先の検索に LDAP サーバーを使用する場合は、LDAP サーバーの情報を本機に登録します。最大 5 つの LDAP サーバーを登録できます。

ここでは、操作パネルを使用して登録する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して登録することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)
管理者権限が必要です。

必要な準備

- LDAP サーバーをホスト名で指定する場合は、DNS サーバーが利用できることを確認します。
- LDAP サーバーを IP アドレスで指定する場合は、利用する DNS サーバーの正引き／逆引きの対応状況を確認します。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [宛先設定] ▶ [LDAP サーバーの登録] を押す

→ [LDAP サーバーの登録] 画面が表示されます。

4 [登録] を押す

→ LDAP サーバーの情報を設定する画面が表示されます。

5 サーバー名とサーバーアドレスを設定する

- [サーバー名] に、LDAP サーバーを識別するための名前を入力します。
- [サーバーアドレス] に、LDAP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を半角英数字で入力します。
[入力例](#)：ホスト名の場合
ldap.example.com

6 検索開始位置を指定し、[次へ] を押す

[検索開始位置]

ディレクトリー情報ツリー (DIT) の検索開始位置を指定します。

- Windows Server の場合は、Active Directory のドメイン名のドット区切りされた各文字列に「DC=」を付加し、カンマで区切って入力します。
[入力例](#)：Active Directory におけるドメイン名が「john.example.com」の場合
DC=john, DC=example, DC=com
- Lotus Notes Domino の場合は、ディレクトリーツリー上のノードの dn (識別名) を入力します。
[入力例](#)：

ou=team1, ou=salesdept, o=canon, c=jp

- サーバーが LDAPv3 の場合は、検索開始位置の指定を省略できます。省略した場合は、自動で任意の位置から検索を開始します。
- サーバーが LDAPv2 の場合は、検索開始位置の指定が必要です（省略できません）。

7 必要に応じて、LDAP サーバーの詳細情報を設定する

[TLS を使用]

LDAP サーバーとの通信を TLS で暗号化する場合は、[ON] に設定します。

※手順 9 の [認証情報] で、[使用する] または [使用する (セキュリティ認証)] を選択した場合にのみ有効です。

[ポート番号]

LDAP サーバーとの通信で使用するポート番号を入力します。

[ポート番号] を押し、選択した状態にしてから入力します。

[検索する宛先の上限数]

宛先を何件まで検索できるようにするかを入力します。

[検索する宛先の上限数] を押し、選択した状態にしてから入力します。

[検索のタイムアウト]

検索開始からタイムアウトするまでの時間を秒単位で入力します。

[検索のタイムアウト] を押し、選択した状態にしてから入力します。

8 [次へ] を押す

→ LDAP サーバーへの認証情報を設定する画面が表示されます。

9 LDAP サーバーへの認証情報を設定する

ログイン情報を使用して認証する場合

認証に使用するユーザー名とパスワードを入力します。検索時に認証画面を表示して、その画面でユーザー名とパスワードを入力するように設定することもできます。

1. [認証情報] で、[使用する] または [使用する (セキュリティ認証)] を押す

入力した認証パスワードを使用する場合

[使用する] を押し、LDAP バージョンと文字コードの組み合わせを選択します。

認証パスワードに kerberos プロトコルで取得したデータを使用する場合 (LDAPv3 のみ)

[使用する (セキュリティ認証)] を押します。

- 本機と LDAP サーバーの時刻を同期する必要があります。
- 手順 5 の [サーバーアドレス] で、IP アドレスを設定した場合は、利用する DNS サーバーが逆引きに対応している必要があります。
- LDAP バージョンと文字コードの組み合わせは、自動的に [ver.3 (UTF-8)] に設定されます。

2. 認証に使用するユーザー名／パスワード／ドメイン名を入力する

[ユーザー名]

LDAP サーバーに登録されている本機のユーザー名を入力します。

手順 1 で [使用する] を選択した場合

- Windows Server の場合は、「(Windows のドメイン名) \ (Windows のユーザー名)」の形式で入力します。

入力例：

example\user1

- Lotus Notes Domino の場合は、認証を行うユーザーの dn（識別名）を入力します。

入力例：

cn=user1, ou=team1, o=salesdept

手順 1 で [使用する (セキュリティ認証)] を選択した場合

Windows のユーザー名を入力します。

入力例：

user1

[パスワード]

LDAP サーバーに登録されているパスワードを入力します。

パスワードを入力すると、[確認入力] 画面が表示されます。再度同じパスワードを入力します。

[ドメイン名] (手順 1 で [使用する (セキュリティ認証)] を選択した場合のみ)

Active Directory のディレクトリツリー名を入力します。

入力例：

example.com

3. [検索時に認証画面を表示] で、検索時に認証画面を表示するかどうかを設定する

- 検索時に認証画面を表示して、その画面でユーザー名とパスワードを入力するように設定する場合は、[ON] に設定します。
- 手順 2 で入力したユーザー名とパスワードを使用して認証する場合は、[OFF] に設定します。

ログイン情報を使用せずに匿名で認証する場合

[認証情報] で [使用しない] を押し、LDAP バージョンと文字コードの組み合わせを選択します。

10 必要に応じて、[認証情報] の [接続確認] を押す

LDAP サーバーに接続できるかどうかを確認することができます。

11 [OK] を押す

→ LDAP サーバーが登録されます。

SNMP を設定する

EJ83-02J

SNMP (Simple Network Management Protocol) は、MIB と呼ばれる管理情報データベースにアクセスして、ネットワーク上の通信機器を監視／制御するためのプロトコルです。本機の使用目的や環境に合わせて設定します。

本機は SNMPv1 と SNMPv3 に対応しています。両方を併用することもできます。Trap 通知には対応していません。

SNMP 管理ソフトウェアを導入している環境の場合は、そのソフトウェアを使用してパソコンから本機の設定／監視／制御ができます。詳細については、使用しているソフトウェアのマニュアルを参照してください。

SNMPv1

コミュニティ名と呼ばれる情報で通信範囲を決定します。コミュニティ名は平文でネットワークに送信されるため、セキュリティ面では脆弱です。セキュリティを優先する場合は、SNMPv1 を無効にして SNMPv3 を使用します。SNMPv1 を無効にすると、プリンタードライバーによる本機からの情報取得など、一部の機能が使用できなくなります。

SNMPv3

SNMPv3 用のユーザー情報を使用して通信します。ユーザー情報には、認証や暗号化の設定ができるため、強固なセキュリティ体制でネットワーク上の通信機器を監視／制御できます。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

※リモート UI で SNMPv3 の設定をする場合は、TLS を有効にする必要があります。▶ [TLS を使用する \(P. 777\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [SNMP 設定] を押す

→ [SNMP 設定] 画面が表示されます。

4 SNMPv1 の設定をする

SNMPv1 を使用する場合

1. [SNMPv1 を使用] を [ON] に設定する
2. コミュニティの設定をする
 - コミュニティごとに、MIB アクセス権限 (MIB のオブジェクトへの読み込み／書き込みの権限) を設定できます。
 - SNMPv1 と SNMPv3 を併用する場合は、MIB アクセス権限を [読込のみ] に設定することをおすすめします。SNMPv1 で [読込/書込] (フルアクセス権限) を設定するとほぼすべての操作が可能となるため、SNMPv3 の特徴である強固なセキュリティ機能を有効利用できなくなります。

コミュニティ名の設定をする場合

[コミュニティ名 1 設定] または [コミュニティ名 2 設定] を押します。

表示された画面で、[コミュニティ名 1] または [コミュニティ名 2] を [ON] に設定し、MIB アクセス権限とコミュニティ名を設定して、[OK] を押します。
コミュニティ名は半角英数字で入力します。

専用コミュニティの設定をする場合

専用コミュニティとは、キヤノンのデバイス管理ソフトウェア用に用意されたコミュニティです。

専用コミュニティを使用する場合は、[専用コミュニティ設定] を押します。

表示された画面で、[専用コミュニティ] を [ON] に設定し、MIB アクセス権限を設定して、[OK] を押します。

※詳細については、使用しているソフトウェアのマニュアルを参照してください。

SNMPv1 を使用しない場合

[SNMPv1 を使用] を [OFF] に設定します。

5

SNMPv3 の設定をする

SNMPv3 を使用する場合

1. [SNMPv3 を使用] を [ON] に設定する
2. [Administrator 設定] を押す

→ [Administrator 設定] 画面が表示されます。

ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーを無効にしている場合は、手順 4 に進みます。

3. Administrator の設定をし、[OK] を押す

→ [SNMP 設定] 画面に戻ります。

- ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーの情報を SNMPv3 で使用する場合は、[Administrator を使用] を [ON] に設定します。
- ユーザー名「Administrator」に設定されているパスワードとは異なるパスワードを使用する場合は、[認証と同じパスワードを使用] を押して選択を解除してから、暗号化パスワードを入力します。

4. [ユーザー設定] ▶ [登録] を押す

→ [登録] 画面が表示されます。

5. ユーザーの設定をし、[次へ] を押す

[ユーザー名]

ユーザー名を半角英数字で入力します。

※「Administrator」というユーザー名で登録することはできません。

[MIB アクセス権限]

指定したユーザーごとに、MIB のオブジェクトへの読み込み／書き込みの権限を設定します。

読み込み／書き込みの両方を許可する場合は、[読込/書込] を選択します。

[セキュリティ設定]

認証と暗号化の有無の組み合わせを選択します。

6. アルゴリズムとパスワードの設定をし、[OK] を押す

[認証アルゴリズム]

[セキュリティ設定] で、[認証あり/暗号化あり] または [認証あり/暗号化なし] を選択した場合は、使用環境に合わせて認証アルゴリズムを選択します。

[認証パスワード]

認証に使用するパスワードを入力します。パスワードを入力すると、[確認入力] 画面が表示されます。再度同じパスワードを入力します。

[暗号化アルゴリズム]

[セキュリティ設定] で、[認証あり/暗号化あり] を選択した場合は、使用環境に合わせて暗号化アルゴリズムを選択します。

[暗号化パスワード]

暗号化に使用するパスワードを入力します。パスワードを入力すると、[確認入力] 画面が表示されます。再度同じパスワードを入力します。

1. [OK] を押す

→ [SNMP 設定] 画面に戻ります。

SNMPv3 を使用しない場合

[SNMPv3 を使用] を [OFF] に設定します。

7

プリンター管理情報を取得するかどうかを設定し、[OK] を押す

プロトコルやポートなど、本機のプリンター管理情報を定期的に取得する場合は、[ホストからプリンター管理情報を取得] を [ON] に設定します。

8

[ 設定/登録] ▶ [はい] を押す

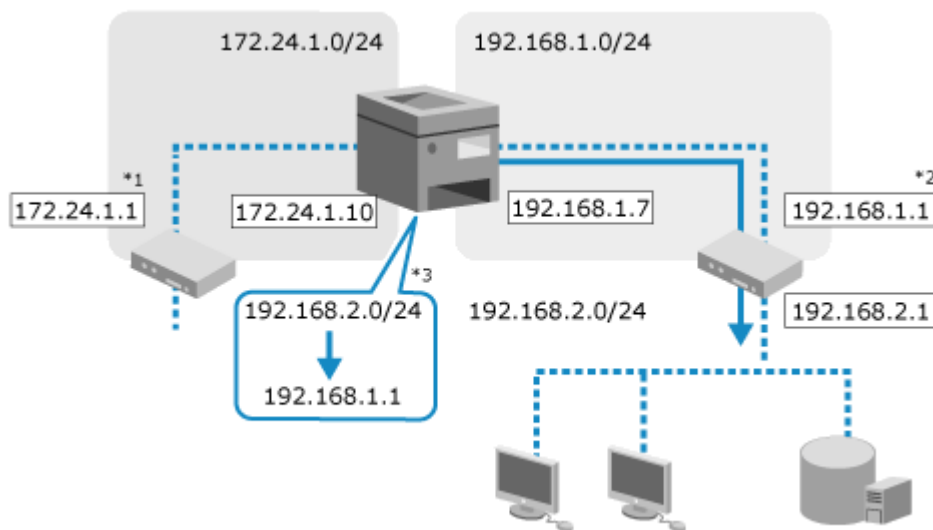
→ 本機が再起動し、設定が反映されます。

静的ルーティングを設定する

EJ83-02K

ネットワーク経路を手動で指定する「静的ルーティング」を設定します。最大 16 個の静的ルーティング情報を登録できます。

たとえば、本機を 2 系統のネットワークに接続している場合に、主回線と副回線のそれぞれがルーターを介して他のネットワークに接続している環境で本機からデータを送信すると、通常は主回線のゲートウェイを介した送信が優先されます。静的ルーティングを設定すると、そのような場合に、副回線のゲートウェイを介してデータを送信するといったことが可能になります。



- *1 主回線のゲートウェイ
- *2 副回線のゲートウェイ
- *3 静的ルーティング情報

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
 パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 [▶ パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)
 Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- ルーターを介して他のネットワークに接続する場合は、本機の IP アドレス設定画面で、静的ルーティングを設定するゲートウェイアドレスを確認しておきます。
 - ▶ [IPv4 アドレスを設定する \(P. 110\)](#)
 - ▶ [副回線の IPv4 アドレスを設定する \(P. 112\)](#)

1 本機に管理者ユーザーでログインする [▶ ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[\[設定/登録\]](#) を押す [▶ \[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

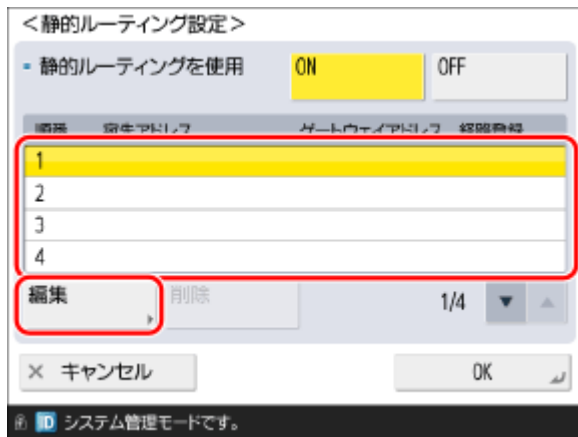
→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [静的ルーティング設定] を押す

→ [静的ルーティング設定] 画面が表示されます。

4 [静的ルーティングを使用] を [ON] に設定する

5 静的ルーティング情報が未登録の番号を選択し、[編集] を押す



→ 静的ルーティング情報を登録する画面が表示されます。

登録した番号が経路の優先順位となります。

6 IP アドレスとプレフィックス長を入力し、[次へ] を押す

入力する項目を押し、選択した状態にしてから入力します。

7 ゲートウェイアドレスを入力し、[OK] を押す

→ [静的ルーティング設定] 画面に戻ります。

8 [OK] を押す

9 [設定/登録] ▶ [はい] を押す

→ 設定が反映されます。

メモ

静的ルーティングが正しく設定できたか確認する

- 正しく設定できている場合は、[静的ルーティング設定] 画面の [経路登録] に [成功] と表示されます。
※正しく設定できていない場合は [失敗] と表示されて、画面下にエラーメッセージが表示されます。

SNTP を設定する

ネットワーク上のタイムサーバーから時刻情報を取得する場合は、SNTP（Simple Network Time Protocol）を設定します。SNTP を設定すると、一定間隔でタイムサーバーを確認して時刻を調整するため、本機の時刻を正確に保つことができます。本機は、NTP サーバー（NTPv3）と SNTP サーバー（SNTPv3 および v4）の両方に対応しています。

※SNTP サーバーとの通信が必要なサービスを使用する場合などは、自動的に SNTP の使用が有効に設定されることがあります。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)
Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- 協定世界時（UTC）を基準に時刻を調整するため、タイムゾーンを設定します。▶ [日付／時刻を設定する \(P. 870\)](#)
- NTP/SNTP サーバーの IP アドレスを手元に用意します。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [SNTP 設定] を押す

→ [SNTP 設定] 画面が表示されます。

4 [SNTP を使用] を [ON] に設定する

5 [ポーリング間隔] に、サーバーを確認して時刻を調整する間隔を入力する

6 [NTP サーバーアドレス] に、NTP/SNTP サーバーの IP アドレスを入力する

DNS サーバーを使用している場合は、IP アドレスの代わりにホスト名または FQDN を入力することもできます。

入力例：
ntp.example.com

7 [OK] を押す

8  [設定/登録] ▶ [はい] を押す

→ 設定が反映されます。

メモ

NTP/SNTP サーバーと通信できるか確認する

- [SNTP 設定] 画面の [NTP サーバー確認] を押すと、通信状況を確認できます。正しく通信できている場合は、[OK] と表示されます。

※通信状況を確認するのみで、時刻は調整されません。

SLP 通信を設定する

EJ83-02R

SLP (Service Location Protocol) を使用して通信を行うソフトウェアを導入している環境で本機を使用する場合は、必要に応じて SLP 通信の設定をします。

※設定が必要かどうかは、使用しているソフトウェアのマニュアルを参照してください。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)
Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [マルチキャスト探索設定] を押す
→ [マルチキャスト探索設定] 画面が表示されます。
- 4 [探索応答] を [ON] に設定し、本機が所属するスコープ名を入力して、[OK] を押す
- 5  [設定/登録] ▶ [はい] を押す
→ 設定が反映されます。

メモ

本機の電源状態をソフトウェアに通知する場合

- パソコンからリモート UI を使用して、スリープ通知の設定をします。
 - ▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)
 - ▶ [\[スリープ通知設定\] \(P. 996\)](#)

BMLinkS を設定する

BMLinkS（Business Machine Linkage Service：ビーエムリンクス）は、異なるメーカーのオフィス機器を共通の仕様を用いて接続する技術です。BMLinkS を導入している環境で本機を使用する場合は、BMLinkS の機能を使用するための設定をします。

※IPv6 環境では使用できません。

※BMLinkS の詳細については、BMLinkS のホームページを参照してください。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [BMLinkS 設定] を押す

→ [BMLinkS 設定] 画面が表示されます。

4 [BMLinkS を使用] を [ON] に設定する

5 BMLinkS の詳細を設定し、[OK] を押す

[TLS を使用]

本機とパソコンとの通信を TLS で暗号化する場合は、[ON] に設定します。

[受け付けるジョブの種類]

パソコンからプリントできるデータの種類を設定します。

暗号化セキュアプリントのデータに限定する場合は、[機密印刷のみ] に設定します。

※セキュアプリント／暗号化セキュアプリントの詳細については、以下を参照してください。

▶ [暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント \(P. 372\)](#)

[Discovery 送信間隔]

本機の機器情報をパソコンに送信する間隔を入力します。

機器情報は、管理者が本機の状態（エラーやトナー残量など）を監視する場合などに使用します。

[設置場所の情報]

必要に応じて、本機の設置場所や所属部門などの情報を入力します。

パソコンから本機を検索するときに探しやすい情報を入力します。

6  [設定/登録] ▶ [はい] を押す

→ 本機が再起動し、設定が反映されます。

ネットワークの接続状況や設定を確認する

ネットワークに適切に接続されているか確認するために、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをします。リモート UI を使用する場合や、ファイアウォールを設定する場合などは、本機の IP アドレスや MAC アドレスの情報が必要です。これらの現在の設定内容を確認します。

- ④ ネットワーク内の機器に接続できるか確認する (P. 137)
- ④ 本機の IP アドレスを確認する (P. 138)
- ④ 有線 LAN の MAC アドレスを確認する (P. 138)
- ④ 無線 LAN の MAC アドレスや接続情報を確認する (P. 139)

メモ

- IP アドレスが「0.0.0.0」や「取得できませんでした。」と表示される場合は、適切に設定されていません。IP アドレスを設定しなおします。
 - ➡ IPv4 アドレスを設定する (P. 110)
 - ➡ IPv6 アドレスを設定する (P. 114)
- IP アドレスが適切に設定されていても、本機をスイッチングハブなどに接続していると、ネットワークに接続できないことがあります。その場合は、通信開始までの待機時間を設定して接続しなおします。➡ **【起動時の接続待機時間】 (P. 984)**
- ネットワーク設定リストをプリントして、ネットワークの設定内容を確認することもできます。➡ **登録情報や設定をプリントする (P. 907)**

ネットワーク内の機器に接続できるか確認する

ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**

以下の手順で操作パネルから PING コマンドを実行して、ネットワーク内の機器に接続できるか確認することもできます。Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

※本機を 2 系統のネットワークに接続している場合、PING コマンドで接続確認ができるのは主回線のみです。

必要な準備

- IPv4 の場合は、接続するネットワーク内の機器の IPv4 アドレスを手元に用意します。
- IPv6 の場合は、接続するネットワーク内の機器の IPv6 アドレスまたはホスト名を手元に用意します。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ➡ **ログイン方法 (P. 191)**

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 **設定/登録** を押す ➡ **【ホーム】画面 (P. 156)**

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

- 3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定] または [IPv6 設定] ▶ [PING コマンド] を押す

→ [PING コマンド] 画面が表示されます。

- 4 ネットワーク内の機器の IP アドレスを入力し、[実行] を押す

→ 正しく接続できた場合は、[ホストから応答がありました。] と表示されます。

IPv6 の場合は、IP アドレスの代わりにホスト名を入力することもできます。

本機の IP アドレスを確認する

本機の IPv4/IPv6 アドレスなどの設定内容は、各設定画面で直接確認します。

- ④ IPv4 アドレスを設定する (P. 110)
- ④ IPv6 アドレスを設定する (P. 114)

IPv4 アドレスの場合は、以下の手順で [カウンター/機器情報] 画面で確認することもできます。

- 1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[カウンター/機器情報] キーを押す ④ [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [カウンター/機器情報] 画面が表示されます。

- 2 IPv4 アドレスを確認する



本機を 2 系統のネットワークに接続している場合は、主回線と副回線の IPv4 アドレスが左右に並んで表示されます。

有線 LAN の MAC アドレスを確認する

有線 LAN 接続時の本機の MAC アドレスを確認します。

※本機を 2 系統の有線 LAN に接続している場合は、主回線と副回線のそれぞれに MAC アドレスがあります。必要に応じて、それぞれの MAC アドレスを確認します。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。④ パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)
Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする [🔗ログイン方法 \(P. 191\)](#)
 - 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[\[⚙️ 設定/登録\]](#) を押す [🔗 \[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
 - 3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Ethernet ドライバー設定] を押す
→ [Ethernet ドライバー設定] 画面が表示されます。
- 副回線の MAC アドレスを確認する場合
[環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [Ethernet ドライバー設定] を押します。
- 4 MAC アドレスを確認する

無線 LAN の MAC アドレスや接続情報を確認する

無線 LAN 接続時の本機の MAC アドレスや接続情報のほか、セキュリティに関する設定なども確認できます。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 [🔗パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)
Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする [🔗ログイン方法 \(P. 191\)](#)
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[\[⚙️ 設定/登録\]](#) を押す [🔗 \[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [無線 LAN] ▶ [無線 LAN 情報] を押す
→ [無線 LAN 情報] 画面が表示されます。
- 4 MAC アドレスや設定内容を確認する
→ [詳細情報] を押すと、WPA-PSK/WPA2-PSK/WPA3-SAE の詳細情報が表示されます。

パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール

EJ83-02W

プリント／リモートスキャン／PC ファクスなど、本機の機能を使用するパソコンに、関連ソフトウェアや各種ドライバーをインストールします。

インストールは、本機にオプション機器を取り付けてから実行します。

インストール方法

キヤノンのソフトウェアダウンロードサイトで動作環境などを確認の上、最新版のソフトウェア／ドライバーをダウンロードしてインストールします。

<https://canon.jp/download/>

※CD/DVD-ROM が付属する場合は、CD/DVD-ROM を使用してインストールすることもできます。

インストール方法の詳細については、オンラインマニュアルサイトでソフトウェア／ドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

注意／制限事項

動作環境について

- OS によっては、一部対応していないソフトウェア／ドライバーがあります。最新の OS の対応状況については、キヤノンホームページで確認できます。

<https://canon.jp/download/>

- 機種や使用環境によっては、ソフトウェア／ドライバーの一部の機能が使用できないことがあります。

本機のファイアウォールが設定されている場合

本機を使用するパソコンは、本機との通信が許可されている必要があります。通信が許可されていないパソコンの場合は、ソフトウェア／ドライバーをインストールすることや、本機の機能を使用することができません。🔗**ファイアウォールを設定する (P. 765)**

プリンタードライバーのインストール後に本機の IP アドレスが変更された場合

- Windows の場合は、新しいポートを追加する必要があります。🔗**ポートを追加する (P. 340)**
- macOS の場合は、パソコンに本機を登録しなおす必要があります。本機を登録する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

※DHCP を使用して本機の IP アドレスを自動取得している場合は、IP アドレスが自動的に変更されることがあります。

メモ

ソフトウェア／ドライバーをインストールせずに本機の機能を使用する（macOS のみ）

- macOS に標準搭載されている AirPrint 機能を使用して、ソフトウェアやドライバーをインストールせずに、プリント／スキャン／ファクス送信することもできます。🔗**AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する (P. 668)**

基本操作

基本操作	143
電源を入れる／切る	144
電源を入れる	145
電源を切る	146
再起動する	148
消費電力を抑える - スリープモード	150
操作パネルの使用方法	152
操作パネルに表示される画面	153
[ホーム] 画面	156
操作パネルの操作方法	161
文字を入力する	164
タイムラインの表示と操作	166
操作パネルの画面のカスタマイズ	170
[ホーム] 画面をカスタマイズする	172
[ホーム] 画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン	174
スキャン／ファクス／コピーの画面をカスタマイズする	178
「よく使う設定」を登録する／呼び出す	181
初期設定を変更する	186
表示言語を切り替える	188
自分に合った表示／操作性に変更する - 個人設定	189
ログイン方法	191
自分だけの画面／データを利用する - パーソナライズ	194
原稿のセット方法	196
ロゴ入り用紙にコピーするときの原稿の向き	202
ホチキスするときの原稿の向きとホチキス位置の設定（オプション）	205
パンチ穴をあけるときの原稿の向き（オプション）	209
用紙のセット方法	211
給紙カセットに用紙をセットする	212
手差しトレイに用紙をセットする	221
長尺用給紙トレイ・Aに用紙をセットする（オプション）	224
封筒をセットする準備と向き	226
封筒をセットする向き - 給紙カセット	228
封筒をセットする向き - 手差しトレイ	233
はがきをセットする向き	236

ロゴ入り用紙をセットする向き	240
用紙サイズと用紙種類の設定	246
給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する	247
手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する	251
手差しトレイで使用する用紙サイズと用紙種類を固定する	255
手差しトレイでよく使用する用紙を登録する	259
定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙	263
機能ごとに適切な給紙部を使用する	265
排紙先の設定	267
宛先の登録 - アドレス帳	270
アドレス帳の機能と画面	271
宛先表の種類と使用できるアドレス帳	273
アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル	276
アドレス帳にグループを登録する - 操作パネル	284
アドレス帳の宛先を編集／削除する - 操作パネル	288
アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI	291
アドレス帳にグループを登録する - リモート UI	297
アドレス帳の宛先を編集／削除する - リモート UI	301
宛先に設定できる項目	305
宛先の指定	313
宛先を指定する - アドレス帳	315
宛先を指定する - 直接入力	318
宛先を指定する - LDAP サーバー	320
宛先を指定する - モバイル機器のアドレス帳	322
宛先を指定する - 送信履歴	323
USB メモリーを差し込む／取り外す	325
音量の調整	327
音量を調整する（ファクス機能がある場合）	328
音量を調整する（ファクス機能がない場合）	330
[音量設定] ／ [その他の音量設定] 画面	331

基本操作

本機を使用するときの基本となる、各機能に共通する操作や画面の見かたについて説明します。

電源の管理／節電

節電や清掃のために電源を切ったり、設定の反映のために再起動したりします。
消費電力を抑えるスリープモードも利用できます。

- 電源を入れる／切る (P. 144)
- 消費電力を抑える - スリープモード (P. 150)

操作パネルの操作

スキャンやコピーなどの機能を利用する場合や、本機の設定を変更する場合は、操作パネルを使用して実行／設定します。

- 操作パネルの使用方法 (P. 152)

ログイン画面が表示された場合は、操作を続けるために、必要な情報を入力してログインします。

- ログイン方法 (P. 191)

原稿／用紙のセット

スキャン／ファクス送信／コピーする原稿は、原稿台ガラスまたはフィーダーにセットします。
プリント／コピーで使用する用紙は、用途に応じて給紙カセットまたは手差しトレイにセットします。

- 原稿のセット方法 (P. 196)
- 用紙のセット方法 (P. 211)

宛先の登録／指定

スキャンデータやファクスを送信／保存するときの宛先を、本機のアドレス帳に登録します。
宛先はアドレス帳から指定するだけでなく、直接入力や送信履歴の利用など、いろいろな方法で指定できます。

- 宛先の登録 - アドレス帳 (P. 270)
- 宛先の指定 (P. 313)

USB メモリーの使用

USB メモリーと本機でデータをやりとりする場合は、機器の破損やエラーを防止するために、正しい方法で取り扱います。

- USB メモリーを差し込む／取り外す (P. 325)

画面や音量のカスタマイズ

本機をより便利で快適に使用するために、操作パネルの画面をカスタマイズして操作しやすくしたり、本機から鳴る音の音量を調整したりできます。

- 操作パネルの画面のカスタマイズ (P. 170)
- 音量を調整する（ファクス機能がある場合） (P. 328)
- 音量を調整する（ファクス機能がない場合） (P. 330)

電源を入れる／切る

EJ83-02Y

本機の電源を入れる場合は、電源スイッチを使用して必ず手動で操作します。

電源を切る場合や、再起動する場合は、電源スイッチのほか、パソコンからリモート UI を使用して操作できます。

- ④ 電源を入れる (P. 145)
- ④ 電源を切る (P. 146)
- ④ 再起動する (P. 148)

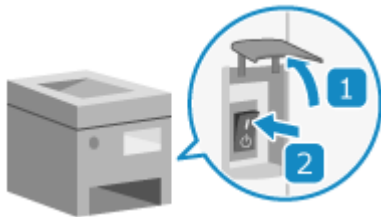
電源を入れる

本機の電源を入れる場合は、本機前面にある電源スイッチを押します。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認する

2 電源スイッチカバーを開けて、電源スイッチの「**I**」側を押す [▶ 前面 \(P. 33\)](#)

電源スイッチがタテ向きの場合



電源スイッチがヨコ向きの場合



→ ディスプレーに起動画面が表示されます。 [▶ 操作パネル \(P. 37\)](#)

3 電源スイッチカバーを閉める

メモ

起動後に表示される画面を変更する

- 電源を入れて起動画面が表示されたあとは、初期設定では「ホーム」画面が表示されます。他の機能の画面を表示するように設定できます。 [▶ 【起動/復帰後に表示する画面】 \(P. 965\)](#)

USB ケーブルで Mac と本機を接続している場合

- 本機の電源を入れると、Mac も同時に起動することがあります。
- Mac が起動しないようにするには、USB ケーブルを取り外してから本機の電源を入れます。また、USB ハブを使用し接続することで、Mac が起動しないようになる場合もあります。

電源を切る

本機前面にある電源スイッチを使用するほか、離れた場所からリモート UI を使用しても、電源を切ることができます。

④電源スイッチを使用して電源を切る (P. 146)

④リモート UI を使用して電源を切る (P. 147)

重要

電源を切る前に本機の動作状況を確認します

- 電源を切るときは、ストレージを保護するための処理が行われます。そのため、作業中に電源を切ると、作業が中断されたり、データが破損したりすることがあります。
 - ファクス/Iファクス機能を使用しているときは、電源を切らないでください。受信ができなくなります。
 - 原稿のスキャン時や用紙のプリント時に電源を切ると、紙づまりの原因になることがあります。
 - オプションのデータストレージキットが装着された状態で「全データ/設定の初期化」を実行しているあいだは、電源を切らないでください。ストレージが破損することがあります。電源を切る場合は、「ホーム」画面から「プリント」を押し、「拡張ストレージの準備中です。しばらくたってから、もう一度操作してください。」のメッセージが表示されていないことを確認してから行ってください。④すべての設定/データを初期化する (P. 951)

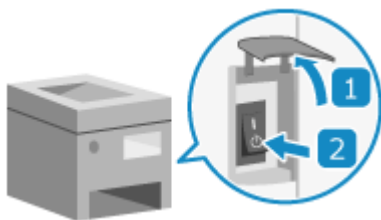
電源が切れる前に電源プラグを抜くと故障の原因になります

- 電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。電源プラグを抜くときは、操作パネルのディスプレイおよび各ランプが3秒以上消灯していることを確認してから抜きます。④操作パネル (P. 37)

電源スイッチを使用して電源を切る

1 電源スイッチカバーを開けて、電源スイッチの「」側を押す ④前面 (P. 33)

電源スイッチがタテ向きの場合



電源スイッチがヨコ向きの場合



→ 操作パネルのディスプレイおよび各ランプが消灯し、電源が切れます。④操作パネル (P. 37)

電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。電源が切れるまで、電源プラグを抜かないようにします。

2 電源スイッチカバーを閉める

メモ

再度電源を入れる

- ディスプレーおよび各ランプ消灯後、10 秒以上経過してから電源を入れなおします。
- 高速起動の設定が有効な場合は、ディスプレーおよび各ランプ消灯後、20 秒以上経過してから電源を入れなおします。

➡ [主電源 ON 時の高速起動] (P. 976)

※初期設定では、高速起動の設定は有効になっています。

※20 秒以内に電源を入れなおした場合、高速起動せずに通常起動となります。

リモート UI を使用して電源を切る

1 リモート UI にログインする ➡ リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [デバイス管理] ▶ [リモートシャットダウン] をクリックする

→ [リモートシャットダウン] 画面が表示されます。

4 [実行] をクリックする

→ シャットダウンの確認メッセージが表示されます。

5 [OK] をクリックする

→ シャットダウン処理実行を通知する画面が表示され、電源が切れます。

電源が切れると、リモート UI の通信は切断されます。

再起動する

EJ83-032

本機の設定を変更した場合は、設定項目によっては変更を反映するために、本機を再起動する必要があります。
操作パネル／リモート UI のどちらで設定を変更した場合も、電源スイッチ／リモート UI を使用して、その場で再起動できます。

④電源スイッチを使用して再起動する (P. 148)

④リモート UI を使用して再起動する (P. 149)

重要

再起動する前に本機の動作状況を確認します

- 再起動するときは、ストレージを保護するための処理が行われます。そのため、作業中に再起動すると、作業が中断されたり、データが破損したりすることがあります。
 - 原稿のスキャン時や用紙のプリント時に再起動すると、紙づまりの原因になることがあります。

電源スイッチを使用して再起動する

1 電源スイッチカバーを開けて、電源スイッチの「」側を押す ④前面 (P. 33)

電源スイッチがタテ向きの場合



電源スイッチがヨコ向きの場合



→ 操作パネルのディスプレイおよび各ランプが消灯し、電源が切れます。 ④操作パネル (P. 37)
電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

2 ディスプレーおよび各ランプ消灯後、所定の時間が経過してから電源スイッチの「」側を押す

→ 本機が起動します。

- 通常起動で再起動する場合は、ディスプレイおよび各ランプ消灯後、10 秒以上経過してから電源を入れなおします。
- 高速起動の設定が有効な場合は、ディスプレイおよび各ランプ消灯後、20 秒以上経過してから電源を入れなおします。 ④【主電源 ON 時の高速起動】 (P. 976)

※初期設定では、高速起動の設定は有効になっています。

※20 秒以内に電源を入れなおした場合、高速起動せずに通常起動となります。

3 電源スイッチカバーを閉める

リモート UI を使用して再起動する

リモート UI を使用して再起動するには、管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [デバイスの再起動] をクリックする



→ [本体の再起動] 画面が表示されます。

4 [基本機能の状態] で処理中の機能がないことを確認し、[再起動実行] をクリックする

→ 再起動の確認メッセージが表示されます。

5 [OK] をクリックする

→ 再起動処理実行を通知する画面が表示され、本機が再起動します。
再起動すると、リモート UI の通信は切断されます。

メモ

再起動後にオプション機器が認識されない場合

- オプション機器の電源をいったん切ってから、電源を入れなおします。

消費電力を抑える - スリープモード

EJ83-033

スリープモードとは、本機内部の動作を一部休止して消費電力を抑える機能です。

操作パネルの [ 節電] キーを押すと、スリープモードになります。➡ [操作パネル \(P. 37\)](#)

スリープモードのときは、ディスプレイの表示が消えます。

※ [ 節電] キーが点灯します。

重要

夜間など本機を長時間使用しない場合は、操作パネルの [ 節電] キーを押す

- 安全のため本機を休止状態にしてください。

スリープモードを解除する

以下の操作を行うと、スリープモードが解除されます。

- 操作パネルの [ 節電] キーを押したとき^{*1}
- フィーダーに原稿をセットしたとき
- フィーダーを開いたとき
- 手差しトレイに用紙をセットしたとき／取り除いたとき^{*1}
- 本機のカバーを開閉したとき^{*1}

^{*1} 一部対応していない機種があります。

オートスリープの設定をする

操作がない状態で一定時間が経過したときや、指定した時刻になったときに、自動的にスリープモードにする機能を「オートスリープ」といいます。オートスリープのタイミングを設定できるほか、指定した時刻にスリープモードが解除されるように設定することもできます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの [ 設定/登録] ➡ [環境設定] から設定します。➡ [\[タイマー/電力設定\] \(P. 975\)](#)

1 リモート UI にログインする ➡ [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

3 [タイマー/電力設定] ➡ [省電力設定] をクリックする

→ [省電力設定] 画面が表示されます。

4 オートスリープやスリープモード解除の設定をする

スリープモードになるまでの時間を設定する場合

〔スリープ設定〕の〔オートスリープ移行時間の設定〕で、時間を選択します。

※効果的な節電のために、初期設定でを使用することをおすすめします。▶ **〔オートスリープ移行時間〕 (P. 978)**

曜日と時刻を指定してスリープモードにする場合

〔スリープ設定〕の〔オートスリープ時刻の設定〕で、スリープモードにする曜日の入力欄に、時刻を入力します。

※時刻の表示形式の設定にかかわらず、24 時間形式で入力します。

指定した時刻にスリープモードを解除する場合

〔スリープ復帰時刻の設定〕に、時刻を入力します。

※時刻の表示形式の設定にかかわらず、24 時間形式で入力します。

5 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

メモ

- 本機の動作状況や条件によっては、スリープモードにならない場合や、完全なスリープ状態にはならない場合があります。

操作パネルの使用方法

EJ83-034

本機の設定を変更する場合や、スキャンやコピーなどの機能を利用する場合は、操作パネルを使用して操作します。

- ① 操作パネルに表示される画面 (P. 153)
- ② 操作パネルの操作方法 (P. 161)
- ③ 文字を入力する (P. 164)
- ④ タイムラインの表示と操作 (P. 166)

重要

操作パネルの取り扱いに関するご注意

- タッチパネルディスプレイを強く押さないでください。破損するおそれがあります。
- シャープペンシルやボールペンなど先のとがったもので押さないでください。表面に傷がついたり、破損したりするおそれがあります。
- ディスプレーの上にものを置いたり拭いたりすると、タッチパネルが反応し誤作動の原因となります。

メモ

液晶パネルについて

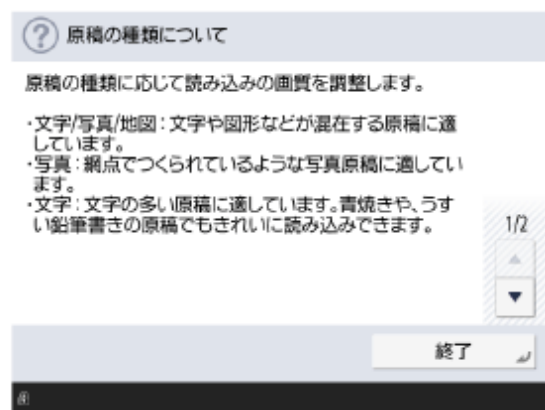
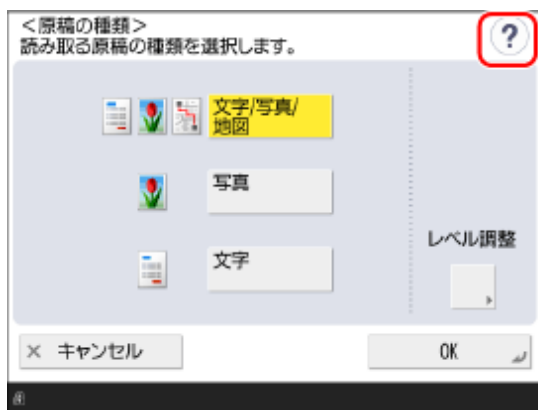
- 液晶パネルは高精度な技術でつくられておりますが、ごくまれに点灯しない画素（ドット抜け）が見られることがあります。これは製品の仕様であり、故障ではありません。

フィルムをはがして使用する

- ディスプレーに貼られているフィルムは、本機の使用前にはがします。

操作中にヘルプを表示する

- 使用中の機能によっては、画面の右上に「？」が表示されます。「？」を押すと、その機能の説明や操作方法を確認できます。



- ヘルプ画面の「終了」を押すと、元の画面に戻ります。

操作パネルに表示される画面

EJ83-035

操作パネルを使用するときは、おもに以下の画面が表示されます。

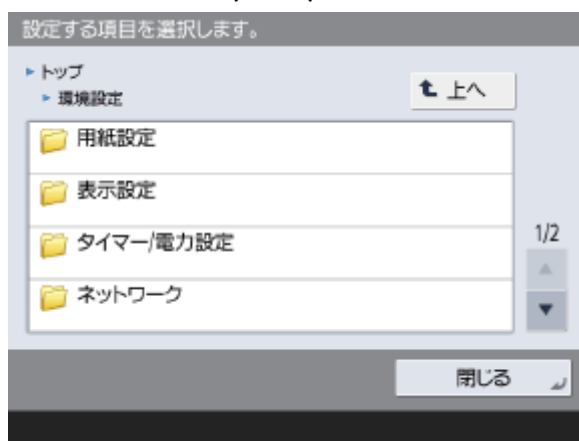
[ホーム] 画面

操作パネルの [ ホーム] キーを押したときに表示される画面です。初期設定では、電源を入れて起動画面が終了した直後や、各画面で操作がされないまま一定時間が経過したときにも [ホーム] 画面が表示されます。▶ **[ホーム] 画面 (P. 156)**



[設定/登録] 画面

操作パネルの [ 設定/登録] を押したときに表示される画面です。本機の各種設定を行うことができます。▶ **[設定/登録] メニュー一覧 (P. 957)**

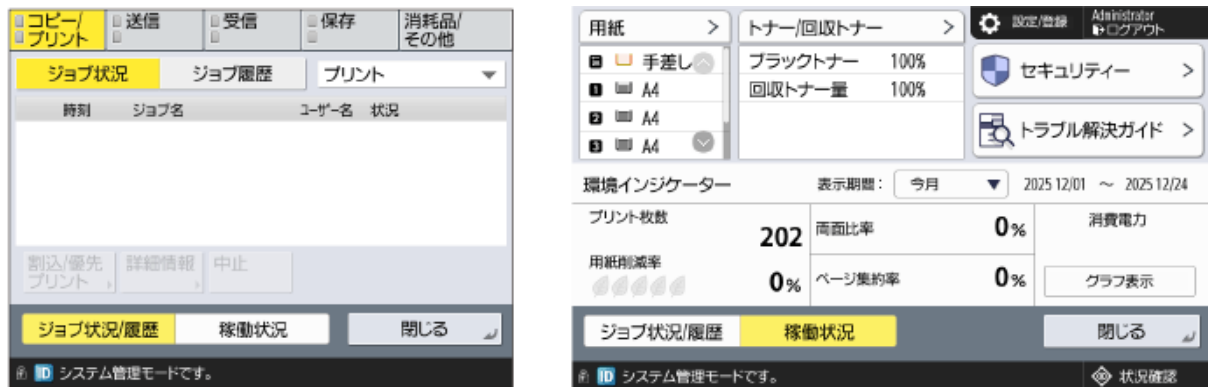


[状況確認] 画面

操作パネルの [ 状況確認] を押したときに表示される画面です。

- [ジョブ状況/履歴] を選択すると、各機能の処理状況／履歴や、消耗品／消耗部品の残量を確認できます。

- [稼働状況] を選択すると、本機の状態／稼働状況や、トラブルの原因／対処方法を確認できます。



各機能の処理状況／履歴を確認する

- プリント状況や履歴を確認する (P. 392)
- スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する (P. 479)
- ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 551)
- コピー状況や履歴を確認する (P. 617)

消耗品／消耗部品の残量を確認する

- 消耗品／消耗部品の残量を確認する (P. 1338)

本機の状態／稼働状況や、トラブルの原因／対処方法を確認する

- 本機の稼働状況を確認する (P. 897)

メッセージ表示

エラーが発生した場合や、消耗品／消耗部品の残量や用紙がなくなった場合は、画面にメッセージが表示されます。対処方法が表示された場合は、メッセージの指示に従って対処します。対処方法が表示されない場合は、メッセージや番号から原因や対処方法を確認します。

- メッセージが表示された (P. 1446)
- 終了コードが表示された (#xxx) (P. 1493)

表示例：紙づまりが発生した場合



[ヘルプ] 画面

[ホーム] 画面などで、[?] ヘルプ を押したときに表示される画面です。表示される QR コードをモバイル機器で読み取ると、本機のユーザズガイド（本マニュアル）をモバイル機器の Web ブラウザーで表示することができます。



メモ

画面の明るさを調整する

- 画面の表示が見づらいときは、以下の手順で明るさを調整します。

[ホーム] 画面の [輝度調整] ▶ [+] / [-] で明るさを調整 ▶ [閉じる]

各画面で操作がされないまま一定時間が経過した場合

- 初期設定では、各画面で設定していた内容がクリアされて、[ホーム] 画面が表示されます。クリアされるまでの時間や、クリア後に表示される画面は変更することができます。
 - ▶ [オートクリア移行時間] (P. 977)
 - ▶ [オートクリア後の機能] (P. 977)

画面の下部に [] が表示されている場合

- ストレージのデータが暗号化されていることを示しています。▶ **本機のデータ保護 (P. 845)**



[ホーム] 画面

操作パネルの  [ホーム] キーを押したときに表示される画面です。

画面の上部には、機能のショートカットやログイン／設定に関する項目が常に表示され、必要なときにすぐに操作できます。画面の中央には、機能や設定のボタンが表示されます。下部の  /  を押すか、画面を左右にフリックすると、表示されている機能や設定のボタンが切り替わります。これらのボタンを押すと、機能を実行したり設定を変更したりできます。

画面の右側には、タイムライン（設定履歴やプリント待機情報）が表示されます。

画面の下部には、本機の状況に関する項目や操作ボタンが常に表示され、必要なときにすぐに確認／操作できます。

機能のショートカットやログイン／設定に関する項目



機能のショートカット

登録されている、機能のショートカットが表示されます。ショートカットは常に表示されているため、他の機能进行操作している途中でも、[ホーム] 画面に戻ることなく機能呼び出すことができます。▶ [よく使用する機能のショートカットを登録する \(P. 877\)](#)



[ホーム] 画面のカスタマイズや管理設定を行います。[ホーム] 画面の背景を長押しすることで、 の項目を表示することもできます。

▶ [\[ホーム\] 画面をカスタマイズする \(P. 172\)](#)

▶ [本機の画面の管理／設定 \(P. 872\)](#)



本機にログインまたは本機からログアウトします。ログイン中は、ログインしているユーザー名が表示されます。▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)



本機の各種設定を行います。▶ [\[設定/登録\] メニュー一覧 \(P. 957\)](#)

機能や設定のボタン



※表示されるボタンは、機種／オプション／設定状況によって異なります。

	[コピー] コピーします。▶コピーする (P. 565)
	[ファクス] ファクスします。▶ファクスを送信する (P. 502)
	[スキャンして送信] スキャンしたデータを送信します。▶スキャンして送信する (P. 412)
	[プリント] 本機に留め置かれた文書をプリントします。▶強制的に留め置かれた文書をプリントする (P. 384)
	[かんたんスキャン] かんたんな操作でスキャンしてデータを送信します。宛先を選べば「おまかせ」の設定でスキャンして送信できます。 ▶かんたんスキャンで送信する (P. 412)
	[スキャンして保存] スキャンしたデータを以下の場所に保存します。▶スキャンして保存する (P. 421) • ネットワーク上の他機／サーバー • USB メモリー
	[保存ファイルの利用] 以下の場所に保存されているデータをプリント／送信します。▶保存スペースの利用 (P. 621) • ネットワーク上の他機／サーバー • USB メモリー

	[受信トレイ] メモリー受信や親展受信したファクス/Iファクスを確認したり、プリント／転送したりします。 ④メモリー受信したファクスを確認／プリント／転送する (P. 545) ④親展受信したファクスを確認／プリントする (P. 547)
	[宛先/転送の設定] スキャンデータやファクスを送信／保存するときの宛先を登録したり、受信したファクス/Iファクスの転送設定をしたりします。 ④宛先の登録 - アドレス帳 (P. 270) ④受信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 497)
	[音量設定] 本機から鳴る音の音量を調整します。④音量の調整 (P. 327)
	[輝度調整] 画面の明るさを調整します。
	[モバイルポータル] モバイル機器と本機を接続します。④モバイル機器を本機に接続する (P. 661)
	[Scan for Mobile] モバイル機器から操作してスキャンするときに、本機をスキャン待機状態にします。④専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT (P. 666)
	[リモートスキャナー] パソコンから操作してスキャンするときに、本機をオンライン（スキャン待機状態）にします。④パソコンからスキャンする（Windows のみ） (P. 437)
	[設定/登録のショートカット] [ 設定/登録] を押して表示される設定項目のショートカットを、登録したり呼び出したりします。④設定メニューのショートカットを登録する (P. 879)
	[個人設定] 本機にログインするユーザーごとに、操作環境を設定します。④自分に合った表示／操作性に変更する - 個人設定 (P. 189)
	[状況確認] • [ジョブ状況/履歴] を選択すると、各機能の処理状況／履歴や、消耗品／消耗部品の残量を確認できます。 • [稼働状況] を選択すると、本機の状態／稼働状況や、トラブルの原因／対処方法を確認できます。
	[ヘルプ] 表示される QR コードをモバイル機器で読み取ると、本機のカスタマーガイド（本マニュアル）をモバイル機器の Web ブラウザーで表示することができます。

上記の機能や設定のボタン以外に、登録されているマイボタン／共有ボタンが表示されます。➡ **[ホーム] 画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン (P. 174)**

タイムライン



[タイムライン]

タイムラインには設定履歴やプリント待機情報が表示され、ここからすばやく操作できます。➡ **タイムラインの表示と操作 (P. 166)**

本機の状況に関する項目や操作ボタン



[状況確認]

- [ジョブ状況/履歴] を選択すると、各機能の処理状況／履歴や、消耗品／消耗部品の残量を確認できます。
- [稼働状況] を選択すると、本機の状態／稼働状況や、トラブルの原因／対処方法を確認できます。

ステータス表示部

本機の状態やエラー情報などがメッセージとアイコンで表示されます。➡ **メッセージが表示された (P. 1446)**

ボタン表示部

本機の状態や設定に応じて、左から順に以下のボタンが表示されます。

※表示されるボタンは、機種やオプションによって異なります。

USB メモリーを差し込んでいる場合

 USB メモリーを安全に取り外します。➡ **USB メモリーを取り外す (P. 326)**

メンテナンスが必要な場合

ボタンを押すと、必要なメンテナンス手順を説明した画面が表示されます

-  紙づまりの対処手順
-  ホチキスの針づまりの対処手順またはホチキス針の交換手順
-  トナー容器の交換手順
-  回収トナー容器の交換手順
-  ホチキスの針くず／パンチくず／トリムくずの処理手順
-  交換部品の交換手順

ボタンで表示言語を切り替えられるようにしている場合

-  表示言語を選択できます。

操作パネルの操作方法

EJ83-037

操作パネルのディスプレイは、タッチパネルになっています。画面に表示されるボタンや項目に、指で直接触れて操作します。

- ① 基本のタッチパネル操作 - タップ／フリック／ドラッグ (P. 161)
- ② 項目を選択する (P. 162)
- ③ ページを切り替える (P. 162)
- ④ [+] / [-] やスライダーで値を設定する (P. 163)

重要

操作パネルの誤動作や破損を防ぐため、以下の操作は行わない

- 指で強く押す
- 先のとがったもの（爪／ボールペン／鉛筆など）で押す
- 濡れた手や汚れた手で操作する
- ディスプレーの上にものをのせたまま操作する

基本のタッチパネル操作 - タップ／フリック／ドラッグ

タップ

画面に指先で軽く触れてから、すぐに離します。項目を選択したり実行したりするときに使用します。ユーザーズガイドでは、タップ操作のことを「押す」または「選択する」と表記しています。



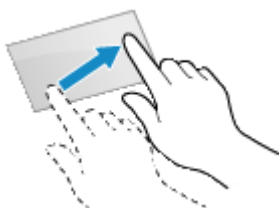
フリック

画面に触れてから指先を払います。指先を払った方向に画面が移動します。たとえば、[ホーム] 画面ではフリックした方向に 1 ページ移動します。



ドラッグ

画面に触れたまま指先を動かして、目的の位置で離します。リストがスクロールしたり、触れている部分が移動したりします。



メモ

- フリック操作を無効にすることもできます。🔵【フリック機能を使用】(P. 1031)
- 起動直後は、タッチパネルディスプレイやキーの反応が遅くなる場合があります。

項目を選択する

項目名やボタンをタップすると、項目を選択できます。選択した結果、画面が切り替わったり、機能が実行されたりします。

ボタンによっては、タップするたびに選択状態が変わったり、設定状況が表示されたりします。

- ボタンをタップするたびに選択状態が変わります。選択されている状態の場合は、ボタンの色が変わったり、チェックマークが付いたりします。



- 機能の設定ボタンをタップするたびに、その機能の選択状態が変わります。選択されている状態の場合は、ボタン下部に設定状況が表示されて、ボタンの色が変わります。

※タップすると設定画面が表示されるボタンの場合は、設定が完了すると、ボタン下部に設定状況が表示されて、ボタンの色が変わります。



- 薄い色で表示されているボタンは選択できません。本機の設定やログイン状況によって機能が使用できない場合に、このような表示になります。



ページを切り替える

一覧が画面に表示しきれない場合は、[⬆] / [⬇] をタップすると、ページを切り替えたりスクロールしたりできます。



画面によっては、フリックまたはドラッグして、ページを切り替えたりスクロールしたりできます。



[+] / [-] やスライダーで値を設定する

[+] / [-] をタップして値を設定します。[+] / [-] を押したままにして設定することもできます。以下のようにスライダーが表示されている場合は、[+] / [-] を押すと、スライダーが左右に移動します。



メモ

- [] が表示されている場合は、テンキーの数字をタップして値を設定することもできます。➡ [操作パネルで文字を入力する \(P. 164\)](#)

文字を入力する

EJ83-038

操作パネルに表示されたキーボードまたはテンキーを使用して、文字や数字を入力します。
市販の USB キーボードを本機に接続して、文字を入力することもできます。

- ① 操作パネルで文字を入力する (P. 164)
- ② USB キーボードを接続して文字を入力する (P. 165)

メモ

- 文字を入力したときの確認音は、音量を調整することができます。④ 音量の調整 (P. 327)

操作パネルで文字を入力する

操作パネルで入力できる文字の種類は、ひらがな／カタカナ／漢字／英字／数字／記号です。
項目によっては、入力できる文字の種類が限定されている場合があります。
入力文字数や数値の入力範囲が限定されている場合は、画面名や入力欄の横の（ ）内に、入力可能な文字数や数値が表示されています。



文字の種類を切り替える

キーボードの右上にあるプルダウンメニューから、入力する文字の種類（入力モード）を選択します。
[コード入力] を選択すると、JIS 漢字コード（10 進数）を利用して漢字を入力できます。
入力できる文字が限定されている項目では、文字の種類を切り替えられません。

文字／空白を入力する

入力する文字や記号をタップします。日本語はローマ字で入力します。
入力モードが[かな漢]の場合は、[スペース/変換(次候補)] ボタンをタップして入力した文字を変換し、[確定] をタップします。
英字の大文字を入力する場合は、[シフト] をタップします。
空白を入力する場合は、[スペース/変換(次候補)] または [スペース] をタップします。
キーボードのキーに指先を触れたままの状態にする（長押しする）と、連続して同じ文字が入力されます。

- 入力モードが[かな漢]の場合に、文字変換時の変換範囲（文節の長さ）を変更するときは、[◀] または [▶] をタップします。
- 入力モードが[かな漢]の場合に、カタカナ変換するときは、文字変換時に[かな/カナ]をタップします。
- 入力モードが[カタカナ]の場合に、半角のカタカナや記号を入力するときは、[半角]をタップします。

文字を削除する

[バックスペース] をタップすると、1 文字削除されます。

[バックスペース] に指先を触れたままの状態にする（長押しする）と、連続して文字が削除されます。

テンキーの [C] をタップすると、入力した文字がすべて削除されます。

カーソルを移動する

[◀] または [▶] をタップします。

テンキーで数字を入力する

キーボードが表示されている画面のほか、[👉] が表示されている画面では、テンキーの数字をタップして数字を入力できます。



数字を削除する場合は、テンキーの [C] をタップします。

メモ

- キーボードやテンキーではなく、[+] / [-] が表示されている場合は、[+] / [-] をタップして値を設定します。👉 [+] / [-] やスライダーで値を設定する (P. 163)

USB キーボードを接続して文字を入力する

市販の USB キーボードを、本機の右側面前／右側面奥にある USB ポートに接続すると、パソコンと同じ操作で文字を入力できます。👉 各部の名称とはたらき (P. 32)

※USB キーボードを接続しているときも、操作パネルで文字を入力できます。

※USB 入力デバイスが MEAP ドライバーから使用できないように設定されている場合は、USB キーボードを使用できません。

👉 [USB 入力デバイスに MEAP ドライバーを使用] (P. 1028)

接続した USB キーボードは、いつでも本機から取り外すことができます。接続を解除する操作などは必要ありません。

重要

- [Delete] / [Home] / [End] キーなど、操作パネルのキーボード画面に表示されないキーは使用できません。使用できないキーを押した場合は、何も入力されません。
- 表示言語によっては、正しく入力できない文字があります。
- USB キーボードの種類によっては、正しく動作しない場合があります。

タイムラインの表示と操作

[ホーム] 画面の右側には、設定履歴やプリント待機情報が表示されます。これらを押すと、過去の設定を呼び出したり、待機中のプリントを実行したりすることができ、操作の手間を軽減できます。この機能を「タイムライン」といいます。

※本機の設定やログイン状況によっては、タイムラインが表示されません。➡**タイムラインの表示／非表示を切り替える (P. 873)**

- ➡**タイムラインの表示内容 (P. 166)**
- ➡**タイムラインを利用して操作する (P. 167)**
- ➡**設定履歴／プリント待機情報の表示内容 (P. 167)**

タイムラインの表示内容

タイムラインには、ログインユーザーごとの設定履歴やプリント待機情報が表示されます。
ログインしていない場合やゲストユーザーの場合は、未認証ユーザー共通の設定履歴やプリント待機情報が表示されます。

設定履歴

直近 10 件の設定履歴が時系列に表示されます。

表示されている設定履歴を押すと、過去に各機能を実行したときの設定を呼び出すことができるので、同じ設定や宛先を繰り返し使用する場合に便利です。

対象となる機能は以下のとおりです。

- スキャンして送信^{*1}
- かんたんスキャン
- スキャンして保存（ネットワーク）
- ファクス^{*1*2}
- コピー
- 保存ファイルの利用^{*3}（ネットワークのプリント）

^{*1} 以下の場合は、設定履歴は表示されません。

- 送信履歴から宛先を指定できないように設定されている場合 ➡**送信履歴からの宛先指定を禁止する (P. 808)**
- 宛先をアクセス番号で管理している場合に、ログインしていないときやゲストユーザーのとき ➡**一部の宛先を非表示にする - アクセス番号管理 (P. 838)**

^{*2} ログインしていない場合やゲストユーザーの場合は、F コード送信した設定履歴は表示されません。

^{*3} 設定履歴には、プリントしたファイルの情報も保持されます。他のファイルを選択して設定のみを呼び出すことはできません。また、プリントしたファイルを削除／移動した場合、その設定履歴は呼び出すことができなくなります。

プリント待機情報

待機中のプリントデータがある場合に、その情報が表示されます。

表示されている情報を押すと、プリントの画面に移動してプリントを実行できます。

※プリントの画面にログインユーザー個人のプリントデータを表示しないように設定されている場合は、プリント待機情報は表示されません。 ➡ **【ジョブリストの表示設定】 (P. 1129)**

メモ

パスワードが含まれる設定を呼び出したとき

- 認証パスワードのキャッシュ保存が禁止されている場合、スキャンデータの送信／保存時に設定されていた以下のパスワードは、消去された状態で設定履歴が呼び出されます。④【認証パスワードのキャッシュ保存を禁止】(P. 1179)
 - 送信先ファイルサーバーのログインパスワード
 - PDF ファイルに設定したパスワード
 ※ログインしていない場合やゲストユーザーの場合は、認証パスワードのキャッシュ保存の設定にかかわらず、消去された状態で設定履歴が呼び出されます。
- ファクス送信時に設定されていたパスワード（F コードのパスワード）は、認証パスワードのキャッシュ保存の設定にかかわらず、パスワードを保持した設定履歴が呼び出されます。
 - ※ログインしていない場合やゲストユーザーの場合は、F コード送信した設定履歴はタイムラインに表示されません。

タイムラインを利用して操作する

タイムラインに表示されている設定履歴やプリント待機情報を押すと、設定履歴を呼び出して各機能を再実行したり、プリント画面に移動してプリントを実行したりできます。



設定履歴やプリント待機情報に表示される内容については、以下を参照してください。

④ 設定履歴／プリント待機情報の表示内容 (P. 167)

メモ

- 設定履歴を呼び出したあとに設定を変更して実行した場合は、元の設定履歴とは別の新しい設定履歴としてタイムラインに追加されます。設定を変更せずにそのまま実行した場合は、元の設定履歴の日時が更新されます。
- 設定履歴を長押しすると、削除したり、設定をマイボタン／共有ボタンとして登録したりできます。
 - ※タイムラインからマイボタン／共有ボタンを登録する場合は、ボタンを押したときの動作は設定できません。④マイボタン／共有ボタンを追加する (P. 174)

設定履歴／プリント待機情報の表示内容

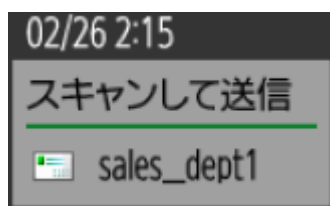
各設定履歴とプリント待機情報には、日時や機能名のほか、設定内容／宛先／ファイル名がアイコンやテキストで表示されます。

設定履歴

各機能の表示内容は以下のとおりです。空欄は設定がないことを意味します。

スキャンして送信

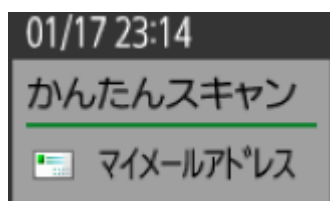
宛先種別、宛先^{*1}が表示されます。



^{*1} 複数の宛先に送信した場合は、1件目の宛先が表示されます。

かんたんスキャン

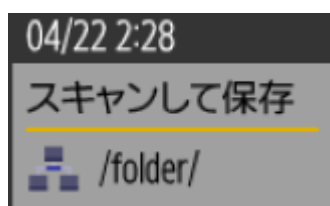
宛先種別、宛先^{*1}が表示されます。



^{*1} 複数の宛先に送信した場合は、1件目の宛先が表示されます。

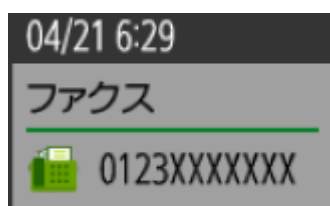
スキャンして保存

保存先のフォルダー名が表示されます。



ファクス

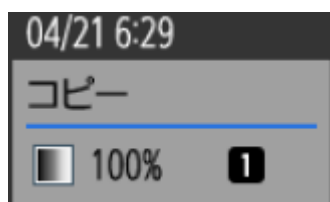
宛先^{*1}が表示されます。



^{*1} 複数の宛先に送信した場合は、1件目の宛先が表示されます。

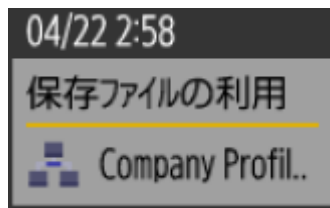
コピー

倍率、給紙箇所設定が表示されます。



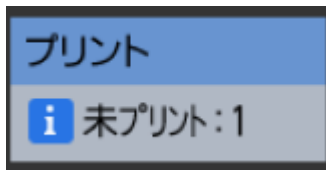
保存ファイルの利用

プリントしたファイル名が表示されます。複数のファイルをプリントした場合は、1 件目のファイル名が表示されます。



プリント待機情報

待機件数^{*1}が表示されます。



^{*1} ログインユーザー以外のプリントデータを表示するように設定されている場合は、全ユーザーの待機件数の合計が表示されます。▶ [【認証ユーザー以外のジョブの表示】 \(P. 1128\)](#)

操作パネルの画面のカスタマイズ

EJ83-03A

よく使用する機能をすばやく実行できるようにしたり、表示や設定を変更して操作しやすくしたりできます。

【ホーム】画面の操作性向上

機能や設定のボタンの並び順を変更したり、各機能でよく使用する設定内容を「マイボタン／共有ボタン」として追加したりできます。

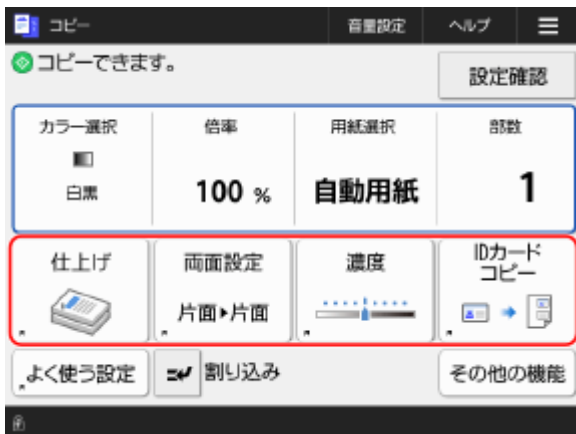
- 【ホーム】画面をカスタマイズする (P. 172)
- 【ホーム】画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン (P. 174)



よく設定する項目の登録

よく設定する項目を各機能の画面に配置するようにカスタマイズして、設定項目をすぐに呼び出せるようにできます。

- スキャン／ファクス／コピーの画面をカスタマイズする (P. 178)



よく使用する設定内容の登録

各機能で同じ設定や値をよく使用する場合は、「よく使う設定」として登録して各機能の画面から呼び出せるようにしたり、初期設定を変更したりできます。

繰り返し設定する手間を省くことで業務を効率化したり、用紙などを節約する設定にしておくことでコスト削減に役立てたりできます。

- 「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)
- 初期設定を変更する (P. 186)

ユーザーに応じた操作環境の設定

画面の表示言語をはじめ、操作環境を自分に合わせて変更できます。

- 表示言語を切り替える (P. 188)
- 自分に合った表示／操作性に変更する - 個人設定 (P. 189)

メモ

管理者ユーザーによる制限／カスタマイズ

- 管理者ユーザーは、各ユーザーがカスタマイズできる項目を制限したり、上記以外のカスタマイズをしたりできます。
➡ **本機の画面の管理／設定 (P. 872)**

[ホーム] 画面をカスタマイズする

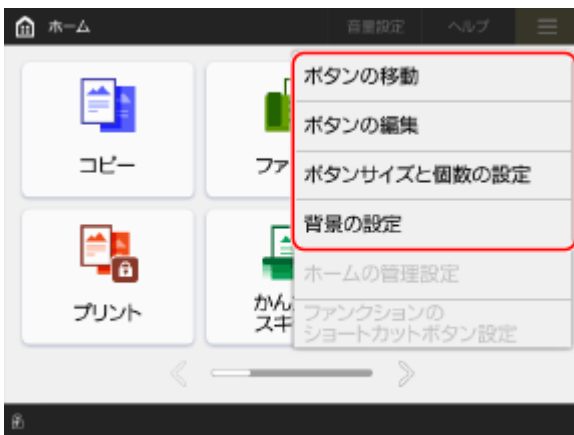
EJ83-03C

[ホーム] 画面の、機能や設定のボタンの並び順を変更したり、あらかじめ用意されている複数の画像の中から好みの画像に背景を変更したりできます。



本機にログインし、[ホーム] 画面で を押して表示される項目から変更します。 [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

※本機の設定やログインユーザーの権限によっては、変更できません。また、管理者用の項目は、一般ユーザーは変更できません。 [本機の画面の管理/設定 \(P. 872\)](#)



ボタンを移動する

[ボタンの移動] または [ボタンの編集] でボタンを移動します。

- [ボタンの移動]: 移動したいボタンや空白を、挿入したい位置へドラッグアンドドロップします。
- [ボタンの編集]: 移動したいボタンや空白を選択し、[移動] の矢印キーでボタンを移動します。

ボタンのサイズ/個数を変更する

[ボタンサイズと個数の設定] を押し、1 ページに表示するボタンのサイズと個数を選択します。

マイボタン/共有ボタンを削除または名称変更する

[ボタンの編集] を押し、削除または名称変更したいボタンを選択して、[削除] または [名称変更] を押します。

※マイボタン/共有ボタン以外の機能や設定のボタンは、削除および名称変更できません。

背景画像を変更する

[背景の設定] を押し、背景に表示したい画像を選択します。

メモ

〔個人画面〕と〔機器画面〕について

- 〔個人画面〕または〔機器画面〕を選択する画面が表示された場合は、どちらを選択するかによって、変更される画面が異なります。
 - 〔個人画面〕：ログインユーザー個人の設定として、自分専用の画面が変更されます。
 - 〔機器画面〕：本機の設定として共通の画面^{*1}が変更されます。
- 選択画面が表示されるかどうかは、本機の設定やログインユーザーの権限によります。🔵**ユーザーに許可する操作や画面の表示を設定する (P. 874)**
- 一般ユーザーの場合に、選択画面が表示されなかったときは、〔個人画面〕として設定されます。
- 管理者ユーザー以外による〔機器画面〕の変更が許可されている場合は、〔機器画面〕は本機にログインしなくても変更できます。

^{*1} ログインしていない場合や、〔個人画面〕を設定していないユーザーの場合に表示される画面

[ホーム] 画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン

EJ83-03E

スキャンやコピーなどの機能でよく使用する設定や宛先を、[ホーム] 画面にボタンとして追加します。追加したボタンを押して設定を呼び出すことができるほか、ボタンを押した時点で機能を実行するようにもできるため、よりすばやく効率的な操作が可能となります。

追加するボタンには、自分がログインしているときのみ使用できる自分専用の「マイボタン」と、すべてのユーザーが使用できる「共有ボタン」の2種類があります。

① ボタンに登録できる機能と設定 (P. 174)

② マイボタン／共有ボタンを追加する (P. 174)

ボタンに登録できる機能と設定

スキャンして送信

宛先とスキャン設定

スキャンして保存

- 保存場所とスキャン設定
- 保存場所のショートカット

ファクス

宛先と原稿のスキャン設定

コピー

コピー設定

保存ファイルの利用

保存場所のショートカット

受信トレイ

保存場所のショートカット

マイボタン／共有ボタンを追加する

追加できるマイボタン／共有ボタンの数は以下のとおりです。

- マイボタン：1 ユーザーあたり最大 60 個（全ユーザー合計で 12,000 個まで）
- 共有ボタン：最大 60 個

マイボタン／共有ボタンは、操作パネルを使用して追加します。パソコンからリモート UI を使用して追加することはできません。

ここでは、コピーを例に手順を説明します。

※本機の設定やログインユーザーの権限によっては、マイボタン／共有ボタンを追加できません。④ユーザーに許可する操作や画面の表示を設定する (P. 874)

1 本機にログインする ④ログイン方法 (P. 191)

管理者ユーザー以外による共有ボタンの追加が許可されている場合は、共有ボタンはログインしなくても追加できます。

2 操作パネルの [ホーム] 画面で、[コピー] を押す [ホーム] 画面 (P. 156)

→ コピーの画面が表示されます。

3 ボタンに登録する内容を設定する コピーする (P. 565)

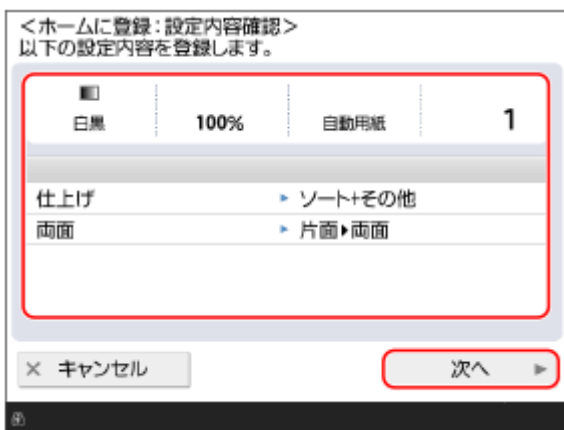
4 ▶ [ホームに登録] を押す

パスワードも含めて登録するかどうかを確認するメッセージが表示された場合

追加したボタンを押して設定を呼び出したときに、パスワードを入力するかどうかに応じて、[はい] または [いいえ] を選択します。

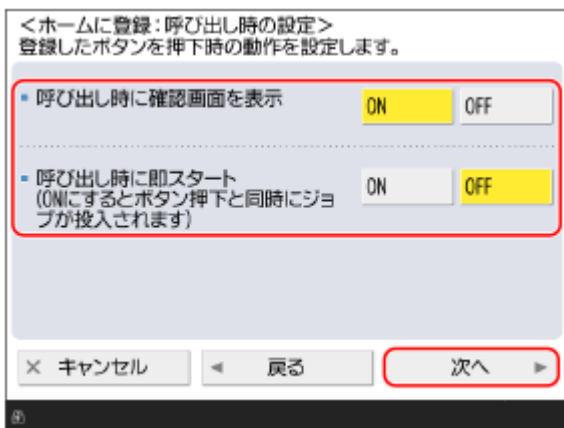
- パスワードの入力を省略する場合は、[はい] を選択します。
- 毎回パスワードを入力する場合は、[いいえ] を選択します。パスワードを知っているユーザーだけが、呼び出した設定をそのまま使用できるようになります。

5 設定内容を確認し、[次へ] を押す



保存場所のショートカットをボタンに登録する場合は、この手順と次の手順は不要です。手順 **7** に進みます。

6 追加したボタンを押したときの動作を設定し、[次へ] を押す



設定を呼び出す場合

- 設定内容の確認画面を表示してから呼び出す場合
[呼び出し時に確認画面を表示] を [ON] に設定し、[呼び出し時に即スタート] を [OFF] に設定します。
- 設定内容の確認画面を表示せずに呼び出す場合
[呼び出し時に確認画面を表示] と [呼び出し時に即スタート] を [OFF] に設定します。

機能を即時実行する場合

- 設定内容の確認画面を表示してから実行する場合
[呼び出し時に確認画面を表示] と [呼び出し時に即スタート] を [ON] に設定します。
- 設定内容の確認画面を表示せずに実行する場合
[呼び出し時に確認画面を表示] を [OFF] に設定し、[呼び出し時に即スタート] を [ON] に設定します。

7

ボタンの名称やコメントを入力し、[マイボタン] または [共有ボタン] を選択する

- [名称] または [コメント] を押して入力します。
- 名称は、常にボタンに表示されます。
- コメントは、ボタンのサイズが L サイズまたは M サイズに設定されている場合にのみ表示されます。MS サイズまたは S サイズに設定されている場合は表示されません。➡ **【ホーム】画面をカスタマイズする (P. 172)**
- ログインユーザーのみが使用できる自分専用のボタンを追加する場合は [マイボタン] を選択し、すべてのユーザーが使用できるボタンを追加する場合は [共有ボタン] を選択します。

8

[OK] を押す

→ [ホーム] 画面にボタンが追加されます。

メモ

マイボタン／共有ボタンにファイルサーバーへの宛先を登録した場合

- ファイルサーバーアクセス時の認証方式が、ログインユーザーの認証情報を使用するように設定されている場合は、マイボタン／共有ボタンの登録内容に、ファイルサーバー認証に使用するパスワードの設定は含まれません。➡ **【ファイル送信/参照時の認証で使用する情報】 (P. 1062)**

マイボタン／共有ボタンにリモートアドレス帳の宛先を登録した場合

- サーバー機で宛先の情報が更新されても、クライアント機のマイボタン／共有ボタンに登録した宛先の情報は更新されません。
追加したボタンを使用したときに送信できない場合は、サーバー機で宛先の情報が更新されていないかを確認します。

追加したマイボタン／共有ボタンを変更する

- マイボタンを共有ボタンに変更したり、共有ボタンをマイボタンに変更したりすることはできません。別のボタンとして新たに追加しなおす必要があります。
- 追加したボタンを長押しすると、名称やコメントを変更したり、ボタンを移動／削除したりできます。

※ [ホーム] 画面の  から同じ操作ができます。  [\[ホーム\] 画面をカスタマイズする \(P. 172\)](#)

スキャン／ファクス／コピーの画面をカスタマイズする

EJ83-03F

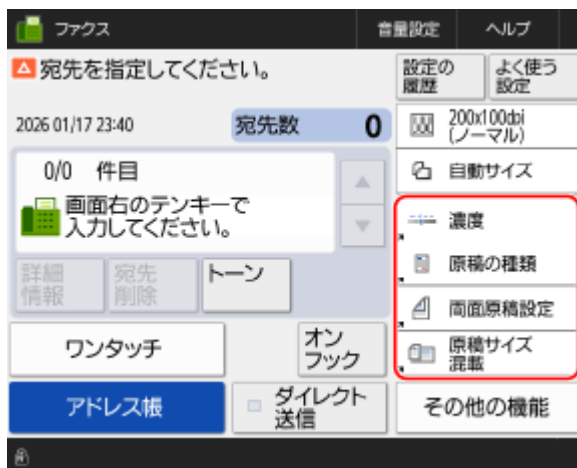
スキャン（スキャンして送信）／ファクス／コピーの画面に表示されている以下のボタンは、[その他の機能] に含まれる他のボタンと入れ替えたり、非表示にしたりできます。

よく設定するボタンを各機能の画面に配置することで、よりすばやく操作できるようになります。

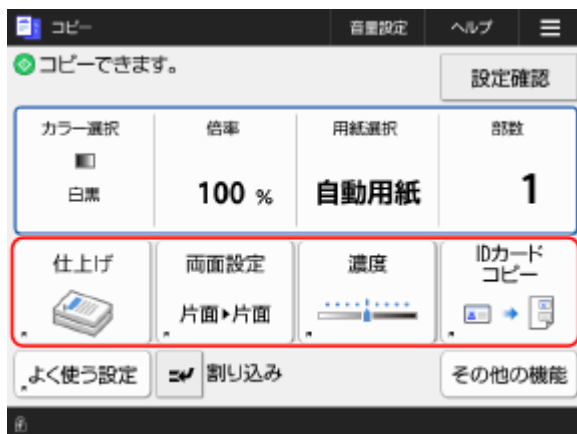
スキャンして送信



ファクス



コピー



画面のカスタマイズは、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用してカスタマイズすることはできません。

ここでは、コピーを例に手順を説明します。

1 必要に応じて、本機にログインする ▶ ログイン方法 (P. 191)

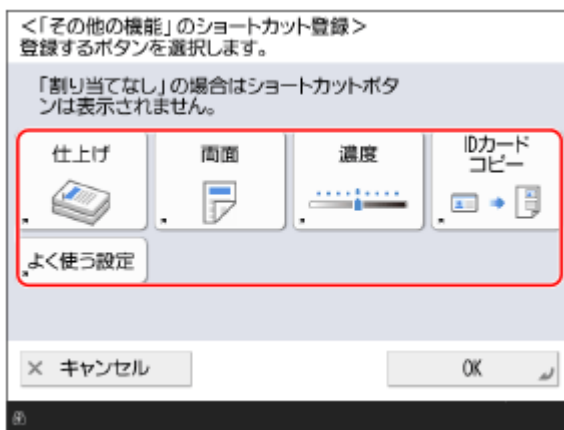
- ログインユーザー個人の設定として、自分専用の画面をカスタマイズする場合は、ログインしてから操作します。
- 本機の設定として画面をカスタマイズする場合は、ログインせずに手順 2 に進みます。

2 操作パネルの [ホーム] 画面で、[コピー] を押す ▶ [ホーム] 画面 (P. 156)

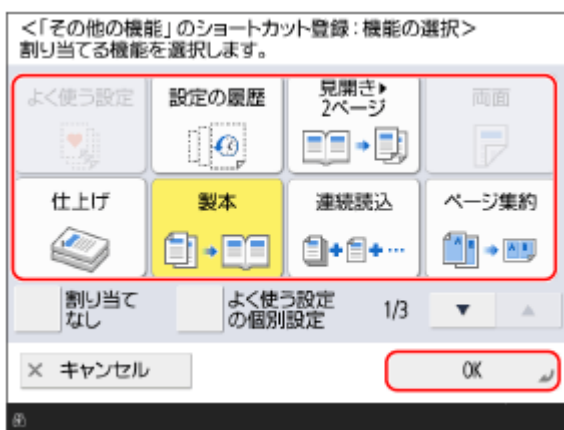
→ コピーの画面が表示されます。

3 [≡] ▶ 「[その他の機能]」のショートカット登録を押す

4 非表示にするボタン（入れ替えるボタン）を選択する



5 代わりに配置するボタンを選択し、[OK] を押す



→ 手順 4 の画面に戻ります。

- 代わりにボタンを配置しない場合は、[割り当てなし] を選択します。
- [よく使う設定の個別設定] を押して、登録されている「よく使う設定」をショートカットとして配置することもできます。▶ 「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)

6 [OK] を押す

→ コピーの画面に配置されるボタンが変わります。

メモ

よく使用する設定内容を登録する

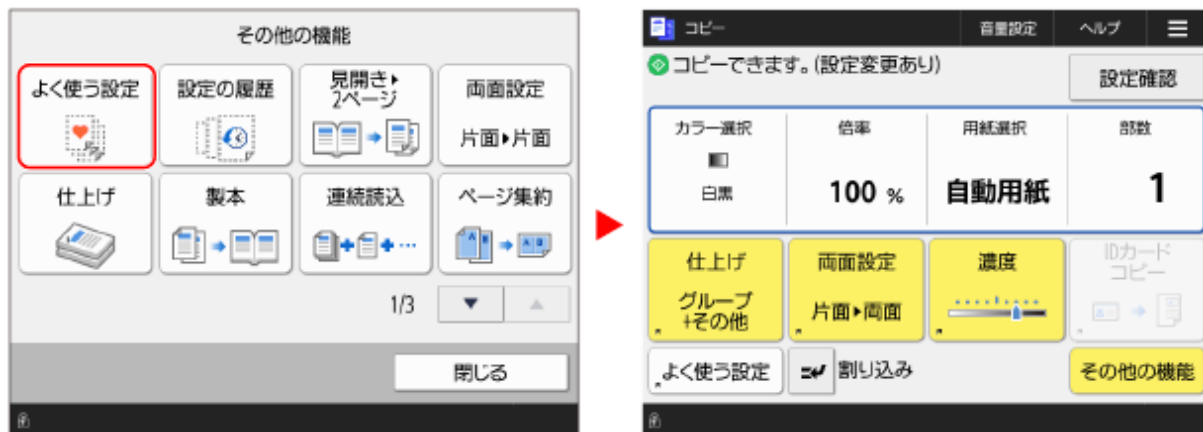
- 各機能で同じ設定や値をよく使用する場合は、「よく使う設定」として登録して各機能の画面から呼び出せるようにしたり、初期設定を変更したりできます。
 - ▶ 「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)
 - ▶ 初期設定を変更する (P. 186)

「よく使う設定」を登録する／呼び出す

スキャンやコピーなどの機能で、目的に応じた設定や、覚えておきたい設定を「よく使う設定」として登録します。

どのような設定か、誰が使用するかなどがわかるように、名前を付けて登録できます。

登録した設定は、各機能の画面から呼び出し、すばやく機能を実行できます。設定は、呼び出したあと、必要に応じて変更することもできます。



① 「よく使う設定」を登録する (P. 181)

② 登録した「よく使う設定」を呼び出す (P. 184)

メモ

登録できる「よく使う設定」の数

- スキャンして送信：18 個
- スキャンして保存
 - ネットワーク/メモリーメディア：9 個
- ファクス：18 個
- コピー：9 個
- 保存ファイルの利用
 - ネットワーク/メモリーメディアの JPEG/TIFF ファイル用：9 個
 - ネットワーク/メモリーメディアの PDF/XPS ファイル用：9 個

「よく使う設定」を登録する

スキャン／ファクスの設定を登録する場合は、登録する内容を設定するときに宛先が指定されていると、宛先も「よく使う設定」に登録されます。不要な宛先が指定されていないことを確認してから登録します。

登録後に宛先を変更することはできません。登録されている宛先を変更する場合は、「よく使う設定」をいったん削除してから登録しなおす必要があります。

「よく使う設定」は、操作パネルを使用して登録します。パソコンからリモート UI を使用して登録することはできません。ここでは、コピーを例に手順を説明します。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［コピー］を押す ➡ 〔ホーム〕画面 (P. 156)

→コピーの画面が表示されます。

2 登録する内容を設定する ▶コピーする (P. 565)

3 [≡] ▶ [「よく使う設定」の登録/編集] または [「よく使う設定」の登録] を押す

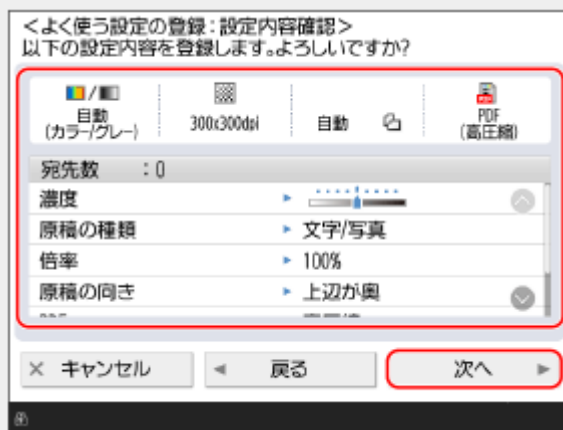
パスワードも含めて登録するかどうかを確認するメッセージが表示された場合

「よく使う設定」を呼び出したときに、パスワードを入力するかどうかに応じて、[はい] または [いいえ] を選択します。

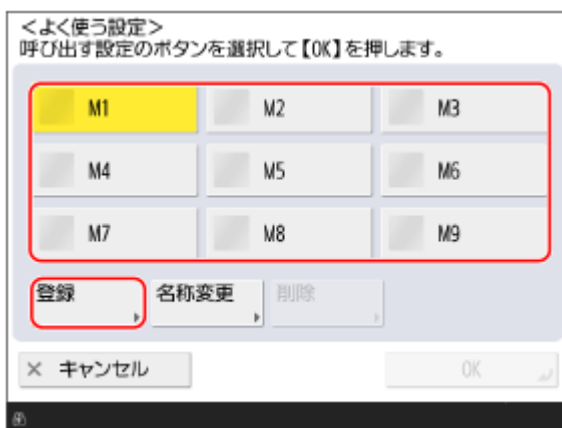
- パスワードの入力を省略する場合は、[はい] を選択します。
- 毎回パスワードを入力する場合は、[いいえ] を選択します。パスワードを知っているユーザーだけが、呼び出した設定をそのまま使用できるようになります。

設定内容を確認する画面が表示された場合

設定内容を確認し、[次へ] を押します。



4 設定を登録するボタンを選択し、[登録] または [次へ] を押す



すでに設定が登録されているボタンを選択すると、登録内容が上書きされます。

設定内容を確認する画面が表示された場合

設定内容を確認し、[はい] を押します。

以下の設定内容を登録します。よろしいですか?

M1

■ 白黒 100% 自動用紙 1

仕上げ ▶ グループ+その他

両面 ▶ 片面▶両面

濃度 ▶

はい いいえ

ボタンの名称とコメントを設定する画面が表示された場合
ボタンの名称やコメントを入力し、[OK] を押します。

<よく使う設定の登録：ボタンの名称とコメント>
必要に応じてボタンの名称とコメントを設定します。

名称 ▶ M1

コメント ▶

× キャンセル ◀ 戻る OK ▶

- [名称] または [コメント] を押して入力します。
- 名称は、常にボタンに表示されます。
- コメントは、ボタンを選択する画面で [コメントの表示] を [ON] にすると表示されます。

5 必要に応じて、ボタンの名称を変更する

設定を登録したボタンを選択し、[名称変更] を押して名称を変更します。

6 [閉じる] を押す

メモ

「よく使う設定」に宛先を登録した場合

- 「よく使う設定」に登録した宛先がアドレス帳から削除されると、登録内容からも削除されます。

「よく使う設定」にファイルサーバーへの宛先を登録した場合

- ファイルサーバーアクセス時の認証方式が、ログインユーザーの認証情報を使用するように設定されている場合は、「よく使う設定」の登録内容に、ファイルサーバー認証に使用するパスワードの設定は含まれません。▶ **【ファイル送信/参照時の認証で使用する情報】 (P. 1062)**

「よく使う設定」にリモートアドレス帳の宛先を登録した場合

- サーバー機で宛先の情報が更新されても、クライアント機の「よく使う設定」に登録した宛先の情報は更新されません。
登録した「よく使う設定」を使用したときに送信できない場合は、サーバー機で宛先の情報が更新されていないかを確認します。

登録した「よく使う設定」を呼び出す

スキャンやコピーなどの機能を利用するときに、登録した「よく使う設定」の中から目的に応じた設定を呼び出します。

ここでは、コピーを例に手順を説明します。

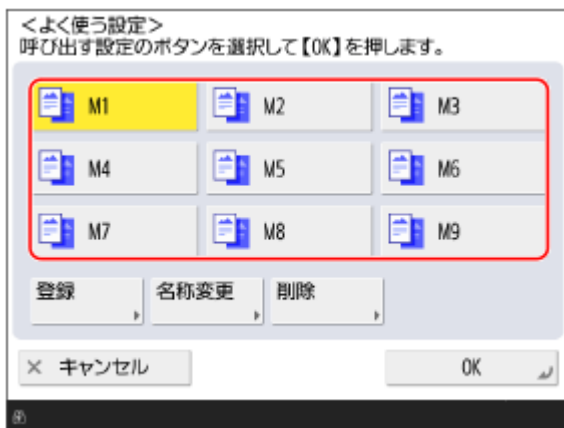
1 操作パネルの［ホーム］画面で、［コピー］を押す [ホーム] 画面 (P. 156)

→ コピーの画面が表示されます。

2 [よく使う設定] を押す

→ [よく使う設定] 画面が表示されます。

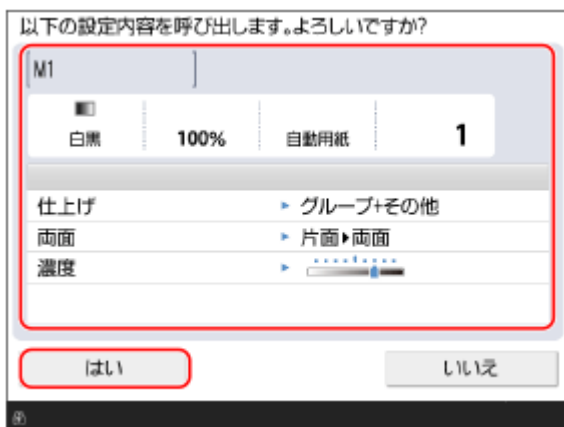
3 使用する設定のボタンを選択する



設定内容を確認する画面が表示された場合は、手順 5 に進みます。

4 [OK] を押す

5 設定内容を確認し、[はい] を押す



→ 設定が呼び出されます。

コピーの設定が完了した状態になるため、 [スタート] を押すだけで実行できます。

メモ

最初に「よく使う設定」画面が表示されるようにする（スキャン／ファクス）

- 「ホーム」画面で「スキャンして送信」／「ファクス」を押したときに、最初に「よく使う設定」画面が表示されるように設定できます。
 - スキャンして送信 ➡ 「デフォルト画面の変更」 (P. 1074)
 - ファクス ➡ 「デフォルト画面の変更」 (P. 1094)

設定内容を確認する画面が表示されないようにする（スキャン／ファクス／コピー）

- スキャン（スキャンして送信）／ファクス／コピーの「よく使う設定」を呼び出すときに、設定内容を確認する画面が表示されないように設定できます。そうすることで、手順 5 の操作を省略して設定を呼び出せます。
 - スキャンして送信 ➡ 「よく使う設定呼出時の確認表示」 (P. 1074)
 - ファクス ➡ 「よく使う設定呼出時の確認表示」 (P. 1094)
 - コピー ➡ 「よく使う設定呼出時の確認表示」 (P. 1063)

登録済みの「よく使う設定」を削除する

- 「よく使う設定」画面で、削除したいボタンを選択し、「削除」を押します。
- スキャン（スキャンして送信）とファクスの「よく使う設定」を削除する場合は、「よく使う設定」画面で「編集」を押してから、削除したいボタンを選択し、「削除」を押します。
- 「よく使う設定」の登録内容を削除しても、ボタンの名称はそのまま、削除されたり初期設定に戻ったりしません。必要に応じて、「名称変更」を押して名称を変更します。

初期設定を変更する

EJ83-03J

操作パネルでスキャンやコピーなどの機能呼び出したときの、初期設定を変更します。
各機能の画面で [リセット] を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

初期設定は、操作パネルを使用して変更します。パソコンからリモート UI を使用して変更することはできません。
ここでは、コピーを例に手順を説明します。

1 必要に応じて、本機にログインする ▶ ログイン方法 (P. 191)

- ログインユーザー個人の設定として、自分専用の初期設定を変更する場合は、ログインしてから操作します。
- 本機の設定として初期設定を変更する場合は、ログインせずに手順 2 に進みます。

2 操作パネルの [ホーム] 画面で、[コピー] を押す ▶ [ホーム] 画面 (P. 156)

→ コピーの画面が表示されます。

3 初期設定として登録する内容を設定する ▶ コピーする (P. 565)

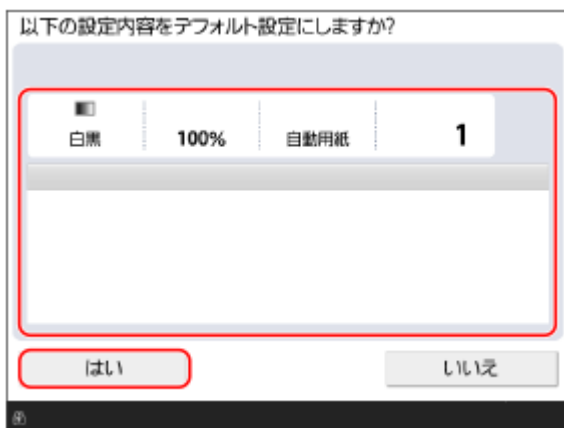
4 [≡] ▶ [デフォルト設定の変更] を押す

設定内容を確認する画面が表示された場合は、手順 6 に進みます。

5 [登録] を押す



6 設定内容を確認し、[はい] を押す



→ 初期設定が変更されます。

メモ

初期設定を工場出荷時の設定に戻す

- 手順 5 の画面で、[初期化] ▶ [はい] を押します。
- スキャン（スキャンして送信）とファクスの設定を初期化する場合は、[ホーム] 画面などの [⚙️ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から初期化します。
 - スキャンして送信 ➡ [デフォルト設定の変更] (P. 1075)
 - ファクス ➡ [デフォルト設定の変更] (P. 1095)

表示言語を切り替える

EJ83-03K

画面の表示を他の言語に切り替えることができます。言語によっては、画面に表示されるキーボードの配列を変更することもできます。

表示言語は、操作パネルを使用して切り替えます。パソコンからリモート UI を使用して切り替えることはできません。

1 必要に応じて、本機にログインする ▶ ログイン方法 (P. 191)

- ログインユーザー個人の設定として、自分がログインしているときの表示言語を切り替える場合は、ログインしてから操作します。
- 本機の設定として表示言語を切り替える場合は、ログインせずに手順 2 に進みます。

2 表示言語の設定画面を表示する

〔ホーム〕画面などの下部に  が表示されている場合

 を押すと、表示言語の設定画面が表示されます。

※画面下部に  が表示されるかどうかは、本機の設定によります。▶ [表示言語切り替えボタンを追加する \(P. 876\)](#)

設定メニューから表示する場合

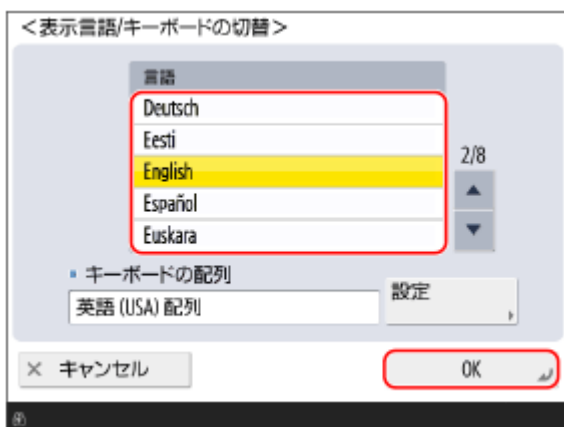
1. 操作パネルの〔ホーム〕画面などで、 設定/登録 を押す ▶ [〔ホーム〕画面 \(P. 156\)](#)

→ 〔設定/登録〕画面が表示されます。

2. 〔環境設定〕▶ 〔表示設定〕▶ 〔表示言語/キーボードの切替〕を押す

→ 表示言語の設定画面が表示されます。

3 表示言語を選択し、〔OK〕を押す



キーボードの配列を変更する場合は、表示言語を選択したあと 〔設定〕を押して変更します。

※言語によっては、キーボードの配列を変更できません。

自分に合った表示／操作性に変更する - 個人設定

EJ83-03L

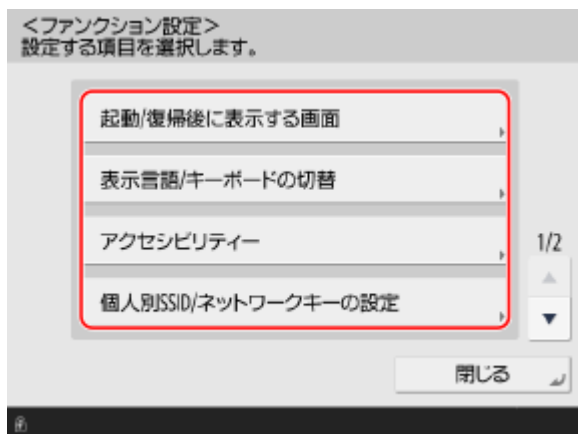
ログインユーザーごとに、画面の表示や操作性などに関する設定（個人設定）を変更できます。設定内容は、設定を変更したユーザーがログインしたときのみ有効となるため、他のユーザーには影響しません。

変更できる設定

- ログイン後に表示する画面
- 画面の表示言語
- キーボードの反応速度や画面の色反転（アクセシビリティ）
- モバイル機器をダイレクト接続するときの個人別の SSID（ネットワーク名）とネットワークキー（パスワード）
- 留め置かれたプリントデータの自動プリント

個人設定は、操作パネルを使用して変更します。パソコンからリモート UI を使用して変更することはできません。

- 1 本機にログインする ➡ **ログイン方法 (P. 191)**
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面で、[個人設定] を押す ➡ **[ホーム] 画面 (P. 156)**
- 3 設定を変更したい項目のボタンを押し、表示された画面で設定を変更する



ログイン後に表示する画面を変更する場合

[起動/復帰後に表示する画面] を押し、表示言語を選択します。

※ログイン画面を表示するタイミングの設定で、操作を開始するときにログイン画面を表示するように設定されている場合にのみ項目が表示されます。 ➡ **ログイン画面の表示方法を設定する (P. 717)**

画面の表示言語を切り替える場合

[表示言語/キーボードの切替] を押し、表示言語を選択します。

言語によっては、画面に表示されるキーボードの配列を変更することもできます。キーボードの配列を変更する場合は、表示言語を選択したあと [設定] を押して変更します。

キーボードの反応速度や画面の色反転の設定を変更する場合

[アクセシビリティ] を押し、必要な設定を行います。

〔キーリピート設定〕

画面に表示されるキーボードのキーを長押しすると、連続して同じ文字が入力される機能を「キーリピート」といいます。キーリピートが動作する速度を遅くできます。

1 文字入力するつもりでも同じ文字が続けて入力されてしまう場合などに設定します。

〔連続キー操作を受け付けない時間の指定〕

画面に表示されるキーボードのキーを意図せずに連続して押したときの、2 回目以降の入力を受け付けない時間を設定できます。

1 文字入力するつもりでも同じ文字が続けて入力されてしまう場合などに設定します。

〔画面色反転〕

画面の明暗を反転して表示するように設定できます。

〔ホーム〕画面の〔輝度調整〕で画面の明るさを調整しても表示が見づらいときに設定します。

モバイル機器をダイレクト接続するときの個人別 SSID／ネットワークキーを設定する場合

〔個人別 SSID/ネットワークキーの設定〕を押し、使用する SSID とネットワークキーを設定します。

※アクセスポイントモードの設定で、ログインユーザーごとに異なる SSID／ネットワークキーを使用するように設定されている場合にのみ設定できます。➡ **ダイレクト接続機能を有効にする (P. 654)**

任意の SSID／ネットワークキーを設定する場合

〔任意の SSID を使用〕／〔任意のネットワークキーを使用〕を〔ON〕に設定し、SSID／ネットワークキーを入力します。

ランダムな文字列で自動生成された SSID／ネットワークキーを使用する場合

〔任意の SSID を使用〕／〔任意のネットワークキーを使用〕を〔OFF〕に設定します。

ログイン時に自動的にダイレクト接続の待機状態になるようにする場合

〔ログイン/ログアウト時にダイレクト接続を開始/終了する〕を〔ON〕に設定します。

留め置かれたプリントデータを自動プリントするように設定する場合

〔ログイン時にマイジョブを自動でプリントする〕を押し、〔ON〕に設定します。

ログイン時に、留め置かれている自分のプリントデータが自動的にプリントされるようになります。

※プリントデータの自動プリント機能を使用するように設定されている場合にのみ設定できます。➡ **〔ログイン時自動プリント機能を使用〕 (P. 1130)**

4

〔閉じる〕を押す

ログイン方法

本機にログインするには、操作パネルの［ホーム］画面で  ログイン］ を押し、表示されたログイン画面で必要な情報を入力してログインします。➡ **［ホーム］画面 (P. 156)**

認証が必要な機能进行操作する場合などは、ログイン画面が自動的に表示されます。ログインすると画面が切り替わり、操作を続けることができます。

※本機の重要な設定を変更するには、管理者権限を持つユーザーでログインする必要があります。➡ **管理者権限とパスワード (P. 29)**

※本機にログインすると、各ユーザーが自分に合った設定で本機を使用できます。➡ **自分だけの画面／データを利用する - パーソナライズ (P. 194)**

本機の設定によって、ログイン画面が異なります。表示された画面に応じた手順でログインします。

① **ユーザーの一覧が表示された場合 (P. 191)**

② **ユーザー名とパスワードの入力画面が表示された場合 (P. 192)**

メモ

ログインしたあと操作がされないまま一定時間が経過した場合

- 初期設定では、各画面で設定していた内容がクリアされて、自動的にログアウトします。クリアされるまでの時間は変更することができます。➡ **［オートクリア移行時間］ (P. 977)**

ユーザーの一覧が表示された場合

ユーザーの一覧からユーザー名を選択してログインします。



1 ユーザー名を押す

- 画面上部のプルダウンメニューで、ユーザー名を並べ替えたり絞り込んだりできます。左側のプルダウンメニューから［プリント］を選択した場合は、待機中のプリントデータがあるユーザーのみが表示されます。
- 登録済みのユーザーが画面に表示されない場合は、画面右上の  を押します。
- ユーザーの一覧が画面に表示しきれない場合は、画面下部の  ／  を押すと、ページが切り替わります。また、テンキーを押すと［ページ移動］画面が表示されて、入力したページにジャンプできます。

- 2 暗証番号やパターンの入力が必要な場合は、画面に従って入力／設定し、[ログイン] を押す
→ログインに成功すると、[ホーム] 画面などに切り替わります。

- 3 目的の操作が終わったら、[ ログアウト] を押す

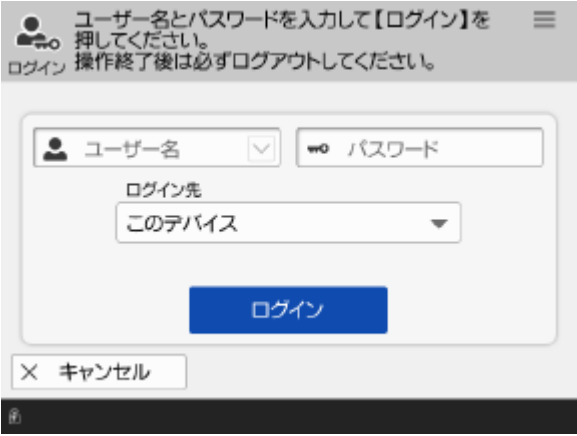
メモ

登録済みのユーザー情報を編集する

- ログイン画面の [] から [ユーザーの編集] を押し、編集したいユーザーを選択すると、登録内容を編集できます。

ユーザー名とパスワードの入力画面が表示された場合

ユーザー名とパスワードをキーボードで入力してログインします。



- 1 [ユーザー名] を押す
以前にログインしたユーザー名の履歴が保存されている場合は、プルダウンメニューから選択することもできます。ユーザー名をプルダウンメニューから選択した場合は、[パスワード] を押し、手順 3 に進みます。
- 2 ユーザー名を入力し、[次へ] を押す
- 3 パスワードを入力し、[OK] を押す
- 4 [ログイン先] のプルダウンメニューからログイン先を選択し、[ログイン] を押す
→ログインに成功すると、[ホーム] 画面などに切り替わります。
- 5 目的の操作が終わったら、[ ログアウト] を押す

メモ

- 本機の設定によっては、ログイン画面の [[設定メニューにパスワードの変更ボタンを表示] (P. 1151)

自分だけの画面／データを利用する - パーソナライズ

EJ83-03S

本機にログインすると、各ユーザーが自分に合った設定で本機を使用できます。これをパーソナライズと呼びます。自分専用の画面や個別のアドレス帳を使用できます。また、自分が使用した設定が自動で保存されるので、すばやく快適に操作できます。

これらのパーソナライズ機能を利用するには、本機の設定が必要です。また、パーソナライズできる項目が制限されている場合もあります。④ **パーソナライズ機能を有効／無効にする (P. 725)**

自分だけの画面を使用する

［ホーム］画面や各機能の画面から、よく使用する機能をすばやく実行できるようにしたり、表示や設定を変更して操作しやすくしたりできます。

- ④ **［ホーム］画面をカスタマイズする (P. 172)**
- ④ **［ホーム］画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン (P. 174)**
- ④ **スキャン／ファクス／コピーの画面をカスタマイズする (P. 178)**

各機能の画面では、自分が使いやすいように初期設定を変更することもできます。

- ④ **初期設定を変更する (P. 186)**



個別のアドレス帳や宛先を使用する

スキャンデータやファクスの送信／保存先を、自分だけの宛先として管理したり、自分が所属するグループで共有したりできます。このような個別の宛先を利用するには、アドレス帳の画面で「個人宛先表」や「ユーザーグループ宛先表」を選択します。

- ④ **宛先の登録 - アドレス帳 (P. 270)**
- ④ **宛先を指定する - アドレス帳 (P. 315)**

また、スキャン（スキャンして送信）の画面に表示される［自分へ送信］からは、かんたんに自分のメールアドレス宛てにスキャンデータを送信できます。



履歴を活用する

［ホーム］画面のタイムラインや、各機能の画面の［設定の履歴］から、自分が以前に使用した設定を呼び出して、繰り返し使用できます。

🔗 **タイムラインの表示と操作 (P. 166)**

自分に合った設定で使用する

他のユーザーを気にせず、自分に合った設定で本機を使用できます。操作パネルを使いやすくするだけでなく、本機を使い始めるときの動作を設定して、操作の手間を省くこともできます。

🔗 **自分に合った表示／操作性に変更する - 個人設定 (P. 189)**



メモ

自分専用の保存スペースを使用する

- 本機にログインすることで、パーソナライズ機能のほか、自分専用の保存スペースを使用することもできます。
 - マイフォルダーとして設定された保存場所
マイフォルダーが用意されている場合は、スキャンの画面などに表示される［マイフォルダー］から、かんたんにアクセスして利用できます。🔗 **マイフォルダーを設定する (P. 749)**

原稿のセット方法

スキャン／ファクス／コピーで使用する文書や写真などの印刷物（原稿）を、原稿台ガラスまたはフィーダーにセットします。

原稿台ガラスとフィーダーのどちらにセットするかは、原稿の種類や用途に応じて判断します。

原稿台ガラス

原稿が静止した状態で読み取られます。原稿を1枚ずつセットして操作する必要がありますが、精度の高い読み取りが可能です。

また、以下のような原稿をセットすることもできます。

- 書籍／厚紙／薄紙など、フィーダーにセットできない原稿
- トレーシングペーパー／OHP フィルムなどの透過原稿

➡ 原稿台ガラスに原稿をセットする (P. 196)

フィーダー

複数枚の原稿をまとめてセットできます。セットした原稿は、1枚ずつ自動的に送られて読み取られます。

原稿の両面を同時に読み取ることもできます。

➡ フィーダーに原稿をセットする (P. 198)

どちらにセットする場合も、ロゴ入り用紙にコピーするときや、ホチキス／パンチ機能を使用するときは、原稿の向きなどに注意が必要です。

➡ ロゴ入り用紙にコピーするときの原稿の向き (P. 202)

➡ ホチキスするときの原稿の向きとホチキス位置の設定（オプション） (P. 205)

➡ パンチ穴をあけるときの原稿の向き（オプション） (P. 209)

重要

乾いた原稿をセットする

- 原稿にインク／修正液／のりなどが付いている場合は、完全に乾かしてからセットします。

原稿台ガラスに原稿をセットする

セットできる原稿のサイズについては、本機の基本仕様を参照してください。 ➡ 基本仕様 (P. 51)

1 フィーダーを開ける



フィーダーはしっかりと開けます。フィーダーの開けかたが不十分な状態で原稿をセットすると、原稿サイズが正しく検知されないことがあります。

2 スキャンする面を下にして、原稿の角を原稿台ガラスの左上隅に合わせてセットする



透過原稿をスキャンする場合

トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿をスキャンする場合は、原稿の上に白紙を重ねて置きます。

原稿の両面をスキャンする場合

自分から見て原稿の上下が正しい位置になるようにセットします。



見開き原稿をスキャンする場合

本や雑誌のような見開き原稿をスキャンする場合は、原稿の上部を原稿台ガラスの左上隅と上部に合わせてセットします。



3 フィーダーをゆっくり閉める

本や雑誌などの厚い原稿をセットした場合は、フィーダーを閉めるときに強く押さないようにします。

4 原稿のスキャンが終わったら、原稿台ガラスから原稿を取り除く

メモ

- 原稿台ガラスの周囲にある原稿サイズの指標には、自動検知されない原稿サイズも記載されています。

フィーダーに原稿をセットする

サイズの異なる原稿をまとめてセットできます。

セットできる原稿のサイズ／種類については、フィーダーの仕様を参照してください。▶[両面同時読取フィーダーの仕様 \(P. 54\)](#)

重要

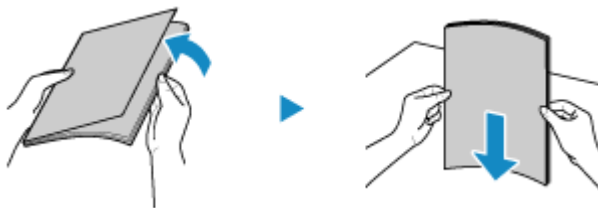
フィーダー内の紙づまりを防ぐため、以下の原稿はセットしない

- しわ／折り目がある紙、カールしている紙、破れている紙
- カーボン紙、コート紙、薄質半透明紙、OHP フィルム
- ホチキスの針／クリップ／付箋が付いた紙
- 熱転写プリンターでプリントされた紙
- パンチ穴などがある紙

1 原稿の幅より少し広めに原稿ガイドを広げる



2 原稿をさばいて、端をそろえる



少量ずつよくさばき、平らな場所で数回たたいて端をそろえます。

3 スキャンする面を上にして、原稿をセットする



→ 原稿が正しくセットされると、原稿セットランプ（**a**）が点灯します。

- 原稿の端が突き当たるまで差し込みます。
- 原稿が積載制限マーク（**b**）を超えないようにセットします。積載制限マーク以上の原稿をセットすると、原稿の搬送不良や紙づまりの原因になります。

名刺をセットする場合

名刺はヨコ置きでセットします。



薄紙の原稿をセットする場合

薄紙の原稿は、セットしづらかったり、高温多湿の使用環境でしわになったりすることがあります。

原稿の両面をスキャンする場合

自分から見て原稿の上下が正しい位置になるようにセットします。



サイズの異なる原稿をまとめてセットする場合

タテの幅が同じ場合は、同じ幅の辺をそろえてセットします。



タテの幅が異なる場合は、自分から見て原稿の左端と上端をそろえてセットします。



サイズの異なる原稿をセットするときの注意事項

- まとめてセットできる原稿サイズの組み合わせには制限があります。▶ **両面同時読取フィーダーの仕様 (P. 54)**
適切ではない組み合わせでセットすると、原稿の破損や紙づまりの原因になることがあります。
- タテの幅が異なる原稿をセットした場合、幅が短いほうの原稿は原稿ガイドで固定されないため、斜めにスキャンされることがあります。
- 紙の厚さや紙質が異なる原稿はまとめてセットしないようにします。紙づまりの原因になることがあります。

長尺原稿をセットする場合

スキャン時および排紙時に、原稿に手をそえて支えるようにします。

セットできる長尺原稿のサイズについては、本機のフィーダーの仕様を参照してください。▶ **両面同時読取フィーダーの仕様 (P. 54)**



4

原稿ガイドを原稿の幅にぴったり合わせる



原稿ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、原稿の搬送不良や紙づまりの原因になります。

5

原稿のスキャンが終わったら、原稿排紙トレイに排出された原稿を取り除く

- スキャン中は、原稿を追加したり、途中で原稿を抜き取ったりしないようにします。

- 原稿排紙トレイに排出された原稿をそのままにしておくと、紙づまりの原因になります。

ロゴ入り用紙にコピーするときの原稿の向き

EJ83-03W

ロゴなどが入った用紙にコピーするときは、原稿をセットする向きに注意します。

- ④ 原稿台ガラスに原稿をセットする場合 (P. 202)
- ④ フィーダーに原稿をセットする場合 (P. 203)

※ロゴなどが入った用紙にコピーするときは、用紙をセットする向きと面にも注意が必要です。④ **ロゴ入り用紙をセットする向き (P. 240)**

メモ

- 原稿をセットするときの全体的な手順は、以下を参照してください。
 - ④ **原稿のセット方法 (P. 196)**

原稿台ガラスに原稿をセットする場合

原稿のサイズに応じて、以下の図のようにセットします。

A4/B5/A5 サイズの原稿

タテ向きの原稿



ヨコ向きの原稿



A3/B4 サイズの原稿

タテ向きの原稿



ヨコ向きの原稿



フィーダーに原稿をセットする場合

ロゴ入り用紙にコピーするときにフィーダーを使用する場合は、コピー速度を優先しないように設定しておく必要があります。

あらかじめコピー速度を優先しないように設定してから、原稿の向きに注意してセットします。

コピー速度を優先しないように設定する

この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [コピー] ▶ [フィーダー使用時のコピー速度優先] ▶ [OFF] ▶ [ON]

原稿をセットする向き

原稿のサイズに応じて、以下の図のようにセットします。

A4/B5/A5 サイズの原稿

タテ向きの原稿



ヨコ向きの原稿



A3/B4 サイズの原稿

タテ向きの原稿



ヨコ向きの原稿



ホチキスするときの原稿の向きとホチキス位置の設定（オプション）

EJ83-03X

ホチキス機能を使用するときは、原稿をセットする向きと、ホチキス位置の設定に注意します。

- ④用紙の角をホチキス／針なしとじする場合 - コーナー (P. 205)
- ④用紙の端の2箇所をホチキスする場合 - ダブル (P. 207)

メモ

- 原稿をセットするときの全体的な手順は、以下を参照してください。
 - ④原稿のセット方法 (P. 196)
- ホチキス機能を使用するときの設定方法は、以下を参照してください。
 - ④仕上げ機能を設定する (P. 604)

用紙の角をホチキス／針なしとじする場合 - コーナー

実際にホチキス／針なしとじする位置に応じて、以下の図のように原稿をセットします。ホチキス位置の設定は、原稿をスキャンする面から見た位置を設定します。

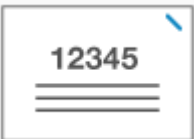
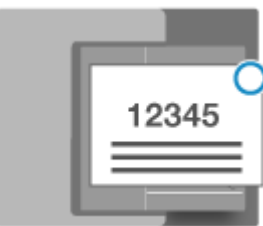
原稿をセットする向きと、ホチキス位置の設定は、原稿のサイズによって異なります。

A4/B5/A5 サイズの原稿

実際のホチキス位置	原稿をセットする向き		ホチキス位置の設定
	原稿台ガラス	フィーダー	
タテ向き用紙の右上 			[右上]
タテ向き用紙の左上 			[左上]

実際のホチキス位置	原稿をセットする向き		ホチキス位置の設定
	原稿台ガラス	フィーダー	
ヨコ向き用紙の右上 			[右下]
ヨコ向き用紙の左上 			[右上]

A3/B4 サイズの原稿

実際のホチキス位置	原稿をセットする向き		ホチキス位置の設定
	原稿台ガラス	フィーダー	
タテ向き用紙の右上 			[左上]
タテ向き用紙の左上 			[右下]
ヨコ向き用紙の右上 			[右下]

実際のホチキス位置	原稿をセットする向き		ホチキス位置の設定
	原稿台ガラス	フィーダー	
ヨコ向き用紙の左上 			[左上]

用紙の端の2箇所をホチキスする場合 - ダブル

実際にホチキス／針なしとじする位置に応じて、以下の図のように原稿をセットします。ホチキス位置の設定は、原稿をスキャンする面から見た位置を設定します。

原稿をセットする向きと、ホチキス位置の設定は、原稿のサイズによって異なります。

A4/B5/A5 サイズの原稿

実際のホチキス位置	原稿をセットする向き		ホチキス位置の設定
	原稿台ガラス	フィーダー	
タテ向き用紙の左 			[左]
タテ向き用紙の右 			[右]

A3/B4 サイズの原稿

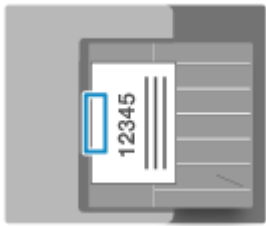
実際のホチキス位置	原稿をセットする向き		ホチキス位置の設定
	原稿台ガラス	フィーダー	
タテ向き用紙の上 			[左]
ヨコ向き用紙の左 			[左]
ヨコ向き用紙の右 			[右]

パンチ穴をあけるときの原稿の向き（オプション）

EJ83-03Y

パンチ機能を使用するときは、パンチ穴をあける位置に応じて、以下の図のように原稿をセットします。
原稿をセットする向きは、原稿のサイズによって異なります。

A4/B5/A5 サイズの原稿

パンチ穴の位置	原稿をセットする向き	
	原稿台ガラス	フィーダー
タテ向き用紙の左 		
ヨコ向き用紙の上 		

A3/B4 サイズの原稿

パンチ穴の位置	原稿をセットする向き	
	原稿台ガラス	フィーダー
タテ向き用紙の上 		

パンチ穴の位置	原稿をセットする向き	
	原稿台ガラス	フィーダー
ヨコ向き用紙の左 		

メモ

- 原稿をセットするときの全体的な手順は、以下を参照してください。
 - ▶ 原稿のセット方法 (P. 196)
- パンチ機能を使用するときの設定方法は、以下を参照してください。
 - ▶ 仕上げ機能を設定する (P. 604)

用紙のセット方法

プリント品質を保つために、使用できる用紙や、用紙の取り扱い／保管方法について確認し、適切な用紙を準備します。▶**使用可能な用紙 (P. 44)**／▶**用紙を取り扱うときの注意事項 (P. 49)**

準備した用紙を本機にセットしたら、用紙サイズと用紙種類を設定します。
排紙トレイが複数ある場合は、必要に応じて排紙先の設定をすることもできます。

用紙のセット

普段よく使用する用紙は、まとまった枚数をセットできる給紙カセットにセットします。
給紙カセットにセットされていない用紙を一時的に使用する場合は、手差しトレイにセットします。

- ▶**給紙カセットに用紙をセットする (P. 212)**
- ▶**手差しトレイに用紙をセットする (P. 221)**

長尺用紙をセットする場合は、オプションの長尺用給紙トレイ・A に用紙をセットします。

- ▶**長尺用給紙トレイ・A に用紙をセットする（オプション） (P. 224)**

封筒／はがき／ロゴ入り用紙をセットする場合は、用紙の向きと面に注意が必要です。

- ▶**封筒をセットする準備と向き (P. 226)**
- ▶**はがきをセットする向き (P. 236)**
- ▶**ロゴ入り用紙をセットする向き (P. 240)**

用紙の設定

きれいにプリントしたり、紙づまりを防いだりするために、セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を正しく設定する必要があります。

- ▶**用紙サイズと用紙種類の設定 (P. 246)**

排紙先の設定

排紙トレイが複数ある場合は、プリント／コピーされた用紙をどの排紙トレイに排出するかを機能ごとに指定できます。

- ▶**排紙先の設定 (P. 267)**

重要

用紙は混ぜてセットしない

- セットした用紙をすべて使ってから、次の用紙をセットします。用紙が残っている状態で補給すると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になることがあります。
- 型番や種類の異なる用紙を混ぜて1つの給紙部にセットしないようにします。

メモ

OHP フィルムを使用する場合

- 搬送不良や紙づまりが発生する場合は、1枚ずつセットします。
- OHP フィルムを給紙カセットや手差しトレイにセットしたまま放置すると、OHP フィルム同士が密着して、搬送不良や紙づまりの原因になることがあります。プリントが終わったら、残った OHP フィルムは入っていた包装紙に再度包み、高温多湿の場所を避けて保管します。

給紙カセットに用紙をセットする

EJ83-041

普段よく使用する用紙は、まとまった枚数をセットできる給紙カセットにセットします。
セットする用紙のサイズによって、セット方法が異なります。

A3 や A4 などの定形サイズの下紙／はがき／封筒をセットする場合

① 定形サイズの用紙をセットする (P. 212)

定形外サイズの用紙（ユーザー設定用紙）をセットする場合

① 定形外サイズの用紙をセットする (P. 216)

重要

プリント済みの用紙はセットしない

- プリント済みの用紙を給紙カセットにセットすると、故障の原因になります。プリント済み用紙のウラ面にプリントする場合（手動両面プリント）は、必ず手差しトレイにセットします。④ 手差しトレイに用紙をセットする (P. 221)

定形サイズの用紙をセットする

給紙カセットの用紙ガイドを指標に合わせることで、正しくセットできます。
封筒／はがき／ロゴ入り用紙をセットする場合は、用紙の向きと面に注意が必要です。

① 封筒をセットする準備と向き (P. 226)

② はがきをセットする向き (P. 236)

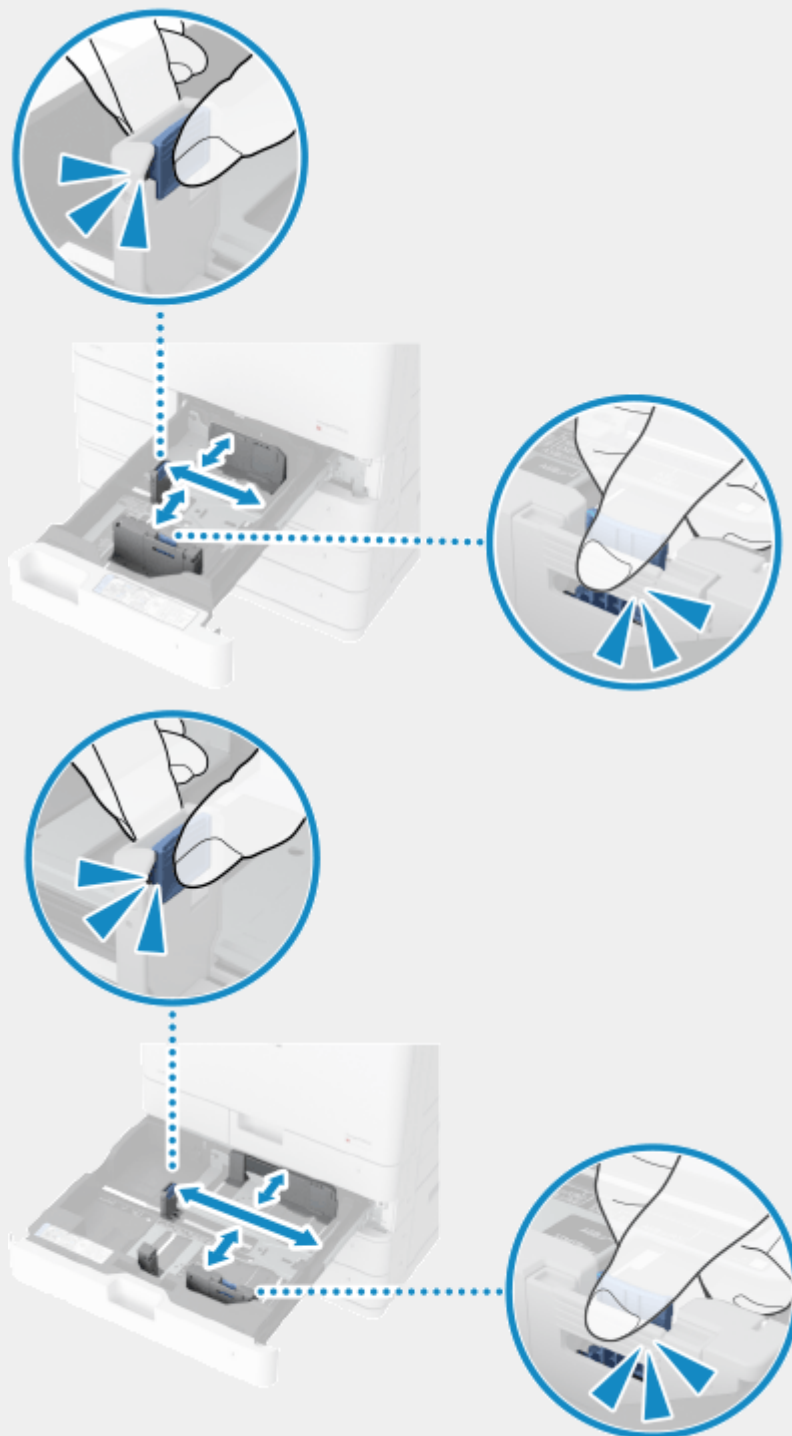
③ ロゴ入り用紙をセットする向き (P. 240)

1 給紙カセットを、止まる位置まで手前に引き出す



2 用紙ガイドをセットする用紙のサイズに合わせる

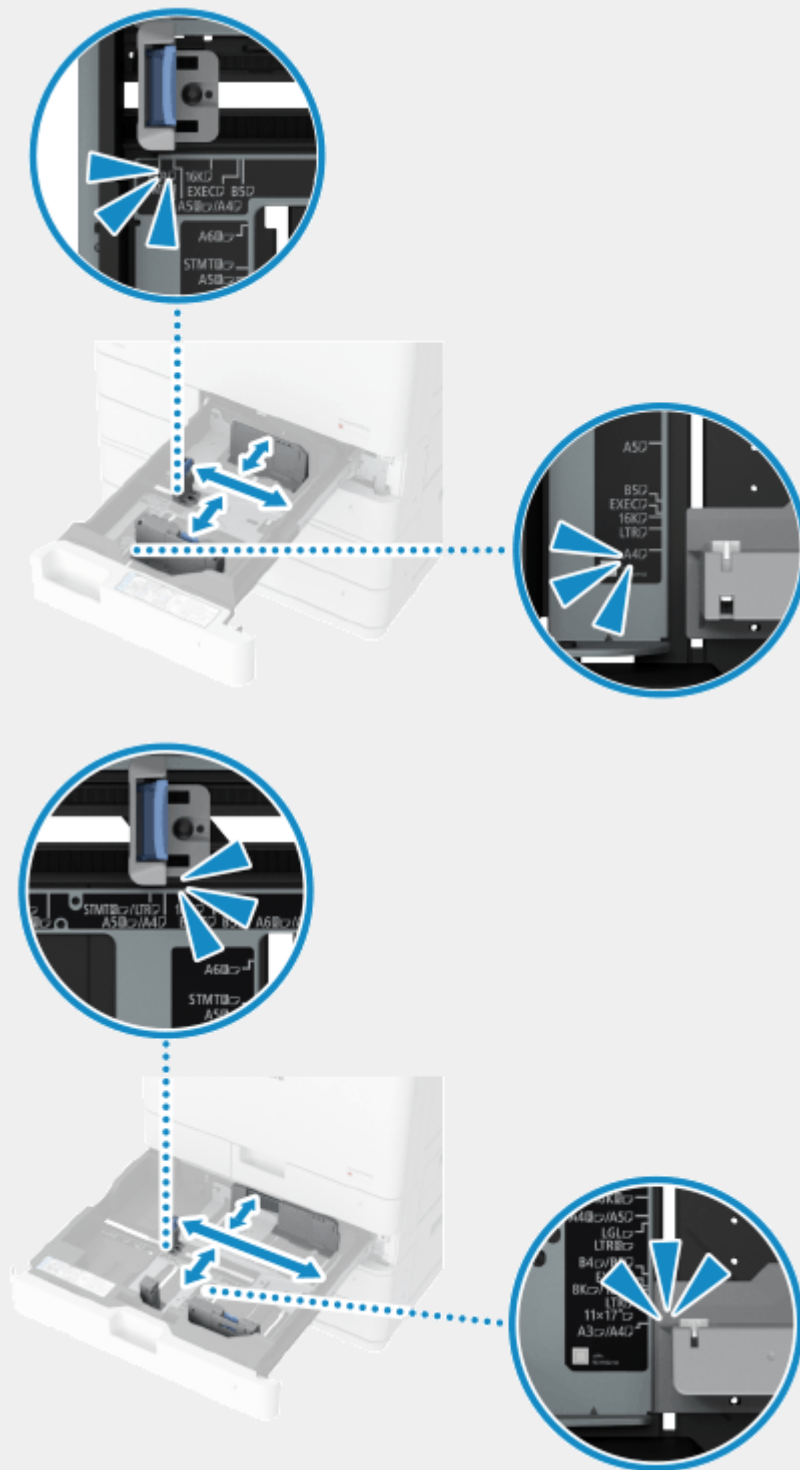
1. ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを動かす



封筒をセットする場合は、封筒アタッチメントを取り付けてから用紙ガイドを動かします。

- 給紙カセット 1 ➤封筒アタッチメントの取り付けと封筒の向き - 給紙カセット 1 (P. 228)
- 給紙カセット 2 ➤封筒アタッチメントの取り付けと封筒の向き - 給紙カセット 2 (P. 230)

2. 用紙ガイドの突起部を、セットする用紙のサイズの指標に合わせる



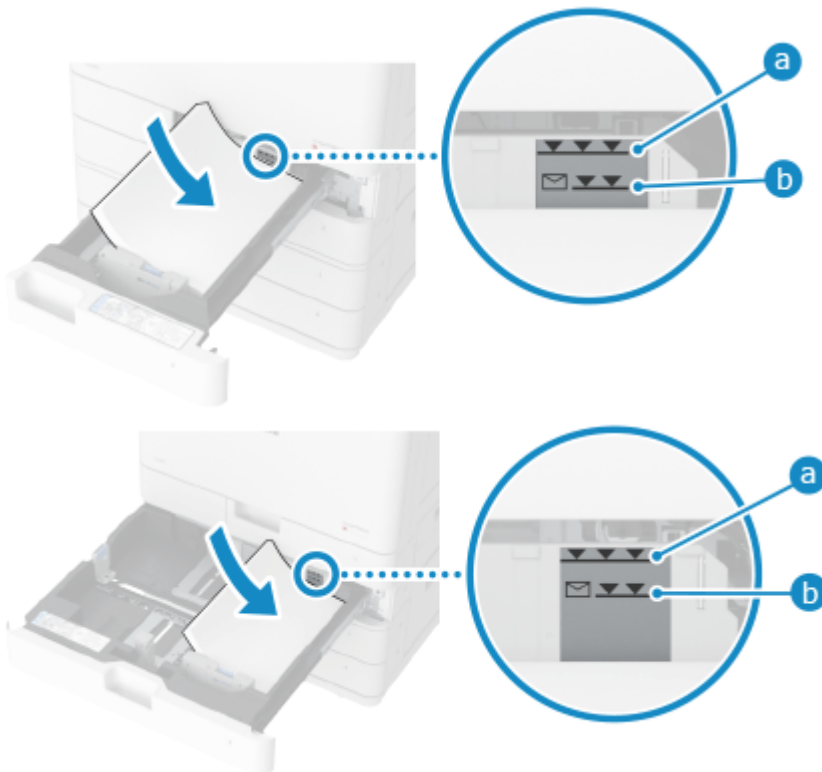
- 用紙ガイドは、「カチッ」と音がする位置に合わせます。
用紙ガイドを正しく合わせないと、セットした用紙のサイズが操作パネルの画面に正しく表示されません。また、紙づまりの原因になったり、プリントした用紙や本機内部の汚れの原因になったりすることがあります。
- 用紙サイズの指標には、本機にセットできない用紙サイズが記載されていることがあります。本機にセットできる用紙サイズについては、以下を参照してください。
▶使用可能な用紙サイズ (P. 44)
- セットする用紙のサイズの指標がない場合は、定形外サイズの方法でセットします。▶定形外サイズ
の用紙をセットする (P. 216)

3 用紙をさばいて、端をそろえる



- 両方向からよくさばきます。
- さばいたら、平らな場所で端をそろえます。

4 プリントする面を上にして、用紙をセットする



- 用紙の端を給紙カセットの右側面に突き当ててセットします。
- 用紙が積載制限マーク（**a**：封筒以外、**b**：封筒）を超えないようにセットします。積載制限マーク以上の用紙をセットすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

5 給紙カセットをゆっくりと本機に押し込む

6 必要に応じて、用紙サイズと用紙種類を設定する ▶ 給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 247)

- 用紙サイズは自動検知されます。▶ **自動検知可能な用紙サイズ (P. 48)**
 ※検知されたサイズがセットした用紙と異なる場合は、用紙が正しくセットされていない可能性がありますので、用紙をセットしなおします。
 ※自動検知されないサイズの用紙をセットした場合や、用紙をセットしなおしても異なるサイズが検知される場合は、用紙サイズの設定を変更します。
- 初期設定では、用紙種類は普通紙 1 に設定されています。種類が異なる用紙をセットした場合は、用紙種類の設定を変更します。

メモ

- 給紙カセットに用紙サイズラベルが貼られている場合に、用紙のサイズを変更したときは、用紙サイズラベルを貼り替えます。👉[給紙カセット \(P. 42\)](#)

定形外サイズの内紙をセットする

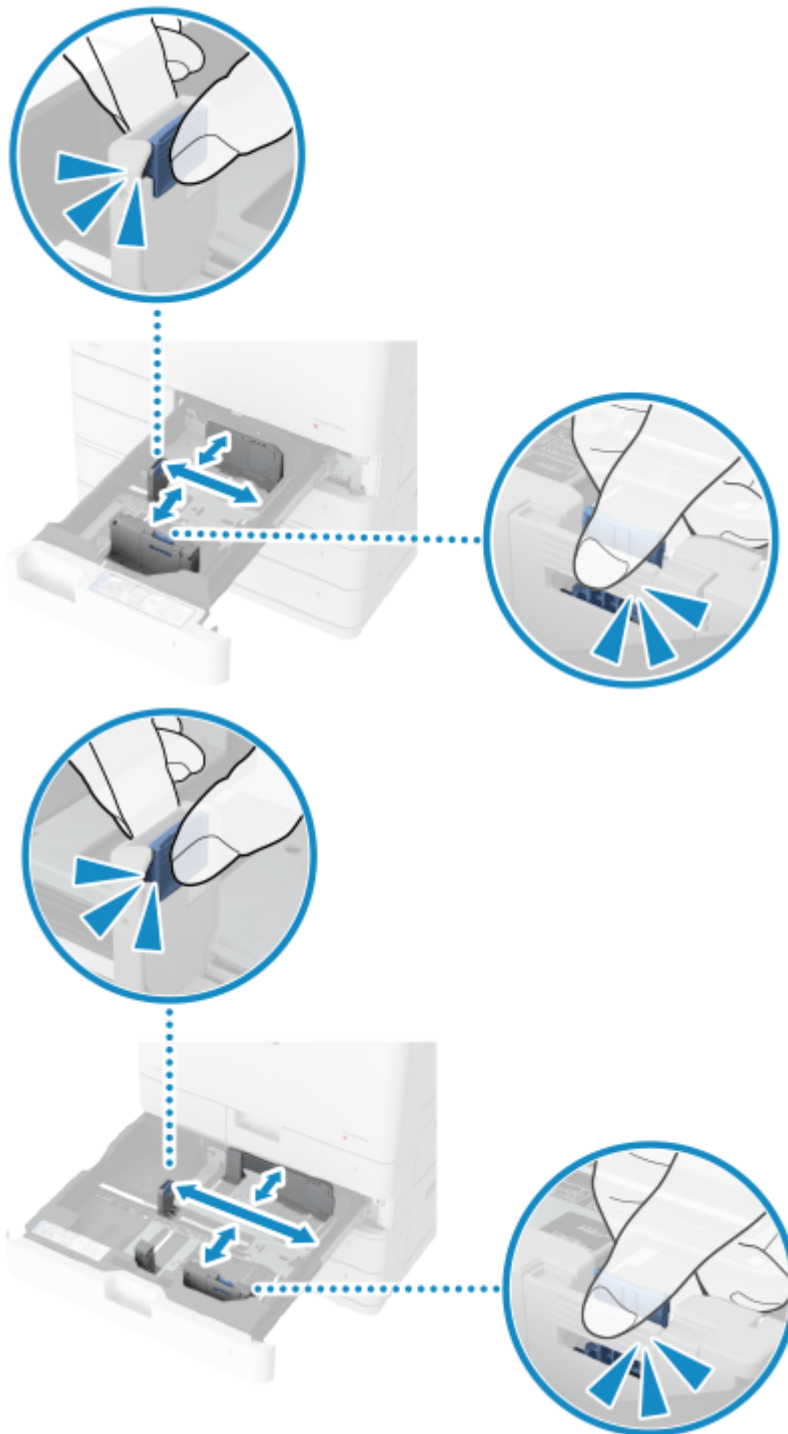
給紙カセットの内紙ガイドを内紙に合わせることで、正しくセットできます。

ロゴ入り内紙をセットする場合は、内紙の向きと面に注意が必要です。👉[ロゴ入り内紙をセットする向き \(P. 240\)](#)

1 給紙カセットを、止まる位置まで手前に引き出す

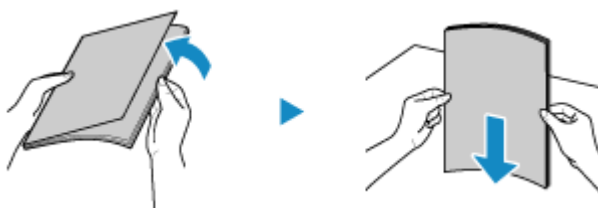


2 用紙ガイドを外側に広げる



ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを動かします。

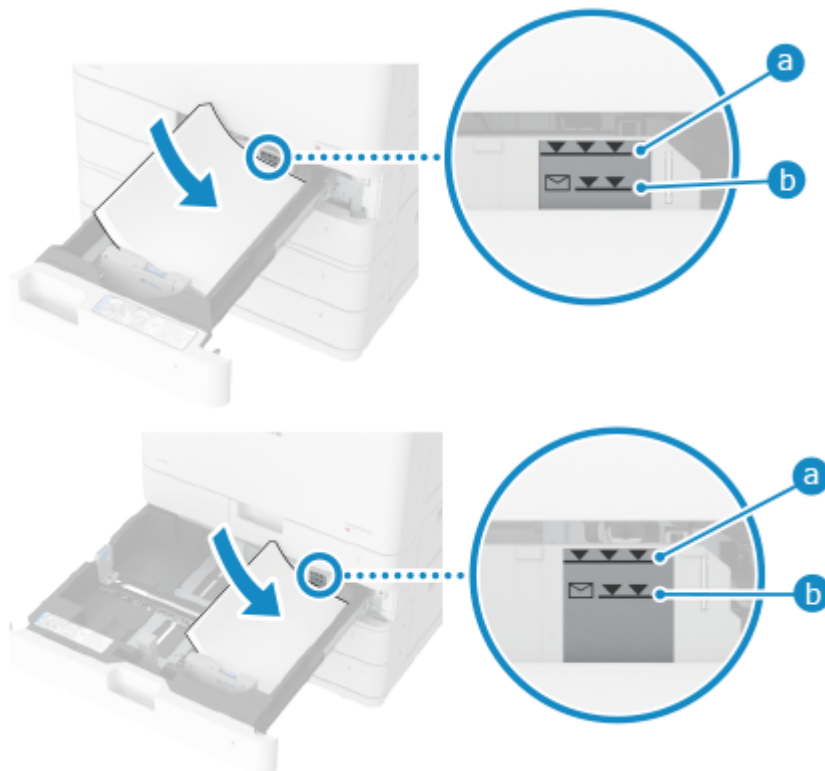
3 用紙をさばいて、端をそろえる



- 両方向からよくさばきます。

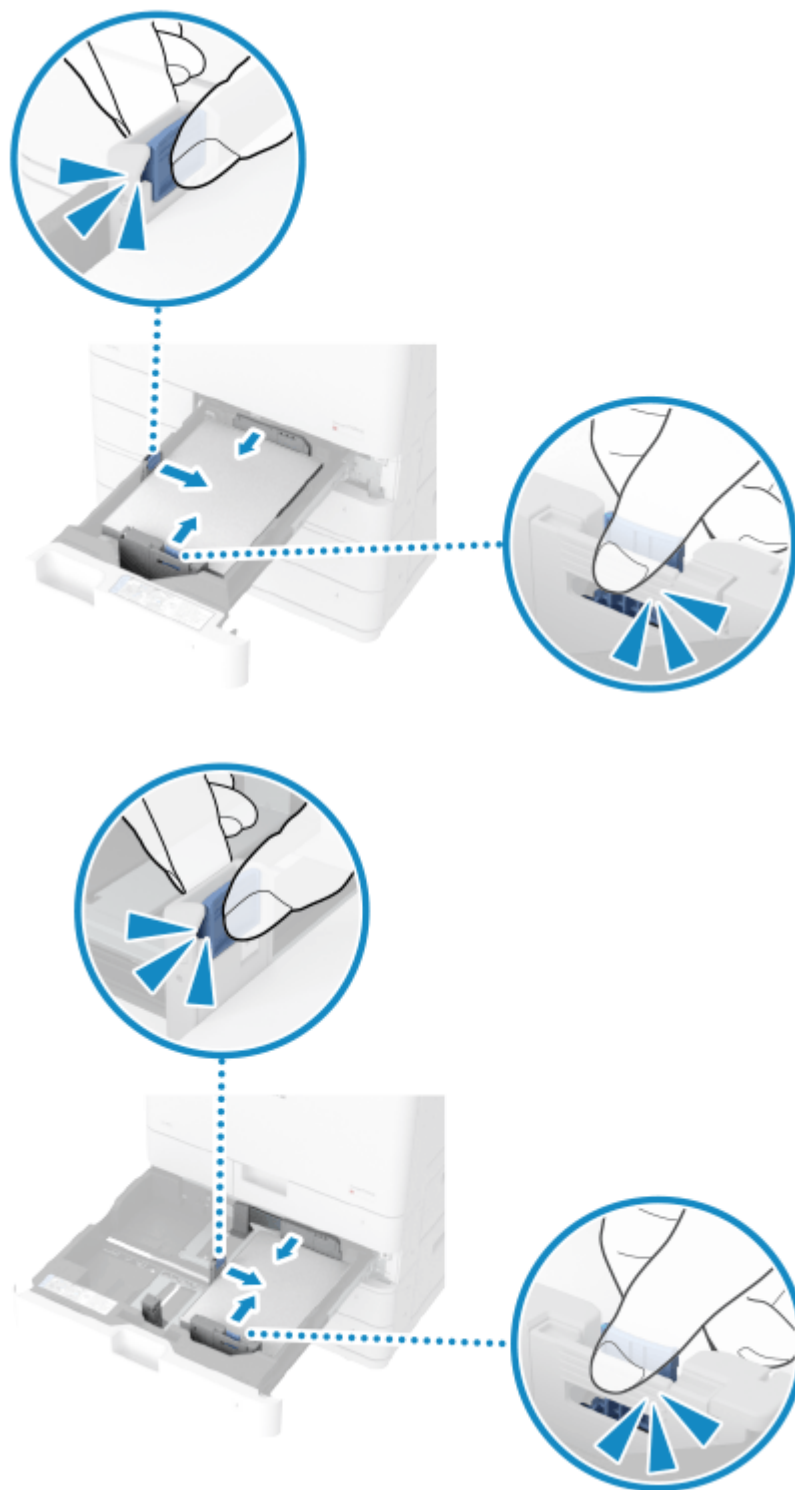
- さばいたら、平らな場所で端をそろえます。

4 プリントする面を上にして、用紙をセットする



- 用紙の端を給紙カセットの右側面に突き当ててセットします。
- 用紙が積載制限マーク（**a**：封筒以外、**b**：封筒）を超えないようにセットします。積載制限マーク以上の用紙をセットすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

5 用紙ガイドを用紙の幅にぴったり合わせる



- ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。
- 用紙ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

6 給紙カセットをゆっくりと本機に押し込む

7 用紙サイズと用紙種類を設定する ▶ 給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 247)

- セットした用紙のサイズ（辺の長さ）を設定します。

- 初期設定では、用紙種類は普通紙 1 に設定されています。種類が異なる用紙をセットした場合は、用紙種類の設定を変更します。

手差しトレイに用紙をセットする

EJ83-042

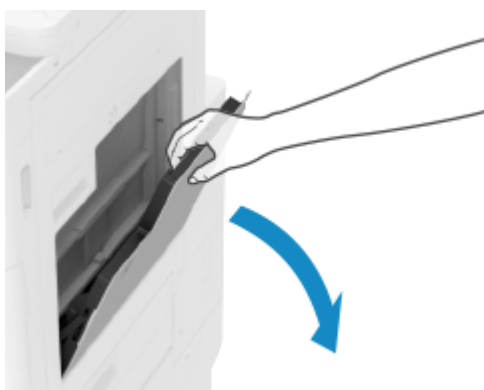
給紙カセットにセットされていない用紙を一時的に使用する場合は、手差しトレイにセットします。

手差しトレイの用紙ガイドを用紙に合わせることで、正しくセットできます。

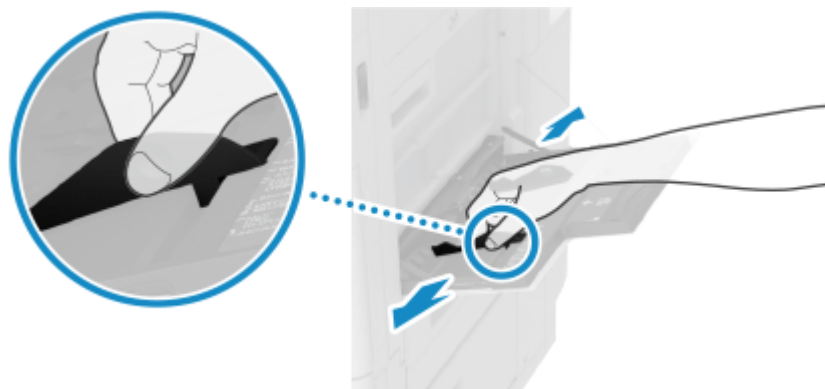
封筒／はがき／ロゴ入り用紙をセットする場合は、用紙の向きと面に注意が必要です。

- ① 封筒をセットする準備と向き (P. 226)
- ② はがきをセットする向き (P. 236)
- ③ ロゴ入り用紙をセットする向き (P. 240)

1 手差しトレイを開ける



2 用紙ガイドを外側に広げる



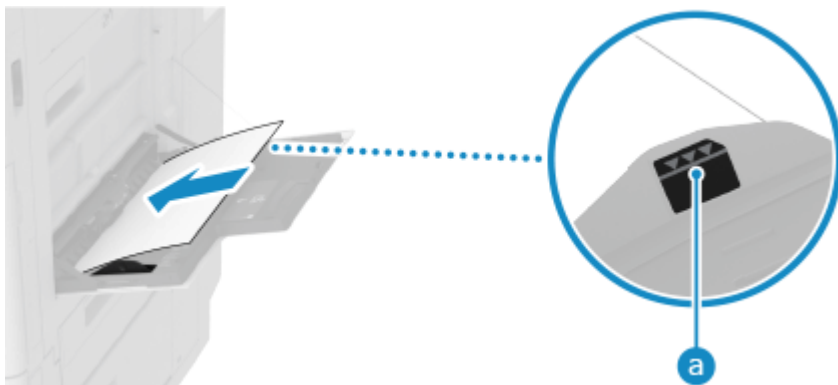
用紙ガイドの幅を用紙の幅より少し広めにセットします。

3 用紙をさばいて、端をそろえる



- 両方向からよくさばき、平らな場所で端をそろえます。
- OHP フィルムまたはコート紙の場合は、1 枚 1 枚を完全に分離させ、用紙が貼りつかないようにします。

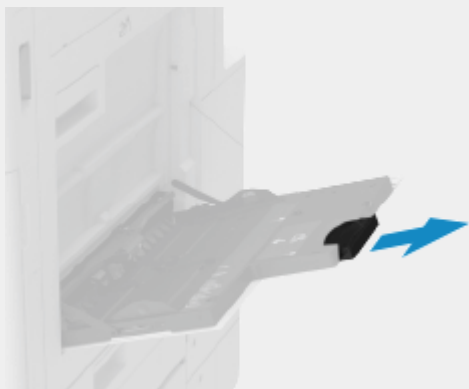
4 プリントする面を下にして、用紙をセットする



- 用紙の端が突き当たるまで差し込みます。
- 用紙が積載制限マーク（**a**）を超えないようにセットします。積載制限マーク以上の用紙をセットすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

大きいサイズの下紙をセットする場合

用紙が垂れ下がらないよう、延長トレイを引き出してからセットします。

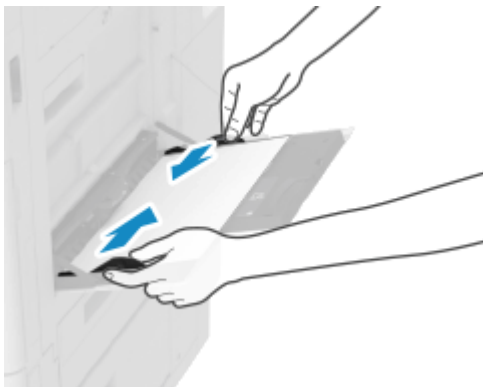


プリント済み用紙のウラ面にプリントする場合（手動両面プリント）

用紙の端を伸ばしてカールを取り、ウラ面（プリントされていない面）を下にしてセットします。

- 本機でプリントした用紙のみ使用できます。
- プリントされている面の上に重ねてプリントすることはできません。
- 紙づまりが発生する場合は、用紙を1枚ずつセットします。
- 用紙の種類を設定する画面で「両面2面目」を選択します。▶手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 251)

5 用紙ガイドを用紙の幅にぴったり合わせる



用紙ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

6 用紙サイズと用紙種類を設定する ➡手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 251)

初期設定では、手差しトレイに用紙をセットしたことが検知されると、操作パネルに用紙設定の画面が表示されます。用紙をセットするたびに、用紙サイズと用紙種類を設定する必要があります。

長尺用給紙トレイ・A に用紙をセットする（オプション）

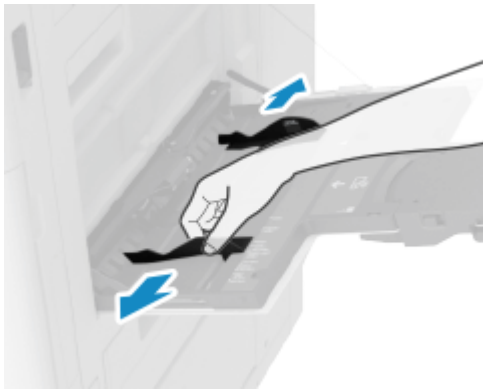
EJ83-043

長尺用紙を使用する場合は、長尺用給紙トレイ・A にセットします。

重要

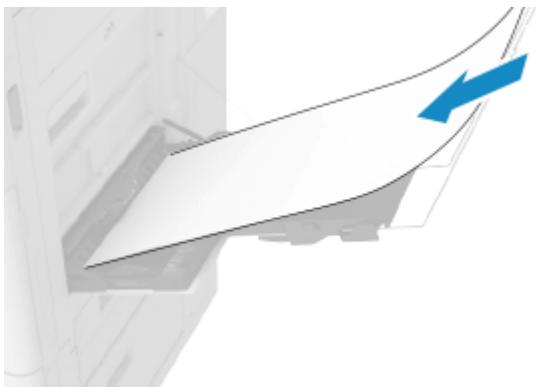
- 使用できる用紙については、以下を参照してください。
 ▶ **使用可能な用紙 (P. 44)**
- カールしている紙を使用すると、紙づまりやプリント不良の原因になることがあります。
- 用紙の種類は必ず正しく設定してください。▶ **用紙サイズと用紙種類の設定 (P. 246)**
 ※特に厚紙などの特殊な用紙を使用する場合、正しく設定されていないと画像不良が起こる可能性があります。また、定着器が汚れたり紙の巻きつきが発生したりして、担当サービスによる修理が必要になることもあります。
- ホチキスなどの仕上げ機能は使用できません。
- [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [印字調整] ▶ [解像度] を [スーパーファイン] に設定した場合は、長尺用紙にプリントできません。
- 排紙トレイから用紙が落ちないようにするために、オプションの長尺用排紙トレイ・F を装着してください。▶ **長尺用給紙トレイ・A／長尺用排紙トレイ・F (P. 12)**

1 用紙ガイドを外側に広げる



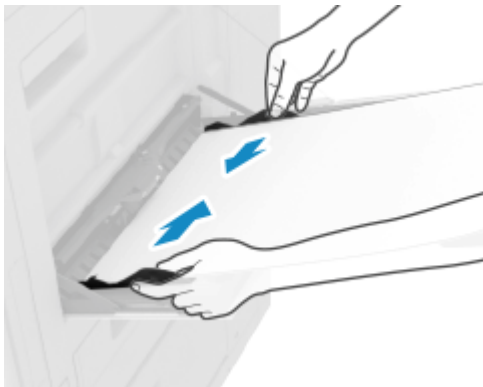
用紙ガイドの幅を用紙の幅より少し広めにセットします。

2 プリントする面を下にして、用紙をセットする



- 用紙の端が突き当たるまで差し込みます。
- 用紙は1枚ずつセットします。

3 用紙ガイドを用紙の幅に合わせる



- 用紙の幅にぴったり合うように、両手で用紙ガイドを操作します。
- 用紙ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

4 用紙サイズと用紙種類を設定する ➡手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 251)

初期設定では、手差しトレイに用紙をセットしたことが検知されると、操作パネルに用紙設定の画面が表示されます。用紙をセットするたびに、用紙サイズと用紙種類を設定する必要があります。

封筒をセットする準備と向き

EJ83-044

封筒は形状や厚みが普通紙とは異なるため、セットする前に必ず準備作業をします。
封筒をセットするときは、封筒の向きと面に注意します。

- ①封筒をセットする前の準備 (P. 226)
- ②封筒のセット (P. 226)

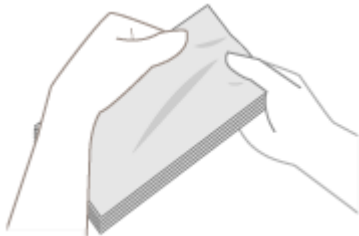
封筒をセットする前の準備

セットする封筒の枚数にかかわらず、形状を整える作業を行います。

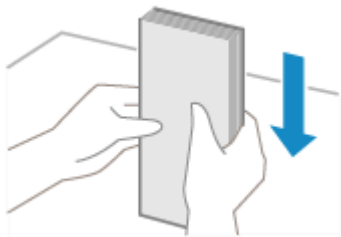
- 1 上から押して空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと付け、平らにならす



- 2 四隅の固い部分をほぐすようにして、カールを取る



- 3 平らな場所で封筒の端をそろえる



→封筒をセットする前の準備ができました。

封筒のセット

封筒の向きや面に注意してセットします。

- ①封筒をセットする向き - 給紙カセット (P. 228)
- ②封筒をセットする向き - 手差しトレイ (P. 233)

重要

- ふたの部分にのりが付いた封筒を使用すると、定着器の熱や圧力によって、のりが溶けることがあります。
- 封筒にプリントした場合、貼り合わせと重なる部分や端の部分のプリント品質が低下することがあります。

メモ

- 封筒をセットするときの全体的な手順は、以下を参照してください。
 - 給紙カセットにセットする場合 **④給紙カセットに用紙をセットする (P. 212)**
 - 手差しトレイにセットする場合 **④手差しトレイに用紙をセットする (P. 221)**
- プリントされた封筒は、10 枚ごとに排紙トレイから取り除きます。

封筒をセットする向き - 給紙カセット

EJ83-045

給紙カセットに封筒をセットする場合は、封筒アタッチメントを取り付けてから、封筒の向きに注意してセットします。プリントする向きは、プリンタードライバーの「印刷の向き」で設定できます。詳しくは、「印刷設定」画面の「ヘルプ」をクリックしてヘルプを参照してください。

- ①封筒アタッチメントの取り付けと封筒の向き - 給紙カセット 1 (P. 228)
- ②封筒アタッチメントの取り付けと封筒の向き - 給紙カセット 2 (P. 230)

封筒アタッチメントの取り付けと封筒の向き - 給紙カセット 1

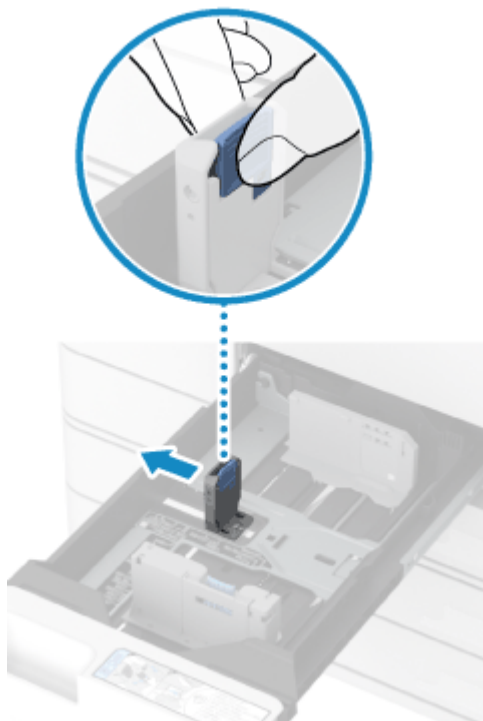
- ①封筒アタッチメントを取り付ける (P. 228)
- ②封筒をセットする向き (P. 229)

封筒アタッチメントを取り付ける

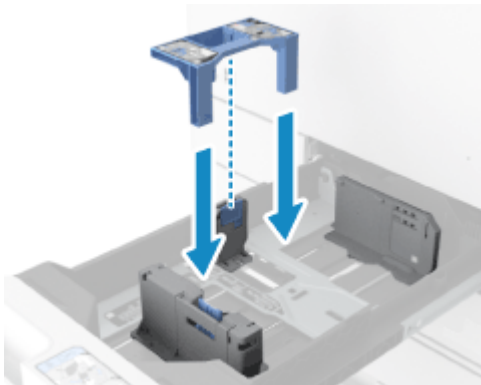
給紙カセット 1 に、封筒アタッチメント B を取り付けます。

※ISO-C5 の封筒をセットする場合は、封筒アタッチメント B は不要です。

1 給紙カセット 1 の左側の用紙ガイドを外側に広げる



2 左側の用紙ガイドを調整したあとに、封筒アタッチメント B を取り付ける



メモ

- 給紙カセットに封筒をセットしなくなったときは、封筒アタッチメントを取り外します。
封筒アタッチメント B は、なくさないよう大切に保管します。

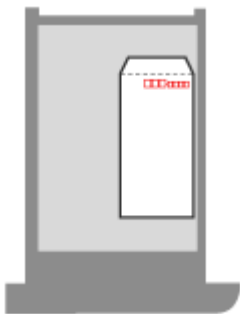
封筒をセットする向き

プリントする面を上にして、封筒の長辺とカセットの長辺が平行になるように、タテ向きに 25 枚ずつセットします。
ふたの向きと開閉の状態は、封筒のサイズによって異なります。

長形 3 号

封筒のふたを奥側にして、開いた状態でセットします。

例：オモテ面にプリントする場合

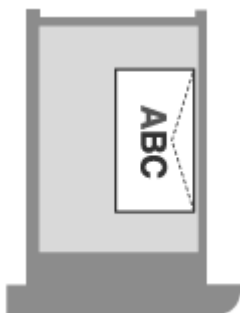


洋形長 3 号

封筒のふたを閉じてセットする場合

封筒のふたを右側にしてセットします。

例：オモテ面にプリントする場合



封筒のふたを開いてセットする場合

封筒のふたを左側にしてセットします。

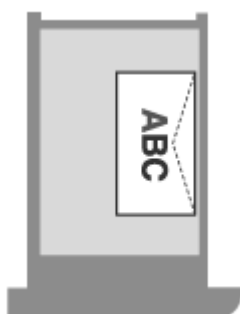
例：オモテ面にプリントする場合



ISO-C5

封筒のふたを右側にして、閉じた状態でセットします。

例：オモテ面にプリントする場合



封筒アタッチメントの取り付けと封筒の向き - 給紙カセット 2

- ① 封筒アタッチメントを取り付ける (P. 230)
- ② 封筒をセットする向き (P. 231)

封筒アタッチメントを取り付ける

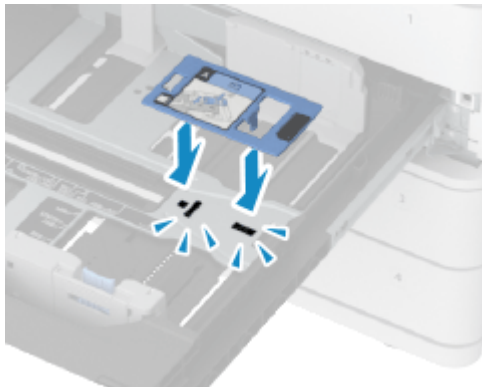
給紙カセット 2 に、封筒アタッチメント A を取り付けます。

※角形 2 号／長形 4 号／長形 40 号の封筒をセットする場合は、封筒アタッチメント A は不要です。

- 1 給紙カセット 2 に収納されている、封筒アタッチメント A を取り外す



2 給紙カセット底面の穴に、封筒アタッチメント A の突起部分を合わせて取り付け



メモ

- 給紙カセットに封筒をセットしなくなったときは、封筒アタッチメントを取り外します。
取り外した封筒アタッチメント A は、給紙カセット 2 に収納します。

封筒をセットする向き

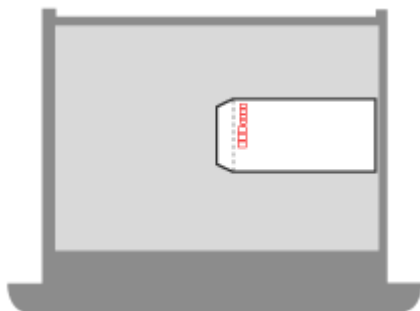
プリントする面を上にして、封筒の長辺とカセットの長辺が平行になるように、ヨコ向きに高さ 45 mm（最大 50 枚）までセットします。

ふたの向きと開閉の状態は、封筒のサイズによって異なります。

長形 3 号／長形 4 号／長形 40 号／角形 2 号

封筒のふたを左側にして、開いた状態でセットします。

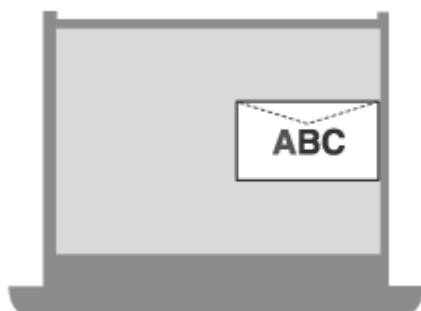
例：オモテ面にプリントする場合



洋形長 3 号

封筒のふたを奥側にして、閉じた状態でセットします。

例：オモテ面にプリントする場合



No.10 (COM10)／DL／Monarch

封筒のふたを手前側にして、閉じた状態でセットします。

例：オモテ面にプリントする場合



封筒をセットする向き - 手差しトレイ

EJ83-046

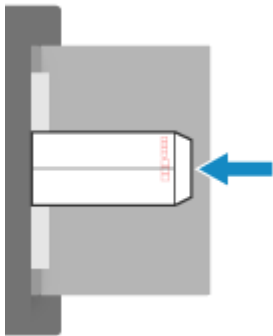
プリントする面を下にしてセットします。ふたの向きと開閉の状態は、封筒のサイズによって異なります。
プリントする向きは、プリンタードライバーの「印刷の向き」で設定できます。詳しくは、「印刷設定」画面の「ヘルプ」をクリックしてヘルプを参照してください。

長形 3 号

ヨコ向きにセットする場合（推奨）

封筒のふたを右側にして、開いた状態で差し込みます。

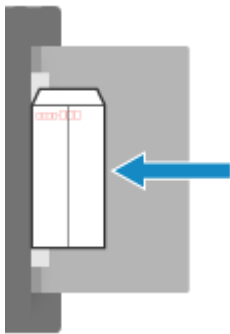
例：オモテ面にプリントする場合



タテ向きにセットする場合

封筒のふたを奥側にして、開いた状態で差し込みます。

例：オモテ面にプリントする場合



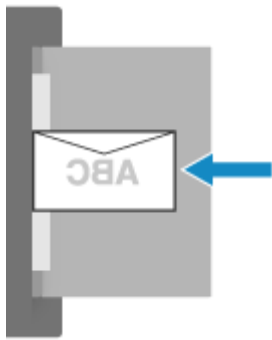
洋形長 3 号

封筒のふたを閉じてセットする場合

ヨコ向きにセットする場合（推奨）

封筒のふたを奥側にして差し込みます。

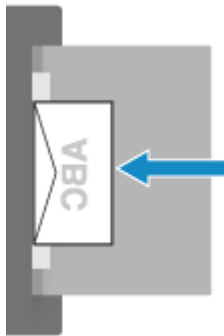
例：オモテ面にプリントする場合



タテ向きにセットする場合

封筒のふたを左側にして差し込みます。

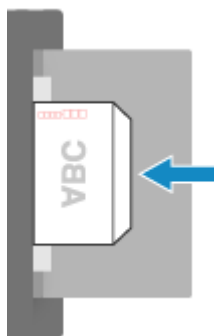
例：オモテ面にプリントする場合



封筒のふたを開いてセットする場合

タテ向きにセットします。封筒のふたを右側にして、開いた状態で差し込みます。

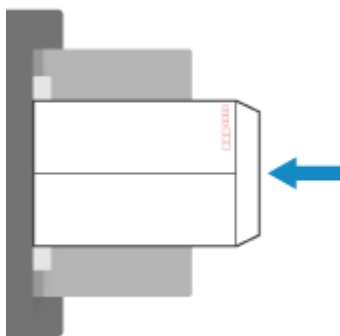
例：オモテ面にプリントする場合



角形 2 号

ヨコ向きにセットします。封筒のふたを右側にして、開いた状態で差し込みます。

例：オモテ面にプリントする場合

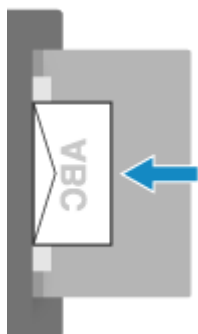


No.10 (COM10)／ISO-C5／DL／Monarch

タテ向きにセットする場合（推奨）

封筒のふたを左側にして、閉じた状態で差し込みます。

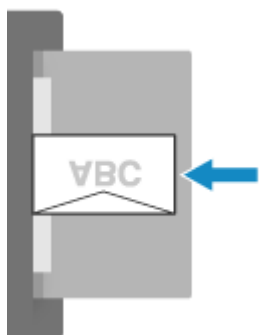
例：オモテ面にプリントする場合



ヨコ向きにセットする場合

封筒のふたを手前側にして、閉じた状態で差し込みます。

例：オモテ面にプリントする場合



メモ

封筒がしわになる場合

- タテ向きとヨコ向きの両方でセット可能な封筒の場合は、セットする向きを変更すると、症状が改善されることがあります。

正しく給紙されない場合

- 封筒の形状を整えても正しく給紙されない場合は、1枚ずつセットします。

はがきをセットする向き

はがきをセットするときは、はがきの向きと面に注意します。

はがきの両面にプリントしたい場合は、片面をプリントしてから手差しトレイにセットしなおし、反対面をプリントします（手動両面プリント）。

①はがきの向き - 給紙カセット (P. 236)

②はがきの向き - 手差しトレイ (P. 237)

重要

カールを取ってからセットする

- カールしたはがきを使用すると、斜めにプリントされたり、画像がゆがんでプリントされたりすることがあります。また、はがきが下向きにカールしていると、紙づまりが起こりやすくなります。

メモ

- はがきをセットするときの全体的な手順は、以下を参照してください。
 - 給紙カセットにセットする場合 ①給紙カセットに用紙をセットする (P. 212)
 - 手差しトレイにセットする場合 ②手差しトレイに用紙をセットする (P. 221)

はがきの向き - 給紙カセット

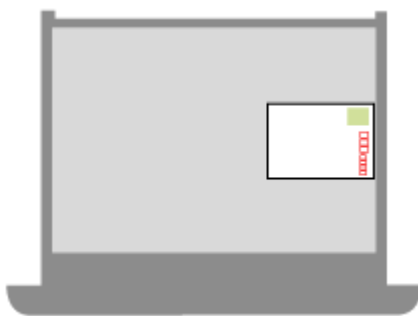
プリントする面を上にしてセットします。

セットするときのはがきの向きは、はがきの種類によって異なります。

通常はがき

プリントする面（宛名面または通信面）を上にして、はがきの上端を右側にした状態でセットします。

宛名面にプリントする場合



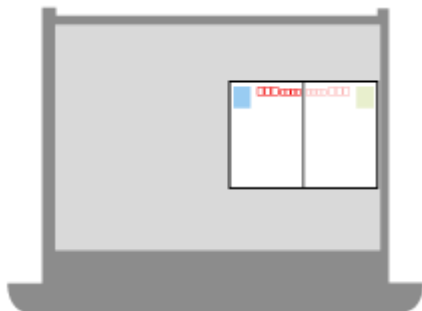
通信面にプリントする場合



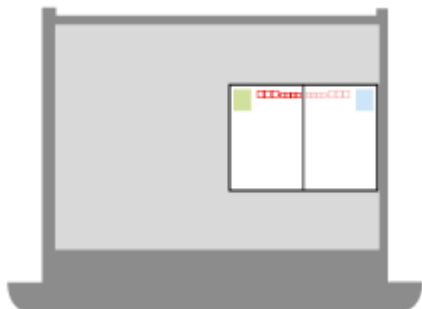
往復はがき

プリントする面（往信面^{*1}または返信面^{*2}）を上にして、はがきを広げて上端を奥側にした状態でセットします。

往信面^{*1}にプリントする場合



返信面^{*2}にプリントする場合



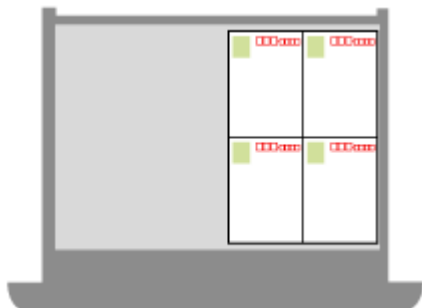
^{*1} 往信はがきの宛名面と返信はがきの通信面

^{*2} 返信はがきの宛名面と往信はがきの通信面

4 面はがき

プリントする面（宛名面または通信面）を上にして、はがきの上端を奥側にした状態でセットします。

宛名面にプリントする場合



通信面にプリントする場合



はがきの向き - 手差しトレイ

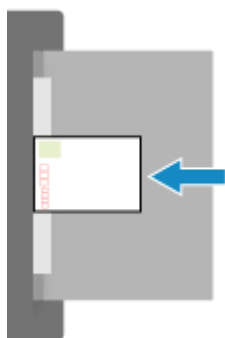
プリントする面を下にしてセットします。

セットするときのはがきの向きは、はがきの種類によって異なります。

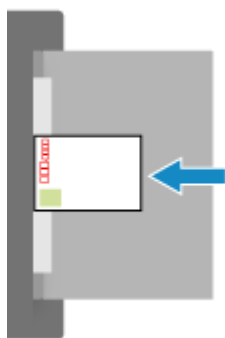
通常はがき

プリントする面（宛名面または通信面）を下にして、はがきの上端から差し込みます。

宛名面にプリントする場合



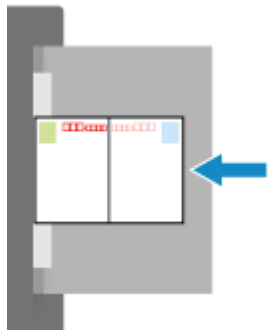
通信面にプリントする場合



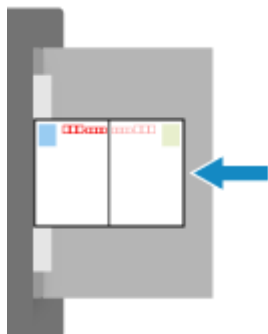
往復はがき

プリントする面（往信面^{*1} または返信面^{*2}）を下にして、はがきを広げて上端を奥側にした状態で差し込みます。

往信面^{*1} にプリントする場合



返信面^{*2} にプリントする場合



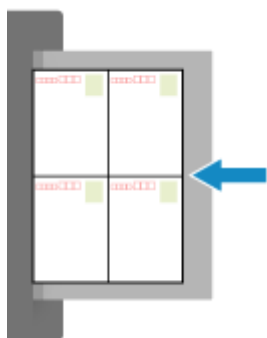
^{*1} 往信はがきの宛名面と返信はがきの通信面

^{*2} 返信はがきの宛名面と往信はがきの通信面

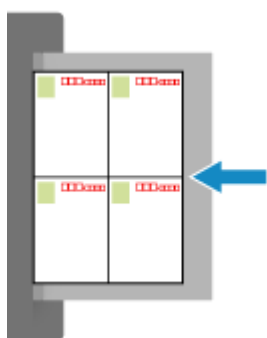
4面はがき

プリントする面（宛名面または通信面）を下にして、はがきの上端を奥側にした状態で差し込みます。

宛名面にプリントする場合



通信面にプリントする場合



メモ

正しく給紙されない場合

- はがきのカールを取っても正しく給紙されない場合は、1枚ずつセットします。

ロゴ入り用紙をセットする向き

ロゴなどが入った用紙をセットするときは、用紙の向きと面に注意します。
初期設定では、片面プリントするか両面プリントするかによって、セットする向きと面が異なります。

- ④ ロゴ入り用紙に片面プリントする場合 (P. 240)
- ④ ロゴ入り用紙に両面プリントする場合 (P. 242)

※ロゴなどが入った用紙にコピーするときは、原稿をセットする向きにも注意が必要です。④ ロゴ入り用紙にコピーするときの原稿の向き (P. 202)

メモ

用紙をセットするときの全体的な手順

- 以下を参照してください。

- ④ 給紙カセットに用紙をセットする (P. 212)
- ④ 手差しトレイに用紙をセットする (P. 221)

ロゴ入り用紙を常に同じ方法でセットできるようにする

- 片面プリントするか両面プリントするかによって、セットする向きと面を変更しなくてもよいように設定できます。この設定にしている場合は、常に両面プリントの方法で用紙をセットします。
 - 給紙方法の設定を変更する場合
ロゴ入り用紙をセットする給紙部の設定を変更し、その給紙部を指定してプリントします。④ [給紙方法切替] (P. 1046)
 - 用紙種類の設定を変更する場合
ロゴ入り用紙の種類をプレプリント用紙として登録し、その用紙種類を指定してプリントします。④ よく使用する用紙種類を登録する (P. 1353)

ロゴ入り用紙に片面プリントする場合

用紙自体の向き、用紙をセットする給紙部、用紙のサイズによって、セットする向きと面が異なります。

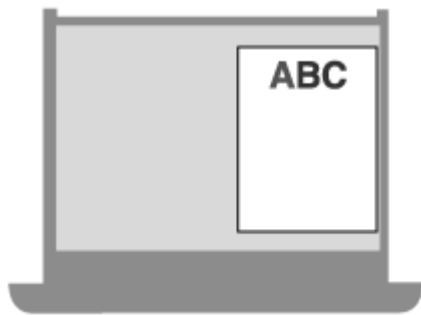
タテ向きのロゴ入り用紙



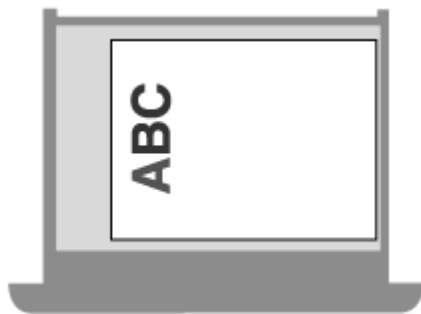
給紙カセット

ロゴ入りの面（プリントする面）を上にしてセットします。

A4/B5/A5 サイズの用紙



A3/B4 サイズの用紙



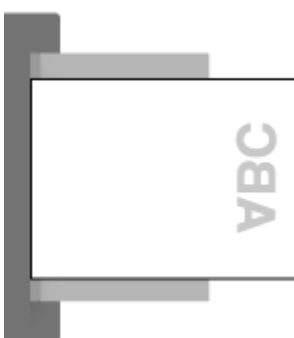
手差しトレイ

ロゴ入りの面（プリントする面）を下にしてセットします。

A4/B5/A5 サイズの用紙



A3/B4 サイズの用紙



ヨコ向きのロゴ入り用紙



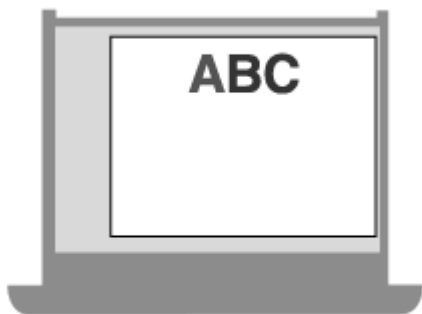
給紙カセット

ロゴ入りの面（プリントする面）を上にしてセットします。

A4/B5/A5 サイズの用紙



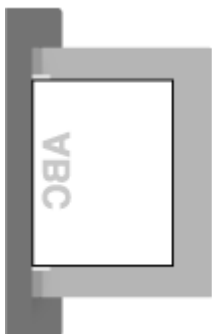
A3/B4 サイズの用紙



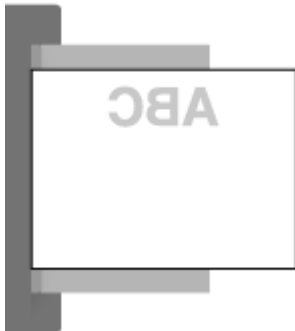
手差しトレイ

ロゴ入りの面（プリントする面）を下にしてセットします。

A4/B5/A5 サイズの用紙



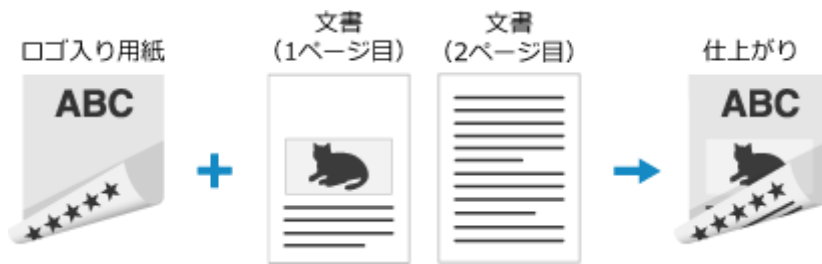
A3/B4 サイズの用紙



ロゴ入り用紙に両面プリントする場合

用紙自体の向き、用紙をセットする給紙部、用紙のサイズによって、セットする向きと面が異なります。

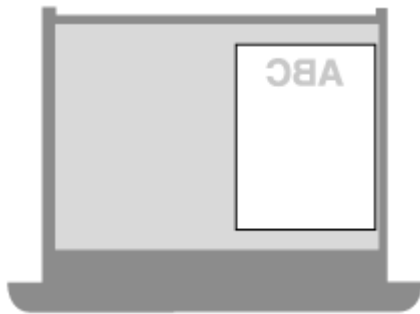
タテ向きのロゴ入り用紙



給紙カセット

ロゴ入りの面（1 ページ目をプリントする面）を下にしてセットします。

A4/B5/A5 サイズの用紙



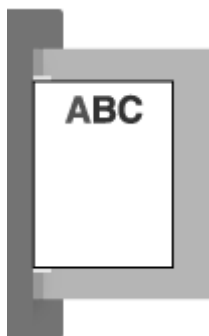
A3/B4 サイズの用紙



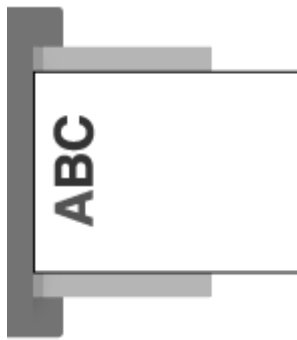
手差しトレイ

ロゴ入りの面（1 ページ目をプリントする面）を上にしてセットします。

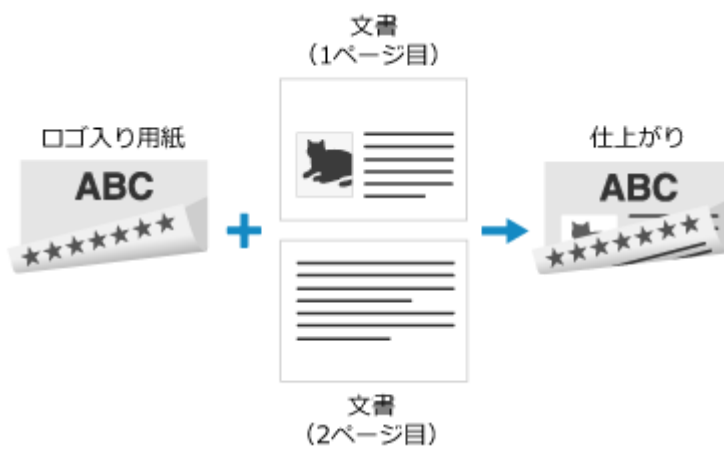
A4/B5/A5 サイズの用紙



A3/B4 サイズの用紙



ヨコ向きのロゴ入り用紙



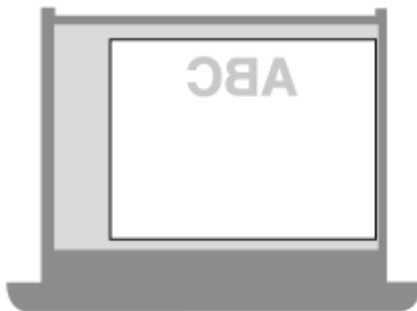
給紙カセット

ロゴ入りの面（1 ページ目をプリントする面）を下にしてセットします。

A4/B5/A5 サイズの用紙



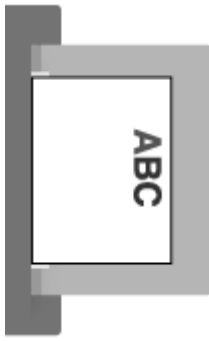
A3/B4 サイズの用紙



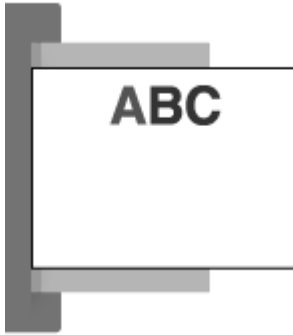
手差しトレイ

ロゴ入りの面（1 ページ目をプリントする面）を上にしてセットします。

A4/B5/A5 サイズの用紙



A3/B4 サイズの用紙



用紙サイズと用紙種類の設定

EJ83-049

きれいにプリントしたり、紙づまりを防いだりするために、セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を正しく設定する必要があります。

よく使用する用紙を登録したり、適切な用紙が使用されるように設定したりすることもできます。

用紙をセットしたあとに必要な設定

セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を設定します。

➤給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 247)

➤手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 251)

手差しトレイにいつも同じ用紙をセットしている場合は、使用する用紙を固定しておく、毎回の設定が不要になります。

➤手差しトレイで使用する用紙サイズと用紙種類を固定する (P. 255)

用紙の設定の簡略化

用紙の情報（サイズや種類）を登録しておく、設定がスムーズになります。

➤手差しトレイでよく使用する用紙を登録する (P. 259)

➤定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙 (P. 263)

適切な用紙の使用

プリント時に、適切な用紙がセットされている給紙部が自動選択されるように設定できます。

➤機能ごとに適切な給紙部を使用する (P. 265)

給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する

EJ83-04A

初期設定では、用紙種類は普通紙 1 に設定されています。種類が異なる用紙をセットした場合や、操作パネルに表示されているサイズがセットした用紙と異なる場合は、用紙設定を変更します。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。ただし、一部の項目はリモート UI では設定できません。🔗
パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)

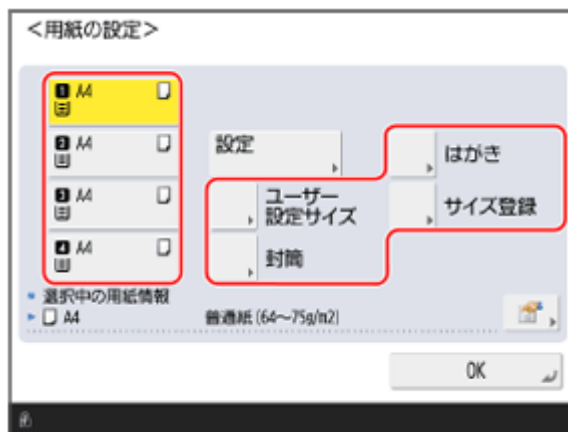
1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[⚙️ 設定/登録] を押す 🔗 [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

2 [環境設定] ▶ [用紙設定] ▶ [用紙の設定] を押す

→ [用紙の設定] 画面が表示されます。

3 設定を変更する給紙カセットを選択し、用紙サイズを設定する



各給紙カセットは、以下のアイコンで表示されます。装着されているオプションによって、表示される給紙部は異なります。

- ❶：給紙カセット 1
- ❷：給紙カセット 2
- ❸：給紙カセット 3
- ❹：給紙カセット 4

定形サイズの用紙をセットした場合

用紙サイズは自動検知されます。🔗 **自動検知可能な用紙サイズ (P. 48)**

- セットした用紙と異なるサイズが表示されている場合は、用紙が正しくセットされていない可能性がありますので、用紙をセットしなおします。
- 自動検知されないサイズの用紙をセットした場合は、[サイズ登録] を押して、セットした用紙のサイズを選択します。
- [ユーザー設定] と表示されている場合は、[ユーザー設定サイズ] ▶ [設定取消] を押すと、正しいサイズが表示されます。

定形外サイズ用の紙（ユーザー設定用紙）をセットした場合

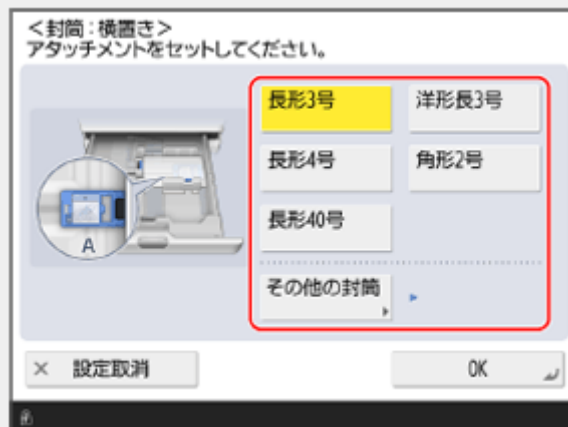
1. [ユーザー設定サイズ] を押す
2. [X] 辺と [Y] 辺の長さを入力し、[OK] を押す



- [X] / [Y] を押し、選択した状態にしてから入力します。
- よく使用する定形外サイズの用紙を登録している場合は、[S1] ～ [S4] を押して呼び出すことができます。

封筒をセットした場合

1. [封筒] を押す
2. セットした封筒のサイズを選択する



セットした封筒の種類が表示されない場合

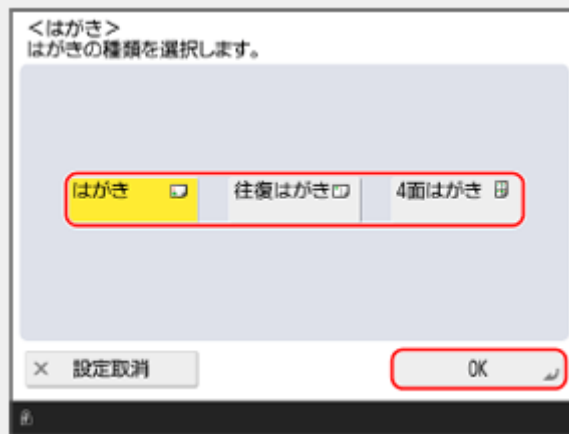
[その他の封筒] を押し、表示された一覧から封筒の種類を選択します。

3. [OK] を押す
封筒のサイズによっては、[次へ] が表示されます。[次へ] を押して、セットした封筒のフラップ長を入力し、[OK] を押します。

はがきをセットした場合

1. [はがき] を押す

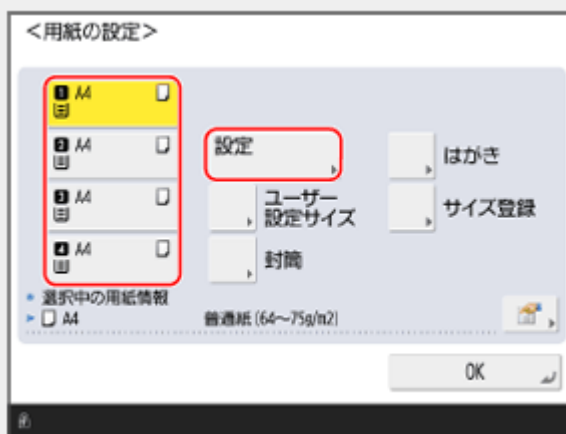
2. セットしたはがきのサイズを選択し、[OK] を押す



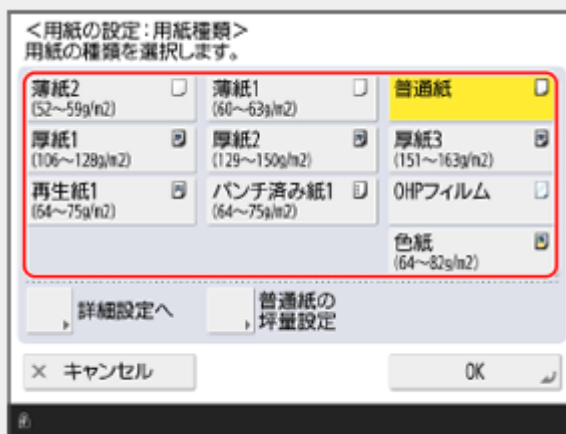
4

用紙種類を設定する

1. 設定を変更する給紙カセットを選択し、[設定] を押す



2. セットした用紙の種類を選択する



普通紙の坪量を選択する場合

[普通紙の坪量設定] を押し、表示された一覧から使用する普通紙の坪量を選択します。

セットした用紙の種類が表示されない場合

[詳細設定へ] を押し、表示された一覧から用紙種類を選択します。

※表示された一覧にも、セットした用紙の種類が表示されない場合は、用紙種類を登録します。よく使用する用紙種類を登録する (P. 1353)

3. [OK] を押す

→ [用紙の設定] 画面に戻ります。

5 [OK] を押す

→ 用紙サイズと用紙種類が設定されます。

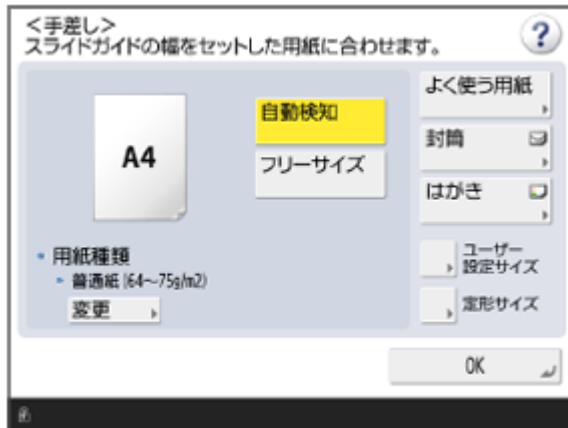
6 必要に応じて、用紙サイズラベルを貼り替える [給紙カセット \(P. 42\)](#)

給紙カセットに用紙サイズラベルが貼られている場合に、用紙のサイズを変更したときは、用紙サイズラベルを貼り替えます。

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する

EJ83-04C

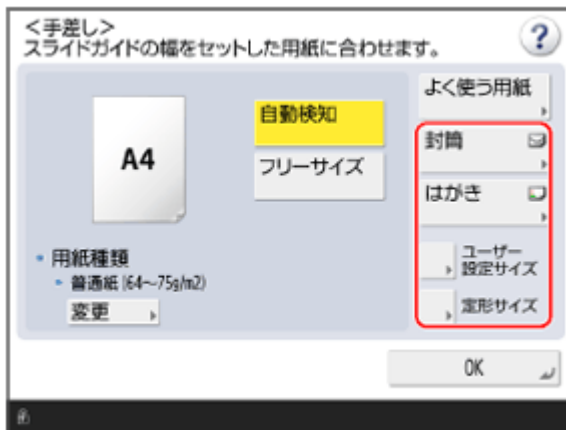
手差しトレイに用紙をセットすると、操作パネルに以下の画面が表示されます。セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を設定します。



※手差しトレイの用紙サイズと用紙種類が固定されている場合は、上記の画面が表示されません。▶**手差しトレイで使用する用紙サイズと用紙種類を固定する (P. 255)**

固定されているサイズの幅と異なる用紙をセットした場合は、幅が一致しないことを知らせる画面が表示されます。その場合は、固定を解除したあと、手差しトレイに用紙をセットしなおします。

1 用紙サイズを設定する



手差しトレイでよく使用する用紙を登録している場合は、[よく使う用紙] を押して呼び出すことができます。

定形サイズ of 用紙をセットした場合

用紙サイズは自動検知されます。

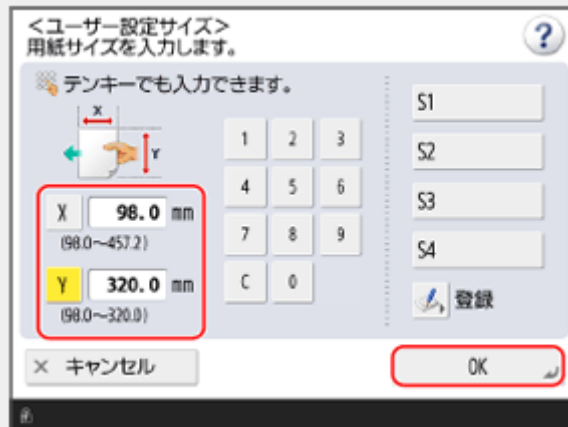
- セットした用紙と異なるサイズが表示されている場合は、用紙が正しくセットされていない可能性がありますので、用紙をセットしなおします。
- 自動検知されないサイズの用紙をセットした場合や、用紙をセットしなおしても異なる用紙サイズが表示される場合は、[定形サイズ] を押して、セットした用紙のサイズを選択します。

定形外サイズの用紙（ユーザー設定用紙）をセットした場合

1. [ユーザー設定サイズ] を押す

セットした用紙のサイズ（辺の長さ）がわからない場合や、プリンタードライバーで用紙サイズを設定してプリントする場合は、[フリーサイズ] を押します。その場合、手順2（辺の長さの入力）は不要です。

2. [X] 辺と [Y] 辺の長さを入力し、[OK] を押す



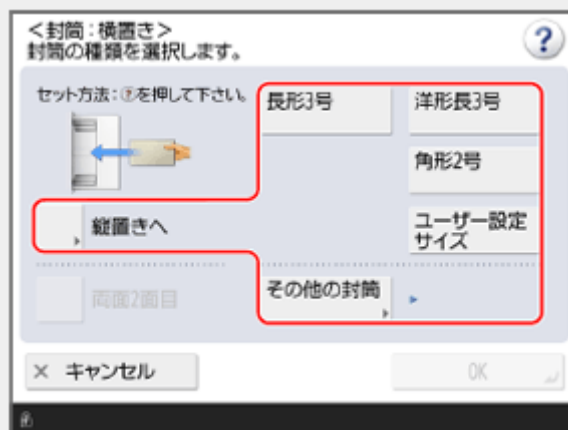
- [X] / [Y] を押し、選択した状態にしてから入力します。
- よく使用する定形外サイズの用紙を登録している場合は、[S1] ～ [S4] を押して呼び出すことができます。

封筒をセットした場合

以下の手順で用紙サイズを設定すると、自動的に用紙種類が封筒に設定されます。

独自に登録した用紙種類に設定したい場合は、よく使用する用紙としてサイズと種類を登録し、[よく使う用紙] から呼び出して設定します。🔵[手差しトレイでよく使用する用紙を登録する \(P. 259\)](#)

1. [封筒] を押す
2. セットした封筒の向きとサイズを選択する



- セットした封筒の向きに応じて [縦置きへ] または [横置きへ] を押し、封筒のサイズを選択します。
 - セットした封筒の種類が表示されない場合は [その他の封筒] を押し、表示された一覧から封筒の種類を選択します。
 - 定形外サイズの封筒をセットした場合は、[ユーザー設定サイズ] を選択します。
3. [OK] を押す

→ 用紙サイズと用紙種類が設定されます。以降の手順は不要です。

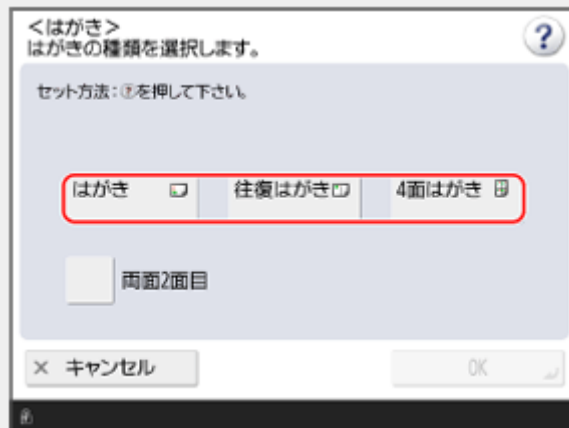
封筒の向きとサイズによっては、[次へ] が表示されます。[次へ] を押して、セットした封筒のフラップ長または封筒のサイズ（辺の長さ）を入力し、[OK] を押します。

はがきをセットした場合

以下の手順で用紙サイズを設定すると、自動的に用紙種類がはがきに設定されます。

独自に登録した用紙種類に設定したい場合は、よく使用する用紙としてサイズと種類を登録し、[よく使う用紙] から呼び出して設定します。④手差しトレイでよく使用する用紙を登録する (P. 259)

1. [はがき] を押す
2. セットしたはがきのサイズを選択する



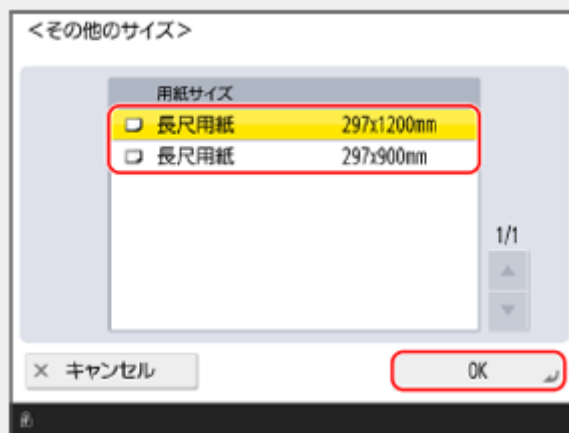
プリント済みはがきのウラ面にプリントする場合は、[両面 2 面目] を選択します。

3. [OK] を押す

→ 用紙サイズと用紙種類が設定されます。以降の手順は不要です。

長尺用紙をセットした場合

1. [定形サイズ] ▶ [その他のサイズへ] を押す
2. セットした長尺用紙のサイズを選択し、[OK] を押す



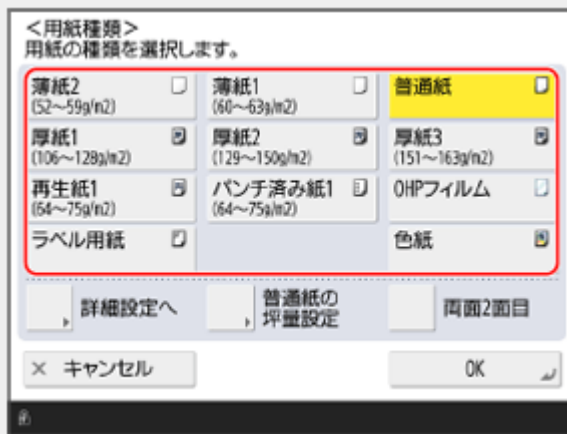
3. [OK] を押す

2

用紙種類を設定する

1. [変更] を押す

2. セットした用紙の種類を選択する



プリント済み用紙のウラ面にプリントする場合

「両面 2 面目」を選択します。

普通紙の坪量を選択する場合

「普通紙の坪量設定」を押し、表示された一覧から使用する普通紙の坪量を選択します。

セットした用紙の種類が表示されない場合

「詳細設定へ」を押し、表示された一覧から用紙種類を選択します。

※表示された一覧にも、セットした用紙の種類が表示されない場合は、用紙種類を登録します。➡よく使用する用紙種類を登録する (P. 1353)

3. 「OK」を押す

→最初の画面に戻ります。

3 「OK」を押す

→用紙サイズと用紙種類が設定されます。

メモ

プリンタードライバーの設定を優先するように設定されている場合

- 手差しトレイを給紙元に指定してプリンタードライバーからプリントした場合は、プリンタードライバーで設定した用紙サイズと用紙種類が優先されます。➡【手差し給紙の設定】 (P. 1067)

手差しトレイで使用する用紙サイズと用紙種類を固定する

EJ83-04E

手差しトレイに用紙をセットすると、初期設定では、操作パネルに用紙設定の画面が表示されます。いつも同じ用紙を手差しトレイにセットしている場合は、その用紙サイズと用紙種類に固定しておきます。用紙設定の画面が表示されなくなり、設定の手間を省けます。

固定した用紙と異なるサイズや種類の用紙を使用する場合

手順 3 で固定を解除したあと、手差しトレイに用紙をセットします。操作パネルに用紙設定の画面が表示されたら、使用する用紙に合わせてサイズと種類を設定します。➡手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 251)

よく使用する用紙が複数ある場合

用紙サイズと用紙種類は固定せずに、用紙の情報（サイズと種類）を「よく使う用紙」として登録して、用紙設定の画面から呼び出せるようにすることをおすすめします。➡手差しトレイでよく使用する用紙を登録する (P. 259)

用紙サイズと用紙種類は、操作パネルを使用して固定します。パソコンからリモート UI を使用して固定することはできません。

1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[設定/登録] を押す ➡ [ホーム] 画面 (P. 156)

➡ [設定/登録] 画面が表示されます。

2 [環境設定] ▶ [用紙設定] ▶ [手差し用紙のデフォルト設定] を押す

➡ [手差し用紙のデフォルト設定] 画面が表示されます。

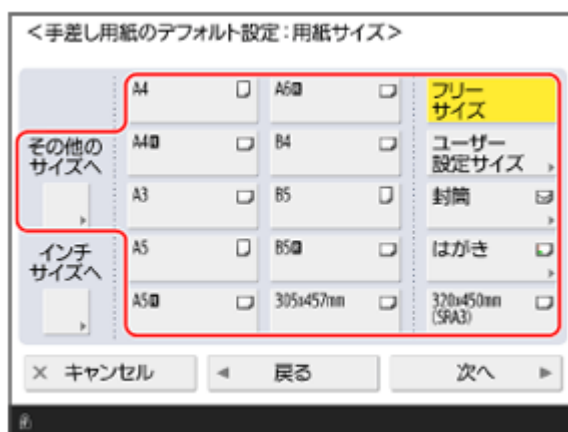
3 [固定モード] ▶ [登録] を押す

用紙サイズと用紙種類の固定を解除する場合

[毎回指定モード] を押し、手差しトレイに用紙をセットしたときに表示する画面を選択して、[OK] を押します。以降の手順は不要です。

手差しトレイに用紙をセットすると、操作パネルに用紙設定の画面が表示されるようになります。

4 使用する用紙サイズを選択する

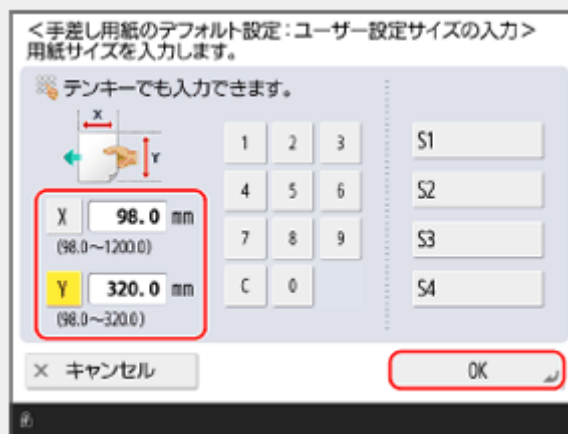


定形外サイズの用紙（ユーザー設定用紙）を使用する場合

1. [ユーザー設定サイズ] を押す

用紙のサイズ（辺の長さ）がわからない場合や、プリンタードライバーで用紙サイズを設定してプリントする場合は、[フリーサイズ] を押します。その場合、手順2（辺の長さの入力）は不要です。

2. [X] 辺と [Y] 辺の長さを入力し、[OK] を押す

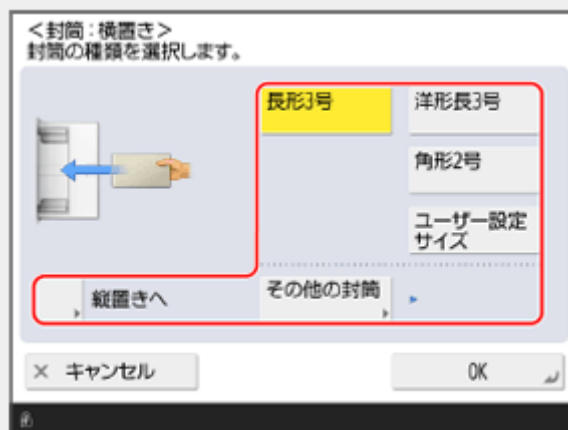


- [X] / [Y] を押し、選択した状態にしてから入力します。
- よく使用する定形外サイズの用紙を登録している場合は、[S1] ～ [S4] を押して呼び出すことができます。

封筒を使用する場合

1. [封筒] を押す

2. 封筒の向きとサイズを選択する

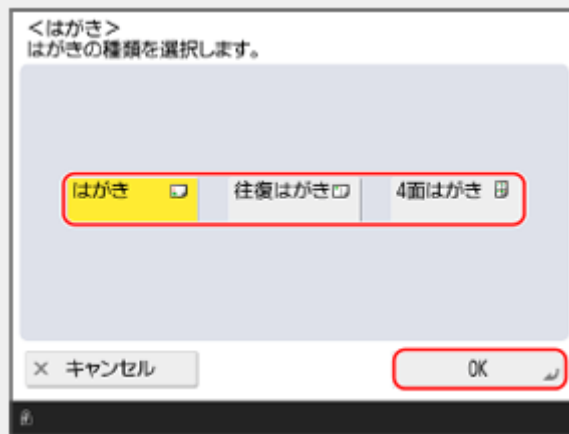


- 封筒の向きに応じて [縦置きへ] または [横置きへ] を押し、封筒のサイズを選択します。
 - セットした封筒の種類が表示されない場合は [その他の封筒] を押し、表示された一覧から封筒の種類を選択します。
 - 定形外サイズの封筒を使用する場合は、[ユーザー設定サイズ] を選択します。
- ### 3. [OK] を押す
- 封筒の向きとサイズによっては、[次へ] が表示されます。[次へ] を押して、封筒のフラップ長さまたは封筒のサイズ（辺の長さ）を入力し、[OK] を押します。

はがきを使用する場合

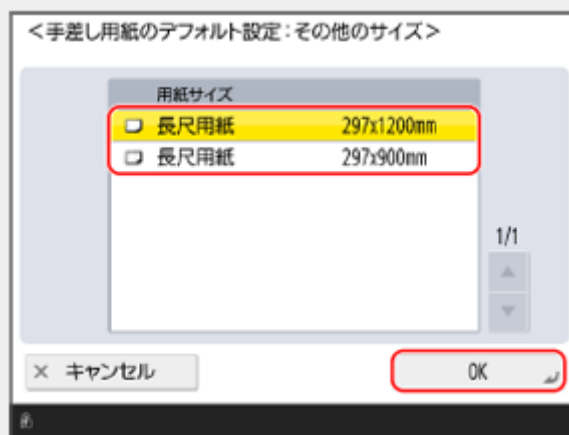
1. [はがき] を押す

2. はがきのサイズを選択し、[OK] を押す



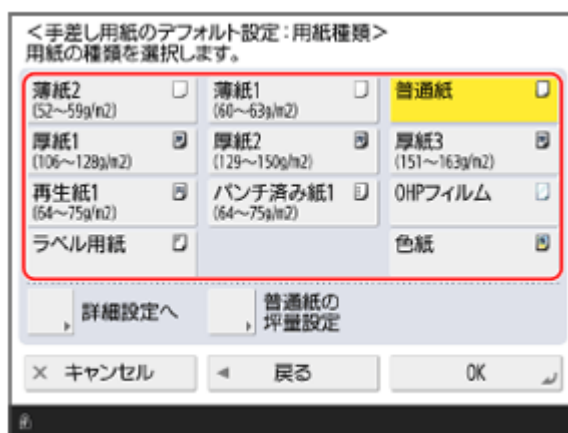
長尺用紙を使用する場合

1. [その他のサイズへ] を押す
2. セットした長尺用紙のサイズを選択し、[OK] を押す



5 [次へ] を押す

6 使用する用紙種類を選択する



普通紙の坪量を選択する場合

[普通紙の坪量設定] を押し、表示された一覧から使用する普通紙の坪量を選択します。

使用する用紙種類が表示されない場合

[詳細設定へ] を押し、表示された一覧から用紙種類を選択します。

※表示された一覧にも、使用する用紙種類が表示されない場合は、用紙種類を登録します。🔵よく使用する用紙種類を登録する (P. 1353)

7

[OK] を押す

→ [手差し用紙のデフォルト設定] 画面に戻ります。

8

[OK] を押す

→ 手差しトレイで使用する用紙サイズと用紙種類が固定されます。

手差しトレイでよく使用する用紙を登録する

EJ83-04F

手差しトレイに用紙をセットすると、初期設定では、操作パネルに用紙設定の画面が表示されます。

手差しトレイでよく使用する用紙の情報（サイズと種類）を「よく使う用紙」として登録しておくことで、用紙設定の画面から呼び出し、すばやく用紙サイズと用紙種類を設定できます。

また、手差しトレイに用紙をセットしたときに表示する画面を、「よく使う用紙」を選択する画面にして、ワンタッチで用紙サイズと用紙種類を設定できるようにすることもできます。

「よく使う用紙」は、操作パネルを使用して登録します。パソコンからリモート UI を使用して登録することはできません。

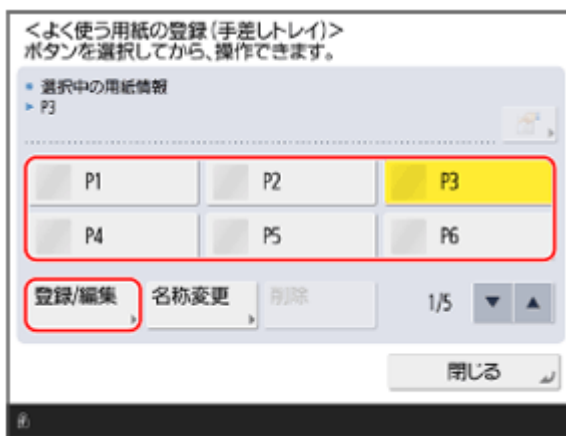
1 操作パネルの「ホーム」画面などで、 「設定/登録」を押す 「ホーム」画面 (P. 156)

→ 「設定/登録」画面が表示されます。

2 「環境設定」 「用紙設定」 「よく使う用紙の登録 (手差しトレイ)」を押す

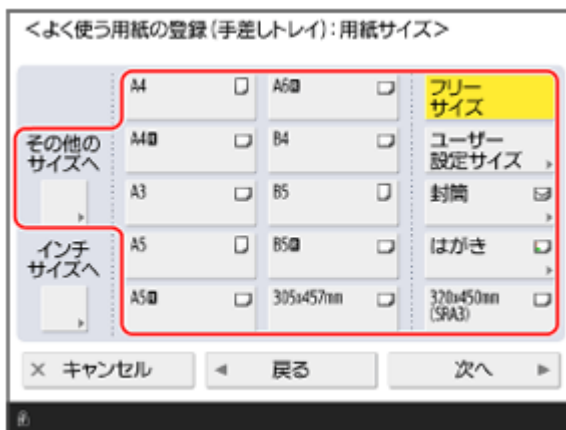
→ 「よく使う用紙の登録 (手差しトレイ)」画面が表示されます。

3 用紙の情報を登録するボタンを選択し、「登録/編集」を押す



すでに用紙の情報が登録されているボタンを選択すると、登録内容が上書きされます。

4 登録する用紙サイズを選択する



定形外サイズ用の紙（ユーザー設定用紙）を登録する場合

1. [ユーザー設定サイズ] を押す

用紙のサイズ（辺の長さ）がわからない場合や、プリンタードライバーで用紙サイズを設定してプリントする場合は、[フリーサイズ] を押します。その場合、手順 2（辺の長さの入力）は不要です。

2. [X] 辺と [Y] 辺の長さを入力し、[OK] を押す

- [X] / [Y] を押し、選択した状態にしてから入力します。
- よく使用する定形外サイズの用紙を登録している場合は、[S1] ～ [S4] を押して呼び出すことができます。

封筒を登録する場合

1. [封筒] を押す

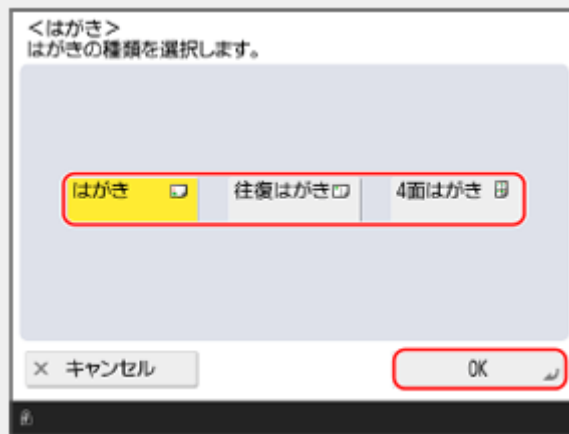
2. 封筒の向きとサイズを選択する

- 封筒の向きに応じて [縦置きへ] または [横置きへ] を押し、封筒のサイズを選択します。
 - セットした封筒の種類が表示されない場合は [その他の封筒] を押し、表示された一覧から封筒の種類を選択します。
 - 定形外サイズの封筒を登録する場合は、[ユーザー設定サイズ] を選択します。
3. [OK] を押す
- 封筒の向きとサイズによっては、[次へ] が表示されます。[次へ] を押して、封筒のフラップ長さまたは封筒のサイズ（辺の長さ）を入力し、[OK] を押します。

はがきを登録する場合

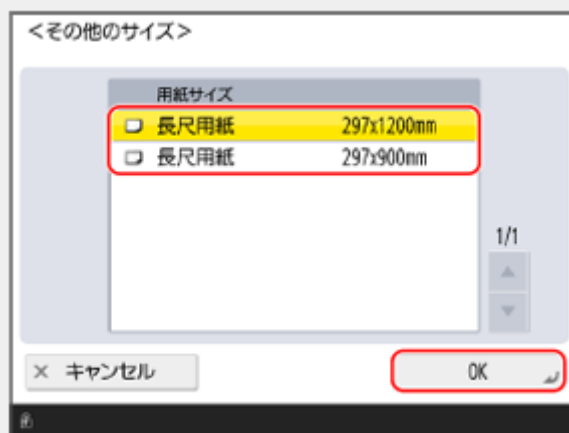
1. [はがき] を押す

2. はがきのサイズを選択し、[OK] を押す



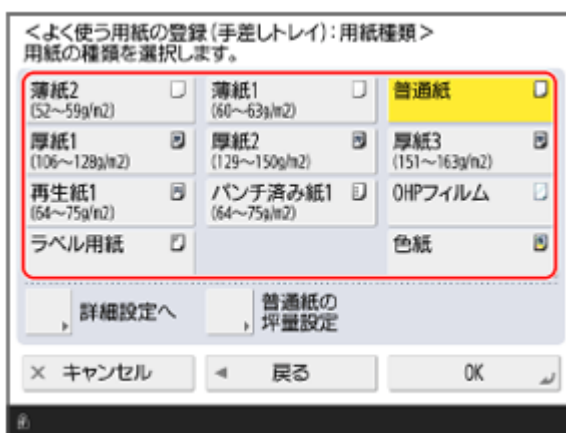
長尺用紙を登録する場合

1. [その他のサイズへ] を押す
2. セットした長尺用紙のサイズを選択し、[OK] を押す



5 [次へ] を押す

6 登録する用紙種類を選択する



普通紙の坪量を選択する場合

[普通紙の坪量設定] を押し、表示された一覧から使用する普通紙の坪量を選択します。

登録する用紙種類が表示されない場合

[詳細設定へ] を押し、表示された一覧から用紙種類を選択します。

※表示された一覧にも、「よく使う用紙」として登録したい用紙の種類が表示されない場合は、用紙種類を登録します。➡よく使用する用紙種類を登録する (P. 1353)

7 [OK] を押す

→用紙の情報が「よく使う用紙」として登録されて、[よく使う用紙の登録 (手差しトレイ)] 画面に戻ります。

8 必要に応じて、ボタンの名称を変更する

用紙の情報を登録したボタンを選択し、[名称変更] を押して名称を変更します。

9 [閉じる] を押す

10 必要に応じて、手差しトレイに用紙をセットしたときに表示する画面を設定する

「よく使う用紙」を選択する画面を表示する場合は、[手差し用紙のデフォルト設定] の [毎回指定モード] の [表示画面] を、[よく使う用紙] に設定します。➡ [手差し用紙のデフォルト設定] (P. 963)

定形外サイズの内紙を登録する - ユーザー設定用紙

EJ83-04H

ユーザー設定用紙とは、本機が対応している範囲内で、自由に辺の長さを定義できる定形外サイズの内紙のことです。特定の定形外サイズの内紙をよく使用する場合は、サイズを登録しておきます。サイズ入力時の画面で呼び出せるようになり、サイズを入力する手間が省けます。ユーザー設定用紙は4つまで登録できます。

ユーザー設定用紙は、操作パネルを使用して登録します。パソコンからリモート UI を使用して登録することはできません。

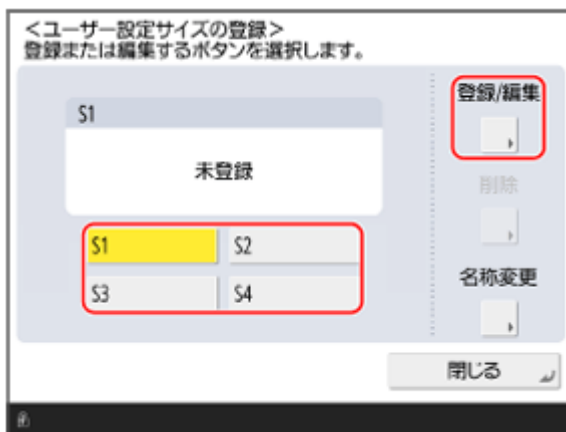
- 1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[ 設定/登録] を押す ➡ [ホーム] 画面 (P. 156)

➡ [設定/登録] 画面が表示されます。

- 2 [環境設定] ➡ [用紙設定] ➡ [ユーザー設定サイズの登録] を押す

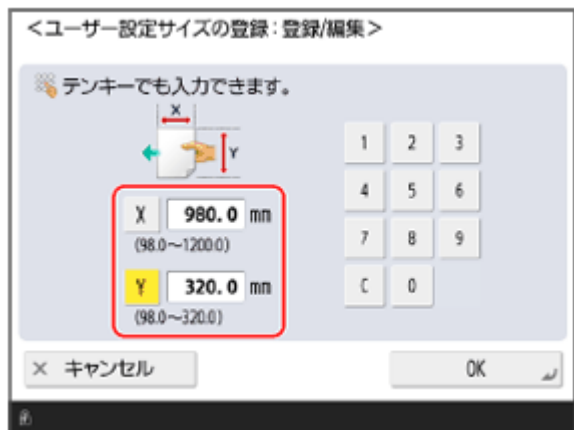
➡ [ユーザー設定サイズの登録] 画面が表示されます。

- 3 サイズを登録するボタンを選択し、[登録/編集] を押す



すでにサイズが登録されているボタンを選択すると、登録内容が上書きされます。

4 [X] 辺と [Y] 辺の長さを入力する



[X] / [Y] を押し、選択した状態にしてから入力します。

5 [OK] を押す

→ サイズが登録されて、[ユーザー設定サイズの登録] 画面に戻ります。

6 必要に応じて、ボタンの名称を変更する

サイズを登録したボタンを選択し、[名称変更] を押して名称を変更します。

7 [閉じる] を押す

機能ごとに適切な給紙部を使用する

EJ83-04J

給紙部を指定せずにプリントした場合は、プリントする用紙サイズに応じて、給紙部を本機が自動選択します。また、プリント中に用紙がなくなった場合も、同じサイズの用紙^{*1}がセットされている他の給紙部を自動選択して、プリントを継続します。

自動選択の対象とする給紙部を、コピー／プリンター／ファクス受信などの機能ごとに設定することで、適切な給紙部を使用できます。

^{*1} 同じサイズのヨコ置き用の紙（A4R やレター R など）の場合は、自動選択してプリントを継続するかどうかは機能によって異なります。

- コピー／プリンター／保存ファイルの利用：自動選択せず、プリントを停止します。
- 上記以外：自動選択してプリントを継続します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。  **[給紙動作] (P. 1046)**

1 リモート UI にログインする  **リモート UI を起動する (P. 887)**

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**

3 [共通] ▶ [給紙箇所の自動選択] をクリックする

→ [給紙箇所の自動選択] 画面が表示されます。

4 [給紙箇所の自動選択] で、自動選択の対象とする給紙部にチェックマークを付ける

- 機能ごとに設定します。[その他] は、レポート／リストをプリントするときの給紙部となります。
- どの機能も、いずれかの給紙カセットを自動選択の対象にしておく必要があります。手差しトレイのみを対象にすることはできません。

[プリンター] の設定をする場合

複数の給紙部をグループ化するかどうかを設定します。グループ化すると、給紙部を指定してプリントしたときに、同じグループ内で給紙部が選択されます。

グループ化する場合は、[グループを使用する] にチェックマークを付け、各給紙部が属するグループを選択します。

5 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

メモ

- 以下が設定されている場合は、給紙部は自動選択されません。
 - 自動倍率
 - 製本
 - ページ集約／ID カードコピー
 - 90 度回転

排紙先の設定

EJ83-04K

排紙トレイが複数ある場合は、プリント／コピーされた用紙をどの排紙トレイに排出するかを機能ごとに指定できます。機能ごとに排紙先を分けることで、プリント／コピーされた用紙を探す手間を軽減できます。

1つの機能に複数の排紙トレイを指定して、優先順位を指定することもできます。その場合、上位に指定した排紙トレイの容量がいっぱいになると、排紙先は下位に指定したトレイに自動的に切り替わります。

受信したファクス／iファクスのプリントの排紙先は、紛失を防ぐため、1つの排紙トレイに限定することをおすすめします。

④ 排紙先を設定する (P. 267)

④ 機器構成と排紙トレイの位置 (P. 269)

メモ

- 装着しているオプションによって、各排紙トレイに排出できる用紙サイズは異なります。④ 対応オプション一覧 (P. 4)

排紙先を設定する

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  設定/登録 ▶ [ファンクション設定] から設定します。④ [排紙トレイの設定] (P. 1048)

1 リモート UI にログインする ④ リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ④ リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [共通] ▶ [排紙トレイの設定] をクリックする

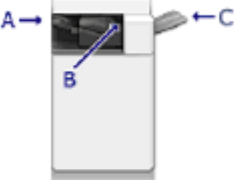
→ [排紙トレイの設定] 画面が表示されます。

4 機能ごとに、優先する排紙トレイから順にチェックマークを付ける

設定/登録：ファンクション設定：共通 > 排紙トレイの設定

排紙トレイの設定 最終更新：2025/12/12 11:31:46

OK キャンセル



	トレイA		トレイB		トレイC	
	選択	優先順位	選択	優先順位	選択	優先順位
コピー：	☒	1	☒	2	☐	
保存ファイルの利用：	☒	1	☒	2	☐	
プリンター：	☒	1	☒	2	☐	
受信：	☐		☐		☒	1
その他：	☐		☐		☒	1
ファクス：	☐		☐		☒	1

→ チェックマークを付けた順に、「1、2、3…」と機能ごとの優先順位が表示されます。

- [その他] は、レポート／リストをプリントしたときの排紙先となります。
- ファクス回線が複数ある場合は、回線数に応じて末尾に数字が表示されます。

5 [OK] をクリックする

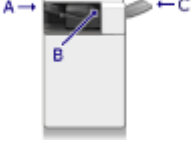
→ 設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

メモ

- 使用している用紙や仕上げ機能によっては、指定したトレイに排紙されません。
- 仕上げ機能でシフトの設定を有効にすると、シフトに対応していないトレイには排紙されません。▶ **仕上げ機能対応オプション一覧 (P. 8)**
シフトに対応している排紙トレイを指定するか、以下の方法でシフトの設定を無効にして、プリントやコピーを実行します。
 - シフトが自動的に設定されないようにする ▶ **【自動ソート】 (P. 1064)**
 - プリントやコピーの実行前に、手動でソートの設定を無効にする

機器構成と排紙トレイの位置

装着しているオプション	排紙トレイの位置
インナー 2 ウェイトレイ・M	
コピートレイ・T	
インナー 2 ウェイトレイ・M + コピートレイ・T	
インナーフィニッシャー・N	
インナーフィニッシャー・N + コピートレイ・T	

宛先の登録 - アドレス帳

EJ83-04L

スキャンデータやファクスを送信／保存するときの宛先を、本機のアドレス帳に登録します。アドレス帳に宛先を登録しておくと、送信／保存するたびに宛先の情報を入力する手間が省けます。

アドレス帳の機能

複数の宛先をまとめてグループにしたり、ひんばんに使用する宛先をワンタッチボタンに登録したりできます。

➡ [アドレス帳の機能と画面 \(P. 271\)](#)

アドレス帳の種類

アドレス帳は複数の宛先表（宛先の登録先）からなり、使用するユーザーや目的によって使い分けることができます。宛先を指定する際には、本機のアドレス帳だけでなく、ネットワーク上の他機のアドレス帳を使用することもできます。

➡ [宛先表の種類と使用できるアドレス帳 \(P. 273\)](#)

登録できる宛先

- メールアドレス（メール／I ファクス）
- ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／キヤノン複合機の保存スペース（アドバンスドボックス））
- ファクス番号

登録方法

名称やメールアドレス、ファクス番号などの情報を入力して登録したり、送信履歴や LDAP サーバーのユーザー情報を利用して登録したりできます。

宛先は操作パネル／リモート UI どちらでも登録できますが、送信履歴を利用して登録する場合は、操作パネルを使用します。

➡ [アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル \(P. 276\)](#)

➡ [アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI \(P. 291\)](#)

関連項目

アドレス帳をインポート／エクスポートする

アドレス帳のデータを他機と共有したりバックアップしたりできます。

➡ [アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする \(P. 913\)](#)

アドレス帳の不正使用を防ぐ

アドレス帳の無断登録や宛先情報の漏えいを防ぐために、暗証番号を設定したり、一部の宛先を非表示にしたりします。

➡ [アドレス帳の使用を制限する \(P. 837\)](#)

アドレス帳の機能と画面

EJ83-04R

アドレス帳に登録した宛先は、スキャン（スキャンして送信）／ファクスの画面からアドレス帳を呼び出して指定します。複数の宛先をまとめてグループにしたり、ひんぱんに使用する宛先をワンタッチボタンに登録したりできます。

複数の宛先のグループ登録

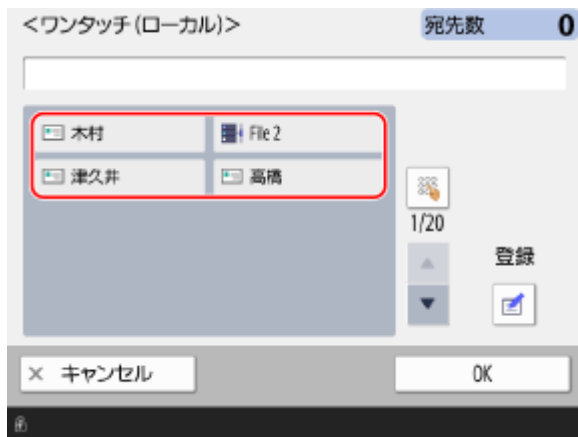
登録済みの複数の宛先を、まとめてグループとして登録できます。グループとして登録することで、送信時に複数の宛先を指定する手間が省けます。

➡ アドレス帳にグループを登録する - 操作パネル (P. 284)

➡ アドレス帳にグループを登録する - リモート UI (P. 297)

ワンタッチボタンへの登録

多くのユーザーがひんぱんに指定する宛先は、ワンタッチボタンに登録すると便利です。登録した宛先がボタンとしてスキャン／ファクスの画面に表示され、ワンタッチで指定することができます。



※ワンタッチボタンに登録した宛先は、アドレス帳にも登録／表示されます。

インデックスによる分類

登録時に設定した名称の頭文字や宛先の種類（メール／ファクスなど）を、インデックスで分類して表示できます。

アドレス帳の画面

スキャン／ファクスの画面からアドレス帳を呼び出すと、以下の画面が表示されます。



※アドレス帳を呼び出したときに表示される宛先表の種類は変更することができます。 ➡ 【宛先表のデフォルト表示の変更】 (P. 1133)

登録した宛先の一覧

宛先の種類が以下のアイコンで示され、名称やメールアドレス、ファクス番号などの宛先情報が表示されます。

[] : メール

[] : ファクス

[] : ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックス）

[] : ファクス

[] : グループ

インデックス

画面の上部と下部に表示されます。宛先の種類や名称の頭文字を選択することで、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。

- アドレス帳に登録されているすべての宛先を表示する場合は、[全て] を選択します。
- 表示する宛先を名称の頭文字で指定する場合は、[あ] ～ [0-9] のいずれかを選択します。

宛先表のプルダウンメニュー

宛先表を選択することで、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。

[リモートへ] ／ [アドレス帳の切り替え]

ネットワーク上の他機のアドレス帳（リモートアドレス帳）や、LDAP サーバーに登録されている宛先を表示するときに押します。

[名称で検索]

宛先の名称を入力することで、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。

宛先を操作する項目

画面の右側の [登録/編集] を押すと表示されます。宛先を登録／編集／削除するときに押します。

[新規宛先の登録] 以外の項目は、宛先を選択してから操作します。

宛先表の種類と使用できるアドレス帳

EJ83-04S

アドレス帳は複数の宛先表（宛先の登録先）からなり、使用するユーザーや目的によって使い分けることができます。宛先を指定する際には、本機のアドレス帳だけでなく、ネットワーク上の他機のアドレス帳を使用することもできます。

- ①宛先表の種類 (P. 273)
- ②宛先表間での宛先の移動／コピー (P. 274)
- ③使用できるアドレス帳 (P. 274)

宛先表の種類

宛先表には、以下の種類があります。いずれの宛先表でも、登録できる宛先の種類は同じです。

ユーザー共通の宛先表

すべてのユーザーが使用できる共通の宛先表です。以下の3種類があります。

宛先表 1～宛先表 10

宛先表 1～宛先表 10 と管理者用宛先表の合計で、最大 1,600 件の宛先を登録できます。

ワンタッチ宛先表

ワンタッチボタンの宛先が登録される宛先表です。

最大 200 件の宛先を登録できます。

管理者用宛先表

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限を持つ管理者ユーザーのみが宛先を登録／編集できる宛先表です。

送受信したファクスの転送先として指定する宛先など、管理者ユーザー以外による登録／編集を制限する宛先の登録先として使用します。

メモ

宛先の登録／編集を制限する

- アドレス帳に暗証番号を設定して、宛先表 1～宛先表 10 とワンタッチ宛先表への宛先の登録や、登録済みの宛先の編集を制限できます。④アドレス帳に暗証番号を設定して登録／編集を制限する (P. 837)

一部の宛先の表示／使用を制限する

- 宛先表 1～宛先表 10 と管理者用宛先表の宛先にアクセス番号を設定して、宛先ごとに表示や使用を制限できます。

※アクセス番号管理が有効になっている必要があります。④一部の宛先を非表示にする - アクセス番号管理 (P. 838)

ユーザー固有の宛先表

本機にログインすることで、特定のユーザーのみが使用できる宛先表です。以下の2種類があります。

個人宛先表

ログインユーザー専用の宛先表です。

1 ユーザーあたり最大 25 件の宛先を登録できます。

ユーザーグループ宛先表

ユーザーグループ専用の宛先表です。宛先表の公開先に設定されたユーザーグループに所属するユーザーのみが使用したり、宛先を登録／編集したりできます。④宛先をグループで共有する - ユーザーグループ (P. 745)

1 ユーザーあたり最大 4,000 件^{*1} (10 グループ^{*2} × 400 件^{*3}) の宛先を登録できます。

Administrator 権限を持つ管理者ユーザーでリモート UI にログインした場合は、すべてのユーザーグループ宛先表の宛先を登録／編集できます。

*1 本機全体では、全グループ合計で最大 20,000 件の宛先を登録できます。

*2 1 ユーザーあたりの登録可能最大グループ数（本機全体では最大で 50 グループ登録可能）

*3 1 グループあたりの最大登録件数

メモ

使用できない機能

- 個人宛先表とユーザーグループ宛先表は、公開先が限定されているため、以下のことはできません。
 - 登録されている宛先を、送受信したファクスの転送先や、メール送信時の返信先／通知先として指定する
 - 登録されている宛先の一覧（宛先表リスト）をプリントする

個人宛先表の使用を制限する

- 個人宛先表を使用できないように設定できます。🔗 [【個人宛先表を使用】 \(P. 1137\)](#)

ユーザーグループ宛先表の使用を制限する

- ユーザーグループ宛先表を使用できないように設定したり、Administrator 権限を持つ管理者ユーザーのみがリモート UI から宛先を登録／編集できるように設定したりできます。🔗 [【ユーザーグループ宛先表を使用】 \(P. 1137\)](#)

宛先表間での宛先の移動／コピー

登録済みの宛先の編集で、登録先の宛先表を変更する場合、変更前後の宛先表の種類によって「移動」と「コピー」のどちらになるかが異なります。

「ユーザー共通の宛先表間」または「ユーザー固有の宛先表間」で変更する場合

変更後の宛先表に「移動」となります。

変更例：

- 宛先表 1 から管理者用宛先表に変更
- 個人宛先表からユーザーグループ宛先表に変更

「ユーザー共通の宛先表からユーザー固有の宛先表」に変更する場合

「ユーザー固有の宛先表からユーザー共通の宛先表」に変更する場合

変更後の宛先表に「コピー」となり、編集前の宛先の情報が変更前の宛先表にそのまま残ります。

変更例：

- 宛先表 1 からユーザーグループ宛先表に変更
- 個人宛先表から管理者用宛先表に変更

※ワンタッチ宛先表に登録されている宛先は、他の宛先表に変更できません。また、他の宛先表からワンタッチ宛先表への変更もできません。

※宛先表の使用や編集が制限されている場合は、宛先の移動／コピーはできません。

使用できるアドレス帳

登録した宛先は、本機のアドレス帳（ローカルアドレス帳）に保存されます。

宛先を指定するときは、ローカルアドレス帳のほか、ネットワーク上の他機のアドレス帳（リモートアドレス帳）を使用することもできます。

リモートアドレス帳を使用するための準備

リモートアドレス帳を使用するためには、あらかじめ以下の設定が必要です。

- ネットワーク上の他機（サーバー機）で、アドレス帳を公開する
- 本機（クライアント機）で、リモートアドレス帳を取得する設定にして、サーバー機を登録する  **【リモートアドレス帳取得設定】 (P. 1138)**

※サーバー機でシステム管理者情報（システム管理部門 ID と暗証番号）が設定されている場合は、サーバー機とクライアント機のシステム管理者情報を一致させる必要があります。  **管理者用の部門 ID／暗証番号を変更する (P. 730)**

リモートアドレス帳の宛先を使用する

アドレス帳の画面で、[リモートへ] または [アドレス帳の切り替え]  [リモート] を押すと、リモートアドレス帳に切り替わります。  **アドレス帳の画面 (P. 271)**

リモートアドレス帳の宛先を編集／削除する

リモートアドレス帳の宛先を、クライアント機から編集／削除することはできません。サーバー機で編集／削除します。

重要

サーバー機がシステム管理部門 ID と暗証番号を設定している場合

- 以下の場合は、リモートアドレス帳を使用できません。
 - クライアント機がシステム管理部門 ID と暗証番号を設定していない場合
 - 設定されているシステム管理部門 ID と暗証番号が、サーバー機とクライアント機で異なる場合

※システム管理部門 ID と暗証番号については、以下を参照してください。

 **管理者用の部門 ID／暗証番号を変更する (P. 730)**

メモ

同時に接続できるクライアント機の台数

- 1 台のサーバー機に同時に接続できるクライアント機は最大 8 台までです。
 - ※サーバー機が他にネットワーク通信を行っている場合は、これより少なくなることがあります。
 - ※サーバー機に接続できないときは、ネットワークエラーが通知されます。

リモートアドレス帳の宛先がサーバー機で更新された場合

- 更新された宛先の情報をクライアント機で使えます。ただし、クライアント機のマイボタン／共有ボタンや「よく使う設定」に、リモートアドレス帳の宛先を登録した場合、それらに登録した宛先の情報は更新されません。
- ワンタッチボタンの宛先の情報は、クライアント機で以下の操作／処理を行ったときに更新されます。
 -  **リセット** を押したとき
 - 送信が完了したとき
 - オートクリアが実行されたとき  **【オートクリア移行時間】 (P. 977)**

本機のアドレス帳を他機からリモートアドレス帳として使用する場合

- 本機のアドレス帳を公開して、本機をサーバー機として設定します。  **【リモートアドレス帳公開設定】 (P. 1140)**

アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル

操作パネルを使用して、アドレス帳やワンタッチボタンに宛先を登録します。
メールアドレス／ファイルの保存先／ファクス番号を、以下の方法で登録できます。

- 宛先の情報を直接入力して登録する
- 送信履歴を利用して登録する
- LDAP サーバーで管理されているユーザー情報を検索して登録する

➡ **アドレス帳に宛先を登録する (P. 276)**

➡ **ワンタッチボタンに宛先を登録する (P. 279)**

メモ

宛先として登録した保存先が変更／削除された場合

- 宛先の登録内容を変更するか、宛先を削除して、新しい宛先として登録しなおします。 ➡ **アドレス帳の宛先を編集／削除する - 操作パネル (P. 288)**

アドレス帳に宛先を登録する

必要な準備

- LDAP サーバーを使用する場合は、LDAP サーバーの情報を本機に登録します。 ➡ **LDAP サーバーに登録する (P. 125)**

1

必要に応じて、本機にログインする ➡ **ログイン方法 (P. 191)**

個人宛先表／ユーザーグループ宛先表に宛先を登録する場合は、ログインしてから操作します。 ➡ **宛先表の種類 (P. 273)**

2

操作パネルの [ホーム] 画面で、[宛先/転送の設定] を押す ➡ **[ホーム] 画面 (P. 156)**

スキャン（スキャンして送信）／ファクスの画面で [アドレス帳] を押して、アドレス帳の画面から宛先を登録することもできます。

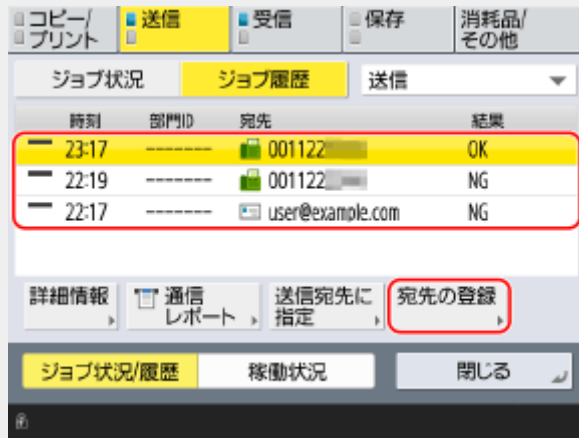
送信履歴を利用して宛先を登録する場合

1. 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[ 状況確認] を押す ➡ **[ホーム] 画面 (P. 156)**

→ [状況確認] 画面が表示されます。

2. [送信] ▶ [ジョブ履歴] を押す

3. アドレス帳に登録する宛先を選択し、[宛先の登録] を押す



4. [アドレス帳] を押し、手順 6 に進む

暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] を押します。

3 [宛先の登録] を押す

- アドレス帳の画面から宛先を登録する場合は、この手順は不要です。手順 4 に進みます。
- 暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] を押します。

4 [新規宛先の登録] を押す

5 宛先の種類を選択する



- ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックス）の宛先を登録する場合は、[ファイル] を選択します。
- グループの宛先を登録する場合は、以下を参照してください。
 ➡ [アドレス帳にグループを登録する - 操作パネル \(P. 284\)](#)

LDAP サーバーのユーザー情報を利用して宛先を登録する場合

1. [LDAP サーバーから登録] を押す

➔ 初期設定では、登録されている条件に従って、自動的に検索が開始されます。

- ➡ [\[LDAP サーバー使用時の自動検索\] \(P. 1135\)](#)
- ➡ [\[LDAP 検索条件のデフォルトの変更\] \(P. 1135\)](#)

認証画面が表示された場合は、LDAP サーバーに登録されている本機のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] を押します。

2. 必要に応じて、条件でユーザーを検索する

- 一覧に現在表示されているユーザーの中から宛先を登録する場合は、この手順は不要です。手順 3 に進みます。
- LDAP サーバーを複数登録している場合は、検索する LDAP サーバーをプルダウンメニューから選択し、ユーザーを検索します。

条件で検索する場合

[条件で検索] を押し、検索条件を指定して、[検索開始] を押します。

検索条件の指定例：メールアドレスに「example」が含まれるユーザーを検索する場合

検索条件のプルダウンメニューから、[E メール] と [が次を含む] を選択します。[設定] を押し、「example」と入力して、[OK] を押します。

- [検索条件を追加] を押して、複数の検索条件（最大 4 つまで）を指定できます。
指定したいいずれかの条件に該当するユーザーを検索する場合は、[または] を選択します。
指定したすべての条件に該当するユーザーを検索する場合は、[かつ] を選択します。
- 検索対象の属性を追加することもできます。➡ **[LDAP 検索属性の登録/編集] (P. 1136)**

ユーザーを検索できない場合

- LDAP サーバーへの認証情報（ユーザー名とパスワード）が正しいにもかかわらず検索できない場合は、LDAP サーバーと本機に設定されている時刻を確認します。LDAP サーバーと本機の時刻設定が 5 分以上ずれていると検索できません。
- 操作パネルとリモート UI から同時に検索することはできません。

3. アドレス帳に登録するユーザーにチェックマークを付ける

- 複数のユーザー（最大 256 件まで）にチェックマークを付けてまとめて登録できます。表示されているユーザーすべてにチェックマークを付ける場合は、[全選択 (256 件まで)] を押します。
- メールアドレスの宛先を I ファックスの宛先として登録する場合は、[E メールを I ファックスとして登録] を押して、選択した状態にします。

4. [次へ] を押す

➔ フリガナを除く名称とメールアドレス／ファックス番号の情報が取得されます。

手順 3 で複数のユーザーにチェックマークを付けた場合

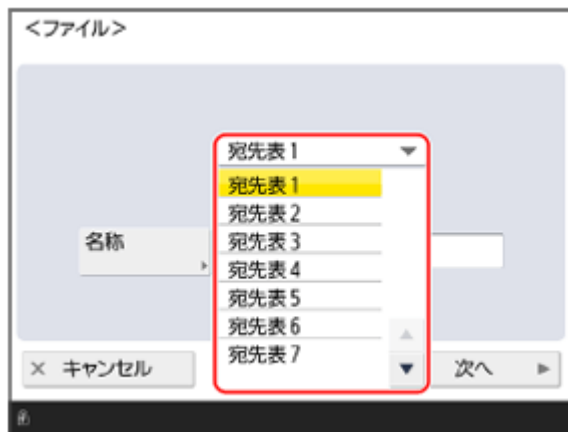
登録する宛先表を選択します。➡ **宛先表の種類 (P. 273)**

宛先をアクセス番号で管理している場合は、登録する宛先を表示するためのアクセス番号を入力します。

[OK] を押すと、アドレス帳に宛先がまとめて登録されます。

- 複数の宛先をまとめて登録した場合、以降の手順は不要です。
- フリガナを除く名称とメールアドレス／ファックス番号以外の情報は、アドレス帳に登録された宛先を編集して設定します。➡ **アドレス帳の宛先を編集／削除する - 操作パネル (P. 288)**

6 宛先を登録する宛先表を選択する ▶ 宛先表の種類 (P. 273)



7 宛先の名称とフリガナを入力し、[次へ] を押す

名称とフリガナは入力しなくても登録できますが、入力しておくことで、宛先指定時に頭文字や名称で検索できます。

1. [名称] を押す
2. 名称を入力し、[次へ] を押す
3. 必要に応じてフリガナを入力し、[OK] を押す
 手順2で入力した名称に応じたフリガナが自動的に入力されているので、必要に応じて入力しなおします。

8 宛先の種類に応じて、宛先の情報を設定する

- ▶ メールの宛先の設定 (P. 305)
- ▶ FAXの宛先の設定 (P. 306)
- ▶ 共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)
- ▶ FAXの宛先の設定 (P. 310)

9 [OK] を押す

→ アドレス帳に宛先が登録されます。

宛先をアクセス番号で管理している場合は、[次へ] を押し、登録する宛先を表示するためのアクセス番号を入力して、[OK] を押します。

ワンタッチボタンに宛先を登録する

必要な準備

- LDAP サーバーを使用する場合は、LDAP サーバーの情報を本機に登録します。▶ LDAP サーバーを登録する (P. 125)

1 操作パネルの [ホーム] 画面で、[宛先/転送の設定] を押す ▶ [ホーム] 画面 (P. 156)

スキャン（スキャンして送信）／ファクスの画面からワンタッチボタンに宛先を登録することもできます。

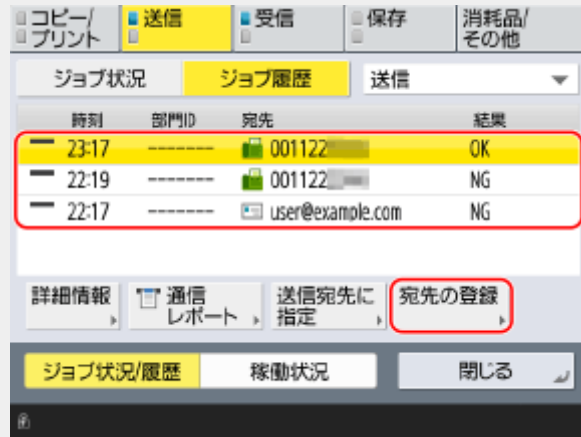
- スキャン／ファクスの画面から宛先を登録する場合は、[ワンタッチ] ▶ [登録] を押します。

送信履歴を利用して宛先を登録する場合

1. 操作パネルの「ホーム」画面などで、[ 状況確認] を押す ➡ [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [状況確認] 画面が表示されます。

2. [送信] ➡ [ジョブ履歴] を押す
3. ワンタッチボタンに登録する宛先を選択し、[宛先の登録] を押す



4. [ワンタッチ] を押す
暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] を押します。
5. 宛先を登録するワンタッチボタンを選択する



- ワンタッチボタンには3桁の番号（001～200）が割り振られています。[] を押し、3桁の番号を入力してボタンを選択することもできます。
- すでに宛先が登録されているボタンを選択すると、登録内容が上書きされます。

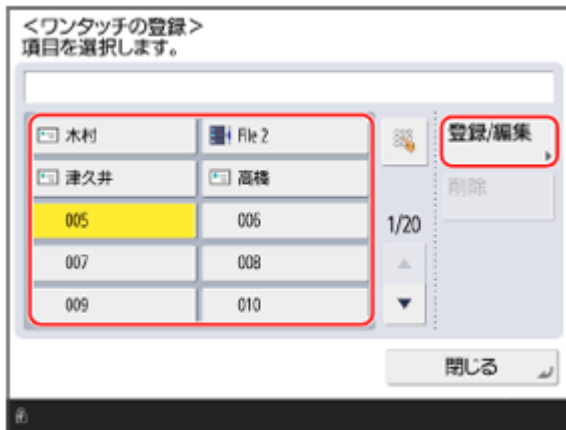
6. [次へ] を押し、手順 5 に進む

2

[ワンタッチの登録] を押す

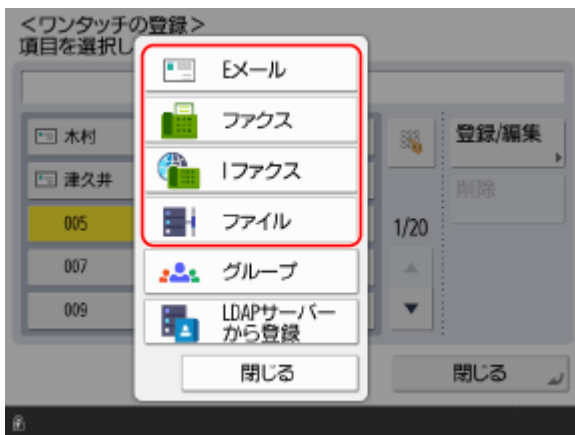
- スキャン／ファクスの画面から宛先を登録する場合は、この手順は不要です。手順 3 に進みます。
- 暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] を押します。

3 宛先を登録するボタンを選択し、[登録/編集] を押す



- ワンタッチボタンには3桁の番号（001～200）が割り振られています。[👉] を押し、3桁の番号を入力してボタンを選択することもできます。
- すでに宛先が登録されているボタンを選択すると、登録内容が上書きされます。

4 宛先の種類を選択する



- ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックス）の宛先を登録する場合は、[ファイル] を選択します。
- グループの宛先を登録する場合は、以下を参照してください。
 🔗 [アドレス帳にグループを登録する - 操作パネル \(P. 284\)](#)

LDAP サーバーのユーザー情報を利用して宛先を登録する場合

1. [LDAP サーバーから登録] を押す

→ 初期設定では、登録されている条件に従って、自動的に検索が開始されます。

- 🔗 [\[LDAP サーバー使用時の自動検索\] \(P. 1135\)](#)
- 🔗 [\[LDAP 検索条件のデフォルトの変更\] \(P. 1135\)](#)

認証画面が表示された場合は、LDAP サーバーに登録されている本機のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] を押します。

2. 必要に応じて、条件でユーザーを検索する

- 一覧に現在表示されているユーザーの中から宛先を登録する場合は、この手順は不要です。手順3に進みます。

- LDAP サーバーを複数登録している場合は、検索する LDAP サーバーをプルダウンメニューから選択し、ユーザーを検索します。

条件で検索する場合

[条件で検索] を押し、検索条件を指定して、[検索開始] を押します。

検索条件の指定例：メールアドレスに「example」が含まれるユーザーを検索する場合

検索条件のプルダウンメニューから、[E メール] と [が次を含む] を選択します。[設定] を押し、「example」と入力して、[OK] を押します。

- [検索条件を追加] を押して、複数の検索条件（最大 4 つまで）を指定できます。
指定したいいずれかの条件に該当するユーザーを検索する場合は、[または] を選択します。
指定したすべての条件に該当するユーザーを検索する場合は、[かつ] を選択します。
- 検索対象の属性を追加することもできます。➡ **【LDAP 検索属性の登録/編集】 (P. 1136)**

ユーザーを検索できない場合

- LDAP サーバーへの認証情報（ユーザー名とパスワード）が正しいにもかかわらず検索できない場合は、LDAP サーバーと本機に設定されている時刻を確認します。LDAP サーバーと本機の時刻設定が 5 分以上ずれていると検索できません。
 - 操作パネルとリモート UI から同時に検索することはできません。
3. ワンタッチボタンに登録するユーザーにチェックマークを付ける
メールアドレスの宛先を I ファクスの宛先として登録する場合は、[E メールを I ファクスとして登録] を押して、選択した状態にします。
 4. [次へ] を押す
➔ フリガナを除く名称とメールアドレス／ファクス番号の情報が取得されます。

5 宛先の名称とフリガナを入力する

宛先の名称とフリガナは入力しなくても登録できますが、入力しておくことで、アドレス帳からの宛先指定時に頭文字や名称で検索できます。

※ワンタッチボタンに登録した宛先は、アドレス帳（ワンタッチ宛先表）にも登録／表示され、宛先指定時にアドレス帳からも指定することができます。

1. [名称] を押す
2. 名称を入力し、[次へ] を押す
3. 必要に応じてフリガナを入力し、[OK] を押す
手順 2 で入力した名称に応じたフリガナが自動的に入力されているので、必要に応じて入力しなおします。

6 ボタンの名称を入力する

ボタンの名称は入力しなくても登録できますが、入力しておくことで、ワンタッチボタンに名称が表示されます。

1. [ワンタッチボタン名称] を押す
2. 名称を入力し、[OK] を押す

7 宛先の種類に応じて、宛先の情報を設定する

- ➡ **メールの宛先の設定 (P. 305)**
- ➡ **I ファクスの宛先の設定 (P. 306)**
- ➡ **共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)**
- ➡ **ファクスの宛先の設定 (P. 310)**

8

[OK] を押す

→ ワンタッチボタンに宛先が登録されます。

アドレス帳にグループを登録する - 操作パネル

EJ83-04W

操作パネルを使用して、同じ宛先表に登録されている複数の宛先を、まとめてグループとしてアドレス帳やワンタッチボタンに登録します。

1つのグループに登録できる宛先は、最大256件です。

種類が異なる宛先を1つのグループに登録できます。また、メールアドレスなどの宛先だけでなく、ファイルサーバーのIPアドレスをグループに登録することもできます。

たとえば、メールアドレスの宛先とファイルサーバーを1つのグループに登録し、そのグループを宛先に指定してスキャンデータを送信することで、「メールで送信したデータを、自動的にファイルサーバーに保存してバックアップする」といった使いかたもできます。

● **アドレス帳にグループを登録する (P. 284)**

● **ワンタッチボタンにグループを登録する (P. 286)**

アドレス帳にグループを登録する

必要な準備

- グループに登録するすべての宛先を、本機のアドレス帳に登録します。● **アドレス帳に宛先を登録する (P. 276)**
- ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックス）の宛先をグループに登録する場合は、確認画面を表示する設定を無効にします。● **共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)**

※確認画面を表示するように設定されている宛先をグループに登録すると、そのグループを宛先に指定して送信することができません。

1 必要に応じて、本機にログインする ● **ログイン方法 (P. 191)**

個人宛先表／ユーザーグループ宛先表に登録されている宛先をグループにする場合は、ログインしてから操作します。● **宛先表の種類 (P. 273)**

2 操作パネルの［ホーム］画面で、［宛先/転送の設定］を押す ● **［ホーム］画面 (P. 156)**

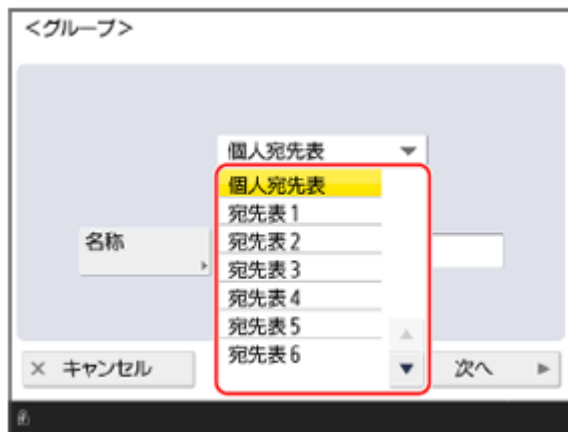
スキャン（スキャンして送信）／ファクスの画面で［アドレス帳］を押して、アドレス帳の画面からグループを登録することもできます。

3 [宛先の登録] を押す

- アドレス帳の画面からグループを登録する場合は、この手順は不要です。手順 4 に進みます。
- 暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] を押します。

4 [新規宛先の登録] ▶ [グループ] を押す

5 グループにする宛先が登録されている宛先表を選択する



- 選択した宛先表と異なる宛先表に登録されている宛先をグループにすることはできません。
- 作成したグループは、ここで選択した宛先表に登録されます。

6 グループの名称とフリガナを入力する

名称とフリガナは入力しなくても登録できますが、入力しておくことで、宛先指定時に頭文字や名称で検索できます。

1. [名称] を押す
2. 名称を入力し、[次へ] を押す
3. 必要に応じてフリガナを入力し、[OK] を押す

手順 2 で入力した名称に応じたフリガナが自動的に入力されているので、必要に応じて入力しなさい。

7 グループに登録する宛先を指定する

1. [アドレス帳から追加] を押す
2. グループに登録する宛先にチェックマークを付け、[OK] を押す



- 画面上部と下部の、インデックスや [名称で検索] を選択すると、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。➡ [アドレス帳の画面 \(P. 271\)](#)
- 複数の宛先に同時にチェックマークを付けることができます。
- アクセス番号が設定されている宛先を表示する場合は、[アクセス番号] を押し、アクセス番号を入力します。

- 宛先の情報を確認したい場合は、宛先を選択し、[詳細情報] を押します。

8 [OK] を押す

→アドレス帳にグループが登録されます。

宛先をアクセス番号で管理している場合は、[次へ] を押し、登録するグループを表示するためのアクセス番号を入力して、[OK] を押します。

ワンタッチボタンにグループを登録する

必要な準備

- グループに登録するすべての宛先を、本機のワンタッチボタンに登録します。➡**ワンタッチボタンに宛先を登録する (P. 279)**
- ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックス）の宛先をグループに登録する場合は、確認画面を表示する設定を無効にします。➡**共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)**

※確認画面を表示するように設定されている宛先をグループに登録すると、そのグループを宛先に指定して送信することができません。

1 操作パネルの [ホーム] 画面で、[宛先/転送の設定] を押す ➡ [ホーム] 画面 (P. 156)

スキャン（スキャンして送信）／ファクスの画面からワンタッチボタンにグループを登録することもできます。

- スキャン／ファクスの画面からグループを登録する場合は、[ワンタッチ] ▶ [登録] を押します。

2 [ワンタッチの登録] を押す

- スキャン／ファクスの画面からグループを登録する場合は、この手順は不要です。手順 3 に進みます。
- 暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] を押します。

3 グループを登録するボタンを選択し、[登録/編集] ▶ [グループ] を押す



- ワンタッチボタンには3桁の番号（001～200）が割り振られています。[] を押し、3桁の番号を入力してボタンを選択することもできます。
- すでにグループが登録されているボタンを選択すると、登録内容が上書きされます。

4 グループの名称とフリガナを入力する

グループの名称とフリガナは入力しなくても登録できますが、入力しておくことで、アドレス帳からの宛先指定時に頭文字や名称で検索できます。

※ワンタッチボタンに登録したグループは、アドレス帳（ワンタッチ宛先表）にも登録／表示され、宛先指定時にアドレス帳からも指定することができます。

1. [名称] を押す
2. 名称を入力し、[次へ] を押す
3. 必要に応じてフリガナを入力し、[OK] を押す
手順2で入力した名称に応じたフリガナが自動的に入力されているので、必要に応じて入力しなおします。

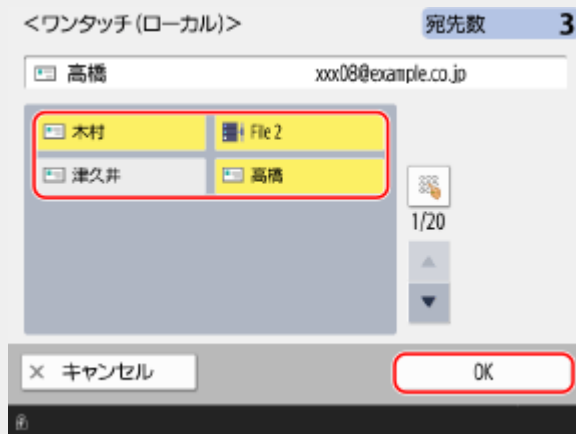
5 ボタンの名称を入力する

ボタンの名称は入力しなくても登録できますが、入力しておくことで、ワンタッチボタンに名称が表示されます。

1. [ワンタッチボタン名称] を押す
2. 名称を入力し、[OK] を押す

6 グループに登録する宛先を指定する

1. [ワンタッチから追加] を押す
2. グループに登録する宛先のボタンを選択し、[OK] を押す



- ワンタッチボタンには3桁の番号（001～200）が割り振られています。[🔍] を押し、3桁の番号を入力してボタンを選択することもできます。
- 複数のボタンを同時に選択することができます。

7 [OK] を押す

→ワンタッチボタンにグループが登録されます。

アドレス帳の宛先を編集／削除する - 操作パネル

アドレス帳やワンタッチボタンに登録されている宛先の情報を変更したり、使用しない宛先を削除したりします。

- ① アドレス帳の宛先を編集／削除する (P. 288)
- ② ワンタッチボタンの宛先を編集／削除する (P. 289)

アドレス帳の宛先を編集／削除する

1 必要に応じて、本機にログインする ④ ログイン方法 (P. 191)

個人宛先表／ユーザーグループ宛先表の宛先を編集／削除する場合は、ログインしてから操作します。④ 宛先表の種類 (P. 273)

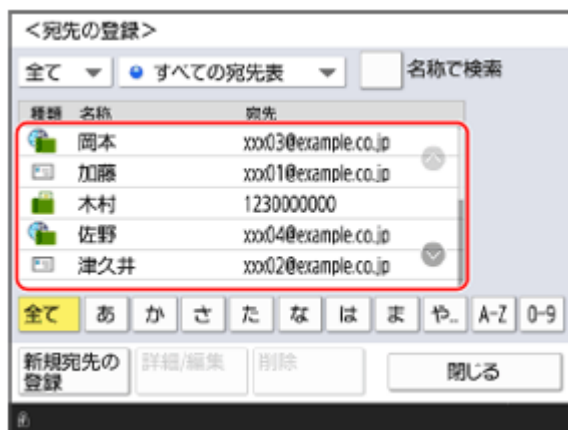
2 操作パネルの［ホーム］画面で、［宛先/転送の設定］を押す ④ ［ホーム］画面 (P. 156)

スキャン（スキャンして送信）／ファクスの画面で［アドレス帳］を押して、アドレス帳の画面から宛先を編集／削除することもできます。

3 ［宛先の登録］を押す

- アドレス帳の画面から宛先を編集／削除する場合は、この手順は不要です。手順④に進みます。
- 暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] を押します。

4 編集／削除する宛先を選択する



- 画面上部と下部の、インデックスや［名称で検索］を選択すると、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。④ アドレス帳の画面 (P. 271)
- アクセス番号が設定されている宛先を表示する場合は、［アクセス番号］を押し、アクセス番号を入力します。
- 宛先の情報を確認したい場合は、宛先を選択し、［詳細情報］を押します。

5 宛先を編集／削除する

宛先を編集する場合

1. [詳細/編集] を押す
2. 宛先の種類に応じて、宛先の情報を編集する
 - ➡メールの宛先の設定 (P. 305)
 - ➡I ファクスの宛先の設定 (P. 306)
 - ➡共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)
 - ➡ファクスの宛先の設定 (P. 310)

登録先の宛先表を変更することもできます。変更前後の宛先表の種類によって「移動」と「コピー」のどちらになるかが異なります。 ➡宛先表間での宛先の移動／コピー (P. 274)

3. [OK] を押す

→編集した情報が反映されます。

宛先をアクセス番号で管理している場合は、[次へ] を押し、編集した宛先を表示するためのアクセス番号を入力して、[OK] を押します。

宛先を削除する場合

[削除] ➡ [はい] を押すと、宛先が削除されます。

ワンタッチボタンの宛先を編集／削除する

- 1 操作パネルの [ホーム] 画面で、[宛先/転送の設定] を押す ➡ [ホーム] 画面 (P. 156)

スキャン（スキャンして送信）／ファクスの画面からワンタッチボタンの宛先を編集／削除することもできます。

- スキャン／ファクスの画面から宛先を編集／削除する場合は、[ワンタッチ] ➡ [登録] を押します。

- 2 [ワンタッチの登録] を押す

- スキャン／ファクスの画面から宛先を編集／削除する場合は、この手順は不要です。手順 3 に進みます。
- 暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] を押します。

- 3 宛先を編集／削除するボタンを選択する



ワンタッチボタンには3桁の番号（001～200）が割り振られています。[👉] を押し、3桁の番号を入力してボタンを選択することもできます。

- 4 宛先を編集／削除する

宛先を編集する場合

1. [登録/編集] を押す
2. 宛先の種類に応じて、宛先の情報を編集する
 - ➡メールの宛先の設定 (P. 305)
 - ➡I ファックスの宛先の設定 (P. 306)
 - ➡共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)
 - ➡ファックスの宛先の設定 (P. 310)
3. [OK] を押す
 - 編集した情報が反映されます。

宛先を削除する場合

[削除] ➡ [はい] を押すと、宛先が削除されます。

アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI

EJ83-04Y

パソコンからリモート UI を使用して、アドレス帳やワンタッチボタンに宛先を登録します。
メールアドレス／ファイルの保存先／ファクス番号を、以下の方法で登録できます。

- 宛先の情報を直接入力して登録する
- LDAP サーバーで管理されているユーザー情報を検索して登録する

④ アドレス帳に宛先を登録する (P. 291)

④ ワンタッチボタンに宛先を登録する (P. 293)

メモ

宛先として登録した保存先が変更／削除された場合

- 宛先の登録内容を変更するか、宛先を削除して、新しい宛先として登録しなおします。④ [アドレス帳の宛先を編集／削除する - リモート UI \(P. 301\)](#)

アドレス帳に宛先を登録する

必要な準備

- LDAP サーバーを使用する場合は、LDAP サーバーの情報を本機に登録します。④ [LDAP サーバーを登録する \(P. 125\)](#)

1

リモート UI にログインする ④ [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)

ログインしたユーザーによって、宛先を登録できる宛先表が異なります。④ [宛先表の種類 \(P. 273\)](#)

2

リモート UI のポータル画面で、[アドレス帳] をクリックする ④ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

→ [宛先表一覧] 画面が表示されます。

3

宛先を登録する宛先表をクリックする ④ [宛先表の種類 \(P. 273\)](#)



→ 宛先表の画面が表示されます。

暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

4 [新規宛先の登録] をクリックする

→ [新規宛先の登録: Eメール] 画面が表示されます。

5 宛先の種類を選択し、[決定] をクリックする

→ 選択した種類の新規宛先の登録画面が表示されます。

- メールの宛先を登録する場合は、この手順は不要です。手順 6 に進みます。
- ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックス）の宛先を登録する場合は、[ファイル] を選択します。

LDAP サーバーのユーザー情報を利用して宛先を登録する場合

1. [種類] で、[LDAP サーバーから登録] を選択し、[決定] をクリックする
→ [新規宛先の登録: LDAP サーバーから登録] 画面が表示されます。
2. 宛先を検索する LDAP サーバーを選択し、認証情報を入力する

- ログイン情報を使用して認証する場合は、LDAP サーバーに登録されている本機のユーザー名とパスワードを入力します。
 - ログイン情報を使用せずに匿名で認証する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄のままにしておきます。
3. [検索条件] で、検索対象の属性を選択し、検索する文字列を入力する
 4. [検索開始] をクリックする
→ 検索条件に該当するユーザーが表示されます。

ユーザーを検索できない場合

- LDAP サーバーへの認証情報（ユーザー名とパスワード）が正しいにもかかわらず検索できない場合は、LDAP サーバーと本機に設定されている時刻を確認します。LDAP サーバーと本機の時刻設定が5分以上ずれていると検索できません。
- 操作パネルとリモート UI から同時に検索することはできません。

5. アドレス帳に登録するユーザーを選択し、[OK] をクリックする

→ アドレス帳に宛先が登録されます。

- LDAP サーバーのユーザー情報を利用して宛先を登録した場合、以降の手順は不要です。
- LDAP サーバーから取得できる情報は、フリガナを除く名称とメールアドレス／ファクス番号の情報のみです。その他の情報は、アドレス帳に登録された宛先を編集して設定します。➡ **アドレス帳の宛先を編集／削除する - リモート UI (P. 301)**

6

[名称] と [フリガナ] に、宛先の名称とフリガナを入力する

名称とフリガナは入力しなくても登録できますが、入力しておくことで、宛先指定時に頭文字や名称で検索できます。

7

宛先の種類に応じて、宛先の情報を設定する

- ➡ **メールの宛先の設定 (P. 305)**
- ➡ **I ファクスの宛先の設定 (P. 306)**
- ➡ **共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)**
- ➡ **ファクスの宛先の設定 (P. 310)**

宛先をアクセス番号で管理している場合

[アクセス番号] に、登録する宛先を表示するためのアクセス番号を入力します。

※登録する宛先にアクセス番号を設定しない場合は、[アクセス番号] を空欄のままにしておきます。

8

[OK] をクリックする

→ アドレス帳に宛先が登録されます。

9

リモート UI からログアウトする

ワンタッチボタンに宛先を登録する

必要な準備

- LDAP サーバーを使用する場合は、LDAP サーバーの情報を本機に登録します。➡ **LDAP サーバーを登録する (P. 125)**

1

リモート UI にログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**

2

リモート UI のポータル画面で、[アドレス帳] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**

→ [宛先表一覧] 画面が表示されます。

3 [宛先表 ワンタッチ] をクリックする

→ 宛先表の画面が表示されます。

暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

4 [未登録] と表示されている名称（または番号）をクリックする

→ [新規宛先の登録: Eメール] 画面が表示されます。

ワンタッチボタンには3桁の番号（001～200）が割り振られています。画面右上の[リスト番号]で、番号の範囲を選択し、[表示切替]をクリックすると、一覧に表示される番号が切り替わります。

5 宛先の種類を選択し、[決定] をクリックする

→ 選択した種類の新規宛先の登録画面が表示されます。

- メールの宛先を登録する場合は、この手順は不要です。手順 6 に進みます。
- ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックス）の宛先を登録する場合は、[ファイル] を選択します。
- グループの宛先を登録する場合は、以下を参照してください。
 - ➡ アドレス帳にグループを登録する - リモート UI (P. 297)

LDAP サーバーのユーザー情報を利用して宛先を登録する場合

1. [種類] で、[LDAP サーバーから登録] を選択し、[決定] をクリックする

→ [新規宛先の登録: LDAP サーバーから登録] 画面が表示されます。

2. 宛先を検索する LDAP サーバーを選択し、認証情報を入力する

- ログイン情報を使用して認証する場合は、LDAP サーバーに登録されている本機のユーザー名とパスワードを入力します。
- ログイン情報を使用せずに匿名で認証する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄のままにしておきます。

3. [検索条件] で、検索対象の属性を選択し、検索する文字列を入力する

4. [検索開始] をクリックする

→ 検索条件に該当するユーザーが表示されます。

ユーザーを検索できない場合

- LDAP サーバーへの認証情報（ユーザー名とパスワード）が正しいにもかかわらず検索できない場合は、LDAP サーバーと本機に設定されている時刻を確認します。LDAP サーバーと本機の時刻設定が5分以上ずれていると検索できません。
- 操作パネルとリモート UI から同時に検索することはできません。

5. ワンタッチボタンに登録するユーザーを選択し、[OK] をクリックする

→ ワンタッチボタンに宛先が登録されます。

- LDAP サーバーのユーザー情報を利用して宛先を登録した場合、以降の手順は不要です。
- LDAP サーバーから取得できる情報は、フリガナを除く名称とメールアドレス／ファクス番号の情報のみです。その他の情報は、ワンタッチボタンに登録された宛先を編集して設定します。➡ **アドレス帳の宛先を編集／削除する - リモート UI (P. 301)**

6

[名称] と [フリガナ] に、宛先の名称とフリガナを入力する

宛先の名称とフリガナは入力しなくても登録できますが、入力しておくことで、アドレス帳からの宛先指定時に頭文字や名称で検索できます。

※ワンタッチボタンに登録した宛先は、アドレス帳（ワンタッチ宛先表）にも登録／表示され、宛先指定時にアドレス帳からも指定することができます。

7

[ワンタッチボタン名称] に、ボタンの名称を入力する

ボタンの名称は入力しなくても登録できますが、入力しておくことで、ワンタッチボタンに名称が表示されます。

8

宛先の種類に応じて、宛先の情報を設定する

- ➡ **メールの宛先の設定 (P. 305)**
- ➡ **I ファクスの宛先の設定 (P. 306)**
- ➡ **共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)**
- ➡ **ファクスの宛先の設定 (P. 310)**

9

[OK] をクリックする

→ ワンタッチボタンに宛先が登録されます。

10

リモート UI からログアウトする

アドレス帳にグループを登録する - リモート UI

EJ83-050

パソコンからリモート UI を使用して、同じ宛先表に登録されている複数の宛先を、まとめてグループとしてアドレス帳やワンタッチボタンに登録します。

1つのグループに登録できる宛先は、最大 256 件です。

種類が異なる宛先を 1つのグループに登録できます。また、メールアドレスなどの宛先だけでなく、ファイルサーバーの IP アドレスをグループに登録することもできます。

たとえば、メールアドレスの宛先とファイルサーバーを 1つのグループに登録し、そのグループを宛先に指定してスキャンデータを送信することで、「メールで送信したデータを、自動的にファイルサーバーに保存してバックアップする」といった使いかたもできます。

①アドレス帳にグループを登録する (P. 297)

②ワンタッチボタンにグループを登録する (P. 299)

アドレス帳にグループを登録する

必要な準備

- グループに登録するすべての宛先を、本機のアドレス帳に登録します。④アドレス帳に宛先を登録する (P. 291)
- ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックス）の宛先をグループに登録する場合は、確認画面を表示する設定を無効にします。④共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)

※確認画面を表示するように設定されている宛先をグループに登録すると、そのグループを宛先に指定して送信することができません。

1 リモート UI にログインする ④リモート UI を起動する (P. 887)

ログインしたユーザーによって、グループを登録できる宛先表が異なります。④宛先表の種類 (P. 273)

2 リモート UI のポータル画面で、[アドレス帳] をクリックする ④リモート UI のポータル画面 (P. 890)

→ [宛先表一覧] 画面が表示されます。

3 グループにする宛先が登録されている宛先表をクリックする



→ 宛先表の画面が表示されます。

- クリックした宛先表と異なる宛先表に登録されている宛先をグループにすることはできません。
- 作成したグループは、ここでクリックした宛先表に登録されます。
- 暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

4 [新規グループの登録] をクリックする

→ [新規宛先の登録: グループ] 画面が表示されます。

5 [グループ名] と [フリガナ] に、グループの名称とフリガナを入力する

名称とフリガナは入力しなくても登録できますが、入力しておくことで、宛先指定時に頭文字や名称で検索できます。

宛先をアクセス番号で管理している場合

[アクセス番号] に、登録するグループを表示するためのアクセス番号を入力します。

※登録するグループにアクセス番号を設定しない場合は、[アクセス番号] を空欄のままにしておきます。

6 グループに登録する宛先を指定する

1. [メンバーの設定] で、[メンバーリスト] の [宛先の選択] をクリックする
2. グループに登録する宛先にチェックマークを付け、[OK] をクリックする

アドレス帳: 宛先表一覧 > 個人宛先表 > 新規宛先の登録: グループ > 宛先の選択

宛先の選択 最終更新: 2023 11/08 17:35:06

宛先を選択して、[OK]をクリックしてください。

OK キャンセル

種類: すべて 頭文字: すべて 表示切替

選択	種類	名称	宛先
☒	個人	User-1	user1@example.com
☒	個人	User-2	user2@example.com
☒	個人	User-3	user3-example
☐	個人	User-4	1230000000

→ [新規宛先の登録: グループ] 画面の [メンバーリスト] に、宛先が追加されます。

- 画面右上の [種類] や [頭文字] で、宛先の種類や名称の頭文字を選択し、[表示切替] をクリックすると、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。
- アクセス番号が設定されている宛先を表示する場合は、画面右上の [アクセス番号] に番号を入力し、[表示切替] をクリックします。
- 複数の宛先に同時にチェックマークを付けることができます。

7 [OK] をクリックする

→ アドレス帳にグループが登録されます。

8 リモート UI からログアウトする

ワンタッチボタンにグループを登録する

必要な準備

- グループに登録するすべての宛先を、本機のワンタッチボタンに登録します。➡**ワンタッチボタンに宛先を登録する (P. 293)**
- ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックス）の宛先をグループに登録する場合は、確認画面を表示する設定を無効にします。➡**共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)**

※確認画面を表示するように設定されている宛先をグループに登録すると、そのグループを宛先に指定して送信することができません。

1 リモート UI にログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**

2 リモート UI のポータル画面で、[アドレス帳] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**

→ [宛先表一覧] 画面が表示されます。

3 [宛先表 ワンタッチ] をクリックする

→ 宛先表の画面が表示されます。

暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

4 [未登録] と表示されている名称（または番号）をクリックする



→ [新規宛先の登録: E メール] 画面が表示されます。

ワンタッチボタンには3桁の番号（001～200）が割り振られています。画面右上の [リスト番号] で、番号の範囲を選択し、[表示切替] をクリックすると、一覧に表示される番号が切り替わります。

5 [種類] で、[グループ] を選択し、[決定] をクリックする

→ [新規宛先の登録: グループ] 画面が表示されます。

6 [グループ名] と [フリガナ] に、グループの名称とフリガナを入力する

グループの名称とフリガナは入力しなくても登録できますが、入力しておくことで、アドレス帳からの宛先指定時に頭文字や名称で検索できます。

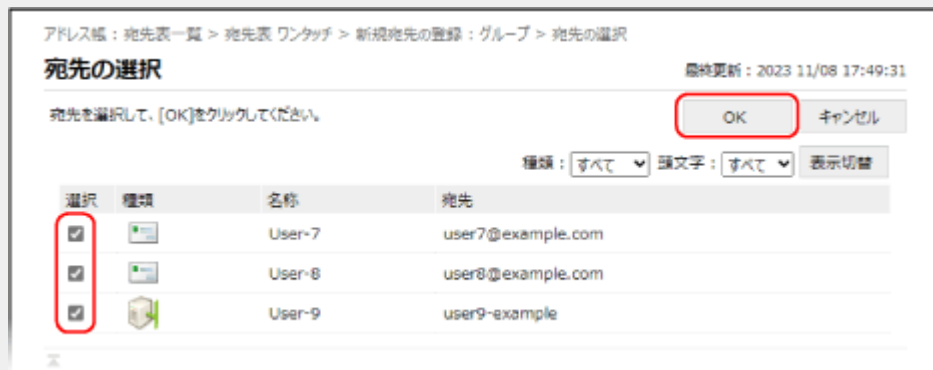
※ワンタッチボタンに登録したグループは、アドレス帳（ワンタッチ宛先表）にも登録／表示され、宛先指定時にアドレス帳からも指定することができます。

7 [ワンタッチボタン名称] に、ボタンの名称を入力する

ボタンの名称は入力しなくても登録できますが、入力しておくことで、ワンタッチボタンに名称が表示されます。

8 グループに登録する宛先を指定する

1. [メンバーの設定] で、[メンバーリスト] の [宛先の選択] をクリックする
2. グループに登録する宛先にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



→ [新規宛先の登録: グループ] 画面の [メンバーリスト] に、宛先が追加されます。

- 画面右上の [種類] や [頭文字] で、宛先の種類や名称の頭文字を選択し、[表示切替] をクリックすると、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。
- 複数の宛先に同時にチェックマークを付けることができます。

9 [OK] をクリックする

→ ワンタッチボタンにグループが登録されます。

10 リモート UI からログアウトする

アドレス帳の宛先を編集／削除する - リモート UI

EJ83-051

アドレス帳やワンタッチボタンに登録されている宛先の情報を変更したり、使用しない宛先を削除したりします。

- ① アドレス帳の宛先を編集／削除する (P. 301)
- ② ワンタッチボタンの宛先を編集／削除する (P. 303)

アドレス帳の宛先を編集／削除する

1 リモート UI にログインする ② リモート UI を起動する (P. 887)

ログインしたユーザーによって、宛先を編集／削除できる宛先表が異なります。 ③ 宛先表の種類 (P. 273)

2 リモート UI のポータル画面で、[アドレス帳] をクリックする ③ リモート UI のポータル画面 (P. 890)

→ [宛先表一覧] 画面が表示されます。

3 編集／削除する宛先が登録されている宛先表をクリックする



→ 宛先表の画面が表示されます。

暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

4 宛先を編集／削除する

- 画面右上の [種類] や [頭文字] で、宛先の種類や名称の頭文字を選択し、[表示切替] をクリックすると、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。
- アクセス番号が設定されている宛先を表示する場合は、画面右上の [アクセス番号] に番号を入力し、[表示切替] をクリックします。

宛先を編集する場合

1. 編集する宛先の名称（または種類アイコン）をクリックする



→ 宛先の詳細情報画面が表示されます。

2. [編集] をクリックする
3. 宛先の種類に応じて、宛先の情報を編集する
 - メール宛先の設定 (P. 305)
 - FAX宛先の設定 (P. 306)
 - 共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)
 - FAX宛先の設定 (P. 310)
4. [OK] をクリックする

→ 編集した情報が反映されます。

宛先を他の宛先表に移動／コピーする場合

1. 移動／コピーする宛先を選択し、[宛先の移動] または [宛先のコピー] をクリックする



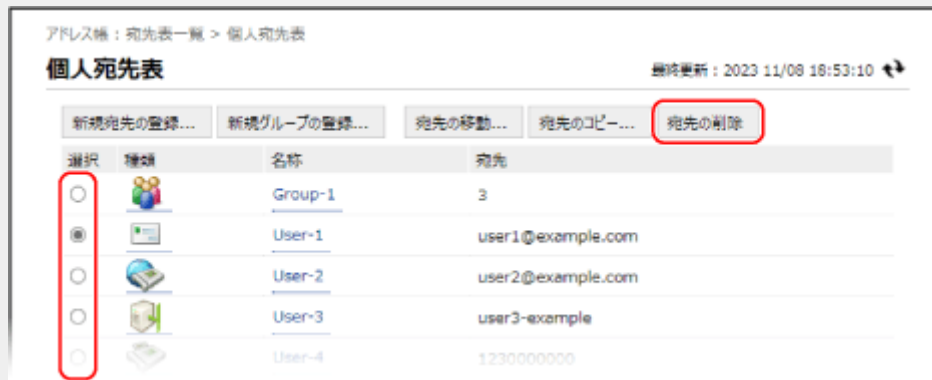
変更前後の宛先表の種類によって「移動」と「コピー」のどちらになるかが異なります。➤宛先表間での宛先の移動／コピー (P. 274)

2. 宛先表を選択し、[OK] をクリックする

→ 選択した宛先表に移動／コピーされます。

宛先を削除する場合

1. 削除する宛先を選択し、[宛先の削除] をクリックする



2. [OK] をクリックする
→ 選択した宛先が削除されます。

5 リモート UI からログアウトする

ワンタッチボタンの宛先を編集／削除する

- 1 リモート UI にログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**

- 2 リモート UI のポータル画面で、[アドレス帳] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**

→ [宛先表一覧] 画面が表示されます。

- 3 [宛先表 ワンタッチ] をクリックする

→ 宛先表の画面が表示されます。

暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

- 4 宛先を編集／削除する

ワンタッチボタンには3桁の番号(001~200)が割り振られています。画面右上の[リスト番号]で、番号の範囲を選択し、[表示切替]をクリックすると、一覧に表示される番号が切り替わります。

宛先を編集する場合

1. 編集する宛先の名称（または番号、種類アイコン）をクリックする



→ 宛先の詳細情報画面が表示されます。

2. [編集] をクリックする

3. 宛先の種類に応じて、宛先の情報を編集する

▶ メールの宛先の設定 (P. 305)

▶ I ファクスの宛先の設定 (P. 306)

▶ 共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)

▶ ファクスの宛先の設定 (P. 310)

4. [OK] をクリックする

→ 編集した情報が反映されます。

宛先を削除する場合

1. 削除する宛先を選択し、[宛先の削除] をクリックする



2. [OK] をクリックする

→ 選択した宛先が削除されます。

宛先に設定できる項目

EJ83-052

アドレス帳やワンタッチボタンに宛先を登録するときや、登録されている宛先を編集するときは、宛先の種類によって設定できる項目が異なります。

- ④ メール宛先の設定 (P. 305)
- ④ I ファクスの宛先の設定 (P. 306)
- ④ 共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)
- ④ ファクスの宛先の設定 (P. 310)

メール宛先の設定

アドレス帳やワンタッチボタンにメール宛先を登録するときは、以下の項目を設定します。

ここでは、操作パネルを使用して宛先を登録する場合の画面と項目名で説明します。

パソコンからリモート UI を使用して宛先を登録する場合も設定できる内容は同じですが、画面構成や項目名が異なります。



[E メールアドレス]

メールアドレスを入力します。

※操作パネルのキーボードの登録文字列に、よく使用するドメイン名（メールアドレスの@以降）を登録しておくことで、メールアドレスの入力時に呼び出すことができます。④ **【キーボードの登録文字列】 (P. 968)**

※送信時に自動付与するドメイン名を登録しておくことで、@以降の入力を省略してメールアドレスを登録できます。④ **【宛先にドメインを追加】 (P. 1091)**

[データ分割]

メールで送信するデータのサイズが上限値を超える場合は、数回に分けて送信します。その場合に、データを分割して送信するかどうかを設定します。

- [ON] に設定すると、上限値を超えないサイズにデータを分割して、数回に分けて送信します。相手先のメールソフトが、分割データを結合する機能に対応している必要があります。
- [OFF] に設定すると、1回で送るページ数を減らして、数回に分けて送信します。ただし、JPEG のようなページのないデータの場合は、送信エラーとなります。

※データサイズの上限値は変更できます。④ **【送信データサイズ上限値】 (P. 1087)**

I ファクスの宛先の設定

アドレス帳やワンタッチボタンに I ファクスの宛先を登録するときは、以下の項目を設定します。

ここでは、操作パネルを使用して宛先を登録する場合の画面と項目名で説明します。

パソコンからリモート UI を使用して宛先を登録する場合も設定できる内容は同じですが、画面構成や項目名が異なります。



[モード選択:]

I ファクスの送信結果をどこまで確認するかによって、送信モードを選択します。

メールサーバーまで届いたかどうかを確認する場合

[Simple] を選択します。

Simple モードで送信した場合、送信結果は以下のとおり表示されます。

- 送信成功／通信不明：[--]
- 送信失敗：[NG]

宛先の機器に届いたかどうかを確認する場合

[Full] を選択します。

Full モードで送信した場合、送信結果は以下のとおり表示されます。

- 送信成功：[OK]
- 送信失敗：[NG]
- 通信不明：[--]

また、Full モードで送信した場合は、宛先の機器から MDN（送信結果の通知メール）を受信することで、送信結果を判断します。

宛先の機器が Full モードに対応していない場合、MDN が届かないため、送信が完了していても、タイムアウトになるまで処理状況に「送信結果待ち」と表示されたままになります。➡ **【Full モードの送信タイムアウト】 (P. 1089)**

※処理状況や送信結果は、[状況確認] の送信状況／履歴で確認できます。➡ **スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する (P. 479)**

[I ファクスアドレス]

メールアドレスを入力します。

同じネットワーク上の機器が宛先の場合

以下のとおり IP アドレス形式で入力します。

<宛先の機器名>@[<宛先の IP アドレス>]

入力例：

adv01@[192.168.11.100]

※操作パネルのキーボードの登録文字列に、よく使用するドメイン名（メールアドレスの@以降）を登録しておく、メールアドレスの入力時に呼び出すことができます。➡ **【キーボードの登録文字列】 (P. 968)**

※送信時に自動付与するドメイン名を登録しておく、@以降の入力を省略してメールアドレスを登録できます。➡ **【宛先にドメインを追加】 (P. 1091)**

[定型文の登録]

インターネットファクス中継サービスなどを利用する場合に登録します。詳しくは、サービスの提供会社に確認してください。

[サーバーの経由]

同じネットワーク上の機器が宛先の場合に、メールサーバーを経由して送信するかどうかを設定します。

- [OFF] に設定すると、宛先の機器に直接送信するため、メールサーバーへの負担が軽減されます。
- 宛先を IP アドレス形式以外で指定した場合、この項目を [OFF] に設定して送信するには、DNS サーバーの MX (Mail eXchange) レコードなどの設定が必要です。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- [モード選択:] で [Full] を選択した場合、この項目を [OFF] に設定しても、MDN はメールサーバーを経由して送受信されます。

※初期設定では、この項目の設定は変更できません。➡ **【サーバーの経由を使用】 (P. 1090)**

[相手先の条件]

宛先の機器の仕様に応じて設定します。宛先の機器が対応していない設定にすると、エラーが発生することがあります。

[用紙サイズ]

宛先の機器が対応している用紙サイズを設定します。

- 複数の用紙サイズを設定した場合は、スキャンデータの原稿サイズに一番近い用紙サイズを自動選択して送信されます。宛先の機器で使用可能な用紙サイズよりも大きいサイズを設定すると、画像が欠けたり用紙からはみ出したりすることがあります。
- スキャンデータの原稿サイズが設定した用紙サイズより小さい場合は、等倍のまま余白が付いた状態で送信されます。
- スキャンデータの原稿サイズが設定した用紙サイズより大きい場合は、縮小して送信されます。

[圧縮方式]

宛先の機器が対応している圧縮方式を設定します。

MH、MR、MMR の順に圧縮率が高くなり、送信時間が短くなります。

[解像度]

宛先の機器が対応している解像度を設定します。

数値が大きくなるほど解像度が高くなり、きれいな画質で送信できます。ただし、送信時間は長くなります。

[データ分割]

I ファクスで送信するデータのサイズが上限値を超える場合に、データを分割して送信するかどうかを設定します。

- [ON] に設定すると、上限値を超えないサイズにデータを分割して、数回に分けて送信します。宛先の機器が、分割データを結合する機能に対応している必要があります。
- [OFF] に設定すると、データサイズが上限値を超える場合は、送信エラーとなります。
- [サーバーの経由] を [OFF] に設定した場合は、この項目の設定にかかわらず、データサイズが上限値を超えてもそのまま送信されます。

※データサイズの上限値は変更できます。➡ **【送信データサイズ上限値】 (P. 1087)**

共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定

アドレス帳やワンタッチボタンに、共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先を登録するときは、以下の項目を設定します。

ここでは、操作パネルを使用して宛先を登録する場合の画面と項目名で説明します。

パソコンからリモート UI を使用して宛先を登録する場合も設定できる内容は同じですが、画面構成や項目名が異なります。

[プロトコル]

送信プロトコルを選択します。

- 共有フォルダーの場合は、[Windows (SMB)] を選択します。
- ファイルサーバーの場合は、宛先のサーバーに合わせて選択します。
- アドバンスドボックスの場合は、公開方法の設定に合わせて [Windows (SMB)] または [WebDAV] を選択します。

[ホスト名]

宛先のホスト名または IP アドレスを入力します。

- 共有フォルダーの場合は、共有フォルダーがあるパソコンのコンピューター名または IP アドレスを入力します。
 - ① パソコンのシステム情報を確認する (P. 1562)
 - ② パソコンのネットワーク接続情報を確認する (P. 1563)
- IPv6 アドレスを入力する場合は、IP アドレスを [] で囲んで入力します。

[プロトコル] で [Windows (SMB)] を選択した場合

先頭に「\\」を付けて入力します。

入力例：

\\192.168.100.50

\\[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]

※ [ホスト検索] や [参照] からホスト名を指定することもできます。

- 初期設定では、[参照] は使用できません。SMB バージョンの設定で、SMB v1.0 が有効な場合にのみ使用できます。④ [SMB クライアントのバージョン指定] (P. 991)

[プロトコル] で [FTP] を選択した場合

先頭に「ftp://」を付けて入力します。TLS が有効な場合は、「ftp://」の代わりに「ftps://」を付けて入力します。

SFTP サーバーを指定する場合は、先頭に「sftp://」を付けて入力します。

入力例：

ftp://192.168.100.50

ftps://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]

sftp://192.168.100.50

※接続先の SFTP サーバーを認証するかどうかを設定できます。④ 接続先の SFTP サーバーを認証する (P. 835)

[プロトコル] で [WebDAV] を選択した場合

先頭に「http://」を付けて入力します。TLS が有効な場合は、「http://」の代わりに「https://」を付けて入力します。

入力例：

http://192.168.100.50

https://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]

[フォルダーのパス]

ファイルを保存するフォルダーへのパスを入力します。

[プロトコル] で [Windows (SMB)] または [FTP] を選択した場合

[Windows (SMB)] を選択した場合は、区切り文字は「\」を使用します。

[FTP] を選択した場合は、区切り文字は「/」を使用します。

[Windows (SMB)] を選択したとき、[接続確認] で確認できるのは指定したフォルダーのパスの第一階層までです。

入力したパスのフォルダーが存在しない場合は、ファイルの初回保存時に、入力した名前のフォルダーが作成されます。

※ただし、親フォルダーも存在しない場合や、親フォルダーへの書き込み権限がない場合は、フォルダーは作成されず、送信エラーになります。

[プロトコル] で [WebDAV] を選択した場合

区切り文字は「/」を使用します。

アドバンスドボックスが宛先の場合

共有スペースは「share」、個人スペースは「users」が、最上位のフォルダー名となります。

入力例：

- 共有スペースの [scandata] フォルダーの場合

\share\scandata

/share/scandata

- 個人スペースの [scandata] フォルダーの場合

\users\scandata

/users/scandata

[ユーザー名]

この宛先にログインするためのユーザー名を入力します。

※Active Directory で運用されているドメインに属するコンピューターにログインする場合は、UPN を使用できます。

[パスワード]

この宛先にログインするためのパスワードを入力します。

[送信前に確認画面を表示]

チェックマークを付けると、この宛先に送信する前に、ユーザー名とパスワードを確認する画面を表示します。

確認画面でユーザー名とパスワードを入力することもできるため、宛先の登録時にユーザー名とパスワードを設定しないで、送信時に入力するように宛先を使用することも可能となります。

- この宛先をグループに登録する場合は、チェックマークを外します。チェックマークが付いている宛先をグループに登録すると、そのグループを宛先に指定して送信することができません。
- この宛先をファクスの転送先として使用する場合は、チェックマークを付けても、転送時には確認画面は表示されません。

[フォルダー振り分け]

チェックマークを付けると、ファイルを送信するときに、[フォルダーのパス] で指定したフォルダー内に新しいフォルダーを作成して、そのフォルダーに保存します。

ファイル送信時に、新しいフォルダーの作成とそのフォルダーへの保存が同時にできるようになります。

※この項目は、[プロトコル] で [Windows (SMB)] または [FTP] を選択した場合にのみ表示されます。

チェックマークを付けた場合

送信画面で [スタート] を押すと、以下の画面が表示されます。



[フォルダー名] を押し、作成するフォルダー名を入力して、[OK] ▶ [OK] を押します。

- 複数の宛先を指定している場合は送信エラーになります。
- 入力したフォルダーがすでに存在するときは、そのフォルダーに保存されます。

[接続確認]

設定した情報で宛先に接続できるかどうかを確認します。

※ [プロトコル] で [WebDAV] を選択した場合は、HTTP の HEAD メソッドを使用して接続確認を行います。情報が正しく設定されていても、サーバー側の設定によってはエラーが表示されることがあります。

[プロトコル] で [WebDAV] を選択した場合

接続確認は、HTTP の HEAD メソッドを使用して行います。

HEAD メソッドによるアクセスが禁止されている場合は、宛先の情報が正しく設定されていても、接続確認はエラーになりますが、実際に送信するときには正しく接続できます。

※HEAD メソッドによるアクセスが禁止されている場合の例

- IIS 7：対象フォルダーの WebDAV オーサリング規則のアクセス許可のソースにチェックマークが付いていない場合、HEAD によるアクセスができません。
- Apache：httpd.conf で、Limit ディレクティブを使用し、HEAD を記載しない場合、HEAD によるアクセスができません。

メモ

宛先にログインするときの認証方法を変更する

- ユーザー名とパスワードを設定せずに、本機にログインしたときの認証情報や、ユーザーごとに登録した認証情報を使用するように設定できます。▶ **【ファイル送信/参照時の認証で使用する情報】 (P. 1062)**

ファクスの宛先の設定

アドレス帳やワンタッチボタンにファクスの宛先を登録するときは、以下の項目を設定します。

ここでは、操作パネルを使用して宛先を登録する場合の画面と項目名で説明します。

パソコンからリモート UI を使用して宛先を登録する場合も設定できる内容は同じですが、画面構成や項目名が異なります。



ファクス番号の入力欄

テンキーでファクス番号を入力します。

外線番号が必要な場合は、ファクス番号の先頭に外線番号を付けて入力します。

海外の宛先を入力する場合は、国際アクセス番号、国番号、ファクス番号の順に入力します。

宛先や利用するサービスによっては、以下のボタンを使用します。

※「P」（ポーズ）と「.」（F ネット）をファクス番号の先頭に入力することはできません。

[ポーズ]

「P」という文字を入力します。

海外の宛先の場合に、うまくつながらないときは、番号と番号の間に「P」を入力して、待ち時間（ポーズ）を入れます。ポーズの時間は変更できます。▶ **[ポーズ時間セット]** (P. 1097)

[トーン]

「T」という文字を入力します。

ダイヤル回線使用時でも、「T」のあとに続く番号はブッシュ信号になります。ファクス情報サービスを利用するときなどに入力します。

[F ネット]

「.」という文字を入力します。

F ネット（NTT コミュニケーションズが提供するファクシミリ通信網サービス）を利用する場合に、サービスコード（# 付きの番号）の前に「.」を入力します。

※F ネットがつながりにくい場合は、「162」のあとに「P」（ポーズ）を入力します。

※同報通信を利用する場合は、サービスコード「#213」を入力します。

[詳細設定]

必要に応じて、ファクス送信の詳細を設定します。

[F コード] / [パスワード]

F コードを使用して親展通信する場合に設定します。

※本機は ITU-T（国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門）の国際標準規格に準拠した F コード通信に対応しています。宛先の機器が F コード通信（親展通信）に対応している場合は、F コードとパスワードを設定して送信することで、送信文書の機密性を高めることができます。

[送信スピード]

相手先や回線の状態によっては、通信速度が原因で送信エラーになることがあります。送信エラーがひんぱんに発生する場合は、この項目で通信速度を遅く設定します。

[国際送信]

宛先が海外の場合に、送信エラーが発生するときは、[国際送信 (1)] を選択します。それでもエラーが改善されない場合は、[国際送信 (2)]、[国際送信 (3)] の順に試します。

[回線選択]

回線が複数ある場合は、送信に使用する回線を選択します。

[ECM 送信]

ECM（Error Correction Mode）とは、画像の送信中にエラーが発生した場合に、乱れた画像をそのまま送信しないよう、チェックと修正を行う機能です。ECM 機能を使用して送信するかどうかを設定します。

- ECM 送信する場合は、送信側と受信側でエラーのチェックを行いながら通信するため、宛先の機器側でも ECM 機能を有効にする必要があります。
- ECM 送信は、エラーのチェックと修正を行いながら通信するため、通常よりも通信時間がかかることがあります。また、ECM 送信を有効にしても、回線の状態によってはエラーが発生することがあります。

宛先の指定

EJ83-053

スキャンデータやファクスを送信／保存するときは、以下の方法で宛先を指定します。

アドレス帳を使用する

本機のアドレス帳に登録されている宛先を指定します。

④宛先を指定する - アドレス帳 (P. 315)

宛先を直接入力する

操作パネルのキーボードまたはテンキーを使用して、宛先を入力します。

④宛先を指定する - 直接入力 (P. 318)

いろいろな指定方法

アドレス帳や直接入力以外にも、いろいろな方法で宛先を指定できます。

LDAP サーバーを使用する

LDAP サーバーで管理されているユーザー情報から、宛先を検索して指定します。

④宛先を指定する - LDAP サーバー (P. 320)

モバイル機器のアドレス帳を使用する

スキャンデータをメールで送信する場合に、モバイル機器のアドレス帳に登録されている宛先を指定します。

④宛先を指定する - モバイル機器のアドレス帳 (P. 322)

送信履歴を使用する

スキャンやファクスの送信履歴から、過去に指定した宛先を呼び出して指定します。

④宛先を指定する - 送信履歴 (P. 323)

複数の宛先を指定する

宛先を指定する操作を繰り返すことで、複数の宛先を指定できます。

複数の宛先を指定したあとに、特定の宛先のみ解除する場合

- スキャンの画面の場合は、解除する宛先やグループを選択し、[宛先削除] を押します。
- ファクスの画面の場合は、[▲] / [▼] で解除する宛先やグループを表示し、[宛先削除] を押します。
- グループに登録されている宛先は、個別に解除できません。

※画面上に、指定した宛先の総数が表示されます。送信前に宛先数に誤りがないか確認できます。

例：スキャンの画面の場合



宛先を確認する

〔詳細情報〕を押すと、宛先の詳細情報を確認できます。

- スキャンの画面の場合は、確認する宛先やグループを選択し、〔詳細情報〕を押します。
- ファクスの画面の場合は、[] / [] で確認する宛先やグループを表示し、〔詳細情報〕を押します。

※直接入力した宛先や LDAP サーバーから指定した宛先の場合は、詳細情報の画面で宛先の情報を変更することもできます。

メモ

- 本機の設定によって、指定した宛先が正しいかどうか確認する画面が表示されることがあります。また、宛先の指定方法が制限されていたり、特定の宛先のみ送信が限定されていたりすることもあります。▶ **誤送信／漏えい／改ざんの防止 (P. 807)**

宛先を指定する - アドレス帳

EJ83-054

アドレス帳を利用して宛先を指定する場合は、操作パネルのスキャン（スキャンして送信）／ファクスの画面からアドレス帳を呼び出して指定します。

ワンタッチボタンに登録した宛先を指定する場合は、登録したボタンを押すだけで指定できます。

① アドレス帳から指定する (P. 315)

② ワンタッチボタンで指定する (P. 316)

重要

- アドレス帳の表示が制限されている場合は、アドレス帳とワンタッチボタンを利用して宛先を指定することはできません。➡ [アドレス帳を非表示にする \(P. 838\)](#)

メモ

アドレス帳やワンタッチボタンの画面を自動的に表示する

- [ホーム] 画面で [スキャンして送信] ／ [ファクス] を押したときに、最初にアドレス帳やワンタッチボタンの画面が表示されるように設定できます。
 - スキャンして送信 ➡ [【デフォルト画面の変更】 \(P. 1074\)](#)
 - ファクス ➡ [【デフォルト画面の変更】 \(P. 1094\)](#)

アドレス帳から指定する

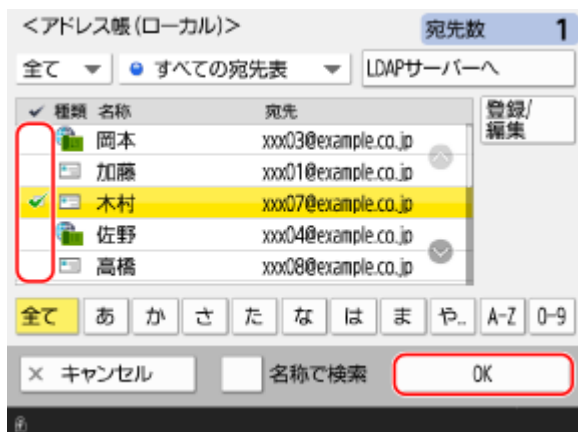
個人宛先表／ユーザーグループ宛先表に登録されている宛先を指定する場合は、本機にログインしてから操作します。➡ [宛先表の種類 \(P. 273\)](#) ／ ➡ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

1 スキャン／ファクスの画面で、[アドレス帳] を押す

➡ アドレス帳が呼び出されます。

スキャンの画面の場合に、[アドレス帳] が表示されていないときは、[宛先の指定] を押します。

2 指定する宛先にチェックマークを付け、[OK] を押す



➡ 宛先が指定されます。

- 画面下部の「名称で検索」を選択したり、プルダウンメニューから宛先種別や宛先表を選択したりすると、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。➡ **アドレス帳の画面 (P. 271)**
- アクセス番号が設定されている宛先を表示する場合は、「アクセス番号」を押し、アクセス番号を入力します。
- リモートアドレス帳を使用する場合は、「リモートへ」または「アドレス帳の切り替え」▶「リモート」を押します。➡ **使用できるアドレス帳 (P. 274)**
- ファクスの画面で、ファクス以外の宛先が含まれるグループを選択すると、ファクスを送信できません。

メモ

指定できる宛先の種類

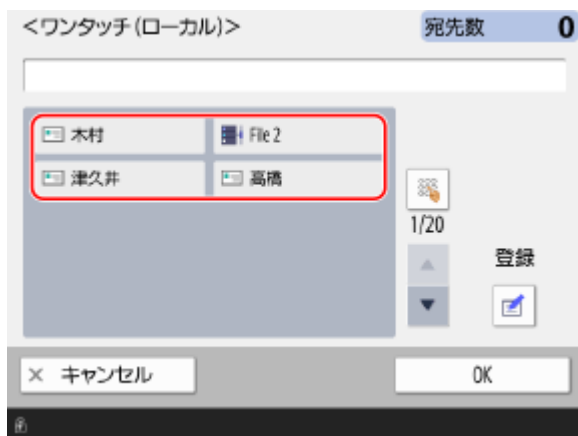
- スキャンの画面では、ファクス以外の宛先を指定できます。
本機の設定によっては、スキャンの画面でファクスの宛先を指定することもできます。➡ **「ファクスファンクションの表示」 (P. 967)**
- ファクスの画面では、ファクスとグループの宛先のみ指定できます。

ワンタッチボタンで指定する

1 ワンタッチボタンを表示する

- スキャンの画面の場合は、「ワンタッチ」を押します。
※「ワンタッチ」が表示されていない場合は、「宛先の指定」を押します。
- ファクスの画面の場合は、最初の画面にワンタッチボタンが表示されるため、この手順は不要です。手順 **2** に進みます。

2 指定する宛先のボタンを選択する



→ 宛先が指定されます。

- スキャンの画面の場合は、指定する宛先のボタンを選択し、「OK」を押します。
- ワンタッチボタンには3桁の番号（001～200）が割り振られています。[👉] を押し、3桁の番号を入力してボタンを選択することもできます。
- リモートアドレス帳のワンタッチボタンを表示する場合は、「リモートへ」を押します。➡ **使用できるアドレス帳 (P. 274)**
※リモートアドレス帳のワンタッチボタンが表示されている場合に、ワンタッチボタンの宛先の情報を更新したいときは、[🔧 リセット] を押します。

メモ

ワンタッチボタンが表示される宛先の種類

- スキャンの画面では、ファクスの宛先以外のワンタッチボタンが表示されます。
本機の設定によっては、スキャンの画面にファクスの宛先のワンタッチボタンも表示されます。▶ **【ファクスファンクションの表示】 (P. 967)**
- ファクスの画面では、ファクスとグループの宛先のワンタッチボタンのみ表示されます。

宛先を指定する - 直接入力

EJ83-055

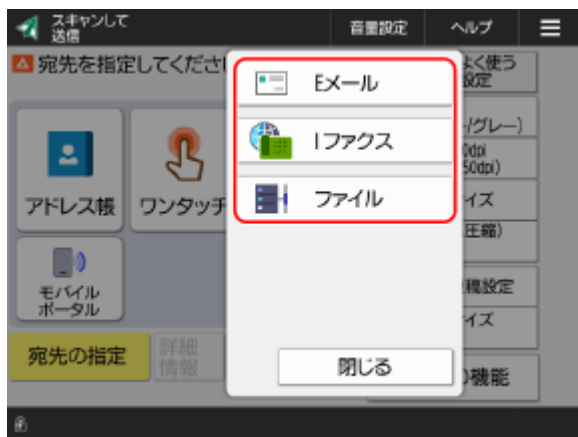
アドレス帳や LDAP サーバーに登録されていない宛先を指定する場合は、操作パネルのスキャン（スキャンして送信）／ファックスの画面で宛先を直接入力します。

- ④ スキャンの場合 (P. 318)
- ④ ファックスの場合 (P. 319)

スキャンの場合

- 1 スキャンの画面で、[新規に入力] を押す
[新規に入力] が表示されていない場合は、[宛先の指定] を押します。

- 2 宛先の種類を選択する



- ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックス）の宛先を指定する場合は、[ファイル] を選択します。
- 本機の設定によっては、スキャンの画面でファックスの宛先を指定することもできます。④ [ファクスファンクションの表示] (P. 967)

- 3 宛先の種類に応じて、宛先の情報を設定する

- ④ メール宛先の設定 (P. 305)
- ④ Iファックス宛先の設定 (P. 306)
- ④ 共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックス宛先の設定 (P. 308)

[アドレス帳に登録] を押すと、設定した宛先の情報をアドレス帳に登録できます。④ アドレス帳に宛先を登録する (P. 276)

- 4 [OK] を押す

→ 宛先が指定されます。

[次宛先] を押すと、続けて同じ種類の別の宛先を追加指定できます。

ファクスの場合

ファクスの画面で、ファクス番号を入力し、[OK] を押します。

- ファクス番号は、テンキーで入力します。
- 外線番号が必要な場合は、ファクス番号の先頭に外線番号を付けて入力します。
- 海外にファクスを送信する場合は、国際アクセス番号、国番号、ファクス番号の順に入力します。
- 送信先や利用するサービスによっては、[ポーズ] / [トーン] / [F ネット] を使用してファクス番号を入力したり、[F コード] または [詳細設定] を押してファクス送信の詳細を設定したりします。▶ [ファクスの宛先の設定 \(P. 310\)](#)
- [アドレス帳に登録] を押すと、設定した宛先の情報をアドレス帳に登録できます。▶ [アドレス帳に宛先を登録する \(P. 276\)](#)

[ファクス：確認入力] 画面が表示された場合
ファクス番号を再度入力し、[OK] を押します。

宛先を指定する - LDAP サーバー

LDAP サーバーでユーザー情報が管理されている場合は、操作パネルのスキャン（スキャンして送信）／ファクスの画面からその情報を検索して、宛先に指定できます。

必要な準備

- LDAP サーバーの情報を本機に登録します。▶ [LDAP サーバーを登録する \(P. 125\)](#)

1 スキャン／ファクスの画面で、[アドレス帳] を押す

→ アドレス帳が呼び出されます。

スキャンの画面の場合に、[アドレス帳] が表示されていないときは、[宛先の指定] を押します。

2 [LDAP サーバーへ] または [アドレス帳の切り替え] ▶ [LDAP サーバー] を押す

→ 初期設定では、登録されている条件に従って、自動的に検索が開始されます。

- ▶ [\[LDAP サーバー使用時の自動検索\] \(P. 1135\)](#)
- ▶ [\[LDAP 検索条件のデフォルトの変更\] \(P. 1135\)](#)

認証画面が表示された場合は、LDAP サーバーに登録されている本機のユーザー名とパスワードを入力し、[OK] を押します。

3 必要に応じて、条件または名称でユーザーを検索する

- 一覧に現在表示されているユーザーの中から宛先を指定する場合は、この手順は不要です。手順 [4](#) に進みます。
- LDAP サーバーを複数登録している場合は、検索する LDAP サーバーをプルダウンメニューから選択し、ユーザーを検索します。

条件で検索する場合

[条件で検索] を押し、検索条件を指定して、[検索開始] を押します。

検索条件の指定例：メールアドレスに「example」が含まれるユーザーを検索する場合

検索条件のプルダウンメニューから、[E メール] と [が次を含む] を選択します。[設定] を押し、「example」と入力して、[OK] を押します。

- [検索条件を追加] を押して、複数の検索条件（最大 4 つまで）を指定できます。
指定したいずれかの条件に該当するユーザーを検索する場合は、[または] を選択します。
指定したすべての条件に該当するユーザーを検索する場合は、[かつ] を選択します。
- 検索対象の属性を追加することもできます。▶ [\[LDAP 検索属性の登録/編集\] \(P. 1136\)](#)

名称で検索する場合

[名称で検索] を押し、検索する名称を入力して、[OK] を押します。

初期設定では、属性「cn」を対象に、前方一致で検索されます。▶ [\[LDAP 検索時の「名称で検索」の設定\] \(P. 1136\)](#)

ユーザーを検索できない場合

LDAP サーバーへの認証情報（ユーザー名とパスワード）が正しいにもかかわらず検索できない場合は、LDAP サーバーと本機に設定されている時刻を確認します。LDAP サーバーと本機の時刻設定が 5 分以上ずれていると検索できません。

4 宛先に指定するユーザーにチェックマークを付ける



メールアドレスの宛先を I ファクスの宛先として指定する場合は、[E メールを I ファクスとして選択] を押して、選択した状態にします。

5 [OK] を押す

→ 宛先が指定されます。

宛先を指定する - モバイル機器のアドレス帳

EJ83-057

スキャンデータをメールで送信する場合は、モバイル機器のアドレス帳に登録されている宛先を、操作パネルのスキャン（スキャンして送信）の画面から指定できます。

必要な準備

- モバイル機器にキャノンの専用アプリ「Canon PRINT」をインストールします。▶ [専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT \(P. 666\)](#)

- 1 スキャンの画面で、[モバイルポータル] を押す
[モバイルポータル] が表示されていない場合は、[宛先の指定] を押します。
- 2 モバイル機器に接続する ▶ [モバイル機器を本機に接続する \(P. 661\)](#)
- 3 モバイル機器から本機に宛先の情報を送信する
 - 送信方法については、Canon PRINT のメニューからヘルプを参照してください。
 - モバイル機器側で入力した件名／本文／ファイル名も本機に送信できます。
- 4 本機の画面に [モバイル端末から設定が変更されました。] と表示されたら、[OK] を押す
→ 宛先が指定されます。

宛先を指定する - 送信履歴

EJ83-058

過去に送信した宛先を、操作パネルの〔状況確認〕画面から送信履歴を呼び出して指定できます。

※ログインユーザーの送信履歴を他人が操作できないように制限されている場合に、ログインユーザーの送信履歴を呼び出して指定するときは、本機にログインしてから操作します。

- ④ [認証ユーザー以外のジョブの操作制限] (P. 1156)
- ④ ログイン方法 (P. 191)

重要

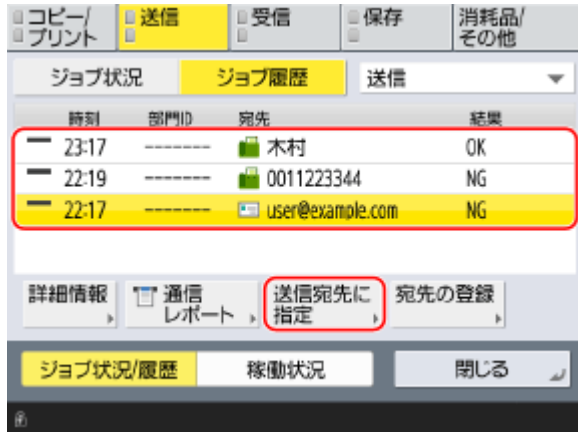
- 履歴からの宛先指定が禁止されている場合は、送信履歴は使用できません。④ 送信履歴からの宛先指定を禁止する (P. 808)

1 スキャン／ファクスの画面などで、[ 状況確認] を押す

→ [状況確認] 画面が表示されます。

2 [送信] ▶ [ジョブ履歴] を押す

3 呼び出したい履歴を選択し、[送信宛先に指定] を押す



→ 選択した履歴の宛先が呼び出されます。

- スキャンの履歴の場合は、宛先の設定画面が表示されます。
- ファクスの履歴の場合は、ファクスの画面が表示されます。

4 宛先の情報を確認し、[OK] を押す

<Eメール>
Eメールアドレスを入力します。 宛先数 0

Eメール アドレス user@example.com

データ分割 ON OFF

次宛先

× キャンセル OK

<ファクス>
ファクス番号を入力します。 宛先数

テンキーで入力してください。(最大120桁)

= 1230000000

ポーズ トーン バックスペース

Fネット Fコード ダイレクト送信

オンフック

× キャンセル OK

→ 宛先が指定されます。

- 呼び出した宛先の情報を変更することもできます。
- スキャンの履歴の場合は、[次宛先] を押すと、続けて同じ種類の別の宛先を、直接入力で追加指定できます。

USB メモリーを差し込む／取り外す

EJ83-059

USB メモリーと本機でデータをやりとりする場合は、本機に USB メモリーを差し込みます。

USB メモリーを取り外すときは、操作パネルを使用して安全な状態にして取り外します。

ファイルシステム（対応フォーマット）が FAT32（32 GB まで）／exFAT（2 TB まで）の USB メモリーを使用できます。

④ USB メモリーを差し込む (P. 325)

④ USB メモリーを取り外す (P. 326)

重要

USB メモリーへのデータの保存

- USB メモリーによっては、データを正しく保存できない場合があります。

サポートしていない機器／使用方法

- セキュリティー機能付きの USB メモリー
- USB 規格に準拠していない USB メモリー
- USB 接続のメモリーカードリーダー
- 延長ケーブルに接続した USB メモリーの使用
- USB ハブ経由での USB メモリーの使用

USB メモリーの取り扱い

- データの読み込み／書き込み中は、USB メモリーを取り外したり、衝撃や振動を与えたりしないようにします。また、本機の電源を切らないようにします。

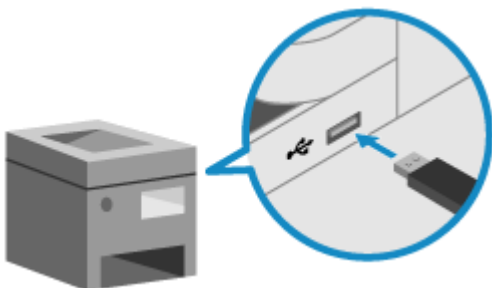
USB メモリーを差し込む

重要

USB メモリーを差し込む前に確認する

- 本機の USB ポートに対して USB メモリーが正しい向きになっていることを確認します。間違った向きで差し込もうとすると、USB メモリーと本機が故障する原因になります。

USB メモリーの向きを確認し、本機前面の USB ポートに差し込みます。④前面 (P. 33)



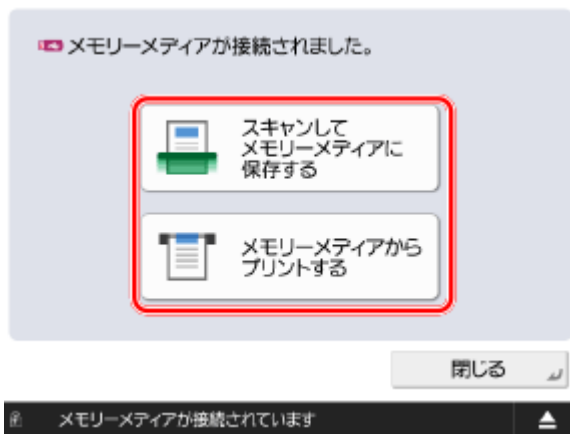
※USB メモリーを利用するには、本機の設定が必要です。④USB メモリーを利用するための準備 (P. 626)

メモ

USB メモリー接続時に操作（スキャン／プリント）を選択する

- 初期設定では、本機に USB メモリーを差し込むと、使用できる機能のショートカット画面が表示されます。④【メモリーメディア接続時の操作画面表示】 (P. 1126)

この画面で操作を選択して、すばやくスキャン／プリントを実行できます。



- スリープモードの状態によっては、上記の画面が表示されないことがあります。
USB メモリー接続時に操作を選択したい場合は、ディスプレイをタップし、スリープモードを解除してから、USB メモリーを差し込みます。

USB メモリーを取り外す

USB メモリーは、操作パネルを使用して取り外します。パソコンからリモート UI を使用して取り外すことはできません。

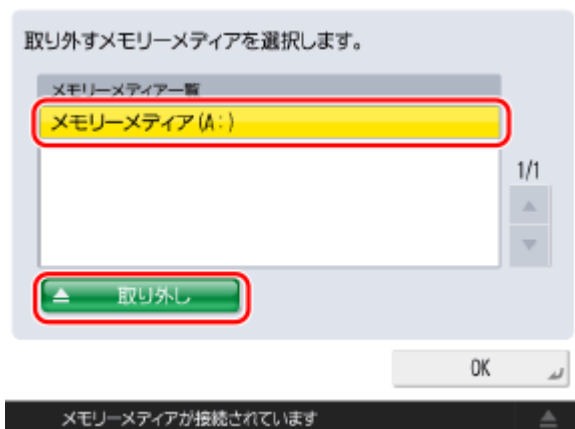
重要

USB メモリーは手順に従って取り外す

- 手順に従って USB メモリーを取り外さないと、USB メモリーと本機が故障する原因になります。

1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、画面右下の [▲] を押す ➡ [ホーム] 画面 (P. 156)

2 取り外す USB メモリーを選択し、[取り外し] を押す



3 [安全に取り外すことができます。] と表示されたことを確認し、USB メモリーを取り外す

4 [OK] ➡ [OK] を押す

音量の調整

EJ83-05A

本機から鳴る音の音量の調整は、操作パネルの [ホーム] 画面の [音量設定]、またはリモート UI のポータル画面の [設定/登録] ▶ [音量設定] から行います。

音が鳴らないように設定することもできます。

ファクス機能がある機種とない機種で、調整できる音と操作手順が異なります。

- ④ 音量を調整する（ファクス機能がある場合）（P. 328）
- ④ 音量を調整する（ファクス機能がない場合）（P. 330）

音量を調整する（ファクス機能がある場合）

本機から鳴る音の音量を調整します。音が鳴らないように設定することもできます。

※音量や音の設定は、標準回線（回線 1）にのみ反映されます。増設した回線には反映されません。

- ① ファクス送受信時の音量を調整する (P. 328)
- ② ファクス着信時の呼び出し音を設定する (P. 328)
- ③ 本機の操作や状態の通知音量を調整する (P. 329)

ファクス送受信時の音量を調整する

ファクスの通信音や、送受信結果を知らせる音の音量を調整します。

ここでは、操作パネルを使用して調整する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して調整することもできます。④ パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)

1 操作パネルの [ホーム] 画面で、[音量設定] を押す ④ [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [ファクス音量設定] 画面が表示されます。

2 音量を調整する

[アラーム音量]

[] / [] を押して、以下の音量を調整します。

- ファクスの送受信および受信したファクスのプリントが、正常に終了したことを知らせる音（ポー）
- ファクスの送受信および受信したファクスのプリントが、中止やエラーで終了したことを知らせる音（ピーポーピーポー）

※スライダーを右側に移動するほど、音量が大きくなります。スライダーを左端に合わせると、音が鳴らなくなります。

[通信音量]

[] / [] を押して、ファクス送信中の音（ピーヒャラ）の音量を調整します。

※スライダーを右側に移動するほど、音量が大きくなります。スライダーを左端に合わせると、音が鳴らなくなります。

3 [OK] を押す

→ 音量の調整が反映されます。

ファクス着信時の呼び出し音を設定する

オプションのハンドセットまたは電話機を装着している場合に、ファクス着信時の呼び出し音を設定します。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

1 操作パネルの [ホーム] 画面で、[音量設定] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [ファクス音量設定] 画面が表示されます。

2 [ファクス着信呼出] を押す

→ [ファクス着信呼出] 画面が表示されます。

3 呼び出し音を鳴らすかどうかを設定する

- 呼び出し音を鳴らす場合は、[ON] を選択し、[呼出回数] で呼び出し音を鳴らす回数を設定します。
- 呼び出し音を鳴らさない場合は、[OFF] を選択します。

※スリープモード時の消費電力を少なくする設定にしている場合は、呼び出し音を [OFF] に設定しても、スリープモード中にファクス着信すると呼び出し音が鳴ります。▶ [\[スリープ時の消費電力\] \(P. 979\)](#)

4 [OK] ▶ [OK] を押す

→ 呼び出し音の設定が反映されます。

本機の操作や状態の通知音量を調整する

操作パネル使用時やエラー検知時など、本機の操作や状態を知らせる音の音量を調整します。

ここでは、操作パネルを使用して調整する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して調整することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

1 操作パネルの [ホーム] 画面で、[音量設定] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [ファクス音量設定] 画面が表示されます。

2 [その他の音量設定] を押す

→ [その他の音量設定] 画面が表示されます。

3 音量を調整する ▶ [\[音量設定\]](#) / [\[その他の音量設定\]](#) 画面 (P. 331)

4 [閉じる] ▶ [OK] を押す

→ 音量の調整が反映されます。

音量を調整する（ファクス機能がない場合）

EJ83-11X

操作パネル使用時やエラー検知時など、本機の操作や状態を知らせる音の音量を調整します。

ここでは、操作パネルを使用して調整する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して調整することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

1 操作パネルの [ホーム] 画面で、[音量設定] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [その他の音量設定] 画面が表示されます。

2 音量を調整する ▶ [\[音量設定\]](#) / [\[その他の音量設定\] 画面 \(P. 331\)](#)

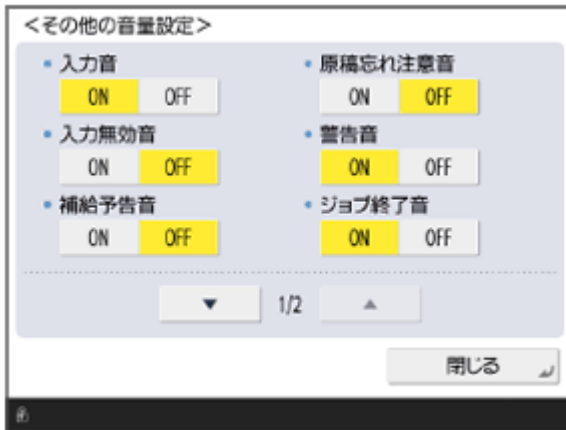
3 [閉じる] を押す

→ 音量の調整が反映されます。

[音量設定] ／ [その他の音量設定] 画面

EJ83-05E

操作パネルの [ホーム] 画面で、[音量設定] または [音量設定] ▶ [その他の音量設定] を押すと表示される画面です。
操作パネル使用時やエラー検知時など、本機の操作や状態を知らせる音を鳴らすかどうかを設定します。



[入力音]

操作パネルのキーやボタンが押されたときに、音を鳴らすかどうかを設定します。

[入力無効音]

設定範囲外の数値が入力された場合など、無効なキー操作が行われたときに、音を鳴らすかどうかを設定します。

[補給予告音]

トナーの残量が少なくなったときに、音を鳴らすかどうかを設定します。

[原稿忘れ注意音]

原稿台ガラスに原稿が残っているときに、音を鳴らすかどうかを設定します。

[警告音]

紙づまりや誤操作など、本機にトラブルが起きたときに、音を鳴らすかどうかを設定します。

[ジョブ終了音]

スキャンやコピーなど、本機で行われる処理が終了したときに、音を鳴らすかどうかを設定します。

[スリープ移行音]

以下の音を鳴らすかどうかを設定します。

- スリープモードになったときに鳴らす音
- 高速起動が有効な場合に、主電源を切ったときに鳴らす音

※高速起動が有効な場合でも、次の起動が高速起動にならない状態で主電源を切ったときは、音は鳴りません。

[ログイン音]

ログインしたときに、音を鳴らすかどうかを設定します。

[交換不要トナーの注意音]

交換する必要のないトナー容器を引き出したときに、音を鳴らすかどうかを設定します。

[メモリー送受信の正常終了音]

ファクスのメモリー送受信が正常に終了したときに、音を鳴らすかどうかを設定します。

[メモリー送受信のエラー終了音]

ファクスのメモリー送受信がエラーになったときに、音を鳴らすかどうかを設定します。

メモ

- USB キーボードを接続して文字を入力する場合も、[入力音] と [入力無効音] の設定に従って音が鳴ります。

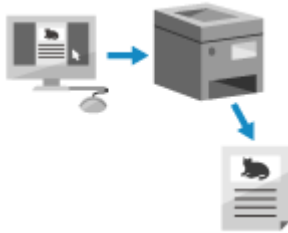
プリントする

プリントする	334
プリントの準備	336
ドライバを使用してプリントするための準備	337
プリンターポートを設定する (Windows のみ)	340
外部ネットワークからプリントするための準備 - IPP プリント	343
本機の IPP プリント機能を設定する	344
パソコンで IPP プリントを設定する	346
プリントサーバーを使用するための準備	352
Universal Print を使用するための準備	356
クラウドサービスに本機を登録する	357
パソコンに本機を登録する	360
仮想プリンターを使用するための準備	361
プリントする	363
パソコンに定形外サイズ of 用紙を登録する - ユーザー設定用紙	366
指定した時刻にプリントする - 予約プリント	368
プリントのセキュリティを高める	371
暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント	372
いろいろなプリント方法	376
Web ブラウザーを使用してプリントする - ダイレクトプリント	378
Universal Print を使用してプリントする	380
仮想プリンターを使用してプリントする	381
登録している文書を印刷する - 定型文書プリント	382
強制的に留め置かれた文書をプリントする	384
留め置かれた文書をログイン時に自動プリントする	385
プリントの画面	386
プリントを中止する	389
プリント状況や履歴を確認する	392

プリントする

パソコンから文書や写真をプリントします。本機には、基本的なプリント方法のほか、さまざまなプリント方法が用意されています。目的や環境に応じた方法でプリントできます。

ドライバーを使用してプリントする



パソコンにインストールされたプリンタードライバーを介して、文書や写真を本機でプリントします。

- **ドライバーを使用してプリントするための準備 (P. 337)**
- **プリントする (P. 363)**

※外部のネットワークからインターネットを経由してプリントしたり、プリントサーバーを使用してプリント時の各パソコンの負荷を軽減したりすることもできます。

- **外部ネットワークからプリントするための準備 - IPP プリント (P. 343)**
- **プリントサーバーを使用するための準備 (P. 352)**

セキュリティを高めてプリントする



プリントされた用紙の放置や持ち去りを防止するため、暗証番号を設定してから本機にプリントデータを送信できます。

- **暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント (P. 372)**

※プリントされた用紙の放置や持ち去りなどを防止するため、パソコンからのプリントデータをすぐにプリントしないように本機が設定されている場合があります。その場合は、本機を操作してプリントを実行する必要があります。➤ **強制的に留め置かれた文書をプリントする (P. 384)**

OS の標準機能やクラウドサービスでプリントする

パソコンにプリンタードライバーをインストールすることなく、文書や写真を本機でプリントできます。

- Windows
 - **Universal Print を使用するための準備 (P. 356)**
 - **Universal Print を使用してプリントする (P. 380)**
- macOS
 - **AirPrint を使用するための準備 (P. 656)**

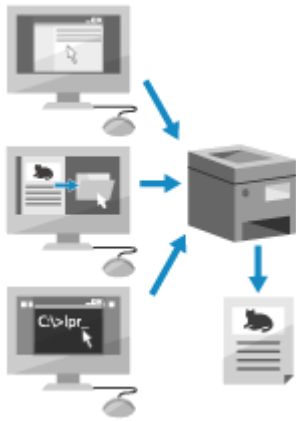
➤AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する (P. 668)

- Chrome OS

➤Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備 (P. 659)

➤Chrome OS からプリント／スキャンする (P. 676)

効率的にプリントする



パソコンで文書を開いたり、プリント設定をしたりすることなく、すばやく本機でプリントできます。

➤いろいろなプリント方法 (P. 376)

関連項目

USB メモリー内のファイルを直接プリントする

本機に差し込んだ USB メモリー内のファイルを、操作パネルから本機で直接プリントできます。

➤USB メモリーのファイルをプリントする (P. 639)

モバイル機器からプリントする

本機は、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からも使用できます。本機が対応しているアプリやサービスを介して、モバイル機器から写真や文書を手軽にプリントできます。

➤モバイル連携 (P. 650)

期待どおりの結果にならない場合

プリントしたときにグラデーションが再現されない場合などは、症状に応じて画質を調整します。

➤画質の調整 (P. 1357)

プリントの準備

EJ83-05H

プリントするときは、プリント方法や使用環境に応じた準備が必要です。

- ① ドライバーを使用してプリントするための準備 (P. 337)
- ② 外部ネットワークからプリントするための準備 - IPP プリント (P. 343)
- ③ プリントサーバーを使用するための準備 (P. 352)
- ④ Universal Print を使用するための準備 (P. 356)
- ⑤ 仮想プリンターを使用するための準備 (P. 361)

ドライバーを使用してプリントするための準備

EJ83-05J

プリントするパソコンごとに、以下の準備をします。

- ④ Step 1 : パソコンにドライバーをインストールする (P. 337)
- ④ Step 2 : ドライバーでユーザー管理情報を設定する (P. 337)
- ④ Step 3 : ドライバーで本機のオプション情報を設定する (P. 337)
- ④ Step 4 : ドライバーでセキュリティープリント機能を有効にする (P. 339)

Step 1 : パソコンにドライバーをインストールする

プリントするパソコンに、プリンタードライバーをインストールします。④ **パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール (P. 140)**

Windows でプリントサーバーを利用する場合

プリントサーバーを介してインストールします。

プリントサーバー内の共有プリンターをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールします。④ **プリントサーバー内の共有プリンターを表示する (P. 1561)**

メモ

ポートの種類を変更する (Windows のみ)

- 本機側で、LPD または RAW が使用できないように設定されている場合は、パソコン側の設定も同様に変更する必要があります。④ **ポートの種類を変更する (P. 341)**

プリンタードライバーのインストール後に本機の IP アドレスが変更された場合

- Windows の場合は、新しいポートを追加する必要があります。④ **ポートを追加する (P. 340)**
- macOS の場合は、パソコンに本機を登録しなおす必要があります。本機を登録する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

※DHCP を使用して本機の IP アドレスを自動取得している場合は、IP アドレスが自動的に変更されることがあります。

Step 2 : ドライバーでユーザー管理情報を設定する

以下の場合は、プリンタードライバーでユーザー管理情報を設定します。④ **パソコンにユーザー管理情報を設定する (P. 741)**

- パソコンからのプリントにユーザー認証が適用されている場合
- 本機が部門別 ID 管理中の場合

※上記のどちらにも該当しない場合は、この Step は不要です。Step 3 に進みます。④ **Step 3 : ドライバーで本機のオプション情報を設定する (P. 337)**

※該当するかどうか分からない場合は、管理者にお問い合わせください。

Step 3 : ドライバーで本機のオプション情報を設定する

本機にオプション機器が取り付けられている場合は、あらかじめプリンタードライバーにオプション情報を設定しておく必要があります。

Windows の場合、通常はプリンタードライバのインストール時に、自動的にオプション情報が設定されます。
インストール時にオプション情報が設定されなかった場合や、インストール後にオプション機器を取り付けた場合、macOS の場合は、以下の手順でオプション情報を設定します。

🔗 Windows の場合 (P. 338)

🔗 macOS の場合 (P. 338)

Windows の場合

各パソコンの管理者権限が必要です。

- 1 パソコンに管理者のアカウントでログオンする
- 2 [] (スタート) ▶ [] (設定) ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする
→ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。
- 3 本機のプリンタードライバ ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする
→ プリンタードライバのプロパティ画面が表示されます。
- 4 [デバイスの設定] タブで、[デバイス情報] の [] をクリックする
→ [確認] 画面が表示されます。
- 5 [はい] をクリックする
→ オプション情報が取得されます。
- 6 [OK] ▶ [OK] をクリックする
→ 設定が反映されます。
続いて、Step 4 に進みます。 🔗 **Step 4：ドライバーでセキュリティープリント機能を有効にする (P. 339)**

メモ

[デバイス情報を取得できませんでした。] と表示された場合

- オプション情報を手動で設定します。手動で設定する方法については、[デバイスの設定] タブの [ヘルプ] をクリックしてヘルプを参照してください。

macOS の場合

- 1 [] ▶ [システム設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする
→ [プリンタとスキャナ] 画面が表示されます。

- 2 本機を選択し、[オプションとサプライ] をクリックする

3 [ユーティリティ] タブで、[プリンタユーティリティを開く] をクリックする

→ [Office Printer Utility] 画面が表示されます。

4 [プリンタ情報] をクリックする

→ オプション情報が取得され、[プリンタ情報] 画面が表示されます。

5 [OK] ▶ [設定の保存] をクリックする

→ 設定が反映されます。

続いて、Step 4 に進みます。🔗**Step 4：ドライバーでセキュリティープリント機能を有効にする (P. 339)**

メモ

オプション情報を取得できない場合

- オプション情報を手動で設定します。手動で設定する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

Step 4：ドライバーでセキュリティープリント機能を有効にする

以下の場合は、プリンタードライバーでセキュリティープリント機能を有効にします。

- macOS でセキュアプリント機能を使用する場合

macOS の場合

1 [🍏] ▶ [システム設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする

→ [プリンタとスキャナ] 画面が表示されます。

2 本機を選択し、[オプションとサプライ] をクリックする

3 [オプション] タブで、[デバイスのセキュリティー印刷機能] にチェックマークを付ける

4 [OK] ▶ [完了] をクリックする

→ 設定が反映されます。

プリンターポートを設定する（Windows のみ）

EJ83-05K

本機の IP アドレスが変更されたり、Windows でプリンターを追加したりすると、パソコンからプリントできないことがあります。そのような場合は、プリンタードライバで新しいポートを追加します。

また、プリンタードライバのポートの種類が本機の設定と異なっている場合も、パソコンからプリントできません。その場合は、プリンタードライバの設定を、本機の設定に合わせて変更します。

🔗 [ポートを追加する \(P. 340\)](#)

🔗 [ポートの種類を変更する \(P. 341\)](#)

ポートを追加する

本機は Windows に標準搭載されている「標準 TCP/IP ポート」に対応しています。本機の IP アドレスが変更された場合は、その都度新しいポートを追加する必要があります。

各パソコンの管理者権限が必要です。

必要な準備

- 本機の IP アドレスまたは DNS 名（ホスト名）を手元に用意します。🔗 [ネットワークの接続状況や設定を確認する \(P. 137\)](#)

1 パソコンに管理者のアカウントでログオンする

2 []（スタート）▶ []（設定）▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

→ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

3 本機のプリンタードライバ ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

→ プリンタードライバのプロパティ画面が表示されます。

4 [ポート] タブで、[ポートの追加] をクリックする

→ [プリンターポート] 画面が表示されます。

5 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] をクリックする

→ [標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザード] 画面が表示されます。

6 [次へ] をクリックする

7 本機の IP アドレスまたは DNS 名（ホスト名）を入力し、[次へ] をクリックする

ポート名は自動的に入力されるため、必要に応じて変更します。

[追加のポート情報が必要です] が表示された場合
画面の指示に従って対処します。[デバイスの種類] を設定する場合は、[標準] の [Canon Network Printing Device with P9100] を選択します。

8 [完了] をクリックする

→新しいポートが追加されて、[プリンターポート] 画面に戻ります。

9 [閉じる] ▶ [閉じる] をクリックする

ポートの種類を変更する

本機側で、LPD または RAW が使用できないように設定されている場合は、パソコン側のポートの種類を、本機で使用するプロトコルに変更する必要があります。

※WSD ポートの場合は、パソコン側でポートの種類を変更する必要はありません。

各パソコンの管理者権限が必要です。

1 パソコンに管理者のアカウントでログオンする

2 [] (スタート) ▶ [] (設定) ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

→[プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

3 本機のプリンタードライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

→プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

4 [ポート] タブで、[ポートの構成] をクリックする

→ [標準 TCP/IP ポートモニターの構成] 画面が表示されます。

5 [プロトコル] で、[Raw] または [LPR] を選択する

[LPR] を選択した場合は、[キュー名] に「lp」と入力します。

6 [OK] ▶ [閉じる] をクリックする

→ 設定が反映されます。

外部ネットワークからプリントするための準備 - IPP プリント

EJ83-05L

IPP ポートを設定したドライバーを使用すると、外部のネットワークからインターネットを経由して、本機でプリントすることができます。

IPP プリントする場合は、IPP を使用できるように本機を設定し、IPP ポートを設定したドライバーのインストールなどを各パソコンで行います。

- ④ 本機の IPP プリント機能を設定する (P. 344)
- ④ パソコンで IPP プリントを設定する (P. 346)

本機の IPP プリント機能を設定する

EJ83-05R

IPP プリントができるように、本機の IPP プリント機能を設定します。
初期設定では、IPP プリントができないようになっています。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。  **[IPP 印刷の設定] (P. 995)**

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- IPPS プリントを使用する場合（TLS 使用時にのみプリントを許可する場合）は、TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書を指定します。  **[TLS を使用する (P. 777)]**
 - ※鍵の生成アルゴリズムが RSA の鍵を使用する場合は、鍵長が 1024 bit 以上の鍵を指定します。使用する OS によっては、鍵長が 512 bit の鍵では正常に IPPS プリントできない場合があります。
 - ※Windows 環境で IPPS プリントを使用する場合は、共通名に本機の IP アドレスが設定されている証明書を指定します。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  **[リモート UI を起動する (P. 887)]**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  **[リモート UI のポータル画面 (P. 890)]**
- 3 [ネットワーク] ▶ [IPP 印刷の設定] をクリックする
→ [IPP 印刷の設定] 画面が表示されます。
- 4 [IPP 印刷を使用する] にチェックマークを付ける
- 5 IPPS プリントや IPP 認証を使用するかどうかを設定する

IPPS プリントを使用する場合
[TLS 使用時のみ許可する] にチェックマークを付けます。

IPP 認証を使用する場合
[認証を使用する] にチェックマークを付けます。
※IPP 認証には、本機に登録されているユーザー名とパスワードが使用されます。  **[ローカルデバイスにユーザー情報を登録する (P. 687)]**
- 6 [OK] をクリックする
- 7 本機を再起動する  **[再起動する (P. 148)]**

→ 設定が反映されます。

メモ

- IPP プリント機能を有効にすると、HTTP の設定も連動して有効になります。🔗 [【HTTP を使用】 \(P. 996\)](#)

パソコンで IPP プリントを設定する

EJ83-05S

プリントするパソコンごとに、以下の準備をします。

- ① Step 1 : IPP ポートを設定したドライバーをインストールする (P. 346)
- ② Step 2 : IPPS プリント使用時の証明書をインストールする (Windows のみ) (P. 349)
- ③ Step 3 : ドライバーでユーザー管理情報や本機の情報を設定する (P. 351)

Step 1 : IPP ポートを設定したドライバーをインストールする

必要な準備

- キヤノンのソフトウェアダウンロードサイトで動作環境などを確認の上、最新版のプリンタードライバーをダウンロードします。

<https://canon.jp/download/>

※CD/DVD-ROM が付属する場合は、CD/DVD-ROM を使用してインストールすることもできます。

- ① Windows の場合 (P. 346)
- ② macOS の場合 (P. 348)

Windows の場合

各パソコンの管理者権限が必要です。

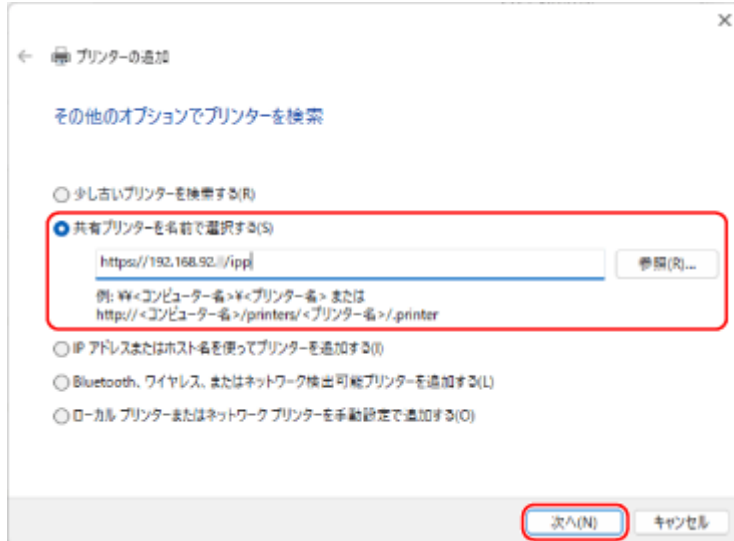
- 1 パソコンに管理者のアカウントでログオンする
- 2  (スタート) ▶  (設定) ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする
→ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。
- 3 [プリンターまたはスキャナーを追加します] の [デバイスの追加] をクリックする

4 [プリンターが一覧にない場合] の [手動で追加] をクリックする



→ [プリンターの追加] 画面が表示されます。

5 [共有プリンターを名前で選択する] を選択し、接続先を入力して、[次へ] をクリックする



→ プリンターの追加ウィザード画面が表示されます。

接続先は以下のとおり入力します。

- IPP プリントを使用する場合

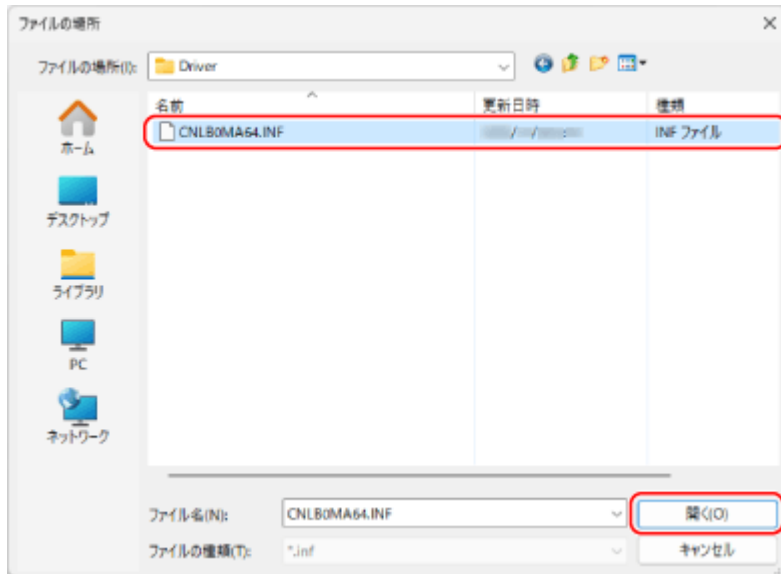
http://<本機の IP アドレス>/ipp

- IPPS プリントを使用する場合

https://<本機の IP アドレス>/ipp

6 [ディスク使用] ▶ [参照] をクリックする

7 プリンタードライバーのフォルダーを開き、[Driver] フォルダー内の INF ファイルを選択して、[開く] をクリックする



8 [OK] をクリックし、画面の指示に従ってインストールする

→ インストールが完了したら、Step 2 に進みます。🔵 **Step 2：IPPS プリント使用時の証明書をインストールする (Windows のみ) (P. 349)**
 ※IPPS プリントを使用しない場合は、Step 3 に進みます。🔵 **Step 3：ドライバーでユーザー管理情報や本機の情報を設定する (P. 351)**

macOS の場合

IPP プリントするパソコンに、プリンタードライバーをインストールし、本機を登録します。
 インストール方法と本機を登録する方法の詳細については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

本機を登録するときの [プロトコル] と [アドレス] の設定

IPP プリントを使用する場合は、パソコンに本機を登録するときの [プロトコル] と [アドレス] を、以下のとおり設定します。

- [プロトコル] は [IPP(Internet Printing Protocol)] を選択します。
- [アドレス] は以下のとおり入力します。

IPP プリントを使用する場合

`http://<本機の IP アドレス>/ipp`

IPPS プリントを使用する場合

https://<本機の IP アドレス>/ipp



インストールと本機の登録が完了したら、Step 3 に進みます。▶ **Step 3：ドライバーでユーザー管理情報や本機の情報を設定する (P. 351)**

Step 2：IPPS プリント使用時の証明書をインストールする（Windows のみ）

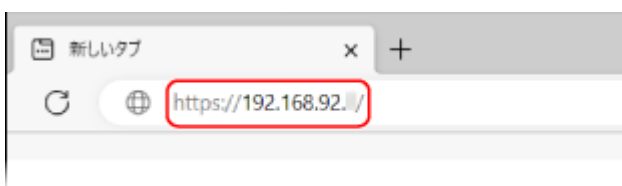
Windows で IPPS プリントを使用する場合は、使用する証明書のファイルを保存し、プリントするパソコンにインストールします。

ここでは、Microsoft Edge を使用してインストールする方法を説明します。

各パソコンの管理者権限が必要です。

- 1 パソコンに管理者のアカウントでログインする
- 2 パソコンの Web ブラウザーで、以下の URL にアクセスする

https://<本機の IP アドレス>/



- 3 URL 入力欄の [セキュリティ保護なし] ▶ [このサイトへの接続は安全ではありません] ▶ [🔒] (証明書の表示) をクリックする



→ [証明書ビューアー] 画面が表示されます。

4 [詳細] タブで、[エクスポート] をクリックする

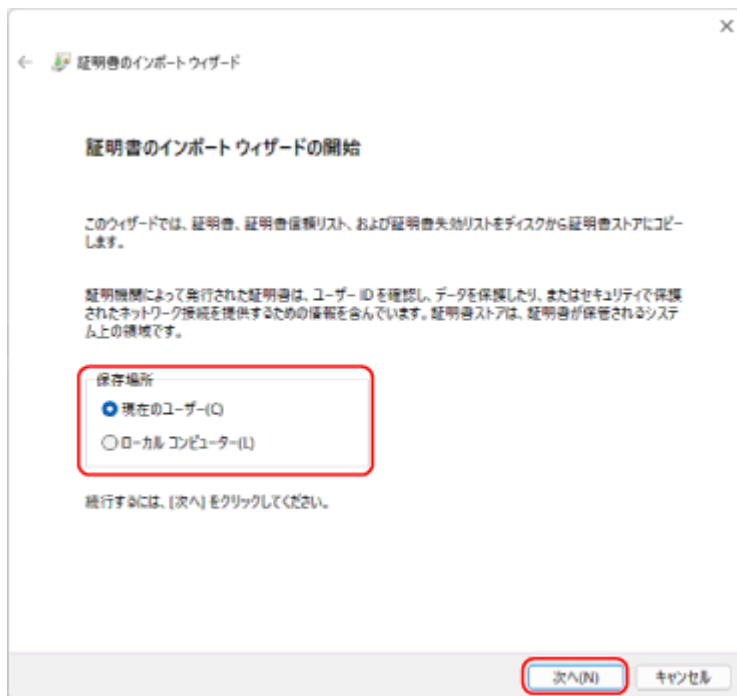
5 ファイルの種類を選択し、証明書のファイルをパソコンに保存する
ファイルの種類（証明書の形式）は、Base64 または DER を選択します。

6 [証明書ビューアー] 画面と Web ブラウザーを閉じる

7 手順 5 で保存した証明書のファイルをダブルクリックする
→ [証明書] 画面が表示されます。

8 [全般] タブで、[証明書のインストール] をクリックする
→ [証明書のインポートウィザード] 画面が表示されます。

9 保存場所を選択し、[次へ] をクリックする



10 [証明書をすべて次のストアに配置する] を選択し、[参照] をクリックする
→ [証明書ストアの選択] 画面が表示されます。

11 [信頼されたルート証明機関] を選択し、[OK] をクリックする
→ [証明書のインポートウィザード] 画面に戻ります。

12 [次へ] ▶ [完了] をクリックする

→ 証明書がインストールされます。

Step 3：ドライバーでユーザー管理情報や本機の設定をする

本機の使用環境に応じて、プリンタードライバーで以下の情報を設定します。

ユーザー管理情報

以下の場合、ユーザー管理情報を設定します。▶ **パソコンにユーザー管理情報を設定する (P. 741)**

- パソコンからのプリントにユーザー認証が適用されている場合
- 本機が部門別 ID 管理中の場合

※該当するかどうか分からない場合は、管理者にお問い合わせください。

オプション情報

本機にオプション機器が取り付けられている場合は、オプション情報を設定します。▶ **Step 3：ドライバーで本機のオプション情報を設定する (P. 337)**

セキュリティープリント機能

以下の場合、セキュリティープリント機能を有効にします。▶ **Step 4：ドライバーでセキュリティープリント機能を有効にする (P. 339)**

- macOS でセキュアプリント機能を使用する場合

プリントサーバーを使用するための準備

EJ83-05U

ネットワーク上にプリントサーバーを用意しておくと、プリント時に各パソコンで行う処理が早く終わるようになるため、各パソコンの負荷を軽減できます。

また、Windows の場合は、プリントサーバーを介してプリンタードライバーをインストールできるようになるため、各パソコンでプリンタードライバーをダウンロードしたり CD/DVD-ROM を用意したりする手間も省けます。

プリントサーバーを用意するには、プリントサーバーが本機でプリントできるようにしたあと、プリンターの共有設定を行います。

ドメイン環境でプリントサーバーを利用する場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

① プリントサーバーが本機でプリントできるようにする (P. 352)

② プリンターの共有設定をする (P. 352)

プリントサーバーが本機でプリントできるようにする

プリントサーバーにするパソコンにプリンタードライバーをインストールし、使用環境に応じた設定をします。④ **ドライバーを使用してプリントするための準備 (P. 337)**

ユーザー認証／部門別 ID 管理中にプリントサーバーを利用する場合

プリンタードライバーをインストールする際に、「Canon Driver Information Assist Service」を併せてインストールする必要があります。詳しくは、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

プリンターの共有設定をする

プリントサーバーにするパソコンで、プリンターの共有設定をして、ネットワーク上の他のパソコンがプリントサーバーを利用できるようにします。

④ **Windows の場合 (P. 352)**

④ **macOS の場合 (P. 354)**

Windows の場合

プリントサーバーにするパソコンの管理者権限が必要です。

必要な準備

- プリントサーバーにするパソコンの OS と、プリントサーバーを利用するパソコンの OS のプロセッサバージョン (32 bit / 64 bit) を確認します。④ **パソコンのシステム情報を確認する (P. 1562)**

1

プリントサーバーにするパソコンに、管理者のアカウントでログオンする

2

[

→ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

3 本機のプリンタードライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

→ プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

4 [共有] タブで、[このプリンターを共有する] にチェックマークを付け、共有名を入力する



5 必要に応じて、追加ドライバーをインストールする

プリントサーバーの OS と異なるプロセッサバージョンのパソコンがプリントサーバーを利用する場合は、追加ドライバーをインストールします。

1. [追加ドライバー] をクリックする

→ [追加ドライバー] 画面が表示されます。

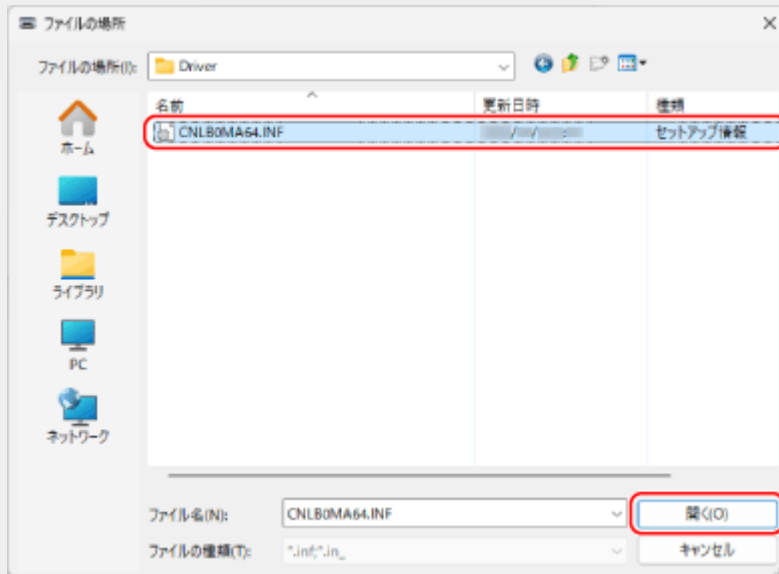
2. 追加するドライバーにチェックマークを付け、[OK] をクリックする

→ プリンタードライバーのインストール画面が表示されます。

- プリントサーバーの OS が 32 bit 版の場合は、[x64] (64 bit 版用ドライバー) にチェックマークを付けます。
- プリントサーバーの OS が 64 bit 版の場合は、[x86] (32 bit 版用ドライバー) にチェックマークを付けます。

3. [参照] をクリックする

- 追加するドライバーのフォルダーを開き、[Driver] フォルダー内の INF ファイルを選択して、[開く] をクリックする



- プリントサーバーの OS が 32 bit 版の場合は、[x64] の [Driver] フォルダー内の INF ファイルを選択します。
- プリントサーバーの OS が 64 bit 版の場合は、[32BIT] の [Driver] フォルダー内の INF ファイルを選択します。

- [OK] をクリックし、画面の指示に従って追加ドライバーをインストールする

6 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

macOS の場合

1 [🍏] ▶ [システム設定] ▶ [一般] ▶ [共有] をクリックする

→ [共有] 画面が表示されます。

2 [プリンタ共有] をオンにし、[ⓘ] をクリックする



3 [プリンタ] で、本機にチェックマークを付ける

4 必要に応じて、プリントサーバーを利用できるユーザーを制限する

初期設定では、すべてのユーザーがプリントサーバーを利用できるようになっています。
特定のユーザーのみがプリントサーバーを利用できるようにする場合は、[ユーザ] の下にある [＋] をクリックし、利用できるユーザーを選択します。

5 [完了] をクリックする

→ 設定が反映されます。

Universal Print を使用するための準備

EJ83-05W

Microsoft のクラウドサービスである「Universal Print」を使用してプリントする場合は、Universal Print を使用できるように本機を設定し、プリントするパソコンごとに本機を登録します。

※Universal Print を使用するには、Microsoft 365 サービスのユーザー登録と、Microsoft Entra ID サービスの利用が必要です。

①クラウドサービスに本機を登録する (P. 357)

②パソコンに本機を登録する (P. 360)

重要

- 副回線のネットワークを使用する場合は、Universal Print を使用できません。

クラウドサービスに本機を登録する

EJ83-05X

クラウドベースの認証／管理サービス「Microsoft Entra ID」に本機を登録し、本機を使用するメンバーやグループを設定します。

- 🔗 Step 1 : Microsoft Entra ID に本機を登録する (P. 357)
- 🔗 Step 2 : 本機を使用するメンバーやグループを設定する (P. 359)

Step 1 : Microsoft Entra ID に本機を登録する

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して登録する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。ただし、操作パネルでできるのは、Universal Print を使用するかどうかの設定と、登録状況の確認のみです。🔗 [\[Universal Print の設定\] \(P. 987\)](#) Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗 [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗 [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [ネットワーク] ▶ [Universal Print の設定] をクリックする
→ [Universal Print の設定] 画面が表示されます。
- 4 [基本設定] の [編集] をクリックする
→ [基本設定の編集] 画面が表示されます。
- 5 [Universal Print を使用する] にチェックマークを付ける
- 6 サーバーとの TLS 暗号化通信時に、証明書を検証するかどうかを設定する
 - 証明書を検証する場合は、[サーバー証明書を検証する] にチェックマークを付けます。
 - 検証項目に CN (Common Name) を追加する場合は、[CN を検証項目に追加する] にもチェックマークを付けます。
- 7 プリンター名を入力する
[プリンター名] に、本機を識別するための名前を半角英数字で入力します。
- 8 使用環境に合わせて、アプリケーション ID や Microsoft Entra ID の URL を変更する
 - [アプリケーション ID] ／ [Microsoft Entra ID 認証 URL] ／ [Microsoft Entra ID 登録 URL] は、通常は変更する必要はありません。特定のクラウド環境を使用する場合のみ変更する必要があります。

- [アプリケーション ID] / [Microsoft Entra ID 認証 URL] / [Microsoft Entra ID 登録 URL] を初期値に戻したい場合は、各項目の [初期値に戻す] をクリックするか、手動で以下の初期値を入力します。
 - [アプリケーション ID] : f9fc375c-c7ba-4e5c-b213-23affd792cc1
 - [Microsoft Entra ID 認証 URL] : https://login.microsoftonline.com/organizations/oauth2/v2.0
 - [Microsoft Entra ID 登録 URL] : https://register.print.microsoft.com/api/v1.0/register

9 [OK] をクリックする

→ [Universal Print の設定] 画面に戻ります。

10 [登録状況] の [登録] ▶ [OK] をクリックする

→ [登録用情報] 画面が表示されます。

11 数秒待ってから、[↺] をクリックする



12 [登録用 URL] に表示されているリンクをクリックし、画面の指示に従って本機を登録する

13 登録が完了したら、リモート UI の画面上部の [Universal Print の設定] をクリックする



→ [Universal Print の設定] 画面が表示されます。

14 数分待ってから、[↺] をクリックする

15 [登録状況] に [登録済み] と表示されていることを確認する

16 リモート UI からログアウトする

メモ

登録を解除する

- [Universal Print の設定] 画面で、[登録状況] の [登録解除] ▶ [OK] をクリックします。
- 登録を解除したら、Web ブラウザーで Microsoft Entra ID のデバイス管理画面を表示し、本機を選択して [削除] をクリックします。

Step 2：本機を使用するメンバーやグループを設定する

- 1 パソコンの Web ブラウザーで、Microsoft Entra ID の Universal Print 管理画面を表示する
- 2 本機を選択し、[プリンターの共有] をクリックする
パソコンに表示する本機の名前を変更したい場合は、[プリンター共有名] を変更します。
- 3 [メンバー] ▶ [追加] をクリックする
- 4 本機を使用するメンバーやグループをリストから選択する

パソコンに本機を登録する

EJ83-05Y

Universal Print を使用するパソコンごとに、Microsoft Entra ID に登録した本機を登録します。

🔗 Windows の場合 (P. 360)

Windows の場合

必要な準備

- Microsoft Entra ID に本機を登録し、本機を使用するメンバーやグループを設定します。🔗 [クラウドサービスに本機を登録する \(P. 357\)](#)

1 [] (スタート) ▶ [] (設定) ▶ [アカウント] をクリックする

→ [ユーザーの情報] 画面が表示されます。

2 [職場または学校にアクセスする] ▶ [接続] をクリックする

3 画面の指示に従って、Microsoft 365 アカウントでサインインする

4 [ホーム] ▶ [デバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

→ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

5 [プリンターまたはスキャナーを追加します] をクリックする

→ プリンターの一覧が表示されます。

6 本機を選択し、[デバイスの追加] をクリックする

→ パソコンに本機が登録されます。

メモ

プロキシサーバーを使用している場合

- プロキシサーバーを経由して Universal Print を使用する場合は、各パソコンでプロキシの設定を行う必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

仮想プリンターを使用するための準備

EJ83-060

用紙種類や両面プリントなど、よく使用するプリント設定を仮想プリンターとして登録しておく、LPD プリントや FTP プリント時に、文書に応じた仮想プリンターを引数に指定してコマンドを実行できます。

仮想プリンターは最大 20 個まで登録できます。

※LPD プリントや FTP プリントする場合は、各プリント機能が有効になっている必要があります。

➡ **【LPD 印刷の設定】 (P. 992)**

➡ **【FTP 印刷の設定】 (P. 993)**

仮想プリンターは、パソコンからリモート UI を使用して登録します。操作パネルを使用して登録することはできません。管理者権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、**【設定/登録】** をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 **【プリンター】 ➡ 【仮想プリンター管理】** をクリックする
➡ **【仮想プリンター管理】** 画面が表示されます。
- 4 **【仮想プリンターの追加】** をクリックする
➡ **【仮想プリンターの追加】** 画面が表示されます。
- 5 仮想プリンター名を入力する
すでに登録されている仮想プリンターと同じ名称は登録できません。

6 [仮想プリンターに設定する項目] で、プリント設定をする

仮想プリンター管理 > 仮想プリンターの追加

仮想プリンターの追加

追加 キャンセル

仮想プリンター

仮想プリンター名: (半角64文字以内)

仮想プリンターに設定する項目

* 設定しない項目にはジョブ投入時のデバイスの設定状態が適用されます。

選択	項目名	設定値の変更
☐	給紙部	自動 ▼
☐	用紙種類	自動 ▼
☐	パンチ位置	自動 ▼ (1~9999)
☐	プリント範囲	すべて ▼
☐	開始ページ	1 (1~9999)
☐	終了ページ	1 (1~9999)
☐	トナー節約	しない ▼

7 [追加] をクリックする

→ [仮想プリンター管理] 画面に、登録した仮想プリンターが追加されます。

8 リモート UI からログアウトする

重要

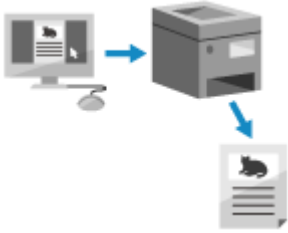
- 仮想プリンターを使用する場合は、強制留め置きは設定しないようにします。▶ [強制留め置きを設定する \(P. 819\)](#)
※強制留め置きが設定されている場合に仮想プリンターを使用すると、プリントがキャンセルされたり、プリントデータが本機に留め置かれたりします。

メモ

登録した仮想プリンターを編集する

- [仮想プリンター管理] 画面で、編集したい仮想プリンター名をクリックすると、設定内容を編集できます。

プリントする



パソコンからプリンタードライバを使用して、文書をプリントします。
プリント時にプリンタードライバの設定を変更することで、両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じたプリントができます。

※指定した時刻にプリントすることもできます。

🔗 [指定した時刻にプリントする - 予約プリント \(P. 368\)](#)

ここでは、一般的な手順を説明します。使用するアプリケーションでの具体的な操作方法については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

必要な準備

- パソコンにプリンタードライバをインストールし、使用環境に応じた設定をします。🔗 [ドライバを使用してプリントするための準備 \(P. 337\)](#)
- プリントする文書や用紙が定形外サイズの場合は、プリンタードライバにそのサイズを登録します。🔗 [パソコンに定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙 \(P. 366\)](#)

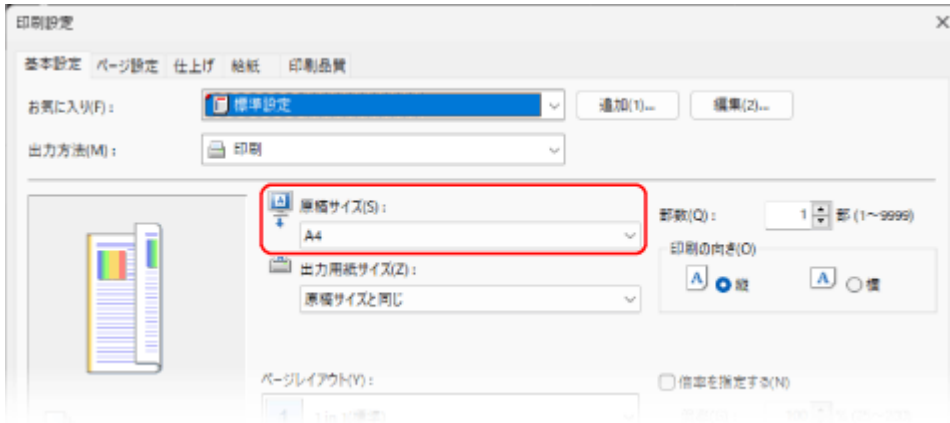
🔗 [Windows の場合 \(P. 363\)](#)

🔗 [macOS の場合 \(P. 364\)](#)

Windows の場合

- 1 パソコンで、プリントする文書を開く
- 2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、プリントするメニューを選択する
- 3 本機のプリンタードライバを選択し、[その他の設定] または [プロパティ] をクリックする
→ プリンタードライバの [印刷設定] 画面が表示されます。

4 [基本設定] タブの [原稿サイズ] で、文書の用紙サイズを選択する



[原稿サイズ] と異なるサイズの用紙にプリントする場合

[出力用紙サイズ] で、プリントする用紙サイズを選択します。[出力用紙サイズ] に合わせて文書が拡大／縮小されます。

5 必要に応じて、その他のプリント設定をする

両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定ができます。詳しくは、[印刷設定] 画面の [ヘルプ] をクリックしてヘルプを参照してください。

6 [OK] をクリックし、[印刷] または [OK] をクリックする

→ プリントが開始されます。

- プリントを中止したい場合、プリント中の画面やタスクトレイのプリンターアイコンから中止できます。▶ [パソコンからプリントを中止する \(P. 389\)](#)
- 操作パネルの [状況確認] からプリント状況や履歴を確認できます。▶ [プリント状況や履歴を確認する \(P. 392\)](#)

メモ

- パソコンからのプリントデータをすぐにプリントしないように本機が設定されている場合は、本機を操作してプリントを実行する必要があります。▶ [強制的に留め置かれた文書をプリントする \(P. 384\)](#)

macOS の場合

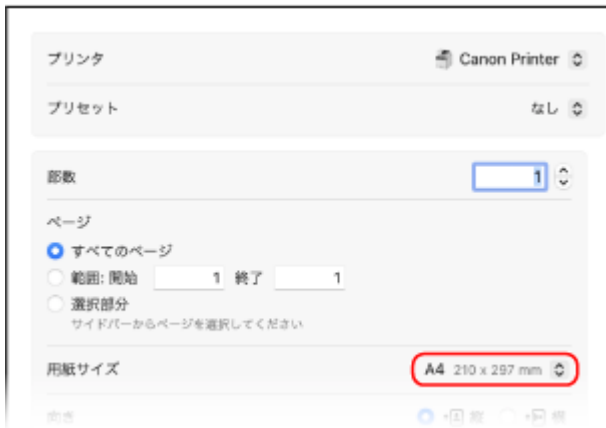
1 パソコンで、プリントする文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、[プリント] をクリックする

→ プリントダイアログが表示されます。

3 [プリンタ] で、本機のプリンタードライバーを選択する

4 [用紙サイズ] で、文書の用紙サイズを選択する



[用紙サイズ] と異なるサイズの用紙にプリントする場合

1. [用紙処理] をクリックする
2. [用紙サイズに合わせる] をオンにし、[出力用紙サイズ] でプリントする用紙サイズを選択する



[出力用紙サイズ] に合わせて文書が拡大／縮小されます。

5 必要に応じて、その他のプリント設定をする

両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定ができます。詳しくは、プリントダイアログの [?] をクリックしてヘルプを参照してください。

6 [プリント] をクリックする

→ プリントが開始されます。

- プリントを中止したい場合は、Dock のプリンターアイコンから中止できます。▶ [パソコンからプリントを中止する \(P. 389\)](#)
- 操作パネルの [🖨️ 状況確認] からプリント状況や履歴を確認できます。▶ [プリント状況や履歴を確認する \(P. 392\)](#)

メモ

- パソコンからのプリントデータをすぐにプリントしないように本機が設定されている場合は、本機を操作してプリントを実行する必要があります。▶ [強制的に留め置かれた文書をプリントする \(P. 384\)](#)

パソコンに定形外サイズの手紙を登録する - ユーザー設定手紙

EJ83-062

ユーザー設定手紙とは、自由に辺の長さを定義できる定形外サイズの手紙のことです。

プリントする文書や手紙が定形外サイズの場合は、あらかじめプリンタードライバーにそのサイズを登録しておく必要があります。

① Windows の場合 (P. 366)

② macOS の場合 (P. 367)

Windows の場合

1 [スタート] (スタート) ▶ [設定] (設定) ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

→ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

2 本機のプリンタードライバー ▶ [印刷設定] をクリックする

→ プリンタードライバーの [印刷設定] 画面が表示されます。

3 [ページ設定] タブで、[ユーザー設定手紙] をクリックする

4 ユーザー設定手紙名と手紙サイズを入力し、[登録] をクリックする

ユーザー設定手紙

用紙一覧(L):

名前	サイズ
レター	215.9 x 279.4
タブロイド	279.4 x 431.8
レジャー	279.4 x 431.8
リーガル	215.9 x 355.6
ステートメント	139.7 x 215.9
エグゼクティブ	184.2 x 266.7
A6	105.0 x 148.5
A5	148.5 x 210.0
B5	182.0 x 257.0
A4	210.0 x 297.0

削除(D)

ユーザー設定手紙名(N):
Sample

単位(U)
☒ ミリメートル
☐ インチ

用紙サイズ
 幅(W): 210.0 mm (76.0~330.2)
 高さ(H): 297.0 mm (98.0~1300.0)

登録(R)

☐ 一部のユーザー設定手紙を特定地域用紙として扱う(S)

OK キャンセル ヘルプ(H)

5 [OK] ▶ [OK] をクリックする

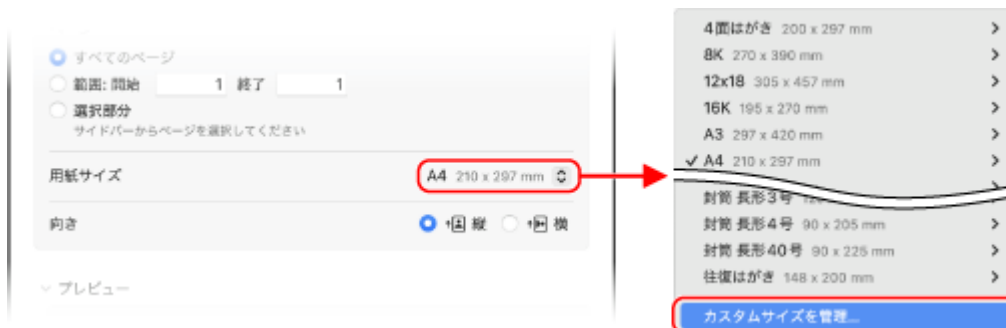
→ユーザー設定用紙が登録されます。

macOS の場合

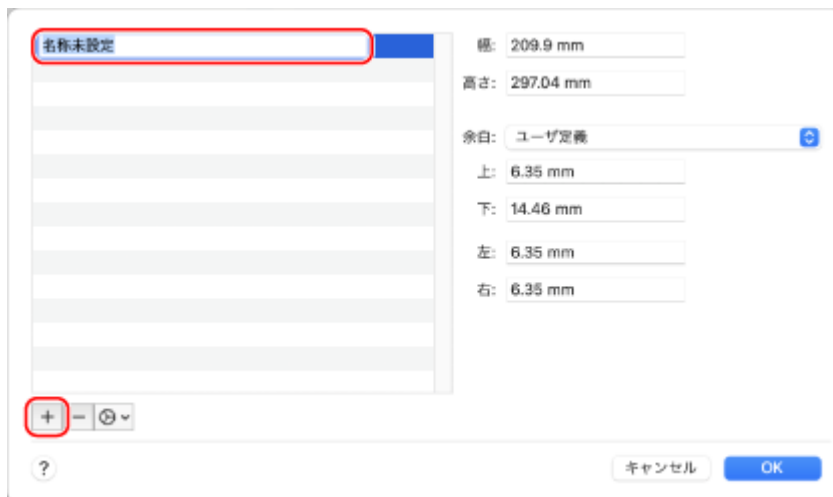
- 1 パソコンで、プリントする文書を開く
- 2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、[プリント] をクリックする
→プリントダイアログが表示されます。

- 3 [プリンタ] で、本機のプリンタードライバーを選択する

- 4 [用紙サイズ] で、[カスタムサイズを管理] を選択する



- 5 左下にある [+] をクリックし、[名称未設定] をクリックしてユーザー設定用紙名を入力する



- 6 用紙サイズを入力し、[OK] をクリックする

→ユーザー設定用紙が登録されます。

指定した時刻にプリントする - 予約プリント

EJ83-063

パソコンから本機に送信した文書（プリントデータ）を、すぐにプリントせずに、時刻を指定してプリントすることができます。

大量にプリントする場合に、利用者の少ない夜間にプリントしたいときなどに便利です。

ドライバーのプリント設定で予約プリントを設定して、プリントデータを本機に送信します。

必要な準備

- パソコンと本機の時刻設定が一致していることを確認します。
※予約プリントは本機の時刻設定に従って実行されます。
※パソコンと本機の時刻設定が一致していないと、予約時刻が 24 時間以上先として処理されることがあります。その場合は、プリントがキャンセルされます。

重要

- 以下のいずれかが有効な場合は、予約プリントは使用できません。
 - 強制留め置き ➡ **強制留め置きを設定する (P. 819)**
 - ACCESS MANAGEMENT SYSTEM ➡ **ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用する (P. 753)**

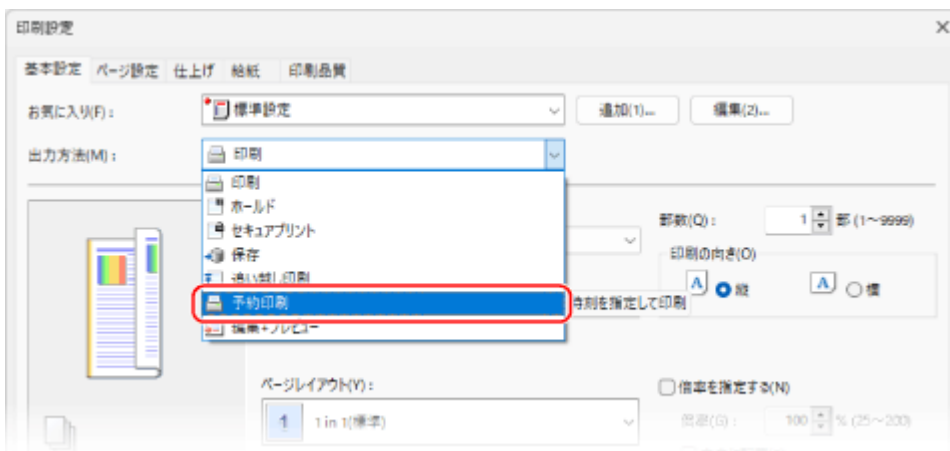
➡ Windows の場合 (P. 368)

➡ macOS の場合 (P. 369)

Windows の場合

1 プリンタードライバーの「印刷設定」画面を表示する ➡ **プリントする (P. 363)**

2 「出力方法」で「予約印刷」を選択する



➡ 「情報」画面が表示されます。

3 「はい」をクリックする

→ [予約印刷詳細] 画面が表示されます。

4 プリントする時刻を入力し、[OK] をクリックする

→ [印刷設定] 画面に戻ります。

時刻は 24 時間形式で入力します。

5 必要に応じて、その他のプリント設定をする

両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定ができます。詳しくは、[印刷設定] 画面の [ヘルプ] をクリックしてヘルプを参照してください。

6 [OK] をクリックし、[印刷] または [OK] をクリックする

→ プリントが予約されます。

メモ

予約プリントを確認する／取り消す

- 操作パネルのプリントの画面で [予約プリント] を押すと、予約中のプリントデータを確認／削除できます。▶ **プリントの画面 (P. 386)**
※ プリントが実行された予約プリントのデータは削除されます。プリントの画面の [プリント済み] にも表示されません。

macOS の場合

1 プリントダイアログを表示し、本機のプリンタードライバーを選択する ▶ **プリントする (P. 363)**

2 [プリンタオプション] ▶ [特別処理] をクリックする



3 [ジョブの処理方法] で [予約印刷] を選択し、[OK] をクリックする



→ プリントダイアログに戻ります。

4 必要に応じて、その他のプリント設定をする

両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定ができます。詳しくは、プリントダイアログの [?] をクリックしてヘルプを参照してください。

5 [プリント] をクリックする

→ [予約印刷の設定] 画面が表示されます。

6 プリントする時刻を入力し、[OK] をクリックする

→ プリントが予約されます。

時刻は 24 時間形式で入力します。

メモ

予約プリントを確認する／取り消す

- 操作パネルのプリントの画面で [予約プリント] を押すと、予約中のプリントデータを確認／削除できます。▶ **プリントの画面 (P. 386)**

※プリントが実行された予約プリントのデータは削除されます。プリントの画面の [プリント済み] にも表示されません。

プリントのセキュリティを高める

EJ83-064

プリントされた用紙の放置や持ち去りを防止するため、暗証番号を設定してから本機にプリントデータを送信できます。



④暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント (P. 372)

暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント

EJ83-065



セキュアプリントとは、パソコンからのプリント時に暗証番号を設定してから本機にプリントデータを送信し、設定されている暗証番号を本機で入力することによってプリントが実行される機能です。
セキュアプリント機能を利用することで、プリントされた用紙の放置や持ち去りなどを防止することができます。

暗証番号を設定して送信したプリントデータ（セキュアデータ）は、本機のメモリーに一時保存されます。プリントが実行されずに一定時間経過すると、セキュアデータはメモリーから自動的に削除されてプリントできなくなります。

① Step 1 : パソコンからセキュアデータを送信する (P. 372)

② Step 2 : 暗証番号／パスワードを入力してセキュアデータをプリントする (P. 374)

メモ

- セキュアデータの保存時間は変更できます。④ 留め置かれた文書の保存時間を変更する (P. 822)

Step 1 : パソコンからセキュアデータを送信する

ドライバーのプリント設定でセキュアプリント機能を設定し、セキュアデータとして本機に送信します。

① Windows の場合 (P. 372)

② macOS の場合 (P. 373)

Windows の場合

ここでは、通常のセキュアデータを送信する方法を説明します。

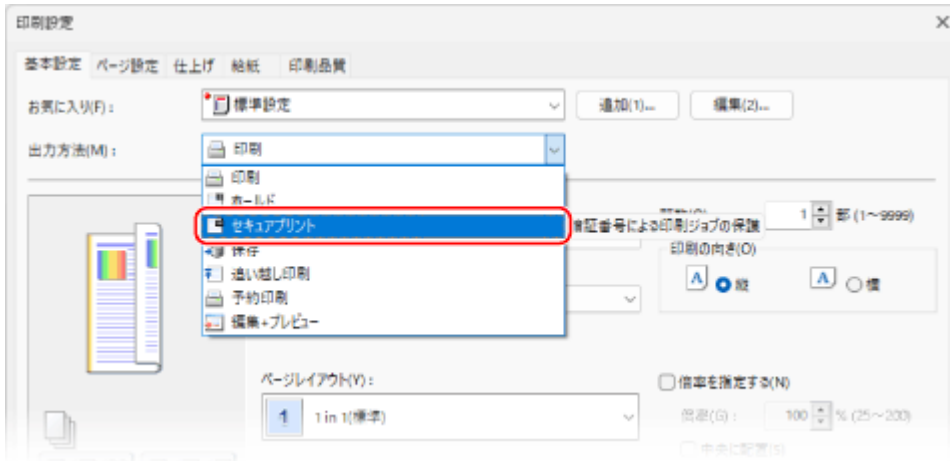
※Windows の場合は、セキュアデータを暗号化して送信することもできます（暗号化セキュアプリント）。セキュアデータを暗号化することで、通信途中でのデータの盗聴や改ざんのリスクを低減します。

- 暗号化セキュアプリントのデータには、暗証番号ではなく、英数字のパスワードを設定します。
- 暗号化セキュアプリント機能を利用してセキュアデータを送信する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

1 プリンタードライバーの「印刷設定」画面を表示する ④ プリントする (P. 363)

2 [出力方法] で [セキュアプリント] を選択する



→ [情報] 画面が表示されます。

3 [はい] をクリックする

→ [セキュアプリント詳細] 画面が表示されます。

4 ユーザー名と暗証番号を入力し、[OK] をクリックする

→ [印刷設定] 画面に戻ります。

5 必要に応じて、その他のプリント設定をする

両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定ができます。詳しくは、[印刷設定] 画面の [ヘルプ] をクリックしてヘルプを参照してください。

6 [OK] をクリックし、[印刷] または [OK] をクリックする

→ セキュアデータが本機に送信されます。

送信が完了したら、Step 2 に進みます。▶ **Step 2：暗証番号／パスワードを入力してセキュアデータをプリントする (P. 374)**

macOS の場合

必要な準備

- プリンタードライバーでセキュリティープリント機能を有効にします。▶ **Step 4：ドライバーでセキュリティープリント機能を有効にする (P. 339)**

1 プリントダイアログを表示し、本機のプリンタードライバーを選択する ▶ **プリントする (P. 363)**

2 [プリンタオプション] ▶ [特別処理] をクリックする



3 [ジョブの処理方法] で [セキュアプリント] を選択し、[OK] をクリックする



→ プリントダイアログに戻ります。

4 必要に応じて、その他のプリント設定をする

両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定ができます。詳しくは、プリントダイアログの [?] をクリックしてヘルプを参照してください。

5 [プリント] をクリックする

→ [セキュアプリント] 画面が表示されます。

6 ドキュメント名／ユーザー名／暗証番号を入力し、[OK] をクリックする

→ セキュアデータが本機に送信されます。

送信が完了したら、Step 2 に進みます。▶ **Step 2：暗証番号／パスワードを入力してセキュアデータをプリントする (P. 374)**

Step 2：暗証番号／パスワードを入力してセキュアデータをプリントする

本機に送信されたセキュアデータをプリントします。プリント実行時に、セキュアデータの内容を確認したり、プリント設定を変更したりすることもできます。

1 操作パネルの「ホーム」画面で、「プリント」を押す ② 「ホーム」画面 (P. 156)

→ プリントの画面が表示されます。

2 プリントするセキュアデータを選択する



- 暗証番号／パスワードが同じセキュアデータを、一度に 100 個まで選択してプリントできます。
※複数のセキュアデータを選択した場合は、セキュアデータを選択した順（チェックマークの番号順）にプリントされます。
- プリントの画面では、セキュアデータの内容を確認したり、プリント設定を変更したりすることもできます。 ③ **プリントの画面 (P. 386)**

3 「プリント開始」を押す

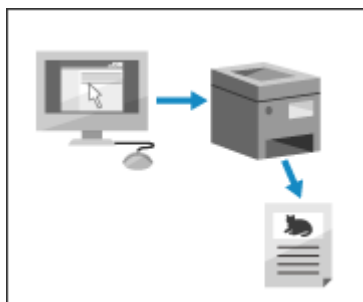
4 暗証番号／パスワードを入力し、「OK」を押す

→ プリントが開始されます。

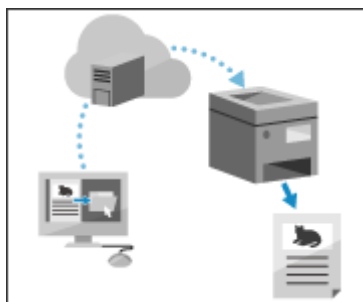
- 手順 2 で複数のセキュアデータを選択した場合は、入力した暗証番号／パスワードと一致するセキュアデータのみがプリントされます。
- プリントを中止したい場合は、操作パネルからプリントを中止します。 ④ **操作パネルから中止する場合 (P. 390)**
- [状況確認] からプリント状況や履歴を確認できます。 ⑤ **プリント状況や履歴を確認する (P. 392)**

いろいろなプリント方法

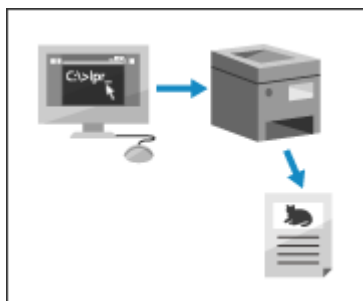
本機には、パソコンにプリンタードライバーをインストールすることなくプリントするための機能が用意されています。プリンタードライバーをインストールしたり、文書を開いたりする手間を省いて、すばやく本機でプリントできます。



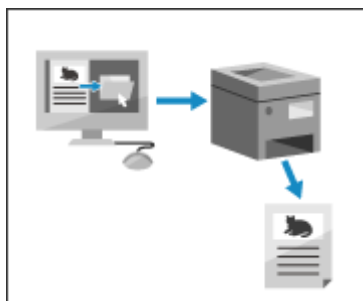
① Web ブラウザーを使用してプリントする - ダイレクトプリント (P. 378)



② Universal Print を使用してプリントする (P. 380)



③ 仮想プリンターを使用してプリントする (P. 381)



④ 登録している文書を印刷する - 定型文書プリント (P. 382)

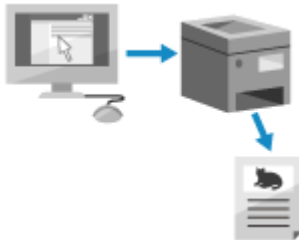
メモ

- macOS の場合は、OS に標準搭載されている AirPrint 機能を使用してプリントすることもできます。④ AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する (P. 668)

- Chrome OS の場合は、OS に標準搭載されている機能でプリントすることもできます。🔗[Chrome OS からプリント／スキャンする \(P. 676\)](#)

Web ブラウザーを使用してプリントする - ダイレクトプリント

EJ83-067



パソコンやネットワーク上に保存されているファイルを、Web ブラウザー（リモート UI）で指定して直接プリントできます。

- 1 リモート UI にログインする [▶ リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[ダイレクトプリント] をクリックする [▶ リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 ファイル形式を選択する



→ ファイル形式に応じたプリントの画面が表示されます。

- 4 [ファイルの指定] で、[ファイルの選択] をクリックし、プリントするファイルを指定する

セキュリティが設定された PDF ファイルをプリントする場合

[ファイルアクセス権] で、PDF ファイルの設定に応じたパスワードを入力します。

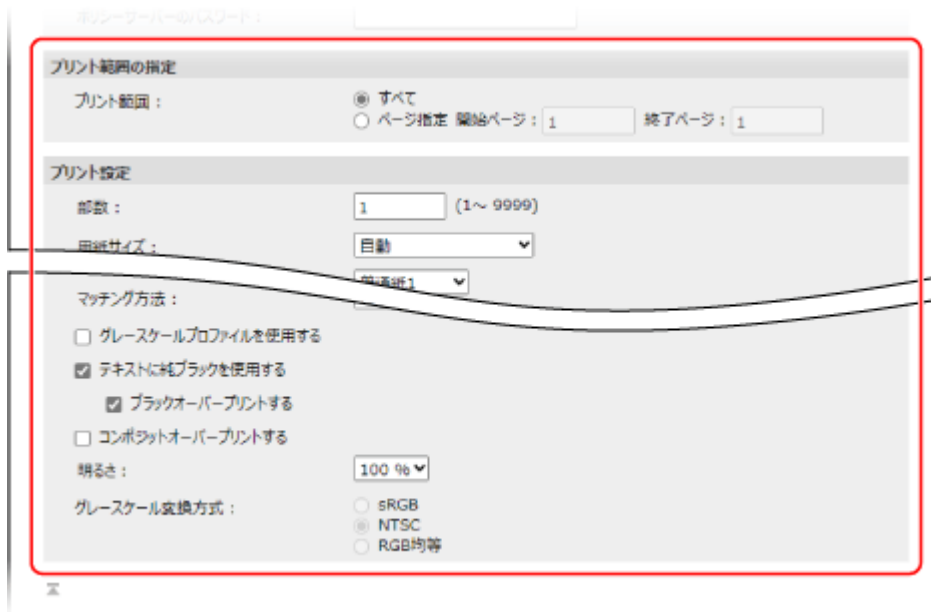
文書を開くパスワードまたは権限パスワードが設定されている場合

[文書パスワード] に、文書を開くパスワードまたは権限パスワードを入力します。

※権限パスワードは、以下の場合に入力します。

- プリントが禁止されている PDF ファイルをプリントする場合
- 低解像度でのプリントのみ許可されている PDF ファイルを、高解像度でプリントする場合

5 必要に応じて、プリント設定をする



- 両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定ができます。
- PDF/XPS ファイルをプリントする場合、選択した用紙サイズによっては、プリントが中止されることがあります。

6 [プリント開始] をクリックする

→ ファイルが本機に転送され、プリントが開始されます。

※ ファイルの転送には時間がかかる場合があります。

※ 転送中に [プリント開始] を連続してクリックしないでください。転送に失敗する場合があります。

7 リモート UI からログアウトする

メモ

- ファイルによっては、ダイレクトプリントだと正しくプリントされないことがあります。その場合は、プリンタードライバーを使用してプリントすると、正しくプリントされることがあります。▶ [プリントする \(P. 363\)](#)

Universal Print を使用してプリントする

EJ83-068



Universal Print とは、Microsoft のクラウド経由で文書をプリントできるサービスです。プリンタードライバーをインストールすることなくプリントが可能です。インターネットに接続されていれば、離れた場所からでもプリントできます。

※Universal Print を使用するには、Microsoft 365 サービスのユーザー登録と、Microsoft Entra ID サービスの利用が必要です。

🔗 Windows の場合 (P. 380)

Windows の場合

必要な準備

- Microsoft Entra ID に本機を登録し、本機を使用するメンバーやグループを設定します。🔗 [クラウドサービスに本機を登録する \(P. 357\)](#)
- Universal Print を使用するパソコンごとに、Microsoft Entra ID に登録した本機を登録します。🔗 [パソコンに本機を登録する \(P. 360\)](#)

Universal Print を使用したプリント方法や対応 OS については、Microsoft のホームページを参照してください。
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/universal-print/>

重要

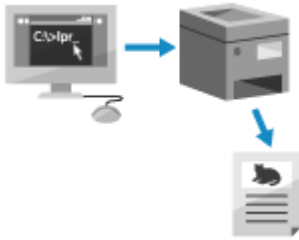
- 副回線のネットワークを使用する場合は、Universal Print を使用できません。

メモ

- パソコンからのプリントデータをすぐにプリントしないように本機が設定されている場合は、Universal Print のプリントデータも本機に留め置かれます。その場合は、本機を操作してプリントを実行する必要があります。🔗 [強制的に留め置かれた文書をプリントする \(P. 384\)](#)

仮想プリンターを使用してプリントする

EJ83-069



本機に仮想プリンターが登録されている場合は、LPD プリントや FTP プリント時に、文書に応じた仮想プリンターを引数に指定してコマンドを実行するだけで、あらかじめ決められたプリント設定でプリントできます。

※仮想プリンターで利用できるページ記述言語とファイル形式は、PS と PDF のみです。

必要な準備

- 仮想プリンターを登録します。🔗[仮想プリンターを使用するための準備 \(P. 361\)](#)

LPD プリントや FTP プリント時に、以下のコマンドを実行します。

LPD プリントの場合

```
lpr -S <本機の IP アドレス> -P <仮想プリンター名> <プリントするファイル名>
```

入力例：仮想プリンター「canon01」で「sample.pdf」をプリントする場合

```
lpr -S 192.168.1.21 -P canon01 sample.pdf
```

FTP プリントの場合

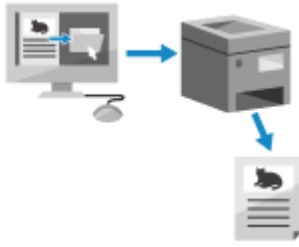
```
put <プリントするファイル名> <仮想プリンター名>
```

入力例：仮想プリンター「canon01」で「sample.pdf」をプリントする場合

```
put sample.pdf canon01
```

登録している文書を印刷する - 定型文書プリント

EJ83-06A



あらかじめ登録しておいた画像や文書を印刷できます。よく使う書類のフォーマットなどを登録しておく、必要なときに簡単に印刷できます。

Administrator 権限が必要です。

④ 文書を登録／編集する (P. 382)

④ 文書を印刷する (P. 383)

文書を登録／編集する

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ④ リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ④ リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 [プリンター] ▶ [定型文書プリント] をクリックする
→ [定型文書プリント] 画面が表示されます。
- 4 [ボタンの追加] をクリックする
→ [ボタンの追加] 画面が表示されます。
 - 設定を変更する場合は、ボタン名をクリックします。
 - ボタンを削除する場合は、[削除] をクリックします。
- 5 ボタンの情報を入力し、必要な設定をする
※設定を行わない場合は、[プリンター] の [仕様設定] に従って印刷が行われます。
 [ボタン名]
 [ホーム] 画面に表示されるボタンの名称を入力します。
 [コメント]
 必要に応じて説明やメモなどを入力します。
 [プリントするファイル(PDF/JPEG) :]
 PDF または JPEG ファイルを指定します。
 [ボタン押下後すぐにプリントを開始する]

ボタン押下でジョブを実行させる場合は、チェックマークを付けます。設定されたボタンには、のマークが付与されます。

〔ボタンに設定する項目〕

部数や両面など、印刷に関する設定を行います。

6 〔追加〕をクリックする

→ ボタンが追加されます。

7 リモート UI からログアウトする

メモ

印刷用のファイルについて

- 登録できる文書数は5つです。
- 登録できる文書サイズの上限は48 MB です。
- 登録できる文書の最低保証保存領域サイズは留め置き印刷およびセキュアプリント含めて4 GB（オプションのデータストレージキット装着時は193 GB）です。

文書を印刷する

1 操作パネルの〔ホーム〕画面で、登録した文書のボタンを押す 〔ホーム〕画面 (P. 156)

→ 定型文書プリントの画面が表示されます。

※ 〔ボタン押下後すぐにプリントを開始する〕を設定したボタンは印刷が開始されます。

2 〔プリント開始〕を押す

→ プリントが開始されます。

- パスワードが設定されていたり、印刷時にパスワードの入力が必要な PDF ファイルは印刷できません。
- 印刷中のジョブを中止したい場合は、〔プリント中止〕を押します。

強制的に留め置かれた文書をプリントする

EJ83-06C

プリントされた用紙の放置や持ち去りなどを防止するため、パソコンからのプリントデータをすぐにプリントしないように本機が設定されている場合があります。🔗[パソコンからの文書をすぐにプリントしないようにする - 強制留め置き \(P. 819\)](#)
その場合は、本機を操作してプリントを実行する必要があります。プリント実行時に、文書の内容を確認したり、プリント設定を変更したりすることもできます。

プリントが実行されずに一定時間経過すると、本機に留め置かれた文書は自動的に削除されてプリントできなくなります。

※留め置かれた文書は、本機の電源を切っても保持されます。

※留め置かれた文書の保存時間は変更できます。🔗[留め置かれた文書の保存時間を変更する \(P. 822\)](#)

1 操作パネルの [ホーム] 画面で、[プリント] を押す 🔗 [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ プrintの画面が表示されます。

2 プリントする文書を選択する



- 一度に 100 文書まで選択してプリントできます。
※複数の文書を選択した場合は、文書を選択した順（チェックマークの番号順）にプリントされます。
- プリントの画面では、文書の内容を確認したり、プリント設定を変更したりすることもできます。🔗[プリントの画面 \(P. 386\)](#)

3 [プリント開始] を押す

→ プリントが開始されます。

- プリントを中止したい場合は、操作パネルからプリントを中止します。🔗[操作パネルから中止する場合 \(P. 390\)](#)
- [👁️ 状況確認] からプリント状況や履歴を確認できます。🔗[プリント状況や履歴を確認する \(P. 392\)](#)

メモ

ログイン時に自動プリントする

- 自動プリント機能が有効な場合は、本機にログインしたときに、留め置かれている自分の文書を自動的にプリントするように設定できます。🔗[留め置かれた文書をログイン時に自動プリントする \(P. 385\)](#)

留め置かれた文書をログイン時に自動プリントする

自動プリント機能が有効な場合は、本機にログインしたときに、留め置かれている自分の文書を自動的にプリントするように設定できます。

※自動プリント機能は、強制留め置きを設定するときの詳細設定で有効にすることができます。▶**強制留め置きを設定する (P. 819)**

※自動プリントするかどうかは、ログインユーザーごとに設定します。

この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。

1 本機にログインする ▶**ログイン方法 (P. 191)**

2 操作パネルの [ホーム] 画面で、[個人設定] を押す ▶ **[ホーム] 画面 (P. 156)**

→ [個人設定] 画面が表示されます。

3 [ログイン時にマイジョブを自動でプリントする] を押す

→ [ログイン時にマイジョブを自動でプリントする] 画面が表示されます。

4 [ON] ▶ [OK] を押す

→ [個人設定] 画面に戻ります。

5 [閉じる] を押す

→ 自動プリントは、次回ログイン時から有効になります。

メモ

- ログイン時に自動プリントされるのは、ログインユーザー個人の文書のみです。
- プリント時に暗証番号／パスワードが必要なセキュアプリント^{*1}／暗号化セキュアプリント／暗号化 PDF の文書は、自動プリントの対象外です。
- ^{*1} [セキュアプリントの暗証番号設定] の [マイジョブのプリント/画像表示時に暗証番号が必要] が [ON] に設定されている場合のみ ▶ **[セキュアプリントの暗証番号設定] (P. 1130)**
- ログインユーザー個人の文書が複数留め置かれている場合は、プリントの画面での文書の表示順に従ってプリントされます。▶ **プリントの画面 (P. 386)**
- 一度のログインで自動プリントされるのは、最大 100 文書までです。

プリントの画面

EJ83-11Y

操作パネルの［ホーム］画面で［プリント］を押すと、プリントの画面が表示されます。

この画面では、強制的に留め置かれた文書や、セキュアプリント／暗号化セキュアプリントの文書のプリントを行います。それらの文書や予約プリントの文書の内容を確認したり、プリント設定を変更したりすることもできます。



［個人］／［共有］／［グループ］

プルダウンメニューで、一覧に表示する文書の種類を選択します。

- ［個人］：
ログインユーザーの文書を表示します。
- ［共有］：
特定の条件で留め置かれた文書を表示します。
※［共有］を選択して表示される文書は、すべてのユーザーが表示／プリントできます。
- ［グループ］：
ログインユーザーが所属する部門 ID の文書を表示します。

［プリント待ち］／［プリント済み］／［予約プリント］

プリントの状況ごとに、文書の一覧を切り替えます。

〔↔〕

文書の一覧を更新します。

文書の一覧

以下の文書が一覧で表示されます。

- 強制留め置き
- セキュアプリント
- 暗号化セキュアプリント
- 予約プリント

文書を選択すると、チェックマークと番号が付きます。複数の文書をまとめてプリントする場合は、この番号順にプリントされます。

※一度に選択できる文書数は 100 文書までです。

※［日時］を押すと、日時を基準に文書の表示順を並べ替えることができます。本機にログインしている場合は、次回ログイン時も表示順が保持されます。

※文書によっては、以下のアイコンが付与されます。

[🔒]：セキュアプリント／暗号化セキュアプリント／暗号化 PDF の文書

[⚠]：警告表示の条件に該当する強制留め置き of 文書 [🔗](#) **【留め置きジョブの警告設定】 (P. 1130)**

【全選択(100 ジョブまで)】 ／ **【選択解除】**

- 文書を選択していない状態で **【全選択(100 ジョブまで)】** を押すと、一覧に表示されている文書がすべて選択されます。
- 文書を選択している状態で **【選択解除】** を押すと、選択がすべて解除されます。

【部数変更】

選択している文書のプリント部数を変更します。

【プリント設定】 ／ **【プリント設定(一括)】**

選択している文書のプリント設定を確認／変更できます。

※複数の文書を選択して、プリント設定を一括で変更することもできます。ただし、以下の文書を同時に選択している場合は、一括変更できません。

- 強制留め置き of 文書
- セキュアプリント of 文書
- 暗号化セキュアプリント of 文書
- 暗号化 PDF の文書

【その他の操作】

以下の操作を選択します。

- **【画像表示】**：
選択している文書のプレビュー画面を表示して、文書の内容を確認できます。
プレビュー画面上でページを削除したり、プレビュー画面からプリントを実行したりすることもできます。
- **【ジョブ削除】**：
選択している文書を削除します。
- **【プリント中止】**：
選択している文書のプリントを中止します。

【プリント開始】

選択している文書のプリントを実行します。

※警告表示 of 条件に該当する強制留め置き of 文書をプリントするときは、警告画面が表示されます。 [🔗](#) **【留め置きジョブの警告設定】 (P. 1130)**

プリント設定の変更／プレビュー画面 of 表示

プリント時 of ドライバーの種類や、ダイレクトプリント時 of ファイル形式によっては、プリント設定 of 変更やプレビュー画面 of 表示などの操作ができません。

○：操作可 ×：操作不可

操作	プリント時 of ドライバーの種類				ダイレクトプリント時 of ファイル形式			
	LIPS LX	LIPS4	PS*1	PCL*2	PDF	XPS	JPEG	TIFF
【プリント設定】	○	×	○	○	○	×	○	×
【部数】	○	×	○	○	○	×	○	×
【プリント範囲】*3	○	×	○	○	○	×	×	×

操作	プリント時のドライバーの種類				ダイレクトプリント時のファイル形式			
	LIPS LX	LIPS4	PS ^{*1}	PCL ^{*2}	PDF	XPS	JPEG	TIFF
[両面プリント]	○	×	○	○	○	×	○	×
[用紙選択] ^{*3*4}	○	×	×	○	○	×	○	×
[ページ集約]	○	×	×	○	○	×	×	×
[ホチキス] ^{*3*5}	○	×	×	○	○	×	○	×
[製本] ^{*3}	○	×	×	○	○	×	×	×
[パンチ穴] ^{*3*5}	○	×	×	○	○	×	○	×
[トナー節約] ^{*3}	○	×	○	○	○	×	○	×
[画像表示]	○	×	×	○	○	○	○	○
[ページ削除]	○	×	×	○	×	×	×	×

^{*1} PPD を除くキヤノン製 PS3 プリンタードライバーの場合にのみ操作できます。

^{*2} PCL6 (PCL XL) プリンタードライバーの場合にのみ操作できます。

^{*3} 複数の文書を選択した場合は、設定を変更できません。

^{*4} 異なる用紙サイズが混在する場合は、設定を変更できません。

^{*5} オプション装着時にのみ設定を変更できます。

メモ

[受信時に保存できなかったジョブがあります。] や [削除されたジョブがあります。] と表示された場合

- 文書受信時にエラーが発生した場合や、保存時間が経過して文書が自動削除された場合などに表示されます。[] を押すと、メッセージを解除できます。

プリントを中止する

EJ83-06H

パソコンからドライバーを使用してプリントした場合は、そのままパソコンから中止できます。
プリントデータが本機に送信されたあとや、ドライバーを使用せずにプリントした場合などは、操作パネルやリモート UI からプリントを中止できます。

- ① パソコンからプリントを中止する (P. 389)
- ② 操作パネル／リモート UI からプリントを中止する (P. 390)

パソコンからプリントを中止する

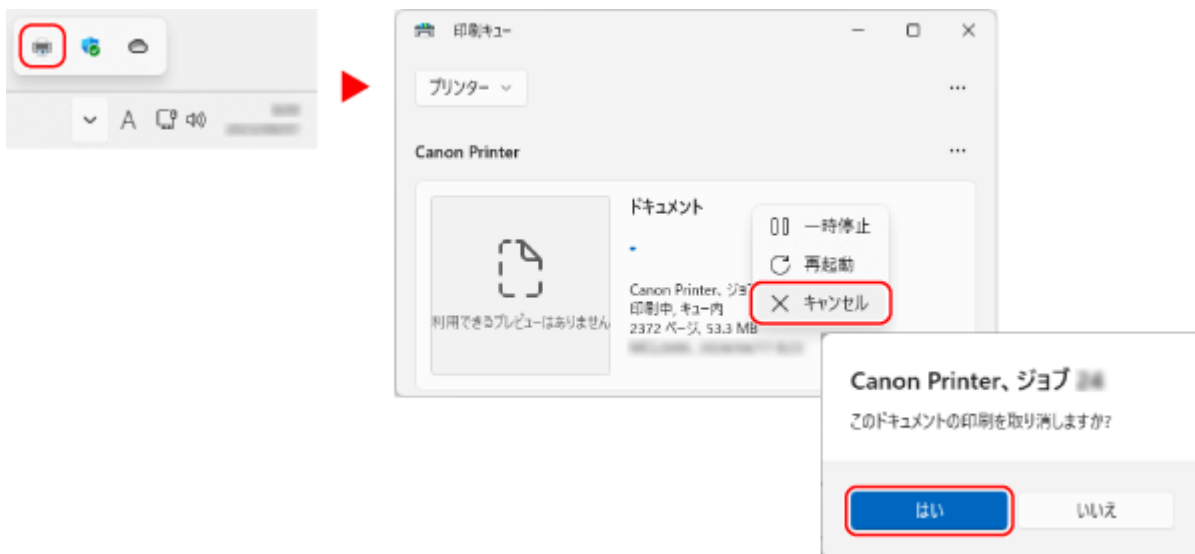
- ① Windows の場合 (P. 389)
- ② macOS の場合 (P. 390)

Windows の場合

プリント中の画面が表示されている場合は、[キャンセル] をクリックします。



上記の画面が表示されていない場合は、タスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックし、中止する文書を右クリックして、[キャンセル] ▶ [はい] をクリックします。

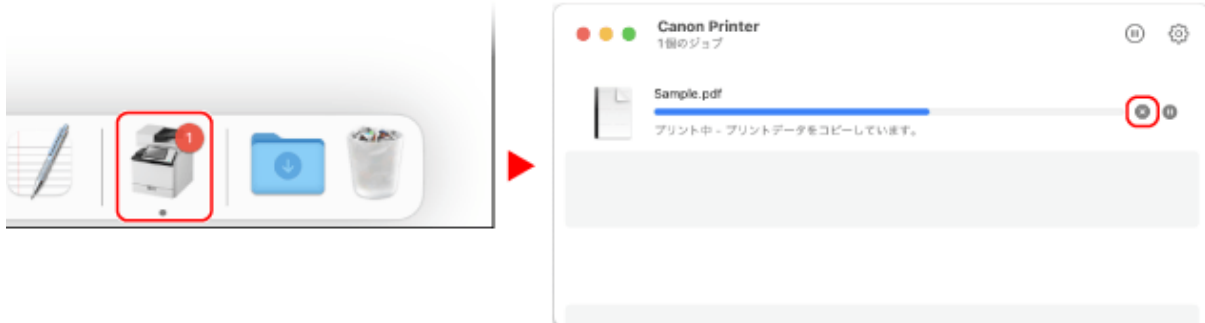


タスクトレイにプリンターアイコンが表示されていない場合や、中止する文書が表示されていない場合は、パソコンでの処理が終わってプリントデータが本機に送信されています。

その場合は、本機の操作パネルまたはリモート UI からプリントを中止します。④操作パネル／リモート UI からプリントを中止する (P. 390)

macOS の場合

Dock のプリンターアイコンをクリックし、中止する文書の [×] をクリックします。



操作パネル／リモート UI からプリントを中止する

- ④操作パネルから中止する場合 (P. 390)
- ④リモート UI から中止する場合 (P. 391)

操作パネルから中止する場合

画面の表示に従ってプリントを中止できます。

※中止の操作を行ったときに、中止するかどうかを確認する画面が表示された場合は、[はい] を押します。

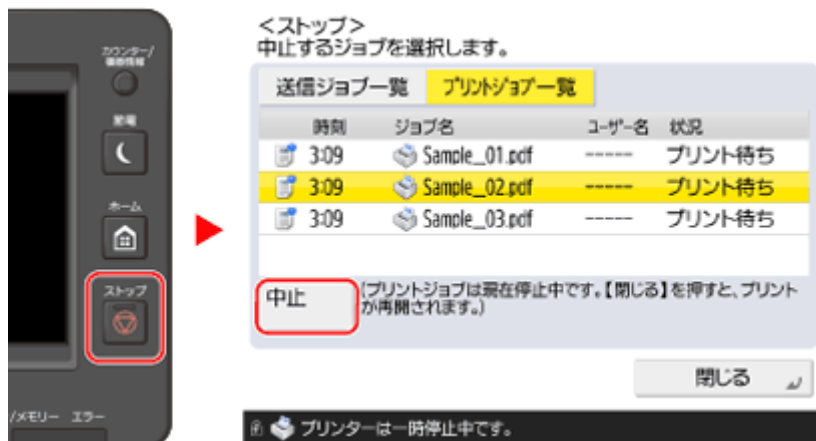
- プリント中の画面が表示されている場合は、[中止] を押します。



- プリントの画面が表示されている場合は、[プリント済み] を押し、プリントジョブの一覧から中止したいジョブを選択して、[その他の操作] ▶ [プリント中止] を押します。



- 上記の画面がいずれも表示されていない場合は、[ストップ] を押し、プリントジョブの一覧から中止したいジョブを選択して、[中止] を押します。



リモート UI から中止する場合

リモート UI の [状況確認/中止] ▶ [コピー/プリント] の [ジョブ状況] 画面で、プリントを中止できます。▶ [リモート UI で使用状況/履歴を確認する \(P. 893\)](#)

プリント状況や履歴を確認する

プリントをはじめ、本機で行われる処理はジョブとして管理されています。ジョブの状況／履歴を確認することで、正しくプリントできたかどうかや、エラーが発生している場合の原因がわかります。

※履歴を表示しないように設定されている場合は、プリント状況のみ確認できます。▶ [\[ジョブ履歴の表示\]](#) (P. 1157)

▶ [プリント状況を確認する](#) (P. 392)

▶ [履歴を確認する](#) (P. 393)

メモ

- ログインユーザーのジョブを他人が操作できないように制限できます。▶ [\[認証ユーザー以外のジョブの操作制限\]](#) (P. 1156)

プリント状況を確認する

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。▶ [リモート UI で使用状況／履歴を確認する](#) (P. 893)

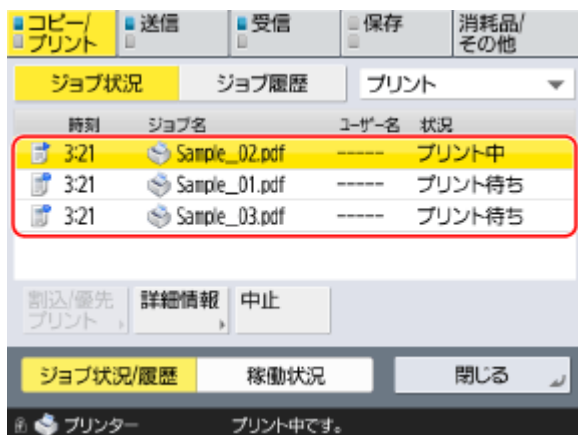
1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[\[状況確認\]](#) を押す ▶ [\[ホーム\] 画面](#) (P. 156)

→ [状況確認] 画面が表示されます。

2 [コピー/プリント] ▶ [ジョブ状況] を押す

3 画面右上のプルダウンメニューから [プリント] を選択する

4 実行中や待機中のジョブを確認する



5 詳細を確認したいジョブを選択し、[\[詳細情報\]](#) を押す

→ ジョブの詳細情報が表示されます。

6 ファイル名や用紙枚数などを確認する

- [排出] を押すと、プリントされないまま本機に残っているデータを強制的にプリントできます。
- [エラースキップ] を押すと、発生しているエラーを回避してプリントを継続できます。

メモ

待機中のジョブをすぐに実行する

- 手順 4 で、ジョブを選択して [割込/優先プリント] を押し、[割込プリント] または [優先プリント] を押します。
 - [割込プリント] を押すと、先に実行中のジョブを一時停止し、選択したジョブをすぐに実行します。
※先に実行中のジョブが割込プリントの場合は、実行中の割込プリントの終了後に、選択したジョブが実行されます。
 - [優先プリント] を押すと、選択したジョブを順番待ちの先頭にします。先に実行中のジョブの終了後に、選択したジョブが実行されます。

履歴を確認する

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。▶ [リモート UI で使用状況／履歴を確認する \(P. 893\)](#)

1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[👁️ 状況確認] を押す ▶ [ホーム] 画面 (P. 156)

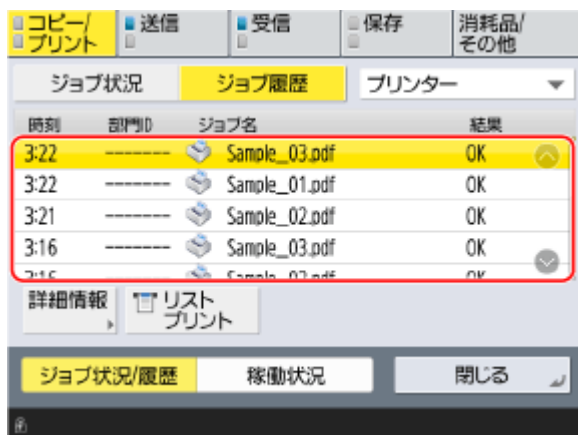
→ [状況確認] 画面が表示されます。

2 [コピー/プリント] ▶ [ジョブ履歴] を押す

3 画面右上のプルダウンメニューから [プリンター] を選択する

保存スペース（ユーザーボックスなど）のファイルをプリントしたときの履歴を確認する場合は、[ローカルプリント] を選択します。

4 プリントが完了したジョブを確認する



[リストプリント] を押すと、プリント履歴の一覧をプリントできます。

5 詳細を確認したいジョブを選択し、[詳細情報] を押す

→ ジョブの詳細情報が表示されます。

6

ファイル名やプリントページ数などを確認する

【結果】に【NG】が表示されている場合

プリントが中止されたか、エラーが発生しました。

【終了コード】に「#」で始まる3桁の番号が表示されている場合は、終了コードから、原因や対処方法を確認できます。▶**終了コードが表示された（#xxx）（P. 1493）**

スキャンする

スキャンする	396
スキャンの準備	398
スキャンして送信／保存するための準備	399
メールサーバーの情報を設定する	400
OAuth2.0 を利用してクラウドメールサーバーを使用する	403
FTP の PASV モードを設定する	408
パソコンからスキャンするための準備（Windows のみ）	409
本機を WSD スキャナーとしてパソコンに登録する	411
スキャンして送信する	412
スキャンして保存する	421
スキャンして USB メモリーに保存する	425
スキャンデータの確認やページ整理をして送信／保存する	429
スキャンデータを確認／ページ整理する - プレビュー	430
スキャンデータのセキュリティーを高める	432
パソコンからスキャンする（Windows のみ）	437
スキャンの設定	441
スキャンの画面	443
サイズ／向きの設定	445
色の設定	448
画質の調整	451
両面スキャンの設定	456
原稿に応じた設定	457
ファイル／分割の設定	461
文字が正しく OCR 処理されない	467
メール／I ファックスの設定	470
タイマー送信の設定	473
送信結果通知の設定	474
スキャンを中止する	477
スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する	479

スキャンする

EJ83-06K

スキャンとは、文書や写真などの印刷物（原稿）を読み取り、データに変換することです。変換したデータ（スキャンデータ）は、画像や PDF ファイルとして、以下の方法で送信／保存できます。

メール／共有フォルダー／ファイルサーバーに送信



スキャンデータを以下の宛先に送信します。

- メール
- パソコンの共有フォルダー
- ファイルサーバー（FTP サーバーや Windows サーバーなど）

異なる種類の宛先を同時に複数指定できます。

➡ スキャンして送信／保存するための準備 (P. 399)

➡ スキャンして送信する (P. 412)

※他機のアドバンスドボックスに送信することもできます。

※本機の設定によっては、ファクスの宛先に送信することもできます。 ➡ [ファクスファンクションの表示] (P. 967)

アドバンスドボックス／Windows サーバーに保存



スキャンデータを以下の場所に保存します。

- 他機のアドバンスドボックス
 - Windows サーバー
- ➡ スキャンして送信／保存するための準備 (P. 399)
- ➡ スキャンして保存する (P. 421)

※他機のアドバンスドボックスの詳細については、アドバンスドボックス機能を持つ複合機のマニュアルを参照してください。

USB メモリーに保存



本機に差し込んだ USB メモリーにスキャンデータを保存します。
ネットワーク接続していないパソコンや外出先でスキャンデータを利用する場合などに便利です。

- USB メモリーを利用するための準備 (P. 626)
- スキャンして USB メモリーに保存する (P. 425)

パソコンに保存（パソコンからスキャン）



本機に接続されたパソコンにスキャンデータを保存します。

- Windows
 - パソコンからスキャンするための準備（Windows のみ） (P. 409)
 - パソコンからスキャンする（Windows のみ） (P. 437)
- macOS
 - AirPrint を使用するための準備 (P. 656)
 - AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する (P. 668)
- Chrome OS
 - Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備 (P. 659)
 - Chrome OS からプリント／スキャンする (P. 676)

関連項目

スキャンデータをインターネットファクスで送信する - I ファクス

インターネットファクス（I ファクス）の仕組みを使用して、スキャンデータを送信します。
スキャンデータは、TIFF 形式の添付ファイルとしてメールで送信されます。電話回線を使用しないため、通信費を気にせずにファクスを送ることができます。送信先が I ファクスに対応している必要があります。

- インターネットファクスを使用する - I ファクス (P. 554)

スキャンの準備

EJ83-06L

スキャンするときは、スキャンデータの送信／保存方法に応じた準備が必要です。

- ① スキャンして送信／保存するための準備 (P. 399)
- ② パソコンからスキャンするための準備 (Windows のみ) (P. 409)

スキャンして送信／保存するための準備

EJ83-06R

スキャンデータの送信先／保存先に応じて、以下の準備をします。

送信先／保存先に応じた準備

メール

メール送信に使用するメールサーバーの情報を設定します。使用環境に応じて、送信前の POP 認証や SMTP 認証、暗号化通信の設定も行います。➡ [メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

共有フォルダー

スキャンデータの送信先となる共有フォルダーを用意します。

共有フォルダーは新しく作成することもできます。➡ [共有フォルダーを作成する \(P. 1557\)](#)

※送信先となる共有フォルダーの情報は、あらかじめ本機のアドレス帳に登録しておく、送信するたびに情報を入力する手間が省けます。➡ [共有フォルダーの情報をアドレス帳に登録したい \(P. 1421\)](#)

FTP サーバー

FTP サーバーと本機の間にはファイアウォールが設けられている場合は、PASV モードを設定します。➡ [FTP の PASV モードを設定する \(P. 408\)](#)

Windows サーバー

- スキャンして送信する場合は、必要な準備はありません。
- スキャンして保存する場合は、Windows サーバーの情報を設定します。➡ [ネットワーク上の他機／サーバーを利用するための準備 \(P. 623\)](#)

他機のアドバンスドボックス

- スキャンして送信する場合は、必要な準備はありません。
- スキャンして保存する場合は、アドバンスドボックスの情報を設定します。➡ [ネットワーク上の他機／サーバーを利用するための準備 \(P. 623\)](#)

USB メモリー

スキャンデータを USB メモリーに保存できるように設定します。➡ [USB メモリーを利用するための準備 \(P. 626\)](#)

宛先の登録

かんたんスキャンで送信する場合は、あらかじめ本機のアドレス帳に宛先を登録します。

詳細な設定をして送信する場合は、送信時に宛先を指定することもできますが、あらかじめ宛先を登録しておく、手間が省けます。➡ [宛先の登録 - アドレス帳 \(P. 270\)](#)

メールサーバーの情報を設定する

スキャンデータのメール送信やIファクスの送受信に使用するメールサーバーの情報を設定します。使用環境に応じて、送信前の POP 認証や SMTP 認証、暗号化通信の設定も行います。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。▶ **[E メール/I ファクス設定] (P. 1084)**

管理者権限が必要です。

必要な準備

- 以下の情報を手元に用意します。
 - 本機のメールアドレス
 - メールサーバーの設定情報（SMTP/POP3 サーバー名、ポート番号、認証の有無、認証に使用するユーザー名やパスワード、暗号化通信の情報など）
※設定情報については、プロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。使用環境によっては、パソコンのメールソフトに設定されている情報を参考にすることもできます。
- メールサーバーとの通信を暗号化する場合は、TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書を指定します。▶ **[TLS を使用する (P. 777)]**
- SMTP 認証を使用する場合は、SMTP サーバーアクセス時の認証方式を設定します。▶ **[SMTP サーバー認証で使用する情報] (P. 1061)**

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶ **[リモート UI を起動する (P. 887)]**

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶ **[リモート UI のポータル画面 (P. 890)]**

3 [送信] ▶ [ネットワーク設定-E メール/I ファクス設定] をクリックする

→ [ネットワーク設定-E メール/I ファクス設定] 画面が表示されます。

4 メールサーバーの基本情報を入力する

[SMTP 受信]

本機を SMTP サーバーとしてメール（通信時のエラーメール）やIファクスを受信する場合は、チェックマークを付けます。

※SMTP 受信するには、本機のホスト名を DNS サーバーに登録する必要があります。

[POP 受信]

POP3 サーバーを使用してメール（通信時のエラーメール）やIファクスを受信する場合は、チェックマークを付けます。

[SMTP サーバー]

メールやIファクスの送信に使用する SMTP サーバー名（ホスト名または IP アドレス）を、半角英数字で入力します。

入力例：ホスト名の場合

smtp.example.com

[E メールアドレス]

本機のメールアドレスを半角英数字で入力します。

[POP サーバー]

POP3 サーバーを使用してメールやIファクスを受信する場合や、送信前の POP 認証（POP before SMTP）を使用する場合は、POP3 サーバー名（ホスト名または IP アドレス）を半角英数字で入力します。

入力例：ホスト名の場合

pop.example.com

[POP ログイン名]

POP3 サーバーを使用する場合は、POP3 サーバーの認証で使用するユーザー名を半角英数字で入力します。

[POP パスワード] / [確認入力]

POP3 サーバーを使用する場合は、POP3 サーバーの認証で使用するパスワードを両方に入力します。

[POP 発行間隔]

POP3 サーバーへ自動的に接続してメールやIファクスを受信する間隔を入力します。

自動で受信しない場合は [0] を入力します。その場合は、手動でメールやIファクスを受信する必要があります。 ➤

I ファクスを受信する (P. 558)

5

使用環境に合わせて、SMTP や POP3 のポート番号を変更する

メールサーバーのポート番号が SMTP 「25」、POP3 「110」 以外の場合は、[SMTP 送信/POP 受信のポート番号指定] で SMTP や POP3 のポート番号を変更します。

6

使用環境に合わせて、メール/I ファクス送受信時の認証や暗号化の設定をする

送信前の POP 認証（POP before SMTP）や POP サーバーとの暗号化通信を設定する場合

[TLS を許可する(POP)]

POP3 サーバーとの通信を暗号化する場合は、チェックマークを付けます。

[POP 認証方式]

POP3 サーバーの認証方式を選択します。

- 認証時にパスワードを暗号化する場合は、[APOP] を選択します。
- サーバーと認証プロトコルの交換を行ってから認証する場合は、[POP AUTH] を選択します。

[送信前の POP 認証する]

送信前の POP 認証（POP before SMTP）を使用する場合は、チェックマークを付けます。

[POP 受信時に証明書を確認する]

POP3 サーバーとの TLS 暗号化通信時に、サーバー証明書を検証する場合は、チェックマークを付けます。検証項目に CN（Common Name）を追加する場合は、[CN を検証項目に追加する] にもチェックマークを付けます。

SMTP 認証や SMTP サーバーとの暗号化通信を設定する場合

[TLS を許可する(SMTP 送信)]

SMTP サーバーとの通信を暗号化する場合は、チェックマークを付けます。

[SMTP 認証(SMTP AUTH)する]

SMTP 認証を使用する場合は、チェックマークを付けます。

SMTP サーバーアクセス時の認証方式に応じて、以下のとおり設定します。

- 本機の設定として登録した認証情報を使用する場合

- [ユーザー名]：認証に使用するユーザー名を入力します。
- [パスワード] / [確認入力]：認証に使用するパスワードを両方に入力します。
- [送信時に認証画面を表示する]：チェックマークを外します。

- サーバーアクセス時（送信時）に認証情報を入力する場合

- [ユーザー名]：必要に応じて、認証に使用するユーザー名を入力します。^{*1}
- [パスワード] / [確認入力]：必要に応じて、認証に使用するパスワードを両方に入力します。^{*1}
- [送信時に認証画面を表示する]：チェックマークを付けます。

^{*1} 入力したユーザー名とパスワードが設定された状態で認証画面が表示されます。

- ユーザーごとに登録した認証情報を使用する場合

[送信時に認証画面を表示する] のチェックマークを外します。

※転送時は、SMTP サーバーアクセス時の認証方式の設定にかかわらず、本機の設定として登録した認証情報（ここで設定したユーザー名とパスワード）を使用します。

[SMTP 送信時に証明書を確認する]

SMTP サーバーとの TLS 暗号化通信時に、サーバー証明書を検証する場合は、チェックマークを付けます。検証項目に CN（Common Name）を追加する場合は、[CN を検証項目に追加する] にもチェックマークを付けます。

[TLS を許可(SMTP 受信)]

本機を SMTP サーバーとしてメールや I フォックスを受信するときに、通信を暗号化する場合は、[常に TLS] または [ON] を選択します。暗号化された通信のみを受信したい場合は、[常に TLS] を選択します。

7

[OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

[SMTP 接続確認] や [POP 接続確認] をクリックすると、設定した内容で SMTP/POP3 サーバーと通信できるか確認できます。

8

リモート UI からログアウトする

OAuth2.0 を利用してクラウドメールサーバーを使用する

EJ83-06U

OAuth2.0 を利用して、Microsoft のクラウドサービスである「Microsoft Exchange Online」および Google のクラウドサービスである「Google Workspace」を使用するための設定をします。

🔗 OAuth2.0 認証 (Microsoft) の設定をする (P. 403)

🔗 OAuth2.0 認証 (Google) の設定をする (P. 404)

OAuth2.0 認証 (Microsoft) の設定をする

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- 本機の日付と時刻が正しく設定されていることを確認します。🔗 **日付／時刻を設定する (P. 870)**
※OAuth2.0 認証の設定をしたあとに、日付／時刻の設定を変更した場合は、OAuth2.0 認証設定をやりなおします。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗 **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗 **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [送信] ▶ [OAuth 2.0(Microsoft)の設定] をクリックする
→ [OAuth 2.0(Microsoft)の設定] 画面が表示されます。
- 4 [基本設定] の [編集] をクリックする
→ [基本設定の編集] 画面が表示されます。
- 5 [OAuth 2.0(Microsoft)を使用する] にチェックマークを付ける
- 6 サーバーとの TLS 暗号化通信時に、証明書を検証するかどうかを設定する
 - 証明書を検証する場合は、[サーバー証明書を検証する] にチェックマークを付けます。
 - 検証項目に CN (Common Name) を追加する場合は、[CN を検証項目に追加する] にもチェックマークを付けます。
- 7 [Microsoft Entra ID 認可サーバーのエンドポイント] に以下の URL を入力する

<https://login.microsoftonline.com/<テナント名>/oauth2/v2.0>

本機の使用環境に応じて、<テナント名>には common/consumers/organizations のいずれかを入力します。

8 [OK] をクリックする

→ [OAuth 2.0(Microsoft)の設定] 画面に戻ります。

9 数秒待ってから、[↺] をクリックする



10 [サーバーの接続状況] に [成功] と表示されていることを確認する

11 [Microsoft Entra ID 認可サーバーのエンドポイント] に表示されているリンクをクリックし、画面の指示に従って認可処理をする

- [メッセージ] の指示に従い、表示された [ユーザーコード] を入力します。
- [ユーザーコードの有効期限] に表示されている期限内に認可処理を行います。

12 数分待ってから、[↺] をクリックする

13 [トークンの稼働状況] に [稼働中] と表示されていることを確認する

14 リモート UI からログアウトする

メモ

- OAuth2.0 を使用しない設定に変更したあとに、再度使用する場合は、手順 1 から OAuth2.0 認証設定をやりなおします。

OAuth2.0 認証 (Google) の設定をする

- ① Step 1 : Google Workspace で認証クライアントの設定をする (P. 405)
- ② Step 2 : 本機で OAuth 2.0(Google)の設定をする (P. 406)

必要な準備

- 本機の日付と時刻が正しく設定されていることを確認します。📍**日付／時刻を設定する (P. 870)**

※OAuth2.0 認証の設定をしたあとに、日付／時刻の設定を変更した場合は、OAuth2.0 認証設定をやりなおします。

Step 1：Google Workspace で認証クライアントの設定をする

以下の手順で、認証クライアントの設定を行います。

サービスの更新などによって、設定方法が変更されることがあります。詳しくは、Google Cloud のマニュアルを参照してください。

1 Google Cloud に Google Workspace 管理者アカウントでログインし、新規プロジェクトを作成する

プロジェクトの作成方法は Google Cloud のマニュアルを参照してください。

2 Gmail API サービスを有効にする

1. 作成したプロジェクトを表示し、[API とサービス] を選択する
→ [API とサービス] 画面が表示されます。
2. [有効な API とサービス] ▶ [Gmail API] をクリックする

3 OAuth 同意画面の設定をする

1. [API とサービス] 画面で、[OAuth 同意画面] をクリックする
→ [OAuth 同意画面] が表示されます。
2. [内部] を選択し、[作成] をクリックする
→ [アプリ登録の編集] 画面が表示されます。
3. [アプリ名] ／ [ユーザーサポートメール] ／ [デベロッパーの連絡先情報] を設定する
[アプリ名] に任意の名前を入力し、[ユーザーサポートメール] ／ [デベロッパーの連絡先情報] にお客様の情報を入力します。
4. [保存して次へ] をクリックする
5. [スコープを追加または削除] をクリックする
6. Gmail API (<https://mail.google.com/>) にチェックマークを付け、[更新] をクリックする
7. 設定内容を確認し、[保存して次へ] をクリックする

4 アクセス認証情報を設定する

1. [API とサービス] 画面で、[認証情報] をクリックする
→ [認証情報] が表示されます。
2. [認証情報を作成] の [OAuth クライアント ID] をクリックする
→ [OAuth クライアント ID の作成] 画面が表示されます。
3. [アプリケーションの種類] で [デスクトップアプリ] を選択し、[名前] に OAuth2.0 クライアントの任意の名前を入力する

4. [作成] をクリックする

→ [クライアント ID] と [クライアントシークレット] が生成されます。

Step 2：本機で OAuth 2.0(Google)の設定をする

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする [▶ リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [▶ リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [送信] [▶](#) [OAuth 2.0(Google)の設定] をクリックする
→ [OAuth 2.0(Google)の設定] 画面が表示されます。
- 4 [基本設定] の [編集] をクリックする
→ [基本設定の編集] 画面が表示されます。
- 5 [OAuth 2.0(Google)を使用する] にチェックマークを付ける
- 6 サーバーとの TLS 暗号化通信時に、証明書を検証するかどうかを設定する
 - 証明書を検証する場合は、[サーバー証明書を検証する] にチェックマークを付けます。
 - 検証項目に CN (Common Name) を追加する場合は、[CN を検証項目に追加する] にもチェックマークを付けます。
- 7 [クライアント ID] と [クライアントシークレット] を入力し、[OK] をクリックする
→ [OAuth 2.0(Google)の設定] 画面に戻ります。

Google Workspace で取得したクライアント ID とクライアントシークレットを入力します。詳細については、Google Workspace のホームページを参照してください。

8 数秒待ってから、[↻] をクリックする



9 [認可情報] の [登録] をクリックする

→ [認可情報の登録] 画面が表示されます。

10 [Google 認可サーバー用 URL] に表示されているリンクをクリックし、画面の指示に従って認可処理をする

[認可コード] には、認可処理時のエラー画面に表示される URL の<認可コード>部分を入力します。

```
https://xxxxxxxxx&code=<認可コード>&scope=xxxxxxxxx
```

11 [OK] をクリックする

→ [OAuth 2.0(Google)の設定] 画面に戻ります。

12 数分待ってから、[↻] をクリックする

13 [トークンの稼働状況] に [稼働中] と表示されていることを確認する

14 リモート UI からログアウトする

メモ

- OAuth2.0 を使用しない設定に変更したあとに、再度使用する場合は、Step 2 の設定をやりなおします。 ➡ **Step 2: 本機で OAuth 2.0(Google)の設定をする (P. 406)**

FTP の PASV モードを設定する

EJ83-06W

PASV モードは FTP の通信モードのひとつです。FTP サーバーと本機の間にはファイアウォールが設けられている場合は、PASV モードを設定する必要があります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。  **[FTP の PASV モードを使用] (P. 994)**

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- FTP サーバー側で PASV モードが設定されていることを確認します。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ネットワーク] ▶ [FTP の PASV モード設定] をクリックする
→ [FTP の PASV モード設定] 画面が表示されます。
- 4 [FTP の PASV モードを使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする
→ 設定が反映されます。
- 5 リモート UI からログアウトする

パソコンからスキャンするための準備（Windowsのみ）

EJ83-06X

付属のスキナードライバー「Color Network ScanGear 2」を使用して、画像処理ソフトや文書作成ソフトなど、TWAIN^{*1} または WIA^{*2} に対応しているアプリケーション^{*3} からスキャンできるようにします。
スキャンデータを保存するパソコンごとに、以下の準備をします。

^{*1} TWAIN はスキャナーなどの画像入力機器とパソコンを接続するための規格です。

^{*2} WIA は Windows に標準搭載されている機能です。

^{*3} 使用するアプリケーションが TWAIN/WIA に対応しているかについては、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

🔵 Step 1：パソコンにドライバーをインストールする (P. 409)

🔵 Step 2：パソコンで本機を登録する (P. 409)

メモ

- スキャナードライバーをインストールすることなく、スキャンすることもできます。🔵 Mopria®を使用してプリント／スキャンする (P. 667)

Step 1：パソコンにドライバーをインストールする

スキャンデータを保存するパソコンに、Color Network ScanGear 2 をインストールします。🔵 [パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール \(P. 140\)](#)

Step 2：パソコンで本機を登録する

スキャンデータを保存するパソコンで、本機を登録します。

1

[

→ Color Network ScanGear 2 Tool が起動し、[スキャナーの選択] 画面が表示されます。

2

本機を指定する

IP アドレスまたはホスト名を入力して指定する場合

[アドレスを指定] を選択し、本機の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

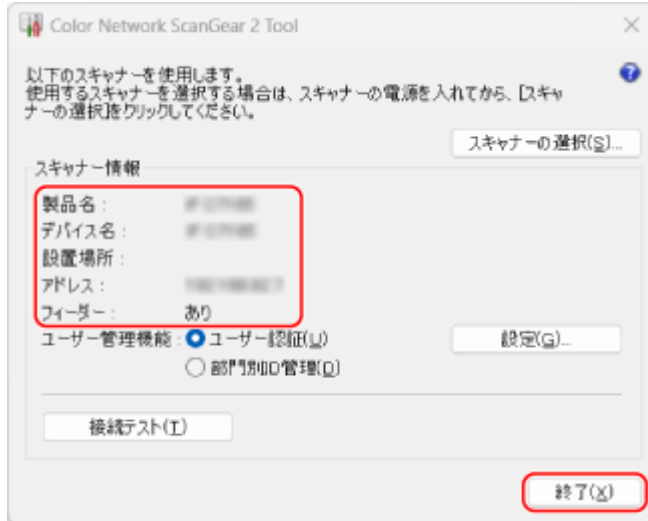
検索して指定する場合

1. [ネットワーク上のスキャナーを探索] を選択する
2. [探索結果のアドレス表示] で、[IP アドレス] または [IP アドレスまたはホスト名] を選択し、[探索] をクリックする
3. [探索結果] の一覧で、本機を選択する

3 [OK] をクリックする

→ [Color Network ScanGear 2 Tool] 画面が表示されます。

4 本機が選択されていることを確認し、[終了] をクリックする



- ユーザー管理機能が有効な場合は、[ユーザー認証] または [部門別 ID 管理] を選択し、[設定] をクリックしてユーザー管理情報を設定します。▶ [パソコンにユーザー管理情報を設定する \(P. 741\)](#)
- [接続テスト] をクリックすると、本機に接続できるかどうかを確認できます。

本機を WSD スキャナーとしてパソコンに登録する

EJ83-06Y

スキャンデータを保存するパソコンごとに、本機を WSD スキャナーとして登録します。

- 1 パソコンで、[] (スタート) ▶ [] (設定) ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

→ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

- 2 [プリンターまたはスキャナーを追加します] の [デバイスの追加] をクリックする

→ プリンターの一覧が表示されます。

- 3 本機の [デバイスの追加] をクリックする

→ パソコンに本機が登録されます。

メモ

プリンターの一覧に本機が表示されない場合

- ファイアウォールの設定など、パソコンのネットワーク設定に問題がある可能性があります。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

スキャンして送信する

EJ83-070



原稿をスキャンして、スキャンデータを以下の宛先に送信します。

- メール
- パソコンの共有フォルダー
- ファイルサーバー（FTP サーバーや Windows サーバーなど）

異なる種類の宛先を同時に複数指定できます。

たとえば、メールアドレスと共有フォルダーの宛先を同時に指定してスキャンデータを送信することで、「メールで送信したデータを、共有フォルダーにも同時に送信してバックアップする」といった使いかたもできます。

原稿をスキャンして送信するには、かんたんスキャンで送信する方法と詳細な設定をして送信する方法の2種類があります。かんたんスキャンでは、宛先の指定や、カラー設定などの基本的な機能をボタン操作で簡単に設定できます。

①かんたんスキャンで送信する (P. 412)

②詳細な設定をして送信する (P. 417)

メモ

- 詳細な設定をして送信する場合は、以下の宛先にも送信することができます。
 - 他機のアドバンスドボックス
 - ファクスの宛先 ➡ **【ファクスファンクションの表示】 (P. 967)**

かんたんスキャンで送信する

必要な準備

- スキャンデータの送信先に応じて準備をします。 ➡ **スキャンして送信／保存するための準備 (P. 399)**

1

原稿をセットする ➡ **原稿のセット方法 (P. 196)**

原稿の厚さを選択する画面が表示された場合は、セットした原稿の厚さを選択します。

2

操作パネルの [ホーム] 画面で、[かんたんスキャン] を押す ➡ **【ホーム】画面 (P. 156)**

➔ かんたんスキャンの画面が表示されます。

3 宛先を指定する



- ログインユーザーのメールアドレスを宛先に指定する場合は、[自分にメールを送る] を押します。
- ログインユーザー専用のフォルダー（マイフォルダー）を宛先に指定する場合は、[マイフォルダーに送る] を押します。
 ※ [マイフォルダーに送る] は [マイフォルダー指定方法] が [ホームフォルダー] または [ログインサーバーで管理] に設定されている場合のみ表示されます。▶ **【マイフォルダー指定方法】 (P. 1081)**
 ※ [マイフォルダーに送る] が表示されない場合は、[スキャンして送信] からマイフォルダーを宛先に指定して送信します。▶ **【詳細な設定をして送信する (P. 417)**
- アドレス帳から宛先を指定する場合は、[アドレス帳から選んで送る] を押して送信先のアドレスを選択します。

複数の宛先を指定する

宛先表示エリアの [追加] を押し、追加する宛先を選択します。



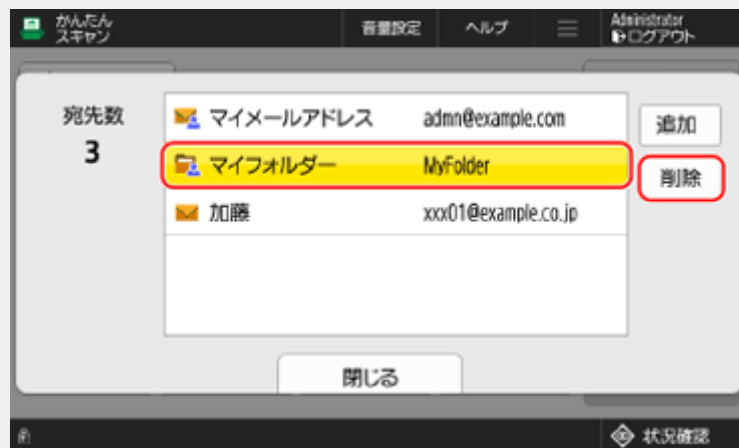
一度に指定できる宛先数は、最大 10 件です。

指定した宛先を削除する場合

1. 宛先表示エリアを押す



2. 削除したいアドレスを選択し、[削除] を押す



3. [閉じる] を押す

4 スキャンの設定をする



設定の変更を取り消して初期設定に戻したい場合は、[リセット] を押します。
※解像度の設定は変更できません。

スキャンするときの色を選択する
色の設定ボタンを押し、色を選択します。



[おまかせカラー]

原稿の色を自動で判別します。カラー原稿はカラーで、白黒原稿はグレースケールでスキャンします。
※原稿の端のみがカラーの場合など、カラー原稿の状態によっては、白黒原稿として判別されることがあります。その場合は、[カラー] を選択します。

[カラー]

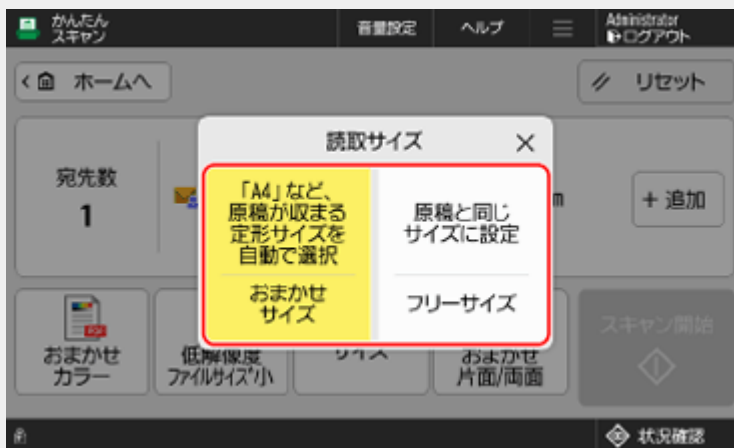
原稿の色にかかわらず、カラーでスキャンします。
※ [カラー] に設定した場合は、白黒原稿もカラーでスキャンとしてカウントされます。

[白黒]

原稿の色にかかわらず、白から黒までの濃淡でスキャンします。

読取サイズを設定する

読取サイズの設定ボタンを押して、読取サイズを選択します。
※原稿サイズを指定することはできません。



[おまかせサイズ]

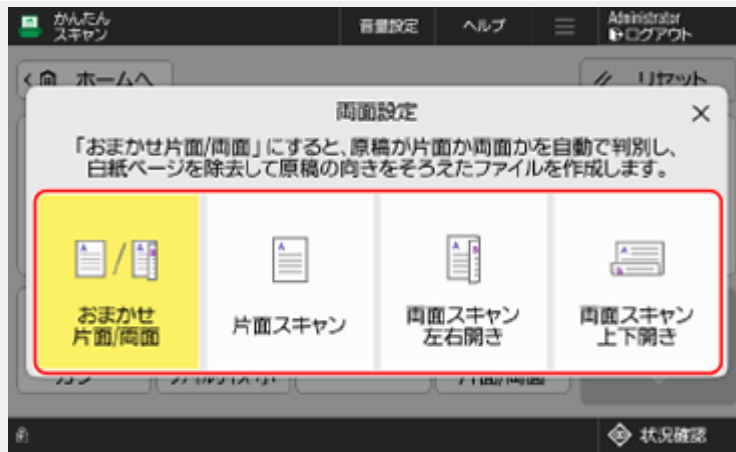
原稿サイズを自動検知する場合に選択します。

[フリーサイズ]

定形外サイズの原稿をスキャンする場合に選択します。
※ [フリーサイズ] に設定した場合は、原稿をセットする場所がフィーダーに限定されます。

原稿の両面をスキャンする

両面スキャンの設定ボタンを押し、片面／両面を選択します。



〔おまかせ片面/両面〕

以下の内容で原稿をスキャンします。

- 原稿が片面か両面かを自動で判別します。
- スキャン時に白紙と判定したページは自動削除（スキップ）されます。
- スキャン時に OCR 処理を行って、テキスト検索が可能な PDF（サーチャブル PDF）ファイルを作成します。
- ファイル作成時に判断された文字の向きによって、原稿の向きをそろえたファイルを作成します。

〔片面スキャン〕

両面原稿を片面ずつスキャンします。

〔両面スキャン左右開き〕

原稿のおモテ面とウラ面の上下が同じ向きの場合に選択します。

〔両面スキャン上下開き〕

原稿のおモテ面とウラ面の上下が反対向きの場合に選択します。

原稿の先頭にある文字列を抽出してファイル名にする場合

〔かんたんスキャン〕の画面で  ▶ 〔文字認識結果をファイル名に使用する〕を〔ON〕に設定します。

- 両面スキャンの設定で〔おまかせ片面/両面〕が設定されている場合にのみ有効です。
- ファイル名として抽出する文字数を変更できます。 [🔗【OCR \(文字認識\) 設定】 \(P. 1057\)](#)
- 〔文字認識結果をファイル名に使用する〕を有効にしたときのファイル名は、以下には反映されません。
 - 画面下部のステータス表示部に表示される送信状況 [🔗【ホーム】画面 \(P. 156\)](#)
 - 送信結果レポート [🔗送信結果レポートをプリントする \(P. 475\)](#)
 - 送信エラーになった場合の送信履歴 [🔗スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する \(P. 479\)](#)

5

〔 スキャン開始〕を押す

→ 原稿のスキャンが開始されます。

- スキャンを中止したい場合は、〔中止〕 [▶](#) 〔はい〕を押します。 [🔗スキャンを中止する \(P. 477\)](#)
- 原稿のスキャンが完了すると、スキャンデータが送信されます。〔 状況確認〕から送信状況や履歴を確認できます。 [🔗スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する \(P. 479\)](#)

〔次の原稿読込〕と表示された場合

原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンした場合は、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。

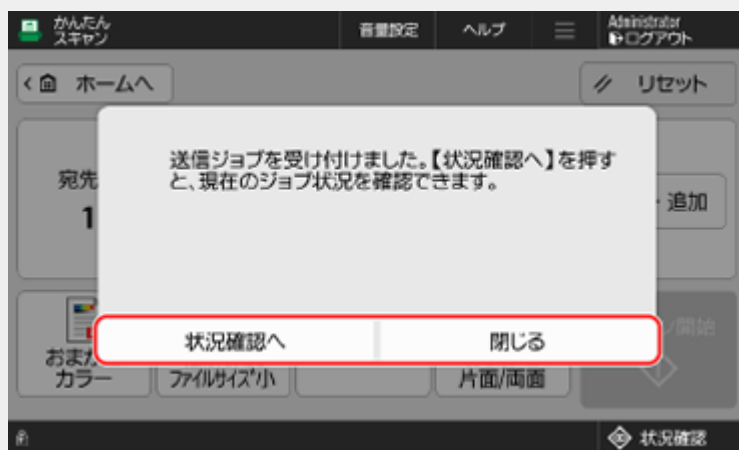
1. 続きの原稿がある場合は、次の原稿をセットし、[次の原稿読込] を押す
→ 次の原稿がスキャンされ、同じ画面が表示されます。
すべての原稿のスキャンが完了するまで、この操作を繰り返します。
2. [送信開始] を押す
→ スキャンデータが送信されます。

ユーザー名とパスワードの入力／確認画面が表示された場合
表示された画面に従って、ユーザー名とパスワードを入力／確認します。

[状況確認へ] が表示された場合

送信状況や履歴を確認する場合は、[状況確認へ] を押します。▶ **スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する (P. 479)**

[閉じる] を押すと、かんたんスキャンの画面に戻ります。



メモ

原稿が重なってスキャンされて中断された場合 - 重送検知

- 画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、つまっている原稿を取り除きます。▶ **紙／ホチキス針がつまった (P. 1518)**
つまっている原稿が取り除かれると、再開画面が表示されます。
誤って重送と検知された場合は、[重送検知しない] を押してスキャンを再開します。
- 重送検知ないように初期設定を変更する ▶ **[フィーダー重送検知のデフォルト設定] (P. 1054)**

※機種によっては、重送検知は、オプションのドキュメントフィーダー用重送検知キット・Aの装着が必要です。

詳細な設定をして送信する

必要な準備

- スキャンデータの送信先に応じて準備をします。▶ **スキャンして送信／保存するための準備 (P. 399)**

1 原稿をセットする ▶ **原稿のセット方法 (P. 196)**

原稿の厚さを選択する画面が表示された場合は、セットした原稿の厚さを選択します。

2 操作パネルの「ホーム」画面で、「スキャンして送信」を押す ➤ 「ホーム」画面 (P. 156)

→ スキャンの画面が表示されます。

3 宛先を指定する ➤ 宛先の指定 (P. 313)

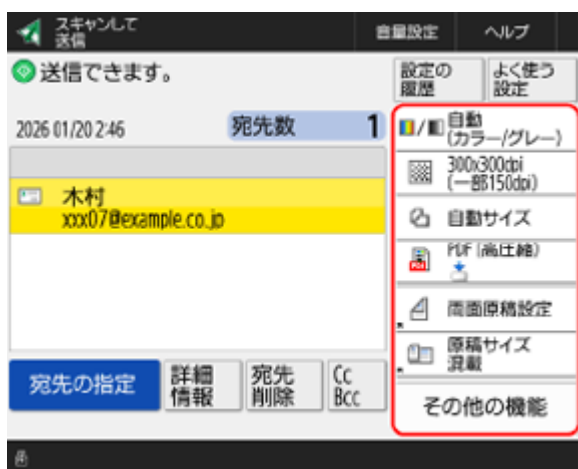


- ログインユーザー専用のフォルダー（マイフォルダー）を宛先に指定する場合は、「マイフォルダー」を押します。
- ログインユーザーのメールアドレスを宛先に指定する場合は、「自分へ送信」を押します。

メールアドレスを Cc/Bcc の宛先として指定する場合

1. 「Cc Bcc」を押す
2. 「Cc」または「Bcc」を押す
3. 「宛先の指定」を押し、宛先を指定する ➤ 宛先の指定 (P. 313)
指定済みの宛先の種別 (To/Cc/Bcc) を変更する場合は、「To/Bcc から移動」または「To/Cc から移動」を押し、Cc/Bcc に変更する宛先を指定して、「OK」を押します。
4. 「OK」を押す

4 スキャンの設定をする ➤ スキャンの設定 (P. 441)



「よく使う設定」を登録している場合は、「よく使う設定」を押して呼び出すことができます。 ➤ 「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)

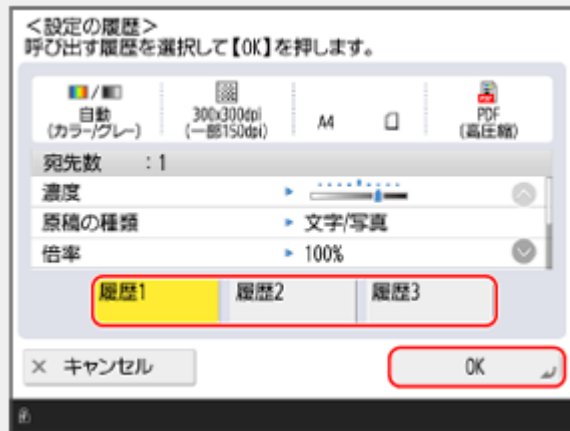
過去の設定を呼び出す場合 - 設定履歴

「設定の履歴」を押すと、過去にスキャンデータを送信したときの設定を呼び出すことができます。送信したときの宛先も、設定と併せて反映されます。

設定履歴を呼び出すと、指定済みの宛先とスキャン設定は上書きされます。

※宛先をアクセス番号で管理している場合は、設定履歴は使用できません。▶ **一部の宛先を非表示にする - アクセス番号管理 (P. 838)**

〔設定の履歴〕画面で、呼び出したい履歴を選択し、〔OK〕を押します。



- 呼び出した宛先とスキャン設定は、変更して送信できます。
- ログインユーザーごとの設定履歴を選択できます。
ログインしていない場合やゲストユーザーの場合は、未認証ユーザー共通の設定履歴を選択できます。
- 新規宛先の入力制限されたときは、制限された宛先の種類にかかわらず、設定履歴が消去されます。▶ **登録済みの宛先のみを送信できるようにする (P. 809)**

5

〔 スタート〕を押す

→ 原稿のスキャンが開始されます。

- スキャンを中止したい場合は、〔中止〕▶〔はい〕を押します。▶ **スキャンを中止する (P. 477)**
- 原稿のスキャンが完了すると、スキャンデータが送信されます。〔 状況確認〕から送信状況や履歴を確認できます。▶ **スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する (P. 479)**

〔〔スタート〕キーで次の原稿を読み込みできます。〕と表示された場合

原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンした場合や、連続読込を設定してスキャンした場合は、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。

1. 続きの原稿がある場合は、次の原稿をセットし、〔 スタート〕を押す

→ 次の原稿がスキャンされ、同じ画面が表示されます。

すべての原稿のスキャンが完了するまで、この操作を繰り返します。

原稿をフィーダーにセットしてスキャンした場合は、スキャンが完了した原稿（原稿排紙トレイに排出された原稿）を取り除いてから、次の原稿をセットします。

原稿ごとにスキャンの設定を変更する場合

メッセージが表示された画面で、〔設定変更〕を押します。以下の設定を変更できます。

- 〔カラー選択〕
- 〔読取サイズ〕
- 〔両面原稿〕
- 〔濃度〕
- 〔原稿の種類〕

たとえば、片面原稿をスキャンしたあとに両面原稿をスキャンする場合は、[設定変更] を押して [両面原稿] を設定します。

2. [送信開始] を押す

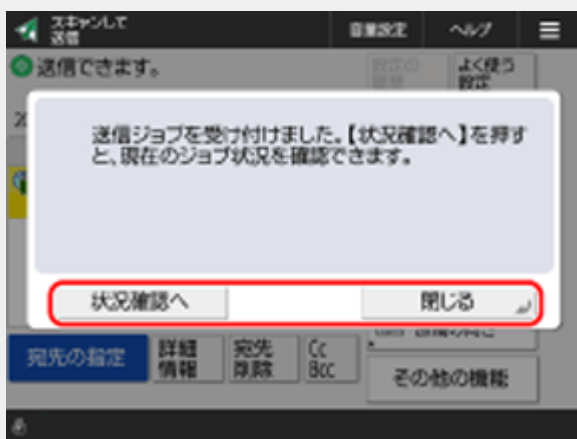
→ スキャンデータが送信されます。

ユーザー名とパスワードの入力／確認画面が表示された場合
表示された画面に従って、ユーザー名とパスワードを入力／確認します。

[状況確認へ] が表示された場合

送信状況や履歴を確認する場合は、[状況確認へ] を押します。▶ **スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する (P. 479)**

[閉じる] を押すと、スキャンの画面に戻ります。



原稿が重なってスキャンされて中断された場合 - 重送検知

- 画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、つまっている原稿を取り除きます。▶ **紙／ホチキス針が詰まった (P. 1518)**
つまっている原稿が取り除かれると、再開画面が表示されます。
誤って重送と検知された場合は、[重送検知しない] を押してスキャンを再開します。
- 重送が検知されないようにするには、以下のいずれかの設定をします。
 - スキャンするたびに、スキャンの画面の [その他の機能] ▶ [フィーダー重送検知] を押して、重送検知の設定を解除する
 - 重送検知しないように初期設定を変更する ▶ **[フィーダー重送検知のデフォルト設定] (P. 1054)**

※機種によっては、重送検知は、オプションのドキュメントフィーダー用重送検知キット・A の装着が必要です。

送信前にプレビュー画面で内容を確認する

- スキャンデータの送信前にプレビュー画面を表示し、内容を確認してから送信できます。プレビュー画面上でページの順番を変更したり、ページを削除したりすることもできます。▶ **スキャンデータを確認／ページ整理する - プレビュー (P. 430)**

スキャンデータのセキュリティを高める

- PDF ファイルを暗号化したり、PDF/XPS ファイルに電子署名を付けたりして、セキュリティを高めることができます。▶ **スキャンデータのセキュリティを高める (P. 432)**

スキャンして保存する

EJ83-071



原稿をスキャンして、スキャンデータを以下の場所に保存します。

- 他機のアドバンスドボックス
- Windows サーバー

本機の操作パネルで保存先を表示して保存するため、保存先を確認してから保存することができます。

他機のアドバンスドボックスや Windows サーバーに保存する場合は、本機の操作パネルで保存先のフォルダーを作成したり、フォルダー名を変更したりしてから保存することもできます。

※他機のアドバンスドボックスの詳細については、アドバンスドボックス機能を持つマニュアルを参照してください。

必要な準備

- スキャンデータの保存先に応じて準備をします。▶ [スキャンして送信／保存するための準備 \(P. 399\)](#)

1 原稿をセットする ▶ [原稿のセット方法 \(P. 196\)](#)

原稿の厚さを選択する画面が表示された場合は、セットした原稿の厚さを選択します。

2 操作パネルの [ホーム] 画面で、[スキャンして保存] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ 保存先の種類を選択する画面が表示されます。

3 保存先を表示する

他機のアドバンスドボックスまたは Windows サーバーに保存する場合

1. [ネットワーク] を押す

2. 保存先の他機／サーバーを選択する



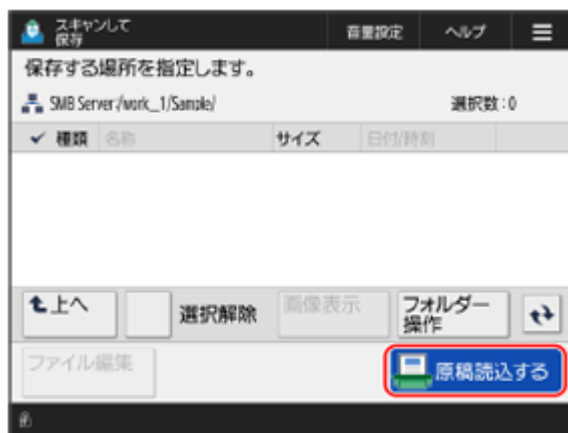
- ログインユーザー専用のフォルダー（マイフォルダー）に直接アクセスして保存する場合は、[マイフォルダー] を選択します。
- [ストレージ情報確認] を押し、接続先を選択して [詳細情報] を押すと、接続先のプロトコルやパスを確認できます。
- ログイン画面が表示された場合は、接続先の他機／サーバーにログインするためのユーザー名とパスワードを入力し、[OK] を押します。

3. 保存先のフォルダーを表示する

保存先のフォルダーを作成することもできます。▶ [ネットワーク／メモリーメディア] ファイル選択画面 (P. 643)

4

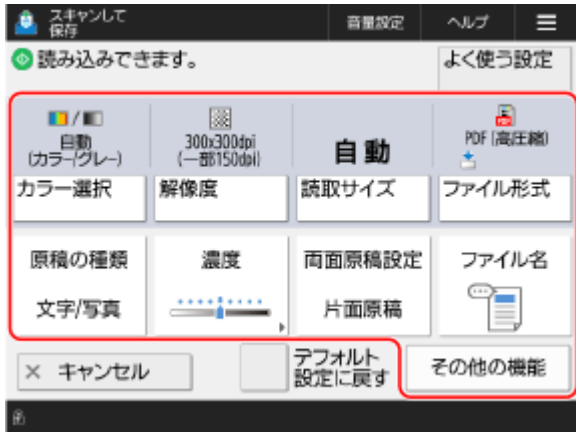
[原稿読込する] を押す



→ スキャンの画面が表示されます。

- 画面左上に、保存先のアイコンと階層が表示されます。
[] : 他機のアドバンスドボックスまたは Windows サーバー

5 スキャンの設定をする ▶ スキャンの設定 (P. 441)



- 保存先を選択しなおしたい場合は、画面左下の「キャンセル」を押します。
- 「よく使う設定」を登録している場合は、「よく使う設定」を押して呼び出すことができます。▶「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)
- 設定の変更を取り消して初期設定に戻したい場合は、「デフォルト設定に戻す」を押します。

6 [スタート] を押す

→ 原稿のスキャンが開始されます。

- スキャンを中止したい場合は、[中止] ▶ [はい] を押します。▶ スキャンを中止する (P. 477)
- 原稿のスキャンが完了すると、スキャンデータが保存されます。[状況確認] から保存状況や履歴を確認できます。▶ スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する (P. 479)

[[スタート] キーで次の原稿を読み込みできます。] と表示された場合

原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンした場合や、連続読込を設定してスキャンした場合は、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。

1. 続きの原稿がある場合は、次の原稿をセットし、[スタート] を押す

→ 次の原稿がスキャンされ、同じ画面が表示されます。

すべての原稿のスキャンが完了するまで、この操作を繰り返します。

原稿をフィーダーにセットしてスキャンした場合は、スキャンが完了した原稿（原稿排紙トレイに排出された原稿）を取り除いてから、次の原稿をセットします。

原稿ごとにスキャンの設定を変更する場合

メッセージが表示された画面で、「設定変更」を押します。以下の設定を変更できます。

- [カラー選択]
- [読取サイズ]
- [両面原稿]
- [濃度]
- [原稿の種類]

たとえば、片面原稿をスキャンしたあとに両面原稿をスキャンする場合は、「設定変更」を押して「両面原稿」を設定します。

2. [保存開始] を押す

→ スキャンデータが保存されます。

重要

アドバンスドボックスまたは Windows サーバーにログインして操作した場合

- 操作が終わったら、必ず [接続解除] または [ログアウト] を押してログアウトします。

メモ

原稿が重なってスキャンされて中断された場合 - 重送検知

- 画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、つまっている原稿を取り除きます。🔵 **紙／ホチキス針がつまった (P. 1518)**
つまっている原稿が取り除かれると、再開画面が表示されます。
誤って重送と検知された場合は、[重送検知しない] を押してスキャンを再開します。
- 重送が検知されないようにするには、以下のいずれかの設定をします。
 - スキャンするたびに、スキャンの画面の [その他の機能] ▶ [フィーダー重送検知] を押して、重送検知の設定を解除する
 - 重送検知しないように初期設定を変更する 🔵 **[フィーダー重送検知のデフォルト設定] (P. 1054)**

※機種によっては、重送検知は、オプションのドキュメントフィーダー用重送検知キット・A の装着が必要です。

保存前にプレビュー画面で内容を確認する

- スキャンデータの保存前にプレビュー画面を表示し、内容を確認してから保存できます。プレビュー画面上でページの順番を変更したり、ページを削除したりすることもできます。🔵 **スキャンデータを確認／ページ整理する - プレビュー (P. 430)**

スキャンデータのセキュリティを高める

- PDF ファイルを暗号化したり、PDF/XPS ファイルに電子署名を付けたりして、セキュリティを高めることができます。🔵 **スキャンデータのセキュリティを高める (P. 432)**

スキャンして USB メモリーに保存する

EJ83-072



原稿をスキャンして、本機に差し込んだ USB メモリーにスキャンデータを保存します。
ネットワーク接続していないパソコンや外出先でスキャンデータを利用する場合などに便利です。

必要な準備

- スキャンデータを USB メモリーに保存できるように設定します。▶ **USB メモリーを利用するための準備 (P. 626)**

1 原稿をセットする ▶ **原稿のセット方法 (P. 196)**

原稿の厚さを選択する画面が表示された場合は、セットした原稿の厚さを選択します。

2 本機の USB ポートに、USB メモリーを差し込む ▶ **USB メモリーを差し込む／取り外す (P. 325)**

使用できる機能のショートカット画面が表示された場合

「スキャンしてメモリーメディアに保存する」を押し、手順 **5** に進みます。



3 操作パネルの「ホーム」画面で、「スキャンして保存」を押し ▶ **「ホーム」画面 (P. 156)**

→ 保存先の種類を選択する画面が表示されます。

4 「メモリーメディア」を押し

5 保存先の USB メモリーを選択する

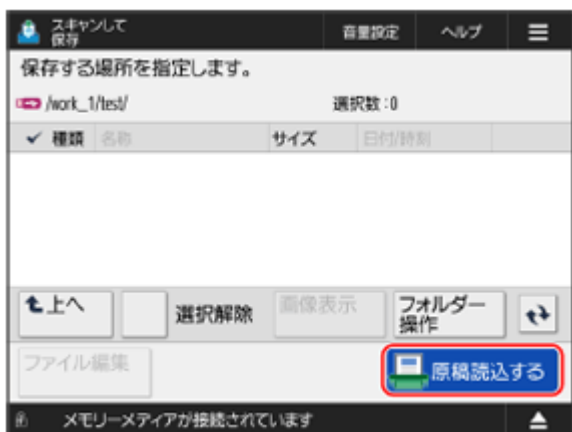


〔メディア情報確認〕を押し、USB メモリーを選択して〔詳細情報〕を押すと、USB メモリーのシリアルナンバーや空き容量などを確認できます。

6 保存先のフォルダーを表示する

保存先のフォルダーを作成したり、フォルダー名を変更したりすることもできます。▶〔ネットワーク／メモリーメディア〕ファイル選択画面 (P. 643)

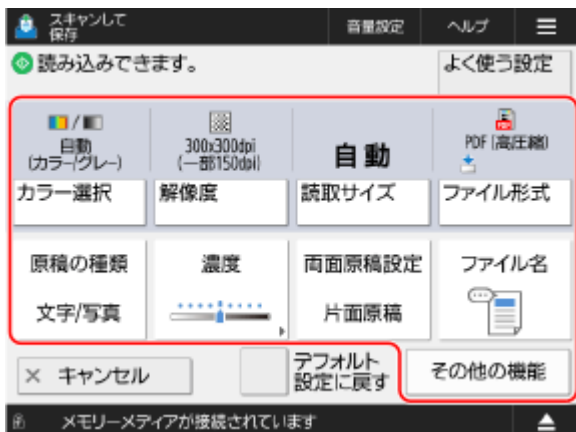
7 〔原稿読込する〕を押す



→ スキャンの画面が表示されます。

- 画面左上に、USB メモリーを示す [] アイコンと、保存先の階層が表示されます。

8 スキャンの設定をする ▶ スキャンの設定 (P. 441)



- 保存先を選択しなおしたい場合は、画面左下の「キャンセル」を押します。
- 「よく使う設定」を登録している場合は、「よく使う設定」を押して呼び出すことができます。▶ 「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)
- 設定の変更を取り消して初期設定に戻したい場合は、「デフォルト設定に戻す」を押します。

9 [スタート] を押す

→ 原稿のスキャンが開始されます。

- スキャンを中止したい場合は、「中止」▶「はい」を押します。▶ スキャンを中止する (P. 477)
- 原稿のスキャンが完了すると、スキャンデータが保存されます。[状況確認] から保存状況や履歴を確認できます。▶ スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する (P. 479)

[[スタート] キーで次の原稿を読み込みできます。] と表示された場合

原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンした場合や、連続読込を設定してスキャンした場合は、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。

1. 続きの原稿がある場合は、次の原稿をセットし、[スタート] を押す

→ 次の原稿がスキャンされ、同じ画面が表示されます。

すべての原稿のスキャンが完了するまで、この操作を繰り返します。

原稿をフィーダーにセットしてスキャンした場合は、スキャンが完了した原稿（原稿排紙トレイに排出された原稿）を取り除いてから、次の原稿をセットします。

原稿ごとにスキャンの設定を変更する場合

メッセージが表示された画面で、「設定変更」を押します。以下の設定を変更できます。

- [カラー選択]
- [読取サイズ]
- [両面原稿]
- [濃度]
- [原稿の種類]

たとえば、片面原稿をスキャンしたあとに両面原稿をスキャンする場合は、「設定変更」を押して「両面原稿」を設定します。

2. [保存開始] を押す

→ スキャンデータが保存されます。

10 スキャンが完了したら、USB メモリーを取り外す ➡ USB メモリーを取り外す (P. 326)

原稿が重なってスキャンされて中断された場合 - 重送検知

- 画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、つまっている原稿を取り除きます。 ➡ **紙／ホチキス針がつまった (P. 1518)**
つまっている原稿が取り除かれると、再開画面が表示されます。
誤って重送と検知された場合は、[重送検知しない] を押してスキャンを再開します。
- 重送が検知されないようにするには、以下のいずれかの設定をします。
 - スキャンするたびに、スキャンの画面の [その他の機能] ▶ [フィーダー重送検知] を押して、重送検知の設定を解除する
 - 重送検知しないように初期設定を変更する ➡ **[フィーダー重送検知のデフォルト設定] (P. 1054)**

※機種によっては、重送検知は、オプションのドキュメントフィーダー用重送検知キット・A の装着が必要です。

保存前にプレビュー画面で内容を確認する

- スキャンデータの保存前にプレビュー画面を表示し、内容を確認してから保存できます。プレビュー画面上でページの順番を変更したり、ページを削除したりすることもできます。 ➡ **スキャンデータを確認／ページ整理する - プレビュー (P. 430)**

スキャンデータのセキュリティを高める

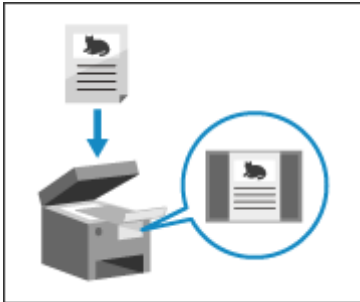
- PDF ファイルを暗号化したり、PDF/XPS ファイルに電子署名を付けたりして、セキュリティを高めることができます。 ➡ **スキャンデータのセキュリティを高める (P. 432)**

スキャンデータの確認やページ整理をして送信／保存する

EJ83-073

スキャンデータの送信／保存前にプレビュー画面を表示し、内容を確認したり、ページを整理したりしてから送信／保存できます。

※かんたんスキャンの場合は、スキャンデータの確認やページ整理はできません。



④ スキャンデータを確認／ページ整理する - プレビュー (P. 430)

スキャンデータを確認／ページ整理する - プレビュー

EJ83-074



スキャンデータを送信／保存する前にプレビュー画面を表示し、内容を確認してから送信／保存できます。プレビュー画面上でページの順番を変更したり、ページを削除したりすることもできます。

- ④ プレビュー画面を表示する (P. 430)
- ④ プレビュー画面の操作 (P. 431)

プレビュー画面を表示する

スキャンデータの送信／保存前にプレビュー画面が表示されるように設定します。

※スキャンするときの基本的な操作手順は、以下を参照してください。

- ④ スキャンして送信する (P. 412)
- ④ スキャンして保存する (P. 421)
- ④ スキャンして USB メモリーに保存する (P. 425)

1 スキャンの画面で、[その他の機能] ▶ [プレビュー] を押す ④ スキャンの画面 (P. 443)

→ 設定ボタンの下部に [設定あり] が表示されます。

2 [閉じる] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

3 [◀ スタート] を押す

→ 原稿のスキャンが開始されます。
スキャンが完了すると、プレビュー画面が表示されます。

[[スタート] キーで次の原稿を読み込みできます。] と表示された場合
原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンした場合や、連続読込を設定してスキャンした場合は、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。
すべての原稿のスキャンが完了したあと、[プレビュー開始] を押すと、プレビュー画面が表示されます。

プレビュー画面の操作

プレビュー画面を表示する設定になっている場合は、原稿のスキャンが完了すると、プレビュー画面が表示されます。

※原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンした場合や、連続読込を設定してスキャンした場合は、すべての原稿のスキャンが完了したあと、[プレビュー開始] を押すと、プレビュー画面が表示されます。

プレビュー画面では、スキャンデータの内容を確認したり、ページを整理したりできます。

[送信開始] または [保存開始] を押すと、スキャンデータが送信／保存されます。



表示するページを切り替える

画面左右の [◀] / [▶] を押します。

ページ番号をテンキーで入力して、表示するページを直接指定することもできます。

ページを削除する

削除したいページを表示し、[ページ削除] ▶ [はい] を押します。

ページを移動する

[その他の編集] ▶ [ページ移動] を押し、移動元と移動先のページ番号を指定して、[OK] を押します。

ページを入れ替える

[その他の編集] ▶ [ページ入替] を押し、入れ替え元と入れ替え先のページ番号を指定して、[OK] を押します。

スキャンデータのセキュリティを高める

EJ83-075



重要な書類をスキャンするときは、スキャンデータを暗号化したり、電子署名を付けたりしてセキュリティを高めることができます。

暗号化できるのは、PDF ファイルのみです。

電子署名を付けることができるのは、PDF ファイルと XPS ファイルのみです。

PDF ファイルの場合に、暗号化と電子署名を併用することもできます。

※かんたんスキャンの場合は、スキャンデータのセキュリティを高めることはできません。

➡ スキャンデータを暗号化 PDF ファイルにする (P. 432)

➡ スキャンデータに電子署名を付ける (P. 435)

メモ

メール／I ファクスのセキュリティを高める

- S/MIME を設定して、送信するメール／I ファクスを暗号化したり、電子署名を付けたりすることもできます。 ➡ **メールを S/MIME で暗号化する (P. 833)**

スキャンデータを暗号化 PDF ファイルにする

PDF ファイルにパスワードを設定して暗号化することで、PDF ファイルの閲覧や編集を制限できます。PDF ファイルを開くときや編集するときに、設定したパスワードの入力が必要となります。

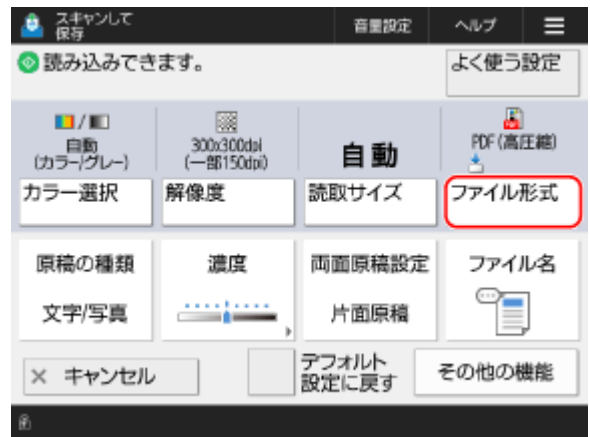
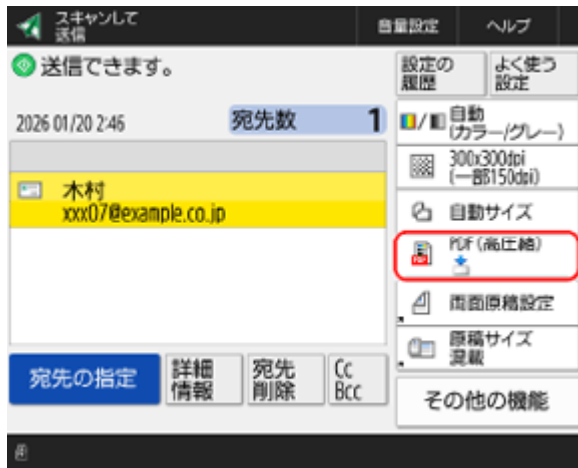
※以下の場合は、PDF ファイルを暗号化できません。

- ファイル名の設定で「自動 (OCR)」を選択している場合 ➡ **ファイル名を設定する (P. 463)**
- スキャンデータをファクス／I ファクスの宛先に送信する場合

※スキャンするときの基本的な操作手順は、以下を参照してください。

- ➡ スキャンして送信する (P. 412)
- ➡ スキャンして保存する (P. 421)
- ➡ スキャンして USB メモリーに保存する (P. 425)

1 スキャンの画面で、ファイル形式の設定ボタンを押す ▶ スキャンの画面 (P. 443)



→ [ファイル形式] 画面が表示されます。

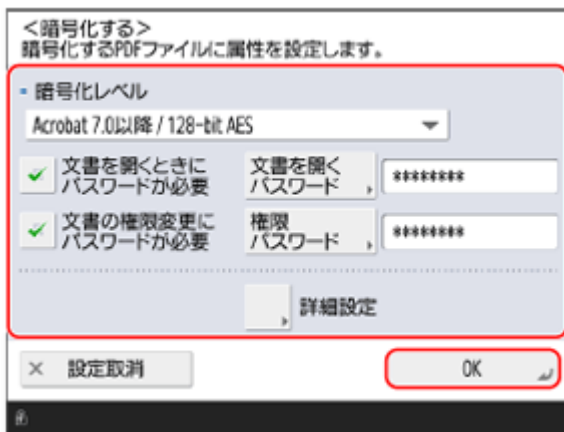
2 [PDF] ▶ [詳細設定] を押す

3 [暗号化する] を押す

[PDF/A 準拠にする] が選択されている場合は、[PDF/A 準拠にする] の選択を解除してから、[暗号化する] を押します。

※ [PDF/A 準拠にする] 以外の追加機能は、[暗号化する] と組み合わせて設定できます。

4 制限する操作やパスワードを設定する



[暗号化レベル]

暗号化のレベルを選択します。

- 256-bit AES の場合に、[Acrobat 10.0 相当 / 256-bit AES] と [Acrobat 9.0 相当 / 256-bit AES] のどちらを表示するか設定できます。▶ **[暗号化 PDF の 256-bit AES 設定] (P. 1059)**

[文書を開く時にパスワードが必要]

パスワードを知っている人だけが、PDF ファイルを開くことができるように制限します。

パスワードを設定する場合は、チェックマークを付け、[文書を開くパスワード] を押してパスワードを入力します。

※ [権限パスワード] と同じパスワードは設定できません。

[文書の権限変更にパスワードが必要]

パスワードを知っている人だけが、PDF ファイルをプリントしたり変更したりできるように制限します。

パスワードを設定する場合は、チェックマークを付け、[権限パスワード] を押してパスワードを入力します。制限する内容は、以下の項目で設定します。

※ [文書を開くパスワード] と同じパスワードは設定できません。

5

必要に応じて、[詳細設定] を押し、暗号化する PDF ファイルの詳細を設定する

[印刷を許可]

PDF ファイルのプリントを制限する場合は、[許可しない] または [許可する (低解像度のみ)] を選択します。

※ [暗号化レベル] で [Acrobat 3.0 以降 / 40-bit RC4] を選択した場合は、[許可する (低解像度のみ)] は表示されません。

[変更を許可]

PDF ファイルの変更を制限する場合は、[許可しない] を選択します。変更を許可する場合は、変更できる内容を選択します。

※ 暗号化と電子署名を併用する場合は、[ページ抽出を除く文書変更] を選択します。

[画像とテキストのコピー、抽出を有効にする]

PDF ファイル上の画像／文字のコピーや抽出を制限する場合は、チェックマークを外します。

※ [暗号化レベル] で [Acrobat 3.0 以降 / 40-bit RC4] を選択した場合は、表示されません。

[アクセシビリティを有効にする]

文字の読み上げ機能を制限する場合は、チェックマークを外します。

※ [暗号化レベル] で [Acrobat 3.0 以降 / 40-bit RC4] を選択した場合は、表示されません。

[画像とテキストのコピー、抽出とアクセシビリティを有効にする]

PDF ファイル上の画像／文字のコピーや抽出、文字の読み上げ機能を制限する場合は、チェックマークを外します。

※ [暗号化レベル] で [Acrobat 3.0 以降 / 40-bit RC4] を選択した場合にのみ表示されます。

6

[OK] ► [OK] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

重要

- [文書の権限変更にパスワードが必要] を設定して PDF ファイルのプリントや変更を制限しても、使用するアプリケーションによっては、制限の一部が無視されることがあります。

メモ

設定したパスワードを保存する

- 本機にログインしてから操作している場合は、手順 4 の画面に [パスワードを保存] が表示されます。[パスワードを保存] を押すと、入力した [文書を開くパスワード] と [権限パスワード] が本機に保存され、次回設定時からパスワードの入力を省略できます。
- 各ログインユーザーが保存できるパスワードは、[文書を開くパスワード] と [権限パスワード] のそれぞれ 1 つずつです。
- 保存したパスワードを変更したい場合は、[文書を開くパスワード] と [権限パスワード] に変更後のパスワードを入力し、[パスワードを保存] を押して保存しなおします。
- 保存したパスワードを削除したい場合は、[文書を開くパスワード] と [権限パスワード] の入力内容を消去し、空欄の状態に [パスワードを保存] を押します。
- パスワードが保存されている場合に、「よく使う設定」から暗号化 PDF の設定を呼び出すと、メッセージが表示されて、保存されているパスワードと「よく使う設定」に登録されているパスワードのどちらを使用するか選択できます。

スキャンデータに電子署名を付ける

PDF ファイルまたは XPS ファイルに電子署名を付けることで、ファイルの作成元が保証され、改ざんされていない文書であることを証明できます。

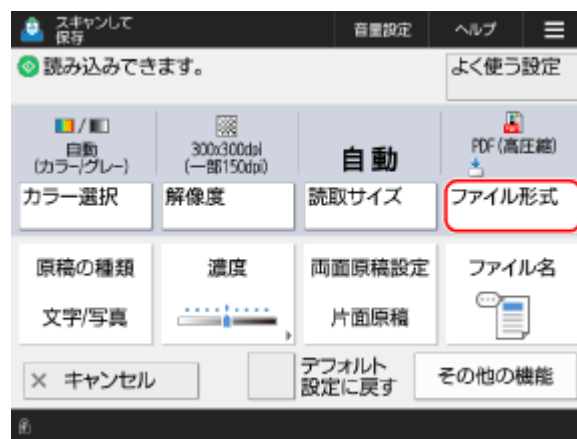
※スキャンするときの基本的な操作手順は、以下を参照してください。

- ④ スキャンして送信する (P. 412)
- ④ スキャンして保存する (P. 421)
- ④ スキャンして USB メモリーに保存する (P. 425)

必要な準備

- 電子署名用の鍵と証明書を用意します。④ スキャンデータに電子署名を付ける (P. 829)

1 スキャンの画面で、ファイル形式の設定ボタンを押す ④ スキャンの画面 (P. 443)



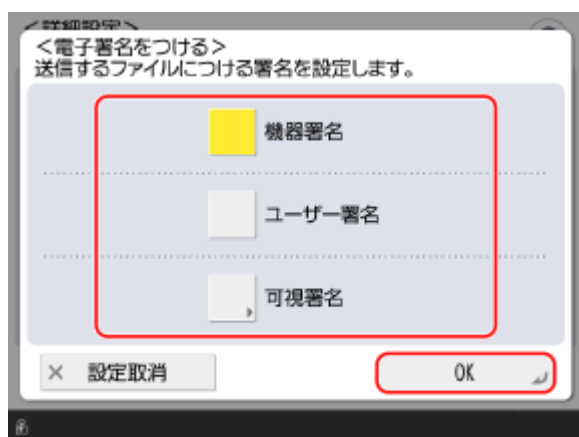
→ [ファイル形式] 画面が表示されます。

2 [PDF] または [XPS] ▶ [詳細設定] を押す

3 [電子署名をつける] または [機器署名をつける] を押す

[高圧縮] など他の追加機能と組み合わせて設定できます。

4 ファイルに付加する電子署名を設定し、[OK] を押す



本機にログインしていない場合に、手順 2 で [XPS] を選択したときは、この手順は不要です。手順 5 に進みます。

[機器署名]

本機の名称を署名として付加します。本機を使用してスキャンしたファイルであることを証明できます。
機器署名を付ける場合は、ボタンを押して、選択した状態にします。

[ユーザー署名]

ログインユーザー名を署名として付加します。ユーザー本人がスキャンしたファイルであることを証明できます。
ユーザー署名を付ける場合は、ボタンを押して、選択した状態にします。

[可視署名] (PDF ファイルのみ)

ファイルに電子署名が付加されていることが一目で分かるよう、先頭のページに署名情報を表示します。
可視署名を設定する場合は、ボタンを押して、署名の表示位置を選択します。

5

[OK] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

メモ

PDF ファイルの暗号化と電子署名を併用する

- PDF ファイルを暗号化するときに、以下の設定にします。 **🔵 スキャンデータを暗号化 PDF ファイルにする (P. 432)**
 - [文書の権限変更にパスワードが必要] を設定する場合は、[変更を許可] で [ページ抽出を除く文書変更] を選択する

パソコンからスキャンする（Windows のみ）

EJ83-076



原稿をスキャンして、本機に接続されたパソコンにスキャンデータを保存します。
パソコンでスキャン操作をするときに、形式や保存先を設定できます。スキャンデータをパソコンの画面ですぐに確認できるため、画質などを調整しながらスキャンできます。

付属のスキナードライバー「Color Network ScanGear 2」を使用してスキャンする方法と、Windows に標準搭載されている WSD を使用してスキャンする方法があります。

スキナードライバーを使用する

画像処理ソフトや文書作成ソフトなど、TWAIN^{*1} または WIA^{*2} に対応しているアプリケーションからスキャンします。スキャンデータが直接アプリケーションに取り込まれるため、すぐに編集／加工できます。
使用するアプリケーションが TWAIN/WIA に対応しているかについては、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

➡スキナードライバーを使用してスキャンする (P. 437)

^{*1} TWAIN はスキナーなどの画像入力機器とパソコンを接続するための規格です。

^{*2} WIA は Windows に標準搭載されている機能です。

WSD を使用する

WSD とは、Windows からネットワーク上のプリンターやスキナーを自動検出することができるプロトコルです。
WSD を使用すると、スキナードライバーをインストールすることなくスキャンできます。
使用するアプリケーションが WSD に対応しているかについては、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

➡WSD を使用してスキャンする (P. 438)

スキナードライバーを使用してスキャンする

本機に原稿をセットしたあと、TWAIN/WIA 対応のアプリケーションから Color Network ScanGear 2 を起動してスキャンします。

ここでは、一般的な手順を説明します。使用するアプリケーションでの具体的な操作方法については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

必要な準備

- パソコンにスキナードライバー（Color Network ScanGear 2）をインストールし、本機を登録します。 ➡ **パソコンからスキャンするための準備（Windows のみ） (P. 409)**

1

本機に原稿をセットする ➡ **原稿のセット方法 (P. 196)**

2 操作パネルの [ホーム] 画面で、[リモートスキャナー] を押す [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [リモートスキャナー] 画面が表示されます。

3 [オンライン] を押す

→ 本機がオンライン（スキャン待機状態）になります。

- [リモートスキャナー] を押すだけでオンラインになるように設定されている場合は、この手順は不要です。手順  4 に進みます。  [自動オンライン移行] (P. 1055)
- オンラインにすると、コピーなど他の機能は利用できなくなります。

4 パソコンで、スキャンデータを取り込むアプリケーションを起動する

5 アプリケーションのメニューから、スキャンを開始するメニューを選択する

6 本機のスキャナードライバー（Color Network ScanGear 2）を選択する

→ Color Network ScanGear 2 が起動します。

7 Color Network ScanGear 2 の画面で、スキャンの設定をする

詳しくは、Color Network ScanGear 2 の画面の [ヘルプ]  [Color Network ScanGear 2 ヘルプ] をクリックして、ヘルプを参照してください。

8 [スキャン] をクリックする

→ 原稿のスキャンが開始されます。

スキャンが完了すると、スキャンデータがアプリケーションに取り込まれます。

9 すべての原稿のスキャンが終わったら、操作パネルの [リモートスキャナー] 画面で、[オフライン] を押す

メモ

- オンラインのまま一定時間が経過すると、自動的にオフラインになるように設定できます。  [自動オフライン移行] (P. 1056)

WSD を使用してスキャンする

本機に原稿をセットしたあと、WSD 対応のアプリケーションを使用してスキャンします。

ここでは、「Windows FAX とスキャン」を例に手順を説明します。使用するアプリケーションでの具体的な操作方法については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

必要な準備

- WSD を使用してスキャンできるように本機を設定します。  LPD/RAW/WSD を設定する (P. 842)
- パソコンに本機を登録します。  本機を WSD スキャナーとしてパソコンに登録する (P. 411)

重要

- 以下の場合は、WSD を使用してスキャンできません。
 - ACCESS MANAGEMENT SYSTEM が有効な場合 [▶ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用する \(P. 753\)](#)
 - ユーザー認証のログインサービスに DepartmentID Authentication を使用している場合 [▶ユーザー認証のログインサービスを変更する \(P. 946\)](#)
- WSD を使用してスキャンできる原稿は A4 サイズまでです。A4 より大きいサイズ of 原稿をセットしても、A4 サイズ分の範囲しかスキャンされません。

1 本機に原稿をセットする [▶原稿のセット方法 \(P. 196\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面で、[WSD Scan] を押す [▶ \[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [WSD Scan] 画面が表示されます。

3 [リモートスキャナーを使用] を押す

→ パソコンから WSD を使用してスキャンできるようになります。

4 パソコンで、[] (スタート) ▶ [] (設定) ▶ [システム] ▶ [オプション機能] ▶ [オプション機能を追加する] の [機能を表示] をクリックする

5 [Windows FAX とスキャン] にチェックマークを付け、[次へ] をクリックする

6 [インストール] をクリックする

7 パソコンで、[] (スタート) ▶ [すべてのアプリ] ▶ [Windows ツール] ▶ [Windows FAX とスキャン] をダブルクリックする

→ [Windows FAX とスキャン] 画面が表示されます。

8 [新しいスキャン] をクリックする

→ [新しいスキャン] 画面が表示されます。

[デバイスの選択] 画面が表示された場合は、本機を選択し、[OK] をクリックします。

9 [スキャナーの種類] で、原稿をセットした場所を選択する

- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、[フラットベット] を選択します。
- フィーダーに原稿をセットした場合は、[フィーダー(片面スキャン)] を選択します。

10 必要に応じて、その他のスキャンの設定をする

- 画質を調整する場合は、[プロファイル] から原稿の種類を選択します。
 - 文字が多い原稿をスキャンする場合は、[ドキュメント] を選択します。
 - 写真をスキャンする場合は、[写真(既定)] を選択します。

- スキャンデータのファイル形式は「[ファイルの種類]」で選択します。
- スキャンデータのプレビュー画像を確認する場合は、「[プレビュー]」をクリックします。

11 「スキャン」をクリックする

→ 原稿のスキャンが開始されます。

スキャンが完了すると、スキャンデータが「[Windows アクセサリ]」の「[Scanned Documents]」フォルダーに保存され、「[Windows FAX とスキャン]」画面のファイルの一覧に表示されます。

メモ

よく使用する設定内容を登録する

- よく使用するスキャンの設定内容を、以下の手順で「プロファイル」として登録すると、必要なときに呼び出してスキャンできます。

「[新しいスキャン]」画面の「[プロファイル]」で「[プロファイルの追加]」を選択 ▶ 登録する内容を設定 ▶ 「[プロファイル名]」に名前を入力 ▶ 「[プロファイルの保存]」をクリック

本機側の操作だけでスキャンする

- 以下の手順だけで、本機に接続された WSD 対応パソコンにスキャンデータを保存することもできます。

操作パネルの「[ホーム]」画面で「[WSD Scan]」を押す ▶ 一覧から保存先のパソコンを選択^{*1} ▶ 「[スタート]」を押す

スキャンが完了すると、保存先のパソコンで「[Windows FAX とスキャン]」画面やフォルダーが開き、スキャンデータが表示されます。

^{*1} 一覧に表示されるパソコンは最大 40 台です。

スキャンの設定

EJ83-077

本機でスキャンする場合は、スキャンの画面の設定ボタンから、原稿をスキャンするときの設定をしたり、スキャンデータを送信／保存するときの設定をしたりできます。 **🔵 スキャンの画面 (P. 443)**

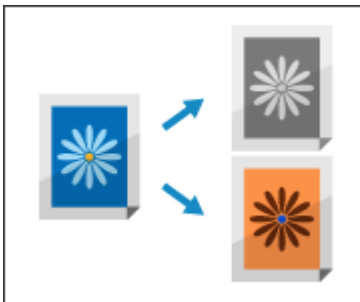
スキャンデータが期待どおりでない場合は、設定を変更してスキャンしなおします。

※かんたんスキャンでは設定できる内容は異なります。 **🔵 かんたんスキャンで送信する (P. 412)**

※パソコンからスキャンする場合は、パソコンでスキャン操作をするときに設定します。



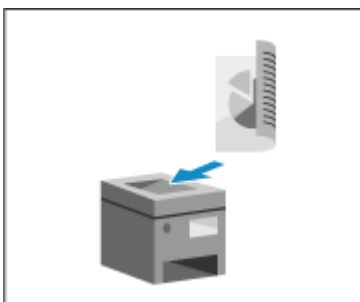
🔵 サイズ／向きの設定 (P. 445)



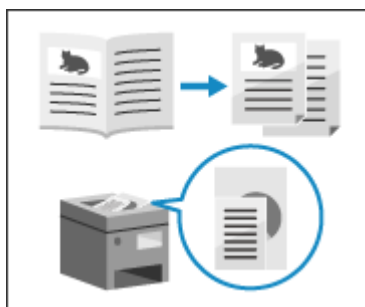
🔵 色の設定 (P. 448)



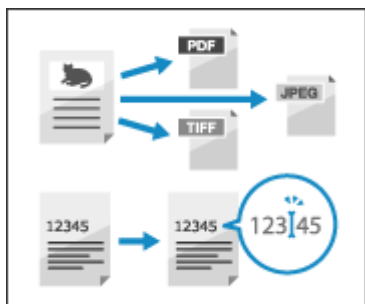
🔵 画質の調整 (P. 451)



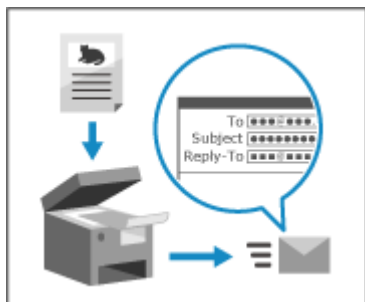
②両面スキャンの設定 (P. 456)



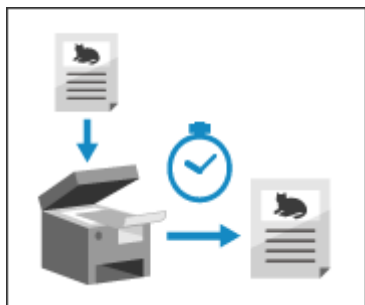
③原稿に応じた設定 (P. 457)



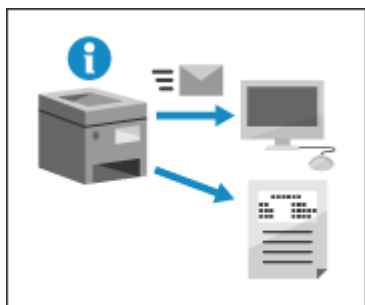
④ファイル／分割の設定 (P. 461)



⑤メール／iファクスの設定 (P. 470)



⑥タイマー送信の設定 (P. 473)



⑦送信結果通知の設定 (P. 474)

メモ

- 他の機能と同時に設定できない機能があります。設定できない機能は、設定ボタンが薄いグレーで表示されます。

スキャンの画面

EJ83-078

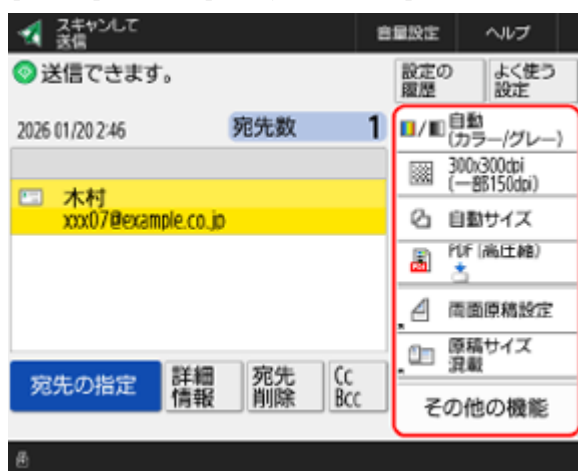
操作パネルの［ホーム］画面で［スキャンして送信］または［スキャンして保存］を押すと、それぞれ以下のスキャンの画面が表示されます。

この画面の設定ボタンから、原稿をスキャンするときの設定をしたり、スキャンデータを送信／保存するときの設定をしたりできます。解像度やファイル形式など、一部の設定ボタンには、現在の設定状況が表示されます。

※かんたんスキャンでは設定できる内容は異なります。▶[かんたんスキャンで送信する \(P. 412\)](#)

［スキャンして送信］からスキャンするときの画面

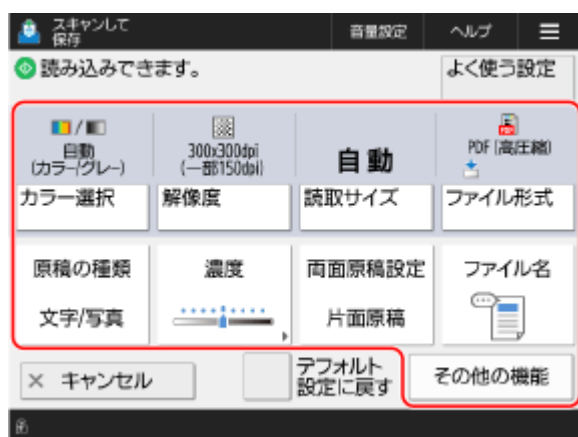
［ホーム］画面の［スキャンして送信］を押すと、スキャンの画面が表示されます。



※設定ボタンの一部は、［その他の機能］に含まれる他のボタンと入れ替えたり、非表示にしたりできます。▶[スキャン／ファクス／コピーの画面をカスタマイズする \(P. 178\)](#)

［スキャンして保存］からスキャンするときの画面

［ホーム］画面の［スキャンして保存］を押し、保存場所を表示して［原稿読込する］を押すと、スキャンの画面が表示されます。



メモ

よく使用する設定を [≡] から登録する

- スキャンの設定を「よく使う設定」として登録すると、必要なときにスキャンの画面から呼び出すことができます。
➡「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)
- スキャンの設定を [ホーム] 画面にボタンとして登録すると、[ホーム] 画面からボタン 1 つで呼び出すことができます。➡ [ホーム] 画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン (P. 174)
- スキャンの初期設定として登録することもできます。➡初期設定を変更する (P. 186)

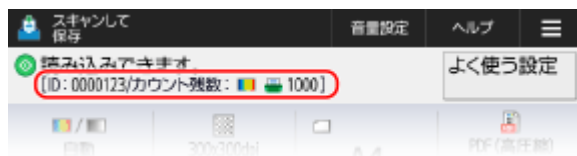
過去の設定を呼び出す - 設定履歴

- [設定の履歴] を押すと、過去にスキャンデータを送信したときの設定を呼び出すことができます。➡スキャンして送信する (P. 412)

※ [スキャンして保存] からスキャンする場合は、設定履歴を呼び出すことはできません。

部門別 ID 管理中にスキャンできるページ数が制限されている場合

- [スキャンして保存] からスキャンする場合は、ログイン中の部門 ID でスキャンできるページ数が画面上部に表示されます。



サイズ／向きの設定

EJ83-079



セットした原稿に合わせてサイズや原稿の向きを設定します。

- ④ 原稿サイズを設定する (P. 445)
- ④ 原稿の向きを設定する (P. 447)

原稿サイズを設定する

定形サイズの原稿をセットした場合は、初期設定では、原稿サイズは自動検知されます。

※自動検知可能な原稿サイズは、以下を参照してください。

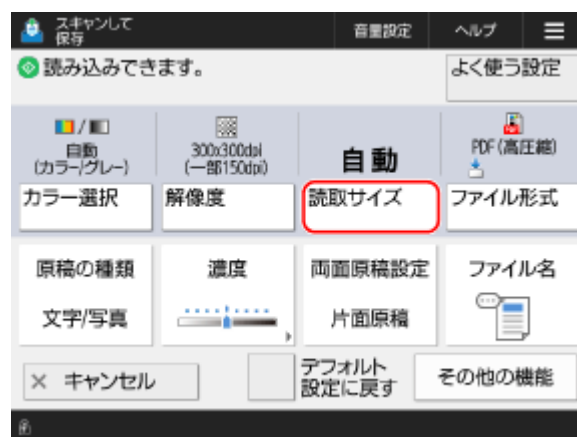
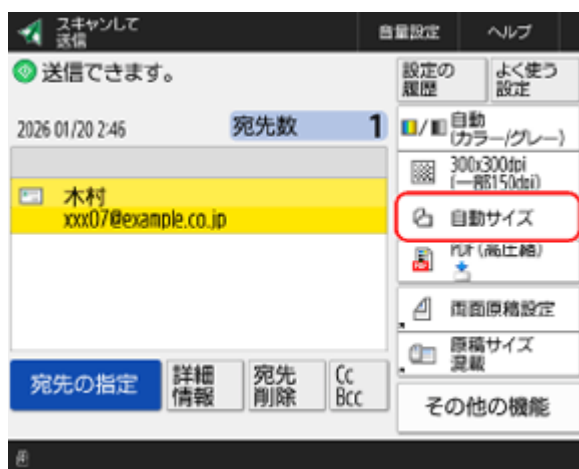
- ④ 基本仕様 (P. 51)
- ④ 両面同時読取フィーダーの仕様 (P. 54)

以下のような場合に、セットした原稿のサイズを手動で設定します。

- 自動検知されないサイズの原稿をセットした場合
- セットした原稿と異なるサイズが検知される場合
- 原稿の端にある画像が欠けてスキャンされる場合

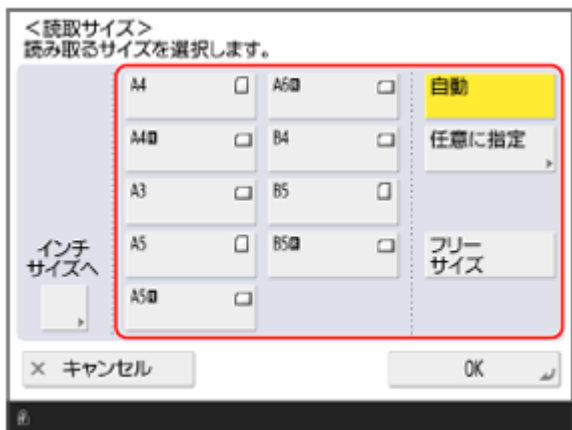
1

スキャンの画面で、原稿サイズの設定ボタンを押す ④ スキャンの画面 (P. 443)



→ [読取サイズ] 画面が表示されます。

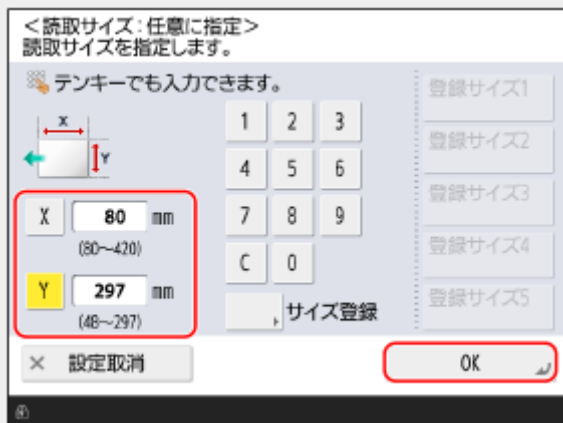
2 セットした原稿のサイズを選択する



設定によっては、原稿をセットする場所が原稿台ガラスまたはフィーダーのどちらかに限定されます。原稿をセットした場所が異なる場合は、記載されている場所にセットしなします。▶[原稿のセット方法 \(P. 196\)](#)

定形外サイズの原稿をセットした場合
原稿のサイズ（辺の長さ）を入力して設定します。

1. 「任意に指定」を押す
2. [X] 辺と [Y] 辺の長さを入力し、[OK] を押す



- [X] / [Y] を押し、選択した状態にしてから入力します。
- よく使用する原稿のサイズを登録している場合は、[登録サイズ 1] ～ [登録サイズ 5] を押して呼び出すことができます。

原稿のサイズを登録する

特定の定形外サイズの原稿をよく使用する場合は、以下の手順でサイズを登録しておきます。サイズ入力時の画面で呼び出せるようになり、サイズを入力する手間が省けます。

原稿のサイズは5つまで登録できます。

[サイズ登録] ▶ サイズを登録するボタンを選択 ▶ [登録/編集] ▶ [X] 辺と [Y] 辺の長さを入力 ▶ [OK] ▶ [閉じる]

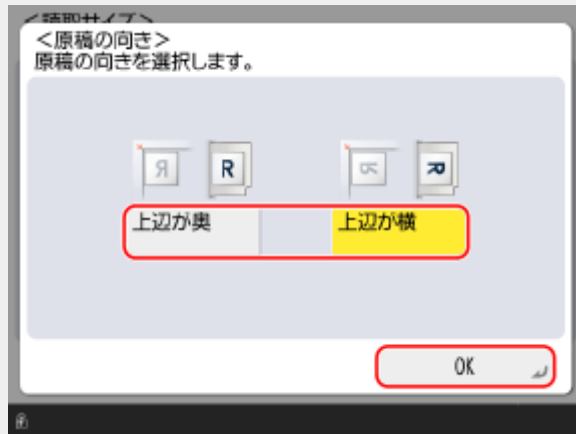
※サイズ登録時の画面で、ボタンを選択して「名称変更」を押すと、ボタンの名称を変更できます。

フリーサイズの原稿をセットした場合

セットした原稿のサイズ（辺の長さ）がわからない場合は、[フリーサイズ] を選択します。

※ [フリーサイズ] に設定した場合は、原稿をセットする場所がフィーダーに限定されます。

※機種によっては、[フリーサイズ] を選択すると、以下の画面が表示されます。セットした原稿の向きを選択し、[OK] を押します。



- 名刺の文字が横書きの場合は、[上辺が奥] を選択します。
- 名刺の文字が縦書きの場合は、[上辺が横] を選択します。

3 [OK] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

原稿の向きを設定する

スキャンデータの上下（天地）が正しい状態で表示されるよう、セットした原稿の向きを設定します。

1 スキャンの画面で、[その他の機能] ▶ [原稿の向き] を押す ➡ **スキャンの画面 (P. 443)**

→ [原稿の向き] 画面が表示されます。

2 セットした原稿に合わせて [上辺が奥] または [上辺が横] を選択する

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

色の設定

EJ83-07A



スキャンするときの色を設定したり、原稿内の特定の色を消してスキャンすることができます。

- ①色を選択する (P. 448)
- ②特定の色を消してスキャンする (P. 449)

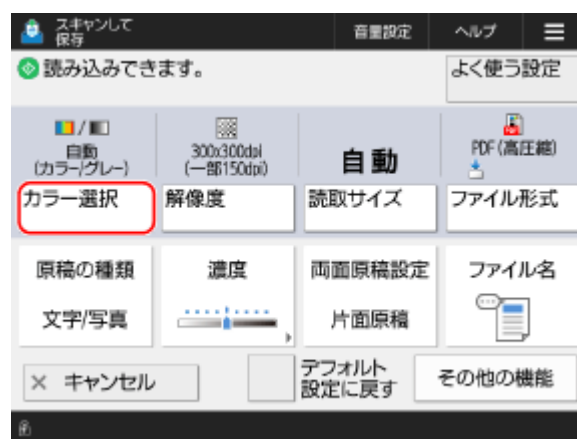
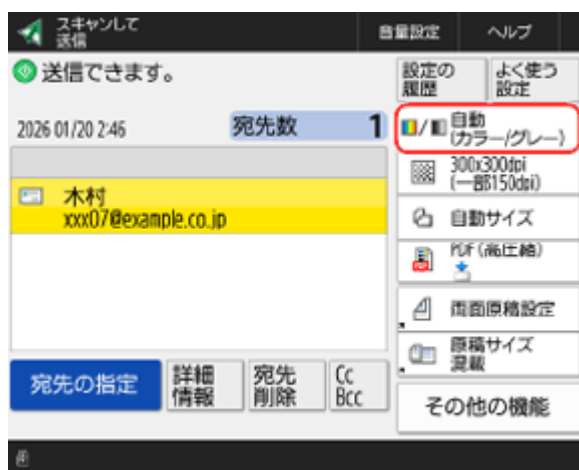
色を選択する

スキャンするときの色を選択します。

※ファイル形式の設定によっては、選択できる色が限定されます。

- TIFF の場合は、[白黒 2 値] に限定されます。
- JPEG または OOXML の場合は、[自動 (カラー/グレイ)] / [フルカラー] / [グレースケール] に限定されます。

1 スキャンの画面で、カラー選択の設定ボタンを押す ②スキャンの画面 (P. 443)



→ [カラー選択] 画面が表示されます。

2 スキャンするときの色を選択する

[自動 (カラー/グレイ)]

原稿の色を自動で判別します。カラー原稿はカラーで、白黒原稿はグレースケールでスキャンします。

※文字が薄くなってしまう場合や、文字中心の原稿の場合は、[自動 (カラー/白黒)] を選択します。

※原稿の端のみがカラーの場合など、カラー原稿の状態によっては、白黒原稿として判別されることがあります。その場合は、[フルカラー] を選択します。

[自動 (カラー/白黒)]

原稿の色を自動で判別します。カラー原稿はカラーで、白黒原稿は白黒 2 値でスキャンします。

※原稿の端のみがカラーの場合など、カラー原稿の状態やサイズによっては、白黒原稿として判別されることがあります。その場合は、[フルカラー] を選択します。

[フルカラー]

原稿の色にかかわらず、フルカラーでスキャンします。

※ [フルカラー] に設定した場合は、白黒原稿もカラースキャンとしてカウントされます。

[グレースケール]

原稿の色にかかわらず、白から黒までの濃淡でスキャンします。

「白、薄いグレー、グレー、濃いグレー、黒」のように何段階かのグレーを使用して表現するため、白黒 2 値よりも自然でなめらかに仕上がります。

※文字が薄くなってしまう場合や、文字中心の原稿の場合は、[白黒 2 値] を選択します。

[白黒 2 値]

原稿の色にかかわらず、白と黒の 2 色でスキャンします。

3 [OK] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

特定の色を消してスキャンする

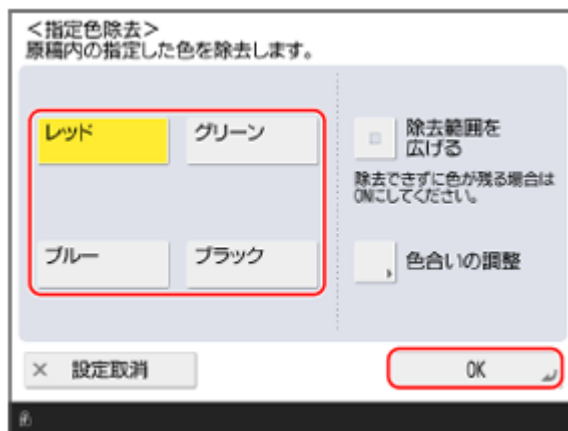
原稿内の特定の色を消してスキャンすることができます。

1 スキャンの画面で、[その他の機能] ▶ [指定色除去] を押す ➡ スキャンの画面 (P. 443)

→ [指定色除去] 画面が表示されます。

2 除去したい色を選択し、[OK] を押す

例：スキャンして送信の画面の場合



- 指定した色が除去されず、色が残る場合は [除去範囲を広げる] を ON に設定します。
- [レッド] / [グリーン] / [ブルー] を選択した場合は、[色合いの調整] を押して色合いを調整できます。

3 [閉じる] を押す

スキャンする

→ スキャンの画面に戻ります。

画質の調整

EJ83-07C



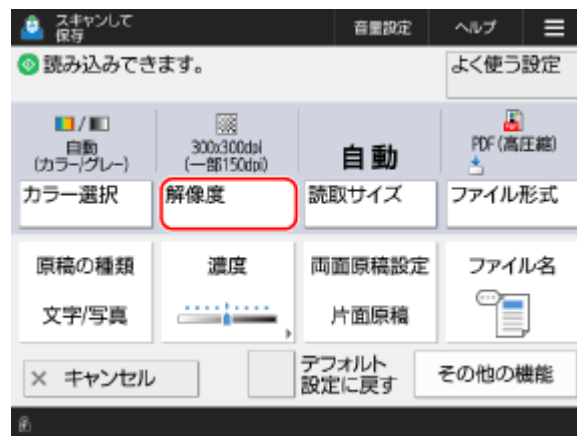
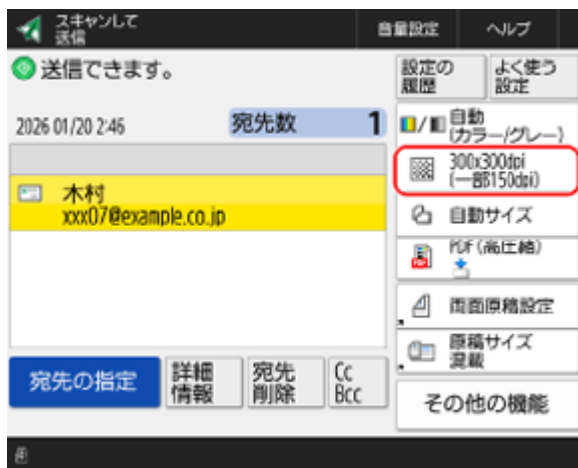
スキャンデータの画像が不鮮明だったり、文字が読みにくかったりした場合は、画質を調整します。
原稿の周囲に現れる黒い枠や影を消すこともできます。

- ① 解像度を設定する (P. 451)
- ② 原稿の種類を選択する (P. 452)
- ③ 濃度を調整する (P. 452)
- ④ シャープネスを調整する (P. 453)
- ⑤ 原稿の枠／影／パンチ穴を消す - 枠消し (P. 454)

解像度を設定する

よりきめ細かく原稿をスキャンしたいときは解像度を高く、ファイルサイズを小さくしたいときは解像度を低くします。

1 スキャンの画面で、解像度の設定ボタンを押す ▶ スキャンの画面 (P. 443)



→ [解像度] 画面が表示されます。

2 解像度を選択する

ファイル形式の設定によって、選択できる解像度は異なります。

3 [OK] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

原稿の種類を選択する

原稿の内容に合った画質でスキャンされるよう、原稿の種類を選択します。

- 1 スキャンの画面で、[原稿の種類] または [その他の機能] ▶ [原稿の種類] を押す [👉 スキャンの画面 \(P. 443\)](#)

→ [原稿の種類] 画面が表示されます。

- 2 原稿の種類を選択する

- 原稿の種類の詳細については、画面右上の [?] を押すと表示されるヘルプ画面を参照してください。
- [文字/写真] を選択した場合は、[レベル調整] を押すと、文字と写真のどちらを優先するかを調整できます。

- 3 [OK] または [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

メモ

- 下地に色の付いた原稿や、新聞のような原稿を、きれいにスキャンしたい場合は、背景の濃度を調整します。 [👉 濃度を調整する \(P. 452\)](#)
- 原稿の種類を選択してスキャンした場合に、モアレ（縞模様のノイズ）と呼ばれる現象が発生したときは、シャープネスを調整します。 [👉 シャープネスを調整する \(P. 453\)](#)

濃度を調整する

原稿に合わせて濃度を調整します。

原稿の文字や画像が薄い／濃い場合は、原稿全体の濃度を調整します。

下地に色の付いた原稿や、新聞のような原稿を、きれいにスキャンしたい場合は、背景の濃度を調整します。

- 1 スキャンの画面で、[濃度] または [その他の機能] ▶ [濃度] を押す [👉 スキャンの画面 \(P. 443\)](#)

→ [濃度] 画面が表示されます。

- 2 濃度を調整する

原稿全体の濃度を調整する場合

スライダーを左右に動かして、濃度を調整します。

薄くする場合は [◀] に、濃くする場合は [▶] に設定します。

背景の濃度を調整する場合

背景の濃度は、自動的に薄くする方法と、手動で調整する方法があります。

背景濃度を自動的に薄くする場合

[背景調整] の [自動] を押して、選択した状態にします。

背景濃度を手動で調整する場合

〔背景調整〕の〔調整〕を押し、濃度を調整して、〔OK〕を押します。

- 濃度は、スライダーを左右に動かして調整します。薄くする場合は〔－〕に、濃くする場合は〔＋〕に設定します。
- 濃度を調整する画面で、〔色別調整〕を押すと、レッド／グリーン／ブルーの色別に背景濃度を調整できます。

※背景濃度を調整した場合、原稿の色によっては、背景以外の部分が影響を受けることがあります。

修正液や修正テープなどの痕跡が残るような濃度にする場合

〔背景調整〕の〔修正液などの痕跡を残す〕を押して、選択した状態にします。

〔修正液などの痕跡を残す〕を選択した場合は、〔スキャンして送信〕の以下の設定が選択できません。

- 〔カラー選択〕の〔自動(カラー/白黒)〕／〔白黒2値〕
- 〔濃度〕▶〔背景調整〕の〔自動〕／〔調整〕

また、Iファクス宛先には送信できません。

3 〔OK〕または〔OK〕▶〔閉じる〕を押す

→スキャンの画面に戻ります。

シャープネスを調整する

シャープネスを調整することで、輪郭や線を強調してくっきりさせたり、反対に弱めて柔らかく表現したりできます。

1 スキャンの画面で、〔その他の機能〕▶〔シャープネス〕を押す▶スキャンの画面 (P. 443)

→〔シャープネス〕画面が表示されます。

2 スライダーを左右に動かして、シャープネスを調整する

調整例：

- ぼやけた文字を鮮明にする場合

〔強く〕に設定します。



- 写真のモアレ（縦模様のノイズ）を軽減する場合

〔弱く〕に設定します。



3 〔OK〕▶〔閉じる〕を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

原稿の枠／影／パンチ穴を消す - 枠消し

原稿サイズを実際の前稿よりも大きいサイズに設定したり、厚みのある本をスキャンしたりすると、原稿の周囲などに黒い枠や影ができることがあります。そのような枠や影を消してスキャンするように設定します。原稿のパンチ穴を消すこともできます。

重要

パンチ穴のあいた原稿をセットする場合

- 原稿は原稿台ガラスにセットします。フィーダーにセットすると、紙づまりの原因になります。▶ [原稿のセット方法 \(P. 196\)](#)

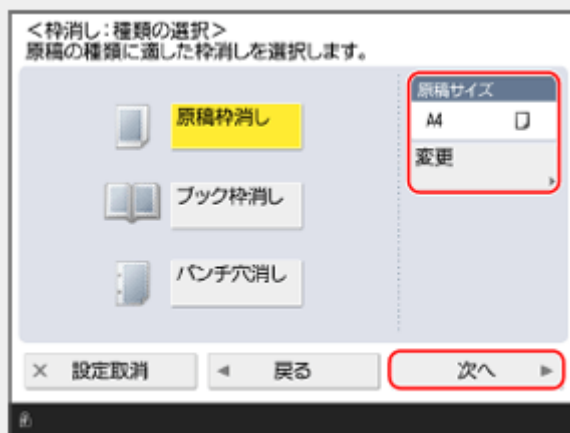
1 スキャンの画面で、[その他の機能] ▶ [枠消し] を押す ▶ [スキャンの画面 \(P. 443\)](#)

→ [枠消し] 画面が表示されます。

2 枠消しの種類と幅を設定する

原稿の枠を消す場合

1. [原稿枠消し] を押す
2. 原稿のサイズを設定し、[次へ] を押す



[変更] を押し、原稿サイズを選択して、[OK] を押します。

※原稿サイズを選択する画面に表示されるサイズのみ、原稿の枠を消してスキャンできます。

3. 消し幅を入力する

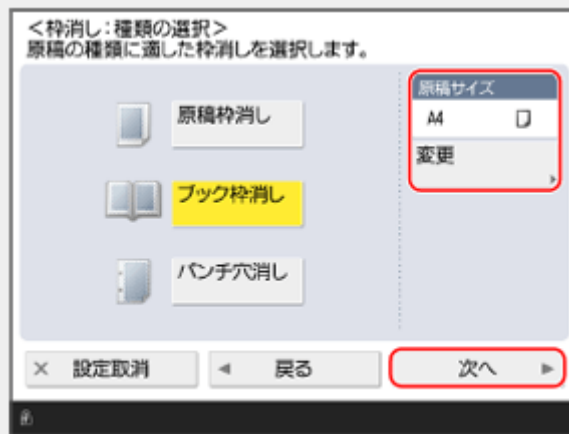
上下左右の消し幅を個別に入力する場合は、[独立調整へ] を押し、消し幅を入力します。

本の影を消す場合

本を見開きにしたときにできる中央の影と、本の周囲にできる影を消すことができます。

1. [ブック枠消し] を押す

2. 原稿のサイズを設定し、[次へ] を押す



[変更] を押し、原稿サイズを選択して、[OK] を押します。

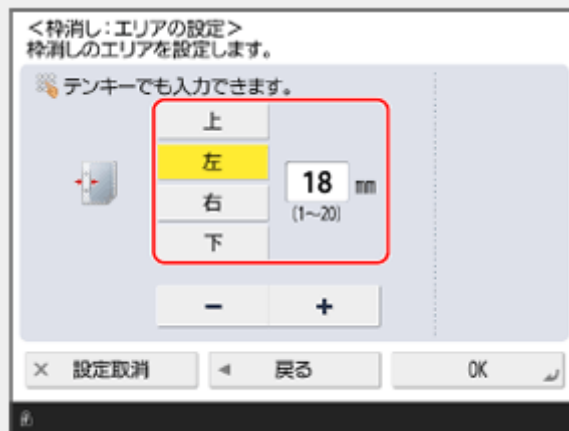
※原稿サイズを選択する画面に表示されるサイズのみ、本の影を消してスキャンできます。

3. 消し幅を入力する

- 本を見開きにしたときにできる中央の影の消し幅を、[センター] に入力します。
- 本の周囲にできる影の消し幅を、[全周] に入力します。
- 上下左右の消し幅を個別に入力する場合は、[独立調整へ] を押し、消し幅を入力します。

原稿のパンチ穴を消す場合

1. [パンチ穴消し] ▶ [次へ] を押す
2. パンチ穴の位置を選択し、消し幅を入力する



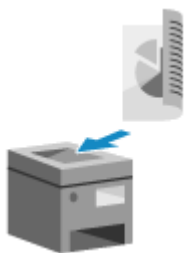
※ [パンチ穴消し] を設定した場合は、パンチ穴がある辺以外の3辺も、常に4 mm 枠消しされます。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

両面スキャンの設定

EJ83-07E



フィーダーにセットした原稿の両面をスキャンする場合は、両面スキャンの設定をします。

両面スキャン時の原稿のセット方法

自分から見て原稿の上下が正しい位置になるようにセットします。



- 1 スキャンの画面で、[両面原稿設定] または [その他の機能] ▶ [両面原稿設定] 押す ➡ **スキャンの画面 (P. 443)**

➡ [両面原稿] 画面が表示されます。

- 2 原稿の開きかたを選択する

[左右開き]

原稿のオモテ面とウラ面の上下が同じ向きの場合に選択します。



[上下開き]

原稿のオモテ面とウラ面の上下が反対向きの場合に選択します。



- 3 [OK] または [OK] ▶ [閉じる] を押す

➡ スキャンの画面に戻ります。

原稿に応じた設定

EJ83-07F



原稿に応じて効率よくスキャンするための設定をします。

白紙ページをスキャンしないようにしたり、スキャンが完了した原稿にスタンプを付けたりすることもできます。

- ④ 見開き原稿を 2 ページに分割する (P. 457)
- ④ サイズの異なる原稿をスキャンする - 原稿サイズ混載 (P. 458)
- ④ 大量の原稿をスキャンする - 連続読込 (P. 459)
- ④ 白紙ページをスキャンしないようにする - 白紙スキップ (P. 459)
- ④ スキャンした原稿にスタンプを付ける - 済スタンプ (P. 460)

見開き原稿を 2 ページに分割する

本や雑誌のような見開き原稿をスキャンする場合に、左右のページを別々のページに分割してスキャンするように設定します。

見開き原稿のセット方法

見開き原稿をスキャンする場合は、原稿を原稿台ガラスにセットします。原稿の上部を原稿台ガラスの左上隅と上部に合わせてセットします。



- 1 スキャンの画面で、[その他の機能] ▶ [見開き ▶ 2 ページ] を押す ➡ **スキャンの画面 (P. 443)**

➡ [見開き ▶ 2 ページ] 画面が表示されます。

- 2 原稿の開きかたを選択する

[左開き原稿]

見開き原稿が左開きの場合に選択します。

「左ページ、右ページ」の順で、左右のページがスキャンされます。



〔右開き原稿〕

見開き原稿が右開きの場合に選択します。

「右ページ、左ページ」の順で、左右のページがスキャンされます。



3 〔OK〕 ▶ 〔閉じる〕 を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

サイズの異なる原稿をスキャンする - 原稿サイズ混載

サイズの異なる原稿をスキャンする場合に、フィーダーにまとめてセットしてスキャンできるように設定します。
サイズごとに原稿をセットしなおす手間を省くことができます。

サイズの異なる原稿のセット方法

タテの幅が同じ場合は、同じ幅の辺をそろえてセットします。



タテの幅が異なる場合は、自分から見て原稿の左端と上端をそろえてセットします。



サイズの異なる原稿をセットするときの注意事項

- まとめてセットできる原稿サイズの組み合わせには制限があります。▶ **両面同時読取フィーダーの仕様 (P. 54)**
適切ではない組み合わせでセットすると、原稿の破損や紙づまりの原因になることがあります。
- タテの幅が異なる原稿をセットした場合、幅が短いほうの原稿は原稿ガイドで固定されないため、斜めにスキャンされることがあります。
- 紙の厚さや紙質が異なる原稿はまとめてセットしないようにします。紙づまりの原因になることがあります。

1 スキャンの画面で、〔その他の機能〕 ▶ 〔原稿サイズ混載〕 を押す ▶ **スキャンの画面 (P. 443)**

→ 〔原稿サイズ混載〕 画面が表示されます。

2 原稿をセットしたときのタテの幅が、同じ幅かどうかを選択する

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

大量の原稿をスキャンする - 連続読込

原稿の枚数が多くて一度にフィーダーにセットできない場合に、複数回に分けてスキャンした原稿を1つにまとめて送信／保存できるように設定します。

フィーダーを使用してスキャンした原稿と、原稿台ガラスを使用してスキャンした原稿を、1つにまとめて送信／保存することもできます。

1 スキャンの画面で、[その他の機能] ▶ [連続読込] を押す ➡ **スキャンの画面 (P. 443)**

→ 設定ボタンの下部に [設定あり] が表示されます。

2 [閉じる] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

メモ

- サイズの異なる原稿をフィーダーにまとめてセットする場合は、原稿サイズ混載の設定が必要です。 ➡ **サイズの異なる原稿をスキャンする - 原稿サイズ混載 (P. 458)**

白紙ページをスキャンしないようにする - 白紙スキップ

スキャン時に白紙と判定したページを自動削除（スキップ）するように設定します。

たとえば、片面原稿と両面原稿が混在している原稿を、フィーダーにまとめてセットして両面スキャンすると、片面原稿のウラ面（白紙ページ）もスキャンされてしまいます。そのような場合に、白紙スキップを設定すると、白紙と判定されたページは自動削除してスキャンされるため、スキャン後に白紙ページを削除する手間が省けます。

※スキャンデータを以下の宛先に送信する場合は、白紙スキップできません。

- ファクス
- Iファクス

1 スキャンの画面で、[その他の機能] ▶ [白紙スキップ] を押す ➡ **スキャンの画面 (P. 443)**

→ [白紙スキップ] 画面が表示されます。

2 スキップする紙の色を選択する

[白い紙/色紙]

原稿の紙の色に関係なく、すべての白紙ページをスキップします。

[白い紙のみ]

紙が白色の白紙ページのみをスキップします。

※スキャンするときの色が「自動 (カラー/グレー)」または「自動 (カラー/白黒)」以外の場合は、「白い紙のみ」に設定しても「白い紙/色紙」と同じ動作になります。▶色を選択する (P. 448)

送信／保存する前にスキャンデータを確認する場合

「プレビューする」を押して、チェックマークを付けます。

スキャンデータを送信／保存する前にプレビュー画面が表示され、内容を確認してから送信／保存できます。▶

プレビュー画面の操作 (P. 431)

3

必要に応じて、白紙ページを検知する精度を調整する

1. 「検知レベルの調整」を押す

→「検知レベルの調整」画面が表示されます。

2. スライダーを左右に動かして、精度を調整する

「+」に設定するほど、白紙と判定されやすくなります。

3. 「OK」を押す

→「白紙スキップ」画面に戻ります。

4

「OK」▶「閉じる」を押す

→スキャンの画面に戻ります。

重要

- 原稿サイズが実際の原稿よりも大きいサイズに設定されている場合は、白紙ページを正しくスキップできないことがあります。

メモ

- スキャンした原稿のすべてのページが白紙と判定された場合は、スキャンは中止されます。

スキャンした原稿にスタンプを付ける - 済スタンプ

オプションのスタンプユニットを装着すると、フィーダーを使用してスキャンする場合に、スキャンが完了した原稿にスタンプを付けるように設定することができます。▶スタンプユニット・B (P. 27)

まだスキャンしていない原稿と、スキャンが完了した原稿を、一目で区別することができます。

※ 「スキャンして保存」からスキャンする場合は、設定できません。

1

スキャンの画面で、「その他の機能」▶「済スタンプ」を押す▶スキャンの画面 (P. 443)

→設定ボタンの下部に「設定あり」が表示されます。

2

「閉じる」を押す

→スキャンの画面に戻ります。

ファイル／分割の設定



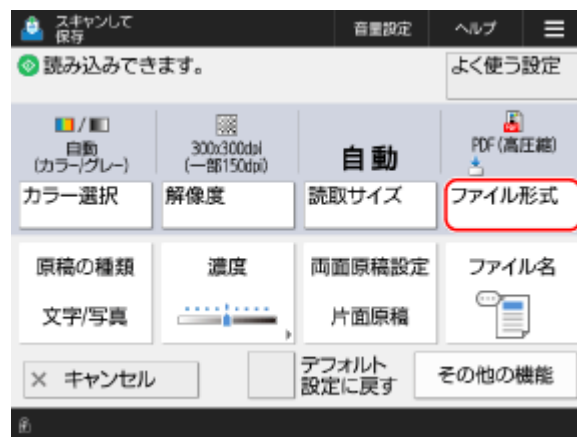
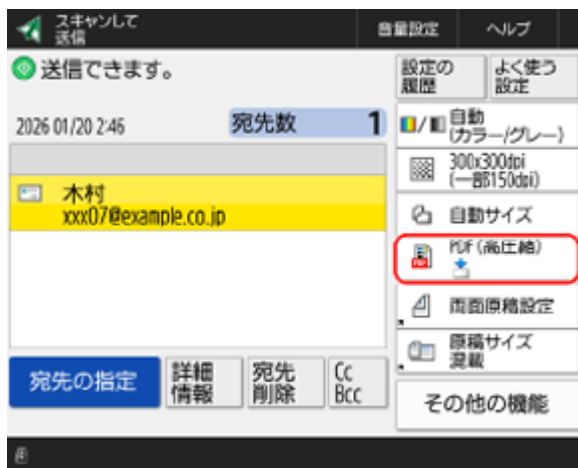
スキャンデータのファイル形式／分割の設定や、スキャンデータのファイル名を設定します。
原稿から文字情報を抽出して、テキスト検索が可能な PDF/XPS/OOXML ファイルを作成することもできます。

- ① ファイル形式／分割の設定をする (P. 461)
- ② ファイル名を設定する (P. 463)
- ③ テキスト検索できるファイルを作成する - OCR 処理 (P. 465)

ファイル形式／分割の設定をする

用途や環境に応じて、スキャンデータの形式を JPEG/TIFF/PDF/XPS/OOXML から選択します。
データを圧縮したり、文字や線画をアウトライン化したりできます。また、複数ページの原稿を 1 つのファイルにまとめるか、ページごとに別々のファイルにするかも設定できます。

1 スキャンの画面で、ファイル形式の設定ボタンを押す ➡ スキャンの画面 (P. 443)



➡ [ファイル形式] 画面が表示されます。

2 ファイル形式を選択する

[JPEG]

写真原稿に適したファイル形式です。複数ページの原稿の場合は、ページごとに別々のファイルに分割されます。

[TIFF]

画像原稿に適したファイル形式です。原稿は白黒でスキャンされます。

[TIFF / JPEG (自動)]

スキャンするときの色の設定に応じて、自動的に TIFF または JPEG に設定されます。🔗色を選択する (P. 448)

- スキャンするときの色が [白黒 2 値] の場合：TIFF
- スキャンするときの色が [白黒 2 値] 以外の場合：JPEG

TIFF と JPEG のどちらの場合でも、複数ページの原稿のときは、ページごとに別々のファイルに分割されます。

[PDF]

文書に適したファイル形式です。OS に左右されず、どのパソコンでも同じように文書を表示することができます。

[XPS]

Windows Vista から採用されたファイル形式です。Windows 上であれば、どのパソコンでも同じように文書を表示することができます。

[OOXML]

国際標準化機関によって標準化された Microsoft Office 文書のファイル形式 (Office Open XML) です。Word または PowerPoint で編集することができます。Word と PowerPoint のどちらの形式にするか選択します。

3

必要に応じて、PDF/XPS/OOXML の追加機能を設定する

手順 2 で PDF/XPS/OOXML のいずれかを選択した場合は、追加機能を設定できます。

PDF の追加機能を設定する場合

データサイズを小さくする

[高圧縮] を押して、選択した状態にします。

原稿の文字をテキストとして検索できるようにする

[OCR (文字認識)] を押して、選択した状態にします。

詳しくは、以下を参照してください。

🔗テキスト検索できるファイルを作成する - OCR 処理 (P. 465)

セキュリティを高める

[暗号化する] / [電子署名をつける] / [機器署名をつける] を押して、選択した状態にします。

詳しくは、以下を参照してください。

🔗スキャンデータのセキュリティを高める (P. 432)

文字や線画をアウトライン化する

[アウトライン] を押して、選択した状態にします。

文字や線画の部分がくっきりと表示された PDF ファイルが作成されます。また、PDF ファイル上のアウトラインデータは、Adobe Illustrator で利用して加工することもできます。

長期保存に適した PDF ファイルを作成する

PDF の表示が機器や閲覧ソフトによって変わらないことが保証される PDF/A に準拠した PDF ファイルが作成されるため、長期保存に適しています。

[PDF/A 準拠にする] を押して、選択した状態にします。

- [スキャンして保存] の場合は、[PDF/A 準拠にする] を押して、選択した状態にします。[PDF/A-1b] の形式でファイルが作成されます。
- [スキャンして送信] の場合は、[PDF/A 準拠にする] を押して、形式を選択します。選択を解除したいときは、[設定取消] を押します。

XPS の追加機能を設定する場合

データサイズを小さくする

[高圧縮] を押して、選択した状態にします。

原稿の文字をテキストとして検索できるようにする

[OCR (文字認識)] を押して、選択した状態にします。
詳しくは、以下を参照してください。
④ **テキスト検索できるファイルを作成する - OCR 処理 (P. 465)**

セキュリティを高める

[電子署名をつける] / [機器署名をつける] を押して、選択した状態にします。
詳しくは、以下を参照してください。
④ **スキャンデータのセキュリティを高める (P. 432)**

OOXML の追加機能を設定する場合

原稿の文字をテキストとして検索できるようにする場合は、[OCR (文字認識)] を押して、選択した状態にします。
詳しくは、以下を参照してください。
④ **テキスト検索できるファイルを作成する - OCR 処理 (P. 465)**

4 必要に応じて、分割の設定をする

複数ページの原稿を 1 つのファイルではなく、ページごとに別々のファイルに分割したい場合は、[ページごとに分割] を押して、選択した状態にします。
[スキャンして送信] からスキャンする場合は、何ページごとに分割するかを指定し、[OK] を押します。

5 [OK] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

メモ

ファイル形式によるカラー選択／解像度／倍率への影響

- PDF (高圧縮またはアウトライン) / XPS (高圧縮) / OOXML を選択した場合は、以下の設定が限定されます。
 - ・ カラー選択: [白黒 2 値] 以外
 - ・ 解像度: [300x300dpi]
 - ※PowerPoint 形式の OOXML の場合は、[600x600dpi] に設定することもできます。
 - ※PDF (高圧縮またはアウトライン) の場合は、[300x300dpi (一部 150dpi)] になります。

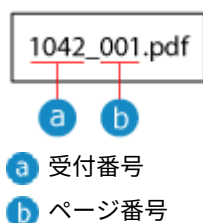
アウトライン化した PDF ファイルを作成する場合

- 原稿によっては、文字や線画が正しく識別されないことがあります。
- Adobe Illustrator のバージョンによっては、アウトライン化した PDF を開くときに文字と背景がずれたり、文字や線画が表示されなかったりすることがあります。

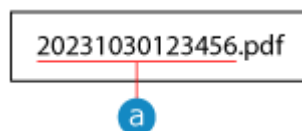
ファイル名を設定する

初期設定では、スキャンデータは以下のファイル名で送信／保存されます。

- メールに送信する場合



- メール以外の宛先に送信する場合／スキャンデータを保存する場合



- a** 送信／保存日時（上記の場合は「2023/10/30 12:34:56」）

※ファイル形式の設定で「ページごとに分割」を設定した場合

ファイル名の末尾にページ番号が付加されます。（送信の場合は5桁、保存の場合は3桁）

例：

20231030123456_00001.pdf

20231030123456_001.pdf

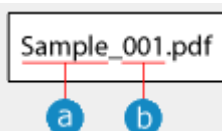
内容がわかるような任意のファイル名を指定したり、原稿の先頭にある文字列を抽出してファイル名にするように設定したりできます。

1 スキャンの画面で、「ファイル名」または「その他の機能」▶「ファイル名」を押す▶スキャンの画面 (P. 443)

→「ファイル名」画面が表示されます。

2 ファイル名を設定する

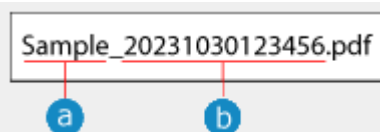
- 「スキャンして送信」からスキャンする場合は、「ファイル名」を押し、ファイル名にしたい任意の文字列を入力して、「OK」を押します。
- スキャンデータは以下のファイル名で送信／保存されます。
 - メールに送信する場合



- a** 設定したファイル名

- b** ページ番号

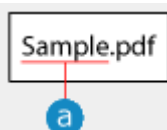
- メール以外の宛先に送信する場合



- a** 設定したファイル名

- b** 送信／保存日時（上記の場合は「2023/10/30 12:34:56」）

- スキャンデータを保存する場合



- a** 設定したファイル名

※保存先に同名ファイルが存在するときは、ファイル名の末尾に「(1)」～「(9)」が付加されます。

例：

Sample(1).pdf

- 設定したファイル名とファイルの場所を示す文字列（パス）の合計が半角 256 文字を超える場合は、設定したファイル名で送信／保存されないことがあります。
- ファイルサーバーなどに送信する場合に、「\」「/」「:」「*」「?」「"」「<」「>」「|」など、送信先の OS で使用できない文字を入力すると、送信できないことがあります。
- スキャンデータを保存する場合は、「\」「/」「:」「*」「?」「"」「<」「>」「|」は使用できません。また、ファイル名の先頭と末尾には、半角ピリオドと半角スペースも使用できません。

原稿の先頭にある文字列を抽出してファイル名にする場合（スキャンして送信時のみ）

〔自動 (OCR)〕を押して、チェックマークを付けます。

- ファイル形式が PDF/XPS/OOXML のいずれかで、〔OCR (文字認識)〕が設定されている場合にのみ有効です。
- PDF ファイルの暗号化と同時に設定して送信することはできません。
- ファイル名として抽出する文字数は変更できます。➡ **〔OCR (文字認識) 設定〕 (P. 1057)**
- 〔ファイル名〕に文字列を入力した場合は、その文字列のあとに原稿から抽出した文字列が追加されます。
※ファイル名の文字数の上限を超えた文字列は削除されます。
- 〔自動 (OCR)〕を有効にしたときのファイル名は、以下には反映されません。
 - 画面下部のステータス表示部に表示される送信状況 ➡ **〔ホーム〕画面 (P. 156)**
 - 送信結果レポート ➡ **送信結果レポートをプリントする (P. 475)**
 - 送信エラーになった場合の送信履歴 ➡ **スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する (P. 479)**

ファイル名に日時やページ番号が自動付与されないようにする場合（スキャンして送信時のみ）

〔日時/受付番号の削除〕を押して、チェックマークを付けます。

送信先に同名ファイルが存在する場合に、ファイルを上書きするときは、〔同名ファイルは上書き〕を押して、チェックマークを付けます。

※ 〔同名ファイルは上書き〕のチェックマークを外した場合に、送信先に同名ファイルが存在するときは、ファイル名の末尾に 4 桁の番号が付加されます。

例：

Sample(0001).pdf

3

〔OK〕または〔OK〕▶〔閉じる〕を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

メモ

〔スキャンして送信〕の「よく使う設定」に登録したファイル名を編集する

- ファイル名を設定した状態で「よく使う設定」に登録した場合は、以下の手順で、「よく使う設定」に登録したファイル名の設定のみを編集することができます。

リモート UI にログイン ▶ 〔設定/登録〕 ▶ 〔送信〕 ▶ 〔よく使う設定〕 ▶ 〔編集〕 ▶ ファイル名を編集 ▶ 〔OK〕

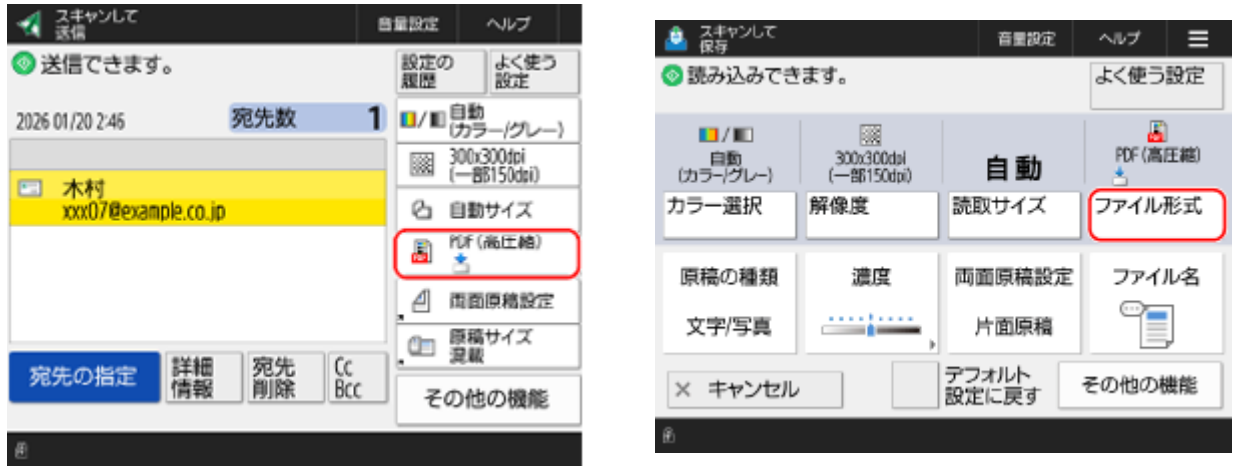
※操作パネルを使用してファイル名の設定のみを編集することはできません。ファイル名の変更したい場合は、「よく使う設定」に登録しなおします。➡ **「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)**

テキスト検索できるファイルを作成する - OCR 処理

OCR（Optical Character Recognition：光学文字認識）とは、原稿の文字を認識して文字情報を抽出する技術です。

原稿をスキャンするときに OCR 処理を行って、テキスト検索が可能な PDF（サーチャブル PDF）または XPS/OOXML ファイルを作成するように設定します。

1 スキャンの画面で、ファイル形式の設定ボタンを押す ▶ スキャンの画面 (P. 443)



→ [ファイル形式] 画面が表示されます。

2 ファイル形式を選択する

- PDF または XPS ファイルを作成する場合は、[PDF] または [XPS] を押します。
- Word 形式の OOXML ファイルを作成する場合は、[OOXML] ▶ [Word] を押します。
- PowerPoint 形式の OOXML ファイルを作成する場合は、[OOXML] ▶ [PowerPoint] を押します。

3 [詳細設定] ▶ [OCR (文字認識)] を押す

手順 2 で [PDF] または [XPS] を選択した場合は、[高圧縮] など他の追加機能と組み合わせて設定できます。

4 原稿の言語に合わせて、OCR 処理する言語を選択する

- 手順 2 で [PDF] または [XPS] を選択した場合は、[OCR の言語] のプルダウンメニューから選択します。
- 手順 2 で [OOXML] ▶ [Word] を選択した場合は、[変更] を押し、言語を選択して [OK] を押します。
- 手順 2 で [OOXML] ▶ [PowerPoint] を選択した場合は、言語を選択し、[OK] を押します。

5 [OK] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

メモ

原稿の向きの自動検知

- 初期設定では、ファイル作成時に判断された文字の向きによって、原稿の向きが自動で検知されます。▶ **[OCR (文字認識) 設定] (P. 1057)**

背景画像を消去する (Word 形式の OOXML のみ)

- ファイル作成時に背景として認識された画像を消去するように設定できます。不必要な画像が消えるため、Word ファイルの編集がしやすくなります。▶ **[Word ファイルに背景画像を含める] (P. 1058)**

正常に OCR 処理が行われない場合

- 手順 4 の言語設定が、原稿で使用されている言語に合っているかどうかを確認します。
- 使用している原稿が、OCR 処理に適しているかどうかを確認します。▶ **文字が正しく OCR 処理されない (P. 467)**

文字が正しく OCR 処理されない

EJ83-07J

テキスト検索できるファイルを作成するときに、正常に OCR 処理が行われないことがあります。その場合は、OCR 処理の言語設定や、使用している原稿が適切かどうかを確認します。

言語設定を原稿に合わせて変更したり、本機が認識できる文字種と書体の原稿や OCR 処理に適した原稿を使用したりすることで、処理精度が向上します。

- ① OCR 処理の基準となる設定と言語 (P. 467)
- ② 認識できる文字種と書体 (アジア言語) (P. 468)
- ③ 認識できる文字種と書体 (欧州言語) (P. 468)
- ④ OCR 処理に適した原稿 (P. 469)

重要

言語設定や原稿が適切でも正常に OCR 処理が行われない場合

- 1 ページあたりの文字数が多い原稿は、処理精度が向上しないことがあります。
- Word 形式の OOXML ファイルを作成する場合は、以下のようなことがあります。
 - 地色／字体／文字の大きさ／文字の傾きなどによっては、意図しない文字に置き換えられたり、文字が欠落したりする
 - 段落／改行／表が再現されない
 - 図／写真／印鑑などの画像の一部が文字として認識され、文字に置き換えられる

OCR 処理の基準となる設定と言語

文字認識の基準となる言語の設定	OCR 処理の設定時に選択した言語が、文字認識の基準となります。① テキスト検索できるファイルを作成する - OCR 処理 (P. 465)
認識できるアジア言語	日本語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国語 ※文字種と書体については、以下を参照してください。 ② 認識できる文字種と書体 (アジア言語) (P. 468)
認識できる欧州言語および言語グループ	言語 英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、オランダ語、ポルトガル語、アルバニア語、カタロニア語、デンマーク語、フィンランド語、アイスランド語、ノルウェー語、スウェーデン語、クロアチア語、チェコ語、ハンガリー語、ポーランド語、スロバキア語、エストニア語、ラトビア語、リトアニア語、ロシア語、ギリシャ語、トルコ語 言語グループ 西ヨーロッパ言語 (ISO) *1、中央ヨーロッパ言語 (ISO) *2、バルト言語 (ISO) *3 ※文字種と書体については、以下を参照してください。 ③ 認識できる文字種と書体 (欧州言語) (P. 468)

*1 英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、オランダ語、ポルトガル語、アルバニア語、カタロニア語、デンマーク語、フィンランド語、アイスランド語、ノルウェー語、スウェーデン語が含まれます。

*2 英語、クロアチア語、チェコ語、ハンガリー語、ポーランド語、スロバキア語が含まれます。

*3 英語、エストニア語、ラトビア語、リトアニア語が含まれます。

認識できる文字種と書体（アジア言語）

認識できる文字種	日本語 アルファベット、数字、漢字^{*1}、記号、ひらがな、カタカナ 中国語（簡体字） GB2312-80（アルファベット、数字、漢字、記号） 中国語（繁体字） Big5（アルファベット、数字、漢字、記号） 韓国語 KSC5601（アルファベット、数字、漢字、記号、ハングル）
認識できる書体	マルチフォント対応（推奨：明朝体） ※斜体で書かれた文字は認識できません。
認識できる文字サイズ	8 ポイント ～ 48 ポイント
OCR 処理後の書体 ^{*2}	日本語 - アジア系文字：MS 明朝 - 欧文文字：Century 中国語（簡体字） - アジア系文字：SimSun - 欧文系文字：Calibri 中国語（繁体字） - アジア系文字：PMingLiU - 欧文系文字：Calibri 韓国語 - アジア系文字：Malgun Gothic - 欧文系文字：Calibri

^{*1} JIS 第一水準のすべて、および JIS 第二水準の一部

^{*2} Word 形式の OOXML ファイル作成時のみ

認識できる文字種と書体（欧州言語）

認識できる文字種	アルファベット、認識言語の固有文字 ^{*1} 、数字、記号
認識できる書体	マルチフォント対応（推奨：Times、Century、Arial） ※斜体で書かれた文字を認識できます。
認識できる文字サイズ	6 ポイント ～ 72 ポイント
OCR 処理後の書体 ^{*2}	Calibri ※斜体は再現されません。

^{*1} 言語によっては一部認識できない固有文字があります。

^{*2} Word 形式の OOXML ファイル作成時のみ

OCR 処理に適した原稿

OCR 処理に適した原稿を使用することで、処理精度をより向上させることができます。

原稿の形式	● 印刷文書、ワープロ文書 ● テキスト／図／写真／表で構成されていて傾きのないもの
テキストの形式	● 横書き、縦書き（横書きと縦書きが混在した文書も認識可能）^{*1} ● 1 段組 ～ 3 段組で複雑な入りの組みのないもの
文字サイズ	8 ポイント ～ 40 ポイント
表の形式 ^{*2}	以下の条件を満たす表 ● 実線の罫線で構成された四角形 ● 列数が 32 列以下 ● 行数が 32 行以下

^{*1} 欧州言語と韓国語の場合は、横書きのみ認識可能

^{*2} Word 形式の OOXML ファイル作成時のみ

メール／Iファクスの設定

EJ83-07K



スキャンデータをメール／Iファクスで送信する場合に、メールの情報を設定できます。

※ [スキャンして保存] からスキャンする場合は、設定できません。

- ④ 件名や本文を設定する (P. 470)
- ④ 返信先を設定する (P. 471)
- ④ 重要度を設定する (P. 472)

件名や本文を設定する

メールの件名や本文を設定します。

初期設定では、メールの件名は、[設定/登録] メニューで設定されている件名が自動的に付与されます。④ **【省略時の件名】 (P. 1087)**

アドレス帳に登録されている宛先の [名称] を、メールの件名に設定できます。④ **【宛先の名称を件名に使用】 (P. 1087)**

1 スキャンの画面で、[その他の機能] ▶ [件名/本文] を押す ④ **スキャンの画面 (P. 443)**

→ [件名/本文] 画面が表示されます。

2 件名や本文を入力する

[件名] / [本文] を押し、件名や本文を入力して、[OK] を押します。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

メモ

モバイル機器から本機に件名や本文を送信する

- モバイル機器で入力した件名や本文を本機に送信することもできます。④ **宛先を指定する - モバイル機器のアドレス帳 (P. 322)**
- モバイル機器から受信した件名や本文は、上記の手順で編集することができます。
ただし、本機で入力できる文字数の上限を超えた文字列の場合、本機で編集すると、手順 2 の入力画面に表示されない文字 (超過した文字) は削除されます。

※手順 2 の入力画面で [キャンセル] を押した場合 (本機で編集しなかった場合) は、超過した文字は削除されません。

返信先を設定する

宛先にメールの返信先として通知するメールアドレス（Reply-To）を設定します。

返信先には、アドレス帳に登録されている宛先（個人宛先表とユーザーグループ宛先表の宛先は除く）を設定できます。

初期設定では、メールの送信元として通知するメールアドレス（From）が返信先となります。

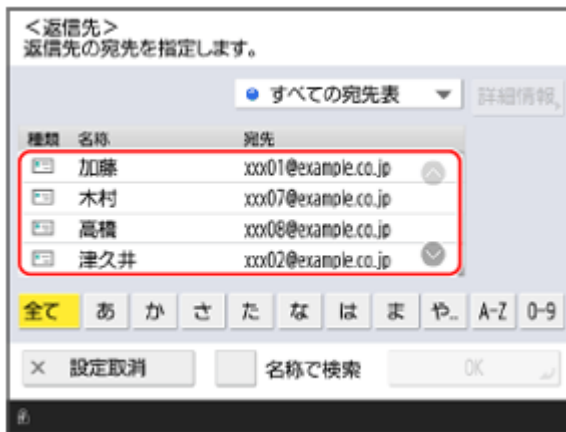
必要な準備

- 返信先として設定するメールアドレスを、本機のアドレス帳に登録します。▶ [宛先の登録 - アドレス帳 \(P. 270\)](#)

1 スキャンの画面で、[その他の機能] ▶ [返信先] を押す ▶ [スキャンの画面 \(P. 443\)](#)

→ [返信先] 画面（アドレス帳の画面）が表示されます。

2 返信先として設定する宛先（メールアドレス）を選択する



- 画面下部のインデックスや [名称で検索] を選択したり、宛先表のプルダウンメニューから宛先表を選択したりすると、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。▶ [アドレス帳の画面 \(P. 271\)](#)
- アクセス番号が設定されている宛先を表示する場合は、[アクセス番号] を押し、アクセス番号を入力します。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

メモ

メールの送信元について

- 宛先にメールの送信元として通知するメールアドレス（From）は、返信先の設定にかかわらず、以下のメールアドレスとなります。

本機にログインしている場合

初期設定では、ログインユーザーのメールアドレスとなります。▶ [【認証ユーザー宛先を E メール送信元に指定】 \(P. 1088\)](#)

※ログインユーザーのメールアドレスを送信元として通知しないように設定した場合、返信先として通知するように設定することもできます。▶ [【認証ユーザー宛先を返信先に指定】 \(P. 1088\)](#)

本機にログインしていない場合

本機のメールアドレスとなります。

I ファックスを Full モードで送信した場合

- 宛先の機器によっては、返信先として設定したメールアドレスにも MDN（送信結果の通知メール）が届くことがあります。

重要度を設定する

メールの重要度のレベルを設定します。

1 スキャンの画面で、[その他の機能] ▶ [E メール的重要度] を押す  **スキャンの画面 (P. 443)**

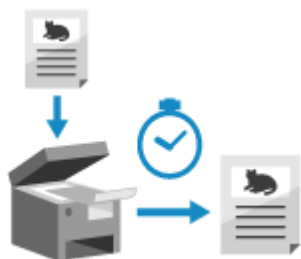
→ [E メール的重要度] 画面が表示されます。

2 重要度のレベルを選択する

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

タイマー送信の設定



スキャンしたデータをすぐに送信せず、指定した時刻になったときに、自動的に送信するように設定します。

※ [スキャンして保存] からスキャンする場合は、設定できません。

1 スキャンの画面で、[その他の機能] ▶ [タイマー送信] を押す ➡ **スキャンの画面 (P. 443)**

→ [タイマー送信] 画面が表示されます。

2 タイマー送信する時刻を入力する

時刻の表示形式の設定にかかわらず、24 時間形式で入力します。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

メモ

- 送信が完了したかどうかは、[状況確認] 画面で確認できます。 ➡ **スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する (P. 479)**
- タイマー送信は最大 64 件まで設定できます。
ただし、以下のような場合は、設定できる件数が少なくなります。
 - 同時に複数のスキャンデータを送信している場合
 - 大きなデータサイズのスキャンデータを送信している場合
 - 受信トレイで大量にメモリーを使用している場合

送信結果通知の設定

EJ83-07R



送信結果をメールで通知するように設定したり、送信結果のレポートをプリントするように設定したりできます。

※ [スキャンして保存] からスキャンする場合は、設定できません。

- ④ 送信結果をメールで通知する (P. 474)
- ④ 送信結果レポートをプリントする (P. 475)

送信結果をメールで通知する

送信終了時に、送信結果をメールで通知するように設定します。

送信が順番待ちとなったときに本機から離れても、パソコンやモバイル機器で送信結果を確認できます。エラー時にのみ通知するように設定することもできます。

通知先には、アドレス帳に登録されている宛先（個人宛先表とユーザーグループ宛先表の宛先は除く）、またはログインユーザーのメールアドレスを設定できます。

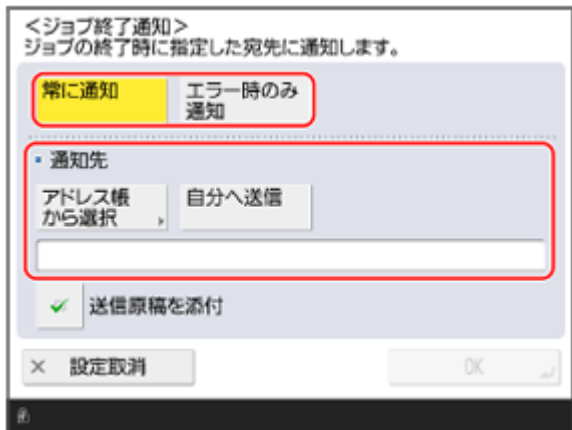
必要な準備

- 通知先として設定するメールアドレスを、本機のアドレス帳またはユーザー情報に登録します。
 - ④ 宛先の登録 - アドレス帳 (P. 270)
 - ④ ローカルデバイスにユーザー情報を登録する (P. 687)

- 1 スキャンの画面で、[その他の機能] ▶ [ジョブ終了通知] を押す ④ **スキャンの画面 (P. 443)**

→ [ジョブ終了通知] 画面が表示されます。

2 通知の条件と通知先を設定する

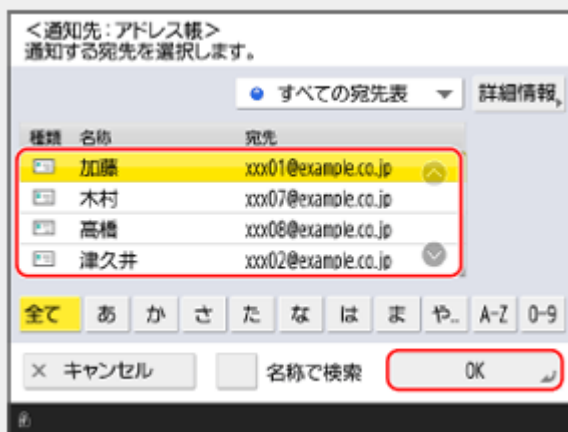


送信した原稿の1ページ目をPDFファイルで通知メールに添付する場合は、[送信原稿を添付] にチェックマークを付けます。

通知先をアドレス帳から選択する場合

[アドレス帳から選択] を押すと、アドレス帳の画面が表示されます。

アドレス帳の画面で、通知先として設定する宛先（メールアドレス）を選択し、[OK] を押します。



- 画面下部のインデックスや[名称で検索]を選択したり、宛先表のプルダウンメニューから宛先表を選択したりすると、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。▶ [アドレス帳の画面 \(P. 271\)](#)
- アクセス番号が設定されている宛先を表示する場合は、[アクセス番号] を押し、アクセス番号を入力します。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

送信結果レポートをプリントする

初期設定では、エラー時には自動的に送信結果のレポートがプリントされます。

送信結果にかかわらず、送信終了時にレポートをプリントするように設定できます。

※本機の設定によっては、スキャンの画面から送信結果レポートを設定できません。▶ [\[送信結果レポート\] \(P. 1075\)](#)

1 スキャンの画面で、[その他の機能] ▶ [送信結果レポート] を押す ▶ [スキャンの画面 \(P. 443\)](#)

→ 設定ボタンの下部に「設定あり」が表示されます。

2

「閉じる」を押す

→ スキャンの画面に戻ります。

スキャンを中止する

EJ83-07S

本機でスキャンした場合は、画面の表示に従ってスキャンを中止できます。

- [中止] ▶ [はい] を押します。



- 上記の画面が表示されていない場合は、[ ストップ] ▶ [はい] を押します。



送信ジョブが複数あるときに [ ストップ] を押した場合

- 初期設定では、最後に実行したジョブが中止対象のジョブとして画面に表示されます。▶ [ストップ押下時に中止するジョブ] (P. 1082)

- 他のジョブを中止したい場合は、[他のジョブを確認] を押し、送信ジョブの一覧から中止したいジョブを選択して、[中止] を押します。



スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する

EJ83-07U

本機でスキャンした場合は、スキャンデータの送信／保存状況や履歴を確認できます。

スキャンデータの送信／保存をはじめ、本機で行われる処理はジョブとして管理されています。ジョブの状況／履歴を確認することで、正しく送信／保存できたかどうかや、エラーが発生している場合の原因がわかります。

本機の設定によっては、送信エラーが発生したジョブを再送信することもできます。

※履歴を表示しないように設定されている場合は、送信／保存状況のみ確認できます。▶ [\[ジョブ履歴の表示\]](#) (P. 1157)

▶ [送信／保存状況を確認する](#) (P. 479)

▶ [履歴を確認する](#) (P. 480)

メモ

- ログインユーザーのジョブを他人が操作できないように制限できます。▶ [\[認証ユーザー以外のジョブの操作制限\]](#) (P. 1156)

送信／保存状況を確認する

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。

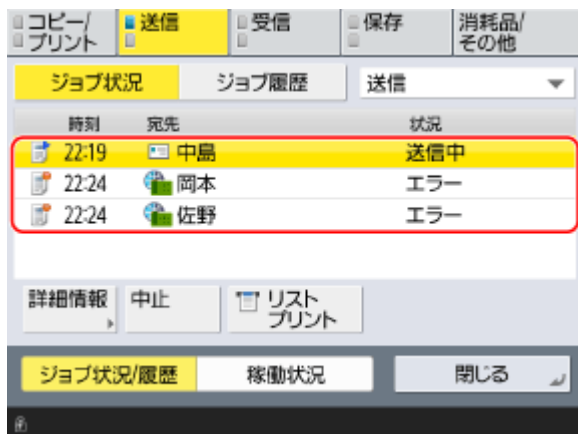
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。▶ [リモート UI で使用状況／履歴を確認する](#) (P. 893)

1 操作パネルの「ホーム」画面などで、 **状況確認** を押す ▶ [\[ホーム\] 画面](#) (P. 156)

→ **状況確認** 画面が表示されます。

2 **送信** または **保存** を押し、**ジョブ状況** を押す

3 実行中や待機中のジョブを確認する



送信状況を表示している場合は、**リストプリント** を押すと、送信状況の一覧をプリントできます。

4 詳細を確認したいジョブを選択し、**詳細情報** を押す

→ジョブの詳細情報が表示されます。

5 ページ数やファイル名などを確認する

送信エラーが発生したジョブを再送信する場合

※初期設定では、送信エラーが発生したジョブは自動的に削除するように設定されており、再送信できません。

④ [エラージョブクリア] (P. 1077)

[再送信] を押します。

- 同じ種類の宛先が複数設定されている場合は、[同報リスト] を押して宛先を選択してから、[再送信] を押します。
- 別の宛先に再送信したい場合は、[宛先変更] を押して宛先を変更してから、[再送信] を押します。

メモ

タイマー送信が設定されているジョブの宛先を変更する

- 送信待機中（指定した時刻になるまでの間）は、手順 5 で [宛先変更] を押すと、宛先を変更できます。ただし、以下の場合は、宛先を変更できません。
 - 複数の宛先が指定されている場合
 - 送信時に指定できる宛先が、登録済みの宛先のみに限定されている場合 ④登録済みの宛先のみに送信できるようにする (P. 809)

履歴を確認する

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。④リモート UI で使用状況／履歴を確認する (P. 893)

1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[👁️ 状況確認] を押す ④ [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [状況確認] 画面が表示されます。

2 [送信] または [保存] を押し、[ジョブ履歴] を押す

3 送信／保存が完了したジョブを確認する



- 送信履歴を表示している場合は、[通信管理レポート] を押すと、送信履歴の一覧をプリントできます。
- 保存履歴を表示している場合は、[リストプリント] を押すと、保存履歴の一覧をプリントできます。

4 詳細を確認したいジョブを選択し、[詳細情報] を押す

→ ジョブの詳細情報が表示されます。

5 ページ数やファイル名などを確認する

【結果】に【NG】が表示されている場合

送信／保存が中止されたか、エラーが発生しました。

【終了コード】に「#」で始まる3桁の番号が表示されている場合は、終了コードから、原因や対処方法を確認できます。▶ **終了コードが表示された（#xxx）（P. 1493）**

メモ

白紙スキップを設定したジョブのページ数

- ジョブの詳細情報に表示される【原稿ページ数】には、白紙を含んだページ数が表示されます。
- 白紙スキップ後のページ数は、ジョブの詳細情報に表示される、【送信ページ数】または【保存ページ数】で確認します。

送信履歴から宛先を指定／登録する

- 手順 3 で、ジョブを選択して【送信宛先に指定】または【宛先の登録】を押すと、送信履歴と同じ宛先を指定したり、アドレス帳に宛先を登録したりできます。

▶ **宛先を指定する - 送信履歴（P. 323）**

▶ **アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル（P. 276）**

ファクスする

ファクスする	483
ファクスの準備	485
本機でファクスを送受信するための準備	486
パソコンからファクスを送信するための準備	491
ファクスの転送／バックアップの設定	493
送信したファクスを自動転送／バックアップする	494
受信したファクスを自動転送／バックアップする	497
ファクスを送信する	502
内容や相手を確認してからファクスを送信する	506
スキャンした原稿の内容を確認／ページ整理する - プレビュー	507
相手につながったことを確認してから送信する - ダイレクト送信	509
通話に続けてファクスを送信する - 手動送信	512
パソコンからファクスを送信する - PC ファクス	515
PC ファクスを安全に送信するために	518
ファクスの送信設定	519
ファクスの画面	521
原稿サイズの設定	522
画質の調整	525
両面スキャンの設定	530
原稿に応じた設定	531
発信元の設定	534
タイマー送信の設定	536
送信結果通知の設定	537
ファクスを受信する	539
電話機の操作でファクスを受信する - リモート受信	541
受信したファクスのプリント設定を変更する	542
メモリー受信したファクスを確認／プリント／転送する	545
親展受信したファクスを確認／プリントする	547
ファクスの送信を中止する	549
ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する	551
インターネットファクスを使用する - I ファクス	554
リモートファクスを使用する	560

ファクスする

ファクスとは、電話回線を使用して、文書や写真などを白黒の画像として送受信することです。電話回線を使用せずに、インターネット経由でファクスを送受信することもできます。

ファクスの送信

以下の2つの方法があります。

本機から送信する



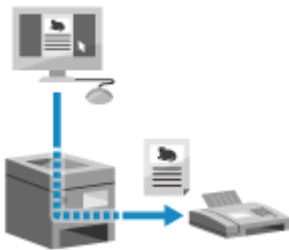
本機で文書や写真などの印刷物（原稿）をスキャンし、白黒の画像に変換して送信します。

➡ **ファクスを送信する (P. 502)**

送信したファクスを、特定の宛先に自動的に転送／保存することもできます。

➡ **送信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 494)**

パソコンから送信する



パソコンにインストールされたファクスドライバーを介して、文書や写真を白黒の画像に変換して送信します。

パソコンから文書や写真をプリントする要領で、ファクスを送信できます。ファクスを送信するために、印刷物を用意する必要はありません。

➡ **パソコンからファクスを送信するための準備 (P. 491)**

➡ **パソコンからファクスを送信する - PC ファクス (P. 515)**

※macOS の場合は、OS に標準搭載されている AirPrint 機能を使用して、ファクスドライバーをインストールせずにパソコンから送信することもできます。➡ **AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する (P. 668)**

ファクスの受信

ファクスの着信時は、呼び出し音が鳴らずに自動受信します。呼び出し音が鳴った場合は、受話器を取って通話かファクスかを確認して、ファクスのときは受信操作をします。

➡ **ファクスを受信する (P. 539)**

受信したファクスを、特定の宛先に自動的に転送／保存することもできます。

➡ **受信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 497)**

インターネットファクスの送受信

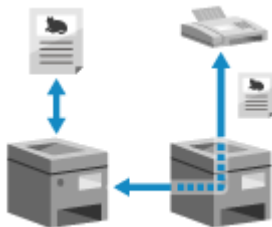


インターネットファクス（Iファクス）とは、インターネットを経由してファクスを送受信する機能です。電話回線を使用しないため、通信費を気にせずにファクスを送ることができます。また、Iファクスを受信すると自動的に受信データがプリントされます。

送信先／送信元の機器がIファクスに対応している必要があります。

🔗 [インターネットファクスを使用する - Iファクス \(P. 554\)](#)

キヤノン複合機を介したファクスの送受信 - リモートファクス



ファクス機能があるキヤノン複合機の回線を利用して、同じネットワーク上のファクス機能がないキヤノン複合機でファクスを送受信できるようにします。

機器同士でファクス機能や電話回線を共有できるので、機能や回線の導入コストを抑えて、効率よくファクスを利用できます。

🔗 [リモートファクスを使用する \(P. 560\)](#)

※リモートファクスは、どちらの複合機も imageFORCE シリーズ、imageRUNNER ADVANCE シリーズ、または Satera シリーズの場合に利用できます。

関連項目

受信したファクスのプリントを制限する

受信したファクスをプリントせずに、一時的に本機のメモリーに保存できます。

🔗 [受信したファクスをすぐにプリントしないようにする \(P. 824\)](#)

ファクスの準備

本機でファクスを送受信するには、本機のファクス番号や使用する電話回線の種類など、ファクスの初期設定が必要です。本機の初回起動時に表示された画面（設定ナビ）で、ファクスの設定をした場合は、ファクスの初期設定は不要です。🔵**初期設定をする - 設定ナビ (P. 82)**

ファクスの初期設定を行っていない場合／設定内容を変更したい場合

設定ナビでファクスの設定をしていない場合は、[設定/登録] メニューでファクスの初期設定を行います。設定ナビで設定した内容を、個別に変更することもできます。

🔵**本機でファクスを送受信するための準備 (P. 486)**

パソコンからファクスを送信する場合

ファクスを送信するパソコンごとに準備が必要です。

🔵**パソコンからファクスを送信するための準備 (P. 491)**

メモ

- 送信日時や本機のファクス番号などの発信元情報は、送信先でファクスの内容と併せてプリントされます。プリント位置やファクス番号に付けるマークを変更したり、プリントされないようにしたりできます。🔵**[発信元記録] (P. 1077)**
- 送受信したファクスを自動的に転送／保存する場合は、別途設定が必要です。🔵**ファクスの転送／バックアップの設定 (P. 493)**

本機でファクスを送受信するための準備

EJ83-07Y

本機でファクスを送受信するには、本機のファクス番号や使用する電話回線の種類など、ファクスの初期設定が必要です。本機の初回起動時に表示された画面（設定ナビ）で、ファクスの設定をした場合は、ファクスの初期設定は不要です。🔗**初期設定をする - 設定ナビ (P. 82)**

設定ナビでファクスの設定をしていない場合は、[設定/登録] メニューでファクスの初期設定を行います。設定ナビで設定した内容を、個別に変更することもできます。

🔗**送信の初期設定 (P. 486)**

🔗**受信の初期設定 (P. 487)**

メモ

受話器が外れたままになっているときの警告音を設定する

- オプションのハンドセットを接続している場合に、受話器が外れたままになっていると、初期設定では警告音が鳴るようになっています。警告音を鳴らさないように設定することもできます。🔗**【オフフックアラーム】 (P. 1096)**

1本の回線で2つの番号を利用する

- モデムダイヤルイン機能を有効にすると、1本の電話回線に2つのファクス番号を持たせて、2回線に接続しているように使用できます。🔗**【モデムダイヤルイン設定】 (P. 1099)**

※モデムダイヤルイン機能を利用するには、電話会社とダイヤルインの契約が必要です。

送信の初期設定

本機のファクス番号／ユーザー略称／回線種類などを設定します。

※本機をリモートファクスのクライアント機として使用する場合は、ファクス番号の設定のみ必要です。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。ただし、一部の項目はリモート UI では設定できません。🔗

パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

重要

- 回線種類の設定が間違っていると送信できません。電話回線の種類がわからない場合は、電話会社にお問い合わせください。

1

本機に管理者ユーザーでログインする 🔗**ログイン方法 (P. 191)**

2

操作パネルの [ホーム] 画面などで、 **設定/登録** を押す 🔗 **【ホーム】 画面 (P. 156)**

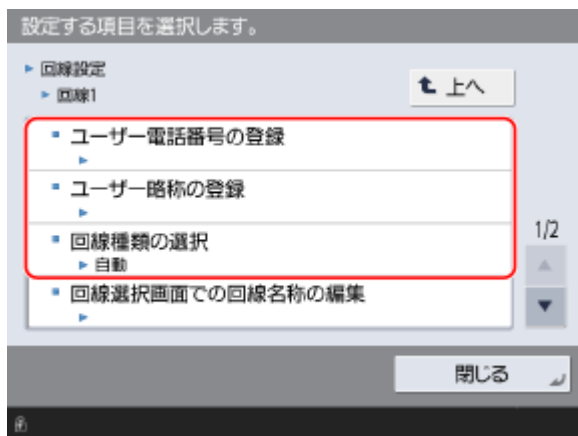
→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [回線設定] を押す

4 設定する回線（[回線 1] ～ [回線 n]）を押す

表示される回線数は、オプションの装着状態や、モデムダイヤルイン機能の設定によって異なります。

5 ファクス番号／ユーザー略称／回線種類を設定する



- ファクス番号は、[ユーザー電話番号の登録] で設定します。
- ユーザー略称には、名前や会社名を設定します。初期設定では、ユーザー略称が発信元として送信先でプリントされます。

6 必要に応じて、回線の名称や回線選択時の宛先表を設定します。

[回線選択画面での回線名称の編集]

回線の名称を設定します。

設定した回線の名称は、ファクスの画面で回線を選択するときの、回線の一覧に表示されます。

[回線選択時のデフォルト宛先表の選択]

回線選択時に初期設定として表示される宛先表を設定します。

ファクスの画面で回線を選択している状態で、アドレス帳から宛先を指定すると、設定されている宛先表が初期設定として表示されます。

7 [閉じる] を押す

→ 設定が反映されます。

メモ

発信人の名称を登録する

- ファクス送信時に、ユーザー略称の代わりに部門名や個人名などの名称を発信元として選択できるようにする場合は、発信人の名称を登録します。▶ **[発信人の名称登録] (P. 1095)**

受信の初期設定

ファクスの受信モードを設定します。

オプションのハンドセットまたは電話機を接続して使用する場合は、呼び出し時間なども設定します。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

※受信モードの設定は、標準回線（回線 1）にのみ反映されます。増設した回線には反映されません。

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、 設定/登録 を押す ▶ [［ホーム］画面 \(P. 156\)](#)

→ 設定/登録 画面が表示されます。

2 設定/登録画面で、[［ファクション設定］](#) ▶ [［受信/転送］](#) ▶ [［ファクス設定］](#) ▶ [［受信モード選択］](#) を押す

→ 受信モード選択 画面が表示されます。

3 受信モードを選択する

ハンドセットや電話機を接続しないで使用する場合

［自動受信］を選択します。ファクス専用で使用します。

- ファクスは自動受信します。
- 電話がかかってきても通話はできません。

ハンドセットまたは電話機を接続して自動受信する場合

［FAX/TEL 切替］を選択します。ファクスも電話も使用できます。

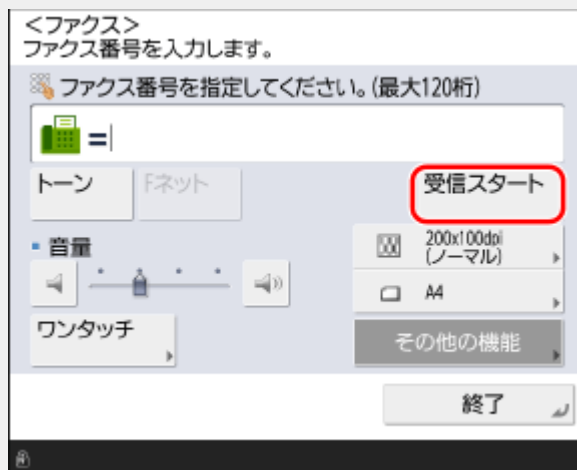
- ファクスは自動受信します。
- 電話がかかってきたときは、呼び出し音が鳴ります。受話器を取って通話します。

ハンドセットまたは電話機を接続して手動受信する場合

［手動受信］を選択します。ファクスも電話も使用できます。

- ファクスを受信したときは、呼び出し音が鳴ったあと受話器を取り、「ピー」という音を確認したあと、ファクスを受信します。

[ ホーム] ▶ [ファクス] ▶ [オンフック] ▶ [受信スタート]



- 電話がかかってきたときは、呼び出し音が鳴ります。受話器を取って通話します。

留守番電話機を接続して使用する場合

[留守 TEL 接続] を選択します。

- ファクスは、何回か呼び出し音が鳴ったあと自動受信します。
- 電話がかかってきたときは、留守録音が起動し、相手の伝言が録音されます。留守録音の起動前に受話器を取れば通話できます。

※呼び出し音が 1～2 回鳴ったあと、留守録音が起動するように設定します。

※留守番メッセージを録音する際は、最初の 4 秒間程度を無音状態にするか、もしくは全体の長さを 20 秒以内にすることをおすすめします。

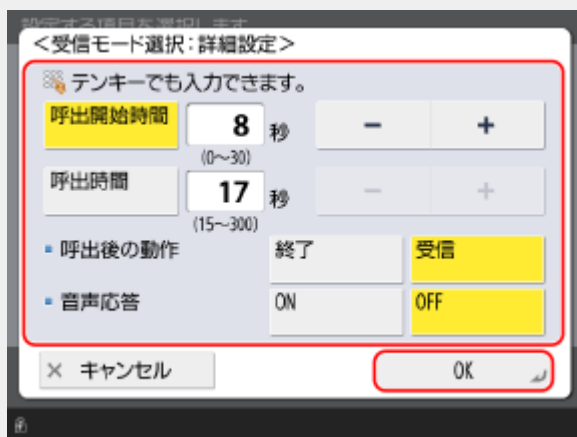
4

着信時の呼び出し時間や動作を設定する

受信モードで [FAX/TEL 切替] を選択した場合に設定します。

[FAX/TEL 切替] 以外を選択した場合は、この手順は不要です。手順 5 に進みます。

1. [詳細設定] を押す
2. 各項目を設定し、[OK] を押す



[呼出開始時間]

着信後、相手がファクスか電話かを判定する時間を指定します。この間、呼び出し音は鳴りません。ファクスと判定された場合は受信が開始されます。

[呼出時間]

相手がファクスと判定されなかった場合に、呼び出し音を鳴らす時間を指定します。

[呼出後の動作]

呼び出し音が鳴っている間に受話器を取らなかったときの動作を選択します。

[終了] に設定すると通信を切断し、[受信] に設定するとファクスを受信します。

[音声応答]

[ON] に設定すると、相手に以下の応答メッセージが流れます。

- 呼び出し中
「ただいま電話を呼び出しております。そのまましばらくお待ちください。ファクシミリの方は送信してください。」
- 受話器を取らなかったとき ([呼出後の動作] が [終了] の場合)
「呼び出しましたが近くにおりません。申し訳ございませんが後ほどおかけなおしてください。」
- 受話器を取らなかったとき ([呼出後の動作] が [受信] の場合)
「呼び出しましたが近くにおりません。ファクシミリをご利用の方は送信してください。」

5 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ 設定が反映されます。

メモ

ファクス着信時の呼び出し音を設定する

- ハンドセットまたは電話機を接続している場合に、ファクス着信時の呼び出し音を設定できます。▶ **ファクス着信時の呼び出し音を設定する (P. 328)**

着信時に相手先の電話番号を表示する

- ナンバーディスプレイ機能を有効にすると、電話に出る前に、操作パネルの画面に相手先の電話番号を表示させることができます。レポートにも相手先の電話番号がプリントされるようになります。▶ **[ナンバーディスプレイ設定] (P. 1118)**

※ナンバーディスプレイ機能を利用するには、電話会社とナンバーディスプレイの契約が必要です。

自動受信に切り替える時間を設定する

- 受信モードが手動受信の場合に、呼び出し音が一定時間鳴ったあと、ファクスを自動受信するようにするかどうかを設定できます。▶ **[自動受信切替] (P. 1117)**

パソコンからファクスを送信するための準備

EJ83-080

ファクスを送信するパソコンごとに、以下の準備をします。

- ④Step 1：パソコンにドライバーをインストールする (P. 491)
- ④Step 2：ドライバーでユーザー管理情報を設定する (P. 491)
- ④Step 3：ファクス送信のセキュリティを高める (P. 491)
- ④Step 4：ファクスの送信テストをする (P. 492)

Step 1：パソコンにドライバーをインストールする

ファクスを送信するパソコンに、ファクスドライバーをインストールします。④パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール (P. 140)

Step 2：ドライバーでユーザー管理情報を設定する

以下の場合は、ファクスドライバーでユーザー管理情報を設定します。④パソコンにユーザー管理情報を設定する (P. 741)

- パソコンからのファクス送信にユーザー認証が適用されている場合
- 本機が部門別 ID 管理中の場合

※上記のどちらにも該当しない場合は、この Step は不要です。Step 3 に進みます。

※該当するかどうか分からない場合は、管理者にお問い合わせください。

Step 3：ファクス送信のセキュリティを高める

パソコンからのファクスの送信は、自由に送信できて便利な反面、間違った番号に送信するなどのリスクがあります。こうしたリスクを低減するために、ファクスドライバーで以下の設定をしておくことをおすすめします。

- ④Windows の場合 (P. 491)
- ④macOS の場合 (P. 492)

Windows の場合

- 1 [] (スタート) ▶ [] (設定) ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする
→ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。
- 2 本機のファクスドライバー ▶ [印刷設定] をクリックする
→ ファクスドライバーの [印刷設定] 画面が表示されます。
- 3 安全に送信するための設定をする

- ファクス番号の確認入力を有効にする
- 外線接続番号を設定する
- 送信履歴を残す

詳しくは、[印刷設定] 画面の [ヘルプ] をクリックしてヘルプを参照してください。

macOS の場合

ファクスの送信時に、プリントダイアログ（ファクスドライバーの設定画面）で、安全に送信するための設定をします。

- ファクス番号の確認入力を有効にする
- 外線接続番号を設定する

詳しくは、プリントダイアログの [?] をクリックしてヘルプを参照してください。

Step 4：ファクスの送信テストをする

インストールや設定が終わったら、ファクスを正しく送信できることを確認します。🔗 [パソコンからファクスを送信する - PC ファクス \(P. 515\)](#)

ファクスの転送／バックアップの設定

EJ83-081

ファクスを送受信したときに、その内容が特定の宛先に自動的に転送／保存されるように設定できます。
受信したファクスの内容を本機と離れた場所で確認したいときや、送受信したファクスをバックアップしたいときに便利です。

- ① 送信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 494)
- ② 受信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 497)

送信したファクスを自動転送／バックアップする

EJ83-082

ファクスを送信したときに、その内容があらかじめ指定した宛先に自動的に転送／保存されるように設定します。

※送信エラーになった場合でも転送／保存されます。

指定できる宛先

- 転送／保存先として指定できるのは、アドレス帳に登録されている以下の宛先です（個人宛先表とユーザーグループ宛先表の宛先は除く）。
 - ファクス番号
 - メールアドレス（メール／Iファクス）
 - ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／他機のアドバンスドボックス）
 - グループ
- 指定できる宛先は1件のみですが、グループを指定した場合は、グループ内に登録されているすべての宛先に転送／保存されます。
ただし、本機がサポートしていないユーザーボックスを含むグループを指定した場合、ユーザーボックスには転送／保存されません。
- メールまたはファイルの保存先を指定した場合は、ファクスの内容が TIFF または PDF ファイルとして転送／保存されます。
また、メールの宛先を指定した場合は、本文のないメールの添付ファイルとして転送されます。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。🔗 [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- ファクス番号以外の宛先を転送／保存先に指定する場合は、その宛先にデータを転送／保存するための準備をします。
 - メールアドレスの場合 🔗 [メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)
 - ファイルの保存先の場合

共有フォルダー

必要に応じて、転送／保存先となる共有フォルダーを作成します。🔗 [共有フォルダーを作成する \(P. 1557\)](#)

FTP サーバー

FTP サーバーと本機の間にはファイアウォールが設けられている場合は、PASV モードを設定します。🔗 [FTP の PASV モードを設定する \(P. 408\)](#)

他機のアドバンスドボックス／Windows サーバー

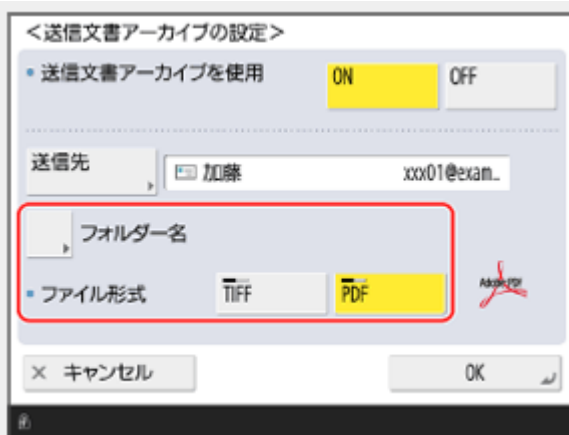
データを転送／保存するための必要な準備はありません。

- 指定する宛先を、本機のアドレス帳に登録します。🔗 [宛先の登録 - アドレス帳 \(P. 270\)](#)

重要

- 送信したファクスを自動転送／バックアップするように設定した場合は、ダイレクト送信および手動送信ができなくなります。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする **ログイン方法 (P. 191)**
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、**[設定/登録]** を押す **ホーム 画面 (P. 156)**
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定] ▶ [送信文書アーカイブの設定] を押す
→ [送信文書アーカイブの設定] 画面が表示されます。
- 4 [送信文書アーカイブを使用] を [ON] に設定する
- 5 [送信先] を押す
→ アドレス帳の画面が表示されます。
- 6 転送／保存先を指定し、[OK] を押す **宛先を指定する - アドレス帳 (P. 315)**
→ [送信文書アーカイブの設定] 画面に戻ります。
- 7 必要に応じて、フォルダー名やファイル形式を設定する
メールアドレスやファイルの保存先を宛先に指定した場合に設定します。



[フォルダー名]

宛先の送信プロトコルが SMB または FTP の場合に、フォルダーを作成してファクスを保存するかどうかを設定します。

- フォルダーを作成してファクスを保存する場合は、[送信元情報] または [日付] を選択します。ファクス送信時の各情報がフォルダー名になります。
- フォルダーを作成しない場合は、[指定なし] を選択します。

※グループに含まれる宛先の場合は、[フォルダー名] の設定は無効です。フォルダーを作成するように設定していても、フォルダーは作成されずにファクスが保存されます。

[ファイル形式]

ファクスを転送／保存するときのファイル形式を選択します。

8

[OK] を押す

→ 設定が反映されます。

転送／保存時のファイル名

メールアドレスやファイルの保存先を宛先に指定した場合は、ファクスは以下のファイル名で転送／保存されます。

202310301234_0050_Sample_0123456789_OK.pdf

a

b

c

d

e

a 送信日時（上記の場合は「2023/10/30 12:34」）

b 受付番号

c 送信元情報^{*1}

d 送信先情報^{*2}

e 送信結果

^{*1} ファクス送信時の以下の情報です。上から順に該当する情報を使用します。以下の情報のいずれも登録されていない場合は、「----」となります。

- 発信人の名称
- ログインユーザー名
- ユーザー略称
- ユーザー電話番号

^{*2} ファクス送信時の宛先の名称です。名称が登録されていない場合は、宛先のファクス番号を使用します。複数の宛先に送信した場合は、正常に送信できた最初の宛先の情報を使用します。

メモ

転送／保存設定が自動的に無効になる場合

- 以下の場合は、[送信文書アーカイブを使用] が自動的に [OFF] に設定されます。必要に応じて、転送／保存設定をします。
 - 指定した宛先がアドレス帳から削除された場合
 - アドレス帳がインポートされた場合 ➡ [アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする \(P. 913\)](#)

必要なときにのみファクスの内容を転送／バックアップする

- [ホーム] 画面の [スキャンして送信] から、ファクス番号と転送／保存先を宛先に指定することで、ファクスの内容を転送／バックアップすることもできます。 ➡ [スキャンして送信する \(P. 412\)](#)
- [スキャンして送信] からファクスの宛先に送信するには、あらかじめ [スキャンして送信] でファクスの宛先を指定できるように設定しておく必要があります。 ➡ [【ファクスファクションの表示】 \(P. 967\)](#)

受信したファクスを自動転送／バックアップする

- 上記は、送信したファクスを転送／保存するための設定です。受信したファクスを転送／保存するには、別途設定が必要です。 ➡ [受信したファクスを自動転送／バックアップする \(P. 497\)](#)

受信したファクスを自動転送／バックアップする

EJ83-083

あらかじめ設定した転送条件に該当するファクスを受信したときに、その内容が指定した宛先に自動的に転送／保存されるように設定します。たとえば、「A 社からのファクスはファイルサーバーに保存」といった使いかたができます。

受信したすべてのファクスを転送／保存するように設定したり、転送／保存する曜日や時間帯を指定したりすることもできるため、「休日に受信したファクスはメールで転送」といった使いかたも可能です。

転送条件は最大 1,000 件まで設定できます。受信したファクスが複数の転送条件に該当する場合は、それぞれの転送条件で設定されている宛先に転送／保存されます。

指定できる宛先

- 転送／保存先として指定できるのは、アドレス帳に登録されている以下の宛先です（個人宛先表とユーザーグループ宛先表の宛先は除く）。リモートアドレス帳の宛先を指定することもできます。▶[使用できるアドレス帳 \(P. 274\)](#)

- ファクス番号
- メールアドレス（メール／I ファクス）
- ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックス）
- グループ

※ファクスボックスに転送／保存して、親展受信として利用することもできます。▶[親展受信を設定する \(P. 826\)](#)

※受信した I ファクスの転送／保存先として WebDAV サーバーの宛先を指定することはできません。

- 1 つの転送条件で指定できる宛先は 1 件のみですが、グループを指定した場合は、グループ内に登録されているすべての宛先に転送／保存されます。
ただし、本機がサポートしていないユーザーボックスを含むグループを指定した場合、ユーザーボックスには転送／保存されません。
- メールまたはファイルの保存先を宛先に指定した場合は、ファクスの内容が TIFF/PDF/XPS ファイルとして転送／保存されます。
また、メールの宛先を指定した場合は、本文のないメールの添付ファイルとして転送されます。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。操作パネルでは、[ホーム] 画面の [宛先/転送の設定] ▶ [転送設定] から設定できます。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶[パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- ファクス番号以外の宛先を転送／保存先に指定する場合は、その宛先にデータを転送／保存するための準備をします。
 - メールアドレスの場合 ▶[メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)
 - ファイルの保存先の場合

共有フォルダー

必要に応じて、転送／保存先となる共有フォルダーを作成します。▶[共有フォルダーを作成する \(P. 1557\)](#)

FTP サーバー

FTP サーバーと本機の間にはファイアウォールが設けられている場合は、PASV モードを設定します。▶[FTP の PASV モードを設定する \(P. 408\)](#)

他機のアドバンスドボックス／Windows サーバー

データを転送／保存するための必要な準備はありません。

- ファクスボックスの場合 [▶ファクスボックスを設定する \(P. 827\)](#)
- 指定する宛先を、本機のアドレス帳に登録します。 [▶宛先の登録 - アドレス帳 \(P. 270\)](#)

1 本機に管理者ユーザーでログインする [▶ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの「ホーム」画面などで、[\[設定/登録\]](#) を押す [▶ \[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→「設定/登録」画面が表示されます。

3 「ファンクション設定」 [▶](#) 「受信/転送」 [▶](#) 「共通設定」 [▶](#) 「転送設定」 を押す

→「転送設定」画面が表示されます。

4 「登録」を押す

→転送条件を登録する画面が表示されます。

受信したすべてのファクス（転送条件に該当しないファクス）を転送／保存する場合は、「条件なし転送の登録」を押し、対象とするファクスの受信手段を選択して、手順 [7](#) に進みます。

5 転送条件名を入力する

- 「転送条件名」を押し、任意の転送条件名を入力して、「OK」を押します。
- 「設定の履歴」の各ボタンを押すと、過去に登録した転送条件を3つ前まで呼び出すことができます。

6 転送／保存条件を設定する

1. 「転送条件」を押す

2. 転送／保存条件を設定し、[OK] を押す

〔受信手段:〕のプルダウンメニューから、対象とするファクスの受信手段を選択します。
選択した受信手段に応じて、対象とするファクスの条件を設定します。

受信手段がファクスの場合

相手先番号（送信元のファクス番号）／Fコード／パスワードを、条件に設定できます。
各項目のプルダウンメニューから条件を選択し、〔設定〕を押して、テンキーで値を入力します。
条件として設定しない場合は、〔を考慮しない〕や〔が存在しない〕を選択します。

※ナンバーディスプレイ機能が有効な場合は、相手先番号の照合方法を選択します。🔗 **〔ナンバーディスプレイ設定〕 (P. 1118)**

- ナンバーディスプレイの通知番号を優先して照合する場合は、〔ND 優先〕を選択します。
- 非通知の場合や、〔TSI〕を選択した場合は、相手先のファクスに設定されている番号が相手先番号として照合されます。

受信手段がIファクスの場合

送信元の宛先／送信者／件名を、条件に設定できます。
各項目のプルダウンメニューから条件を選択し、〔設定〕を押して値を入力します。
条件として設定しない場合は、〔を考慮しない〕を選択します。

7

転送／保存先を指定する

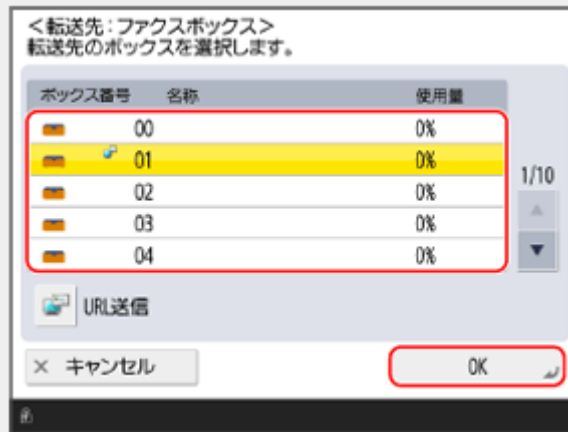
アドレス帳に登録されている宛先を指定する場合

1. 〔転送先〕 ▶ 〔アドレス帳〕を押す
→ アドレス帳の画面が表示されます。
2. 転送／保存先を指定し、[OK] を押す 🔗 **宛先を指定する - アドレス帳 (P. 315)**
転送／保存先としてファクスの宛先を指定した場合、宛先に設定されているFコードとパスワードは無効になります。

ファクスボックスを指定する場合（親展受信として利用する場合）

1. 〔転送先〕 ▶ 〔ファクスボックス〕を選択する

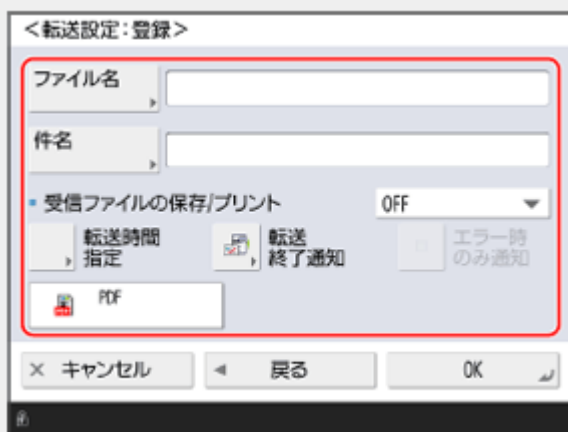
2. 転送／保存先とするファクスボックスを選択し、[OK] を押す



メールアドレスが設定されているファクスボックスを選択した場合は、[URL 送信] を選択すると、転送／保存時にファクスボックスの URL がメールで通知されます。

8 [次へ] を押す

9 必要に応じて、転送／保存時の設定をする



※ファクスボックスを転送／保存先に指定した場合は、[転送時間指定] のみ設定できます。

[ファイル名]

ファクスを転送／保存するときのファイル名を設定します。

[件名]

転送／保存するときの件名を設定します。

[受信ファイルの保存/プリント]

転送／保存時に、受信したファクスをプリントまたはメモリー受信ボックスに保存するかどうかを設定します。

※ [ON] に設定すると、メモリー受信の設定に従ってプリントまたは保存されます。▶ [メモリー受信を設定する \(P. 824\)](#)

- メモリー受信が設定されていない場合は、プリントされます。
- メモリー受信が設定されている場合は、メモリー受信ボックスに保存されます。

ファイル形式の設定ボタン

ファクスを転送／保存するときのファイル形式を選択します。

PDF または XPS を選択した場合は、追加機能や分割の設定をすることもできます。▶ [ファイル形式／分割の設定をする \(P. 461\)](#)

[転送時間指定]

転送／保存する曜日や時間帯を指定します。

[転送終了通知]

転送／保存が終了したときに、転送／保存の結果をメールで通知するように設定します。
通知先には、アドレス帳に登録されている宛先を設定できます。

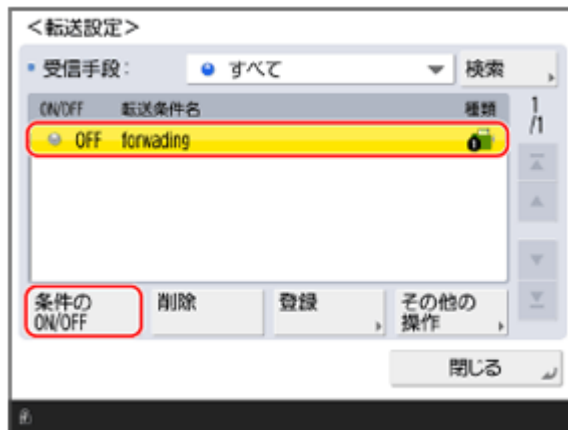
[エラー時のみ通知]

[転送終了通知] を設定した場合に、エラー時にのみ通知するように設定する場合は、チェックマークを付けます。

10 [OK] を押す

→ 転送条件が登録されて、[転送設定] 画面に戻ります。

11 登録した転送条件を選択し、[条件の ON/OFF] を押す



→ 選択した転送条件が有効になります。

- [その他の操作] ▶ [リストプリント] を押すと、転送条件の一覧をプリントできます。
- メール／I ファクスで転送するときの、メールの重要度のレベルを [その他の操作] ▶ [E メールの重要度] で選択できます。

12 [閉じる] を押す

メモ

転送条件の受信手段を変更する

- 転送条件の登録後に受信手段を変更することはできません。転送条件の受信手段を変更する場合は、転送条件をいったん削除してから登録しなおします。

転送条件が自動的に無効になる場合

- 指定した宛先がアドレス帳から削除された場合は、転送条件が自動的に無効になります。転送／保存先を指定しなおしてから、転送条件を有効にしなおします。

転送に失敗した場合

- 設定されている方法に従って処理されます。🔵【転送エラージョブの処理】(P. 1111)

送信したファクスを自動転送／バックアップする

- 上記は、受信したファクスを転送／保存するための設定です。送信したファクスを転送／保存するには、別途設定が必要です。🔵送信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 494)

ファクスを送信する



本機で文書や写真などの印刷物（原稿）をスキャンし、白黒の画像に変換して送信します。

※相手につながったことを確認してからファクスを送信したり、電話で通話したあとに続けてファクスを送信したりすることもできます。

- ④ 相手につながったことを確認してから送信する - ダイレクト送信 (P. 509)
- ④ 通話に続けてファクスを送信する - 手動送信 (P. 512)

1 原稿をセットする ④ 原稿のセット方法 (P. 196)

原稿の厚さを選択する画面が表示された場合は、セットした原稿の厚さを選択します。

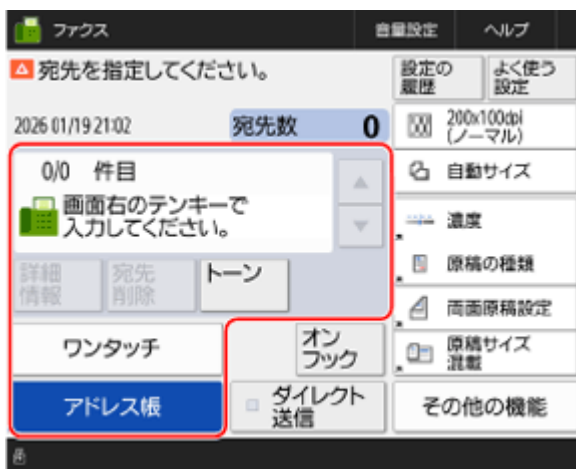
2 操作パネルの［ホーム］画面で、［ファクス］を押す ④ ［ホーム］画面 (P. 156)

→ ファクスの画面が表示されます。

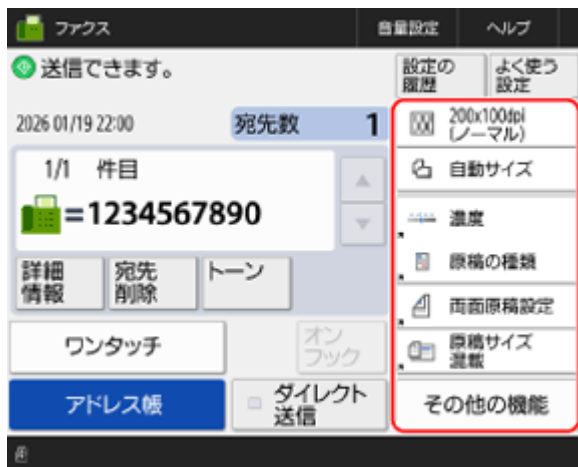
3 [リセット] を押す

前回送信時の宛先設定が残っていると誤送信の原因になるため、設定をリセットしてから操作します。

4 宛先を指定する ④ 宛先の指定 (P. 313)



5

ファクスの送信設定をする ▶ **ファクスの送信設定 (P. 519)**

「よく使う設定」を登録している場合は、[よく使う設定] を押して呼び出すことができます。▶ **「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)**

過去の設定を呼び出す場合 - 設定履歴

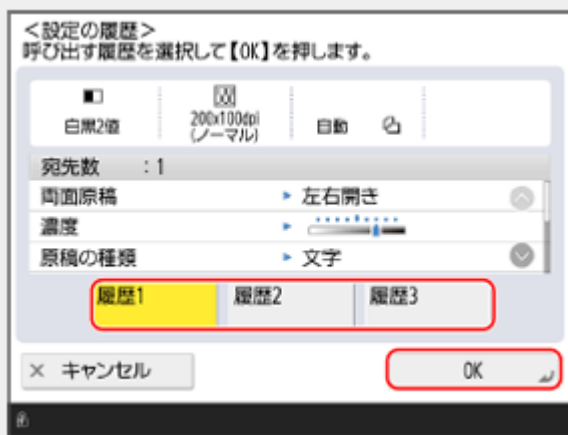
[設定の履歴] を押すと、過去にファクスを送信したときの設定を呼び出すことができます。送信したときの宛先も、設定と併せて反映されます。

設定履歴を呼び出すと、指定済みの宛先と送信設定は上書きされます。

※以下の場合、設定履歴は使用できません。

- 宛先をアクセス番号で管理している場合 ▶ **一部の宛先を非表示にする - アクセス番号管理 (P. 838)**
- プッシュホンサービスを利用している場合

[設定の履歴] 画面で、呼び出したい履歴を選択し、[OK] を押します。



- 呼び出した宛先と送信設定は、変更して送信できます。
- ログインユーザーごとの設定履歴を選択できます。
ログインしていない場合やゲストユーザーの場合は、未認証ユーザー共通の設定履歴を選択できます。
- 新規宛先の入力制限されたときは、制限された宛先の種類にかかわらず、設定履歴が消去されます。▶ **登録済みの宛先のみを送信できるようにする (P. 809)**

6

[スタート] を押す

→ 原稿のスキャンが開始されます。

- ファクスの送信を中止したい場合は、[中止] ▶ [はい] を押します。▶ **ファクスの送信を中止する (P. 549)**

- 原稿のスキャンが完了すると、ファクスが送信されます。[ 状況確認] から送信状況や履歴を確認できます。

▶ **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 551)**

[宛先確認] 画面が表示された場合

宛先が正しいことを確認し、[はい] を押します。

[[スタート] キーで次の原稿を読み込みできます。] と表示された場合

原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンした場合や、連続読込を設定してスキャンした場合は、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。

1. 続きの原稿がある場合は、次の原稿をセットし、[ スタート] を押す

→ 次の原稿がスキャンされ、同じ画面が表示されます。

すべての原稿のスキャンが完了するまで、この操作を繰り返します。

原稿をフィーダーにセットしてスキャンした場合は、スキャンが完了した原稿（原稿排紙トレイに排出された原稿）を取り除いてから、次の原稿をセットします。

原稿ごとにスキャンの設定を変更する場合

メッセージが表示された画面で、[設定変更] を押します。以下の設定を変更できます。

- [読取サイズ]
- [両面原稿]
- [濃度]
- [原稿の種類]

たとえば、片面原稿をスキャンしたあとに両面原稿をスキャンする場合は、[設定変更] を押して [両面原稿] を設定します。

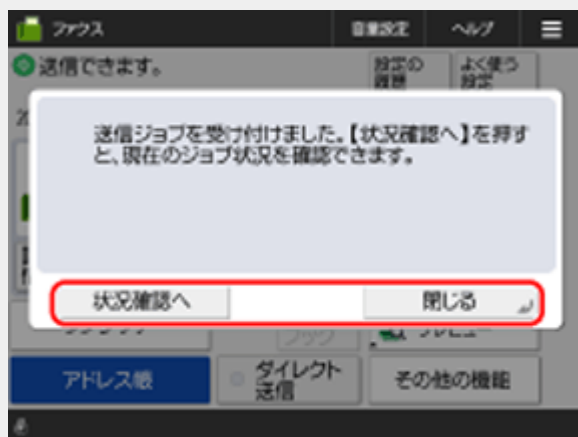
2. [送信開始] を押す

→ ファクスが送信されます。

[状況確認へ] が表示された場合

送信状況や履歴を確認する場合は、[状況確認へ] を押します。▶ **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 551)**

[閉じる] を押すと、ファクスの画面に戻ります。



メモ

F ネットを利用する場合

- F ネットは、NTT コミュニケーションズが提供するファクシミリ通信網サービスです。
NTT コミュニケーションズと F ネットの利用契約をする際は、「G3 の 1300 Hz」または「G3 の 16 Hz」で契約します。
1300 Hz で契約した場合は、NTT コミュニケーションズの「無鳴動着信」機能が利用できます。その他のサービスは、16 Hz の場合と同じです。

- スリープモード時の消費電力が多くなるように設定します。➡ **【スリープ時の消費電力】 (P. 979)**
- F ネットがつながりにくい場合は、「162」のあとに「P」（ポーズ）を入力します。

原稿が重なってスキャンされて中断された場合 - 重送検知

- 画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、つまっている原稿を取り除きます。➡ **紙／ホチキス針がつまった (P. 1518)**
つまっている原稿が取り除かれると、再開画面が表示されます。
誤って重送と検知された場合は、[重送検知しない] を押してスキャンを再開します。
- 重送が検知されないようにするには、以下のいずれかの設定をします。
 - スキャンするたびに、ファクスの画面の [その他の機能] ▶ [フィーダー重送検知] を押して、重送検知の設定を解除する
 - 重送検知しないように初期設定を変更する ➡ **【フィーダー重送検知のデフォルト設定】 (P. 1054)**

※機種によっては、重送検知は、オプションのドキュメントフィーダー用重送検知キット・A の装着が必要です。

送信前にプレビュー画面で内容を確認する

- ファクスの送信前にプレビュー画面を表示し、内容を確認してから送信できます。プレビュー画面上でページの順番を変更したり、ページを削除したりすることもできます。➡ **スキャンした原稿の内容を確認／ページ整理する - プレビュー (P. 507)**

送信画像の品質を改善する

- 送信画像が黒くつぶれてしまう場合や、原稿の下地の薄い色が送信画像に写り込む場合は、以下のとおり設定して送信すると、品質を改善できることがあります。
 - 解像度を [200x400dpi] または [400x400dpi] に設定する ➡ **解像度を設定する (P. 525)**
 - 原稿の種類を [文字] に設定する ➡ **原稿の種類を選択する (P. 526)**
 - 背景の濃度を [自動] に設定する ➡ **濃度を調整する (P. 526)**

※ [設定/登録] メニューの [白黒読込時の速度/画質優先] が [速度優先] に設定されている場合は、[画質優先] に設定します。➡ **【白黒読込時の速度/画質優先】 (P. 1055)**

(初期設定では、[画質優先] に設定されています。)

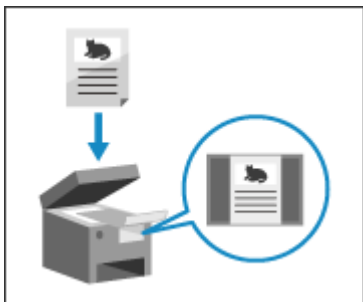
相手が通話中などの理由でファクスを送信できなかった場合

- 一定時間が経過すると、自動的にリダイヤルされます。
 - ※必要に応じて、リダイヤルする回数や間隔、送信エラーが起きた場合にリダイヤルで送信するページを変更できます。自動的にリダイヤルされないようにすることもできます。➡ **【自動リダイヤルの設定】 (P. 1097)**

内容や相手を確認してからファクスを送信する

EJ83-085

ファクスの送信前にプレビュー画面を表示し、内容を確認したり、ページを整理したりしてから送信できます。相手に繋がったことを確認してからファクスを送信したり、電話で通話したあとに続けてファクスを送信したりすることもできます。



① スキャンした原稿の内容を確認／ページ整理する - プレビュー (P. 507)



② 相手につながったことを確認してから送信する - ダイレクト送信 (P. 509)



③ 通話に続けてファクスを送信する - 手動送信 (P. 512)

メモ

ファクスの送信結果をメールやレポートで確認する

- ファクスの送信設定で、送信結果をメールで通知するように設定したり、送信結果のレポートをプリントするように設定したりできます。④ **送信結果通知の設定 (P. 537)**

スキャンした原稿の内容を確認／ページ整理する - プレビュー

EJ83-086



ファクスを送信する前にプレビュー画面を表示し、内容を確認してから送信できます。プレビュー画面上でページの順番を変更したり、ページを削除したりすることもできます。

※ダイレクト送信または手動送信する場合は、プレビューの設定をしてもプレビュー画面の表示／操作はできません。

④ プレビュー画面を表示する (P. 507)

④ プレビュー画面の操作 (P. 508)

プレビュー画面を表示する

ファクスの送信前にプレビュー画面が表示されるように設定します。

※ファクスを送信するときの基本的な操作手順は、以下を参照してください。

④ ファクスを送信する (P. 502)

1 ファクスの画面で、[その他の機能] ▶ [プレビュー] を押す ④ **ファクスの画面 (P. 521)**

→ 設定ボタンの下部に [設定あり] が表示されます。

2 [閉じる] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

3 [ スタート] を押す

→ 原稿のスキャンが開始されます。スキャンが完了すると、プレビュー画面が表示されます。

[[スタート] キーで次の原稿を読み込みできます。] と表示された場合

原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンした場合や、連続読込を設定してスキャンした場合は、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。

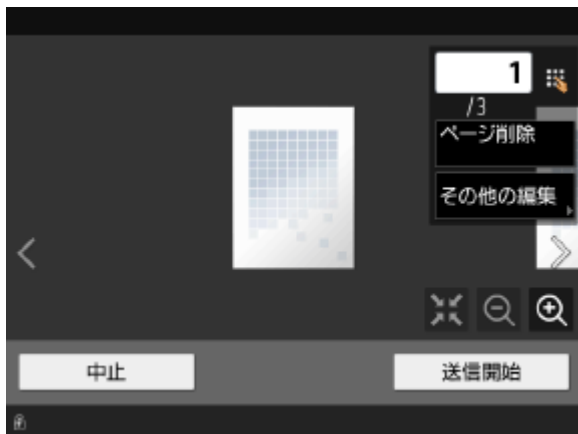
すべての原稿のスキャンが完了したあと、[プレビュー開始] を押すと、プレビュー画面が表示されます。

プレビュー画面の操作

プレビュー画面を表示する設定になっている場合は、原稿のスキャンが完了すると、プレビュー画面が表示されます。

※原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンした場合や、連続読込を設定してスキャンした場合は、すべての原稿のスキャンが完了したあと、[プレビュー開始] を押すと、プレビュー画面が表示されます。

プレビュー画面では、スキャンした原稿の内容を確認したり、ページを整理したりできます。
[送信開始] を押すと、ファクスが送信されます。



表示するページを切り替える

画面左右の [◀] / [▶] を押します。

ページ番号をテンキーで入力して、表示するページを直接指定することもできます。

ページを削除する

削除したいページを表示し、[ページ削除] ▶ [はい] を押します。

ページを移動する

[その他の編集] ▶ [ページ移動] を押し、移動元と移動先のページ番号を指定して、[OK] を押します。

ページを入れ替える

[その他の編集] ▶ [ページ入替] を押し、入れ替え元と入れ替え先のページ番号を指定して、[OK] を押します。

相手につながったことを確認してから送信する - ダイレクト送信

EJ83-087



「送ったつもりのファクスが送信エラーになっていた」ということがないように、送信先のファクスが通信できる状態であることを確認してから、ファクスを送信できます。

スキャンデータをメモリーに保存せずに直接送信するため、メモリーの空き容量がない状態でも送信できます。

※ダイレクト送信で指定できる宛先は1件のみです。

重要

ダイレクト送信時の制限

- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、セットした原稿1ページしか送信できません。
- フィーダーにセットした原稿のサイズは手動で設定できません。原稿のサイズを手動で設定する場合は、原稿台ガラスに原稿をセットします。
- 以下の送信設定は使用できません。
 - [粹消し]
 - [両面原稿設定]
 - [原稿サイズ混載]
 - [連続読込]
 - [済スタンプ] ^{*1}
 - [タイマー送信]

^{*1} オプションが装着されている場合にのみ表示されます。🔵本機に装着しているオプションを確認する (P. 910)

以下の場合にはダイレクト送信ができません

- ユーザー認証のログインサービスに DepartmentID Authentication を使用している場合に、[ファンクション制限] で [OFF] に設定されている機能があるとき 🔵部門別 ID 管理を有効にする (P. 737)
- 送信したファクスを自動転送／バックアップするように設定されている場合 🔵送信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 494)

1 原稿をセットする 🔵原稿のセット方法 (P. 196)

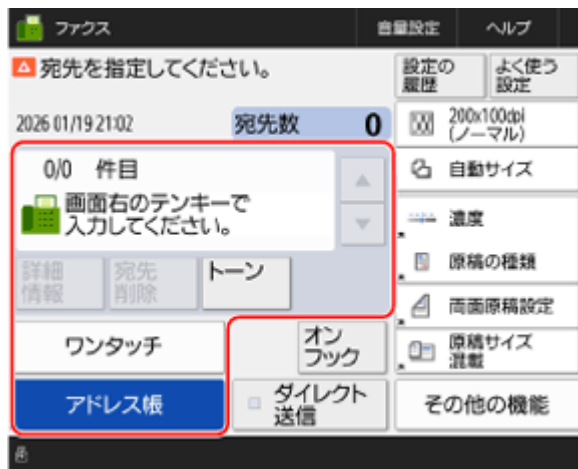
原稿の厚さを選択する画面が表示された場合は、セットした原稿の厚さを選択します。

2 操作パネルの [ホーム] 画面で、[ファクス] を押す 🔵 [ホーム] 画面 (P. 156)

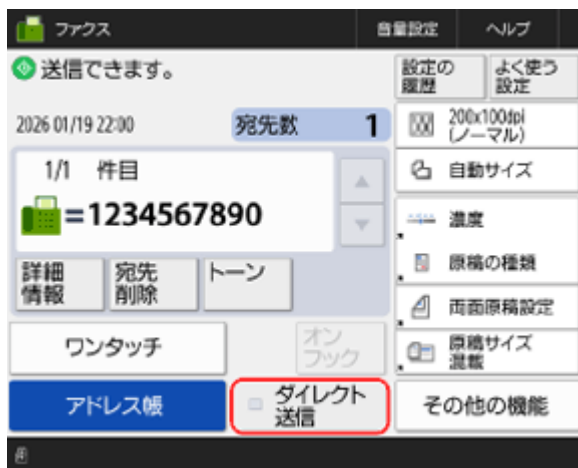
→ ファクスの画面が表示されます。

3 [リセット] を押す

前回送信時の宛先設定が残っていると誤送信の原因になるため、設定をリセットしてから操作します。

4 宛先を指定する 宛先の指定 (P. 313)

5 [ダイレクト送信] にチェックマークを付ける

6 必要に応じて、その他の送信設定をする ファクスの送信設定 (P. 519)

7

〔 スタート〕を押す

→相手にダイヤルします。

- ファクスの送信を中止したい場合は、〔中止〕を押します。
- 相手につながると、原稿のスキャンが開始されて、ファクスが送信されます。
- 相手が話し中の場合は送信されません。

〔宛先確認〕画面が表示された場合

宛先が正しいことを確認し、〔はい〕を押します。

通話に続けてファクスを送信する - 手動送信

EJ83-088



電話で通話したあと、続けてファクスを送信します。通話するには、オプションのハンドセットが必要です。ここでは、電話をかけてからファクスを送信する手順を説明します。

かかってきた電話でファクスを送信する場合は、最初に受話器を取って通話したあと、以下の操作をします。電話をかけるための手順 **5** と **6** は不要です。

※手動送信ができるのは標準回線（回線 1）のみです。

重要

手動送信時の制限

- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、セットした原稿 1 ページしか送信できません。
- フィーダーにセットした原稿のサイズは手動で設定できません。原稿のサイズを手動で設定する場合は、原稿台ガラスに原稿をセットします。
- 以下の送信設定は使用できません。
 - [枠消し]
 - [両面原稿設定]
 - [原稿サイズ混載]
 - [連続読込]
 - [済スタンプ] ^{*1}
 - [タイマー送信]

^{*1} オプションが装着されている場合にのみ表示されます。▶ **本機に装着しているオプションを確認する (P. 910)**

以下の場合には手動送信ができません

- ユーザー認証のログインサービスに DepartmentID Authentication を使用している場合に、[ファンクション制限] で [OFF] に設定されている機能があるとき ▶ **部門別 ID 管理を有効にする (P. 737)**
- 送信したファクスを自動転送／バックアップするように設定されている場合 ▶ **送信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 494)**

1 原稿をセットする ▶ **原稿のセット方法 (P. 196)**

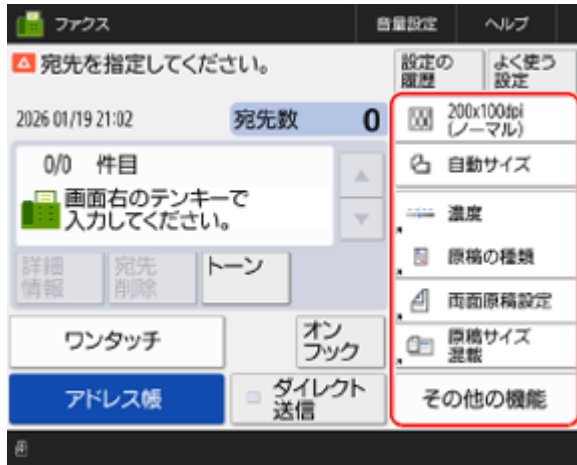
原稿の厚さを選択する画面が表示された場合は、セットした原稿の厚さを選択します。

2 操作パネルの [ホーム] 画面で、[ファクス] を押す ▶ **[ホーム] 画面 (P. 156)**

→ ファクスの画面が表示されます。

3 [リセット] を押す

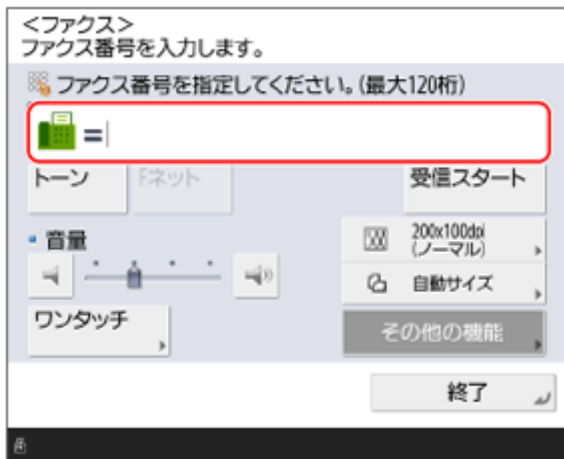
前回送信時の宛先設定が残っていると誤送信の原因になるため、設定をリセットしてから操作します。

4 ファクスの送信設定をする **ファクスの送信設定 (P. 519)**

5 受話器を取る

受話器を取ったら、ファクス番号を入力する前に、必ず発信音（ツーン音）を確認します。発信音が聞こえる前に入力すると、電話がつながらなかったり、間違い電話になったりすることがあります。

6 ファクス番号をテンキーで入力する



→ 相手に電話がかかります。

- 外線番号が必要な場合は、ファクス番号の先頭に外線番号を付けて入力します。
- 海外にファクスを送信する場合は、国際アクセス番号、国番号、ファクス番号の順に入力します。
- 送信先や利用するサービスによっては、[トーン] や [F ネット] を使用してファクス番号を入力します。  **ファクスの宛先の設定 (P. 310)**
- [ワンタッチ] を押して、ワンタッチボタンに登録されている宛先を指定することもできます。  **ワンタッチボタンで指定する (P. 316)**

7 通話して、最後にファクスの受信操作を相手にしてもらう

8

「ピー」という音が聞こえたら [ スタート] を押し、受話器を戻す

→ 原稿のスキャンが開始されます。

- ファクスの送信を中止したい場合は、[中止] を押します。
- 原稿のスキャンが完了すると、ファクスが送信されます。

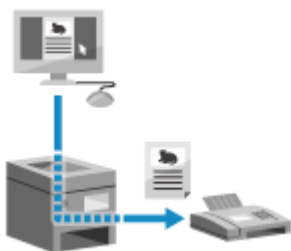
メモ

受話器を置いたまま操作する - オンフック

- ファクスの画面で [オンフック] を押すと、受話器を置いたまま電話をかけることができます。ただし、通話はできません。
- ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用している場合は、オンフックでは手動送信ができないことがあります。

パソコンからファクスを送信する - PC ファクス

EJ83-089



パソコンからファクスドライバーを使用して、文書をファクスとして送信します。
文書を手軽に送信できるため、送信内容をよく確認してから送信します。▶**PC ファクスを安全に送信するために (P. 518)**

ここでは、一般的な手順を説明します。使用するアプリケーションでの具体的な操作方法については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

必要な準備

- パソコンにファクスドライバーをインストールし、使用環境や目的に応じた設定をします。▶**パソコンからファクスを送信するための準備 (P. 491)**

▶**Windows の場合 (P. 515)**

▶**macOS の場合 (P. 517)**

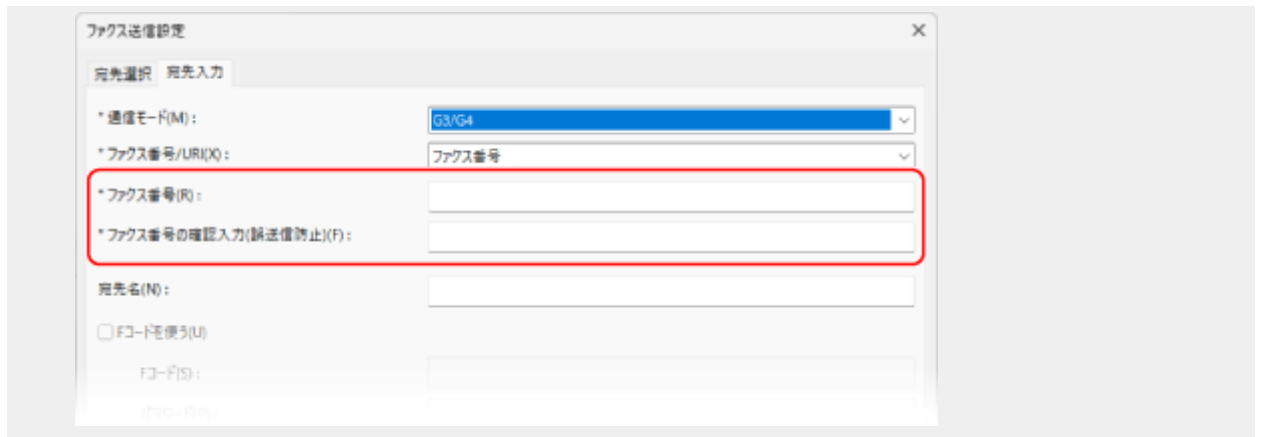
Windows の場合

- 1 パソコンで、送信する文書を開く
- 2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、プリントするメニューを選択する
- 3 本機のファクスドライバーを選択し、[印刷] をクリックする
→ ファクスドライバーの [ファクス送信設定] 画面が表示されます。
- 4 宛先を指定する

- ここではファクス番号を入力する手順を説明します。アドレス帳に登録されている宛先は [宛先選択] タブから指定できます。
- 外線番号が必要な場合は、ファクス番号の先頭に外線番号を付けて入力します。あらかじめ、外線接続番号を設定している場合は、入力不要です。▶**Step 3 : ファクス送信のセキュリティを高める (P. 491)**

ファクス番号を 1 件入力する場合

[宛先入力] タブで、ファクス番号を入力します。[ファクス番号の確認入力] が入力可能な場合は、同じファクス番号を入力します。



ファクス番号を複数入力する場合

1. [宛先選択] タブで、[宛先の追加] をクリックする
→ [宛先の追加] 画面が表示されます。
2. 宛先名とファクス番号を入力し、[次の宛先を追加] をクリックする
[ファクス番号の確認入力] が入力可能な場合は、同じファクス番号を入力します。
3. 手順 2 を繰り返して、すべての宛先を入力したら、[OK] をクリックする

5

必要に応じて、カバーシート（送付票）や送信履歴保存の設定など、その他のファクス設定をする

- カバーシートの内容は、[カバーシート] をクリックして設定します。
- パソコンに送信履歴を保存する場合は、[送信イメージを保存する] にチェックマークを付けます。
- その他のファクス設定の詳細については、[ファクス送信設定] 画面の [ヘルプ] をクリックしてヘルプを参照してください。

6

[送信] をクリックする

→ 送信する宛先の確認画面が表示されます。

7

宛先が正しいことを確認し、[OK] をクリックする

→ ファクスが本機を経由して送信されます。

- ファクスの送信を中止したい場合は、プリントを中止するのと同じように、プリント中の画面やタスクトレイのプリンターアイコンから中止できます。▶ **パソコンからプリントを中止する (P. 389)**
- 操作パネルの [状況確認] から送信状況や履歴を確認できます。▶ **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 551)**
- [送信イメージを保存する] にチェックマークを付けて送信した場合は、ファクスドライバーの [送信イメージ] タブでも履歴を確認できます。

[ユーザー名/パスワードの確認] 画面が表示された場合

ユーザー名とパスワードが正しいことを確認し、[OK] をクリックします。

[部門 ID/暗証番号の確認] 画面が表示された場合

部門 ID と暗証番号が正しいことを確認し、[OK] をクリックします。

macOS の場合

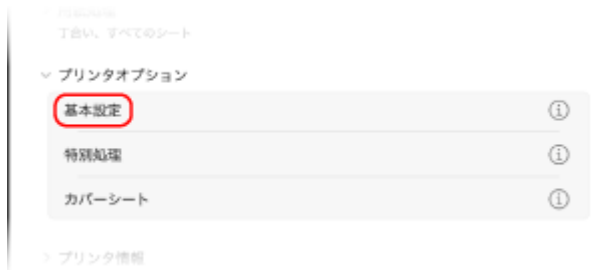
1 パソコンで、送信する文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、[プリント] をクリックする

→ プリントダイアログが表示されます。

3 [プリンタ] で、本機のファクスドライバーを選択する

4 [プリンタオプション] ▶ [基本設定] をクリックする



5 [宛先の追加] をクリックし、ファクス番号を入力して、[追加] をクリックし、[OK] をクリックする

- 複数の宛先を指定する場合は、この手順を繰り返します。アドレス帳に登録されている宛先は [アドレス帳] から指定できます。
- 外線番号が必要な場合は、ファクス番号の先頭に外線番号を付けて入力します。

6 必要に応じて、カバーシート（送付票）の設定など、その他のファクス設定をする

- カバーシートの内容は、[プリンタオプション] ▶ [カバーシート] を選択して設定します。
- その他のファクス設定の詳細については、プリントダイアログの [?] をクリックしてヘルプを参照してください。

7 [プリント] をクリックする

→ ファクスが本機を経由して送信されます。

- ファクスの送信を中止したい場合は、プリントを中止するのと同じように、Dock のプリンターアイコンから中止できます。🔗 [パソコンからプリントを中止する \(P. 389\)](#)
- 操作パネルの [🖨️ 状況確認] から送信状況や履歴を確認できます。🔗 [ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する \(P. 551\)](#)

PC ファクスを安全に送信するために

EJ83-08A

パソコンからのファクスの送信は、自由に送信ができて便利な反面、間違った番号に送信するなどのリスクがあります。こうしたリスクを低減するために、送信時には以下を確認することをおすすめします。

- ①送信内容を確認する (P. 518)
- ②宛先を確認する (P. 518)
- ③送信後に履歴を確認する (Windows のみ) (P. 518)

送信内容を確認する

原稿をスキャンする送信とは異なり、送信される内容がパソコンの画面上でしか確認できないため、文書を送信する前に内容を確認します。

プレビューで確認する

意図どおりの送信内容になっていることを確認します。用紙サイズが適切ではない場合、用紙からはみ出して分割送信されることがあります。

PDF で確認する

Excel など得意図でないシートが送信されるリスクを低減するために、PDF に変換して送信します。アプリケーションのプリント機能にプレビューがない場合や、文書の一部のページだけ送信したい場合も、PDF に変換すると、送信内容を確認してから送信できます。

宛先を確認する

宛先指定時にファクス番号を二度入力するようにしたり、送信前に宛先を再確認したりすると誤送信のリスクを低減できます。宛先を確認するための設定については、PC ファクスの準備をするときの手順を参照してください。▶**Step 3：ファクス送信のセキュリティを高める (P. 491)**

送信後に履歴を確認する (Windows のみ)

送信履歴を保存する設定にしておくと、意図どおりの内容を正しく送信できたかを確認できます。送信後に履歴を確認するための設定については、PC ファクスの準備をするときの手順を参照してください。▶**Step 3：ファクス送信のセキュリティを高める (P. 491)**

ファクスの送信設定

EJ83-08C

本機でファクスを送信する場合は、ファクスの画面の設定ボタンから、原稿をスキャンするときの設定をしたり、ファクスを送信するときの設定をしたりできます。④ **ファクスの画面 (P. 521)**

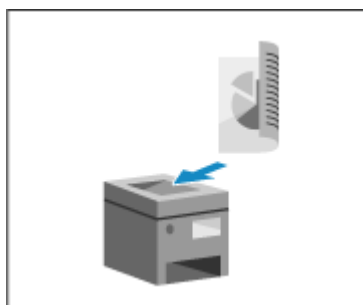
送信先で文字が読めないなど、送信されたファクスが期待どおりでない場合は、設定を変更して送信しなおします。



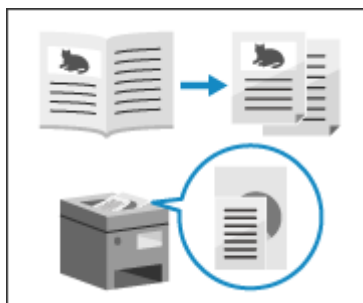
④ **原稿サイズの設定 (P. 522)**



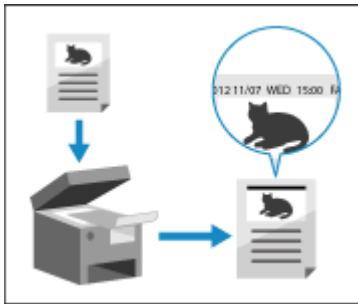
④ **画質の調整 (P. 525)**



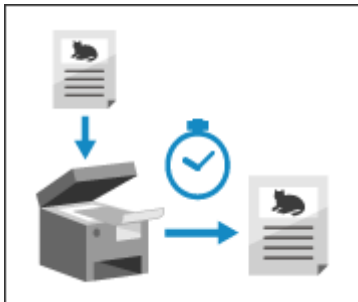
④ **両面スキャンの設定 (P. 530)**



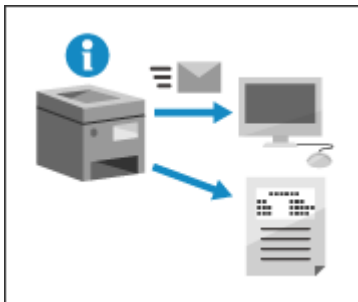
④ 原稿に応じた設定 (P. 531)



④ 発信元の設定 (P. 534)



④ タイマー送信の設定 (P. 536)



④ 送信結果通知の設定 (P. 537)

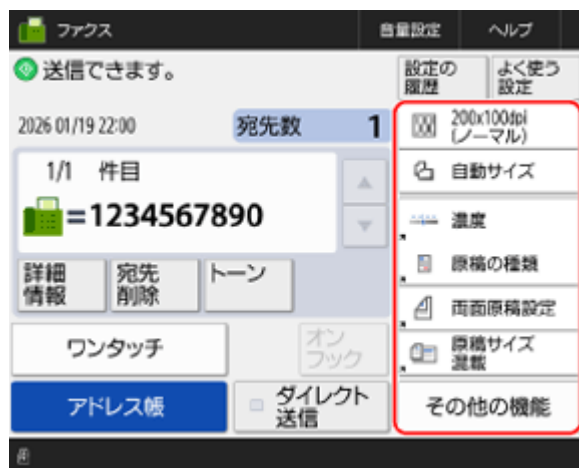
メモ

- 他の機能と同時に設定できない機能があります。設定できない機能は、設定ボタンが薄いグレーで表示されます。

ファクスの画面

操作パネルの〔ホーム〕画面で〔ファクス〕を押すと、ファクスの画面が表示されます。

この画面の設定ボタンから、原稿をスキャンするときの設定をしたり、ファクスを送信するときの設定をしたりできます。解像度の設定ボタンと、原稿サイズの設定ボタンには、現在の設定状況が表示されます。



※設定ボタンの一部は、〔その他の機能〕に含まれる他のボタンと入れ替えたり、非表示にしたりできます。▶ [スキャン／ファクス／コピーの画面をカスタマイズする \(P. 178\)](#)

メモ

よく使用する設定を [≡] から登録する

- ファクスの送信設定を「よく使う設定」として登録すると、必要なときにファクスの画面から呼び出すことができます。▶ [「よく使う設定」を登録する／呼び出す \(P. 181\)](#)
- ファクスの送信設定を〔ホーム〕画面にボタンとして登録すると、〔ホーム〕画面からボタン1つで呼び出すことができます。▶ [〔ホーム〕画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン \(P. 174\)](#)
- ファクスの初期設定として登録することもできます。▶ [初期設定を変更する \(P. 186\)](#)

過去の設定を呼び出す - 設定履歴

- 〔設定の履歴〕を押すと、過去にファクスを送信したときの設定を呼び出すことができます。▶ [ファクスを送信する \(P. 502\)](#)

原稿サイズの設定

EJ83-08F



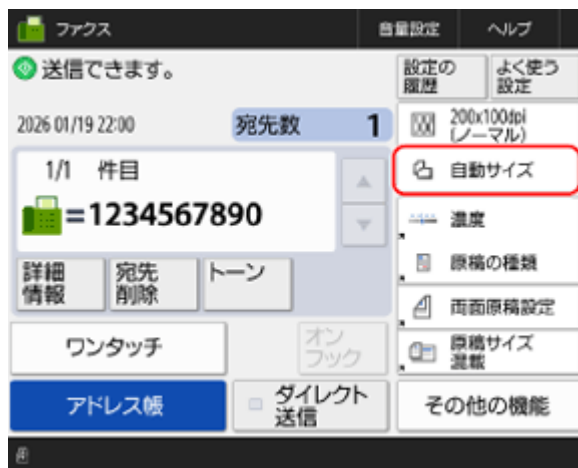
セットした原稿に合わせてサイズを設定します。

原稿サイズを設定する

定形外サイズの前稿や、原稿の端にある画像が欠けてしまうときなどは、セットした原稿のサイズを手動で設定します。

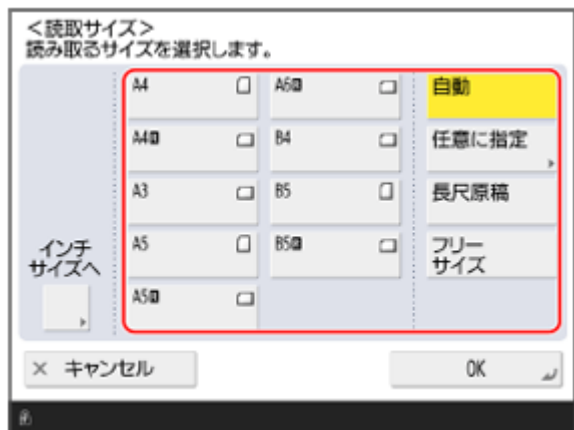
※受信側にセットされた用紙サイズがスキャンした原稿サイズよりも小さい場合は、受信側の用紙サイズに合わせて縮小されたり、分割して送信されたりすることがあります。

- 1 ファクスの画面で、原稿サイズの設定ボタンを押す [▶ファクスの画面 \(P. 521\)](#)



→ [読取サイズ] 画面が表示されます。

2 セットした原稿のサイズを選択する



設定によっては、原稿をセットする場所が原稿台ガラスまたはフィーダーのどちらかに限定されます。原稿をセットした場所が異なる場合は、記載されている場所にセットしなします。▶[原稿のセット方法 \(P. 196\)](#)

定形外サイズの原稿をセットした場合

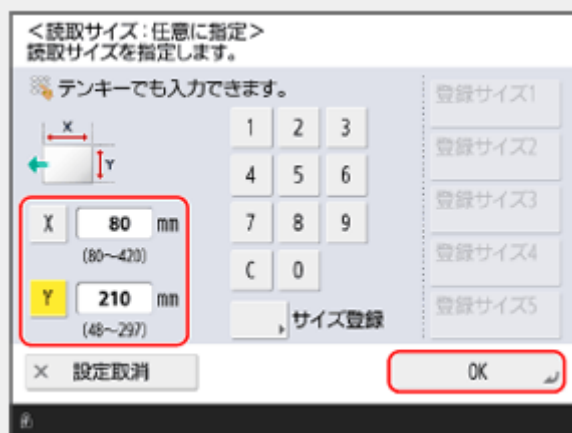
原稿のサイズ（辺の長さ）を入力して設定します。

1. [任意に指定] を押す

セットした原稿のサイズ（辺の長さ）がわからない場合は、[フリーサイズ] を押します。その場合、手順 2（辺の長さの入力）は不要です。

※ [フリーサイズ] に設定した場合は、原稿をセットする場所がフィーダーに限定されます。

2. [X] 辺と [Y] 辺の長さを入力し、[OK] を押す



- [X] / [Y] を押し、選択した状態にしてから入力します。
- よく使用する原稿のサイズを登録している場合は、[登録サイズ 1] ～ [登録サイズ 5] を押して呼び出すことができます。

原稿のサイズを登録する

特定の定形外サイズの原稿をよく使用する場合は、以下の手順でサイズを登録しておきます。サイズ入力時の画面で呼び出せるようになり、サイズを入力する手間が省けます。

原稿のサイズは5つまで登録できます。

[サイズ登録] ▶ サイズを登録するボタンを選択 ▶ [登録/編集] ▶ [X] 辺と [Y] 辺の長さを入力 ▶ [OK] ▶ [閉じる]

※サイズ登録時の画面で、ボタンを選択して [名称変更] を押すと、ボタンの名称を変更できます。

長尺原稿をセットした場合

[長尺原稿] を選択します。

※ [長尺原稿] に設定した場合は、原稿をセットする場所がフィーダーに限定されます。

※ セットできる長尺原稿のサイズについては、本機のフィーダーの仕様を参照してください。 [▶ 両面同時読取
フィーダーの仕様 \(P. 54\)](#)

3

[OK] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

画質の調整

EJ83-08H



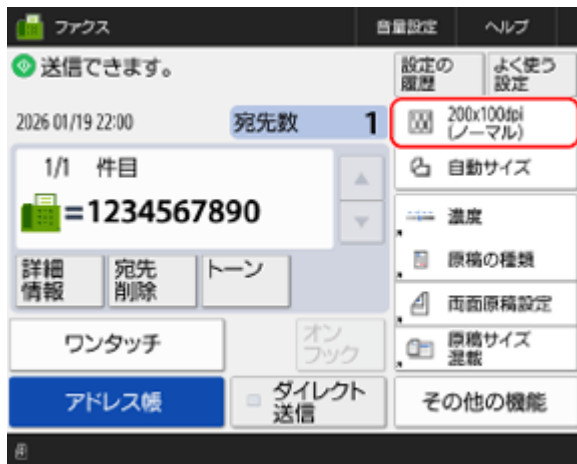
ファクスの画像が不鮮明だったり、文字が読みにくかったりした場合は、画質を調整します。
原稿の周囲に現れる黒い枠や影を消すこともできます。

- ① 解像度を設定する (P. 525)
- ② 原稿の種類を選択する (P. 526)
- ③ 濃度を調整する (P. 526)
- ④ シャープネスを調整する (P. 527)
- ⑤ 原稿の枠／影／パンチ穴を消す - 枠消し (P. 528)

解像度を設定する

よりきめ細かく原稿をスキャンしたいときは解像度を高く、ファクスの送信時間を短くしたいときは解像度を低くします。

- 1 ファクスの画面で、解像度の設定ボタンを押す ➡ **ファクスの画面 (P. 521)**



→ [解像度] 画面が表示されます。

- 2 解像度を選択する
低い解像度は文字原稿、高い解像度は写真原稿に適しています。

- 3 [OK] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

原稿の種類を選択する

原稿の内容に合った画質でスキャンされるよう、原稿の種類を選択します。

1 ファクスの画面で、[その他の機能] ▶ [原稿の種類] を押す ➡ **ファクスの画面 (P. 521)**

→ [原稿の種類] 画面が表示されます。

2 原稿の種類を選択する

- 原稿の種類の詳細については、画面右上の [?] を押すと表示されるヘルプ画面を参照してください。
- [文字/写真] を選択した場合は、[レベル調整] を押すと、文字と写真のどちらを優先するかを調整できます。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

メモ

- 下地に色の付いた原稿や、新聞のような原稿を、きれいにスキャンしたい場合は、背景の濃度を調整します。 ➡ **濃度を調整する (P. 526)**
- 原稿の種類を選択してスキャンした場合に、モアレ（縞模様のノイズ）と呼ばれる現象が発生したときは、シャープネスを調整します。 ➡ **シャープネスを調整する (P. 527)**

濃度を調整する

原稿に合わせて濃度を調整します。

原稿の文字や画像が薄い／濃い場合は、原稿全体の濃度を調整します。

下地に色の付いた原稿や、新聞のような原稿を、きれいにスキャンしたい場合は、背景の濃度を調整します。

1 ファクスの画面で、[その他の機能] ▶ [濃度] を押す ➡ **ファクスの画面 (P. 521)**

→ [濃度] 画面が表示されます。

2 濃度を調整する

原稿全体の濃度を調整する場合

スライダーを左右に動かして、濃度を調整します。

薄くする場合は [◀] に、濃くする場合は [▶] に設定します。

背景の濃度を調整する場合

背景の濃度は、自動的に薄くする方法と、手動で調整する方法があります。

背景濃度を自動的に薄くする場合

[背景調整] の [自動] を押して、選択した状態にします。

背景濃度を手動で調整する場合

[背景調整] の [調整] を押し、濃度を調整して、[OK] を押します。

濃度は、スライダーを左右に動かして調整します。薄くする場合は「－」に、濃くする場合は「＋」に設定します。

※以下の両方に該当する場合は、背景濃度を手動で調整することはできません。（自動的に薄くなります。）

- 原稿の種類を「文字」に設定している場合 ➡ **原稿の種類を選択する (P. 526)**
- 「設定/登録」メニューの「白黒読込時の速度/画質優先」が「画質優先」に設定されている場合 ➡ **「白黒読込時の速度/画質優先」 (P. 1055)**
（初期設定では、「画質優先」に設定されています。）

※背景濃度を調整した場合、原稿の色によっては、背景以外の部分が影響を受けることがあります。

3 「OK」 ➡ 「閉じる」を押す

➡ ファクスの画面に戻ります。

シャープネスを調整する

シャープネスを調整することで、輪郭や線を強調してくっきりさせたり、反対に弱めて柔らかく表現したりできます。

1 ファクスの画面で、「その他の機能」 ➡ 「シャープネス」を押す ➡ **ファクスの画面 (P. 521)**

➡ 「シャープネス」画面が表示されます。

2 スライダーを左右に動かして、シャープネスを調整する

調整例：

- ぼやけた文字を鮮明にする場合

「強く」に設定します。



- 写真のモアレ（縦模様のノイズ）を軽減する場合

「弱く」に設定します。



3 「OK」 ➡ 「閉じる」を押す

➡ ファクスの画面に戻ります。

メモ

- 以下の両方に該当する場合は、シャープネスの調整は無効になります。
 - 解像度を「200x100dpi」に設定している場合 ➡ **解像度を設定する (P. 525)**

- 原稿の種類を [文字] に設定している場合 ➡ **原稿の種類を選択する (P. 526)**

※プレビュー画面では、シャープネスの調整が反映されたプレビュー画像が表示されますが、実際に送信される画像には反映されません。 ➡ **スキャンした原稿の内容を確認／ページ整理する - プレビュー (P. 507)**

原稿の枠／影／パンチ穴を消す - 枠消し

原稿サイズを実際の前稿よりも大きいサイズに設定したり、厚みのある本をスキャンしたりすると、原稿の周囲などに黒い枠や影ができることがあります。そのような枠や影を消してスキャンするように設定します。原稿のパンチ穴を消すこともできます。

※ダイレクト送信または手動送信をする場合は、枠消しを設定してスキャンできません。

重要

パンチ穴のあいた原稿をセットする場合

- 原稿は原稿台ガラスにセットします。フィーダーにセットすると、紙づまりの原因になります。 ➡ **原稿のセット方法 (P. 196)**

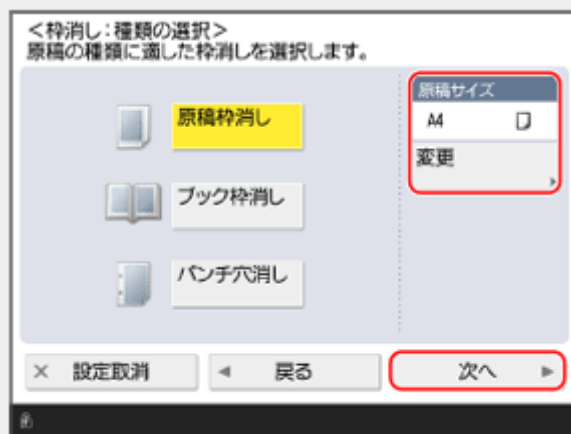
1 ファクスの画面で、[その他の機能] ▶ [枠消し] を押す ➡ **ファクスの画面 (P. 521)**

→ [枠消し] 画面が表示されます。

2 枠消しの種類と幅を設定する

原稿の枠を消す場合

1. [原稿枠消し] を押す
2. 原稿のサイズを設定し、[次へ] を押す



[変更] を押し、原稿サイズを選択して、[OK] を押します。

※原稿サイズを選択する画面に表示されるサイズのみ、原稿の枠を消してスキャンできます。

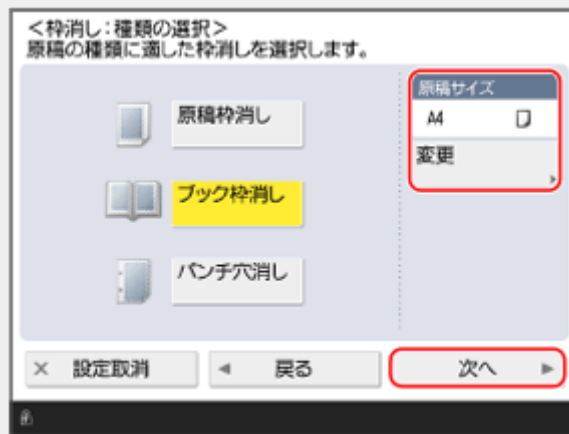
3. 消し幅を入力する
上下左右の消し幅を個別に入力する場合は、[独立調整へ] を押し、消し幅を入力します。

本の影を消す場合

本を見開きにしたときにできる中央の影と、本の周囲にできる影を消すことができます。

1. [ブック枠消し] を押す

2. 原稿のサイズを設定し、[次へ] を押す



[変更] を押し、原稿サイズを選択して、[OK] を押します。

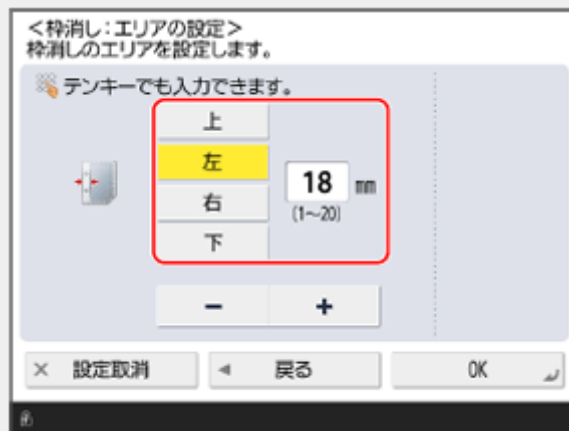
※原稿サイズを選択する画面に表示されるサイズのみ、本の影を消してスキャンできます。

3. 消し幅を入力する

- 本を見開きにしたときにできる中央の影の消し幅を、[センター] に入力します。
- 本の周囲にできる影の消し幅を、[全周] に入力します。
- 上下左右の消し幅を個別に入力する場合は、[独立調整へ] を押し、消し幅を入力します。

原稿のパンチ穴を消す場合

1. [パンチ穴消し] ▶ [次へ] を押す
2. パンチ穴の位置を選択し、消し幅を入力する



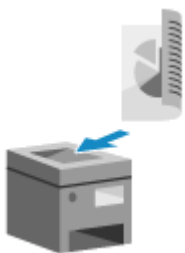
※ [パンチ穴消し] を設定した場合は、パンチ穴がある辺以外の3辺も、常に4 mm 枠消しされます。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

両面スキャンの設定

EJ83-08J



フィーダーにセットした原稿の両面をスキャンする場合は、両面スキャンの設定をします。

※ダイレクト送信または手動送信をする場合は、両面をスキャンできません。

両面スキャン時の原稿のセット方法

自分から見て原稿の上下が正しい位置になるようにセットします。



- 1 ファクスの画面で、[両面原稿設定] または [その他の機能] ▶ [両面原稿設定] を押す ▶ **ファクスの画面 (P. 521)**

→ [両面原稿] 画面が表示されます。

- 2 原稿の開きかたを選択する

[左右開き]

原稿のオモテ面とウラ面の上下が同じ向きの場合に選択します。



[上下開き]

原稿のオモテ面とウラ面の上下が反対向きの場合に選択します。



- 3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

原稿に応じた設定

EJ83-08K



原稿に応じて効率よくスキャンするための設定をします。
スキャンが完了した原稿にスタンプを付けるようにすることもできます。

- ④ 見開き原稿を 2 ページに分割する (P. 531)
- ④ サイズの異なる原稿をスキャンする - 原稿サイズ混載 (P. 532)
- ④ 大量の原稿をスキャンする - 連続読込 (P. 533)
- ④ スキャンした原稿にスタンプを付ける - 済スタンプ (P. 533)

見開き原稿を 2 ページに分割する

本や雑誌のような見開き原稿をスキャンする場合に、左右のページを別々のページに分割してスキャンするように設定します。

見開き原稿のセット方法

見開き原稿をスキャンする場合は、原稿を原稿台ガラスにセットします。原稿の上部を原稿台ガラスの左上隅と上部に合わせてセットします。



- 1 ファクスの画面で、[その他の機能] ▶ [見開き ▶ 2 ページ] を押す ④ **ファクスの画面 (P. 521)**

→ [見開き ▶ 2 ページ] 画面が表示されます。

- 2 原稿の開きかたを選択する

[左開き原稿]

見開き原稿が左開きの場合に選択します。

「左ページ、右ページ」の順で、左右のページがスキャンされます。



〔右開き原稿〕

見開き原稿が右開きの場合に選択します。

「右ページ、左ページ」の順で、左右のページがスキャンされます。



3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

サイズの異なる原稿をスキャンする - 原稿サイズ混載

サイズの異なる原稿をスキャンする場合に、フィーダーにまとめてセットしてスキャンできるように設定します。サイズごとに原稿をセットしなおす手間を省くことができます。

※ダイレクト送信または手動送信をする場合は、サイズの異なる原稿をまとめてスキャンできません。

サイズの異なる原稿のセット方法

タテの幅が同じ場合は、同じ幅の辺をそろえてセットします。



タテの幅が異なる場合は、自分から見て原稿の左端と上端をそろえてセットします。



サイズの異なる原稿をセットするときの注意事項

- まとめてセットできる原稿サイズの組み合わせには制限があります。▶ **両面同時読取フィーダーの仕様 (P. 54)**
適切ではない組み合わせでセットすると、原稿の破損や紙づまりの原因になることがあります。
- タテの幅が異なる原稿をセットした場合、幅が短いほうの原稿は原稿ガイドで固定されないため、斜めにスキャンされることがあります。
- 紙の厚さや紙質が異なる原稿はまとめてセットしないようにします。紙づまりの原因になることがあります。

1 ファクスの画面で、[その他の機能] ▶ [原稿サイズ混載] を押す ▶ **ファクスの画面 (P. 521)**

→ [原稿サイズ混載] 画面が表示されます。

2 原稿をセットしたときのタテの幅が、同じ幅かどうかを選択する

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

大量の原稿をスキャンする - 連続読込

原稿の枚数が多くて一度にフィーダーにセットできない場合に、複数回に分けてスキャンした原稿を1つにまとめて送信できるように設定します。

フィーダーを使用してスキャンした原稿と、原稿台ガラスを使用してスキャンした原稿を、1つにまとめて送信することもできます。

※ダイレクト送信または手動送信をする場合は、連続読込はできません。

1 ファクスの画面で、[その他の機能] ▶ [連続読込] を押す ➡ **ファクスの画面 (P. 521)**

→ 設定ボタンの下部に [設定あり] が表示されます。

2 [閉じる] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

メモ

- サイズの異なる原稿をフィーダーにまとめてセットする場合は、原稿サイズ混載の設定が必要です。 ➡ **サイズの異なる原稿をスキャンする - 原稿サイズ混載 (P. 532)**

スキャンした原稿にスタンプを付ける - 済スタンプ

オプションのスタンプユニットを装着すると、フィーダーを使用してスキャンする場合に、スキャンが完了した原稿にスタンプを付けるように設定することができます。 ➡ **スタンプユニット・B (P. 27)**

まだスキャンしていない原稿と、スキャンが完了した原稿を、一目で区別することができます。

※ダイレクト送信または手動送信をする場合は、済スタンプを設定してスキャンできません。

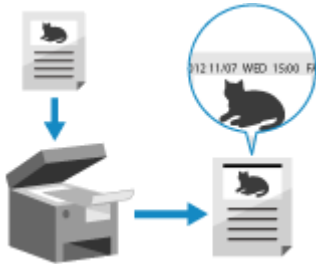
1 ファクスの画面で、[その他の機能] ▶ [済スタンプ] を押す ➡ **ファクスの画面 (P. 521)**

→ 設定ボタンの下部に [設定あり] が表示されます。

2 [閉じる] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

発信元の設定



発信元として送信先でプリントされる名称を選択できます。
ファクス回線が複数ある場合は、送信に使用する回線を選択することもできます。

- ④ 発信元の名称を選択する (P. 534)
- ④ 送信に使用する回線を選択する (P. 535)

発信元の名称を選択する

初期設定では、本機の回線設定で設定されているユーザー略称が、発信元の名称として送信先でプリントされます。
ユーザー略称の代わりに、あらかじめ登録されている発信人の名称を発信元として選択できます。本機にログインしている場合は、ログインユーザー名を選択することもできます。

必要な準備

- 発信人の名称を登録します。④ **【発信人の名称登録】** (P. 1095)

1 ファクスの画面で、[その他の機能] ▶ [発信人] を押す ④ **ファクスの画面 (P. 521)**

→ [発信人] 画面が表示されます。

2 発信元として使用する名称を選択する

- 名称の番号をテンキーで入力して直接指定することもできます。
- ログインユーザー名を選択する場合は、名称の番号「100」を選択します。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

メモ

- 発信元の名称の初期設定がログインユーザー名となるように設定できます。④ **【認証ユーザー名を発信人として使用】** (P. 1096)

送信に使用する回線を選択する

ファクス回線が複数ある場合は、送信に使用する回線を選択できます。選択した回線に設定されているファクス番号が、発信元のファクス番号として送信先でプリントされます。

1 ファクスの画面で、[その他の機能] ▶ [回線選択] を押す ➡ **ファクスの画面 (P. 521)**

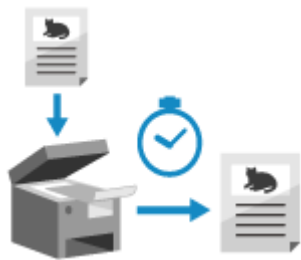
→ [回線選択] 画面が表示されます。

2 送信に使用する回線を選択する

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

タイマー送信の設定



スキャンしたデータをすぐに送信せず、指定した時刻になったときに、自動的に送信するように設定します。

※ダイレクト送信または手動送信をする場合は、タイマー送信はできません。

1 ファクスの画面で、[その他の機能] ▶ [タイマー送信] を押す ➡ **ファクスの画面 (P. 521)**

→ [タイマー送信] 画面が表示されます。

2 タイマー送信する時刻を入力する

時刻の表示形式の設定にかかわらず、24 時間形式で入力します。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

メモ

- 送信が完了したかどうかは、[状況確認] 画面で確認できます。 ➡ **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 551)**
- タイマー送信は最大 64 件まで設定できます。
ただし、以下のような場合は、設定できる件数が少なくなります。
 - 同時に複数のスキャンデータを送信している場合
 - 大きなデータサイズのスキャンデータを送信している場合
 - 受信トレイで大量にメモリーを使用している場合

送信結果通知の設定

EJ83-08S



送信結果をメールで通知するように設定したり、送信結果のレポートをプリントするように設定したりできます。

- ① 送信結果をメールで通知する (P. 537)
- ② 送信結果レポートをプリントする (P. 538)

送信結果をメールで通知する

送信終了時に、送信結果をメールで通知するように設定します。

送信が順番待ちとなったときに本機から離れても、パソコンやモバイル機器で送信結果を確認できます。エラー時にのみ通知するように設定することもできます。

通知先には、アドレス帳に登録されている宛先（個人宛先表とユーザーグループ宛先表の宛先は除く）、またはログインユーザーのメールアドレスを設定できます。

必要な準備

- 通知先として設定するメールアドレスを、本機のアドレス帳またはユーザー情報に登録します。
 - ➡ 宛先の登録 - アドレス帳 (P. 270)
 - ➡ ローカルデバイスにユーザー情報を登録する (P. 687)

- 1 ファクスの画面で、[その他の機能] ▶ [ジョブ終了通知] を押す ➡ **ファクスの画面 (P. 521)**

→ [ジョブ終了通知] 画面が表示されます。

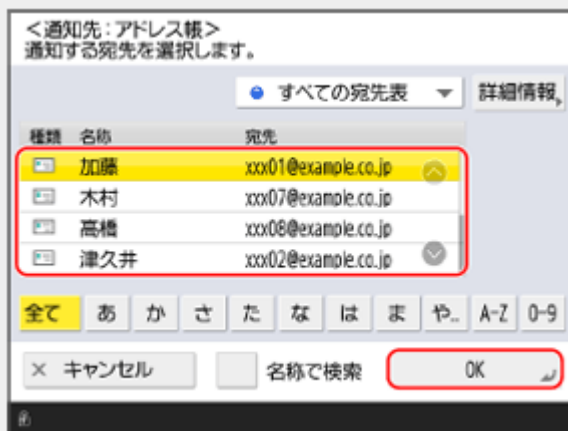
- 2 通知の条件と通知先を設定する

送信した原稿の1ページ目をPDFファイルで通知メールに添付する場合は、[送信原稿を添付]にチェックマークを付けます。

通知先をアドレス帳から選択する場合

[アドレス帳から選択]を押すと、アドレス帳の画面が表示されます。

アドレス帳の画面で、通知先として設定する宛先（メールアドレス）を選択し、[OK]を押します。



- 画面下部のインデックスや[名称で検索]を選択したり、宛先表のプルダウンメニューから宛先表を選択したりすると、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。▶ [アドレス帳の画面 \(P. 271\)](#)
- アクセス番号が設定されている宛先を表示する場合は、[アクセス番号]を押し、アクセス番号を入力します。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

送信結果レポートをプリントする

初期設定では、エラー時には自動的に送信結果のレポートがプリントされます。
送信結果にかかわらず、送信終了時にレポートをプリントするように設定できます。

※本機の設定によっては、ファクスの画面から送信結果レポートを設定できません。▶ [\[送信結果レポート\] \(P. 1075\)](#)

1 ファクスの画面で、[その他の機能] ▶ [送信結果レポート] を押す ▶ [ファクスの画面 \(P. 521\)](#)

→ 設定ボタンの下部に[設定あり]が表示されます。

2 [閉じる] を押す

→ ファクスの画面に戻ります。

ファクスを受信する

EJ83-08U

ファクスの着信時は呼び出し音が鳴らずに自動受信するため、受信の操作は不要です。

ファクスを受信すると、操作パネルの実行/メモリーランプが緑色に点滅し、受信したファクスと同じサイズの下紙に自動的にプリントされます。同じサイズの下紙がセットされていない場合は、代わりの下紙にプリントされます。

両面プリントや、代わりの下紙にプリントするときの基準など、プリント時の設定を変更することもできます。➡**受信したファクスのプリント設定を変更する (P. 542)**

Fコード／パスワードが設定されたファクスを受信する場合

あらかじめFコード／受信パスワードを設定しておく必要があります。

受信パスワードを設定すると、パスワードが一致するファクスのみを受信できるようになるため、迷惑ファクスの受信を防止することができます。

➡**Fコード／パスワードが設定されたファクスを受信する (P. 539)**

オプションのハンドセットまたは電話機が接続されている場合

呼び出し音が鳴った場合や、ファクス情報サービスを利用する場合は、手動で受信の操作が必要です。

➡**呼び出し音が鳴ったあとに受信する (P. 540)**

➡**ファクス情報サービスを利用して受信する (P. 540)**

メモ

ファクスが受信できない／プリントされない

- 本機の状態などを確認します。➡**ファクスが受信できない (P. 1431)**
- 本機でエラーなどが発生していて、受信したファクスのプリントができないときは、受信したファクスをメモリー受信ボックスに転送できます。➡**【代行受信ファイルの転送】 (P. 1115)**

操作パネルの実行/メモリーランプが緑色に点灯している場合

- 受信したファクスが本機のメモリーに保存されています。操作パネルやリモート UI で、ファクスの内容を確認してからプリントすることができます。

➡**メモリー受信したファクスを確認／プリント／転送する (P. 545)**

➡**親展受信したファクスを確認／プリントする (P. 547)**

受信したファクスが自動的にプリントされないようにする

- 受信したファクスを、本機のメモリーに保存するように設定するか、指定した宛先に転送／保存するように設定します。

➡**受信したファクスをすぐにプリントしないようにする (P. 824)**

➡**受信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 497)**

Fコード／パスワードが設定されたファクスを受信する

本機はITU-T（国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門）の国際標準規格に準拠したFコード／パスワードに対応しています。

- Fコードが設定されたファクスを受信するには、自動転送の条件にFコードを設定します。➡**受信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 497)**
- パスワードが設定されたファクスを受信するには、受信パスワードを設定します。➡**【受信パスワード】 (P. 1118)**

※受信パスワードを設定すると、相手先からITU-T規格で送信されたファクスにFコードが設定されていない場合は、受信時にパスワードの照合が行われます。

設定したパスワードと一致しないファクスや、パスワードが設定されていないファクスは、受信しないようになります。

呼び出し音が鳴ったあとに受信する

呼び出し音が鳴った場合は、手動で受信操作を行います。

※呼び出し音が一定時間鳴ったあと、ファクスを自動受信するように設定しておくこともできます。▶ [\[自動受信切替\]](#) (P. 1117)

※本機に電話機を接続している場合は、本機まで行かなくても、電話機を操作してファクスを受信することもできます。▶ [電話機の操作でファクスを受信する - リモート受信](#) (P. 541)

1 呼び出し音が鳴ったら、受話器を取る

電話の場合は、そのまま通話します。

2 「ピー」という音が聞こえたら、操作パネルの画面で「受信スタート」を押す

→ ファクスの受信が開始されます。受信が完了すると自動的にプリントされます。

3 受話器を戻す

ファクス情報サービスを利用して受信する

1 サービス提供元に電話をかける

2 音声案内に従ってサービス番号を入力する

3 操作パネルの画面で「受信スタート」を押す

→ ファクスの受信が開始されます。受信が完了すると自動的にプリントされます。

メモ

- サービスの内容や操作する番号については、サービス提供元にお問い合わせください。
- ハンドセットを使用してプッシュホンサービスを利用することもできます。

電話機の操作でファクスを受信する - リモート受信

EJ83-08W

リモート受信とは、本機に接続した電話機の番号ボタンで、所定の番号（リモート受信 ID）をダイヤルすることでファクスを受信できる機能です。

リモート受信 ID は、初期設定では「25」に設定されています。任意の番号に設定を変更できます。🔗 [\[リモート受信\]](#) (P. 1117)

1 呼び出し音が鳴ったら、電話機の受話器を取る

電話の場合は、そのまま通話します。

2 「ピー」という音が聞こえたら、電話機の番号ボタンでリモート受信 ID をダイヤルする

→ 本機でファクスの受信が開始されます。受信が完了すると自動的にプリントされます。

番号ボタンを押したときの音が「ピポパ」ではない場合は、電話機のトーンボタンを押してから番号ボタンを押します。

3 受話器を戻す

受信したファクスのプリント設定を変更する

EJ83-08X

受信したファクス／Iファクスは、初期設定では用紙の片面に画像のみがプリントされます。設定を変更して、両面にプリントしたり、受信日時やページ番号などを付けてプリントしたりできます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。  [共通設定] (P. 1109)

- 1 リモート UI にログインする  リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 [受信/転送] ▶ [共通設定] をクリックする
→ [共通設定] 画面が表示されます。
- 4 プリント設定をする



両面／縮小／等倍プリントする場合

以下の項目を設定します。

設定例： A3 のファクスを A4 の用紙に縮小してプリントする場合

- A4 と A4R 以外の用紙がセットされている給紙部を、ファクスをプリントするときの自動選択の対象から外します。  機能ごとに適切な給紙部を使用する (P. 265)
- [用紙カセット選択] の [スイッチ A] のチェックマークを外します。

[両面記録する]

受信したファクスを用紙の両面にプリントする場合は、チェックマークを付けます。

〔用紙カセット選択〕

受信したファクスと同じサイズの下紙がセットされていない場合に、代わりの下紙にプリントするときの基準を設定します。

ここでの設定と、セットされている下紙のサイズによって、プリント方法が決まります。使用したくないプリント方法は、チェックマークを外します。

- [スイッチ A] :
小さいサイズの用紙がセットされている場合、受信したファクスを分割してプリントします。
- [スイッチ B] / [スイッチ D] :
大きいサイズの用紙がセットされている場合、受信したファクスを等倍で、余白を付けてプリントします。
[スイッチ B] と [スイッチ D] では、プリントされる用紙と余白の付きかたが異なります。

〔スイッチ B〕



〔スイッチ D〕



- [スイッチ C] :
小さいサイズの用紙がセットされている場合、受信したファクスを縮小してプリントします。

※プリント方法を有効にしても、セットされている下紙のサイズによってはプリントされないことがあります。

※自動選択の対象となっている給紙部の用紙にプリントされます。使用したくない給紙部は自動選択の対象から外します。 **機能ごとに適切な給紙部を使用する (P. 265)**

〔画像縮小〕

受信したファクスを用紙に収めるために縮小プリントする場合は、チェックマークを付けます。縮小率やタテヨコ比を維持するかどうかを設定します。

チェックマークを外すと、受信したファクスが用紙に収まらない場合、分割してプリントされます。

- [縮小モード] で、縮小率を自動調整するか固定するかを選択します。自動調整を選択した場合は、設定した縮小率から 100 % までの範囲で縮小されます。
- タテヨコ比を維持する場合は、[縮小方向] を [縦横] に設定します。

受信日時やページ番号などを付けてプリントする場合

〔受信情報記録を付ける〕にチェックマークを付けます。受信時刻やページ番号などの情報は、ページの一番下にプリントされます。

ファクスのプリントを優先する場合

〔受信ジョブを割込プリントする〕にチェックマークを付けます。ファクス/Iファクスを受信したときに、他のジョブを中断してプリントするようになります。

5

[OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

6

リモート UI からログアウトする

メモリー受信したファクスを確認／プリント／転送する

EJ83-08Y

受信したファクスがメモリー受信ボックスに保存されると、操作パネルの実行/メモリーランプが緑色に点灯します。メモリー受信ボックスに保存されたファクスは、操作パネルやリモート UI で内容を確認してからプリントすることができます。また、指定した宛先にファクスを転送することもできます。

ここでは、操作パネルを使用して確認／プリント／転送する方法を説明します。パソコンからリモート UI を使用して確認／プリント／転送する場合は、ポータル画面の「受信/保存ファイルの利用」から操作します。④パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)

必要な準備

- 受信したファクスがメモリー受信ボックスに保存されるように設定します。④メモリー受信を設定する (P. 824)

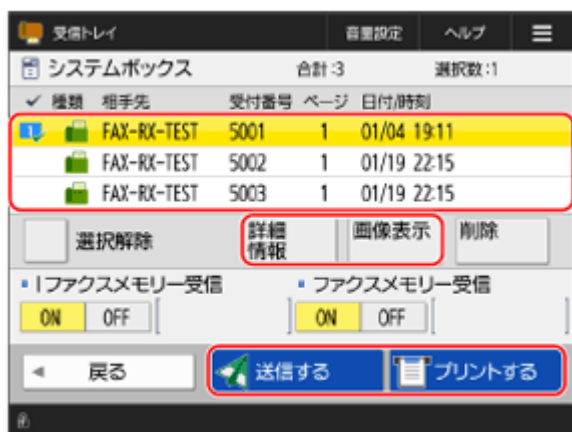
1 操作パネルの「ホーム」画面で、「受信トレイ」を押す ④「ホーム」画面 (P. 156)

→ 受信したファクスの保存場所を選択する画面が表示されます。

2 「システムボックス」▶「メモリー受信ボックス」を押す

暗証番号の入力画面が表示された場合は、システムボックスに設定されている暗証番号を入力し、「OK」を押します。

3 ファクスを確認／プリント／転送する



ファクスのデータを削除する場合は、ファクスを選択し、「削除」▶「はい」を押します。

※複数のファクスを選択して削除することはできません。

ファクスの情報や内容を確認する場合

- ファクスを選択し、「詳細情報」を押すと、受信したファクスのサイズなどの詳細情報を確認できます。
- ファクスを選択し、「画像表示」を押すと、プレビュー画面を表示してファクスの内容を確認できます。プレビュー画面上でページを削除したり、プレビュー画面からプリントしたりすることもできます。

ファクスをプリントする場合

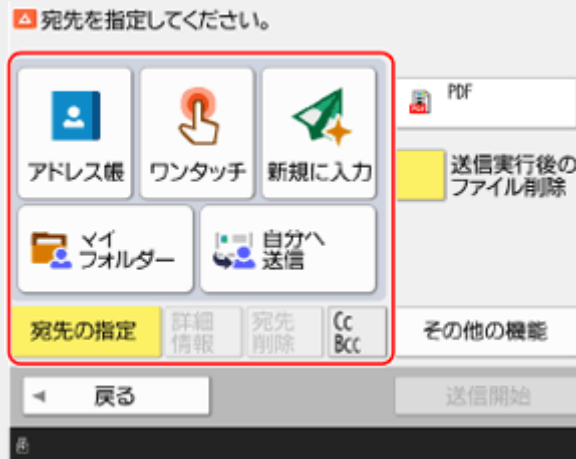
プリントするファクスを選択し、[プリントする] ▶ [プリント開始] を押します。

※プリントしたファクスのデータは、自動的にメモリー受信ボックスから削除されます。

※複数のファクスを選択してプリントすることはできません。

ファクスを転送する場合

1. 転送するファクスを選択し、[送信する] を押す
 - 一度に 32 件まで選択して転送できます。
 - 表示されているファクスをすべて選択する場合は、ファクスを選択していない状態で、[全選択 (32 ファイルまで)] を押します。
2. 転送先とする宛先を指定する ➡ **宛先の指定 (P. 313)**



- ログインユーザー専用のフォルダー（マイフォルダー）を宛先に指定する場合は、[マイフォルダー] を押します。
 - ログインユーザーのメールアドレスを宛先に指定する場合は、[自分へ送信] を押します。
 - メールアドレスを Cc/Bcc の宛先として指定する場合は、[Cc Bcc] を押します。
 - メモリー受信したファクスを転送するときは、モバイル機器のアドレス帳や本機の送信履歴を使用して宛先を指定することはできません。
3. 必要に応じて、転送時の設定をする
ファイル形式やファイル名など、スキャンして送信するときと同じ設定ができます。 ➡ **スキャンの設定 (P. 441)**
 4. [送信開始] を押す
➔ 指定した宛先にファクスが転送されます。

メモ

保存できるファクスの数

- メモリー受信ボックスに保存できるファクスの数は、2,000 件 または 30,000 ページです。

保存場所のショートカットを登録する

- 受信したファクスの保存場所を [ホーム] 画面にボタンとして登録すると、[ホーム] 画面からボタン 1 つで呼び出すことができます。 ➡ **[ホーム] 画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン (P. 174)**

親展受信したファクスを確認／プリントする

EJ83-090

受信したファクスがファクスボックスに保存されると、操作パネルの実行/メモリーランプが緑色に点灯します。
ファクスボックスに保存されたファクスは、操作パネルやリモート UI で、ファクスの内容を確認してからプリントすることができます。

ここでは、操作パネルを使用して確認／プリントする方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認／プリントする場合は、ポータル画面の「受信/保存ファイルの利用」から操作します。[▶パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

必要な準備

- 受信したファクスがファクスボックスに保存されるように設定します。[▶親展受信を設定する \(P. 826\)](#)

1 操作パネルの「ホーム」画面で、「受信トレイ」を押す [▶「ホーム」画面 \(P. 156\)](#)

→ 受信したファクスの保存場所を選択する画面が表示されます。

2 「ファクスボックス」を押す

3 受信したファクスが保存されているファクスボックスを選択する



- ボックス番号をテンキーで入力して直接指定することもできます。
- 暗証番号の入力画面が表示された場合は、ファクスボックスに設定されている暗証番号を入力し、「OK」を押します。
- 各ファクスボックスの状態をアイコンで確認できます。
 - [] : ファクスが保存されている
 - [] : ファクスが保存されていない
 - [] : 暗証番号が設定されている [▶ファクスボックスを設定する \(P. 827\)](#)

4 ファクスを確認／プリントする



ファクスのデータを削除する場合は、ファクスを選択し、[削除] ▶ [はい] を押します。
 ※複数のファクスを選択して削除することはできません。

ファクスの情報や内容を確認する場合

- ファクスを選択し、[詳細情報] を押すと、受信したファクスのサイズなどの詳細情報を確認できます。
- ファクスを選択し、[画像表示] を押すと、プレビュー画面を表示してファクスの内容を確認できます。プレビュー画面上でページを削除したり、プレビュー画面からプリントしたりすることもできます。

ファクスをプリントする場合

プリントするファクスを選択し、[プリントする] ▶ [プリント開始] を押します。

※ [プリント後ファイル削除] を選択して [プリント開始] を押すと、プリントしたファクスのデータが自動的にファクスボックスから削除されます。

※複数のファクスを選択してプリントすることはできません。

メモ

保存時の通知メールからファクスを確認する

- ファクスボックスの設定で、ファクスの保存時に保存場所の URL をメールで通知するように設定されている場合は、通知された URL をパソコンの Web ブラウザーで開くと、リモート UI の画面上でファクスの内容を確認できます。▶
ファクスボックスを設定する (P. 827)

保存場所のショートカットを登録する

- 受信したファクスの保存場所を [ホーム] 画面にボタンとして登録すると、[ホーム] 画面からボタン 1 つで呼び出すことができます。▶ **[ホーム] 画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン (P. 174)**

ファクスの送信を中止する

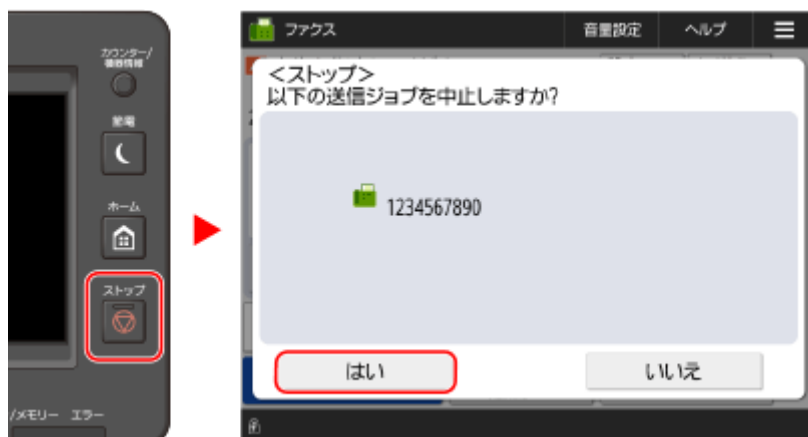
EJ83-091

本機でファクスを送信した場合は、画面の表示に従ってファクスの送信を中止できます。

- [中止] ▶ [はい] を押します。



- 上記の画面が表示されていない場合は、[ ストップ] ▶ [はい] を押します。



送信ジョブが複数あるときに [ストップ] を押した場合

- 初期設定では、最後に実行したジョブが中止対象のジョブとして画面に表示されます。④ [ストップ押下時に中止するジョブ] (P. 1082)

- 他のジョブを中止したい場合は、[他のジョブを確認] を押し、送信ジョブの一覧から中止したいジョブを選択して、[中止] を押します。



ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する

EJ83-092

ファクスの送信／受信をはじめ、本機で行われる処理はジョブとして管理されています。ジョブの状況／履歴を確認することで、正しく送信／受信できたかどうかや、エラーが発生している場合の原因がわかります。

本機の設定によっては、送信エラーが発生したジョブを再送信することもできます。

※履歴を表示しないように設定されている場合は、送信／受信状況のみ確認できます。▶ [\[ジョブ履歴の表示\]](#) (P. 1157)

▶ [送信／受信状況を確認する](#) (P. 551)

▶ [履歴を確認する](#) (P. 552)

メモ

- ログインユーザーのジョブを他人が操作できないように制限できます。▶ [\[認証ユーザー以外のジョブの操作制限\]](#) (P. 1156)

送信／受信状況を確認する

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。

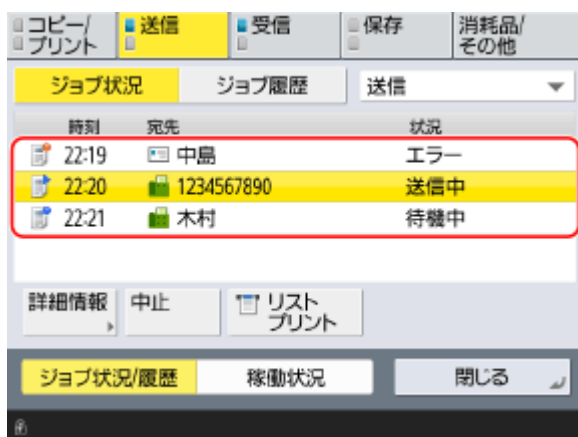
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。▶ [リモート UI で使用状況／履歴を確認する](#) (P. 893)

1 操作パネルの「ホーム」画面などで、[\[状況確認\]](#) を押す ▶ [\[ホーム\] 画面](#) (P. 156)

→ [\[状況確認\]](#) 画面が表示されます。

2 [\[送信\]](#) または [\[受信\]](#) を押し、[\[ジョブ状況\]](#) を押す

3 実行中や待機中のジョブを確認する



- 画面右上のプルダウンメニューで「ファクス」を選択すると、一覧に表示されるジョブをファクスのジョブのみに絞り込むことができます。
- 送信状況を表示している場合は、[\[リストプリント\]](#) を押すと、送信状況の一覧をプリントできます。

4 詳細を確認したいジョブを選択し、[\[詳細情報\]](#) を押す

→ジョブの詳細情報が表示されます。

5

ページ数などを確認する

送信エラーが発生したジョブを再送信する場合

※初期設定では、送信エラーが発生したジョブは自動的に削除するように設定されており、再送信できません。

④ [エラージョブクリア] (P. 1077)

※ダイレクト送信／手動送信／PC ファクス送信のジョブは再送信できません。

[再送信] を押します。

- 同じ種類の宛先が複数設定されている場合は、[同報リスト] を押して宛先を選択してから、[再送信] を押します。
- 別の宛先に再送信したい場合は、[宛先変更] を押して宛先を変更してから、[再送信] を押します。

メモ

タイマー送信が設定されているジョブの宛先を変更する

- 送信待機中の間（指定した時刻になるまでの間）は、手順 5 で [宛先変更] を押すと、宛先を変更できます。ただし、以下の場合は、宛先を変更できません。
 - 複数の宛先が指定されている場合
 - 送信時に指定できる宛先が、登録済みの宛先のみに限定されている場合 ④登録済みの宛先のみに送信できるようにする (P. 809)

履歴を確認する

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。④リモート UI で使用状況／履歴を確認する (P. 893)

1

操作パネルの [ホーム] 画面などで、[ 状況確認] を押す ④ [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [状況確認] 画面が表示されます。

2

[送信] または [受信] を押し、[ジョブ履歴] を押す

3

送信／受信が完了したジョブを確認する

ジョブ履歴				
時刻	部門ID	宛先	結果	
21:15	7654321	永戸	OK	↑
21:04	7654321	永戸	OK	
21:03	7654321	木村	OK	
23:17	-----	木村	OK	↓
23:10	7654321	中島	NG	

詳細情報 通信レポート 送信宛先に指定 宛先の登録

ジョブ状況/履歴 稼働状況 閉じる

- 画面右上のプルダウンメニューで「ファクス」を選択すると、一覧に表示されるジョブをファクスのジョブのみに絞り込むことができます。
- 「通信管理レポート」または「ファクス通信管理レポート」を押すと、送信／受信履歴の一覧をプリントできます。

4 詳細を確認したいジョブを選択し、「詳細情報」を押す

→ ジョブの詳細情報が表示されます。

5 ページ数などを確認する

「結果」に「NG」が表示されている場合

送信／受信が中止されたか、エラーが発生しました。

「終了コード」に「#」で始まる3桁の番号が表示されている場合は、終了コードから、原因や対処方法を確認できます。▶ **終了コードが表示された（#xxx）（P. 1493）**

メモ

送信履歴から宛先を指定／登録する

- 手順 3 で、ジョブを選択して「送信宛先に指定」または「宛先の登録」を押すと、送信履歴と同じ宛先を指定したり、アドレス帳に宛先を登録したりできます。
 - ▶ **宛先を指定する - 送信履歴（P. 323）**
 - ▶ **アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル（P. 276）**

インターネットファクスを使用する - I ファクス

EJ83-093



インターネットファクス（I ファクス）とは、インターネットを経由してファクスを送受信する機能です。電話回線を使用しないため、通信費を気にせずにファクスを送ることができます。また、I ファクスを受信すると自動的に受信データがプリントされます。送信先／送信元の機器がI ファクスに対応している必要があります。

➡ I ファクスを送信する (P. 554)

➡ I ファクスを受信する (P. 558)

メモ

- I ファクスには、ITU-T（国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門）で定められた規格が存在します。規格に準拠した機器であれば、他メーカー間の通信もできます。
imageFORCE シリーズは、T.37 規格（LAN 直結メール型）に準拠しています。
- CIAJ（情報通信ネットワーク産業協会）での I ファクスの名称は、「W-NET FAX」です。

I ファクスを送信する

原稿をスキャンして、スキャンデータを I ファクスで送信します。
スキャンデータは、TIFF 形式の添付ファイルとしてメールで送信されます。通常のメール送信と同様に、複数の宛先を指定できるほか、件名や本文も設定できます。

必要な準備

- I ファクス送信に使用するメールサーバーの情報を本機に設定します。 ➡ [メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

1 原稿をセットする ➡ [原稿のセット方法 \(P. 196\)](#)

原稿の厚さを選択する画面が表示された場合は、セットした原稿の厚さを選択します。

2 操作パネルの [ホーム] 画面で、[スキャンして送信] を押す ➡ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ スキャンの画面が表示されます。

3 宛先を指定する ④宛先の指定 (P. 313)



4 スキャンの設定をする ④スキャンの設定 (P. 441)



「よく使う設定」を登録している場合は、[よく使う設定] を押して呼び出すことができます。④「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)

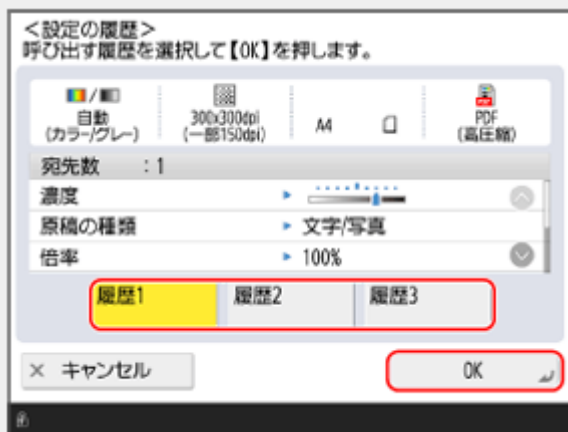
過去の設定を呼び出す場合 - 設定履歴

[設定の履歴] を押すと、過去にスキャンデータを送信したときの設定を呼び出すことができます。送信したときの宛先も、設定と併せて反映されます。

設定履歴を呼び出すと、指定済みの宛先とスキャン設定は上書きされます。

※宛先をアクセス番号で管理している場合は、設定履歴は使用できません。④一部の宛先を非表示にする - アクセス番号管理 (P. 838)

[設定の履歴] 画面で、呼び出したい履歴を選択し、[OK] を押します。



- 呼び出した宛先とスキャン設定は、変更して送信できます。
- ログインユーザーごとの設定履歴を選択できます。
ログインしていない場合やゲストユーザーの場合は、未認証ユーザー共通の設定履歴を選択できます。
- 新規宛先の入力制限されたときは、制限された宛先の種類にかかわらず、設定履歴が消去されます。🔗
登録済みの宛先のみを送信できるようにする (P. 809)

5 [🔍 スタート] を押す

→ 原稿のスキャンが開始されます。

- スキャンを中止したい場合は、[中止] ▶ [はい] を押します。🔗 **スキャンを中止する (P. 477)**
- 原稿のスキャンが完了すると、スキャンデータが送信されます。[🔍 状況確認] から送信状況や履歴を確認できます。🔗 **スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する (P. 479)**

[[スタート] キーで次の原稿を読み込みできます。] と表示された場合

原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンした場合や、連続読込を設定してスキャンした場合は、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。

1. 続きの原稿がある場合は、次の原稿をセットし、[🔍 スタート] を押す

→ 次の原稿がスキャンされ、同じ画面が表示されます。

すべての原稿のスキャンが完了するまで、この操作を繰り返します。

原稿をフィーダーにセットしてスキャンした場合は、スキャンが完了した原稿（原稿排紙トレイに排出された原稿）を取り除いてから、次の原稿をセットします。

原稿ごとにスキャンの設定を変更する場合

メッセージが表示された画面で、[設定変更] を押します。以下の設定を変更できます。

- [カラー選択]
- [読取サイズ]
- [両面原稿]
- [濃度]
- [原稿の種類]

たとえば、片面原稿をスキャンしたあとに両面原稿をスキャンする場合は、[設定変更] を押して [両面原稿] を設定します。

2. [送信開始] を押す

→ スキャンデータが送信されます。

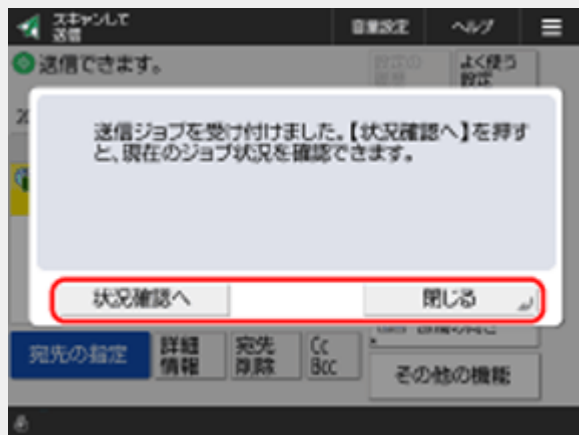
ユーザー名とパスワードの入力／確認画面が表示された場合

表示された画面に従って、ユーザー名とパスワードを入力／確認します。

【状況確認へ】が表示された場合

送信状況や履歴を確認する場合は、【状況確認へ】を押します。🔵**スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する (P. 479)**

【閉じる】を押すと、スキャンの画面に戻ります。



メモ

原稿が重なってスキャンされて中断された場合 - 重送検知

- 画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、つまっている原稿を取り除きます。🔵**紙／ホチキス針がしまった (P. 1518)**
つまっている原稿が取り除かれると、再開画面が表示されます。
誤って重送と検知された場合は、【重送検知しない】を押してスキャンを再開します。
- 重送が検知されないようにするには、以下のいずれかの設定をします。
 - スキャンするたびに、スキャンの画面の【その他の機能】▶【フィーダー重送検知】を押して、重送検知の設定を解除する
 - 重送検知ないように初期設定を変更する 🔵【フィーダー重送検知のデフォルト設定】(P. 1054)

※機種によっては、重送検知は、オプションのドキュメントフィーダー用重送検知キット・Aの装着が必要です。

送信前にプレビュー画面で内容を確認する

- スキャンデータの送信前にプレビュー画面を表示し、内容を確認してから送信できます。プレビュー画面上でページの順番を変更したり、ページを削除したりすることもできます。🔵**スキャンデータを確認／ページ整理する - プレビュー (P. 430)**

送信画像の品質を改善する

- 送信画像が黒くつぶれてしまう場合や、原稿の下地の薄い色が送信画像に写り込む場合は、以下のとおり設定して送信すると、品質を改善できることがあります。
 - スキャンするときの色を【白黒2値】に設定する 🔵**色を選択する (P. 448)**
 - 解像度を【200x400dpi】／【300x300dpi】／【400x400dpi】／【600x600dpi】のいずれかに設定する 🔵**解像度を設定する (P. 451)**
 - 原稿の種類を【文字】に設定する 🔵**原稿の種類を選択する (P. 452)**
 - 背景の濃度を【自動】に設定する 🔵**濃度を調整する (P. 452)**

※【設定/登録】メニューの【白黒読込時の速度/画質優先】が【速度優先】に設定されている場合は、【画質優先】に設定します。🔵**【白黒読込時の速度/画質優先】(P. 1055)**
(初期設定では、【画質優先】に設定されています。)

I ファクスを受信する

I ファクスは、設定したメールサーバーから自動受信するため、受信の操作は不要です。

I ファクスを受信すると、操作パネルの実行/メモリーランプが緑色に点滅し、受信したI ファクスと同じサイズ of 用紙に自動的にプリントされます。同じサイズの用紙がセットされていない場合は、代わりの用紙にプリントされます。

両面プリントや、代わりの用紙にプリントするときの基準など、プリント時の設定を変更することもできます。④受信したファクスのプリント設定を変更する (P. 542)

必要な準備

- I ファクス受信に使用するメールサーバーの情報を本機に設定します。④メールサーバーの情報を設定する (P. 400)

I ファクスを手動受信する

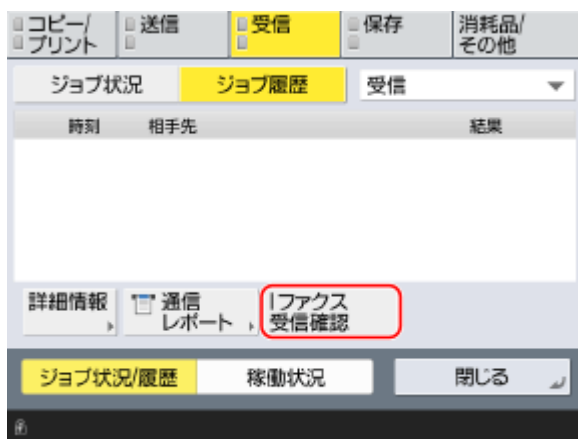
自動受信する前にサーバーへ接続して受信したい場合や、自動受信を行わないように設定している場合は、手動で受信操作を行います。

- 1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[ 状況確認] を押す ④ [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [状況確認] 画面が表示されます。

- 2 [受信] ▶ [ジョブ履歴] を押す

- 3 [I ファクス受信確認] を押す



→ サーバーへ接続します。I ファクスを受信すると、プリントが開始されます。

[I ファクス受信確認] が表示されていない場合は、画面右上のプルダウンメニューから [受信] を選択します。

メモ

I ファクスが受信できない／プリントされない

- 本機の状態などを確認します。④ファクスが受信できない (P. 1431)
- 本機でエラーなどが発生していて、受信したI ファクスのプリントができないときは、受信したI ファクスをメモリー受信ボックスに転送できます。④【代行受信ファイルの転送】 (P. 1115)

分割受信したI ファクスを確認する

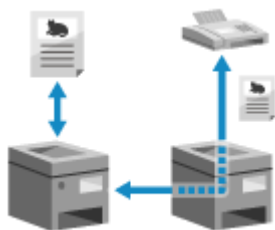
- 分割受信したI ファクスの受信状況は、以下の手順で確認できます。

[ホーム] 画面の [受信トレイ] ▶ [システムボックス] ▶ [分割データ受信ボックス]

- Iファクスを選択し、[分割リスト] を押すと、該当する分割データの一覧を確認できます。
- Iファクスのデータ（該当する分割データ）を削除する場合は、Iファクスを選択し、[削除] ▶ [はい] を押しします。
[削除時に強制プリントする] を設定しておく、と、削除時に分割データがプリントされます。
- 分割受信したIファクスのデータが途中でしか受信できていない場合に、残りの分割データの受信を中止するまでの待ち時間を設定できます。▶ **[分割受信タイムアウト] (P. 1115)**

リモートファクスを使用する

EJ83-094



ファクス機能があるキヤノン複合機の回線を利用して、同じネットワーク上のファクス機能がないキヤノン複合機でファクスを送受信できるようにします。

機器同士でファクス機能や電話回線を共有できるので、機能や回線の導入コストを抑えて、効率よくファクスを利用できます。

※リモートファクスは、どちらの複合機も imageFORCE シリーズ、imageRUNNER ADVANCE シリーズ、または Satera シリーズの場合に利用できます。

ファクス機能がある機種の場合

クライアント機として使用する場合は、販売店または担当サービスにご連絡ください。

ファクス機能がオプションの機種の場合

リモートファクスを使用するには、以下のオプションが必要です。

- サーバー機として使用する場合：スーパー G3FAX ボード
- クライアント機として使用する場合：リモート FAX 送信キット

① リモートファクスを使用するための準備 (P. 560)

② クライアント機でファクスを送受信する (P. 561)

リモートファクスを使用するための準備

リモートファクスのサーバー機能やクライアント機能を設定します。

また、サーバー機で受信したファクスは、Iファクスに変換してクライアント機に転送されるため、転送やIファクス受信の設定をします。

サーバー機として使用する場合

- リモートファクスのサーバー機能を設定します。➡ **【リモートファクス設定】 (P. 1106)**
- サーバー機で受信したファクスを、クライアント機のIファクスアドレスに転送するための設定をします。➡ **受信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 497)**

クライアント機として使用する場合

- リモートファクスのクライアント機能を設定します。設定の詳細については、クライアント機のマニュアルを参照してください。
- Iファクス受信に使用するメールサーバーの情報を設定します。➡ **メールサーバーの情報を設定する (P. 400)**

クライアント機でファクスを送受信する

- ファクスを送信する場合は、通常と同じ方法でファクスを送信します。▶ **ファクスを送信する (P. 502)**
※部門 ID と暗証番号の入力画面が表示された場合は、サーバー機に登録されている部門 ID と暗証番号を入力します。
- ファクスを受信する場合は、I ファクス受信と同じ方法でファクスを受信します。▶ **I ファクスを受信する (P. 558)**

メモ

- クライアント機から送信したファクスに発信元情報を付けるかどうかは、サーバー機の設定に従います。▶ **【発信元記録】 (P. 1077)**

コピーする

コピーする	563
コピーする	565
すぐにコピーする - 割り込み	569
仕上がりを確認してからコピーする	571
コピーの基本設定	574
コピーの画面	576
用紙の設定	578
拡大／縮小の設定	579
画質の調整	581
両面コピーの設定	586
レイアウトの設定	588
原稿に応じたコピーの設定	592
定形外サイズの前稿をコピーする	594
見開き原稿を 2 ページに分割してコピーする	595
サイズの異なる原稿をコピーする - 原稿サイズ混載	598
大量の前稿をコピーする - 連続読込	600
ID カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする	601
白紙ページをコピーしないようにする - 白紙節約	602
仕上げ／製本の設定	603
仕上げ機能を設定する	604
とじしろを付ける	608
小冊子を作る - 製本コピー	610
コピーの便利な機能	614
コピーの終了をメールで通知する	615
コピーを中止する	616
コピー状況や履歴を確認する	617

コピーする

EJ83-095

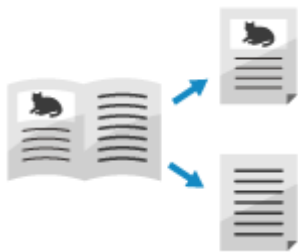
文書や写真などの印刷物（原稿）を、簡単操作でコピーできます。本機には、基本的なコピー設定のほか、原稿や目的に応じてコピーするための設定が用意されています。コピー時にこれらの設定をすることで、業務の効率化や用紙の節約もできます。

コピーの基本操作

基本的なコピーの操作手順を説明します。他のコピーやプリントが実行中／待機中に割り込んでコピーしたり、仕上がりを確認してからコピーしたりすることもできます。

🔗 **コピーする (P. 565)**

コピーの設定



拡大／縮小や両面コピーなどの基本的な設定のほか、原稿に応じて効率よくコピーするための設定ができます。

🔗 **コピーの基本設定 (P. 574)**

🔗 **原稿に応じたコピーの設定 (P. 592)**

仕上げ／製本の設定



ソートしてホチキスで仕上げたり、表紙を付けたりするなど、仕上げ機能や製本機能を使用してコピーするための設定を行います。

🔗 **仕上げ／製本の設定 (P. 603)**

コピーの便利な機能



コピーが終了したことをメールで通知するように設定できます。 🔗 **コピーの便利な機能 (P. 614)**

関連項目

期待どおりの結果にならない場合

グラデーションが再現されなかったり、コピーした画像のサイズが原稿と違ったりする場合は、症状に応じて画質やプリントサイズを調整します。

➤ [画質の調整 \(P. 1357\)](#)

➤ [コピー画像のプリントサイズを調整する \(P. 1376\)](#)

コピーする

ここでは、文書や写真などの印刷物（原稿）をコピーするときの、基本的な操作手順を説明します。

※他のコピーやプリントが実行中／待機中に、割り込んでコピーすることもできます。▶ **すぐにコピーする - 割り込み (P. 569)**

※大量にコピーするときは、試しに1部のみコピーして仕上がりを確認したり、原稿を1ページずつコピーして仕上がりを確認してから全ページをまとめてコピーしたりすることもできます。▶ **仕上がりを確認してからコピーする (P. 571)**

1 原稿をセットする ▶ **原稿のセット方法 (P. 196)**

- フィーダーに原稿をセットすると、初期設定ではソートで仕分けるように自動的に設定されます。▶ **【自動ソート】 (P. 1064)**
- 原稿の厚さを選択する画面が表示された場合は、セットした原稿の厚さを選択します。

2 操作パネルの【ホーム】画面で、【コピー】を押す ▶ **【ホーム】画面 (P. 156)**

→ コピーの画面が表示されます。

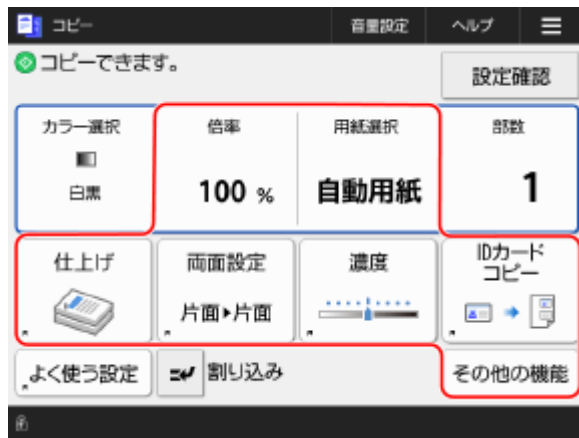
3 コピーする部数をテンキーで入力する



4 コピーの設定をする

- ▶ **コピーの基本設定 (P. 574)**
- ▶ **原稿に応じたコピーの設定 (P. 592)**

➡ 仕上げ／製本の設定 (P. 603)

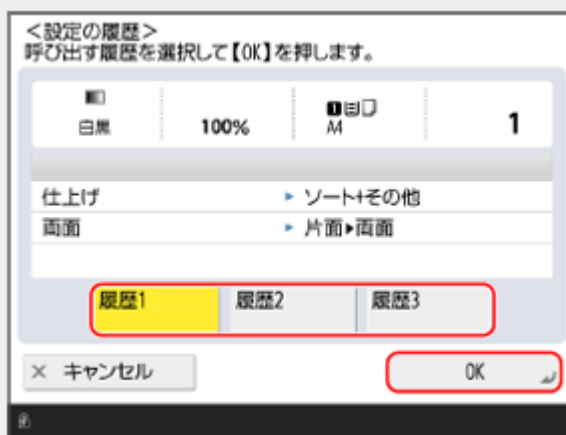


「よく使う設定」を登録している場合は、[よく使う設定] を押して呼び出すことができます。 ➡ 「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)

過去の設定を呼び出す場合 - 設定履歴

[設定の履歴] を押すと、過去にコピーしたときの設定を呼び出すことができます。
設定履歴を呼び出すと、指定済みのコピー設定は上書きされます。

[設定の履歴] 画面で、呼び出したい履歴を選択し、[OK] を押します。



- 呼び出した設定は、変更してコピーできます。
- ログインユーザーごとの設定履歴を選択できます。
ログインしていない場合やゲストユーザーの場合は、未認証ユーザー共通の設定履歴を選択できます。

5

[ スタート] を押す

➡ コピーが開始されます。

- コピーを中止したい場合は、[中止] ▶ [はい] を押します。 ➡ コピーを中止する (P. 616)
- [ 状況確認] からコピー状況や履歴を確認できます。 ➡ コピー状況や履歴を確認する (P. 617)

[原稿サイズ] 画面が表示された場合

セットした原稿のサイズまたは原稿に近いサイズを選択します。

※通常、コピーするときの原稿サイズは自動検知されますが、以下のような原稿はサイズの判別ができないため、セットした原稿のサイズを手動で選択します。

- 透明度の高い原稿
- 地色が極端に濃い原稿

- 小さいサイズの下稿

[[スタート] キーで次の原稿を読み込みできます。] と表示された場合

以下の場合、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。

- 原稿を原稿台ガラスにセットし、両面コピーやページ集約コピーなど、複数ページの原稿を前提としたコピーの設定をしてスキャンした場合
- 連続読込を設定してスキャンした場合

1. 続きの原稿がある場合は、次の原稿をセットし、[ スタート] を押す

→ 次の原稿がスキャンされ、同じ画面が表示されます。

すべての原稿のスキャンが完了するまで、この操作を繰り返します。

原稿をフィーダーにセットしてスキャンした場合は、スキャンが完了した原稿（原稿排紙トレイに排出された原稿）を取り除いてから、次の原稿をセットします。

原稿ごとにコピーの設定を変更する場合

メッセージが表示された画面で、[設定変更] を押します。以下の設定を変更できます。

- [倍率]
- [両面原稿]
- [濃度]
- [原稿の種類]

たとえば、片面原稿をスキャンしたあとに両面原稿をスキャンする場合は、[設定変更] を押して [両面原稿] を設定します。

2. [コピー開始] を押す

→ スキャンした原稿がプリントされます。

重要

用紙の種類は必ず正しく設定する

- 画像不良や、定着器の汚れ、紙の巻きつきを防止するために、使用する用紙の種類は正しく設定します。

❖ コピーに使用する用紙を選択する (P. 578)

原稿の端にある画像が欠けてコピーされる場合

- 余白なく用紙いっぱいに画像がある原稿をコピーすると、原稿の端にある画像が欠けてコピーされることがあります。
※画像の欠け幅については、本機の基本仕様を参照してください。❖ **基本仕様 (P. 51)**
- 倍率を [少し小さめ (全面コピー)] に設定してコピーすると、画像を用紙内に収めることができます。❖ **拡大／縮小の設定 (P. 579)**

メモ

原稿が重なってスキャンされて中断された場合 - 重送検知

- 画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、つまっている原稿を取り除きます。❖ **紙／ホチキス針がつまった (P. 1518)**
つまっている原稿が取り除かれると、再開画面が表示されます。
誤って重送と検知された場合は、[重送検知しない] を押してスキャンを再開します。
- 重送が検知されないようにするには、以下のいずれかの設定をします。
 - スキャンするたびに、コピーの画面の [その他の機能] ▶ [フィーダー重送検知] を押して、重送検知の設定を解除する
 - 重送検知ないように初期設定を変更する ❖ **[フィーダー重送検知のデフォルト設定] (P. 1054)**

※機種によっては、重送検知は、オプションのドキュメントフィーダー用重送検知キット・A の装着が必要です。

コピーの便利な機能

- コピーが終了したことをメールで通知するように設定できます。▶ **コピーの便利な機能 (P. 614)**

コピーを予約する

- 他のコピーやプリントが実行中／待機中に、通常のコピーと同じ操作を行って [ スタート] を押すと、原稿がスキャンされ、コピーが予約されます。
予約したコピーは、他のコピーやプリントが終了すると自動的に開始されます。
- プリント中または待機中の画面が表示されている場合に予約コピーするときは、[閉じる] を押してから操作します。
- コピー中のジョブを含めて 50 件までコピーを予約できます（割り込みコピーは除く）。

すぐにコピーする - 割り込み

EJ83-097

他のコピーやプリントが実行中／待機中に、割り込んでコピーすることができます。通常のコピー操作をして、あとから予約コピーを割り込ませることもできます。

「他のユーザーのプリントがなかなか終わらないときに、急いで数枚のみコピーしたい」といった場合に便利です。

① 割り込んでコピーする (P. 569)

② 予約コピーを割り込ませる (P. 570)

割り込んでコピーする

先に実行中のコピーやプリントを一時停止し、別の原稿をすぐにコピーすることができます。

※コピーするときの基本的な操作手順は、以下を参照してください。

① コピーする (P. 565)

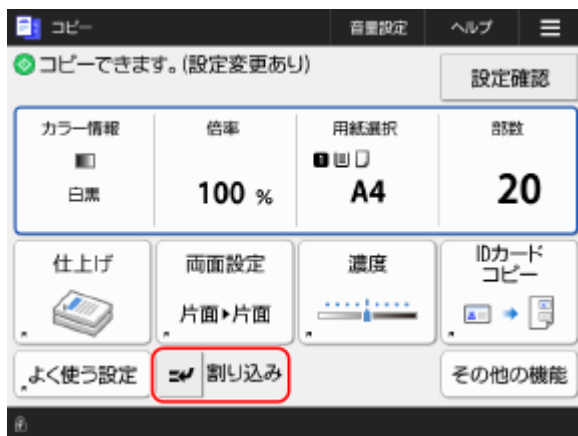
※割り込みコピーの実行中に、さらに割り込みコピーを行うことはできません。実行中の割り込みコピーが終了してから、次の割り込みコピーを行います。

1 操作パネルの [ホーム] 画面で、[コピー] を押す ② [ホーム] 画面 (P. 156)

→ コピーの画面が表示されます。

プリント中または待機中の画面が表示されている場合は、[閉じる] を押します。

2 [割り込み] を押す



→ [割り込み] のボタンが選択されている状態になります。

3 [スタート] を押す

→ 先に実行中のコピーやプリントが一時停止し、割り込みコピーが開始されます。

割り込みコピーが終了すると、一時停止していたコピーやプリントは自動的に再開されます。

予約コピーを割り込ませる

コピーを予約した場合に、先に実行中のコピーやプリントを一時停止し、予約したコピーを割り込ませることができます。待機中のコピーやプリントの先頭（順番待ちの先頭）に割り込ませることもできます。

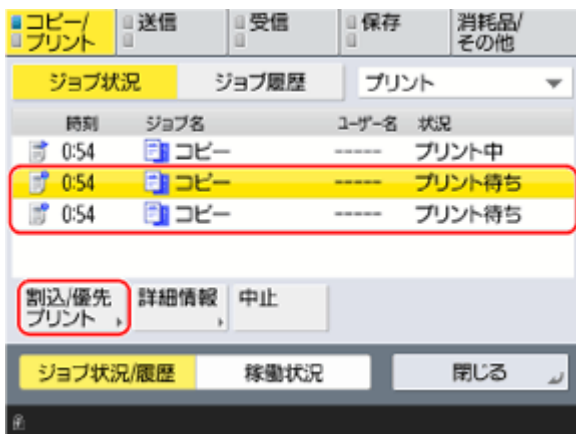
※他のコピーやプリントが実行中／待機中に、通常のコピーと同じ操作を行って〔 スタート〕を押すと、原稿がスキャンされ、コピーが予約されます。➡ **コピーする (P. 565)**

- 1 操作パネルの〔ホーム〕画面などで、〔 状況確認〕を押す ➡ **〔ホーム〕画面 (P. 156)**

➡ 〔状況確認〕画面が表示されます。

- 2 〔コピー/プリント〕 ▶ 〔ジョブ状況〕を押す

- 3 割り込ませたい予約コピーを選択し、〔割込/優先プリント〕を押す



〔割込/優先プリント〕が表示されていない場合は、画面右上のプルダウンメニューから〔プリント〕を選択します。

- 4 〔割込プリント〕または〔優先プリント〕を押す

〔割込プリント〕

先に実行中のコピーやプリントを一時停止し、選択した予約コピーをすぐに開始します。

※先に実行中のコピーやプリントが割込プリントの場合は、実行中の割込プリントの終了後に、選択した予約コピーが開始されます。

〔優先プリント〕

選択した予約コピーを順番待ちの先頭にします。先に実行中のコピーやプリントの終了後に、選択した予約コピーが開始されます。

仕上がりを確認してからコピーする

EJ83-098

大量にコピーする前にコピーの仕上がりを確認することで、プリントミスをなくし、時間や用紙の無駄を防ぎます。

1 部を試しコピーする

フィーダーにセットした原稿を複数部コピーする場合に、試しに 1 部のみコピーして仕上がりを確認してから、すべての部数をコピーします。指定したページのみを試しコピーすることもできます。

試しコピーは、以下のいずれかの設定をした場合に行うことができます。

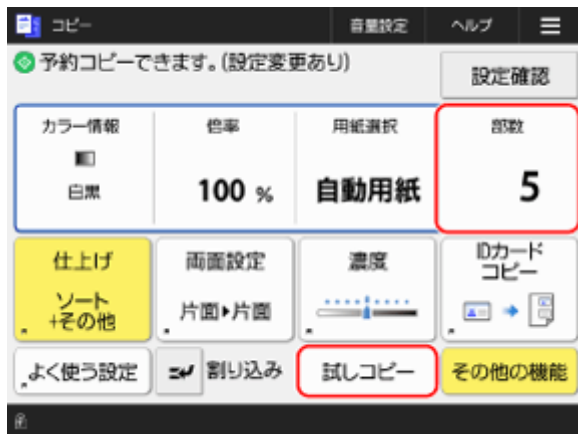
- [ソート (1 部ごと)]
- [シフト (ずらし)]
- [90 度回転]
- [ホチキス+ソート]
- [製本]

※コピーするときの基本的な操作手順は、以下を参照してください。

➡ [コピーする \(P. 565\)](#)

1 フィーダーに原稿をセットする ➡ [原稿のセット方法 \(P. 196\)](#)

2 コピーの画面で、複数部数を入力し、[試しコピー] を押す ➡ [コピーの画面 \(P. 576\)](#)



→ [試しコピー] 画面が表示されます。

3 試しコピーするページを設定する

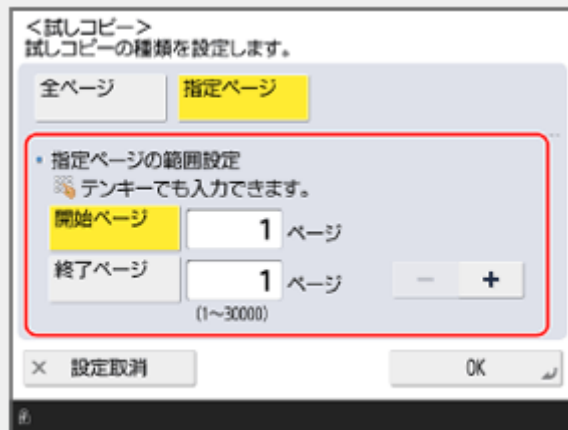
すべてのページを試しコピーする場合
[全ページ] を選択し、[OK] を押します。

※試しコピーもコピーした部数としてカウントされます。

ページを指定して試しコピーする場合

※ページを指定して試しコピーした場合は、仕上げや製本などの処理は行われません。

1. [指定ページ] を選択する
2. 試しコピーするページを指定する



- 仕上がりのページ数を基準に、開始ページと終了ページを入力します。
- [開始ページ] / [終了ページ] を押し、選択した状態にしてから入力します。

入力例：原稿が 10 ページで、ページ集約を [2 in 1] に設定してコピーする場合

仕上がりは 5 ページになります。

この場合に、原稿の 7 ページ～ 10 ページを試しコピーするときは、開始ページには「4」を、終了ページには「5」を入力します。

3. [OK] を押す

4 [スタート] を押す

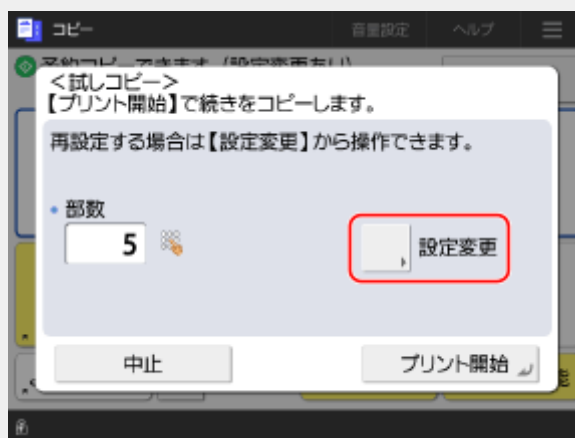
→ 試しコピーが開始されます。

5 コピー結果を確認する

コピー結果に問題がない場合は、手順 6 に進みます。

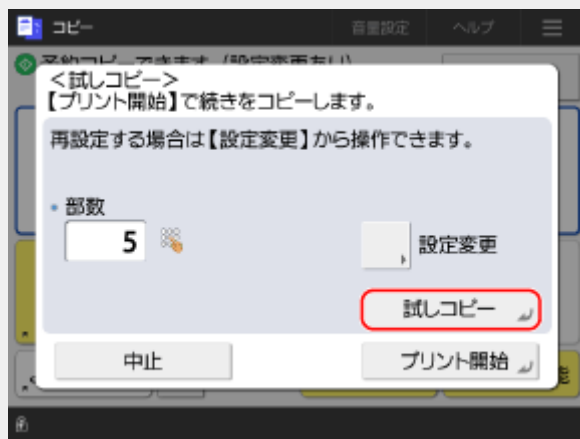
コピー設定を変更したい場合

1. [設定変更] を押す



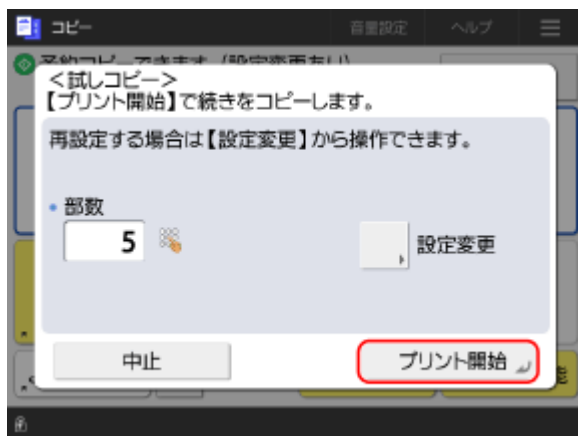
2. コピー設定を変更し、[OK] を押す

3. 「試しコピー」を押す



→変更した設定で試しコピーされます。
コピー結果に問題がなくなるまで、手順 1～3 を繰り返します。

6 コピー結果の確認が完了したら、「プリント開始」を押す



→コピーが開始されます。

- すべてのページを試しコピーした場合は、手順 2 で入力した部数から 1 部引いた、残りの部数がコピーされます。
- ページを指定して試しコピーした場合は、手順 2 で入力した部数がコピーされます。

コピーする部数を変更したい場合

「プリント開始」を押す前に、コピーする部数をテンキーで入力しなおします。

コピーの基本設定

EJ83-099

コピーの画面の設定ボタンから、拡大／縮小や両面コピーなど、コピーするときの基本的な設定を行うことができます。▶ **コピーの画面 (P. 576)**

コピー結果が期待どおりでない場合は、設定を変更してコピーしなおします。



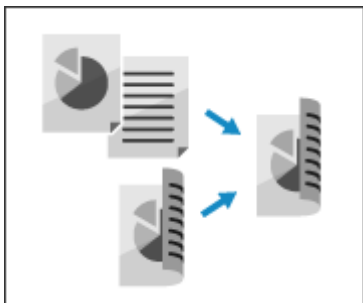
④ 用紙の設定 (P. 578)



④ 拡大／縮小の設定 (P. 579)



④ 画質の調整 (P. 581)



④両面コピーの設定 (P. 586)



④レイアウトの設定 (P. 588)

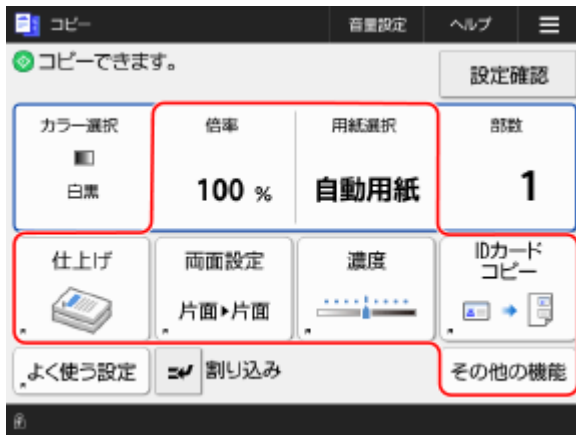
メモ

- 他の機能と同時に設定できない機能があります。設定できない機能は、設定ボタンが薄いグレーで表示されます。

コピーの画面

EJ83-09A

操作パネルの「ホーム」画面で「コピー」を押すと、コピーの画面が表示されます。
この画面の設定ボタンから、コピーするときの設定を行うことができます。



- 設定ボタンの一部は、「その他の機能」に含まれる他のボタンと入れ替えたり、非表示にしたりできます。▶ [スキャン／ファクス／コピーの画面をカスタマイズする \(P. 178\)](#)

メモ

よく使用する設定を「よく使う設定」から登録する

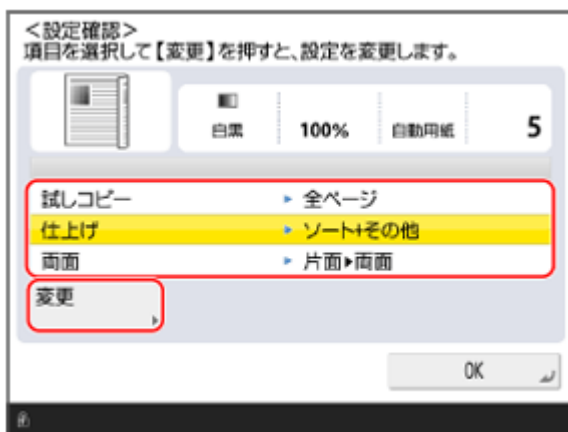
- コピーの設定を「よく使う設定」として登録すると、必要なときにコピーの画面から呼び出すことができます。▶ [「よく使う設定」を登録する／呼び出す \(P. 181\)](#)
- コピーの設定を「ホーム」画面にボタンとして登録すると、「ホーム」画面からボタン1つで呼び出すことができます。▶ [「ホーム」画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン \(P. 174\)](#)
- コピーの初期設定として登録することもできます。▶ [初期設定を変更する \(P. 186\)](#)

過去の設定を呼び出す - 設定履歴

- 「設定の履歴」を押すと、過去にコピーしたときの設定を呼び出すことができます。▶ [コピーする \(P. 565\)](#)

設定した内容を確認する

- 「設定確認」を押すと、設定した内容が一覧で表示され、まとめて確認することができます。
一覧から機能を選択して「変更」を押すと、設定内容を変更することもできます。



部門別 ID 管理中にコピーできるページ数が制限されている場合

- ログイン中の部門 ID でコピーできるページ数が画面上部に表示されます。



用紙の設定

EJ83-09C



コピーするときの用紙を設定します。

コピーに使用する用紙を選択する

初期設定では、セットした原稿のサイズと拡大／縮小の設定に応じて、コピーに使用する用紙が自動的に選択されます。

※コピーするときの原稿サイズは自動検知されます。

手差しトレイにセットされている用紙にコピーする場合や、使用したい用紙が自動選択されない場合などは、コピーに使用する用紙を手動で選択します。

1 コピーの画面で、[用紙選択] を押す **コピーの画面 (P. 576)**

→ [用紙選択] 画面が表示されます。

2 使用する用紙を選択し、[OK] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

[] を押すと、選択している用紙の詳細情報を確認できます。

重要

- 用紙の種類は必ず正しく設定してください。  **用紙サイズと用紙種類の設定 (P. 246)**

※特に厚紙などの特殊な用紙を使用する場合、正しく設定されていないと画像不良が起こる可能性があります。また、定着器が汚れたり紙の巻きつきが発生したりして、担当サービスによる修理が必要になることもあります。

拡大／縮小の設定

EJ83-09E



拡大コピー／縮小コピーの設定をします。

1 コピーの画面で、[倍率] を押す ➡ コピーの画面 (P. 576)

➡ [倍率] 画面が表示されます。

2 拡大／縮小の設定をする

原稿の端にある画像が欠けてコピーされる場合は、[少し小さめ (全面コピー)] に設定してコピーすると、画像を用紙内に収めることができます。

※ [少し小さめ (全面コピー)] に設定すると、原稿の配置が自動的に中央に設定されます。手動で原稿の配置を変更することもできます。 ➡ 原稿の配置を調整する - 移動 (P. 589)

用紙サイズに合わせて拡大／縮小する場合

コピーに使用する用紙のサイズに合わせて拡大／縮小する場合は、[自動] を押します。

[自動] を押すと、[用紙選択] で選択した用紙のサイズに合わせて倍率が自動設定されます。 ➡ コピーに使用する用紙を選択する (P. 578)

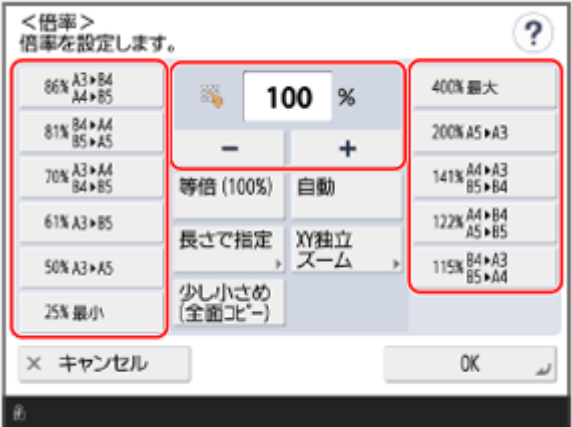
※ [自動] を押した場合、原稿のタテヨコ比は維持されたまま拡大／縮小されます。

インチサイズ of 原稿を A/B サイズ of 用紙に合わせて拡大／縮小する場合などに、原稿のタテヨコ比を維持せずに用紙サイズに合わせて拡大／縮小したいときは、[XY 独立ズーム] ➡ [XY 独立自動] ➡ [OK] を押します。

倍率を指定して拡大／縮小する場合

一覧から定形変倍の倍率を選択するか、任意の倍率を入力します。

25 % ～ 400 % まで 1 % 刻みで設定できます。



タテとヨコを別々の倍率で拡大／縮小したい場合は、[XY独立ズーム] を押します。[X] 辺と [Y] 辺の倍率を 25 % ～ 400 % まで 1 % 刻みで入力し、[OK] を押します。
 ※入力した倍率によっては、画像が 90 度回転して処理されることがあります。

3 [OK] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

画質の調整

EJ83-09F



コピーした画像が不鮮明だったり、文字が読みにくかったりした場合は、画質を調整します。
原稿の周囲に現れる黒い枠や影を消すこともできます。

- ④ 原稿の種類を選択する (P. 581)
- ④ 濃度を調整する (P. 582)
- ④ シャープネスを調整する (P. 582)
- ④ 原稿の枠／影／パンチ穴を消す - 枠消し (P. 583)

原稿の種類を選択する

原稿の内容に合った画質でコピーされるよう、原稿の種類を選択します。

1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [原稿の種類] を押す ④ コピーの画面 (P. 576)

→ [原稿の種類] 画面が表示されます。

2 原稿の種類を選択する

- 原稿の種類の詳細については、画面右上の [?] を押すと表示されるヘルプ画面を参照してください。
- [文字/写真/地図] を選択した場合は、[レベル調整] を押すと、文字と写真のどちらを優先するかを調整できます。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

メモ

- 下地に色の付いた原稿や、新聞のような原稿を、きれいにコピーしたい場合は、背景の濃度を調整します。④ 濃度を調整する (P. 582)
- 原稿の種類を選択してコピーした場合に、モアレ（縞模様のノイズ）と呼ばれる現象が発生したときは、シャープネスを調整します。④ シャープネスを調整する (P. 582)
- 原稿の種類を選択してコピーした場合に、明るい部分（ハイライト）が白飛びしたときは、背景の濃度を濃くします。④ 濃度を調整する (P. 582)

濃度を調整する

原稿に合わせて濃度を調整します。

原稿の文字や画像が薄い／濃い場合は、原稿全体の濃度を調整します。

下地に色の付いた原稿や、新聞のような原稿を、きれいにコピーしたい場合は、背景の濃度を調整します。

1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [濃度] を押す ➡ コピーの画面 (P. 576)

→ [濃度] 画面が表示されます。

2 濃度を調整する

原稿全体の濃度を調整する場合

スライダーを左右に動かして、濃度を調整します。

薄くする場合は [] に、濃くする場合は [] に設定します。

背景の濃度を調整する場合

背景の濃度は、自動的に薄くする方法と、手動で調整する方法があります。

背景濃度を自動的に薄くする場合

[背景調整] の [自動] を押して、選択した状態にします。

背景濃度を手動で調整する場合

[背景調整] の [調整] を押し、濃度を調整して、[OK] を押します。

濃度は、スライダーを左右に動かして調整します。薄くする場合は [－] に、濃くする場合は [＋] に設定します。

※背景濃度を調整した場合、原稿の色によっては、背景以外の部分が影響を受けることがあります。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

シャープネスを調整する

シャープネスを調整することで、輪郭や線を強調してくっきりさせたり、反対に弱めて柔らかく表現したりできます。

1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [シャープネス] を押す ➡ コピーの画面 (P. 576)

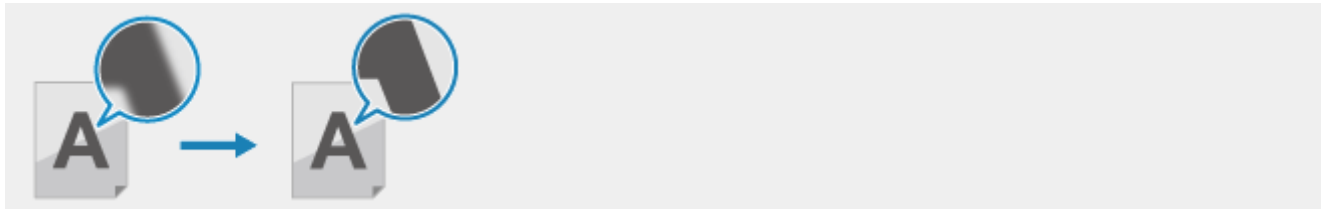
→ [シャープネス] 画面が表示されます。

2 スライダーを左右に動かして、シャープネスを調整する

調整例：

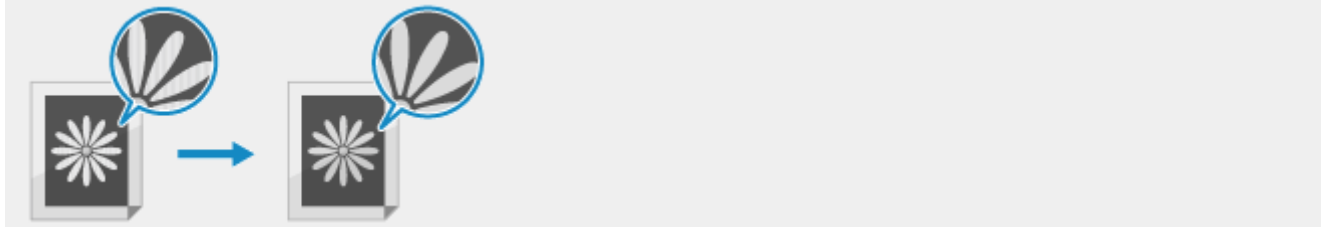
- ぼやけた文字を鮮明にする場合

[強く] に設定します。



- 写真のモアレ（縦模様のノイズ）を軽減する場合

〔弱く〕に設定します。



3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

原稿の枠／影／パンチ穴を消す - 枠消し

原稿よりも大きいサイズ of 用紙にコピーしたり、厚みのある本をコピーしたりすると、原稿の周囲などに黒い枠や影ができることがあります。そのような枠や影を消してコピーするように設定します。原稿のパンチ穴を消すこともできます。

重要

パンチ穴のあいた原稿をセットする場合

- 原稿は原稿台ガラスにセットします。フィーダーにセットすると、紙づまりの原因になります。▶ [原稿のセット方法 \(P. 196\)](#)

1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [枠消し] を押す ▶ [コピーの画面 \(P. 576\)](#)

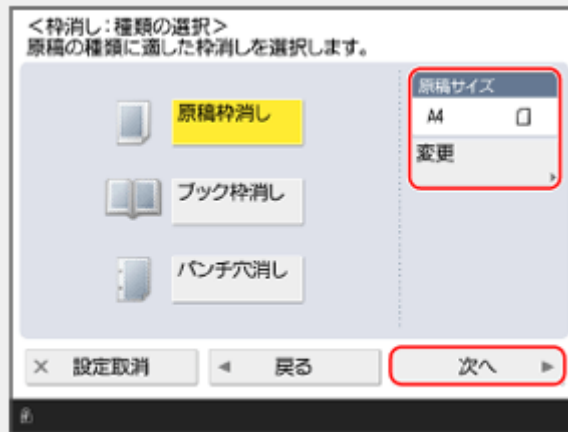
→ [枠消し] 画面が表示されます。

2 枠消しの種類と幅を設定する

原稿の枠を消す場合

1. [原稿枠消し] を押す

2. 原稿のサイズを設定し、[次へ] を押す



[変更] を押し、原稿サイズを選択して、[OK] を押します。

※原稿サイズを選択する画面に表示されるサイズのみ、原稿の枠を消してコピーできます。

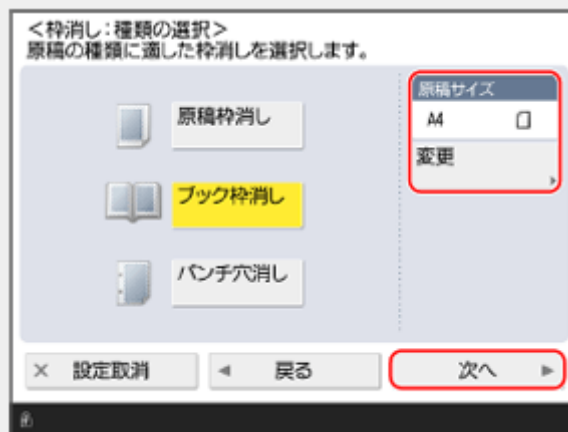
3. 消し幅を入力する

上下左右の消し幅を個別に入力する場合は、[独立調整へ] を押し、消し幅を入力します。

本の影を消す場合

本を見開きにしたときにできる中央の影と、本の周囲にできる影を消すことができます。

1. [ブックサイズ] を押す
2. 原稿のサイズを設定し、[次へ] を押す



[変更] を押し、原稿サイズを選択して、[OK] を押します。

※原稿サイズを選択する画面に表示されるサイズのみ、本の影を消してコピーできます。

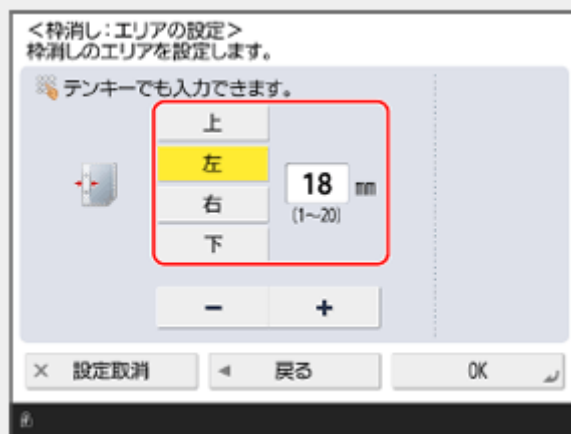
3. 消し幅を入力する

- 本を見開きにしたときにできる中央の影の消し幅を、[センター] に入力します。
- 本の周囲にできる影の消し幅を、[全周] に入力します。
- 上下左右の消し幅を個別に入力する場合は、[独立調整へ] を押し、消し幅を入力します。

原稿のパンチ穴を消す場合

1. [パンチ穴消し] ▶ [次へ] を押す

2.パンチ穴の位置を選択し、消し幅を入力する



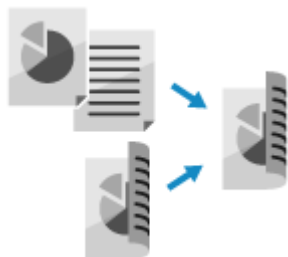
※ [パンチ穴消し] を設定した場合は、パンチ穴がある辺以外の3辺も、常に4 mm 枠消しされます。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

両面コピーの設定

EJ83-09H



2 枚の片面原稿を、1 枚の用紙に両面コピーします。

両面原稿のオモテ面とウラ面を、そのまま 1 枚の用紙に両面コピーしたり、2 枚の用紙に分けて片面コピーしたりすることもできます。

※用紙サイズや用紙種類によっては、両面コピーできない場合があります。▶[両面プリント可能な用紙 \(P. 47\)](#)

両面コピー時の原稿のセット方法

自分から見て原稿の上下が正しい位置になるようにセットします。

原稿台ガラス



フィーダー

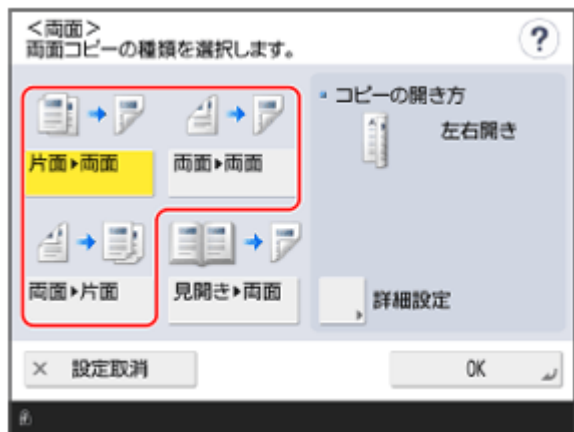


1

コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [両面設定] を押す ▶ [コピーの画面 \(P. 576\)](#)

→ [両面設定] 画面が表示されます。

2 両面コピーの種類を選択する



〔片面 ▶ 両面〕

2 枚の片面原稿を、1 枚の用紙に両面コピーします。

〔両面 ▶ 両面〕

両面原稿のおもて面とウラ面を、1 枚の用紙に両面コピーします。

〔両面 ▶ 片面〕

フィーダーにセットした両面原稿のおもて面とウラ面を、2 枚の用紙に分けて片面コピーします。

3 必要に応じて、原稿／コピーの開きかたを設定する

1. 〔詳細設定〕を押す

→ 〔詳細設定〕画面が表示されます。

2. 原稿／コピーの開きかたを選択する

〔左右開き〕

原稿／コピーのおもて面とウラ面の上下が同じ向きの場合に選択します。



〔上下開き〕

原稿／コピーのおもて面とウラ面の上下が反対向きの場合に選択します。



3. 〔OK〕を押す

→ 〔両面〕画面に戻ります。

4 〔OK〕▶ 〔閉じる〕を押す

→ コピーの画面に戻ります。

メモ

- 本や雑誌のような見開き原稿を 2 ページに分割し、1 枚の用紙に両面コピーすることもできます。▶ [見開き原稿を 2 ページに分割してコピーする \(P. 595\)](#)

レイアウトの設定

EJ83-09J



コピーするときの原稿のレイアウトを設定します。

- ① 複数ページの原稿を 1 ページにまとめる - ページ集約 (P. 588)
- ② 原稿の配置を調整する - 移動 (P. 589)

複数ページの原稿を 1 ページにまとめる - ページ集約

複数ページの原稿を、縮小した状態で 1 枚の用紙の同じ面に並べます。

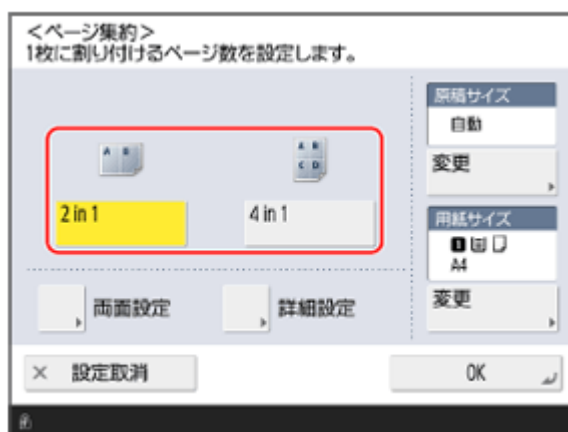
ページ集約すると、原稿のページ数よりも少ない用紙枚数でコピーできるので、用紙を節約したいときに便利です。

※ページ集約するときは、同じサイズ of 原稿をセットします。サイズの異なる原稿をコピーする場合は、ページ集約できません。

1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [ページ集約] を押す ➡ コピーの画面 (P. 576)

→ [ページ集約] 画面が表示されます。

2 集約するページ数を選択する



用紙の片面に集約するページ数を選択します。たとえば、[4 in 1] を選択すると、用紙の片面に 4 ページ分の原稿を集約します。

3 必要に応じて、ページの並び順／サイズ／用紙／両面コピーの設定をする

ページの並び順（原稿を集約するときの配置）を変更する場合

〔詳細設定〕を押し、ページの並び順を選択して、〔OK〕を押しします。

原稿サイズを変更する場合

〔原稿サイズ〕の〔変更〕を押し、原稿サイズを選択して、〔OK〕を押しします。

コピーに使用する用紙を変更する場合

〔用紙サイズ〕の〔変更〕を押し、使用する用紙を選択して、〔OK〕を押しします。

- 用紙を選択する画面で  を押すと、選択している用紙の詳細情報を確認できます。

両面コピーの設定をする場合

片面原稿を用紙の両面に集約する場合や、両面原稿を集約する場合は、両面コピーの設定をします。

〔両面設定〕を押し、両面コピーの設定をして、〔OK〕を押しします。

※両面コピーの設定の詳細については、以下を参照してください。

[🔗両面コピーの設定 \(P. 586\)](#)

4 〔OK〕▶〔閉じる〕を押し

→コピーの画面に戻ります。

メモ

- ページ集約を設定すると、以下に合わせて倍率（拡大／縮小の設定）が自動設定されます。手動で倍率の設定を変更することもできます。 [🔗拡大／縮小の設定 \(P. 579\)](#)
 - 集約するページ数
 - 原稿サイズ
 - コピーに使用する用紙のサイズ
- ページ集約を設定すると、原稿の配置が自動的に中央に設定されます。手動で原稿の配置を変更することもできます。 [🔗原稿の配置を調整する - 移動 \(P. 589\)](#)

原稿の配置を調整する - 移動

原稿全体を用紙の端または中央に移動して配置したり、移動距離をミリ単位で指定して配置したりします。

原稿よりも大きいサイズの用紙にコピーしたり、縮小コピーしたりしたときにできる周囲の余白を調整できます。

※〔原稿サイズ混載〕を設定し、〔用紙選択〕で〔自動〕を選択した場合は、〔移動〕の設定を行っても無効となります。

1 コピーの画面で、〔その他の機能〕▶〔移動〕を押し [🔗コピーの画面 \(P. 576\)](#)

→〔移動〕画面が表示されます。

2 原稿の配置を調整する

用紙の端または中央に配置する場合

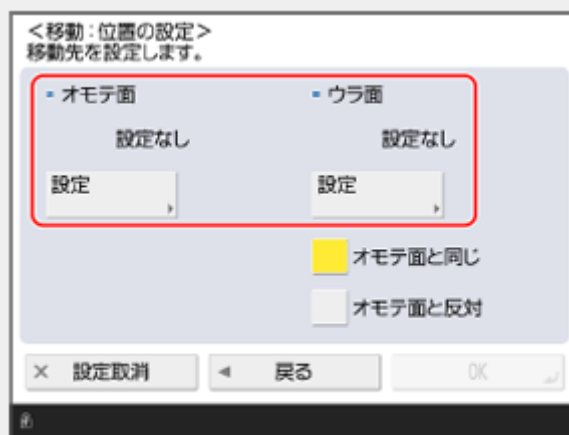
1. 〔場所で指定〕▶〔次へ〕を押し

2. 矢印ボタンまたは「センター」を押して、原稿の移動方向を指定する



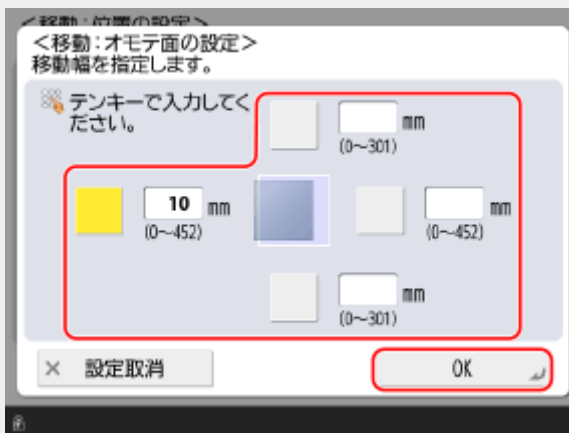
移動距離をミリ単位で指定する場合

1. 「テンキーで指定」▶「次へ」を押す
2. 配置を調整する面の「設定」を押す



- 片面コピーする場合は、オモテ面を設定します。
- 両面コピーする場合は、オモテ面とウラ面を別々に設定します。
 - ・ ウラ面をオモテ面と同じ設定にする場合は、「オモテ面と同じ」を選択します。
 - ・ ウラ面をオモテ面と左右対称に配置する場合は、「オモテ面と反対」を選択します。

3. 移動方向と移動距離を指定し、「OK」を押す



上下左右のボタンを押し、その方向への移動距離をテンキーで入力します。

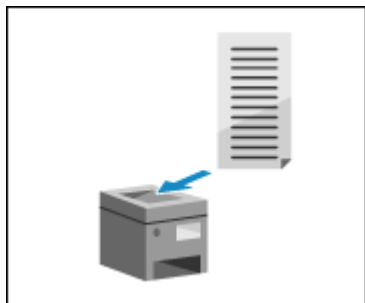
コピーする

→コピーの画面に戻ります。

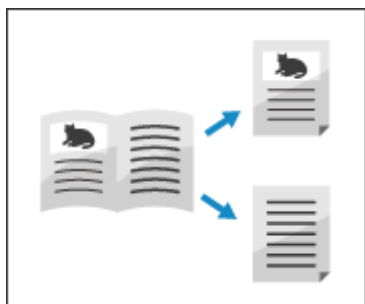
原稿に応じたコピーの設定

EJ83-09K

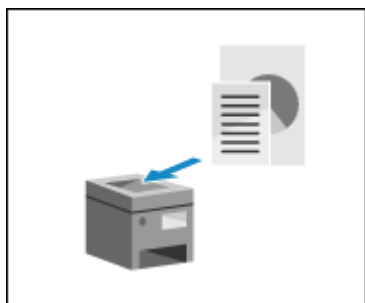
コピーの画面の設定ボタンから、見開き原稿を 2 ページに分割してコピーしたり、ID カードの両面をコピーしたりするなど、原稿に応じて効率よくコピーするための設定を行うことができます。 ➡ **コピーの画面 (P. 576)**



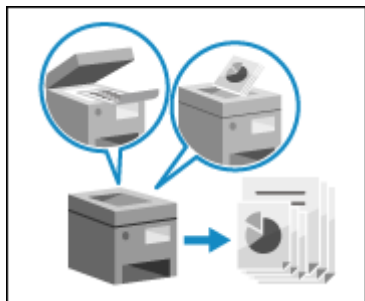
④ 定形外サイズの原稿をコピーする (P. 594)



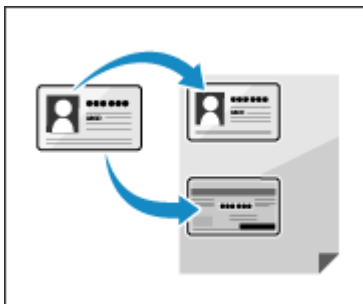
⑤ 見開き原稿を 2 ページに分割してコピーする (P. 595)



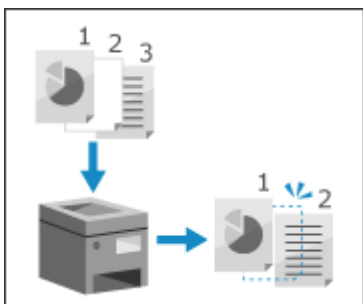
⑥ サイズの異なる原稿をコピーする - 原稿サイズ混載 (P. 598)



④大量の原稿をコピーする - 連続読込 (P. 600)



④ID カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする (P. 601)



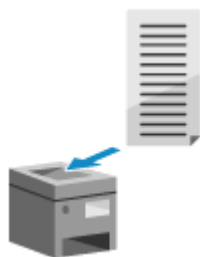
④白紙ページをコピーしないようにする - 白紙節約 (P. 602)

メモ

- 他の機能と同時に設定できない機能があります。設定できない機能は、設定ボタンが薄いグレーで表示されます。

定形外サイズの手稿をコピーする

EJ83-09L



フィーダーにセットした定形外の手稿サイズを自動検知し、選択した用紙に収めてコピーします。

※ [倍率] で拡大／縮小の設定をした場合は、意図したとおりにコピーされないことがあります。

1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [フリーサイズ手稿] を押す ➡ **コピーの画面 (P. 576)**

→ 設定ボタンの下部に [設定あり] が表示されます。

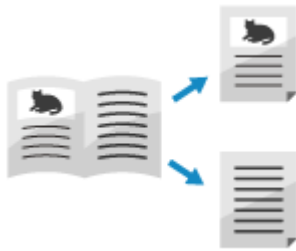
2 [閉じる] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

3 用紙を選択する ➡ **コピーに使用する用紙を選択する (P. 578)**

見開き原稿を 2 ページに分割してコピーする

EJ83-09R



本や雑誌のような見開き原稿は、左右のページを別々のページに分割してコピーできます。
左右のページを 1 枚の用紙のオモテ面とウラ面に両面コピーしたり、見開き原稿の片方のページのオモテ面とウラ面を、1 枚の用紙に両面コピーしたりすることもできます。

※見開き原稿を両面コピーする場合、使用できる用紙サイズは A4 または B5 サイズです。

見開き原稿のセット方法

見開き原稿をコピーする場合は、原稿を原稿台ガラスにセットします。原稿の上部を原稿台ガラスの左上隅と上部に合わせてセットします。



- ① 左右のページを 2 枚の用紙に片面コピーする (P. 595)
- ② 左右／表裏のページを 1 枚の用紙に両面コピーする (P. 596)

左右のページを 2 枚の用紙に片面コピーする

- 1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [見開き ▶ 2 ページ] を押す ④ コピーの画面 (P. 576)

→ [見開き ▶ 2 ページ] 画面が表示されます。

- 2 原稿の開きかたを選択する

[左開き原稿]

見開き原稿が左開きの場合に選択します。

「左ページ、右ページ」の順で、左右のページがコピーされます。



[右開き原稿]

見開き原稿が右開きの場合に選択します。

「右ページ、左ページ」の順で、左右のページがコピーされます。



3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

左右／表裏のページを 1 枚の用紙に両面コピーする

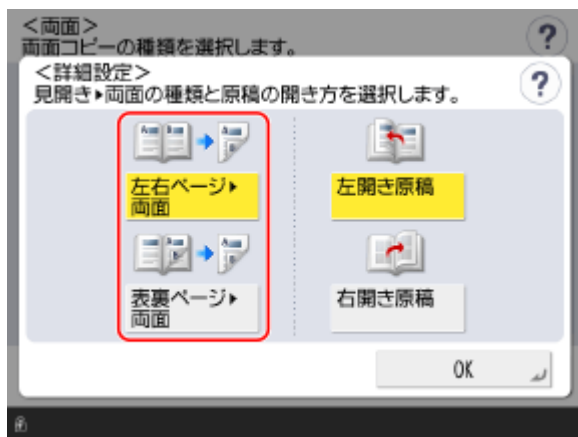
1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [両面] を押す ▶ **コピーの画面 (P. 576)**

→ [両面] 画面が表示されます。

2 [見開き ▶ 両面] を選択し、[詳細設定] を押す

→ [詳細設定] 画面が表示されます。

3 コピーするページを選択する



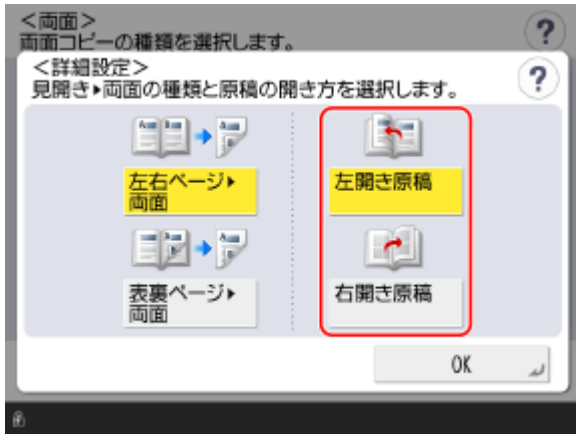
[左右ページ ▶ 両面]

見開き原稿の左右のページを、1 枚の用紙に両面コピーします。

[表裏ページ ▶ 両面]

見開き原稿の片方のページのオモテ面とウラ面を、1 枚の用紙に両面コピーします。

4 原稿の開きかたを選択する



[左開き原稿]

見開き原稿が左開きの場合に選択します。

[右開き原稿]

見開き原稿が右開きの場合に選択します。

5 [OK] を押す

→ [両面] 画面に戻ります。

6 [OK] ► [閉じる] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

サイズの異なる原稿をコピーする - 原稿サイズ混載

EJ83-09S



サイズの異なる原稿をコピーする場合に、フィーダーにまとめてセットしてコピーできます。
サイズごとに原稿をセットしなおす手間を省くことができます。

※ページ集約／イメージリPEAT／製本コピーを行う場合は、フィーダーで検知した1枚目の原稿サイズで処理が行われます。

サイズの異なる原稿のセット方法

タテの幅が同じ場合は、同じ幅の辺をそろえてセットします。



タテの幅が異なる場合は、自分から見て原稿の左端と上端をそろえてセットします。



サイズの異なる原稿をセットするときの注意事項

- まとめてセットできる原稿サイズの組み合わせには制限があります。▶ **両面同時読取フィーダーの仕様 (P. 54)**
適切ではない組み合わせでセットすると、原稿の破損や紙づまりの原因になることがあります。
- タテの幅が異なる原稿をセットした場合、幅が短いほうの原稿は原稿ガイドで固定されないため、斜めにコピーされることがあります。
- 紙の厚さや紙質が異なる原稿はまとめてセットしないようにします。紙づまりの原因になることがあります。

1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [原稿サイズ混載] を押す ▶ **コピーの画面 (P. 576)**

→ [原稿サイズ混載] 画面が表示されます。

2 原稿をセットしたときのタテの幅が、同じ幅かどうかを選択する

3

[OK] ▶ [閉じる] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

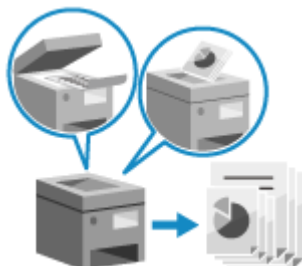
メモ

原稿サイズ混載時に使用する用紙について

- 初期設定では、それぞれの原稿サイズに応じて、使用する用紙が自動的に選択されます。
- 以下のような場合は、使用する用紙を手動で選択する必要があります。 [▶ コピーに使用する用紙を選択する \(P. 578\)](#)
 - すべての原稿を同じサイズの用紙にコピーする場合
 - サイズの異なる片面原稿を両面コピーする場合 [▶ 両面コピーの設定 \(P. 586\)](#)
 - ホチキス機能を使用する場合 [▶ 仕上げ機能を設定する \(P. 604\)](#)

大量の原稿をコピーする - 連続読込

EJ83-09U



原稿の枚数が多くて一度にフィーダーにセットできない場合や、原稿台ガラスに原稿をセットした場合に、複数回に分けてスキャンした原稿を1つにまとめてコピーできるように設定します。
フィーダーを使用してスキャンした原稿と、原稿台ガラスを使用してスキャンした原稿を、1つにまとめてコピーすることもできます。

1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [連続読込] を押す **▶ コピーの画面 (P. 576)**

→ 設定ボタンの下部に [設定あり] が表示されます。

2 [閉じる] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

メモ

- サイズの異なる原稿をフィーダーにまとめてセットする場合は、原稿サイズ混載の設定が必要です。 **▶ サイズの異なる原稿をコピーする - 原稿サイズ混載 (P. 598)**

ID カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする

EJ83-09W

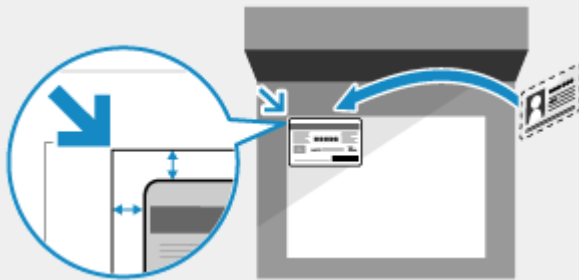


ID カード（免許証や保険証など）のオモテ面とウラ面を、1 枚の用紙に並べて等倍でコピーします。

※ID カードコピーで利用できる用紙サイズは、A4 サイズのみです。

ID カードのセット方法

ID カードをコピーする場合は、ID カードのオモテ面を下にして、原稿台ガラスにセットします。ID カードの角を原稿台ガラスの左上隅に合わせてヨコ置きにし、原稿台ガラスの端から少し離してセットします。



1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [ID カードコピー] を押す ➡ コピーの画面 (P. 576)

→ [ID カードコピー] 画面が表示されます。

2 必要に応じて、用紙の設定をする

コピーに使用する用紙を変更する場合

[用紙サイズ] の [変更] を押し、使用する用紙を選択して、[OK] を押します。

- 用紙を選択する画面で [📄] を押すと、選択している用紙の詳細情報を確認できます。

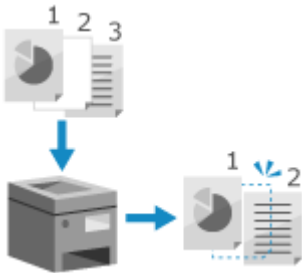
3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

- [🔼 スタート] を押すと、ID カードのオモテ面がスキャンされます。
- [カードを裏返して [スタート] キーを押してください。] と表示されたら、ID カードを裏返して原稿台ガラスにセットしなおします。
- 再度 [🔼 スタート] を押すと、ID カードのウラ面がスキャンされ、コピーが開始されます。

白紙ページをコピーしないようにする - 白紙節約

EJ83-09X



スキャン時に白紙と判定したページを自動削除（スキップ）してコピーします。

たとえば、片面原稿と両面原稿が混在している原稿を、フィーダーにまとめてセットして両面コピーすると、片面原稿のウラ面（白紙ページ）もコピーされてしまいます。そのような場合に、白紙節約を設定すると、白紙と判定されたページは自動削除してコピーされるため、使用する用紙を節約できます。

1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [白紙節約] を押す ➡ コピーの画面 (P. 576)

→ [白紙節約] 画面が表示されます。

2 必要に応じて、白紙ページを検知する精度を調整する

1. [検知レベルの調整] を押す

→ [検知レベルの調整] 画面が表示されます。

2. スライダーを左右に動かして、精度を調整する

[+] に設定するほど、白紙と判定されやすくなります。

3. [OK] を押す

→ [白紙節約] 画面に戻ります。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

重要

- 原稿サイズが実際の原稿よりも大きいサイズに設定されている場合は、白紙ページを正しくスキップできないことがあります。

メモ

- 白紙と判定されたページは、コピーのページ数としてカウントされません。
※スキャンのページ数としてはカウントされます。

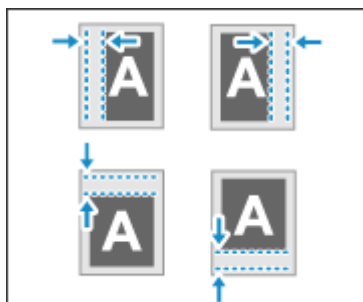
仕上げ／製本の設定

EJ83-09Y

コピーの画面の設定ボタンから、ホチキスなどの仕上げ機能を設定したり、小冊子になるようにページを割り付けてコピーしたりするなど、資料の作成に役立つ設定を行うことができます。▶**コピーの画面 (P. 576)**



④ 仕上げ機能を設定する (P. 604)



⑤ とじしろを付ける (P. 608)



⑥ 小冊子を作る - 製本コピー (P. 610)

メモ

- 他の機能と同時に設定できない機能があります。設定できない機能は、設定ボタンが薄いグレーで表示されます。

仕上げ機能を設定する

EJ83-0A0



以下の仕上げ機能を設定します。

仕分け機能

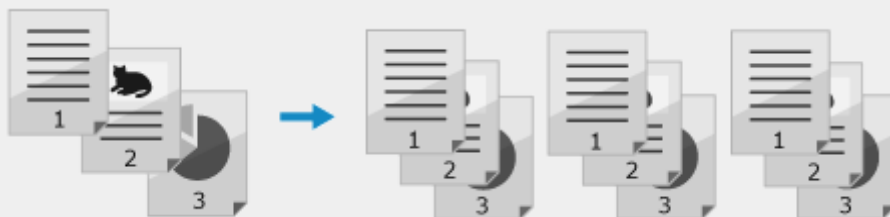
コピーした用紙を仕分けて排紙します。

※原稿台ガラスを使用する場合に、複数ページの原稿をまとめてコピーし、仕分けて排紙するには、連続読込の設定が必要です。▶[大量の原稿をコピーする - 連続読込 \(P. 600\)](#)

仕分け機能の種類

● ソート

複数ページの原稿を複数部コピーするときに、原稿のページ順どおりに1部ずつ仕分けて排紙します。



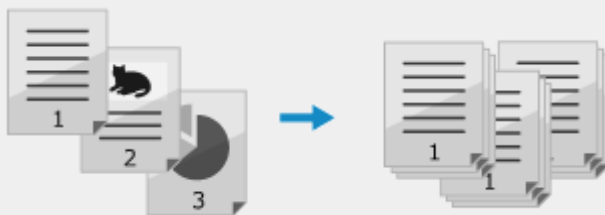
● グループ

複数ページの原稿を複数部コピーするときに、原稿のページごとに指定部数を排紙します。



● シフト

部単位またはページ単位で排紙位置をずらしします。



● 90度回転

部数単位またはページ単位で「タテ向き、ヨコ向き、タテ向き...」と交互に排紙します。



ホチキス機能

コピーした用紙をホチキスして排紙します。

※ホチキス機能を使用するときは、原稿をセットする向きと、ホチキス位置の設定に注意が必要です。▶ **ホチキスするときの原稿の向きとホチキス位置の設定（オプション）（P. 205）**

ホチキス機能の種類

● コーナー

部単位またはページ単位で、用紙の角をホチキスして排紙します。



● ダブル

部単位またはページ単位で、用紙の端の2箇所をホチキスして排紙します。



● 針なしとし

部単位またはページ単位で、ホチキス針を使用せずに用紙の角を圧着させて排紙します。

圧着部分を指で押すと用紙をかたんにはがすことができるため、ホチキス針の節約のほか、一時的に用紙をとじておきたい場合にも便利です。

パンチ機能

コピーした用紙にファイリング用のパンチ穴をあけて排紙します。



※使用できる機能は、装着されているオプションによって異なります。▶ **仕上げ機能対応オプション一覧（P. 8）**

※用紙サイズや用紙種類によっては、仕上げ機能を使用できない場合があります。▶ **仕上げ機能を使用可能な用紙（P. 48）**

1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [仕上げ] を押す ▶ **コピーの画面（P. 576）**

→ [仕上げ] 画面が表示されます。

2 仕上げ機能を設定する

仕分け機能を使用する場合

1. [ソート (1 部ごと)] または [グループ (ページごと)] を選択する
2. 必要に応じて、シフトまたは 90 度回転の設定をする

シフト機能を使用する場合

[シフト (ずらし)] を押して、選択した状態にします。

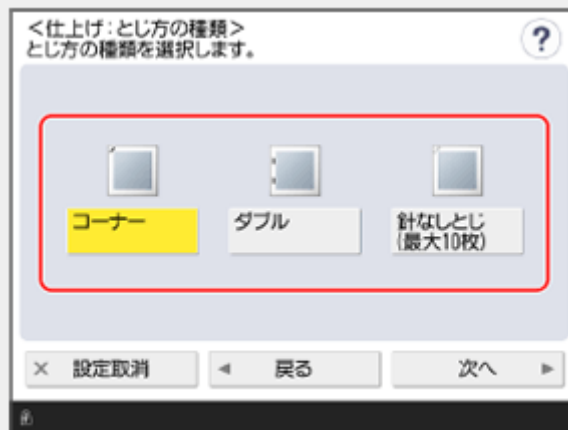
手順 1 で [ソート (1 部ごと)] を選択した場合は、何部ごとに排紙位置をずらすかを、テンキーで入力します。

90 度回転機能を使用する場合

[90 度回転] を押して、選択した状態にします。

ホチキス機能を使用する場合

1. [ホチキス+ソート] または [ホチキス+グループ] を選択し、[次へ] を押す
 - 部単位でホチキスする場合は、[ホチキス+ソート] を選択します。
 - ページ単位でホチキスする場合は、[ホチキス+グループ] を選択します。
2. ホチキス機能の種類を選択し、[次へ] を押す



3. ホチキス位置を選択する



パンチ機能を使用する場合

[パンチ穴] を押し、パンチ穴の数を選択して、[OK] を押します。

3

[OK] ▶ [閉じる] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

重要

ホチキスを設定してコピー中に用紙がなくなった場合

- ホチキスされる前のコピーされた用紙は取り除かずに、給紙部に用紙を補給します。コピーが完了するとホチキスされます。

メモ

指定部数やページごとに仕切紙を挿入する

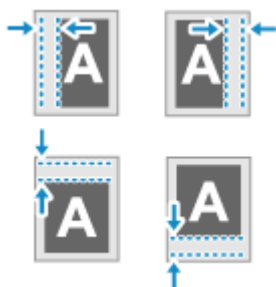
- ソートで仕分ける場合は、指定部数ごとに仕切紙を挿入することができます。▶ [\[部数間仕切紙\]](#) (P. 1049)
- グループで仕分ける場合は、ページごとに仕切紙を挿入することができます。▶ [\[グループ間仕切紙\]](#) (P. 1065)

ホチキスできないときの処理方法を設定する

- ホチキス可能な枚数を超えたときに、ホチキスせずにコピーするか、コピーを中止するかを設定できます。▶ [\[ホチキス枚数オーバー時の処理\]](#) (P. 1049)

とじしろを付ける

EJ83-0A1

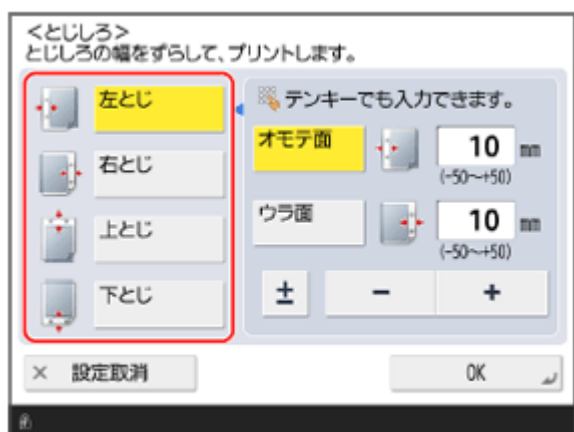


ホチキスでとじたりパンチ穴をあけたりするための余白「とじしろ」を付けてコピーします。とじしろは、用紙のオモテ面とウラ面で別々に設定できます。

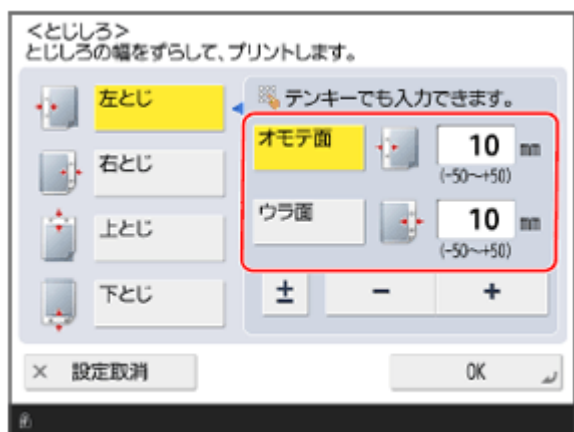
1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [とじしろ] を押す ➡ コピーの画面 (P. 576)

→ [とじしろ] 画面が表示されます。

2 とじしろの位置を選択する



3 オモテ面とウラ面の余白幅を入力する



- [オモテ面] / [ウラ面] を押し、選択した状態にしてから入力します。
- [±] を押すと、入力されている数値の「+」と「-」が切り替わります。

- 「－」の数値に設定すると、手順 2 で選択した位置の反対側に余白ができます。原稿にはじめからとじしろがあり、その余白幅を狭くしてコピーしたい場合などに設定します。

両面コピーと同時に設定する場合

- 原稿にとじしろがない場合
オモテ面とウラ面の余白幅を設定します。
- 原稿にとじしろがある場合
両面コピーの種類に応じて、以下のとおり余白幅を設定します。▶**両面コピーの設定 (P. 586)**
 - [片面 ▶ 両面]：ウラ面の余白幅のみ設定します。
 - [両面 ▶ 両面]：余白幅（とじしろ）を設定する必要はありません。
 - [両面 ▶ 片面]：ウラ面の余白幅のみ設定します。

ページ集約と同時に設定する場合

オモテ面に設定した余白幅が両面に反映されます。ウラ面に設定した余白幅は反映されません。▶**複数ページの原稿を 1 ページにまとめる - ページ集約 (P. 588)**

4 [OK] ▶ [閉じる] を押す

→ コピーの画面に戻ります。

重要

原稿の端にある画像が欠けてコピーされる場合

- とじしろを設定すると、余白幅に応じて原稿の配置がずれるため、余白なく用紙いっぱいに画像がある原稿をコピーすると、原稿の端にある画像が欠けてコピーされることがあります。
- 余白幅に応じて、[倍率] で縮小の設定をしてコピーすると、画像を用紙内に収めることができます。▶**拡大／縮小の設定 (P. 579)**

小冊子を作る - 製本コピー

EJ83-0A2



用紙を重ね合わせて中央で2つに折ると小冊子になるように、ページを割り付けて両面コピーします。本文とは異なる用紙を使用して、表紙を付けることもできます。

製本コピー時の原稿のセット方法

- 同じサイズの原稿をセットします。サイズの異なる原稿をコピーする場合は、製本コピーできません。
- タテ長の原稿の場合は、タテ置きにセットします。



重要

使用できる用紙

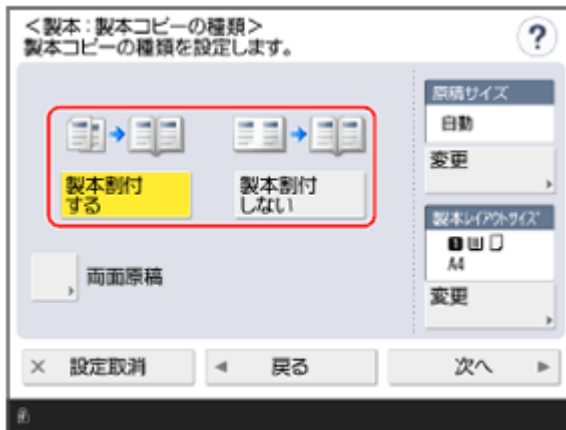
- 用紙サイズや用紙種類によっては、製本コピーできない場合があります。また、表紙に厚紙を使用する場合、用紙の厚さによっては、表紙にコピーするように設定しても、コピーされないことがあります。▶ [製本プリント可能な用紙 \(P. 48\)](#)

1

コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [製本] を押す ▶ [コピーの画面 \(P. 576\)](#)

→ [製本] 画面が表示されます。

2 ページを割り付けるかどうかを選択する



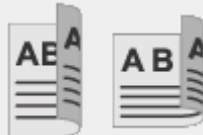
通常は「製本割付する」を選択します。すでにページが割り付けられている原稿を使用する場合は、「製本割付しない」を選択します。

両面原稿を製本コピーする場合

「両面原稿」を押し、原稿の開きかたを選択して、「OK」を押します。

「左右開き」

原稿のオモテ面とウラ面の上下が同じ向きの場合に選択します。

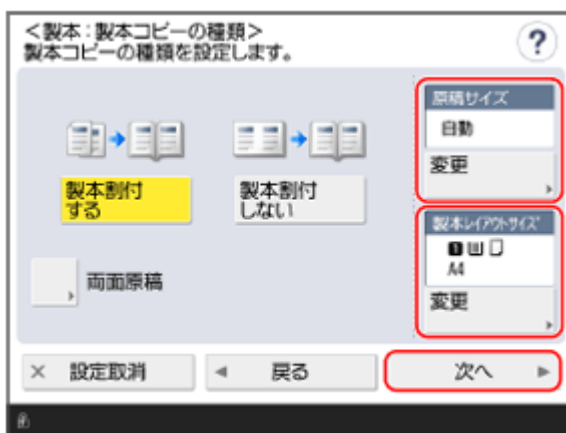


「上下開き」

原稿のオモテ面とウラ面の上下が反対向きの場合に選択します。



3 必要に応じて、原稿サイズや用紙の設定し、「次へ」を押す



原稿サイズを変更する場合

「原稿サイズ」の「変更」を押し、原稿サイズを選択して、「OK」を押します。

製本コピーに使用する用紙を変更する場合

〔製本レイアウトサイズ〕の〔変更〕を押し、使用する用紙を選択して、〔OK〕を押します。

- 用紙を選択する画面で [] を押すと、選択している用紙の詳細情報を確認できます。
- 選択した用紙のサイズに合わせて、倍率（拡大／縮小の設定）が自動設定されます。
- 原稿を等倍で製本コピーしたい場合は、原稿を見開きにしたときのサイズの用紙を選択します。

例：原稿が A4 サイズの場合

- 〔製本レイアウトサイズ〕で A4 サイズ（A4R）の用紙を選択すると、各ページは A5 サイズに縮小コピーされます。
- 〔製本レイアウトサイズ〕で A3 サイズの用紙を選択すると、各ページは A4 サイズでコピーされます。

4

必要に応じて、表紙の設定をする

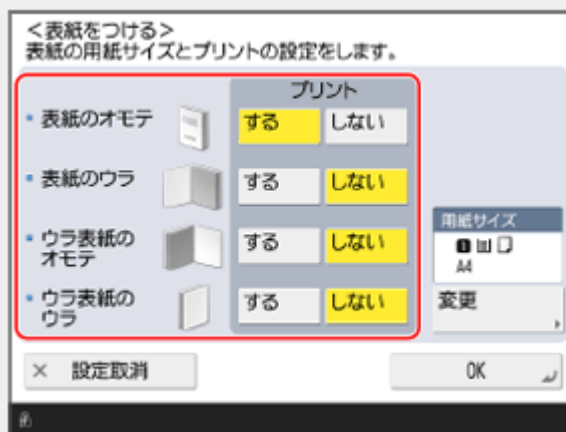
本文とは異なる用紙を使用して、表紙を付けることができます。

表紙に原稿をコピーすることもできます。表紙にコピーするときの表紙用の原稿は、通常の前稿の中に含めておきます。

1. 〔表紙をつける〕を押す

→ 〔表紙をつける〕画面が表示されます。

2. 表紙にコピーするかどうかを選択する



表紙となる用紙のページごとに、コピーするかどうかを選択します。

3. 表紙として使用する用紙を選択する

〔用紙サイズ〕の〔変更〕を押し、使用する用紙を選択して、〔OK〕を押します。

※本文で使用する用紙と同じサイズの用紙のみ選択できます。

※用紙を選択する画面で [] を押すと、選択している用紙の詳細情報を確認できます。

4. 〔OK〕を押す

→ 〔製本〕画面に戻ります。

5 仕上がりの開きかたを設定する



「開き方」を押し、仕上がりの開きかたを選択して、「OK」を押します。

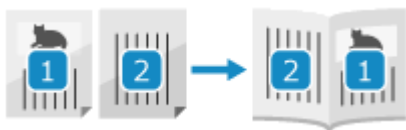
「左開き」

見開きにしたときに「左ページ、右ページ」の順になります。



「右開き」

見開きにしたときに「右ページ、左ページ」の順になります。



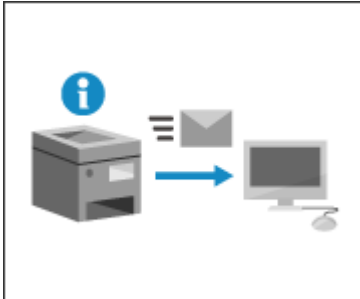
6 「OK」▶「閉じる」を押す

→ コピーの画面に戻ります。

コピーの便利な機能

EJ83-0A3

コピーが終了したことをメールで通知するように設定できます。



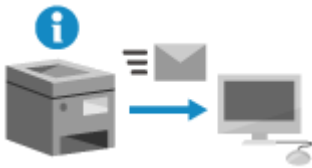
🔵 コピーの終了をメールで通知する (P. 615)

メモ

- 他の機能と同時に設定できない機能があります。設定できない機能は、設定ボタンが薄いグレーで表示されます。

コピーの終了をメールで通知する

EJ83-0A4



コピーが終了したことをメールで通知するように設定します。

大量にコピーするときや、コピーを予約したときに本機から離れても、パソコンやモバイル機器でコピーが終了したことを確認できます。

通知先には、アドレス帳に登録されている宛先（個人宛先表とユーザーグループ宛先表の宛先は除く）を設定できます。

※コピーするときの基本的な操作手順は、以下を参照してください。

④コピーする (P. 565)

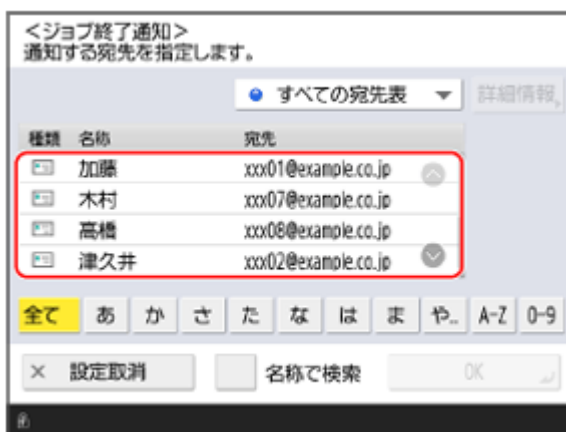
必要な準備

- 通知先として設定するメールアドレスを、本機のアドレス帳に登録します。④宛先の登録 - アドレス帳 (P. 270)

1 コピーの画面で、[その他の機能] ▶ [ジョブ終了通知] を押す ④コピーの画面 (P. 576)

→ アドレス帳の画面が表示されます。

2 通知先として設定する宛先（メールアドレス）を選択する



- 画面下部のインデックスや「名称で検索」を選択したり、宛先表のプルダウンメニューから宛先表を選択したりすると、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。④アドレス帳の画面 (P. 271)
- アクセス番号が設定されている宛先を表示する場合は、「アクセス番号」を押し、アクセス番号を入力します。

3 [OK] ▶ [閉じる] を押す

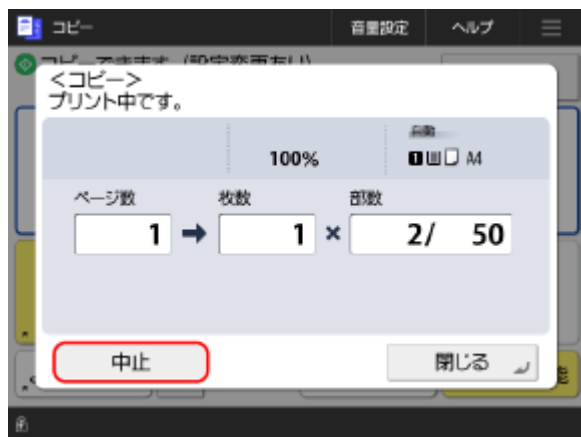
→ コピーの画面に戻ります。

コピーを中止する

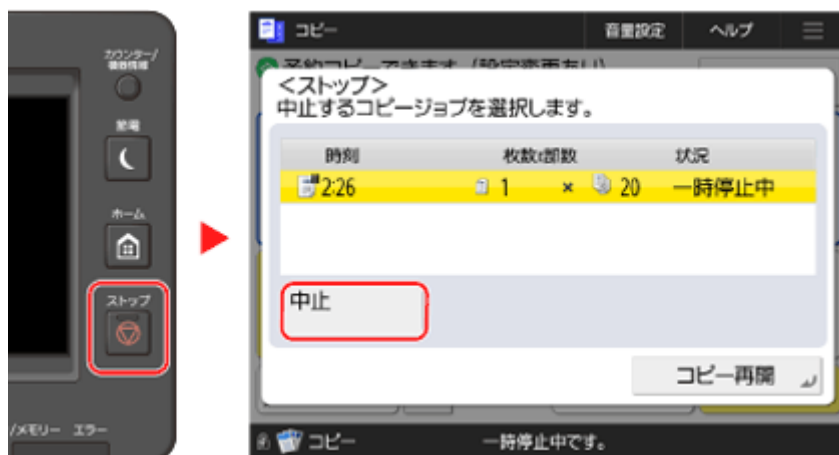
EJ83-0A5

画面の表示に従ってコピーを中止できます。

- [中止] を押します。



- 上記の画面が表示されていない場合は、[ ストップ] を押し、コピージョブの一覧から中止したいジョブを選択して、[中止] を押します。



※ログイン中に上記の画面が表示された状態でログアウトすると、ログアウト前に実行したジョブはすべて中止されます。

コピー状況や履歴を確認する

コピーをはじめ、本機で行われる処理はジョブとして管理されています。ジョブの状況／履歴を確認することで、正しくコピーできたかどうかや、エラーが発生している場合の原因がわかります。

※履歴を表示しないように設定されている場合は、コピー状況のみ確認できます。▶ [\[ジョブ履歴の表示\]](#) (P. 1157)

▶ [コピー状況を確認する](#) (P. 617)

▶ [履歴を確認する](#) (P. 618)

メモ

- ログインユーザーのジョブを他人が操作できないように制限できます。▶ [\[認証ユーザー以外のジョブの操作制限\]](#) (P. 1156)

コピー状況を確認する

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。

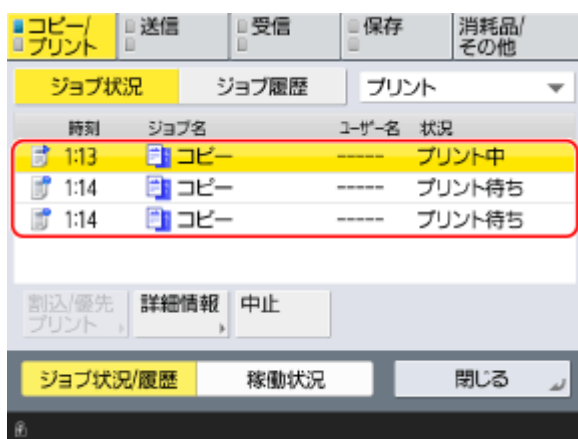
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。▶ [リモート UI で使用状況／履歴を確認する](#) (P. 893)

1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[\[状況確認\]](#) を押す ▶ [\[ホーム\] 画面](#) (P. 156)

→ [状況確認] 画面が表示されます。

2 [コピー/プリント] ▶ [ジョブ状況] を押す

3 実行中や待機中のジョブを確認する



画面右上のプルダウンメニューで [コピー] を選択すると、一覧に表示されるジョブをコピーのジョブのみに絞り込むことができます。

4 詳細を確認したいジョブを選択し、[\[詳細情報\]](#) を押す

→ ジョブの詳細情報が表示されます。

5 用紙枚数や部数などを確認する

メモ

待機中のジョブをすぐに実行する

- 手順 3 で、ジョブを選択して [割込/優先プリント] を押すと、選択したジョブを実行中や待機中のジョブに割り込ませることができます。▶ [予約コピーを割り込ませる \(P. 570\)](#)

履歴を確認する

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。▶ [リモート UI で使用状況/履歴を確認する \(P. 893\)](#)

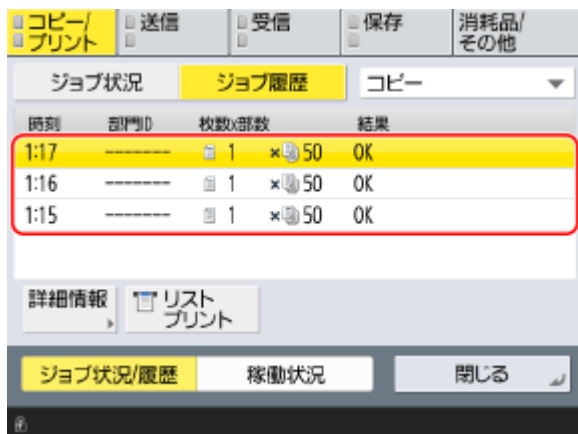
- 1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[状況確認] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [状況確認] 画面が表示されます。

- 2 [コピー/プリント] ▶ [ジョブ履歴] を押す

- 3 画面右上のプルダウンメニューから [コピー] を選択する

- 4 コピーが完了したジョブを確認する



[リストプリント] を押すと、コピー履歴の一覧をプリントできます。

- 5 詳細を確認したいジョブを選択し、[詳細情報] を押す

→ ジョブの詳細情報が表示されます。

- 6 プリントページ数や部数などを確認する

[結果] に [NG] が表示されている場合

コピーが中止されたか、エラーが発生しました。

[終了コード] に「#」で始まる3桁の番号が表示されている場合は、終了コードから、原因や対処方法を確認できます。▶ [終了コードが表示された \(#xxx\) \(P. 1493\)](#)

メモ

白紙節約を設定したジョブのページ数

- ジョブの詳細情報に表示される「原稿ページ数」には、白紙を含んだページ数が表示されます。
- 白紙節約後のページ数は、ジョブの詳細情報に表示される「出力ページ数」で確認します。

保存スペースの利用

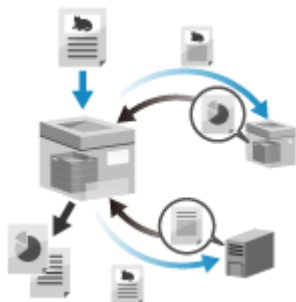
保存スペースの利用	621
保存スペースを利用するための準備	622
ネットワーク上の他機／サーバーを利用するための準備	623
USB メモリーを利用するための準備	626
ネットワーク上の他機／サーバーを利用する	627
文書をスキャンして他機／サーバーに保存する	628
他機／サーバーのファイル进行操作する	629
他機／サーバーのファイルをプリントする	631
USB メモリーを利用する	634
文書をスキャンして USB メモリーに保存する	635
USB メモリーのファイル进行操作する	636
USB メモリーのファイルをプリントする	639
【保存ファイルの利用】 画面	642
[ネットワーク／メモリーメディア] ファイル選択画面	643
[ネットワーク／メモリーメディア] プリント設定画面	645

保存スペースの利用

EJ83-0A7

本機は、外部の保存スペースとして、他機／サーバーや USB メモリーを使用することができます。

ネットワーク上の他機／サーバーを利用する



ネットワーク上にある他機のアドバンスドボックスやファイルサーバー（Windows サーバー）に、本機から直接アクセスして利用します。

本機でスキャンしたデータを他機／サーバーに保存したり、他機／サーバーに保存されているファイルを本機で操作やプリントしたりできます。

➡ ネットワーク上の他機／サーバーを利用するための準備 (P. 623)

➡ ネットワーク上の他機／サーバーを利用する (P. 627)

※ログインユーザー専用のフォルダー（マイフォルダー）が設定されている場合は、マイフォルダーに直接アクセスして利用することもできます。

USB メモリーを利用する



本機に差し込んだ USB メモリーにスキャンデータを保存したり、USB メモリー内のファイルをプリントしたりできます。

本機の操作パネルで、ファイル名の変更やファイルの削除などでもできるため、パソコンを使用せずに USB メモリー内を整理することもできます。

➡ USB メモリーを利用するための準備 (P. 626)

➡ USB メモリーを利用する (P. 634)

保存スペースを利用するための準備

EJ83-0A8

保存スペースを利用するときは、利用する保存スペースに応じた準備が必要です。

ネットワーク上の他機／サーバーを利用するための準備

他機やサーバーにアクセスするための情報を、接続先として登録しておく必要があります。

🔗 **ネットワーク上の他機／サーバーを利用するための準備 (P. 623)**

USB メモリーを利用するための準備

スキャンデータを USB メモリーに保存したり、USB メモリー内のファイルをプリントしたりできるようにします。

🔗 **USB メモリーを利用するための準備 (P. 626)**

ネットワーク上の他機／サーバーを利用するための準備

EJ83-0A9

ネットワーク上にある他機のアドバンスドボックスやファイルサーバー（Windows サーバー）に、本機から直接アクセスして利用するには、それらにアクセスするための情報を接続先として登録しておく必要があります。

登録した接続先は、操作パネルの［ホーム］画面の［スキャンして保存］または［保存ファイルの利用］で、［ネットワーク］を押すと選択できるようになります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して登録する方法を説明します。

操作パネルでは、［ホーム］画面などの  **設定/登録** ▶ **ファンクション設定** から設定します。  **［ネットワークブレース設定］** (P. 1124)

必要な準備

- 接続先のホスト名や IP アドレス、公開方法（通信プロトコル）など、接続先にアクセスするための情報を手元に用意します。

- 1 リモート UI にログインする  **リモート UI を起動する** (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、**［設定/登録］** をクリックする  **リモート UI のポータル画面** (P. 890)
- 3 **［ファイル保存/利用］** ▶ **［ネットワークブレース設定］** をクリックする
→ **［ネットワークブレース設定］** 画面が表示されます。
- 4 **［接続先の新規登録］** をクリックする
→ **［外部接続先の新規登録］** 画面が表示されます。
- 5 接続先の情報を設定する

［名称］

接続先の名称を入力します。

名称は、[スキャンして保存] または [保存ファイルの利用] で [ネットワーク] を押したときの、接続先の一覧に表示されます。

[プロトコル]

接続先の公開方法（通信プロトコル）を選択します。

- 接続先が SMB サーバーとして公開されている場合は、[SMB] を選択します。
- 接続先が WebDAV サーバーとして公開されている場合は、[WebDAV] を選択します。

[ホスト名]

接続先のネットワークパスを入力します。

[プロトコル] で [SMB] を選択した場合

- 共有スペースに接続する場合は、以下のとおり入力します。

\\<接続先のホスト名または IP アドレス>\share

入力例：

\\192.168.1.21\share

- 個人スペースに接続する場合は、以下のとおり入力します。

\\<接続先の本機のホスト名または IP アドレス>\users

入力例：

\\192.168.1.21\users

[プロトコル] で [WebDAV] を選択した場合

[ホスト名] を入力し、[設定] をクリックします。[フォルダーパス設定] 画面で、[フォルダーのパス] を入力し、[OK] をクリックします。

- [ホスト名] は以下のとおり入力します。

http(s)://<接続先のホスト名または IP アドレス>

入力例：

https://192.168.1.21

- [フォルダーのパス] は以下のとおり入力します。
 - 共有スペースに接続する場合は、「/share」と入力します。
 - 個人スペースに接続する場合は、「/users」と入力します。

6 [OK] をクリックする

→ [ネットワークブレース設定] 画面に、登録した接続先が追加されます。

7 リモート UI からログアウトする

重要

- 他機のアドバンスドボックスと Windows サーバー以外は、接続先として登録しないでください。動作不良の原因になることがあります。

メモ

登録済みの接続先の情報を編集する

- [ネットワークプレース設定] 画面で、編集したい接続先の名称をクリックすると、登録内容を編集できます。

接続時の通信プロトコルを制限する

- 他機のアドバンスドボックスや Windows サーバーに接続する際に使用できる通信プロトコルを制限することで、セキュリティを高めることができます。🔗 **【外部参照時の通信プロトコル】 (P. 1124)**

TLS 暗号化通信時にサーバー証明書を検証する

- 接続先が TLS を使用する場合に、接続先から送信されるサーバー証明書を検証するように設定できます。エラーの場合は接続を中止するため、第三者によるなりすましなどのリスクを軽減できます。🔗 **【ネットワークアクセス時の証明書確認】 (P. 1125)**

USB メモリーを利用するための準備

EJ83-0AA

スキャンデータを USB メモリーに保存したり、USB メモリー内のファイルをプリントしたりできるようにします。
初期設定では、保存もプリントもできないようになっています。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。🔵 **[スキャン/プリント機能を使用] (P. 1126)**

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔵 **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔵 **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ファイル保存/利用] ▶ [メモリーメディア設定] をクリックする
→ [メモリーメディア設定] 画面が表示されます。
- 4 [スキャン機能を使用する] や [プリント機能を使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする
- 5 本機を再起動する 🔵 **再起動する (P. 148)**
→ 設定が反映されます。

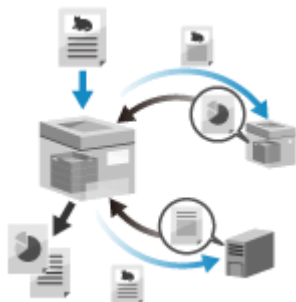
メモ

USB メモリーが表示／認識されない場合

- 操作パネルの [ホーム] 画面の [スキャンして保存] または [保存ファイルの利用] で、[メモリーメディア] が表示されるように設定します。🔵 **[保存先の表示設定] (P. 967)**
- USB 外部記憶デバイスに MEAP ドライバーを使用する設定になっていると、USB メモリーを正しく接続していても認識されないことがあります。🔵 **[USB 外部記憶デバイスに MEAP ドライバーを使用] (P. 1028)**

ネットワーク上の他機／サーバーを利用する

EJ83-0AC



ネットワーク上にある他機のアドバンスドボックスやファイルサーバー（Windows サーバー）に、本機から直接アクセスして利用します。

本機でスキャンしたデータを他機／サーバーに保存したり、他機／サーバーに保存されているファイルの本機で操作やプリントしたりできます。

※ログインユーザー専用のフォルダー（マイフォルダー）が設定されている場合は、マイフォルダーに直接アクセスして利用することもできます。

※ネットワーク上の他機／サーバーを利用するには、他機やサーバーにアクセスするための情報を、接続先として登録しておく必要があります。🔗[ネットワーク上の他機／サーバーを利用するための準備 \(P. 623\)](#)

🔗[文書をスキャンして他機／サーバーに保存する \(P. 628\)](#)

🔗[他機／サーバーのファイルを操作する \(P. 629\)](#)

🔗[他機／サーバーのファイルをプリントする \(P. 631\)](#)

文書をスキャンして他機／サーバーに保存する

EJ83-0AE

本機でスキャンしたデータを、ネットワーク上にある他機のアドバンスドボックスやファイルサーバー（Windows サーバー）に、本機から直接アクセスして保存できます。

※ログインユーザー専用のフォルダー（マイフォルダー）が設定されている場合は、マイフォルダーに直接アクセスして保存することもできます。

必要な準備

- 他機やサーバーにアクセスするための情報を、接続先として登録します。▶ [ネットワーク上の他機／サーバーを利用するための準備 \(P. 623\)](#)

操作パネルの［ホーム］画面の［スキャンして保存］から、本機で文書をスキャンして、スキャンデータを他機／サーバーに保存します。▶ [スキャンして保存する \(P. 421\)](#)



※［ホーム］画面の［スキャンして送信］や［保存ファイルの利用］から、文書をスキャンして他機／サーバーに保存することもできます。

- スキャンデータを、メールなど他の宛先にも同時に送信したい場合は、［スキャンして送信］から保存すると便利です。▶ [スキャンして送信する \(P. 412\)](#)
- 保存したファイルを、すぐに本機でプリントしたい場合は、［保存ファイルの利用］から保存すると便利です。▶ [他機／サーバーのファイル进行操作する \(P. 629\)](#)

他機／サーバーのファイル进行操作する

EJ83-0AF

ネットワーク上にある他機のアドバンスドボックスやファイルサーバー（Windows サーバー）に保存されているファイルに対して、本機の実作パネルで以下の操作ができます。

- ファイル名の変更
- ファイルの削除
- ファイルの追加（本機で文書をスキャンして保存）

※ログインユーザー専用のフォルダー（マイフォルダー）が設定されている場合は、マイフォルダーに直接アクセスして操作することもできます。

必要な準備

- 他機やサーバーにアクセスするための情報を、接続先として登録します。➡ [ネットワーク上の他機／サーバーを利用するための準備 \(P. 623\)](#)

1 操作パネルの「ホーム」画面で、「保存ファイルの利用」を押す ➡ 「ホーム」画面 (P. 156)

➔ 保存スペースを選択する画面が表示されます。

2 「ネットワーク」を押す

3 操作するファイルが保存されている他機／サーバーを選択する

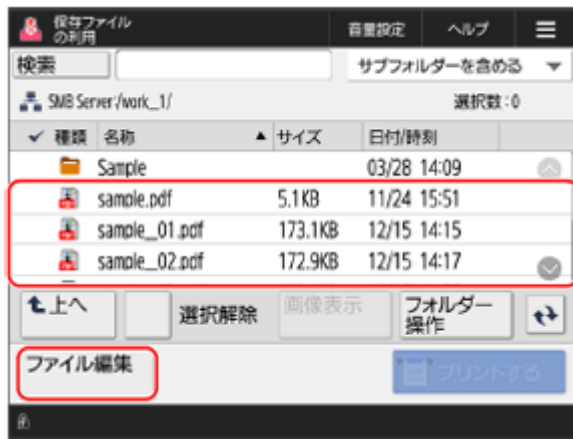


- マイフォルダーに直接アクセスして操作する場合は、「マイフォルダー」を選択します。
- 「ストレージ情報確認」を押し、接続先を選択して「詳細情報」を押すと、接続先のプロトコルやパスを確認できます。
- ログイン画面が表示された場合は、接続先の他機／サーバーにログインするためのユーザー名とパスワードを入力し、「OK」を押します。

4 操作するファイルが保存されているフォルダーを表示する

5 ファイル进行操作する

④ [ネットワーク／メモリーメディア] ファイル選択画面 (P. 643)



[フォルダー操作] を押すと、フォルダーを作成することもできます。

ファイル名を変更する場合

変更するファイルを選択し、[ファイル編集] ▶ [ファイル名変更] を押します。
ファイル名を入力し、[OK] を押すと、ファイル名が変更されます。

ファイルを削除する場合

削除するファイルを選択し、[ファイル編集] ▶ [削除] ▶ [はい] を押します。
※同一フォルダー内のファイルを、一度に 32 ファイルまで選択して削除できます。

ファイルを追加する場合（本機で文書をスキャンして保存する場合）

スキャンの画面を表示するまでの手順が異なること以外は、[スキャンして保存] のスキャン操作／設定と同じです。④ **スキャンして保存する (P. 421)**

1. 原稿をセットする ④ **原稿のセット方法 (P. 196)**

原稿の厚さを選択する画面が表示された場合は、セットした原稿の厚さを選択します。

2. [ファイル編集] ▶ [ファイルを追加 (スキャンして保存)] を押す

→ スキャンの画面が表示されます。

3. スキャンの設定をする ④ **スキャンの設定 (P. 441)**

4. [スタート] を押す

→ 原稿のスキャンが開始されます。

重要

接続先の他機／サーバーにログインして操作した場合

- 操作が終わったら、必ず [接続解除] または [ログアウト] を押してログアウトします。

他機／サーバーのファイルをプリントする

EJ83-0AH

ネットワーク上にある他機のアドバンスドボックスやファイルサーバー（Windows サーバー）に保存されている PDF/XPS/JPEG/TIFF ファイルは、操作パネルから本機で直接プリントできます。

※ログインユーザー専用のフォルダー（マイフォルダー）が設定されている場合は、マイフォルダーに直接アクセスしてプリントすることもできます。

必要な準備

- 他機やサーバーにアクセスするための情報を、接続先として登録します。🔗 [ネットワーク上の他機／サーバーを利用するための準備 \(P. 623\)](#)

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［保存ファイルの利用］を押す 🔗 [［ホーム］画面 \(P. 156\)](#)

→ 保存スペースを選択する画面が表示されます。

2 ［ネットワーク］を押す

3 プリントするファイルが保存されている他機／サーバーを選択する

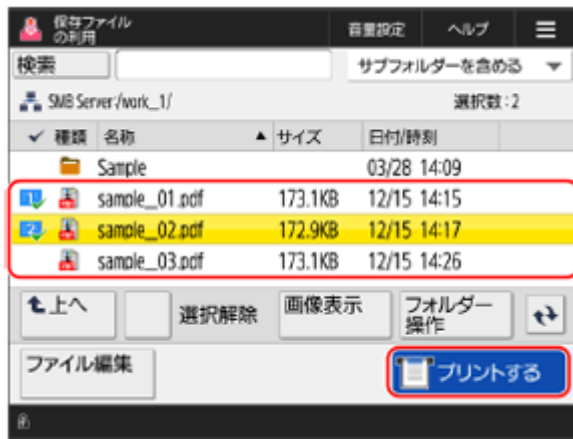


- マイフォルダーに直接アクセスしてプリントする場合は、［マイフォルダー］を選択します。
- ［ストレージ情報確認］を押し、接続先を選択して［詳細情報］を押すと、接続先のプロトコルやパスを確認できます。
- ログイン画面が表示された場合は、接続先の他機／サーバーにログインするためのユーザー名とパスワードを入力し、［OK］を押します。

4 プリントするファイルが保存されているフォルダーを表示する

5 プリントするファイルを選択し、［プリントする］を押す

④ [ネットワーク／メモリーメディア] ファイル選択画面 (P. 643)



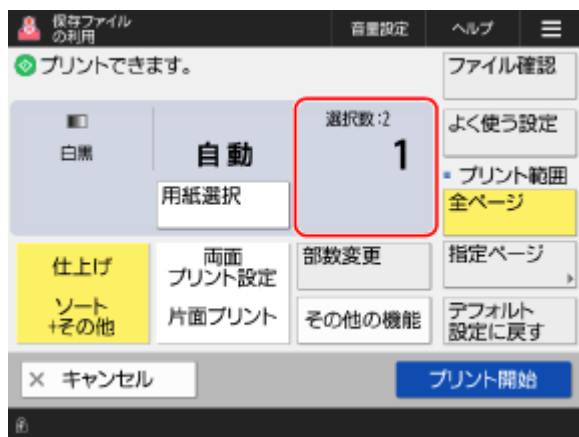
同一フォルダー内のファイルを、一度に6ファイルまで選択してプリントできます。

※複数のファイルを選択した場合は、ファイルを選択した順（チェックマークの番号順）にプリントされます。

6 プリントに使用する用紙を選択し、[OK] を押す

- 手順 5 で PDF または XPS ファイルを選択した場合は、この手順は不要です。手順 7 に進みます。
- [🖨️] を押すと、選択している用紙の詳細情報を確認できます。

7 プリント部数をテンキーで入力する



手順 5 で複数のファイルを選択した場合は、[部数変更] を押してプリント部数を入力します。

8 必要に応じて、プリント設定をする

④ [ネットワーク／メモリーメディア] プリント設定画面 (P. 645)

両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定ができます。

9 [プリント開始] を押す

→ プリントが開始されます。

- プリントを中止したい場合は、[中止] を押します。④ 操作パネルから中止する場合 (P. 390)
- [🖨️ 状況確認] からプリント状況や履歴を確認できます。④ プリント状況や履歴を確認する (P. 392)

パスワードの入力画面が表示された場合

PDF ファイルに設定されている、文書を開くパスワードまたは権限パスワードを入力します。

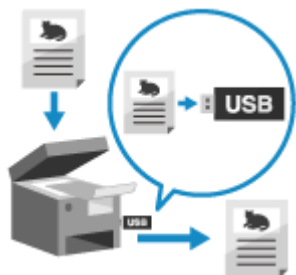
重要

接続先の他機／サーバーにログインして操作した場合

- 操作が終わったら、必ず「接続解除」または「ログアウト」を押してログアウトします。

USB メモリーを利用する

EJ83-0AJ



本機に差し込んだ USB メモリーにスキャンデータを保存したり、USB メモリー内のファイルをプリントしたりできます。

本機の操作パネルで、ファイル名の変更やファイルの削除などもできるため、パソコンを使用せずに USB メモリー内を整理することもできます。

※USB メモリーを利用するには、保存やプリントができるように本機の設定を変更しておく必要があります。➡ **USB メモリーを利用するための準備 (P. 626)**

- ➡ 文書をスキャンして USB メモリーに保存する (P. 635)
- ➡ USB メモリーのファイルを操作する (P. 636)
- ➡ USB メモリーのファイルをプリントする (P. 639)

文書をスキャンして USB メモリーに保存する

EJ83-0AK

本機でスキャンしたデータを、本機に差し込んだ USB メモリーに保存できます。
ネットワーク接続していないパソコンや外出先でスキャンデータを利用する場合などに便利です。

必要な準備

- スキャンデータを USB メモリーに保存できるように設定します。➡ [USB メモリーを利用するための準備 \(P. 626\)](#)

操作パネルの [ホーム] 画面の [スキャンして保存] から、本機で文書をスキャンして、スキャンデータを USB メモリーに保存します。➡ [スキャンして USB メモリーに保存する \(P. 425\)](#)



※ [ホーム] 画面の [保存ファイルの利用] から、文書をスキャンして USB メモリーに保存することもできます。保存したファイルを、すぐに本機でプリントしたい場合は、[保存ファイルの利用] から保存すると便利です。➡ [USB メモリーのファイル进行操作する \(P. 636\)](#)

メモ

USB メモリー接続時にショートカット画面が表示された場合

- 本機に USB メモリーを差し込んだときに、使用できる機能のショートカット画面が表示された場合は、[スキャンしてメモリーメディアに保存する] を押すと、すばやく [スキャンして保存] から保存することができます。



USB メモリーのファイルを操作する

EJ83-0AL

本機に差し込んだ USB メモリーに保存されているファイルに対して、本機の操作パネルで以下の操作ができます。

- ファイル名の変更
- ファイルの削除
- ファイルの追加（本機で文書をスキャンして保存）

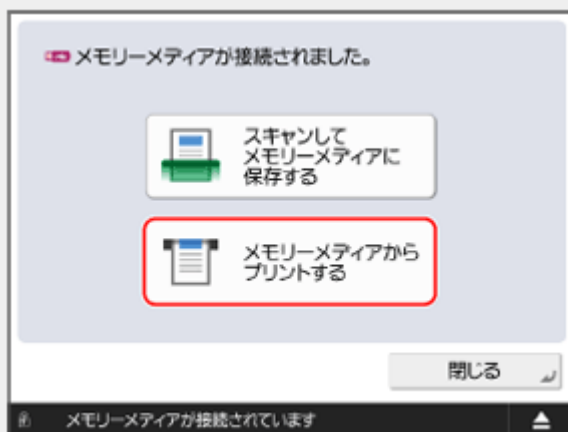
必要な準備

- USB メモリー内のファイルをプリントできるように設定します。➡ [USB メモリーを利用するための準備 \(P. 626\)](#)

1 本機の USB ポートに、USB メモリーを差し込む ➡ [USB メモリーを差し込む／取り外す \(P. 325\)](#)

使用できる機能のショートカット画面が表示された場合

「メモリーメディアからプリントする」を押し、手順 4 に進みます。

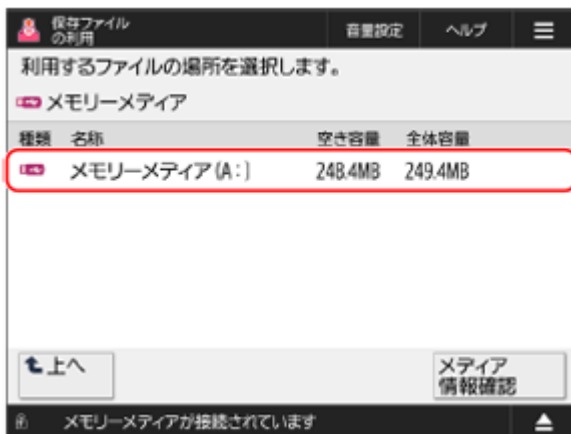


2 操作パネルの「ホーム」画面で、「保存ファイルの利用」を押し ➡ [「ホーム」画面 \(P. 156\)](#)

→ 保存スペースを選択する画面が表示されます。

3 「メモリーメディア」を押し

4 操作するファイルが保存されている USB メモリーを選択する

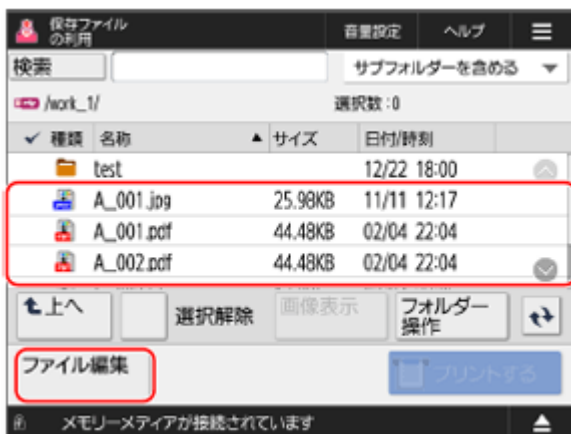


「メディア情報確認」を押し、USB メモリーを選択して「詳細情報」を押すと、USB メモリーのシリアルナンバーや空き容量などを確認できます。

5 操作するファイルが保存されているフォルダーを表示する

6 ファイルを操作する

▶ [ネットワーク／メモリーメディア] ファイル選択画面 (P. 643)



「フォルダー操作」を押すと、フォルダーを作成したり、フォルダー名を変更したりすることもできます。

ファイル名を変更する場合

変更するファイルを選択し、「ファイル編集」▶「ファイル名変更」を押します。
ファイル名を入力し、「OK」を押すと、ファイル名が変更されます。

ファイルを削除する場合

削除するファイルを選択し、「ファイル編集」▶「削除」▶「はい」を押します。
※同一フォルダー内のファイルを、一度に 32 ファイルまで選択して削除できます。

ファイルを追加する場合（本機で文書をスキャンして保存する場合）

スキャンの画面を表示するまでの手順が異なること以外は、「スキャンして保存」のスキャン操作／設定と同じです。▶スキャンして保存する (P. 421)

1. 原稿をセットする ▶原稿のセット方法 (P. 196)

原稿の厚さを選択する画面が表示された場合は、セットした原稿の厚さを選択します。

2. 「ファイル編集」▶「ファイルを追加 (スキャンして保存)」を押す

→ スキャンの画面が表示されます。

3. スキャンの設定をする ➤ **スキャンの設定 (P. 441)**

4. [ スタート] を押す

→ 原稿のスキャンが開始されます。

7

操作が完了したら、USB メモリーを取り外す ➤ **USB メモリーを取り外す (P. 326)**

USB メモリーのファイルをプリントする

EJ83-0AR

本機に差し込んだ USB メモリー内の PDF/XPS/JPEG/TIFF ファイルは、操作パネルから本機で直接プリントできます。ネットワーク接続していないパソコンのファイルや、外部から持ち込んだファイルをプリントするときなどに便利です。

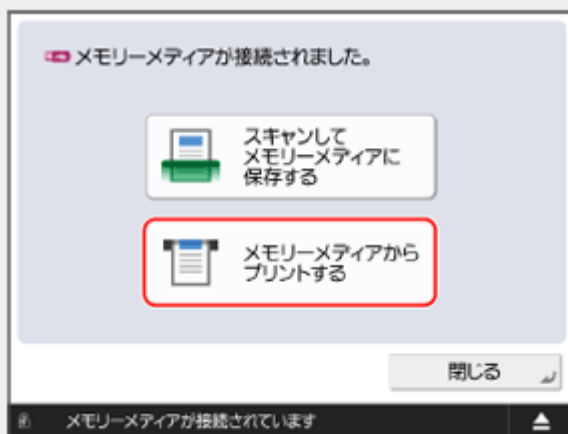
必要な準備

- USB メモリー内のファイルをプリントできるように設定します。➡ [USB メモリーを利用するための準備 \(P. 626\)](#)

1 本機の USB ポートに、USB メモリーを差し込む ➡ [USB メモリーを差し込む／取り外す \(P. 325\)](#)

使用できる機能のショートカット画面が表示された場合

「メモリーメディアからプリントする」を押し、手順 4 に進みます。

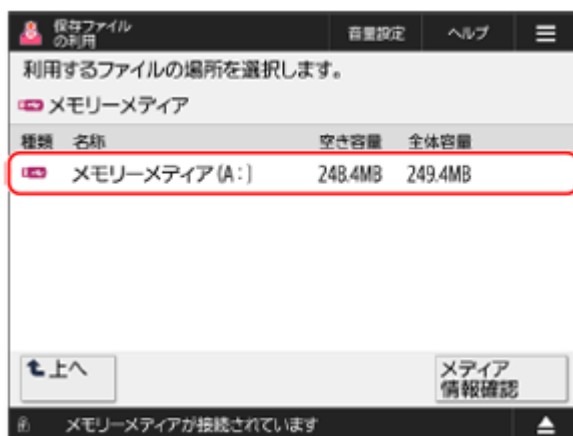


2 操作パネルの「ホーム」画面で、「保存ファイルの利用」を押し ➡ [「ホーム」画面 \(P. 156\)](#)

➔ 保存スペースを選択する画面が表示されます。

3 「メモリーメディア」を押し

4 プリントするファイルが保存されている USB メモリーを選択する



〔メディア情報確認〕 を押し、USB メモリーを選択して〔詳細情報〕 を押し、USB メモリーのシリアルナンバーなどを確認できます。

5 プリントするファイルが保存されているフォルダーを表示する

6 プリントするファイルを選択し、〔プリントする〕 を押す

▶ [ネットワーク／メモリーメディア] ファイル選択画面 (P. 643)



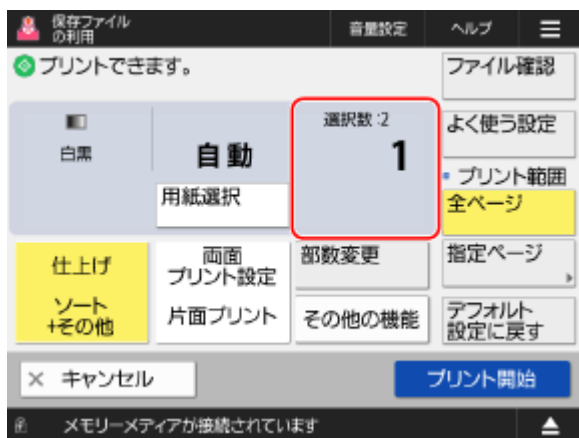
同一フォルダー内のファイルを、一度に6 ファイルまで選択してプリントできます。

※複数のファイルを選択した場合は、ファイルを選択した順（チェックマークの番号順）にプリントされます。

7 プリントに使用する用紙を選択し、〔OK〕 を押す

- 手順 6 で PDF または XPS ファイルを選択した場合は、この手順は不要です。手順 8 に進みます。
- [] を押し、選択している用紙の詳細情報を確認できます。

8 プリント部数をテンキーで入力する



手順 6 で複数のファイルを選択した場合は、〔部数変更〕 を押してプリント部数を入力します。

9 必要に応じて、プリント設定をする

▶ [ネットワーク／メモリーメディア] プリント設定画面 (P. 645)

両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定ができます。

10 [プリント開始] を押す

→ プリントが開始されます。

- プリントを中止したい場合は、[中止] を押します。▶ [操作パネルから中止する場合 \(P. 390\)](#)
- [ 状況確認] からプリント状況や履歴を確認できます。▶ [プリント状況や履歴を確認する \(P. 392\)](#)

パスワードの入力画面が表示された場合

PDF ファイルに設定されている、文書を開くパスワードまたは権限パスワードを入力します。

11

プリントが完了したら、USB メモリーを取り外す ▶ [USB メモリーを取り外す \(P. 326\)](#)

〔保存ファイルの利用〕 画面

EJ83-0AS

操作パネルの〔ホーム〕画面で〔保存ファイルの利用〕を押すと、以下の保存スペースを選択する画面が表示されます。

- 〔ネットワーク〕：ネットワーク上の他機のアドバンスドボックスや Windows サーバー
- 〔メモリーメディア〕：本機に差し込んだ USB メモリー

🔗 〔ネットワーク／メモリーメディア〕 ファイル選択画面 (P. 643)

🔗 〔ネットワーク／メモリーメディア〕 プリント設定画面 (P. 645)

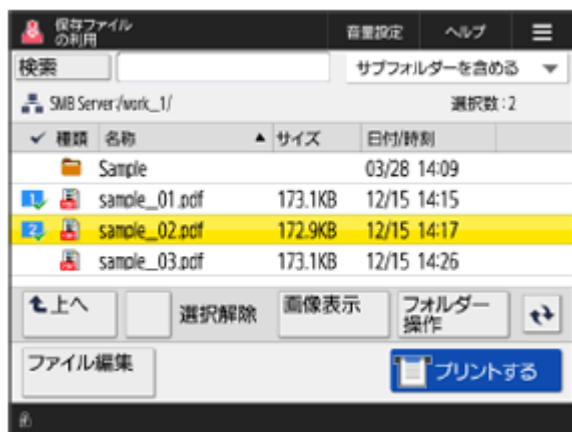
[ネットワーク／メモリーメディア] ファイル選択画面

EJ83-0AU

操作パネルの［ホーム］画面で［保存ファイルの利用］を押し、保存スペースを選択すると、ファイル選択画面が表示されます。

この画面では、プリントするファイルを選択します。

ファイルを選択して各ボタンを押すと、いろいろな操作もできます。フォルダーの作成や削除など、フォルダーを操作することもできます。



ファイルを選択する

ファイルを選択すると、チェックマークと番号が付きます。複数のファイルをまとめてプリントする場合は、この番号順にプリントされます。

ファイルの情報や内容を確認する

- ファイルを選択し、画面下部の［ファイル編集］▶［詳細情報］を押すと、ファイルの保存場所や更新日時などの詳細情報を確認できます。
［詳細情報］画面からファイル名を変更することもできます。
- ファイルを選択し、画面下部の［画像表示］を押すと、プレビュー画面を表示してファイルの内容を確認できます。
プレビュー画面からプリントすることもできます。

ファイルを操作する

ファイルを選択し、画面下部の［ファイル編集］を押すと、ファイル名を変更したり、ファイルを削除したりできます。文書をスキャンしてデータを保存スペースに保存することもできます。🔗他機／サーバーのファイル进行操作する (P. 629)

フォルダーを操作する

画面右の［フォルダー操作］を押すと、フォルダーを作成したり、フォルダー名を変更したりできます。

フォルダーを作成する

［フォルダー操作］画面で［フォルダー作成］を押し、フォルダー名を入力して、［OK］を押します。

フォルダーの情報を確認する／フォルダー名を変更する

［フォルダー操作］画面でフォルダーを選択し、［詳細情報］を押すと、フォルダーの場所や更新日時などの詳細情報を確認できます。

※以下の操作はできません。

- 他機／サーバーや USB メモリーのフォルダーを削除する
- 他機／サーバーのフォルダー名を変更する

ファイルをプリントする

ファイルを選択し、画面下部の［プリントする］を押すと、プリント設定画面が表示されます。
プリント設定画面で、プリント部数などを設定してプリントできます。

- [ネットワーク／メモリーメディア] プリント設定画面 (P. 645)
- 他機／サーバーのファイルをプリントする (P. 631)
- USB メモリーのファイルをプリントする (P. 639)

メモ

フォルダーやファイルを絞り込む

- 画面左上の［検索］を押し、フォルダー名やファイル名の一部を入力すると、該当するフォルダーやファイルのみが一覧に表示されます。

フォルダーの場所を確認する

- 画面左上に、保存スペースのアイコンと階層が表示されます。



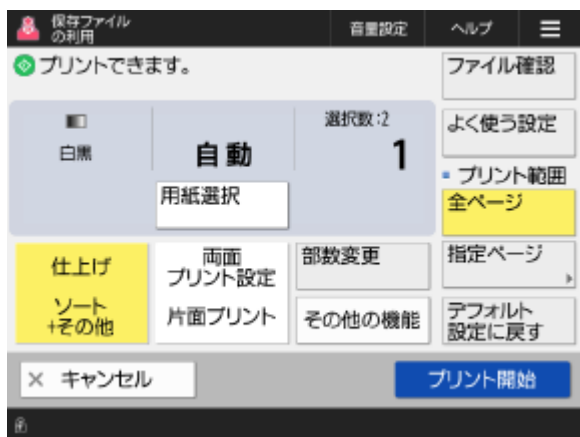
[] : ネットワーク上の他機／サーバー

[] : USB メモリー

[ネットワーク／メモリーメディア] プリント設定画面

EJ83-0AW

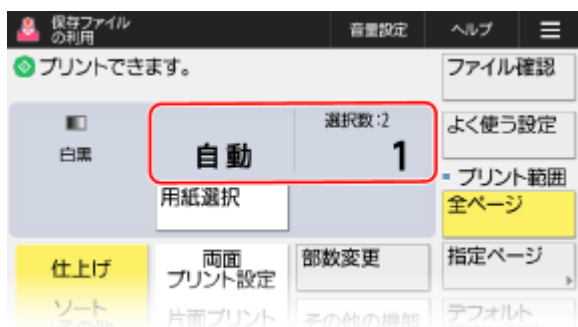
各保存スペースのファイル選択画面で、ファイルを選択して「プリントする」を押すと、プリント設定画面が表示されます。この画面では、プリント部数などを設定します。両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定もできます。プリント設定を確認／変更したら、「プリント開始」を押してプリントを実行します。



※設定によっては、ここでの説明の参照先が、コピー時の説明となっております。参照時には「コピー」を「プリント」に読み替えてください。また、プリント時には設定できない内容の説明が含まれている場合もあります。

プリント設定を確認／変更する

現在設定されている使用する用紙とプリント部数が、画面中央に表示されます。正しくプリントするために、必ずこれらの設定内容を確認してください。



- プリント部数を変更する場合は、テンキーで直接入力します。
複数のファイルを選択している場合は、「部数変更」を押してプリント部数を入力します。
※選択中のファイル数は、部数の上に表示されます。
- 使用する用紙を変更する場合は、「用紙変更」を押します。

いろいろなプリント設定をする

以下の設定ができます。

※「PDF ファイルと JPEG ファイル」など、異なる形式のファイルを同時に選択している場合は、「両面プリント」のみ設定できます。

【仕上げ】（PDF/XPS ファイルのみ）

ソートやホチキスなどの仕上げ機能を設定できます。▶ [仕上げ機能を設定する \(P. 604\)](#)

【両面プリント】

用紙の両面にプリントする場合は、「長辺とじ」または「短辺とじ」を選択します。

- [長辺とじ]：とじ方向を用紙の長辺にして両面プリントします。
- [短辺とじ]：とじ方向を用紙の短辺にして両面プリントします。

※オモテになるページとウラになるページのサイズが異なる PDF ファイルを両面プリントする場合は、使用する用紙を手動で設定する必要があります。

使用する用紙が [自動] に設定されていると、両面プリントはされずに、それぞれのサイズに合った用紙にプリントされます。

[プリント範囲]

複数ページの文書の場合に、全ページをプリントするか、ページ範囲を指定してプリントするかを設定します。ページ範囲を指定する場合は、[指定ページ] を押し、開始ページと終了ページを入力します。

[その他の機能]

製本プリントや画質調整など、その他のプリント設定ができます。

- ➡ [その他の機能] 画面 (PDF/XPS ファイルの場合) (P. 646)
- ➡ [その他の機能] 画面 (JPEG/TIFF ファイルの場合) (P. 647)

プリント設定を取り消す

変更したプリント設定の内容を取り消す場合は、画面右下の [デフォルト設定に戻す] を押します。

ファイルをプリントする

画面右下の [プリント開始] を押すと、プリントを実行します。

メモ

よく使用する設定を [] から登録する

- 現在の設定内容を「よく使う設定」として登録すると、必要なときにプリント設定画面から呼び出すことができます。
➡ 「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)
- 現在の設定内容を [ホーム] 画面にボタンとして登録すると、[ホーム] 画面からボタン 1 つで呼び出すことができます。
➡ [ホーム] 画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン (P. 174)
※USB メモリーの場合は、[ホーム] 画面にボタンを追加できません。
- 現在の設定内容を初期設定として登録することもできます。 ➡ 初期設定を変更する (P. 186)

ファイルの情報や内容を確認する

- 画面右上の [ファイル確認] を押すと、選択中のファイルの情報を確認できます。
- [ファイル確認] 画面で、ファイルを選択して [詳細情報] を押すと、ファイルの保存場所や更新日時などの詳細情報を確認できます。
- [ファイル確認] 画面で、ファイルを選択して [画像表示] を押すと、プレビュー画面を表示してファイルの内容を確認できます。

部門別 ID 管理中にプリントできるページ数が制限されている場合

- ログイン中の部門 ID でプリントできるページ数が画面上部に表示されます。



[その他の機能] 画面 (PDF/XPS ファイルの場合)

プリント設定画面で [その他の機能] を押すと、[その他の機能] 画面が表示されます。

この画面では、各ボタンを押して詳細なプリント設定をします。プリント設定が終わったら、[閉じる] を押してプリント設定画面に戻ります。



〔解像度〕

プリントデータを処理するときの解像度を設定します。

より高解像度でプリントする場合は、〔スーパーファイン(1200dpi)〕に設定します。

〔中間調〕

中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を設定します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。

① 〔中間調選択〕 (P. 1252) (PDF ファイルの場合)

② 〔中間調選択〕 (P. 1254) (XPS ファイルの場合)

〔用紙サイズに合わせる〕

プリントに使用する用紙に合わせて、文書を拡大／縮小します。

※文書のタテヨコ比は維持されたまま拡大／縮小されます。

〔印字領域拡大〕

用紙の周囲に余白を設けず、プリントする領域を用紙いっぱいに拡大してプリントします。

※文書によっては、プリント画像の端が一部欠けたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

〔注釈の印刷〕

PDF ファイルの場合に、注釈をプリントするかどうかを設定します。

〔自動〕に設定すると、PDF ファイル内でプリント指定された注釈をプリントします。

〔文書を開くパスワード〕

セキュリティが設定された PDF ファイルの場合に、PDF ファイルの設定に応じたパスワードを入力します。

文書を開くパスワードまたは権限パスワードが設定されている場合

〔暗号化パスワード〕に、文書を開くパスワードまたは権限パスワードを入力します。

※権限パスワードは、以下の場合に入力します。

- プリントが禁止されている PDF ファイルをプリントする場合
- 低解像度でのプリントのみ許可されている PDF ファイルを、高解像度でプリントする場合

※セキュリティが設定された PDF ファイルを複数プリントする場合は、同じパスワードのファイルのみプリントできます。

〔白紙節約〕

プリント時に白紙と判定したページを排紙しないようにします。

※文書によっては、ページに何も描画されていないくても、白紙と判定されないことがあります。

〔その他の機能〕 画面 (JPEG/TIFF ファイルの場合)

プリント設定画面で〔その他の機能〕を押すと、〔その他の機能〕画面が表示されます。

この画面では、各ボタンを押して詳細なプリント設定をします。プリント設定が終わったら、〔閉じる〕を押してプリント設定画面に戻ります。



【中間調】

中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を設定します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。

④ 【中間調選択】 (P. 1249)

【拡大/縮小】

プリントに使用する用紙に合わせて、画像を拡大／縮小します。

- 画像のタテヨコ比は維持されたまま拡大／縮小されます。
- プリント可能な領域より画像が大きい場合は、【拡大/縮小】の設定にかかわらず、プリント可能な領域に画像が収まるように縮小されます。
- 【拡大/縮小】を設定すると、TIFF ファイルのタグ内でプリント位置が指定されていても無効になります。

【印字領域拡大】

用紙の周囲に余白を設けず、プリントする領域を用紙いっぱいに拡大してプリントします。

※画像によっては、プリント画像の端が一部欠けたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

【画像の向き】

プリントするときの画像の向きを設定します。

【自動】に設定すると、画像のタテヨコ比を自動判別して、タテのほうが大きければタテ向きに、ヨコのほうが大きければヨコ向きにプリントします。

【印字位置】

画像をプリントする位置を設定します。

【自動】に設定すると、TIFF ファイルのタグ内で指定されたプリント位置に従ってプリントします。プリント位置の指定がない場合や、JPEG ファイルの場合は、用紙の中央にプリントします。

モバイル連携

モバイル連携	650
モバイル連携の準備	652
ダイレクト接続するための準備	653
AirPrint を使用するための準備	656
Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備	659
モバイル機器を本機に接続する	661
モバイル機器から無線 LAN ルーターを介して接続する - LAN 接続	662
モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続	663
専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT	666
Mopria®を使用してプリント／スキャンする	667
AirPrint をを使用してプリント／スキャン／ファクス送信する	668
IPP プリントの設定を登録する	672
Android からプリント／スキャンする	674
Chrome OS からプリント／スキャンする	676
Windows 10 Mobile からプリントする	677

モバイル連携

EJ83-0AX

本機は、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からも利用できます。本機が対応しているアプリやサービスを介して、モバイル機器から写真や文書を手軽にプリントできるほか、本機でスキャンしたデータをモバイル機器に保存することも可能です。

使用するモバイル機器によって、利用できるアプリやサービスが異なります。

iPhone/iPad/iPod touch/Mac

Canon PRINT (iPhone/iPad のみ)

キヤノンの専用アプリです。プリントとスキャンができます。ユーザー認証と部門別 ID 管理にも対応しています。

➡専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT (P. 666)

AirPrint

OS に標準搭載されている機能です。専用アプリやドライバーをインストールすることなく、AirPrint 対応アプリからプリントできます。

また、Mac から AirPrint を使用してプリントできます。Mac の場合は、スキャンとファクス送信もできます。

➡AirPrint を使用するための準備 (P. 656)

➡AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する (P. 668)

➡IPP プリントの設定を登録する (P. 672)

Android 搭載機器

Canon PRINT

キヤノンの専用アプリです。プリントとスキャンができます。ユーザー認証と部門別 ID 管理にも対応しています。

➡専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT (P. 666)

Canon Print Service

キヤノンの専用プラグインです。任意のアプリからプリントできます。部門別 ID 管理にも対応しています。

➡専用プラグインを使用してプリント／スキャンする - Canon Print Service (P. 674)

Mopria® Print Service

Mopria®認証プリンター／複合機の共通プラグインです。メーカーごとの専用アプリや専用プラグインをインストールすることなく、任意のアプリからプリントとスキャンができます。

➡Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備 (P. 659)

➡Mopria®を使用してプリント／スキャンする (P. 667)

デフォルト印刷サービス

OS に標準搭載されている機能です。専用アプリやプラグインをインストールすることなく、任意のアプリからプリントできます。

➡Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備 (P. 659)

➡OS の標準機能を使用してプリント／スキャンする - デフォルト印刷サービス (P. 674)

Chrome OS 搭載機器 (Chromebook など)

専用アプリやプリンタードライバーをインストールすることなく、Chrome OS に標準搭載されている機能でプリントとスキャンをします。

➡Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備 (P. 659)

➡Chrome OS からプリント／スキャンする (P. 676)

Windows Phone

専用アプリやプリンタードライバーをインストールすることなく、Windows 10 Mobile に標準搭載されている機能でプリントします。

🔗**Windows 10 Mobile からプリントする (P. 677)**

重要

セキュリティポリシーを適用している場合

- [IPP ポートを制限する(ポート番号: 631)] または [mDNS ポートを制限する(ポート番号: 5353)] が有効な場合は、AirPrint/Mopria® Print Service/デフォルト印刷サービスは使用できません。また、Chrome OS からのプリントもできません。🔗**セキュリティポリシーの項目 (P. 855)**

メモ

モバイル機器のアドレス帳を利用する

- 本機でスキャンデータをメール送信する場合に、Canon PRINT を使用して、モバイル機器のアドレス帳に登録されている宛先を指定できます。🔗**宛先を指定する - モバイル機器のアドレス帳 (P. 322)**

本機の詳細設定を変更する

- 使用環境によっては、モバイル機器と連携するために本機の設定を変更する必要があります。詳細については、オンラインマニュアルサイトで「モバイル連携管理者ガイド」を参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

モバイル連携の準備

EJ83-0AY

モバイル機器と本機をダイレクト接続する場合や、AirPrint を使用する場合、Android や Chrome OS からプリントする場合は、あらかじめ本機側の設定が必要です。

- ①ダイレクト接続するための準備 (P. 653)
- ②AirPrint を使用するための準備 (P. 656)
- ③Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備 (P. 659)

ダイレクト接続するための準備

EJ83-0C0

本機のダイレクト接続機能を有効にします。本機をネットワークに接続していない場合は、あらかじめネットワーク接続方式の設定を確認しておく必要もあります。

- ① アクセスポイントモード (P. 653)
- ② 本機のネットワーク接続方式を確認する (P. 653)
- ③ ダイレクト接続機能を有効にする (P. 654)

アクセスポイントモード

本機のダイレクト接続は、「アクセスポイントモード」を使用します。

- モバイル機器の Wi-Fi 設定で、本機の SSID（ネットワーク名）を選択し、ネットワークキー（パスワード）を入力して接続します。手動で Wi-Fi 設定をする代わりに、本機の画面に表示された QR コードをモバイル機器で読み取って接続することもできます。
- 同時に複数のモバイル機器（最大 5 台）がダイレクト接続できるように設定できます。
※初期設定では 1 台のみです。
- モバイル機器が常にダイレクト接続できるように設定できます。
※初期設定では、ダイレクト接続するたびに、操作パネルを使用して本機を待機状態にする必要があります。

本機のネットワーク接続方式を確認する

本機をネットワーク（有線 LAN または無線 LAN）に接続していない場合は、ネットワーク接続方式が有線 LAN（副回線を含む）に設定されていることを操作パネルで確認します。

本機をネットワークに接続している場合は、確認不要です。

ネットワーク接続方式の設定を確認するには、Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする  **ログイン方法 (P. 191)**
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 **設定/登録** を押す  **[ホーム] 画面 (P. 156)**
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 **[環境設定]**  **[ネットワーク]**  **[インターフェイス選択]** を押す
→ [インターフェイス選択] 画面が表示されます。
- 4 **[主回線]** で **[有線 LAN]**、**[副回線]** で **[使用しない]** / **[有線 LAN]** に設定されていることを確認する
接続方式が有線 LAN に設定されている場合は、本機がネットワークに接続されていなくても、ダイレクト接続できます。

〔主回線〕または〔副回線〕に〔無線 LAN〕が設定されている場合

本機が無線 LAN に接続されていないと、ダイレクト接続できません。〔主回線〕と〔副回線〕に〔無線 LAN〕を使用しない設定に変更するか、本機を無線 LAN に接続します。➡無線 LAN に接続する (P. 101)

5 [OK] を押す

ダイレクト接続機能を有効にする

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、〔ホーム〕画面などの  設定/登録 ▶ 〔環境設定〕から設定します。➡〔ダイレクト接続設定〕 (P. 1017)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- IPv4 アドレスの使用を有効にします。➡IPv4 アドレスを設定する (P. 110)

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、〔設定/登録〕をクリックする ➡リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 〔ネットワーク〕▶ 〔ダイレクト接続設定〕をクリックする
→ 〔ダイレクト接続設定〕画面が表示されます。
- 4 〔ダイレクト接続を使用する〕にチェックマークを付ける
- 5 必要に応じて、ダイレクト接続機能の設定をする

接続を自動的に切断するまでの時間を変更する場合

〔ダイレクト接続の自動切断時間〕に、ダイレクト接続を開始してから切断するまでの時間を入力します。複数のモバイル機器を接続した場合は、最後に接続を開始したときからこの時間が経過すると、切断されます。
※接続を自動的に切断しないようにする場合は、「0 分」に設定します。

接続用の IP アドレスを変更する場合

〔ダイレクト接続時の IP アドレス〕に任意の IP アドレスを入力します。

6 SSID とネットワークキーを設定する

初期設定では、ダイレクト接続するたびに、本機の SSID とネットワークキーがランダムな文字列で自動生成されます。

必要に応じて、ログインユーザーごとに異なる SSID／ネットワークキーを使用するように設定したり、固定の SSID／ネットワークキーを手動設定したりします。

- 同時に複数のモバイル機器を接続する場合は、固定の SSID とネットワークキーを設定しておく必要があります。

- ログインユーザーごとに異なる SSID／ネットワークキーを使用するように設定した場合は、固定の SSID／ネットワークキーを設定できません。

ログインユーザーごとに異なる SSID／ネットワークキーを使用する場合

[SSID/ネットワークキー設定] で、[個人別 SSID/ネットワークキーを使用する] にチェックマークを付けます。

ダイレクト接続でプリントするジョブのユーザー名をログイン名で表示する場合は、[プリントジョブのユーザー名表示] の [プリントジョブのユーザー名をログイン名で表示する] にチェックマークを付けます。

- [個人別 SSID/ネットワークキーを使用する] にチェックマークを付けた場合、同時にダイレクト接続できるモバイル機器は 1 台のみです。
- 各ユーザーの SSID／ネットワークキーは、操作パネルを使用して設定します。ログイン時に自動的にダイレクト接続の待機状態になるように設定することもできます。 ➡ **自分に合った表示／操作性に変更する - 個人設定 (P. 189)**

固定の SSID／ネットワークキーを設定する場合（同時に複数のモバイル機器を接続する場合）

[SSID/ネットワークキー設定] で、[任意の SSID を使用する] ／ [任意のネットワークキーを使用する] にチェックマークを付け、任意の SSID／ネットワークキーを半角英数字で入力します。

モバイル機器が常に接続できるようにする場合

初期設定では、ダイレクト接続するたびに、操作パネルを使用して本機を待機状態にする必要があります。

モバイル機器が常に接続できるようにする場合は、[SSID/ネットワークキー設定] で固定の SSID とネットワークキーを設定し、[常時接続] の [SSID/ネットワークキー固定時に常時接続する] にチェックマークを付けます。

7 [OK] をクリックする

8 本機を再起動する ➡ **再起動する (P. 148)**

→ 設定が反映されます。

AirPrint を使用するための準備

EJ83-0C1

AirPrint を使用するために必要な基本情報を設定します。利用状況／使用環境に応じて、使用する機能やセキュリティに関する設定も行います。

🔗 [AirPrint の基本情報を設定する \(P. 656\)](#)

🔗 [AirPrint で使用する機能やセキュリティを設定する \(P. 657\)](#)

メモ

ユーザー認証／部門別 ID 管理中の場合

- AirPrint ではユーザー情報および部門 ID を設定できません。ユーザー認証／部門別 ID 管理中に AirPrint を使用するためには、ユーザー情報や部門 ID が不明なパソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信を制限しないように設定する必要があります。

🔗 [パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用する \(P. 718\)](#)

🔗 [部門別 ID 管理を有効にする \(P. 737\)](#)

AirPrint の基本情報を設定する

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。ただし、一部の項目は操作パネルでは設定できません。🔗 [\[ネットワーク\] \(P. 981\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗 [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗 [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [ネットワーク] ▶ [AirPrint 設定] をクリックする
→ [AirPrint 設定] 画面が表示されます。
- 4 [AirPrint を使用する] にチェックマークを付ける
- 5 AirPrint のエラーを表示するかどうかを設定する
AirPrint のプリントデータに問題があり、データどおりにプリントできない場合に、操作パネルの画面にエラーメッセージを表示するときは、[AirPrint のエラーを表示する] にチェックマークを付けます。
※チェックマークを付けなかった場合でも、プリントできなかったときはプリント履歴に [NG] が表示されます。
- 6 プリンター名を入力する
 - [プリンター名] に、本機を識別するための名前を半角英数字で入力します。
 - IPv4 の mDNS が設定されている場合は、mDNS 名と同じ名前がプリンター名に入力されています。プリンター名を変更すると、mDNS 名も連動して変更されます。

※一度設定したプリンター名や mDNS 名を変更すると、それまで本機に接続できていた Mac が、本機に接続できなくなることがあります。その場合は、Mac で本機を登録しなおす必要があります。

7 必要に応じて、本機の設置場所や緯度／経度を入力する

[設定/登録] ▶ [デバイス管理] ▶ [デバイス情報の設定] で設置場所が設定されている場合は、同じ文字列が設置場所に入力されています。AirPrint 設定の設置場所を変更すると、デバイス情報設定の設置場所も連動して変更されます。

8 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

9 リモート UI からログアウトする

メモ

- AirPrint 機能を有効にすると、以下のネットワーク設定も連動して有効になります。
 - HTTP ▶ [HTTP を使用] (P. 996)
 - IPP 印刷 ▶ [IPP 印刷の設定] (P. 995)
 - mDNS (IPv4/IPv6) ▶ [mDNS 設定] (P. 1007)
 - ※IPv6 の mDNS 設定では、IPv4 と同じ mDNS 名を使用するように設定が固定されます。
 - Network Link Scan ▶ [Network Link Scan を使用] (P. 1000)

AirPrint で使用する機能やセキュリティーを設定する

AirPrint では以下のプロトコルを使用します。

- IPP (プリント／ファクス送信)
- Network Link Scan (スキャン)

使用するプロトコルが機能によって異なるため、プロトコルを無効にすることで使用できる機能を制限できます。また、各プロトコル使用時の通信を TLS で暗号化するように設定したり、IPP 認証を設定したりすることもできます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。▶ [ネットワーク] (P. 981)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- 通信を TLS で暗号化する場合は、TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書を指定します。▶ TLS を使用する (P. 777)

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶ リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [ネットワーク] ▶ [IPP 印刷の設定] または [Network Link Scan 設定] をクリックする

→ [IPP 印刷の設定] 画面または [Network Link Scan 設定] 画面が表示されます。

4

IPP/Network Link Scan の設定をする

使用する機能を制限する場合

[IPP 印刷を使用する] / [Network Link Scan を使用する] のチェックマークを外します。

- [IPP 印刷を使用する] のチェックマークを外すと、AirPrint でプリント／ファクス送信ができなくなります。
- [Network Link Scan を使用する] のチェックマークを外すと、AirPrint でスキャンができなくなります。

通信を TLS で暗号化する場合

[TLS 使用時のみ許可する] / [TLS を使用する] にチェックマークを付けます。

IPP 認証を設定する場合

[認証を使用する] にチェックマークを付けます。

IPP 認証で使用するユーザー名とパスワードは、本機のユーザー情報となります。

AirPrint でプリント／ファクス送信するときに認証が必要となり、本機に登録されているユーザーだけがこれらの機能を使用できるようになります。

※本機に登録されているユーザーとは別に、IPP 認証のユーザー名／パスワードを設定したい場合は、本機のユーザー情報として登録します。▶ [ローカルデバイスにユーザー情報を登録する \(P. 687\)](#)

5

[OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

6

リモート UI からログアウトする

Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備

EJ83-0C2

Android や Chrome OS からプリントとスキャンをするときは、使用する機器やプリント／スキャン方法に応じた準備が必要です。

Android 搭載機器

Mopria[®]やデフォルト印刷サービスを使用する場合は、本機の Mopria[®]機能を有効にします。

※Canon PRINT や Canon Print Service を使用してプリントとスキャンをする場合は、設定不要です。

Chrome OS 搭載機器（Chromebook など）

本機の Mopria[®]機能を有効にします。

※使用する機器が IPP Everywhere に対応している場合は、IPP Everywhere を使用してプリントすることもできます。IPP Everywhere を使用してプリントするときは、本機の IPP Everywhere 機能を有効にします。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。🔵 [ネットワーク] (P. 981)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔵 リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔵 リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 本機の機能を有効にする

Mopria[®]機能を有効にする場合

1. [ネットワーク] ▶ [Mopria 設定] をクリックする
→ [Mopria 設定] 画面が表示されます。
2. [Mopria を使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする
→ 設定が反映されます。

IPP Everywhere 機能を有効にする場合

1. [ネットワーク] ▶ [IPP Everywhere 設定] をクリックする
→ [IPP Everywhere 設定] 画面が表示されます。
2. [IPP Everywhere を使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする
→ 設定が反映されます。

- 4 リモート UI からログアウトする

メモ

- Mopria[®]機能／IPP Everywhere 機能を有効にすると、以下のネットワーク設定も連動して有効になります。
 - HTTP ➤ **[HTTP を使用] (P. 996)**
 - IPP 印刷 ➤ **[IPP 印刷の設定] (P. 995)**
 - mDNS (IPv4/IPv6) ➤ **[mDNS 設定] (P. 1007)**
※IPv6 の mDNS 設定では、IPv4 と同じ mDNS 名を使用するように設定が固定されます。
 - Network Link Scan (Mopria[®]機能の場合のみ) ➤ **[Network Link Scan を使用] (P. 1000)**

モバイル機器を本機に接続する

EJ83-0C3

モバイル機器から本機を利用するには、以下のどちらかの方法で本機に接続する必要があります。

無線 LAN ルーターを介して本機に接続する - LAN 接続

パソコンと本機を接続するのと同じように、無線 LAN ルーターを介して本機に接続します。モバイル機器を無線 LAN ルーターに自動接続するように設定しておけば、次からは接続操作は不要です。

🔗 モバイル機器から無線 LAN ルーターを介して接続する - LAN 接続 (P. 662)



本機に直接接続する - ダイレクト接続

モバイル機器と本機を Wi-Fi で直接接続します。無線 LAN 環境がなくても、本機に接続することができます。本機を利用するたびに接続操作が必要です。

接続を自動的に切断するように設定されている場合は、接続を開始してから一定時間が経過すると、自動的に切断されます。

🔗 ダイレクト接続するための準備 (P. 653)

🔗 モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続 (P. 663)



※自動切断の有無や、自動切断するまでの時間は、「ダイレクト接続するための準備」で本機のダイレクト接続機能を有効にするときに設定できます。

モバイル機器から無線 LAN ルーターを介して接続する - LAN 接続

EJ83-0C4

パソコンと本機を接続するのと同じように、無線 LAN ルーターを介してモバイル機器を本機に接続します。モバイル機器を無線 LAN ルーターに自動接続するように設定しておけば、次からは接続操作は不要です。



必要な準備

- 本機を無線 LAN または有線 LAN でネットワークに接続します。▶ **ネットワークの設定 (P. 91)**
※有線 LAN 接続の場合は、同じネットワーク上に無線 LAN ルーターがつながっていることを確認します。
- IPv4 アドレスを本機に設定します。▶ **IPv4 アドレスを設定する (P. 110)**

以下のいずれかの無線 LAN ルーターに、モバイル機器を接続します。

- 本機を接続している無線 LAN ルーター
- 本機を有線 LAN に接続している場合は、本機を接続しているネットワーク上の無線 LAN ルーター

無線 LAN ルーターにモバイル機器を接続する方法については、モバイル機器のマニュアルを参照してください。

モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続

EJ83-0C5

モバイル機器と本機を Wi-Fi で直接接続します。無線 LAN 環境がなくても、本機に接続することができます。本機を利用するたびに接続操作が必要です。

同時にダイレクト接続できるモバイル機器の台数

1 台（初期設定）～5 台

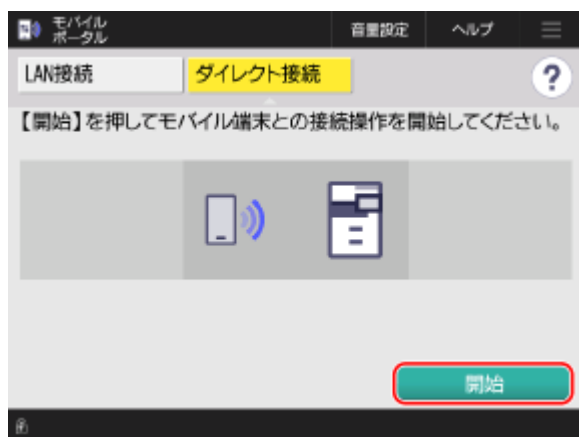
必要な準備

- 本機のダイレクト接続機能を有効にして、使用するダイレクト接続の種類を選択するなどの準備をします。▶ [ダイレクト接続するための準備 \(P. 653\)](#)

1 操作パネルの [ホーム] 画面で、[モバイルポータル] を押す ▶ [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [モバイルポータル] 画面が表示されます。

2 [ダイレクト接続] の [開始] を押す



→ ダイレクト接続の待機状態になります。

[開始] を押してから 5 分以内に、モバイル機器をダイレクト接続する必要があります。

[終了] または [接続終了] が表示されている場合

[モバイルポータル] 画面に表示されているメッセージを確認します。

[アクセスポイントモードでモバイル端末と接続できます。] と表示されている場合
そのまま手順 3 に進みます。

[アクセスポイントモードで n 台のモバイル端末と接続中です。] (n は数字) と表示されている場合

- 接続中のモバイル機器の数が最大に達していない場合は、そのまま手順 3 に進みます。
- 接続中のモバイル機器の数が最大に達している場合は、現在接続中のモバイル機器が切断されるまで接続できません。接続中のモバイル機器を切断する場合は、[接続終了] ▶ [はい] を押します。

3 モバイル機器で、接続操作をする

手動で Wi-Fi 設定をして接続する場合



モバイル機器の Wi-Fi 設定で、本機の画面に表示されている SSID（ネットワーク名）を選択し、ネットワークキー（パスワード）を入力します。

※Wi-Fi の設定方法については、モバイル機器のマニュアルを参照してください。

標準カメラアプリで QR コードを読み取って接続する場合（iOS11 以降のみ）



iOS 搭載機器の標準カメラアプリを起動し、本機の画面に表示されている QR コードを読み取ります。

Canon PRINT で QR コードを読み取って接続する場合



Canon PRINT を起動し、本機の画面に表示されている QR コードを読み取ります。

※QR コードの読み取り方法については、Canon PRINT のヘルプを参照してください。

4 [モバイルポータル] 画面で、接続できていることを確認する

[端末情報] を押すと、ダイレクト接続で本機に接続中のモバイル機器の情報を確認できます。

5 モバイル機器で目的の操作が終わったら、[モバイルポータル] 画面の [接続終了] ▶ [はい] を押す

→ダイレクト接続が切断されます。

複数のモバイル機器を接続している場合は、すべての機器の接続が切断されます。

重要

- モバイル機器によっては、ダイレクト接続中はインターネットに接続できません。
- ダイレクト接続中は本機のスリープモードの節電効果が下がります。
- モバイル機器の IP アドレスは自動的に設定されます。IP アドレスを手動で設定すると、ダイレクト接続の通信が正しく行えなくなることがあります。

メモ

ダイレクト接続が自動的に切断される場合

- 以下の場合、ダイレクト接続が自動的に切断されます。
 - ・ ダイレクト接続の自動切断が設定されている場合
 - ・ 本機とモバイル機器とでデータの送受信がない状態が続いた場合
 - ・ 本機の無線 LAN 接続が切断された場合

専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT

EJ83-0C6

キャノンの専用アプリである「Canon PRINT」を使用して、プリントとスキャンができます。ユーザー認証と部門別 ID 管理にも対応しています。ユーザー情報や部門 ID が不明なプリントが制限されている場合も、ユーザー情報や部門 ID を設定することでプリントが可能です。

対応 OS／ダウンロード

キャノンホームページを参照してください。

<https://global.canon/gomp/>

使用方法

- モバイル機器と本機を接続します。▶ **モバイル機器を本機に接続する (P. 661)**
- Canon PRINT に本機を登録します。
モバイル機器と本機を LAN で接続している場合は、本機を登録する際に、本機の IP アドレスの情報や、QR コードの表示が必要です。IP アドレスや QR コードは、操作パネルの [ホーム] 画面 ▶ [モバイルポータル] ▶ [LAN 接続] で確認／表示できます。
- 本機の登録方法やプリント／スキャンの方法については、アプリのメニューからヘルプを参照してください。

メモ

- Canon PRINT を使用してスキャンするには、本機の Scan for Mobile 機能が有効になっている必要があります。▶ **[Scan for Mobile を表示] (P. 970)**

Mopria[®]を使用してプリント／スキャンする

EJ83-0C7

Mopria[®]認証プリンター／複合機の共通プラグインである「Mopria[®] Print Service」「Mopria[®] Scan」を使用して、任意のアプリからプリントとスキャンができます。

複数のメーカーの Mopria[®]認証プリンター／複合機を使用している場合や、外出先に Mopria[®]認証プリンター／複合機があった場合などに、メーカーごとの専用アプリや専用プラグインをインストールすることなくプリントが可能です。



使用方法

- 本機の Mopria[®]機能を有効にします。▶Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備 (P. 659)
- モバイル機器と本機を接続します。▶モバイル機器を本機に接続する (P. 661)
- 対応 OS やプリント／スキャン方法、Mopria[®]認証プリンター／複合機については、以下のホームページを参照してください。

<https://mopria.org/>

重要

本機がユーザー認証／部門別 ID 管理中の場合

- ユーザー情報や部門 ID が不明なパソコンからのプリントとスキャンが制限されている場合は、Mopria[®]を使用したプリントとスキャンはできません。
 - ▶パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用する (P. 718)
 - ▶部門別 ID 管理を有効にする (P. 737)

AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する

EJ83-0C8

AirPrint とは、Apple 製機器の OS に標準搭載されているプリント機能です。専用アプリやドライバーをインストールすることなく、AirPrint 対応アプリからプリントできます。

また、Mac から AirPrint を使用してプリントできます。Mac の場合は、スキャンとファクス送信もできます。



Works with

Apple AirPrint

🔗 iPhone/iPad/iPod touch の場合 (P. 668)

🔗 Mac の場合 (P. 669)

重要

本機がユーザー認証／部門別 ID 管理中の場合

- ユーザー情報や部門 ID が不明なパソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信が制限されている場合は、AirPrint は使用できません。
 - 🔗 パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用する (P. 718)
 - 🔗 部門別 ID 管理を有効にする (P. 737)

iPhone/iPad/iPod touch の場合

本機と LAN 接続またはダイレクト接続されている iPhone/iPad/iPod touch から、AirPrint を使用してプリントします。

動作環境

AirPrint は、以下の iPhone/iPad/iPod touch で使用できます。

- iPhone：3GS 以降
- iPad：すべてのモデル
- iPod touch：第 3 世代以降

必要な準備

- AirPrint を使用できるように本機を設定します。🔗 **AirPrint を使用するための準備 (P. 656)**
- iPhone/iPad/iPod touch と本機を接続します。🔗 **モバイル機器を本機に接続する (P. 661)**
- 必要に応じて、プリント設定をプリセットとして登録します。🔗 **IPP プリントの設定を登録する (P. 672)**

1 iPhone/iPad/iPod touch で、プリントするデータを開く

2 プリントするデータを開いたアプリの [📎] をタップする

→メニューオプションが表示されます。

3 [プリント] をタップする

→プリントオプションが表示されます。

プリントオプションが表示されない場合は、アプリが AirPrint に対応していません。その場合は、AirPrint を使用してプリントできません。

4 [プリンタ] をタップし、本機を選択する

5 プrint の設定をする

- 設定できる項目や使用できる用紙サイズは、使用するアプリによって異なります。
- 登録されているプリント設定（プリセット）を呼び出して設定することもできます。

6 [プリント] をタップする

→プリントが開始されます。

操作パネルの  [状況確認] からプリント状況や履歴を確認できます。 [▶プリント状況や履歴を確認する \(P. 392\)](#)

メモ

- AirPrint のプリントデータに問題があり、データどおりにプリントできない場合に、操作パネルの画面にエラーメッセージを表示することができます。 [▶\[AirPrint のエラーを表示\] \(P. 986\)](#)
- パソコンからのプリントデータをすぐにプリントしないように本機が設定されている場合は、AirPrint のプリントデータも本機に留め置かれます。その場合は、本機を操作してプリントを実行する必要があります。 [▶強制的に留め置かれた文書をプリントする \(P. 384\)](#)

Mac の場合

本機と同一の LAN にネットワーク接続されている Mac や、本機と USB 接続されている Mac から、AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信します。

動作環境

AirPrint は、以下の OS がインストールされている Mac で使用できます。

- プリント：Mac OS X 10.7 以降^{*1}
- スキャン：OS X 10.9 以降^{*2}
- ファクス送信：OS X 10.9 以降

^{*1} 本機と USB 接続してプリントする場合は、OS X 10.9 以降

^{*2} TLS 暗号化通信でスキャンする場合は、OS X 10.11 以降

必要な準備

- AirPrint を使用できるように本機を設定します。 [▶AirPrint を使用するための準備 \(P. 656\)](#)
- Mac と本機を接続します。 [▶ネットワークの設定 \(P. 91\)](#)
USB 接続の場合は、本機の右側面奥にあるパソコン接続用の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。 [▶背面 \(P. 35\)](#)

- Mac の [システム設定] ▶ [プリンタとスキャナ] で、[プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加] をクリックして本機を登録します。
- 必要に応じて、プリント設定をプリセットとして登録します。▶ **IPP プリントの設定を登録する (P. 672)**

- ▶ **AirPrint を使用してプリントする (P. 670)**
- ▶ **AirPrint を使用してスキャンする (P. 670)**
- ▶ **AirPrint を使用してファクス送信する (P. 671)**

AirPrint を使用してプリントする

1 Mac で、プリントする文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、[プリント] をクリックする

→ プリントダイアログが表示されます。

3 [プリンタ] で本機を選択する

4 プリントの設定をする

- 設定できる項目や使用できる用紙サイズは、使用するアプリによって異なります。
- 登録されているプリント設定（プリセット）を呼び出して設定することもできます。

5 [プリント] をクリックする

→ プリントが開始されます。

操作パネルの  [状況確認] からプリント状況や履歴を確認できます。▶ **プリント状況や履歴を確認する (P. 392)**

メモ

- AirPrint のプリントデータに問題があり、データどおりにプリントできない場合に、操作パネルの画面にエラーメッセージを表示することができます。▶ **[AirPrint のエラーを表示] (P. 986)**
- パソコンからのプリントデータをすぐにプリントしないように本機が設定されている場合は、AirPrint のプリントデータも本機に留め置かれます。その場合は、本機を操作してプリントを実行する必要があります。▶ **強制的に留め置かれた文書をプリントする (P. 384)**

AirPrint を使用してスキャンする

1 本機に原稿をセットする ▶ **原稿のセット方法 (P. 196)**

2 Mac で、[システム設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする

→ [プリンタとスキャナ] 画面が表示されます。

3 本機を選択する

4 [スキャナを開く] をクリックする

→ [スキャナ] 画面が表示されます。

5 スキャンの設定をする

6 [スキャン] をクリックする

→ スキャンが開始されます。

メモ

スキャンできない場合

- 本機がオンライン（スキャン待機状態）でない可能性があります。操作パネルの [ホーム] 画面で [リモートスキャナー] を押して、オンラインにしてから操作をお願いします。

AirPrint を使用してファクス送信する

1 Mac で、送信する文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、[プリント] をクリックする

→ プリントダイアログが表示されます。

3 [プリンタ] で本機を選択する

プリンター名の末尾に「Fax」が付いている方を選択します。

4 [宛先] にファクス番号を入力する

5 [ファクス] をクリックする

→ ファクスが本機を経由して送信されます。

操作パネルの [ 状況確認] から送信状況や履歴を確認できます。④ **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 551)**

IPP プリントの設定を登録する

EJ83-0C9

IPP プリントの設定をプリセットとして登録します。登録したプリセットは、プリント時に呼び出すことができます。プリセットには、部数／両面プリント／仕上げの設定などを登録できます。また、文書をユーザーボックスに保存することもできます。

※プリセットは最大 10 個まで登録できます。

プリセットは、パソコンからリモート UI を使用して登録します。操作パネルを使用して設定することはできません。Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする [▶ リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [▶ リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [プリンター] ▶ [IPP 印刷のプリセット管理] をクリックする
→ [IPP 印刷のプリセット管理] 画面が表示されます。
- 4 [プリセットの追加] をクリックする
→ [プリセットの追加] 画面が表示されます。
- 5 プリセット名を入力する
- 6 [プリセットを有効にする] にチェックマークを付ける
- 7 必要に応じて、プリセットの設定を優先するかどうかを設定する
[プリセットの設定を優先する] にチェックマークを付けると、プリント時の設定がプリセットの設定で上書きされます。

8 [プリセットに設定する項目] で、プリント設定をする

IPP印刷のプリセット管理 > プリセットの追加

プリセットの追加

追加 キャンセル

プリセット

プリセット名: (半角64文字以内)

☐ プリセットを有効にする

☐ プリセットの設定を優先する

プリセットに設定する項目

* 設定しない項目にはジョブ投入時のデバイスの設定状態が適用されます。

選択	項目名	設定値の変更
☐	部数	1 (1~9999)
☐	両面プリント	しない ▼
☐	ホチキス	なし ▼
	ホチキス位置	左上 ▼
☐	パンチ	しない ▼
	パンチ位置	左 ▼
☐	トナー節約	しない ▼

9 [追加] をクリックする

→ [IPP 印刷のプリセット管理] 画面に、登録したプリセットが追加されます。

10 リモート UI からログアウトする

メモ

登録したプリセットを編集する

- [IPP 印刷のプリセット管理] 画面で、編集したいプリセット名をクリックすると、設定内容を編集できます。

Android からプリント／スキャンする

EJ83-0CA

プリント機能がある任意のアプリからプリントとスキャンができます。

- ①専用プラグインを使用してプリント／スキャンする - Canon Print Service (P. 674)
- ②OS の標準機能を使用してプリント／スキャンする - デフォルト印刷サービス (P. 674)

また、メーカー共通で使用できる Mopria®のプラグインを使用して、プリントとスキャンをすることもできます。③Mopria®を使用してプリント／スキャンする (P. 667)

専用プラグインを使用してプリント／スキャンする - Canon Print Service

キヤノンの専用プラグインである「Canon Print Service」を使用して、任意のアプリからプリントとスキャンができます。部門別 ID 管理にも対応しています。部門 ID が不明なプリントが制限されている場合も、部門 ID を設定することでプリントが可能です。

対応 OS／ダウンロード

キヤノンホームページを参照してください。

<https://global.canon/psmp/>

使用方法

- モバイル機器と本機を接続します。④モバイル機器を本機に接続する (P. 661)
- Canon Print Service に本機を登録します。
モバイル機器と本機を LAN で接続している場合は、本機を登録する際に、本機の IP アドレスの情報がが必要です。IP アドレスは、操作パネルの [ホーム] 画面 ▶ [モバイルポータル] ▶ [LAN 接続] で確認できます。
- 本機の登録方法やプリント方法については、オンラインマニュアルサイトの「モバイルアプリ」から、Canon Print Service のマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

OS の標準機能を使用してプリント／スキャンする - デフォルト印刷サービス

OS に標準搭載されている機能である「デフォルト印刷サービス」を使用して、任意のアプリからプリントとスキャンができます。

使用している Android のバージョンがデフォルト印刷サービスに対応している場合に、専用アプリや専用プラグインをインストールすることなくプリントとスキャンが可能です。

使用方法

- 本機の Mopria®機能を有効にします。④Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備 (P. 659)
- モバイル機器と本機を接続します。④モバイル機器を本機に接続する (P. 661)
- モバイル機器に Canon Print Service と Mopria® Print Service がインストールされていないこと、または無効になっていることを確認します。
- 対応 OS やプリント方法については、以下のホームページを参照してください。

<https://support.google.com/android/>

重要

本機がユーザー認証／部門別 ID 管理中の場合

- ユーザー情報や部門 ID が不明なパソコンからのプリントとスキャンが制限されている場合は、デフォルト印刷サービスを使用したプリントとスキャンはできません。
 - ➡ パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用する (P. 718)
 - ➡ 部門別 ID 管理を有効にする (P. 737)

Chrome OS からプリント／スキャンする

EJ83-0CC

Chromebook など、Chrome OS を搭載している機器では、専用アプリやプリンタードライバーをインストールすることなく、プリントとスキャンができます。

使用方法

- 本機の Mopria[®]機能または IPP Everywhere 機能を有効にします。▶**Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備 (P. 659)**
- Chrome OS 搭載機器と本機を接続します。▶**ネットワークの設定 (P. 91)**
USB 接続の場合は、本機の右側面奥にあるパソコン接続用の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。▶**背面 (P. 35)**
- プrint／スキャン方法については、Chromebook のヘルプページを参照してください。

<https://support.google.com/chromebook/answer/7225252/>

重要

本機がユーザー認証／部門別 ID 管理中の場合

- ユーザー情報や部門 ID が不明なパソコンからのプリントとスキャンが制限されている場合は、Chrome OS からのプリントとスキャンはできません。
 - ▶**パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用する (P. 718)**
 - ▶**部門別 ID 管理を有効にする (P. 737)**

Windows 10 Mobile からプリントする

EJ83-OCE

Windows 10 Mobile を搭載している Windows Phone では、専用アプリやプリンタードライバをインストールすることなく、プリントできます。

使用方法

- Windows Phone と本機を接続します。➡ **モバイル機器を本機に接続する (P. 661)**
- プリント方法については、Windows 10 Mobile のヘルプを参照してください。

重要

Windows 10 Mobile からのプリントができない場合

- 以下のいずれかの場合は、Windows 10 Mobile からのプリントはできません。
 - 本機の WSD 機能（WSD 印刷／WSD 参照／マルチキャスト探索のいずれか）が制限されている場合 ➡ **LPD/RAW/WSD を設定する (P. 842)**
 - 本機がセキュリティポリシーを適用している場合に、[WSD ポートを制限する(ポート番号: 3702、60000)] または [SLP ポートを制限する(ポート番号: 427)] が有効なとき ➡ **セキュリティポリシーの項目 (P. 855)**
 - 本機がユーザー認証／部門別 ID 管理中の場合に、ユーザー情報や部門 ID が不明なパソコンからのプリントが制限されているとき
 - ➡ **パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用する (P. 718)**
 - ➡ **部門別 ID 管理を有効にする (P. 737)**

セキュリティ

セキュリティ	680
ユーザー認証／グループ管理	681
ローカルデバイス認証設定の流れ	685
ログインサービスを確認する	686
ローカルデバイスにユーザー情報を登録する	687
[ユーザーの追加] / [ユーザー情報の編集] 画面	694
CSV ファイルを使用したユーザー情報の編集	697
IPP プリントの情報を各ユーザーに関連付ける	700
Universal Print の情報を各ユーザーに関連付ける	703
外部サーバー認証設定の流れ	706
認証サーバー情報を登録する	707
認証機能やログイン画面を設定する	716
[基本設定の編集] 画面	720
パーソナライズ機能の利用	724
パーソナライズ機能を有効／無効にする	725
パーソナライズできる項目一覧	726
部門 ID によるグループ管理 - 部門別 ID 管理	728
管理者用の部門 ID／暗証番号を変更する	730
部門 ID／暗証番号を登録する	732
部門別 ID 管理を有効にする	737
部門 ID ごとの使用状況を確認する	739
パソコンにユーザー管理情報を設定する	741
宛先をグループで共有する - ユーザーグループ	745
マイフォルダーを設定する	749
ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用する	753
複数のキヤノン複合機で同じ設定を使用する - パーソナライズデータの同期	755
同期を開始／終了する（クライアント機）	758
同期するキヤノン複合機を変更する	762
ユーザー設定情報を削除する	763
ネットワークの保護	764
ファイアウォールを設定する	765
プロキシを使用する	773
副回線のプロキシを設定する	775
TLS を使用する	777
IPSec を使用する	780
IEEE 802.1X を使用する	786

鍵と証明書を管理／検証する	789
鍵と証明書を生成する	790
鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する	792
鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する	795
証明書の発行要求状況にエラーが表示された場合	800
発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する	802
S/MIME 証明書を登録する	804
受信した証明書の検証方法を設定する	805
誤送信／漏えい／改ざんの防止	807
指定できる宛先を制限する	808
ファクス送信を制限する／宛先を確認する	812
メモリーメディアの使用を制限する	815
プリントを制限する	817
パソコンからのプリントを禁止する	818
パソコンからの文書をすぐにプリントしないようにする - 強制留め置き	819
パソコンからのプリントを暗号化セキュアプリントに限定する	823
受信したファクスをすぐにプリントしないようにする	824
ファクスボックスを設定する	827
スキャンデータに電子署名を付ける	829
メールを S/MIME で暗号化する	833
接続先の SFTP サーバーを認証する	835
不正使用の防止	836
アドレス帳の使用を制限する	837
リモート UI を使用できないようにする	840
パソコンと USB 接続できないようにする	841
LPD/RAW/WSD を設定する	842
HTTP 通信を使用できないようにする	844
本機データの保護	845
本機に保存されるデータ	846
環境に適したセキュリティ設定	847
セキュリティ通知を設定する	848
セキュリティポリシーの導入	849
セキュリティポリシー設定をパスワードで保護する	850
セキュリティポリシーを設定する	852
本機に適用されているセキュリティポリシーを確認する	854
セキュリティポリシーの項目	855
ログの管理	861

セキュリティ

本機は、通信を伴う機能やさまざまなデータを扱う情報機器です。ネットワーク環境で使用する場合の不正アクセス防止対策をはじめ、情報の漏えいなどのセキュリティリスクへの対策が不可欠です。

本機には、こうした脅威や脆弱性を低減するための機能や設定が用意されています。使用環境や利用状況に合わせて適切に設定／運用することで、より安全に本機を使用できます。

ユーザー／グループの管理

本機を使用するユーザーまたはグループを管理したり、使用時に認証を行ったりすることで、第三者による操作や不正アクセスを防ぎます。

➡ユーザー認証／グループ管理 (P. 681)

環境に応じた設定

ネットワークセキュリティに関する設定を、使用環境に合わせて適用することで、不正アクセスや盗聴などの脅威を低減できます。

➡ネットワークの保護 (P. 764)

セキュリティを一括設定したり、環境変化を通知したりする機能も用意されています。

➡環境に適したセキュリティ設定 (P. 847)

利用状況に応じた対策

たとえば、ファクス／スキャンデータの送信機能を利用する場合は、誤送信や情報漏えいを防ぐ対策が必要です。また、アドレス帳やリモート UI の不正使用を防ぐには、暗証番号による保護や使用制限の設定などが有効です。本機の利用状況に合わせ、運用も含めた対策を実施することで、セキュリティを向上させます。

➡誤送信／漏えい／改ざんの防止 (P. 807)

➡不正使用の防止 (P. 836)

本機に保存されているデータの保護

本機のストレージに保存されているさまざまなデータは暗号化されています。さらに、機密情報の暗号化や、システム検証／保護により、より安全にデータを管理できます。

➡本機のデータ保護 (P. 845)

セキュリティポリシーによる統合的な管理

セキュリティに関する複数の設定を、ポリシーに従ってまとめて設定／管理できます。

➡セキュリティポリシーの導入 (P. 849)

ログによる利用状況の確認

ログの収集を開始すると、本機の使用状況の詳細情報が記録されるようになります。万が一のときに追跡ができるほか、本機の不正使用の早期発見にもつながります。

➡ログの管理 (P. 861)

ユーザー認証／グループ管理

EJ83-0CH

本機を使用するユーザーを管理したり、使用時に認証を行ったりすることで、第三者による操作や不正アクセスを防ぎます。ユーザーの管理には、通常は User Authentication という認証アプリケーション（ログインサービス）が使用されます。User Authentication では、ユーザーごとに登録した「ユーザー名」と「パスワード」を使用してユーザーの認証を行います。ユーザー認証を利用すると、本機の利用制限や設定の最適化をユーザーごとに行うこともできます。

ユーザー認証を行う場合は、まず認証先を決定し、ログイン方法、ユーザーに適用するロール、利用する機能を検討のうえ、必要な設定を行います。

- ① 認証先 (P. 681)
- ② ログイン方法 (P. 682)
- ③ ロール (P. 683)
- ④ ユーザー認証時に利用できる機能 (P. 683)

重要

- 以下の認証方式を User Authentication に限定する（以下の認証にシステム管理部門 ID を使用しない）場合は、[部門 ID と暗証番号による認証の禁止] を [ON] に設定します。④ **【部門 ID と暗証番号による認証の禁止】 (P. 1177)**
 - パソコンからドライバーを介して本機を利用するとき
 - デバイス管理ソフトウェアから本機にアクセスするとき

認証先

以下の 2 種類の認証先を利用できます。

ローカルデバイス（本機）

ユーザー情報を本機のデータベースで管理します。これを、ローカルデバイス認証と呼びます。

ユーザー情報は、1 件ずつ登録するほか、ユーザー情報が保存されたファイルを読み込み、まとめて登録することもできます。

最大 5,001 件のユーザー情報を登録できます。

ローカルデバイス認証のみを行う場合は、部門別 ID 管理を併用して、ユーザーをグループ単位で管理することもできます。

- ④ **ローカルデバイス認証設定の流れ (P. 685)**

外部認証サーバー

以下のサーバーを外部認証サーバーとして使用できます。

- Active Directory がインストールされた Windows Server
- Microsoft Entra ID を使用するクラウドサーバー
- LDAP サーバー

サーバーに登録されているユーザー情報を利用した管理が可能です。これを、外部サーバー認証と呼びます。

- ④ **外部サーバー認証設定の流れ (P. 706)**

※使用できる Active Directory／LDAP サーバー／Microsoft Entra ID については、認証機能の仕様を参照してください。④ **認証機能 (P. 64)**

ログイン方法

ローカルデバイスの登録ユーザーは、以下のログイン方法を利用できます。外部認証サーバーの登録ユーザーは、キーボード認証のみ利用できます。シンプルログインやリモート UI へのログインは、二要素認証に対応しています。

※デバイス管理ソフトウェアなどのネットワークからのアクセスは二要素認証でのログインに対応していません。

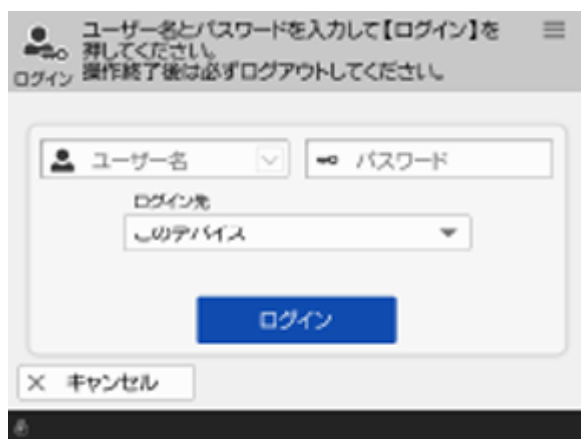
シンプルログイン



ローカルデバイスの登録ユーザーが利用できるログイン方法です。操作パネルに表示されるユーザー名を選択してログインするため、ユーザー名を入力する手間が省けます。暗証番号／パターンの入力を必須にして、不正なログインを防ぐこともできます。

※操作パネルに表示されるユーザー数は、最大 200 ユーザーです。

キーボード認証



認証先にかかわらず利用できるログイン方法です。操作パネルに表示されるキーボードを使用し、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。ユーザー名とパスワードが数字の場合は、テンキー入力だけでログインできるように設定できます。

メモ

リモート UI へのログイン

- パソコンの Web ブラウザーを使用してログインします。➡[リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)

ロール

ユーザー認証を利用すると、権限（ロール）をユーザーごとに設定して、ユーザーができる操作を制御できます。

設定できるロール

担当業務に応じたロールをユーザーに付与することで、多岐にわたる本機の管理タスクを分担して運用することができます。

GeneralUser	一般ユーザーです。
DeviceAdmin	一般ユーザーができる操作のほか、プリント／スキャン／ファクス／コピーなどの基本機能に関する設定や、デバイス情報に関する設定を変更できます。
NetworkAdmin	一般ユーザーができる操作のほか、ネットワークに関する設定を変更できます。
Administrator	本機のすべての操作をすることができます。

※「DeviceAdmin」と「NetworkAdmin」で変更できる設定の詳細については、以下を参照してください。

➡ [【設定/登録】メニュー一覧 \(P. 957\)](#)

Active Directory／LDAP サーバー／Microsoft Entra ID の属性の利用

外部サーバー認証を利用する場合、サーバーの属性を利用してロールを決定できます。その属性に登録されている文字列をそのままロール名として使用できるほか、条件を設定し、その条件に該当する場合に特定のロールを割り当てることもできます。

ACCESS MANAGEMENT SYSTEM によるロールの設定

ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を利用できる環境では、ロールごとに使用できる機能を割り当てたり、新しいロールを作成したりできます。

➡ [ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用する \(P. 753\)](#)

ユーザー認証時に利用できる機能

ユーザー認証時は、各ユーザーが本機をスムーズに操作するための、以下の機能や設定を利用できます。

ユーザーごとに設定を最適化 - パーソナライズ

ユーザー認証を利用するときは、初期設定でパーソナライズ機能が有効になっています。これにより、ユーザーが変更した本機の各種設定がユーザーごとに保存され、ログインするたびに適用されます。ユーザーは、毎回同じ設定や操作をする必要がなくなり、スムーズに本機を利用できます。 ➡ [パーソナライズ機能の利用 \(P. 724\)](#)

グループ単位でのユーザー管理 - 部門別 ID 管理

部門別 ID 管理は、ローカルデバイスの登録ユーザーを、所属部署などのグループ（部門 ID）にまとめて管理するための機能です。

部門別 ID 管理を利用すると、部門 ID ごとに使用状況を確認できるほか、プリントできるページ数の制限や、暗証番号による利用ユーザーの制限ができます。これにより、本機の運用方法の見直しや、コスト意識／セキュリティーの向上に役立てることができます。

部門 ID ごとに共通ユーザーを登録し、複数のユーザーがその共通ユーザーを利用するといった運用も可能です。

部門別 ID 管理を利用するには、システム管理者情報の設定や、部門 ID の登録／設定を行ったうえで、部門別 ID 管理を有効にする必要があります。

➡部門 ID によるグループ管理 - 部門別 ID 管理 (P. 728)

※宛先表を複数のユーザーで共有する場合は、部門別 ID 管理ではなく、ユーザーグループを使用します。 ➡宛先をグループで共有する - ユーザーグループ (P. 745)

個人専用フォルダーの利用 - マイフォルダー

マイフォルダーは、ログインユーザーが使用できる、個人専用のフォルダーです。共有フォルダーやファイルサーバー上のフォルダーを、マイフォルダーとして指定できます。

マイフォルダーの指定方法は、管理者があらかじめ選択します。各ユーザーは、この指定方法に従ってマイフォルダーを利用します。

➡マイフォルダーを設定する (P. 749)

ローカルデバイス認証設定の流れ

EJ83-0CJ

ローカルデバイス認証を利用する場合は、以下の流れで設定します。

Step 1

ログインサービスが User Authentication であることを確認します。

➡ ログインサービスを確認する (P. 686)



Step 2

ユーザー情報を登録します。

➡ ローカルデバイスにユーザー情報を登録する (P. 687)



Step 3

ログイン方法や認証先を設定して、ユーザー認証を開始します。

➡ ログイン方法／認証先を設定する (P. 716)

必要に応じて、ログイン画面の表示方法や、ユーザー認証の適用範囲を設定します。パーソナライズ機能を使用しない場合は、無効にします。

➡ ログイン画面の表示方法を設定する (P. 717)

➡ パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用する (P. 718)

➡ パーソナライズ機能を有効／無効にする (P. 725)



Step 4

パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用した場合は、本機を使用する各パソコンにユーザー情報を設定します。

➡ パソコンにユーザー管理情報を設定する (P. 741)

部門別 ID 管理をする場合

上記の設定後、システム管理者情報の設定や部門 ID の登録／設定を行い、部門別 ID 管理を有効にする必要があります。 ➡ 部門別 ID 管理の流れ (P. 729)

ログインサービスを確認する

EJ83-0CK

ログインサービスが User Authentication であることを確認します。

ログインサービスは、パソコンからリモート UI を使用して確認します。操作パネルを使用して確認することはできません。Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする [▶ リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [▶ リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [ユーザー管理] [▶](#) [認証管理] [▶](#) [認証サービス情報] をクリックする
→ [認証サービス情報] 画面が表示されます。
- 4 ログインサービスが User Authentication であることを確認する
- 5 リモート UI からログアウトする

ローカルデバイスにユーザー情報を登録する

EJ83-0CL

ローカルデバイス認証を利用するには、本機のデータベースにユーザー情報を登録する必要があります。
ユーザー情報を 1 件ずつ登録するほか、ユーザー情報が保存されたファイルを読み込み、まとめて登録することもできます（インポート）。また、登録済みのユーザー情報を、CSV ファイルとしてパソコンに保存することもできます（エクスポート）。

- ① ユーザー情報を登録する (P. 687)
- ② ユーザー情報をエクスポートする (P. 689)
- ③ ユーザー情報のインポートに使用するファイルの準備 (P. 690)
- ④ ユーザー情報を自動で定期インポートする (P. 691)
- ⑤ ユーザー情報を手動でインポートする (P. 692)

メモ

シンプルログインを使用するユーザーを自動登録する

- パソコンから留め置きプリントするときのユーザー情報を利用して、ユーザーを自動登録できます。この機能を利用するには、ユーザーの登録方法の設定で [ジョブ投入時に自動で登録] を有効にします。➡ **【ユーザーの登録方法】 (P. 1149)**

管理者ユーザー「Administrator」を使用しない場合

- 初期設定では、ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーが登録されています。このユーザーは削除できません。このユーザーを使用しない場合は、Administrator 権限を持つユーザーを追加したあとで、「Administrator」のユーザーを無効にします。

ユーザー情報を登録する

ローカルデバイスにユーザー情報を 1 件ずつ登録します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して登録する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  **設定/登録** ▶ **管理設定** から登録します。➡ **【認証ユーザーの登録/編集】 (P. 1145)**

Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 **【ユーザー管理】** ▶ **【認証管理】** をクリックする
→ [ユーザー管理] 画面が表示されます。
- 4 **【ユーザーの追加】** をクリックする
→ [ユーザーの追加] 画面が表示されます。

5 [ユーザー名] にユーザー名を入力する

6 使用するログイン方法に応じて、認証情報を設定する

認証管理：ユーザー管理 > ユーザーの追加

ユーザーの追加

追加 キャンセル

認証情報

ユーザー名： (32文字以内)

キーボード認証

パスワード： (32文字以内)

確認入力：

☐ パスワードを無期限にする

☒ 次回ログイン時にパスワードを変更する

シンプルログイン

暗証番号： (最大16桁)

確認入力：

リモートUI認証

キーボード認証でログインする場合

「キーボード認証」で、ログイン時に入力するパスワードを設定します。「パスワード」と「確認入力」の両方に同じパスワードを入力します。

- パスワードの有効期限を設定しない場合は、「パスワードを無期限にする」にチェックマークを付けます。
- ユーザーが初めてログインするときに、強制的にパスワードを変更させる場合は、「次回ログイン時にパスワードを変更する」にチェックマークを付けます。ユーザーがパスワードを変更すると、自動的にチェックマークが外れます。
- 設定するパスワードの強度を確認するために、パスワードの強度メーターを表示させることができます。 [▶](#)
「パスワード強度メーターを使用」 (P. 1152)

シンプルログインでログインする場合

暗証番号の入力を求める場合は、「シンプルログイン」で、暗証番号を半角数字で設定します。「暗証番号」と「確認入力」の両方に同じ暗証番号を入力します。

7 部門 ID を設定する

部門別 ID 管理を利用しない場合は、手順 8 に進みます。

1. 「部門 ID の設定」をクリックする

→ 「部門 ID の設定」画面が表示されます。

2. 一覧から部門 ID を選択する

部門 ID を新しく登録する場合は、[新規部門の登録] をクリックし、部門 ID/暗証番号を入力して、[追加] をクリックします。🔗[部門 ID/暗証番号を登録する \(P. 732\)](#)

3. [OK] をクリックする

※ユーザーに設定した部門 ID を削除したときは、設定の変更が必要です。🔗[ユーザーに部門 ID を設定する \(P. 733\)](#)

8

必要に応じて、ユーザー情報の入力やその他の設定をする 🔗 [\[ユーザーの追加\]](#) / [\[ユーザー情報の編集\]](#) 画面 (P. 694)

- ユーザーの権限（ロール）を設定する場合は、[ロール設定] で権限を選択します。選択しない場合は、デフォルトロールが設定されます。

※デフォルトロールは、初期設定では「GeneralUser」です。デフォルトロールは変更できます。🔗[\[ユーザー登録時のデフォルトロール\]](#) (P. 1147)

- ユーザーの有効/無効を設定する場合は、[ユーザーアカウント設定] で各項目を設定します。

9

[追加] をクリックする

→ユーザー情報が登録されます。

10

リモート UI からログアウトする

メモ

一般ユーザーでログインしてユーザー情報を変更する

- GeneralUser 権限を持つユーザーでリモート UI にログインした場合は、[設定/登録] ▶ [\[ユーザー管理\]](#) ▶ [\[認証管理\]](#) をクリックすると、自分の以下の情報を変更できます。

- [パスワード] / [暗証番号] / [アイコン画像]
- [メールアドレス]

※認証機能の [その他の設定] の [管理者権限をもたないユーザーによる設定変更] で、メールアドレスの設定が許可されている必要があります。🔗[\[基本設定の編集\]](#) 画面 (P. 720)

ユーザー情報をエクスポートする

ローカルデバイスに登録されているユーザー情報を、User Authentication フォーマットの CSV ファイルにエクスポートします。エクスポートした CSV ファイルは、編集して、ユーザー情報をインポートするときに使用できます。

エクスポートは、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用してエクスポートすることはできません。Administrator 権限が必要です。

1

リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗 [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)

2

リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗 [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

3

[\[ユーザー管理\]](#) ▶ [\[認証管理\]](#) をクリックする

→[ユーザー管理] 画面が表示されます。

- 4 [エクスポート] をクリックする
- 5 ファイル形式を選択する
- 6 [エクスポート開始] をクリックし、CSV ファイルをパソコンに保存する
- 7 リモート UI からログアウトする

メモ

- エクスポートした CSV ファイルを編集するときは、CSV ファイルの記述ルールに従います。🔗[CSV ファイルを使用したユーザー情報の編集 \(P. 697\)](#)

ユーザー情報のインポートに使用するファイルの準備

ユーザー情報をファイルからインポートするときは、インポート方法に応じて、適切なフォーマットのファイルを準備する必要があります。

ファイルのフォーマット

ユーザー情報を自動で定期インポートするときは、User Authentication フォーマットのファイルを使用できます。手動でインポートするときは、以下の3つのフォーマットのファイルを使用できます。

User Authentication フォーマット (*.csv)

User Authentication で使用できるファイル形式で作成されたユーザー情報です。

- 本機に登録されているユーザー情報をエクスポートすると、このフォーマットの CSV ファイルに保存されます。
🔗[ユーザー情報をエクスポートする \(P. 689\)](#)
- この CSV ファイルを直接編集し、インポートできます。🔗[CSV ファイルを使用したユーザー情報の編集 \(P. 697\)](#)

Simple Device Login フォーマット (*.ldif)

SSO-H のローカルデバイス認証を使用しているキヤノンの複合機からエクスポートされたユーザー情報です。

インポート方法による記述内容の違い

インポートの設定時には、以下のいずれかのインポート方法を指定します。指定するインポート方法により、準備するファイルの内容に留意する必要があります。

差分インポート

ローカルデバイスに登録済みのユーザー情報と比較して、差分のみをインポートします。

完全インポート

インポートするファイルに記述されているユーザー情報をすべてインポートします。

- ファイルに記述されているユーザー名と同じユーザーがローカルデバイスに登録されている場合は、インポートしたユーザー情報に上書きされます。
- ファイルに記述されていないユーザーは、ローカルデバイスから削除されます。
※初期設定で登録されているユーザー「-----」と「Administrator」は、インポートファイルに記述されていなくても残ります。

メモ

- インポートする CSV ファイル内に重複した情報が存在する場合は、先に読み込まれた情報が優先して登録されます。

ユーザー情報を自動で定期インポートする

ユーザー情報が保存されたファイルを定期的にインポートして、ローカルデバイスにユーザーを追加したり、登録ユーザーの情報を変更／削除したりします。一度、定期インポートの設定をしておけば、ファイルが更新されたときに、自動で更新内容を反映できます。

定期インポートの設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。Administrator 権限が必要です。

必要な準備

- インポートするファイルを準備します。🔗[ユーザー情報のインポートに使用するファイルの準備 \(P. 690\)](#)
- 準備したファイルの保存場所を決め、その場所に保存します。
※定期インポートの設定をしたあとは、そのファイルを更新します。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗[リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗[リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [インポート] ▶ [自動インポート設定] をクリックする
→ [自動インポート設定] 画面が表示されます。
- 4 [自動インポートを使用する] にチェックマークを付ける
- 5 インポートするファイルを設定する
 1. インポートするファイルの保存先を入力する
 - [ホスト名] に、ファイルの保存先のホスト名または IP アドレスを入力します。
 - [ファイルへのパス] に、ファイルの保存先へのパスを入力します。
 - 認証が必要なパスは [ホスト名] に含めて設定します。
入力例：
\\192.168.1.21\share
 2. ユーザー名とパスワードを入力する
[ユーザー名] と [パスワード] に、ファイルの保存先にログインするためのユーザー名とパスワードを入力します。
 3. [接続テスト] をクリックし、設定したファイルに接続できることを確認する
- 6 [ファイル更新確認間隔] で、インポートするファイルを確認する間隔を分単位で設定する

7 インポート方法を選択する

8 設定後すぐにインポートを実行する場合は、[設定の更新と同時に自動インポートする] にチェックマークを付ける

9 [更新] をクリックする

→ 設定に従って、インポートが自動で実行されます。

※手順 8 で [設定の更新と同時に自動インポートする] にチェックマークを付けた場合は、[更新] をクリックした直後にもインポートが実行されます。

※本機に電源が入っていない場合や、スリープ状態になっているなどの理由で指定したタイミングでインポートを実行できない場合は、復帰後に実行されます。

10 リモート UI からログアウトする

重要

- SMB v3.0 暗号化通信に非対応のサーバーを利用している場合、ユーザー情報取得時に通信経路上は平文で流れます。ご注意ください。

ユーザー情報を手動でインポートする

ユーザー情報が保存されたファイルを手動でインポートして、ローカルデバイスにユーザーを追加したり、登録ユーザーの情報を変更／削除したりします。

インポートは、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用してインポートすることはできません。Administrator 権限が必要です。

必要な準備

- インポートするファイルを準備します。🔗[ユーザー情報のインポートに使用するファイルの準備 \(P. 690\)](#)

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗[リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗[リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [インポート] ▶ [手動インポート設定] をクリックする

→ [手動インポート設定] 画面が表示されます。

4 [ファイルのパス] で、[ファイルの選択] をクリックし、インポートするファイルを指定する

5 [ファイル形式] で、インポートするファイルのフォーマットを選択する

6 インポート方法を選択する

7 [適用タイミング] で、インポートするタイミングを選択する

[日時を指定して適用する] を選択した場合は、[日付/時刻を指定] または [時刻のみ指定] を選択し、インポートを実行する日付や時刻を入力します。時刻は 24 時間形式で入力します。

8 [インポート開始] をクリックする

→ 設定に従って、インポートが実行されます。

※本機に電源が入っていない場合や、スリープ状態になっているなどの理由で指定したタイミングでインポートを実行できない場合は、復帰後に実行されます。

9 インポートが完了したら、リモート UI からログアウトする

メモ

- インポートした CSV ファイルに本機に登録されていない部門 ID (dept_id) の記述があった場合は、インポート完了後に [未登録部門 ID の確認] ボタンが表示されます。そのボタンをクリックし、部門 ID を登録します。

[ユーザーの追加] / [ユーザー情報の編集] 画面

EJ83-0CR

リモート UI に Administrator 権限を持つ管理者ユーザーでログインし、[設定/登録] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] をクリックして、[ユーザーの追加] またはユーザー名の [編集...] をクリックすると、[ユーザーの追加] / [ユーザー情報の編集] 画面が表示されます。

この画面では、ローカルデバイスにユーザー情報を新規登録したり、登録済みのユーザー情報を編集したりします。

[認証情報]

ユーザー名と、ログイン方法に応じた認証情報を設定します。

[ユーザー名]

ユーザー名を入力します。半角/全角を使用できます。

[キーボード認証]

[パスワード] / [確認入力]

キーボード認証でログインするときのパスワードを、[パスワード] と [確認入力] の両方に入力します。

※登録済みのユーザー情報を編集する場合は、[パスワードを変更する] にチェックマークを付けてから入力します。

※設定/変更するパスワードの強度を確認するために、パスワードの強度メーターを表示させることができます。▶

[パスワード強度メーターを使用] (P. 1152)

[パスワードを無期限にする]

パスワードに有効期限を設定しない場合は、チェックマークを付けます。

[次回ログイン時にパスワードを変更する]

ユーザーが初めてログインするときに、強制的にパスワードを変更させる場合は、チェックマークを付けます。ユーザーがパスワードを変更すると、自動的にチェックマークが外れます。

[シンプルログイン]

[暗証番号] / [確認入力]

シンプルログインを二要素認証にした場合に、ユーザーに暗証番号の入力を求めるときは、暗証番号を半角数字で入力します。[暗証番号] と [確認入力] の両方に入力します。

※登録済みのユーザー情報を編集する場合は、[暗証番号を変更する] にチェックマークを付けてから入力します。

※登録済みのパターンを削除する場合は、[パターンを削除する] にチェックマークを付けます。

[リモート UI 認証]

[二要素認証を使用する]

リモート UI にログインするときに、ワンタイムパスワードの入力（二要素認証）を使用する場合は、チェックマークを付けます。

※ログインユーザー本人のユーザー情報を編集する場合にのみ設定できます。

[ユーザー情報]

[表示名] / [よみ:]

登録するユーザーの名前と読みがなを入力します。

表示名は、シンプルログインや強制留め置きで表示されるユーザー名、メール送信時の送信者名に使用されます。

[E メールアドレス]

ユーザーのメールアドレスを入力します。

スキャンデータを送信したときは、ここで入力したアドレスが送信者名とともに表示されます。また、[自分へ送信] を押して文書を送るときにも、このアドレスが使用されます。Iファクスを送信した場合は、このアドレスが送信者の情報として、受信側の機器で Sender 行に表示されます。

[アイコン画像]

シンプルログインで表示されるアイコンを設定します。

[アイコン画像の設定] をクリックし、一覧から画像を選択して、[更新] をクリックします。

※画像を選択する画面で、[アイコン画像のインポート] をクリックすると、画像ファイル (*.jpg/*.jpeg/*.png) をインポートできます。

- 画像のサイズが 54 ピクセル × 54 ピクセル以上の場合は、タテヨコの比率を保ったまま縮小されます。
- 画像が正方形ではない場合に生じる余白には背景色が適用されます。

[IPP 印刷情報]

IPP プリントと関連付けるために、IPP プリントで使用しているユーザー名またはメールアドレスを設定します。

※ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [IPP 印刷の設定] が有効な場合に設定できます。

※ローカルデバイスに登録されている各ユーザーが自分で設定したり、管理者が CSV ファイルを使用して一括設定したりすることもできます。🔗 [IPP プリントの情報を各ユーザーに関連付ける \(P. 700\)](#)

[Universal Print 情報]

Universal Print と関連付けるために、Microsoft 365 アカウントで使用しているメールアドレスまたは電話番号などを設定します。

※ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [Universal Print の設定] が有効な場合に設定できます。

※ローカルデバイスに登録されている各ユーザーが自分で設定したり、管理者が CSV ファイルを使用して一括設定したりすることもできます。🔗 [Universal Print の情報を各ユーザーに関連付ける \(P. 703\)](#)

[部門 ID の設定]

部門別 ID 管理を行う場合は、ユーザーが所属する部門 ID を設定します。

[部門 ID の設定] をクリックし、一覧から部門 ID を選択して、[OK] をクリックします。

※部門 ID を選択する画面で、[新規部門の登録] をクリックすると、部門 ID を新しく登録できます。▶ **部門 ID／暗証番号を登録する (P. 732)**

※ユーザーに設定した部門 ID を削除したときは、設定の変更が必要です。▶ **ユーザーに部門 ID を設定する (P. 733)**

[ロール設定]

ユーザーの権限（ロール）を選択します。▶ **ロール (P. 683)**

[ユーザーアカウント設定]

[ユーザーアカウントの有効期限を設定する]

ユーザーの有効期限を設定する場合は、チェックマークを付け、有効期限を入力します。

[ユーザーアカウントを無効にする]

ユーザーを一時的に無効にする場合は、チェックマークを付けます。

[ユーザーグループの関連付け]

ユーザーをユーザーグループに所属させる場合は、一覧からユーザーグループを選択し、[追加] をクリックします。

※部門 ID をユーザーグループとして利用する場合、この設定は表示されません。

メモ

一般ユーザーでログインした場合

- GeneralUser 権限を持つユーザーでリモート UI にログインした場合は、[設定/登録] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] をクリックすると、自分の以下の情報を変更できます。

- [パスワード] ／ [暗証番号]
- [二要素認証を使用する]
- [表示名]
- [E メールアドレス]

※認証機能の [その他の設定] の [管理者権限をもたないユーザーによる設定変更] で、メールアドレスの設定が許可されている必要があります。▶ **[基本設定の編集] 画面 (P. 720)**

- [アイコン画像]

CSV ファイルを使用したユーザー情報の編集

EJ83-0CS

ローカルデバイスのユーザー情報をインポート／エクスポートするときに使用する、User Authentication フォーマットの CSV ファイルの記述について説明します。

エクスポートした CSV ファイルを直接編集して、User Authentication で管理するユーザー情報を追加／編集することができます。

① エンコードと記述ルール (P. 697)

② 記述内容（カラム） (P. 697)

エンコードと記述ルール

- CSV ファイルで対応しているエンコードは、UTF-8、SJIS、BIG5、GB2312、韓国語です。
- CSV ファイルの先頭の行はカラム行です。2 行目以降がユーザー情報です。
- 各カラムは順不同です。
- エクスポートした CSV ファイルでは、以下の条件のいずれかを満たす文字列が [] で囲まれています。CSV ファイル編集時、以下の条件を満たす文字列を新たに追加するときは [] で囲みます。
 - 0 から始まる数字
 - 12 桁以上の数字
 - [] で囲まれた文字列

記述内容（カラム）

CSV ファイルに記述されるカラムは、以下のとおりです。

uid	ユーザー名です。 インポート時は必ず指定します。 1 文字 ~ 32 文字の半角／全角を使用できます。 制御文字、半角スペースおよび \/:*? <>[]; , = + @ " は使用できません。 ※設定によっては、「@」は使用できます。➡ 【ユーザー名に「@」の使用を許可】 (P. 1148)
password	キーボード認証でログインする場合に使用するパスワードです。 0 文字 ~ 32 文字の、ISO8859-15 の文字を使用できます。 • エクスポート時は「*****」（* 8 つ）が出力されます。 • パスワードを更新する場合は、「*****」を削除し、新しいパスワードで上書きします。 • 差分インポート時に入力を省略すると、既存ユーザーは元のパスワードを引き継ぎます。 • 「*****」のままインポートすると、SMB サーバーとして公開しているアドバンスドボックスにアクセスするときに、認証に失敗することがあります。
pin	シンプルログインで、ユーザーに暗証番号の入力を求める場合の暗証番号です。 1 桁 ~ 16 桁の半角数字で指定します。 • エクスポート時は「*****」（* 7 つ）が出力されます。 • 暗証番号を更新する場合は、「*****」を削除し、新しい暗証番号で上書きします。 • 差分インポート時に入力を省略すると、既存ユーザーは元の暗証番号を引き継ぎます。
cn	ユーザーの表示名です。シンプルログインや強制留め置きで表示されるユーザー名、メール送信時の送信者名に使用されます。 0 文字 ~ 32 文字で指定します。制御文字は使用できません。

cn;lang-ja;phonetic	表示言語で「日本語」を選択している場合の、ユーザーの表示名の読みがなです。 0文字～32文字で指定します。
mail	ユーザーのメールアドレスです。 0文字～256文字の半角英数字および記号を使用できます。
avatorImgPath（変更不可）	アイコンの画像設定時に自動で設定されます。
dept_id	部門別ID管理を行う場合の、ユーザーが所属する部門IDです。 7桁以下の半角数字で指定します。
dept_pin	部門IDの暗証番号です。 7桁以下の半角数字で指定します。
roleName	ユーザーの権限（ロール）です。 本機に登録されているロール名を指定します。入力を省略した場合や、本機に登録されていないロール名を指定した場合は、デフォルトロールが設定されます。 ※デフォルトロールは、初期設定では「GeneralUser」です。デフォルトロールは変更できます。 🔗 【ユーザー登録時のデフォルトロール】 (P. 1147)
cardId1	0文字～128文字の半角英数字および記号を使用できます。 - 大文字／小文字の区別はしません。 - 他のユーザーや「cardID2」と重複した場合は、空欄で設定されます。
issueNumber1	半角数字 0～2147483647 の範囲で指定します。
cardId2	0文字～128文字の半角英数字および記号を使用できます。 - 大文字／小文字の区別はしません。 - 他のユーザーや「cardID1」と重複した場合は、空欄で設定されます。
issueNumber2	半角数字 0～2147483647 の範囲で指定します。
accountExpires	アカウントの有効期限です。 有効期限を設定するときは、YYYYMMDD形式で指定します。インポート後、自動的に時間として「235959」が補完されます。
accountDisabled	アカウントの状態（有効／無効）です。 0（有効）または1（無効）を指定します。
group	ユーザーが所属するユーザーグループです。 本機に登録されているユーザーグループ名を指定します。複数のユーザーグループに所属させる場合は、「 」で区切って指定します（最大10件まで）。
createDate	ユーザーの登録日時です。シンプルログインの、登録順のソートに使用されます。 - エクスポート時は「YYYYMMDDhhmmssmmm」の形式で出力されます。 ※文字化け防止のため、先頭に「T」が付与されます。 - インポート時は、以下のいずれかの形式で指定します。 - YYYYMMDDhhmmssmmm - YYYYMMDDhhmmssmmm - YYYYMMDD - YYYYMMDD - インポート時に入力を省略すると、以下のとおり設定されます。 - 新規ユーザーの場合は、インポート日時が登録日時となります。 - 既存ユーザーの場合は、元の登録日時を引き継ぎます。
lastLoginDate	ユーザーの最終ログイン日時です。ユーザーのログインの有無と、ユーザー自動削除の判定に使用されます。 - エクスポート時は「YYYYMMDDhhmmssmmm」の形式で出力されます。 ※文字化け防止のため、先頭に「T」が付与されます。 - インポート時は、以下のいずれかの形式で指定します。 - YYYYMMDDhhmmssmmm

	• TYYYYMMDDhhmmssmmm • YYYYYMMDD • TYYYYMMDD • インポート時に入力を省略すると、以下のとおり設定されます。 • 新規ユーザーの場合は、最終ログイン日時が空欄となります。 • 既存ユーザーの場合は、元の最終ログイン日時を引き継ぎます。
dc（変更不可）	以下のユーザーに自動で設定されます。 • サーバー認証後に登録されたユーザー • シンプルログインの「ジョブ投入時に自動で登録」で登録されたユーザー
uuid（変更不可）	ユーザー登録時に自動で設定されます。
sdl_digest（変更不可）	パスワード登録／変更時に自動で生成されます。
uac_advbox_digest1（変更不可）	パスワード登録／変更時に自動で生成されます。
uac_advbox_digest2（変更不可）	パスワード登録／変更時に自動で生成されます。
pin_digest（変更不可）	暗証番号登録／変更時に自動で生成されます。
server_user_flg（変更不可）	サーバー認証後に登録されたユーザーの識別フラグです。
server_user_gp_key（変更不可）	サーバー認証後に登録されたユーザーの所属グループです。
server_user_gp_value（変更不可）	サーバー認証後に登録されたユーザーの所属グループです。
non_expire_password	パスワードの有効期限の設定（有効／無効）です。 0（無効）または1（有効）を指定します。
next_password_change_required	ユーザーが初めてログインするときに、強制的にパスワードを変更させる設定（有効／無効）です。 0（無効）または1（有効）を指定します。
second_factor	シンプルログイン時に、二要素認証として設定しているログイン方法です。 1（暗証番号）または2（パターン）を指定します。 • 暗証番号とパターンの両方を設定している場合は、最後に設定したほうの値が記載されます。 • 暗証番号とパターンの両方とも設定していない場合は、無効として反映されます。 • パターンによるログインを設定時に、「second_factor」を「1（暗証番号）」に設定し、暗証番号（pin）を入力して CSV ファイルをインポートすると、暗証番号によるログインに切り替わります。
CharSet:<エンコード>	CSV ファイルのエンコードです（カラム行のみ）。 例：SJIS の場合 カラム行が「CharSet:SJIS」となります。

IPP プrint の情報を各ユーザーに関連付ける

EJ83-0CU

ローカルデバイスに登録されているユーザーと、IPP プリントを利用するユーザーの情報を関連付けて管理できるようにします。

※IPP プリントは、本設定を行わなくても利用できます。

- ①各ユーザーが自分のユーザー情報を設定する (P. 700)
- ②管理者が各ユーザーのユーザー情報を設定する (P. 700)
- ③管理者が CSV ファイルを使用して一括設定する (P. 701)

各ユーザーが自分のユーザー情報を設定する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。

- 1 リモート UI にログインする ④リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ④リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] をクリックする
→ [ユーザー情報の変更] 画面が表示されます。
- 4 [IPP 印刷情報] で、ユーザー情報を設定する
[IPP 印刷のユーザー名またはメールアドレス] に、IPP プリントで使用しているユーザ名またはメールアドレスを入力します。
- 5 [更新] をクリックする
→ 設定が反映されます。
- 6 リモート UI からログアウトする

管理者が各ユーザーのユーザー情報を設定する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ④リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [🔗 リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] をクリックする

→ [ユーザー管理] 画面が表示されます。

4 設定するユーザーの [編集...] をクリックする

→ [ユーザー情報の編集] 画面が表示されます。

ユーザーが未登録の場合は、[編集...] の代わりに [ユーザーの追加] をクリックし、新規ユーザー情報の登録時に [IPP 印刷情報] を設定します。 [🔗 ローカルデバイスにユーザー情報を登録する \(P. 687\)](#)

5 [IPP 印刷情報] で、ユーザー情報を設定する

[IPP 印刷のユーザー名またはメールアドレス] に、IPP プリントで使用しているユーザ名またはメールアドレスを入力します。

6 [更新] をクリックする

→ 設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

管理者が CSV ファイルを使用して一括設定する

CSV ファイルを編集して、ローカルデバイスに登録されているユーザーと、IPP プリントを利用するユーザーの情報を関連付けることができます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。Administrator 権限が必要です。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする [🔗 リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [🔗 リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [IPP 印刷の設定] をクリックする

→ [IPP 印刷の設定] 画面が表示されます。

4 [エクスポート開始] をクリックし、CSV ファイルをパソコンに保存する

IPP プリントと関連付けられているユーザー情報が 1 件も登録されていない場合は、[関連付けの追加] をクリックし、関連付けられているユーザーを追加してから [エクスポート開始] をクリックします。

5 エクスポートされた CSV ファイルを編集する

- 「uid」 に、ローカルデバイスに登録されているユーザーの名前を入力します。
- 「ipp_user_name」 に、IPP プリントで使用しているユーザ名またはメールアドレスを入力します。

6 [インポート] をクリックする

→ [関連付けのインポート] 画面が表示されます。

7 [ファイルのパス] で、[ファイルの選択] をクリックし、編集した CSV ファイルを指定する

8 [インポート開始] をクリックする

→ インポートが実行されます。

9 インポートが完了したら、リモート UI からログアウトする

Universal Print の情報を各ユーザーに関連付ける

EJ83-0CW

ローカルデバイスに登録されているユーザーと、Universal Print を利用するユーザーの情報を関連付けて管理できるようにします。

※Universal Print は、本設定を行わなくても利用できます。

- ①各ユーザーが自分のユーザー情報を設定する (P. 703)
- ②管理者が各ユーザーのユーザー情報を設定する (P. 704)
- ③管理者が CSV ファイルを使用して一括設定する (P. 705)

メモ

シンプルログインを使用するユーザーを自動登録する

- Microsoft 365 アカウントからプリントするときの以下のユーザー情報を、自動で登録できます。この機能を利用するには、ユーザーの登録方法の設定で「ジョブ投入時に自動で登録」を有効にします。➡ [\[ユーザーの登録方法\]](#) (P. 1149)

例：Microsoft 365 アカウントが「user1@example.com」の場合

- ユーザー名
user1@example.com
- Universal Print の設定
 - ユーザー名：user1
 - Microsoft 365 アカウント：example.com

※シンプルログイン時には以下のように表示されます。



※ユーザー名に「@」を使用できるように設定している場合は、ユーザー名を「user1@example.com」として登録できます。➡ [\[ユーザー名に「@」の使用を許可\]](#) (P. 1148)

各ユーザーが自分のユーザー情報を設定する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。

- 1 リモート UI にログインする ➡ [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] をクリックする
→ [ユーザー情報の変更] 画面が表示されます。

- 4 [Universal Print 情報] で、ユーザー情報を設定する
[Universal Print のユーザー名] に、Microsoft 365 アカウントで使用しているメールアドレスまたは電話番号などを
入力します。
- 5 [更新] をクリックする
→ 設定が反映されます。
- 6 リモート UI からログアウトする

管理者が各ユーザーのユーザー情報を設定する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] をクリックする
→ [ユーザー管理] 画面が表示されます。
- 4 設定するユーザーの [編集...] をクリックする
→ [ユーザー情報の編集] 画面が表示されます。

ユーザーが未登録の場合は、[編集...] の代わりに [ユーザーの追加] をクリックし、新規ユーザー情報の登録時に
[Universal Print 情報] を設定します。 ➡ **ローカルデバイスにユーザー情報を登録する (P. 687)**
- 5 [Universal Print 情報] で、ユーザー情報を設定する
[Universal Print のユーザー名] に、Microsoft 365 アカウントで使用しているメールアドレスまたは電話番号などを
入力します。
- 6 [更新] をクリックする
→ 設定が反映されます。
- 7 リモート UI からログアウトする

管理者が CSV ファイルを使用して一括設定する

CSV ファイルを編集して、ローカルデバイスに登録されているユーザーと、Universal Print を利用するユーザーの情報を関連付けることができます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする [▶ リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [▶ リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [Universal Print の設定] をクリックする
→ [Universal Print の設定] 画面が表示されます。
- 4 [エクスポート開始] をクリックし、CSV ファイルをパソコンに保存する
Microsoft 365 アカウントと関連付けられているユーザー情報が 1 件も登録されていない場合は、[関連付けの追加] をクリックし、関連付けられているユーザーを追加してから [エクスポート開始] をクリックします。
- 5 エクスポートされた CSV ファイルを編集する
 - 「mcp_uid」に、ローカルデバイスに登録されているユーザーの名前を入力します。
 - 「azureaccount_name」に、Microsoft 365 アカウントで使用しているメールアドレスまたは電話番号などを入力します。
- 6 [インポート] をクリックする
→ [関連付けのインポート] 画面が表示されます。
- 7 [ファイルのパス] で、[ファイルの選択] をクリックし、編集した CSV ファイルを指定する
- 8 [インポート開始] をクリックする
→ インポートが実行されます。
- 9 インポートが完了したら、リモート UI からログアウトする

外部サーバー認証設定の流れ

EJ83-0CX

外部サーバー認証を利用する場合は、以下の流れで設定します。

Step 1

本機の DNS 設定が完了していること、日付と時刻が正しく設定されていることを確認します。

- ➡ DNS を設定する (P. 118)
- ➡ 日付／時刻を設定する (P. 870)



Step 2

ログインサービスが User Authentication であることを確認します。

- ➡ ログインサービスを確認する (P. 686)



Step 3

使用する Active Directory／LDAP サーバー／Microsoft Entra ID へのアクセス情報を手元に用意し、認証サーバー情報を登録します。

- ➡ 認証サーバー情報を登録する (P. 707)



Step 4

ログイン方法や認証先を設定して、ユーザー認証を開始します。

- ➡ ログイン方法／認証先を設定する (P. 716)

必要に応じて、ログイン画面の表示方法や、ユーザー認証の適用範囲を設定します。パーソナライズ機能を使用しない場合は、無効にします。

- ➡ ログイン画面の表示方法を設定する (P. 717)
- ➡ パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用する (P. 718)
- ➡ パーソナライズ機能を有効／無効にする (P. 725)



Step 5

パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用した場合は、本機を使用する各パソコンにユーザー情報を設定します。

- ➡ パソコンにユーザー管理情報を設定する (P. 741)

認証サーバー情報を登録する

EJ83-0CY

外部認証サーバーとして、Active Directory／LDAP サーバー／Microsoft Entra ID を利用する場合は、使用するサーバー情報を登録します。

サーバー情報は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。操作パネルを使用して登録することはできません。Administrator 権限が必要です。登録の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- DNS や日付／時刻の設定など、Active Directory／LDAP サーバー／Microsoft Entra ID の使用に必要な設定が完了している必要があります。
 - ➡ DNS を設定する (P. 118)
 - ➡ 日付／時刻を設定する (P. 870)
- 使用する Active Directory／LDAP サーバー／Microsoft Entra ID へのアクセス情報を手元に用意します。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [サーバー設定] ▶ [編集...] をクリックする
→ [サーバー設定の編集] 画面が表示されます。

認証管理：環境設定：サーバー設定 > サーバー設定の編集

サーバー設定の編集

更新 キャンセル

認証サーバー

Active Directory

☒ Active Directoryを利用する

ドメインリストの設定：
☒ 自動で取得する
☐ 手動で設定する
 Active Directory管理...

☐ サイト内アクセスモードを利用する
 * Active Directoryのサイト情報を取得して、サイト内のドメインにアクセスできるように設定します。

サイト情報の取得タイミング：
☒ 初回取得時のみ
☐ デバイス起動ごと
 * Active Directoryのサイト情報を取得するタイミングを設定します。

サイトのアクセス範囲：
☒ デバイスが所属するサイトのみ
☐ デバイスが所属するサイト以外へもアクセス
 * サイト情報を参照して、ドメインにアクセスするためのサイトの範囲を設定します。

サービスチケットのキャッシュ数：
 (0~10)

LDAPサーバー

☒ LDAPサーバーを利用する
 LDAPサーバー管理...

Microsoft Entra ID

☒ Microsoft Entra IDを利用する

ドメイン：
 設定されていません。
 ドメインの設定... ドメインの削除

Google Workspace

☒ Google Workspaceを利用する

ドメイン名/顧客ID：
 設定されていません。
 ドメインの設定... ドメインの削除

Active Directory 情報を自動取得する場合

1. [Active Directory を利用する] にチェックマークを付ける
2. [ドメインリストの設定] で、[自動で取得する] を選択する
3. Active Directory へのアクセス方法やキャッシュの数を設定する

[サイト内アクセスモードを利用する]

複数の Active Directory サーバーがある場合に、本機が所属するサイト内の Active Directory に優先してアクセスするときは、チェックマークを付けます。

必要に応じて、[サイト情報の取得タイミング] と [サイトのアクセス範囲] を変更します。

※ [サイトのアクセス範囲] で [デバイスが所属するサイトのみ] が設定されていても、本機の起動時にドメインコントローラーにアクセスする場合は、本機が所属するサイト以外へもアクセスすることがあります。その場合、通常はサイト内のドメインコントローラーへのアクセスが優先されます。

例外として、サイト内のドメインコントローラーにアクセスできず、サイト外のドメインコントローラーにアクセスできた場合は、サイト外のドメインコントローラーへのアクセスが優先されます。

[サービスチケットのキャッシュ数]

本機が保持できるサービスチケットの数を指定します。

サービスチケットはログインしたことの証となる Active Directory の機能で、同じユーザーが次回ログインするときにかかる時間を短縮することができます。

Active Directory 情報を手動で設定する場合

1. [Active Directory を利用する] にチェックマークを付ける
2. [ドメインリストの設定] で、[手動で設定する] を選択する
3. [Active Directory 管理] ▶ [OK] をクリックする

→ [Active Directory 管理] 画面が表示されます。

4. [ドメインの追加] をクリックする

→ [ドメインの追加] 画面が表示されます。

5. Active Directory 情報を設定する

[ドメイン名]

ログイン先となる Active Directory のドメイン名を入力します。

入力例:

company.domain.com

[NetBIOS 名]

NetBIOS のドメイン名を入力します。

[プライマリホスト名または IP アドレス:] / [セカンダリーホスト名または IP アドレス:]
Active Directory サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。

※セカンダリーサーバーを利用する場合は、[セカンダリーホスト名または IP アドレス:] で指定します。

[ユーザー名] / [パスワード]

Active Directory サーバーにアクセスして検索を行うためのユーザー名とパスワードを入力します。

[検索開始位置]

Active Directory サーバー認証時に、ユーザー情報を検索する位置（階層）を指定します。検索開始位置を指定しない場合は、サーバーに登録されているすべてのユーザー情報が検索対象となります。

6. 属性を設定する

[ログインアカウントに設定する属性]

各ユーザーアカウントのログイン名／表示名／メールアドレスが登録されている属性を、それぞれ入力します。

7. [接続テスト] をクリックし、接続できることを確認する
8. [追加] をクリックする

→ サーバー情報が追加されて、[Active Directory 管理] 画面に戻ります。

9. [戻る] をクリックする

→ [サーバー設定の編集] 画面に戻ります。

10. [サービスチケットのキャッシュ数] で、キャッシュの数を設定する

本機が保持できるサービスチケットの数を指定します。

サービスチケットはログインしたことの証となる Active Directory の機能で、同じユーザーが次回ログインするときにかかる時間を短縮することができます。

LDAP サーバー情報を設定する場合

1. [LDAP サーバーを利用する] にチェックマークを付ける
2. [LDAP サーバー管理] ▶ [OK] をクリックする

→ [LDAP サーバー管理] 画面が表示されます。

3. [サーバーの追加...] をクリックする

→ [LDAP サーバーの追加] 画面が表示されます。

4. LDAP サーバー情報を設定する

認証管理：環境設定：サーバー設定 > サーバー設定の編集 > LDAPサーバー管理 > LDAPサーバーの追加

LDAPサーバーの追加

接続テスト 追加 キャンセル

サーバー名： (24文字以内)

プライマリアドレス： (48文字以内)

ポート番号： (1~65535)

セカンダリーアドレス： (48文字以内)

ポート番号： (1~65535)

コメント： (64文字以内)

☒ TLSを使用する

☒ 認証情報を使用する

* 認証サーバーへログインするユーザー情報を設定します。

ユーザー名： (128文字以内)

パスワード： (128文字以内)

検索開始位置： (128文字以内)

このURLは、使用する属性

[サーバー名]

LDAP サーバーを識別するための名前を入力します。

※「localhost」は使用できません。また、半角スペースをサーバー名に含めることはできません。

[プライマリアドレス] / [セカンダリーアドレス]

LDAP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

入力例：ホスト名の場合

ldap.example.com

※ループバックアドレス（127.0.0.1）は使用できません。

※セカンダリーサーバーを利用する場合は、[セカンダリーアドレス] で指定します。

[ポート番号]

LDAP サーバーとの通信で使用するポート番号を入力します。

※入力を省略した場合は、[TLS を使用する] の設定に応じて、以下のとおり設定されます。

- チェックマークを付けた場合：「636」
- チェックマークを外した場合：「389」

[コメント]

必要に応じて、説明やメモなどを入力します。

[TLS を使用する]

LDAP サーバーとの通信を TLS で暗号化する場合は、チェックマークを付けます。

[認証情報を使用する]

- 認証情報を使用して LDAP サーバー認証する場合は、チェックマークを付け、認証に使用するユーザー名とパスワードを入力します。
- 認証情報を使用せずに匿名で LDAP サーバー認証する場合は、チェックマークを外します。
※LDAP サーバーが匿名アクセスを許可している場合に限りです。

[検索開始位置]

LDAP サーバー認証時に、ユーザー情報を検索する位置（階層）を入力します。

5. 属性を設定する

[認証時に照合する属性]

- ユーザー名が登録されている属性を、[ユーザー名 (キーボード認証)] で入力します。

[ログインアカウントに設定する属性]

各ユーザーアカウントのログイン名／表示名／メールアドレスが登録されている属性を、それぞれ入力します。

6. [ドメイン名の設定方法] で、ログイン先のドメイン名を設定する
ドメイン名が登録されている属性を設定する場合は、[ドメイン名を取得する属性名を指定] を選択し、属性を入力します。
7. [接続テスト] をクリックし、接続できることを確認する
8. [追加] をクリックする

→サーバー情報が追加されて、[LDAP サーバー管理] 画面に戻ります。

9. [戻る] をクリックする

→[サーバー設定の編集] 画面に戻ります。

Microsoft Entra ID 情報を設定する場合

1. [Microsoft Entra ID を利用する] にチェックマークを付ける
2. [ドメインの設定] をクリックする
→ [Microsoft Entra ID のドメインの設定] 画面が表示されます。
3. Microsoft Entra ID 情報を設定する

認証管理：環境設定：サーバー設定 > サーバー設定の編集 > Microsoft Entra IDのドメインの設定

Microsoft Entra IDのドメインの設定

接続テスト 更新 キャンセル

ログイン先の表示名：	Microsoft Entra ID (24文字以内)
ドメイン名：	(255文字以内)
アプリケーションID：	(64文字以内)
シークレット：	(64文字以内)
鍵の名前：	設定されていません。
鍵と証明書：	鍵と証明書... 証明書のエクスポート...
☐ Microsoftのログイン範囲を利用する	
Microsoft Entra ID 認証URL：	https://login.microsoftonline.com (255文字以内) 初期値に戻す
Microsoft Entra ID API URL：	https://graph.microsoft.com (255文字以内) 初期値に戻す

認証時に照合する属性

ユーザー名 (キーボード認証)： (255文字以内)

[ログイン先の表示名:]

ログイン先で表示する名称を入力します。

[ドメイン名]

ログイン先となる Microsoft Entra ID のドメイン名を入力します。

[アプリケーション ID]

アプリケーション（クライアント）ID を入力します。

[シークレット:]

Microsoft Entra ID で発行したシークレットを入力します。[鍵と証明書] を使用する場合は、入力する必要はありません。

[鍵と証明書]

鍵と証明書を使用する場合は、[鍵と証明書] をクリックし、Microsoft Entra ID に登録する証明書を設定します。鍵のアルゴリズムが RSA 2048 bit 以上で署名アルゴリズムが SHA256/SHA384/SHA512 のものを選択します。

[証明書のエクスポート] を押すと、Microsoft Entra ID に登録する証明書をエクスポートできます。

[Microsoft Entra ID 認証 URL] / [Microsoft Entra ID API URL:]

URL を入力します。ご使用のクラウド環境によっては変更する必要があります。[シークレット:] を使用する場合は、入力する必要はありません。

4. 属性を設定する

[ログインアカウントに設定する属性]

[ログイン名]

各ユーザーアカウントのログイン名が登録されている属性を、プルダウンメニューで選択します。

※プルダウンメニューに表示されない属性を指定したい場合は、属性を直接入力することもできます。

- [WindowsLogonName] :

Microsoft Entra ID から displayName を取得します。以下の内容で変更された displayName がログイン名となります。

- displayName から、半角スペースおよび *+,./:;<>=?\[|] の記号が削除されます。
- @および@以降の文字は削除されます。
- 20 文字を超える文字列の場合は、20 文字以内の文字列に変更されます。

例 : displayName が「user.001@example.com」の場合
user001

- [displayName] :

Microsoft Entra ID から取得した displayName がログイン名となります。

- [userPrincipalName] :

Microsoft Entra ID から取得した userPrincipalName がログイン名となります。

- [userPrincipalName-Prefix] :

Microsoft Entra ID から取得した userPrincipalName の@以前がログイン名となります。

例 : userPrincipalName が「user.002@mail.test」の場合
user.002

[表示名] / [メールアドレス]

各ユーザーアカウントの表示名/メールアドレスが登録されている属性を、それぞれ入力します。

5. [ログインアカウントに設定するドメイン名] の [ドメイン名] で、ログイン先のドメイン名を設定する
6. [キーボード認証時のユーザー名入力補完] の [補完するドメイン名:] を設定する
補完するドメイン名を入力します。通常は、[ドメイン名] と同じにします。
7. [接続テスト] をクリックし、接続できることを確認する
8. [更新] をクリックする

→ [サーバー設定の編集] 画面に戻ります。

5 [認証タイムアウト] で、認証開始からタイムアウトするまでの時間を入力する

6 [デフォルトドメイン] で、優先して接続するドメインを指定する

7 [ユーザー情報のキャッシュ] で、ユーザーの認証情報を保持するかどうかを設定する

- 操作パネルからログインしたユーザーの認証情報を保持する場合は、[ログインユーザーの認証情報を保存する] にチェックマークを付けます。手順 5 で設定した時間内に認証サーバーに接続できなかった場合は、キャッシュに保持した認証情報を使用してログインすることができます。
- キーボード認証時にログインしたユーザーの認証情報を保持する場合は、[キーボード認証時のユーザー情報を保存する] にもチェックマークを付けます。チェックマークを付けると、サーバーに接続できない場合でも、保持した認証情報を使用してログインできます。

8 [ロールの関連付け] で、ユーザー情報や権限の設定をする

[参照するユーザー属性]

ユーザーの権限（ロール）を決定するために参照するサーバー上の属性を入力します。

Active Directory/LDAP サーバーの場合

所属グループを示す「memberOf」があらかじめ設定されているため、通常はこのまま使用できます。

Microsoft Entra ID の場合

「Microsoft Entra ID の任意のユーザ属性」「memberOf」「transitiveMemberOf」が設定可能です。

- 「memberOf」を設定した場合は、ユーザが直接所属しているグループのみを取得します。
- 「transitiveMemberOf」を設定した場合は、ユーザが直接所属しているグループに加えて、グループが所属しているグループの情報も取得します。

[適用するロール名を [参照するユーザー属性] から取得する]

[参照するユーザー属性] で指定した属性に登録されている文字列をそのままロール名として使用する場合は、チェックマークを付けます。あらかじめ本機で選択可能なロール名を確認し、サーバー側で登録しておく必要があります。

[適用条件]

ユーザーの権限を決定する条件を設定できます。条件は、上から順に適用されます。

- [一致条件] で、[文字列] との一致条件を選択します。
- [文字列] に、[参照するユーザー属性] で指定した属性に登録されている文字列を入力します。ユーザーの所属グループに応じた権限を設定する場合は、所属グループ名を入力します。
- [ロール] で、条件を満たしたユーザーに適用する権限を選択します。

※Active Directory サーバーを使用する場合は、あらかじめ「Canon Peripheral Admins」グループの所属メンバーが [Administrator] に設定されています。

9 [更新] をクリックする

10 本機を再起動する  再起動する (P. 148)

→ 登録が反映されます。

メモ

認証情報のキャッシュ保存を禁止する

- 外部認証サーバーへのログイン時に入力したパスワードのキャッシュ保存を禁止できます。🔗 [【認証パスワードのキャッシュ保存を禁止】 \(P. 1179\)](#)
- キャッシュ保存を禁止した場合、手順 7 の「ログインユーザーの認証情報を保存する」の設定が自動的に無効になります。手順 7 の設定を有効にする場合は、「ログインユーザーの認証情報を保存する」にチェックマークを付け、認証サーバー情報を更新します。

Active Directory 側で Kerberos ポートのポート番号を変更している場合

- 以下の情報を SRV レコードとして DNS サーバーに登録します。
 - サービス：「_kerberos」
 - プロトコル：「_udp」
 - ポート番号：Active Directory ドメイン（ゾーン）の Kerberos サービスが実際に使用しているポート番号
 - このサービスを提供しているホスト：Active Directory ドメイン（ゾーン）の Kerberos サービスを実際に提供しているドメインコントローラーのホスト名

Microsoft Entra ID にアプリを登録する

以下の手順で Microsoft Entra ID にアプリを登録します。

サービスの更新などによって、登録方法が変更されることがあります。詳しくは、Microsoft のホームページを参照してください。

1 Microsoft Entra ID にログインする

2 ナビゲーションメニューで「Microsoft Entra ID」をクリックする

3 アプリケーションを登録する

1. ナビゲーションメニューで「アプリの登録」▶「新規登録」をクリックする
2. アプリケーションの名称を入力する
任意の名称を入力します。
入力例：
Canon「プリンター名」Login
3. アカウントの種類を選択し、「登録」をクリックする
→ アプリケーション (クライアント) ID が発行されます。
発行された ID をメモします。

4 シークレットを発行する、または証明書を登録する

シークレットを発行する場合

1. ナビゲーションメニューで「証明書とシークレット」をクリックする
2. 「新しいクライアントシークレット」をクリックする
3. 「クライアントシークレットの追加」ダイアログで説明と有効期限を入力し、「追加」をクリックする
→ シークレット ID と値がそれぞれ発行されます。

発行されたシークレットの値をメモします。シークレット ID は不要です。
 ※シークレットの値は一度しか表示されません。メモができなかった場合は、新しいクライアントシークレットを発行します。

証明書を登録する場合

あらかじめ本機の証明書をエクスポートしておく必要があります。証明書は、Microsoft Entra ID の情報を設定するときにエクスポートできます。🔗[認証サーバー情報を登録する \(P. 707\)](#)

1. ナビゲーションメニューで「証明書とシークレット」をクリックする
2. 「証明書のアップロード」をクリックする
3. ファイルを選択し、「追加」をクリックする
 アップロードが完了したら、「拇印」の値をメモします。

5 ナビゲーションメニューで「API のアクセス許可」をクリックする

6 「アクセス許可の追加」をクリックする

7 「API アクセス許可の要求」から「Microsoft Graph」を選ぶ

8 アクセス許可の種類から「委任されたアクセス許可」を選択し、アクセス権を付与する
 以下のアクセス権を付与します。

- User.Read.All
- Group.Read.All
- GroupMember.Read.All

9 アクセス許可の種類から「アプリケーションの許可」を選択し、アクセス権を付与する
 以下のアクセス権を付与します。

- User.Read.All
- User.ReadWrite.All（本機から IC カードを登録・削除する場合）
- Group.Read.All
- GroupMember.Read.All

※IC カード認証を使用する場合や、多要素認証のエラーで本機にログインできない場合に、アクセス権を使用します。使用する機能や環境によっては不要です。

10 「管理者の同意を与えます」をクリックし、「はい」を選択する

→ 選択したアクセス権に管理者の同意が付与されます。

認証機能やログイン画面を設定する

EJ83-0E0

ユーザー認証で使用するログイン方法／認証先や、ログイン画面の表示方法について設定します。パソコンからプリント／スキャン／ファクス送信するときに、ユーザー認証を適用することもできます。

- ① ログイン方法／認証先を設定する (P. 716)
- ② ログイン画面の表示方法を設定する (P. 717)
- ③ パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用する (P. 718)

ログイン方法／認証先を設定する

ユーザー認証で使用するログイン方法や認証先を設定して、ユーザー認証を開始します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [管理設定] から設定します。④ [ユーザー認証を使用] (P. 1146)

Administrator 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- ローカルデバイス認証の場合は、ユーザー情報を登録します。④ [ローカルデバイスにユーザー情報を登録する \(P. 687\)](#)
- 外部サーバー認証の場合は、認証サーバーを登録します。④ [認証サーバー情報を登録する \(P. 707\)](#)

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ④ [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ④ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [基本設定] ▶ [編集...] をクリックする
→ [基本設定の編集] 画面が表示されます。
- 4 [ユーザー認証機能を利用する] にチェックマークを付ける
- 5 [利用する認証機能] で、使用するログイン方法にチェックマークを付ける
[シンプルログイン] にチェックマークを付けると、[キーボード認証] にも自動的にチェックマークが付きます。
※シンプルログインを使用すると、キーボード認証の認証先は常にローカルデバイスになります。認証サーバーの登録ユーザーで本機にログインしたい場合は、シンプルログインを使用しないでください。
- 6 [認証設定] と [その他の設定] で、認証先や認証機能の設定をする ④ [\[基本設定の編集\] 画面 \(P. 720\)](#)

- 手順 5 でチェックマークを付けたログイン方法に従い、[認証設定] の [シンプルログイン] / [IC カード認証] / [キーボード認証] で、認証先の設定をします。
- 必要に応じて、その他の認証機能や、利用を制限する機能などを設定します。

7 [更新] をクリックする

8 本機を再起動する 再起動する (P. 148)

→ 設定が反映されます。

ログイン画面の表示方法を設定する

ログイン画面を表示するタイミングを設定します。画像ファイルを本機にインポートし、ログイン画面の背景画像を変更することもできます。

※ログイン画面の背景としてインポートできる画像は以下のとおりです。

- ファイルサイズ：1024 KB 以下
- ファイルの拡張子：「.jpg」、「.jpeg」、「.png」
- 画像サイズ：640 ピクセル × 442 ピクセル 以下

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  設定/登録  [管理設定] から設定します。  [ログイン画面の表示設定] (P. 1146)

Administrator 権限が必要です。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [ユーザー管理] [認証管理] [操作パネルの設定] [編集...] をクリックする

→ [操作パネルの設定の編集] 画面が表示されます。

4 [ログイン設定] で、ログイン画面を表示するタイミングを設定する

操作を開始するときにログイン画面を表示する場合

[デバイスでの操作開始時にログイン画面を表示する] を選択します。
本機を使用するときにログインが必要となります。

機能を選択したあとにログイン画面を表示する場合

[認証が必要な機能を選択時にログイン画面を表示する] を選択し、ログイン画面を表示させる機能にチェックマークを付けます。

チェックマークを付けた機能を使用するときのみ、ログインが必要となります。

チェックマークを付けなかった機能は、ログインすることなく誰でも使用可能となります。

5 必要に応じて、[ログイン画面の背景設定] で背景画像を設定する

ログイン画面の背景画像を変更する場合は、[カスタム画像のインポート] をクリックし、背景に表示したい画像をインポートしてから [カスタム画像] を選択します。

6 [更新] をクリックする

→ 設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

メモ

- 手順 4 の設定に連動して、ログインユーザーが [状況確認] 画面で他人の以下のジョブを操作できないように制限されます。

[デバイスでの操作開始時にログイン画面を表示する] を選択した場合
受信ジョブ以外のすべてのジョブの操作が制限されます。

[認証が必要な機能を選択時にログイン画面を表示する] を選択した場合
[認証する機能の選択] でチェックマークを付けた機能に該当するジョブの操作が制限されます（受信ジョブは除く）。

例：[ファクス] にチェックマークを付けた場合
送信ジョブの操作が制限されます。

これらの制限をしない場合は、ログイン画面の表示方法を設定したあとに、操作制限の設定を変更します。🔗 [認証ユーザー以外のジョブの操作制限] (P. 1156)

パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用する

パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用して、ユーザーが特定できない場合はこれらの操作が実行されないようにすることができます。

※ユーザー認証を適用した場合、パソコンからプリント／スキャン／ファクス送信をするには、ドライバーにユーザー管理情報を設定する必要があります。🔗 [パソコンにユーザー管理情報を設定する \(P. 741\)](#)

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの [⚙️ 設定/登録] ▶ [管理設定] から設定します。🔗 [ユーザー認証していないリモートジョブの制限] (P. 1147)

Administrator 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗 [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗 [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [基本設定] ▶ [編集...] をクリックする

→ [基本設定の編集] 画面が表示されます。

4 [その他の設定] の [デバイス設定] で、[ユーザー認証していないリモートジョブ] にチェックマークを付ける

5 [更新] をクリックする

6 本機を再起動する ➡ **再起動する (P. 148)**

→ 設定が反映されます。

[基本設定の編集] 画面

リモート UI に Administrator 権限を持つ管理者ユーザーでログインし、[設定/登録] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [基本設定] ▶ [編集...] をクリックすると、[基本設定の編集] 画面が表示されます。

この画面では、ユーザー認証の有効／無効を切り替えるほか、ログイン方法など、ユーザー認証の基本的な設定を行います。

[認証機能の利用]

[ユーザー認証機能を利用する]

ユーザー認証を行う場合は、チェックマークを付けます。

[利用する認証機能]

使用するログイン方法にチェックマークを付けます。

チェックマークを付けたログイン方法について、[認証設定] の [シンプルログイン] / [キーボード認証] で設定します。

※ [シンプルログイン] にチェックマークを付けると、[キーボード認証] にも自動的にチェックマークが付きます。

[認証設定]

それぞれのログイン方法や、その他の認証機能を利用するときに必要な設定をします。

[シンプルログイン]

[利用する認証機能] で [シンプルログイン] にチェックマークを付けた場合は、ユーザーの登録方法やシンプルログインのログイン画面について設定します。

[ユーザーの登録方法]

シンプルログインを使用するユーザーの、本機への登録方法を選択します。

ユーザーを自動登録する場合

パソコンから留め置きプリントするときのユーザー情報を利用して、ユーザーを自動登録する場合は、[ジョブ投入時に自動で登録] にチェックマークを付けます。

登録するユーザー名にドメイン名やコンピューター名を含める場合は、[登録するユーザー名にドメイン名を含める] / [登録するユーザー名にコンピューター名を含める] にもチェックマークを付けます。

ユーザーを手動登録する場合

[設定メニューから手動で登録] にチェックマークを付けます。

[管理者ユーザーの表示]

ログイン画面に管理者権限を持つユーザーを表示するかどうかを設定します。

表示しないように設定した場合は、管理者権限でログインするときにユーザー名とパスワードの入力が必要になるため、不正ログインのリスクを減らすことができます。

- Administrator 権限を持つユーザーを表示する場合は、[ロールが Administrator のユーザー] にチェックマークを付けます。
- 初期設定で登録されている「Administrator」というユーザーを表示する場合は、[Administrator] にチェックマークを付けます。

[シンプルログイン画面のデフォルト表示の変更]

ログイン画面に表示されるユーザーの並び順を選択します。

[暗証番号かパターンを必ず使用:]

ログイン時に暗証番号やパターンの入力を必須にする場合は [ON] にチェックマークを付け、[暗証番号を使用する] / [パターンを使用する] の片方または両方にチェックマークを付けます。

[ジョブ投入による暗証番号とパターンのリセットを許可する]

ユーザーが暗証番号やパターンを連続して間違えたとき、ジョブを投入することで暗証番号やパターンをリセットできるようにするかどうかを設定します。チェックマークを付けると、リセットするかどうかを確認する画面が表示されるようになります。

※ [ユーザーの登録方法] の [ジョブ投入時に自動で登録] にチェックマークが付いている場合にのみ設定できます。

[暗証番号とパターンのリセットおよび E メール通知を許可する]

ユーザーが暗証番号やパターンを連続して間違えたとき、新しい暗証番号やパターンをユーザーのメールアドレスに通知し、ログインできるようにするかどうかを設定します。チェックマークを付けると、リセットするかどうかを確認する画面が表示されるようになります。

※該当ユーザーにメールアドレスが登録されている場合にのみ有効です。

[キーボード認証]

[利用する認証機能] で [キーボード認証] にチェックマークを付けた場合は、認証先やキーボード認証のログイン画面について設定します。

[認証先]

ユーザーの認証先を選択します。

外部認証サーバーを利用する場合は、[サーバー] にチェックマークを付け、サーバーの種類を選択します。

※サーバーの種類で [Microsoft Entra ID] を選択した場合は、ログイン画面右上の  ▶ [サーバー接続確認] でサーバーとの接続確認を行うことができます。

[ログインユーザーのキャッシュ数]

ログイン画面に、過去にログインしたユーザーの履歴がプルダウンメニューで表示されます。この履歴を非表示にする場合は [0] を、直前にログインしたユーザーの履歴のみ表示する場合は [1] を選択します。

[設定メニューのボタン表示]

ログイン画面右上の  からパスワードを変更できるようにする場合は、チェックマークを付けます。

[テンキー入力のみによる認証を使用する]

ユーザー名とパスワードが数字のみの場合に、テンキー入力だけでログインできるようにするときは、チェックマークを付けます。

[以前のパスワードの使用を制限する]

過去に使用したパスワード（履歴として保持しているパスワード）の再使用を制限する場合は、チェックマークを付け、保持する履歴の数を入力します。

[パスワード変更禁止期間を設定する]

パスワードの変更を禁止する期間を設定する場合は、チェックマークを付け、変更禁止期間の日数を入力します。

※ [以前のパスワードの使用を制限する] にチェックマークが付いている場合にのみ設定できます。

[パスワード強度メーターを使用する]

ユーザー情報を登録する／編集するときのパスワード設定画面に、パスワードの強度を確認するメーターを表示する場合は、チェックマークを付け、パスワードの強度を設定します。

[リモート UI 認証]

[認証モード]

リモート UI にログインするときの認証モードを選択します。

- 未登録のユーザーも一般ユーザーとしてログインできるようにする場合は、[ゲスト認証モード] を選択します。
- 管理者権限を持つユーザーのみがログインできるようにする場合は、[管理者認証モード] を選択します。

[二要素認証を必ず使用:]

リモート UI にログインするとき、ワンタイムパスワードの入力（二要素認証）を必須にする場合は、対象ユーザーを [すべてのユーザー] または [管理者ユーザーのみ] から選択します。

[その他の認証]

[Web サービスの認証方式]

Web サービスアプリケーションとの通信時に使用するローカルデバイスの認証方式を選択します。

[TLS を使用する]

Web サービスアプリケーションとの通信を TLS で暗号化する場合は、チェックマークを付けます。

[統合認証]

[統合認証を無効にする]

統合認証とは、ログイン時に使用した認証情報を別のログイン時にも使用する機能です。セッションが有効な期間内で有効です。統合認証を無効にする場合は、チェックマークを付けます。

- 統合認証が有効な場合に、ローカルデバイス認証/LDAP サーバー認証の資格情報を統合認証で使用したくないときは、[ローカルデバイス認証時の資格情報を利用した統合認証を無効にする] や [LDAP サーバー認証時の資格情報を利用した統合認証を無効にする] にチェックマークを付けます。
- 統合認証を無効にした場合は、以下のフォルダーやアドバンスドボックスを操作するときに、個別のユーザー名/パスワード登録が必要です。
 - マイフォルダー
 - LDAP サーバー
 - 共有フォルダー/FTP サーバー/WebDAV サーバー
 - アドバンスドボックス

[その他の設定]

[ユーザー判定条件の設定]

[ユーザー名の大文字/小文字を区別する]

ユーザー名の大文字/小文字を区別する場合は、チェックマークを付けます。

※プリントデータのユーザー判定の設定と合わせて設定することをおすすめします。 ➡ **[ユーザー名の大文字/小文字を区別する] (P. 1129)**

[ユーザー名に「@」の使用を許可する]

ユーザー名に「@」の使用を許可する場合は、チェックマークを付けます。

[ユーザーグループ管理の設定]

[部門 ID をユーザーグループとして利用する]

部門 ID をユーザーグループとして使用する場合は、チェックマークを付けます。 ➡ **宛先をグループで共有する - ユーザーグループ (P. 745)**

[ユーザーの部門 ID 設定]

[ユーザーの登録時に部門 ID を自動的に設定する]

リモート UI でユーザーを登録/編集したときに、自動で部門 ID を登録してユーザーに設定する場合は、チェックマークを付けます。

- 自動で登録/設定される部門 ID は以下のとおりです。

- ユーザー名が7桁以下の数字の場合は、同じ番号を部門IDとして登録／設定します。
- ユーザーに7桁以下の数字でパスワードが登録されている場合は、部門IDの暗証番号として設定されます。
- ユーザー名やパスワードが上記の条件に当てはまらない場合は、「0000001」から始まる連番の部門IDが順に登録／設定されます。暗証番号は設定されません。
- ページ数の制限は設定されません。
- 以下の場合は、部門IDは自動で登録／設定されません。
 - 操作パネルでユーザーを登録／編集した場合
 - シンプルログインの［ジョブ投入時に自動で登録］でユーザーを自動登録した場合
 - すでに部門IDが設定されているユーザーを登録／編集した場合
 - 部門IDが1,000部門登録されている場合
 - ユーザーが1,001人以上登録されている場合

［ユーザーの削除時に部門IDを自動的に削除する］

ユーザーを削除したときに、そのユーザーに設定されている部門IDを自動で削除する場合は、チェックマークを付けます。

- 部門IDに紐づくカウンター集計情報も削除されます。
- 部門IDに登録されているユーザーが他にもいる場合は、自動削除の対象外です。

［デフォルトロールの設定］

［ユーザー登録時のデフォルトロール］

ユーザーの登録時に初期選択されるロールを選択します。

※インポートしたユーザー情報に権限が設定されていない場合などにも適用されます。

［管理者権限をもたないユーザーによる設定変更］

［メールアドレスの設定を許可する］

Administrator権限を持たないユーザーでも、自分のユーザーアカウントにメールアドレスを設定できるようにする場合は、チェックマークを付けます。

［デバイス設定］

［利用を制限する機能］

ユーザー認証の利用中に使用できないようにする機能にチェックマークを付けます。

［ユーザーの自動削除］

［一定期間ログインしていないユーザーを削除する］

ローカルデバイスに登録されているユーザーが一定期間本機にログインしていない場合に、そのユーザーを自動で削除するときは、チェックマークを付けます。［自動削除までの日数］と［自動削除する時刻］に、最終ログイン日から自動削除するまでの日数と、削除を実行する時刻を入力します。

- 初期設定で登録されているユーザー「----」と、Administrator権限を持つ管理者ユーザーは、自動削除の対象外です。
- ［自動削除までの日数］を［0］日に設定した場合は、すべてのユーザーが［自動削除する時刻］で指定した時刻に削除されます（自動削除の対象外のユーザーは除く）。
- 一度もログインしていないユーザーは、その登録日が最終ログイン日として扱われます。
- 本機の電源が入っていない場合やスリープ状態になっているなどの理由で自動削除できなかった場合は、次の起動時に削除します。

［Kerberos 認証時の通信方式の設定］

Kerberos 認証時に使用する通信方式を選択します。

パーソナライズ機能の利用

EJ83-0E2

ユーザー認証を利用するときは、初期設定でパーソナライズ機能が有効になっています。この機能で、自分専用の画面や個別のアドレス帳を使用できます。また、自分が使用した設定が自動で保存されるので、ユーザーは毎回同じ設定や操作をすることなく、スムーズに本機を利用できます。

🔗 [パーソナライズ機能を有効／無効にする \(P. 725\)](#)

🔗 [パーソナライズできる項目一覧 \(P. 726\)](#)

メモ

- パーソナライズ機能でユーザーができることや利用できる機能については、以下を参照してください。

🔗 [自分だけの画面／データを利用する - パーソナライズ \(P. 194\)](#)

パーソナライズ機能を有効／無効にする

EJ83-0E3

パーソナライズは、ログインユーザーが自分に合った設定で本機を利用できる機能です。このパーソナライズ機能の有効／無効を切り替えます。

この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。Administrator 権限が必要です。

必要な準備

- ログイン方法や認証先を設定して、ユーザー認証を開始します。▶ [ログイン方法／認証先を設定する \(P. 716\)](#)

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)
→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [管理設定] ▶ [デバイス管理] ▶ [個人設定] ▶ [個人設定の登録を使用] を押す
→ [個人設定の登録を使用] 画面が表示されます。

4 パーソナライズ機能の有効／無効を選択する

5 [OK] を押す
→ 設定が反映されます。

メモ

- 一部のパーソナライズ機能の利用を制限することもできます。▶ [パーソナライズできる項目一覧 \(P. 726\)](#)

パーソナライズできる項目一覧

EJ83-0E4

パーソナライズ機能が有効な場合に、ログインユーザー個人の設定としてパーソナライズできる項目は以下の表のとおりです。

一部のパーソナライズ機能の利用を制限する

以下の項目は、パーソナライズの可否や利用範囲を項目ごとに設定できます。

- [ホーム] 画面 ➡ [ホーム] 画面のタイムライン表示／操作性を設定する (P. 873)
- 個人宛先表 ➡ [個人宛先表を使用] (P. 1137)
- ユーザーグループ宛先表 ➡ [ユーザーグループ宛先表を使用] (P. 1137)
- 個人別 SSID／ネットワークキー ➡ [SSID/ネットワークキー設定] (P. 1017)

分類	項目	設定／利用方法
画面／初期設定	[ホーム] 画面 ^{*1*2*3} - ボタンや背景の設定 - マイボタン^{*4} - タイムライン^{*5*6}	➡ [ホーム] 画面をカスタマイズする (P. 172) ➡ [ホーム] 画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン (P. 174) ➡ タイムラインの表示と操作 (P. 166)
	機能画面のショートカット ^{*1*2}	➡ スキャン／ファクス／コピーの画面をカスタマイズする (P. 178)
	機能の初期設定 ^{*1*2*5}	➡ 初期設定を変更する (P. 186)
	保存ファイル一覧の並び順 ^{*6} (プリント、スキャンして保存など)	➡ [ネットワーク／メモリーメディア] ファイル選択画面 (P. 643)
設定の履歴 ^{*1*5*6}	スキャンして送信 ^{*7} ファクス コピー	➡ スキャンして送信する (P. 412) ➡ ファクスを送信する (P. 502) ➡ コピーする (P. 565)
	表示／操作性 ^{*1*2}	➡ 表示言語を切り替える (P. 188)
アドレス帳	ログイン後に表示する画面や動作 キーボードの反応速度や画面の色反転（アクセシビリティ）	➡ 自分に合った表示／操作性に変更する - 個人設定 (P. 189)
	個人宛先表 ^{*1} ユーザーグループ宛先表 ^{*1*8}	➡ 宛先表の種類と使用できるアドレス帳 (P. 273)
モバイル機器のダイレクト接続	個人別 SSID／ネットワークキー	➡ 自分に合った表示／操作性に変更する - 個人設定 (P. 189)
認証情報 ^{*1}	鍵束	—

^{*1} パーソナライズ機能を使用するユーザーの数が上限に達した場合の動作が、[古い設定を自動削除] に設定されているときにパーソナライズデータが削除されます。 ➡ [登録可能なユーザー数を超えた場合の処理] (P. 1162)

^{*2} クライアント機がパーソナライズデータを初めて同期する場合、起動までに同期が完了しない可能性があります。

^{*3} エクスポートする場合、[ホームで個人設定を使用] の設定にかかわらず、設定されている個人設定の内容がエクスポートされます。 ➡ [ホームで個人設定を使用] (P. 1163)

^{*4} エクスポート元の機種によっては、インポートできない場合があります。詳細については、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

^{*5} パーソナライズデータを同期する場合に、同期対象から外し、機器固有にすることができます。（サーバー機能を有する複合機で、別途サーバー機としての設定を行う必要があります。）

*6 インポート／エクスポートできません。🔗[アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする \(P. 913\)](#)

*7 パーソナライズデータを同期しても、送信機能の宛先は同期されず、設定されていない状態になります。

*8 ログインサービスがグループ機能に対応している必要があります（User Authentication は対応）。

メモ

鍵束とは

- 本機の使用中に、共有フォルダーや LDAP サーバーを操作するなど、ログイン時の認証情報と異なる認証情報が必要になる場合があります。その場合、初回は認証情報の入力が必要ですが、一度認証に成功すれば次回から入力は不要になります。それらの認証情報はユーザーアカウントに紐づいて鍵束として管理され、電源を切っても保持されます。

複数のキヤノン複合機を同じ設定で使用する

- パーソナライズデータを同期することにより、同一ネットワーク上にある複数のキヤノン複合機を同じ設定で 사용할ようになります。🔗[複数のキヤノン複合機で同じ設定を使用する - パーソナライズデータの同期 \(P. 755\)](#)

部門 ID によるグループ管理 - 部門別 ID 管理

EJ83-0E5

部門別 ID 管理は、ローカルデバイスの登録ユーザーを、所属部署などのグループ（部門 ID）にまとめて管理する機能です。

- ① 部門別 ID 管理でできること (P. 728)
- ② 部門 ID (P. 728)
- ③ 部門別 ID 管理の流れ (P. 729)

部門別 ID 管理でできること

部門別 ID 管理を利用すると、以下のことができるようになります。

セキュリティ強化

- 部門 ID が不明な操作を制限する
- 部門 ID に暗証番号を設定して、ユーザーのログイン時に部門 ID と暗証番号を入力する認証操作を求める (DepartmentID Authentication)
 - ※ユーザー認証には、通常は User Authentication というログインサービスが使用されます。これを DepartmentID Authentication に変更して運用する場合は、ログインサービスを変更します。④ ユーザー認証のログインサービスを変更する (P. 946)

機器使用状況／コスト管理

- プリントなどのページ数を部門 ID 別に集計して確認する
- 部門 ID ごとにプリント／スキャン／コピーできるページ数を設定して、用紙の使用枚数などを管理する

部門 ID

部門別 ID 管理中にユーザーがログインするには、あらかじめそのユーザーに部門 ID を設定しておく必要があります。各部門 ID には、必要に応じて暗証番号とページ数の制限を設定できます。最大 1,000 件の部門 ID を登録できます。

部門 ID と暗証番号

- 部門 ID に暗証番号を設定すると、その部門 ID のユーザーがログインするときに、暗証番号の入力が求められます。(DepartmentID Authentication)
- 7 桁以下の数字で設定します。7 桁未満の数字を入力すると先頭に「0」が追加され、7 桁の数字として設定されます。
- 「00」や「0000000」のように、0 だけの部門 ID や暗証番号は登録できません。

システム管理部門 ID

システム管理部門 ID という管理者用の部門 ID があります。システム管理部門 ID は、その部門 ID と暗証番号があらかじめ登録されています。

システム管理部門 ID には、Administrator 権限を持つユーザーが所属します。部門別 ID 管理の開始後に、Administrator 権限を持つユーザーがログインすると、自動でこの部門 ID が設定されます。

※システム管理部門 ID と暗証番号は、7 桁の入力を必須にすることもできます。詳しくは、お買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

部門別 ID 管理の流れ

部門別 ID 管理を利用する場合は、以下の流れで設定します。

※ユーザー認証と部門別 ID 管理を同時に設定する場合は、ローカルデバイス認証設定の流れを参照してください。 [▶ローカルデバイス認証設定の流れ \(P. 685\)](#)

Step 1

部門別 ID 管理の準備をします。

- ▶管理者用の部門 ID／暗証番号を変更する (P. 730)
- ▶部門 ID／暗証番号を登録する (P. 732)



Step 2

部門別 ID 管理を開始します。

- ▶部門別 ID 管理を有効にする (P. 737)



Step 3

部門 ID が不明なユーザーからの操作を制限した場合は、本機を使用する各パソコンに部門 ID／暗証番号を設定します。

- ▶パソコンにユーザー管理情報を設定する (P. 741)



Step 4

部門別 ID 管理を運用します。

- ▶部門 ID ごとの使用状況を確認する (P. 739)

管理者用の部門 ID／暗証番号を変更する

EJ83-0E6

初期設定では、システム管理部門 ID と暗証番号は、どちらも「7654321」に設定されています。セキュリティーの観点から初期設定のまま使用するのは望ましくありませんので、部門別 ID 管理を開始する前に、システム管理部門 ID と暗証番号を変更します。

※本設定は User Authentication の管理者設定ではありません。User Authentication で管理者権限を持つユーザーを設定する場合は、ユーザーに必要なロールを設定します。🔗[ローカルデバイスにユーザー情報を登録する \(P. 687\)](#)

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して変更する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [管理設定] から変更します。🔗[\[システム管理者情報の設定\] \(P. 1142\)](#)

Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗[リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗[リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [ユーザー管理] ▶ [システム管理者情報/サービス担当者情報の設定] をクリックする
→ [システム管理者情報/サービス担当者情報の設定] 画面が表示されます。
- 4 [現在のシステム管理暗証番号] に、現在設定されている暗証番号を入力する
- 5 [ID/暗証番号設定] で、[ID と暗証番号を設定する] にチェックマークを付ける
- 6 システム管理部門 ID と暗証番号を変更する



設定/登録：管理設定：ユーザー管理 > システム管理者情報/サービス担当者情報の設定

システム管理者情報/サービス担当者情報の設定 最終更新：2023 11/06 7:07:25

本設定ではログインできません。機器情報配信や専用ポート経由のデバイス管理等で使用する場合があります。OK キャンセル

セキュリティ強化のため、[システム管理暗証番号]を設定してください。

現在のシステム管理暗証番号：

ID/暗証番号設定

☒ IDと暗証番号を設定する

システム管理部門 ID： (最大7桁)

☐ 暗証番号を変更する：

システム管理暗証番号： (最大7桁)

確認入力： (最大7桁)

システム管理者情報

システム管理者名 (全角入力可)：

- [システム管理部門 ID] に、新しく設定するシステム管理部門 ID を入力します。

- 暗証番号を変更する場合は、[暗証番号を変更する] にチェックマークを付け、[システム管理暗証番号] と [確認入力] の両方に同じ暗証番号を入力します。

7 必要に応じて、[システム管理者情報] と [サービス担当者情報] を設定する

8 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

9 リモート UI からログアウトする

重要

- システム管理部門 ID と暗証番号は忘れないようにしてください。システム管理部門 ID と暗証番号を忘れた場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

部門 ID／暗証番号を登録する

EJ83-0E7

部門別 ID 管理の対象となる部門 ID を登録します。管理対象となる部門 ID をすべて登録したら、本機に登録されているユーザーに部門 ID を設定します。部門 ID を一括登録／設定することもできます。

- ① 部門 ID を登録する (P. 732)
- ② ユーザーに部門 ID を設定する (P. 733)
- ③ 任意の部門 ID を一括設定する (P. 734)
- ④ 連番の部門 ID を一括登録／設定する (P. 735)
- ⑤ 部門 ID と同名のユーザーを一括登録／設定する (P. 736)

メモ

使用しなくなった部門 ID を自動で削除する

- 認証機能の [その他の設定] の [ユーザーの削除時に部門 ID を自動的に削除する] で、ユーザーを削除することで使用されなくなる部門 ID を、ユーザーと一緒に削除するように設定できます。➡ [【基本設定の編集】画面 \(P. 720\)](#)

部門 ID を登録する

部門 ID を 1 件ずつ登録します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して登録する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録](#) ▶ [管理設定](#) から登録します。➡ [【部門別 ID 管理】 \(P. 1142\)](#)
Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[\[設定/登録\]](#) をクリックする ➡ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [\[ユーザー管理\]](#) ▶ [\[部門別 ID 管理\]](#) ▶ [\[新規部門の登録\]](#) をクリックする
➡ [\[新規部門の登録\]](#) 画面が表示されます。
- 4 部門 ID／暗証番号を設定する
暗証番号を設定する場合は、[\[暗証番号\]](#) と [\[確認入力\]](#) の両方に同じ暗証番号を入力します。暗証番号を設定しない場合は、空欄のままにしておきます。

5 必要に応じて、[制限面数] を設定する

プリント／スキャン／コピーできるページ数を制限する場合は、対象の項目にチェックマークを付け、上限となるページ数を入力します。

6 [OK] をクリックする

→ 部門 ID が登録されます。

7 リモート UI からログアウトする

ユーザーに部門 ID を設定する

ユーザー情報を編集して、部門 ID を設定します。設定時に部門 ID を登録することもできます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの [設定/登録] ▶ [管理設定] から設定します。 [\[認証ユーザーの登録/編集\]](#) (P. 1145)

Administrator 権限が必要です。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] をクリックする

→ [ユーザー管理] 画面が表示されます。

4 設定するユーザーの [編集...] をクリックする

→ [ユーザー情報の編集] 画面が表示されます。

5 [部門 ID の設定] をクリックする

→ [部門 ID の設定] 画面が表示されます。

6 部門 ID を設定する

登録済みの部門 ID を設定する場合

部門 ID の一覧から、ユーザーに設定する部門 ID を選択します。

部門 ID を新規登録して設定する場合

1. [新規部門の登録] をクリックする
→ [新規部門の登録] 画面が表示されます。
2. 部門 ID／暗証番号を設定する
暗証番号を設定する場合は、[暗証番号] と [確認入力] の両方に同じ暗証番号を入力します。暗証番号を設定しない場合は、空欄のままにしておきます。
3. [追加] をクリックする
→ [部門 ID の設定] 画面の部門 ID の一覧に、部門 ID が追加されます。
4. 部門 ID の一覧から、追加された部門 ID を選択する

7 [OK] ▶ [更新] をクリックする

→ 設定が反映されます。

8 リモート UI からログアウトする

任意の部門 ID を一括設定する

ユーザー情報が保存された CSV ファイルに部門 ID を記述し、それをインポートすることで、ユーザーに部門 ID を設定します。未登録の部門 ID をユーザーに設定し、あとからそれらの部門 ID を登録することもできます。

任意の部門 ID を一括設定するには、Administrator 権限が必要です。

1 ユーザー情報が保存された CSV ファイルをエクスポートする ▶ **ユーザー情報をエクスポートする (P. 689)**

2 CSV ファイルに部門 ID を記述する ▶ **CSV ファイルを使用したユーザー情報の編集 (P. 697)**

部門 ID は「dept_id」カラムに、暗証番号は「dept_pin」カラムに記述します。

3 部門 ID を記述した CSV ファイルをインポートする ▶ **ユーザー情報を手動でインポートする (P. 692)**

4 本機に未登録の部門 ID を確認／登録する

リモート UI のポータル画面で [設定/登録] をクリックし、[ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [未登録部門 ID の確認] をクリックします。ユーザー情報として登録されている部門 ID と本機に登録されている部門 ID の照合が行われ、本機に登録されていない部門 ID を確認／登録することができます。

連番の部門 ID を一括登録／設定する

部門 ID を一括登録し、本機に登録済みのユーザーに設定します。

- ユーザー名が 7 桁以下の数字の場合は、同じ番号が部門 ID として登録／設定されます。そのユーザーに 7 桁以下の数字でパスワードが設定されている場合は、部門 ID の暗証番号として設定されます。
- 上記以外の場合は、「0000001」から始まる連番の部門 ID が登録／設定されます。暗証番号は設定されません。

部門 ID の一括登録／設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して登録／設定することはできません。

Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする [▶ リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [▶ リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] をクリックする
→ [ユーザー管理] 画面が表示されます。
- 4 [部門 ID の一括設定] をクリックする
→ [部門 ID の一括設定] 画面が表示されます。
- 5 [設定方法:] で、一括設定の対象となるユーザーを選択する
 - 部門 ID が未設定のユーザーのみを対象とする場合は、[未設定のユーザーのみ] を選択します。
 - すでに部門 ID が設定されているユーザーも含めてすべてのユーザーを対象とする場合は、[すべてのユーザー] を選択します。
- 6 [設定] をクリックする
→ 連番の部門 ID が一括登録／設定されます。
- 7 [戻る] をクリックする
→ [ユーザー管理] 画面に戻ります。
- 8 リモート UI からログアウトする

メモ

リモート UI からのユーザー登録時に部門 ID を自動登録／設定する

- 認証機能の [その他の設定] の [ユーザーの登録時に部門 ID を自動的に設定する] で、リモート UI からユーザーを登録／編集したときに、自動で部門 ID を登録してユーザーに設定するようにできます。 [▶ 【基本設定の編集】画面 \(P. 720\)](#)

部門 ID と同名のユーザーを一括登録／設定する

登録済みの部門 ID と同名のユーザーを本機に一括登録します。部門 ID に暗証番号が設定されている場合は、ユーザーのパスワード／暗証番号として設定されます。

同名ユーザーの一括登録／設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して登録／設定することはできません。

Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ユーザー管理]  [認証管理] をクリックする
→ [ユーザー管理] 画面が表示されます。
- 4 [部門 ID と同名ユーザーの登録] をクリックする
→ [部門 ID と同名ユーザーの登録] 画面が表示されます。
- 5 [登録] をクリックする
→ 部門 ID と同名のユーザーが一括登録／設定されます。
- 6 [戻る] をクリックする
→ [ユーザー管理] 画面に戻ります。
- 7 リモート UI からログアウトする

部門別 ID 管理を有効にする

EJ83-0E8

部門別 ID 管理を開始します。部門別 ID 管理中は、プリントなどのページ数が部門 ID 別に集計されます。パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信に部門別 ID 管理を適用し、部門 ID ごとの使用状況の把握やセキュリティーの向上を図ることもできます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [管理設定] から設定します。  **【部門別 ID 管理】 (P. 1142)**
Administrator 権限が必要です。

必要な準備

- ローカルデバイスの登録ユーザーに部門 ID を設定します。  **部門 ID / 暗証番号を登録する (P. 732)**

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ユーザー管理] ▶ [部門別 ID 管理] ▶ [編集] をクリックする
→ [部門別 ID 管理の編集] 画面が表示されます。
- 4 [部門別 ID 管理をする] にチェックマークを付ける
- 5 必要に応じて、部門 ID が不明なユーザーの操作制限やページのカウント方法を設定する

部門 ID が不明なパソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信を制限する場合
[ID 不定プリンタージョブを許可する] と [ID 不定リモートスキャンジョブを許可する] のチェックマークを外します。
※これらの項目のチェックマークを外した場合、パソコンからプリント／スキャン／ファクス送信をするには、ドライバーにユーザー管理情報を設定する必要があります。  **パソコンにユーザー管理情報を設定する (P. 741)**

B4 より大きいサイズの手紙の片面を 2 ページ分としてカウントする場合
[ラージ 2 カウントで管理する] にチェックマークを付けます。

6 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

メモ

その他の機能を管理する (DepartmentID Authentication)

- ログインサービスを DepartmentID Authentication に設定している場合は、手順 5 でプリント／コピー以外の機能を制限することもできます。
プリント／コピー以外の機能を制限する場合は、[ファンクション制限] で制限する機能にチェックマークを付けます。

部門 ID ごとの使用状況を確認する

EJ83-0E9

部門別 ID 管理中に実行したプリントやコピーなどのページ数を、部門 ID ごとに確認できます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して確認する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [管理設定] から確認します。  **[部門別 ID 管理]** (P. 1142) Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ユーザー管理] ▶ [部門別 ID 管理] をクリックする
→ [部門別 ID 管理] 画面が表示されます。
- 4 [部門 ID のカウント面数] で、使用状況を確認する



部門ID	ユーザー名	トータル	カラー	白黒	トータル	カラー	白黒	トータル	カラー	白黒
1234567		0	0	0	0	0	0	0	0	0
7654321		0	0	0	0	0	0	0	0	0

- 白紙ページや、階調補正のテストページ、地紋印字のコントラスト調整のサンプルプリントなどはカウントされません。
- [CSV 形式で保存] をクリックすると、使用状況を CSV ファイルでパソコンに保存できます。

特定の部門 ID のカウントのみをゼロに戻す場合

カウントをゼロに戻したい部門 ID の [カウントクリア] ▶ [OK] をクリックします。

すべての部門 ID のカウントをゼロに戻す場合

[カウントオールクリア] ▶ [OK] をクリックします。

- 5 確認が終わったら、リモート UI からログアウトする

メモ

カウント管理レポートをプリントして確認する場合

- 操作パネルからカウント管理レポートをプリントして、使用状況を確認することもできます。

カウント管理レポートをプリントするには、Administrator 権限が必要です。

本機に管理者ユーザーでログイン ▶ [ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [部門別 ID 管理] ▶ [ON] ▶ [カウント管理] ▶ [カウントプリント] ▶ プリントする項目を選択 ▶ [プリント開始]

パソコンにユーザー管理情報を設定する

EJ83-0EA

以下の場合、本機を使用する各パソコンにユーザー管理情報を設定する必要があります。

- パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用している場合 ● [パソコンからのプリント／スキャン／ファクス送信にユーザー認証を適用する \(P. 718\)](#)
- 本機が部門別 ID 管理中の場合に、以下のいずれかに該当するとき
 - 部門 ID が不明なユーザーからの操作を制限しているとき ● [部門別 ID 管理を有効にする \(P. 737\)](#)
 - 部門 ID ごとの使用状況にパソコンからの操作を含めたいとき

● [プリンター／ファクスドライバーの設定 \(P. 741\)](#)

● [スキャナードライバーの設定 \(Windows\) \(P. 744\)](#)

プリンター／ファクスドライバーの設定

本機を使用するパソコンのプリンター／ファクスドライバーで、ユーザー管理情報を設定します。

● [Windows の場合 \(P. 741\)](#)

● [macOS の場合 \(P. 742\)](#)

Windows の場合

各パソコンの管理者権限が必要です。

- 1 パソコンに管理者のアカウントでログオンする
- 2 [] (スタート) ▶ [] (設定) ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする
→ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。
- 3 本機のドライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする
→ ドライバーのプロパティ画面が表示されます。
- 4 [デバイスの設定] タブで、ユーザー管理情報を設定する

ユーザー認証を適用している場合

1. [ユーザー管理機能] で [ユーザー認証] を選択し、右下にある [設定] をクリックする
→ [ユーザー認証の設定] 画面が表示されます。
2. [パスワードの設定を許可する] にチェックマークを付け、ユーザー名とパスワードを入力する

部門別 ID 管理中の場合

1. [ユーザー管理機能] で [部門別 ID 管理] を選択し、右下にある [設定] をクリックする
→ [部門 ID/暗証番号の設定] 画面が表示されます。
2. [暗証番号の設定を許可する] にチェックマークを付け、部門 ID と暗証番号を入力する

5 入力したユーザー管理情報が正しいかどうか確認する場合は、[照会] をクリックする

本機とパソコンを USB または WSD（Web Services on Devices）ポートで接続している場合は使用できません。

6 必要に応じて、認証処理や適用範囲の設定をする

プリント時やファクス送信時にユーザー管理情報を確認する場合

[印刷時に認証情報を確認する] や [ファクス送信時に認証情報を確認する] にチェックマークを付けます。

本機とパソコンを USB または WSD ポートで接続している場合

[デバイス側で認証処理を行う] にチェックマークを付けます。

7 [OK] ▶ [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

macOS の場合

1 [🍏] ▶ [システム設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする

→ [プリンタとスキャナ] 画面が表示されます。

2 本機を選択し、[オプションとサプライ] をクリックする

3 [オプション] タブで、[ユーザ認証を優先する] または [部門別 ID 管理] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする

4 [完了] をクリックする

5 ドライバーの設定画面で、ユーザー管理情報を設定する

ユーザー管理情報の設定は、プリント／ファクス送信するたびに設定が必要です。

プリンタードライバーの場合

1. プリントダイアログを表示し、本機のプリンタードライバーを選択する **▶ プリントする (P. 334)**

2. [プリンタオプション] ▶ [特別処理] をクリックする



3. ユーザー管理情報を設定する

ユーザー認証を適用している場合

[ユーザ管理機能] で [ユーザ認証] を選択し、[設定] をクリックして、ユーザー名とパスワードを入力します。

部門別 ID 管理中の場合

[ユーザ管理機能] で [部門別 ID 管理] を選択し、[設定] をクリックして、部門 ID と暗証番号を入力します。

4. 必要に応じて、認証処理の設定をする

プリント時にユーザー管理情報を確認する場合は、[印刷時に認証情報を確認する] にチェックマークを付けます。

5. [OK] ▶ [OK] をクリックする

ファクスドライバーの場合

1. プリントダイアログを表示し、本機のファクスドライバーを選択する ▶ **パソコンからファクスを送信する - PC ファクス (P. 515)**

2. [プリンタオプション] ▶ [特別処理] をクリックする



3. ユーザー管理情報を設定する

ユーザー認証を適用している場合

[ユーザ管理機能] で [ユーザ認証] を選択し、[設定] をクリックして、ユーザー名とパスワードを入力します。

部門別 ID 管理中の場合

[ユーザ管理機能] で [部門別 ID 管理] を選択し、[設定] をクリックして、部門 ID と暗証番号を入力します。

4. [OK] ▶ [OK] をクリックする

スキャナードライバーの設定 (Windows)

本機を使用するパソコンのスキャナードライバーで、ユーザー管理情報を設定します。

- 1 [] (スタート) ▶ [すべてのアプリ] ▶ [Color Network ScanGear 2] ▶ [Color Network ScanGear 2 Tool] をクリックする

→ [Color Network ScanGear 2 Tool] 画面が表示されます。

- 2 [スキャナー情報] に本機が表示されていることを確認する



[スキャナー情報] に本機が表示されていない場合は、[スキャナーの選択] をクリックし、本機を選択します。

- 3 ユーザー管理情報を設定する

ユーザー認証を適用している場合

1. [ユーザー管理機能] で [ユーザー認証] を選択し、[設定] をクリックする
→ [ユーザー認証の設定] 画面が表示されます。
2. [パスワードを保存する] にチェックマークを付け、ユーザー名とパスワードを入力する

部門別 ID 管理中の場合

1. [ユーザー管理機能] で [部門別 ID 管理] を選択し、[設定] をクリックする
→ [部門 ID/暗証番号の設定] 画面が表示されます。
2. [暗証番号を保存する] にチェックマークを付け、部門 ID と暗証番号を入力する

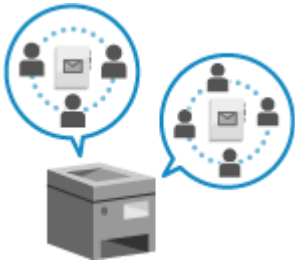
- 4 必要に応じて、認証処理の設定をする

スキャン時にユーザー管理情報を確認する場合は、[スキャン時に認証情報を確認する] にチェックマークを付けます。

- 5 [OK] ▶ [終了] をクリックする

宛先をグループで共有する - ユーザーグループ

EJ83-0EC



宛先を共有するグループ（ユーザーグループ）を登録し、同じ部署内など特定のユーザー間で共有できる宛先表（ユーザーグループ宛先表）を使用できるようにします。

ユーザーグループ宛先表の公開先として設定できるのは、1つのユーザーグループ宛先表に対して1つのユーザーグループのみです。

- ① 宛先共有の流れ (P. 745)
- ② ユーザーグループを登録する (P. 745)
- ③ ユーザーグループ宛先表の公開先を設定する (P. 747)

宛先共有の流れ

宛先をグループで共有する場合は、以下の流れで設定します。

Step 1

宛先を共有したいユーザーを、ローカルデバイス（本機）に登録します。

➡ **ローカルデバイスにユーザー情報を登録する (P. 687)**

※外部サーバー認証を行っている場合は、この Step は不要です。Step 2 に進みます。

※ユーザーグループを登録済みの場合は、ユーザー情報を新規登録／編集するときに、[ユーザーグループの関連付け] でユーザーグループに所属させることができます。➡ **[ユーザーの追加] / [ユーザー情報の編集] 画面 (P. 694)**



Step 2

グループに所属するユーザーを選択し、ユーザーグループを登録します。

➡ **ユーザーグループを登録する (P. 745)**



Step 3

ユーザーグループ宛先表を、登録したユーザーグループに公開します。

➡ **ユーザーグループ宛先表の公開先を設定する (P. 747)**

ユーザーグループを登録する

グループに所属するユーザーを選択し、ユーザーグループを登録します。

ユーザーグループは、パソコンからリモート UI を使用して登録します。操作パネルを使用して登録することはできません。Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [ユーザーグループ管理] をクリックする
→ [ユーザーグループ管理] 画面が表示されます。
- 4 ユーザーグループを登録する

ローカルデバイス認証を行っている場合

1. [グループの追加(ローカルデバイスユーザー)] をクリックする
→ [グループの追加(ローカルデバイスユーザー)] 画面が表示されます。
2. ユーザーグループの設定をする
[グループ ID]
ユーザーグループに割り当てる個別の ID を入力します。
[ユーザーグループ名]
ユーザーグループの表示名を入力します。
[ユーザーグループに登録するユーザー]
ユーザーグループに所属するユーザーを設定します。[ローカルデバイスユーザー] の一覧からグループに所属させたいユーザーを選択し、[追加 >>] をクリックして、[登録するユーザー] の一覧にユーザーを追加します。
3. [追加] をクリックする
→ ユーザーグループが登録されます。

外部サーバー認証を行っている場合

1. [グループの追加(その他のユーザー)] をクリックする
→ [グループの追加(その他のユーザー)] 画面が表示されます。
2. ユーザーグループの設定をする

認証管理: ユーザーグループ管理 > グループの追加(その他のユーザー)

グループの追加(その他のユーザー)

Microsoft Entra IDのグループを使用する場合は、[属性名]に「memberOf」または「transitiveMemberOf」を、[属性値]にMicrosoft Entra IDのグループ名を設定してください。

追加 キャンセル

グループID:

ユーザーグループ名: (64文字以内)

属性名: (128文字以内)

属性値: (128文字以内)

[グループ ID]
ユーザーグループに割り当てる個別の ID を入力します。

[ユーザーグループ名]

ユーザーグループの表示名を入力します。

[属性名]

認証サーバー上で登録されている属性名のうち、ユーザーグループとして設定する属性名（会社名／部署／役職など）を入力します。

[属性値]

ユーザーグループに関連付ける属性値を入力します。属性値が一致するすべてのユーザーがグループの所属となります。

3. [追加] をクリックする

→ユーザーグループが登録されます。

5 リモート UI からログアウトする

メモ

- ユーザー認証の利用中にユーザーグループ名を変更した場合に、連動してユーザーグループ宛先表の名称も変更されるように設定できます。

設定するには、Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [宛先設定] ▶ [個人/ユーザーグループ宛先表設定] ▶ [ユーザーグループ名が変更されたら宛先表名と同期する] にチェックマークを付ける

- 部門別 ID 管理を行う場合に、部門 ID をユーザーグループとして使用できるように設定できます。設定するには、Administrator 権限が必要です。

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [基本設定] ▶ [編集...] ▶ [その他の設定] の [ユーザーグループ管理の設定] で、[部門 ID をユーザーグループとして利用する] にチェックマークを付ける

ユーザーグループ宛先表の公開先を設定する

ユーザーグループ宛先表を、登録したユーザーグループに公開します。ユーザーは、所属するユーザーグループに公開された宛先表を使用できます。

ユーザーグループ宛先表の公開先として設定できるのは、1つのユーザーグループのみです。また、すでに他のユーザーグループ宛先表の公開先として設定されているユーザーグループを、別のユーザーグループ宛先表の公開先として設定することはできません。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。Administrator 権限が必要です。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[アドレス帳] をクリックする ▶ リモート UI のポータル画面 (P. 890)

→ [宛先表一覧] 画面が表示されます。

3 宛先表の一覧から、公開先を設定するユーザーグループ宛先表をクリックする

→宛先表の設定画面が表示されます。

4 [公開先設定] をクリックする

→ [公開先の設定] 画面が表示されます。

5 [公開する] にチェックマークを付け、宛先表を公開するユーザーグループを選択する

アドレス帳：宛先表一覧 > ユーザーグループ宛先表 01 > 公開先の設定

公開先の設定

最終更新：2023/11/04 12:03:11

宛先表を公開するユーザーグループを設定します。
ユーザーグループ名が宛先表名として登録されます。(半角16文字、全角8文字まで)

☒ 公開する

ユーザーグループ宛先表の公開先

選択	ユーザーグループ名
☒	Group1
☐	Group2

2件

6 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

マイフォルダーを設定する

EJ83-0EE

マイフォルダーとは、共有フォルダーやファイルサーバー上のフォルダーを、各ログインユーザー専用のフォルダーとして指定して使用する機能です。

マイフォルダーを用意しておく、スキャンの画面などに表示される「マイフォルダー」から、かんたんにアクセスして利用できます。

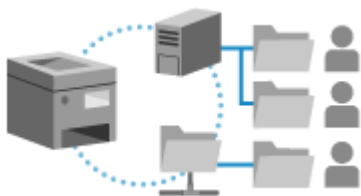
① マイフォルダーの指定方法 (P. 749)

② マイフォルダーの指定方法を設定する (P. 750)

マイフォルダーの指定方法

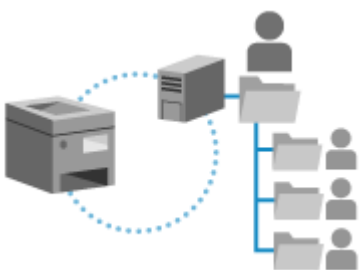
マイフォルダーの指定方法は、管理者ユーザーが以下の3つの中からあらかじめ選択します。各ユーザーは、この指定方法に従ってマイフォルダーを利用します。

ユーザーが自由にフォルダーを指定する



ユーザーが、自分の好きな場所をマイフォルダーとして指定します。それぞれのユーザーが使い慣れたフォルダーに文書を送信することができます。

管理者ユーザーがホームフォルダーを指定する



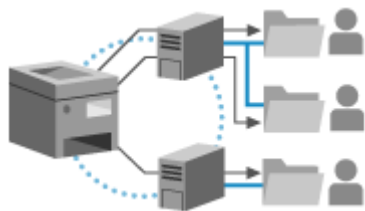
管理者ユーザーが親フォルダー（ホームフォルダー）を指定します。その中にユーザーごとのフォルダーが作成されるので、マイフォルダーを1箇所に集中させることができます。

Windows (SMB) の共有フォルダーまたは WebDAV サーバーのフォルダーを、ホームフォルダーとして指定できます。

WebDAV サーバーを指定する場合は、あらかじめすべてのユーザーのフォルダーを作成しておく必要があります。

フォルダーにアクセスするためのユーザー名とパスワードは、本機にログインするときと同じ、またはマイフォルダー専用のどちらを使用するかを選択できます。

サーバーを介してフォルダーを指定する



Active Directory など、認証サーバーに登録されているフォルダー情報を使用して、Windows (SMB) の共有フォルダーをマイフォルダーに指定します。

※使用しているログインサービスが本機能に対応している必要があります。詳しくは、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

※ログインサービスが User Authentication の場合は、Active Directory のユーザー属性「homeDirectory」に、「\\ホスト名\フォルダーパス」のフォーマットで指定したフォルダーが使用されます。

フォルダーにアクセスするためのユーザー名とパスワードは、本機にログイン（キーボード認証）するときと同じ、またはマイフォルダー専用のどちらを使用するかを選択できます。

※フォルダーへのアクセスに使用する認証情報を、Active Directory から取得することはできません。

重要

- 管理者ユーザーがホームフォルダーを指定する場合に、パスの階層が深すぎると、ホームフォルダーとして指定できないことがあります。

メモ

- ユーザーがフォルダーを指定するときや、マイフォルダー専用のユーザー名／パスワードを設定するときは、以下の画面で  ▶ [ユーザーごとの情報の登録/編集] ▶ [マイフォルダー] を選択して操作します。
 - [スキャンして送信]
 - [スキャンして保存] の [ネットワーク]
 - [保存ファイルの利用] の [ネットワーク]
- ※どの画面で操作しても、設定内容は共通です。

マイフォルダーの指定方法を設定する

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。  [マイフォルダー指定方法] (P. 1081)

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [送信] ▶ [送信先の制限] をクリックする

→ [送信先の制限] 画面が表示されます。

4 マイフォルダーの指定方法を設定する

設定/登録：ファンクション設定：送信 > 送信先の制限

送信先の制限 最終更新：2023 11/12 13:07:35

OK キャンセル

送信先

☐ Eメール送信を「自分へ送信」のみにする

☐ ファイル送信を「マイフォルダー」のみにする

マイフォルダー指定方法

マイフォルダーの指定先：

☐ ホームフォルダー

☒ ユーザーごと

☐ ログインサーバー

☐ ユーザーごとの認証情報を使用する

*マイフォルダーの指定先で「ユーザーごと」を選択した場合、ユーザーごとに登録されている認証情報を使用します。

ホームフォルダーの設定

プロトコル：☒ Windows(SMB) ☐ WebDAV

ホスト名：

設定...

ユーザーが自由にフォルダーを指定する場合

[マイフォルダーの指定先] で、[ユーザーごと] を選択します。

管理者ユーザーがホームフォルダーを指定する場合

使用するホームフォルダーと認証情報を指定します。

1. [マイフォルダーの指定先] で、[ホームフォルダー] を選択する
2. [ホームフォルダーの設定] で、ホームフォルダーを指定する
 - [プロトコル] で、データをマイフォルダーに送信する際に使用するプロトコルを選択します。
 - [ホスト名] に、ホームフォルダーのあるパソコンやサーバーの、ホスト名または IP アドレスを入力します。
 - [設定] をクリックし、[フォルダーのパス] にホームフォルダーへのパスを入力して、[OK] をクリックします。

入力例：パスが「C:\users\public\share」の場合
users\public\share
3. [ユーザーごとの認証情報を使用する] で、使用する認証情報を設定する
 - ログイン時のユーザー名とパスワードを使用する場合は、チェックマークを外したままにします。
 - マイフォルダー専用のユーザー名とパスワードを使用する場合は、チェックマークを付けます。この場合、各ユーザーがユーザー名とパスワードを登録する必要があります。

※認証に使用するユーザー名がフォルダー名になります。

サーバーを介してフォルダーを指定する場合

使用する認証情報を指定します。

1. [マイフォルダーの指定先] で、[ログインサーバー] を選択する

2. [ユーザーごとの認証情報を使用する] で、使用する認証情報を設定する

- ログイン時のユーザー名とパスワードを使用する場合は、チェックマークを外したままにします。
- マイフォルダー専用のユーザー名とパスワードを使用する場合は、チェックマークを付けます。
この場合、各ユーザーが、キーボード認証でログインするときのユーザー名とパスワードを登録する必要があります。

※マイフォルダーへアクセスする際に必要な認証情報（ユーザー名とパスワード）は、Active Directory から取得することができません。

※認証に使用するユーザー名がフォルダー名になります。

5

[OK] をクリックする

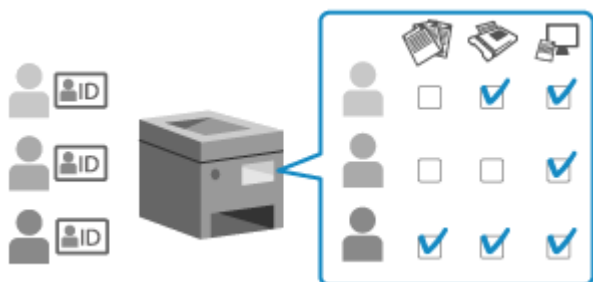
→ 設定が反映されます。

6

リモート UI からログアウトする

ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用する

EJ83-0EF



ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用すると、権限（ロール）ごとに使用できる機能をより細かく制限したり、新しいロールを作成したりすることができます。「Aさんはコピー禁止」、「Bさんは全機能利用 OK」というようにユーザーごとに異なるロールを設定することもできるため、厳密なユーザー管理が可能です。

必要な環境やロールの作成／編集方法については、オンラインマニュアルサイトで ACCESS MANAGEMENT SYSTEM のマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を有効にする

ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用するには、この機能を有効にする必要があります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの [ 設定/登録] ▶ [管理設定] から設定します。▶ **[ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用] (P. 1167)**

Administrator 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ライセンス/その他] ▶ [ACCESS MANAGEMENT SYSTEM 設定] をクリックする
→ [ACCESS MANAGEMENT SYSTEM 設定] 画面が表示されます。
- 4 [ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする
- 5 本機を再起動する ▶ **再起動する (P. 148)**
→ 設定が反映されます。

メモ

ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を有効にした場合

- ユーザー認証が有効になります。
 ※ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を有効にしたあとにユーザー認証を無効にしたい場合は、ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を無効にしてから、ユーザー認証を無効にします。
- 以下の設定が無効になります。
 - アドレス帳の暗証番号設定  **アドレス帳に暗証番号を設定して登録／編集を制限する (P. 837)**
 - 送信できる宛先の制限  **登録済みの宛先のみに送信できるようにする (P. 809)**
 ※ACCESS MANAGEMENT SYSTEM では、これらと類似の制限をロールごとに設定できます。
 ※ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を有効から無効に変更しても、これらの設定は自動では有効になりません。再度設定する必要があります。
- 予約プリントとして本機のメモリーに一時保存されているプリントデータは削除されます。

複数のキヤノン複合機で同じ設定を使用する - パーソナライズデータの同期

EJ83-0EH

同一ネットワーク上の複数のキヤノン複合機で、パーソナライズデータを同期します。それにより、ログインユーザーは、どの複合機でも同じ設定でスムーズに使用できるようになります。たとえば、ユーザーが1台の複合機で登録したアドレス帳やマイボタンを、他の複合機でも使用できるようになります。 [▶ パーソナライズできる項目一覧 \(P. 726\)](#)

同期する複合機のうち、同期したいデータを保持する1台をサーバー機とします。その他の複合機は、クライアント機となります。

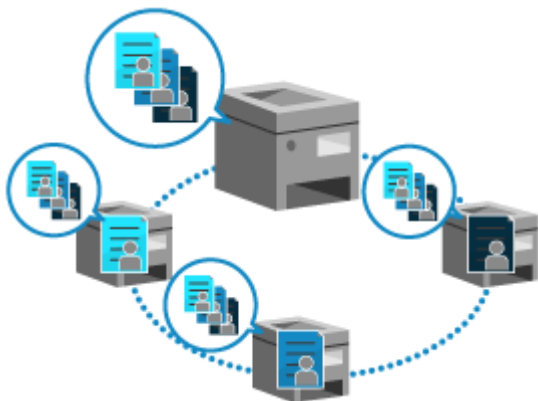
サーバー機を含めて10台まで同期できます。サーバー機で管理できるパーソナライズデータ（ユーザー数）は、最大1,000ユーザーです。

サーバー機

クライアント機の設定を一元管理します。サーバー機自身の設定とは別の管理になるため、サーバー機がクライアント機能を開始していないときは、サーバー機自身の設定には反映されません。サーバー機自身の設定も同期する場合は、サーバー機能とクライアント機能の両方を有効にします。

クライアント機

サーバー機で管理している設定を反映します。同一ユーザーであれば、どのクライアント機でログインしても自分の設定を使用できます。



▶ 同期されるデータと操作の制限 (P. 755)

▶ 同期の流れ (P. 757)

同期されるデータと操作の制限

ユーザー認証およびグループ管理の設定が、同じ設定の複合機の場合にのみ同期できます。グループ管理に部門別ID管理を使用する場合は、各複合機の部門IDも同じにします。

同期に使用されるデータ

- サーバー機とクライアント機の両方に同期対象のデータがある場合、クライアント機のデータは削除され、サーバー機のデータで上書きされます。
クライアント機のデータを使用したい場合は、同期を開始する前に、サーバー機から該当のデータを削除します。（サーバー機で同期を有効にするときに削除できます。）
- サーバー機にはない同一ユーザーのデータが複数のクライアント機に存在する場合は、最初にサーバー機に接続したクライアント機のデータが登録されます。

サーバー機に登録されるデータの例

「クライアント機 A ▶ クライアント機 B」の順でサーバー機に接続した場合、両方のクライアント機に存在する「ユーザー 1」のデータは、クライアント機 A のデータがサーバー機に登録されます。

- クライアント機 A の登録データ（最初にサーバー機に接続したクライアント機）



：「ユーザー 1」のデータ



：「ユーザー 2」のデータ

- クライアント機 B の登録データ



：「ユーザー 1」の異なるデータ



：「ユーザー 3」のデータ

- サーバー機に登録されるデータ



：クライアント機 A の「ユーザー 1」のデータ



：クライアント機 A の「ユーザー 2」のデータ



：クライアント機 B の「ユーザー 3」のデータ

- 鍵束に含まれる、ネットワーク上にある他機のアドバンスドボックスやファイルサーバーに関する情報は、これらの接続先の登録順序が各複合機で一致する場合に、正しく使用できます。 [🔗 ネットワーク上の他機／サーバーを利用するための準備 \(P. 623\)](#)

パーソナライズデータ以外の同期可能な設定

以下の設定はパーソナライズできませんが、パーソナライズデータの同期機能を使用して複数のキヤノン複合機で設定内容を共有できます。

- ユーザーグループ宛先表の公開先 [🔗 ユーザーグループ宛先表の公開先を設定する \(P. 747\)](#)
- 未ログイン時の「ホーム」画面の設定 [🔗 「ホーム」画面をカスタマイズする \(P. 172\)](#)

制限される操作／設定

- クライアント機として同期を開始すると、アドレス帳を含む同期対象のデータがインポート／エクスポートできなくなります。同期の開始前に、同期対象のデータをエクスポートしておくことをおすすめします。

- 同期中は、パーソナライズ機能を使用するユーザーの数が上限に達した場合、古い設定から削除されます。
※ [登録可能なユーザー数を越えた場合の処理] は [古い設定を自動削除] に設定されて、変更できなくなります。▶ **【登録可能なユーザー数を越えた場合の処理】 (P. 1162)**
- クライアント機が 1 台以上動作している場合、サーバー機はスリープ状態には移行しません。サーバー機のみが動作している場合でも、クライアント機能の「localhost」をプロキシサーバー経由で接続しているときは、サーバー機はスリープ状態には移行しません。

重要

- オプションや、複合機の機器構成によっては、同期されたデータが反映されない場合があります。
- 複合機のファームウェアのバージョンが古い場合は、登録されているショートカットと鍵束が同期されないことがあります。
- 同期中にサーバー機やクライアント機が故障した場合は、故障した複合機でデータの共有範囲が [デバイス固有] に設定されているデータは復旧できず、初期設定に戻ります。

同期の流れ

パーソナライズデータを同期する場合は、以下の流れで設定します。

Step 1

- 同期する複合機が同一ネットワークに正しく接続されているか確認します。
- バックアップ用に、パーソナライズデータをエクスポートしておくことをおすすめします。
▶ **アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする (P. 913)**



Step 2

サーバー機で、同期機能を有効にし、同期対象のデータを設定します。
※設定方法は、サーバー機能を有する製品のマニュアルを参照してください。



Step 3

各クライアント機で、同期機能を有効にし、サーバー機に接続するための情報を設定して、同期を開始します。
▶ **クライアント機の同期を開始する (P. 758)**



Step 4

サーバー機で、同期の状況を確認します。
※設定方法は、サーバー機能を有する製品のマニュアルを参照してください。

メモ

- 本機にはサーバー機能はありません。サーバー機能を有する製品でサーバー機能を有効にして、クライアント機として接続してください。

同期するキヤノン複合機を変更する

- 同期を開始したあとで、サーバー機やクライアント機を入れ替えたり変更したりできます。▶ **同期するキヤノン複合機を変更する (P. 762)**

同期を開始／終了する（クライアント機）

EJ83-0EJ

クライアント機として同期を開始する手順と終了する手順を説明します。

① クライアント機の同期を開始する (P. 758)

② クライアント機の同期を終了する (P. 760)

クライアント機の同期を開始する

同期機能を有効にし、サーバー機に接続するための情報を設定します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [管理設定] から設定します。ただし、操作パネルで設定できるのは、同期機能を有効にするかどうかのみです。▶ [\[カスタム設定の同期 \(クライアント\)\]](#) (P. 1159)

Administrator 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- サーバー機で、同期機能を有効にし、同期対象のデータを設定します。設定方法は、サーバー機能を有する製品のマニュアルを参照してください。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶ [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[カスタム設定の同期] をクリックする ▶ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
→ [カスタム設定の同期] 画面が表示されます。
- 3 [接続先の変更...] をクリックする
→ [接続設定] 画面が表示されます。
- 4 [カスタム設定の同期 (クライアント)] の [サービス:] で、[開始] を選択する
- 5 サーバー機に接続するための情報を設定する
以下のすべてに該当する場合は、この手順は不要です。手順 6 に進みます。
 - サーバー機が同一ルーター内にある（サーバー機自身のクライアント機能の場合も含む）
 - 同一ネットワーク上に存在するサーバー機が 1 台のみである
 - [カスタム設定の同期 (クライアント)] の [認証ユーザーアカウント ID:] に何も入力されていない

[接続先サーバーのアドレス:]

サーバー機の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
ポート番号を指定する場合は、「8443」を指定します（省略可）。
自動でサーバー機を探索する場合は、空欄にします。

入力例：ポート番号を指定する場合

192.168.18.138:8443

※IPv6 アドレスを入力する場合にポート番号を指定するときは、IP アドレスを [] で囲んで入力します。

入力例：

[fe80::65f0:82cb:b3d6:e6bc]:8443

※サーバー機のネットワーク設定に副回線を使用している場合は、以下を入力します。

- クライアント機の場合：サーバー機の副回線の IP アドレス
- サーバー機自身のクライアント機能の場合：主回線の IP アドレスまたは「localhost」

[探索の深さ(ルーター):]

サーバー機を探索するときのルーターホップの数（経由するルーターの数）を入力します。ルーターを介さない場合は「1」を指定します。

[認証ユーザーアカウント ID:] / [新しいパスワード:]

サーバー機の、Administrator 権限を持つユーザー名とパスワードを入力します。

6

必要に応じて、[操作中にカスタム設定の反映を許可する] にチェックマークを付ける

通常、同期されたデータはユーザーのログイン直後に反映されますが、以下の設定は反映されないことがあります。

- [表示言語/キーボードの切替]
- [アクセシビリティ]
- [個人別 SSID/ネットワークキーの設定]

ユーザーの操作中に、これらの設定を反映する場合は、チェックマークを付けます。

7

[変更] ▶ [OK] をクリックする

8

本機を再起動する ▶ **再起動する (P. 148)**

→ 設定が反映され、同期が開始されます。

メモ

同期の通信ログを確認する

- 手順 3 の画面で、同期の通信ログを確認したり、通信ログをファイルとしてパソコンに保存したりできます。
- エラーが発生した場合は、[レベル] に [Warning] または [Error] が表示されます。
 - [Warning]：サーバー機が一時的に通信できない場合など
 - [Error]：登録データの上限を超えている場合や、サーバー機との認証に失敗した場合など

探索でサーバー機に接続できない場合

- 以下の場合は、探索でサーバー機に接続できません。手順 5 で、[接続先サーバーのアドレス:] に IPv4 アドレスを入力します。
 - サーバー機のネットワーク設定が IPv4/IPv6 混在で、かつ IPv6 を優先していて、クライアント機で IPv6 を無効にしている場合
 - サーバー機のネットワーク設定に主回線を使用し、クライアント機のネットワーク設定に副回線を使用している場合

データの同期ができていない場合

- 操作パネルにメッセージが表示されている場合は、メッセージに従って対処します。🔵 **メッセージが表示された (P. 1446)**
- 操作パネルにメッセージが表示されていない状況で、サーバー機とのデータのずれが発生している場合は、ユーザー設定情報を削除してから、ログインします。🔵 **ユーザー設定情報を削除する (P. 763)**

クライアント機の同期を終了する

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  **設定/登録** ▶ **管理設定** から設定します。🔵 **[カスタム設定の同期 (クライアント)] (P. 1159)**

Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔵 **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[カスタム設定の同期] をクリックする 🔵 **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
→ [カスタム設定の同期] 画面が表示されます。
- 3 [接続先の変更...] をクリックする
→ [接続設定] 画面が表示されます。
- 4 [カスタム設定の同期 (クライアント)] の [サービス:] で、[終了] を選択する
- 5 [変更] ▶ [OK] をクリックする
→ 設定が反映されます。
- 6 リモート UI からログアウトする

メモ

- クライアント機は、同期中にログインしたユーザー情報のみを保存しています。同期を終了するとサーバー機情報を受け取れなくなり、保存されていないユーザーではログインできなくなります。
同期を終了したクライアント機でサーバー機のユーザー情報が必要な場合は、サーバー機からパーソナライズデータをエクスポートし、インポートします。設定方法は、サーバー機能を有する製品のマニュアルを参照してください。

同期するキヤノン複合機を変更する

EJ83-0EK

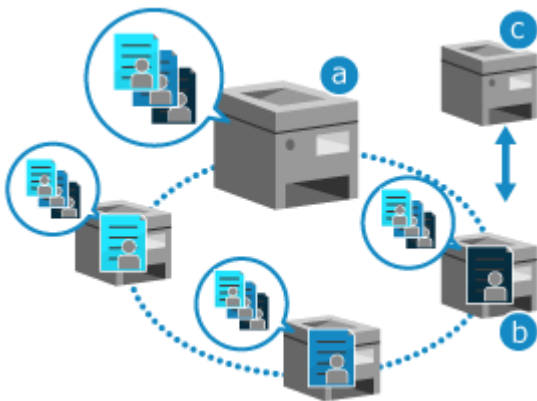
パーソナライズデータの同期を開始したあとで、クライアント機を入れ替えたり変更したりする場合に必要な手順を説明します。

メモ

- 本機にはサーバー機能はありません。サーバー機を変更する場合は、サーバー機能を有する製品のマニュアルを参照してください。

クライアント機を変更する

同期中のクライアント機を、同期していない他のキヤノン複合機に変更します。



クライアント機を変更するには、Administrator 権限が必要です。

- a** サーバー機
- b** 同期中のクライアント機
- c** 同期していない他のキヤノン複合機

1 対象のクライアント機で、同期を終了する ➡ クライアント機の同期を終了する (P. 760)

対象のクライアント機の故障などにより終了できない場合は、サーバー機から対象のクライアント機の同期を解除します。設定方法は、サーバー機能を有する製品のマニュアルを参照してください。

※クライアント機の同期を終了するまで、変更後も接続台数としてカウントされます。

2 新しいクライアント機にする複合機で、同期を開始する ➡ クライアント機の同期を開始する (P. 758)

ユーザー設定情報を削除する

EJ83-0EL

ユーザー設定情報とは、ユーザーが「どこで」「何を」設定したのかを記録したものです。

ユーザー設定情報は自動的に登録され、情報の一部はユーザーを削除しても残るため、不要になったユーザー設定情報は手動で削除します。また、ユーザー設定情報の数が上限に達したときにも、削除する必要があります。

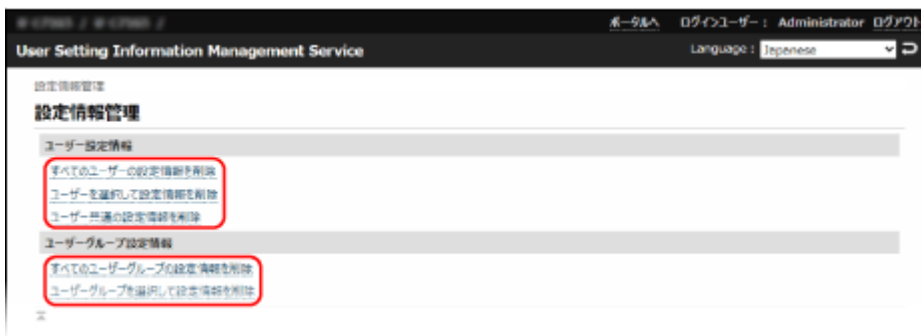
※登録可能なユーザー設定情報の上限数は、ユーザーが 500 件、ユーザーグループが 50 件です。

※ユーザー設定情報の数が上限に達したときに、自動的に削除するように設定することもできます。🔗 [\[登録可能なユーザー数を超えた場合の処理\]](#) (P. 1162)

※ユーザー設定情報を削除すると、マイボタン／共有ボタンの情報と、鍵束の情報が削除されます。

ユーザー設定情報は、パソコンからリモート UI を使用して削除します。操作パネルを使用して削除することはできません。Administrator 権限が必要です。削除の反映には、本機の再起動が必要となります。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗 [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[User Setting Information Management Service] をクリックする 🔗 [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
→ [設定情報管理] 画面が表示されます。
- 3 ユーザー設定情報を削除する



削除したい設定情報に応じた項目をクリックし、削除します。

- 4 しばらく時間をおいてから、本機を再起動する 🔗 [再起動する \(P. 148\)](#)

→ ユーザー設定情報が削除されます。

削除処理に時間がかかるため、削除を実行したあと、しばらく時間をおいてから再起動します。

メモ

- MEAP アプリケーションを使用しているユーザーの設定情報は削除できない場合があります。

ネットワークの保護

EJ83-0ER

本機をネットワークに接続することで、パソコンやモバイルなどの機器と連携し、より便利に使用できるようになります。その反面、ネットワーク上では、不正アクセスや盗聴による脅威にさらされるリスクがあります。

ネットワーク環境に合わせてセキュリティに関する設定を行うことで、こうしたリスクを低減し、より安全に本機を使用できるようにします。

ファイアウォール設定によるフィルタリング

特定の IP アドレスや MAC アドレスを持つ機器との通信のみを許可することで、不正なアクセスを防ぎます。

➡ [ファイアウォールを設定する \(P. 765\)](#)

プロキシサーバーの利用

プロキシサーバーを経由してネットワークに接続することで、外部との通信が管理しやすくなるだけでなく、不正アクセスの遮断やウィルス対策の集約化など、セキュリティを強化できます。

➡ [プロキシを使用する \(P. 773\)](#)

TLS による通信の暗号化

リモート UI 使用時やメール送信時などの通信を TLS により暗号化できます。通信途中でのデータの盗聴や改ざんのリスクを低減します。

➡ [TLS を使用する \(P. 777\)](#)

IPSec による通信の暗号化

IPSec を使用すると、IP プロトコルのレベルで暗号化されます。アプリケーションやネットワーク構成に依存せずに、通信内容の盗聴や改ざんのリスクを低減します。

➡ [IPSec を使用する \(P. 780\)](#)

IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境での利用

IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境に本機を接続する場合は、認証サーバーが管理している認証方式などを本機側で設定する必要があります。

➡ [IEEE 802.1X を使用する \(P. 786\)](#)

鍵と証明書の管理／検証

暗号化通信に使用する鍵と証明書を本機で生成したり、発行機関から取得した鍵と証明書を登録したりできます。証明書の検証方法を設定すると、通信相手から受信した証明書が有効かどうかを検証できます。

➡ [鍵と証明書を管理／検証する \(P. 789\)](#)

関連項目

セットアップ時のネットワーク設定については、以下を参照してください。

➡ [使用するネットワーク環境に合わせる \(P. 116\)](#)

ファイアウォールを設定する

EJ83-0ES

パケットフィルタリング型のファイアウォールを設定して、不正なアクセスを防ぎます。

まず前提条件として、他機との通信を許可するのか拒否するのかを設定します。次に、その条件の例外として通信を拒否または許可する機器を、IP アドレスや MAC アドレスで指定します。

- ① IP アドレスフィルターを設定する (P. 765)
- ② MAC アドレスフィルターを設定する (P. 767)
- ③ 副回線の IP アドレスフィルターを設定する (P. 769)
- ④ 副回線の MAC アドレスフィルターを設定する (P. 771)

重要

- 本機を無線 LAN に接続している場合、MAC アドレスフィルターは設定できません。
- 本機から他機へのデータ送信を拒否するように設定しても、マルチキャストおよびブロードキャストアドレスは制限されません。

IP アドレスフィルターを設定する

使用環境に合わせて、IPv4 アドレスフィルターまたは IPv6 アドレスフィルターを設定します。また、IP アドレスフィルター設定をしたうえで、PING コマンドなどの ICMP 送受信は制限の対象外とするように設定することもできます。

※本機を 2 系統のネットワークに接続している場合、ここでは主回線の IP アドレスフィルターを設定します。副回線の IP アドレスフィルターを設定する場合は、以下を参照してください。

- ③ 副回線の IP アドレスフィルターを設定する (P. 769)

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。④ [ファイアウォール設定] (P. 1009)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

重要

- IP アドレスを間違えて設定すると、リモート UI にアクセスできなくなることがあります。その場合は、操作パネルで IP アドレスを設定しなおします。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ④ リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ④ リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 [ネットワーク] をクリックする
- 4 IP アドレスフィルターの [送信フィルター] または [受信フィルター] をクリックする

→ IP アドレスフィルターの設定画面が表示されます。

- 本機から他機へのデータ送信を制限する場合は、[送信フィルター] をクリックします。
- 他機からのデータ受信を制限する場合は、[受信フィルター] をクリックします。

5 [フィルターを使用する] にチェックマークを付ける

→ IP アドレスフィルターが有効になります。

6 [デフォルトポリシー] で、フィルターの前提条件を設定する

フィルターの前提条件として、他機との通信を許可するのか拒否するのかを選択します。

7 例外アドレスを登録する

例外アドレスは最大 16 件まで登録できます。

1. [例外アドレス] の [新規登録] をクリックする

→ 例外アドレスの登録画面が表示されます。

2. 例外アドレスを指定する

[登録するアドレス]

フィルターの例外として、通信を拒否または許可する機器の IP アドレスを入力します。
「-」（ハイフン）またはプレフィックス表記を使用して、IP アドレスを範囲で指定することもできます。

入力例： IP アドレスを範囲で指定する場合

192.168.0.10-192.168.0.20

192.168.0.32/27

fe80::1234/64

[ポート番号を指定する]

登録した IP アドレスとの通信のうち、特定のポート番号を使用する通信のみを例外アドレスとする場合は、チェックマークを付け、一覧にポート番号を追加します。

- 一覧にポート番号を追加するには、[追加] の上にある入力欄にポート番号を入力し、[追加] をクリックします。
- 例外アドレス 1 件につき、最大 50 件のポート番号を追加できます。

3. [OK] をクリックする

→例外アドレスが登録されて、IP アドレスフィルターの設定画面に戻ります。

8 [OK] をクリックする

9 必要に応じて、ICMP 送受信を制限の対象外にする

PING コマンドなどの ICMP 送受信を制限の対象外にする場合は、IP アドレスフィルターの [ICMP 送受信設定] をクリックし、[ICMP の送受信を常に許可する] にチェックマークを付けて、[OK] をクリックします。

10 [設定の反映] ▶ [OK] をクリックする

→設定が反映されます。

11 リモート UI からログアウトする

メモ

IP アドレスフィルターのブロック履歴を確認する

- [デフォルトポリシー] を [許可] に設定している場合は、IP アドレスフィルターによって遮断された通信履歴を確認できます。

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [IP アドレスブロック履歴]

※確認できる通信履歴は、最新の 100 件までです。

※ [IP アドレスブロック履歴] 画面で [CSV 形式で保存] をクリックすると、通信履歴を CSV ファイルでパソコンに保存できます。

登録済みの例外アドレスを編集する

- IP アドレスフィルターの設定画面で、編集したい例外アドレスをクリックすると、登録内容を編集できます。

MAC アドレスフィルターを設定する

本機を 2 系統のネットワークに接続している場合、ここでは主回線の MAC アドレスフィルターを設定します。副回線の MAC アドレスフィルターを設定する場合は、以下を参照してください。

④副回線の MAC アドレスフィルターを設定する (P. 771)

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。④ [MAC アドレスフィルター] (P. 1014)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

重要

- MAC アドレスを間違えて設定すると、リモート UI にアクセスできなくなることがあります。その場合は、操作パネルで MAC アドレスを設定しなおします。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ④リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ④リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [ネットワーク] をクリックする

4 MAC アドレスフィルターの [送信フィルター] または [受信フィルター] をクリックする

→ MAC アドレスフィルターの設定画面が表示されます。

- 本機から他機へのデータ送信を制限する場合は、[送信フィルター] をクリックします。
- 他機からのデータ受信を制限する場合は、[受信フィルター] をクリックします。

5 [フィルターを使用する] にチェックマークを付ける

→ MAC アドレスフィルターが有効になります。

6 [デフォルトポリシー] で、フィルターの前提条件を設定する

フィルターの前提条件として、他機との通信を許可するのか拒否するのかを選択します。

7 [例外アドレス] の一覧に、例外アドレスを追加する



- フィルターの例外として、通信を拒否または許可する機器の MAC アドレスを追加します。
- 一覧に例外アドレスを追加するには、[追加] の上にある入力欄に MAC アドレスを入力し、[追加] をクリックします。
 ※MAC アドレスは「-」（ハイフン）や「:」（コロン）などで区切らずに入力します。
 入力例：
 123A456B789C
- 最大 100 件の例外アドレスを追加できます。

8 [OK] をクリックする

9 [設定の反映] ▶ [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

10 リモート UI からログアウトする

メモ

追加済みの例外アドレスを編集する

- [例外アドレス] の一覧で、編集したい例外アドレスを選択し、[編集] の上にある入力欄に表示された例外アドレスを編集して、[編集] をクリックします。

副回線の IP アドレスフィルターを設定する

本機を 2 系統のネットワークに接続している場合に、副回線の IP アドレスフィルターを設定します。

※副回線は、初期設定で IP アドレスフィルターが設定されています。▶副回線のファイアウォールの初期設定 (P. 65)

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。▶ [IPv4 アドレスフィルター] (P. 1023)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 [ネットワーク] をクリックする
- 4 副回線設定の [ファイアウォール設定] ▶ [IPv4 アドレスフィルター] をクリックする
→ 副回線の IP アドレスフィルターの設定画面が表示されます。
- 5 [フィルターを使用する] にチェックマークを付ける
→ IP アドレスフィルターが有効になります。
 - 本機から他機へのデータ送信を制限する場合は、送信フィルターを設定します。
 - 他機からのデータ受信を制限する場合は、受信フィルターを設定します。
- 6 [デフォルトポリシー] で、フィルターの前提条件を設定する
フィルターの前提条件として、他機との通信を許可するのか拒否するのかを選択します。
- 7 例外アドレスを登録する
例外アドレスは最大 16 件まで登録できます。

1. [例外アドレス] の [新規登録] をクリックする

→ 例外アドレスの登録画面が表示されます。

2. 例外アドレスを指定する

〔登録するアドレス〕

フィルタの例外として、通信を拒否または許可する機器の IP アドレスを入力します。
「-」（ハイフン）またはプレフィックス表記を使用して、IP アドレスを範囲で指定することもできます。

入力例： IP アドレスを範囲で指定する場合

192.168.0.10-192.168.0.20

192.168.0.32/27

〔ポート番号を指定する〕

登録した IP アドレスとの通信のうち、特定のポート番号を使用する通信のみを例外アドレスとする場合は、チェックマークを付け、一覧にポート番号を追加します。

- 一覧にポート番号を追加するには、〔追加〕の上にある入力欄にポート番号を入力し、〔追加〕をクリックします。
- 例外アドレス 1 件につき、最大 50 件のポート番号を追加できます。

3. [OK] をクリックする

→ 例外アドレスが登録されて、副回線の IP アドレスフィルタの設定画面に戻ります。

8 [OK] をクリックする

9 [設定の反映] ▶ [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

10 リモート UI からログアウトする

メモ

IP アドレスフィルタのブロック履歴を確認する

- [デフォルトポリシー] を [許可] に設定している場合は、IP アドレスフィルタによって遮断された通信履歴を確認できます。

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [IP アドレスブロック履歴]

※確認できる通信履歴は、最新の 100 件までです。

※ [IP アドレスブロック履歴] 画面で [CSV 形式で保存] をクリックすると、通信履歴を CSV ファイルでパソコンに保存できます。

登録済みの例外アドレスを編集する

- 副回線の IP アドレスフィルターの設定画面で、編集したい例外アドレスをクリックすると、登録内容を編集できます。

副回線の MAC アドレスフィルターを設定する

本機を 2 系統のネットワークに接続している場合に、副回線の MAC アドレスフィルターを設定します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

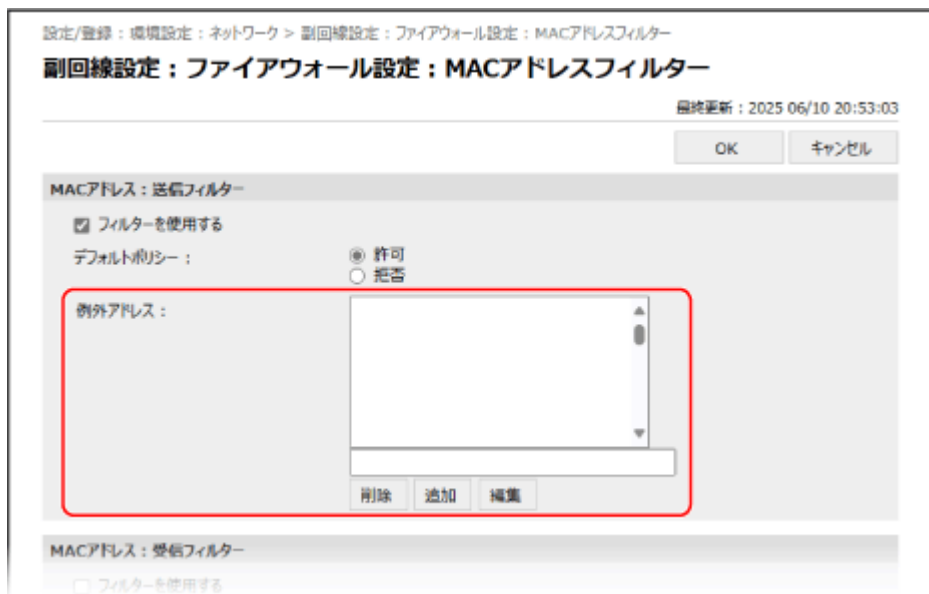
操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。  [MAC アドレスフィルター]

(P. 1014)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ネットワーク] をクリックする
- 4 副回線設定の [ファイアウォール設定]  [MAC アドレスフィルター] をクリックする
→ 副回線の MAC アドレスフィルターの設定画面が表示されます。
- 5 [フィルターを使用する] にチェックマークを付ける
→ MAC アドレスフィルターが有効になります。
 - 本機から他機へのデータ送信を制限する場合は、送信フィルターを設定します。
 - 他機からのデータ受信を制限する場合は、受信フィルターを設定します。
- 6 [デフォルトポリシー] で、フィルターの前提条件を設定する
フィルターの前提条件として、他機との通信を許可するのか拒否するのを選択します。

7 [例外アドレス] の一覧に、例外アドレスを追加する



- フィルターの例外として、通信を拒否または許可する機器の MAC アドレスを追加します。
- 一覧に例外アドレスを追加するには、[追加] の上にある入力欄に MAC アドレスを入力し、[追加] をクリックします。

※MAC アドレスは「-」（ハイフン）や「:」（コロン）などで区切らずに入力します。

入力例：

123A456B789C

- 最大 100 件の例外アドレスを追加できます。

8 [OK] をクリックする

9 [設定の反映] ▶ [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

10 リモート UI からログアウトする

メモ

追加済みの例外アドレスを編集する

- [例外アドレス] の一覧で、編集したい例外アドレスを選択し、[編集] の上にある入力欄に表示された例外アドレスを編集して、[編集] をクリックします。

プロキシを使用する

EJ83-0EU

プロキシサーバーを経由してネットワークに接続することで、外部との通信が管理しやすくなるだけでなく、不正アクセスの遮断やウィルス対策の集約化など、セキュリティを強化できます。

※本機を2系統のネットワークに接続している場合に、副回線でプロキシを使用して特定のシステムデータ通信を行うときは、ここでの設定とは別に副回線のプロキシも設定する必要があります。🔗[副回線のプロキシを設定する \(P. 775\)](#)

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。🔗[\[プロキシ設定\] \(P. 998\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- プロキシサーバーのアドレス、ポート番号、認証情報を手元に用意します。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗[リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗[リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [ネットワーク] ▶ [プロキシ設定] をクリックする
→ [プロキシ設定] 画面が表示されます。
- 4 [プロキシを使用する] にチェックマークを付ける
- 5 プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力する
 - [HTTP プロキシサーバーのアドレス] に、IP アドレスやホスト名などを入力します。
 - [HTTP プロキシサーバーのポート番号] に、ポート番号を入力します。
- 6 使用環境に合わせて、適用範囲や認証情報などの設定をする

同じドメインの機器との通信にも指定したプロキシサーバーを使用する場合
[同一ドメインにもプロキシを使用する] にチェックマークを付けます。

プロキシサーバー接続時に認証が必要な場合
[プロキシ認証を使用する] にチェックマークを付け、認証で使用するユーザー名を入力し、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを入力します。

- 7 [OK] をクリックする

8 [設定の反映] ▶ [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

9 リモート UI からログアウトする

副回線のプロキシを設定する

EJ83-0EW

本機を2系統のネットワークに接続している場合に、副回線でプロキシを使用して特定のシステムデータ通信を行うときは、副回線のプロキシを設定します。

※副回線のプロキシ設定は、特定のシステムデータ通信にのみ使用可能で、通常のインターネット接続では使用できません。

※特定のシステムデータ通信以外の用途で副回線にプロキシを使用する場合は、主回線のプロキシ設定に、副回線で使用するプロキシサーバーを設定します。➡[プロキシを使用する \(P. 773\)](#)

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録](#) ▶ [環境設定](#) から設定します。➡ [\[プロキシ設定\] \(P. 1026\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- プロキシサーバーのアドレス、ポート番号、認証情報を手元に用意します。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[\[設定/登録\]](#) をクリックする ➡ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [\[ネットワーク\]](#) をクリックする
- 4 副回線設定の [\[システムデータ通信用設定\]](#) をクリックする
➡ 副回線のシステムデータ通信用の設定画面が表示されます。
- 5 [\[プロキシ設定\]](#) の [\[プロキシを使用する\]](#) にチェックマークを付ける
- 6 プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力する
 - [\[HTTP プロキシサーバーのアドレス\]](#) に、IP アドレスやホスト名などを入力します。
 - [\[HTTP プロキシサーバーのポート番号\]](#) に、ポート番号を入力します。
- 7 プロキシサーバー接続時に認証が必要な場合は、認証情報の設定をする
[\[プロキシ認証を使用する\]](#) にチェックマークを付け、認証で使用するユーザー名を入力し、[\[パスワード\]](#) と [\[確認入力\]](#) の両方に同じパスワードを入力します。
- 8 [\[OK\]](#) をクリックする

9 [設定の反映] ▶ [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

10 リモート UI からログアウトする

TLS を使用する

EJ83-0EX

TLS (Transport Layer Security) とは、ネットワーク上で情報を暗号化して送受信するための仕組みです。リモート UI 使用時の通信などを TLS により暗号化することで、通信途中でのデータの盗聴や改ざんのリスクを低減します。

TLS を使用するには、TLS の設定をしてから、機能ごとに TLS を有効にします。

🔗 Step 1 : TLS の設定をする (P. 777)

🔗 Step 2 : 機能ごとに TLS を有効にする (P. 779)

Step 1 : TLS の設定をする

TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書（サーバー証明書）を指定し、TLS のバージョンとアルゴリズムを設定します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの [🔧 設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。🔗 [TLS 設定] (P. 997)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書をを用意します。🔗 **鍵と証明書を管理／検証する (P. 789)**

※本機にあらかじめ登録されている鍵と証明書を使用することもできます。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗 **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗 **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ネットワーク] ▶ [TLS 設定] をクリックする
→ [TLS 設定] 画面が表示されます。
- 4 TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書を指定する

1. [鍵と証明書の設定] の [鍵と証明書] をクリックする
→ [鍵と証明書設定] 画面が表示されます。
2. 使用する鍵と証明書の右側にある [使用する] をクリックする
 - 鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
 - 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証] をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。
 - 本機にあらかじめ登録されている鍵と証明書を使用する場合は、「Default Key」を使用します。
※以下の鍵と証明書は、TLS 暗号化通信には使用できません。
 - 「AMS」（アクセス制限用）

- 「Device Signature Key」(機器署名用)

5 リモート UI の画面上部の「TLS 設定」をクリックする



→ 「TLS 設定」画面に戻ります。

6 TLS のバージョンとアルゴリズムを設定する

バージョンとアルゴリズムには、使用できない組み合わせがあります。バージョンとアルゴリズムの組み合わせについては、TLS の仕様を参照してください。🔗[TLS \(P. 65\)](#)

[使用可能なバージョンの指定]

TLS の上限バージョンと下限バージョンを選択します。

[アルゴリズムの設定]

TLS で使用するアルゴリズムにチェックマークを付けます。

7 [OK] をクリックする

8 本機を再起動する 🔗[再起動する \(P. 148\)](#)

→ 設定が反映されます。

メモ

暗号方式を FIPS140 準拠にする

- TLS 暗号化通信の暗号方式を FIPS140 に準拠させることができます。🔗[\[暗号方式を FIPS 140 準拠にする\] \(P. 1183\)](#)
- 暗号方式を FIPS140 準拠にした場合は、TLS の設定や通信が以下のとおり制限されます。
 - FIPS 認定外のアルゴリズム (RSA 2048 bit 未満) を使用した証明書を TLS 用に設定しようとするとエラーになります。
 - FIPS 認定された暗号アルゴリズムをサポートしていない通信相手とは通信エラーになります。
 - [TLS 設定] の [使用可能なバージョン指定] で [TLS 1.0] または [TLS 1.1] が設定されている場合は、[TLS 1.2] に変更されます。また、バージョンを [TLS 1.0] または [TLS 1.1] に変更した場合は、[暗号方式を FIPS 140 準拠にする] が [OFF] に変更され、暗号方式が FIPS140 準拠されなくなります。
 - TLS で使用するアルゴリズムの [3DES-CBC]、[CHACHA20-POLY1305]、[X25519] が無効になります。

Step 2：機能ごとに TLS を有効にする

TLS の設定をしたら、TLS を使用できる機能ごとに TLS 暗号化通信を有効にします。

- リモート UI ➡ **【リモート UI の設定】** (P. 1164)
- LDAP サーバー ➡ **LDAP サーバーを登録する** (P. 125)
- BMLinkS ➡ **BMLinkS を設定する** (P. 136)
- IPP プリント ➡ **本機の IPP プリント機能を設定する** (P. 344)
- メールおよびファクス ➡ **メールサーバーの情報を設定する** (P. 400)
- IEEE 802.1X ➡ **IEEE 802.1X を使用する** (P. 786)
- MEAP ➡ **【TLS を使用】** (P. 1168)
- Network Link Scan ➡ **【Network Link Scan を使用】** (P. 1000)
- Syslog 送信 ➡ **SIEM システムにログを送信する** (P. 865)
- DNS サーバー ➡ **DNS を設定する** (P. 118)

メモ

リモート UI 起動時に警告メッセージが表示された場合

- TLS を有効にしてリモート UI を起動すると、セキュリティ証明書に関する警告メッセージが表示されることがあります。証明書や TLS の設定に問題がなければ操作を続行します。

IPSec を使用する

EJ83-0EY

IPSec (IP Security Protocol) を利用して、IP ネットワーク上で送受信される IP パケットの盗聴や改ざんなどを防ぎます。IP プロトコルのレベルで暗号化を行うため、アプリケーションやネットワーク構成に依存せずにセキュリティを確保できます。

- ① IPSec の適用条件と対応モード (P. 780)
- ② IPSec ポリシーの構成 (P. 780)
- ③ IPSec を設定する (P. 781)

IPSec の適用条件と対応モード

IPSec が適用されないパケット

- ループバック／マルチキャスト／ブロードキャストアドレスを指定したパケット
- UDP ポート 500 番から送信される IKE パケット
- ICMPv6 の Neighbor Solicitation/Neighbor Advertisement パケット

鍵交換プロトコルの動作モード (IKE モード) について

本機は、パケットが暗号化されるメインモードと、暗号化されないアグレッシブモードの両方に対応しています。

IPSec の通信モードについて

本機は、IP ヘッダーを除いた部分だけを暗号化するトランスポートモードのみに対応しています。IP パケット全体を暗号化するトンネルモードには対応していません。

FIPS140 準拠について

- IPSec 通信では、[暗号方式を FIPS 140 準拠にする] の設定にかかわらず、常に FIPS 140 認証を取得した暗号モジュールが使用されます。④ **[暗号方式を FIPS 140 準拠にする] (P. 1183)**
- IPSec 通信を FIPS140 に準拠させるには、本機が属するネットワーク環境において、IPSec 通信で DH と RSA のそれぞれで、鍵長が 2048 bit 以上に設定されている必要があります。
※本機で鍵長の設定ができるのは DH のみです。RSA についての設定は本機にはないため、環境構築時に注意が必要です。

IP アドレスフィルターと IPSec を併用する場合

- パケットの送信時は、IP アドレスフィルターの設定が先に適用されます。④ **ファイアウォールを設定する (P. 765)**
- パケットの受信時は、IPSec の設定が先に適用されます。

IPSec ポリシーの構成

本機で IPSec 通信を行うには、適用範囲や認証と暗号化のアルゴリズムなど、IPSec のポリシーを作成する必要があります。ポリシーはおもに以下の内容で構成されます。

セレクトター

どの IP パケットに IPSec 通信を適用するかを設定します。本機や通信相手側の IP アドレスだけでなく、ポート番号も指定できます。

鍵交換プロトコルの動作モード (IKE モード) について

鍵交換プロトコルは IKEv1 (Internet Key Exchange version 1) に対応しています。事前共有鍵方式または電子署名方式のどちらかの認証方式を設定します。

- 事前共有鍵方式
本機と通信相手とで共有鍵と呼ばれる共通のキーワードを使用する認証方式です。
- 電子署名方式
本機と通信相手側が電子署名を互いに送信／検証し合って相互認証を行います。
※SNTP を使用できるように設定しておく必要があります。

ESP/AH

IPSec 通信で使用するプロトコルの ESP または AH を設定します。PFS (Perfect Forward Secrecy) を使用すれば、セキュリティをさらに強化できます。

IPSec を設定する

IPSec の使用を有効にしてから、IPSec のポリシーを作成して登録します。複数のポリシーを作成した場合は、優先順位を設定します。作成できるポリシーは最大 10 件です。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。➡ **[IPSec 設定] (P. 999)**

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- 本機と同じ VPN (仮想プライベートネットワーク) を構成するパソコンと直接接続します。動作条件を確認し、あらかじめパソコン側の設定を済ませておきます。➡ **IPSec (P. 66)**
- IKE の認証方式に応じて、以下の準備をします。
 - 事前共有鍵方式の場合は、リモート UI 通信での TLS を有効にします。➡ **TLS を使用する (P. 777)**
 - 電子署名方式の場合は、使用する鍵と証明書を用意し、SNTP を使用できるように設定します。
 - ➡ **鍵と証明書を管理／検証する (P. 789)**
 - ➡ **SNTP を設定する (P. 133)**
- PFS を使用する場合は、通信相手の機器で PFS が有効であることを確認します。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ネットワーク] をクリックする
→ ネットワークの設定画面が表示されます。
- 4 [IPSec 設定] をクリックする
→ [IPSec 設定] 画面が表示されます。
- 5 [IPSec を使用する] にチェックマークを付ける
ポリシーに該当するパケットのみを受信する場合は、[ポリシー外パケットの受信] で [拒否] を選択します。

6

[OK] をクリックする

→ ネットワークの設定画面に戻ります。

7

[IPSec ポリシー一覧] をクリックする

→ [IPSec ポリシー一覧] 画面が表示されます。

8

[新規 IPSec ポリシーの登録] をクリックする

→ [ポリシーの登録] 画面が表示されます。

9

ポリシー名を入力し、[ポリシーの ON/OFF] で [ON] を選択する

ポリシー名には、ポリシーを区別するための名前を半角英数字で入力します。

10

必要に応じて、AES の鍵長を制限する

CC 認証の規格を満たしたい場合など、AES の鍵長を 256 bit に制限したいときは [AES の鍵の長さを 256bit に制限する] にチェックマークを付けます。

※キヤノン複合機では、AES の暗号方式は 128 bit と 256 bit の 2 つの鍵長に対応しています。

11

セレクトターを設定する

1. [セレクトター設定] をクリックする

→ [セレクトター] 画面が表示されます。

2. セレクトターの設定をする

[ローカルアドレス設定] / [リモートアドレス設定]

IPSec 通信を適用する IP アドレスを設定します。本機側の IP アドレスは [ローカルアドレス設定] で、通信相手側の IP アドレスは [リモートアドレス設定] で設定します。

[全 IP アドレス]

すべての IP パケットに IPSec 通信を適用する場合に選択します。

[自 IPv4 アドレス] / [全 IPv4 アドレス]

IPv4 アドレスを使用して送受信する IP パケットに IPSec 通信を適用する場合に選択します。

[自 IPv6 アドレス] / [全 IPv6 アドレス]

IPv6 アドレスを使用して送受信する IP パケットに IPSec 通信を適用する場合に選択します。

[IPv4 手動指定]

IPSec 通信を適用する IPv4 アドレスを指定する場合に選択します。適用する IPv4 アドレスは、以下のいずれかの方法で指定します。

● 特定の IPv4 アドレスを指定する場合

[単一アドレス] を選択し、[開始アドレス] に IPv4 アドレスを入力します。

● IPv4 アドレスを範囲で指定する場合

[範囲アドレス] を選択し、[開始アドレス] と [終了アドレス] に IPv4 アドレスを入力します。

● サブネットマスクを使用して IPv4 アドレスを範囲で指定する場合

[サブネット指定] を選択し、[開始アドレス] に IPv4 アドレスを入力して、[サブネット指定] にサブネットマスクを入力します。

[IPv6 手動指定]

IPSec 通信を適用する IPv6 アドレスを指定する場合に選択します。適用する IPv6 アドレスは、以下のいずれかの方法で指定します。

- 特定の IPv6 アドレスを指定する場合
[単一アドレス] を選択し、[開始アドレス] に IPv6 アドレスを入力します。
- IPv6 アドレスを範囲で指定する場合
[範囲アドレス] を選択し、[開始アドレス] と [終了アドレス] に IPv6 アドレスを入力します。
- プレフィックスを使用して IPv6 アドレスを範囲で指定する場合
[プレフィックスアドレス] を選択し、[開始アドレス] に IPv6 アドレスを入力して、[プレフィックス長] にプレフィックス長を入力します。

[ポート設定]

IPSec 通信を適用するポートを設定します。

[ポート番号で指定]

IPSec 通信を適用するポートをポート番号で指定する場合に選択し、本機側のポート番号を [ローカルポート] で、通信相手側のポート番号を [リモートポート] で指定します。

- すべてのポート番号に IPSec 通信を適用する場合は、[全ポート] を選択します。
- 特定のポート番号に IPSec 通信を適用する場合は、[単一指定] を選択し、ポート番号を入力します。

[サービス名で指定]

IPSec 通信を適用するポートをサービス名で指定する場合に選択し、適用するサービス名にチェックマークを付けます。

3. [OK] をクリックする

→ [ポリシーの登録] 画面に戻ります。

12 IKE を設定する

1. [IKE 設定] をクリックする

→ [IKE] 画面が表示されます。

2. IKE の設定をする

[IKE モード]

鍵交換プロトコルの動作モードを選択します。[メイン] を選択すると、IKE セッション自体を暗号化するためセキュリティが強化されますが、暗号化しない [アグレッシブ] よりも通信に負荷がかかります。

[有効期間]

制御用通信路として使用する IKE SA (ISAKMP SA) の有効期間を分単位で入力します。

[認証方式]

本機の認証方法を選択します。

- [事前共有鍵方式] を選択した場合は、[共有鍵の設定] ▶ 共有鍵として使用する文字列を半角英数字で入力 ▶ [OK] をクリックします。
- [電子署名方式] を選択した場合は、[鍵と証明書] ▶ 使用する鍵と証明書の [使用する] をクリックします。

[認証/暗号化アルゴリズム]

IKE フェーズ 1 の認証と暗号化のアルゴリズムを設定します。

- 本機と通信相手の両方が使用可能なアルゴリズムが自動的に設定されるようにする場合は、[自動] を選択します。
- 特定のアルゴリズムを指定する場合は、[手動指定] を選択し、[認証] / [暗号] / [DH グループ] を設定します。

- [認証]：ハッシュアルゴリズムを選択します。
- [暗号]：暗号化アルゴリズムを選択します。
- [DH グループ]：鍵の強度を決定する Diffie-Hellman グループを選択します。

[IKE モード] を [メイン]、[認証方式] を [事前共有鍵方式] に設定した場合

セクター設定の [リモートアドレス設定] で単一アドレス以外を指定した場合に、複数のポリシーを作成するときは、以下の制限があります。

- 単一アドレス以外を指定したポリシーの共有鍵は、すべて同一の文字列にする必要があります。
- 単一アドレスを指定したポリシーより上位の優先順位に設定することはできません。

3. [OK] をクリックする

→ [ポリシーの登録] 画面に戻ります。

13 IPSec 通信を設定する

1. [IPSec 通信設定] をクリックする

→ [IPSec 通信] 画面が表示されます。

2. IPSec 通信の設定をする

[有効期間]

データ用通信路として使用する IPSec SA の有効期間を、時間／サイズの片方または両方で指定します。

- [時間] にチェックマークを付けた場合は、有効期間を分単位で入力します。
- [サイズ] にチェックマークを付けた場合は、有効期間をメガバイト単位で入力します。
- 両方にチェックマークを付けた場合は、指定した値に先に達した項目が適用されます。

[PFS]

セッションキーに対して PFS を設定する場合は、チェックマークを付けます。

[認証/暗号化アルゴリズム]

IKE フェーズ 2 の認証と暗号化のアルゴリズムを設定します。

- ESP 認証と暗号化のアルゴリズムが自動的に設定されるようにする場合は、[自動] を選択します。
- 特定の認証方式を指定する場合は、[手動指定] を選択し、以下のいずれかの認証方式を選択します。
 - [ESP]：

認証と暗号化の両方を行います。

[ESP 認証] と [ESP 暗号] で、アルゴリズムを選択します。アルゴリズムを設定しない場合は、[NULL] を選択します。
 - [ESP(AES-GCM)]：

認証と暗号化の両方を行います。

アルゴリズムとして AES-GCM を使用します。
 - [AH(SHA1)]：

認証は行いますが、データは暗号化しません。

アルゴリズムとして SHA1 を使用します。

[接続モード]

本機はトランスポートモードのみに対応しています。

3. [OK] をクリックする

→ [ポリシーの登録] 画面に戻ります。

14 [OK] をクリックする

→ [IPSec ポリシー一覧] 画面に、作成したポリシーが追加されます。

複数のポリシーを登録した場合

ポリシーを選択し、[優先度を上げる] / [優先度を下げる] をクリックして優先順位を設定します。上位のポリシーが優先して IPSec 通信に適用されます。



15 [設定の反映] ▶ [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

16 リモート UI からログアウトする

メモ

登録済みのポリシーを編集する

- [IPSec ポリシー一覧] 画面で、編集したいポリシー名をクリックすると、登録内容を編集できます。

IEEE 802.1X を使用する

EJ83-0F0

IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境では、認証サーバー（RADIUS サーバー）に認証されたクライアント機器（サブリカント）だけが LAN スイッチ（オーセンティケーター）にネットワーク接続を許可されているため、不正なアクセスが遮断されています。この IEEE 802.1X 認証が導入されているネットワークに本機を接続するには、認証サーバーが管理している認証方式などを本機側で設定する必要があります。

※本機を 2 系統のネットワークに接続している場合は、主回線と副回線のどちらか一方で IEEE 802.1X を使用することができます。必要に応じて、それぞれの設定を変更します。主回線と副回線で同時に IEEE 802.1X を使用することはできません。

🔗 [IEEE 802.1X の認証方式 \(P. 786\)](#)

🔗 [IEEE 802.1X を設定する \(P. 786\)](#)

IEEE 802.1X の認証方式

本機が対応している IEEE 802.1X の認証方式は以下のとおりです。

TLS

本機と認証サーバーがそれぞれの証明書を使って互いに認証を行います。他の認証方式と併用することはできません。

TTLS

本機の認証にユーザー名とパスワードを使用し、サーバー認証には CA 証明書を使用する認証方式です。内部プロトコルとして MSCHAPv2 または PAP を選択でき、PEAP との併用も可能です。

PEAP

必要な設定は併用できる TTLS とほぼ同じですが、内部プロトコルは MSCHAPv2 を使用します。

IEEE 802.1X を設定する

IEEE 802.1X の使用を有効にしてから、認証方式を設定します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録](#) ▶ [環境設定](#) から設定します。🔗 [\[IEEE 802.1X 設定\] \(P. 984\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。副回線の設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- 認証方式に TLS を使用する場合は、本機の認証に使用する認証局発行の鍵と証明書を用意します。🔗 [鍵と証明書を管理/検証する \(P. 789\)](#)
※サーバーの認証には、プリインストールされた CA 証明書、またはリモート UI からインストールした CA 証明書が使用されます。
- 認証方式に TTLS/PEAP を使用する場合は、リモート UI 使用時の通信を TLS 暗号化通信にします。🔗 [TLS を使用する \(P. 777\)](#)

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ネットワーク] ▶ [IEEE 802.1X 設定] をクリックする
→ [IEEE 802.1X 設定] 画面が表示されます。

副回線の設定を変更する場合

[ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [IEEE 802.1X 設定] をクリックします。

- 4 [IEEE 802.1X を使用する] にチェックマークを付け、ログイン名を入力する
ログイン名には、ユーザーを識別するための名前（EAP Identity）を半角英数字で入力します。
※主回線と副回線のどちらか一方で [IEEE 802.1X を使用する] にチェックマークを付けた場合は、もう一方にはチェックマークを付けることができません。

認証サーバーの証明書を検証する場合

[認証サーバーの証明書を検証する] にチェックマークを付けます。

証明書の共通名（Common Name）を検証する場合は、[認証サーバー名を検証する] にチェックマークを付け、ユーザーが登録されている認証サーバーの名前を入力します。

- 5 使用する認証方式に応じた設定をする

TLS を使用する場合

1. [TLS を使用する] にチェックマークを付ける
2. [鍵と証明書] をクリックする
→ [IEEE 802.1X の鍵と証明書] 画面が表示されます。
3. 使用する鍵と証明書の右側にある [使用する] をクリックする
 - 鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
 - 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証] をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。
4. リモート UI の画面上部の [IEEE 802.1X 設定] をクリックする



→ [IEEE 802.1X 設定] 画面に戻ります。

TTLS/PEAP を使用する場合

1. [TTLS を使用する] または [PEAP を使用する] にチェックマークを付ける
TTLS を使用する場合は、使用する内部プロトコルを選択します。
2. [ユーザー名にログイン名を使用する] で、ユーザー名に IEEE 802.1X 認証のログイン名を使用するかどうかを設定する
3. [ユーザー名/パスワード変更] をクリックする
→ [ユーザー名/パスワード設定] 画面が表示されます。
4. ユーザー名やパスワードを設定する
 - ユーザー名は半角英数字で入力します。
 - パスワードを設定する場合は、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを入力します。
5. [OK] をクリックする
→ [IEEE 802.1X 設定] 画面に戻ります。

6 [OK] をクリックする

7 [設定の反映] ▶ [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

副回線の設定を変更した場合は、[設定の反映] ▶ [再起動] をクリックします。

[基本機能の状態] で処理中の機能がないことを確認し、[再起動実行] をクリックします。

8 リモート UI からログアウトする

鍵と証明書を管理／検証する

EJ83-0F1

リモート UI 使用時の通信などを TLS により暗号化する場合や、IEEE 802.1X の認証方式に TLS を使用する場合は、鍵と証明書が必要になります。また、通信先によっては、指定された証明書による暗号化通信を要求されることがあり、その場合にも鍵と証明書が必要です。

鍵と証明書の管理

本機では、以下の方法で鍵と証明書を準備できます。

鍵と証明書を自己生成する

TLS で必要となる鍵と証明書を本機で生成します。自己署名証明書が許可されている通信をすぐに実行することができます。

🔗 鍵と証明書を生成する (P. 790)

自己生成した鍵に認証局で発行された証明書を登録する

本機で鍵を生成するときに、CSR (Certificate Signing Request : 証明書署名要求) を生成して認証局に申請し、認証局で発行された証明書を登録します。

🔗 鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する (P. 792)

自己生成した鍵に SCEP サーバーから取得した証明書を登録する

本機で鍵を生成するときに、SCEP (Simple Certificate Enrollment Protocol) サーバーに証明書の発行を要求し、SCEP サーバーから取得した証明書を登録します。証明書の発行要求を、指定した日時に行うように設定することもできます。

🔗 鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する (P. 795)

発行機関から入手した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

鍵と証明書を自己生成せず、電子証明書の発行機関から入手した鍵と証明書／CA 証明書を登録します。通信先や認証レベルに合わせた電子証明書を使用することができます。

🔗 発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する (P. 802)

S/MIME 証明書を登録する

メールや I ファックスを S/MIME で暗号化するときに使用する公開鍵証明書 (S/MIME 証明書) を登録します。

🔗 S/MIME 証明書を登録する (P. 804)

※本機には、「Default Key」という名前の鍵と証明書と、X.509 DER 形式の CA 証明書があらかじめ登録されています。

証明書の検証

本機が通信相手から証明書を受信したときに、CRL (Certificate Revocation List : 証明書失効リスト) または OCSP (Online Certificate Status Protocol) を使用して、証明書が有効かどうかを検証するように設定できます。

🔗 受信した証明書の検証方法を設定する (P. 805)

鍵と証明書を生成する

EJ83-0F2

TLS を使用した暗号化通信に必要な鍵と証明書を本機で生成します。自己生成した鍵には自己署名証明書が使われます。本機で生成可能な鍵と証明書のアルゴリズムについては、自己生成鍵と自己署名証明書の仕様を参照してください。🔗[鍵と証明書 \(P. 67\)](#)

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して生成する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [管理設定] から生成します。🔗[\[証明書設定\] \(P. 1155\)](#)
管理者権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗[リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗[リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

- 3 [デバイス管理] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする

→ [鍵と証明書設定] 画面が表示されます。

- 4 [鍵生成] ▶ [ネットワーク通信用] をクリックする

→ [ネットワーク通信用の鍵生成] 画面が表示されます。

- 5 鍵の名前を入力し、署名および鍵のアルゴリズムを選択する

- 鍵の名前は半角英数字で入力します。
- 鍵のアルゴリズムは、生成アルゴリズムを [RSA] または [ECDSA] から選択し、鍵長をプルダウンメニューから選択します。鍵長の数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

- 6 [証明書の設定] で、証明書の情報を設定する

[有効期限開始日(YYYY/MM/DD)] / [有効期限終了日(YYYY/MM/DD)]

証明書の有効期間の開始日と終了日を入力します。

[国/地域名]

[国/地域名で選択] を選択してプルダウンメニューから国/地域名を選択するか、[インターネット国コードで入力] を選択して国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

[都道府県] / [市町村] / [組織] / [組織単位]

必要に応じて、各項目を半角英数字で入力します。

[共通名]

必要に応じて、証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。「Common Name」(CN) または「一般名」に該当します。

[発行先代替名]

必要に応じて、SAN (Subject Alternative Name) に設定する IP アドレスまたはドメインを入力します。

- [発行先代替名] を設定しない場合は、[設定しない] にチェックマークを付けます。
- [IP アドレス] には、IPv4 アドレスのみ設定できます。

7 [OK] をクリックする

→ [鍵と証明書設定] 画面の鍵と証明書の一覧に、生成した鍵と証明書が追加されます。

8 リモート UI からログアウトする

メモ

生成した証明書の詳細情報を確認／検証する

- [鍵と証明書設定] 画面の鍵と証明書の一覧で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証] をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する

EJ83-0F3

本機で生成した証明書には認証局の署名がないため、通信相手によっては通信できないことがあります。その場合、認証局が発行した署名付きの証明書を鍵に登録することで、自己生成した鍵でも通信できるようになります。

署名付きの証明書を認証局に発行してもらうには、CSR（Certificate Signing Request：証明書署名要求）のファイルを添付して申請する必要があります。本機では、鍵の生成と同時に CSR を生成します。

本機で生成可能な鍵と CSR のアルゴリズムについては、自己生成鍵と CSR の仕様を参照してください。▶[鍵と証明書 \(P. 67\)](#)

▶[鍵と CSR を生成する \(P. 792\)](#)

▶[認証局から発行された証明書を鍵に登録する \(P. 793\)](#)

鍵と CSR を生成する

鍵と CSR は、パソコンからリモート UI を使用して生成します。操作パネルを使用して生成することはできません。管理者権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶[リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶[リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [デバイス管理] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする
→ [鍵と証明書設定] 画面が表示されます。
- 4 [鍵生成] ▶ [鍵と証明書署名要求(CSR)] をクリックする
→ [鍵と証明書署名要求(CSR)の生成] 画面が表示されます。
- 5 鍵の名前を入力し、署名および鍵のアルゴリズムを選択する
 - 鍵の名前は半角英数字で入力します。
 - 鍵のアルゴリズムは、生成アルゴリズムを [RSA] または [ECDSA] から選択し、鍵長をプルダウンメニューから選択します。鍵長の数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。
- 6 [証明書署名要求(CSR)の設定] で、CSR の情報を設定する

[国/地域名]
[国/地域名で選択] を選択してプルダウンメニューから国／地域名を選択するか、[インターネット国コードで入力] を選択して国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

[都道府県] ／ [市町村] ／ [組織] ／ [組織単位]
必要に応じて各項目を半角英数字で入力します。

[共通名]

必要に応じて、証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。「Common Name」(CN) または「一般名」に該当します。

[発行先代替名]

必要に応じて、SAN (Subject Alternative Name) に設定する IP アドレスまたはドメインを入力します。

- [発行先代替名] を設定しない場合は、[設定しない] にチェックマークを付けます。
- [IP アドレス] には、IPv4 アドレスのみ設定できます。

7 [OK] をクリックする

→ [鍵と証明書署名要求(CSR)詳細情報] 画面が表示されます。

8 [ファイルに保存] をクリックし、CSR のファイルをパソコンに保存する

9 リモート UI からログアウトする

10 CSR のファイルを添付して認証局に申請する

メモ

- CSR を生成した時点で、鍵は本機に登録されますが、認証局から発行された証明書を登録するまで使用できません。

認証局から発行された証明書を鍵に登録する

証明書は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。操作パネルを使用して登録することはできません。管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶ リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [デバイス管理] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする

→ [鍵と証明書設定] 画面が表示されます。

4 証明書を登録する鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックする



→ [鍵と証明書署名要求(CSR)詳細情報] 画面が表示されます。

5 [証明書の登録] をクリックする

6 [ファイルの選択] をクリックし、認証局から発行された証明書のファイルを指定する

7 [登録] をクリックする

→ [鍵と証明書設定] 画面の鍵と証明書の一覧に表示される証明書のアイコンが、 ▶  に変わります。

8 リモート UI からログアウトする

メモ

登録した証明書の詳細情報を確認／検証する

- [鍵と証明書設定] 画面の鍵と証明書の一覧で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証] をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する

EJ83-0F4

本機で鍵を生成するときに、証明書を管理する SCEP (Simple Certificate Enrollment Protocol) サーバーに証明書の発行を要求することができます。SCEP サーバーから取得した証明書は、本機に自動的に登録されます。

本機で生成可能な鍵と発行要求可能な証明書のアルゴリズムについては、自己生成鍵と CSR (Certificate Signing Request : 証明書署名要求) の仕様を参照してください。🔗[鍵と証明書 \(P. 67\)](#)

本機が対応している SCEP は、Windows Server 2008 R2 / Server 2012 R2 / Server 2016 のネットワークデバイス登録サービス (NDES) のみです。HTTPS による通信はサポートしていません。

SCEP サーバーから証明書を取得／登録するには、SCEP サーバーとの通信設定をしてから、鍵の生成と証明書の発行要求を行います。証明書の発行要求を、指定した日時に行うように設定することもできます。

- 🔗[SCEP サーバーの通信設定をする \(P. 795\)](#)
- 🔗[鍵の生成と証明書の発行要求を行う \(P. 796\)](#)
- 🔗[指定した日時に証明書の発行要求を行う \(P. 797\)](#)

SCEP サーバーの通信設定をする

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。管理者権限が必要です。

必要な準備

- SCEP サーバーの URL とポート番号を手元に用意します。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗[リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗[リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [デバイス管理] ▶ [証明書発行要求設定(SCEP)] ▶ [通信設定] をクリックする
→ [通信設定] 画面が表示されます。
- 4 SCEP サーバーの情報を設定する
[SCEP サーバーの URL :]
接続する SCEP サーバーの URL を入力します。
[ポート番号 :]
SCEP サーバーとの通信で使用するポート番号を入力します。
[通信タイムアウト :]
通信開始からタイムアウトするまでの時間を秒単位で入力します。

5 [更新] をクリックする

→ 設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

鍵の生成と証明書の発行要求を行う

鍵の生成と証明書の発行要求は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して行うことはできません。

管理者権限が必要です。証明書を取得したあとは、本機の再起動が必要となります。

※指定した日時に証明書を発行するように設定している場合は、この方法での証明書の発行要求はできません。▶ [指定した日時に証明書の発行要求を行う \(P. 797\)](#)

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶ [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

3 [デバイス管理] ▶ [証明書発行要求設定(SCEP)] ▶ [証明書の発行要求] をクリックする

→ [証明書の発行要求] 画面が表示されます。

4 鍵や証明書の情報を設定する

[鍵の名前:]

鍵の名前を半角英数字で入力します。

[署名アルゴリズム:]

署名アルゴリズムをプルダウンメニューから選択します。

[鍵の長さ(bit):]

鍵長をプルダウンメニューから選択します。数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

[組織:]

必要に応じて、組織名を半角英数字で入力します。

[共通名:]

必要に応じて、証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。「Common Name」(CN) または「一般名」に該当します。

[発行先代替名:]

必要に応じて、SAN (Subject Alternative Name) に設定する IP アドレスまたはドメインを入力します。

- [発行先代替名:] を設定しない場合は、[設定しない] にチェックマークを付けます。
- [IP アドレス] には、IPv4 アドレスのみ設定できます。

[チャレンジパスワード:]

SCEP サーバーにパスワードが設定されている場合は、発行要求時に使用するパスワードを半角英数字で入力します。

[鍵の使用先:]

生成した鍵の使用先を選択します。使用先が決まっていない場合は、[用途なし] を選択します。[IPSec] を選択した場合は、使用先の IPSec をプルダウンメニューから選択します。

5 [発行要求] ▶ [OK] をクリックする

→ 証明書の発行要求が SCEP サーバーに送信されます。

6 [証明書を取得しました。 [再起動] をクリックして、デバイスを再起動してください。] と表示されたら、[再起動] をクリックする

→ 本機が再起動し、鍵と証明書が登録されます。

メモ

発行要求の状況やエラー情報を確認する

- [設定/登録] ▶ [デバイス管理] ▶ [証明書発行要求設定(SCEP)] ▶ [証明書の発行要求状況] をクリックすると、詳細情報を確認できます。

証明書が発行されなかった場合は、発行要求状況にエラーが表示されます。表示されるメッセージと対処方法については、以下を参照してください。

▶ 証明書の発行要求状況にエラーが表示された場合 (P. 800)

登録された証明書の詳細情報を確認／検証する

- [設定/登録] ▶ [デバイス管理] ▶ [鍵と証明書設定] の鍵と証明書の一覧で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証] をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

指定した日時に証明書の発行要求を行う

証明書の発行要求を、指定した日時に行います。定期的に発行要求するように設定することもできます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶ リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [デバイス管理] ▶ [証明書発行要求設定(SCEP)] ▶ [証明書の自動発行要求設定] をクリックする

→ [証明書の自動発行要求設定] 画面が表示されます。

4 [証明書自動発行要求タイマーを有効にする] にチェックマークを付け、発行要求の開始日と開始時刻を入力する

5

必要に応じて、自動発行要求時の設定をする

[発行要求時刻を自動調整する]

発行要求時刻を調整したい場合は、チェックマークを付けます。

発行要求開始時刻からランダムに 1 分 ～ 10 分時刻をずらし、SCEP サーバーの負荷を軽減します。

[通信エラー発生時、または証明書の発行要求を保留時にポーリングを行う]

証明書の発行が保留になっている場合などに、SCEP サーバーの状態を確認します。チェックマークを付け、ポーリングの回数と間隔を入力します。

※以下の場合、ポーリングは行われず、エラーになります。

- 本機に登録可能な鍵と証明書の上限を超えた場合
- 取得したレスポンスデータにエラーがあった場合
- SCEP サーバー側でエラーが発生した場合

[定期的に発行要求を送信する]

証明書の発行要求を自動で定期的に行います。チェックマークを付け、発行要求の間隔をプルダウンメニューから選択します。

この設定を有効にした場合、発行要求開始日と開始時刻が再設定されます。

[証明書を取得後、自動的に本体を再起動する]

証明書を取得したあとに本機を再起動させる場合は、チェックマークを付けます。

[古い鍵と証明書を削除する]

鍵の使用先が同一の鍵と証明書を上書きする場合は、チェックマークを付けます。

6

[発行要求対象の鍵と証明書の設定] で、鍵や証明書の情報を設定する

[鍵の名称:]

鍵の名称を半角英数字で入力します。

[署名アルゴリズム:]

署名アルゴリズムをプルダウンメニューから選択します。

[鍵の長さ(bit):]

鍵長をプルダウンメニューから選択します。数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

[組織:]

必要に応じて、組織名を半角英数字で入力します。

[共通名:]

必要に応じて、証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。「Common Name」(CN) または「一般名」に該当します。

[発行先代替名:]

必要に応じて、SAN (Subject Alternative Name) に設定する IP アドレスまたはドメインを入力します。

- [発行先代替名:] を設定しない場合は、[設定しない] にチェックマークを付けます。
- [IP アドレス] には、IPv4 アドレスのみ設定できます。

[チャレンジパスワード:]

SCEP サーバーにパスワードが設定されている場合は、発行要求時に使用するパスワードを半角英数字で入力します。

[鍵の使用先:]

生成した鍵の使用先を選択します。使用先が決まっていない場合は、[用途なし] を選択します。[IPSec] を選択した場合は、使用先の IPSec をプルダウンメニューから選択します。

7 [更新] をクリックする

→ 設定が反映されます。

8 リモート UI からログアウトする

メモ

発行要求の状況やエラー情報を確認する

- [設定/登録] ▶ [デバイス管理] ▶ [証明書発行要求設定(SCEP)] ▶ [証明書の発行要求状況] をクリックすると、詳細情報を確認できます。

証明書が発行されなかった場合は、発行要求状況にエラーが表示されます。表示されるメッセージと対処方法については、以下を参照してください。

④ 証明書の発行要求状況にエラーが表示された場合 (P. 800)

登録された証明書の詳細情報を確認／検証する

- [設定/登録] ▶ [デバイス管理] ▶ [鍵と証明書設定] の鍵と証明書の一覧で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証] をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

証明書の発行要求状況にエラーが表示された場合

EJ83-0F5

証明書が発行されなかった場合は、発行要求状況にエラーが表示されます。以下の一覧からメッセージを選択して、対処方法を確認します。

- 🔑 鍵と証明書の登録上限エラー (P. 800)
- 📡 通信エラー(HTTP ERROR<HTTP ステータスコード>) (P. 800)
- 📡 通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 0 - アルゴリズム不明または非サポート) (P. 800)
- 📡 通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 1 - CMS メッセージの完全性チェックエラー) (P. 800)
- 📡 通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 2 - トランザクション不許可または非サポート) (P. 801)
- 📡 通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 3 - CMS の signingTime 属性の時刻とシステム時刻のずれ) (P. 801)
- 📡 通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 4 - 基準と一致する証明書なし) (P. 801)
- 📡 通信エラー(TCP ERROR) (P. 801)
- 🔒 保留 (P. 801)

メモ

- 対処方法を試してもトラブルが解消しない場合は、SCEP サーバーの管理者にお問い合わせください。

鍵と証明書の登録上限エラー

本機に登録可能な鍵と証明書が上限に達しました。
使用していない鍵と証明書を削除します。

通信エラー(HTTP ERROR<HTTP ステータスコード>)

HTTP エラーが発生しました。

[SCEP サーバーの通信設定を正しく設定しなおします](#)

- 🔑 鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する (P. 795)

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 0 - アルゴリズム不明または非サポート)

証明書のアルゴリズムが不明、またはサポートされていません。

[証明書発行要求の \[署名アルゴリズム:\] と \[鍵の長さ\(bit\):\] を正しく設定しなおします](#)

- 🔑 鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する (P. 795)

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 1 - CMS メッセージの完全性チェックエラー)

証明書の完全性チェック (CMS メッセージの署名検証) に失敗しました。

[証明書の発行要求をしなおします](#)

- 🔑 鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する (P. 795)

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 2 - トランザクション不許可または非サポート)

SCEP サーバーとの通信が許可されていない、またはサポートされていません。

[SCEP サーバーの通信設定を正しく設定しなおします](#)

➡ [鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する \(P. 795\)](#)

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 3 - CMS の signingTime 属性の時刻とシステム時刻のずれ)

CMS (PKCS#7) の authenticated 属性にある signingTime 属性の時刻が、SCEP サーバーの時刻からずれています。

[本機の日付／時刻の設定を確認してから、証明書の発行要求をしなおします](#)

正しく設定されていない場合は、タイムゾーンを設定したあとに、現在日時を設定します。

➡ [日付／時刻を設定する \(P. 870\)](#)

➡ [鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する \(P. 795\)](#)

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 4 - 基準と一致する証明書なし)

基準と一致する証明書かどうかを識別できません。

SCEP サーバーの管理者にお問い合わせください。

通信エラー(TCP ERROR)

SCEP サーバーへの接続が失敗／通信タイムアウトが発生しました。

[SCEP サーバーの通信設定を正しく設定しなおします](#)

➡ [鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する \(P. 795\)](#)

保留

SCEP サーバーから保留のステータスが返ってきました。

[しばらく待ってから、証明書の発行要求をしなおします](#)

➡ [鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する \(P. 795\)](#)

発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

EJ83-0F6

電子証明書の発行機関から入手した鍵と証明書／CA 証明書のファイルは、本機にインストールして登録することで使用できるようになります。

鍵と証明書／CA 証明書は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。操作パネルを使用して登録することはできません。

管理者権限が必要です。

必要な準備

- 本機で利用できる鍵と証明書／CA 証明書の条件を確認します。▶ [鍵と証明書 \(P. 67\)](#)
- 鍵と証明書を登録する場合は、ファイルに設定されている秘密鍵のパスワードを確認します。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶ [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [デバイス管理] ▶ [鍵と証明書設定] または [CA 証明書設定] をクリックする
→ [鍵と証明書設定] 画面または [CA 証明書設定] 画面が表示されます。
- 4 [鍵と証明書の登録] または [CA 証明書登録] をクリックする
→ [鍵と証明書の登録] 画面または [CA 証明書登録] 画面が表示されます。
- 5 鍵と証明書／CA 証明書のファイルをインストールする
 1. [インストール] をクリックする
 2. [ファイルの選択] をクリックし、インストールするファイルを指定する
 3. [インストール開始] をクリックする
→ [鍵と証明書の登録] 画面または [CA 証明書登録] 画面の、インストールされている鍵と証明書／CA 証明書の一覧に、インストールしたファイルが追加されます。
- 6 鍵と証明書／CA 証明書を登録する

鍵と証明書を登録する場合

1. 登録する鍵と証明書ファイルを選択し、[登録] をクリックする

→ [秘密鍵パスワードの入力] 画面が表示されます。

2. 鍵の名前とパスワードを半角英数字で入力し、[OK] をクリックする

→ [鍵と証明書設定] 画面の鍵と証明書の一覧に、登録した鍵と証明書が追加されます。

CA 証明書を登録する場合

登録する CA 証明書を選択し、[登録] をクリックします。

→ [CA 証明書設定] 画面の CA 証明書の一覧に、登録した CA 証明書が追加されます。

7 リモート UI からログアウトする

メモ

登録した証明書の詳細情報を確認／検証する

- [鍵と証明書設定] 画面の鍵と証明書の一覧で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証] をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

登録した CA 証明書の詳細情報を確認／検証する

- [CA 証明書設定] 画面の CA 証明書の一覧で、証明書のアイコンをクリックすると、CA 証明書の詳細情報を確認できます。
- CA 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証] をクリックすると、CA 証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

S/MIME 証明書を登録する

EJ83-0F7

メールやIファックスを S/MIME で暗号化するとき使用する公開鍵証明書（S/MIME 証明書）を本機に登録します。

S/MIME 証明書は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。操作パネルを使用して登録することはできません。管理者権限が必要です。

必要な準備

- 本機で利用できる S/MIME 証明書の条件を確認します。🔗[鍵と証明書 \(P. 67\)](#)

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗[リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗[リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [デバイス管理] ▶ [S/MIME 証明書設定] をクリックする
→ [S/MIME 証明書設定] 画面が表示されます。
- 4 [S/MIME 証明書登録] をクリックする
→ [S/MIME 証明書登録] 画面が表示されます。
- 5 [ファイルの選択] をクリックし、登録するファイルを指定する
- 6 [登録] をクリックする
→ [S/MIME 証明書設定] 画面の S/MIME 証明書の一覧に、登録した S/MIME 証明書が追加されます。
- 7 リモート UI からログアウトする

メモ

登録した S/MIME 証明書の詳細情報を確認／検証する

- [S/MIME 証明書設定] 画面の S/MIME 証明書の一覧で、証明書のアイコンをクリックすると、S/MIME 証明書の詳細情報を確認できます。
- S/MIME 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証] をクリックすると、S/MIME 証明書が有効かどうかを検証できます。

受信した証明書の検証方法を設定する

EJ83-0F8

本機が通信相手から証明書を受信したときに、CRL（Certificate Revocation List：証明書失効リスト）または OCSP（Online Certificate Status Protocol）を使用して、証明書が有効かどうかを検証するように設定できます。

CRL

CRL とは、失効した証明書の情報が記載された認証局発行のファイルです。

認証局から入手した CRL を本機に登録しておくことで、本機が通信相手から証明書を受信したときに、CRL と照合して証明書が有効かどうかを検証することができます。

本機に登録した CRL は自動では更新されないため、認証局で更新されるたびに再登録する必要があります。

➡CRL（証明書失効リスト）を登録して検証する (P. 805)

OCSP

OCSP とは、認証局が発行した証明書が失効していないかを、OCSP レスポンダー（OCSP に対応したサーバー）に問い合わせるためのプロトコルです。

本機が通信相手から証明書を受信したときに、OCSP を使用して証明書が有効かどうかを検証するように設定できます。

➡受信した証明書を OCSP で検証する (P. 806)

CRL（証明書失効リスト）を登録して検証する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。管理者権限が必要です。

必要な準備

- 本機で利用できる CRL の条件を確認します。 ➡鍵と証明書 (P. 67)

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 [デバイス管理] ▶ [証明書失効リスト(CRL)設定] をクリックする
→ [証明書失効リスト(CRL)設定] 画面が表示されます。
- 4 [CRL の登録] をクリックする
→ [証明書失効リスト(CRL)の登録] 画面が表示されます。
- 5 [ファイルの選択] をクリックし、登録するファイルを指定する
- 6 [登録] をクリックする

→ [証明書失効リスト(CRL)設定] 画面の CRL の一覧に、登録した CRL が追加されます。

7 リモート UI からログアウトする

メモ

登録した CRL の詳細情報を確認／検証する

- [証明書失効リスト(CRL)設定] 画面の CRL の一覧で、CRL のアイコンをクリックすると、CRL の詳細情報を確認できます。
- CRL 詳細情報の画面で、[CRL の検証] をクリックすると、CRL が有効かどうかを検証できます。

受信した証明書を OCSP で検証する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [デバイス管理] ▶ [証明書失効確認(OCSP)設定] をクリックする

→ [証明書失効確認(OCSP)設定] 画面が表示されます。

4 [証明書失効確認(OCSP)を使用する] にチェックマークを付ける

5 検証レベルと OCSP レスポンダーの設定をする

[証明書検証レベル]

OCSP レスポンダーに接続できない場合など、証明書失効確認ができなかったときに、証明書を有効とするかどうかを設定します。

[OCSP レスポンダー設定]

使用する OCSP レスポンダーの URL を選択します。[任意の URL を使用する] または [証明書記載の URL、任意の URL の順に使用する] を選択した場合は、[任意の URL] に OCSP レスポンダーの URL を入力します。

[通信タイムアウト]

通信開始からタイムアウトするまでの時間を秒単位で入力します。

6 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

誤送信／漏えい／改ざんの防止

EJ83-0F9

意図せず誤った宛先にファクスを送信したり、プリントした文書を放置したりすることで、情報漏えいのリスクが生じます。また、パソコンからのファクス送信やメモリーメディアの使用は、手軽で便利な反面、誤操作や情報の持ち出しにつながります。機密文書を管理する場合には、スキャン文書の改ざんなど、悪意のある第三者による脅威にもさらされます。各機能の利用状況に応じて、誤送信／漏えい／改ざんを防ぐための対策をとり、より安全に本機を使用できるようにします。

送信先の制限／確認

スキャンデータやファクスを送信するときに指定できる宛先を制限したり、ファクス番号を確認する画面を送信時に表示したりできます。公開鍵を設定して、接続先の SFTP サーバーを認証することもできます。

- 指定できる宛先を制限する (P. 808)
- 複数の宛先へのファクス送信を禁止する (P. 812)
- 送信前にファクス番号を確認する (P. 813)
- 接続先の SFTP サーバーを認証する (P. 835)

適切な機能制限

ファクス送信やメモリーメディアの、機能の一部または機能自体の使用を禁止できます。

- パソコンからのファクス送信を禁止する (P. 812)
- メモリーメディアの使用を制限する (P. 815)

プリント放置や持ち去りの防止

パソコンからのプリントを制限したり、受信したファクスをすぐにプリントしないようにしたりできます。

- プリントを制限する (P. 817)

電子署名の付加／メールの暗号化

スキャンデータに電子署名を付けることで、ファイルの作成元が保証され、改ざんされていない文書であることを証明できます。S/MIME を設定して、メール／I ファクスを暗号化したり電子署名を付けたりすることもできます。

- スキャンデータに電子署名を付ける (P. 829)
- メールを S/MIME で暗号化する (P. 833)

関連項目

ユーザー自身による対策

ユーザーが各機能を使用するときにはできる対策もあります。

- プリント ➤ プリントのセキュリティを高める (P. 371)
- スキャン ➤ スキャンデータのセキュリティを高める (P. 432)
- ファクス ➤ PC ファクスを安全に送信するために (P. 518)

指定できる宛先を制限する

EJ83-0FA

送信先を制限することで、スキャンデータやファクスの誤送信／漏えいを防ぎます。

- ① 送信履歴からの宛先指定を禁止する (P. 808)
- ② 登録済みの宛先だけに送信できるようにする (P. 809)
- ③ 送信先を特定ドメインに限定する (P. 809)
- ④ 送信先をログインユーザーのメールアドレス／マイフォルダーに限定する (P. 811)

重要

パソコンから送信するファクスの宛先は制限されません

- 履歴からの宛先指定や新規宛先の指定を禁止しても、パソコンからのファクス送信（PC ファクス）では、ユーザーが任意の宛先を指定してファクスを送信できます。より厳密に宛先を制限するには、パソコンからのファクス送信自体も禁止する必要があります。④ **パソコンからのファクス送信を禁止する (P. 812)**

ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用している場合は、送信先の制限機能が一部設定できません

- 詳細については、オンラインマニュアルサイトで ACCESS MANAGEMENT SYSTEM のマニュアルを参照してください。
<https://oip.manual.canon/>

送信履歴からの宛先指定を禁止する

スキャンやファクスの送信履歴から宛先を指定できないようにします。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  **設定/登録** ▶ **[ファンクション設定]** から設定します。④ **【履歴からの再送信を制限】 (P. 1081)**

Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ④ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ④ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [送信] ▶ [共通設定] をクリックする
→ [共通設定] 画面が表示されます。
- 4 [履歴からの再送信を制限する] にチェックマークを付ける
- 5 [OK] をクリックする
→ 設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

登録済みの宛先のみを送信できるようにする

送信先に指定できる宛先を、以下の宛先に限定します。

- アドレス帳やワンタッチボタンに登録されている宛先 ➡ **宛先の登録 - アドレス帳 (P. 270)**
- 「よく使う設定」に登録されている宛先 ➡ **「よく使う設定」を登録する (P. 181)**
- ユーザー情報に登録されているログインユーザーのメールアドレス ➡ **ユーザー情報を登録する (P. 687)**
- LDAP サーバーに登録されている宛先 ➡ **LDAP サーバーを登録する (P. 125)**

この機能を有効にすると、テンキーを使った宛先入力ができなくなります。また、この機能を有効にする前に記録された送信履歴は削除され、指定できる上記の宛先だけが送信履歴に残るようになります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  **設定/登録** ▶ **ファンクション設定** から設定します。 ➡ **【新規宛先の制限】 (P. 1080)**

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**

3 [送信] ▶ **【新規宛先の制限】** をクリックする

→ **【新規宛先の制限】** 画面が表示されます。

4 **【新規宛先の制限】** で、宛先を限定する機能にチェックマークを付ける

5 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

送信先を特定ドメインに限定する

メールやファクスの送信先を、指定したドメインのアドレスのみに限定します。指定したドメインへの送信を許可しつつ、そのサブドメインへの送信を制限することもできます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  **設定/登録** ▶ **ファンクション設定** から設定します。 ➡ **【送信先ドメイン制限】 (P. 1090)**

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [送信] ➡ [新規宛先の制限] をクリックする
→ [新規宛先の制限] 画面が表示されます。
- 4 [送信先ドメインを制限する] にチェックマークを付ける
- 5 [送信許可ドメイン] の一覧に、送信先として許可するドメインを追加する

- 一覧にドメインを追加するには、[追加] の上にある入力欄にドメインを入力し、[追加] をクリックします。
- 入力したドメインのサブドメインへの送信も許可する場合は、[サブドメインへの送信を許可する] にチェックマークを付けてから [追加] をクリックします。
- 最大3件のドメインを追加できます。

- 6 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

- 7 リモート UI からログアウトする

メモ

追加済みのドメインを編集する

- [送信許可ドメイン] の一覧で、編集したいドメインを選択し、[置換] の上にある入力欄に表示されたドメインを編集して、[置換] をクリックします。

送信先をログインユーザーのメールアドレス／マイフォルダーに限定する

メール送信時の宛先やファイル送信時の保存先を、以下の宛先や保存先に限定します。

- ユーザー情報に登録されているログインユーザーのメールアドレス ➡ **ユーザー情報を登録する (P. 687)**
- ログインユーザー専用のフォルダー（マイフォルダー） ➡ **マイフォルダーを設定する (P. 749)**

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  **設定/登録** ➡ **[ファンクション設定]** から設定します。 ➡ **[共通設定]** **(P. 1073)**

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [送信] ➡ [送信先の制限] をクリックする
➔ [送信先の制限] 画面が表示されます。
- 4 [送信先] で、送信先を限定する項目にチェックマークを付ける
 - メール送信時の宛先をログインユーザーのメールアドレスに限定する場合は、[E メール送信を「自分へ送信」のみにする] にチェックマークを付けます。
 - ファイル送信時の保存先をマイフォルダーに限定する場合は、[ファイル送信を「マイフォルダー」のみにする] にチェックマークを付けます。
- 5 [OK] をクリックする
➔ 設定が反映されます。
- 6 リモート UI からログアウトする

ファクス送信を制限する／宛先を確認する

EJ83-0FC

パソコンからのファクス送信（PC ファクス）や、複数の宛先へのファクス送信（同報送信）を禁止したり、送信前にファクス番号の確認画面を表示したりすることで、ファクスからの情報漏えいを防ぎます。

- ① パソコンからのファクス送信を禁止する (P. 812)
- ② 複数の宛先へのファクス送信を禁止する (P. 812)
- ③ 送信前にファクス番号を確認する (P. 813)

パソコンからのファクス送信を禁止する

ファクスドライバーからの送信を禁止することで、PC ファクスを使用できないようにします。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。④ [ファクスドライバーからの送信を許可] (P. 1100)

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ④ リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ④ リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 [送信] ▶ [ファクスドライバーからの送信を許可] をクリックする
→ [ファクスドライバーからの送信を許可] 画面が表示されます。
- 4 [ファクスドライバーからの送信を許可する] のチェックマークを外す
- 5 [OK] をクリックする
→ 設定が反映されます。
- 6 リモート UI からログアウトする

複数の宛先へのファクス送信を禁止する

ファクスの宛先を指定した場合に、複数の宛先への送信（同報送信）を禁止します。

※グループの宛先を指定して、複数の宛先に送信することはできません。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。  **【ファクス宛先を含む同報送信を制限】 (P. 1100)**
Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [送信] ▶ [送信機能設定-ファクス設定] をクリックする
→ [送信機能設定-ファクス設定] 画面が表示されます。
- 4 [ファクス宛先を含む同報送信を制限する] にチェックマークを付ける
- 5 [OK] をクリックする
→ 設定が反映されます
- 6 リモート UI からログアウトする

送信前にファクス番号を確認する

ファクスを送信する前に、宛先を確認する画面を表示するように設定します。宛先の指定や入力内容に間違いがないか確認することで、誤送信を防ぎます。

確認画面が表示されるタイミング

- ファクスを送信するとき
ファクスの宛先を指定した場合、送信時に宛先の確認画面が表示されます。複数の宛先に送信するとき（同報送信）だけに表示するか、すべての送信時に表示するかを設定できます。
※グループの宛先を指定した場合は、そのグループにファクスの宛先が含まれていても、確認画面は表示されません。
- テンキーでファクス番号を入力したとき
ファクス番号を入力したときに、番号を再入力する画面が表示されます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。  **【ファクス設定】 (P. 1093)**
Administrator 権限が必要です。ファクス番号入力時の確認画面のみを設定する場合は、DeviceAdmin 権限でも設定できます。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  **リモート UI を起動する (P. 887)**

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [🔗 リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

3 [送信] をクリックする

4 宛先の確認画面を表示するように設定する

ファクスを送信するときに表示する場合

1. [送信機能設定-ファクス設定] をクリックする
→ [送信機能設定-ファクス設定] 画面が表示されます。
2. [ファクス宛先を含む場合に確認画面を表示する] にチェックマークを付け、表示対象を選択する
同報送信が禁止されている場合は、表示対象は選択できません。 [🔗 複数の宛先へのファクス送信を禁止する \(P. 812\)](#)

テンキーでファクス番号を入力したときに表示する場合

1. [ファクス番号入力時の確認入力(誤送信防止)] をクリックする
→ [ファクス番号入力時の確認入力(誤送信防止)] 画面が表示されます。
2. [ファクス番号入力時に確認入力する] にチェックマークを付ける

5 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

メモ

- 送信時と番号入力時の両方の設定を有効にした場合、宛先が番号入力した1件のみのときは、番号を再入力する画面のみが表示され、送信時の確認画面は表示されません。

メモリーメディアの使用を制限する

EJ83-0FE

USB メモリーなどのメモリーメディアは手軽で便利な反面、情報漏えいの要因となるおそれがあります。特定の機能ごとにメモリーメディアの使用を禁止したり、メモリーメディア自体の使用を禁止したりできます。

④ スキャン／プリント時にメモリーメディアを使用できないようにする (P. 815)

④ メモリーメディア自体を使用できないようにする (P. 816)

メモ

- この設定でメモリーメディアの使用を制限しても、本機の右側面奥にあるパソコン接続用の USB ポートにパソコンを接続して使うことはできます。パソコンの接続も制限する場合は、以下を参照してください。

④ パソコンと USB 接続できないようにする (P. 841)

スキャン／プリント時にメモリーメディアを使用できないようにする

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。④ [スキャン/プリント機能を使用] (P. 1126)

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ④ リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ④ リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [ファイル保存/利用] ▶ [メモリーメディア設定] をクリックする

→ [メモリーメディア設定] 画面が表示されます。

4 使用できないようにする機能のチェックマークを外し、[OK] をクリックする

スキャンデータをメモリーメディアに保存できないようにする場合
[スキャン機能を使用する] のチェックマークを外します。

メモリーメディア内のデータをプリントできないようにする場合
[プリント機能を使用する] のチェックマークを外します。

5 本機を再起動する ④ 再起動する (P. 148)

→ 設定が反映されます。

メモリーメディア自体を使用できないようにする

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの [ 設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。➡ **[USB 外部記憶デバイスを使用] (P. 1029)**

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [外部インターフェイス] ▶ [USB 設定] をクリックする
→ [USB 設定] 画面が表示されます。
- 4 [USB 外部記憶デバイスを使用する] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする
- 5 本機を再起動する ➡ **再起動する (P. 148)**
→ 設定が反映されます。

プリントを制限する

EJ83-0FF

パソコンからのプリントを制限したり、受信したファクスをすぐにプリントしないようにしたりします。プリントした用紙の放置や持ち去りを防ぐだけでなく、不要なプリントを中止できるようにすることで用紙の節約にもつながります。

パソコンからのプリント制限

パソコンからのプリントを禁止したり、パソコンから送信された文書を強制的に本機に留め置いてすぐにプリントされないように設定したりできます。

パソコンからのプリントを暗号化セキュアプリントのみに限定することで、通信途中でのデータの盗聴や改ざんのリスクを減らすこともできます。

- ➡ **パソコンからのプリントを禁止する (P. 818)**
- ➡ **パソコンからの文書をすぐにプリントしないようにする - 強制留め置き (P. 819)**
- ➡ **パソコンからのプリントを暗号化セキュアプリントに限定する (P. 823)**

ファクスのプリント制限

受信したファクスをすぐにプリントせず、本機のメモリーに一時保存したり、事前に指定した格納場所に保存したりできます。

- ➡ **受信したファクスをすぐにプリントしないようにする (P. 824)**

関連項目

ユーザー自身による対策

ユーザーがプリント機能を使用するときに行える対策もあります。

- ➡ **暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント (P. 372)**

パソコンからのプリントを禁止する

EJ83-0FH

パソコンからプリントできないようにします。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの [ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。▶ **[プリンタージョブの制限] (P. 1067)**

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [プリンター] ▶ [プリンタージョブの制限] をクリックする
→ [プリンタージョブの制限] 画面が表示されます。
- 4 [プリンタージョブを制限する] にチェックマークを付ける
- 5 [OK] をクリックする
→ 設定が反映されます。
- 6 リモート UI からログアウトする

パソコンからの文書をすぐにプリントしないようにする - 強制留め置き

EJ83-0FJ

パソコンから本機に送信された文書（プリントデータ）をすぐにプリントせず、いったん本機に留め置くようにします。ログインユーザー以外の文書を表示しないようにして、ログインユーザー以外はプリントできないようにすることもできるので、大切な文書を他人に見られたり、間違えて持って行かれたりするといったリスクを防止します。

プリントが実行されずに一定時間経過すると、本機に留め置かれた文書は自動的に削除されてプリントできなくなります。必要に応じて、留め置かれた文書の保存時間を変更します。

④ 強制留め置きを設定する (P. 819)

⑤ 留め置かれた文書の保存時間を変更する (P. 822)

メモ

- 留め置かれた文書のプリント方法については、以下を参照してください。
 - ④ 強制的に留め置かれた文書をプリントする (P. 384)
- 留め置きできるユーザー数と文書については、留め置きプリント機能の仕様を参照してください。④ 留め置きプリント機能 (P. 57)

強制留め置きを設定する

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。④ [強制留め置き] (P. 1127)

管理者権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ④ リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ④ リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 [プリンター] ▶ [プリント] をクリックする
→ [プリント] 画面が表示されます。
- 4 [強制留め置き設定] で、[強制留め置きをする] にチェックマークを付ける
- 5 必要に応じて、文書を留め置く条件を登録する
 - ユーザー名や IP アドレスなどに基づいて、文書を留め置かずにプリントしたり、プリントを中止したりする条件を登録します。複数の条件を登録した場合は、優先順位を設定します。
 - 条件を登録していない状態で強制留め置きを有効にすると、パソコンからの文書は以下のとおり処理されます。

- すべてのユーザーの文書が留め置かれます。
- ユーザーが不明な文書は削除されます。

条件を登録する

1. [登録されている条件] の [新規登録] をクリックする
→ [新規条件の登録] 画面が表示されます。
2. 条件名を入力する
3. [条件を有効にする] にチェックマークを付ける
4. 条件の種類と内容を設定する

設定/登録：ファンクション設定：プリンター > プリント > 新規条件の登録

新規条件の登録 最終更新：2023 11/01 12:36:33

OK キャンセル

条件設定

条件名： (25文字まで)

☒ 条件を有効にする

種類：

動作対象： ☒ 設定した値 ☐ 設定した値以外

動作：

置換ID： (32文字まで)

ユーザー名設定

ユーザー名： (32文字まで)

* [ユーザー名]を入力せずに空欄で設定した場合は、「ユーザー不定」として登録されます。

IPアドレス設定

IPアドレス：

* 範囲指定する場合xxx.xxx.xxx.xxx-xxx.xxx.xxxのようにハイフンをつないでください。

入力方式設定

入力方式：

ユーザー名を条件にする場合

[種類] で [ユーザー名] を選択し、条件にするユーザー名を [ユーザー名設定] で入力します。

ユーザーが不明な文書を条件にする場合

[種類] で [ユーザー名] を選択し、[ユーザー名設定] を空欄のままにしておきます。

IP アドレスを条件にする場合

[種類] で [IP アドレス] を選択し、条件にする IP アドレスを [IP アドレス設定] で入力します。
「-」（ハイフン）を使用して、IP アドレスを範囲で指定することもできます。

入力例： IP アドレスを範囲で指定する場合

192.168.0.10-192.168.0.20

文書のプロトコルを条件にする場合

[種類] で [入力方式] を選択し、条件にするプロトコルを [入力方式設定] で選択します。

5. [動作対象] で、条件の対象を設定する
 - 条件に該当する文書を対象とする場合は、[設定した値] を選択します。
 - 条件に該当しない文書を対象とする場合は、[設定した値以外] を選択します。
6. [動作] で、文書に対して行う処理を選択する

- 留め置かずに文書を削除する場合は、[取り消す] を選択します。
- 留め置かずに文書をプリントする場合は、[プリントする] を選択します。ただし、セキュアプリント／暗号化セキュアプリント文書の場合は、共有文書として留め置きます。
- 文書を留め置く場合は、[共有として留め置く] を選択します。[置換 ID] で、文書を留め置くときのユーザー名を指定できます。

7. [OK] をクリックする

→ [プリント] 画面の [登録されている条件] に、登録した条件が追加されます。

条件の優先順位を設定する

[登録されている条件] で、[優先順位変更] の [上げる] / [下げる] をクリックします。

6 必要に応じて、[その他] で強制留め置きの詳細設定をする

有効にする項目にチェックマークを付けます。

[プリント後ジョブを削除する]

留め置かれた文書をプリント後に削除します。

[暗号化セキュアプリントジョブのみ受け付ける]

パソコンからのプリントを暗号化セキュアプリントのみに限定します。▶ **パソコンからのプリントを暗号化セキュアプリントに限定する (P. 823)**

[マイジョブの判定条件にドメイン名を含める]

ログインユーザーの文書の判別に、ドメイン名を含めます。

ログインユーザーの文書が正しく判別されない場合は、チェックマークを外して、ユーザー名のみを判別に使用します。

[認証ユーザー以外のジョブを表示する]

ログインユーザー以外の文書を表示します。

[認証ユーザー以外のジョブの削除を制限する]

ログインユーザーが自分以外の文書を削除できないようにします。

[ユーザー名の大文字/小文字を区別する]

文書のユーザー判定で大文字／小文字を区別します。

※ユーザー認証で使用するユーザー判定の設定と合わせて設定することをおすすめします。▶ **[ユーザー名の大文字/小文字を区別する] (P. 1147)**

[同一グループユーザーのジョブを表示する]

ログインユーザーが所属する部門 ID の文書を表示します。

[ログイン時に自動プリント機能を使用する]

留め置かれた文書の自動プリント機能を有効にします。

チェックマークを付けると、ログインユーザーが [ログイン時にマイジョブを自動でプリントする] を設定できるようになります。▶ **[ログイン時にマイジョブを自動でプリントする] (P. 1131)**

※以下のいずれかに該当する場合は、この設定は無効になります。

- ユーザー認証機能が無効 ▶ **[ユーザー認証を使用] (P. 1146)**
- パーソナライズ機能が無効 ▶ **[個人設定の登録を使用] (P. 1162)**
- ACCESS MANAGEMENT SYSTEM が有効 ▶ **[ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用] (P. 1167)**
- 本機のプリントの画面にログインユーザーの文書を表示しないように設定されている ▶ **[ジョブリストの表示設定] (P. 1129)**
- 強制留め置きの詳細設定で、[暗号化セキュアプリントジョブのみ受け付ける] にチェックマークが付いている
- 強制留め置きの詳細設定で、[留め置きジョブの警告設定] の [プリント実行時に警告を表示する] にチェックマークが付いている

[留め置きジョブの警告設定]

留め置かれた文書を表示／プリントするときに、警告を表示するかどうかを設定します。
警告を表示する場合は、その条件も設定します。

[セキュアプリントの暗証番号設定]

セキュアプリントの文書进行操作するときに暗証番号を入力するかどうかを設定します。

※暗号化セキュアプリントの文書が対象の場合は、この設定にかかわらず、暗証番号の入力が必要です。

[マイジョブのプリント/画像表示時に暗証番号を必要とする]

ログインユーザーが留め置かれた自分の文書をプリントするときや、プレビュー画面表示するときに、暗証番号の入力が必要になるようにします。

※シンプルログインが有効で、暗証番号やパターンの入力が必要ではない場合に設定できます。 ➡ **[暗証番号かパターンを必ず使用] (P. 1150)**

[ジョブの削除時に暗証番号を必要とする]

留め置かれたプリントデータを削除するときに、暗証番号の入力が必要になるようにします。

7 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

8 リモート UI からログアウトする

メモ

登録済みの条件を編集する

- [プリント] 画面の [登録されている条件] で、編集したい条件名をクリックすると、登録内容を編集できます。

留め置かれた文書の保存時間を変更する

本機に留め置かれた文書が削除されるまでの時間を変更します。

保存時間は、操作パネルを使用して変更します。パソコンからリモート UI を使用して変更することはできません。
管理者権限が必要です。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ➡ **ログイン方法 (P. 191)**

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 **設定/登録** を押す ➡ **[ホーム] 画面 (P. 156)**

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [ファンクション設定] ▶ [プリント] ▶ [ジョブの保存期間] を押す

→ [ジョブの保存期間] 画面が表示されます。

4 文書の保存時間（削除されるまでの時間）を変更する

5 [OK] を押す

→ 変更が反映されます。

パソコンからのプリントを暗号化セキュアプリントに限定する

EJ83-0FK

暗号化セキュアプリントとは、パソコンからのプリント時にパスワードを設定した文書（セキュアデータ）を、暗号化して本機に送信する機能です。

パソコンからのプリントを暗号化セキュアプリントのみに限定することで、通信途中でのデータの盗聴や改ざんのリスクが低減します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。  **【暗号化セキュアプリントジョブのみ受付】 (P. 1128)**

管理者権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [プリンター] ▶ [プリント] をクリックする
→ [プリント] 画面が表示されます。
- 4 [その他] で、[暗号化セキュアプリントジョブのみ受け付ける] にチェックマークを付ける
- 5 [OK] をクリックする
→ 設定が反映されます。
- 6 リモート UI からログアウトする

メモ

- 暗号化セキュアプリントのプリント方法については、以下を参照してください。
 **暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント (P. 372)**

受信したファクスをすぐにプリントしないようにする

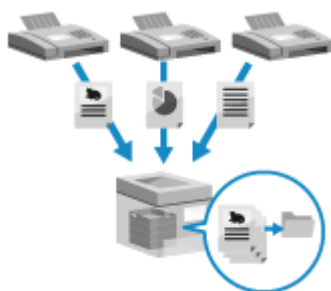
EJ83-0FL

受信したファクスをすぐにプリントせず、本機のメモリー（システムボックスのメモリー受信ボックス）に一時保存したり、事前に指定した格納場所（ファクスボックス）に保存したりします。

各ボックスに保存されたファクスは、操作パネルやリモート UI で、ファクスの内容を確認してからプリントすることができます。プリントされたファクスの放置や持ち去りを防ぐだけでなく、不要なファクスをプリントせずに削除することで用紙の節約にもつながります。

また、各ボックスに暗証番号を設定して、受信したファクスを確認／プリントできるユーザーを制限することも可能です。

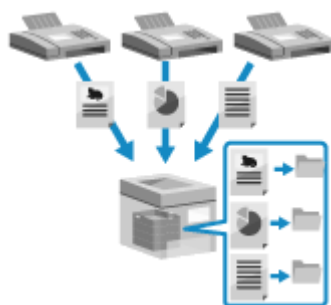
メモリー受信



ファクスを受信した直後にプリントしないで、一時的に本機のメモリー（メモリー受信ボックス）に保存します。メモリー受信ボックスに保存されたファクスは、指定した宛先に転送することができます。週末や夜間など、指定した曜日や時間帯にのみメモリー受信するように設定することもできます。

➡ **メモリー受信を設定する (P. 824)**

親展受信



相手先のファクス番号など、あらかじめ設定しておいた条件に合致する受信文書を、事前に指定した格納場所（ファクスボックス）に保存します。ファクスボックスは複数個あります。

たとえば、「A 社からのファクスはボックス番号 10 にすべて保存」といった内容の条件を指定しておけば、必要な文書の確認がしやすくなります。

➡ **親展受信を設定する (P. 826)**

メモリー受信を設定する

メモリー受信を使用するには、メモリー受信の使用を許可するように設定してから、受信したファクスをメモリー（メモリー受信ボックス）に保存するように設定します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面の以下から順に設定します。

- メモリー受信の使用許可の設定：[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定]  [受信トレイ設定] (P. 1113)
- メモリー受信ボックスの設定：[受信トレイ] ▶ [システムボックス] ▶ [メモリー受信ボックス]

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 メモリー受信の使用を許可するように設定する

1. [受信/転送] ▶ [メモリー受信設定] をクリックする

→ [メモリー受信設定] 画面が表示されます。

[暗証番号の入力] 画面が表示された場合は、システムボックスに設定されている暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

2. [ファクスメモリー受信を使用する] / [I ファクスメモリー受信を使用する] にチェックマークを付ける
3. 必要に応じて、メモリー受信をする曜日や時間帯を指定する

毎日同じ時間帯を指定する場合

[メモリー受信開始時刻指定する] と [メモリー受信終了時刻指定する] で [毎日指定] を選択し、それぞれの [毎日指定] の入力欄に、開始時刻と終了時刻を入力します。

曜日ごとに時間帯を指定する場合

[メモリー受信開始時刻指定する] と [メモリー受信終了時刻指定する] で [曜日指定] を選択し、それぞれの [曜日指定] の入力欄に、開始時刻と終了時刻を入力します。

4. [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

4 [ポータルへ] をクリックする

→ ポータル画面が表示されます。

5 メモリー受信ボックスの設定をする

1. [受信/保存ファイルの利用] ▶ [システムボックス] ▶ [メモリー受信ボックス] をクリックする

→ メモリー受信ボックスの画面が表示されます。

[暗証番号の入力] 画面が表示された場合は、システムボックスに設定されている暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

2. [メモリー受信設定] をクリックする

→ [メモリー受信の設定] 画面が表示されます。

3. [ファクスメモリー受信] / [I ファクスメモリー受信] を [ON] に設定する

4. [OK] をクリックする

→設定が反映されます。

5. 必要に応じて、暗証番号を設定する

[設定] をクリックすると、システムボックスの暗証番号を設定できます。[暗証番号を設定する] にチェックマークを付け、[暗証番号] と [確認入力] の両方に同じ数字を入力して、[OK] をクリックします。

6

リモート UI からログアウトする

重要

- メモリー受信の設定が無効になる以下のときには、メモリーに保存されているファクス/I ファクスはすべて自動でプリントされます。
 - 手順 3-3 で指定したメモリー受信の終了時刻になったとき
 - 手順 5-3 で [ファクスメモリー受信] / [I ファクスメモリー受信] を [OFF] に変更したとき

メモ

- メモリー受信したファクスの操作方法については、以下を参照してください。
 - ▶ **メモリー受信したファクスを確認／プリント／転送する (P. 545)**

親展受信を設定する

親展受信を使用するには、受信したファクスがファクスボックスに自動転送されるように設定します。必要に応じて、ファクスボックスの設定も行います。

ファクスボックスに自動転送されるように設定する

転送条件（ファクスボックスに自動転送する条件）を登録し、その条件に該当するファクスの転送先としてファクスボックスを指定します。

▶ **受信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 497)**

ファクスボックスの設定をする

必要に応じて、各ファクスボックスに名前を付けたり、暗証番号を設定したりできます。ファクスが保存されたときにメールで通知するように設定することもできます。

▶ **ファクスボックスを設定する (P. 827)**

メモ

- 親展受信したファクスの操作方法については、以下を参照してください。
 - ▶ **親展受信したファクスを確認／プリントする (P. 547)**

ファクスボックスを設定する

EJ83-0FR

各ファクスボックスに名前を付けたり、暗証番号を設定したりできます。ファクスが保存されたときにメールで通知するように設定することもできます。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。リモート UI では、ポータル画面の「受信/保存ファイルの利用」▶ファクスボックスを選択▶「設定」から設定します。ただし、一部の項目はリモート UI では設定できません。▶[パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

1 操作パネルの「ホーム」画面などで、 「設定/登録」を押す ▶ [「ホーム」画面 \(P. 156\)](#)

→「設定/登録」画面が表示されます。

2 「ファンクション設定」▶「受信/転送」▶「共通設定」▶「受信トレイ設定」▶「ファクスボックスの設定/登録」を押す

→「ファクスボックスの設定/登録」画面が表示されます。

3 設定するファクスボックスを選択する



- ボックス番号をテンキーで入力して直接指定することもできます。
- 暗証番号の入力画面が表示された場合は、選択したファクスボックスに設定されている暗証番号を入力し、[OK]を押します。

4 ファクスボックスの設定をし、[OK] を押す

[ボックス名称登録]

任意のボックス名称を設定します。

[暗証番号]

暗証番号を設定します。[暗証番号] と [確認入力] の両方に同じ数字を入力します。

- 「00」や「0000000」など、0だけの暗証番号は設定できません。
- 設定した暗証番号を確認する方法はありません。暗証番号は忘れないようにしてください。
- 暗証番号を設定した場合、機器情報配信でボックス名称と URL 送信設定は配信されません。

[URL 送信設定]

ファクスの保存時に、保存先の URL をメールで通知する場合は、通知する宛先を設定します。

通知された URL をパソコンの Web ブラウザーで開くと、リモート UI の画面上でファクスの内容を確認できます。

※通知先として指定できるのは、アドレス帳に登録されている宛先のみです（個人宛先表とユーザーグループ宛先表の宛先は除く）。

[初期化]

ファクスボックスの設定を初期化して工場出荷時の状態に戻します。

※ファクスが保存されている場合は初期化できません。

スキャンデータに電子署名を付ける

EJ83-0FS

スキャンデータを PDF ファイルまたは XPS ファイルで送信するときに電子署名を付けることで、ファイルの作成元が保証され、改ざんされていない文書であることを証明できます。

スキャンデータに電子署名を付けるには、あらかじめ電子署名の種類に応じた鍵と証明書を生成／登録しておく必要があります。

① 電子署名の種類 (P. 829)

② 機器署名用の鍵と証明書を生成／登録する (P. 830)

③ ユーザー署名用の鍵と証明書を登録する (P. 831)

メモ

実際にスキャンするときの設定方法

- 実際にスキャンするときに電子署名を付ける方法については、以下を参照してください。

④ スキャンデータに電子署名を付ける (P. 435)

閲覧者側での署名の検証方法

- 証明書の検証方法や信頼済み証明書リストへの登録方法などについては、スキャンデータを閲覧するときに使用するアプリケーションのマニュアルを参照してください。

電子署名の種類

本機で付けることができる電子署名には、「機器署名」と「ユーザー署名」があります。

※受信したファクスを本機で転送するときには、ユーザー署名を付けることはできません。

機器署名

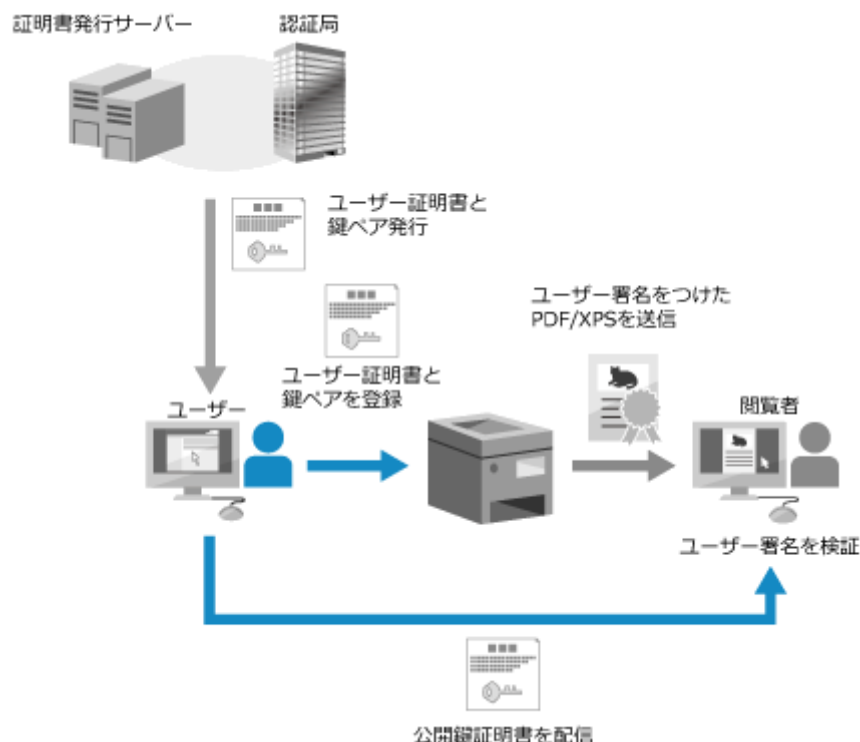
鍵と証明書の仕組みを用いて署名し、スキャンデータが「どの機器で作成されたか」を閲覧者に対して証明します。閲覧者は「文書が改ざんされていないか」を確認することもできます。

機器署名を付けるには、機器署名に使用する鍵と証明書（機器証明書）を、あらかじめ本機で生成／登録しておく必要があります。② 機器署名用の鍵と証明書を生成／登録する (P. 830)

ユーザー署名

ユーザー認証と連携して署名し、スキャンデータが「誰によって作成されたか」を閲覧者に対して証明します。機器署名と同様に、閲覧者は「文書が改ざんされていないか」を確認することもできます。

ユーザー署名を付けるには、認証局などから発行されたユーザーごとの鍵と証明書（ユーザー証明書）を、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。➡**ユーザー署名用の鍵と証明書を登録する (P. 831)**



- ユーザー証明書には有効期限があります。ユーザー署名を付けたときに有効期限内であっても、閲覧者が検証するとき有効期限が切れた場合、そのユーザー署名は無効となります。検証される時期を考慮したうえで、新しいユーザー証明書の発行を受けることをおすすめします。

メモ

電子署名を表示する - 可視署名（PDF ファイルのみ）

- 電子署名を付けるときに可視署名を設定すると、PDF の先頭ページに署名情報を表示することができ、PDF ファイルに電子署名が付いていることが一目で分かるようになります。➡**スキャンデータに電子署名を付ける (P. 435)**

複数の電子署名を付けた場合

- 機器署名、ユーザー署名の順に付加されます。
- 検証時には、最後に付加された署名のみが有効となります。それ以外の署名は、他の署名を追加したことによって、変更したものとして扱われます。

機器署名用の鍵と証明書を生成／登録する

機器署名に使用する鍵と証明書（機器証明書）を本機で生成して登録します。登録が完了すると、本機の名称を署名としてスキャン文書に付けることができるようになります。

※機器署名用の鍵と証明書は1つしか登録できません。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して生成／登録する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの [設定/登録] ➡ [管理設定] から生成／登録します。➡ **[証明書設定] (P. 1155)**

管理者権限が必要です。

1

リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [🔗 リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

3 [デバイス管理] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする

→ [鍵と証明書設定] 画面が表示されます。

4 [鍵生成] ▶ [機器署名] をクリックする

→ [機器署名] 画面が表示されます。

5 [鍵生成/更新] ▶ [OK] をクリックする

→ [鍵と証明書設定] 画面の鍵と証明書の一覧に、生成した鍵と証明書が「Device Signature Key」の名前で登録されます。

6 リモート UI からログアウトする

メモ

「Device Signature Key」のアイコンが  と表示される場合

- 鍵が壊れているか無効です。上記の手順を再度行くと、鍵と証明書を更新することができます。

生成した証明書の詳細情報を確認／検証する

- [鍵と証明書設定] 画面の鍵と証明書の一覧で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。

※閲覧者が証明書の信頼性を確認するために、SHA-1 のメッセージダイジェスト番号と照合する場合の送信者情報は、証明書詳細情報の画面の [証明書のぼ印] で確認できます。

- 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証] をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

送信時に必ず機器署名を付けるようにする

- スキャンデータを PDF ファイルまたは XPS ファイルで送信する際は、スキャンするときの設定にかかわらず、必ず機器署名が付くようにすることができます。また、送信できるファイルの形式を PDF と XPS に限定することで、機器署名が付いていないファイルを送信できないようにすることも可能です。 [🔗 【送信時に機器署名を必ずつける】 \(P. 1080\)](#)

ユーザー署名用の鍵と証明書を登録する

ユーザー署名に使用する鍵と証明書（ユーザー証明書）を本機に登録し、公開鍵証明書を閲覧者に配信します。登録が完了すると、ログインユーザー名を署名としてスキャン文書に付けることができるようになります。

ユーザー証明書は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。操作パネルを使用して登録することはできません。

必要な準備

- 本機で使用できる鍵と証明書の条件を確認します。 [🔗 鍵と証明書 \(P. 67\)](#)
- ユーザー署名用の鍵と証明書のファイルを用意します。
 - e-文書法に準拠した電子署名を付ける場合は、特定認証局から発行された鍵と証明書を用意する必要があります。

- 限定された範囲内（会社内など）でのみ証明可能な電子署名を付ける場合は、Windows Server の IIS（Internet Information Services）モジュールをパソコンにインストールすることにより、ユーザー署名用の鍵と証明書を発行することができます。

※範囲外の閲覧者に対する証明としては使用できません。

- 鍵と証明書のファイルに設定されている秘密鍵のパスワードを確認します。

1 リモート UI にログインする ➡ リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [デバイス管理] ▶ [ユーザーの鍵と証明書設定] をクリックする

→ [ユーザーの鍵と証明書設定] 画面が表示されます。

4 [インストール] をクリックする

→ [ユーザーの鍵と証明書のインストール] 画面が表示されます。

5 [ファイルの選択] をクリックし、インストールするファイルを指定する

6 秘密鍵のパスワードを入力し、[インストール開始] をクリックする

→ [ユーザーの鍵と証明書設定] 画面の鍵と証明書の一覧に、インストールした鍵と証明書が登録されます。

7 リモート UI からログアウトする

8 公開鍵証明書を閲覧者に配信する

スキャンデータに付けたユーザー署名を検証するために必要な公開鍵証明書を、あらかじめ閲覧者に配信しておきます。

メモ

登録した証明書の詳細情報を確認／検証する

- [ユーザーの鍵と証明書設定] 画面の鍵と証明書の一覧で、ログイン名（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。

※管理者ユーザーでログインしている場合は、本機に登録されているすべてのユーザー署名用の鍵と証明書が一覧に表示されます。管理者以外のユーザーでログインしている場合は、ログインユーザー個人の鍵と証明書のみが表示されます。

- 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証] をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

メールを S/MIME で暗号化する

EJ83-0FU

S/MIME を設定して、メール/I ファックスを暗号化したり電子署名を付けたりします。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。  **[S/MIME 設定]** (P. 1086)

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- 暗号化で使用する公開鍵証明書 (S/MIME 証明書) を登録します。  **S/MIME 証明書を登録する (P. 804)**

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [送信] ▶ [S/MIME 設定] をクリックする
→ [S/MIME 設定] 画面が表示されます。
- 4 暗号化と電子署名の設定をする

[暗号化設定]

メール/I ファックスを暗号化する場合は、[常に暗号化する] または [証明書があれば暗号化する] を選択します。

- 本機から送信するすべてのメール/I ファックスを暗号化する場合は、[常に暗号化する] を選択します。
- 送信する宛先が S/MIME 証明書に含まれている場合にのみ暗号化するときは、[証明書があれば暗号化する] を選択します。

[デジタル署名をつける]

メール/I ファックスに電子署名を付ける場合は、チェックマークを付けます。

※メール/I ファックスを暗号化する場合は、電子署名が必要なため、必ずチェックマークを付けます。

[暗号化アルゴリズム]

メール/I ファックスを暗号化する場合に、使用する暗号化アルゴリズムを選択します。

[署名アルゴリズム]

メール/I ファックスに電子署名を付ける場合に、使用する署名アルゴリズムを選択します。

[受信時に署名を検証する]

電子署名が付加されたメール/I ファックスの受信時に、電子署名を検証する場合は、チェックマークを付けます。

[受信時に署名を印刷する]

電子署名が付加されたメール/I ファックスの受信時に、電子署名の情報をプリントする場合は、チェックマークを付けます。チェックマークを付けると、電子署名の情報が追加されたメール本文がプリントされるようになります。

5

[OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

6

リモート UI からログアウトする

接続先の SFTP サーバーを認証する

EJ83-0FW

接続先の SFTP サーバーを認証することで、スキャンデータの誤送信／漏えいを防ぎます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。ただし、操作パネルでできるのは、サーバーを認証するかどうかの設定のみです。▶ **[SFTP 送信時のホスト認証] (P. 1079)**
Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [送信] ▶ [共通設定] をクリックする
→ [共通設定] 画面が表示されます。
- 4 [SFTP 送信時にホスト認証する] にチェックマークを付ける
- 5 [認証時に使用する公開鍵] の [公開鍵の設定] をクリックする
→ [公開鍵の設定] 画面が表示されます。
- 6 [登録] をクリックする
→ [公開鍵の登録] 画面が表示されます。
- 7 [ホスト名] を入力する
- 8 [ファイルの選択] をクリックし、インストールするファイルを指定する
- 9 [インストール開始] をクリックする
→ [公開鍵の設定] 画面のホスト名の一覧に、インストールした公開鍵が登録されます。
- 10 リモート UI からログアウトする

不正使用の防止

EJ83-0FX

本機は、アドレス帳やプリントデータなど、さまざまな情報を扱います。また、本機には、効率的に管理／操作するための各種設定が用意されています。便利な反面、情報や設定に誰もがアクセスできると、情報漏えいやトラブルの原因につながります。

各機能の利用状況に応じて、アクセス制限や機能の無効化の対策を行い、安全に本機を使用できるようにします。

情報／設定へのアクセス制限

本機の情報／設定にアクセスするユーザーや操作を制限することで、不正使用を防ぎ、機密情報を保護します。

- [アドレス帳の使用を制限する \(P. 837\)](#)
- [リモート UI を使用できないようにする \(P. 840\)](#)

使用しない機能の無効化

使用しない機能が明らかな場合は、その機能を無効にすることで、外部からの侵入を防ぐことができます。

- [パソコンと USB 接続できないようにする \(P. 841\)](#)
- [LPD/RAW/WSD を設定する \(P. 842\)](#)
- [HTTP 通信を使用できないようにする \(P. 844\)](#)

関連項目

管理者用のアカウントや、本機を使用するユーザーまたはグループの管理については、以下を参照してください。

- [管理者権限とパスワード \(P. 29\)](#)
- [ユーザー認証／グループ管理 \(P. 681\)](#)

アドレス帳の使用を制限する

EJ83-0FY

アドレス帳に暗証番号を設定したり、宛先／アドレス帳を非表示にしたりして、アドレス帳の無断編集や不正使用を防ぎます。

- ④ アドレス帳に暗証番号を設定して登録／編集を制限する (P. 837)
- ④ 一部の宛先を非表示にする - アクセス番号管理 (P. 838)
- ④ アドレス帳を非表示にする (P. 838)

メモ

- より厳密に誤送信や情報漏えいを防ぐ場合は、スキャンデータやファクスを送信するときに指定できる宛先を制限します。④ 指定できる宛先を制限する (P. 808)

アドレス帳に暗証番号を設定して登録／編集を制限する

アドレス帳を登録／編集する際に、暗証番号の入力が必要になるようにします。

※暗証番号を設定しても、Administrator 権限を持つ管理者ユーザーでログインした場合は、暗証番号を入力せずにアドレス帳を登録／編集できます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  設定/登録 ▶ [宛先設定] から設定します。④ [アドレス帳の暗証番号] (P. 1134)

Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ④ リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ④ リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 [宛先設定] ▶ [アドレス帳の暗証番号] をクリックする
→ [アドレス帳の暗証番号] 画面が表示されます。
- 4 [アドレス帳の暗証番号を設定する] にチェックマークを付け、暗証番号を設定する
[アドレス帳の暗証番号] と [確認入力] の両方に同じ数字を入力します。
※「00」や「0000000」など、0 だけの暗証番号は設定できません。
- 5 [OK] をクリックする
→ 設定が反映されます。
- 6 リモート UI からログアウトする

メモ**暗証番号を変更する**

- [暗証番号を変更する] にチェックマークを付け、新しい暗証番号を設定します。

暗証番号の設定を解除する

- [アドレス帳の暗証番号を設定する] のチェックマークを外し、[OK] をクリックします。

一部の宛先を非表示にする - アクセス番号管理

重要な取引先など、全ユーザーには開示したくない宛先は、「アクセス番号」を設定することによりアドレス帳に非表示の状態に登録することができます。アクセス番号を設定した宛先は、正しいアクセス番号を入力したときのみ表示されるようになります。

以下の手順でアクセス番号管理を有効にして、アドレス帳の宛先にアクセス番号を設定できるようにします。

※アクセス番号管理を有効にすると、操作パネルのスキャン（スキャンして送信）／ファクスの画面で、設定履歴を使用できなくなります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [宛先設定] から設定します。  [アドレス帳のアクセス番号管理] (P. 1134)

Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [宛先設定] ▶ [アドレス帳のアクセス番号管理] をクリックする
→ [アドレス帳のアクセス番号管理] 画面が表示されます。
- 4 [アドレス帳のアクセス番号管理をする] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする
→ 設定が反映されます。
- 5 リモート UI からログアウトする

メモ

- アドレス帳の宛先にアクセス番号を設定する方法については、以下を参照してください。

- ▶ **アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル (P. 276)**
- ▶ **アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI (P. 291)**

アドレス帳を非表示にする

操作パネルのスキャン（スキャンして送信）／ファクスの画面に、アドレス帳とワンタッチボタンが表示されないようにします。非表示にするかどうかは機能ごとに設定します。

この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする [▶ ログイン方法 \(P. 191\)](#)
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[!\[\]\(746d018fdf6ab02bf5fb7681133e8b29_img.jpg\) 設定/登録](#) を押す [▶ \[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 [ファンクション設定] [▶ \[送信\]](#) を押す
- 4 アドレス帳とワンタッチボタンが表示されないように設定する

スキャン（スキャンして送信）の画面に表示されないようにする場合

1. [共通設定] [▶ \[アドレス帳の使用制限\]](#) を押す
→ [アドレス帳の使用制限] 画面が表示されます。
2. [ON] に設定し、[OK] を押す
→ 設定が反映されます。

ファクスの画面に表示されないようにする場合

1. [ファクス設定] [▶ \[アドレス帳の使用制限\]](#) を押す
→ [アドレス帳の使用制限] 画面が表示されます。
2. [ON] に設定し、[OK] を押す
→ 設定が反映されます。

リモート UI を使用できないようにする

EJ83-0H0

リモート UI はパソコンから本機を操作できる利便性がある反面、第三者がリモート UI を介して本機へアクセスするリスクを伴います。

リモート UI を使用しない場合は、リモート UI の機能自体を無効にすることをおすすめします。

この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。Administrator 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする  ログイン方法 (P. 191)
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 設定/登録 を押す  [ホーム] 画面 (P. 156)
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 [管理設定]  [ライセンス/その他]  [リモート UI の設定] を押す
→ [リモート UI の設定] 画面が表示されます。
- 4 [OFF] に設定し、[OK] を押す
- 5 [ 設定/登録]  [はい] を押す
→ 本機が再起動し、設定が反映されます。

パソコンと USB 接続できないようにする

EJ83-0H1

本機の右側面奥にあるパソコン接続用の USB ポートを使用できないようにすることで、セキュリティ対策が講じられたネットワークを介さずに本機が利用されるリスクを低減します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。  [USB デバイスとして使用] (P. 1028)

Administrator 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 [外部インターフェイス] ▶ [USB 設定] をクリックする
→ [USB 設定] 画面が表示されます。
- 4 [USB デバイスとして使用する] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする
- 5 本機を再起動する  再起動する (P. 148)
→ 設定が反映されます。

メモ

- この設定でパソコン接続用の USB ポートの使用を制限しても、本機の右側面前にある USB ポートにメモリーメディアを接続して使うことはできます。メモリーメディアの USB 接続も制限する場合は、以下を参照してください。
 メモリーメディアの使用を制限する (P. 815)

LPD/RAW/WSD を設定する

EJ83-0H2

パソコンから文書をプリント／スキャンするときに使用する以下のプロトコルを、本機で使用するかどうかを設定します。使用しないプロトコルが明らかな場合は、そのプロトコルを無効にすることをおすすめします。LPD と RAW を使用する場合は、プリントデータの受信を中止するまでの時間を設定できます。

LPD

ハードウェアや OS などのプラットフォームに依存しないプロトコルです。TCP/IP のネットワーク環境で、広く使用されています。

RAW

Windows 独自のプリントデータ形式のプロトコルです。Windows 環境では、標準的に使用されています。

WSD

Windows からネットワーク上のプリンターやスキャナーを自動検出することができるプロトコルです。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。▶ [\[TCP/IP 設定\] \(P. 990\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶ [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [ネットワーク] をクリックする
- 4 LPD/RAW/WSD の設定をする

LPD の設定をする場合

1. [LPD 印刷の設定] をクリックする
→ [LPD 印刷の設定] 画面が表示されます。
2. LPD を使用するかどうかを設定する
LPD を使用しない場合は、[LPD 印刷を使用する] のチェックマークを外し、手順 [5](#) に進みます。
3. [受信タイムアウト] に時間を入力する
プリントデータの受信が中断された場合に、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間を分単位で入力します。

RAW の設定をする場合

1. [RAW 印刷の設定] をクリックする
→ [RAW 印刷の設定] 画面が表示されます。
2. RAW を使用するかどうかを設定する
RAW を使用しない場合は、[RAW 印刷を使用する] のチェックマークを外し、手順 [5](#) に進みます。

3. 双方向通信を使用するかどうかを設定する

本機の状態やプリントの終了をパソコン側へ通知する場合は、[双方向通信を使用する] にチェックマークを付けます。

4. [受信タイムアウト] に時間を入力する

プリントデータの受信が中断された場合に、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間を分単位で入力します。

WSD の設定をする場合

1. [WSD の設定] をクリックする

→ [WSD の設定] 画面が表示されます。

2. WSD を使用するかどうかを機能ごとに設定する

WSD を使用しない場合は、WSD の使用を制限する機能のチェックマークを外します。

WSD を使用してプリントする場合

[WSD 印刷を使用する] にチェックマークを付けます。

[WSD 参照を使用する] にもチェックマークが付き、WSD を使用してパソコンから本機の情報取得されるようになります。

WSD を使用してスキャンする場合

[WSD Scan を使用する] にチェックマークを付けます。スキャナードライバーをインストールしていないパソコンからスキャンできるようになります。

5 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

メモ

LPD バナーページを出力する

- LPD を使用する場合は、プリントデータにバナーページが設定されているときに、バナーページを出力するかどうかを設定できます。▶ **[LPD 印刷の設定] (P. 992)**

※バナーページ出力の設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。

※オプションの LIPS V 拡張キットを有効にした場合にのみ、バナーページを出力できます。

WSD ネットワークデバイスを追加する

- [] (スタート) ▶ [] (設定) ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] ▶ [プリンターまたはスキャナーを追加します] の [デバイスの追加] ▶ 本機の [デバイスの追加] をクリックし、画面の指示に従って操作します。
- WSD ネットワークでドライバーをインストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

HTTP 通信を使用できないようにする

EJ83-0H3

USB 接続のみで本機を使用する場合や、HTTP 通信を必要とする機能（リモート UI、WSD プリント、AirPrint など）を使用しない場合は、HTTP 通信自体を無効にすることをおすすめします。

※HTTP 通信を必要とする機能を使用しないにもかかわらず HTTP 通信が有効になっていると、第三者から不正にアクセスされるおそれがあります。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)
- 2 [ホーム] 画面などで [ 設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [HTTP を使用] を押す
→ [HTTP を使用] 画面が表示されます。
- 4 [OFF] に設定し、[OK] を押す
- 5 [ 設定/登録] ▶ [はい] を押す
→ 本機が再起動し、設定が反映されます。

メモ

- [HTTP を使用] を [OFF] に設定すると、以下の設定も [OFF] になります。
 - [リモート UI の設定]
 - [IPP 印刷の設定]
 - [WSD の設定] の [WSD 印刷を使用] と [WSD Scan を使用]
 - [BMLinkS 設定]

本機のデータ保護

EJ83-0H4

本機のメモリー領域／ストレージには、一時的に保存されるデータのほか、アドレス帳の登録情報やパスワード情報などが保存されています。本機は、これらのデータを暗号化することにより、情報が不正に読み取られることを防いでいます。🔵 **本機に保存されるデータ (P. 846)**

本機の暗号技術

本機は、128 ビット長の暗号化鍵を生成します。暗号には、AES-XTS アルゴリズムを採用しています。

システムの改ざん検知

システム検証機能を有効にすると、本機の起動時に、ファームウェアや MEAP アプリケーションの完全性を検証できます。その場合に、システム保護機能も有効にすると、プログラムの不正な改変と不正なプログラムの実行を防止し、システムの信頼性を向上できます。🔵 **【システム検証設定】 (P. 1173)**

重要

- メモリー領域／ストレージ内のデータの暗号化は、すべての不正行為からデータを守るわけではありません。データの管理には十分ご注意ください。
- ストレージを取り外して他のキヤノン複合機に装着しても、データを読み取ることはできません。

関連項目

すべてのデータを消去する

すべての設定を工場出荷時の状態に戻し、履歴も含めて保存されているすべてのデータを消去することができます。本機を交換／廃棄するときは、機密情報の流出や不正使用を防ぐために初期化を実行します。

🔵 **すべての設定／データを初期化する (P. 951)**

本機に保存されるデータ

EJ83-0H5

本機には、以下のデータが保存されます。本機は、これらのデータを暗号化することで、情報漏えいを防いでいます。これらのデータは一部を除き、自動で消去されるか、手動による消去／初期化が可能です。

※機種によって、該当するデータは異なります。

自動で消去されるデータ（一時的に保存されるデータ）

- プリント／スキャン／ファクス／コピー時に生成される一時的なイメージデータ

消去／初期化できるデータ

- アドレス帳や各種設定
- 本機の保存スペースのデータ
- 本機に登録されているユーザー情報（ユーザー名やメールアドレス、システム管理者情報など）
- MEAP アプリケーションおよび MEAP アプリケーションが保存しているデータ
- ジョブ履歴

※消去／初期化の方法については、以下を参照してください。

➡ [設定／データを初期化する \(P. 951\)](#)

消去／初期化できないデータ

- 使用ページ数（カウンター）
- 消耗品の状況

環境に適したセキュリティ設定

EJ83-0H6

本機には、使用環境に適したセキュリティ設定を支援する機能が用意されています。ニーズに合った機能を使用して、より安全に本機を使用できるようにします。

セキュリティ一括設定

本機の使用環境に合った環境タイプを選択するだけで、おすすめのセキュリティ設定を一括して設定することができます。

🔗 [【おすすめセキュリティ設定】 \(P. 1174\)](#)

より柔軟なセキュリティ管理が必要な場合は、セキュリティポリシー機能を使用します。セキュリティに関する複数の設定を、ポリシーに従ってまとめて設定／管理できます。

🔗 [セキュリティポリシーの導入 \(P. 849\)](#)

セキュリティリスクの通知

本機の設定や設置環境からセキュリティリスクが検出された場合に、通知することができます。

🔗 [セキュリティ通知を設定する \(P. 848\)](#)

重要

- おすすめセキュリティ設定とセキュリティポリシーの両方を設定することはできません。

メモ

- 本機のセキュリティ対策状況は、本機の稼働状況の「セキュリティ」で確認できます。🔗 [本機の稼働状況を確認する \(P. 897\)](#)

※本機の稼働状況の「セキュリティ」を確認するには、管理者権限が必要です。🔗 [管理者権限とパスワード \(P. 29\)](#)

セキュリティ通知を設定する

EJ83-0H7

本機の設定や設置環境からセキュリティリスクが検出された場合に、操作パネルの画面にメッセージを表示し、通知することができます。検出する項目ごとに設定を変更できます。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)
管理者権限が必要です。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [おすすめセキュリティ設定] ▶ [保護通知の ON/OFF] を押す

→ [保護通知の ON/OFF] 画面が表示されます。

4 セキュリティリスク検出時にメッセージを表示するかどうかを設定する

[ON] に設定すると、セキュリティリスク検出時に操作パネルの画面にメッセージを表示します。

[おすすめ環境タイプの更新時]

以前に推定した環境タイプが変更されたときにメッセージを表示します。

※環境タイプの設定については、以下を参照してください。

▶ [\[おすすめセキュリティ設定\] \(P. 1174\)](#)

[インターネットからの接続時]

本機とインターネットが接続されたときにメッセージを表示します。

[無線 LAN の暗号化方式の脆弱性検出時]

暗号化されていないアクセスポイントや、セキュリティ規格が WEP/WPA のアクセスポイントに接続したときにメッセージを表示します。

5 [OK] を押す

→ 設定が反映されます。

重要

- 本機にセキュリティポリシーが適用されている場合は、この項目は設定できません。
- 2 系統のネットワークに同時に接続している場合、以下の通知は主回線に対してのみ行われます。
 - [おすすめ環境タイプの更新時]
 - [インターネットからの接続時]

セキュリティポリシーの導入

EJ83-0H8

キヤノンの複合機やプリンターには、セキュリティに関する複数の設定を、ポリシーに従ってまとめて設定／管理するセキュリティポリシー機能があります。

本機では、セキュリティポリシーをリモート UI で管理することができます。

※セキュリティポリシーを管理する場合は、リモート UI 使用時の通信を TLS 暗号化通信にする必要があります。 **🔒 TLS を使用する (P. 777)**

セキュリティポリシーの設定

あらかじめ専用のパスワードを設定して、パスワードを知っている情報セキュリティの担当者のみがセキュリティポリシーを設定できるようにすることをおすすめします。

- 🔒 **セキュリティポリシー設定をパスワードで保護する (P. 850)**
- 🔒 **セキュリティポリシーを設定する (P. 852)**
- 🔒 **セキュリティポリシーの項目 (P. 855)**

セキュリティポリシーの確認

セキュリティポリシーの項目と適用状況を確認できます。

- 🔒 **本機に適用されているセキュリティポリシーを確認する (P. 854)**
- 🔒 **セキュリティポリシーの項目 (P. 855)**

重要

- セキュリティポリシー機能は、情報セキュリティにかかわる機能や設定の一括管理を目的とした機能です。情報漏えい自体を防ぐものではありません。

関連項目

セキュリティポリシーをインポート／エクスポートする

本機のセキュリティポリシー設定は、インポート／エクスポートすることができます。複数の機器^{*1}に同じセキュリティポリシーを適用することで、組織全体の機器を同一の設定状態で管理することができます。

- 🔒 **アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする (P. 913)**

^{*1} セキュリティポリシー設定に対応したキヤノン製機器のみ

セキュリティーポリシー設定をパスワードで保護する

EJ83-0H9

パスワードを知っている情報セキュリティーの担当者のみがセキュリティーポリシーを設定できるよう、あらかじめ専用のパスワードを設定します。

※本機の設定を初期化するときにも、ここで設定するパスワードによる認証が必要となります。🔗[設定／データを初期化する \(P. 951\)](#)

パスワードは、パソコンからリモート UI を使用して設定します。操作パネルを使用して設定することはできません。管理者権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗[リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗[リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [セキュリティー設定] ▶ [セキュリティーポリシー設定] ▶ [パスワード設定] をクリックする
→ [パスワード設定] 画面が表示されます。
- 4 パスワードを入力する
 - [新しいパスワード:] と [確認入力:] の両方に同じパスワードを入力します。
 - パスワードには、半角英数字および記号を使用できます。
 - [パスワードの設定ポリシー] で入力文字が制限されている場合は、ポリシーに従ったパスワードを入力します。
🔗[\[認証\] \(P. 857\)](#)
- 5 [OK] ▶ [OK] をクリックする
→ パスワードが設定されます。
- 6 リモート UI からログアウトする

重要

- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れた場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

メモ

設定したパスワードを変更する

- [パスワード設定] 画面で、[現在のパスワード:] を入力し、[新しいパスワード:] と [確認入力:] の両方に同じパスワードを入力します。

パスワードを解除する場合

- [パスワード設定] 画面で、[現在のパスワード:] のみを入力し、[新しいパスワード:] と [確認入力:] は空欄のままにします。

※ [パスワードの設定ポリシー] で入力文字が制限されている場合は、パスワードを解除することはできません。 [▶](#)

【認証】 (P. 857)

セキュリティポリシーを設定する

EJ83-0HA

組織の方針に従って本機にセキュリティポリシーを適用します。

セキュリティポリシーは、パソコンからリモート UI を使用して設定します。操作パネルを使用して設定することはできません。

Administrator 権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➤ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➤ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [セキュリティ設定] ➤ [セキュリティポリシー設定] ➤ [セキュリティポリシーの設定] をクリックする
→ [設定にあたっての注意事項] が表示されます。
- 4 注意事項を確認し、パスワードを入力して、[ログイン] をクリックする
セキュリティポリシー設定をパスワードで保護していない場合は、注意事項を確認し、[OK] をクリックします。
- 5 セキュリティポリシーを設定する ➤ **セキュリティポリシーの項目 (P. 855)**

- チェックマークを付けた項目はポリシーに従った設定に変更され、該当する設定を個別に変更できなくなります。
- ポリシーに従って設定が変更された項目は、チェックマークを外して解除しただけでは適用前の設定に戻りません。該当する設定を個別に変更する必要があります。

- 6 [OK] ➤ [OK] をクリックする

→ 本機が再起動し、設定が反映されます。

メモ

- セキュリティーポリシーを設定すると、操作パネルやリモート UI の [設定/登録] 画面に、機能や操作が制限されていることを知らせるメッセージが表示されます。

本機に適用されているセキュリティポリシーを確認する

EJ83-0HC

セキュリティポリシーの項目と適用状況を確認します。

セキュリティポリシーは、パソコンからリモート UI を使用して確認します。操作パネルを使用して確認することはできません。

管理者権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする [▶ リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [▶ リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [セキュリティ設定] [▶](#) [セキュリティポリシー設定] をクリックする
→ [セキュリティポリシーの確認] 画面が表示されます。
- 4 セキュリティポリシーの項目と適用状況を確認する [▶ セキュリティポリシーの項目 \(P. 855\)](#)
- 5 確認が終わったら、リモート UI からログアウトする

セキュリティポリシーの項目

EJ83-0HE

リモート UI の「セキュリティポリシーの設定」画面または「セキュリティポリシーの確認」画面では、以下の項目を設定／確認できます。

セキュリティポリシー設定：セキュリティポリシーの設定

セキュリティポリシーの設定

設定を反映するには、デバイスを再起動する必要があります。

OK キャンセル

インターフェイス

無線ポリシー

☐ ダイレクト接続の使用を禁止する

☐ 無線LANの使用を禁止する

USBポリシー

☐ USBデバイスとしての使用を禁止する

* USBデバイスとしての使用を禁止すると、USBで接続したPCからの印刷およびスキャン機能が使用できなくなります。

☐ USB外部記憶デバイスの使用を禁止する

ネットワーク

通信の運用ポリシー

☐ SMB/WebDAVサーバー機能では署名を必ず検証する

☐ TLS通信時は必ずサーバー証明書を検証する

☐ サーバー機能では平文認証を禁止する

セキュリティポリシー設定：セキュリティポリシーの確認

セキュリティポリシーの確認

インターフェイス

ポリシー	設定値
無線ポリシー	
ダイレクト接続の使用を禁止する	Off
無線LANの使用を禁止する	Off
USBポリシー	
USBデバイスとしての使用を禁止する	Off
USB外部記憶デバイスの使用を禁止する	Off

ネットワーク

ポリシー	設定値
通信の運用ポリシー	
SMB/WebDAVサーバー機能では署名を必ず検証する	Off
TLS通信時は必ずサーバー証明書を検証する	Off
サーバー機能では平文認証を禁止する	Off
SNMPv1の使用を禁止する	Off

- ④ [インターフェイス] (P. 856)
- ④ [ネットワーク] (P. 856)
- ④ [認証] (P. 857)
- ④ [鍵/証明書] (P. 859)
- ④ [ログ] (P. 859)
- ④ [ジョブ] (P. 859)
- ④ [ストレージ] (P. 860)

[インターフェイス]

[無線ポリシー]

無線接続を禁止することで、不特定多数のアクセスを抑止します。

[ダイレクト接続の使用を禁止する]

モバイル機器からのアクセスができなくなります。

➡ [ダイレクト接続を使用] (P. 1017)

➡ [SSID/ネットワークキー固定時に常時接続] (P. 1018)

[無線 LAN の使用を禁止する]

無線 LAN ルーターやアクセスポイントを介した無線接続ができなくなります。 ➡ [インターフェイス選択] (P. 987)

[USB ポリシー]

USB 接続を禁止することで、不正な接続やデータの持ち出しを防ぎます。

[USB デバイスとしての使用を禁止する]

パソコンとの USB 接続ができなくなります。 ➡ [USB デバイスとして使用] (P. 1028)

[USB 外部記憶デバイスの使用を禁止する]

USB メモリーが使用できなくなります。 ➡ [USB 外部記憶デバイスを使用] (P. 1029)

[ネットワーク]

[通信の運用ポリシー]

署名や証明書の検証を必須にすることで、より安全に通信できます。

[SMB/WebDAV サーバー機能では署名を必ず検証する]

本機には該当する機能がないため、セキュリティポリシーは適用されません。

[TLS 通信時は必ずサーバー証明書を検証する]

TLS 暗号化通信時に、CN (Common Name) を含む証明書の検証を行うようになります。

➡ [WebDAV 送信時の証明書確認] (P. 1079)

➡ [FTPS 送信時の証明書確認] (P. 1079)

➡ [SMTP 送信時の証明書確認] (P. 1086)

➡ [POP 受信時の証明書確認] (P. 1086)

➡ [ネットワークアクセス時の証明書確認] (P. 1125)

➡ [MEAP アプリケーションで TLS 通信時の証明書確認] (P. 1168)

➡ [LDAP サーバーアクセス時の証明書確認] (P. 1135)

➡ [ビジュアルメッセージ] (P. 1165)

※IEEE 802.1X ネットワークとの通信は適用対象外です。

[サーバー機能では平文認証を禁止する]

認証情報がセキュアな方式のみに限定されます。本機をサーバーとして利用する際に、平文認証や平文認証を使う機能を使用できなくなります。

➡ [FTP 印刷の設定] (P. 993)

➡ [通信設定] (P. 1084)

➡ [専用ポートの認証方式] (P. 983)

※デバイス管理ソフトウェアやドライバーなどが古いバージョンの場合は、本機への接続ができなくなることがあります。最新バージョンのものをお使いください。

[SNMPv1 の使用を禁止する]

パソコンからデバイス情報を取得する際に、SNMPv1 が使用できなくなります。 ➡ [SNMP 設定] (P. 982)

[ポートの利用ポリシー]

使用しないポートを閉じることで、外部からの侵入を防ぎます。

[LPD ポートを制限する(ポート番号: 515)]

LPD を使用したプリントができなくなります。➡ **[LPD 印刷の設定]** (P. 992)

[RAW ポートを制限する(ポート番号: 9100)]

RAW を使用したプリントができなくなります。➡ **[RAW 印刷の設定]** (P. 993)

[FTP ポートを制限する(ポート番号: 21)]

FTP を使用したプリントができなくなります。➡ **[FTP 印刷の設定]** (P. 993)

[WSD ポートを制限する(ポート番号: 3702、60000)]

WSD を使用した機能が使用できなくなります。➡ **[WSD の設定]** (P. 994)

[BMLinkS ポートを制限する(ポート番号: 1900)]

BMLinkS を使用したプリントができなくなります。➡ **[BMLinkS 設定]** (P. 995)

[IPP ポートを制限する(ポート番号: 631)]

IPP を使用したプリントができなくなります。また、モバイル機器のアプリを使用したプリント機能の一部が無効になり、関連するプリントができなくなります。

➡ **[IPP 印刷の設定]** (P. 995)

➡ **[Mopria を使用]** (P. 986)

[SMB ポートを制限する(ポート番号: 139、445)]

本機には該当する機能がないため、セキュリティポリシーは適用されません。

[SMTP ポートを制限する(ポート番号: 25)]

SMTP 受信ができなくなります。➡ **[通信設定]** (P. 1084)

[専用ポートを制限する(ポート番号: 9002、9006、9007、9011-9015、9017-9019、9022、9023、9025、20317、47545-47547)]

専用ポートが使用できなくなります。➡ **[専用ポート設定]** (P. 983)

[リモートオペレーションのポートを制限する(ポート番号: 5900)]

リモートオペレーションが使用できなくなります。➡ **[リモートオペレーション設定]** (P. 1166)

[SIP(IPFAX)ポートを制限する(ポート番号: 5004、5005、5060、5061、49152)]

本機には該当する機能がないため、セキュリティポリシーは適用されません。

[mDNS ポートを制限する(ポート番号: 5353)]

mDNS 設定 (IPv4/IPv6) と、モバイル機器のアプリを使用したプリント機能の一部が無効になります。mDNS によるネットワーク上の探索や自動設定のほか、関連するプリントができなくなります。

➡ **[mDNS 設定]** (P. 1007)

➡ **[Mopria を使用]** (P. 986)

[SLP ポートを制限する(ポート番号: 427)]

マルチキャスト探索設定の探索応答が無効になり、SLP によるネットワーク上の探索や自動設定ができなくなります。➡

[マルチキャスト探索設定] (P. 996)

[SNMP ポートを制限する(ポート番号: 161)]

SNMP を使用した機能が使用できなくなります。SNMP によるパソコンからのデバイス情報の取得や設定ができなくなる場合があります。

➡ **[SNMP 設定]** (P. 982)

➡ **[Scan for Mobile を表示]** (P. 970)

[認証]

[認証の運用ポリシー]

ユーザー認証を徹底することで、未登録ユーザーによる不正な操作を防ぎます。

[ゲストユーザーのデバイス使用を禁止する]

ログインユーザー以外は本機を使用できなくなります。パソコンからのプリントやファクス送信なども、認証情報が設定されていない場合は操作がキャンセルされます。

- [ユーザー認証を使用] (P. 1146)
- [ログイン画面の表示設定] (P. 1146)
- [ユーザー認証していないリモートジョブの制限] (P. 1147)

※リモート UI にログインするときの認証モードを [ゲスト認証モード] に設定できなくなります。[ゲスト認証モード] に設定していた場合は、[通常認証モード] に変更されます。 ➤ [基本設定の編集] 画面 (P. 720)

※ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用している場合、未登録ユーザーのログインを許可することができなくなります。詳細については、オンラインマニュアルサイトで ACCESS MANAGEMENT SYSTEM のマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

[自動的にログアウトする設定を強制する]

本機にログインしたあと操作がされないまま一定時間が経過すると、自動的にログアウトするようになります。ログアウトするまでの時間は、ポリシーの設定時に指定します。 ➤ [オートクリア移行時間] (P. 977)

[パスワードの運用ポリシー]

パスワードの運用方法を厳しく規定します。

[外部サーバーに対するパスワードのキャッシュ保存を禁止する]

外部サーバーにアクセスするときはパスワード入力が必要になります。また、ログインユーザーの認証情報が保持されなくなります。

- [認証パスワードのキャッシュ保存を禁止] (P. 1179)
- 認証サーバー情報を登録する (P. 707)

[デフォルトパスワード使用時に警告を表示する]

ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーが初期設定のパスワードで本機にログインしたときに、パスワードの変更を促す画面を表示するようになります。 ➤ [デフォルトパスワード使用時に警告を表示] (P. 1179)

[リモートアクセス時のデフォルトパスワードの使用を禁止する]

ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーが初期設定のパスワードでリモート UI にログインできなくなります。 ➤

[リモートアクセス時にデフォルトパスワードの使用を許可] (P. 1179)

[パスワードの設定ポリシー]

ユーザー認証で使用するパスワードに一定の複雑さや有効期間を設定し、第三者が容易に推測できないようにします。

[パスワードの最小文字数を設定する]

指定した文字数に満たないパスワードは設定できなくなります。パスワードの最小文字数は、ポリシーの設定時に指定します。 ➤ [最小文字数の設定] (P. 1180)

[パスワードの有効期間を設定する]

パスワードに有効期間を設定して、定期的なパスワードの変更が必要となります。パスワードの有効期間は、ポリシーの設定時に指定します。 ➤ [有効期間の設定] (P. 1180)

[同じ文字が 3 文字以上連続する文字列の使用を禁止する]

同じ文字が 3 文字以上連続したパスワードは設定できなくなります。 ➤ [3 つ以上連続する同じ文字の使用を禁止] (P. 1181)

[英大文字 1 文字以上の使用を強制する]

アルファベットの大文字が含まれないパスワードは設定できなくなります。 ➤ [英大文字を 1 字以上必ず使用] (P. 1181)

[英小文字 1 文字以上の使用を強制する]

アルファベットの小文字が含まれないパスワードは設定できなくなります。 ➤ [英小文字を 1 字以上必ず使用] (P. 1181)

[数字 1 文字以上の使用を強制する]

数字が含まれないパスワードは設定できなくなります。 ➤ [数字を 1 字以上必ず使用] (P. 1181)

[記号 1 文字以上の使用を強制する]

記号が含まれないパスワードは設定できなくなります。 ➤ [記号を 1 字以上必ず使用] (P. 1182)

[ロックアウトのポリシー]

ログイン時にパスワードを間違えた場合、一定時間ログインできない状態（ロックアウト）にすることで、不正なログインを防ぎます。

[ロックアウトを有効にする]

ロックアウトが有効になります。何回連続して間違えるとロックアウトするか（ロックアウトのしきい値）と、ロックアウトを解除するまでの時間は、ポリシーの設定時に指定します。➡ **[ロックアウト設定] (P. 1177)**

[鍵/証明書]

弱い暗号を使用できないようにしたり、パスワードや鍵などの機密情報を安全に管理したりすることで、大切なデータを保護します。

[弱い暗号の使用を禁止する]

弱い暗号が使用できなくなります。➡ **[弱い暗号の使用を禁止] (P. 1183)**

[弱い暗号を用いた鍵/証明書の使用を禁止する]

弱い暗号を使用した鍵と証明書が使用できなくなります。

[パスワードと鍵の保存に TPM を使用する]

本機には該当する機能がないため、セキュリティポリシーは適用されません。

[ログ]

ログを記録することで、万が一のときに追跡ができるほか、本機の不正使用の早期発見にもつながります。また、SNTP を使用することで、正確な時刻情報を取得できます。

[監査ログの記録を強制する]

本機の各種ログを常に記録するようになります。

- ➡ **[ジョブ履歴の表示] (P. 1157)**
- ➡ **[監査ログを取得] (P. 1157)**
- ➡ **[ネットワーク経由の認証ログを取得] (P. 1158)**
- ➡ **[プリントジョブのユーザー名をログイン名で表示] (P. 1019)**

[SNTP の設定を強制する]

ネットワーク上のタイムサーバーから時刻情報を取得するようになります。使用するサーバー名（NTP/SNTP サーバーの IP アドレス）は、ポリシーの設定時に指定します。➡ **[SNTP 設定] (P. 993)**

※DNS サーバーを使用している場合は、IP アドレスの代わりにホスト名または FQDN でサーバー名を指定することもできます。

入力例：

ntp.example.com

[ジョブ]

[印刷のポリシー]

プリントした用紙の放置や持ち去りを防止します。

[受信したジョブの即時印刷を禁止する]

受信したファクスやプリントデータをすぐにプリントせず、本機のメモリーに一時保存するようになります。

- ➡ **メモリー受信を設定する (P. 824)**
- ➡ **[ファクスメモリー受信を使用] (P. 1113)**
- ➡ **[I ファクスメモリー受信を使用] (P. 1114)**
- ➡ **[メモリー受信終了時刻] (P. 1114)**
- ➡ **[強制留め置き] (P. 1127)**

➡ **【転送エラージョブの処理】 (P. 1111)**

[送受信のポリシー]

送信時の宛先操作や受信データの処理方法を制限します。

[アドレス帳に登録済みの宛先へのみ送信を許可する]

新規宛先を指定できなくなります。アドレス帳に登録されている宛先のみ送信できます。 ➡ **【新規宛先の制限】 (P. 1080)**

[FAX 番号の確認入力を強制する]

ファクス番号の入力時に確認入力が必要になります。 ➡ **【ファクス番号入力時の確認入力 (誤送信防止)] (P. 1100)**

[自動転送を禁止する]

ファクスの自動転送ができなくなります。 ➡ **【転送設定を使用】 (P. 1111)**

[ストレージ]

本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[データの完全消去を強制する]

ログの管理

EJ83-0HF

ログを収集を開始すると、操作日時／ユーザー名／操作内容／操作結果などの情報が記録されるようになります。万が一、情報漏えいやトラブルが発生したときに追跡ができるほか、収集したログを確認／分析することで、本機の不正使用の早期発見にもつながります。

- ④ ログの収集を開始する (P. 861)
- ④ ログを自動でエクスポートする (P. 862)
- ④ ログを手動でエクスポートする (P. 864)
- ④ ログを削除する (P. 864)
- ④ SIEM システムにログを送信する (P. 865)

メモ

- ログの種類については、ログの仕様や「SIEM を用いたキヤノン複合機/プリンター監査ログの分析」を参照してください。

④ ログの種類 (P. 69)

SIEM を用いたキヤノン複合機/プリンター監査ログの分析



- [ジョブ履歴に個人情報を保存しない] を有効にした場合、監査ログに個人情報を書き込まないようにできます。④ [ジョブ履歴の表示] (P. 1157)

ログの収集を開始する

ログの収集を開始して、ログが記録されるようにします。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。Administrator 権限が必要です。

必要な準備

- 監査ログを有効にします。④ [監査ログを取得] (P. 1157)
- ネットワーク経由の認証ログが有効になっていることを確認します。④ [ネットワーク経由の認証ログを取得] (P. 1158)

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ④ リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ④ リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 [デバイス管理] ▶ [監査ログのエクスポート/クリア] をクリックする
→ [監査ログ情報] 画面が表示されます。

4 [監査ログの収集:] の [開始] をクリックする

→ ログの収集が開始されます。

5 リモート UI からログアウトする

メモ

エラーが発生した場合

- ログの収集中に、本機のストレージに何らかのエラーが発生した場合は、自動的に初期化が行われたあと、エラー画面が表示されます。画面の表示に従って、以下の操作をします。
 - [監査ログのダウンロード] が表示されている場合は、クリックしてエラー発生前のログを取得したあと、[OK] をクリックします。
 - [監査ログのダウンロード] が表示されていない場合は、そのまま [OK] をクリックします。
- 初期化が完了すると、ログの収集が再開され、自動初期化の処理がログに記録されます。

スリープモード中のログの記録

- スリープ状態のときの消費電力が [少ない] に設定されている場合は、ログは記録されません。🔗 [スリープ時の消費電力] (P. 979)

ログの収集が停止した場合

- ログの収集中に停電などで本機の電源が切れた場合は、本機の再起動後に、電源が切れる前のログから収集が再開されます。

ログを自動でエクスポートする

毎日指定した時刻に、自動的にログを CSV 形式のファイルに書き出して、指定した SMB サーバーに保存（エクスポート）するように設定します。指定時刻になる前でも、ログ件数が記録上限の 95 %（約 38,000 件）を超えた時点で、エクスポートが実行されます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。Administrator 権限が必要です。

必要な準備

- ログファイルを保存する SMB サーバーのホスト名や IP アドレス、認証情報など、SMB サーバーにアクセスするための情報を手元に用意します。
 - ※以下の条件を満たす SMB サーバーを使用します。
 - Windows 8 以降 または Windows Server 2012 以降
 - SMB v3.0 暗号化通信に対応している

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗 リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗 リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [デバイス管理] ▶ [監査ログのエクスポート/クリア] ▶ [監査ログの自動エクスポート設定] をクリックする

→ [監査ログの自動エクスポート設定] 画面が表示されます。

4 [自動エクスポートを利用する] にチェックマークを付ける

5 ログファイルの保存先を設定する

1. ユーザー名とパスワードを入力する
[ユーザー名:] と [パスワード:] に、ログファイルを保存する SMB サーバーにログインするためのユーザー名とパスワードを入力します。
2. ログファイルの保存先を入力する
 - [SMB サーバー名:] に、ログファイルを保存する SMB サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
 - [送信先のフォルダーパス:] に、ログファイルを保存するフォルダーのパスを入力します。
 - 認証が必要なパスは [SMB サーバー名:] に含めて設定します。
入力例：
\\192.168.1.21\share

6 [実行時刻:] で、エクスポートを実行する時刻を設定する

使用環境によっては、エクスポートの実行が指定した時刻よりも遅れることがあります。

7 [接続確認] をクリックし、設定した保存先に接続できることを確認する

8 [更新] をクリックする

→ 設定が反映されます。

9 リモート UI からログアウトする

メモ

自動エクスポートが完了した場合

- エクスポートしたログは自動的に本機から削除されます。
- ログの自動エクスポートと自動削除が成功した場合、それぞれのログが記録されます。次の実行時刻までにこれら以外のログが記録されなかった場合は、自動エクスポートは実行されません。

自動エクスポートに失敗した場合

- 数回リトライを行います。一度でも失敗すると、本機の操作パネルにエラーメッセージが表示されます。

実行時刻に本機の電源が入っていない／スリープ状態の場合

- 本機の電源が入っていない場合は、自動エクスポートは実行されません。電源を入れなおしても、実行されません。
- 本機がスリープ状態の場合は、スリープ状態から復帰したときに自動エクスポートが実行されます。

ログを手動でエクスポートする

ログを CSV 形式のファイルに書き出して、パソコンに保存（エクスポート）します。

手動エクスポートは、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用してエクスポートすることはできません。

Administrator 権限が必要です。

必要な準備

- TLS または IPSec で通信を暗号化します。

➡ [TLS を使用する \(P. 777\)](#)

➡ [IPSec を使用する \(P. 780\)](#)

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [デバイス管理] ▶ [監査ログのエクスポート/クリア] ▶ [監査ログのエクスポート] をクリックする
→ [監査ログのエクスポート] 画面が表示されます。
- 4 [エクスポート] をクリックし、エクスポートしたファイルをパソコンに保存する
 - エクスポートしたログを自動的に本機から削除したい場合は、[エクスポート後にログを本体から削除する] にチェックマークを付けてから、[エクスポート] をクリックします。
この場合、エクスポート実行中に [キャンセル] をクリックしてエクスポートを中止すると、ファイルが保存されていなくても、本機からログが削除されます。
 - エクスポート実行中は、ログの収集を停止します。
- 5 リモート UI からログアウトする

ログを削除する

収集されたログを、本機からすべて削除します。

※自動エクスポートを設定している場合は、ログを削除できません。

ログの削除は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して削除することはできません。
Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [🔗 リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

3 [デバイス管理] ▶ [監査ログのエクスポート/クリア] ▶ [監査ログの削除] をクリックする
→ [監査ログの削除] 画面が表示されます。

4 [削除] ▶ [はい] をクリックする
→ ログが削除されます。

5 リモート UI からログアウトする

SIEM システムにログを送信する

セキュリティ情報／イベント管理システムである SIEM に、Syslog を送信するように設定します。
SIEM システムと連携することで、さまざまなログをリアルタイムで収集し、一元管理／分析できるようになります。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
Administrator 権限が必要です。

必要な準備

- Syslog サーバーのホスト名や IP アドレス、ポート番号など、Syslog サーバーにアクセスするための情報を手元に用意します。
- Syslog サーバーとの通信を暗号化する場合は、TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書を指定します。 [🔗 TLS を使用する \(P. 777\)](#)

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする [🔗 リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [🔗 リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

3 [デバイス管理] ▶ [監査ログのエクスポート/クリア] ▶ [Syslog 設定] をクリックする
→ [Syslog 設定] 画面が表示されます。

4 [Syslog 送信を利用する] にチェックマークを付ける

5 Syslog 送信の設定をする

[Syslog サーバーのアドレス:]

接続する Syslog サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。

[Syslog サーバーのポート番号:]

Syslog サーバーが Syslog 通信に使用しているポート番号を入力します。空欄の場合は、RFC で規定されている以下のポート番号が設定されます。

- UDP : 514
- TCP : 1468
- TCP (TLS) : 6514

[ファシリティ:]

RFC で規定されているログメッセージの種類の中から、送信するログメッセージの種類を選択します。

[通信タイプ:]

[UDP] または [TCP] を選択します。

[TLS を使用する]

[通信タイプ:] で [TCP] を選択した場合に、Syslog サーバーとの通信を TLS で暗号化するときは、チェックマークを付けます。

[TLS 通信時に証明書を確認する]

Syslog サーバーとの TLS 暗号化通信時に、サーバー証明書を検証する場合は、チェックマークを付けます。

検証項目に CN (Common Name) を追加する場合は、[CN を検証項目に追加する] にもチェックマークを付けます。

6

[更新] をクリックする

→ 設定が反映されます。

7

リモート UI からログアウトする

メモ

- 一部のログは、30 秒ごとのポーリング後に Syslog 送信を行うため、エラーが発生してからタイムラグが生じる場合があります。
- 対応する RFC は、5424 (Syslog フォーマット) / 5425 (TLS) / 5426 (UDP) です。

本機を管理する

本機を管理する	868
日付／時刻を設定する	870
本機の画面の管理／設定	872
[ホーム] 画面のタイムライン表示／操作性を設定する	873
表示言語切り替えボタンを追加する	876
よく使用する機能のショートカットを登録する	877
設定メニューのショートカットを登録する	879
本機の画面にお知らせを表示する	881
パソコンによる本機の管理 - リモート UI	886
リモート UI を起動する	887
リモート UI のポータル画面	890
リモート UI で使用状況／履歴を確認する	893
使用状況／設定の確認	896
本機の稼働状況を確認する	897
使用ページ数を確認する - カウンター	899
通信管理レポートをプリント／確認する	900
送受信／エラー時にレポートを自動的にプリントする	904
登録情報や設定をプリントする	907
本機に装着しているオプションを確認する	910
エラーをメールで通知する	911
アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする	913
個別にインポート／エクスポートする	916
CSV ファイルを使用したアドレス帳の編集	920
一括インポート／エクスポートする	924
アップデート／拡張	928
ファームウェアをアップデートする	929
システムオプションをインストールする	932
機能を拡張する - MEAP	935
MEAP アプリケーションをインストールする	936
MEAP アプリケーションやライセンスファイルを管理する	938
SMS の画面	943
ユーザー認証のログインサービスを変更する	946
DepartmentID Authentication 使用時の設定／操作	947
設定／データを初期化する	951

本機を管理する

EJ83-0HH

本機を運用するために必要となる、管理／設定に関する機能について説明します。

日時／画面の設定

日付／時刻の設定

本機の日付と時刻を設定します。日時情報を利用する機能の基準となるため、正確にセットする必要があります。

➡日付／時刻を設定する (P. 870)

画面の管理／設定

[ホーム] 画面の表示や操作性を設定したり、よく使用する機能や設定をすぐに呼び出せるようにしたりします。本機の画面にユーザーへのお知らせを表示することもできます。

➡本機の画面の管理／設定 (P. 872)

本機の使用状況／設定の確認

稼働状態の確認や設定の変更 - リモート UI

パソコンの Web ブラウザーを使用して、本機の稼働状態を確認したり、設定の変更やアドレス帳の登録を行ったりします。離れた場所から本機の管理／設定ができ、また、手間のかかる設定や登録をパソコンで効率よく行うことができます。

➡パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)

使用状況／設定の確認

本機で使用した総ページ数やオプション構成を確認したり、通信結果／設定内容などのレポートやリストをプリントして確認したりできます。トナー容器の交換や紙づまりの処理などが必要になった場合に、メールで通知を受け取ることもできます。

➡使用状況／設定の確認 (P. 896)

設定やデータの管理

設定やデータの管理／バックアップ

インポート／エクスポート機能を利用して、アドレス帳や各種設定をバックアップしたり、他のキヤノン複合機と共有したりできます。

➡アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする (P. 913)

設定／データの初期化

本機を交換するときや廃棄するときは、すべての設定とデータを初期化します。初期化することで、機密情報の流出や、第三者による不正使用を防ぎます。機能によっては、個別に初期化することもできます。

➡設定／データを初期化する (P. 951)

ファームウェア／システムオプションの管理

ファームウェアのアップデート

機能の追加やバージョンアップが行われると、ファームウェアが更新されます。ファームウェアが更新されたときは、本機のファームウェアをアップデートします。

➡ファームウェアをアップデートする (P. 929)

システムオプション／MEAP アプリケーションのインストール

システムオプションや MEAP アプリケーションを本機にインストールすることで、使用できる機能を追加したり、本機の性能をさらに高めたりすることができます。

➡システムオプションをインストールする (P. 932)

➤ [機能を拡張する - MEAP \(P. 935\)](#)

関連項目

[本機の初期設定](#)

ネットワーク設定やファクス設定など、本機を使用するために必要な設定については、以下を参照してください。

➤ [セットアップ \(P. 80\)](#)

[ユーザー管理／セキュリティ対策](#)

本機を使用するユーザーの管理や、セキュリティリスクへの対策については、以下を参照してください。

➤ [セキュリティ \(P. 680\)](#)

日付／時刻を設定する

本機の日付と時刻を設定します。ここで設定した日付と時刻は、日時情報を利用する機能の基準となるため、正確にセットする必要があります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [環境設定] から設定します。  **[日付/時刻の設定] (P. 975)**

Administrator 権限が必要です。設定する項目によっては、本機の再起動が必要となります。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする  **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [タイマー/電力設定] ▶ [日付/時刻の設定] をクリックする
→ [日付/時刻の設定] 画面が表示されます。
- 4 [日時設定] で、現在の日付と時刻を入力する
時刻の表示形式の設定にかかわらず、24 時間形式で入力します。
- 5 [タイムゾーン設定] で、本機を使用する地域に合わせてタイムゾーンを選択する
タイムゾーンは、UTC (Coordinated Universal Time) を基準に選択します。
インターネットに接続して使用する場合は、UTC を正しく設定することが前提となっています。
※UTC とは、世界各地の基準となる協定世界時のことで、日本の標準時は UTC より 9 時間進んでいます。
- 6 必要に応じて、サマータイムを設定する
サマータイムを設定すると、夏季の一定期間、時刻を標準時より 1 時間進めることができます。
サマータイムを設定する場合は、[サマータイム設定] の [サマータイムを使用する] にチェックマークを付け、開始日時と終了日時を設定します。日にちは「第何週の何曜日」かを指定します。
- 7 [OK] をクリックする
→ 設定が反映されます。
タイムゾーンまたはサマータイムの設定を変更した場合は、設定の反映には本機の再起動が必要となります。  **再起動する (P. 148)**
- 8 リモート UI からログアウトする

メモ

- ネットワーク上のタイムサーバーから時刻情報を取得して、日付／時刻を自動的に設定することもできます。▶ **SNTPを設定する (P. 133)**

本機の画面の管理／設定

EJ83-0HK

[ホーム] 画面の表示や操作性を設定したり、よく使用する機能や設定をすぐに呼び出せるようにしたりします。

- ④ [ホーム] 画面のタイムライン表示／操作性を設定する (P. 873)
- ④ 表示言語切り替えボタンを追加する (P. 876)
- ④ よく使用する機能のショートカットを登録する (P. 877)
- ④ 設定メニューのショートカットを登録する (P. 879)

ユーザーへのお知らせなどを本機の画面に表示して、注意を促したり、情報共有に活用したりすることもできます。

- ④ 本機の画面にお知らせを表示する (P. 881)

メモ

一般ユーザーによる設定

- 一般ユーザーは、上記以外の設定をすることができます。④ 操作パネルの画面のカスタマイズ (P. 170)

[ホーム] 画面のタイムライン表示／操作性を設定する

[ホーム] 画面にタイムラインを表示するかどうかや、[ホーム] 画面で一般ユーザーがカスタマイズできる項目などを設定します。

- ① タイムラインの表示／非表示を切り替える (P. 873)
- ② ユーザーに許可する操作や画面の表示を設定する (P. 874)

タイムラインの表示／非表示を切り替える

[ホーム] 画面の右側に、タイムライン（設定履歴やプリント待機情報）を表示するかどうかを設定します。

※タイムラインの詳細については、以下を参照してください。

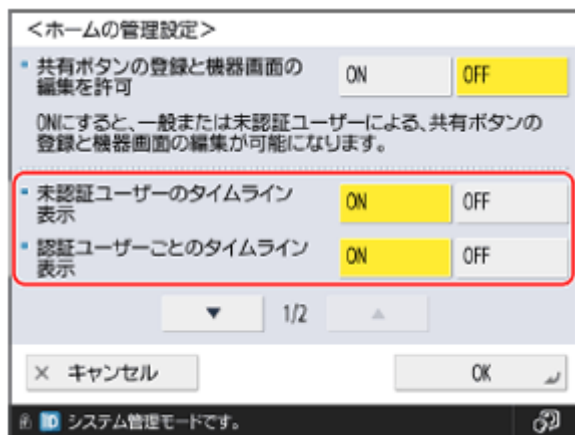
- ③ タイムラインの表示と操作 (P. 166)

この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。管理者権限が必要です。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする ④ ログイン方法 (P. 191)
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面で、 ▶ [ホームの管理設定] を押す ⑤ [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [ホームの管理設定] 画面が表示されます。

- 3 タイムラインの表示設定をする



[未認証ユーザーのタイムライン表示]

本機にログインしていない場合やゲストユーザーの場合に、未認証ユーザー共通のタイムラインを表示するときは、[ON] に設定します。

※高速起動の設定を無効にして本機の電源を切った場合、または高速起動できなかった場合は、この項目の設定にかかわらず、未認証ユーザー共通のタイムラインは表示されません。 ⑥ [主電源 ON 時の高速起動] (P. 976)

【認証ユーザーごとのタイムライン表示】

本機にログインしている場合に、ログインユーザーごとのタイムラインを表示するときは、[ON] に設定します。

4 [OK] を押す

→ 設定が反映されます。

ユーザーに許可する操作や画面の表示を設定する

各ユーザーが [ホーム] 画面でカスタマイズできる項目や、[ホーム] 画面に機能や設定のボタンを表示するかどうかなどを設定します。

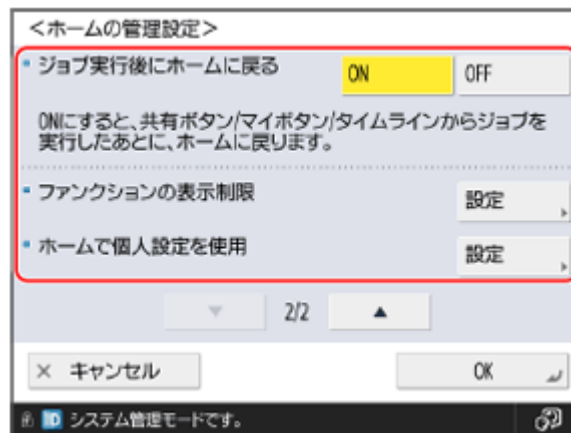
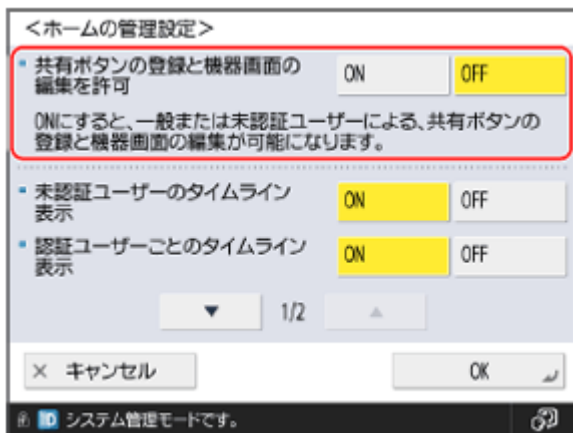
この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 本機に管理者ユーザーでログインする [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面で、 ▶ [ホームの管理設定] を押す [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [ホームの管理設定] 画面が表示されます。

3 ユーザーに許可する操作や画面の表示を設定する



【共有ボタンの登録と機器画面の編集を許可】

管理者ユーザー以外による共有ボタンの追加と [機器画面] の変更を許可する場合は、[ON] に設定します。

【ジョブ実行後にホームに戻る】

マイボタン／共有ボタンやタイムラインを使用して操作したあと、[ホーム] 画面に戻るようにする場合は、[ON] に設定します。

【ファンクションの表示制限】

画面の中央に表示される機能や設定のボタンを非表示にする場合は、[設定] を押し、非表示にする機能や設定を選択して、[OK] を押します。

【ホームで個人設定を使用】

各ユーザーが [ホーム] 画面でカスタマイズできる項目を制限する場合は、[設定] を押し、制限する項目を [OFF] に設定して、[OK] を押します。

- パーソナライズ機能が有効な場合にのみ設定できます。 [パーソナライズ機能を有効／無効にする \(P. 725\)](#)

- [マイボタンの登録/編集を許可] を [OFF] に設定した場合、追加済みのマイボタンは表示されなくなります。
- [個人画面の「ボタンの移動」を許可] を [OFF] に設定した場合、移動済みのボタンの並び順は保持されます。
- [個人画面の「ボタンサイズと個数の設定」を許可] や [個人画面の「背景の設定」を許可] を [OFF] に設定した場合、設定済みの個人設定は保持されません。([機器画面] の設定内容が適用されます。)

4

[OK] を押す

→ 設定が反映されます。

表示言語切り替えボタンを追加する

EJ83-0HR

〔ホーム〕画面などの下部に、表示言語切り替えボタン（）を追加できます。

表示言語切り替えボタンを追加すると、ボタンを押すだけで表示言語の設定画面を呼び出せるようになるので、表示言語をひんぱんに切り替える場合に便利です。

表示言語切り替えボタンは、操作パネルを使用して追加します。パソコンからリモート UI を使用して追加することはできません。

1 操作パネルの〔ホーム〕画面などで、 **設定/登録** を押す  **〔ホーム〕画面 (P. 156)**

→〔設定/登録〕画面が表示されます。

2 **〔環境設定〕**  **〔表示設定〕**  **〔画面下部に言語/キーボード切替ボタンを表示〕** を押す

→〔画面下部に言語/キーボード切替ボタンを表示〕画面が表示されます。

3 **〔ON〕**  **〔OK〕** を押す

→画面下部に表示言語切り替えボタンが追加されます。

メモ

- 表示言語を切り替えるときの詳細な手順は、以下を参照してください。

 **表示言語を切り替える (P. 188)**

よく使用する機能のショートカットを登録する

EJ83-OHS

操作パネルの画面の上部に表示される、機能のショートカットを最大4個まで登録できます。

他の機能进行操作している途中でもショートカットが表示されていれば、[ホーム] 画面に戻ることなく機能呼び出すことができます。



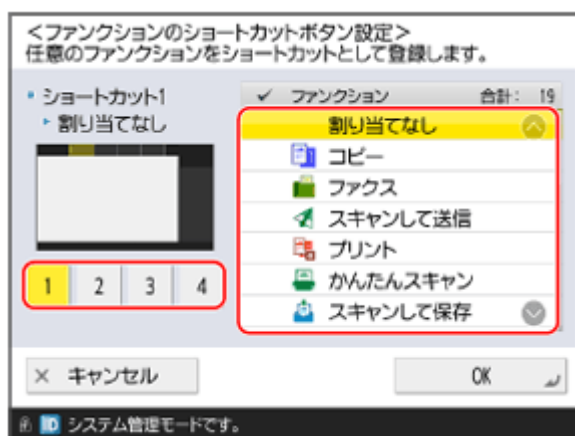
ショートカットは、操作パネルを使用して登録します。パソコンからリモート UI を使用して登録することはできません。管理者権限が必要です。

1 本機に管理者ユーザーでログインする [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面で、 ▶ [ファンクションのショートカットボタン設定] を押す [ホーム](#) 画面 (P. 156)

→ [ファンクションのショートカットボタン設定] 画面が表示されます。

3 ショートカットを登録する番号を選択し、割り当てる機能を選択する



- 選択した番号に応じた位置にショートカットが配置されます。ショートカットの配置位置は、画面左側のプレビュー表示で確認できます。
- すでにショートカットが登録されている番号を選択すると、登録内容が上書きされます。

4 [OK] を押す

→ 設定が反映されます。

メモ

登録済みのショートカットを削除する

- 手順 3 の画面で、削除したいショートカットの番号を選択し、[割り当てなし] を選択します。

設定メニューのショートカットを登録する

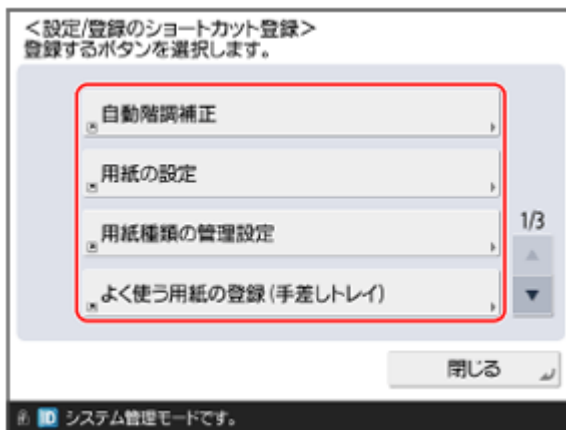
EJ83-0HU

[ホーム] 画面の [設定/登録のショートカット] に、[ 設定/登録] を押して表示される設定項目のショートカットを、最大 10 個まで登録できます。

深い階層にある設定をひんばんに変更する場合など、すばやく目的の設定項目を呼び出したいときに便利です。

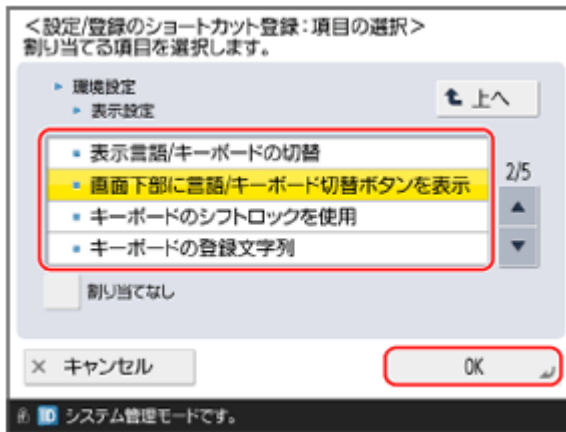
ショートカットは、操作パネルを使用して登録します。パソコンからリモート UI を使用して登録することはできません。管理者権限が必要です。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする [▶ ログイン方法 \(P. 191\)](#)
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面で、[設定/登録のショートカット] を押す [▶ \[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)
→ [設定/登録のショートカット] 画面が表示されます。
- 3 [登録] を押す
- 4 ショートカットを登録するボタンを選択する



すでにショートカットが登録されているボタンを選択すると、登録内容が上書きされます。

5 ショートカットとして登録する設定項目を選択し、[OK] を押す



6 [閉じる] を押す

→ ショートカットが登録されます。

メモ

登録済みのショートカットを削除する

- 手順 4 の画面で削除したいボタンを選択し、手順 5 の画面で [割り当てなし] を選択して [OK] を押します。

本機の画面のお知らせを表示する

EJ83-0HW

以下の2つの方法で、本機の画面にユーザーへのお知らせを表示できます。お知らせの内容や目的に応じて使い分けることができます。

テキストの表示

設定時に入力する任意のテキストを、以下の場所に表示できます。

- 操作パネルの画面の下部（ステータス表示部）
- 操作パネルの画面全体
- リモート UI のポータル画面の [掲示板]

お知らせを常時表示できるので、操作のヒントや使用停止／メンテナンスのお知らせなどに適しています。

➡ **テキストを操作パネル／リモート UI に表示する (P. 881)**

ファイルや Web サイトのコンテンツの表示

同一ネットワーク上のアドバンスドボックスまたはファイルサーバーに保存されている画像ファイルなどを、コンテンツとして操作パネルの画面全体に表示できます。

プロキシサーバーを経由して本機をネットワークに接続している場合は、インターネット上の Web サイトをコンテンツとして表示することもできます。

お知らせをグラフィカルに表示できるので、社内のお知らせやイベントの告知などに適しています。

➡ **ファイルや Web サイトのコンテンツを操作パネルに表示する - ビジュアルメッセージ (P. 883)**

テキストを操作パネル／リモート UI に表示する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [ライセンス/その他] ▶ [掲示板/サポートリンク] をクリックする
→ [掲示板/サポートリンク] 画面が表示されます。

4 [掲示板] で、お知らせの内容と表示方法を設定する

操作パネルの画面の下部に表示する場合

「ステータス表示部に表示する」にチェックマークを付け、その下の「メッセージ」にお知らせの内容を入力します。

※入力した内容は、ステータス表示部に常に表示されます。操作のヒントなど、短いテキストを表示するのに適しています。

操作パネルの画面全体やリモート UI に表示する場合

1. 「ポップアップウィンドウに表示する」にチェックマークを付け、その下の「メッセージ」にお知らせの内容を入力する
お知らせの内容は最大 4 行まで入力できます。
2. お知らせの表示方法を設定する
 - 「表示方法」で、お知らせを操作パネルの画面全体に表示するタイミングを選択します。
 - 「常に表示」に設定した場合は、ユーザーはお知らせの画面を閉じて本機を操作することはできません。使用停止中のお知らせなどに適しています。
 - 「オートクリア時に表示」に設定した場合は、ユーザーはお知らせの画面を閉じて本機を操作することができます。メンテナンスの事前告知などに適しています。
 - お知らせをリモート UI のポータル画面の「掲示板」にも表示する場合は、「リモート UI」の「ポータルに表示する」にチェックマークを付けます。

5 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

メモ

お知らせを消去する

- [ステータス表示部に表示する] / [ポップアップウィンドウに表示する] / [リモート UI] のチェックマークを外します。
- 操作パネルからお知らせを消去することもできます。🔗 [【掲示板の消去】 \(P. 1165\)](#)

ファイルや Web サイトのコンテンツを操作パネルに表示する - ビジュアルメッセージ

表示できるコンテンツの形式やサイズについては、ビジュアルメッセージの仕様を参照してください。🔗 [ビジュアルメッセージ \(P. 70\)](#)

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
Administrator 権限が必要です。

必要な準備

- インターネット上の Web サイトをコンテンツとして表示する場合は、プロキシの設定をします。🔗 [プロキシを使用する \(P. 773\)](#)

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗 [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗 [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [ライセンス/その他] ▶ [ビジュアルメッセージ] をクリックする
→ [表示設定] 画面が表示されます。
- 4 [表示するタイミングとコンテンツ] を設定する

1. コンテンツを表示するタイミングを設定する

〔ログアウト後/オートクリア後に表示する〕

ログアウト後やオートクリア後にコンテンツを表示させる場合は、チェックマークを付けます。

※ログアウト後にコンテンツを表示させる場合は、操作の開始時にログイン画面が表示されるように設定する必要があります。➡ **【ログイン画面の表示設定】 (P. 1146)**

※オートクリア後にコンテンツを表示させる場合は、オートクリアが実行されるまでの時間を1分以上に設定する必要があります。➡ **【オートクリア移行時間】 (P. 977)**

〔ログイン後に表示する〕

ログイン後にコンテンツを表示させる場合は、チェックマークを付けます。

※操作の開始時にログイン画面が表示されるように設定する必要があります。➡ **【ログイン画面の表示設定】 (P. 1146)**

〔プリント開始時に表示する〕

強制的に留め置かれた文書のプリント開始時など、プリントの画面からプリントを開始したときにコンテンツを表示させる場合は、チェックマークを付けます。

2. 表示するタイミングごとにコンテンツの情報を設定する

- 各タイミングの「コンテンツ：」で、表示するコンテンツにアクセスするときのプロトコル（[SMB] または [HTTP/WebDAV]）を選択し、コンテンツへのパスを入力します。
- コンテンツにアクセスするときには認証が必要な場合は、アクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。
- [HTTP/WebDAV] の場合に、TLS 暗号化通信時にサーバー証明書を検証するときは、[TLS 通信時に証明書を確認する] にチェックマークを付けます。
検証項目に CN (Common Name) を追加する場合は、[CN を検証項目に追加する] にもチェックマークを付けます。

5 [エラー発生時の画面表示] を設定する

何らかの原因でコンテンツが表示されない場合に、エラーメッセージを表示するかどうかを選択します。

6 [OK] をクリックする

→ 設定が反映されて、[ライセンス/その他] 画面に戻ります。

7 必要に応じて、便利な機能を設定する

コンテンツを表示したユーザーのログイン情報（ユーザー名とドメイン名）を、指定した Web サーバーに通知して情報を収集したり、コンテンツからリンクされた PDF ファイルを本機でプリントできるようにしたりすることができます。

1. [ビジュアルメッセージ] ▶ [セキュリティ設定] をクリックする

→ [セキュリティ設定] 画面が表示されます。

2. 利用する機能を設定する

ユーザーのログイン情報を Web サーバーに通知する場合

[コンテンツ表示時、ログイン情報をサーバーに通知する] にチェックマークを付け、Web サーバーのアドレスを入力します。

※「,」で区切ることで、複数のアドレスを指定できます（最大 255 文字まで）。

コンテンツからリンクされた PDF ファイルをプリントできるようにする場合

[コンテンツからのプリントを許可する] にチェックマークを付けます。

3. [OK] をクリックする

→ 設定が反映されます。

8 リモート UI からログアウトする

メモ

ビジュアルメッセージ表示時に本機を操作する

- ビジュアルメッセージの画面を閉じてから、本機を操作します。

任意のタイミングでビジュアルメッセージを表示する

- 操作パネルの [ホーム] 画面の [ビジュアルメッセージ] を押すと、設定したタイミングにかかわらずビジュアルメッセージを表示することができます。

※ビジュアルメッセージの設定で、複数のタイミングとコンテンツが設定されている場合は、直前に表示されたコンテンツが表示されます。

プロキシ使用時にコンテンツが表示されない場合

- プロキシサーバーを経由して本機をネットワークに接続している場合は、アドバンスドボックスまたはファイルサーバーに保存されているコンテンツが表示されないことがあります。その場合は、表示されないコンテンツのアドレスを、以下の手順で例外アドレス（プロキシを使用しないアドレス）として設定します。

設定するには、Administrator 権限が必要です。

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ライセンス/その他] ▶ [ビジュアルメッセージ] ▶ [プロキシ設定] ▶ 例外アドレスを入力 ▶ [OK]

※「,」で区切ることで、複数のアドレスを指定できます（最大 255 文字まで）。

パソコンによる本機の管理 - リモート UI

EJ83-0HX

リモート UI とは、パソコンの Web ブラウザーを使用して、本機の稼働状態を確認したり、設定の変更やアドレス帳の登録を行ったりする機能です。離れた場所から本機の管理／設定ができ、また、手間のかかる設定や登録をパソコンで効率よく行うことができます。

ログインユーザーの持つ権限（ロール）により、使用できるリモート UI の機能が異なります。

各権限で使用できるリモート UI の機能

ユーザーの種別	権限	使用できるリモート UI の機能
一般ユーザー	GeneralUser	使用状況／履歴の確認やプリントの中止、一部の設定の変更などに限られます。
管理者ユーザー	DeviceAdmin	一般ユーザーが使用できる機能のほか、プリント／スキャン／ファクス／コピーなどの基本機能に関する設定や、デバイス情報に関する設定を変更できます。
	NetworkAdmin	一般ユーザーが使用できる機能のほか、ネットワークに関する設定を変更できます。
	Administrator	リモート UI のすべての機能を使用できます。

※「DeviceAdmin」と「NetworkAdmin」で変更できる設定の詳細については、以下を参照してください。

➡ [【設定/登録】メニュー一覧 \(P. 957\)](#)

- ➡ [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- ➡ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- ➡ [リモート UI で使用状況／履歴を確認する \(P. 893\)](#)

関連項目

ユーザー認証

本機を使用するユーザーを管理したり、使用時に認証を行ったりすることで、第三者による操作や不正アクセスを防ぎます。

➡ [ユーザー認証／グループ管理 \(P. 681\)](#)

リモート UI を起動する

リモート UI を使用するには、パソコンの Web ブラウザーから本機の IP アドレスにアクセスし、管理者ユーザーまたは一般ユーザーでログインします。ログインユーザーの持つ権限により、リモート UI でできることが異なります。

必要な準備

- リモート UI の動作環境を確認します。➡ **サポート環境 (P. 71)**
- リモート UI を起動するパソコンと本機をネットワーク接続します。➡ **ネットワークの設定 (P. 91)**
- 本機の IP アドレスを確認します。➡ **本機の IP アドレスを確認する (P. 138)**
- ユーザー名「Administrator」でログインする場合は、パスワードを初期設定の「7654321」から変更します。➡ **【認証ユーザーの登録/編集】 (P. 1145)**
 - ※初期設定のパスワードでログインできるようにすることもできます。➡ **【リモートアクセス時にデフォルトパスワードの使用を許可】 (P. 1179)**
- 二要素認証を使用する場合は、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器を手元に用意し、以下の準備をします。
 - 「Microsoft Authenticator」や「Google Authenticator」などのワンタイムパスワード生成アプリを、モバイル機器にインストールします。
 - 本機とモバイル機器の時刻を合わせます。

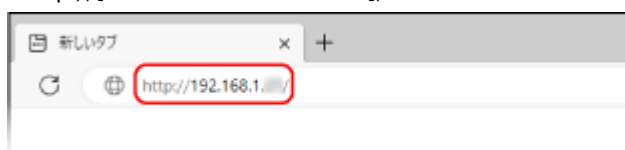
1 パソコンの Web ブラウザーで、以下の URL にアクセスする

http://<本機の IP アドレス>/

※IPv6 アドレスを入力するときは、IP アドレスを [] で囲んで入力します。

入力例：

http://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]/



→ リモート UI のログイン画面が表示されます。

リモート UI の通信が暗号化されている場合は、セキュリティー証明書に関する警告メッセージが表示されることがあります。証明書や TLS の設定に問題がなければ操作を続行します。

リモート UI のログイン画面が表示されない場合

Web ブラウザーのキャッシュを削除し、手順 1 をやりなおします。

※ユーザー認証を利用していない場合は、すぐにポータル画面が表示されるため、そのまま操作できます。➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**

2 ユーザー名とパスワードを入力し、ログイン先をプルダウンメニューから選択する

「Guest ログイン」が表示されている場合

このボタンをクリックすると、未登録のユーザーも一般ユーザーとしてログインできます。

3 「ログイン」をクリックする

→ リモート UI のポータル画面が表示されます。 [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

二要素認証の有効化に関するメッセージが表示された場合

1. メッセージを確認し、「OK」をクリックする

→ リモート UI の画面に QR コードが表示されます。

2. モバイル機器のワンタイムパスワード生成アプリで、QR コードを読み取る

→ ワンタイムパスワード生成アプリにアカウントが登録され、ワンタイムパスワードが表示されます。

3. リモート UI の画面で、ワンタイムパスワードを入力し、「確認」をクリックする

ワンタイムパスワードの入力画面が表示された場合

モバイル機器のワンタイムパスワード生成アプリに表示されたワンタイムパスワードを入力し、[確認] をクリックします。



4 目的の操作が終わったら、[ログアウト] をクリックする

→ リモート UI からログアウトして、ログイン画面に戻ります。

5 Web ブラウザーを閉じる

重要

リモート UI 使用時の注意

- リモート UI の使用中は、他の Web サイトにアクセスしないでください。
- リモート UI の使用中は、Web ブラウザーの [←] (戻るボタン) を使用しないでください。正しく動作しないことがあります。
- 複数のユーザーが同時に、リモート UI または操作パネルから同じ項目を操作した場合は、最後に行った操作が有効になります。
- リモート UI を使用したあとは、必ずログアウトしてから Web ブラウザーを閉じてください。ログアウトせずに Web ブラウザーを閉じると、次回ログイン時に時間がかかることがあります。

プロキシサーバーを使用している場合

- プロキシサーバーを経由して本機にアクセスすることはできません。プロキシサーバーを経由せずに本機にアクセスできるように Web ブラウザーを設定してください。

メモ

リモート UI 使用時の通信を暗号化する

- 本機の TLS の設定をしてから、リモート UI での TLS の使用を有効にします。▶ [TLS を使用する \(P. 777\)](#)

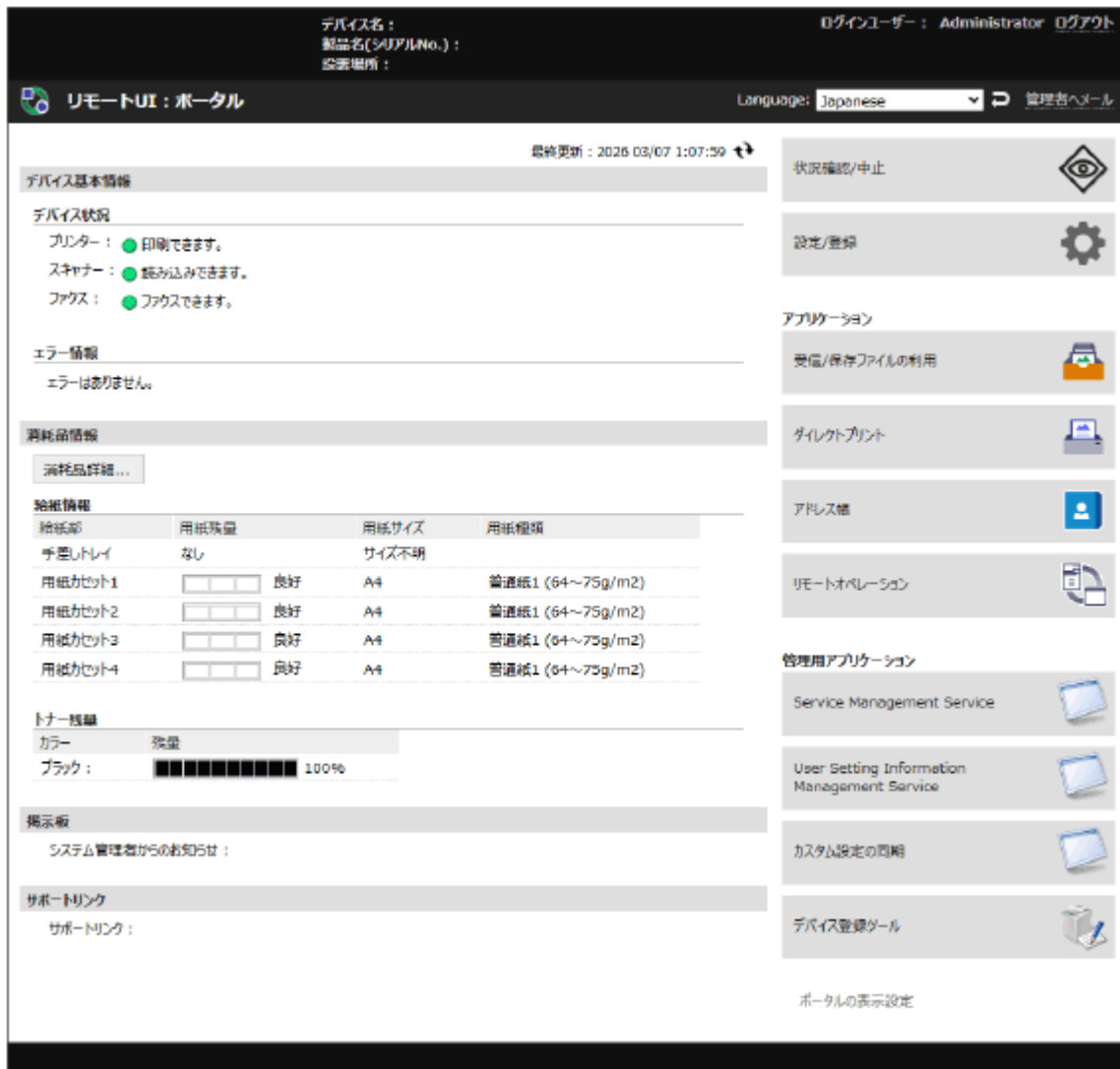
自動的にログアウトされるまでの時間を設定する

- リモート UI にログインしたあと、操作がない状態で一定時間が経過すると、自動的にログアウトされます。ログアウトされるまでの時間は、以下の手順で設定できます。

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [セッション設定] ▶ ログアウトされるまでの時間を入力 ▶ [OK]

リモート UI のポータル画面

リモート UI にログインすると、ポータル画面（リモート UI のトップページ）が表示されます。本機の稼働状態や各種情報を確認したり、ボタンをクリックして設定を変更したりできます。



[デバイス名]

[設定/登録] ▶ [デバイス管理] ▶ [デバイス情報の設定] で設定されているデバイス名が表示されます。

[製品名(シリアル No.)]

本機の製品名とシリアルナンバーが表示されます。

[設置場所]

[設定/登録] ▶ [デバイス管理] ▶ [デバイス情報の設定] で設定されている設置場所が表示されます。

[ログインユーザー]

ログインしたユーザーの情報が表示されます。

[ログアウト]

リモート UI からログアウトして、ログイン画面に戻ります。

[Language]

リモート UI の表示言語を切り替えます。

※パソコンとリモート UI の表示言語は合わせておく必要があります。表示言語が異なると、入力した内容が正しく表示されない場合や、フォルダーやサーバーなどの指定先を参照できない場合があります。

[管理者へメール]

[設定/登録] ▶ [ユーザー管理] ▶ [システム管理者情報/サービス担当者情報の設定] で設定されている管理者宛にメールを作成します。

[最終更新]

ポータル画面に表示されている情報の更新日時が表示されます。

日時の右側にある [↻] をクリックすると、最新の情報に更新されます。

[デバイス基本情報]

本機の現在の状況とエラー情報が表示されます。

エラーが発生している場合は、[エラー情報] 画面へのリンクが表示されます。

[消耗品情報]

各給紙部の情報とトナーの残量が表示されます。

[掲示板]

管理者からのお知らせが表示されます。▶ [テキストを操作パネル／リモート UI に表示する \(P. 881\)](#)

[サポートリンク]

[設定/登録] ▶ [ライセンス/その他] ▶ [掲示板/サポートリンク] で設定されている、本機のサポート情報へのリンクが表示されます。

[状況確認/中止]

クリックすると、[状況確認/中止] 画面が表示されます。

各機能の処理状況や使用履歴、本機の動作状況やエラー情報などを確認できます。▶ [リモート UI で使用状況／履歴を確認する \(P. 893\)](#)

[設定/登録]

クリックすると、[設定/登録] 画面が表示されます。

ログインユーザーの持つ権限に応じた設定や操作ができます。▶ [各権限で使えるリモート UI の機能 \(P. 886\)](#)

- [設定/登録] 画面で設定できる項目は、操作パネルの [設定/登録] メニューとほぼ同じですが、操作パネルまたはリモート UI のどちらかでしか設定できない項目もあります。▶ [\[設定/登録\] メニュー一覧 \(P. 957\)](#)
- 項目によっては、設定変更を反映するために、本機の再起動が必要です。

[アプリケーション]

各ボタンをクリックすると、それぞれの画面が表示されます。

[受信/保存ファイルの利用]

以下の場所に保存されているデータを確認したり、プリント／転送したりできます。

- システムボックス ▶ [メモリー受信したファクスを確認／プリント／転送する \(P. 545\)](#)
- ファクスボックス ▶ [親展受信したファクスを確認／プリントする \(P. 547\)](#)

[ダイレクトプリント]

パソコンやネットワーク上に保存されているファイルを、リモート UI で指定して直接プリントできます。▶ [Web ブラウザーを使用してプリントする - ダイレクトプリント \(P. 378\)](#)

[アドレス帳]

アドレス帳に宛先を登録したり、登録済みの宛先を編集したりできます。

▶ [アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI \(P. 291\)](#)

▶ [アドレス帳の宛先を編集／削除する - リモート UI \(P. 301\)](#)

[リモートオペレーション]

[リモートオペレーション設定] を [ON] を設定すると、表示されます。▶ [\[ライセンス/その他\] \(P. 1164\)](#)

操作パネルの画面をパソコンで表示して操作できるようになります。本機と離れた場所においても、本機の設定やジョブの操作が可能です。

[管理用アプリケーション]

各ボタンをクリックすると、それぞれの画面が表示されます。

※画面を表示できるのは、Administrator 権限を持つ管理者ユーザーのみです。

※システムオプションや MEAP アプリケーションのインストール状況によって、表示されるボタンは異なります。

[Service Management Service]

MEAP アプリケーションのインストールや管理ができます。 [▶機能を拡張する - MEAP \(P. 935\)](#)

[User Setting Information Management Service]

ユーザー設定情報を削除できます。 [▶ユーザー設定情報を削除する \(P. 763\)](#)

[カスタム設定の同期]

同一ネットワーク上の複数のキヤノン複合機で、パーソナライズデータを同期するための設定ができます。 [▶複数のキヤノン複合機で同じ設定を使用する - パーソナライズデータの同期 \(P. 755\)](#)

メモ

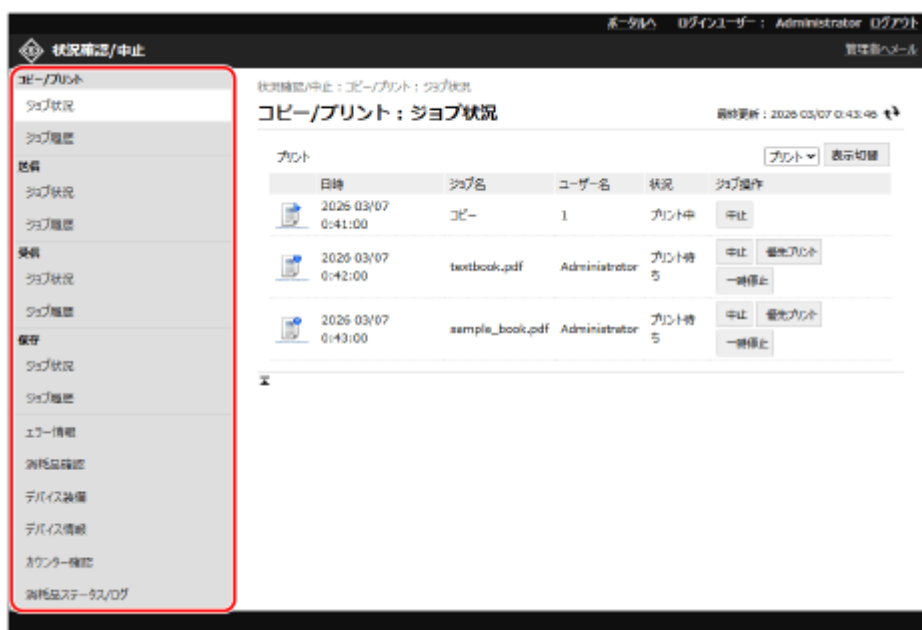
- [アプリケーション] と [管理用アプリケーション] のボタンの表示順は、画面右下の [ポータルを表示設定] で変更できます。

リモート UI で使用状況／履歴を確認する

EJ83-0J1

各機能の処理状況や使用履歴、本機の動作状況やエラー情報などを、リモート UI の [状況確認/中止] から確認します。

- 1 リモート UI にログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[状況確認/中止] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 目的の項目を選択し、状況や履歴を確認する



[ジョブ状況]

各項目で、以下のジョブの状況（実行中／待機中）を確認できます。

- プリントとコピー
- スキャンデータ／ファクスの送信
- ファクス／iファクスの受信とファクスの転送
- スキャンデータの保存



- 画面右上にプルダウンメニューがある場合は、一覧に表示されるジョブを切り替えることができます。プルダウンメニューで機能を選択し、[表示切替] をクリックします。

- 各ジョブの左側にあるアイコンをクリックすると、ジョブの詳細情報を確認できます。
- 各ジョブの「[ジョブ操作]」のボタンをクリックすると、以下の操作ができます。
 - [中止]：

実行中／待機中のジョブを中止します。中止したジョブは、一覧から削除されます。
 - [優先プリント] *1：

待機中のジョブを順番待ちの先頭にします。先に実行中のジョブの終了後に、[優先プリント]をクリックしたジョブが実行されます。
 - [一時停止] *2：

実行中／待機中のジョブを一時停止します。一時停止したジョブは、[再開]をクリックして再開できます。

*1 プリント／コピーのジョブのみ

*2 パソコンからのプリントのジョブのみ（ダイレクトプリントを含む）

「[ジョブ履歴]」

各項目で、以下のジョブの履歴を確認できます。

- プリントとコピー
- スキャンデータ／ファクスの送信
- ファクス／Iファクスの受信
- スキャンデータの保存



- 画面右上にプルダウンメニューがある場合は、一覧に表示されるジョブを切り替えることができます。プルダウンメニューで機能を選択し、「[表示切替]」をクリックします。
- 「[CSV形式で保存]」をクリックすると、表示されているジョブ履歴をCSV形式のファイルとしてパソコンに保存できます。

「[エラー情報]」

本機で発生しているエラーの情報を確認できます。

※ポータル画面の「[エラー情報]」に表示されているリンクをクリックしても、同じ情報を確認できます。

「[消耗品確認]」

各給紙部の情報、消耗品の状態、本機のメモリー使用量を確認できます。

「[詳細確認]」をクリックすると、消耗品の型番を確認できます。

「[デバイス装備]」

本機の仕様情報やオプションなどの装着状態を確認できます。

「[デバイス情報]」

製品名やシリアルナンバーなど本機の情報、ファームウェアのバージョン情報、通信情報、システム管理者情報、サービス担当者情報を確認できます。

- 「[デバイス名]」と「[設置場所]」には、「[設定/登録]」▶「[デバイス管理]」▶「[デバイス情報の設定]」で設定されている情報が表示されます。
- 「[通信情報]」には、「[設定/登録]」▶「[送信]」▶「[ネットワーク設定-Eメール/Iファクス設定]」で設定されているメールアドレスが表示されます。

- [電話番号] には、[設定/登録] ▶ [送信] ▶ [回線設定] で設定されているファクス番号が表示されます。
- [システム管理者情報] と [サービス担当者情報] には、[設定/登録] ▶ [ユーザー管理] ▶ [システム管理者情報/サービス担当者情報の設定] で設定されている情報が表示されます。

[カウンター確認]

これまでに実行したプリント／コピーのページ数と、スキャン／ファクスの送信ページ数を確認できます。▶ **使用ページ数を確認する - カウンター (P. 899)**

[消耗品ステータス/ログ]

消耗品の状態や交換履歴を確認できます。

※ [プリント] をクリックすると、装着中の消耗品情報と交換履歴をプリントします。

4 確認が終わったら、リモート UI からログアウトする

メモ

- ログインユーザーのジョブを他人が操作できないように制限できます。▶ **[認証ユーザー以外のジョブの操作制限] (P. 1156)**

使用状況／設定の確認

EJ83-0J2

本機で使用した総ページ数やオプション構成を確認したり、通信結果／設定内容などのレポートやリストをプリントして確認したりできます。トナー容器の交換や紙づまりの処理などが必要になった場合に、メールで通知を受け取ることもできます。

本機の稼働状況

用紙やトナーなどの残量や、本機のセキュリティ対策の状況、ファクスやプリント時のトラブル解決のサポート情報、指定期間内のプリント状況や消費電力などをまとめて確認できます。

▶ **本機の稼働状況を確認する (P. 897)**

本機で使用したページ数

カウンターを表示して、これまでに実行したプリント／コピーのページ数と、スキャン／ファクスの送信ページ数を確認できます。

▶ **使用ページ数を確認する - カウンター (P. 899)**

通信結果

通信結果のレポートをプリントして、送受信／保存結果の履歴をまとめて確認できます。

▶ **通信管理レポートをプリント／確認する (P. 900)**

送受信／保存ごとに、通信結果のレポートが自動でプリントされるように設定することもできます。エラー発生時のみ自動プリントされるように設定することも可能です。

▶ **送受信／エラー時にレポートを自動的にプリントする (P. 904)**

本機の登録情報／設定やオプション構成

本機の登録情報や設定内容などをまとめたリストをプリントして確認できます。

▶ **登録情報や設定をプリントする (P. 907)**

本機に装着しているオプション機器の名称やオプション機能を確認することもできます。

▶ **本機に装着しているオプションを確認する (P. 910)**

エラーの通知

トナー容器の交換や紙づまりの処理などが必要になった場合に、メールで通知を受け取ることができます。

▶ **エラーをメールで通知する (P. 911)**

関連項目

使用状況／設定をパソコンから確認する

カウンターや本機の登録情報／設定は、パソコンの Web ブラウザーを使用して確認することもできます。▶ **リモート UI で使用状況／履歴を確認する (P. 893)**

本機の稼働状況を確認する

EJ83-OJ3

用紙やトナーなどの残量や、本機のセキュリティ対策の状況、ファクスやプリント時のトラブル解決のサポート情報、指定期間内のプリント状況や消費電力などをまとめて確認できます。



1 操作パネルの［ホーム］画面などで [ 状況確認] を押す。

2 [稼働状況] を押し、本機の稼働状況を確認する

[用紙] / [トナー/回収トナー]

用紙やトナーの残量、回収トナー容器の空き容量など本体の状況を確認できます。

[セキュリティ]

本機のネットワーク種別やセキュリティに関わる情報を確認できます。

- 前回からセキュリティの状況が変更されている場合は、アイコンに黄色のマークが付きます。
- [対策状況] を押して、セキュリティの対策状況を確認できます。対策について詳しくは、表示された QR コードからオンラインマニュアルでご確認ください。
- この項目は管理者としてログインしたときのみ表示されます。

[トラブル解決ガイド]

プリント／ファクス／スキャンして送信のトラブルを解決するためのサポート情報が表示されます。解決したいトラブルの項目を選択すると、推測される原因や対処方法が表示されます。原因や対処方法が複数表示された場合は、上から順に内容を確認して下さい。

- ジョブの一覧が表示された場合は、トラブルが発生したジョブを選択してください。プリントの項目を選択した場合に、該当するジョブが無い場合は、[該当ジョブなし] を選択してください。
- QR コードが表示された場合は、QR コードからオンラインマニュアルで対処方法をご確認ください。

[環境インジケータ]

[表示期間:] で指定した期間のプリント状況や消費電力を確認できます。

※機種や使用環境によっては、正しく表示されない場合があります。

[プリント枚数]

出力された印刷物の枚数を表示します。

[用紙削減率]

両面プリントやページ集約によるプリントによって、どのくらい用紙を節約できたかを表示します。

- [用紙削減率] は、次のような計算で表示されます。(小数点以下は切り上げられます。)

$$[\text{用紙削減率}] = (\text{総原稿面数} - \text{プリント枚数}) \div \text{総原稿面数} \times 100$$

[両面比率]

出力された印刷物のうち、両面プリントされた印刷物の割合を表示します。

- [両面比率] は、次のような計算で表示されます。(小数点以下は切り上げられます。)

$$[\text{両面比率}] = \text{総両面プリント枚数} \div \text{プリント枚数} \times 100$$

[ページ集約率]

出力された印刷物のうち、ページ集約でプリントされた印刷物の割合を表示します。

- [ページ集約率] は、次のような計算で表示されます。(小数点以下は切り上げられます。)

$$[\text{ページ集約率}] = \text{ページ集約でプリントした面数} \div \text{プリント面数} \times 100$$

[消費電力]

指定された期間に原稿 1 ページをプリントするために消費された電力量と、前の期間（前日／前週／前月）に消費された 1 ページあたりの電力量の割合（%）を表示します。

- [消費電力] は、次のような計算で表示されます。

- コピーの場合：

$$(\text{プリント電力} + \text{システム電力} + \text{スキャナー電力}) \div \text{原稿枚数}$$

- プリンタードライバーからのプリントの場合：

$$(\text{プリント電力} + \text{システム電力}) \div \text{推定原稿枚数}$$

$$\text{※推定原稿枚数} = \text{出力枚数} \times \text{集約するページ数} \times \text{部数}$$

消費電力量を抑えたいとき

- [ページ集約] でコピーします。操作パネルの [ホーム] 画面 ▶ [コピー] ▶ [その他の機能] で [ページ集約] を選びます。



- プリンタードライバーからのプリント時は、以下の設定を行ってください。

- [基本設定] タブの [ページレイアウト] で [2 in 1] などを選ぶ。

3 [閉じる] を押す

メモ

- [稼働状況] 画面を [状況確認] 画面のデフォルト表示に変更することができます。▶ [デフォルト画面の変更 (状況確認)] (P. 966)

使用ページ数を確認する - カウンター

EJ83-0J4

カウンターを表示して、これまでに実行したプリント／コピーのページ数と、スキャン／ファックスの送信ページ数を確認できます。

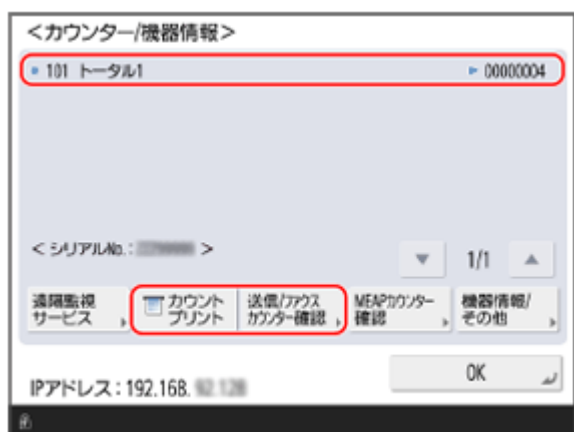
ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。▶ [リモート UI で使用状況／履歴を確認する \(P. 893\)](#)

1 操作パネルの「カウンター/機器情報」を押す ▶ [操作パネル \(P. 37\)](#)

→ 「カウンター/機器情報」画面が表示されます。

2 使用ページ数を確認する



カウント条件については、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリントページ数を確認する場合

「カウンター/機器情報」画面の「トータル」や「コピー」と表示されている項目で、プリント／コピーしたページ数を確認できます。

送信ページ数を確認する場合

「送信/ファックスカウンター確認」を押すと、スキャン／ファックス送信したページ数を確認できます。

カウンターレポートをプリントして確認する場合

「カウントプリント」▶ 「はい」を押すと、プリントページ数と送信ページ数をレポートで確認できます。

メモ

- 部門別 ID 管理中の場合は、部門 ID ごとの使用ページ数を確認できます。▶ [部門 ID ごとの使用状況を確認する \(P. 739\)](#)
- 「MEAP カウンター確認」を押すと、MEAP アプリケーションごとに使用ページ数を確認できます。
- 「遠隔監視サービス」については、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

通信管理レポートをプリント／確認する

EJ83-0J5

通信管理レポートをプリントすると、以下の通信結果の履歴を確認できます。

- ファクスの送受信結果
- メール／ファクスの送信結果
- ファイルサーバーなどへの保存結果

通信管理レポートは、通信件数や時刻を指定して自動的にプリントしたり、指定した宛先に CSV 形式のファイルとして送信／保存したりすることもできます。

※ファクスの送受信結果は、ファクスのみの通信管理レポート（ファクス通信管理レポート）をプリント／送信して確認することもできます。

④通信管理レポートを自動的にプリント／送信する (P. 900)

④通信管理レポートを手動でプリントする (P. 902)

メモ

レポートを両面プリントする

- レポートは、初期設定では用紙の片面にプリントされます。両面にプリントするように設定を変更できます。④【レポート出力のデフォルト設定】 (P. 1053)

レポートの表示

- ログインユーザー以外のジョブを操作できないように設定されている場合、他のユーザーのジョブは「***」のように伏せ字で表示されます。Administrator 権限を持つ管理者ユーザーでログインした場合は、すべてのユーザーのジョブが表示されます。④【認証ユーザー以外のジョブの操作制限】 (P. 1156)
- レポートに [NG] が表示されている場合は、送信／受信が中止されたか、エラーが発生しています。「#」で始まる 3 桁の番号（終了コード）が表示されている場合は、終了コードから、原因や対処方法を確認できます。④【終了コードが表示された（#xxx）】 (P. 1493)
- メール送信の結果は、メールサーバーへの送信結果を示しています。
- ファクスの送信結果に表示される相手先略称は、送信時の宛先の指定方法により異なります。
 - アドレス帳から宛先を選択した場合：宛先表に登録されている略称
 - テンキーでファクス番号を入力した場合：送信先から略称（TSI）を取得できたときは、その略称

通信管理レポートを自動的にプリント／送信する

通信件数や時刻を指定して、通信管理レポートを自動でプリントするように設定します。プリントせずに、指定した宛先に CSV 形式のファイルとして送信／保存するように設定することもできます。

初期設定では、通信管理レポートは 100 件ごとにプリントされますが、ファクスのみの通信管理レポート（ファクス通信管理レポート）はプリントされません。

自動的にプリント／送信しない場合は、この設定を無効にします。

※履歴を表示しないように設定されている場合は、通信管理レポートの設定はできません。また、通信管理レポートの設定後に、履歴を表示しないように設定した場合は、それに連動して通信管理レポートの設定は無効になります。④【ジョブ履歴の表示】 (P. 1157)

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。🔗 [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)
Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- 通信管理レポートを送信する場合は、送信先として指定する宛先を、本機のアドレス帳に登録します。🔗 [宛先の登録 - アドレス帳 \(P. 270\)](#)

1 本機に管理者ユーザーでログインする 🔗 [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[ 設定/登録] を押す 🔗 [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定] ▶ [通信管理レポート] を押す

→ [通信管理レポート] 画面が表示されます。

ファクス通信管理レポートの設定をする場合

[ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [ファクス通信管理レポート] を押します。

4 レポートの設定をする



指定した通信件数ごとにプリント／送信する場合

指定した件数の通信が終了したときに、通信結果レポートをプリント／送信します。

[指定通信数] で [プリント] または [送信] を選択し、件数の左側のボタンを押して選択した状態にしてから、件数を入力します。

指定した時刻にプリント／送信する場合

毎日、指定した時刻に通信結果レポートをプリント／送信します。

[指定時刻] で [プリント] または [送信] を選択し、時刻の左側のボタンを押して選択した状態にしてから、時刻を入力します。

- 通信結果は、新しいものから順に、以下の件数がプリント／送信されます。
 - プリント時：通信管理レポート 100 件、ファクス通信管理レポート 40 件
 - 送信時：2,000 件
- 指定時刻までに上記の件数を超えた場合、古い通信結果はプリント／送信されません。

自動的にプリント／送信しない場合

〔指定通信数〕と〔指定時刻〕を、それぞれ〔OFF〕に設定します。

5 プリントする場合は、〔送信/受信ジョブ別にプリント〕を設定する

送信／保存結果と受信結果を分けてプリントする場合は、ボタンを押して選択した状態にします。

6 送信する場合は、〔送信先〕を押し、アドレス帳から送信先を指定する [▶アドレス帳から指定する \(P. 315\)](#)

7 〔OK〕を押す

→ 設定が反映されます。

通信管理レポートを手動でプリントする

通信管理レポートは、操作パネルを使用してプリントします。

※パソコンからリモート UI を使用して、CSV 形式のファイルとしてパソコンに保存することもできます。 [▶リモート UI で使用状況／履歴を確認する \(P. 893\)](#)

1 操作パネルの〔ホーム〕画面などで、 〔状況確認〕を押す [▶〔ホーム〕画面 \(P. 156\)](#)

→ 〔状況確認〕画面が表示されます。

2 〔送信〕または〔受信〕を押し、〔ジョブ履歴〕を押す

3 〔通信管理レポート〕を押す



→ 〔通信管理レポート〕画面が表示されます。

ファクス通信管理レポートをプリントする場合

画面右上のプルダウンメニューで〔ファクス〕を選択し、〔ファクス通信管理レポート〕を押します。

4 必要に応じて、プリントする通信履歴の件数を指定する

初期設定では、通信管理レポートは最新の 100 件、ファクス通信管理レポートは最新の 40 件がプリントされます。
必要に応じて、[件数指定出力] を押してプリントする件数を指定します。

5 [プリント開始] を押す

→ プリントが開始されます。

プリントを中止したい場合は、[中止] を押します。

送受信／エラー時にレポートを自動的にプリントする

EJ83-0J6

送受信／保存ごとに、通信結果のレポートが自動でプリントされるように設定します。エラー発生時にのみ自動プリントされるように設定することも可能です。

プリントできるレポートの種類

レポートの種類	確認できる内容	初期設定
送信結果レポート ^{*1*2}	- ファクスの送信結果 - メール／Iファクスの送信結果 - ファイルサーバーなどへの保存結果 - ファクスの転送結果	エラー時のみ自動プリントされる
ファクス送信結果レポート	ファクスの送信結果	自動プリントされない
ファクス受信結果レポート	ファクスの受信結果	自動プリントされない
ファクスボックス受信レポート ^{*3}	受信したファクスのファクスボックスへの保存結果	自動プリントされる

^{*1} パソコンから送信したファクスは含まれません。

^{*2} クライアント機として送信したリモートファクスを含みます。

^{*3} エラー時のみの自動プリントは設定できません。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

送信結果レポート／ファクス送信結果レポートの設定をするには、Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。ファクス受信結果レポート／ファクスボックス受信レポートの設定をするには、管理者権限が必要です。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

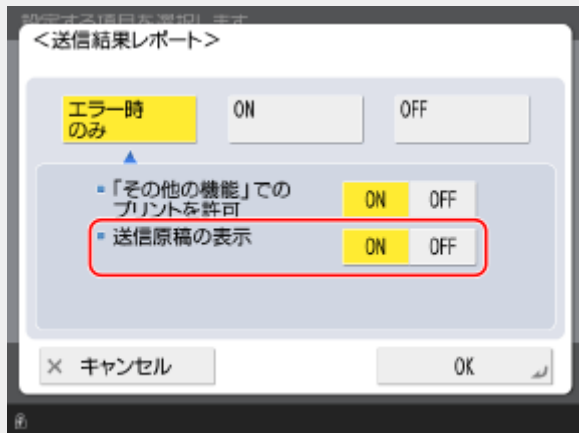
3 レポートの種類ごとに自動プリントの設定をする

送信結果レポートの設定をする場合

- [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定] ▶ [送信結果レポート] を押す
→ [送信結果レポート] 画面が表示されます。
- [エラー時のみ] または [ON] を選択する

- エラー時にのみレポートをプリントする場合は、[エラー時のみ] を選択します。その場合に、スキャンやファクスの画面で、レポートをプリントするかどうかを設定できるようにするときは、[「その他の機能」でのプリントを許可] を [ON] に設定します。
- 送信のたびにレポートをプリントする場合は、[ON] を選択します。

3. レポートに原稿をプリントするかどうかを選択する



原稿の 1 ページ目をレポートにプリントする場合は、[送信原稿の表示] を [ON] に設定します。
※以下の場合、原稿はレポートにプリントされません。

- 暗号化 PDF を送信した場合
- カラーでスキャンした場合

ファクス送信結果レポートの設定をする場合

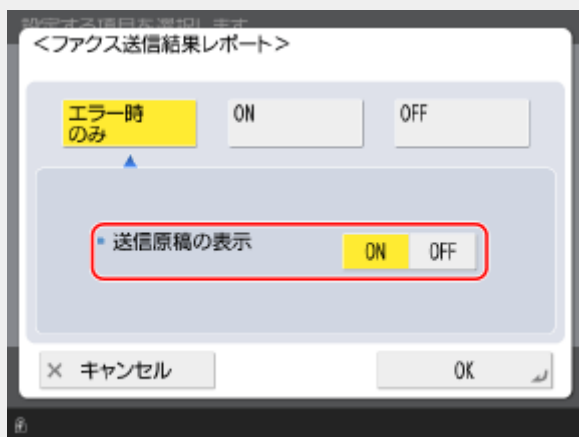
1. [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [ファクス送信結果レポート] を押す

→ [ファクス送信結果レポート] 画面が表示されます。

2. [エラー時のみ] または [ON] を選択する

- エラー時にのみレポートをプリントする場合は、[エラー時のみ] を選択します。
- 送信のたびにレポートをプリントする場合は、[ON] を選択します。

3. レポートに原稿をプリントするかどうかを選択する



原稿の 1 ページ目をレポートにプリントする場合は、[送信原稿の表示] を [ON] に設定します。
※ダイレクト送信/手動送信した場合は、原稿はレポートにプリントされません。

- ▶ 相手につながったことを確認してから送信する - ダイレクト送信 (P. 509)
- ▶ 通話に続けてファクスを送信する - 手動送信 (P. 512)

ファクス受信結果レポートの設定をする場合

1. [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定] ▶ [ファクス受信結果レポート] を押す
→ [ファクス受信結果レポート] 画面が表示されます。
2. [エラー時のみ] または [ON] を選択する
 - エラー時にのみレポートをプリントする場合は、[エラー時のみ] を選択します。
 - 受信のたびにレポートをプリントする場合は、[ON] を選択します。

ファクスボックス受信レポートの設定をする場合

1. [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定] ▶ [ファクスボックス受信レポート] を押す
→ [ファクスボックス受信レポート] 画面が表示されます。
2. [ON] を選択する
受信したファクスがファクスボックスに保存されるたびにレポートがプリントされます。

4

[OK] を押す

→ 設定が反映されます。

登録情報や設定をプリントする

EJ83-0J7

本機の登録情報や設定内容などをまとめた以下のリストをプリントして確認できます。

- ④宛先表 (P. 907)
- ④本機の設定 (P. 907)
- ④MEAP アプリケーション情報 (P. 908)
- ④プリンター機能 (P. 909)

メモ

リストを両面プリントする

- リストは、初期設定では用紙の片面にプリントされます。両面にプリントするように設定を変更できます。④ [レポート出力のデフォルト設定] (P. 1053)

リストプリントに使用できる用紙サイズと用紙種類

- 用紙サイズ：A3／B4／A4／リーガル／レター／11"×17"
- 用紙種類：普通紙／再生紙／薄紙／色紙
- [給紙箇所の自動選択の設定] の [その他] で [ON] に設定されている給紙部に、上記の用紙がセットされている必要があります。④ [給紙箇所の自動選択の設定] (P. 1046)

宛先表

アドレス帳に登録されている宛先のリストを、宛先表ごとにプリントできます。

※アクセス番号が設定されている宛先もプリントされます。

※個人宛先表とユーザーグループ宛先表はプリントできません。

ここでは、操作パネルを使用してプリントする方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用してプリントすることもできます。④ パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定] ▶ [宛先表リスト] ▶ プリントする宛先表を選択 ▶ [リストプリント] ▶ [はい]

本機の設定

本機の設定内容のリストをプリントできます。

送受信の設定やネットワークの設定など、確認したい内容ごとにプリントします。

ここでは、操作パネルを使用してプリントする方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用してプリントすることもできます。④ パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)

送受信の設定

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] または [受信/転送] ▶ [レポート出力] ▶ [送信/受信ユーザーデータリスト] ▶ [はい]

初期設定から変更された項目には、設定値の横に「*」が付きます。

ファクスの設定

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] または [受信/転送] ▶ [レポート出力] ▶ [ファクスユーザーデータリスト] ▶ [はい]

初期設定から変更された項目には、設定値の横に「*」が付きます。

受信したファクス/Iファクスの転送設定

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

本機に管理者ユーザーでログイン ▶ [ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定] ▶ [転送設定] ▶ [リストプリント] ▶ [はい]

ネットワークの設定

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [レポート出力] ▶ [はい]

- 初期設定から変更された項目には、設定値の横に「*」が付きます。
- 本機の固有情報から自動生成される以下の項目には、必ず「*」が付きます。
 - IPv4 ホスト名
 - IPv6 ホスト名
 - mDNS 名 (mDNS 設定)
 - 動作中の通信速度 (Ethernet ドライバー設定)

宛先の検索や登録に使用する LDAP サーバーの設定

管理者権限が必要です。

本機に管理者ユーザーでログイン ▶ [ 設定/登録] ▶ [宛先設定] ▶ [LDAP サーバーの登録] ▶ [リストプリント] ▶ [はい]

IPSec ポリシーの設定

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

本機に管理者ユーザーでログイン ▶ [ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPSec 設定] ▶ [リストプリント] ▶ [はい]

MEAP アプリケーション情報

MEAP アプリケーションやライセンスなどの情報のリストをプリントできます。

アプリケーション情報のリストは、操作パネルを使用してプリントします。パソコンからリモート UI を使用してプリントすることはできません。

Administrator 権限が必要です。

本機に管理者ユーザーでログイン ▶ [ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ▶ [MEAP 設定] ▶ [システム情報のプリント] ▶ [はい]

プリンター機能

プリンター動作モードの設定内容やフォントリストなど、プリンター機能のリストをプリントできます。

ここでは、操作パネルを使用してプリントする方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用してプリントすることもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [レポート出力] ▶ プリンター動作モードを選択 ▶ プrintする項目を選択 ▶ [はい]

本機に装着しているオプションを確認する

EJ83-OJ8

本機に装着しているオプション機器の名称やオプション機能を確認できます。
本機のファームウェアのバージョン情報も確認することができます。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。▶ [リモート UI で使用状況／履歴を確認する \(P. 893\)](#)

1 操作パネルの「カウンター/機器情報」キーを押す ▶ [操作パネル \(P. 37\)](#)

→ 「カウンター/機器情報」画面が表示されます。

2 「機器情報/その他」▶「デバイス構成確認」を押す

→ 「デバイス構成確認」画面が表示されます。

3 オプションの情報や本機のバージョン情報を確認する



標準搭載されていてもオプションとして表示される機能があります。

エラーをメールで通知する

トナー容器の交換や紙づまりの処理などが必要になった場合に、メールで通知を受け取ることができます。
通知先のメールアドレスは、最大 5 件まで登録できます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする [▶ リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする [▶ リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [デバイス管理] ▶ [メール通知設定] をクリックする
→ [メール通知設定] 画面が表示されます。
- 4 [通知先の追加] をクリックする
→ [通知先の追加] 画面が表示されます。
- 5 通知先と通知する項目を設定する

- [通知先] に、通知メールの送信先となるメールアドレスを入力します。
- [通知する項目] で、通知したいエラーの種類にチェックマークを付けます。

- 6 [OK] をクリックする
→ [メール通知設定] 画面の通知先の一覧に、登録した通知先が追加されます。
- 7 リモート UI からログアウトする

メモ

- 通知メールの送信結果は、送信のジョブ履歴で確認できます。
 - ▶ リモート UI で使用状況／履歴を確認する (P. 893)
 - ▶ スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する (P. 479)

アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする

EJ83-0JA

アドレス帳や各種設定をファイルに書き出してパソコンに保存（エクスポート）したり、エクスポートしたファイルを読み込んで本機に反映（インポート）したりできます。

万が一に備えてバックアップとして利用できるほか、エクスポートしたファイルは他のキヤノン複合機にもインポートできるので、登録や設定の手間を省いて、アドレス帳や設定データを他機と共有することもできます。

- ④ インポート／エクスポートできる項目 (P. 913)
- ④ インポート／エクスポート時の注意事項 (P. 914)
- ④ パーソナライズデータを同期している場合 (P. 915)

インポート／エクスポートできる項目

インポート／エクスポートには、必要な設定内容のみを個別のファイルでインポート／エクスポートする方法と、設定内容を1つのファイルにまとめて一括インポート／エクスポートする方法があります。

- ④ 個別にインポート／エクスポートする (P. 916)
- ④ 一括インポート／エクスポートする (P. 924)

インポート／エクスポートできる項目は、インポート／エクスポートする方法によって異なります。

個別にインポート／エクスポートできる項目

- アドレス帳

一括インポート／エクスポートできる項目

一括エクスポートするときには、以下の項目をすべてエクスポート対象にできるほか、以下の項目の中から指定した項目のみをエクスポート対象にすることもできます。

※「設定/登録」メニューの項目は、設定項目によってインポート／エクスポートの対象となるかどうか異なります。各項目のインポート／エクスポートの対応状況や、各項目が以下の項目のどれに属するかについては、一覧を参照してください。④ 配信／インポート／エクスポートできる設定項目 (P. 1257)

- 設定/登録の基本情報
- 用紙種類の管理設定
- プリンター設定の仕様設定
- 転送設定
- ボックス関連設定
- 部門別 ID 管理設定
- 鍵設定
- 証明書/証明書失効リスト(CRL)設定
- ビジュアルメッセージ設定
- ホーム設定^{*1*2}
- よく使う設定
- アドレス帳
- ユーザーグループ宛先表
- 認証ユーザー管理

- セキュリティーポリシー設定^{*3}
- 個人設定情報^{*4}
- MEAP アプリケーションの設定情報

^{*1} [ホーム] 画面に対応しているキヤノン複合機にのみインポート可能です。

^{*2} エクスポート元の機種によっては、共有ボタンがインポートできない場合があります。詳細については、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

^{*3} セキュリティーポリシー設定をパスワードで保護している場合は、以下のいずれかの場合にインポートできます。

- セキュリティーポリシー設定のパスワードがエクスポート元とインポート先とで一致する場合
- インポート先にパスワードが設定されていない場合
※エクスポート元と同じパスワードがインポート先に設定されます。

^{*4} 個人設定情報の対象項目については、一覧を参照してください。 [▶ パーソナライズできる項目一覧 \(P. 726\)](#)

インポート／エクスポート時の注意事項

同じ表示言語でインポート／エクスポートする

インポート先とエクスポート元の表示言語は同じにします。表示言語が異なると、設定値が文字化けして、インポート先が正しく動作しないおそれがあります。

実行時の注意事項

- インポート／エクスポートが完了するまで、本機の電源は切らないでください。データが破損したり、本機が故障したりするおそれがあります。
※処理が完了するまで数分かかることがあります。
- インポート／エクスポートは、使用者がいない時間帯に実行することをおすすめします。インポート／エクスポートと同時にできない操作や処理があります。

インポート／エクスポートと同時にできない操作や処理

○：可 ×：不可

操作／処理	インポート／エクスポート中の実行可否	実行中のインポート／エクスポート可否
送信ジョブ	×	×
転送ジョブ	×	×
ファクス／Iファクスジョブ	×	×
レポートプリントジョブ	×	×
スキャンして保存（ネットワーク／メモリーメディア）	×	×
個別インポート／エクスポート	×	×
一括インポート／エクスポート	×	×
ソフトウェアの更新処理	×	×
パーソナライズデータの同期	×	×
操作パネルの操作	×	○
リモート UI の操作	×	○
リモートアドレス帳の使用	×	×
本機のスリープ	×	○

操作／処理	インポート／エクスポート中の実行可否	実行中のインポート／エクスポート可否
本機のシャットダウン処理	○	×
エラーコード表示	○	×

パーソナライズデータを同期している場合

クライアント機としてパーソナライズデータの同期を開始すると、同期対象である以下のデータのインポート／エクスポートが制限されます。

- 個人設定情報^{*1}
- ユーザーグループ宛先表

^{*1} 個人設定情報の対象項目については、一覧を参照してください。▶ [パーソナライズできる項目一覧 \(P. 726\)](#)

パーソナライズデータの同期中に、同期対象のデータをインポートする場合は、同期を終了したりサーバー機で操作したりする必要があります。

クライアント機では、パーソナライズデータの同期中に、同期対象のデータをエクスポートすることはできません。

同期中に他機のデータをインポートする場合

パーソナライズデータの同期中に、同期していない他機のデータをインポートする場合は、以下の手順でインポートします。

インポートするには、Administrator 権限が必要です。

- 1 インポート先のクライアント機で、同期を終了する ▶ [クライアント機の同期を終了する \(P. 760\)](#)
- 2 サーバー機で、既存のデータをバックアップする
- 3 サーバー機で、インポートするデータの対象となるユーザーやユーザーグループの情報を削除する
- 4 同期を終了したクライアント機で、同期対象のデータをインポートする
▶ [個別にインポートする \(P. 918\)](#)
▶ [一括インポートする \(P. 925\)](#)
- 5 データをインポートしたクライアント機で、同期を開始する ▶ [クライアント機の同期を開始する \(P. 758\)](#)

個別にインポート／エクスポートする

EJ83-0JC

アドレス帳やプリンター設定など、必要な設定内容のみを個別のファイルでインポート／エクスポートします。

④個別にエクスポートする (P. 916)

④個別にインポートする (P. 918)

重要

- インポート／エクスポート時の注意事項については、以下を参照してください。

④インポート／エクスポート時の注意事項 (P. 914)

個別にエクスポートする

エクスポートする項目を選択してから、ファイルに書き出します（個別エクスポート）。アドレス帳をエクスポートする場合は、用途に合わせてファイル形式を選択します。

個別エクスポートは、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して個別エクスポートすることはできません。

Administrator 権限が必要です。

必要な準備

- アドレス帳をエクスポートする場合に、エクスポートするデータにパスワードを設定するときは、宛先に設定されているパスワードを含めてエクスポートするように設定します。④【アドレス帳エクスポートの対象にパスワードを含める】 (P. 1134)

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ④リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ④リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 [データ管理] をクリックする
- 4 [個別インポート/エクスポート] でエクスポートする項目をクリックし、エクスポートの準備をする

アドレス帳をエクスポートする場合

1. [宛先表] ▶ [エクスポート] をクリックする

→ [宛先表のエクスポート] 画面が表示されます。

暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

2. エクスポートの設定をする

[宛先表]

エクスポートする宛先表を選択します。

※宛先表の名称を変更している場合でも、初期設定の名称でエクスポートされます。

[セキュリティレベル]

エクスポートするデータのセキュリティレベルを選択します。レベルによって、インポートできる機種や選択できるフォーマットが異なります。

- [レベル 1] :
すべてのキャノン複合機にインポートできます。
このレベルを選択した場合は、[専用フォーマット] と [LDAP フォーマット] が選択可能となります。
- [レベル 2] :
エクスポートするデータにパスワードを設定する場合に、パスワードを [レベル 1] より安全な方式で暗号化します。このレベルに対応した機種にのみインポートできます。
このレベルを選択した場合は、[専用フォーマット] と [CSV フォーマット] が選択可能となります。

[フォーマット]

エクスポートするデータのファイル形式を選択します。

- [専用フォーマット] : Canon Address Book ファイル (*.abk)
宛先表に登録されているすべての情報を他のキャノン複合機にインポートする場合に選択します。
- [LDAP フォーマット] : LDAP データ交換形式ファイル (*.ldif)
パソコンのアプリケーションで利用する場合に選択します。メールアドレスとファクス番号の情報のみがエクスポートされます。
- [CSV フォーマット] : CSV 形式ファイル (*.csv)
パソコンのアプリケーションで利用する場合に選択します。

[パスワード] / [確認入力]

エクスポートするデータに設定するパスワードを、[パスワード] と [確認入力] の両方に入力します。

※パスワードはエクスポートしたデータをインポートするときに必要となります。

※この項目は、宛先に設定されているパスワードを含めてエクスポートするように設定されている場合にのみ表示されます。 ➡ **[アドレス帳エクスポートの対象にパスワードを含める] (P. 1134)**

5 [エクスポート開始] をクリックし、エクスポートしたファイルをパソコンに保存する

6 リモート UI からログアウトする

重要

- エクスポートしたファイルが XML ファイルの場合は、ファイルを開いて編集しないでください。動作不良の原因になることがあります。

メモ

- エクスポートした CSV ファイルを編集するときは、CSV ファイルの記述ルールに従います。 ➡ **CSV ファイルを使用したアドレス帳の編集 (P. 920)**

個別にインポートする

インポートする項目を選択してから、該当する設定内容が保存されたファイルを指定してインポートします（個別インポート）。

個別インポートは、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して個別インポートすることはできません。

Administrator 権限が必要です。インポートする項目によっては、本機の再起動が必要となります。

重要

インポートするファイルや内容を必ず確認する

- インポートを実行する前に、インポートするファイルや、その設定内容が正しいかどうかを必ず確認してください。
- インポートを実行すると、アドレス帳や各種設定が上書きされます。設定内容によっては、本機が正常に動作しなくなったり、運用に支障をきたしたりするおそれがあります。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➤ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➤ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [データ管理] をクリックする
- 4 [個別インポート/エクスポート] でインポートする項目をクリックし、インポートの準備をする

アドレス帳をインポートする場合

1. [宛先表] ➤ [インポート] をクリックする

➔ [宛先表のインポート] 画面が表示されます。

暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

2. インポートの設定をする

[宛先表]

インポート先の宛先表を選択します。

[インポート方法]

宛先表のインポート方法を選択します。

- インポート先に登録されている宛先を保持したまま、インポートした宛先を追加する場合は、[追加] を選択します。
- インポート先に登録されている宛先をすべて削除し、インポートした宛先で上書きする場合は、[削除後に上書き] を選択します。

[ファイルのパス]

[ファイルの選択] をクリックし、インポートするファイルを指定します。

[フォーマット]

インポートするデータのファイル形式を選択します。

- [専用フォーマット]：Canon Address Book ファイル (*.abk)
- [LDAP フォーマット]：LDAP データ交換形式ファイル (*.ldif)
- [CSV フォーマット]：CSV 形式ファイル (*.csv)

[宛先表の認証情報を復号化する]

パスワードが設定されたファイルをインポートする場合は、チェックマークを付け、エクスポート時に設定したパスワードを入力します。

5 [インポート開始] ▶ [OK] をクリックする

→ 指定したファイルが本機にインポートされます。

デバイス設定をインポートした場合

インポートが完了したら、本機を再起動します。▶ **再起動する (P. 148)**

※設定の反映には本機の再起動が必要です。また、再起動するまでリモート UI は使用できません。

6 リモート UI からログアウトする

CSV ファイルを使用したアドレス帳の編集

EJ83-0JE

アドレス帳を CSV 形式でエクスポートした場合の、CSV ファイルの記述について説明します。
 CSV ファイルはヘッダーと本体からなり、本体の属性を直接編集して、アドレス帳の宛先を追加／変更できます。

- ①ヘッダー (P. 920)
- ②本体の属性 (P. 920)

ヘッダー

CSV ファイルのヘッダーには、以下の情報が記述されています。

情報	必須	補足
# Canon AddressBook CSV version: 0x0002	☐	固定値です。
# Charset: SJIS	☐	固定値です。
# dn: fixed	☐ *1	dn をワンタッチ番号として扱うようにすることを示しています。 インポート先がワンタッチ宛先表の場合にのみ、記述します。 ワンタッチ宛先表からエクスポートした場合は、記述されています。
# SubAddressBookName: 宛先表名称	☐	コロン (:) の後ろに半角スペースを空けて、宛先表名称を入力します。 宛先表名称を設定しない場合は、コロンの後ろを空欄（未入力の状態）にします。
# DB Version: 0x010a	☐	固定値です。
# Crypto Version: 2		アドレス帳の CSV ファイルを新規作成する場合は、記述しません。
# Crypto Attribute: pwd		アドレス帳の CSV ファイルを新規作成する場合は、記述しません。

*1 ワンタッチ宛先表の場合のみ

メモ

「Crypto」に関するヘッダーが記述されている場合

- 本体の pwd 属性を編集する場合は、「Crypto」の 2 つのヘッダーを削除します。「Crypto」に関するヘッダーが記述されていると、インポート時にパスワードが正しく復号化されません。
- ※ 「Crypto」に関するヘッダーは、宛先に設定されているパスワードが暗号化されている場合に記述されます。

本体の属性

CSV ファイルの本体には、宛先の情報を示す以下の属性が記述されます。

属性名	必須	説明
objectclass	☐	宛先の種類です。 以下のいずれかを指定します。指定した種類によって、以降の必須属性が異なります。 ● メール：email ● ファクス：g3fax ● I ファクス：ifax

属性名	必須	説明
		● IP ファクス：ipfax ● ファイルの保存先（共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックス）：remotefilesystem ● グループ：groupfid
cn		宛先の名称です。 文字コード SJIS の文字を使用できます。 省略すると、宛先の名称は空欄になります。
cnread		宛先のフリガナです。 アルファベット／数字／半角カタカナを使用できます。 省略すると、フリガナは空欄になります。
cnshort		ワンタッチボタンの名称です。 文字コード SJIS の文字を使用できます。 省略すると、ワンタッチボタンの名称は空欄になります。
subdbid		インポート先の宛先表番号です。 記述不要です。インポート時にリモート UI 上で指定します。
mailaddress	☐ *1	メールアドレスです。 宛先の種類がメールまたは I ファクスの場合に必須です。
dialdata	☐ *1	ファクス番号です。 宛先の種類がファクスの場合に必須です。 宛先の種類が IP ファクスで、URI を使用する場合は、入力不要です。
uri	☐ *1	IP ファクスで使用する URI です。 宛先の種類が IP ファクスで、URI を使用する場合に必須です。 uriflag 属性（URI 使用フラグ）も設定する必要があります。
url	☐ *1	ホスト名または IP アドレスです。 宛先の種類がファイルの保存先の場合に必須です。 アルファベットと記号を使用できます。
path		ファイルの保存先（フォルダー）のパスです。 アルファベットと記号を使用できます。
protocol	☐ *1	送信プロトコルです。 宛先の種類がファイルの保存先の場合に必須です。 以下のいずれかを入力します。 ● SMB の場合：smb ● FTP の場合：ftp ● WebDAV の場合：addonprotocol0225
username	☐ *1	宛先にログインするためのユーザー名です。 宛先の種類がファイルの保存先で、認証が必要な宛先の場合に必須です。
pwd	☐ *1	宛先にログインするためのパスワードです。 宛先の種類がファイルの保存先で、認証が必要な宛先の場合に必須です。
member	☐ *1	グループに登録されている宛先やユーザーボックスです。 宛先の種類がグループの場合に必須です。
indxid	☐	宛先に割り振られる通し番号です。 インポート先により、入力する内容が異なります。 ● ワンタッチ宛先表の場合：必須です。宛先を登録するワンタッチボタンの番号（001～200）を入力します。 ● ワンタッチ宛先表以外の場合：201～1800 で任意の番号を入力します。
enablepartial		メール送信時のデータ分割設定です。

属性名	必須	説明
		- 分割する場合：on - 分割しない場合：off
sub		宛先がファクスの場合のサブアドレスです。 ISDN（G4FAX）のための設定です。
faxprotocol		ファクスのプロトコルです。 以下のいずれかを入力します。 - g3 - ecm - g4
ecm		ファクスの ECM 送信設定です。 - ECM 送信する場合：on - ECM 送信しない場合：off
txstartspeed		ファクスの送信スピードです。 2400/4800/7200/9600/14400/33600 のいずれかを入力します。
commode		ファクスの通信モードです。 以下のいずれかを入力します。 - 国内回線の場合：domestic - 国際回線 1 の場合：international1 - 国際回線 2 の場合：international2 - 国際回線 3 の場合：international3
lineselect		ファクスの回線選択です。 以下のいずれかを入力します。 - 回線 1～4 の場合：line1/line2/line3/line4 - 論理回線（モデムダイヤルイン）1～4 の場合：logicline1/logicline2/logicline3/logicline4 - 自動選択の場合：auto 省略すると、「auto」に設定されます。
uricommode	☐ *1	IP ファクスの通信モードです。 IP ファクスを導入した環境で、宛先の種類がファクスの場合に必須です。 以下のいずれかを入力します。 - G3 の場合：ip_g3 - NGN の場合：ip_ngn - イントラネットの場合：ip_lsv - VoIP ゲートウェイの場合：ip_gw - NGN マイナンバーの場合：ip_ngnmnum
uriflag	☐ *1	IP ファクスの URI 使用フラグです。 宛先の種類が IP ファクスで、URI を使用する場合に必須です。 - URI を使用する場合：TRUE - URI を使用しない場合：FALSE
pwdinputflag		パスワードを毎回入力するかどうかの設定です。 - 入力する場合：on - 入力しない場合：off
ifaxmodel		I ファクスのモード（シンプル／フル）です。 「simple」または「full」を入力します。
transsvcstr1		I ファクスの中継サービス用文字列 1 です。 半角 40 文字以内で入力します。

属性名	必須	説明
transsvcstr2		I ファクスの中継サービス用文字列 2 です。 半角 16 文字以内で入力します。
ifaxdirectmode		I ファクスのダイレクト送信設定です。 - ダイレクト送信する場合：on - ダイレクト送信しない場合：off
documenttype		I ファクスのドキュメントタイプです。 以下のいずれかを入力します。 - カラー送信の場合：cl - 白黒送信の場合：bw
bwpapersize		I ファクスの用紙サイズです。
bwcompressiontype		I ファクスの圧縮フォーマットです。
bwpixeltype		I ファクスの色空間です。
bwbitsperpixel		I ファクスのビット数です。
bwresolution		I ファクスの解像度です。
clpapersize		カラー I ファクスの用紙サイズです。
clcompressiontype		カラー I ファクスの圧縮フォーマットです。 「jpeg」固定です。
clpixeltype		カラー I ファクスの色空間です。 「rgb」固定です。
clbitsperpixel		カラー I ファクスのビット数です。 「8」固定です。
clresolution		カラー I ファクスの解像度です。
accesscode		アクセスコードです。 7 桁以内の半角数字で入力します。
uuid		宛先を一意に識別するための UUID です。 CSV ファイルを新規作成する場合は、入力不要です。
cnreadlang		フリガナの文字コードです。 使用する言語のコードを入力します。日本語（Shift_JIS）の場合は「ja」です。
enablesfp		未使用のため、入力不要です。
memberobjectuuid		個人宛先表／ユーザーグループ宛先表用の属性です。
loginusername		個人宛先表／ユーザーグループ宛先表用の属性です。
logindomainname		個人宛先表／ユーザーグループ宛先表用の属性です。
usergroupname		個人宛先表／ユーザーグループ宛先表用の属性です。
personalid		個人宛先表／ユーザーグループ宛先表用の属性です。

*1 宛先の種類による

一括インポート／エクスポートする

アドレス帳や各種設定の設定内容を、1つのファイルにまとめて一括インポート／エクスポートします。

※一括インポート／エクスポートは、本機と同一シリーズの機種のほか、本機と異なるシリーズの機種（一括インポート対応機種）で利用できます。

🔗 [一括エクスポートする \(P. 924\)](#)

🔗 [一括インポートする \(P. 925\)](#)

重要

- インポート／エクスポート時の注意事項については、以下を参照してください。

🔗 [インポート／エクスポート時の注意事項 \(P. 914\)](#)

一括エクスポートする

ここでは、パソコンからリモート UI を使用してエクスポートする方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  [設定/登録] ▶ [管理設定] からエクスポートします。操作パネルからエクスポートする場合は、USB メモリーを使用します。🔗 [\[USB メモリーへのエクスポート\] \(P. 1171\)](#)
Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする 🔗 [リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする 🔗 [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [データ管理] ▶ [エクスポート] をクリックする
→ [エクスポート] 画面が表示されます。
- 4 [エクスポートする項目の選択] で、[すべて選択] にチェックマークを付ける
エクスポートしない項目のチェックマークを外し、指定した項目のみをエクスポート対象にすることもできます。
※ [設定/登録] メニューの各項目が、[エクスポートする項目の選択] の項目のどれに属するかについては、一覧を参照してください。🔗 [配信／インポート／エクスポートできる設定項目 \(P. 1257\)](#)
- 5 [暗号化パスワード] で、パスワードを設定する
 - [暗号化パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。
 - パスワードは、エクスポートしたデータをインポートするときに必要となります。
- 6 [セキュリティレベル] で、[レベル 2] を選択する
インポート先の複合機が [セキュリティレベル] に対応していない場合は、[レベル 1] を選択します。

7 [エクスポート開始] ▶ [OK] をクリックする

→ [エクスポートを開始しました。] というメッセージが表示されます。

※メッセージが表示されるまでは、リモート UI を操作せずにしばらく待ちます。表示に時間がかかる場合でも、[エクスポート開始] は再度クリックしないでください。

8 [状況確認] をクリックする

→ [インポート/エクスポート結果] 画面が表示されます。

[エクスポート中のため現在使用できません。] と表示された場合
リモート UI を操作せずにしばらく待ってから、再度 [状況確認] をクリックします。

9 [ダウンロード開始] をクリックし、エクスポートしたファイルをパソコンに保存する

10 リモート UI からログアウトする

一括インポートする

一括エクスポートで書き出されたファイルをインポートします。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用してインポートする方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの [ 設定/登録] ▶ [管理設定] からインポートします。操作パネルからインポートする場合は、USB メモリーを使用します。▶ **[USB メモリーからのインポート] (P. 1171)**

Administrator 権限が必要です。インポートする項目によっては、本機の再起動が必要となります。

重要

インポートするファイルや内容を必ず確認する

- インポートを実行する前に、インポートするファイルや、その設定内容が正しいかどうかを必ず確認してください。
- インポートを実行すると、アドレス帳や各種設定が上書きされます。設定内容によっては、本機が正常に動作しなくなったり、運用に支障をきたしたりするおそれがあります。
- 特に部門別 ID 管理設定をインポートする場合は、インポートする設定内容に含まれる管理者情報を、あらかじめ確認しておいてください。インポートを実行すると管理者情報が上書きされるため、今まで使用していたシステム管理部門 ID と暗証番号ではログインできなくなる場合があります。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 887)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶ リモート UI のポータル画面 (P. 890)

3 [データ管理] ▶ [インポート] をクリックする

→ [インポート] 画面が表示されます。

4 インポートの設定をする

[ファイルのパス]

[ファイルの選択] をクリックし、インポートするファイルを指定します。

[復号化パスワード]

エクスポート時に設定したパスワードを入力します。

[インポート結果のレポートを作成する]

インポートの実行時にインポート結果のレポートを作成する場合は、チェックマークを付けます。作成したレポートは、CSV ファイルでパソコンに保存したり、本機でプリントしたりできます。

- 次に一括インポートが実行されると、作成済みのレポートファイルは削除されます。
- レポートは、インポート直後の本機の表示言語が日本語の場合は日本語、日本語以外の場合は英語で作成されます。

5 [インポート開始] ▶ [OK] をクリックする

→インポートが開始されます。

6 しばらく待ってから [OK] をクリックし、画面の表示を確認する

残り時間の画面が表示された場合

表示された残り時間を目安に待ってから、[状況確認] をクリックし、画面の表示を再確認します。

[インポート/エクスポート結果] 画面が表示された場合

インポートは完了です。

[インポート/エクスポート結果] 画面で、インポート結果を確認します。

※手順 4 で [インポート結果のレポートを作成する] にチェックマークを付けた場合は、[レポート作成] をクリックすると、インポート結果のレポートを CSV ファイルでパソコンに保存できます。

操作パネルを使用してレポートをプリントすることもできます。▶ [\[インポート結果レポート\] \(P. 1172\)](#)

本機の再起動を促す画面が表示された場合

インポートは完了です。

[再起動実行] をクリックして、本機を再起動します。

※設定の反映には本機の再起動が必要です。また、再起動するまでリモート UI は使用できません。

インポート結果を確認する

本機の再起動後に、以下の手順でインポート結果を確認できます。

確認するには、Administrator 権限が必要です。

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [データ管理] ▶ [インポート/エクスポート結果]

※手順 4 で [インポート結果のレポートを作成する] にチェックマークを付けた場合は、[レポート作成] をクリックすると、インポート結果のレポートを CSV ファイルでパソコンに保存できます。

操作パネルを使用してレポートをプリントすることもできます。▶ [\[インポート結果レポート\] \(P. 1172\)](#)

7

リモート UI からログアウトする

アップデート／拡張

EJ83-0JH

機能の追加やバージョンアップが行われると、ファームウェアが更新されます。ファームウェアが更新されたときは、本機のファームウェアをアップデートします。

④ **ファームウェアをアップデートする (P. 929)**

システムオプションや MEAP アプリケーションを本機にインストールすることで、使用できる機能を追加したり、本機の性能をさらに高めたりすることができます。

④ **システムオプションをインストールする (P. 932)**

④ **機能を拡張する - MEAP (P. 935)**

ファームウェアをアップデートする

EJ83-0JJ

機能の追加やバージョンアップが行われると、ファームウェアが更新されます。
ファームウェアのバージョンを確認し、ファームウェアのアップデート設定をします。

- ④ファームウェアのバージョンを確認する (P. 929)
- ④ファームウェアの更新時に自動アップデートする (P. 930)

重要

ファームウェアのアップデートについて

- 詳細については、販売店または担当サービスにお問い合わせください。
- リモート UI の [設定/登録] に [手動アップデート] が表示されていますが、ご利用になれません。

アップデート時の注意事項

- 本機は何度か再起動を行います。
- アップデート中は、以下のことは行わないでください。重大なエラーが発生する場合があります。
 - 電源を切る
 - LAN ケーブルを抜く
 - 他のパソコンやアプリケーションから本機に通信をする（プリントなど）
- ジョブが残っている場合は、アップデート処理が中断されます。

メモ

- ファームウェアのアップデートで問題が発生したときなどに備えて、本機に保存されている各種設定をバックアップしておきます。

- ④アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする (P. 913)

ファームウェアのバージョンを確認する

アップデートの前後でバージョンを確認することで、ファームウェアが正しくアップデートされたかどうかを確認できます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して確認する方法を説明します。
操作パネルでは、[カウンター/機器情報] ▶ [機器情報/その他] ▶ [デバイス構成確認] で確認します。

- 1 リモート UI にログインする ④リモート UI を起動する (P. 887)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[状況確認/中止] をクリックする ④リモート UI のポータル画面 (P. 890)
- 3 [デバイス情報] をクリックする
→ [デバイス情報] 画面が表示されます。

4 [バージョン情報] の [コントローラー] に表示されているバージョンを確認する



ファームウェアの更新時に自動アップデートする

ファームウェアの配信サーバーにアクセスして、ファームウェアが更新されていないかを定期的に確認するように設定します。ファームウェアが更新されていた場合は、自動的にダウンロードし、アップデートが実行されます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの  **設定/登録** ▶ **管理設定** から設定します。  **[ソフトウェアの登録/更新]** (P. 1167)

Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする  **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、**設定/登録** をクリックする  **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 **[ライセンス/その他]** ▶ **[ソフトウェアの登録/更新]** ▶ **[定期アップデート設定]** をクリックする
→ **[定期アップデート設定]** 画面が表示されます。
- 4 **[編集...]** をクリックする
→ 自動アップデートの設定画面が表示されます。
- 5 **[定期アップデートの設定を有効にする]** にチェックマークを付ける
- 6 更新の確認時刻と実行時刻を設定する

[確認時間]

ファームウェアが更新されていないかを確認する間隔（[隔週] または [毎週]）を選択し、確認する曜日と時刻を選択します。時刻は 24 時間形式で表示されます。

- ファームウェアが更新されていた場合は、自動的にダウンロードが開始されます。
- 更新確認およびダウンロードが完了するまでに3時間程度かかる場合があります。

[適用時間]

ファームウェアのアップデートを実行する時刻を選択します。

- ファームウェアのダウンロードが完了していない場合は、アップデートは実行されません。翌日の指定した時刻に実行されます。
- アップデートが完了すると、本機は自動的に再起動します。

7 必要に応じて、通知メールの設定をする

配信サーバーから更新状態に関するメールを受け取る場合は、通知メールの設定をします。

[メール]

通知先とするメールアドレスを入力します。

[コメント]

通知メールに付加するコメントを入力します。たとえば、機種名を入力しておくと、どの機種の通知メールかを識別できます。

8 [設定] ▶ [はいいいえ] をクリックする

→ 自動アップデートが設定されます。

9 リモート UI からログアウトする

メモ

- 過去にダウンロードしたファームウェアのアップデートが実行されていない場合は、次の自動アップデートは行われません。

システムオプションをインストールする

EJ83-0JK

本機をネットワークに接続している場合は、配信サーバーと通信してシステムオプションをインストールします。
本機をネットワークに接続できない場合や、何らかの理由で配信サーバーと通信できない場合は、オフラインでシステムオプションをインストールすることもできます。

④ 配信サーバーと通信してインストールする (P. 932)

④ オフラインでインストールする (P. 933)

重要

- プリンター機能の拡張キットをインストールした場合は、電源スイッチを使用して本機を再起動し、プリンター設定を初期化する必要があります。
 - ➡ 再起動する (P. 148)
 - ➡ [プリンター設定初期化] (P. 1190)

メモ

- MEAP アプリケーションをインストールする場合は、システムオプションとは異なる方法でインストールします。 ➡ **MEAP アプリケーションをインストールする (P. 936)**

配信サーバーと通信してインストールする

ここでは、パソコンからリモート UI を使用してインストールする方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの [ 設定/登録] ▶ [管理設定] からインストールします。 ➡ **[ソフトウェアの登録/更新] (P. 1167)**

Administrator 権限が必要です。インストール内容の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- ライセンスアクセス番号証書に記載されている「ライセンスアクセス番号」を手元に用意します。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**

3 通信テストをする

配信サーバーと通信できるかどうかを確認します。

- [ライセンス/その他] ▶ [ソフトウェアの登録/更新] ▶ [ログ表示/通信テスト] をクリックする
➡ [ログ表示/通信テスト] 画面が表示されます。
- [通信テスト] ▶ [はいいいえ] をクリックする
➡ 通信テストの結果が表示されます。

エラーメッセージが表示された場合

メッセージの指示に従って対処します。

※本機をネットワークに接続できない場合や、何らかの理由で配信サーバーと通信できない場合は、オフラインでインストールします。🔗[オフラインでインストールする \(P. 933\)](#)

3. [戻る] を押す

→ [ログ表示/通信テスト] 画面に戻ります。

4 [配信インストール] をクリックする



5 [ライセンスアクセス番号] に、ライセンスアクセス番号を入力する

6 入力した番号を確認し、[次へ>] をクリックする

7 インストールするオプションにチェックマークを付ける

8 [インストール開始キャンセル] をクリックする

→インストールが完了すると、インストール結果が表示されます。

使用許諾の画面が表示された場合は内容を確認し、[同意します] をクリックします。

9 [再起動後有効] をクリックし、本機を再起動する 🔗[再起動する \(P. 148\)](#)

→本機が再起動し、インストール内容が反映されます。

オフラインでインストールする

ネットワークに接続しているパソコンで「ライセンスキー」を取得し、それを操作パネルで入力して、システムオプションをインストールします。

ライセンスキーを操作パネルで入力してインストールするには、Administrator 権限が必要です。インストール内容の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- ライセンスアクセス番号証書に記載されている「ライセンスアクセス番号」を手元に用意します。
- 本機のシリアルナンバーを手元に用意します。

シリアルナンバーは、操作パネルの〔カウンター/機器情報〕を押すと、画面左下に表示されます。
※リモート UI のポータル画面で確認することもできます。▶ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**

1 パソコンでライセンスキーを取得する

- パソコンの Web ブラウザーで、以下の URL にアクセスし、画面の指示に従って、ライセンスアクセス番号とシリアルナンバーを入力します。

<http://www.canon.com/lms/license/>

- 取得したライセンスキーは、手元に用意しておきます。

2 管理者ユーザーで本機にログインする ▶ **ログイン方法 (P. 191)**

3 操作パネルの〔ホーム〕画面などで、[設定/登録] を押す ▶ **〔ホーム〕画面 (P. 156)**

→〔設定/登録〕画面が表示されます。

4 [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ▶ [ライセンス登録] を押す

→[ライセンス登録] 画面が表示されます。

5 取得したライセンスキーを入力する

6 [実行] ▶ [OK] を押す

7 [設定/登録] ▶ [はい] を押す

→本機が再起動し、インストール内容が反映されます。

機能を拡張する - MEAP

EJ83-0JL



MEAP (Multifunctional Embedded Application Platform) とは、専用の MEAP アプリケーションを本機にインストールすることで、さまざまな機能を拡張／最適化する仕組みのことです。たとえば、IC カードによるユーザー管理や、出力管理ソフトウェアとの連携などが、MEAP によって可能となります。

MEAP アプリケーションのインストールや管理は、SMS (Service Management Service) を使用して行います。SMS は、パソコンの Web ブラウザーからリモート UI にログインして使用します。

- ➡ MEAP アプリケーションをインストールする (P. 936)
- ➡ MEAP アプリケーションやライセンスファイルを管理する (P. 938)
- ➡ SMS の画面 (P. 943)

※MEAP 機能の TLS 設定にかかわらず、SMS は常に TLS 暗号化通信を行います。そのため、SMS を使用するには、あらかじめ TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書の設定が必要です。➡ **Step 1 : TLS の設定をする (P. 777)**

SMS では、本機の認証アプリケーション (ログインサービス) を User Authentication から DepartmentID Authentication に変更することもできます。

- ➡ **ユーザー認証のログインサービスを変更する (P. 946)**

重要

- SMS の使用中は、Web ブラウザーの [←] (戻るボタン) を使用しないでください。正しく動作しないことがあります。
- SMS を使用したあとは、必ずリモート UI からログアウトしてから Web ブラウザーを閉じてください。ログアウトせずに Web ブラウザーを閉じると、しばらくのあいだ SMS が使用できなくなります。

メモ

- 同時に SMS を使用できるのは 1 ユーザーのみです。複数のユーザーが同時に使用することはできません。

MEAP アプリケーションをインストールする

EJ83-0JR

MEAP アプリケーションのインストールに必要なライセンスファイルを取得してから、SMS を使用してアプリケーションをインストールします。

※MEAP アプリケーションのパッケージにライセンスアクセス番号が記載されていない場合は、ライセンスファイルの取得は不要です。ライセンスファイルは、アプリケーションの販売元から提供されます。詳しくは、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

🔗Step 1：ライセンスファイルを取得する (P. 936)

🔗Step 2：MEAP アプリケーションをインストールする (P. 937)

メモ

- 本機にインストールできる MEAP アプリケーションは最大 19 個です。アプリケーションが使用できるストレージの領域は最大約 1.3 GB です。
インストールしたアプリケーション数やストレージの使用量は、SMS で確認できます。🔗SMS の画面 (P. 943)
- MEAP アプリケーションによっては、インストールに特定の条件を必要とする場合があります。詳しくは、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

Step 1：ライセンスファイルを取得する

必要な準備

- MEAP アプリケーションのパッケージに記載されているライセンスアクセス番号を手元に用意します。
- 本機のシリアルナンバーを手元に用意します。

シリアルナンバーは、操作パネルの「カウンター/機器情報」を押すと、画面左下に表示されます。

※リモート UI のポータル画面や SMS の画面で確認することもできます。

🔗リモート UI のポータル画面 (P. 890)

🔗SMS の画面 (P. 943)

パソコンの Web ブラウザーで、以下の URL にアクセスし、画面の指示に従ってライセンスファイルを取得します。

<http://www.canon.com/lms/license/>



ライセンスファイルの取得が完了したら、MEAP アプリケーションをインストールします。

Step 2：MEAP アプリケーションをインストールする

MEAP アプリケーションは、パソコンから SMS を使用してインストールします。操作パネルを使用してインストールすることはできません。

Administrator 権限が必要です。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする [▶ リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[Service Management Service] をクリックする [▶ リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [MEAP アプリケーションのインストール] をクリックする
→ [MEAP アプリケーション/ライセンスのインストール] 画面が表示されます。
- 4 [ファイルの選択] をクリックし、インストールするファイルを指定する
アプリケーションファイルとライセンスファイルの両方を指定します。
 - 拡張子が「.jar」のファイルが、アプリケーションファイルです。
 - 拡張子が「.lic」のファイルが、ライセンスファイルです。
- 5 [インストール後の処理:] を設定する
インストール完了後、MEAP アプリケーションの使用を自動的に開始するかどうかを選択します。
※ [インストールのみ] を選択した場合、アプリケーションを使用するには、手動でアプリケーションの使用を開始する必要があります。 [▶ MEAP アプリケーションを管理する \(P. 938\)](#)
- 6 [インストール] ▶ [はい] をクリックする
- 7 使用許諾の画面が表示された場合は、内容を確認し、[同意します] をクリックする
→ インストールが開始されます。
インストールが完了すると、[MEAP アプリケーション管理] 画面の MEAP アプリケーションの一覧に、インストールしたアプリケーションが追加されます。 [▶ \[MEAP アプリケーション管理\] 画面 \(P. 944\)](#)
- 8 リモート UI からログアウトする

メモ

- MEAP アプリケーションによっては、以下の URL からマニュアルや関連ソフトウェアをダウンロードできます。
<http://canon.com/fau/downloads>
- MEAP アプリケーションをバージョンアップする場合は、SMS でアプリケーションの使用をいったん停止してから、インストールと同じ手順で行います。 [▶ MEAP アプリケーションを管理する \(P. 938\)](#)
- MEAP アプリケーションのインストール中に、SMS にエラーメッセージが表示された場合は、エラーメッセージの指示に従って対処します。

MEAP アプリケーションやライセンスファイルを管理する

本機にインストールした MEAP アプリケーションは、SMS を使用して管理します。ライセンスファイルの追加や削除など、ライセンスファイルのみを管理することもできます。

- ➡ MEAP アプリケーションを管理する (P. 938)
- ➡ ライセンスファイルを管理する (P. 940)

MEAP アプリケーションを管理する

MEAP アプリケーションの使用を開始／停止したり、アンインストールしたりできます。アプリケーションの認証情報を設定することもできます。

MEAP アプリケーションは、パソコンから SMS を使用して管理します。操作パネルを使用して管理することはできません。Administrator 権限が必要です。管理内容によっては、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- MEAP アプリケーションをアンインストールする場合は、ライセンスファイルを削除します。➡ **ライセンスファイルを管理する (P. 940)**

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする ➡ **リモート UI を起動する (P. 887)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[Service Management Service] をクリックする ➡ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
→ [MEAP アプリケーション管理] 画面が表示されます。
- 3 MEAP アプリケーションを管理する
[MEAP アプリケーション管理] 画面では、MEAP アプリケーションの詳細情報や、ストレージの使用量などを確認することもできます。 ➡ **[MEAP アプリケーション管理] 画面 (P. 944)**

MEAP アプリケーションの使用を開始／停止する場合

1. 開始／停止する MEAP アプリケーションの [開始] ／ [停止] をクリックする

MEAPアプリケーション管理

更新日時: 2015 11/11 9:41:34 ↺

アプリケーション名	更新日時	状態		ライセンス
ConfigSample	2015 11/11 9:36:43	開始	停止	アンインストール 不要
BasicApplet-Service	2015 11/11 9:36:29	開始	停止	アンインストール 不要
AuthenticationTest	2015 11/11 9:34:28	停止	開始	アンインストール 不要
Bundle	2015 11/11 9:33:03	停止	開始	アンインストール インストール済み

→ MEAP アプリケーションの使用が開始／停止されます。

2. 必要に応じて、本機を再起動する [再起動する \(P. 148\)](#)

[MEAP アプリケーション管理] 画面の上部に、再起動を促すメッセージが表示された場合は、本機を再起動します。

MEAP アプリケーションをアンインストールする場合

1. アンインストールする MEAP アプリケーションの [アンインストール] をクリックする

MEAPアプリケーション管理

更新日時: 2015 11/11 9:41:34 ↺

アプリケーション名	更新日時	状態		ライセンス
ConfigSample	2015 11/11 9:36:43	開始	停止	アンインストール 不要
BasicApplet-Service	2015 11/11 9:36:29	開始	停止	アンインストール 不要
AuthenticationTest	2015 11/11 9:34:28	停止	開始	アンインストール 不要
Bundle	2015 11/11 9:33:03	停止	開始	アンインストール インストール済み

2. [はい] をクリックする

→ MEAP アプリケーションがアンインストールされます。

[[OK] をクリックすると、アプリケーションをアンインストールします。このアプリケーションのエクスポートパッケージは使用できなくなります。] というメッセージが表示された場合、アンインストールしようとしている MEAP アプリケーションが他のアプリケーションと連携しています。このアプリケーションをアンインストールすると、他のアプリケーションが使用できなくなる場合があります。

アンインストールを実行する場合は、[OK] をクリックします。

3. 必要に応じて、本機を再起動する [再起動する \(P. 148\)](#)

[MEAP アプリケーション管理] 画面の上部に、再起動を促すメッセージが表示された場合は、本機を再起動します。

MEAP アプリケーションの認証情報を設定する場合

MEAP アプリケーションによっては、認証情報を設定する必要があります。

1. 認証情報を設定するアプリケーション名をクリックする



→ [アプリケーション/ライセンス情報] 画面が表示されます。

2. [認証情報の設定] をクリックする

→ [認証情報の設定] 画面が表示されます。

3. ユーザー名とパスワードを入力し、ログイン先を選択する



[削除] ▶ [はい] をクリックすると、認証情報を解除できます。

4. [更新] をクリックする

→ [認証情報が設定されました。部門 ID : <ID>] というメッセージが表示され、設定が反映されます。

4 リモート UI からログアウトする

メモ

- 操作中にエラーメッセージが表示された場合は、エラーメッセージの指示に従って対処します。
- 認証アプリケーション（ログインサービス）を変更した場合は、認証情報の再入力が必要になることがあります。その場合は、[認証情報の設定] 画面で認証情報を確認します。

ライセンスファイルを管理する

インストール時に取得したライセンスファイルの有効期限が切れたり、プリントやスキャンできる回数を超えたりした場合は、ライセンスファイルを追加することで、引き続き MEAP アプリケーションを使用できるようになります。また、MEAP アプリケーションをアンインストールする場合は、あらかじめライセンスファイルを削除しておく必要があります。

ライセンスファイルは、パソコンから SMS を使用して管理します。操作パネルを使用して管理することはできません。

Administrator 権限が必要です。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする [▶ リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)

2 リモート UI のポータル画面で、[Service Management Service] をクリックする [▶ リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

→ [MEAP アプリケーション管理] 画面が表示されます。

3 ライセンスファイルを追加／削除するアプリケーション名をクリックする



MEAPアプリケーション管理

更新日時 : 2015 11/11 9:41:34 ↺

アプリケーション名	更新日時	状態	ライセンス
ConfigSample	2015 11/11 9:36:43	開始 停止	アンインストール 不要
BasicApplet-Service	2015 11/11 9:36:29	開始 停止	アンインストール 不要
AuthenticationTest	2015 11/11 9:34:28	停止 開始	アンインストール 不要
Bundle	2015 11/11 9:33:03	停止 開始	アンインストール インストール済み

→ [アプリケーション/ライセンス情報] 画面が表示されます。

4 [ライセンス情報] の [ライセンス管理] をクリックする

→ [ライセンス管理] 画面が表示されます。

5 ライセンスファイルを追加／削除する

ライセンスファイルを追加する場合

1. [ライセンスのインストール] で、[ファイルの選択] をクリックし、追加するファイルを指定して [開く] をクリックする
2. [インストール] ▶ [はい] をクリックする
→ ライセンスファイルが追加されます。
3. 必要に応じて、MEAP アプリケーションを再起動する
ライセンスファイルを追加してもライセンスの状態が変わらない場合は、MEAP アプリケーションをいったん停止してから、開始しなおします。 [▶ MEAP アプリケーションを管理する \(P. 938\)](#)

ライセンスファイルを削除する場合

1. [ライセンスの無効化] の [無効化] をクリックし、[はい] をクリックする
→ ライセンスファイルが無効になります。
2. [無効ライセンスファイルのダウンロード/削除] の [ダウンロード] をクリックし、ライセンスファイルをパソコンに保存する
ライセンスファイルをパソコンに保存しておく、ライセンスファイルを削除したあとも、必要に応じて再度インストールすることができます。
※削除したライセンスファイルは、本機から再びダウンロードすることはできません。

3. [無効ライセンスファイルのダウンロード/削除] の [削除] をクリックし、[はい] をクリックする

→ ライセンスファイルが削除されます。

6 リモート UI からログアウトする

メモ

ライセンスファイルの有効期限を確認する

- [アプリケーション/ライセンス情報] 画面の [ライセンス情報] で確認できます。
- ライセンスファイルの有効期限がまもなく切れる MEAP アプリケーションがあるときは、操作パネルの [ホーム] 画面に表示される [ライセンス確認] を押して確認することもできます。

SMS の画面

EJ83-0JU

リモート UI に Administrator 権限を持つ管理者ユーザーでログインし、[Service Management Service] をクリックすると、SMS の画面が表示されます。

この画面では、MEAP アプリケーションのインストールや管理をしたり、MEAP のシステムを管理したりできます。



[デバイスシリアル No. : <Serial Number>]

本機のシリアルナンバーが表示されます。

[MEAP アプリケーション管理]

インストールされている MEAP アプリケーションを管理することができます。 ➡ [MEAP アプリケーション管理] 画面 (P. 944)

[MEAP アプリケーションのインストール]

MEAP アプリケーションのインストールやバージョンアップを行うことができます。 ➡ Step 2: MEAP アプリケーションをインストールする (P. 937)

[システム管理]

項目をクリックすると、MEAP のシステムに関連する情報／管理画面が表示されます。

[拡張システムアプリケーション管理]

拡張可能なシステムアプリケーションをインストール／アンインストールしたり、管理したりできます。

[システムアプリケーション管理]

インストールされているシステムアプリケーションの使用を開始／停止することができます。

[システム情報]

システムアプリケーションのバージョンや稼働状態を確認できます。

[MEAP アプリケーション情報]

現在インストールされているアプリケーション（システムアプリケーションを除く）と、アンインストールされたアプリケーションの一覧を確認できます。

[ライセンス確認]

インストールする前のライセンスファイルの詳細情報を確認できます。

[パスワードの変更]

SMS 専用のログインパスワードを変更できます。

- 通常は変更する必要はありません。
おもにログインサービスに DepartmentID Authentication を使用する場合に操作する項目です。
- 変更する場合、パスワードは 8 文字 ～ 32 文字の半角英数字で入力します。

[MEAP アプリケーションの設定情報管理]

MEAP アプリケーションの設定に関する情報を確認／削除できます。

[MEAP アプリケーションのログ管理]

MEAP アプリケーションの使用履歴などのログをダウンロード／削除できます。

[<< ソフトウェアの登録/更新]

システムオプションをインストールできます。 [🔗 システムオプションをインストールする \(P. 932\)](#)

[MEAP アプリケーション管理] 画面

MEAPアプリケーション管理

MEAPアプリケーション管理

更新日時 : 2015 11/11 9:36:46 ↻

アプリケーション名	更新日時	状態	ライセンス
ConfigSample	2015 11/11 9:36:43	開始	停止 アンインストール 不要
BasicApplet-Service	2015 11/11 9:36:29	開始	停止 アンインストール 不要
AuthenticationTest	2015 11/11 9:34:28	開始	停止 アンインストール 不要
Bundle	2015 11/11 9:33:03	開始	停止 アンインストール インストール済み

⌵

資源情報

リソース名	使用量	残量	使用率
ストレージ	15750 KB	4178554 KB	0%
メモリー	2393 KB	279207 KB	1%
スレッド	10	441	2%
ソケット	1	343	0%
ファイル記述子	13	328	4%

⌵

MEAP アプリケーションの一覧

インストールされている MEAP アプリケーションが一覧で表示され、アプリケーションとそのライセンスの状態を確認できます。

アプリケーションの使用を開始／停止したり、アンインストールしたりすることもできます。 [🔗 MEAP アプリケーションを管理する \(P. 938\)](#)

[アプリケーション名]

MEAP アプリケーションの名前が表示されます。

各アプリケーション名をクリックすると、アプリケーションの詳細情報を確認したり、ライセンスファイルを管理したりできます。 [🔗 ライセンスファイルを管理する \(P. 940\)](#)

[状態]

MEAP アプリケーションの状態が表示されます。

- [インストール済み]：インストールされているが、使用できる状態になっていない^{*1}
- [開始]：使用できる状態
- [停止]：使用できない状態
- [開始中]：使用できる状態に切り替え中
- [停止中]：使用できない状態に切り替え中

^{*1} MEAP アプリケーションの使用を停止し、本機を再起動した場合も、[インストール済み] と表示されます。

[ライセンス]

ライセンスの状態が表示されます。

MEAP アプリケーションによっては、ライセンスファイルに有効期限が設定されていたり、プリントやスキャンできる回数（カウンター）の上限が決められていたりします。

- [インストール済み]：有効なライセンスファイルがインストールされている
- [未インストール]：ライセンスファイルがインストールされていない、または無効になっている
- [超過]：一部のカウンターが上限を超えている^{*1}
- [失効]：ライセンスファイルの有効期限が切れている、またはすべてのカウンターが上限を超えている^{*1}
- [不要]：ライセンスファイルが不要

^{*1} ライセンスファイルを追加することで、有効期限を延長したり、カウンターの上限を増やしたりできます。🔗[ライセンスファイルを管理する \(P. 940\)](#)

[資源情報]

アプリケーション全体^{*1} で使用しているストレージなどの使用量／残量／使用率を確認できます。

^{*1} インストールされているすべての MEAP アプリケーションとシステムアプリケーションの合計

ユーザー認証のログインサービスを変更する

EJ83-0JW

ユーザー認証を行うためのアプリケーションを「ログインサービス」といいます。本機はログインサービスに User Authentication を使用していますが、これを DepartmentID Authentication に変更して運用することもできます。

ログインサービスは、パソコンから SMS を使用して変更します。操作パネルを使用して変更することはできません。Administrator 権限が必要です。変更の反映には、本機の再起動が必要となります。

- 1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする [▶ リモート UI を起動する \(P. 887\)](#)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[Service Management Service] をクリックする [▶ リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 3 [システムアプリケーション管理] をクリックする
→ [システムアプリケーション管理] 画面が表示されます。
- 4 [SMS Installer Service (Password Authentication)] の [開始] をクリックする
→ 状態が [開始] になります。
- 5 [拡張システムアプリケーション管理] をクリックする
→ [拡張システムアプリケーション管理] 画面が表示されます。
- 6 [ログインサービス] で、[DepartmentID Authentication] の [切替] をクリックする
→ 状態が [再起動後開始] になります。
- 7 本機を再起動する [▶ 再起動する \(P. 148\)](#)
→ ログインサービスが変更されます。

メモ

ログインサービスを User Authentication に戻す

- [拡張システムアプリケーション管理] 画面の [ログインサービス] で、[User Authentication] の [切替] をクリックし、本機を再起動します。
SMS Installer Service (Password Authentication) を使用しない場合は、本機を再起動したあとに、[システムアプリケーション管理] 画面で、[SMS Installer Service (Password Authentication)] の [停止] をクリックします。

DepartmentID Authentication 使用時の設定／操作

EJ83-0JX

ログインサービスに DepartmentID Authentication を使用する場合は、本機の設定やログイン方法を説明します。

- ④ 部門別 ID 管理の設定 (P. 947)
- ④ ログイン方法 (P. 948)
- ④ SMS の使用 (P. 948)

部門別 ID 管理の設定

部門別 ID 管理とは、本機を使用するユーザーまたはグループに「部門 ID」を割り当てて管理する機能です。

- ④ 部門別 ID 管理でできること (P. 728)
- ④ 部門 ID (P. 728)

DepartmentID Authentication で部門別 ID 管理を利用する場合は、以下の流れで設定します。

Step 1

部門別 ID 管理の準備をします。

- ④ 管理者用の部門 ID／暗証番号を変更する (P. 730)
- ④ 部門 ID を登録する (P. 732)



Step 2

部門別 ID 管理を開始します。

- ④ 部門別 ID 管理を有効にする (P. 737)



Step 3

部門 ID が不明なユーザーからの操作を制限した場合は、本機を使用する各パソコンに部門 ID／暗証番号を設定します。

- ④ パソコンにユーザー管理情報を設定する (P. 741)



Step 4

部門別 ID 管理を運用します。

- ④ 部門 ID ごとの使用状況を確認する (P. 739)

メモ

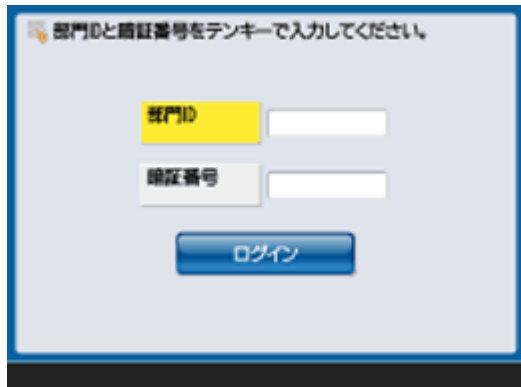
ログインサービスを User Authentication に戻して部門別 ID 管理を利用する場合

- DepartmentID Authentication の部門別 ID 管理を無効にしてから、ログインサービスを User Authentication に戻します。その後、ユーザーに部門 ID を設定してから、User Authentication の部門別 ID 管理を有効にします。
 - ④ ユーザーに部門 ID を設定する (P. 733)
 - ④ 部門別 ID 管理を有効にする (P. 737)

ログイン方法

部門別 ID 管理を行っている場合は、操作パネルやリモート UI を使用するとき、部門 ID と暗証番号を入力してログインする必要があります。

操作パネルのログイン画面



リモート UI のログイン画面



※システム管理部門 ID が設定されていない場合は、すべてのログインユーザーが、管理者権限を持つユーザーとなります。

メモ

部門別 ID 管理を行っていない場合

- 操作パネルを使用するときは、一般ユーザーはログイン不要です。
管理者権限が必要な操作をする場合にのみ、[ホーム] 画面などの [⚙️ 設定/登録] から [ログイン] を押し、システム管理部門 ID と暗証番号を入力してログインします。
- リモート UI を使用するとき、一般ユーザーは [一般ユーザーログイン] をクリックしてログインします。
管理者ユーザーでログインする場合は、システム管理部門 ID と暗証番号を入力し、[管理者ログイン] をクリックしてログインします。

SMS の使用

SMS を使用する場合は、リモート UI にシステム管理部門 ID でログインし、[Service Management Service] をクリックして、SMS 専用のログインパスワードを入力します。

本機はセキュリティ対策のため、初期設定のパスワードでは SMS にログインすることができません。一時的に初期設定のパスワードで SMS にログインできるようにし、パスワードを変更する必要があります。

- ① 初期設定のパスワードの使用を許可する (P. 948)
- ② SMS にログインしてパスワードを変更する (P. 949)

初期設定のパスワードの使用を許可する

一時的に初期設定のパスワードが使用できるように設定します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。

操作パネルでは、[ホーム] 画面などの [ 設定/登録] ▶ [セキュリティ設定] から設定します。▶ [リモートアクセス時にデフォルトパスワードの使用を許可] (P. 1179)

管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

- 1 リモート UI にシステム管理部門 ID でログインする ▶ **ログイン方法 (P. 948)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
- 3 [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] をクリックする
→ [認証/パスワード設定] 画面が表示されます。
- 4 [パスワード設定] の [編集] をクリックする
→ [パスワード設定] 画面が表示されます。
- 5 [パスワードの運用設定] で、[リモートアクセス時にデフォルトパスワードの使用を許可する] にチェックマークを付ける
- 6 [OK] をクリックする
- 7 本機を再起動する ▶ **再起動する (P. 148)**
→ 設定が反映されます。

SMS にログインしてパスワードを変更する

これらの操作は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して操作することはできません。

管理者権限が必要です。パスワードの変更後は、初期設定のパスワードではログインできないように設定を戻します。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

- 1 リモート UI にシステム管理部門 ID でログインする ▶ **ログイン方法 (P. 948)**
- 2 リモート UI のポータル画面で、[Service Management Service] をクリックする ▶ **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**
→ SMS のログイン画面が表示されます。
- 3 初期設定のパスワード「MeapSmsLogin」を入力し、[ログイン] をクリックする
→ パスワード変更の画面が表示されます。
- 4 画面の指示に従って、パスワードを変更する

SMS 専用のログインパスワードは、SMS の [システム管理] の [パスワードの変更] で変更することもできます。

➡SMS の画面 (P. 943)

5

パスワードを変更したら、[ポータルへ] をクリックする

→SMS からログアウトして、リモート UI のポータル画面に戻ります。

6

初期設定のパスワードではログインできないように設定を戻す ➡初期設定のパスワードの使用を許可する (P. 948)

セキュリティのレベルを戻すために、[リモートアクセス時にデフォルトパスワードの使用を許可する] のチェックマークを外します。

7

本機を再起動する ➡再起動する (P. 148)

→設定が反映されます。

重要

- 変更したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れた場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

設定／データを初期化する

EJ83-0JY

設定内容や登録したデータなどを初期化して、本機を工場出荷時の状態に戻します。指定した設定やデータのみを初期化する方法と、すべての設定とデータを初期化する方法があります。

特定の設定／データの初期化

管理者ユーザーのパスワードや、各機能の初期設定、本機の保存スペースの設定／データなどは、個別に初期化することができます。

➡特定の設定／データを初期化する (P. 951)

すべての設定／データの初期化

すべての設定を工場出荷時の状態に戻し、履歴も含めて保存されているすべてのデータを消去します。本機を交換するときや廃棄するときは、機密情報の流出や不正使用を防ぐために初期化を実行します。

➡すべての設定／データを初期化する (P. 951)

特定の設定／データを初期化する

以下の項目は、個別に初期化することができます。

管理者ユーザーのパスワード

ユーザー名「Administrator」のパスワードを初期化します。 ➡管理者権限とパスワード (P. 29)

各機能の初期設定

操作パネルで以下の機能呼び出したときの初期設定を、工場出荷時の設定に戻します。

- スキャンして送信 ➡ [デフォルト設定の変更] (P. 1075)
- スキャンして保存 ➡ [デフォルト設定の変更] (P. 1122)
- ファクス ➡ [デフォルト設定の変更] (P. 1095)
- コピー ➡ [デフォルト設定の変更] (P. 1063)
- 保存ファイルの利用（プリント設定） ➡ [デフォルト設定の変更] (P. 1123)

プリンター機能の設定

- プリンター機能の設定を初期化します。 ➡ [プリンター設定初期化] (P. 1190)
- フォントのダウンロードフォントを消去したり、エラーが発生した処理中のプリントデータを消去したりします。
➡ [ユーティリティ] (P. 1256)

本機の保存スペースの設定／データ

- ファクスボックスの設定を初期化します。 ➡ [ファクスボックスの設定/登録] (P. 1113)

LDAP サーバーの検索条件の初期設定

LDAP サーバーの検索条件の初期設定を、工場出荷時の設定に戻します。 ➡ [LDAP 検索条件のデフォルトの変更] (P. 1135)

すべての設定／データを初期化する

ストレージ内に保存されているすべてのデータを消去します。

すべての設定／データの初期化は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して初期化することはできません。

Administrator 権限が必要です。初期化すると、本機が自動的に再起動します。

必要な準備

- 処理中や待機中のデータがないことを確認します。
- 必要に応じて、以下の設定／データをバックアップしておきます。
 - アドレス帳や各種設定 ➡ **アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする (P. 913)**
 - 本機に登録されているユーザー情報 ➡ **ユーザー情報をエクスポートする (P. 689)**
 - MEAP アプリケーションのライセンスファイル ➡ **ライセンスファイルを管理する (P. 940)**
※ライセンスファイルのバックアップ方法については、削除する場合の手順を参照してください。
 - MEAP アプリケーションが保存しているデータ
※保存データのバックアップ方法については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

重要

- 初期化を行うと、処理中や待機中のデータは削除されます。
- 初期化には 30 分以上かかる場合があります。
 - 初期化中は本機を操作できません。
 - 初期化が完了するまで、本機の電源は切らないでください。本機のメモリーが故障するおそれがあります。
- オプションのデータストレージキットを装着している場合、初期化に 2 時間以上かかることがあります。電源を切る場合は、[ホーム] 画面から [プリント] を押し、「拡張ストレージの準備中です。しばらくたってから、もう一度操作してください。」のメッセージが表示されていないことを確認してから行ってください。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ➡ **ログイン方法 (P. 191)**

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 **設定/登録** を押し ➡ **[ホーム] 画面 (P. 156)**

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [管理設定] ➡ [データ管理] ➡ [全データ/設定の初期化] を押し

→ 初期化の確認画面が表示されます。

情報セキュリティ担当者のパスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力し、[OK] を押しします。 ➡ **セキュリティポリシー設定をパスワードで保護する (P. 850)**

4 [はい] を押し

→ すべての設定／データが初期化されます。

初期化が完了すると、本機が自動的に再起動し、「全データ/設定の初期化レポート」がプリントされます。

メモ

- すべての設定／データを初期化すると、ジョブの履歴情報は消去されますが、「全データ/設定の初期化レポート」のプリント結果は履歴に残ります。 ➡ **プリント状況や履歴を確認する (P. 392)**

[設定/登録] メニュー一覧

[設定/登録] メニュー一覧	957
[設定/登録] メニューの設定に必要な権限	958
[環境設定]	959
[用紙設定]	961
[表示設定]	965
[タイマー/電力設定]	975
[ネットワーク]	981
[TCP/IP 設定]	990
[IPv4 設定]	1001
[IPv6 設定]	1003
[DNS 設定]	1006
[ファイアウォール設定]	1009
[IPv4 アドレスフィルター]	1010
[IPv6 アドレスフィルター]	1012
[MAC アドレスフィルター]	1014
[無線 LAN]	1015
[ダイレクト接続設定]	1017
[副回線設定]	1020
[ファイアウォール設定]	1023
[システムデータ通信用設定]	1026
[外部インターフェイス]	1028
[アクセシビリティ]	1030
[調整/メンテナンス]	1032
[画質調整]	1033
[動作調整]	1036
[メンテナンス]	1037
[メンテナンス方法の確認]	1039
[消耗品レポート出力]	1041
[ファンクション設定]	1042
[共通]	1044
[給紙動作]	1046
[排紙動作]	1048
[印刷動作]	1051
[レポート出力のデフォルト設定]	1053
[スキャン動作]	1054
[ファイル生成]	1057

[認証方式設定]	1061
[コピー]	1063
[プリンター]	1066
[送信]	1071
[レポート出力]	1072
[共通設定]	1073
[E メール/I ファクス設定]	1084
[ファクス設定]	1093
[回線設定]	1102
[リモートファクス送信設定]	1104
[リモートファクス設定]	1106
[受信/転送]	1107
[レポート出力]	1108
[共通設定]	1109
[受信トレイ設定]	1113
[ファクス設定]	1116
[ファイル保存/利用]	1120
[共通設定]	1121
[スキャンして保存設定]	1122
[保存ファイルの利用設定]	1123
[ネットワーク設定]	1124
[メモリーメディア設定]	1126
[プリント]	1127
[宛先設定]	1132
[リモートアドレス帳取得設定]	1138
[リモートアドレス帳公開設定]	1140
[管理設定]	1141
[ユーザー管理]	1142
[認証管理]	1144
[シンプルログイン]	1149
[キーボード認証]	1151
[デバイス管理]	1153
[機能制限モード]	1161
[個人設定]	1162
[ライセンス/その他]	1164
[MEAP 設定]	1168
[データ管理]	1170
[インポート/エクスポート]	1171
[セキュリティー設定]	1173
[認証/パスワード設定]	1176
[認証機能の設定]	1177
[パスワード設定]	1179
[暗号設定]	1183
プリンター設定メニュー	1185
[仕様設定]	1186
[給紙]	1193

[排紙]	1195
[印字調整]	1197
[レイアウト]	1202
[LIPS/エミュレーション設定]	1205
[LIPSLX 設定]	1208
[LIPS4 設定]	1209
[N201 設定]	1219
[ESC/P 設定]	1223
[I5577 設定]	1227
[HP-GL 設定]	1232
[HP-GL/2 設定]	1236
[PCL 設定]	1239
[PS 設定]	1245
[Imaging]	1248
[PDF]	1251
[XPS]	1254
[ユーティリティ]	1256
配信／インポート／エクスポートできる設定項目	1257
対応状況一覧の見かた	1258
[環境設定]	1259
[用紙設定]	1260
[表示設定]	1261
[タイマー/電力設定]	1263
[ネットワーク]	1264
[TCP/IP 設定]	1266
[副回線設定]	1268
[外部インターフェイス]	1269
[アクセシビリティ]	1270
[調整/メンテナンス]	1271
[ファンクション設定]	1272
[共通]	1273
[印刷動作]	1274
[ファイル生成]	1275
[コピー]	1276
[プリンター]	1277
[送信]	1278
[共通設定]	1279
[E メール/I ファクス設定]	1280
[ファクス設定]	1281
[受信/転送]	1283
[共通設定]	1284
[ファクス設定]	1285
[ファイル保存/利用]	1286
[共通設定]	1287
[プリント]	1288
[宛先設定]	1289
[管理設定]	1290

[ユーザー管理]	1291
[認証管理]	1292
[デバイス管理]	1293
[証明書設定]	1294
[ライセンス/その他]	1295
[データ管理]	1296
[セキュリティー設定]	1297
プリンター設定メニュー	1298
[仕様設定]	1299
[ユーティリティー]	1302
音量調整	1303

[設定/登録] メニュー一覧

操作パネルで  [設定/登録] を押すと表示される、[設定/登録] メニューの各項目について説明します。

設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。 [▶ \[設定/登録\] メニューの設定に必要な権限 \(P. 958\)](#)

また、設定を反映するために、画面に従って [設定の反映] を押す、本機を再起動するなどの操作が必要な場合があります。

- ▶ [環境設定] (P. 959)
- ▶ [調整/メンテナンス] (P. 1032)
- ▶ [ファンクション設定] (P. 1042)
- ▶ [宛先設定] (P. 1132)
- ▶ [管理設定] (P. 1141)

メモ

リモート UI による設定

- [設定/登録] メニューの項目は、パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。リモート UI では、ポータル画面の [設定/登録] から設定します。 [▶ パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)
- リモート UI の [設定/登録] で設定できる項目は、操作パネルの [設定/登録] メニューとほぼ同じですが、操作パネルまたはリモート UI のどちらかでしか設定できない項目もあります。また、リモート UI では項目の名称が一部異なる場合があります。
- リモート UI から設定できるかどうかは、項目ごとに以下のマークで示しています。

設定できる項目

リモート UI

設定できない項目

リモート UI

[設定/登録] メニュー以外の設定項目

- 音量調整の項目は、[ホーム] 画面の [音量設定] を押すと表示されます。 [▶ 音量の調整 \(P. 327\)](#)
- 輝度調整の項目は、[ホーム] 画面の [輝度調整] を押すと表示されます。 [▶ 操作パネルに表示される画面 \(P. 153\)](#)

[設定/登録] メニューの設定に必要な権限

EJ83-0K1

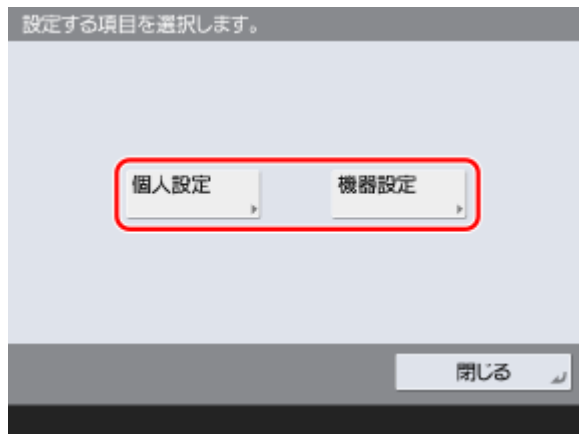
[設定/登録] メニューの項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。

GeneralUser 権限を持つ一般ユーザーは、自身の設定や用紙設定など、限られた項目のみ変更できます。パーソナライズできる設定の変更は、ログインユーザー自身の設定に反映されます。

Administrator 権限を持つユーザーでログインしている場合

すべての項目を変更できます。

[ 設定/登録] を押すと以下の画面が表示されるので、これからいずれの設定を変更するかを選択します。



- ログインユーザー自身の設定を変更する場合は「個人設定」を選択します。
- 本機の設定を変更する場合は「機器設定」を選択します。

DeviceAdmin/NetworkAdmin 権限を持つユーザーでログインしている場合

項目により、変更できるかどうか異なります。変更できるかどうかは項目ごとに以下のマークで示しています。

設定できる項目

DeviceAdmin	NetworkAdmin
-------------	--------------

設定できない項目

DeviceAdmin	NetworkAdmin
-------------	--------------

[環境設定]

本機を使用する環境に合わせて、操作パネルの画面の表示や用紙、ネットワークなどについて設定します。

- ④ [用紙設定] (P. 959)
- ④ [表示設定] (P. 959)
- ④ [タイマー/電力設定] (P. 959)
- ④ [ネットワーク] (P. 959)
- ④ [外部インターフェイス] (P. 959)
- ④ [アクセシビリティ] (P. 960)

[用紙設定]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定]

使用する用紙について設定します。

- ④ [用紙設定] (P. 961)

[表示設定]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定]

操作パネルの画面の表示について設定します。

- ④ [表示設定] (P. 965)

[タイマー/電力設定]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定]

日付／時刻や節電について設定します。

- ④ [タイマー/電力設定] (P. 975)

[ネットワーク]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定]

本機のネットワーク環境について設定します。

- ④ [ネットワーク] (P. 981)

[外部インターフェイス]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定]

USB 接続について設定します。

🔍 [外部インターフェイス] (P. 1028)

[アクセシビリティ]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定]

操作パネルの画面の色反転や、文字入力ボタンの反応速度について設定します。

🔍 [アクセシビリティ] (P. 1030)

[用紙設定]

使用する用紙について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [用紙の設定] (P. 961)
- ④ [用紙カセットの自動検知サイズ] (P. 961)
- ④ [A5R/STMTR 用紙の区別] (P. 962)
- ④ [LGL/LGL (India) 用紙の区別] (P. 962)
- ④ [用紙種類の管理設定] (P. 962)
- ④ [よく使う用紙の登録 (手差しトレイ)] (P. 963)
- ④ [手差し用紙のデフォルト設定] (P. 963)
- ④ [ユーザー設定サイズの登録] (P. 963)

[用紙の設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [用紙設定]

[設定]

[薄紙 2 (52～59g/m2)]、[薄紙 1 (60～63g/m2)]、**[普通紙]**、[厚紙 1 (106～128g/m2)]、[厚紙 2 (129～150g/m2)]、[厚紙 3 (151～163g/m2)]、[再生紙 1 (64～75g/m2)]、[パンチ済み紙 1 (64～75g/m2)]、[OHP フィルム]、[色紙 (64～82g/m2)]

[普通紙の坪量設定]

[普通紙 1 (64～75g/m2)]、[普通紙 2 (76～90g/m2)]、[普通紙 3 (91～105g/m2)]

[ユーザー設定サイズ]

[封筒]

[はがき]

[サイズ登録]

[用紙カセットの自動検知サイズ]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [用紙設定]

給紙部ごとに、自動検知される用紙サイズを、A/B サイズまたはインチサイズに限定することができます。

手差しトレイ

[A/B サイズ]、[インチサイズ]

各給紙カセット

[全サイズ]、**[A/B サイズ]**、[インチサイズ]

[A5R/STMTR 用紙の区別]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [用紙設定]

A5R、またはステートメント R サイズの用紙を給紙部にセットした場合に、どちらのサイズとして使用するかを設定します。

※この設定は、[用紙カセットの自動検知サイズ] で [全サイズ] が選択されている給紙部に対して有効です。▶ [\[用紙カセットの自動検知サイズ\]](#) (P. 961)

[A5R]、[STMTR]

[LGL/LGL (India) 用紙の区別]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [用紙設定]

リーガル (LGL)、またはインディアンリーガル (LGL (India)) サイズの用紙を給紙部にセットした場合に、どちらのサイズとして使用するかを設定します。

※この設定は、[用紙カセットの自動検知サイズ] で [全サイズ] が選択されている給紙部に対して有効です。▶ [\[用紙カセットの自動検知サイズ\]](#) (P. 961)

[LGL]、[LGL (India)]

[用紙種類の管理設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [用紙設定]

本機にあらかじめ登録されている用紙種類の情報を変更したり、独自の用紙種類を登録したりします。▶ [よく使用する用紙種類を登録する \(P. 1353\)](#)

[詳細/編集]

[名称]

[種別]

[坪量]

[表面性]

[特徴]

[色]

[プレプリント用紙]

[光沢性の調整]

[二次転写電圧の調整]

[先端部二次転写電圧調整]

[後端部白抜け補正]

[複製]

[削除]

[よく使う用紙の登録 (手差しトレイ)]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [用紙設定]

手差しトレイで使用する用紙の情報（サイズと種類）を「よく使う用紙」として登録します。▶**手差しトレイでよく使用する用紙を登録する (P. 259)**

[P1] ~ [P30]

[登録/編集]

[名称変更]

[削除]

[手差し用紙のデフォルト設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [用紙設定]

手差しトレイで使用する用紙サイズと用紙種類を、あらかじめ登録したサイズと種類に固定するか、用紙をセットするたびに設定するか、設定します。

- [固定モード] :

用紙サイズと用紙種類を 1 つ登録し、それを毎回使用します。▶**手差しトレイで使用する用紙サイズと用紙種類を固定する (P. 255)**

※ [手差し給紙の設定] を [プリンタードライバー設定優先] に設定している場合は、[コピー] および [保存ファイルの利用] の用紙選択画面で手差し用紙を一時的に変更できます。▶**[手差し給紙の設定] (P. 1067)**

- [毎回指定モード] :

用紙をセットするたびに用紙サイズと用紙種類を設定します。▶**手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 251)**

用紙をセットしたときに表示する画面を、「よく使う用紙」を選択する画面にする場合は、[毎回指定モード] の [表示画面] を [よく使う用紙] に設定します。

[固定モード]、[毎回指定モード]

- [固定モード] 選択時 :

[登録]

- [毎回指定モード] 選択時 :

[表示画面]

[標準]、[よく使う用紙]

[ユーザー設定サイズの登録]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [用紙設定]

特定の定形外サイズの用紙をよく使用する場合に、サイズを登録します。▶**定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙 (P. 263)**

登録したサイズは、サイズ入力時の画面で呼び出せるようになります。

[S1] ~ [S4]

[登録/編集]

[名称変更]

[削除]

[表示設定]

操作パネルの画面の表示について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [起動/復帰後に表示する画面] (P. 965)
- ④ [デフォルト画面の変更 (状況確認)] (P. 966)
- ④ [ファクスファクションの表示] (P. 967)
- ④ [保存先の表示設定] (P. 967)
- ④ [表示言語/キーボードの切替] (P. 967)
- ④ [画面下部に言語/キーボード切替ボタンを表示] (P. 968)
- ④ [キーボードのシフトロックを使用] (P. 968)
- ④ [キーボードの登録文字列] (P. 968)
- ④ [用紙残量メッセージ表示] (P. 968)
- ④ [部数/待ち時間の状況表示] (P. 968)
- ④ [原稿読み取り部の清掃表示] (P. 969)
- ④ [用紙種類選択画面の優先表示] (P. 969)
- ④ [用紙種類リストのデフォルト表示の変更] (P. 969)
- ④ [mm/インチ入力の切替] (P. 969)
- ④ [ログイン中のユーザー名表示] (P. 970)
- ④ [IP アドレスの表示設定] (P. 970)
- ④ [Scan for Mobile を表示] (P. 970)
- ④ [モバイルポータルを表示] (P. 971)
- ④ [モバイルポータルに QR コードを表示] (P. 971)
- ④ [トナー交換予告時期] (P. 971)
- ④ [ドラムユニット交換予告時期] (P. 971)
- ④ [回収トナー容器の交換予告メッセージを表示] (P. 972)
- ④ [定着器の交換予告メッセージを表示] (P. 972)
- ④ [定着器の寿命到達メッセージを表示] (P. 972)
- ④ [ITB ユニットの交換予告メッセージを表示] (P. 972)
- ④ [ITB ユニットの寿命到達メッセージを表示] (P. 972)
- ④ [二次転写外ローラーの交換予告メッセージを表示] (P. 973)
- ④ [二次転写外ローラーの寿命到達メッセージを表示] (P. 973)
- ④ [ローラーキットの交換予告メッセージを表示] (P. 973)
- ④ [ローラーキットの寿命到達メッセージを表示] (P. 973)
- ④ [ADF メンテナンスキットの交換予告メッセージを表示] (P. 973)
- ④ [ADF メンテナンスキットの寿命到達メッセージを表示] (P. 974)

[起動/復帰後に表示する画面]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

以下のときに表示する画面を設定します。

- 電源を入れて起動画面が表示されたあと
- 一定時間操作がなくオートクリア機能が作動したあと

※この項目は、[ログイン画面の表示設定] が [操作開始時に表示] に設定されている場合のみ、ログインユーザーごとに設定（個人設定）が可能です。🔗 **[ログイン画面の表示設定] (P. 1146)**

表示画面選択^{*1}

[ホーム]、[コピー]、[ファクス]、[スキャンして送信]、[スキャンして保存]、[保存ファイルの利用]、[受信トレイ]、[リモートスキャナー]、[宛先/転送の設定]、[プリント]、[かんたんスキャン]、[WSD Scan]、[Scan for Mobile]、[モバイルポータル]、[uniFLOW Online セットアップ]

[状況確認画面を開く]

ON、OFF

^{*1} 設定値（選択する画面）の並び順は、実際の表示と異なる場合があります。

メモ

- 他の項目の設定内容によっては、[起動/復帰後に表示する画面] の設定にかかわらず、ログイン画面または [ホーム] 画面が表示される場合があります。

[デフォルト画面の変更 (状況確認)]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

[ 状況確認] を押したあとに表示される画面を設定します。

[デフォルト画面]

[ジョブ状況/履歴]、[稼働状況]

[状況の種類]

[コピー/プリント]、[送信]、[受信]、[保存]、[消耗品/その他]

[状況/履歴]

[ジョブ状況]、[ジョブ履歴]

[詳細種類]

- [状況の種類] で [コピー/プリント] を選択した場合：
 - [状況/履歴] で [ジョブ状況] 選択時：
 - [プリント]、[コピー]
 - [状況/履歴] で [ジョブ履歴] 選択時：
 - [コピー]、[プリンター]、[ローカルプリント]、[受信プリント]、[レポートプリント]
- [状況の種類] で [送信] を選択した場合：
 - [状況/履歴] で [ジョブ状況] 選択時：
 - [送信]、[ファクス]
 - [状況/履歴] で [ジョブ履歴] 選択時：
 - [送信]、[ファクス]
- [状況の種類] で [受信] を選択した場合：
 - [状況/履歴] で [ジョブ状況] 選択時：
 - [ファクス]、[転送]
 - [状況/履歴] で [ジョブ履歴] 選択時：
 - [受信]、[ファクス]

[ファクスファクションの表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

[ホーム] 画面に [ファクス] を表示するかどうかを設定します。

「[スキャンして送信] にファクスを表示」も [ON] にすると、[スキャンして送信] を使用するときにはファクスの宛先を指定できるようになります。

※この項目は、ファクス機能が搭載されている場合にのみ表示されます。

[ON]、[OFF]

「[スキャンして送信] にファクスを表示」

[ON]、[OFF]

[保存先の表示設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

[ホーム] 画面の [スキャンして保存] または [保存ファイルの利用] で、以下の保存先を表示するかどうかを設定します。

[ネットワーク]

[ON]、[OFF]

[メモリーメディア]

[ON]、[OFF]

[表示言語/キーボードの切替]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

操作パネルの表示言語やキーボードの配列を切り替えます。レポートも選択した言語でプリントされるようになります。

※言語によっては、キーボードの配列を変更できません。

※この設定は、ログインユーザーごとに設定可能です。

[言語]

[キーボードの配列]

メモ

- メッセージなどが選択した言語で表示されない場合は、電源を入れなおします。
- ユーザー認証でサーバー認証とローカルデバイス認証を併用している場合、Active Directory の言語設定と異なる言語を設定すると、メールの送信先に送信者のフルネームが表示されません。

[画面下部に言語/キーボード切替ボタンを表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

操作パネルの画面にボタンを表示して、表示言語やキーボードの配列を切り替えられるようにするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[キーボードのシフトロックを使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

英字入力中、[シフト] を押したときにシフトロックをかけるかどうかを設定します。

[ON] に設定すると、再度 [シフト] を押すまでシフトロックがかかり、大文字を続けて入力できます。

[OFF] に設定すると、文字を入力するたびに [シフト] が押されていない状態に戻ります。

[ON]、[OFF]

[キーボードの登録文字列]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

メールやファクスの宛先入力時に呼び出す文字列を登録します。

[登録/編集]
[削除]

[用紙残量メッセージ表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

給紙部にセットされている用紙の残量が少なくなった場合に、メッセージを操作パネルの画面に表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[部数/待ち時間の状況表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

実行中の処理の出力部数と終了までの予測時間を、操作パネルの画面に表示するかどうかを設定します。
[ON] に設定すると、これらの情報が画面の一番下に表示されます。

- 終了予測時間が1分以下の場合、表示されません。
- 終了予測時間は、本機の状態により誤差が生じることがあります。

[ON]、[OFF]

[原稿読み取り部の清掃表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

原稿読み取りエリアが汚れている場合に、清掃が必要であることを通知するメッセージを操作パネルの画面に表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[用紙種類選択画面の優先表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

表示する用紙種類の選択画面を設定します。

[簡易]、[詳細]

[用紙種類リストのデフォルト表示の変更]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

用紙種類を選択するときに表示するリストの種別や並び順を設定します。

[種別]

[すべて]、[基本用紙]、[ユーザー設定用紙]

[ソート]

[登録 (昇順)]、[登録 (降順)]、[名称 (昇順)]、[名称 (降順)]、[坪量 (昇順)]、[坪量 (降順)]

[mm/インチ入力の切替]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

長さや幅を入力するときの単位を切り替えます。

[mm]、[インチ]

[ログイン中のユーザー名表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

画面にログイン中のユーザー名を表示するかどうかを設定します。

- [画面上部に表示] に設定した場合は、ユーザー名／表示名のどちらを表示するかを選択できます。
- [画面下部に表示] に設定した場合は、ユーザー名が表示されます。

[画面上部に表示]、[画面下部に表示]、[OFF]
表示名選択
[ユーザー名]、[表示名]

メモ

- DepartmentID Authentication をログインサービスに設定し、[部門別 ID 管理] を [ON] にしている場合、[画面下部に表示] に設定すると部門 ID を表示します。画面の上部には表示されません。

[IP アドレスの表示設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

[カウンター/機器情報] 画面に本機の IPv4 アドレスを表示するかどうかを設定します。

※この設定は、[IPv4 を使用] が [ON] に設定されている場合にのみ有効です。▶ [\[IPv4 を使用\] \(P. 1001\)](#)

[ON]、[OFF]

[Scan for Mobile を表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

Scan for Mobile 機能を有効にするかどうかを設定します。

[ON] に設定すると、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器と連携してスキャン機能を使用できるようになります。

[ON]、[OFF]

[モバイルポータルを表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

[ホーム] 画面に [モバイルポータル] を表示させるかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[モバイルポータルに QR コードを表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

[モバイルポータル] 画面に QR コードを表示させるかどうかを設定します。
QR コードを使用すると本機の IPv4 アドレスを手動で入力する手間が省けます。

[ON]、[OFF]

[トナー交換予告時期]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

トナーの残量がどのくらいになったら交換を予告するかを設定します。

[デフォルト]

[カスタム]

[交換予告時期指定]

2~20~99%

[ドラムユニット交換予告時期]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

ドラムユニットの残量がどのくらいになったら交換を予告するかを設定します。

[デフォルト]

[カスタム]

[交換予告時期指定]

2~20~99%

[回収トナー容器の交換予告メッセージを表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

回収トナー容器の寿命を検知した際に、回収トナー容器の準備を促すメッセージを表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[定着器の交換予告メッセージを表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

定着器の寿命を検知した際に、定着器の準備を促すメッセージを表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[定着器の寿命到達メッセージを表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

定着器が寿命に到達したことをお知らせするメッセージを表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[ITB ユニットの交換予告メッセージを表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

ITB ユニットの寿命を検知した際に、寿命が近づいたことをお知らせするメッセージを表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[ITB ユニットの寿命到達メッセージを表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

ITB ユニットが寿命に到達したことをお知らせするメッセージを表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[二次転写外ローラーの交換予告メッセージを表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

二次転写外ローラーの寿命を検知した際に、寿命が近づいたことをお知らせするメッセージを表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[二次転写外ローラーの寿命到達メッセージを表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

二次転写外ローラーが寿命に到達したことをお知らせするメッセージを表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[ローラーキットの交換予告メッセージを表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

ローラーキットの寿命を検知した際に、寿命が近づいたことをお知らせするメッセージを表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[ローラーキットの寿命到達メッセージを表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

ローラーキットが寿命に到達したことをお知らせするメッセージを表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[ADF メンテナンスキットの交換予告メッセージを表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

ADF メンテナンスキットの寿命を検知した際に、寿命が近づいたことをお知らせするメッセージを表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[ADF メンテナンスキットの寿命到達メッセージを表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

ADF メンテナンスキットが寿命に到達したことをお知らせするメッセージを表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[タイマー/電力設定]

日付／時刻や節電について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- 🔗 [時刻微調整] (P. 975)
- 🔗 [日付/時刻の設定] (P. 975)
- 🔗 [時刻の形式] (P. 976)
- 🔗 [主電源 ON 時の高速起動] (P. 976)
- 🔗 [オートクリア移行時間] (P. 977)
- 🔗 [オートクリア移行時間の制限] (P. 977)
- 🔗 [オートクリア後の機能] (P. 977)
- 🔗 [オートシャットダウン移行時間] (P. 978)
- 🔗 [オートシャットダウン時刻の設定] (P. 978)
- 🔗 [オートスリープ移行時間] (P. 978)
- 🔗 [スリープ時の消費電力] (P. 979)
- 🔗 [オートスリープ時刻の設定] (P. 979)
- 🔗 [自動階調補正の実行時刻設定] (P. 979)
- 🔗 [スリープ復帰時刻の設定] (P. 980)

[時刻微調整]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

⚙️ 設定/登録 ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

現在の時刻を 1 分単位で調整します。

※日付の設定には影響しません。23:59 を 00:00 に調整しても、日付は変わりません。

00:00 ～ 23:59

[日付/時刻の設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

⚙️ 設定/登録 ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

本機の日付と時刻を設定します。日付／時刻情報を利用する機能の基準となるため、正確に設定する必要があります。🔗 **日付／時刻を設定する (P. 870)**

[タイムゾーン]

[設定]

[(UTC-12 : 00) 国際日付変更線 西側] ～ [(UTC+09 : 00) 大阪、札幌、東京] ～ [(UTC+14 : 00) クリスマス島]

[サマータイム]

[ON]、[OFF]

[開始日]
 [月]
 [1 月] ~ [12 月]
 [日]
 [第 1] ~ [最終]
 [日曜日] ~ [土曜日]
 [時刻]
 0 ~ 23 時
 [終了日]
 [月]
 [1 月] ~ [12 月]
 [日]
 [第 1] ~ [最終]
 [日曜日] ~ [土曜日]
 [時刻]
 0 ~ 23 時

日時入力

YYYY MM/DD hh:mm

[時刻の形式]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

時刻の表示形式を設定します。

[24 時間表示]、[12 時間表示]

[主電源 ON 時の高速起動]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

本機の高速起動を有効にするかどうかを設定します。高速起動すると、本機の電源を入れてから画面操作やスキャンが可能になるまでの時間が短縮されます。

[ON] に設定すると、電源を切った状態でも待機電力が発生します。電源を入れたときや切ったときにはブザーが鳴ります。

※電源を切ったときにブザーが鳴るのは、[スリープ移行音] を [ON] に設定している場合のみです。また、本機の状態によって高速起動できない場合は、ブザーが鳴りません。

[ON]、[OFF]

メモ

高速起動しない場合

- 無線 LAN を使用する場合
- 本機の電源を切ってから、約 20 秒以内に電源を入れなおした場合
- 本機の電源を切ってから、8 時間以上経過して起動する場合
- 本機の電源を切ってから、コンセントから電源コードを抜いた場合
- リモート UI から本機の電源を切ったあと、次に電源を入れた場合

- 以下の状態で本機の電源を切ったあと、次に電源を入れた場合
 - 高速起動してから 110 時間以上経過した
 - ジョブ実行中
 - 予約ジョブがある
 - 電話回線の使用直後
 - データのバックアップ中
 - ネットワーク経由で本機にアクセス中
 - 設定を変更して再起動が必要
 - エラー発生中
 - 機能制限モード使用中
 - 高速起動に対応していない MEAP アプリケーションをインストールしている

[オートクリア移行時間]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

オートクリアとは、操作パネルの操作がされないまま一定時間が経過したときに、自動的に初期設定に戻る機能です。オートクリアが実行されるまでの時間を設定します。

オートクリアが実行されないようにする場合は、0 分に設定します。

※オートクリアが実行されたあとに表示される画面を変更することもできます。▶ [\[オートクリア後の機能\]](#) (P. 977)

0 分 (なし)、10 秒、20 秒、30 秒、40 秒、50 秒、1 ～ 2 ～ 9 分

メモ

- ログインサービス使用時にオートクリアが実行されると、自動的にログアウトします。

[オートクリア移行時間の制限]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

[オートクリア移行時間] と [オートクリア後の機能] の設定変更を制限するかどうかを設定します。

[ON] に設定すると、これらの設定を管理者ユーザーのみが変更できるようになります。

▶ [\[オートクリア移行時間\]](#) (P. 977)

▶ [\[オートクリア後の機能\]](#) (P. 977)

[ON]、[OFF]

[オートクリア後の機能]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

オートクリアとは、操作パネルの操作がされないまま一定時間が経過したときに、自動的に初期設定に戻る機能です。オートクリアが実行されたあとに表示される画面を設定します。

- 特定の画面を表示する場合は、[復帰する] に設定して [起動/復帰後に表示する画面] で画面を指定します。▶ [\[起動/復帰後に表示する画面\]](#) (P. 965)
- オートクリア実行前に使用していた機能の画面を表示する場合は、[復帰しない] に設定します。

※ビジュアルメッセージをオートクリア後に表示する設定にしている場合は、この設定にかかわらず、先にビジュアルメッセージ画面が表示されます。▶ [ファイルや Web サイトのコンテンツを操作パネルに表示する - ビジュアルメッセージ](#) (P. 883)

[復帰する]、[復帰しない]

[オートシャットダウン移行時間]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

オートシャットダウンとは、スリープモード移行後に操作パネルの操作がなされないまま一定時間が経過したときに、自動的に本体の主電源を切ってシャットダウン状態にする機能です。

オートシャットダウンが実行されないようにする場合は、0 時間に設定します。

※本機の状態によっては、オートシャットダウンが実行されないことがあります。

0 時間 (なし)、1～8 時間

重要

- この機能は、FAX ボードを装着している場合は表示されません。表示されている場合は、[オートシャットダウン移行時間] を 0 時間に設定したのち、販売店または担当サービスにお問い合わせください。
- データのインポート処理中にオートシャットダウンが実行されると、不具合が起こる可能性があります。データのインポートを行うときは、あらかじめ [オートシャットダウン移行時間] を 0 時間に設定してください。

[オートシャットダウン時刻の設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

指定した時刻に自動的にオートシャットダウンが実行されるように、曜日ごとに設定します。

[日曜日] ～ [土曜日]
00:00 ～ 23:59

[オートスリープ移行時間]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

自動的にスリープモードになるまでの時間を設定します。▶消費電力を抑える - スリープモード (P. 150)

※効果的な節電のために、初期設定で使用することをおすすめします。

10 秒、1 分、2 分、5 分^{*1}、10 分、15 分、20 分、30 分、40 分、50 分、1 時間、90 分^{*1}、2 時間^{*1}

^{*1} 機種によっては表示されません。

[スリープ時の消費電力]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

スリープ状態のときの消費電力を設定します。

※本機の状態によっては、消費電力を [少ない] にしても [多い] に設定した場合と同じになることがあります。

[**少ない**]、[多い]

重要

- 本機を USB ケーブルでパソコンと接続して使用している場合、本機のスリープモード移行のタイミングによっては、正しく通信できないことがあります。本機をスリープモードから復帰させて、データを送信しなおします。

メモ

- 本機を無線 LAN に接続した場合、この項目は [多い] に設定されます。
- ネットワーク関連のユーティリティソフトウェアによっては、消費電力を [少ない] に設定した場合、通信に失敗することがあります。使用する際は節電キーを押して本機をスリープ状態から復帰させます。

[オートスリープ時刻の設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

指定した時刻に自動的にスリープモードになるように、曜日ごとに設定します。▶消費電力を抑える - スリープモード (P. 150)

[日曜日] ～ [土曜日]
00:00 ～ 23:59

[自動階調補正の実行時刻設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

自動的に自動階調補正（クイック補正）を行う時刻を曜日ごとに設定します。

[日曜日] ～ [土曜日]
00:00 ～ 23:59

[スリープ復帰時刻の設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

自動的にスリープモードを解除する時刻を指定します。 [消費電力を抑える - スリープモード \(P. 150\)](#)

00:00 ～ 23:59

[ネットワーク]

本機のネットワーク環境について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [レポート出力] (P. 981)
- ④ [ネットワークの設定変更/接続の確認表示] (P. 981)
- ④ [TCP/IP 設定] (P. 982)
- ④ [SNMP 設定] (P. 982)
- ④ [ホストリソース MIB の RFC2790 準拠] (P. 983)
- ④ [専用ポート設定] (P. 983)
- ④ [専用ポートの認証方式] (P. 983)
- ④ [スプール機能を使用] (P. 983)
- ④ [起動時の接続待機時間] (P. 984)
- ④ [Ethernet ドライバー設定] (P. 984)
- ④ [IEEE 802.1X 設定] (P. 984)
- ④ [ファイアウォール設定] (P. 985)
- ④ [Mopria を使用] (P. 986)
- ④ [AirPrint を使用] (P. 986)
- ④ [AirPrint のエラーを表示] (P. 986)
- ④ [IPP Everywhere を使用] (P. 986)
- ④ [Universal Print の設定] (P. 987)
- ④ [デバイス位置情報の設定] (P. 987)
- ④ [インターフェイス選択] (P. 987)
- ④ [無線 LAN] (P. 988)
- ④ [ダイレクト接続設定] (P. 988)
- ④ [副回線設定] (P. 988)
- ④ [静的ルーティング設定] (P. 988)

[レポート出力]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

[ネットワーク] の設定内容をプリントします。④登録情報や設定をプリントする (P. 907)

[ネットワークの設定変更/接続の確認表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

ネットワークに関する設定を閲覧／変更できるようにするかどうかを設定します。④ネットワーク設定のロックを解除する (P. 96)

[ON]、[OFF]

[TCP/IP 設定]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

TCP/IP ネットワークで本機を使用するための設定をします。

➡ [TCP/IP 設定] (P. 990)

[SNMP 設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

SNMP 管理ソフトウェアで本機を設定／監視／制御するための設定をします。 ➡ **SNMP を設定する (P. 128)**

[SNMPv1 を使用]

[ON]、[OFF]

- [専用コミュニティ設定]

[専用コミュニティ]

[ON]、[OFF]

[MIB アクセス権限]

[読込/書込]、[読込のみ]

- [コミュニティ名 1 設定]

[コミュニティ名 1]

[ON]、[OFF]

[MIB アクセス権限]

[読込/書込]、[読込のみ]

[コミュニティ名]：public

- [コミュニティ名 2 設定]

[コミュニティ名 2]

[ON]、[OFF]

[MIB アクセス権限]

[読込/書込]、[読込のみ]

[コミュニティ名]：public2

[SNMPv3 を使用]

[ON]、[OFF]

- [Administrator 設定]

[Administrator を使用]

[ON]、[OFF]

[暗号化パスワード]

[認証と同じパスワードを使用]

ON、OFF

- [ユーザー設定]

[ユーザーの有効/無効]

[有効]、[無効]

[登録]

[ユーザー名]

[MIB アクセス権限]

[セキュリティ設定]

[認証アルゴリズム]

[認証パスワード]
 [暗号化アルゴリズム]
 [暗号化パスワード]
 [詳細/編集]
 [削除]

[ホストからプリンター管理情報を取得]
 [ON]、[OFF]

[ホストリソース MIB の RFC2790 準拠]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

SNMP 管理ソフトウェアで本機の状態を監視する場合に、プロトコルの拡張仕様（RFC2790）に準拠するかどうかを設定します。

RFC2790 で拡張された仕様（hrPrinterDetectedErrorState）に対応していない SNMP 管理ソフトウェアを使用する場合は、[OFF] に設定します。

[ON]、[OFF]

[専用ポート設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

専用ポートを使用するかどうかを設定します。

専用ポートは、キヤノン製のドライバーやユーティリティソフトウェアから、本機を設定／参照するときなどに使用します。

[ON]、[OFF]

[専用ポートの認証方式]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

専用ポートを使用する場合の認証方式を設定します。

[モード 2] に設定すると、専用ポートを使用した通信がセキュアな認証方式に限定されます。そのため、デバイス管理ソフトウェアやドライバーなどから接続できなくなる場合があります。

[モード 1]、[モード 2]

[スプール機能を使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

本機に送信したプリントデータを本機のストレージにスプールするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[起動時の接続待機時間]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

本機を起動してから通信開始までの待機時間を設定します。

本機をスイッチングハブなどに接続している場合は、本機の設定が正しくてもネットワークに接続できないことがあります。その場合に、接続待機時間を設定して接続しなおします。

0 ～ 300 秒

[Ethernet ドライバー設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

Ethernet の通信方式を設定したり、EEE 機能を使用するかどうかを設定したりします。▶**Ethernet を手動で設定する (P. 117)**

また、動作中の通信速度や有線 LAN の MAC アドレスを確認することもできます。▶**有線 LAN の MAC アドレスを確認する (P. 138)**

※ [Ethernet の種類] を [1000BASE-T] に設定すると、[通信方式] が [全二重] に設定されます。

※ネットワーク環境によっては、本機とネットワークの接続が不安定になることがあります。その場合は、[EEE を使用] を [OFF] に設定すると、症状が改善されることがあります。

[自動検出]

[ON]、[OFF]

[通信方式]

[半二重]、[全二重]

[Ethernet の種類]

[10BASE-T]、[100BASE-TX]、[1000BASE-T]

[動作中の通信速度]

[MAC アドレス]

[EEE を使用]

[ON]、[OFF]

[IEEE 802.1X 設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

IEEE 802.1X を設定します。▶ **IEEE 802.1X を使用する (P. 786)**

[IEEE 802.1X を使用]

[ON]、[OFF]

[ログイン名]

[認証サーバーの証明書を検証]

[ON]、[OFF]

[認証サーバー名を検証]

[ON]、[OFF]

[認証サーバー名]

[TLS を使用]

[ON]、[OFF]

[鍵と証明書]

[使用鍵に設定]

[証明書詳細情報]

[バージョン]

[シリアル No.]

[署名アルゴリズム]

[発行先]

[有効期限開始日]

[有効期限終了日]

[発行者]

[公開鍵]

[証明書のぼ印]

[発行先代替名]

[証明書検証]

[使用先を表示]

[TTLS を使用]

[ON]、[OFF]

[TTLS 設定 (TTLS 内部プロトコル)]

[MSCHAPv2]、[PAP]

[PEAP を使用]

[ON]、[OFF]

[ユーザー名]

[パスワード]

[ユーザー名にログイン名を使用]

ON、OFF

[ファイアウォール設定]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

IP アドレスフィルター／MAC アドレスフィルターを設定します。

④ [ファイアウォール設定] (P. 1009)

[Mopria を使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

Mopria®に対応しているスマートフォンやタブレットからプリント可能にするかどうかを設定します。▶**Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備 (P. 659)**

[ON]、[OFF]

[AirPrint を使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

AirPrint に対応している iPhone、iPad、iPod Touch、Mac からプリント可能にするかどうかを設定します。▶**AirPrint を使用するための準備 (P. 656)**

[ON]、[OFF]

[AirPrint のエラーを表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

AirPrint のプリントデータに問題があり、データどおりにプリントできない場合に、エラーメッセージを表示するかどうかを設定します。

[OFF] に設定した場合でも、プリントできなかったときはプリント履歴に [NG] が表示されます。

[ON]、[OFF]

[IPP Everywhere を使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

IPP Everywhere に対応している Chromebook からプリント可能にするかどうかを設定します。▶**Android や Chrome OS からプリント／スキャンするための準備 (P. 659)**

[ON]、[OFF]

[Universal Print の設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

Microsoft のクラウドサービスである「Universal Print」を使用できるように設定します。▶ [クラウドサービスに本機を登録する \(P. 357\)](#)

※以下は、リモート UI 使用時に設定できる項目です。操作パネルでは、Universal Print を使用するかどうかの設定と、登録状況の確認のみ行うことができます。

[基本設定]

[Universal Print を使用する]

ON、OFF

[サーバー証明書を検証する]

ON、OFF

[CN を検証項目に追加する]

ON、OFF

[プリンター名] : OIP_PRINTER

[アプリケーション ID] : f9fc375c-c7ba-4e5c-b213-23affd792cc1

[Microsoft Entra ID 認証 URL] : <https://login.microsoftonline.com/organizations/oauth2/v2.0>[Microsoft Entra ID 登録 URL] : <https://register.print.microsoft.com/api/v1.0/register>

[登録状況]

[登録用 URL]

[登録用コード]

[デバイス位置情報の設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

本機の位置情報を設定します。

※AirPrint の基本情報で本機の緯度／経度を設定した場合、その値が反映されます。▶ [AirPrint の基本情報を設定する \(P. 656\)](#)

[緯度]

[経度]

[インターフェイス選択]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

本機をネットワークに接続する方法を設定します。

副回線を使用する場合は、以下の設定をします。▶ [ネットワークへの接続方法を選択する \(P. 97\)](#)

- [主回線] を [有線 LAN] に設定する場合

[副回線] で [有線 LAN] または [無線 LAN] を設定します。

- [主回線] を [無線 LAN] に設定する場合
[副回線] で [有線 LAN] を設定します。

[主回線] [有線 LAN]
副回線 [使用しない]、[有線 LAN]、[無線 LAN]

[主回線] [無線 LAN]
副回線 [使用しない]、[有線 LAN]

メモ

- [主回線] を [有線 LAN]、[副回線] を [使用しない] 以外に設定すると、[スリープ時の消費電力] が [多い] に設定されます。

[無線 LAN]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

本機を無線 LAN に接続したり、無線 LAN 接続時の節電について設定したりします。

➡ [無線 LAN] (P. 1015)

[ダイレクト接続設定]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

ダイレクト接続の使用や接続機能について設定します。

➡ [ダイレクト接続設定] (P. 1017)

[副回線設定]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

[インターフェイス選択] で [副回線] を [使用しない] 以外を選択した場合に、副回線について設定します。

➡ [副回線設定] (P. 1020)

[静的ルーティング設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

ネットワークの経路を手動で指定する「静的ルーティング」を設定します。 ➡ 静的ルーティングを設定する (P. 131)

※IPv4 アドレスのみ設定できます。

[静的ルーティングを使用]
[ON]、[OFF]

[編集]

[アドレス] : 0.0.0.0

[プレフィックス長]

1 ~ 32

[ゲートウェイアドレス] : 0.0.0.0

[削除]

[TCP/IP 設定]

TCP/IP ネットワークで本機を使用するための設定をします。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [IPv4 設定] (P. 990)
- ④ [IPv6 設定] (P. 990)
- ④ [DNS 設定] (P. 991)
- ④ [コンピューター名/ワークグループ名の設定] (P. 991)
- ④ [SMB クライアント設定] (P. 991)
- ④ [SMB クライアントのバージョン指定] (P. 991)
- ④ [WINS 設定] (P. 992)
- ④ [LPD 印刷の設定] (P. 992)
- ④ [RAW 印刷の設定] (P. 993)
- ④ [SNTP 設定] (P. 993)
- ④ [FTP 印刷の設定] (P. 993)
- ④ [FTP 印刷時のファイル名表示に UTF-8 を使用] (P. 994)
- ④ [WSD の設定] (P. 994)
- ④ [FTP の PASV モードを使用] (P. 994)
- ④ [BMLinkS 設定] (P. 995)
- ④ [IPP 印刷の設定] (P. 995)
- ④ [マルチキャスト探索設定] (P. 996)
- ④ [スリープ通知設定] (P. 996)
- ④ [HTTP を使用] (P. 996)
- ④ [TLS 設定] (P. 997)
- ④ [プロキシ設定] (P. 998)
- ④ [認証管理時の認証情報確認] (P. 998)
- ④ [IPSec 設定] (P. 999)
- ④ [TCP/IP オプション設定] (P. 999)
- ④ [Network Link Scan を使用] (P. 1000)

[IPv4 設定]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

IPv4 環境で本機を使用するための設定をします。

- ④ [IPv4 設定] (P. 1001)

[IPv6 設定]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

IPv6 環境で本機を使用するための設定をします。

- ④ [IPv6 設定] (P. 1003)

[DNS 設定]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

DNS (Domain Name System) を導入している環境で本機を使用する場合は、DNS の設定をします。

🔗 [DNS 設定] (P. 1006)

[コンピューター名/ワークグループ名の設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

ネットワーク上で本機を識別するための名前であるコンピューター名と、本機が所属するワークグループ名を設定します。🔗
コンピューター名とワークグループ名を設定する (P. 122)

[コンピューター名]: Canon***** ("*****"は MAC アドレスの下 6 桁)

[ワークグループ名]: WORKGROUP

[コメント]

[NetBIOS を使用]

[ON]、[OFF]

重要

- [NetBIOS を使用] を [OFF] に設定すると、[WINS 設定] が無効になります。WINS を使用する場合は必ず [NetBIOS を使用] を [ON] に設定します。

[SMB クライアント設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

本機を SMB クライアントとして SMB サーバー（共有フォルダーがあるパソコンなど）に接続するときの設定をします。🔗
SMB クライアントの設定をする (P. 122)

[認証タイプ]

[NTLMv1]、[NTLMv2]

[接続には SMB 署名が必要]

[ON]、[OFF]

[接続には暗号化が必要]

[ON]、[OFF]

[タイムアウト]

3 ~ 30 ~ 300 秒

[SMB クライアントのバージョン指定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

本機を SMB クライアントとして SMB サーバー（共有フォルダーがあるパソコンなど）に接続するときの使用する SMB バージョンを設定します。▶**SMB クライアントの設定をする (P. 122)**

接続する SMB サーバーと同じバージョンを指定します。

[1.0]

ON、OFF

[2.0]

ON、OFF

[3.0]

ON、OFF

[3.1]

ON、OFF

[WINS 設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

NetBIOS と TCP/IP を併用しているネットワーク環境で使用する場合は、NetBIOS 名を IP アドレスに変換する WINS (Windows Internet Name Service) を設定します。▶**WINS を設定する (P. 124)**

[WINS による名前解決]

[ON]、[OFF]

[WINS サーバーアドレス]

重要

- [コンピューター名/ワークグループ名の設定] で、[NetBIOS を使用] を [OFF] に設定すると、この設定は無効になります。

[LPD 印刷の設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

LPD プロトコルを使用するかどうかを設定します。▶**LPD/RAW/WSD を設定する (P. 842)**

使用する場合は、以下も設定できます。

- プリントデータにバナーページが設定されている場合に、バナーページを出力するかどうか
※オプションの LIPS V 拡張キットを有効にした場合にのみ、バナーページを出力できます。
- プリントデータの受信が中断されたときに、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間

[ON]、[OFF]

[LPD バナーページの出力]

[ON]、[OFF]

[受信タイムアウト]

1 ～ 5 ～ 60 分

[RAW 印刷の設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]RAW プロトコルを使用するかどうかを設定します。▶ **LPD/RAW/WSD を設定する (P. 842)**

RAW プロトコルを使用する場合は、双方向通信の使用と、プリントデータの受信が中断されたときに、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間も設定できます。

[ON]、[OFF]

[双方向通信を使用]

[ON]、[OFF]

[受信タイムアウト]

1 ～ 5 ～ 60 分

[SNTP 設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

ネットワーク上のタイムサーバーから時刻情報を取得する場合は、SNTP（Simple Network Time Protocol）を設定します。

▶ **SNTP を設定する (P. 133)**

[SNTP を使用]

[ON]、[OFF]

[ポーリング間隔]

10 ～ 1440 ～ 2880 分

[NTP サーバーアドレス]

[NTP サーバー確認] *1

*1 リモート UI からの設定はできません。

[FTP 印刷の設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

FTP プロトコルを使用したプリントを可能にするかどうかを設定します。

プリントできるようにする場合は、必要に応じて FTP サーバーのユーザー名とパスワードも設定します。

[FTP 印刷を使用]

[ON]、[OFF]

[ユーザー名]：guest

[パスワード]：7654321

[FTP 印刷時のファイル名表示に UTF-8 を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

FTP プロトコルを使用してプリントする場合、ファイル名表示に使用する文字コードを UTF-8 にするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[WSD の設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

WSD プロトコルを使用するかどうかを設定します。WSD プロトコルを使用する機能ごとに設定できます。 [▶](#)

LPD/RAW/WSD を設定する (P. 842)

[WSD 印刷を使用]

[ON]、[OFF]

[WSD 参照を使用]

[ON]、[OFF]

[WSD Scan を使用]

[ON]、[OFF]

メモ

- [WSD 印刷を使用] を [ON] に設定すると、[WSD 参照を使用] と [HTTP を使用] も [ON] になります。
- [WSD Scan を使用] を [ON] に設定すると、[HTTP を使用] も [ON] になります。

[FTP の PASV モードを使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

FTP の PASV モードを使用するかどうかを設定します。PASV モードはファイアウォールを通過して FTP サーバーに接続する場合に設定が必要です。 [▶ FTP の PASV モードを設定する \(P. 408\)](#)

[ON]、[OFF]

[BMLinkS 設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]BMLinkS を使用するかどうかを設定します。▶ **BMLinkS を設定する (P. 136)**

BMLinkS を使用する場合は、セキュリティーや本機の設置場所なども設定できます。

[BMLinkS を使用]

[ON]、[OFF]

[TLS を使用]

[ON]、[OFF]

[受け付けるジョブの種類]

[機密印刷のみ]、[すべて]

[Discovery 送信間隔]

30 分、1 時間、3 時間、6 時間、12 時間、24 時間

[設置場所の情報]

[国/地域名]

国/地域選択：[日本 (JP)]

インターネット国コードで入力^{*1}

[会社/組織名]

[支店名]

[ビル名]

[階数]

[ブロック名]

^{*1} リモート UI からのみ設定できます。

メモ

- [ON] に設定すると、[HTTP を使用] も [ON] になります。

[IPP 印刷の設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]IPP プリントを使用するかどうかを設定します。▶ **本機の IPP プリント機能を設定する (P. 344)**

IPP プリントを使用する場合は、IPPS プリントを使用する（TLS 使用時にのみプリントを許可する）かどうかや、IPP 認証を使用するかどうかを設定できます。

※IPP は、AirPrint でプリント／ファクス送信するときにも使用します。▶ **AirPrint で使用する機能やセキュリティーを設定する (P. 657)**

[ON]、[OFF]

[TLS 使用時のみ許可]

[ON]、[OFF]

[認証を使用]

[ON]、[OFF]

メモ

- [ON] に設定すると、[HTTP を使用] も [ON] になります。

[マルチキャスト探索設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

 設定/登録 ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

デバイス管理ソフトウェアなどで使用されるマルチキャスト探索に応答するかどうかを設定します。▶ **SLP 通信を設定する (P. 135)**

マルチキャスト探索に応答する場合は、本機を所属させるスコープ名も設定します。

※SLP (Service Location Protocol) を使用して通信を行うソフトウェアを導入している環境で本機を使用する場合は、リモート UI から [スリープ通知設定] と併せて設定します。▶ **SLP 通信を設定する (P. 135)**

[探索応答]

[ON]、[OFF]

[スコープ名]

[スリープ通知設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

 設定/登録 ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

SLP (Service Location Protocol) を使用して通信を行うソフトウェアを導入している場合に、SLP 通信の設定をします。▶ **SLP 通信を設定する (P. 135)**

※ [スリープ通知設定] は、リモート UI からのみ設定できます。

[通知する]

ON、OFF

[ポート番号]

1 ~ 11427 ~ 65535

[通過させるルーター数]

0 ~ 3 ~ 254

[通知間隔]

60 ~ 600 ~ 65535 秒

[HTTP を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

 設定/登録 ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

HTTP を使用するかどうかを設定します。▶ **HTTP 通信を使用できないようにする (P. 844)**

[ON]、[OFF]

メモ

- [OFF] に設定すると、以下の設定も [OFF] になります。
 - [リモート UI の設定]
 - [IPP 印刷の設定]
 - [WSD の設定] の [WSD 印刷を使用] と [WSD Scan を使用]
 - [BMLinkS 設定]

[TLS 設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

TLS 暗号化通信で使用する鍵ペア、TLS のバージョン、暗号化アルゴリズムを設定します。 [▶ TLS を使用する \(P. 777\)](#)

[鍵と証明書]

[使用鍵に設定]

[証明書詳細情報]

[バージョン]

[シリアル No.]

[署名アルゴリズム]

[発行先]

[有効期限開始日]

[有効期限終了日]

[発行者]

[公開鍵]

[証明書のぼ印]

[発行先代替名]

[証明書検証]

[使用先を表示]

[使用可能なバージョン指定]

[上限バージョン]

[TLS 1.0]、[TLS 1.1]、[TLS 1.2]、**[TLS 1.3]**

[下限バージョン]

[TLS 1.0]、[TLS 1.1]、**[TLS 1.2]**、[TLS 1.3]

[暗号化アルゴリズムの設定]

[AES-CBC(256bit)]

ON、OFF

[AES-GCM(256bit)]

ON、OFF

[3DES-CBC]

ON、**OFF**

[AES-CBC(128bit)]

ON、OFF

[AES-GCM(128bit)]

ON、OFF

[CHACHA20-POLY1305]

ON、OFF

[鍵交換アルゴリズムの設定]

[RSA]

ON、OFF
[ECDHE]
ON、OFF
[X25519]
ON、OFF

[署名アルゴリズムの設定]

[RSA]
ON、OFF
[ECDSA]
ON、OFF

[HMAC アルゴリズムの設定]

[SHA1]
ON、OFF
[SHA256]
ON、OFF
[SHA384]
ON、OFF

[プロキシ設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

プロキシサーバーを経由してネットワークに接続するかどうかを設定します。🔗 **プロキシを使用する (P. 773)**
プロキシサーバーを使用する場合は、プロキシサーバーの情報や適用範囲／認証情報を設定します。

[プロキシを使用]
[ON]、[OFF]

[サーバーアドレス]

[ポート番号]
1 ~ 80 ~ 65535

[同一ドメインにもプロキシを使用]
[ON]、[OFF]

[認証設定]
[プロキシ認証を使用]
[ON]、[OFF]
[ユーザー名]
[パスワード]

[認証管理時の認証情報確認]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

V4 プリンタードライバーを使用してプリントするときに、認証情報を確認するかどうかを設定します。

※この設定は、TLS 暗号化通信を使用する場合に有効です。

[ON]、[OFF]

メモ

- TLS 暗号化通信に使用する鍵がない、または壊れている場合は無効になります。 [🔗 TLS を使用する \(P. 777\)](#)

[IPSec 設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

IPSec (IP Security Protocol) を設定します。 [🔗 IPSec を使用する \(P. 780\)](#)

[IPSec を使用]

[ON]、[OFF]

[ポリシー外パケットの受信]

[許可]、[拒否]

[ポリシーの ON/OFF]

[登録]

[ポリシー名]

[セレクター設定]

[ローカルアドレス]

[リモートアドレス]

[ポート]

[IKE 設定]

[IKE モード]

[有効期間]

[認証方式]

[認証/暗号化アルゴリズム]

[IPSec 通信設定]

[有効期間]

[PFS]

[認証/暗号化アルゴリズム]

[接続モード]

[AES の鍵の長さを 256bit に制限]

[編集]

[削除]

[優先順位を上へ]

[優先順位を下へ]

[リストプリント]

[TCP/IP オプション設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

TCP オプションのウィンドウスケール／MTU サイズ／MSS の下限値を設定します。

※ [TCP/IP オプション設定] は、リモート UI からのみ設定できます。

[ウィンドウスケールオプションを使用する]

ON、OFF

[MTU サイズ]

600 ～ 1500 バイト

[MSS の下限値]

48 ～ 560 バイト

[Network Link Scan を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

Network Link Scan を使用するかどうかを設定します。Network Link Scan は、AirPrint などでもスキャンするときに使います。[▶AirPrint で使用する機能やセキュリティーを設定する \(P. 657\)](#)

Network Link Scan を使用する場合は、通信を TLS で暗号化するかどうかを設定できます。

[ON]、[OFF]

[TLS を使用]

[ON]、[OFF]

[IPv4 設定]

IPv4 環境で本機を使用するための設定をします。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [IPv4 を使用] (P. 1001)
- ④ [IP アドレス設定] (P. 1001)
- ④ [DHCP オプション設定] (P. 1001)
- ④ [PING コマンド] (P. 1002)

[IPv4 を使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定]

IPv4 を使用するかどうかを設定します。④IPv4 アドレスを設定する (P. 110)

[ON]、[OFF]

[IP アドレス設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定]

IPv4 アドレスを自動または手動で設定します。④IPv4 アドレスを設定する (P. 110)

[DHCP]

ON、OFF

[Auto IP]

ON、OFF

[IP アドレス] : 0.0.0.0

[サブネットマスク] : 0.0.0.0

[ゲートウェイアドレス] : 0.0.0.0

[DHCP オプション設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定]

DNS (Domain Name System) を導入している IPv4 環境で、DHCP サーバーを使用する場合の設定をします。➡ **DNS を設定する (P. 118)**

[ホスト名の取得]
[ON]、[OFF]

[DNS の動的更新]
[ON]、[OFF]

[DNS サーバーアドレスの取得]
[ON]、[OFF]

[ドメイン名の取得]
[ON]、[OFF]

[WINS サーバーアドレスの取得]
[ON]、[OFF]

[SMTP サーバーアドレスの取得]
[ON]、[OFF]

[POP サーバーアドレスの取得]
[ON]、[OFF]

[DHCP サーバーからアドレスを取得できなかった場合は前回取得したアドレスを解放する] ^{*1}
ON、OFF

^{*1} リモート UI からのみ設定できます。

[PING コマンド]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定]

PING コマンドを実行して、本機がネットワーク内の機器に接続できるか確認します。➡ **ネットワーク内の機器に接続できるか確認する (P. 137)**

[IPv6 設定]

IPv6 環境で本機を使用するための設定をします。
複数の IPv6 アドレスを設定して同時に使用することができます。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [IPv6 を使用] (P. 1003)
- ④ [ステートレスアドレス設定] (P. 1003)
- ④ [手動アドレス設定] (P. 1003)
- ④ [DHCPv6 を使用] (P. 1004)
- ④ [PING コマンド] (P. 1004)
- ④ [ステートフルアドレスのプレフィックスのみ取得] (P. 1004)
- ④ [DHCP オプション設定] (P. 1004)

[IPv6 を使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv6 設定]

IPv6 を使用するかどうかを設定します。④ **IPv6 アドレスを設定する (P. 114)**

[ON]、[OFF]

[ステートレスアドレス設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv6 設定]

ステートレスアドレスを使用するかどうかを設定します。④ **IPv6 アドレスを設定する (P. 114)**

[ステートレスアドレスを使用]
[ON]、[OFF]

[手動アドレス設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv6 設定]

IPv6 アドレスを手動で設定します。④ **IPv6 アドレスを設定する (P. 114)**

[手動アドレスを使用]
[ON]、[OFF]

[手動アドレス]

[プレフィックス長]

1 ~ 64 ~ 128

[デフォルトルーターアドレス]

[DHCPv6 を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv6 設定]

ステートフルアドレスを DHCP サーバーから取得するかどうかを設定します。▶ [IPv6 アドレスを設定する \(P. 114\)](#)

[ON]、[OFF]

[PING コマンド]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv6 設定]

PING コマンドを実行して、本機がネットワーク内の機器に接続できるか確認します。▶ [ネットワーク内の機器に接続できるか確認する \(P. 137\)](#)

[IPv6 アドレス]

[ホスト名]

[ステートフルアドレスのプレフィックスのみ取得]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv6 設定]

DHCPv6 を使用して、DHCP サーバーからステートフルアドレスの前半部分のみを取得するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[DHCP オプション設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv6 設定]

DNS (Domain Name System) を導入している IPv6 環境で、DHCP サーバーを使用する場合の設定をします。▶ [DNS を設定する \(P. 118\)](#)

[DNS サーバーアドレスの取得]

[ON]、[OFF]

[ドメイン名の取得]

[ON]、[OFF]

[DNS 設定]

DNS（Domain Name System）を導入している環境で本機を使用する場合は、DNS の設定をします。
Bonjour などで使用される mDNS（multicast DNS）も、ここで設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- 🔗 [DNS サーバーアドレスの設定] (P. 1006)
- 🔗 [DNS のホスト名/ドメイン名の設定] (P. 1006)
- 🔗 [DNS の動的更新設定] (P. 1007)
- 🔗 [mDNS 設定] (P. 1007)
- 🔗 [DNS 暗号化設定] (P. 1007)

[DNS サーバーアドレスの設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [DNS 設定]

DNS サーバーの IP アドレスを設定します。🔗 **DNS を設定する (P. 118)**

[IPv4]

[プライマリー DNS サーバー]

[セカンダリー DNS サーバー]

[IPv6]

[プライマリー DNS サーバー]

[セカンダリー DNS サーバー]

[DNS のホスト名/ドメイン名の設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [DNS 設定]

DNS サーバーに登録する本機のホスト名と属しているドメイン名を設定します。🔗 **DNS を設定する (P. 118)**

[IPv4]

[ホスト名]: Canon***** ("*****"は MAC アドレスの下 6 桁)

[ドメイン名]

[IPv6]

[IPv4 と同じホスト名/ドメイン名を使用]

[ON]、[OFF]

[ホスト名]: Canon***** ("*****"は MAC アドレスの下 6 桁)

[ドメイン名]

[DNS の動的更新設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [DNS 設定]

DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更された場合に、自動更新するかどうかを設定します。▶ **DNS を設定する (P. 118)**

[IPv4]

[DNS の動的更新]

[ON]、[OFF]

[IPv6]

[DNS の動的更新]

[ON]、[OFF]

[ステートレスアドレスの登録]

[ON]、[OFF]

[手動アドレスの登録]

[ON]、[OFF]

[ステートフルアドレスの登録]

[ON]、[OFF]

[mDNS 設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [DNS 設定]

DNS を導入していない環境で DNS の機能を使用するために、mDNS を設定します。▶ **DNS を設定する (P. 118)**

[IPv4 mDNS を使用]

[ON]、[OFF]

[mDNS 名]

[IPv6 mDNS を使用]

[ON]、[OFF]

[IPv4 と同じ mDNS 名を使用]

[ON]、[OFF]

[mDNS 名]

[DNS 暗号化設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [DNS 設定]

DNS サーバーとの通信を TLS で暗号化するかどうかを設定します。▶ **DNS を設定する (P. 118)**

[DNS over TLS を使用]

[ON]、[OFF]

[使用するポート番号]

1 ～ 853 ～ 65535

[検証するホスト名]

[ホスト名]

[ファイアウォール設定]

IP アドレスフィルター／MAC アドレスフィルターを設定します。

- ④ [IPv4 アドレスフィルター] (P. 1009)
- ④ [IPv6 アドレスフィルター] (P. 1009)
- ④ [MAC アドレスフィルター] (P. 1009)
- ④ [IP アドレスブロック履歴] (P. 1009)

[IPv4 アドレスフィルター]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定]

IPv4 アドレスフィルターを設定します。

- ④ [IPv4 アドレスフィルター] (P. 1010)

[IPv6 アドレスフィルター]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定]

IPv6 アドレスフィルターを設定します。

- ④ [IPv6 アドレスフィルター] (P. 1012)

[MAC アドレスフィルター]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定]

MAC アドレスフィルターを設定します。

- ④ [MAC アドレスフィルター] (P. 1014)

[IP アドレスブロック履歴]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定]

IP アドレスフィルターでブロックされた通信履歴を表示します。

[日時]
[種別]
[IP アドレス]
[ポート番号]
[結果]
[詳細情報]

[IPv4 アドレスフィルター]

IPv4 アドレスフィルターを設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [送信フィルター] (P. 1010)
- ④ [受信フィルター] (P. 1010)
- ④ [ICMP 送受信を常に許可] (P. 1011)

[送信フィルター]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [IPv4 アドレスフィルター]

送信フィルターを設定します。④IP アドレスフィルターを設定する (P. 765)

[フィルターを使用]
[ON]、[OFF]

[デフォルトポリシー]
[許可]、[拒否]

[登録]
IPv4 アドレス
ポート番号

[詳細/編集]

[削除]

[受信フィルター]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [IPv4 アドレスフィルター]

受信フィルターを設定します。④IP アドレスフィルターを設定する (P. 765)

[フィルターを使用]
[ON]、[OFF]

[デフォルトポリシー]
[許可]、[拒否]

[登録]
IP アドレス
ポート番号

[詳細/編集]

[削除]

[ICMP 送受信を常に許可]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [IPv4 アドレスフィルター]

PING コマンドなどの ICMP 送受信を常に許可するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[IPv6 アドレスフィルター]

IPv6 アドレスフィルターを設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [送信フィルター] (P. 1012)
- ④ [受信フィルター] (P. 1012)
- ④ [ICMPv6 送受信を常に許可] (P. 1013)

[送信フィルター]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [IPv6 アドレスフィルター]

送信フィルターを設定します。④IP アドレスフィルターを設定する (P. 765)

[フィルターを使用]

[ON]、[OFF]

[デフォルトポリシー]

[許可]、[拒否]

[登録]

IPv6 アドレス

ポート番号

[詳細/編集]

[削除]

[受信フィルター]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [IPv6 アドレスフィルター]

受信フィルターを設定します。④IP アドレスフィルターを設定する (P. 765)

[フィルターを使用]

[ON]、[OFF]

[デフォルトポリシー]

[許可]、[拒否]

[登録]

IPv6 アドレス

ポート番号

[詳細/編集]

[削除]

[ICMPv6 送受信を常に許可]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [IPv6 アドレスフィルター]

PING コマンドなどの ICMPv6 送受信を常に許可するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[MAC アドレスフィルター]

EJ83-0KH

MAC アドレスフィルターを設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

④ [送信フィルター] (P. 1014)

④ [受信フィルター] (P. 1014)

[送信フィルター]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [MAC アドレスフィルター]

送信フィルターを設定します。④MAC アドレスフィルターを設定する (P. 767)

[フィルターを使用]

[ON]、[OFF]

[デフォルトポリシー]

[許可]、[拒否]

[登録]

MAC アドレス

[編集]

[削除]

[受信フィルター]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [MAC アドレスフィルター]

受信フィルターを設定します。④MAC アドレスフィルターを設定する (P. 767)

[フィルターを使用]

[ON]、[OFF]

[デフォルトポリシー]

[許可]、[拒否]

[登録]

MAC アドレス

[編集]

[削除]

[無線 LAN]

本機を無線 LAN に接続したり、無線 LAN 接続時の節電について設定したりします。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [無線 LAN 設定] (P. 1015)
- ④ [無線 LAN 情報] (P. 1015)
- ④ [パワーセーブモード] (P. 1015)

[無線 LAN 設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [無線 LAN]

無線 LAN に接続する設定をします。④無線 LAN に接続する (P. 101)

[WPS プッシュボタン方式]

[WPS PIN コード方式]

[手動設定]

[アクセスポイント選択]

[詳細入力]

[SSID 設定]

[セキュリティ設定]

[無線 LAN 情報]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [無線 LAN]

無線 LAN の MAC アドレスや接続情報のほか、セキュリティに関する設定などを確認します。④無線 LAN の MAC アドレスや接続情報を確認する (P. 139)

[全て表示]

[詳細情報]

[パワーセーブモード]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [無線 LAN]

無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[ダイレクト接続設定]

ダイレクト接続の使用や接続機能について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [ダイレクト接続を使用] (P. 1017)
- ④ [ダイレクト接続の自動切断時間] (P. 1017)
- ④ [SSID/ネットワークキー設定] (P. 1017)
- ④ [SSID/ネットワークキー固定時に常時接続] (P. 1018)
- ④ [ダイレクト接続時の IP アドレス設定] (P. 1018)
- ④ [個人別 SSID/ネットワークキーの設定] (P. 1018)
- ④ [プリントジョブのユーザー名をログイン名で表示] (P. 1019)

[ダイレクト接続を使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ダイレクト接続設定]

ダイレクト接続を使用するかどうかを設定します。④ **ダイレクト接続機能を有効にする (P. 654)**

[ON]、[OFF]

[ダイレクト接続の自動切断時間]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ダイレクト接続設定]

ダイレクト接続を開始してから切断するまでの時間を入力します。複数のモバイル機器を接続した場合は、最後に接続を開始したときからこの時間が経過すると、切断されます。

0 分 (なし)、1 ~ 30 ~ 60 分

メモ

- [SSID/ネットワークキー固定時に常時接続] が [ON] に設定されていると、この設定は無効になります。

[SSID/ネットワークキー設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ダイレクト接続設定]

アクセスポイントモードでダイレクト接続する場合に、使用する SSID（ネットワーク名）とネットワークキー（パスワード）を設定します。➡ **ダイレクト接続機能を有効にする (P. 654)**

- [個人別 SSID/ネットワークキーを使用] を [ON] に設定すると、ログインユーザー別の SSID／ネットワークキーを使用することができます。➡ **【個人別 SSID/ネットワークキーの設定】 (P. 1018)**
- [個人別 SSID/ネットワークキーを使用] を [OFF] に設定し、SSID／ネットワークキーの両方を任意に設定すると、同時に複数のモバイル機器を接続できます。

[個人別 SSID/ネットワークキーを使用]

[ON]、[OFF]

[任意の SSID を使用]

[ON]、[OFF]

[SSID]

[任意のネットワークキーを使用]

[ON]、[OFF]

[ネットワークキー]

[SSID/ネットワークキー固定時に常時接続]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ダイレクト接続設定]

モバイル機器が常に接続できるようにするかどうかを設定します。

[ON] に設定する場合、[SSID/ネットワークキー設定] の [任意の SSID を使用] と [任意のネットワークキーを使用] で固定の SSID（ネットワーク名）とネットワークキー（パスワード）を設定する必要があります。最大 5 台のモバイル機器と同時に接続できるようになります。

[ON]、[OFF]

メモ

- [ON] に設定すると、[ダイレクト接続の自動切断時間] の設定は無効になります。

[ダイレクト接続時の IP アドレス設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ダイレクト接続設定]

ダイレクト接続用の IP アドレスを設定します。

192.168.22.1

[個人別 SSID/ネットワークキーの設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ダイレクト接続設定]

ログインユーザーごとに、ダイレクト接続の SSID（ネットワーク名）とネットワークキー（パスワード）を設定します。
[ログイン/ログアウト時にダイレクト接続を開始/終了する] を [ON] に設定すると、[モバイルポータル] の [ダイレクト接続] の [開始] を押さなくても、ログイン時に自動的にダイレクト接続できます。

※Administrator 権限を持つユーザーでログインしている場合は、[ 設定/登録] を押したあと、[機器設定] を選択すると、この項目は設定できません。ログインユーザー自身の SSID とネットワークキーを設定する場合は、[個人設定] を選択します。

[任意の SSID を使用]

[ON]、[OFF]

[SSID]

[任意のネットワークキーを使用]

[ON]、[OFF]

[ネットワークキー]

[ログイン/ログアウト時にダイレクト接続を開始/終了する]

[ON]、[OFF]

[プリントジョブのユーザー名をログイン名で表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ダイレクト接続設定]

ダイレクト接続で送信されたプリントデータのユーザー名をログイン名で表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[副回線設定]

[インターフェイス選択] で [副回線] を [使用しない] 以外を選択した場合に、副回線について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [IP アドレス設定] (P. 1020)
- ④ [モバイル端末と通信時の優先回線設定] (P. 1020)
- ④ [Ethernet ドライバー設定] (P. 1020)
- ④ [IEEE 802.1X 設定] (P. 1021)
- ④ [ファイアウォール設定] (P. 1022)
- ④ [システムデータ通信用設定] (P. 1022)

[IP アドレス設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定]

副回線に使用する IPv4 アドレスを自動または手動で設定します。④副回線の IPv4 アドレスを設定する (P. 112)

[DHCP]

ON、OFF

[IP アドレス] : 0.0.0.0

[サブネットマスク] : 0.0.0.0

[ゲートウェイアドレス] : 0.0.0.0

[モバイル端末と通信時の優先回線設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定]

モバイル機器と通信する場合、主回線と副回線のどちらに接続するかを選択します。

[主回線]、[副回線]

[Ethernet ドライバー設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定]

副回線の Ethernet の通信方式を設定したり、EEE 機能を使用するかどうかを設定したりします。🔗[Ethernet を手動で設定する \(P. 117\)](#)

また、動作中の通信速度や有線 LAN の MAC アドレスを確認することもできます。🔗[有線 LAN の MAC アドレスを確認する \(P. 138\)](#)

※ [Ethernet の種類] を [1000BASE-T] に設定すると、[通信方式] が [全二重] に設定されます。

※ネットワーク環境によっては、本機とネットワークの接続が不安定になることがあります。その場合は、[EEE を使用] を [OFF] に設定すると、症状が改善されることがあります。

[自動検出]

[ON]、[OFF]

[通信方式]

[半二重]、[全二重]

[Ethernet の種類]

[10BASE-T]、[100BASE-TX]、[1000BASE-T]

[動作中の通信速度]

[MAC アドレス]

[EEE を使用]

[ON]、[OFF]

[IEEE 802.1X 設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定]

副回線で使用する IEEE 802.1X を設定します。🔗[IEEE 802.1X を使用する \(P. 786\)](#)

[IEEE 802.1X を使用]

[ON]、[OFF]

[ログイン名]

[認証サーバーの証明書を検証]

[ON]、[OFF]

[認証サーバー名を検証]

[ON]、[OFF]

[認証サーバー名]

[TLS を使用]

[ON]、[OFF]

[鍵と証明書]

[使用鍵に設定]

[証明書詳細情報]

[バージョン]

[シリアル No.]

[署名アルゴリズム]

[発行先]

[有効期限開始日]

[有効期限終了日]
[発行者]
[公開鍵]
[証明書のぼ印]
[発行先代替名]
[証明書検証]
[使用先を表示]

[TLS を使用]
[ON]、[OFF]
[TLS 設定 (TLS 内部プロトコル)]
[MSCHAPv2]、[PAP]

[PEAP を使用]
[ON]、[OFF]

[ユーザー名]

[パスワード]

[ユーザー名にログイン名を使用]
ON、OFF

[ファイアウォール設定]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定]

副回線に対する IP アドレスフィルター／MAC アドレスフィルターを設定します。

🔗 [ファイアウォール設定] (P. 1023)

[システムデータ通信用設定]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定]

副回線で特定のシステムデータ通信を行うときに使用する DNS やプロキシを設定します。

🔗 [システムデータ通信用設定] (P. 1026)

[ファイアウォール設定]

副回線に対する IP アドレスフィルター／MAC アドレスフィルターを設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

④ [IPv4 アドレスフィルター] (P. 1023)

④ [MAC アドレスフィルター] (P. 1024)

[IPv4 アドレスフィルター]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [ファイアウォール設定]

副回線の IPv4 アドレスフィルターを設定します。

[送信フィルター]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [IPv4 アドレスフィルター]

副回線の送信フィルターを設定します。④副回線の IP アドレスフィルターを設定する (P. 769)

[フィルターを使用]

[ON]、[OFF]

[デフォルトポリシー]

[許可]、[拒否]

[登録]

IP アドレス

ポート番号

[詳細/編集]

[削除]

[受信フィルター]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [IPv4 アドレスフィルター]

副回線の受信フィルターを設定します。④副回線の IP アドレスフィルターを設定する (P. 769)

[フィルターを使用]

[ON]、[OFF]

[デフォルトポリシー]

[許可]、[拒否]

[登録]

IP アドレス

ポート番号

[詳細/編集]

[削除]

[MAC アドレスフィルター]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [ファイアウォール設定]

副回線の MAC アドレスフィルターを設定します。

[送信フィルター]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [MAC アドレスフィルター]

副回線の送信フィルターを設定します。▶ [副回線の MAC アドレスフィルターを設定する \(P. 771\)](#)

[フィルターを使用]

[ON]、[OFF]

[デフォルトポリシー]

[許可]、[拒否]

[登録]

MAC アドレス

[編集]

[削除]

[受信フィルター]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [MAC アドレスフィルター]

副回線の受信フィルターを設定します。▶ [副回線の MAC アドレスフィルターを設定する \(P. 771\)](#)

[フィルターを使用]

[ON]、[OFF]

[デフォルトポリシー]

[許可]、[拒否]

[登録]

MAC アドレス

[編集]

[削除]

[システムデータ通信用設定]

副回線で特定のシステムデータ通信を行うときに使用する DNS やプロキシを設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [DNS サーバーアドレスの設定] (P. 1026)
- ④ [プロキシ設定] (P. 1026)
- ④ [使用回線の選択] (P. 1026)

[DNS サーバーアドレスの設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [システムデータ通信用設定]

副回線の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。④副回線の DNS を設定する (P. 121)

[プライマリー DNS サーバー]
[セカンダリー DNS サーバー]

[プロキシ設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [システムデータ通信用設定]

副回線でプロキシサーバーを経由してネットワークに接続するかどうかを設定します。④副回線のプロキシを設定する (P. 775)

プロキシサーバーを使用する場合は、プロキシサーバーの情報や適用範囲／認証情報を設定します。

[プロキシを使用]
[ON]、[OFF]

[サーバーアドレス]

[ポート番号]
1 ～ 80 ～ 65535

[認証設定]
[プロキシ認証を使用]
[ON]、[OFF]
[ユーザー名]
[パスワード]

[使用回線の選択]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [システムデータ通信用設定]

遠隔監視サーバーや配信サーバーとの通信時に、主回線と副回線のどちらを使用するかを設定します。

[主回線]、[副回線]

[外部インターフェイス]

USB 接続について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

🔗 [USB 設定] (P. 1028)

[USB 設定]

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [外部インターフェイス]

USB ポートと USB メモリーの使用について設定します。

[USB デバイスとして使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [外部インターフェイス] ▶ [USB 設定]

パソコン接続用の USB ポートを使用するかどうかを設定します。🔗 **パソコンと USB 接続できないようにする (P. 841)**

[ON]、[OFF]

[USB 入力デバイスに MEAP ドライバーを使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [外部インターフェイス] ▶ [USB 設定]

キーボードなどの USB 入力デバイスを MEAP ドライバーから使用するかどうかを設定します。

キーボードやカードリーダーなどを使用する MEAP アプリケーションによっては、[ON] に設定する必要があります。

[ON] にする必要があるかどうかは、MEAP アプリケーションのマニュアルを参照してください。または、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

[ON]、[OFF]

[USB 外部記憶デバイスに MEAP ドライバーを使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [外部インターフェイス] ▶ [USB 設定]

USB メモリーなどのメモリーメディアを MEAP ドライバーから使用するかどうかを設定します。

USB メモリーなどのメモリーメディアを使用する MEAP アプリケーションによっては、[ON] に設定する必要があります。

[ON] にする必要があるかどうかは、MEAP アプリケーションのマニュアルを参照してください。または、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

[ON]、[OFF]

[USB 外部記憶デバイスを使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [外部インターフェイス] ▶ [USB 設定]

USB メモリーなどのメモリーメディアを使用するかどうかを設定します。▶ **メモリーメディア自体を使用できないようにする (P. 816)**

[ON]、[OFF]

[プリンタードライバーの自動インストール制限]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [外部インターフェイス] ▶ [USB 設定]

本機を入れ替えて USB 接続したときに、新たにプリンタードライバーをインストールするかどうかを設定します。
複数の本機が接続されている場合は、[OFF] に設定する必要があります。

[ON]、[OFF]

[アクセシビリティ]

操作パネルの画面の色反転や、文字入力ボタンの反応速度について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [キーリピート設定] (P. 1030)
- ④ [連続キー操作を受け付けない時間の指定] (P. 1030)
- ④ [画面色反転] (P. 1030)
- ④ [フリック機能を使用] (P. 1031)

[キーリピート設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティ]

画面に表示されるキーボードのキーを長押ししたときに、連続して同じ文字が入力されるキーリピートが動作する速度を遅くできます。1文字入力するつもりでも同じ文字が続けて入力されてしまう場合などに設定します。

※この設定は、ログインユーザーごとに設定可能です。

[標準]、[やや遅い]、[遅い]

[連続キー操作を受け付けない時間の指定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティ]

画面に表示されるキーボードのキーを意図せずに連続して押したときの、2回目以降の入力を受け付けない時間を設定できます。1文字入力するつもりでも同じ文字が続けて入力されてしまう場合などに設定します。

※この設定は、ログインユーザーごとに設定可能です。

[ON]、[OFF]
0.1 ~ 1.0 秒

[画面色反転]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティ]

画面の明暗を反転して表示するように設定できます。

[ホーム] 画面の [輝度調整] で画面の明るさを調整しても表示が見づらいときに設定します。

※この設定は、ログインユーザーごとに設定可能です。

[ON]、[OFF]

メモ

- [OFF] に設定すると、フリック操作やドラッグアンドドロップ操作が利用できません。
- [OFF] に設定すると、以下の画面で画面の明暗が反転になります。
 - コピー
 - スキャンして送信
 - ファクス
 - プリント
 - スキャンして保存
 - 保存ファイルの利用
 - 受信トレイ
 - 宛先/転送の設定
 - 状況確認
 - エラー画面（用紙無し）

[フリック機能を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティ]

フリック操作を使用できるようにするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

メモ

- この設定は、スキャンデータやファイルの内容を確認するプレビュー画面や、MEAP アプリケーションの画面には反映されません。

[調整/メンテナンス]

プリントやスキャンの画質調整や、本機の清掃を行います。

- ④ [画質調整] (P. 1032)
- ④ [動作調整] (P. 1032)
- ④ [メンテナンス] (P. 1032)
- ④ [消耗品レポート出力] (P. 1032)

[画質調整]

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス]

プリント結果の階調や濃度など、画質を調整します。

- ④ [画質調整] (P. 1033)

[動作調整]

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス]

オプションのフィニッシャーや本機の動作を調整します。

- ④ [動作調整] (P. 1036)

[メンテナンス]

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス]

本機の清掃を実行したり、清掃方法やメンテナンス方法を動画で確認したりします。

- ④ [メンテナンス] (P. 1037)

[消耗品レポート出力]

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス]

消耗品に関するレポートをプリントします。

- ④ [消耗品レポート出力] (P. 1041)

[画質調整]

プリント結果やスキャン画像の階調や濃度など、画質を調整します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [自動階調補正] (P. 1033)
- ④ [濃度補正] (P. 1033)
- ④ [濃度ムラ補正] (P. 1034)
- ④ [用紙カセットごとの画像位置調整] (P. 1034)
- ④ [ズーム微調整] (P. 1034)
- ④ [ディザパターンの設定] (P. 1034)
- ④ [光沢ムラ補正] (P. 1035)

[自動階調補正]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

グラデーションがきれいに再現されなくなり、プリント結果が元のデータや原稿と大きく異なる場合に、階調を補正します。

④ 階調を補正する (P. 1359)

- [薄紙/普通紙/再生紙] 選択時：
 - [フル補正]
 - [クイック補正]
 - [厚紙]、[薄紙/普通紙/再生紙 (サイズ大)] 選択時：
 - [フル補正]
- [フル補正時の初期化]
[ON]、[OFF]

メモ

- フル補正では補正画像がプリントされますが、プリントのページ数としてカウントされません。

[濃度補正]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

スキャンしたデータやプリント結果の色の濃さが元のデータや原稿と大きく異なる場合に、濃度を補正します。④ 濃度を補正する (P. 1362)

[コピー]
9 段階

[送信/スキャンして保存の白黒スキャン]
9 段階

[送信/スキャンして保存のカラースキャン]
9 段階

[濃度ムラ補正]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

プリント結果の濃淡にムラが発生する場合に、濃度が均一になるように補正します。▶ [濃淡のムラを補正する \(P. 1363\)](#)

[スキャナーによる補正]

[濃度計による補正]

[目視による補正]

[用紙カセットごとの画像位置調整]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

給紙部ごとに、プリント位置を調整して、文字や画像のずれを改善します。▶ [給紙部ごとにプリント位置を調整する \(P. 1374\)](#)

[ズーム微調整]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

コピーした画像のサイズが原稿とわずかに異なる場合に、タテとヨコの倍率を 0.1 %単位で調整し、原稿の画像サイズに近づけます。▶ [コピー画像のプリントサイズを調整する \(P. 1376\)](#)

[X]

-1.0 ~ 0.0 ~ +1.0 %

[Y]

-1.0 ~ 0.0 ~ +1.0 %

[ディザパターンの設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

プリント画像の階調や輪郭がなめらかになるように、プリントする画像に適したディザパターンを選択します。▶ [輪郭や階調をなめらかにする - ディザパターンの設定 \(P. 1368\)](#)

[パターン 1]、[パターン 2]

[光沢ムラ補正]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

プリント画像に光沢ムラが発生する場合に、光沢ムラを抑えるよう補正します。▶ [光沢のムラを補正する \(P. 1372\)](#)

[ON]、[OFF]

[動作調整]

オプションのフィニッシャーや本機の動作を調整します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [フィニッシャーのパンチャーの動作切替] (P. 1036)
- ④ [ホチキスモード時のホチキス実行時間] (P. 1036)
- ④ [スタートキーのタッチ判定時間] (P. 1036)

[フィニッシャーのパンチャーの動作切替]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [動作調整]

パンチャーの速度を優先するか、精度を優先するかを設定します。

※この項目は、オプションが装着されている場合にのみ表示されます。

[速度優先]、[精度優先]

[ホチキスモード時のホチキス実行時間]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [動作調整]

マニュアルステイプルを使用する場合に、用紙束を差し込んでから自動的にホチキスされるまでの時間を設定します。

※この項目は、オプションが装着されている場合にのみ表示されます。

1 ~ 3 ~ 5 秒

[スタートキーのタッチ判定時間]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [動作調整]

操作パネルの画面の [ スタート] をタッチする時間を調整します。設定した時間タッチすると、ボタンが押されたと判定され、処理が開始されます。

-1 ~ 0 ~ +7

[メンテナンス]

本機の清掃を実行したり、清掃方法やメンテナンス方法を動画で確認したりします。

- ④ [本体内のクリーニング] (P. 1037)
- ④ [フィーダーのクリーニング] (P. 1037)
- ④ [定着加圧ローラーのクリーニング] (P. 1037)
- ④ [原稿読み取り部の清掃方法] (P. 1037)
- ④ [メンテナンス方法の確認] (P. 1037)

[本体内のクリーニング]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス]

本機内を清掃します。プリントした用紙にすじや汚れが付いたり、プリント画像の一部が欠けたりする場合に実行します。

[フィーダーのクリーニング]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス]

フィーダーを清掃します。フィーダー使用時に、原稿が汚れたり、原稿がひんぱんにつまったりするなどの症状がみられる場合に実行します。④ **フィーダーを清掃する (P. 1313)**

[定着加圧ローラーのクリーニング]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス]

定着器を清掃します。プリントした用紙が汚れる場合に実行します。

[原稿読み取り部の清掃方法]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス]

原稿読み取りエリアの清掃方法を動画で確認します。

[メンテナンス方法の確認]

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス]

消耗品の交換方法や紙づまりの処理方法を動画で確認します。

🔍 [メンテナンス方法の確認] (P. 1039)

[メンテナンス方法の確認]

消耗品の交換方法や紙づまりの処理方法を動画で確認します。

- ④ [トナー容器の交換] (P. 1039)
- ④ [回収トナー容器の交換] (P. 1039)
- ④ [針の補給 (ホチキス針)] (P. 1039)
- ④ [ドラムユニットの交換] (P. 1039)
- ④ [紙づまりの処理 (例)] (P. 1039)

[トナー容器の交換]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス] ▶ [メンテナンス方法の確認]

トナー容器の交換方法を動画で確認します。この動画は、交換が不要なときでも、交換方法をあらかじめ確認できます。

[回収トナー容器の交換]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス] ▶ [メンテナンス方法の確認]

回収トナー容器の交換方法を動画で確認します。この動画は、交換が不要なときでも、交換方法をあらかじめ確認できます。

[針の補給 (ホチキス針)]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス] ▶ [メンテナンス方法の確認]

ホチキス針の補充方法を動画で確認します。この動画は、補充が不要なときでも、補充方法をあらかじめ確認できます。

[ドラムユニットの交換]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス] ▶ [メンテナンス方法の確認]

ドラムユニットの交換方法を動画で確認します。この動画は、交換が不要なときでも再生できるため、交換方法をあらかじめ確認できます。

[紙づまりの処理 (例)]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス] ▶ [メンテナンス方法の確認]

紙づまりの処理方法を動画で確認します。この動画は、補充が不要なときでも、補充方法をあらかじめ確認できます。

[消耗品レポート出力]

EJ83-120

消耗品に関するレポートをプリントします。

[消耗品ステータス/ログレポート]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [消耗品レポート出力]

本機にセットされている消耗品の状態や交換履歴をプリントします。

※リモート UI では、ポータル画面の [状況確認/中止] ▶ [消耗品ステータス/ログ] からレポートをプリントします。

[ファンクション設定]

プリント／スキャン／ファクス／コピーの機能について設定します。

- ④ [共通] (P. 1042)
- ④ [コピー] (P. 1042)
- ④ [プリンター] (P. 1042)
- ④ [送信] (P. 1042)
- ④ [受信/転送] (P. 1042)
- ④ [ファイル保存/利用] (P. 1043)
- ④ [プリント] (P. 1043)

[共通]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定]

給紙／排紙／プリント／スキャンなど、各機能共通の動作について設定します。

- ④ [共通] (P. 1044)

[コピー]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定]

コピーについて設定します。

- ④ [コピー] (P. 1063)

[プリンター]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定]

プリンターについて設定します。

- ④ [プリンター] (P. 1066)

[送信]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定]

スキャンデータやファクスの送信について設定します。

- ④ [送信] (P. 1071)

[受信/転送]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定]

メール／ファクス／Iファクスの受信や転送について設定します。

🔍 [受信/転送] (P. 1107)

[ファイル保存/利用]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定]

スキャンデータの保存や保存スペース／USB メモリーの使用について設定します。

🔍 [ファイル保存/利用] (P. 1120)

[プリント]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定]

プリントデータの処理／表示やセキュアプリントについて設定します。

🔍 [プリント] (P. 1127)

[共通]

EJ83-0L3

給紙／排紙／プリント／スキャンなど、各機能共通の動作について設定します。

- ④ [給紙動作] (P. 1044)
- ④ [排紙動作] (P. 1044)
- ④ [印刷動作] (P. 1044)
- ④ [スキャン動作] (P. 1044)
- ④ [ファイル生成] (P. 1044)
- ④ [認証方式設定] (P. 1045)

[給紙動作]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通]

給紙の動作について設定します。

- ④ [給紙動作] (P. 1046)

[排紙動作]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通]

排紙の動作について設定します。

- ④ [排紙動作] (P. 1048)

[印刷動作]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通]

プリントの動作について設定します。

- ④ [印刷動作] (P. 1051)

[スキャン動作]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通]

スキャンの動作について設定します。

- ④ [スキャン動作] (P. 1054)

[ファイル生成]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通]

スキャンデータを送信／保存するときのファイルについて設定します。

🔗 [ファイル生成] (P. 1057)

[認証方式設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通]

認証方式について設定します。

🔗 [認証方式設定] (P. 1061)

[給紙動作]

給紙の動作について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [給紙箇所の自動選択の設定] (P. 1046)
- ④ [給紙方法切替] (P. 1046)
- ④ [ジョブ中断時のタイムアウト] (P. 1047)

[給紙箇所の自動選択の設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [給紙動作]

プリントする用紙サイズに応じて、適切な給紙部を本機が自動選択するよう、機能ごとに設定します。④機能ごとに適切な給紙部を使用する (P. 265)

[コピー]

[手差し]

[ON]、[OFF]

その他の給紙部

[ON]、[OFF]

[プリンター]

[手差し]

[ON]、[OFF]

その他の給紙部

[ON]、[OFF]

[グループを使用する]

ON、OFF

[保存ファイルの利用] / [受信/ファクス] / [その他]

[手差し]

[ON]、[OFF]

その他の給紙部

[ON]、[OFF]

[給紙方法切替]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [給紙動作]

ロゴなどが入った用紙にプリントするときの用紙のセット方法を、給紙部ごとに設定します。

そのような用紙を使用する場合、初期設定では、片面プリントするか両面プリントするかによって用紙のセット方法が異なります。[プリント面優先] に設定した給紙部では、片面プリント／両面プリントにかかわらず、常に両面プリントの方法で用紙をセットします。④ロゴ入り用紙をセットする向き (P. 240)

※ [プリント面優先] に設定すると、片面プリントの速度が遅くなります。また、自動用紙選択の設定が無効となります。

[手差し]

[速度優先]、[プリント面優先]

その他の給紙部

[速度優先]、[プリント面優先]

メモ

- 両面プリントできない用紙をセットしている給紙部を [プリント面優先] に設定した場合、[用紙がありません。] が表示されて給紙されないか、[速度優先] の動作になります。

[ジョブ中断時のタイムアウト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [給紙動作]

プリントが中断された場合に、指定した時間が経過すると次の文書をプリントするように設定します。

[ON]、[OFF]

0 ~ 5 ~ 999 分

メモ

- プリントの途中で用紙がなくなった場合は、設定した時間が経過しても次の文書はプリントされません。
- プリントが中断されたデータは残ったままになります。これを自動的に削除する場合は、[中断ジョブの自動削除] を設定します。▶ **[中断ジョブの自動削除] (P. 1051)**

[排紙動作]

排紙の動作について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [排紙トレイの設定] (P. 1048)
- ④ [オプション排紙トレイの ON/OFF] (P. 1048)
- ④ [ジョブ間シフト] (P. 1049)
- ④ [ジョブ間仕切紙] (P. 1049)
- ④ [部数間仕切紙] (P. 1049)
- ④ [ホチキス枚数オーバー時の処理] (P. 1049)
- ④ [1 枚ジョブのシフト] (P. 1050)

[排紙トレイの設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [排紙動作]

排紙トレイをどの機能の出力に使用するかをトレイごとに設定します。同一の機能の出力を複数のトレイで行う場合は、優先順位も指定します。④排紙先の設定 (P. 267)

※この項目は、オプションが装着されている場合にのみ表示されます。

[トレイ A]
[コピー]、[保存ファイルの利用]、[プリンター]、[受信]、[その他]、[ファクス 1]、[ファクス 2]

[トレイ B]
[コピー]、[保存ファイルの利用]、[プリンター]、[受信]、[その他]、[ファクス 1]、[ファクス 2]

[トレイ C]
[コピー]、[保存ファイルの利用]、[プリンター]、[受信]、[その他]、[ファクス 1]、[ファクス 2]

[オプション排紙トレイの ON/OFF]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [排紙動作]

追加で装着した排紙トレイを使用するかどうかを設定します。

※設定項目は、装着しているオプションによって異なります。④対応オプション一覧 (P. 4)

[排紙トレイ 1]
[ON]、[OFF]

[排紙トレイ 2]

[ON]、[OFF]

[ジョブ間シフト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [排紙動作]

プリントデータごとに排紙をずらして仕分けるかどうかを設定します。

※この項目は、オプションが装着されている場合にのみ表示されます。

[ON]、[OFF]

[ジョブ間仕切紙]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [排紙動作]

プリントデータの先頭に指定した用紙を挿し込んで仕分けるかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[変更]

給紙部選択

[部数間仕切紙]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [排紙動作]

指定した部数ごとに、用紙を差し込んで仕分けるように設定します。

ソート（1部ごと）、シフト（ずらし）、またはホチキスを設定してプリントしたときに用紙が挿し込まれます。

[ON]、[OFF]

[変更]

給紙部選択

[部数]

1 ~ 10 ~ 9999

メモ

- 以下の場合は用紙は挿し込まれません。
 - グループ（ページごと）、グループソート、製本を設定している場合
- ※設定できる機能や使用できる用紙は、機種やオプションによって異なります。

[ホチキス枚数オーバー時の処理]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [排紙動作]

ホチキス可能な枚数を超えた場合の処理方法を設定します。

※この項目は、オプションが装着されている場合にのみ表示されます。

[コーナー/ダブル]

[ホチキスせずにプリント]、[プリント中止]

[針なしとじ]

[ホチキスせずにプリント]、[プリント中止]

[1 枚ジョブのシフト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [排紙動作]

1 枚のみのプリントに対し、シフトを設定した場合や複数部数プリントする場合に、用紙をずらして仕分けるかどうかを設定します。

※この設定は、コピーに対しては無効です。

※この項目は、オプションが装着されている場合にのみ表示されます。

[ON]、[OFF]

[印刷動作]

プリントの動作について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [プリント優先順位] (P. 1051)
- ④ [レポート出力のデフォルト設定] (P. 1051)
- ④ [中断ジョブの自動削除] (P. 1051)
- ④ [トナー残量少時の動作] (P. 1052)
- ④ [ドラムユニット寿命間近時の動作] (P. 1052)

[プリント優先順位]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

 [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [印刷動作]

待機中のプリントデータが複数ある場合に、プリントする優先順位を各機能に設定します。
複数の機能に同じ優先順位を設定した場合は、実行された順にプリントされます。

※本機がプリント中の場合、そのプリントが完了するまでは、優先順位が高くてもプリントは開始されません。

[コピー]

[1]、[2]、[3]

[プリンター]

[1]、[2]、[3]

[保存ファイルの利用]

[1]、[2]、[3]

[受信/ファクス]

[1]、[2]、[3]

[その他]

[1]、[2]、[3]

[レポート出力のデフォルト設定]

 [設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [印刷動作]

各種レポートをプリントするときの初期設定を変更します。

- ④ [レポート出力のデフォルト設定] (P. 1053)

[中断ジョブの自動削除]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [印刷動作]

エラーでプリントが中断された場合に、本機に残ったプリントデータを自動的に削除するかどうかを設定します。
自動的に削除する場合は、削除するまでの時間も設定できます。

[ON]、[OFF]
0 ～ 5 ～ 999 分

メモ

- プリントが中断されたデータを残したまま、次のプリントを優先させることもできます。▶ **[ジョブ中断時のタイムアウト] (P.1047)**

[トナー残量少時の動作]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [印刷動作]

トナーの残量が少なくなったときのプリント動作を設定します。[プリント継続] を選択した場合は、画面下部に交換予告メッセージを表示するかどうかを設定できます。

[プリント継続]
[画面下部に交換予告メッセージを表示]
[ON]、[OFF]

[プリンター一時停止]

[ドラムユニット寿命間近時の動作]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [印刷動作]

ドラムユニットが寿命に到達しそうなときのプリント動作を設定します。[プリント継続] を選択した場合は、画面下部に交換予告メッセージを表示するかどうかを設定できます。

[プリント継続]
[画面下部に交換予告メッセージを表示]
[ON]、[OFF]

[プリンター一時停止]

[レポート出力のデフォルト設定]

EJ83-0L7

各種レポートをプリントするときの初期設定を変更します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

[両面プリント]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [印刷動作] ▶ [レポート出力のデフォルト設定]

各種レポートを用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[スキャン動作]

スキャンの動作について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [フィーダー紙づまり発生時の再開方法] (P. 1054)
- ④ [フィーダー重送検知のデフォルト設定] (P. 1054)
- ④ [すじ汚れの除去] (P. 1055)
- ④ [白黒読込時の速度/画質優先] (P. 1055)
- ④ [LTRR/STMT 原稿の区別] (P. 1055)
- ④ [リモートスキャン時のガンマ値] (P. 1055)
- ④ [自動オンライン移行] (P. 1055)
- ④ [自動オフライン移行] (P. 1056)
- ④ [フィーダー使用時の原稿サイズ混載デフォルト設定] (P. 1056)

[フィーダー紙づまり発生時の再開方法]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [スキャン動作]

フィーダーにつまった原稿を処理したあと、原稿のどこからスキャンを再開するかを設定します。

[1 枚目の原稿から] に設定した場合は、すべての原稿をセットしなおしてスキャンを再開します。

[中断された原稿から] に設定した場合は、スキャンされていない原稿のみセットしなおして、スキャンを再開します。どの原稿までスキャンされたか不明な場合は、スキャンを中止してすべての原稿をスキャンしなおすことをおすすめします。

[1 枚目の原稿から]、[中断された原稿から]

重要

ファクスのダイレクト送信中に原稿がつまった場合

- 送信が中止されるため、送信しなおします。

[フィーダー重送検知のデフォルト設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [スキャン動作]

原稿をフィーダーからスキャンするとき、原稿の重なりを自動的に検知するかどうかの初期設定を変更します。

※この設定は、各機能を使用するときに [その他の機能] ▶ [フィーダー重送検知] から変更できます。

※機種によっては、オプションのドキュメントフィーダー用重送検知キット・A が装着されている場合にのみ表示されます。

[ON]、[OFF]

[すじ汚れの除去]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [スキャン動作]

フィーダー使用時にすじ状の汚れが検知された場合、汚れの部分がスキャンされないようにするかどうかを設定します。

※極細線はすじ状の汚れと誤検知されることがあります。

[ON]、[OFF]

[白黒読込時の速度/画質優先]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [スキャン動作]

白黒でスキャン時に、速度と画質のどちらを優先するかを設定します。

[速度優先]、[画質優先]

[LTRR/STMT 原稿の区別]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [スキャン動作]

原稿台ガラスにレター R またはステートメントサイズ of 原稿をセットする場合に、原稿サイズを手動で区別するか、どちらのサイズとして使用するかを設定します。

[手動で区別する]、[LTRR で動作]、[STMT で動作]

[リモートスキャン時のガンマ値]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [スキャン動作]

カラーでスキャンした画像をパソコンに取り込む際のガンマ値を設定します。
パソコン側で使用するディスプレイと同じガンマ値に設定することで、原稿に忠実な画像を表示できます。

[γ1.0]、[γ1.4]、[γ1.8]、[γ2.2]

[自動オンライン移行]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [スキャン動作]

[ホーム] 画面の [リモートスキャナー] を押すだけで本機をオンライン（スキャン待機状態）にするかどうかを設定します。

※本機がオンラインの場合、コピーなどの本機でのスキャン操作ができなくなります。

[ON]、[OFF]

[自動オフライン移行]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [スキャン動作]

本機がオンライン（スキャン待機状態）の場合に、スキャン操作がないままオートクリアが実行されたとき、同時にオフラインにするかどうかを設定します。🔗 **【オートクリア移行時間】 (P. 977)**

※ [オートクリア移行時間] を「0分」（オートクリアしない）に設定している場合に、この設定を [ON] に設定すると、約2分でオフラインに移行します。

[ON]、[OFF]

[フィーダー使用時の原稿サイズ混載デフォルト設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [スキャン動作]

サイズの異なる原稿をフィーダーからスキャンするとき、タテの幅が異なる原稿として扱うかどうかの初期設定を変更します。

※この設定は、各機能を使用するときに [その他の機能] ▶ [原稿サイズ混載] から変更できます。

[コピー]
[ON]、[OFF]

[送信/スキャンして保存]
[ON]、[OFF]

[ファクス]
[ON]、[OFF]

重要

- [コピー] を [ON] に設定した場合、自動用紙選択でコピーすると、[その他の機能] の [移動] の設定は無効になります。

[ファイル生成]

スキャンデータを送信／保存するときのファイルについて設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [高圧縮時の画質レベル] (P. 1057)
- ④ [OCR (文字認識) 設定] (P. 1057)
- ④ [アウトライン設定] (P. 1058)
- ④ [OOXML 設定] (P. 1058)
- ④ [Word ファイルに背景画像を含める] (P. 1058)
- ④ [PDF の下限バージョン指定] (P. 1059)
- ④ [PDF を PDF/A 準拠にする] (P. 1059)
- ④ [暗号化 PDF の 256-bit AES 設定] (P. 1059)
- ④ [PDF 生成時の画像回転] (P. 1059)

[高圧縮時の画質レベル]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [ファイル生成]

PDF（高圧縮）や XPS（高圧縮）のスキャンデータの画質レベルを設定します。

[文字/写真モード、写真モード時]
[データサイズ優先]、[普通]、[画質優先]

[文字モード時]
[データサイズ優先]、[普通]、[画質優先]

[OCR (文字認識) 設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [ファイル生成]

原稿の文字をテキストとして検索できる「サーチャブル PDF」を生成する場合に、原稿の文字と並びの向きを自動的に検知するかどうかを設定します。原稿から抽出した文字列をファイル名に使用する場合に、最初の何文字まで抽出するかも設定できます。

- [原稿向き自動検知] を [ON] に設定すると、生成された PDF をパソコンなどで表示したときに、正しい向きで表示されます。
- [ファイル名 OCR の文字数設定] の文字数は、半角時の文字数です。全角の場合は、2 文字分としてカウントされます。

※ファイル名は、スキャンの画面の [ファイル名] または [その他の機能] ▶ [ファイル名] から変更できます。

[原稿向き自動検知]
[ON]、[OFF]

[ファイル名 OCR の文字数設定]

1 ～ 24 文字

[アウトライン設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [ファイル生成]

スキャンデータが PDF（アウトライン）形式の場合に、原稿に含まれる線画もアウトライン化するかどうかを設定します。アウトライン化する場合は、認識レベルと背景画像の画質も設定します。認識レベルは高くするほどデータサイズも大きくなります。最初は「普通」に設定し、望ましい結果が得られなければ「やや高い」、[高い] の順で認識レベルを上げていくことをおすすめします。

[図形のアウトライン化]

[ON]、[OFF]

[図形と認識するレベル]

[普通]、[やや高い]、[高い]

[背景画質のレベル]

[データサイズ優先]、[普通]、[画質優先]

[OOXML 設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [ファイル生成]

スキャンデータが OOXML（PowerPoint）形式の場合の背景画像の画質、カラー図形の認識レベル、カラー図形で等幅線と認識したときに線に変換するかどうかを設定します。

[背景画質のレベル]

[画質優先]、[標準]、[データサイズ優先]

[カラー図形と認識するレベル]

[高い]、[標準]、[認識しない]

[カラー図形中の等幅線の認識]

[ON]、[OFF]

[Word ファイルに背景画像を含める]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [ファイル生成]

スキャンデータが OOXML（Word）形式の場合に、背景として認識された画像をスキャンデータに含めるかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[PDF の下限バージョン指定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [ファイル生成]

スキャンデータが PDF 形式の場合の、PDF バージョンの下限を設定します。
 スキャンの設定に応じて、ここで設定したバージョンまたはそれより上のバージョンが設定されます。

[指定しない]、[1.5]、[1.6]、[1.7]

[PDF を PDF/A 準拠にする]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [ファイル生成]

スキャンデータが PDF 形式の場合に、PDF/A に準拠するかどうかを設定します。
 PDF/A に準拠すると、PDF の表示が機器や閲覧ソフトによって変わらないことが保証されているため、長期保存に適しています。

※PDF/A に準拠した場合、以下の PDF の機能は設定できません。

- 暗号化
- 可視署名
- OCR (PDF/A-1b を除く)

※ [スキャンして保存] は、[PDF/A-1b] のみ利用できます。

[ON]、[OFF]

[PDF/A-1a]、[PDF/A-1b]、[PDF/A-2a]、[PDF/A-2b]、[PDF/A-2u]、[PDF/A-3a]、[PDF/A-3b]、[PDF/A-3u]

[暗号化 PDF の 256-bit AES 設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [ファイル生成]

スキャンデータが暗号化 PDF 形式の場合に、暗号化レベルを 256-bit AES に設定するときの Adobe Acrobat のバージョンを設定します。

[Acrobat 9.0 相当]、[Acrobat 10.0 相当]

[PDF 生成時の画像回転]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [ファイル生成]

スキャンデータが PDF 形式の場合に、画像を回転させるかどうかを設定します。

[ON] に設定すると、画像を回転させて PDF を生成します。

[OFF] に設定すると、ヘッダーに画像を回転させる情報を付与した PDF を生成します。

[ON]、[OFF]

メモ

- スキャンデータの上下（天地）は [原稿の向き] で設定します。🔗 [サイズ／向きの設定 \(P. 445\)](#)
- [ON] に設定した場合は、ファイル生成に時間がかかる場合があります。
- [ON] に設定しても、PDF の種類や、スキャン時の条件によっては、[OFF] と同様の PDF が生成されることがあります。
- [OFF] に設定して生成した PDF は、PDF ビューアーによっては、正しく回転されずに表示される場合があります。

[認証方式設定]

認証方式について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [LDAP サーバー認証で使用する情報] (P. 1061)
- ④ [SMTP サーバー認証で使用する情報] (P. 1061)
- ④ [ファイル送信/参照時の認証で使用する情報] (P. 1062)

[LDAP サーバー認証で使用する情報]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [認証方式設定]

LDAP サーバーアクセス時に使用する認証情報を設定します。

- [機器設定]：
本機に登録した認証情報を使用します。④ **LDAP サーバーを登録する (P. 125)**
- [本機ログイン時の認証情報]：
ログインユーザーの認証情報を使用します。
本機へのログインと LDAP サーバーへのアクセスに同じ認証情報を使用し、かつログインサービスが統合認証をサポートしている場合に使用できます。ログインサービスが統合認証をサポートしているかについては、販売店または担当サービスにお問い合わせください。
- [ユーザーごとの登録情報]：
ユーザーがそれぞれ登録した認証情報を使用します。
各ユーザーは本機にログインしたあと、[スキャンして送信] ▶ [] ▶ [ユーザーごとの情報の登録/編集] ▶ [LDAP サーバー認証情報] で、LDAP 認証に使用するユーザー名とパスワードを登録します。

[機器設定]、[本機ログイン時の認証情報]、[ユーザーごとの登録情報]

[SMTP サーバー認証で使用する情報]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [認証方式設定]

SMTP サーバーアクセス時に使用する認証情報を設定します。

- [機器設定]：
本機の設定として登録した認証情報を使用する場合や、サーバーアクセス時に認証画面を表示する場合に選択します。
認証情報の設定については、以下を参照してください。
④ **メールサーバーの情報を設定する (P. 400)**

- [ユーザーごとの登録情報] :

ユーザーがそれぞれ登録した認証情報を使用します。

各ユーザーは本機にログインしたあと、[スキャンして送信] ▶ [] ▶ [ユーザーごとの情報の登録/編集] ▶ [SMTP サーバー認証情報] で、SMTP サーバー認証に使用するユーザー名とパスワードを登録します。

※転送時は、この設定にかかわらず、本機の設定として登録した認証情報を使用します。

[機器設定]、[ユーザーごとの登録情報]

[ファイル送信/参照時の認証で使用する情報]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [認証方式設定]

ファイルサーバーアクセス時に使用する認証情報を設定します。

- [標準] :

アドレス帳に登録した認証情報を使用します。  **宛先の登録 - アドレス帳 (P. 270)**

- [本機ログイン時の認証情報] :

ログインユーザーの認証情報を使用します。SMB または WebDAV のファイルサーバーにのみ有効です。

※シンプルログインで本機にログインした場合は、ファイルサーバーアクセス時にユーザー名とパスワードの入力が必要になります。

- [ユーザーごとの登録情報] :

ユーザーがそれぞれ登録した認証情報を使用します。

各ユーザーは本機にログインしたあと、[スキャンして送信] ▶ [] ▶ [ユーザーごとの情報の登録/編集] ▶ [ファイル送信/参照時の認証情報] で、ファイルサーバー認証に使用するユーザー名とパスワードを登録します。

[標準]、[本機ログイン時の認証情報]、[ユーザーごとの登録情報]

[コピー]

コピーについて設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [よく使う設定の登録/編集] (P. 1063)
- ④ [よく使う設定呼出時の確認表示] (P. 1063)
- ④ [デフォルト設定の変更] (P. 1063)
- ④ [「その他の機能」のショートカット登録] (P. 1064)
- ④ [自動ソート] (P. 1064)
- ④ [オートタテヨコ回転] (P. 1065)
- ④ [フィーダー使用時のコピー速度優先] (P. 1065)
- ④ [グループ間仕切紙] (P. 1065)

[よく使う設定の登録/編集]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [コピー]

目的に応じた設定や、覚えておきたい設定を「よく使う設定」としてボタンに登録します。登録したボタンの名前を変更することもできます。

初期設定以外の設定内容を登録するには、コピーの画面で必要な設定をしてからこの項目を選択します。

※この設定は、コピーの画面の [] ▶ [よく使う設定の登録/編集] と同じです。④ 「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)

[M1] ~ [M9]

[登録]

[名称変更]

[削除]

[内容確認]

[よく使う設定呼出時の確認表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [コピー]

「よく使う設定」を呼び出すときに、設定内容を確認する画面を表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[デフォルト設定の変更]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [コピー]

コピーするときの初期設定を、コピーの画面で現在設定している内容に変更します。🔗[初期設定を変更する \(P. 186\)](#)
 コピーの画面で [ リセット] を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

※初期設定を工場出荷時の設定に戻すには、[初期化] を押します。

※この設定は、ログインユーザーごとに設定可能です。

[登録]
[初期化]

[「その他の機能」のショートカット登録]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [コピー]

コピーの画面のボタンを、[その他の機能] または [よく使う設定] のボタンと入れ替えます。🔗[スキャン／ファクス／コピーの画面をカスタマイズする \(P. 178\)](#)

※この設定は、ログインユーザーごとに設定可能です。

ショートカット 1
[仕上げ]
 ショートカット 2
[両面]
 ショートカット 3
[濃度]
 ショートカット 4
[ID カードコピー]
 ショートカット 5
[よく使う設定]

[自動ソート]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [コピー]

フィーダーに原稿をセットしたときに、自動的に [ソート (1 部ごと)] で仕上げるようにするかどうかを設定します。

[シフト (ずらし)] も同時に設定する場合

[シフトも同時に設定] を [ON] に設定します。

※シフト可能なオプション機器を装着している場合に有効です。🔗[仕上げ機能対応オプション一覧 \(P. 8\)](#)

シフト可能なトレイがコピーの排紙先になく、他にある場合は、シフト可能なトレイに排紙されます。排紙トレイの設定どおりに排紙したい場合は、この設定を [OFF] に設定します。

[ON]、[OFF]
[シフトも同時に設定]
[ON]、[OFF]

[オートタテヨコ回転]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [コピー]

セットした原稿と給紙部にセットされている用紙の向きが異なる場合に、給紙部の用紙に合わせて自動的に画像を 90 度回転してコピーするかどうかを設定します。

等倍でコピーする場合、回転できるのは A4 以下の定形サイズのみです。

[ON]、[OFF]

メモ

- 以下の場合は、この設定にかかわらずコピー画像は回転されません。
 - A4/B5/A5 サイズの原稿を A3/B4 サイズの用紙に拡大コピーする場合
 - 原稿サイズ混載が有効になっていて、自動用紙選択が設定されている場合

[フィーダー使用時のコピー速度優先]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [コピー]

フィーダーに原稿をセットしてコピーする場合に、精度よりも速度を優先するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[グループ間仕切紙]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [コピー]

ページ単位で仕分ける「グループ」に設定して複数部コピーする場合、ページごとに仕切紙を挿入するかどうかを設定します。仕切紙を挿入する場合は、仕切紙がセットされた給紙部を設定します。

[ON]、[OFF]

[プリンター]

プリンターについて設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [レポート出力] (P. 1066)
- ④ [プリンター設定] (P. 1067)
- ④ [プリンタージョブの制限] (P. 1067)
- ④ [ページ記述言語選択 (プラグ&プレイ)] (P. 1067)
- ④ [手差し給紙の設定] (P. 1067)
- ④ [封筒フラップ長の設定 (長形 3 号)] (P. 1068)
- ④ [PS パスワードの設定] (P. 1068)
- ④ [仮想プリンター管理] (P. 1069)
- ④ [IPP 印刷のプリセット管理] (P. 1069)
- ④ [PCL エミュレーション利用時の給紙モード切替] (P. 1069)
- ④ [定型文書プリント] (P. 1070)

[レポート出力]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

プリンター動作モードの設定内容やフォントリストなどをプリントします。④登録情報や設定をプリントする (P. 907)

[PCL] *1

[ステータスプリント]

[フォントリスト]

[PS] *1

[ステータスプリント]

[フォントリスト]

[LIPS/エミュレーション] *1

[LIPS ユーティリティ]

[ステータスプリント]

[オーバーレイリスト]

[オーバーレイプリント]

[フォントリスト]

[マクロリスト]

[フォームリスト]

[N201 ユーティリティ]

[ステータスプリント]

[オーバーレイプリント]

[ESC/P ユーティリティ]

[ステータスプリント]

[オーバーレイプリント]

[I5577 ユーティリティ]

[ステータスプリント]

[オーバーレイプリント]

[HP-GL ユーティリティ]

[ステータスプリント]

[サンプルプリント]

[HP-GL/2 ユーティリティ]
[ステータスプリント]
[サンプルプリント]

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[プリンター設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

プリンター機能の仕様に関する設定やプリンター機能の初期化を行います。

▶ **プリンター設定メニュー (P. 1185)**

[プリンタージェョブの制限]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

プリンタードライバーからのプリントを制限するかどうかを設定します。▶ **パソコンからのプリントを禁止する (P. 818)**

[ON]、[OFF]
[許可するジョブの選択]
[プリント保留]

[ページ記述言語選択 (プラグ&プレイ)]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

本機にパソコンを接続した場合に、本機がどのページ記述言語を使用する機器として検出されるかを設定します。

[LIPS4] *1、[LIPSLX]、[PCL6] *1、[PS3] *1、[FAX] *1

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[手差し給紙の設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

手差しトレイからのプリント時に、プリンタードライバーの用紙設定と本機の用紙設定のどちらを優先するかを設定します。プリンタードライバーの用紙設定を優先すると、用紙のサイズと種類の設定が優先されます。用紙種類のみを優先させたい場合は、[プリンタードライバー設定優先] の [用紙種類のみ優先] を選択します。

本機の用紙設定を優先する場合、手差しトレイにフリーサイズを設定したときの動作により、以下のどちらかに設定します。

- 定形サイズ／定形外サイズのどちらでも給紙できるようにするときは [本体設定優先 1] に設定します。
- 定形外サイズのみ、給紙できるようにするときは [本体設定優先 2] に設定します。

[プリンタードライバー設定優先]
[用紙種類のみ優先]

[本体設定優先 1]

[本体設定優先 2]

重要

[プリンタードライバー設定優先] に設定した場合

- 手差しトレイにセットされている用紙とプリンタードライバーの用紙設定が一致していない場合は、紙づまりやプリント不良が発生することがあります。
- 手差しトレイがフリーサイズの場合は、プリンタードライバーで用紙種類を指定します。用紙種類を指定しないと、プリントされなかったり、紙づまりやプリント不良が発生したりすることがあります。

メモ

- プリンタードライバーで指定された用紙サイズと手差しトレイにセットされた用紙サイズが大きく異なる場合は、エラーメッセージが表示されます。

[封筒フラップ長の設定 (長形 3 号)]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

プリンタードライバーの設定に従って手差しトレイから長形 3 号の封筒にプリントする場合に、封筒のフラップ長を設定します。この設定は、手差しトレイに封筒をタテ置きでセットしたときに有効です。

※この設定は、[手差し給紙の設定] を [プリンタードライバー設定優先] に設定してる場合に変更できます。▶ [\[手差し給紙の設定\] \(P. 1067\)](#)

0.0 ~ 30.0 (mm)

[PS パスワードの設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

PS プリンターの制御コマンドをパスワードを入力して使用するよう設定します。

※オプションの有無や他の設定項目の内容によっては、この項目は表示されません。

[SystemParamsPassword]
[StartJobPassword]

メモ

- [SystemParamsPassword] はシステムパラメーターの変更を許可するパスワード、[StartJobPassword] は startjob、exitserver オペレータの実行を許可するパスワードです。詳細については PostScript 言語仕様をご確認ください。

[仮想プリンター管理]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

用紙種類や両面プリントなど、よく使用するプリント設定を仮想プリンターとして登録します。▶[仮想プリンターを使用するための準備 \(P. 361\)](#)

※この項目は、リモート UI からのみ設定できます。

[IPP 印刷のプリセット管理]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

IPP プリントの設定をプリセットとして登録します。▶[IPP プリントの設定を登録する \(P. 672\)](#)

※この項目は、リモート UI からのみ設定できます。

[PCL エミュレーション利用時の給紙モード切替]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

PCL5 で PaperSource コマンドを使用するためのモードを設定します。
PaperSource コマンドの指定は以下の表のとおりになります。

給紙部	モード 0	モード 1	モード 2
Auto	{ec}&l7H	{ec}&l7H	{ec}&l7H
Manual Feed	{ec}&l2H	{ec}&l2H	{ec}&l2H
Multi-Purpose Tray	{ec}&l4H	{ec}&l8H	
Cassette 1 または Right Deck	{ec}&l1H	{ec}&l1H	{ec}&l1H
Cassette 2 または Left Deck	{ec}&l5H	{ec}&l4H	{ec}&l4H
Cassette 3	{ec}&l8H または {ec}&l20H	{ec}&l5H	{ec}&l5H または {ec}&l8H
Cassette 4	{ec}&l9H または {ec}&l21H	{ec}&l20H	{ec}&l9H または {ec}&l20H
Cassette 5	{ec}&l10H または {ec}&l23H	{ec}&l21H	
Optional Deck	{ec}&l22H		{ec}&l21H

※機種によって使用できない給紙部が含まれます。

※表に記載がない PaperSource コマンドを指定した場合は、給紙部は「Auto」の指定になります。

※オプションの有無や他の設定項目の内容によっては、この項目は表示されません。

[モード 0]、[モード 1]、[モード 2]

[定型文書プリント]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

登録済みの画像や文書を簡単に印刷できるようにプリセットとして登録します。🔗[登録している文書を印刷する - 定型文書プリント \(P. 382\)](#)

※この項目は、リモート UI からのみ設定できます。

[送信]

スキャンデータやファクスの送信について設定します。

- ④ [レポート出力] (P. 1071)
- ④ [共通設定] (P. 1071)
- ④ [E メール/I ファクス設定] (P. 1071)
- ④ [ファクス設定] (P. 1071)

[レポート出力]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信]

送受信やファクスの設定内容をプリントします。

- ④ [レポート出力] (P. 1072)

[共通設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信]

スキャン／ファクスの送信機能に共通する設定を行います。

- ④ [共通設定] (P. 1073)

[E メール/I ファクス設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信]

スキャンデータやIファクスの送信について設定します。

- ④ [E メール/I ファクス設定] (P. 1084)

[ファクス設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信]

ファクスの送信について設定します。

- ④ [ファクス設定] (P. 1093)

※この項目は、ファクス機能が搭載されている場合にのみ表示されます。

[レポート出力]

EJ83-0LH

送受信やファクスの設定内容をプリントします。

- ④ [送信/受信ユーザーデータリスト] (P. 1072)
- ④ [ファクスユーザーデータリスト] (P. 1072)

[送信/受信ユーザーデータリスト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [レポート出力]

送受信の設定内容をプリントします。④登録情報や設定をプリントする (P. 907)

[ファクスユーザーデータリスト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [レポート出力]

ファクスの設定内容をプリントします。④登録情報や設定をプリントする (P. 907)

※この項目は、ファクス機能が搭載されている場合にのみ表示されます。

[共通設定]

スキャン／ファクスの送信機能に共通する設定を行います。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [よく使う設定の登録] (P. 1073)
- ④ [よく使う設定の編集] (P. 1074)
- ④ [よく使う設定呼出時の確認表示] (P. 1074)
- ④ [デフォルト画面の変更] (P. 1074)
- ④ [アドレス帳の使用制限] (P. 1075)
- ④ [デフォルト設定の変更] (P. 1075)
- ④ [「その他の機能」のショートカット登録] (P. 1075)
- ④ [送信結果レポート] (P. 1075)
- ④ [通信管理レポート] (P. 1076)
- ④ [発信元記録] (P. 1077)
- ④ [エラージョブクリア] (P. 1077)
- ④ [リトライ回数] (P. 1077)
- ④ [データ圧縮率] (P. 1078)
- ④ [YCbCr 送信のガンマ値] (P. 1078)
- ④ [WebDAV 送信時にチャンク分割送信を使用] (P. 1078)
- ④ [WebDAV 送信時の証明書確認] (P. 1079)
- ④ [FTPS 送信時の証明書確認] (P. 1079)
- ④ [SFTP 送信時のホスト認証] (P. 1079)
- ④ [新規宛先の制限] (P. 1080)
- ④ [送信時に機器署名を必ずつける] (P. 1080)
- ④ [E メール送信を「自分へ送信」に限定] (P. 1080)
- ④ [ファイル送信を「マイフォルダー」に限定] (P. 1081)
- ④ [マイフォルダー指定方法] (P. 1081)
- ④ [履歴からの再送信を制限] (P. 1081)
- ④ [送信文書アーカイブの設定] (P. 1082)
- ④ [ジョブ受付時の確認表示] (P. 1082)
- ④ [ストップ押下時に中止するジョブ] (P. 1082)
- ④ [タイムライン履歴呼出時の宛先追加警告表示] (P. 1083)

[よく使う設定の登録]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

目的に応じた設定や、覚えておきたい設定を「よく使う設定」としてボタンに登録します。

初期設定以外の設定内容を登録するには、スキャン（スキャンして送信）の画面で必要な設定をしてからこの項目を選択します。

※この設定は、スキャン（スキャンして送信）の画面の [] ▶ [よく使う設定の登録] と同じです。④ 「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)

[コメントの表示]
[ON]、[OFF]

[名称]

[コメント]

[よく使う設定の編集]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

「よく使う設定」として登録したボタンの設定内容の確認や削除をします。登録したボタンの名前を変更することもできます。

※この設定は、スキャン（スキャンして送信）の画面の [] ▶ [よく使う設定の編集] と同じです。

[M1] ~ [M18]

[コメントの表示]
[ON]、[OFF]

[削除]

[内容確認]

[名称変更]

[よく使う設定呼出時の確認表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

スキャン（スキャンして送信）の画面で「よく使う設定」を呼び出すときに、設定内容を確認する画面を表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[デフォルト画面の変更]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

[スキャンして送信] を押したときに、最初に表示する画面を設定します。

スキャン（スキャンして送信）の画面で [ リセット] を押したときも、ここで設定した画面に戻ります。

[標準]、[ワンタッチ]、[よく使う設定]、[アドレス帳]

[アドレス帳の使用制限]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

スキャン（スキャンして送信）の画面でアドレス帳とワンタッチボタンを非表示にするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[デフォルト設定の変更]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

スキャンするときの初期設定を、スキャン（スキャンして送信）の画面で現在設定している内容に変更します。▶ **初期設定を変更する (P. 186)**

スキャン（スキャンして送信）の画面で [ リセット] を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

※初期設定を工場出荷時の設定に戻すには、[初期化] を押します。

※この設定は、ログインユーザーごとに設定可能です。

[登録]

[初期化]

[「その他の機能」のショートカット登録]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

スキャン（スキャンして送信）の画面のボタンを、[その他の機能] または [よく使う設定] のボタンと入れ替えます。▶ **スキャン／ファクス／コピーの画面をカスタマイズする (P. 178)**

※この設定は、ログインユーザーごとに設定可能です。

ショートカット 1

[ 両面原稿設定]

ショートカット 2

[ 原稿サイズ混載]

[送信結果レポート]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

送信結果レポートを自動的にプリントするかどうかを設定します。🔗**送受信／エラー時にレポートを自動的にプリントする (P. 904)**

- [ON] に設定すると、送信のたびにレポートがプリントされます。
- プリントする場合は、送信するデータをレポートに含めるかどうかも設定できます。
- この設定は、スキャン（スキャンして送信）の画面の [その他の機能] ▶ [送信結果レポート] にも反映されます。[エラー時のみ] または [OFF] に設定した場合、[「その他の機能」でのプリントを許可] を [ON] にすると、送信時にここから設定を変更できます。

[エラー時のみ]、[ON]、[OFF]

- [エラー時のみ] 選択時：
 - [「その他の機能」でのプリントを許可]
[ON]、[OFF]
 - [送信原稿の表示]
[ON]、[OFF]
- [ON] 選択時：
 - [送信原稿の表示]
[ON]、[OFF]
- [OFF] 選択時：
 - [「その他の機能」でのプリントを許可]
[ON]、[OFF]
 - [送信原稿の表示]
[ON]、[OFF]

[通信管理レポート]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

通信管理レポートを自動的にプリント／送信するかどうかを設定します。🔗**通信管理レポートをプリント／確認する (P. 900)**

通信管理レポートには、スキャンデータ送信とファクス送受信の履歴が含まれます。

- 以下のどちらかのタイミングで、プリント／送信するように設定します。
 - 指定した件数の送信が終了したとき
 - 指定した時刻
- 送信する場合は、[送信先] で指定した宛先に CSV 形式でレポートが送信されます。

[指定通信数]

[プリント]、[送信]、[OFF]
100 ～ 1000 通信

[指定時刻]

[プリント]、[送信]、[OFF]
00:00 ～ 23:59

[送信/受信ジョブ別にプリント]

ON、OFF

[送信先]

[発信元記録]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

以下の発信元情報を、送信先でファクス/Iファクスの上部にプリントされるようにするかどうかを設定します。

- 本機のファクス番号  [ユーザー電話番号の登録] (P. 1102)
- 発信元の名前  [ユーザー略称の登録] (P. 1084)
- 送信日時

[つける] に設定した場合は以下の設定もできます。

- プリント位置を送信ページ内の文字や画像の先頭に合わせる場合は、[印字位置] を [画像の内側] に設定します。送信ページ内の文字や画像の先頭よりも外側にプリントする場合は、[画像の外側] に設定します。
- 宛先表に登録されている宛先の略称もプリントする場合は、[相手先略称の表示] を [ON] に設定します。
- 本機のファクス番号を電話番号として通知する場合は、[電話番号マーク] を [TEL] に設定します。

[つける]、[つけない]

[印字位置]

[画像の内側]、[画像の外側]

[相手先略称の表示]

[ON]、[OFF]

[電話番号マーク]

[FAX]、[TEL]

メモ

- 発信元の名前として、ユーザー略称の代わりに、発信人の名称を使用することもできます。  [発信人の名称登録] (P. 1095)

[エラージョブクリア]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

送信／保存エラーになったデータをメモリーから自動的に削除するかどうかを設定します。

[OFF] に設定した場合、エラーになったデータを [状況確認] 画面の [ジョブ状況] から送信／保存しなおすことができます。

[ON]、[OFF]

[リトライ回数]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

受信側の状況により送信できない場合や、エラーが発生した場合などに、自動的に再送信する回数を設定します。

0～3～5回

メモ

- ファクス送信では、この設定は無効になります。

[データ圧縮率]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

フルカラーまたはグレースケールでスキャンしたデータの圧縮率を設定します。

[低圧縮] を押すと、データ圧縮率が低くなり、[高圧縮] を押すと、データ圧縮率が高くなります。

※設定が有効なファイル形式は JPG/PDF/XPS です。ただし PDF/XPS の場合、ファイルに設定されている追加機能によっては設定が無効になります。

レベル 1～レベル 2～レベル 5

メモ

- ファクス送信では、この設定は無効になります。

[YCbCr 送信のガンマ値]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

カラーまたはグレースケールでスキャンしたデータを YCbCr に変換して送信する場合のガンマ値を設定します。

受信側で使用するディスプレイと同じガンマ値に設定することで、原稿に忠実な画像を表示できます。

[γ1.0]、[γ1.4]、[γ1.8]、[γ2.2]

メモ

- 以下の場合、この設定は無効です。
 - ファイル形式が PDF（高圧縮/アウトライン）または XPS（高圧縮）
 - ファクス送信

[WebDAV 送信時にチャンク分割送信を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

WebDAV サーバーへの送信時に、チャンク分割送信を使用するかどうかを設定します。

チャンク分割送信とは、サイズ不明のファイルを既知の長さのチャンク（かたまり）にして送信する機能です。この機能を使用すると、ファイルサイズの計算が不要なため、送信時間を短縮することができます。

[ON]、[OFF]

重要

- WebDAV サーバーやプロキシサーバー側の条件によって、チャンク分割送信ができない場合があります。

[WebDAV 送信時の証明書確認]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

WebDAV サーバーへの送信で TLS 暗号化通信時に、サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。CN（Common Name）を検証項目に追加することもできます。

[ON]、[OFF]

[検証項目を追加]

[CN]

ON、OFF

重要

- 証明書を検証しない場合、正規ではない証明書でも TLS 暗号化通信を行います。

[FTPS 送信時の証明書確認]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

FTP サーバーへの送信で TLS 暗号化通信時に、サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。CN（Common Name）を検証項目に追加することもできます。

[ON]、[OFF]

[検証項目を追加]

[CN]

ON、OFF

重要

- 証明書を検証しない場合、正規ではない証明書でも TLS 暗号化通信を行います。

[SFTP 送信時のホスト認証]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

SFTP サーバーへの送信時に、接続先の SFTP サーバーを認証するかどうかを設定します。▶ [接続先の SFTP サーバーを認証する \(P. 835\)](#)

※以下は、リモート UI 使用時に設定できる項目です。操作パネルでは、接続先の SFTP サーバーを認証するかどうかの設定のみ行うことができます。

[ON]、[OFF]

[公開鍵の設定]

[ホスト名]

[ファイルのパス]

[新規宛先の制限]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

送信先に指定できる宛先を、登録されている宛先に限定するかどうかを機能ごとに設定します。▶ **指定できる宛先を制限する (P. 808)**

[ON] に設定した機能では、以下の宛先のみ指定できます。

- アドレス帳やワンタッチボタンに登録されている宛先
- 「よく使う設定」に登録されている宛先
- ユーザー情報に登録されているログインユーザーのメールアドレス
- LDAP サーバーに登録されている宛先

[ファクス] *1

[ON]、[OFF]

[E メール]

[ON]、[OFF]

[I ファクス]

[ON]、[OFF]

[ファイル]

[ON]、[OFF]

*1 ファクス機能が搭載されている場合にのみ表示されます。

[送信時に機器署名を必ずつける]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

PDF ファイルや XPS ファイルを送信する際に、機器署名を必ず付けるかどうかを設定します。

[ファイル形式を制限] を [ON] に設定した場合、送信できるファイルの形式が PDF/XPS に限定されます。

[ON]、[OFF]

[ファイル形式を制限]

[ON]、[OFF]

[E メール送信を「自分へ送信」に限定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

メール送信時の宛先を、ユーザー情報に登録されているログインユーザーのメールアドレスに限定するかどうかを設定します。[▶送信先をログインユーザーのメールアドレス／マイフォルダーに限定する \(P. 811\)](#)

※この設定は、「GeneralUser」権限のユーザーがメール送信する場合に適用されます。

[ON]、[OFF]

[ファイル送信を「マイフォルダー」に限定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

ファイル送信時の保存先を、ログインユーザー専用のフォルダー（マイフォルダー）に限定するかどうかを設定します。[▶送信先をログインユーザーのメールアドレス／マイフォルダーに限定する \(P. 811\)](#)

※この設定は、「GeneralUser」権限のユーザーがファイル送信する場合に適用されます。

[ON]、[OFF]

[マイフォルダー指定方法]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

マイフォルダーをどのように指定するかを設定します。[▶マイフォルダーを設定する \(P. 749\)](#)

※ [ファイル保存/利用] と同じ設定です。[▶ \[マイフォルダー指定方法\] \(P. 1125\)](#)

[ホームフォルダー]、[ユーザーごとに登録]、[ログインサーバーで管理]

- [ホームフォルダー] 選択時：

[設定]

[プロトコル]

[ホスト名]

[フォルダーのパス]

[ユーザーごとの認証情報を使用]

ON、OFF

- [ログインサーバーで管理] 選択時：

[ユーザーごとの認証情報を使用]

ON、OFF

[履歴からの再送信を制限]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

スキャンやファクスの送信履歴を使用した宛先指定を制限するかどうかを設定します。  **指定できる宛先を制限する (P. 808)**

※この項目は、ファクス機能が搭載されている場合にのみ表示されます。

[ON]、[OFF]

[送信文書アーカイブの設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

送信したファクスの内容が、あらかじめ指定した宛先に自動的に転送／保存されるようにするかどうかを設定します。  **送信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 494)**

[ON] に設定した場合は、転送／保存する宛先と、必要に応じてフォルダー名／ファイル形式も設定します。

※フォルダー名は、宛先がファイルサーバーの場合に設定します。

※この項目は、ファクス機能が搭載されている場合にのみ表示されます。

[送信文書アーカイブを使用]

[ON]、[OFF]

[送信先]

[フォルダー名]

[**送信元情報**]、[日付]、[指定なし]

[ファイル形式]

[TIFF]、[PDF]

[ジョブ受付時の確認表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

スキャンデータやファクスの送信をはじめ、本機で行われる処理はジョブとして管理されています。スキャンやファクスの操作を実行したあとに、ジョブとして受け付けられたことを確認する画面を表示するかどうかを設定します。

[ON] に設定すると、その画面から送信状況や履歴の確認画面を表示できるようになります。

[ON]、[OFF]

[ストップ押下時に中止するジョブ]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

スキャンやファクスの操作を実行したあと、[ ストップ] を押したときに、中止の対象となるジョブを設定します。

[送信中のジョブ] を選択した場合、複数の回線で同時にファクス送信中のときは、その中で一番新しいジョブが中止の対象となります。

[最後に投入したジョブ]、[送信中のジョブ]

[タイムライン履歴呼出時の宛先追加警告表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

タイムラインから呼び出した設定履歴に宛先を追加するときに、警告を表示するかどうかを設定します。

[ON] に設定すると、以前に設定した宛先を残すかどうかの警告画面が表示されます。

[ON]、[OFF]

[E メール/I ファクス設定]

スキャンデータやIファクスの送信について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [ユーザー略称の登録] (P. 1084)
- ④ [通信設定] (P. 1084)
- ④ [SMTP 送信/POP 受信のポート番号指定] (P. 1085)
- ④ [S/MIME 設定] (P. 1086)
- ④ [SMTP 送信時の証明書確認] (P. 1086)
- ④ [POP 受信時の証明書確認] (P. 1086)
- ④ [送信データサイズ上限値] (P. 1087)
- ④ [省略時の件名] (P. 1087)
- ④ [宛先の名称を件名に使用] (P. 1087)
- ④ [認証ユーザー宛先を返信先に指定] (P. 1088)
- ④ [認証ユーザー宛先を E メールを送信元に指定] (P. 1088)
- ④ [認証ユーザー宛先を I ファクスの送信元に指定] (P. 1088)
- ④ [E メールアドレス未登録ユーザーによる送信を許可] (P. 1089)
- ④ [Full モードの送信タイムアウト] (P. 1089)
- ④ [MDN/DSN 受信時の印刷] (P. 1089)
- ④ [サーバーの経由を使用] (P. 1090)
- ④ [サーバーを経由しない MDN を許可] (P. 1090)
- ④ [送信先ドメイン制限] (P. 1090)
- ④ [E メールアドレスの入力補完] (P. 1091)
- ④ [宛先にドメインを追加] (P. 1091)

[ユーザー略称の登録]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

メール/Iファクスの送信者名を登録します。

登録した送信者名は、メールアドレスと併せて宛先に通知されます。

送信者名を登録していない場合は、メールアドレスのみ通知されます。

メモ

- 通知されるメールアドレス (From) は、[認証ユーザー宛先を E メールを送信元に指定] や [認証ユーザー宛先を I ファクスの送信元に指定] の設定により、本機またはログインユーザーのメールアドレスになります。
 - ④ [認証ユーザー宛先を E メールを送信元に指定] (P. 1088)
 - ④ [認証ユーザー宛先を I ファクスの送信元に指定] (P. 1088)

[通信設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

メールやIファクスで使用するメールサーバーと、認証方法や暗号化通信を設定します。▶ **メールサーバーの情報を設定する (P. 400)**

※本機が受信できるのは、Iファクスと通信時のエラーメールのみです。

[E メールアドレス]

[SMTP サーバー]

[POP 受信を使用]

[ON]、[OFF]

[SMTP 受信を使用]

[ON]、[OFF]

[POP サーバー]

[POP ログイン名]

[POP パスワード]

[POP 発行間隔]

0 ～ 99 分 (「0」は自動受信しない)

[SMTP 送信]

[ON]、[OFF]

[SMTP 受信]

[常に TLS]、[ON]、[OFF]

[POP]

[ON]、[OFF]

[POP 認証方式]

[標準]、[APOP]、[POP AUTH]

[SMTP 認証 (SMTP AUTH)]

[ON]、[OFF]

[ユーザー名]

[パスワード]

[送信前の POP 認証]

[ON]、[OFF]

[送信時に認証画面を表示]

[ON]、[OFF]

[SMTP 送信/POP 受信のポート番号指定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

SMTP 送信／POP 受信時に使用するポート番号を設定します。

[SMTP 送信]

1 ~ 25 ~ 65535

[POP 受信]

1 ~ 110 ~ 65535

[S/MIME 設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

S/MIME を設定して、メール/I ファクスを暗号化したり電子署名を付けたりします。▶ **メールを S/MIME で暗号化する (P. 833)**

※暗号化で使用する公開鍵証明書（S/MIME 証明書）をあらかじめ登録する必要があります。▶ **S/MIME 証明書を登録する (P. 804)**

[暗号化設定]

[常に暗号化]、[証明書があるときのみ]、[暗号化しない]

[デジタル署名をつける]

[ON]、[OFF]

[詳細設定]

[暗号化アルゴリズム]

[3DES]、[AES128]、[AES256]

[署名アルゴリズム]

[SHA1]、[SHA256]、[SHA384]、[SHA512]

[受信時の署名検証]

[ON]、[OFF]

[受信時の署名印刷]

[ON]、[OFF]

[SMTP 送信時の証明書確認]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

SMTP サーバーへの送信で TLS 暗号化通信時に、サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。CN（Common Name）を検証項目に追加することもできます。

[ON]、[OFF]

[検証項目を追加]

[CN]

ON、OFF

重要

- 証明書を検証しない場合、正規ではない証明書でも TLS 暗号化通信を行います。

[POP 受信時の証明書確認]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

POP3 サーバーからの受信で TLS 暗号化通信時に、サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。CN (Common Name) を検証項目に追加することもできます。

[ON]、[OFF]
[検証項目を追加]
[CN]
ON、OFF

重要

- 証明書を検証しない場合、正規ではない証明書でも TLS 暗号化通信を行います。

[送信データサイズ上限値]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

メールや I ファクスで送信できるデータサイズの上限値を設定します。

※メールサーバーのデータ上限値を超えない値を設定します。

0 ~ 3 ~ 99 MB (「0」は上限なし)

メモ

- 送信するデータサイズが上限値を超えた場合、複数のメールに分割して送信されます。I ファクスの場合は、送信エラーになります。
- サーバーを経由しないで I ファクスを送信した場合は、この設定にかかわらず、送信されるデータサイズは制限されません。

[省略時の件名]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

メールや I ファクスに件名を設定しないで送信した場合に、自動的に付与する件名を設定します。

Attached Image

[宛先の名称を件名に使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

メール送信時の件名に、アドレス帳に登録されている宛先の [名称] を指定するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

メモ

- 同報送信の場合、この設定を [ON] にしても、[省略時の件名] が設定されます。
- グループを宛先として指定した場合、個人宛先表・ユーザーグループ宛先表・リモートアドレス帳・LDAP サーバーの宛先は [省略時の件名] が設定されます。

[認証ユーザー宛先を返信先に指定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

メールや I ファクス送信時の返信先 (Reply-To) に、ログインユーザーのメールアドレスを使用するかどうかを設定します。
[OFF] に設定すると、返信先には送信元として通知するメールアドレスが指定されます。

[ON]、[OFF]

メモ

- この設定を [ON] にしても、送信画面の [その他の機能] の [返信先] でメールアドレスを設定した場合は、設定したメールアドレスが返信先として使用されます。

[認証ユーザー宛先を Eメールの送信元に指定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

メール送信時の送信元 (From や Return-Path) に、ログインユーザーのメールアドレスを指定するかどうかを設定します。
[OFF] に設定すると、送信元には本機に設定されたメールアドレスが指定されます。

※ From ヘッダーと Return-Path ヘッダーで指定されたメールアドレスが一致していない場合、送信先の環境によっては送信できないことがあります。

※ [From ヘッダー] と [Return-Path ヘッダー] の両方を [OFF] に設定した場合は、[E メールアドレス未登録ユーザーによる送信を許可] の設定にかかわらず、メールアドレスを登録していないユーザーによる送信が可能となります。

[From ヘッダー]
[ON]、[OFF]

[Return-Path ヘッダー]
[ON]、[OFF]

[認証ユーザー宛先を Iファクスの送信元に指定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

I ファクス送信時の送信元（From や Return-Path）に、ログインユーザーのメールアドレスを指定するかどうかを設定します。

[OFF] に設定すると、送信元には本機に設定されたメールアドレスが指定されます。

※From ヘッダーと Return-Path ヘッダーで指定されたメールアドレスが一致していない場合、送信先の環境によっては送信できないことがあります。

[From ヘッダー]

[ON]、[OFF]

[Return-Path ヘッダー]

[ON]、[OFF]

[E メールアドレス未登録ユーザーによる送信を許可]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

ユーザー認証を使用している場合、メールアドレスを登録していないユーザーのメール送信を許可するかどうかを設定します。

許可しない場合は、この設定を [OFF] に設定し、[認証ユーザー宛先を E メールを送信元に指定] を [ON] に設定します。

🔗 **[認証ユーザー宛先を E メールを送信元に指定] (P. 1088)**

[ON]、[OFF]

メモ

- この設定を [ON] に設定した場合、[認証ユーザー宛先を E メールを送信元に指定] の設定にかかわらず、メールアドレスを登録していないユーザーのメール送信時の送信元には、本機に設定されたメールアドレスが指定されます。

[Full モードの送信タイムアウト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

I ファクスを Full モードで送信しても MDN（送信結果の通知メール）が届かない場合に、送信結果待ちの状態を終了する時間を設定します。

1 ~ 24 ~ 99 時間

[MDN/DSN 受信時の印刷]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

I ファクスの Full モードでは、受信側やメールサーバーから MDN/DSN（送信結果／配送確認の通知メール）が送信されます。この通知メールを受信したときにプリントするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

メモ

- I ファクスの送信が成功したかどうかは、送信結果レポートからも確認できます。🔗[送受信／エラー時にレポートを自動的にプリントする \(P. 904\)](#)

[サーバーの経由を使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

メールサーバーを経由しないで I ファクスを送信できるようにするかどうかを設定します。

[ON] に設定すると、I ファクスの宛先入力時に [サーバーの経由] が表示され、設定を変更できるようになります。

※同じローカルエリアネットワーク上の機器が宛先の場合は、直接送信すると、メールサーバーへの負担が軽減されます。

※この設定を [ON] にした場合は、メールサーバーを経由しないで I ファクスを送信したときに送信結果を確認できるよう、[サーバーを経由しない MDN を許可] も [ON] にすることをおすすめします。🔗[\[サーバーを経由しない MDN を許可\] \(P. 1090\)](#)

[ON]、[OFF]

[サーバーを経由しない MDN を許可]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

I ファクスの MDN（送信結果の通知メール）を、メールサーバーを経由せずに受信側から本機へ直接送信できるようにするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[送信先ドメイン制限]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

メールや I ファクスの送信先を、指定したドメインのアドレスのみに制限するかどうかを設定します。🔗[送信先を特定ドメインに限定する \(P. 809\)](#)

[送信先ドメインを制限]

[ON]、[OFF]

[登録]

[ドメイン名]

[サブドメインへの送信]

[詳細/編集]

[削除]

[E メールアドレスの入力補完]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

メールアドレスを入力中に、登録されているメールアドレスを候補として表示するかどうかを設定します。
本機のアドレス帳/LDAP サーバーに登録されているメールアドレスのうち、入力した文字列から始まるアドレスを表示できます。

※LDAP サーバーを複数登録している場合は、検索する LDAP サーバーをプルダウンメニューから選択します。

[OFF]、[アドレス帳 (ローカル)]、[LDAP サーバー]

メモ

- アクセス番号が設定されている宛先のメールアドレスは表示されません。

[宛先にドメインを追加]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [E メール/I ファクス設定]

メールや I ファクスの送信時に自動付与するドメイン名を登録します。
メールアドレスの@より前の部分を入力して送信すると、@を含むドメイン名が付与されるようになります。

例：「123@example.com」へ送信する場合

この項目でドメイン名「example.com」を設定します。

宛先に「123」のみ指定して送信すると、「123@example.com」が宛先となります。

※宛先に@を含む文字列を指定した場合は、ドメインを付与しないで送信されます。

[ドメイン名]

[E メール宛先]

[ON]、[OFF]

[I ファクス宛先]

[ON]、[OFF]

メモ

- アドレス帳にドメインを省略したアドレスを登録している場合に、アドレス帳をエクスポートして他機にインポートするときは、インポートする他機でこの設定を同じに設定する必要があります。設定が異なる場合は、正しく送信できません。

[ファクス設定]

ファクスの送信について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [よく使う設定の登録] (P. 1093)
- ④ [よく使う設定の編集] (P. 1094)
- ④ [よく使う設定呼出時の確認表示] (P. 1094)
- ④ [デフォルト画面の変更] (P. 1094)
- ④ [アドレス帳の使用制限] (P. 1094)
- ④ [デフォルト設定の変更] (P. 1095)
- ④ [「その他の機能」のショートカット登録] (P. 1095)
- ④ [発信人の名称登録] (P. 1095)
- ④ [認証ユーザー名を発信人として使用] (P. 1096)
- ④ [オフフックアラーム] (P. 1096)
- ④ [ECM 送信] (P. 1096)
- ④ [ポーズ時間セット] (P. 1097)
- ④ [自動リダイヤルの設定] (P. 1097)
- ④ [送信前のダイヤルトーン確認] (P. 1098)
- ④ [ファクス送信結果レポート] (P. 1098)
- ④ [ファクス通信管理レポート] (P. 1098)
- ④ [回線設定] (P. 1099)
- ④ [送信スタートスピード] (P. 1099)
- ④ [FIS スイッチ] (P. 1099)
- ④ [モデムダイヤルイン設定] (P. 1099)
- ④ [ファクス番号入力時の確認入力 (誤送信防止)] (P. 1100)
- ④ [ファクスドライバーからの送信を許可] (P. 1100)
- ④ [ファクス宛先を含む場合に確認画面を表示] (P. 1100)
- ④ [ファクス宛先を含む同報送信を制限] (P. 1100)
- ④ [リモートファクス送信設定] (P. 1104)
- ④ [リモートファクス設定] (P. 1101)
- ④ [VoIP 通信エラーの低減設定] (P. 1101)

[よく使う設定の登録]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

目的に応じた設定や、覚えておきたい設定を「よく使う設定」としてボタンに登録します。
初期設定以外の設定内容を登録するには、ファクスの画面で必要な設定をしてからこの項目を選択します。

※この設定は、ファクスの画面の [] ▶ [よく使う設定の登録] と同じです。④ 「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)

[M1] ~ [M18]

[コメントの表示]

[ON]、[OFF]

[名称]

[コメント]

[よく使う設定の編集]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

「よく使う設定」として登録したボタンの設定内容の確認や削除をします。登録したボタンの名前を変更することもできます。

※この設定は、ファクスの画面の [] ▶ [よく使う設定の編集] と同じです。

[M1] ~ [M18]

[コメントの表示]

[ON]、[OFF]

[削除]

[内容確認]

[名称変更]

[よく使う設定呼出時の確認表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ファクスの画面で「よく使う設定」を呼び出すときに、設定内容を確認する画面を表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[デフォルト画面の変更]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

[ファクス] を押したときに、最初に表示する画面を設定します。

ファクスの画面で [ リセット] を押したときも、ここで設定した画面に戻ります。

[標準]、[アドレス帳]、[よく使う設定]

[アドレス帳の使用制限]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ファクスの画面でアドレス帳とワンタッチボタンを非表示にするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[デフォルト設定の変更]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ファクスするときの初期設定を、ファクスの画面で現在設定している内容に変更します。🔗[初期設定を変更する \(P. 186\)](#)
ファクスの画面で [ リセット] を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

※初期設定を工場出荷時の設定に戻すには、[初期化] を押します。

※この設定は、ログインユーザーごとに設定可能です。

[登録]
[初期化]

「その他の機能」のショートカット登録

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ファクスの画面のボタンを、[その他の機能] または [よく使う設定] のボタンと入れ替えます。🔗[スキャン／ファクス／コピーの画面をカスタマイズする \(P. 178\)](#)

※この設定は、ログインユーザーごとに設定可能です。

ショートカット 1
[濃度]
ショートカット 2
[原稿の種類]
ショートカット 3
[両面原稿設定]
ショートカット 4
[原稿サイズ混載]

[発信人の名称登録]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ファクス送信時に、発信元として使用する名称を登録します。

登録する番号（01～99）を指定して登録します。

登録した名称は、ファクス送信時に発信元として選択できるようになります。🔗 [発信元の名称を選択する \(P. 534\)](#)

[登録/編集]

[削除]

メモ

ログインユーザー名を発信元として使用する場合

- [発信人の名称登録] で名称を登録する必要はありません。本機にログインしている場合は、ファクスの画面の [その他の機能] ▶ [発信人] の「100」にログインユーザー名が表示されます。

[認証ユーザー名を発信人として使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ファクス送信時に、発信元として使用する名称の初期設定をログインユーザー名とするかどうかを設定します。

[ON] に設定すると、本機にログインしている場合は、ファクスの画面の [その他の機能] ▶ [発信人] の初期設定がログインユーザー名になります。

[ON]、[OFF]

メモ

- [OFF] に設定した場合、[発信人] の初期設定はユーザー略称になります。🔗 [ユーザー略称の登録 \(P. 1084\)](#)

[オフフックアラーム]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ハンドセットが外れたままになっている場合に警告音を鳴らすかどうかを設定します。

※この設定は回線 1（標準回線）にのみ反映されます。増設した回線には反映されません。

※この項目は、オプションが装着されている場合にのみ表示されます。

[ON]、[OFF]

[ECM 送信]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ECM (Error Correction Mode) とは、画像の送信中にエラーが発生した場合に、乱れた画像をそのまま送信しないよう、チェックと修正を行う機能です。ECM 機能を使用してファクスを送信するかどうかを設定します。

- ECM 機能は、送信側と受信側でエラーのチェックを行いながら通信するため、相手機側でも ECM 機能を有効にする必要があります。
- ECM 送信は、エラーのチェックと修正を行いながら通信するため、通常よりも通信時間がかかることがあります。また、ECM 送信を有効にしても、電話回線の状態によってはエラーが発生することがあります。
- アドレス帳の宛先に ECM 送信する場合、[ECM 送信] を [ON] にして登録する必要があります。📍[宛先の登録 - アドレス帳 \(P. 270\)](#)
- 本機で受信するときのエラーを軽減したい場合は、ECM 受信を有効にします。📍[\[ECM 受信\] \(P. 1116\)](#)

[ON]、[OFF]

[ポーズ時間セット]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

番号と番号の間に入力するポーズ（待ち時間）の秒数を設定します。

- 海外にファクスを送信する場合は、国際アクセス番号、国番号、ファクス番号の順に宛先を入力します。うまくつながらない場合は、番号と番号の間にポーズを入れます。
- ポーズを入れてもつながらない場合に、ポーズの時間を変更します。

1 ~ 2 ~ 15 秒

メモ

- ファクス番号の末尾にポーズを入れた場合、ポーズ時間は 10 秒（固定）になります。

[自動リダイヤルの設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

相手が通話中などの理由でファクスを送信できなかった場合に、自動的にリダイヤルするかどうかを設定します。

自動的にリダイヤルする場合は、リダイヤルする回数や間隔、送信エラーが起きた場合にリダイヤルで送信するページも設定できます。

[ON]、[OFF]

[詳細設定]

[リダイヤル回数]

1 ~ 2 ~ 15 回

[リダイヤル間隔]

2 ~ 99 分

[送信エラー時リダイヤル]

[1 ページとエラーページ]、[全ページ]、[OFF]

[送信前のダイヤルトーン確認]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ファクス送信する前に、発信音を確認してからダイヤルするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[ファクス送信結果レポート]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ファクス送信結果レポートを自動的にプリントするかどうかを設定します。▶[送受信／エラー時にレポートを自動的にプリントする \(P. 904\)](#)

- [ON] に設定すると、送信のたびにレポートがプリントされます。
- プリントする場合は、送信するデータをレポートに含めるかどうかも設定できます。

[エラー時のみ]、[ON]、[OFF]
 [送信原稿の表示]
 [ON]、[OFF]

[ファクス通信管理レポート]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ファクス通信管理レポートを自動的にプリント／送信するかどうかを設定します。▶[通信管理レポートをプリント／確認する \(P. 900\)](#)

- 以下のどちらかのタイミングで、プリント／送信するように設定します。
 - 指定した件数の送信が終了したとき
 - 指定した時刻
- 送信する場合は、[送信先] で指定した宛先に CSV 形式でレポートが送信されます。

[指定通信数]
 [プリント]、[送信]、[OFF]
 40 ～ 1000 通信

[指定時刻]
 [プリント]、[送信]、[OFF]
 00:00 ～ 23:59

[送信/受信ジョブ別にプリント]
 ON、OFF

[送信先]

[回線設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

各回線のファクス番号／ユーザー略称や、優先して使用する回線を設定します。

🔗 [回線設定] (P. 1102)

[送信スタートスピード]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

電話回線の状態が悪いなど、送信が始まるまでに時間がかかることがあります。その場合に、通信開始速度を順に下げて調整します。

[33600bps]、[14400bps]、[9600bps]、[7200bps]、[4800bps]、[2400bps]

メモ

エラーが発生しやすい相手や回線の場合

- [VoIP 通信エラーの低減設定] も合わせて設定します。 🔗 [VoIP 通信エラーの低減設定] (P. 1101)

[FIS スイッチ]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

FIS（ファクシミリインプットサービス）を利用するかどうかを設定します。FIS については、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

[ON]、[OFF]

[モデムダイヤルイン設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

1 本の電話回線に 2 つの番号を持たせる、モデムダイヤルインを使用するかどうかを設定します。

※本機をリモートファクスのクライアント機として使用する場合、サーバー機と同じ設定にします。

※モデムダイヤルインを使用するには、電話会社とダイヤルインの契約が必要です。

[回線 n] *1

[ON]、[OFF]

*1 表示される回線数は、オプションの装着状態によって異なります。

[ファクス番号入力時の確認入力 (誤送信防止)]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ファクス番号を入力したときに、番号を再入力する画面を表示するかどうかを設定します。🔗[送信前にファクス番号を確認する \(P. 813\)](#)

[ON]、[OFF]

[ファクスドライバーからの送信を許可]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

パソコンからのファクス送信 (PC ファクス) を許可するかどうかを設定します。🔗[パソコンからのファクス送信を禁止する \(P. 812\)](#)

[ON]、[OFF]

[ファクス宛先を含む場合に確認画面を表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

宛先にファクス番号が含まれる場合、送信時に宛先の確認画面を表示するかどうかを設定します。🔗[送信前にファクス番号を確認する \(P. 813\)](#)

確認画面を表示する場合は、宛先に複数のファクス番号が含まれるとき (同報送信) のみ表示するかどうかを設定できます。

[ON]、[OFF]

確認画面の表示対象

[**同報送信時のみ**]、[すべて]

[ファクス宛先を含む同報送信を制限]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

宛先にファクス番号が含まれる場合、複数の宛先への送信 (同報送信) を禁止するかどうかを設定します。🔗[複数の宛先へのファクス送信を禁止する \(P. 812\)](#)

[ON]、[OFF]

[リモートファクス送信設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

リモートファクスのクライアント機能を設定します。

④ [リモートファクス送信設定] (P. 1104)

※この項目は、オプションが装着されている場合にのみ表示されます。

[リモートファクス設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

リモートファクスのサーバー機能を設定します。

④ [リモートファクス設定] (P. 1106)

[VoIP 通信エラーの低減設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

通信エラーが発生しやすい VoIP 通信環境で、より確実にファクスを送受信したい場合は、[ON] に設定します。

[ON] に設定すると、以下の項目で通信速度が [14400bps] 以下に制限されます。

- 宛先ごとの送信速度の設定 ④ **ファクスの宛先の設定** (P. 310)
- 送信速度の設定 ④ **[送信スタートスピード]** (P. 1099)
- 受信速度の設定 ④ **[受信スタートスピード]** (P. 1118)

[ON]、[OFF]

[回線設定]

各回線のファクス番号／ユーザー略称や、優先して使用する回線を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

④ [回線 1] ～ [回線 n] (P. 1102)

④ [送信回線の選択] (P. 1103)

[回線 1] ～ [回線 n]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [回線設定]

各回線のファクス番号／ユーザー略称／回線種類などを設定します。

※表示される回線数は、[モデムダイヤルイン設定] によって異なります。

※ファクス番号／ユーザー略称は、発信元情報として相手に通知されます。④ [発信元記録] (P. 1077)

[ユーザー電話番号の登録]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [回線設定] ▶ [回線 1] ～ [回線 n]

ファクス番号を登録します。

[ユーザー略称の登録]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [回線設定] ▶ [回線 1] ～ [回線 n]

相手に通知する名前（ユーザー略称）を登録します。

[回線種類の選択]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [回線設定] ▶ [回線 1] ～ [回線 n]

接続する電話回線の種類を設定します。

※モデムダイヤルイン設定で増設した回線では設定できません。

[自動]、[手動]

[ダイヤル 20PPS]、[ダイヤル 10PPS]、[プッシュ(トーン)]

[回線選択画面での回線名称の編集]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [回線設定] ▶ [回線 1] ~ [回線 n]

回線を選択するときに表示される回線の名前を登録します。●**本機でファクスを送受信するための準備 (P. 486)**

※回線は、ファクスの画面の [その他の機能] ▶ [回線選択] から選択します。

[回線選択時のデフォルト宛先表の選択]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [回線設定] ▶ [回線 1] ~ [回線 n]

アドレス帳を使用してファクス送信する場合に、初期設定として表示される宛先表の種類を設定します。
回線を切り替えると、設定されている宛先表が表示されます。

[宛先表 1] ~ [宛先表 10]、[管理者用宛先表]、[すべての宛先表]

[送信回線の選択]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [回線設定]

ファクス送信時に優先して使用する回線を指定します。
回線ごとに使用を禁止することもできます。

※回線を指定している場合は、指定した回線で送信されます。

[回線 1]
[優先送信]、[送信禁止]

[回線 n] *1
[優先送信]、[送信禁止]

*1 表示される回線数は、オプションの装着状態や [モデムダイヤルイン設定] によって異なります。

重要

- モデムダイヤルインにより増設された回線が [優先送信] だった場合、この回線の [モデムダイヤルイン設定] を [OFF] に変更すると、元の回線が [優先送信] に設定されます。
- [回線 1] を [送信禁止] に設定した場合でも、手動送信やプッシュホンサービスの通信には、[回線 1] が使用されま
す。

[リモートファクス送信設定]

リモートファクスのクライアント機能を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [リモートファクスサーバーアドレス] (P. 1104)
- ④ [送信タイムアウト] (P. 1104)
- ④ [送信回線数] (P. 1104)
- ④ [回線指定] (P. 1104)
- ④ [IP ファクスを使用] (P. 1105)
- ④ [IP ファクスの通信モード設定] (P. 1105)

[リモートファクスサーバーアドレス]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [リモートファクス送信設定]

リモートファクスのサーバー機の IP アドレスまたはホスト名を設定します。

[送信タイムアウト]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [リモートファクス送信設定]

送信を開始してからタイムアウトになるまでの時間を設定します。設定した時間、リモートファクスのサーバー機からの応答がないときは、送信を中止します。

1 ~ 24 ~ 99 時間

[送信回線数]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [リモートファクス送信設定]

リモートファクス送信時に選択できる回線数を設定します。
サーバー機に接続されている電話回線の数と同じ回線数を設定します。

1 ~ 4 (回線)

[回線指定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [リモートファクス送信設定]

リモートファクス送信に使用する回線を指定します。

[自動]

[回線 1] ~ [回線 n] *1

*1 表示される回線数は、[送信回線数] と [モデムダイヤルイン設定] によって異なります。

[IP ファクスを使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [リモートファクス送信設定]

IP ファクスを使用するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[IP ファクスの通信モード設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [リモートファクス送信設定]

IP ファクス送信時に使用する通信モードを設定します。

[イントラネットを使用]

[ON]、[OFF]

[VoIP ゲートウェイを使用]

[ON]、[OFF]

[NGN を使用]

[ON]、[OFF]

[NGN マイナンバーを使用]

[ON]、[OFF]

[リモートファクス設定]

EJ83-0LS

リモートファクスのサーバー機能を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

④ [リモートファクスを使用] (P. 1106)

[リモートファクスを使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ [リモートファクス設定]

本機をリモートファクスのサーバー機として使用するかどうかを設定します。

※本機をリモートファクスのサーバー機として使用する場合は、[専用ポート設定] を [ON] に設定している必要があります。▶ [専用ポート設定] (P. 983)

[ON]、[OFF]

[受信/転送]

メール／ファクス／Iファクスの受信や転送について設定します。

- ④ [レポート出力] (P. 1107)
- ④ [共通設定] (P. 1107)
- ④ [ファクス設定] (P. 1107)

[レポート出力]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送]

送受信設定やファクス設定に関する登録内容をプリントします。

- ④ [レポート出力] (P. 1108)

[共通設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送]

ファクス／Iファクスの受信機能や転送機能に共通する設定を行います。

- ④ [共通設定] (P. 1109)

[ファクス設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送]

ファクスの受信について設定します。

- ④ [ファクス設定] (P. 1116)

※この項目は、ファクス機能が搭載されている場合にのみ表示されます。

[レポート出力]

EJ83-OLW

送受信設定やファクス設定に関する登録内容をプリントします。

- ④ [送信/受信ユーザーデータリスト] (P. 1108)
- ④ [ファクスユーザーデータリスト] (P. 1108)

[送信/受信ユーザーデータリスト]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [レポート出力]

送受信設定に関する登録内容をプリントします。④登録情報や設定をプリントする (P. 907)

[ファクスユーザーデータリスト]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [レポート出力]

ファクス設定に関する登録内容をプリントします。④登録情報や設定をプリントする (P. 907)

※この項目は、ファクス機能が搭載されている場合にのみ表示されます。

[共通設定]

ファクス/Iファクスの受信機能や転送機能に共通する設定を行います。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [両面記録] (P. 1109)
- ④ [用紙カセット選択] (P. 1109)
- ④ [画像縮小] (P. 1110)
- ④ [受信情報記録] (P. 1110)
- ④ [受信ジョブの割込プリント] (P. 1111)
- ④ [転送設定を使用] (P. 1111)
- ④ [転送エラージョブの処理] (P. 1111)
- ④ [転送設定] (P. 1111)
- ④ [受信トレイ設定] (P. 1112)
- ④ [受信エラーは必ず通知] (P. 1112)

[両面記録]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定]

受信したファクス/Iファクスを用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[用紙カセット選択]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定]

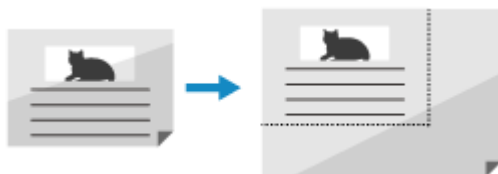
受信したファクスと同じサイズの下紙がセットされていない場合に、代わりの下紙にプリントするときの基準を設定します。ここでの設定と、セットされている下紙のサイズによって、プリント方法が決まります。使用したくないプリント方法は、[OFF] に設定します。

- [スイッチ A]：
小さいサイズの用紙がセットされている場合、受信したファクスを分割してプリントします。
- [スイッチ B] / [スイッチ D]：
大きいサイズの用紙がセットされている場合、受信したファクスを等倍で、余白を付けてプリントします。
[スイッチ B] と [スイッチ D] では、プリントされる用紙と余白の付きかたが異なります。

[スイッチ B]



[スイッチ D]



- [スイッチ C]:
小さいサイズ用の紙がセットされている場合、受信したファクスを縮小してプリントします。

※プリント方法を有効にしても、セットされている用紙のサイズによってはプリントされないことがあります。

※自動選択の対象となっている給紙部の用紙にプリントされます。使用したくない給紙部は自動選択の対象から外します。

●機能ごとに適切な給紙部を使用する (P. 265)

[スイッチ A]
[ON]、[OFF]

[スイッチ B]
[ON]、[OFF]

[スイッチ C]
[ON]、[OFF]

[スイッチ D]
[ON]、[OFF]

[画像縮小]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定]

受信したファクスを用紙に収めるために縮小プリントするかどうかを設定します。

縮小する場合は、[ON] に設定して、縮小率やタテヨコ比を維持するかどうかを設定します。

[OFF] に設定すると、受信したファクス/1ファクスが用紙に収まらない場合、分割してプリントされます。

- 縮小率を自動的に調整するか、固定するかを [縮小モード] で設定します。[自動モード] に設定した場合は、設定した縮小率から 100 % までの範囲で縮小されます。
- タテヨコ比を維持する場合は [縮小方向] を [縦横] に設定します。

[ON]、[OFF]
[縮小モード]
[自動モード]、[固定モード]
[縮小率]
75 ~ 90 ~ 97 (%)
[縮小方向]
[縦横]、[縦のみ]

[受信情報記録]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定]

受信時刻やページ番号などを付けてプリントするかどうかを設定します。

[つける] に設定すると、受信時刻やページ番号などの情報は、ページの一番下にプリントされます。

※本文のないメールを受信した場合は、メールの添付ファイルの 1 ページ目の一番上に、メールアドレス (From) と件名 (Subject) をプリントします。

[つける]、**[つけない]**

[受信ジョブの割込プリント]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

 **設定/登録** ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定]

ファクスや I ファクスを受信したときに、他のジョブを中断してプリントするかどうかを設定します。

[ON]、**[OFF]**

[転送設定を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

 **設定/登録** ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定]

受信したファクス/I ファクスを本機のファクスボックスに保存したり、ファイルサーバーなどに転送したりするかどうかを設定します。

[ON] に設定した場合は、[転送設定] で転送条件や転送先を設定します。▶ **[転送設定] (P. 1111)**

[ON]、[OFF]

[転送エラージョブの処理]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

 **設定/登録** ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定]

転送に失敗したファクス/I ファクスの処理方法を設定します。

[保存/プリント] に設定すると、メモリー受信が有効の場合は保存、無効な場合はプリントします。▶ **メモリー受信を設定する (P. 824)**

※この設定は、[エラージョブクリア] が [ON] の場合に有効です。▶ **[エラージョブクリア] (P. 1077)**

[常にプリント]、[保存/プリント]、[OFF]

[転送設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定]

受信したファクス/Iファクスを転送するときの条件を設定します。条件を設定しない場合は、受信したすべてのファクス/Iファクスを指定した宛先に転送します。▶ [受信したファクスを自動転送/バックアップする \(P. 497\)](#)

※この設定は、[転送設定を使用] が [ON] の場合に有効です。▶ [\[転送設定を使用\] \(P. 1111\)](#)

[受信手段:]
 [検索]
 [条件の ON/OFF]
 [削除]
 [登録]
 [その他の操作]
 [条件なし転送の登録]
 [詳細/編集]
 [リストプリント]
 [Eメールの重要度]

メモ

- ナンバーディスプレイ機能が有効な場合は、条件との照合に、FAX 手順信号 (TSI) とナンバーディスプレイのどちらで通知される番号を使用するかを設定できます。

[受信トレイ設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定]

システムボックス (メモリー受信ボックス/分割データ受信ボックス) やファクスボックスについて設定します。

▶ [\[受信トレイ設定\] \(P. 1113\)](#)

[受信エラーは必ず通知]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定]

Iファクスを受信中にエラーが発生した場合、送信者に通知するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[受信トレイ設定]

システムボックス（メモリー受信ボックス／分割データ受信ボックス）やファクスボックスについて設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [ファクスボックスの設定/登録] (P. 1113)
- ④ [システムボックス暗証番号] (P. 1113)
- ④ [ファクスメモリー受信を使用] (P. 1113)
- ④ [I ファクスメモリー受信を使用] (P. 1114)
- ④ [メモリー受信開始時刻] (P. 1114)
- ④ [メモリー受信終了時刻] (P. 1114)
- ④ [分割受信タイムアウト] (P. 1115)
- ④ [代行受信ファイルの転送] (P. 1115)

[ファクスボックスの設定/登録]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定] ▶ [受信トレイ設定]

各ファクスボックスの名前や暗証番号を設定します。④ **ファクスボックスを設定する (P. 827)**

[ボックス番号] : 00 ~ 49

[ボックス名称登録]

[暗証番号]

[URL 送信設定]

[初期化]

[システムボックス暗証番号]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定] ▶ [受信トレイ設定]

システムボックスの暗証番号を設定します。

[ファクスメモリー受信を使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定] ▶ [受信トレイ設定]

受信したファクスをメモリー受信ボックスに保存するかどうかを設定します。④ **メモリー受信を設定する (P. 824)**

※この項目は、ファクス機能が搭載されている場合にのみ表示されます。

[ON]、[OFF]

[I ファクスメモリー受信を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定] ▶ [受信トレイ設定]

受信したIファクスをメモリー受信ボックスに保存するかどうかを設定します。 [▶ メモリー受信を設定する \(P. 824\)](#)

[ON]、[OFF]

[メモリー受信開始時刻]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定] ▶ [受信トレイ設定]

特定の時間帯のみメモリー受信する場合に、開始時刻を指定します。

毎日同じ時刻に開始したり、曜日により異なる時刻に開始したりできます。

終了時刻と合わせて指定することで、メモリー受信する時間帯を細かく調整できます。 [▶ \[メモリー受信終了時刻\] \(P. 1114\)](#)

[毎日指定]、[曜日指定]、[指定しない]

- [毎日指定] 選択時：

[1] ~ [5]

00:00 ~ 23:59

- [曜日指定] 選択時：

[日] ~ [土]

[1] ~ [5]

00:00 ~ 23:59

[メモリー受信終了時刻]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定] ▶ [受信トレイ設定]

特定の時間帯のみメモリー受信する場合に、終了時刻を指定します。

毎日同じ時刻に終了したり、曜日により異なる時刻に終了したりできます。

開始時刻と合わせて指定することで、メモリー受信する時間帯を細かく調整できます。 [▶ \[メモリー受信開始時刻\] \(P. 1114\)](#)

[毎日指定]、[曜日指定]、[指定しない]

- [毎日指定] 選択時：

[1] ~ [5]

00:00 ~ 23:59

- [曜日指定] 選択時：
 - [日] ~ [土]
 - [1] ~ [5]
 - 00:00 ~ 23:59

[分割受信タイムアウト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定] ▶ [受信トレイ設定]

分割受信した I ファクスのデータが途中までしか受信できていない場合に、残りの分割データの受信を中止するまでの待ち時間を設定します。

指定した時間が経過して受信が中止された場合は、受信データから合成された画像とエラーメッセージがプリントされ、受信データは削除されます。

0 ~ 24 ~ 99 時間

[代行受信ファイルの転送]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定] ▶ [受信トレイ設定]

本機でエラーなどが発生していて、受信したファクス/Iファクスのプリントができないときに、受信したファクスをメモリー受信ボックスに転送するように設定します。

この項目を選択して [はい] を押すと、メモリー受信が有効になります。▶ [メモリー受信を設定する \(P. 824\)](#)

※メモリー受信ボックスに転送されたファクスは、操作パネルやリモート UI で内容を確認してからプリントすることができます。また、指定した宛先にファクスを転送することもできます。▶ [メモリー受信したファクスを確認／プリント／転送する \(P. 545\)](#)

メモ

- 受信したファクスをすぐにプリントする設定に戻すには、[ファクスメモリー受信を使用] / [I ファクスメモリー受信を使用] を [OFF] に設定します。
 - ▶ [\[ファクスメモリー受信を使用\] \(P. 1113\)](#)
 - ▶ [\[I ファクスメモリー受信を使用\] \(P. 1114\)](#)

[ファクス設定]

ファクスの受信について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [ECM 受信] (P. 1116)
- ④ [受信モード選択] (P. 1116)
- ④ [リモート受信] (P. 1117)
- ④ [自動受信切替] (P. 1117)
- ④ [ファクス受信結果レポート] (P. 1117)
- ④ [ファクスボックス受信レポート] (P. 1117)
- ④ [受信スタートスピード] (P. 1118)
- ④ [受信パスワード] (P. 1118)
- ④ [ナンバーディスプレイ設定] (P. 1118)

[ECM 受信]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

ECM (Error Correction Mode) とは、画像の受信中にエラーが発生した場合に、乱れた画像をそのまま受信しないよう、チェックと修正を行う機能です。ECM 機能を使用してファクスを受信するかどうかを設定します。

- ECM 受信する場合は、送信側と受信側でエラーのチェックを行いながら通信するため、相手機側でも ECM 機能を有効にする必要があります。
- ECM 受信は、エラーのチェックと修正を行いながら通信するため、通常よりも通信時間がかかることがあります。また、ECM 受信を有効にしても、電話回線の状態によってはエラーが発生することがあります。
- 本機で送信するときのエラーを軽減したい場合は、ECM 送信を有効にします。④ [ECM 送信] (P. 1096)

[ON]、[OFF]

[受信モード選択]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

ファクスの受信モードを設定します。④ **本機でファクスを送受信するための準備** (P. 486)

[自動受信]、[FAX/TEL 切替]、[留守 TEL 接続]、[手動受信]

[FAX/TEL 切替] 選択時：

[呼出開始時間]

0 ～ 8 ～ 30 秒

[呼出時間]

15 ～ 17 ～ 300 秒

[呼出後の動作]

[終了]、[受信]
[音声応答]
[ON]、[OFF]

[リモート受信]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

本機に接続した電話機の番号ボタンで、所定の番号（リモート受信 ID）をダイヤルすることでファクスを受信できるようにするかどうかを設定します。 [電話機の操作でファクスを受信する - リモート受信 \(P. 541\)](#)

[ON] に設定した場合は、リモート受信 ID を任意の番号に変更できます。

[ON]、[OFF]
00 ～ 25 ～ 99（リモート受信 ID）

[自動受信切替]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

ファクスの受信モードが手動受信の場合に、呼び出し音が一定時間鳴ったあと、ファクスを自動受信するようにするかどうかを設定します。

[ON] に設定した場合は、自動受信に切り替わるまでの呼び出し音を鳴らす秒数も設定できます。

[ON]、[OFF]
[呼出秒数]
1 ～ 15 ～ 99 秒

メモ

- 複数の回線を使用している場合、この設定が機能するのは回線 1（標準回線）のみです。

[ファクス受信結果レポート]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

ファクス受信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。 [送受信／エラー時にレポートを自動的にプリントする \(P. 904\)](#)

受信エラーが発生した場合にのみプリントするようにも設定できます。

[エラー時のみ]、[ON]、[OFF]

[ファクスボックス受信レポート]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

ファクスボックス受信レポートをプリントするかどうかを設定します。  **送受信／エラー時にレポートを自動的にプリントする (P. 904)**

[ON] に設定すると、受信したファクスがファクスボックスに保存されるたびにレポートがプリントされます。

[ON]、[OFF]

[受信スタートスピード]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

電話回線の状態が悪いなど、受信が始まるまでに時間がかかることがあります。その場合に、通信開始速度を順に下げて調整します。

[33600bps]、[14400bps]、[9600bps]、[7200bps]、[4800bps]、[2400bps]

メモ

エラーが発生しやすい相手や回線の場合

- [VoIP 通信エラーの低減設定] も合わせて設定します。  **[VoIP 通信エラーの低減設定] (P. 1101)**

[受信パスワード]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

ITU-T 規格のパスワードを設定します。

設定したパスワードは、ITU-T 規格で送信されたファクスを受信するとき、設定されているパスワードとの照合に使用されます。

- 以下の場合はファクスを受信しません。
 - ファクスに設定されているパスワードと一致しない場合
 - ファクスにパスワードが設定されていない場合
- ファクスに F コードが設定されている場合は、F コードのパスワードが優先されます。

メモ

- ITU-T は、国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門です。

[ナンバーディスプレイ設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

ナンバーディスプレイ機能を有効にするかどうかを設定します。

有効にすると、電話に出る前に、操作パネルの画面に相手先の電話番号が表示されます。また、転送条件との照合に、ナンバーディスプレイを使用できるようになります。🔗 **【転送設定】 (P. 1111)**

[回線 1] ~ [回線 n] *1
[ON]、[OFF]

*1 表示される回線数は、オプションの装着状態によって異なります。

メモ

- ナンバーディスプレイ機能を利用するには、電話会社とナンバーディスプレイの契約が必要です。

[ファイル保存/利用]

スキャンデータの保存や保存スペース／USB メモリーの使用について設定します。

- ④ [共通設定] (P. 1120)
- ④ [ネットワーク設定] (P. 1120)
- ④ [メモリーメディア設定] (P. 1120)

[共通設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用]

スキャンして保存／保存ファイルの利用に共通する設定を行います。

- ④ [共通設定] (P. 1121)

[ネットワーク設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用]

他機のアドバンスドボックスやファイルサーバーなど、ネットワーク上の保存場所について設定します。

- ④ [ネットワーク設定] (P. 1124)

[メモリーメディア設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用]

USB メモリーの使用について設定します。

- ④ [メモリーメディア設定] (P. 1126)

[共通設定]

スキャンして保存／保存ファイルの利用に共通する設定を行います。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [スキャンして保存設定] (P. 1121)
- ④ [保存ファイルの利用設定] (P. 1121)
- ④ [ボックス暗証番号 7 桁固定/アクセス制限] (P. 1121)

[スキャンして保存設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [共通設定]

スキャンして保存について設定します。

- ④ [スキャンして保存設定] (P. 1122)

[保存ファイルの利用設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [共通設定]

保存ファイルの利用について設定します。

- ④ [保存ファイルの利用設定] (P. 1123)

[ボックス暗証番号 7 桁固定/アクセス制限]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [共通設定]

システムボックス／ファクスボックスのセキュリティーを強化するかどうかを設定します。

[ON] に設定すると、ボックスの暗証番号が 7 桁に固定され、ネットワーク経由でのボックスへのアクセスが禁止されます。

[ON]、[OFF]

[スキャンして保存設定]

スキャンして保存について設定します。

- ④ [よく使う設定の登録/編集] (P. 1122)
- ④ [デフォルト設定の変更] (P. 1122)

[よく使う設定の登録/編集]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [共通設定] ▶ [スキャンして保存設定]

目的に応じた設定や、覚えておきたい設定を「よく使う設定」としてボタンに登録します。登録したボタンの名前を変更することもできます。

初期設定以外の設定内容を登録するには、[スキャンして保存] の原稿読み取り画面で必要な設定をしてからこの項目を選択します。

※この設定は、[スキャンして保存] の原稿読み取り画面の [] ▶ [よく使う設定の登録/編集] と同じです。④ 「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)

[M1] ~ [M9]
[登録]
[名称変更]
[削除]
[内容確認]

[デフォルト設定の変更]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [共通設定] ▶ [スキャンして保存設定]

[スキャンして保存] でスキャンするときの初期設定を [スキャンして保存] の原稿読み取り画面で現在設定している内容に変更します。④ 初期設定を変更する (P. 186)

[スキャンして保存] の原稿読み取り画面で [ リセット] を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

※初期設定を工場出荷時の設定に戻すには、[初期化] を押します。

※この設定は、ログインユーザーごとに設定可能です。

[登録]
[初期化]

[保存ファイルの利用設定]

保存ファイルの利用について設定します。

- ④ [よく使う設定の登録/編集] (P. 1123)
- ④ [デフォルト設定の変更] (P. 1123)

[よく使う設定の登録/編集]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [共通設定] ▶ [保存ファイルの利用設定]

目的に応じた設定や、覚えておきたい設定を「よく使う設定」としてボタンに登録します。登録したボタンの名前を変更することもできます。

初期設定以外の設定内容を登録するには、[保存ファイルの利用] のプリント画面で必要な設定をしてからこの項目を選択します。

※この設定は、[保存ファイルの利用] のプリント画面の [] ▶ [よく使う設定の登録/編集] と同じです。④ 「よく使う設定」を登録する／呼び出す (P. 181)

[M1] ~ [M9]

[登録]

[名称変更]

[削除]

[内容確認]

[デフォルト設定の変更]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [共通設定] ▶ [保存ファイルの利用設定]

[保存ファイルの利用] でプリントするときの初期設定を [保存ファイルの利用] のプリント画面で現在設定している内容に変更します。④ 初期設定を変更する (P. 186)

[保存ファイルの利用] のプリント画面で [ リセット] を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

※初期設定を工場出荷時の設定に戻すには、[初期化] を押します。

※この設定は、ログインユーザーごとに設定可能です。

[登録]

[初期化]

[ネットワーク設定]

他機のアドバンスドボックスやファイルサーバー（Windows サーバー）など、ネットワーク上の保存場所について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [ネットワークプレース設定] (P. 1124)
- ④ [外部参照時の通信プロトコル] (P. 1124)
- ④ [ネットワークアクセス時の証明書確認] (P. 1125)
- ④ [マイフォルダー指定方法] (P. 1125)

[ネットワークプレース設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [ネットワーク設定]

他機のアドバンスドボックスや Windows サーバーを接続先として登録します。④ **ネットワーク上の他機／サーバーを利用するための準備 (P. 623)**

[登録]

[名称]

[プロトコル]

[場所]

[編集]

[詳細情報]

[削除]

[外部参照時の通信プロトコル]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [ネットワーク設定]

他機のアドバンスドボックスや Windows サーバーに接続する際に使用できる通信プロトコルを設定します。
使用しないプロトコルは無効にしておくことで、セキュリティを高めることができます。

[SMB]

[ON]、[OFF]

[WebDAV]

[ON]、[OFF]

[ネットワークアクセス時の証明書確認]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [ネットワーク設定]

他機のアドバンスドボックスや Windows サーバーへの TLS 暗号化通信時に、サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。CN（Common Name）を検証項目に追加することもできます。

[ON]、[OFF]

[検証項目を追加]

[CN]

ON、OFF

重要

- 証明書を検証しない場合、正規ではない証明書でも TLS 暗号化通信を行います。

[マイフォルダー指定方法]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [ネットワーク設定]

マイフォルダーをどのように指定するかを設定します。▶ [マイフォルダーを設定する \(P. 749\)](#)

※ [送信] の [共通設定] と同じ設定です。▶ [\[マイフォルダー指定方法\] \(P. 1081\)](#)

[ホームフォルダー]、[ユーザーごとに登録]、[ログインサーバーで管理]

[ホームフォルダー] 選択時：

[設定]

[ホームフォルダーの設定]

[プロトコル]

[ホスト名]

[フォルダーのパス]

[ユーザーごとの認証情報を使用]

ON、OFF

[ログインサーバーで管理] 選択時：

[ユーザーごとの認証情報を使用]

ON、OFF

[メモリーメディア設定]

USB メモリーの使用について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [スキャン/プリント機能を使用] (P. 1126)
- ④ [メモリーメディア接続時の操作画面表示] (P. 1126)

[スキャン/プリント機能を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [メモリーメディア設定]

本機に USB メモリーを差し込んだときに、使用できる機能を設定します。

- スキャンデータを USB メモリーに保存できるようにする場合は、[スキャン機能を使用] を [ON] に設定します。
- USB メモリー内のファイルをプリントできるようにする場合は、[プリント機能を使用] を [ON] に設定します。
- スキャンデータの保存や USB メモリー内のファイルのプリントを制限したい場合は、それぞれの項目を [OFF] に設定します。④ **メモリーメディアの使用を制限する (P. 815)**

[スキャン機能を使用]

[ON]、[OFF]

[プリント機能を使用]

[ON]、[OFF]

[メモリーメディア接続時の操作画面表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [メモリーメディア設定]

本機に USB メモリーを差し込んだときに、使用できる機能のショートカット画面を表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[プリント]

プリントデータの処理／表示やセキュアプリントについて設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [強制留め置き] (P. 1127)
- ④ [ジョブの保存期間] (P. 1127)
- ④ [プリント後ジョブ削除] (P. 1128)
- ④ [暗号化セキュアプリントジョブのみ受付] (P. 1128)
- ④ [マイジョブ判定条件にドメイン名を含める] (P. 1128)
- ④ [認証ユーザー以外のジョブの表示] (P. 1128)
- ④ [認証ユーザー以外のジョブの削除制限] (P. 1129)
- ④ [ユーザー名の大文字/小文字を区別する] (P. 1129)
- ④ [ジョブリストの表示設定] (P. 1129)
- ④ [留め置きジョブの警告設定] (P. 1130)
- ④ [セキュアプリントの暗証番号設定] (P. 1130)
- ④ [ログイン時自動プリント機能を使用] (P. 1130)
- ④ [ログイン時にマイジョブを自動でプリントする] (P. 1131)

[強制留め置き]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリント]

パソコンから本機に送信された文書（プリントデータ）をすぐにプリントせず、いったん本機に留め置くように設定します。

④ パソコンからの文書をすぐにプリントしないようにする - 強制留め置き (P. 819)

[ON]、[OFF]
 [条件の ON/OFF]
 [登録]
 [条件名]
 [種類]
 [動作]
 [置換 ID]
 [詳細/編集]
 [削除]
 [優先順位を上へ]
 [優先順位を下へ]

[ジョブの保存期間]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリント]

本機に留め置かれた文書が削除されるまでの時間を設定します。④ 留め置かれた文書の保存時間を変更する (P. 822)

10 分、20 分、30 分、1 時間、2 時間、3 時間、6 時間、12 時間、1 日、2 日、3 日、30 日^{*1}、365 日^{*1}

*1 オプションが装着されている場合にのみ表示されます。④本機に装着しているオプションを確認する (P. 910)

[プリント後ジョブ削除]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリント]

本機に留め置かれた文書をプリント後に削除するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[暗号化セキュアプリントジョブのみ受付]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリント]

パソコンからのプリントを暗号化セキュアプリントのみに限定するかどうかを設定します。④パソコンからのプリントを暗号化セキュアプリントに限定する (P. 823)

[ON]、[OFF]

[マイジョブ判定条件にドメイン名を含める]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリント]

ログインユーザーのプリントデータの判別に、ドメイン名を含めるかどうかを設定します。
ログインユーザーのプリントデータが正しく判別されない場合は、[OFF] に設定して、ユーザー名のみを判別に使用します。

[ON]、[OFF]

[認証ユーザー以外のジョブの表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリント]

ログインユーザー以外のジョブを表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[認証ユーザー以外のジョブの削除制限]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリント]

ログインユーザーが自分以外のジョブを削除できないようにするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[ユーザー名の大文字/小文字を区別する]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリント]

プリントデータのユーザー判定で大文字／小文字を区別するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

メモ

- ユーザー認証で使用するユーザー判定の設定と合わせて設定することをおすすめします。▶ [\[ユーザー名の大文字/小文字を区別する\]](#) (P. 1147)

[ジョブリストの表示設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリント]

プリントの画面に表示する文書の種類を設定します。

複数の種類を表示する場合、プリントの画面で種類を切り替えて該当するプリントデータを表示します。最初に表示する種類を設定できます。

- [個人]：
ログインユーザーの文書
- [共有]：
特定の条件で留め置かれた文書
- [グループ]：
ログインユーザーが所属する部門 ID の文書

※ [グループ] のみを [ON] に設定することはできません。[個人] ／ [共有] のいずれかを [ON] にします。

[個人]

[ON]、[OFF]

[共有]

[ON]、[OFF]

[グループ]

[ON]、[OFF]

デフォルトで表示するジョブの種類
[個人]、[共有]、[グループ]

[留め置きジョブの警告設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリント]

留め置かれた文書を表示／プリントするときに、警告を表示するかどうかを設定します。
警告を表示する場合は、その条件も設定します。

[ジョブリストに警告を表示する]

[ON]、[OFF]

[プリント実行時に警告を表示する]

[ON]、[OFF]

[指定ページ以上のジョブを警告する]

ON、OFF

1 ～ 100 ～ 9999 ページ

[片面プリントのジョブを警告する]

ON、OFF

[セキュアプリントの暗証番号設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリント]

セキュアプリントの文書进行操作するときに暗証番号を入力するかどうかを設定します。

- [マイジョブのプリント/画像表示時に暗証番号が必要]：

[ON] に設定すると、ログインユーザーが留め置かれた自分の文書をプリントするときや、プレビュー画面表示するときに暗証番号の入力が必要になります。

※シンプルログインが有効で、暗証番号やパターンの入力が必要ではない場合に設定できます。 [🔗 \[暗証番号かパターンを必ず使用\] \(P. 1150\)](#)

- [ジョブの削除時に暗証番号が必要]：

留め置かれたプリントデータを削除するときに、暗証番号の入力が必要になるようにします。

[マイジョブのプリント/画像表示時に暗証番号が必要]

[ON]、[OFF]

[ジョブの削除時に暗証番号が必要]

[ON]、[OFF]

メモ

- 暗号化セキュアプリントの文書が対象の場合は、この設定にかかわらず、暗証番号の入力が必要です。

[ログイン時自動プリント機能を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリント]

留め置かれた文書の自動プリント機能を有効にするかどうかを設定します。

[ON] に設定すると、ログインユーザーが [ログイン時にマイジョブを自動でプリントする] を設定できるようになります。

🔗 [ログイン時にマイジョブを自動でプリントする] (P. 1131)

[ON]、[OFF]

重要

- 以下のいずれかに該当する場合は、この設定は無効になります。
 - ユーザー認証機能が無効 🔗 [ユーザー認証を使用] (P. 1146)
 - パーソナライズ機能が無効 🔗 [個人設定の登録を使用] (P. 1162)
 - ACCESS MANAGEMENT SYSTEM が有効 🔗 [ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用] (P. 1167)
 - 本機のプリントの画面にログインユーザーの文書を表示しないように設定されている 🔗 [ジョブリストの表示設定] (P. 1129)
 - パソコンからのプリントが暗号化セキュアプリントに限定されている 🔗 [暗号化セキュアプリントジョブのみ受付] (P. 1128)
 - 留め置かれた文書のプリント実行時に警告を表示するように設定されている 🔗 [留め置きジョブの警告設定] (P. 1130)

[ログイン時にマイジョブを自動でプリントする]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリント]

ログイン時に、留め置かれた自分の文書を自動的にプリントするかどうかを設定します。 🔗 留め置かれた文書をログイン時に自動プリントする (P. 385)

※この設定は、ログインユーザーごとに設定可能です。

[ON]、[OFF]

[宛先設定]

宛先の登録やアドレス帳について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [宛先表リスト] (P. 1132)
- ④ [宛先の登録] (P. 1132)
- ④ [宛先表の名称変更] (P. 1133)
- ④ [宛先表のデフォルト表示の変更] (P. 1133)
- ④ [ワンタッチの登録] (P. 1133)
- ④ [アドレス帳のデフォルト表示の変更] (P. 1133)
- ④ [アドレス帳の暗証番号] (P. 1134)
- ④ [アドレス帳のアクセス番号管理] (P. 1134)
- ④ [アドレス帳エクスポートの対象にパスワードを含める] (P. 1134)
- ④ [LDAP サーバーの登録] (P. 1134)
- ④ [LDAP サーバー使用時の自動検索] (P. 1135)
- ④ [LDAP サーバーアクセス時の証明書確認] (P. 1135)
- ④ [LDAP 検索条件のデフォルトの変更] (P. 1135)
- ④ [LDAP 検索属性の登録/編集] (P. 1136)
- ④ [LDAP 検索時の「名称で検索」の設定] (P. 1136)
- ④ [リモートアドレス帳取得設定] (P. 1136)
- ④ [リモートアドレス帳公開設定] (P. 1136)
- ④ [個人宛先表を使用] (P. 1137)
- ④ [ユーザーグループ宛先表を使用] (P. 1137)

[宛先表リスト]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

アドレス帳に登録されている宛先の一覧を、宛先表ごとにプリントします。④登録情報や設定をプリントする (P. 907)

[宛先表 1] ~ [宛先表 10]、[ワンタッチ]、[管理者用宛先表]
[リストプリント]

[宛先の登録]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

本機のアドレス帳に宛先を登録します。④宛先の登録 - アドレス帳 (P. 270)

[新規宛先の登録]
[詳細/編集]

[削除]
[名称で検索]

[宛先表の名称変更]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

宛先表 1～宛先表 10 の名称を変更します。

[宛先表 1] ～ [宛先表 10]
[名称変更]

[宛先表のデフォルト表示の変更]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

アドレス帳を呼び出したときに表示される宛先表の種類を変更します。

[すべての宛先表]
[個人宛先表]
[ユーザーグループ宛先表]
[宛先表 1] ～ [宛先表 10]
[ワンタッチ]
[管理者用宛先表]

[ワンタッチの登録]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

ワンタッチボタンに宛先を登録します。▶ [ワンタッチボタンに宛先を登録する \(P. 279\)](#)

[001] ～ [200]
[登録/編集]
[削除]

[アドレス帳のデフォルト表示の変更]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

スキャン／ファクスの画面で [アドレス帳] を押したときに、最初に表示されるアドレス帳を指定します。

[ローカル]、[LDAP サーバー]、[リモート]

[アドレス帳の暗証番号]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

アドレス帳を登録／編集する際に、アドレス帳の暗証番号の入力が必要になるようにします。 [▶アドレス帳に暗証番号を設定して登録／編集を制限する \(P. 837\)](#)

[アドレス帳のアクセス番号管理]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

正しいアクセス番号を入力したときのみ宛先が表示されるようにするアクセス番号管理を有効にするかどうかを設定します。

[▶一部の宛先を非表示にする - アクセス番号管理 \(P. 838\)](#)

[ON] に設定すると、アドレス帳の宛先にアクセス番号を設定できるようになります。

[ON]、[OFF]

[アドレス帳エクスポートの対象にパスワードを含める]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

アドレス帳をエクスポートする場合に、宛先に設定されている以下のパスワードを含めるかどうかを設定します。

- ファクスの F コード送信のためのパスワード
- ファイルサーバー／アドバンスドボックスにログインするためのパスワード

[ON]、[OFF]

[LDAP サーバーの登録]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

宛先の検索に LDAP サーバーを使用する場合に、LDAP サーバーの情報を登録します。 [▶LDAP サーバーを登録する \(P. 125\)](#)

[登録]

[サーバー名]

[サーバーアドレス]

[検索開始位置]

[TLS を使用]

[ポート番号]
 [検索する宛先の上限数]
 [検索のタイムアウト]
 [認証情報]

[詳細/編集]

[削除]

[リストプリント]

[LDAP サーバー使用時の自動検索]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

宛先の登録／指定時に LDAP サーバーにアクセスしたとき、自動的に検索を開始するかどうかを設定します。

[ON] にすると、LDAP サーバーの検索条件の初期設定に従って検索が開始されます。🔗 [\[LDAP 検索条件のデフォルトの変更\]](#) (P. 1135)

最初に登録した LDAP サーバー（リストの一番上）が自動検索の対象になります。

[ON]、[OFF]

[LDAP サーバーアクセス時の証明書確認]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

LDAP サーバーへのアクセスで TLS 暗号化通信時に、サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。CN（Common Name）を検証項目に追加することもできます。

[ON]、[OFF]

[検証項目を追加]

[CN]

ON、OFF

重要

- 証明書を検証しない場合、正規ではない証明書でも TLS 暗号化通信を行います。

[LDAP 検索条件のデフォルトの変更]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

LDAP サーバーの検索条件の初期設定を登録します。

検索条件は登録されている LDAP サーバーごとに設定できます。

[登録]
[初期化]

メモ

- 検索対象の属性は追加することができます。🔗 [\[LDAP 検索属性の登録/編集\]](#) (P. 1136)

[LDAP 検索属性の登録/編集]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

LDAP サーバーの検索対象の属性を設定します。
[未登録 1] / [未登録 2] の表示名と属性名を登録できます。

※上記以外の項目は編集／削除できません。

[未登録 1]、[未登録 2]

[登録/編集]
[表示名]
[属性名]

[削除]

[LDAP 検索時の「名称で検索」の設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

LDAP サーバーのユーザーを名称で検索する場合に、対象とする属性と条件を設定します。

「[名称] の検索属性」
[cn]、[commonname]、[fullName]、[displayName]、[sn]、[givenName]、[任意入力]

[条件文]
[が次を含む]、[が次を含まない]、[が次と等しい]、[が次と等しくない]、[が次で始まる]、[が次で終わる]

[リモートアドレス帳取得設定]

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

ネットワーク上の他機のアドレス帳（リモートアドレス帳）を使用するための設定をします。

- 🔗 [\[リモートアドレス帳取得設定\]](#) (P. 1138)

[リモートアドレス帳公開設定]

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

ネットワーク上の他機に対し、本機のアドレス帳を公開します。

🔗 [リモートアドレス帳公開設定] (P. 1140)

[個人宛先表を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

ログインユーザー専用の宛先表を使用するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[ユーザーグループ宛先表を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定]

同じ部署内など特定のユーザー間で共有する宛先表を使用するかどうかを設定します。

使用する場合は、宛先の登録／編集を可能にするかどうかにより、[登録/参照可能] または [参照のみ可能] に設定します。

※ユーザーグループ宛先表は、公開先にユーザーグループを指定することにより使用できるようになります。🔗 **宛先をグループで共有する - ユーザーグループ (P. 745)**

[登録/参照可能]、[参照のみ可能]、[使用しない]

メモ

- リモート UI から Administrator 権限を持つユーザーでログインした場合は、この設定にかかわらず、すべてのユーザーグループ宛先表の参照や登録／編集ができます。

[リモートアドレス帳取得設定]

ネットワーク上の他機のアドレス帳（リモートアドレス帳）を使用するための設定をします。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [アドレス帳を取得] (P. 1138)
- ④ [リモートアドレス帳サーバーアドレス] (P. 1138)
- ④ [通信タイムアウト] (P. 1138)
- ④ [ファクス送信回線を自動選択に補正] (P. 1139)

[アドレス帳を取得]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定] ▶ [リモートアドレス帳取得設定]

ネットワーク上に公開されている他機のアドレス帳を、リモートアドレス帳として使用するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

メモ

- アドレス帳を公開している他機（サーバー機）がシステム管理者情報を設定している場合に、そのアドレス帳をリモートアドレス帳として使用するには、本機のシステム管理部門 ID と暗証番号がサーバー機と一致している必要があります。④ **管理者用の部門 ID／暗証番号を変更する (P. 730)**

[リモートアドレス帳サーバーアドレス]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定] ▶ [リモートアドレス帳取得設定]

アドレス帳を公開している他機（サーバー機）の IP アドレス（IPv4/IPv6）またはホスト名を設定します。
設定したサーバー機のアドレス帳を、本機でリモートアドレス帳として使用できるようになります。

[通信タイムアウト]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定] ▶ [リモートアドレス帳取得設定]

本機でリモートアドレス帳を使用している場合に、宛先取得を開始してからタイムアウトになるまでの時間を設定します。設定した時間、アドレス帳を保持するキヤノン複合機（サーバー機）からの応答がないときは、宛先の取得を中止します。

15 ～ 30 ～ 120 秒

[ファクス送信回線を自動選択に補正]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定] ▶ [リモートアドレス帳取得設定]

リモートアドレス帳から取得した宛先にファクス送信する場合、宛先に登録されている送信回線の設定を無効にして自動選択にするかどうかを設定します。

※この項目は、ファクス機能が搭載されている場合にのみ表示されます。

[ON]、[OFF]

[リモートアドレス帳公開設定]

EJ83-0RA

ネットワーク上の他機に対し、本機のアドレス帳を公開します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

[アドレス帳を公開]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [宛先設定] ▶ [リモートアドレス帳公開設定]

本機のアドレス帳を他機からリモートアドレス帳として使用できるようにするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[管理設定]

本機ユーザー／システム／データなどの管理について設定します。

- ④ [ユーザー管理] (P. 1141)
- ④ [デバイス管理] (P. 1141)
- ④ [ライセンス/その他] (P. 1141)
- ④ [データ管理] (P. 1141)
- ④ [セキュリティ設定] (P. 1141)

[ユーザー管理]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定]

本機を使用／管理するユーザーを登録／管理します。

- ④ [ユーザー管理] (P. 1142)

[デバイス管理]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定]

本機のハードウェアに関する動作や情報を設定／管理します。

- ④ [デバイス管理] (P. 1153)

[ライセンス/その他]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定]

本機のソフトウェアに関する動作や情報を設定／管理します。

- ④ [ライセンス/その他] (P. 1164)

[データ管理]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定]

本機の設定やデータを管理／初期化します。

- ④ [データ管理] (P. 1170)

[セキュリティ設定]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定]

本機の認証機能やシステム検証など、セキュリティについて設定／管理します。

- ④ [セキュリティ設定] (P. 1173)

[ユーザー管理]

本機を使用／管理するユーザーを登録／管理します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [認証管理] (P. 1142)
- ④ [システム管理者情報の設定] (P. 1142)
- ④ [部門別 ID 管理] (P. 1142)

[認証管理]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理]

本機を使用するユーザーの管理や認証の設定を行います。

- ④ [認証管理] (P. 1144)

[システム管理者情報の設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理]

部門別 ID 管理を使用する場合に、「システム管理部門 ID」と「システム管理暗証番号」を設定します。④**管理者用の部門 ID／暗証番号を変更する (P. 730)**

システム管理者の名前やメールアドレスなども設定できます。

[システム管理部門 ID]

7654321

[システム管理暗証番号]

7654321

[システム管理者名]

[E メールアドレス]

[連絡先]

[コメント]

[部門別 ID 管理]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理]

本機を使用するユーザーに「部門 ID」を割り当てて管理する、部門別 ID 管理について設定します。🔗[部門 ID によるグループ管理 - 部門別 ID 管理 \(P. 728\)](#)

[ON]、[OFF]

[暗証番号の登録]

[登録]

[部門 ID]

[暗証番号]

[制限の ON/OFF と制限面数の設定]

[編集]

[削除]

[ファンクション制限] *1

[カウント管理]

[クリア]

[カウントプリント]

[オールクリア]

[ラージ 2 カウントで管理]

[ID 不定プリンタジョブの許可]

[ON]、[OFF]

[ID 不定リモートスキャンジョブの許可]

[ON]、[OFF]

*1 ログインサービスを DepartmentID Authentication に設定している場合にのみ表示されます。

[認証管理]

本機を使用するユーザーの管理や認証の設定を行います。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- [パスワードの変更] (P. 1144)
- [暗証番号の変更] (P. 1144)
- [パターンの設定] (P. 1145)
- [認証ユーザーの登録/編集] (P. 1145)
- [ユーザー認証を使用] (P. 1146)
- [シンプルログイン] (P. 1146)
- [キーボード認証] (P. 1146)
- [ログイン画面の表示設定] (P. 1146)
- [利用を制限する機能] (P. 1147)
- [ユーザー認証していないリモートジョブの制限] (P. 1147)
- [ユーザー登録時のデフォルトロール] (P. 1147)
- [ユーザー名の大文字/小文字を区別する] (P. 1147)
- [ユーザー名に「@」の使用を許可] (P. 1148)

[パスワードの変更]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理]

ログインユーザーが、ログインに使用する自分のパスワードを変更します。

(32 字まで)

メモ

- Administrator 権限を持つユーザーは [認証ユーザーの登録/編集] で自分のパスワードを変更します。 ➤ [認証ユーザーの登録/編集] (P. 1145)
- 変更するパスワードの強度を確認するために、パスワードの強度メーターを表示させることができます。 ➤ [パスワード強度メーターを使用] (P. 1152)

[暗証番号の変更]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理]

ログインユーザーが、ログインに使用する自分の暗証番号を変更します。

(16 桁まで)

メモ

- Administrator 権限を持つユーザーは [認証ユーザーの登録/編集] で自分の暗証番号を変更します。🔗 [\[認証ユーザーの登録/編集\] \(P. 1145\)](#)
- パターンを入力してログインしているときに暗証番号を設定すると、暗証番号によるログインに切り替わります。

[パターンの設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理]

ログインユーザーが、ログインに使用する自分のパターンを設定します。すでにパターンが登録されている場合は、パターンの変更や削除ができます。

パターンの入力

[パターンの変更] *1

[パターンの削除] *1

*1 すでにパターンが登録されている場合にのみ表示されます。

メモ

- Administrator 権限を持つユーザーは [認証ユーザーの登録/編集] で自分のパターンを変更します。🔗 [\[認証ユーザーの登録/編集\] \(P. 1145\)](#)
- 暗証番号を入力してログインしているときにパターンを設定すると、パターンによるログインに切り替わります。

[認証ユーザーの登録/編集]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理]

ローカルデバイス（本機）にユーザーを登録します。🔗 [ローカルデバイスにユーザー情報を登録する \(P. 687\)](#)

[登録]

[ユーザー名]
[表示名]
[暗証番号]
[パターン]
[パスワード]
[パスワードを無期限にする]
[次回ログイン時にパスワードを変更する]
[部門 ID]
[E メールアドレス]
[ロールの設定]

[詳細/編集]

[削除]

[ユーザー認証を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理]

ユーザー認証を有効にするかどうかを設定します。有効にする場合は、使用するログイン方法も設定します。▶ [ログイン方法／認証先を設定する \(P. 716\)](#)

[ON]、[OFF]

[シンプルログイン]

[ON]、[OFF]

[キーボード認証]

[ON]、[OFF]

[シンプルログイン]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理]

シンプルログインを使用する場合に、ログイン画面や認証方法について設定します。

▶ [\[シンプルログイン\] \(P. 1149\)](#)

[キーボード認証]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理]

キーボード認証を使用する場合に、ログイン画面や認証方法について設定します。

▶ [\[キーボード認証\] \(P. 1151\)](#)

[ログイン画面の表示設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理]

ログイン画面を表示するタイミングを設定します。▶ [ログイン画面の表示方法を設定する \(P. 717\)](#)

[機能選択時に表示] に設定する場合は、ログインが必要な機能も設定します。

[操作開始時に表示]、[機能選択時に表示]

[認証が必要な機能の設定]

[ファンクション]: 未設定

[認証が必要な「設定/登録」の項目] *1

[すべて]、[管理者項目のみ]

*1 ACCESS MANAGEMENT SYSTEM が有効な場合にのみ表示されます。

メモ

- この設定を変更すると、[認証ユーザー以外のジョブの操作制限] の項目が [ON] になる場合があります。▶ [\[認証ユーザー以外のジョブの操作制限\] \(P. 1156\)](#)

[利用を制限する機能]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモートUI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理]

ユーザー認証を使用している場合に、特定の機能の利用を制限するかどうかを設定します。

[AMS Printer Driver Add-in を使用しないドライバーからのプリント]

[制限する]、[制限しない]

[リモートスキャン]

[制限する]、[制限しない]

[ユーザー認証していないリモートジョブの制限]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモートUI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理]

パソコンからのプリントやファクス送信などで、認証情報が設定されていない場合に、これらの操作を制限するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[ユーザー登録時のデフォルトロール]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモートUI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理]

ユーザー登録時の権限（ロール）の初期設定を変更します。ここで設定した権限が選択された状態で、ユーザーを登録する画面が表示されます。

[Administrator]、[GeneralUser]、[DeviceAdmin]、[NetworkAdmin]、[PowerUser] ^{*1}、[LimitedUser] ^{*1}

^{*1} ACCESS MANAGEMENT SYSTEM が有効な場合にのみ表示されます。

[ユーザー名の大文字/小文字を区別する]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモートUI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理]

ユーザー認証で使用するユーザー名の大文字と小文字を区別するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

メモ

- プリントデータのユーザー判定の設定と合わせて設定することをおすすめします。▶ [\[ユーザー名の大文字/小文字を区別する\]](#) (P. 1129)

[ユーザー名に「@」の使用を許可]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理]

ユーザー名に「@」を使用できるようにするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[シンプルログイン]

シンプルログインを使用する場合に、ログイン画面や認証方法について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [ユーザーの登録方法] (P. 1149)
- ④ [管理者ユーザーの表示] (P. 1149)
- ④ [シンプルログイン画面のデフォルト表示の変更] (P. 1150)
- ④ [暗証番号かパターンを必ず使用] (P. 1150)
- ④ [暗証番号とパターンのリセットを許可] (P. 1150)

[ユーザーの登録方法]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモートUI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [シンプルログイン]

シンプルログインを使用する場合の、ユーザーの登録方法を設定します。④ **ログイン方法／認証先を設定する (P. 716)**

[ジョブ投入時に自動で登録] *1

[ON]、[OFF]

[登録するユーザー名にドメイン名を含める]

[ON]、[OFF]

[登録するユーザー名にコンピューター名を含める]

[ON]、[OFF]

[設定メニューから手動で登録]

[ON]、[OFF]

*1 初回起動時のシンプルログイン機能のライセンス状態によって初期設定が異なります。ライセンスが有効の場合は [ON]、無効の場合は [OFF] になります。

[管理者ユーザーの表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモートUI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [シンプルログイン]

シンプルログインのログイン画面に Administrator 権限を持つユーザーを表示するかどうかを設定します。④ **ログイン方法／認証先を設定する (P. 716)**

[ロールが Administrator のユーザー]

[ON]、[OFF]

[Administrator]

[ON]、[OFF]

[シンプルログイン画面のデフォルト表示の変更]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [シンプルログイン]

シンプルログインのログイン画面のユーザーの並び順を設定します。

[名称順]、[登録順]、[ログイン順]、アプリケーション名^{*1}、ユーザーグループ名^{*2}

^{*1} シンプルログイン画面の表示と連携するアプリケーションが有効な場合に、該当するアプリケーションの名前が表示されます。

^{*2} ユーザーグループが登録されている場合に、各ユーザーグループの名前が表示されます。

[暗証番号かパターンを必ず使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [シンプルログイン]

シンプルログインでログイン時に、暗証番号またはパターンの入力を必須にするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[暗証番号]

[ON]、[OFF]

[パターン]

[ON]、[OFF]

[暗証番号とパターンのリセットを許可]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [シンプルログイン]

ユーザーによる暗証番号やパターンのリセットを許可するかどうかを設定します。[ON] に設定すると、暗証番号やパターンを連続して間違えた場合、確認画面を表示してリセットするかどうかを選択できるようになります。

- [ジョブ投入による暗証番号とパターンのリセットを許可]：
ユーザーがジョブを投入することにより、暗証番号やパターンをリセットします。
- [暗証番号とパターンのリセットおよび E メール通知を許可]：
新しい暗証番号やパターンをユーザーのメールアドレスに通知します。

※ [ジョブ投入による暗証番号とパターンのリセットを許可] と [暗証番号とパターンのリセットおよび E メール通知を許可] の両方を [ON] に設定した場合は、どちらの方法でリセットするかを選択できます。

[ジョブ投入による暗証番号とパターンのリセットを許可]

[ON]、[OFF]

[暗証番号とパターンのリセットおよび E メール通知を許可]

[ON]、[OFF]

[キーボード認証]

キーボード認証を使用する場合に、ログイン画面や認証方法について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [ログインユーザーのキャッシュ数] (P. 1151)
- ④ [設定メニューにパスワードの変更ボタンを表示] (P. 1151)
- ④ [テンキー入力のみによる認証を使用] (P. 1151)
- ④ [以前のパスワードの使用を制限] (P. 1152)
- ④ [パスワード変更禁止期間の設定] (P. 1152)
- ④ [パスワード強度メーターを使用] (P. 1152)

[ログインユーザーのキャッシュ数]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモートUI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [キーボード認証]

キーボード認証のログイン画面に、以前にログインしたユーザーの履歴を表示するかどうかを設定します。

- 表示しない場合は [0] に設定します。
- 直前にログインしたユーザーの履歴のみ表示する場合は [1] に設定します。

[0]、[1]、[Max (デバイスの最大数)]

[設定メニューにパスワードの変更ボタンを表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモートUI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [キーボード認証]

キーボード認証のログイン画面からパスワードを変更できるようにするかどうかを設定します。[ON] に設定すると、ログイン画面右上の [] から実行できるようになります。

[ON]、[OFF]

[テンキー入力のみによる認証を使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモートUI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [キーボード認証]

キーボード認証のログイン画面で、テンキー入力できるようにするかどうかを設定します。[ON] に設定すると、ユーザー名とパスワードが数字のみで構成されている場合に、テンキー入力のみでログインできるようになります。

※ユーザー名／パスワードに数字以外の文字が含まれる場合は、画面に表示されるキーボードで入力します。

[ON]、[OFF]

[以前のパスワードの使用を制限]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [キーボード認証]

パスワードの使いまわしを防止するために、過去に使用したパスワード（履歴として保持しているパスワード）の再使用を制限するかどうかを設定します。

[ON] に設定した場合は、保持する履歴の数を指定します。

[ON]、[OFF]

[パスワード履歴数]

1 ~ 24

[パスワード変更禁止期間の設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [キーボード認証]

パスワードの変更を禁止する期間を設定するかどうかを設定します。

[ON] に設定した場合は、変更禁止期間の日数を指定します。

[ON]、[OFF]

[変更禁止期間]

1 ~ 179 日

[パスワード強度メーターを使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [キーボード認証]

ユーザー情報を登録する／編集するときのパスワード設定画面に、パスワードの強度を確認するメーターを表示するかどうかを設定します。

[ON] に設定すると、パスワードの強度を 5 段階で調整できます。

- パスワードの強度を 1 段階にした場合、パスワードの設定に制限はかかりません。
- パスワードの強度を 2 段階以上にした場合、設定した強度未満のパスワードは設定できません。
- [パスワードの最小文字数を設定する] で設定した最小文字に満たない場合、パスワードが短すぎるメッセージが表示されます。▶ **【最小文字数の設定】 (P. 1180)**

[ON]、[OFF]

[パスワード強度]

1 ~ 5 段階

[デバイス管理]

本機のハードウェアに関する動作や情報を設定／管理します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [デバイス情報の設定] (P. 1153)
- ④ [アドレス帳管理ソフトからのインポート/エクスポート] (P. 1153)
- ④ [機能制限モード] (P. 1154)
- ④ [機器署名の証明書確認] (P. 1154)
- ④ [ユーザー署名の証明書確認] (P. 1154)
- ④ [証明書設定] (P. 1155)
- ④ [認証前のジョブ状況の表示] (P. 1156)
- ④ [認証ユーザー以外のジョブの操作制限] (P. 1156)
- ④ [ジョブ履歴の表示] (P. 1157)
- ④ [監査ログを取得] (P. 1157)
- ④ [ネットワーク経由の認証ログを取得] (P. 1158)
- ④ [キー操作のログの保存] (P. 1158)
- ④ [担当サービスの操作制限] (P. 1158)
- ④ [メール通知設定] (P. 1158)
- ④ [カスタム設定の同期 (クライアント)] (P. 1159)
- ④ [個人設定] (P. 1159)
- ④ [管理者パスワードの初期化を禁止] (P. 1159)
- ④ [特殊モード使用制限] (P. 1159)

[デバイス情報の設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

本機を識別するための名前や、設置した場所を設定します。

設定した情報は、リモート UI のポータル画面に表示されます。▶ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)

[デバイス名]

[設置場所]

[アドレス帳管理ソフトからのインポート/エクスポート]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

アドレス帳管理ソフトのアドレス帳をインポートしたり、参照したりするかどうかを設定します。

※ [インポート時にユーザー認証を使用] を [ON] に設定すると、ユーザー認証を行っている場合は、ユーザー認証を行ったアドレス帳のみインポートできます。

[ON]、[OFF]

[インポート時にユーザー認証を使用]

[ON]、[OFF]

[機能制限モード]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

使用を制限するオプション機器を設定します。

④ [機能制限モード] (P. 1161)

[機器署名の証明書確認]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

本機の機器署名用証明書の詳細情報を表示します。

[証明書検証] を押すと、証明書が有効かどうかを検証できます。

[バージョン]

[シリアル No.]

[署名アルゴリズム]

[発行先]

[有効期限開始日]

[有効期限終了日]

[発行者]

[公開鍵]

[証明書のぼ印]

[発行先代替名]

[証明書検証]

[ユーザー署名の証明書確認]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

ログインユーザーのユーザー署名用証明書の詳細情報を表示します。

[証明書検証] を押すと、証明書が有効かどうかを検証できます。

※この項目は、オプションが装着されている場合にのみ表示されます。

[バージョン]

[シリアル No.]

[署名アルゴリズム]

[発行先]

[有効期限開始日]

[有効期限終了日]

[発行者]

[公開鍵]

[証明書のぼ印]
[発行先代替名]
[証明書検証]

[証明書設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

本機で使用する鍵と証明書、CA 証明書、CRL（証明書失効リスト）などを管理したり、OCSP（証明書失効確認）を設定したりします。🔑**鍵と証明書を管理／検証する (P. 789)**

[鍵生成]

[ネットワーク通信用の鍵生成]

[鍵の名前]

[署名アルゴリズム]

[鍵のアルゴリズム]

[有効期限開始日]

[有効期限終了日]

[国/地域名]

[都道府県]

[市町村]

[組織]

[組織単位]

[共通名]

[発行先代替名]

[機器署名の鍵生成/更新]

[鍵と証明書リスト]

[ユーザーの鍵と証明書リスト] *1

[証明書詳細情報] *2

[削除]

[本機の鍵と証明書リスト] *1

[証明書詳細情報] *2

[削除]

[使用先を表示]

[CA 証明書リスト]

[証明書詳細情報] *2

[削除]

[証明書失効リスト (CRL)]

[CRL 詳細情報] *3

[削除]

[鍵と証明書登録]

[登録]

[削除]

[CA 証明書登録]

[登録]

[削除]

[証明書失効確認 (OCSP)設定]

[証明書失効確認 (OCSP)を使用]

[ON]、[OFF]

[証明書検証レベル]

[失効確認できなかった証明書も有効]
 [ON]、[OFF]
 [OCSP レスポンダー設定]
 [使用する URL]
 [証明書記載]、[任意]、[証明書記載+任意]
 [任意の URL]
 [通信タイムアウト]
 1 ~ 3 ~ 30 秒

[証明書発行要求設定(SCEP)] *4
 [証明書の発行要求状況]
 [通信設定]
 [証明書の発行要求]
 [証明書の自動発行要求設定]

*1 オプションが装着されている場合にのみ表示されます。

*2 以下の情報を確認できます。

- [バージョン]
- [シリアル No.]
- [署名アルゴリズム]
- [発行先]
- [有効期限開始日]
- [有効期限終了日]
- [発行者]
- [公開鍵]
- [証明書のぼ印]
- [発行先代替名]
- [証明書検証]

*3 以下の情報を確認できます。

- [バージョン]
- [署名アルゴリズム]
- [有効開始日]
- [次回更新日]
- [発行者]
- [シリアル No.リスト]

*4 リモート UI からのみ設定できます。

[認証前のジョブ状況の表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

ログインサービスを利用している場合に、ログイン前に [状況確認] 画面の表示を許可するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[認証ユーザー以外のジョブの操作制限]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

ログインユーザーのジョブを、他人が [状況確認] 画面で操作できないように制限するかどうかを設定します。

[コピー/プリント]

[ON]、[OFF]

[送信]

[ON]、[OFF]

[受信]

[ON]、[OFF]

[保存]

[ON]、[OFF]

メモ

- [ログイン画面の表示設定] の設定を変更すると、この項目が [ON] になる場合があります。▶ [\[ログイン画面の表示設定\] \(P. 1146\)](#)

[ジョブ履歴の表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

プリント／スキャン／ファクス／コピーの使用履歴を、[状況確認] 画面や通信管理レポートに表示するかどうかを設定します。

表示しない場合は、デバイス管理ソフトウェアにジョブ履歴情報の取得を許可するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[管理ソフトからのジョブ履歴取得]

[許可する]、[許可しない]

メモ

- リモート UI から Administrator 権限を持つユーザーでログインした場合は、[ジョブ履歴に個人情報を保存しない] を設定できます。この設定を有効にした場合、ジョブ履歴や監査ログに個人情報を書き込まないようにします。

[監査ログを取得]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

ログを記録するかどうかを設定します。

▶ [ログの種類 \(P. 69\)](#)

▶ [ログの管理 \(P. 861\)](#)

[ON]、[OFF]

重要

- [ON] に設定した場合、時刻は微調整できなくなります。🔗 [\[時刻微調整\] \(P. 975\)](#)

[ネットワーク経由の認証ログを取得]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモートUI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

パソコンからのプリント時やアドバンスドボックスへのアクセス時など、ネットワーク経由で行われる認証操作のログを記録するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[キー操作のログの保存]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモートUI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

ユーザーが操作したキー操作のログを保存するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

メモ

- パスワードや暗証番号など、伏字で表示される箇所はマスクされるため、機密情報が外部に流出することはありません。
- 保存したログの出力、解析については、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

[担当サービスの操作制限]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモートUI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

販売店または担当サービスが点検／修理中に、ユーザー情報やセキュリティに関わる設定を変更できないようにするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF (認証が必要)]、[OFF]

メモ

- [OFF] に設定している場合、販売店または担当サービスはユーザー情報やセキュリティに関わる設定を変更できませんが、これらの操作履歴をログにより確認できます。🔗 [ログの管理 \(P. 861\)](#)

[メール通知設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

トナー容器の交換や紙づまりの処理などが必要になった場合に、メールで通知を受け取るための設定をします。  **エラーをメールで通知する (P. 911)**

※この項目は、リモート UI からのみ設定できます。

[カスタム設定の同期 (クライアント)]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

複数のキヤノン複合機でパーソナライズデータを同期する場合に、本機をクライアント機として使用するための操作をします。  **同期を開始／終了する (クライアント機) (P. 758)**

• 同期開始前：

[開始]

[一時停止]

• 同期開始後：

[終了]

[再開]

[個人設定]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

ログインユーザーが自分好みの設定で本機を利用できる、パーソナライズ機能について設定します。

 **[個人設定] (P. 1162)**

[管理者パスワードの初期化を禁止]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

管理者パスワードの初期化を禁止するかどうかを設定します。

[ON] に設定すると、[カウンター/機器情報] ▶ [機器情報/その他] の [管理者パスワードの初期化] が無効になります。

[ON]、[OFF]

[特殊モード使用制限]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

販売店または担当サービスのメンテナンス用に用意されている特殊モードを使用できないようにするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[機能制限モード]

EJ83-0RR

使用を制限するオプション機器を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [フィニッシャーのトレイ A] (P. 1161)
- ④ [フィニッシャーのパンチャー] (P. 1161)

[フィニッシャーのトレイ A]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理] ▶ [機能制限モード]

フィニッシャーのトレイ A を使用できないようにするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[フィニッシャーのパンチャー]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理] ▶ [機能制限モード]

フィニッシャーに装着されているパンチャーユニットを使用できないようにするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[個人設定]

ログインユーザーが自分好みの設定で本機を利用できる、パーソナライズ機能について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [個人設定の登録を使用] (P. 1162)
- ④ [登録可能なユーザー数を超えた場合の処理] (P. 1162)
- ④ [起動/復帰後に表示する画面の使用] (P. 1162)
- ④ [ホームで個人設定を使用] (P. 1163)

[個人設定の登録を使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理] ▶ [個人設定]

パーソナライズ機能を使用するかどうかを設定します。

- ④ パーソナライズ機能を有効／無効にする (P. 725)
- ④ パーソナライズ機能の利用 (P. 724)

[ON]、[OFF]

[登録可能なユーザー数を超えた場合の処理]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理] ▶ [個人設定]

パーソナライズ機能を使用するユーザーの数（ユーザー設定情報の数）が上限に達した場合の動作を設定します。

※ [古い設定を自動削除] に設定しても、一部の設定は自動削除されません。④ パーソナライズできる項目一覧 (P. 726)

※ ユーザー設定情報を完全に削除したい場合は、手動で削除します。④ ユーザー設定情報を削除する (P. 763)

[古い設定を自動削除]、[新規登録の中止]

[起動/復帰後に表示する画面の使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理] ▶ [個人設定]

ログイン後に表示する画面を、ログインユーザーごとに設定できるようにするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[ホームで個人設定を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理] ▶ [個人設定]

[ホーム] 画面でログインユーザーごとに変更できるようにする項目を設定します。

[マイボタンの登録/編集を許可]

[ON]、[OFF]

[個人画面の「ボタンの移動」を許可]

[ON]、[OFF]

[個人画面の「ボタンサイズと個数の設定」を許可]

[ON]、[OFF]

[個人画面の「背景の設定」を許可]

[ON]、[OFF]

[ライセンス/その他]

本機のソフトウェアに関する動作や情報を設定／管理します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [ライセンス登録] (P. 1164)
- ④ [MEAP 設定] (P. 1164)
- ④ [リモート UI の設定] (P. 1164)
- ④ [掲示板の消去] (P. 1165)
- ④ [ビジュアルメッセージ] (P. 1165)
- ④ [リモートオペレーション設定] (P. 1166)
- ④ [ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用] (P. 1167)
- ④ [ソフトウェアの登録/更新] (P. 1167)
- ④ [設定ナビの開始] (P. 1167)
- ④ [モバイル端末からのジョブ実行を許可] (P. 1167)

[ライセンス登録]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他]

本機で使用するオプションのライセンスキーを登録します。④ **システムオプションをインストールする (P. 932)**

24 文字

[MEAP 設定]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他]

MEAP 機能について設定します。

- ④ [MEAP 設定] (P. 1168)

[リモート UI の設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他]

リモート UI を使用するかどうかを設定します。

リモート UI を使用する場合は、リモート UI 使用時の通信を TLS で暗号化するかどうかも設定できます。④ **TLS を使用する (P. 777)**

[ON]、[OFF]

[TLS を使用]

[ON]、[OFF]

メモ

- [TLS を使用] の設定は、[MEAP 設定] の [TLS を使用] と共通です。🔗 [\[TLS を使用\] \(P. 1168\)](#)

[掲示板の消去]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

 設定/登録 ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他]

操作パネルに表示される管理者からのお知らせを消去します。

※表示する内容はリモート UI から設定します。🔗 [テキストを操作パネル／リモート UI に表示する \(P. 881\)](#)

[ビジュアルメッセージ]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

 設定/登録 ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他]

操作パネルに表示するビジュアルメッセージ（お知らせの画面）を設定します。🔗 [ファイルや Web サイトのコンテンツを操作パネルに表示する - ビジュアルメッセージ \(P. 883\)](#)

※この項目は、リモート UI からのみ設定できます。

[表示設定]

[表示するタイミングとコンテンツ]

[ログアウト後/オートクリア後に表示する]

ON、OFF

[コンテンツ:]

[SMB] *¹、[HTTP/WebDAV] *²

[ログイン後に表示する]

ON、OFF

[コンテンツ:]

[SMB] *¹、[HTTP/WebDAV] *²

[プリント開始時に表示する]

ON、OFF

[コンテンツ:]

[SMB] *¹、[HTTP/WebDAV] *²

[エラー発生時の画面表示]

[エラーメッセージを表示し、コンテンツは表示しない]、[エラーメッセージおよびコンテンツを表示しない]

[プロキシ設定]

[プロキシを使用しないアドレス:]

[セキュリティ設定]

[コンテンツ表示時、ログイン情報をサーバーに通知する]

ON、OFF

[セキュリティ設定]

[ログイン情報の通知を許可するサーバーのアドレス:]

ON、OFF

*¹ [SMB] 選択時は以下の設定をします。

- [ファイルへのパス:]
- [ユーザー名:]
- [パスワード:]

*2 [HTTP/WebDAV] 選択時は以下の設定をします。

- [ファイルへのパス:]
- [ユーザー名:]
- [パスワード:]
- [TLS 通信時に証明書を確認する]
- [CN を検証項目に追加する]

[リモートオペレーション設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他]

リモートオペレーションを有効にするかどうかを設定します。

リモート UI 経由でリモートオペレーションを有効にすることもできます。🔗 **リモート UI のポータル画面 (P. 890)**

[ON] に設定すると、操作パネルの画面をパソコンで表示して操作できるようになります。本機と離れた場所においても、本機の設定やジョブの操作が可能です。

有効にする場合は、以下も設定できます。

- リモートオペレーションを制限するためのパスワード設定
- リモート UI 経由で操作するユーザー
- リモート UI を経由しない操作をするかどうか
- リモートオペレーションがタイムアウトになるまでの時間

[ON]、[OFF]

[パスワード]

[詳細設定]

[リモート UI 経由の操作を許可するユーザー]

[**管理者のみ**]、[すべて]

[リモート UI を経由しない操作を許可]

[ON]、[OFF]

[タイムアウト時間]

0 分 (なし)、1 ~ **15** ~ 150 分

重要

- 「Canon Remote Operation Viewer」や「Canon PRINT」で接続してリモートオペレーション機能を使う場合は、[リモート UI を経由しない操作を許可] を [ON] にする必要があります。
- Safari でリモートオペレーションを使用する場合は、本機に設定している TLS のサーバー証明書を登録する必要があります。登録は macOS のキーチェーンアクセスで行い、追加した証明書を「常に信頼」に設定してください。

メモ

- [リモートオペレーション設定] を [ON] にすると、[リモート UI の設定] および [MEAP 設定] の [TLS を使用] も [ON] になります。
- リモートオペレーションで接続中は、以下の項目の変更や実行ができません。
 - [ジョブの保存期間] 🔗 **[ジョブの保存期間] (P. 1127)**

[ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他]

アクセス管理を行う ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用するかどうかを設定します。▶ **ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用する (P. 753)**

[ON]、[OFF]

[ソフトウェアの登録/更新]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他]

インターネット経由でシステムオプション／MEAP アプリケーションを本機にインストールします。▶ **システムオプションをインストールする (P. 932)**

本機のファームウェアを定期的に確認して、自動的にアップデートすることもできます。▶ **ファームウェアの更新時に自動アップデートする (P. 930)**

[アプリケーション/オプションのインストール]

[ソフトウェアの管理設定]

[定期アップデート]

[設定ナビの開始]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他]

画面の案内に従って本機を使用するために必要な項目を設定します。▶ **初期設定をする - 設定ナビ (P. 82)**

[モバイル端末からのジョブ実行を許可]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他]

モバイル機器からスキャンしてメール送信やファクスの操作ができるようにするかどうかを設定します。

[スキャン実行時に PIN コードで認証] を [ON] に設定すると、スキャンするとき本機に表示された暗証番号の入力が必要になります。

[ON]、[OFF]

[スキャン実行時に PIN コードで認証]

[ON]、[OFF]

[MEAP 設定]

MEAP 機能について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [システム情報のプリント] (P. 1168)
- ④ [TLS を使用] (P. 1168)
- ④ [MEAP アプリケーションで TLS 通信時の証明書確認] (P. 1168)
- ④ [DNS キャッシュを使用] (P. 1169)
- ④ [本機のプロキシ設定を使用] (P. 1169)
- ④ [HTTP ヘッダーに X-FRAME-OPTIONS を付加] (P. 1169)

[システム情報のプリント]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ▶ [MEAP 設定]

MEAP アプリケーションやライセンスなどの情報をプリントします。④登録情報や設定をプリントする (P. 907)

[TLS を使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ▶ [MEAP 設定]

Web ブラウザーから本機にアクセスして MEAP 機能を使用する場合に、TLS 暗号化通信を行うかどうかを設定します。

※TLS 暗号化通信を行う場合は、あらかじめ鍵と証明書を設定しておく必要があります。④TLS を使用する (P. 777)

[ON]、[OFF]

メモ

- この設定は、[リモート UI の設定] の [TLS を使用] と共通です。④ [リモート UI の設定] (P. 1164)

[MEAP アプリケーションで TLS 通信時の証明書確認]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ▶ [MEAP 設定]

MEAP アプリケーションの TLS 暗号化通信時に、サーバー証明書を検証するかどうかを設定します。CN (Common Name) を検証項目に追加することもできます。

[ON]、[OFF]
 [検証項目を追加]
 [CN]
 ON、OFF

重要

- 証明書を検証しない場合、正規ではない証明書でも TLS 暗号化通信を行います。

[DNS キャッシュを使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ▶ [MEAP 設定]

MEAP アプリケーションで検索された DNS の情報を、メモリーに保持するかどうかを設定します。
 [ON (期限指定)] に設定した場合は、有効期限を設定します。

[ON (無期限)]、[ON (期限指定)]、[OFF]
 [有効期限]
 1 ~ 60 ~ 120 秒

[本機のプロキシ設定を使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ▶ [MEAP 設定]

本機のプロキシ設定を、MEAP アプリケーションでも使用するかどうかを設定します。▶ [プロキシを使用する \(P. 773\)](#)

[ON]、[OFF]

[HTTP ヘッダーに X-FRAME-OPTIONS を付加]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ▶ [MEAP 設定]

HTTP サーバーがレスポンスを返すときにヘッダーに X-FRAME-OPTIONS を付加するかどうかを設定します。
 X-FRAME-OPTIONS を付加することで、コンテンツが他のサイトに埋め込まれることを防ぎます。

[ON]、[OFF]

[データ管理]

EJ83-0RX

本機の設定やデータを管理／初期化します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [インポート/エクスポート] (P. 1170)
- ④ [全データ/設定の初期化] (P. 1170)

[インポート/エクスポート]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理]

USB メモリーを使用して設定をインポート／エクスポートしたり、リモート UI 以外の Web アプリケーションからのインポート／エクスポートを制限したりします。

- ④ [インポート/エクスポート] (P. 1171)

[全データ/設定の初期化]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理]

すべての設定を工場出荷時の状態に戻し、履歴も含めて保存されているすべてのデータを消去します。④ **すべての設定／データを初期化する (P. 951)**

[インポート/エクスポート]

USB メモリーを使用して設定をインポート／エクスポートしたり、リモート UI 以外の Web アプリケーションからのインポート／エクスポートを制限したりします。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [USB メモリーからのインポート] (P. 1171)
- ④ [USB メモリーへのエクスポート] (P. 1171)
- ④ [インポート結果レポート] (P. 1172)
- ④ [Web サービスからのインポート/エクスポートを制限] (P. 1172)

[USB メモリーからのインポート]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理] ▶ [インポート/エクスポート]

アドレス帳や各種設定をインポートします。
インポートが完了後に、本機の再起動が必要となります。

- 操作パネルを使用してインポートする場合は、USB メモリーを使用します。④ **USB メモリーを差し込む／取り外す (P. 325)**
 ※本機にあらかじめ USB メモリーが接続されている場合、それを取り外してから、目的の USB メモリーを接続します。
- インポート／エクスポートする項目を個別に選択したい場合は、パソコンからリモート UI を使用してインポート／エクスポートします。④ **個別にインポート／エクスポートする (P. 916)**

[インポート結果を本機内に保存]

ON、OFF

[インポート結果を USB メモリーに保存]

ON、OFF

[復号化パスワード]

[USB メモリーへのエクスポート]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理] ▶ [インポート/エクスポート]

アドレス帳や各種設定をエクスポートします。

- 操作パネルを使用してエクスポートする場合は、USB メモリーを使用します。④ **USB メモリーを差し込む／取り外す (P. 325)**
 ※本機にあらかじめ USB メモリーが接続されている場合、それを取り外してから、目的の USB メモリーを接続します。
- インポート／エクスポートする項目を個別に選択したい場合は、パソコンからリモート UI を使用してインポート／エクスポートします。④ **個別にインポート／エクスポートする (P. 916)**

[暗号化パスワード]

[インポート結果レポート]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理] ▶ [インポート/エクスポート]

インポート結果のレポートをプリントします。

メモ

- インポート直後の本機の表示言語が日本語以外の場合、インポート結果レポートは英語でプリントされます。

[Web サービスからのインポート/エクスポートを制限]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理] ▶ [インポート/エクスポート]

リモート UI 以外の Web アプリケーションからのインポート／エクスポートを制限するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[セキュリティ設定]

本機の認証機能やシステム検証など、セキュリティについて設定／管理します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [認証/パスワード設定] (P. 1173)
- ④ [暗号設定] (P. 1173)
- ④ [システム検証設定] (P. 1173)
- ④ [おすすめセキュリティ設定] (P. 1174)

[認証/パスワード設定]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定]

本機の認証機能とパスワードのポリシーについて設定します。

- ④ [認証/パスワード設定] (P. 1176)

[暗号設定]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定]

本機の暗号について設定します。

- ④ [暗号設定] (P. 1183)

[システム検証設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定]

システムの検証機能や保護機能を使用するかどうかを設定します。

[起動時のシステム検証] を [ON] に設定すると、本機の起動時に、ファームウェアや MEAP アプリケーションの完全性が検証されます。その場合に、[ランタイムシステム保護] も [ON] に設定すると、プログラムの不正な改変と不正なプログラムの実行を防止し、システムの信頼性を向上できます。

[起動時のシステム検証]

[ON]、**[OFF]**

[ランタイムシステム保護]

[ON]、**[OFF]**

重要

- [起動時のシステム検証] が [ON] の状態で [OK] を押すと、設定変更の有無にかかわらず本機が再起動します。[ON] の状態のまま再起動したくない場合は、確認画面で [いいえ] を押したあと、[システム検証設定] 画面で [キャンセル] を押します。

メモ

[起動時のシステム検証] を [ON] に設定した場合

- システム検証を行うため、[OFF] に設定している場合と比べて起動に時間がかかります。
- 本体管理ログには、以下のイベントと結果が記録されます。 [🔗 ログの管理 \(P. 861\)](#)

イベント	ファームウェアの検証、MEAP アプリケーションの検証
結果	成功、失敗

- 本機を起動したときに、画面にエラーコードが表示された場合は販売店または担当サービスにお問い合わせください。

[ランタイムシステム保護] を [ON] に設定した場合

- 設定後の初回起動時のみ、起動時間が数分長くなります。
- [ホーム] 画面の、機能や設定のボタンに [システム検証モニター] が表示されます。[システム検証モニター] を押すと、不正な動作があった場合に、そのログを確認できます。

[おすすめセキュリティ設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定]

本機の使用環境に合わせたセキュリティ設定を行います。

- [環境タイプ設定] :
本機の使用環境に合った環境タイプを選択するだけで、おすすめのセキュリティ設定に変更できます。どの環境タイプに該当するかわからない場合は、[おすすめを更新] を押すか、「セキュリティ設定ナビ」を参照して確認します。「セキュリティ設定ナビ」では、各環境タイプの詳細も確認できます。 **セキュリティ設定ナビ**
- [保護通知の ON/OFF] :
本機の設定や設置環境からセキュリティリスクが検出された場合に、操作パネルの画面にメッセージを表示し、通知するかどうかを設定します。 [🔗 セキュリティ通知を設定する \(P. 848\)](#)

[環境タイプ設定]

- [1 社内イントラネットタイプ]
- [2 インターネット直結タイプ]
- [3 インターネット禁止タイプ]
- [4 在宅タイプ]
- [5 公共スペースタイプ]
- [6 高機密情報管理タイプ]

[おすすめを更新]

[設定を取り消す]

[保護通知の ON/OFF]

[おすすめ環境タイプの更新時]

[ON]、[OFF]

[インターネットからの接続時]

[ON]、[OFF]

[無線 LAN の暗号化方式の脆弱性検出時]

[ON]、[OFF]

重要

- 本機にセキュリティポリシーが適用されている場合は、この項目は設定できません。
- おすすめの設定は正確性や完全性を保証するものではありません。参考情報としてご利用ください。

メモ

おすすめのセキュリティー設定に変更した場合

- 必要な機能が利用できなくなったときなどは、[設定を取り消す] を押すと、設定の変更を取り消して元に戻すことができます。
※ [環境タイプ設定] で変更された項目の設定を手動で変更していた場合、その変更内容は維持されません。[環境タイプ設定] を実行する前の状態に戻ります。
- [実行結果プリント] を押すと、変更された項目の値を確認できます。

[認証/パスワード設定]

EJ83-0S1

本機の認証機能とパスワードのポリシーについて設定します。

- ④ [認証機能の設定] (P. 1176)
- ④ [パスワード設定] (P. 1176)

[認証機能の設定]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定]

本機の認証機能について設定します。

- ④ [認証機能の設定] (P. 1177)

[パスワード設定]

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定]

本機のパスワードのポリシーについて設定します。

- ④ [パスワード設定] (P. 1179)

[認証機能の設定]

本機の認証機能について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [部門 ID と暗証番号による認証の禁止] (P. 1177)
- ④ [ロックアウト設定] (P. 1177)

[部門 ID と暗証番号による認証の禁止]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [認証機能の設定]

パソコンからドライバーを介して本機を利用したり、デバイス管理ソフトウェアから本機にアクセスしたりする場合に、部門 ID による認証を禁止するかどうかを設定します。システム管理部門 ID も禁止の対象となります。

[ON] に設定した場合、本機にアクセスするときの認証方式は User Authentication に限定されます。

※処理中／待機中のジョブが禁止の対象となる場合、これらのジョブは強制的に中止されます。

[ON]、[OFF]

[ロックアウト設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [認証機能の設定]

ログイン時にパスワードを間違えた場合、一定時間ログインできない状態（ロックアウト）にするかどうかを設定します。

ロックアウトする場合は、何回連続して間違えるとロックアウトするかを [ロックアウトのしきい値] で、ロックアウトを解除するまでの時間を [ロックアウト時間] で設定できます。

※部門別 ID 管理の認証や暗証番号による認証には適用されません。

[ロックアウトを使用]

[ON]、[OFF]

[ロックアウトのしきい値]

1 ～ 5 ～ 10 回

[ロックアウト時間]

1 ～ 3 ～ 60 分

メモ

- Windows などの OS や、以下のプロトコルを利用するアプリケーションから本機へのログイン操作を行うと、設定した回数よりも少ない回数でロックアウトする場合があります。

- FTP
- IPP
- SNMPv3
- SMB
- WebDAV

[パスワード設定]

EJ83-0S3

本機のパスワードのポリシーについて設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [認証パスワードのキャッシュ保存を禁止] (P. 1179)
- ④ [デフォルトパスワード使用時に警告を表示] (P. 1179)
- ④ [リモートアクセス時にデフォルトパスワードの使用を許可] (P. 1179)
- ④ [ポリシー違反のパスワードをログイン時に必ず変更] (P. 1180)
- ④ [最小文字数の設定] (P. 1180)
- ④ [有効期間の設定] (P. 1180)
- ④ [3 つ以上連続する同じ文字の使用を禁止] (P. 1181)
- ④ [英大文字を 1 字以上必ず使用] (P. 1181)
- ④ [英小文字を 1 字以上必ず使用] (P. 1181)
- ④ [数字を 1 字以上必ず使用] (P. 1181)
- ④ [記号を 1 字以上必ず使用] (P. 1182)

[認証パスワードのキャッシュ保存を禁止]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [パスワード設定]

外部認証サーバーへのログイン時に入力したパスワードのキャッシュ保存を禁止するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[デフォルトパスワード使用時に警告を表示]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [パスワード設定]

ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーが初期設定のパスワードで本機にログインしたときに、パスワードの変更を促す画面を表示するかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

メモ

- パスワードの有効期限が切れた場合は、この設定にかかわらずパスワードの変更画面が表示されます。

[リモートアクセス時にデフォルトパスワードの使用を許可]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [パスワード設定]

ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーが初期設定のパスワードでリモート UI にログインできるようにするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

[ポリシー違反のパスワードをログイン時に必ず変更]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [パスワード設定]

ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーが初期設定のパスワードで本機にログインしたときに、パスワードを変更しないとログインできないようにするかどうかを設定します。

[ON]、[OFF]

メモ

- [セキュリティポリシーの設定] の [パスワードの設定ポリシー] のいずれかの項目が有効になると、この項目は [ON] に設定されます。▶ [セキュリティポリシーの項目 \(P. 855\)](#)

[最小文字数の設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [パスワード設定]

ユーザー認証で使用するパスワードの最小文字数を設定します。

すでに登録されているパスワードがこの条件を満たさない場合、ログイン時にパスワードの変更を促す画面が表示されます。

※暗証番号には適用されません。

[ON]、[OFF]
1 ~ **8** ~ 32 文字

[有効期間の設定]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [パスワード設定]

ユーザー認証で使用するパスワードの有効期間を設定します。

設定した有効期間を超過している場合は、ログイン時にパスワードの変更を促す画面が表示されます。

リモート UI から設定する場合、パスワードの有効期間は半角数字で入力します。

※暗証番号には適用されません。

[ON]、[OFF]
1 ~ 180 日

[3 つ以上連続する同じ文字の使用を禁止]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [パスワード設定]

同じ文字が 3 文字以上連続したパスワードを禁止するかどうかを設定します。
すでに登録されているパスワードがこの条件を満たさない場合、ログイン時にパスワードの変更を促す画面が表示されます。

※暗証番号には適用されません。

[ON]、[OFF]

[英大文字を 1 字以上必ず使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [パスワード設定]

アルファベットの大文字を 1 文字以上含めたパスワードのみ登録できるようにするかどうかを設定します。
すでに登録されているパスワードがこの条件を満たさない場合、ログイン時にパスワードの変更を促す画面が表示されます。

※暗証番号には適用されません。

[ON]、[OFF]

[英小文字を 1 字以上必ず使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [パスワード設定]

アルファベットの小文字を 1 文字以上含めたパスワードのみ登録できるようにするかどうかを設定します。
すでに登録されているパスワードがこの条件を満たさない場合、ログイン時にパスワードの変更を促す画面が表示されます。

※暗証番号には適用されません。

[ON]、[OFF]

[数字を 1 字以上必ず使用]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [パスワード設定]

数字を 1 文字以上含めたパスワードのみ登録できるようにするかどうかを設定します。

すでに登録されているパスワードがこの条件を満たさない場合、ログイン時にパスワードの変更を促す画面が表示されます。

※暗証番号には適用されません。

[ON]、[OFF]

[記号を 1 字以上必ず使用]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [パスワード設定]

記号を 1 文字以上含めたパスワードのみ登録できるようにするかどうかを設定します。

すでに登録されているパスワードがこの条件を満たさない場合、ログイン時にパスワードの変更を促す画面が表示されます。

※暗証番号には適用されません。

[ON]、[OFF]

[暗号設定]

本機の暗号について設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [弱い暗号の使用を禁止] (P. 1183)
- ④ [暗号方式を FIPS 140 準拠にする] (P. 1183)

[弱い暗号の使用を禁止]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [暗号設定]

弱い暗号や、弱い暗号を使用した鍵と証明書を禁止するかどうかを設定します。

- 使用禁止になるアルゴリズムについては、以下を参照してください。

④ 「弱い暗号」の定義 (P. 68)

- 使用禁止になる機能は以下のとおりです。

- IPSec
- TLS
- Kerberos
- S/MIME
- SNMPv3
- 無線 LAN

[ON]、[OFF]

[弱い暗号を用いた鍵/証明書の使用を禁止]

[ON]、[OFF]

重要

- 弱い暗号の使用を禁止すると、以下の無線 LAN ルーターとは接続できません。
 - セキュリティが設定されていない

[暗号方式を FIPS 140 準拠にする]

DeviceAdmin NetworkAdmin **リモート UI**

[ 設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティ設定] ▶ [暗号設定]

暗号を利用する機能を FIPS140 に準拠させるかどうかを設定します。

- FIPS140 準拠になるアルゴリズムについては、以下を参照してください。

④ FIPS140 準拠のアルゴリズム (P. 68)

- TLS 暗号化通信と MEAP アプリケーションが適用の対象となります。ただし、以下は対象外となります。

- FIPS プロバイダーを利用しない MEAP アプリケーション

[ON]、[OFF]

プリンター設定メニュー

EJ83-0S5

プリンター機能の仕様に関する設定やプリンター機能の初期化を行います。

- ④ [仕様設定] (P. 1185)
- ④ [ユーティリティ] (P. 1185)

[仕様設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定]

プリンター機能に共通する設定を行います。

- ④ [仕様設定] (P. 1186)

[ユーティリティ]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定]

フォントのダウンロードフォントを消去したり、エラーが発生した処理中のプリントデータを消去したりします。

- ④ [ユーティリティ] (P. 1256)

[仕様設定]

プリンター機能に共通する設定を行います。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [コピー部数] (P. 1186)
- ④ [両面] (P. 1186)
- ④ [給紙] (P. 1187)
- ④ [排紙] (P. 1187)
- ④ [印字調整] (P. 1187)
- ④ [レイアウト] (P. 1187)
- ④ [用紙種類未確定ジョブの動作] (P. 1187)
- ④ [自動エラースキップ] (P. 1187)
- ④ [タイムアウト] (P. 1188)
- ④ [RIP 完了後印刷] (P. 1188)
- ④ [プリンター動作モード] (P. 1189)
- ④ [優先エミュレーション] (P. 1189)
- ④ [自動切替] (P. 1189)
- ④ [コネクション認識] (P. 1190)
- ④ [プリンター設定初期化] (P. 1190)
- ④ [LIPS/エミュレーション設定] (P. 1190)
- ④ [PCL 設定] (P. 1191)
- ④ [PS 設定] (P. 1191)
- ④ [Imaging] (P. 1191)
- ④ [PDF] (P. 1191)
- ④ [XPS] (P. 1191)

[コピー部数]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

プリントする部数を設定します。

1 ~ 9999

[両面]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

両面プリントするかどうかを設定します。

[両面]、[片面]

[給紙]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

給紙部や、プリントする用紙サイズと用紙種類の初期設定を変更します。

🔗 [給紙] (P. 1193)

[排紙]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

プリントの仕上げを設定します。

🔗 [排紙] (P. 1195)

[印字調整]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

プリントするデータや目的に応じて、濃度や解像度など、プリント品質を調整します。

🔗 [印字調整] (P. 1197)

[レイアウト]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

とじしろの方向／余白やプリント位置を設定します。

🔗 [レイアウト] (P. 1202)

[用紙種類未確定ジョブの動作]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

用紙の種類が設定されていないジョブをプリントするかどうかを設定します。

[ジョブ継続] に設定すると、[デフォルト用紙種類] に設定した用紙の種類でプリントします。

※設定した種類の用紙が給紙部にセットされていない場合、プリントを実行したときにエラーになることがあります。

[ジョブ継続]、[ジョブキャンセル]

メモ

- ジョブに設定されている用紙サイズがはがきまたは封筒の場合、[デフォルト用紙種類] の設定にかかわらず、用紙の種類ははがきまたは封筒に設定されます。

[自動エラースキップ]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

プリント中にエラーが発生した場合に、自動的にエラースキップするかどうかを設定します。

エラースキップとは、エラーを一時的に解除して、プリントを継続する機能です。このため、エラースキップしても、正しくプリントされない場合があります。

通常は [しない] に設定することをおすすめします。この場合、エラーが発生してプリントが停止したときは、[状況確認]

▶ [詳細情報] ▶ [エラースキップ] を押して、手動でエラースキップします。

※エラースキップできるかどうかは、エラーの種類により異なります。

[する]、[しない]

[タイムアウト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

プリントデータの受信が中断されて一定時間経過した場合に、プリントを中止するかどうかを設定します。

中止する場合は、[する] に設定して、受信待機を開始してからタイムアウトになるまでの時間を設定します。USB またはネットワーク経由で受信したプリントデータが対象となります。

※ネットワーク経由の場合は [コネクション認識] が [しない] に設定されているときのみ対象となります。🔗 [コネクション認識] (P. 1190)

※この項目を [しない] に設定すると、ホチキスを設定したプリントが終了しない場合に、コピーできなくなることがあります。

[タイムアウト]

[する]、[しない]

[タイムアウト時間]

5 ~ 15 ~ 300 (秒)

[RIP 完了後印刷]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

プリントデータのすべてのページに対して、プリントに必要な変換処理 (RIP 処理) を行ってからプリントを開始するかどうかを設定します。

[する] に設定すると、プリント開始までの時間はかかりますが、プリントを開始してから完了するまでの時間 (プリンター機能が使用されている時間) を短縮できます。このため、他のプリントを実行しやすくなります。

[する]、[しない]

重要

- [する] に設定した場合、プリントデータのページ数が多いと、プリントできないことがあります。

[プリンター動作モード]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

通常は [自動] に設定して、受信したプリントデータを自動的に判別して適切な動作モードに切り替えるようにします。この場合、切り替え対象となる動作モードを設定できます。▶ **[自動切替] (P. 1189)**

プリントデータが形式不明などの理由で切り替わらない場合に、動作モードを設定します。

[LIPS ダンプ] に設定すると、プリントデータを図形や文字に変換せずに LIPS のコントロールコマンドの形式でプリントします。詳細については、オンラインマニュアルサイトで「本体からのプリント設定」を参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

[自動]、[PS] *1、[PCL] *1、[XPS]、[LIPS] *1、[N201] *1、[ESC/P] *1、[I5577] *1、[HP-GL] *1、[HP-GL/2] *1、[LIPS ダンプ] *1、[Imaging]、[PDF]

*1 オプションの有無によっては表示されません。

[優先エミュレーション]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

[プリンター動作モード] が [自動] の場合に、優先的に切り替える動作モードを設定します。

プリントデータの動作モードが識別できなかった場合に適用されます。

[なし] に設定した場合、プリントデータの動作モードが識別できなかったときは、その前の動作モードで引き続き処理されます。

[なし]、[PS] *1、[PCL] *1、[XPS]、[LIPS] *1、[N201] *1、[ESC/P] *1、[I5577] *1、[HP-GL] *1、[HP-GL/2] *1、[PDF]

*1 オプションの有無によっては表示されません。

[自動切替]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

[プリンター動作モード] が [自動] の場合に、切り替え対象となる動作モードを設定します。

動作モードをすべて [しない] に設定した場合、LIPS プリンタードライバーからのみプリントできます。

[PS] *1
[する]、[しない]

[PCL] *1
[する]、[しない]

[XPS]
[する]、[しない]
[LIPS] *1
[する]、[しない]
[N201] *1
[する]、[しない]
[ESC/P] *1
[する]、[しない]
[I5577] *1
[する]、[しない]
[HP-GL] *1
[する]、[しない]
[HP-GL/2] *1
[する]、[しない]
[Imaging]
[する]、[しない]
[PDF]
[する]、[しない]

*1 オプションの有無によっては表示されません。

[コネクション認識]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

ネットワーク経由でプリントした場合に、文字化けする、オーバーレイプリントが正しくできないなど、プリント結果が正しくないときは、[しない] に設定します。

[する]、[しない]

[プリンター設定初期化]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

[仕様設定] の項目すべてを工場出荷時の状態に戻します。

重要

- 初期化実行中に本機の電源を切らないでください。搭載されているメモリーが故障することがあります。

[LIPS/エミュレーション設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

LIPS LX/LIPS V プリンタードライバーを使用するときやエミュレーションモードを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

🔗 [LIPS/エミュレーション設定] (P. 1205)

※LIPS LX プリンタードライバー機能のみが搭載されている場合は、「LIPS 設定」と表示されます。

[PCL 設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

PCL プリンタードライバーを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※オプションの有無や他の設定項目の内容によっては、この項目は表示されません。

🔗 [PCL 設定] (P. 1239)

[PS 設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

PS プリンタードライバーを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※オプションの有無や他の設定項目の内容によっては、この項目は表示されません。

🔗 [PS 設定] (P. 1245)

[Imaging]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

JPEG/TIFF 形式の画像ファイルをプリントするときの、プリントデータの処理方法を設定します。

🔗 [Imaging] (P. 1248)

[PDF]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

PDF 形式のファイルをプリントするときの、プリントデータの処理方法を設定します。

🔗 [PDF] (P. 1251)

[XPS]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定]

XPS 形式のファイルをプリントするときの、プリントデータの処理方法を設定します。

🔍 [XPS] (P. 1254)

[給紙]

給紙部や、プリントする用紙サイズと用紙種類の初期設定を変更します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [デフォルト給紙箇所] (P. 1193)
- ④ [デフォルト用紙サイズ] (P. 1193)
- ④ [デフォルト用紙種類] (P. 1193)
- ④ [用紙サイズ置換] (P. 1194)

[デフォルト給紙箇所]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [給紙]

プリンタードライバーが使用できない OS やモバイル機器からプリントを実行したときに、使用する給紙部を設定します。

[自動]、[手差し]、給紙カセット*¹

*¹ 表示される給紙カセットの数は、機種やオプションによって異なります。

[デフォルト用紙サイズ]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [給紙]

プリンタードライバーが使用できない OS やモバイル機器からプリントを実行したときに、使用する用紙サイズを設定します。

[はがき] / [往復はがき] / [4 面はがき] に設定した場合は、[デフォルト用紙種類] を [はがき] に設定します。

※設定したサイズの用紙が給紙部にセットされていない場合、プリントを実行したときにエラーになることがあります。

[A4]、[A3]、[A5]、[A6]、[B4]、[B5]、[レター]、[リーガル]、[レジャー]、[ステートメント]、[はがき]、[往復はがき]、[4 面はがき]、[封筒 長形 3 号]、[封筒 長形 4 号]、[封筒 長形 40 号]、[封筒 洋形長 3 号]、[封筒 角形 2 号]、[封筒 No.10]、[封筒 ISO-C5]、[封筒 DL]、[封筒 Monarch]、[305×457mm]、[320×450mm(SRA3)]、[297×900mm]、[297×1200mm]

[デフォルト用紙種類]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [給紙]

プリンタードライバーが使用できない OS やモバイル機器からプリントを実行したときに、使用する用紙種類を設定します。

※設定した種類の用紙が給紙部にセットされていない場合、プリントを実行したときにエラーになることがあります。

[薄紙 2]、[薄紙 1]、[普通紙 1]、[普通紙 2]、[普通紙 3]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[厚紙 3]、[厚紙 4]、[厚紙 5]、[厚紙 6]、[厚紙 7]、
[色紙]、[再生紙 1]、[再生紙 2]、[再生紙 3]、[パンチ済み紙 1]、[パンチ済み紙 2]、[OHP フィルム]、[第 2 原図]、[ラベル用紙]、
[レターヘッド 1]、[レターヘッド 2]、[レターヘッド 3]、[レターヘッド 4]、[レターヘッド 5]、[レターヘッド 6]、[レターヘッド 7]、
[片面コート紙 1]、[片面コート紙 2]、[片面コート紙 3]、[片面コート紙 4]、[両面コート紙 1]、[両面コート紙 2]、[両面コート紙 3]、
[両面コート紙 4]、[はがき]、[封筒]

[用紙サイズ置換]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [給紙]

プリントデータで指定されたサイズ of 用紙が給紙部にセットされていない場合に、「A4」と「レター」、「A3」と「11"×17"」
で相互に用紙を置き換えてプリントするかどうかを設定します。

[する]、[しない]

[排紙]

プリントの仕上げを設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

🔗 [仕上げ] (P. 1195)

🔗 [パンチ] (P. 1195)

[仕上げ]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [排紙]

プリントした用紙の仕分けとホチキスについて設定します。 🔗 **仕上げ機能対応オプション一覧 (P. 8)**

[仕上げ]

[しない]、[ソート]、[グループ]、[回転+ソート] ^{*1}、[回転+グループ] ^{*1}、[シフト+ソート] ^{*1}、[シフト+グループ] ^{*1}、[ホチキス+ソート] ^{*1}、[ホチキス+グループ] ^{*1}、[針なしとじ+ソート] ^{*1*2}、[針なしとじグループ] ^{*1*2}

[シフト部数] ^{*3}

1 ~ 9999 (部ごと)

[とじ位置]

[左上(コーナー)]、[上(ダブル)]、[右上(コーナー)]、[右(ダブル)]、[右下(コーナー)]、[下(ダブル)]、[左下(コーナー)]、[左(ダブル)]

^{*1} オプションの有無によっては表示されません。

^{*2} コーナーでのみ、とじることが可能です。

^{*3} [シフト+ソート] の場合に設定します。

重要

- プリントデータのページ数が多いと、プリントできないことがあります。

メモ

- 「回転」に設定する場合は、給紙部に同じサイズ of 用紙をタテ向き／ヨコ向きでセットします。A4／B5／レターの用紙を使用できます。
- [とじ位置] は、用紙のタテ方向に配置するポートレート画像に対する位置です。用紙のヨコ方向に配置するランドスケープ画像の場合、画像を正面に見たときのホチキス位置は指定した位置とは異なります。
- 「ホチキス」または「針なしとじ」は、使用する用紙によってとじることができる枚数が異なります。 🔗 **対応オプション一覧 (P. 4)**
- ホチキスとパンチを同時に設定する場合、[とじ位置] と [パンチ位置] を合わせる必要があります。位置が合わない場合は、両方の設定が無効になり、ホチキスとパンチは実行されません。 🔗 **[パンチ] (P. 1195)**
 ※ [とじ位置] が「左上」で [パンチ位置] が「左」の場合は有効です。

[パンチ]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [排紙]

プリントした用紙にパンチ穴をあけるかどうかを設定します。
パンチ穴をあける場合は、位置とパンチ穴の数も設定します。

※この設定は、フィニッシャーとパンチャーを装着している場合にのみ表示されます。

[パンチ]

[する]、[しない]

[パンチ位置]

[左]、[右]、[上]、[下]

[パンチ種別]

[フィニッシャー(2穴)]、[フィニッシャー(4穴)]

メモ

- ホチキスとパンチを同時に設定する場合、[とじ位置] と [パンチ位置] を合わせる必要があります。位置が合わない場合は、両方の設定が無効になり、ホチキスとパンチは実行されません。▶ **【仕上げ】 (P. 1195)**
※ [とじ位置] が「左上」で [パンチ位置] が「左」の場合は有効です。

[印字調整]

プリントするデータや目的に応じて、濃度や解像度など、プリント品質を調整します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [トナー濃度] (P. 1197)
- ④ [トナー濃度(微調整)] (P. 1197)
- ④ [トナー節約] (P. 1197)
- ④ [階調] (P. 1198)
- ④ [解像度] (P. 1198)
- ④ [ライン処理] (P. 1199)
- ④ [太さ調整] (P. 1199)
- ④ [アドバンスドスムージング] (P. 1199)
- ④ [グラデーションスムージング] (P. 1200)
- ④ [白黒モード時のテキスト強調] (P. 1200)

[トナー濃度]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [印字調整]

プリント時のトナー濃度を調整します。

※ [トナー節約] が [する] に設定されている場合は、トナー濃度を調整できません。④ [トナー節約] (P. 1197)

-8 ~ 0 ~ +8

[トナー濃度(微調整)]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [印字調整]

プリント時のトナー濃度を3段階に分けた濃度域別に調整します。

※ [トナー節約] が [する] に設定されている場合は、トナー濃度を微調整できません。④ [トナー節約] (P. 1197)

[高濃度] / [中濃度] / [低濃度]
-8 ~ 0 ~ +8

[トナー節約]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [印字調整]

トナーを節約してプリントするかどうかを設定します。

大量にプリントする前など、レイアウトなどの仕上がりを事前に確認してからプリントしたい場合に、[する] に設定します。

[する]、[しない]

[階調]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [印字調整]

プリントデータの出力階調を設定します。

- 出力階調を 2 階調 (1bit/pixel) で表現する場合は、[標準] に設定します。
- 出力階調を 4 階調 (2bit/pixel) で表現する場合は、[高階調 1] に設定します。
- 出力階調を 16 階調 (4bit/pixel) で表現する場合は、[高階調 2] に設定します。

[標準]、[高階調 1]、[高階調 2]

メモ

- 解像度を [ファイン] に設定している場合は、[高階調 1] と [高階調 2] が選択できます。
- 解像度を [スーパーファイン] に設定している場合は、[標準] のみ選択できます。
- [中間調選択] の [誤差拡散(ファイン時のみ有効)] を [する] に設定している場合、この設定は無効になります。

[解像度]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [印字調整]

プリントデータを処理するときの解像度を設定します。

より高解像度でプリントする場合は、[スーパーファイン] に設定します。

ただし、長尺用紙にプリントする場合は、[ファイン] に設定します。[スーパーファイン] に設定すると、処理に必要なメモリーが不足するためプリントできません。

※この設定は、LIPS LX モードでのプリントおよびダイレクトプリントで有効です。LIPS4 モードでプリントする場合、この設定にかかわらず、常に「ファイン」の解像度でプリントされます。

[スーパーファイン]、[ファイン]

[トナー印字量補正]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [印字調整]

テキストや線などのデータに対するトナーの量が本機内の制限値を超えた場合に、制限値に収まるようにトナーの量を補正します。

- 通常は[標準]に設定します。テキストや線に対しては解像度を保ち、それ以外のデータに対しては色味を保つように補正します。
- すべてのデータに対して色味を保つように補正する場合は、[階調優先]に設定します。この場合、テキストや線がにじむ場合があります。
- すべてのデータに対して解像度を保つように補正する場合は、[テキスト優先]に設定します。この場合、色味が合わない場合があります。

※本機のトナーの量の制限値は変更できません。

[標準]、[階調優先]、[テキスト優先]

[ライン処理]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [印字調整]

線を再現するときの処理方法を設定します。

- 文字と同じ解像度で線を描画する場合は、[解像度優先]に設定します。
- 階調を保持するように線を描画する場合は、[階調優先]に設定します。

[解像度優先]、[階調優先]

[太さ調整]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [印字調整]

文字や細い線を太くプリントするように調整するかどうかを設定します。

[太さ調整] を [する] に設定した場合、調整する対象を設定します。

※アプリケーションによっては、この設定が反映されないことがあります。

[太さ調整]

[する]、[しない]

[太さ調整の対象]

[テキスト]、[ライン]、[テキストとライン]、[全て]

[アドバンスドスムージング]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [印字調整]

グラフィックス（アプリケーションで作成されたイラスト）や文字の輪郭を、なめらかにプリントするようスムージング処理を設定します。

スムージング処理を有効にする場合は、[アドバンスドスムージング] を [レベル 1] に設定し、よりなめらかにプリントする場合は [レベル 2] に設定します。

また、スムージング処理をグラフィックス／文字に適用するかどうかも個別に設定します。

※ [中間調選択] が [誤差拡散] に設定されている場合は、この設定は無効になります。

※プリンタードライバーを使用してプリントする場合、プリンタードライバーで [アドバンスドスムージング] を [パネル優先] に設定すると、この設定が適用されます。

[アドバンスドスムージング]
[しない]、[レベル 1]、[レベル 2]

[グラフィックスに適用]
[する]、[しない]

[テキストに適用]
[する]、[しない]

[グラデーションスムージング]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [印字調整]

グラフィックス（アプリケーションで作成されたイラスト）やイメージ（ビットマップ）などの画像の階調（グラデーション）を、なめらかにプリントするようスムージング処理を設定します。

スムージング処理を有効にする場合は、[グラデーションスムージング] を [レベル 1] に設定し、よりなめらかにプリントする場合は [レベル 2] に設定します。

また、スムージング処理をグラフィックス／イメージに適用するかどうかも個別に設定します。

※プリンタードライバーを使用してプリントする場合、プリンタードライバーの [グラデーションスムージング] の設定はグラフィックスデータにのみ適用されます。イメージデータのスムージング処理は、この設定が適用されます。

[グラデーションスムージング]
[しない]、[レベル 1]、[レベル 2]

[グラフィックスに適用]
[する]、[しない]

[イメージに適用]
[する]、[しない]

[白黒モード時のテキスト強調]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [印字調整]

カラーの文字が含まれた文書を白黒プリントする場合に、文字の濃度を調整して読みやすくするかどうかを設定します。

- 明るい色の文字に対して効果がありますが、以下のデータには効果がありません。
 - グラフィックやイメージで描画された文字のデータ
 - PDF データ

- 明るい色の文字が含まれた文書を白黒プリントする場合に [しない] に設定すると、[する] に設定したときよりも文字が薄くプリントされるため、見えにくくなることがあります。
- [しない] に設定しても文字が強調される場合は、スムージング処理が行われないように設定します。 ➡ [【アドバンスドスムージング】 \(P. 1199\)](#)

[する]、[しない]

[レイアウト]

とじしろの方向／余白やプリント位置を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ▶ [とじ方向] (P. 1202)
- ▶ [とじしろ] (P. 1202)
- ▶ [短辺方向移動] ／ [長辺方向移動] (P. 1203)

[とじ方向]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [レイアウト]

プリントしたあとに用紙をホチキスなどでとじる場合に、用紙の長辺／短辺のどちらでとじるかを設定します。
とじ位置の余白を調整する [とじしろ] と組み合わせて設定します。▶ [とじしろ] (P. 1202)

- 用紙の長辺でとじる場合は、[長辺とじ] に設定します。



- 用紙の短辺でとじる場合は、[短辺とじ] に設定します。



[長辺とじ]、[短辺とじ]

[とじしろ]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [レイアウト]

プリント位置をずらして、とじしろになる余白の幅を調整します。

[とじ方向] で設定した辺に合わせて、ずらす方向を＋／－で、ずらす幅を 0.5 mm 単位で指定します。▶ [とじ方向] (P. 1202)

[とじ方向] で [長辺とじ] を設定した場合

用紙の左端でとじる場合は「＋」、右端でとじる場合は「－」の数値で、ずらす幅を指定します。



「+」の数値で指定



「-」の数値で指定

[とじ方向] で [短辺とじ] を設定した場合

用紙の上端でとじる場合は「+」、下端でとじる場合は「-」の数値で、ずらす幅を指定します。



「+」の数値で指定



「-」の数値で指定

-50.0 ~ 0.0 ~ +50.0 (mm)

メモ

- プリント位置を調整している場合は、それぞれの値が加算されて補正されます。▶ [短辺方向移動] / [長辺方向移動] (P. 1203)

[短辺方向移動] / [長辺方向移動]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

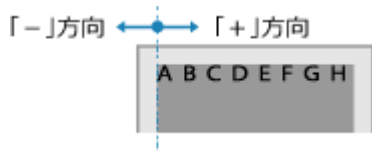
[設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [レイアウト]

文字や画像のプリント位置をずらします。かたよった位置にプリントされたり、プリント範囲からはみ出したりする場合に設定します。

用紙の辺の方向とプリント面ごとに、ずらす方向を+/-で、ずらす幅を 0.5 mm 単位で指定します。

短辺方向（ヨコ）にずらす場合

用紙の右方向にずらす場合は「+」、左方向にずらす場合は「-」の数値で、ずらす幅を指定します。



長辺方向（タテ）にずらす場合

用紙の下方向にずらす場合は「+」、上方向にずらす場合は「-」の数値で、ずらす幅を指定します。



-50.0 ~ 0.0 ~ +50.0 (mm)

メモ

- とじしろを調整している場合は、それぞれの値が加算されて補正されます。🔗 [【とじしろ】 \(P. 1202\)](#)

[LIPS/エミュレーション設定]

LIPS LX/LIPS V プリンタードライバーを使用するときやエミュレーションモードを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [中間調選択] (P. 1205)
- ④ [LIPSLX 設定] (P. 1206)
- ④ [LIPS4 設定] (P. 1206)
- ④ [N201 設定] (P. 1206)
- ④ [ESC/P 設定] (P. 1206)
- ④ [I5577 設定] (P. 1206)
- ④ [HP-GL 設定] (P. 1207)
- ④ [HP-GL/2 設定] (P. 1207)

[中間調選択]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定]

中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を、プリントデータの内容に合わせて設定します。

テキスト（文字）／グラフィックス（線や図形）／イメージ（写真）に対して別々に設定できます。

- 細い線や小さい文字を高精細にプリントする場合は、[誤差拡散（ファイン時のみ有効）] を [する] に設定します。CAD データなどのプリントに適しています。
- テキストの輪郭を明瞭にして精細にプリントする場合は、[解像度] に設定します。文字や細い線のデータのプリントに適しています。
- 階調や輪郭をなめらかにプリントする場合は、[階調] に設定します。グラデーションを使用した図形などのデータのプリントに適しています。

※ [誤差拡散（ファイン時のみ有効）] を [する] に設定した場合、トナーの定着性や質感の安定性が下がることがあります。また、[テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ] は、[誤差拡散] に固定されます。

[誤差拡散（ファイン時のみ有効）]

[する]、[しない]

[テキスト]

[解像度]、[階調]

[グラフィックス]

[解像度]、[階調]

[イメージ]

[解像度]、[階調]

[LIPSLX 設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定]

LIPS LX プリンタードライバを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

🔗 [LIPSLX 設定] (P. 1208)

[LIPS4 設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定]

LIPS V プリンタードライバを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※オプションの有無や他の設定項目の内容によっては、この項目は表示されません。

🔗 [LIPS4 設定] (P. 1209)

[N201 設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定]

N201 エミュレーションモードを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※オプションの有無や他の設定項目の内容によっては、この項目は表示されません。

🔗 [N201 設定] (P. 1219)

[ESC/P 設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定]

ESC/P エミュレーションモードを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※オプションの有無や他の設定項目の内容によっては、この項目は表示されません。

🔗 [ESC/P 設定] (P. 1223)

[I5577 設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定]

I5577 エミュレーションモードを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※オプションの有無や他の設定項目の内容によっては、この項目は表示されません。

🔍 [I5577 設定] (P. 1227)

[HP-GL 設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定]

HP-GL エミュレーションモードを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※オプションの有無や他の設定項目の内容によっては、この項目は表示されません。

🔍 [HP-GL 設定] (P. 1232)

[HP-GL/2 設定]

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定]

HP-GL/2 エミュレーションモードを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※オプションの有無や他の設定項目の内容によっては、この項目は表示されません。

🔍 [HP-GL/2 設定] (P. 1236)

[LIPSLX 設定]

EJ83-0SE

LIPS LX プリンタードライバを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

④ [白紙節約] (P. 1208)

[白紙節約]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPSLX 設定]

プリント時に白紙と判定したページを排紙しないようにする場合は、[する] に設定します。

※プリントデータによっては、プリント領域に何も描画されていない場合でも、白紙と判定されないことがあります。

[する]、[しない]

[LIPS4 設定]

LIPS V プリンタードライバを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [白紙節約] (P. 1209)
- ④ [拡大/縮小] (P. 1209)
- ④ [ページ集約] (P. 1210)
- ④ [複数ページ余白] (P. 1212)
- ④ [ページの向き] (P. 1213)
- ④ [オーバーレイ 1] / [オーバーレイ 2] (P. 1213)
- ④ [漢字コード] (P. 1214)
- ④ [文字サイズ] (P. 1215)
- ④ [漢字書体] (P. 1215)
- ④ [ANK 書体] (P. 1215)
- ④ [漢字グラフィックセット] (P. 1216)
- ④ [行数] (P. 1216)
- ④ [桁数] (P. 1216)
- ④ [自動改ページ] (P. 1217)
- ④ [自動改行] (P. 1217)
- ④ [CR 機能] (P. 1217)
- ④ [LF 機能] (P. 1218)
- ④ [網かけ解像度] (P. 1218)

[白紙節約]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

プリント時に白紙と判定したページを排紙しないようにする場合は、[する] に設定します。

※プリントデータによっては、ページに何も描画されていない場合でも、白紙と判定されないことがあります。

※オプションの有無や他の設定項目の内容によっては、この項目は表示されません。

[する]、[しない]

[拡大/縮小]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

プリントデータを拡大／縮小するかどうかを設定します。

拡大／縮小する場合は、出力する用紙サイズを選択します。選択した用紙サイズとプリントデータの用紙サイズから、自動的に拡大／縮小率が計算されます。

※この設定は、拡大／縮小率が 25 ～ 200 % の場合に有効です。無効な場合は等倍でプリントされます。

[しない]、[→A3]、[→B4]、[→A4]、[→B5]、[→A5]、[→リーガル]、[→レター]、[→はがき]、[→往復はがき]、[→4 面はがき]

メモ

- データの左上端を基点として拡大／縮小されます。
- 拡大／縮小してプリントすると、線の太さにムラが生じたり、細い線が消えたりすることがあります。
- プリントデータの用紙サイズが定形サイズ以外の場合は、正しく拡大／縮小されないことがあります。
- アプリケーションソフトからのコマンドの内容によっては、正しく拡大／縮小されないことがあります。

[ページ集約]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

複数ページのプリントデータを、縮小した状態で 1 枚の用紙の同じ面に並べてプリントするかどうかを設定します。ページ集約する場合は、集約するページ数と並べかたを選択します。

[2 in 1(左)]

2 ページ分のデータが左または上から並べられてプリントされます。

データをタテ向きに並べる場合



データをヨコ向きに並べる場合



[2 in 1(右)]

2 ページ分のデータが右または下から並べられてプリントされます。

データをタテ向きに並べる場合



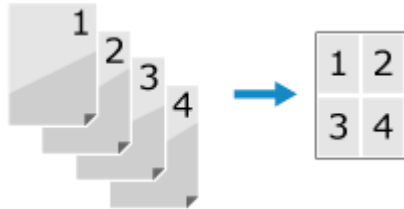
データをヨコ向きに並べる場合



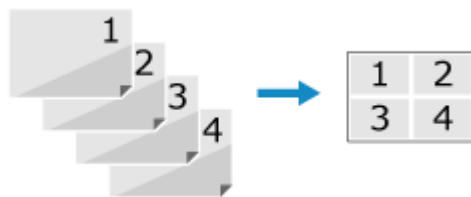
[4 in 1(横-左)]

4 ページ分のデータが、左上からヨコ方向に並べられてプリントされます。

データをタテ向きに並べる場合



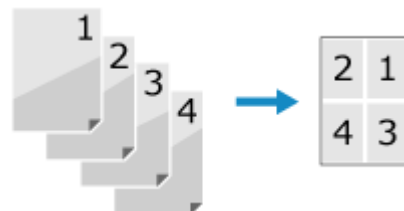
データをヨコ向きに並べる場合



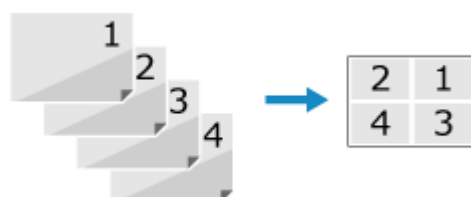
[4 in 1(横-右)]

4 ページ分のデータが、右上からヨコ方向に並べられてプリントされます。

データをタテ向きに並べる場合



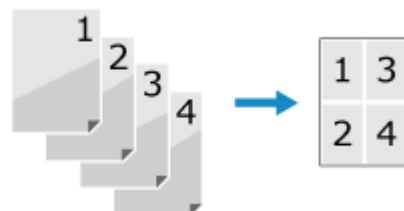
データをヨコ向きに並べる場合



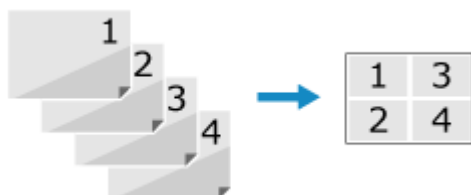
[4 in 1(縦-左)]

4 ページ分のデータが、左上からタテ方向に並べられてプリントされます。

データをタテ向きに並べる場合



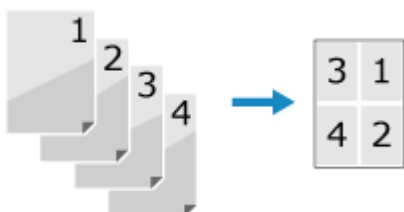
データをヨコ向きに並べる場合



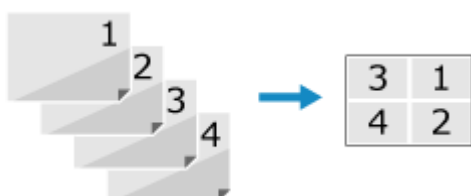
[4 in 1(縦-右)]

4 ページ分のデータが、右上からタテ方向に並べられてプリントされます。

データをタテ向きに並べる場合



データをヨコ向きに並べる場合



[しない]、[2 in 1(左)]、[2 in 1(右)]、[4 in 1(横-左)]、[4 in 1(横-右)]、[4 in 1(縦-左)]、[4 in 1(縦-右)]

メモ

- 異なるサイズのページデータを並べて 1 ページにプリントすることはできません。
- 文書を縮小してプリントする場合、縮小率が 25 % より小さくなるとページ集約は行われません。▶ [\[拡大/縮小\]](#) (P. 1209)

[複数ページ余白]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

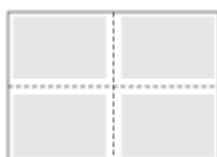
リモート UI

[設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

ページ集約の余白のとりかたを設定します。

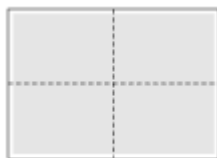
[パターン 1]

各ページが接する部分に余白をつけてレイアウトされます。



[パターン 2]

各ページが接する部分に余白をつけずにレイアウトされます。



※用紙の長辺と短辺の比率によっては、余白ができることがあります。

[パターン 1]、[パターン 2]

[ページの向き]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

プリントするときの用紙の向きを設定します。

給紙部にセットされている用紙の向きにかかわらず、設定した向きでプリントされます。

[縦]



[横]



[縦]、[横]

[オーバーレイ 1] / [オーバーレイ 2]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

あらかじめ本機に登録したフォーマットを重ねてプリントする「オーバーレイプリント」をするかどうかを設定します。オーバーレイプリントをする場合は、登録されているフォーマットデータの番号を指定します。

[オーバーレイ 1 設定] / [オーバーレイ 2 設定]

[する]、[しない]

[オーバーレイ 1 番号] *1 / [オーバーレイ 2 番号] *1

0 ~ 32767

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

メモ

フォーマットの作成／登録

- フォーマットの作成や登録は、アプリケーションソフトから LIPS のコントロールコマンドで行います。詳しくは、「プログラマーズマニュアル」を参照してください。
※「プログラマーズマニュアル」の入手方法については、販売店または担当サービスにお問い合わせください。
- 登録したフォーマットデータは、本機の主電源を切ったときやプリンター初期化を行ったときに削除されます。🔗 **【プリンター初期化】 (P. 1256)**
- 登録したフォーマットデータの内容や番号、サイズは、LIPS ユーティリティプリントの「オーバーレイプリント」、「オーバーレイリスト」で確認することができます。🔗 **登録情報や設定をプリントする (P. 907)**

[漢字コード]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

⚙️ **設定/登録** ▶ **【ファンクション設定】** ▶ **【プリンター】** ▶ **【プリンター設定】** ▶ **【仕様設定】** ▶ **【LIPS/エミュレーション設定】** ▶ **【LIPS4 設定】**

プリントデータに応じて、漢字コードを設定します。

通常は [JIS] に設定しますが、以下のような場合に設定を変更します。

- アプリケーションソフトを使用せず、MS-DOS のテキストデータをそのままプリントする場合は、[シフト JIS] に設定します。
- UNIX を OS とするワークステーションやコンピューターからプリントする場合は、[EUC] に設定します。
- DEC 漢字コードを採用しているワークステーションからプリントする場合は、[DEC] に設定します。

[JIS]、[シフト JIS]、[EUC]、[DEC]

重要

- [シフト JIS] に設定した場合、LIPS の C1 制御命令は使用できなくなります。ビット長を 7 ビット形式で送信すると、LIPS のコマンドとして動作します。
- 漢字コードを設定するということは、漢字コード体系に応じて文字セットを割り当てテーブルに割り当てるとということです。JIS で規定されていない拡張文字などはプリントされません。

メモ

- 各漢字コードの文字セットは、以下の通り G0～G3 の割り当てテーブルに割り当てられます。

	シフト JIS	JIS	EUC	DEC
G0	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
G1	半角カナ	半角カナ	全角漢字	半角カナ
G2	全角漢字	全角漢字	半角カナ	全角漢字
G3	漢字縮小	漢字縮小	全角漢字	漢字縮小
GL	G0	G0	G0	G0
GR	G1	G1	G1	G3
ペア	G0～G1	G0～G1	解除	解除

- この設定に含まれない漢字コードを使用する場合は、アプリケーションソフト側で文字セットを割り当てます。

- 指定された文字セットが存在しない場合は、近い属性の文字セットを使用してプリントされます。
- JIS 漢字コードには「新 JIS」と「旧 JIS」があります。新 JIS と旧 JIS の切り替えは、[漢字グラフィックセット] で設定します。▶ **[漢字グラフィックセット] (P. 1216)**
- UNIX では EUC を採用していますが、中には OS のデバイスドライバーが JIS 漢字コードなどに変換するものもあります。詳しくは、コンピューターの操作説明書を参照してください。

[文字サイズ]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

文字のサイズを設定します。

※コントロールコマンドで LIPS II⁺を使用している場合は、実際にプリントされる文字サイズが LIPS III/IV の場合と異なります。

設定値	LIPS III/IV	LIPS II ⁺
[8 ポイント]	8 ポイント	7.2 ポイント
[10 ポイント]	10 ポイント	9.6 ポイント
[12 ポイント]	12 ポイント	12 ポイント

[10 ポイント]、[12 ポイント]、[8 ポイント]

[漢字書体]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

漢字やひらがななどの全角文字の書体を設定します。

[明朝]、[ゴシック]

[ANK 書体]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

半角英数字や半角カナなどの ANK 文字の書体を設定します。

書体例：

123 ABC ミンチョウタイ
 123 ABC ゴシックタイ
 123 ABC ラインブ リンタ

※ANK とは、Alphabet、Numeric、Kana の略です。

[明朝]、[ゴシック]、[ラインプリンター]

[漢字グラフィックセット]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

[漢字コード] で [JIS] を選択した場合に使用する漢字グラフィックセットを設定します。▶ **[漢字コード] (P. 1214)**
 グラフィックセットとは、パソコンからのコードに対して、どの文字を割り当てるかという取り決めです。JIS コードには「新 JIS (JIS90)」と「旧 JIS (JIS78)」があります。新 JIS コードは、旧 JIS コードに特殊記号、罫線、漢字などを追加、変更したものです。パソコンに合わせて設定します。

[JIS90]、[JIS78]

[行数]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

1 インチまたは 1 ページにプリントする行数を設定します。
 [任意設定] に設定する場合は、任意の行数を指定します。

[行数選択]

[6 lpi]、[8 lpi]、[任意設定] *1

[任意設定値]

10 ～ 99 (行／ページ)

※ 「lpi」は Line Per Inch の略で、1 インチあたりの行数の単位を表します。

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[桁数]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

1 インチまたは 1 行にプリントする文字数を設定します。
 [任意設定] に設定する場合は、任意の文字数を指定します。

[桁数選択]

[自動]、[10 cpi]、[12 cpi]、[15 cpi]、[任意設定] *1

[任意設定値]

10 ~ 200 (文字/行)

※ 「cpi」は Characters Per Inch の略で、1 インチあたりの文字数の単位を表します。

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[自動改ページ]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

プリントする文字位置がプリントが有効な領域の下端を超える場合に、自動的に改ページしてプリントするかどうかを設定します。

[しない] に設定すると、パソコンから改ページコード (FF) を受信するまで改ページしません。

[する]、[しない]

[自動改行]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

プリントする文字位置が右マージンまたはプリントが有効な領域の右端を超える場合に、自動的に改行してプリントするかどうかを設定します。

[しない] に設定すると、パソコンから復帰コード (CR) や改行コード (LF) を受信するまでプリントする文字位置を変更しません。

[する]、[しない]

[CR 機能]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

復帰コード (CR) を受信したときの、プリントする文字位置の移動のしかたを設定します。

[CR のみ]

プリントする文字位置を行の先頭に移動します。

[CR+LF]

プリントする文字位置を次の行の先頭に移動します。

[CRのみ]、[CR+LF]

[LF 機能]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

改行コード（LF）を受信したときの、プリントする文字位置の移動のしかたを設定します。

[LFのみ]

桁位置はそのままプリントする文字位置を次の行へ移動します。

[LF+CR]

プリントする文字位置を次の行の先頭に移動します。

[LFのみ]、[LF+CR]

[網かけ解像度]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [LIPS4 設定]

網かけや飾り罫線のパターンの解像度を設定します。

[クイック]

300 dpi 用にデザインされたパターンを 2 倍に拡大して使用します。

[ファイン]

600 dpi 用にデザインされたパターンを使用します。[クイック] よりも高精度でプリントできます。

[クイック]、[ファイン]

[N201 設定]

EJ83-0SH

N201 エミュレーションモードを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [ページレイアウト] (P. 1219)
- ④ [行桁] (P. 1220)
- ④ [フォント] (P. 1220)
- ④ [印字機能] (P. 1221)
- ④ [印字動作] (P. 1221)
- ④ [VFC] (P. 1222)
- ④ [その他] (P. 1222)

メモ

- 設定の詳細については、オンラインマニュアルサイトでエミュレーションのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

[ページレイアウト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [N201 設定]

用紙サイズや用紙の向きを設定したり、プリント位置を調整したりします。

[ページフォーマット]

[**実寸縦**]、[実寸横]、[10 インチ→A4 縦]、[15 インチ→A4 横]、[15 インチ→B4 横]、[2/3 縦]、[2/3 横]

[用紙位置]

[**中央**]、[左]

[上余白]

-127 ～ **0** ～ +127 point

[用紙位置微調整]

-127 ～ **0** ～ +127 point

[領域]

[**標準**]、[ワイド]

[右マージン既定値]

[**136 桁**]、[右端]

[用紙サイズ]

[A3]、[B4]、[**A4**]、[B5]、[A5]、[はがき]

[2 ページ印刷設定]

[**しない**]、[左]、[右]

[行桁]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [N201 設定]

1 ページにプリントする行数や 1 行にプリントする桁数、文字のピッチなどを設定します。

[行固定機能]

[無効]、[有効]

[桁固定機能]

[無効]、[有効]

[行数]

10 ～ 66 ～ 400 行

[桁数]

10 ～ 136 ～ 400 桁

[漢字ピッチ]

[2/1]、[3/2]、[4/3]、[5/4]、[1/1]

[フォント]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [N201 設定]

漢字の書体やサイズ、フォントについて設定します。

[漢字書体]

[明朝]、[ゴシック]、[丸ゴシック]、[フォント ID]

[フォント ID] *1

1 ～ 2 ～ 999

[漢字サイズ]

[システム]、[8 ポイント]、[10 ポイント]、[12 ポイント]

[OCR フォント]

[使用せず]、[OCR-B]、[OCR-A]、[OCR-B/OCR-カナ]、[OCR-A/OCR-カナ]

[ゼロ書体]

[斜線無しゼロ]、[斜線付きゼロ]

[国別文字]

[日本]、[USA]、[UK]、[ドイツ]、[スウェーデン]

[漢字グラフィックセット]

[JIS78]、[JIS90]

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[印字機能]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [N201 設定]

イメージデータの補正や登録文字のサイズ、オーバーレイなどについて設定します。

[イメージの補正]

[する]、[しない]

[外字サイズ]

[10.8 ポイント]、[10 ポイント]

[グラフィック]

[ネイティブ]、[コピー]

[システムオーバーレイ]

[システムオーバーレイ設定]

[する]、[しない]

[オーバーレイ番号] *1

1 ～ 5

[スタートアップマクロ]

0 ～ 255

[ユーザーオーバーレイ 1]

[する]、[しない]

[ユーザーオーバーレイ 2]

[する]、[しない]

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[印字動作]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [N201 設定]

CR などの制御コードによるプリントの動作を設定します。

[HEX モード後の LF]

[無視する]、[無視しない]

[CR 機能]

[復帰のみ]、[復帰/改行]

[印字指令]

[CR のみ]、[CR など]

[バッファフル]

[復帰/改行]、[復帰のみ]

[VFC]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [N201 設定]

連続用紙やカット紙のページ長などを設定します。

[改行幅]

[6 lpi]、[4 lpi]、[3 lpi]、[8 lpi]

[単票用紙長機能]

[無効]、[有効]

[用紙長機能]

[無効]、[有効]

[用紙長設定] *1

1 ～ 66 ～ 199 行

[ミシン目スキップ]

0 ～ 197 行

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[その他]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [N201 設定]

登録文字／フォームデータ／マクロデータの登録方法やプリントデータの形式について設定します。

[登録レベル]

[一時]、[永久]

[HEX/LIPS 機能]

[無効]、[有効]

[LIPS フォーム]

[LIPS2]、[LIPS4]

[ESC/P 設定]

ESC/P エミュレーションモードを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [ページレイアウト] (P. 1223)
- ④ [行桁] (P. 1223)
- ④ [フォント] (P. 1224)
- ④ [印字機能] (P. 1224)
- ④ [印字動作] (P. 1225)
- ④ [VFC] (P. 1225)
- ④ [その他] (P. 1226)

メモ

- 設定の詳細については、オンラインマニュアルサイトでエミュレーションのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

[ページレイアウト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [ESC/P 設定]

用紙サイズや用紙の向きを設定したり、プリント位置を調整したりします。

[ページフォーマット]

[**実寸縦**]、[実寸横]、[10 インチ→A4 縦]、[15 インチ→A4 横]、[15 インチ→B4 横]、[B4→A4 縦]、[B4→A4 横]

[上余白]

-127 ～ **0** ～ +127 point

[用紙位置微調整]

-127 ～ **0** ～ +127 point

[領域]

[**標準**]、[ワイド]

[右マージン既定値]

[**136 桁**]、[右端]

[用紙サイズ]

[A3]、[B4]、[**A4**]、[B5]、[A5]、[はがき]

[2 ページ印刷設定]

[**しない**]、[左]、[右]

[行桁]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [ESC/P 設定]

1 ページにプリントする行数や 1 行にプリントする桁数、文字のピッチなどを設定します。

[行固定機能]

[無効]、[有効]

[桁固定機能]

[無効]、[有効]

[行数]

10 ～ 66 ～ 400 行

[桁数]

10 ～ 136 ～ 400 桁

[漢字ピッチ]

[2/1]、[3/2]、[4/3]、[5/4]、[1/1]

[フォント]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [ESC/P 設定]

漢字の書体やサイズ、フォントについて設定します。

[漢字書体]

[明朝]、[ゴシック]、[丸ゴシック]、[フォント ID]

[フォント ID] *1

1 ～ 2 ～ 999

[漢字サイズ]

[システム]、[8 ポイント]、[10 ポイント]、[12 ポイント]

[文字コード]

[カタカナ]、[グラフィックス]

[国別文字]

[日本]、[ノルウェー]、[デンマーク 2]、[スペイン 2]、[ラテンアメリカ]、[USA]、[フランス]、[ドイツ]、[UK]、[デンマーク]、[スウェーデン]、[イタリア]、[スペイン]

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[印字機能]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [ESC/P 設定]

イメージデータの補正や縮小文字、オーバーレイなどについて設定します。

[イメージの補正]
[する]、[しない]

[縮小文字]
[する]、[しない]

[システムオーバーレイ]
[システムオーバーレイ設定]
[する]、[しない]
[オーバーレイ番号] *1
1 ～ 5

[スタートアップマクロ]
0 ～ 255

[ユーザーオーバーレイ 1]
[する]、[しない]

[ユーザーオーバーレイ 2]
[する]、[しない]

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[印字動作]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [ESC/P 設定]

CR などの制御コードによるプリントの動作を設定します。

[HEX モード後の LF]
[無視する]、[無視しない]

[改行機能]
[LF コマンドを待つ]、[改行]

[VFC]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [ESC/P 設定]

連続用紙やカット紙のページ長などを設定します。

[連続用紙長]
[設定方法]

[システム]、[任意設定] *1

[任意設定値]

1 ～ 66 ～ 199 行

[単票用紙長]

[設定方法]

[システム]、[任意設定] *1

[任意設定値]

1 ～ 66 ～ 199 行

[ミシン目スキップ]

[ミシン目スキップ]

[する]、[しない]

[スキップ量] *1

1 ～ 31 行

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[その他]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [ESC/P 設定]

登録文字／フォームデータ／マクロデータの登録方法やプリントデータの形式について設定します。

[登録レベル]

[一時]、[永久]

[HEX/LIPS 機能]

[無効]、[有効]

[LIPS フォーム]

[LIPS2]、[LIPS4]

[I5577 設定]

I5577 エミュレーションモードを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [ページレイアウト] (P. 1227)
- ④ [行桁] (P. 1228)
- ④ [フォント] (P. 1228)
- ④ [印字機能] (P. 1229)
- ④ [印字動作] (P. 1229)
- ④ [VFC] (P. 1230)
- ④ [プロプリンター] (P. 1230)
- ④ [その他] (P. 1231)

メモ

- 設定の詳細については、オンラインマニュアルサイトでエミュレーションのマニュアルを参照してください。
<https://oip.manual.canon/>

[ページレイアウト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [I5577 設定]

用紙サイズや用紙の向きを設定したり、プリント位置を調整したりします。

[ページフォーマット]

[実寸縦]、[実寸横]、[10 インチ→A4 縦]、[15 インチ→A4 横]、[15 インチ→B4 横]、[B4→A4 縦]、[B4→A4 横]

[上余白]

-127 ～ 0 ～ +127 point

[用紙位置微調整]

-127 ～ 0 ～ +127 point

[領域]

[標準]、[ワイド]

[右マージン既定値]

[印刷幅]、[右端]

[印刷幅]

[13.2 インチ]、[8 インチ]、[13.6 インチ]

[用紙サイズ]

[A3]、[B4]、[A4]、[B5]、[A5]、[はがき]

[2 ページ印刷設定]

[しない]、[左]、[右]

[横方向の拡大縮小]
 [拡大/縮小]
 [する]、[しない]
 [拡大/縮小率] *1
 50 ～ 100 ～ 200 %

[縦方向の拡大縮小]
 [拡大/縮小]
 [する]、[しない]
 [拡大/縮小率] *1
 50 ～ 100 ～ 200 %

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[行桁]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [I5577 設定]

1 ページにプリントする行数や 1 行にプリントする桁数、文字のピッチなどを設定します。

[行固定機能]
 [無効]、[有効]

[桁固定機能]
 [無効]、[有効]

[行数]
 10 ～ 66 ～ 400 行

[桁数]
 10 ～ 132 ～ 400 桁

[漢字ピッチ]
 [2/1]、[3/2]、[4/3]、[5/4]、[1/1]

[フォント]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [I5577 設定]

漢字の書体やサイズ、フォントについて設定します。

[漢字書体]
 [明朝]、[ゴシック]、[丸ゴシック]、[フォント ID]

[フォント ID] *1
 1 ～ 2 ～ 999

[漢字グラフィックセット]
 [JISIBM]、[JIS78]、[JIS90]

[漢字サイズ]

[システム]、[8 ポイント]、[10 ポイント]、[12 ポイント]

[OCR フォント]

[使用せず]、[OCR-A]、[OCR-B]、[OCR-A/OCR-カナ]、[OCR-B/OCR-カナ]

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[印字機能]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [I5577 設定]

イメージデータの補正やオーバーレイなどについて設定します。

[イメージの補正]

[する]、[しない]

[システムオーバーレイ]

[システムオーバーレイ設定]

[する]、[しない]

[オーバーレイ番号] *1

1 ～ 5

[スタートアップマクロ]

0 ～ 255

[ユーザーオーバーレイ 1]

[する]、[しない]

[ユーザーオーバーレイ 2]

[する]、[しない]

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[印字動作]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [I5577 設定]

自動排紙時間や LF などの制御コードによるプリントの動作を設定します。

[自動排紙]

[自動排紙]

[する]、[しない]

[排紙時間] *1

5 ～ 30 ～ 300 秒

[HEX モード後の LF]

[無視する]、[無視しない]

[イメージラップ]

[**する**]、[しない]

[行送りモード]

[**標準**]、[LF]

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[VFC]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [I5577 設定]

連続用紙やカット紙のページ長などを設定します。

[改行幅]

[**6 lpi**]、[5 lpi]、[4 lpi]、[3 lpi]、[2 lpi]、[8 lpi]、[7.5 lpi]

[用紙長機能]

[**無効**]、[有効]

[用紙長設定]

0 ～ **66** ～ 512 行

[ミシン目スキップ]

0 ～ 509 行

[改ページ動作]

[**標準**]、[排紙]

[プロプリンター]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [I5577 設定]

I5577 エミュレーションモードの英語モード専用の機能を設定します。

[CR 機能]

[**復帰のみ**]、[復帰/改行]

[自動復帰機能]

[復帰する]、[**復帰しない**]

[ゼロ書体]

[**斜線無しゼロ**]、[斜線付きゼロ]

[文字セット]

[**1**]、[2]

[コードページ]

[**437**]、[850]

[グラフィックモード]

[有効]、[無効]

[その他]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [I5577 設定]

コマンドモードを切り替えたり、登録文字／フォームデータ／マクロデータの登録方法やプリントデータの形式について設定したりします。

[コマンドモード]

[75]、[Pro]

[登録レベル]

[一時]、[永久]

[HEX/LIPS 機能]

[無効]、[有効]

[LIPS フォーム]

[LIPS2]、[LIPS4]

[HP-GL 設定]

HP-GL エミュレーションモードを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [ペン] (P. 1232)
- ④ [用紙] (P. 1232)
- ④ [レイアウト] (P. 1233)
- ④ [オートレイアウト] (P. 1233)
- ④ [排紙] (P. 1234)
- ④ [プロッター] (P. 1234)
- ④ [拡張] (P. 1234)

メモ

- 設定の詳細については、オンラインマニュアルサイトでエミュレーションのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

[ペン]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [HP-GL 設定]

プロッターの8種類のペンに対応する線の太さ（ペンの太さ）について設定します。

[太さ単位]

[dot]、[mm]

[ペン 1] ~ [ペン 8]

[太さ(dot)]

0 ~ 1 ~ 15 (dot)

[太さ(mm)]

0.0 ~ 0.1 ~ 5.0 (mm)

[グレータイプ]

0 ~ 8

[用紙]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [HP-GL 設定]

作図を行ったときの用紙サイズについて設定します。

※オートレイアウトが有効の場合、この設定は無効になります。④ [オートレイアウト] (P. 1233)

[原稿サイズ]

[A4]、[B4]、[A3]、[A2]、[A1]、[A0]、[はがき]、[B6]、[A5]、[B5]、[レター]、[レジャー]

[出力用紙サイズ]

[A4]、[B4]、[A3]、[はがき]、[A5]、[B5]、[レター]、[レジャー]

[レイアウト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [HP-GL 設定]

拡大／縮小、分割、回転など、作図データをプリントするときの設定を行います。

※オートレイアウトが有効の場合、この設定は無効になります。▶ [\[オートレイアウト\]](#) (P. 1233)

[拡大/縮小]

[**しない**]、[自動]、[手動]

[拡大/縮小率]

50 ～ **100** ～ 200 (%)

[分割印刷]

[する]、[**しない**]

[座標回転]

[**0°**]、[90°]、[180°]、[270°]

[ミラー反転]

[する]、[**しない**]

[クリップモード]

[**プリンタークリップ**]、[プロッタークリップ]、[用紙クリップ]

[オートレイアウト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [HP-GL 設定]

入力されたデータから原稿サイズを判断し、用紙サイズに合わせてプリントします。

[オートレイアウト]

[する]、[**しない**]

[原稿サイズ識別方法] *1

[**自動識別**]、[コマンド(PS 優先)]、[コマンド(IW 優先)]、[コマンド(IP 優先)]、[作図データ]

[原稿サイズ] *1

[**定型サイズを使用**]、[作図領域を使用]

[出力用紙サイズ] *1

[**自動(A サイズ)**]、[自動(A/B サイズ)]、[A3]、[A4]、[A5]、[B4]、[B5]

[原稿サイズ微調整] *1

0 ~ 99 (mm)

[画像欠け防止] *1

[する]、[しない]

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[排紙]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [HP-GL 設定]

HP-GL コマンドの排紙動作を設定します。

[「IN」 排紙]

[する]、[しない]

[「SP」 排紙]

[する]、[しない]

[プロッター]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [HP-GL 設定]

エミュレーションするプロッターを設定します。

※オートレイアウトが有効の場合、この設定は無効になります。 ▶ **[オートレイアウト]** (P.1233)

[プロッターユニット]

[0.02500 mm]、[0.02488 mm]

[プロッター ID]

[7550B]、[7570A]、[7575A]、[7576A]、[7595B]、[7596B]、[7599A]、[7440A]、[7475A]、[7550A]

[拡張]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [HP-GL 設定]

HP-GL コマンドによる動作や漢字の書体などを設定します。

[カラーゼルタイプ]

1 ~ 5

[リプロットモード]

[する]、[しない]

[漢字書体]

[明朝]、[ゴシック]、[丸ゴシック]、[フォント ID]

[フォント ID]

1 ～ 999

[漢字グラフィックセット]

[JIS90]、[JIS78]

[エンハンスモード]

[する]、[しない]

[HP-GL/2 設定]

HP-GL/2 エミュレーションモードを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [ペン] (P. 1236)
- ④ [用紙] (P. 1236)
- ④ [レイアウト] (P. 1237)
- ④ [オートレイアウト] (P. 1237)

メモ

- 設定の詳細については、オンラインマニュアルサイトでエミュレーションのマニュアルを参照してください。
<https://oip.manual.canon/>

[ペン]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [HP-GL/2 設定]

プロッターの 16 種類のペンに対応する線の太さ（ペンの太さ）について設定します。

[パレット選択]

[データ]、[パネル]

[ペン 0] ～ [ペン 15] *¹

[太さ]

0.04 ～ 0.10 ～ 2.55 (mm)

[グレー番号]

0 ～ 8

*¹ オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[用紙]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [HP-GL/2 設定]

作図を行ったときの用紙サイズについて設定します。

※オートレイアウトが有効の場合、この設定は無効になります。 ④ [オートレイアウト] (P. 1237)

[原稿サイズ]

[A0]、[A1]、[A2]、[A3]、[A4]、[B0]、[B1]、[B2]、[B3]、[B4]、[B5]、[はがき]、[レター]、[レジャー]、[ユーザー設定用紙]

[ユーザー設定用紙] *1

[高さ]

100.0 ~ 297.0 ~ 2000.0 (mm)

[幅]

100.0 ~ 210.0 ~ 2000.0 (mm)

[出力用紙サイズ]

[A3]、[B4]、[A4]、[B5]、[レジャー]、[レター]、[はがき]

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[レイアウト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [HP-GL/2 設定]

拡大／縮小、分割、回転など、作図データをプリントするときの設定を行います。

※オートレイアウトが有効の場合、[解像度] 以外は無効になります。

[イメージの向き] *1

[縦]、[横]

[解像度]

[75 dpi]、[150 dpi]、[300 dpi]、[600 dpi]、[1200 dpi]

[拡大/縮小] *1

[しない]、[自動]、[手動]

[拡大/縮小率] *1

[長辺] / [短辺]

25.0 ~ 100.0 ~ 200.0 (%)

[余白] *1

[上] / [下] / [左] / [右]

0.0 ~ 5.0 ~ 50.0 (mm)

[座標回転] *1

[0°]、[90°]、[180°]、[270°]

[ミラー反転] *1

[する]、[しない]

[クリップモード] *1

[データ]、[パネル]

*1 オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[オートレイアウト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [LIPS/エミュレーション設定] ▶ [HP-GL/2 設定]

入力されたデータから原稿サイズを判断し、用紙サイズに合わせてプリントします。

[オートレイアウト]

[する]、[しない]

[原稿サイズ識別方法] *¹

[コマンド(PS 優先)]、[作図データ]

[原稿サイズ] *¹

[定型サイズを使用]、[作図領域を使用]

[出力用紙サイズ] *¹

[自動(A サイズ)]、[自動(A/B サイズ)]、[A3]、[A4]、[B4]、[B5]

[画像欠け防止] *¹

[する]、[しない]

*¹ オプションの有無や他の設定項目の内容によっては表示されません。

[PCL 設定]

PCL プリンタードライバーを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [白紙節約] (P. 1239)
- ④ [ページの向き] (P. 1239)
- ④ [フォントソース] (P. 1240)
- ④ [フォント番号] (P. 1240)
- ④ [文字サイズ] (P. 1240)
- ④ [文字数] (P. 1241)
- ④ [行数] (P. 1241)
- ④ [文字コード] (P. 1241)
- ④ [ユーザー設定用紙サイズの設定] (P. 1241)
- ④ [単位] (P. 1242)
- ④ [幅] (P. 1242)
- ④ [高さ] (P. 1242)
- ④ [LF 機能] (P. 1243)
- ④ [A4 印字領域横幅拡大] (P. 1243)
- ④ [中間調選択] (P. 1243)
- ④ [BarDIMM] (P. 1244)
- ④ [FreeScape] (P. 1244)

[白紙節約]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

プリント時に白紙と判定したページを排紙しないようにする場合は、[する] に設定します。

※プリントデータによっては、ページに何も描画されていない場合でも、白紙と判定されないことがあります。

[する]、[しない]

[ページの向き]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

プリントするときの用紙の向きを設定します。

給紙部にセットされている用紙の向きにかかわらず、設定した向きでプリントされます。

[縦]



[横]



[縦]、[横]

[フォントソース]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

本機に内蔵されているフォントを使用するか、インストールしたフォントを使用するかを設定します。

※ [Soft/External] は、ソフトフォントまたはダウンロードフォントが本機にインストールされている場合に表示されます。

[Internal]、[Soft/External]

[フォント番号]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

使用するフォントの書体を番号で指定します。

[フォントソース] の設定およびインストールしたフォントによって、指定できる番号が異なります。 [▶ \[フォントソース\]](#) (P. 1240)

0 ~ 104 ([フォントソース] が [Internal] 時)
1 ~ 999 ([フォントソース] が [Soft/External] 時)

[文字サイズ]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

文字のサイズを 0.25 point 単位で設定します。

※この設定は、フォント番号がプロポーショナルフォントに対応した番号の場合に表示されます。[フォントソース] が [Internal] の場合は、1～78のフォント番号がプロポーショナルフォントになります。▶ **[フォント番号] (P. 1240)**

4.00 ～ **12.00** ～ 999.75 (point)

[文字数]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

 **設定/登録** ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

1 インチにプリントする文字数を設定します。

※この設定は、固定幅のスケラブルフォントに対応した番号の場合に表示されます。[フォントソース] が [Internal] の場合は、0 または 79～104 のフォント番号が固定幅のスケラブルフォントになります。▶ **[フォント番号] (P. 1240)**

0.44 ～ **10.00** ～ 99.99 (dpi)

※「dpi」は Characters Per Inch の略で、1 インチあたりの文字数の単位を表します。

[行数]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

 **設定/登録** ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

1 ページにプリントする行数を設定します。

5 ～ **64** ～ 128 (行)

[文字コード]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

 **設定/登録** ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

プリントデータを送信するパソコンに適合した文字コードを設定します。

[ARABIC8]、[DESKTOP]、[GREEK8]、[HEBREW7]、[HEBREW8]、[ISO4]、[ISO6]、[ISO11]、[ISO15]、[ISO17]、[ISO21]、[ISO60]、[ISO69]、[ISOCYR]、[ISOGRK]、[ISOHEB]、[ISOL1]、[ISOL2]、[ISOL5]、[ISOL6]、[ISOL9]、[LEGAL]、[MATH8]、[MCTEXT]、[MSPUBL]、**[PC8]**、[PC8DN]、[PC8GRK]、[PC8TK]、[PC775]、[PC850]、[PC851]、[PC852]、[PC858]、[PC862]、[PC864]、[PC866]、[PC1004]、[PIFONT]、[PSMATH]、[PSTEXT]、[ROMAN8]、[ROMAN9]、[VNINTL]、[VNMATH]、[VNUS]、[WIN30]、[WINARB]、[WINBALT]、[WINCYR]、[WINGRK]、[WINL1]、[WINL2]、[WINL5]

[ユーザー設定用紙サイズの設定]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

ページサイズの指定がないプリントデータの用紙サイズを設定するかどうかを設定します。

用紙サイズを設定する場合は、[する] に設定して、単位やサイズを設定します。▶ **[単位]** (P. 1242) / ▶ **[幅]** (P. 1242) / ▶ **[高さ]** (P. 1242)

[する]、[しない]

[単位]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

用紙サイズの指定に使用する単位を切り替えます。▶ **[幅]** (P. 1242) / ▶ **[高さ]** (P. 1242)

※この設定は、[ユーザー設定用紙サイズの設定] が [する] の場合に指定できます。▶ **[ユーザー設定用紙サイズの設定]** (P. 1241)

[ミリメートル]、[インチ]

[幅]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

ページ幅の指定がないプリントデータに適用するページ幅を設定します。

※この設定は、[ユーザー設定用紙サイズの設定] が [する] の場合に指定できます。▶ **[ユーザー設定用紙サイズの設定]** (P. 1241)

98.0 ~ 457.2 ~ 1200.0 (mm) *1

*1 インチ単位の場合、3.86 ~ 18.00 ~ 47.24 の範囲で設定できます。

[高さ]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

ページ長の指定がないプリントデータに適用するページ長を設定します。

※この設定は、[ユーザー設定用紙サイズの設定] が [する] の場合に指定できます。▶ **[ユーザー設定用紙サイズの設定]** (P. 1241)

98.0 ~ 320.0 (mm) *1

*1 インチ単位の場合、3.86 ～ 12.59 の範囲で設定できます。

[LF 機能]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

改行コード (LF) を受信したときの、プリントする文字位置の移動のしかたを設定します。

[CR+LF]

プリントする文字位置を次の行の先頭に移動します。

[LF のみ]

桁位置はそのままプリントする文字位置を次の行へ移動します。

[CR+LF]、[LF のみ]

[A4 印字領域横幅拡大]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

A4 の用紙にプリントする場合、プリント領域の幅をレターのプリント領域まで広げるかどうかを設定します。
[する] に設定すると、プリント領域の幅が広がり、左右の余白が 4.2 mm から 3.4 mm に縮小されます。

※この設定は、ページがタテ向きの場合にのみ有効です。

[する]、[しない]

[中間調選択]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

中間調 (明るい部分と暗い部分の中間の領域) を再現するときのプリント方法を、プリントデータの内容に合わせて設定します。

テキスト (文字) / グラフィックス (線や図形) / イメージ (写真) に対して別々に設定できます。

- 細い線や小さい文字を高精細にプリントする場合は、[誤差拡散(ファイン時のみ有効)] を [する] に設定します。CAD データなどのプリントに適しています。
- テキストの輪郭を明瞭にして精細にプリントする場合は、[解像度] に設定します。文字や細い線のデータのプリントに適しています。
- 階調や輪郭をなめらかにプリントする場合は、[階調] に設定します。グラデーションを使用した図形などのデータのプリントに適しています。

※ [誤差拡散(ファイン時のみ有効)] を [する] に設定した場合、トナーの定着性や質感の安定性が下がることがあります。
また、[テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ] は、[誤差拡散] に固定されます。

[誤差拡散(ファイン時のみ有効)]

[する]、[しない]

[テキスト]

[解像度]、[階調]

[グラフィックス]

[解像度]、[階調]

[イメージ]

[解像度]、[階調]

[BarDIMM]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

PCL バーコードプリント拡張キットのバーコードデータのプリントを可能にするかどうかを設定します。

※この設定は、オプションの PCL バーコードプリント拡張キットがライセンス登録されている場合に表示されます。ライセンス登録されていない場合は [無効] の状態です。

※ [有効] に設定しているとプリント速度が遅くなることがあります。

[有効]、[無効]

[FreeScape]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PCL 設定]

バーコードデータの末尾を宣言する文字を設定します。

※この設定は、[BarDIMM] が [有効] の場合に指定できます。▶ [\[BarDIMM\] \(P. 1244\)](#)

[使わない]、[~]、["]、[#]、[\$]、[/]、[\]、[?]、[{]、[}]、[]

[PS 設定]

PS プリンタードライバを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [白紙節約] (P. 1245)
- ④ [ジョブタイムアウト] (P. 1245)
- ④ [エラーページプリント] (P. 1245)
- ④ [フォント置換] (P. 1246)
- ④ [細線調整] (P. 1246)
- ④ [中間調選択] (P. 1246)
- ④ [明るさ] (P. 1247)
- ④ [グレースケール変換方式] (P. 1247)

[白紙節約]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PS 設定]

プリント時に白紙と判定したページを排紙しないようにする場合は、[する] に設定します。

※プリントデータによっては、ページに何も描画されていない場合でも、白紙と判定されないことがあります。

[する]、[しない]

[ジョブタイムアウト]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PS 設定]

プリントデータの受信が中断された場合に、受信待機を開始してからタイムアウトになるまでの時間を設定します。

0 ~ 3600 (秒)

[エラーページプリント]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PS 設定]

プリント中にエラーが発生した場合、エラー内容をプリントするかどうかを設定します。

[する]、[しない]

[フォント置換]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PS 設定]

プリントデータ内に本機に内蔵されていないフォントがある場合、フォントを置き換えてプリントするかどうかを設定します。

この項目を変更した場合は、本機を再起動するか、[プリンター初期化] を実行する必要があります。▶ **[プリンター初期化] (P. 1256)**

[Osaka]

[しない]、[平成角ゴシック W5]、[平成明朝 W3]

[Osaka-等幅]

[しない]、[平成角ゴシック W5]、[平成明朝 W3]

[中ゴシック BBB]

[しない]、[平成角ゴシック W5]、[平成明朝 W3]

[リュウミン L-KL]

[しない]、[平成角ゴシック W5]、[平成明朝 W3]

[不明フォント]

[Courier]、[平成角ゴシック W5]、[平成明朝 W3]

[細線調整]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PS 設定]

細い線の太さを均一化してプリントするかどうかを設定します。

[均一(細く)] に設定すると、[均一] より線が細くなりますが、線が細くなりすぎたり、かすれたりすることがあります。

[均一]、[均一(細く)]、[しない]

[中間調選択]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PS 設定]

中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を、プリントデータの内容に合わせて設定します。

テキスト（文字）／グラフィックス（線や図形）／イメージ（写真）に対して別々に設定できます。

- 細い線や小さい文字を高精細にプリントする場合は、[誤差拡散（ファイン時のみ有効）] を [する] に設定します。CAD データなどのプリントに適しています。

- テキストの輪郭を明瞭にして精細にプリントする場合は、[解像度] に設定します。文字や細い線のデータのプリントに適しています。
- 階調や輪郭をなめらかにプリントする場合は、[階調] に設定します。グラデーションを使用した図形などのデータのプリントに適しています。

※ [誤差拡散（ファイン時のみ有効）] を [する] に設定した場合、トナーの定着性や質感の安定性が下がることがあります。また、[テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ] は、[誤差拡散] に固定されます。

[誤差拡散（ファイン時のみ有効）]

[する]、[しない]

[テキスト]

[解像度]、[階調]

[グラフィックス]

[解像度]、[階調]

[イメージ]

[解像度]、[階調]

[明るさ]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PS 設定]

プリント画像の明るさを 5 % 間隔で調整します。数値が大きくなるほど、暗くプリントされます。

※この設定は、[トナー節約] が [しない] に設定されている場合にのみ表示されます。▶ **[トナー節約] (P. 1197)**

※プリンタードライバーを使用してプリントする場合、プリンタードライバーで [トナー節約モード] を [使う] に設定すると、この設定は適用されません。

85 ~ 100 ~ 115 (%)

[グレースケール変換方式]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモートUI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PS 設定]

カラーのデータを白黒プリントするときの変換方式を設定します。

- 色の違いが考慮されたなめらかな階調の白黒プリントにする場合は、[sRGB] に設定します。
- NTSC 方式のテレビ映像と同等の見た目の白黒プリントにする場合は、[NTSC] に設定します。
- 明るさを基準にして RGB がすべて均等になる白黒プリントにする場合は、[RGB 均等] に設定します。

[sRGB]、[NTSC]、[RGB 均等]

[Imaging]

JPEG/TIFF 形式の画像ファイルをプリントするときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [画像の向き] (P. 1248)
- ④ [拡大/縮小] (P. 1248)
- ④ [印字位置] (P. 1248)
- ④ [警告表示] (P. 1249)
- ④ [印字領域拡大] (P. 1249)
- ④ [中間調選択] (P. 1249)
- ④ [グレースケール変換方式] (P. 1250)

[画像の向き]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [Imaging]

プリントするときの用紙の向きを設定します。

給紙部にセットされている用紙の向きにかかわらず、設定した向きでプリントされます。

[自動] に設定した場合、画像の幅と高さを比較して、幅が大きければヨコ向き、高さが大きければタテ向きにプリントされます。

[自動]、[縦]、[横]

[拡大/縮小]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [Imaging]

プリントが有効な領域に合わせて、画像を拡大するかどうかを設定します。

- プリントが有効な領域より画像が大きい場合は、設定にかかわらずプリントが有効な領域に画像が収まるように縮小されます。
- 画像の拡大や縮小は、タテとヨコの比率を維持したまま行われます。

[しない]、[自動]

メモ

- [自動] に設定すると、TIFF データのタグ内でプリント位置が指定されていても無効になります。

[印字位置]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [Imaging]

画像をプリントする位置を設定します。

[自動] に設定すると、TIFF データのタグ内で指定されたプリント位置にしたがってプリントされます。プリント位置の指定がない場合や、JPEG 画像の場合は中央にプリントされます。

[自動]、[中央]、[左上]

[警告表示]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [Imaging]

エラーを検出した場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうかを設定します。

[する]、[しない]

メモ

- [しない] に設定している場合でも、エラーによっては、エラーが表示されることがあります。

[印字領域拡大]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [Imaging]

用紙の周囲に余白を設けず、プリントする領域を用紙いっぱいに拡大してプリントするかどうかを設定します。

※ [する] に設定すると、プリントデータによっては、プリント画像の端が一部欠けたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

[する]、[しない]

[中間調選択]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [Imaging]

中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を、プリントデータの内容に合わせて設定します。

- 解像度重視の線数の高いディザパターンを使用してプリントする場合は、[解像度] に設定します。エッジ部分のギザギザが目立たないため、一般的な文字やグラフィックなどをプリントするときに適しています。
- 階調や輪郭をなめらかにプリントする場合は、[階調] に設定します。グラデーションを使用した図形などのデータのプリントに適しています。

- 細い線や小さい文字を高精細にプリントする場合は、[誤差拡散] に設定します。CAD データなどのプリントに適しています。

※ [誤差拡散] に設定した場合、トナーの定着性や質感の安定性が下がることがあります。

[解像度]、[階調]、[誤差拡散]

[グレースケール変換方式]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [Imaging]

カラーのデータを白黒プリントするときの変換方式を設定します。

- 色の違いが考慮されたなめらかな階調の白黒プリントにする場合は、[sRGB] に設定します。
- NTSC 方式のテレビ映像と同等の見た目の白黒プリントにする場合は、[NTSC] に設定します。
- 明るさを基準にして RGB がすべて均等になる白黒プリントにする場合は、[RGB 均等] に設定します。

[sRGB]、[NTSC]、[RGB 均等]

[PDF]

EJ83-0SU

PDF 形式のファイルをプリントするときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [白紙節約] (P. 1251)
- ④ [用紙サイズに拡大/縮小] (P. 1251)
- ④ [印字領域拡大] (P. 1251)
- ④ [ページ集約] (P. 1252)
- ④ [注釈印刷] (P. 1252)
- ④ [細線調整] (P. 1252)
- ④ [中間調選択] (P. 1252)
- ④ [明るさ] (P. 1253)
- ④ [グレースケール変換方式] (P. 1253)

[白紙節約]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PDF]

プリント時に白紙と判定したページを排紙しないようにする場合は、[する] に設定します。

※プリントデータによっては、ページに何も描画されていない場合でも、白紙と判定されないことがあります。

[する]、[しない]

[用紙サイズに拡大/縮小]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PDF]

プリントに使用する用紙に合わせて、プリントデータを拡大／縮小するかどうかを設定します。

※ [する] に設定すると、プリントデータのタテヨコ比は維持されたまま拡大／縮小されます。

[する]、[しない]

[印字領域拡大]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PDF]

用紙の周囲に余白を設けず、プリントする領域を用紙いっぱいに拡大してプリントするかどうかを設定します。

※ [する] に設定すると、プリントデータによっては、プリント画像の端が一部欠けたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

[する]、[しない]

[ページ集約]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PDF]

複数ページのプリントデータを、縮小した状態で 1 枚の用紙の同じ面に並べてプリントするかどうかを設定します。
ページ集約する場合は、集約するページ数を選択します。

例：用紙の片面に 4 ページ分のプリントデータを集約する場合
[4 in 1] を選択します。

[しない]、[2 in 1]、[4 in 1]、[6 in 1]、[8 in 1]、[9 in 1]、[16 in 1]

[注釈印刷]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PDF]

PDF の注釈をプリントするかどうかを設定します。
[自動] に設定すると、文書と注釈^{*1} がプリントされます。

^{*1} PDF ファイル内でプリント指定された注釈のみです。

[しない]、[自動]

[細線調整]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PDF]

細い線の太さを均一化してプリントするかどうかを設定します。
[均一(細く)] に設定すると、[均一] より線が細くなりますが、線が細くなりすぎたり、かすれたりすることがあります。

[均一]、[均一(細く)]、[しない]

[中間調選択]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PDF]

中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を、プリントデータの内容に合わせて設定します。

テキスト（文字）／グラフィックス（線や図形）／イメージ（写真）に対して別々に設定できます。

- 細い線や小さい文字を高精細にプリントする場合は、[誤差拡散(ファイン時のみ有効)] を [する] に設定します。CAD データなどのプリントに適しています。
- テキストの輪郭を明瞭にして精細にプリントする場合は、[解像度] に設定します。文字や細い線のデータのプリントに適しています。
- 階調や輪郭をなめらかにプリントする場合は、[階調] に設定します。グラデーションを使用した図形などのデータのプリントに適しています。

※ [誤差拡散(ファイン時のみ有効)] を [する] に設定した場合、トナーの定着性や質感の安定性が下がることがあります。また、[テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ] は、[誤差拡散] に固定されます。

[誤差拡散(ファイン時のみ有効)]

[する]、[しない]

[テキスト]

[解像度]、[階調]

[グラフィックス]

[解像度]、[階調]

[イメージ]

[解像度]、[階調]

[明るさ]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PDF]

プリント画像の明るさを 5 % 間隔で調整します。数値が大きくなるほど、暗くプリントされます。

※この設定は、[トナー節約] が [しない] に設定されている場合にのみ表示されます。🔗 **[トナー節約] (P. 1197)**

85 ~ 100 ~ 115 (%)

[グレースケール変換方式]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [PDF]

カラーのデータを白黒プリントするときの変換方式を設定します。

- 色の違いが考慮されたなめらかな階調の白黒プリントにする場合は、[sRGB] に設定します。
- NTSC 方式のテレビ映像と同等の見た目の白黒プリントにする場合は、[NTSC] に設定します。
- 明るさを基準にして RGB がすべて均等になる白黒プリントにする場合は、[RGB 均等] に設定します。

[sRGB]、[NTSC]、[RGB 均等]

[XPS]

EJ83-0SW

XPS 形式のファイルをプリントするときの、プリントデータの処理方法を設定します。

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

- ④ [白紙節約] (P. 1254)
- ④ [中間調選択] (P. 1254)
- ④ [グレースケール変換方式] (P. 1255)

[白紙節約]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [XPS]

プリント時に白紙と判定したページを排紙しないようにする場合は、[する] に設定します。

※プリントデータによっては、ページに何も描画されていない場合でも、白紙と判定されないことがあります。

[する]、[しない]

[中間調選択]

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [XPS]

中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を、プリントデータの内容に合わせて設定します。

テキスト（文字）／グラフィックス（線や図形）／イメージ（写真）に対して別々に設定できます。

- 細い線や小さい文字を高精細にプリントする場合は、[誤差拡散(ファイン時のみ有効)] を [する] に設定します。CAD データなどのプリントに適しています。
- テキストの輪郭を明瞭にして精細にプリントする場合は、[解像度] に設定します。文字や細い線のデータのプリントに適しています。
- 階調や輪郭をなめらかにプリントする場合は、[階調] に設定します。グラデーションを使用した図形などのデータのプリントに適しています。

※ [誤差拡散(ファイン時のみ有効)] を [する] に設定した場合、トナーの定着性や質感の安定性が下がることがあります。また、[テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ] は、[誤差拡散] に固定されます。

[誤差拡散(ファイン時のみ有効)]

[する]、[しない]

[テキスト]

[解像度]、[階調]

[グラフィックス]

[解像度]、[階調]

[イメージ]

[解像度]、[階調]

[グレースケール変換方式]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [仕様設定] ▶ [XPS]

カラーのデータを白黒プリントするときの変換方式を設定します。テキスト（文字）／グラフィックス（線や図形）／イメージ（写真）に対して別々に設定できます。

- 色の違いが考慮されたなめらかな階調の白黒プリントにする場合は、[sRGB] に設定します。
- NTSC 方式のテレビ映像と同等の見た目の白黒プリントにする場合は、[NTSC] に設定します。
- 明るさを基準にして RGB がすべて均等になる白黒プリントにする場合は、[RGB 均等] に設定します。

[テキスト]

[sRGB]、[NTSC]、[RGB 均等]

[グラフィックス]

[sRGB]、[NTSC]、[RGB 均等]

[イメージ]

[sRGB]、[NTSC]、[RGB 均等]

[ユーティリティー]

フォントのダウンロードフォントを消去したり、エラーが発生した処理中のプリントデータを消去したりします。

- ④ [PCL ストレージ初期化] (P. 1256)
- ④ [PS ストレージ初期化] (P. 1256)
- ④ [プリンター初期化] (P. 1256)

[PCL ストレージ初期化]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [ユーティリティー]

フォントのダウンロードで不具合が生じた場合に、PCL のダウンロードフォントの情報をすべて消去します。詳細については、オンラインマニュアルサイトで「本体からのプリント設定」を参照してください。

※オプションの有無や他の設定項目の内容によっては、この項目は表示されません。

<https://oip.manual.canon/>

重要

- 本機が正常に動作しているときは、絶対に [PCL ストレージ初期化] を実行しないでください。

[PS ストレージ初期化]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [ユーティリティー]

フォントのダウンロードで不具合が生じた場合に、PostScript のダウンロードフォントの情報をすべて消去します。

※オプションの有無や他の設定項目の内容によっては、この項目は表示されません。

重要

- 本機が正常に動作しているときは、絶対に [PS ストレージ初期化] を実行しないでください。

[プリンター初期化]

DeviceAdmin

NetworkAdmin

リモート UI

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] ▶ [ユーティリティー]

プリント画像の生成処理中にエラーが発生した場合に、処理中のジョブを消去します。

配信／インポート／エクスポートできる設定項目

EJ83-0SY

[設定/登録] メニューの項目は、設定項目によって、インポート／エクスポート機能の対象となるかどうか異なります。各項目のインポート／エクスポートの対応状況を一覧で確認できます。

一覧では、エクスポート時の項目名も記載しています。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

- ▶ [環境設定] (P. 1259)
- ▶ [調整/メンテナンス] (P. 1271)
- ▶ [ファンクション設定] (P. 1272)
- ▶ [宛先設定] (P. 1289)
- ▶ [管理設定] (P. 1290)
- ▶ プリンター設定メニュー (P. 1298)
- ▶ 音量調整 (P. 1303)

メモ

- インポート／エクスポートの操作方法については、以下を参照してください。

[▶アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする \(P. 913\)](#)

対応状況一覧の見かた

EJ83-0U0

インポート／エクスポート対応状況の一覧では、以下の情報を記載しています。

一括インポート

どの機種の設定を一括インポートできるかを示しています。一括インポートに対応していない項目は **×** で示しています。

A：本機のみ

B：同機種まで

本機のほか、本機と同一シリーズの機種からエクスポートした設定をインポートできます。

C：他機種まで

本機および本機と同一シリーズの機種のほか、本機と異なるシリーズの機種（一括インポート対応機種）からエクスポートした設定をインポートできます。

一括エクスポート

一括エクスポート時に選択できる項目のどれに属するかを示しています。一括エクスポートに対応していない項目は **×** で示しています。

- 設定/登録の基本情報
- 用紙種類の管理設定
- プリンター設定の仕様設定
- 転送設定
- ボックス関連設定
- 部門別 ID 管理設定
- 鍵設定
- 証明書/証明書失効リスト(CRL)設定
- ビジュアルメッセージ設定
- ホーム設定
- よく使う設定
- アドレス帳
- ユーザーグループ宛先表
- 認証ユーザー管理
- セキュリティポリシー設定
- 個人設定情報
- MEAP アプリケーションの設定情報

[環境設定]

EJ83-0U1

インポート／エクスポート対応状況を一覧で確認できます。

- 🔍 [用紙設定] (P. 1260)
- 🔍 [表示設定] (P. 1261)
- 🔍 [タイマー/電力設定] (P. 1263)
- 🔍 [ネットワーク] (P. 1264)
- 🔍 [外部インターフェイス] (P. 1269)
- 🔍 [アクセシビリティ] (P. 1270)

[用紙設定]

EJ83-0U2

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[用紙の設定]	[用紙の設定]	B	設定/登録の基本情報
	[ユーザー設定サイズ]	×	設定/登録の基本情報
	[封筒]	B	設定/登録の基本情報
	[はがき]	B	設定/登録の基本情報
[用紙カセットの自動検知サイズ]		B	設定/登録の基本情報
[A5R/STMTR 用紙の区別]		B	設定/登録の基本情報
[LGL/LGL (India) 用紙の区別]		B	設定/登録の基本情報
[用紙種類の管理設定]		A ^{*1}	用紙種類の管理設定
[よく使う用紙の登録 (手差しトレイ)]		B	設定/登録の基本情報
[手差し用紙のデフォルト設定]		B	設定/登録の基本情報
[ユーザー設定サイズの登録]		B	設定/登録の基本情報

^{*1} 以下の項目は「C」になります。

- [名称]
- [種別]
- [坪量]
- [表面性]
- [特徴]
- [色]
- [先端部二次転写電圧調整]
- [後端部白抜け補正]

[表示設定]

EJ83-0U3

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[起動/復帰後に表示する画面]	C	設定/登録の基本情報 個人設定情報
[デフォルト画面の変更 (状況確認)]	C	設定/登録の基本情報
[ファクスファクションの表示]	C	設定/登録の基本情報
[保存先の表示設定]	C	設定/登録の基本情報
[表示言語/キーボードの切替]	C	設定/登録の基本情報 個人設定情報
[画面下部に言語/キーボード切替ボタンを表示]	C	設定/登録の基本情報
[キーボードのシフトロックを使用]	C	設定/登録の基本情報
[キーボードの登録文字列]	C	設定/登録の基本情報
[用紙残量メッセージ表示]	C	設定/登録の基本情報
[部数/待ち時間の状況表示]	C	設定/登録の基本情報
[原稿読み取り部の清掃表示]	C	設定/登録の基本情報
[用紙種類選択画面の優先表示]	C	設定/登録の基本情報
[用紙種類リストのデフォルト表示の変更]	C	設定/登録の基本情報
[mm/インチ入力の切替]	C	設定/登録の基本情報
[ログイン中のユーザー名表示]	C	設定/登録の基本情報
[IP アドレスの表示設定]	C	設定/登録の基本情報
[Scan for Mobile を表示]	C	設定/登録の基本情報
[モバイルポータルを表示]	C	設定/登録の基本情報
[モバイルポータルに QR コードを表示]	C	設定/登録の基本情報
[トナー交換予告時期]	B	設定/登録の基本情報
[ドラムユニット交換予告時期]	B	設定/登録の基本情報
[回収トナー容器の交換予告メッセージを表示]	B	設定/登録の基本情報
[定着器の交換予告メッセージを表示]	B	設定/登録の基本情報
[定着器の寿命到達メッセージを表示]	B	設定/登録の基本情報
[ITB ユニットの交換予告メッセージを表示]	B	設定/登録の基本情報
[ITB ユニットの寿命到達メッセージを表示]	B	設定/登録の基本情報
[二次転写外ローラーの交換予告メッセージを表示]	B	設定/登録の基本情報
[二次転写外ローラーの寿命到達メッセージを表示]	B	設定/登録の基本情報

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[ローラーキットの交換予告メッセージを表示]	B	設定/登録の基本情報
[ローラーキットの寿命到達メッセージを表示]	B	設定/登録の基本情報
[ADF メンテナンスキットの交換予告メッセージを表示]	B	設定/登録の基本情報
[ADF メンテナンスキットの寿命到達メッセージを表示]	B	設定/登録の基本情報

[タイマー/電力設定]

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[時刻微調整]		×	×
[日付/時刻の設定]	[タイムゾーン] *1	C	設定/登録の基本情報
	[サマータイム]	C	設定/登録の基本情報
	日時入力	×	設定/登録の基本情報
[時刻の形式]		C	設定/登録の基本情報
[主電源 ON 時の高速起動]		C	設定/登録の基本情報
[オートクリア移行時間]		C	設定/登録の基本情報
[オートクリア移行時間の制限]		C	設定/登録の基本情報
[オートクリア後の機能]		C	設定/登録の基本情報
[オートシャットダウン移行時間]		C	設定/登録の基本情報
[オートシャットダウン時刻の設定]		C	設定/登録の基本情報
[オートスリープ移行時間]		C	設定/登録の基本情報
[スリープ時の消費電力]		C	設定/登録の基本情報
[オートスリープ時刻の設定]		C	設定/登録の基本情報
[自動階調補正の実行時刻設定]		C	設定/登録の基本情報
[スリープ復帰時刻の設定]		C	設定/登録の基本情報

*1 ファームウェアのバージョンがインポート元より古い複合機にタイムゾーンをインポートすると、タイムゾーン都市名がインポート元と同じように表示されない場合があります。その場合は、タイムゾーンを設定しなおすか、ファームウェアのバージョンをアップデートしてから再度タイムゾーンをインポートします。

▶ [日付/時刻の設定] (P. 975)

▶ ファームウェアをアップデートする (P. 929)

[ネットワーク]

EJ83-0U5

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[レポート出力]		×	×
[ネットワークの設定変更/接続の確認表示]		C	設定/登録の基本情報
[TCP/IP 設定]		▶ [TCP/IP 設定] (P. 1266)	
[SNMP 設定]	[SNMPv1 を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[専用コミュニティ設定]	C	設定/登録の基本情報
	[コミュニティ名 1 設定]	C	設定/登録の基本情報
	[コミュニティ名 2 設定]	C	設定/登録の基本情報
	[SNMPv3 を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[Administrator 設定]	C	設定/登録の基本情報
	[ユーザー設定]	C	設定/登録の基本情報
	[ホストからプリンター管理情報を取得]	C	設定/登録の基本情報
	[スリープ時の SNMP パケット受信拒否]	C	設定/登録の基本情報
[ホストリソース MIB の RFC2790 準拠]		C	設定/登録の基本情報
[専用ポート設定]		C	設定/登録の基本情報
[専用ポートの認証方式]		C	設定/登録の基本情報
[スプール機能を使用]		C	設定/登録の基本情報
[起動時の接続待機時間]		C	設定/登録の基本情報
[Ethernet ドライバー設定]	[自動検出]	C	設定/登録の基本情報
	[通信方式]	C	設定/登録の基本情報
	[Ethernet の種類]	C	設定/登録の基本情報
	[動作中の通信速度]	×	×
	[MAC アドレス]	×	×
[IEEE 802.1X 設定]	[IEEE 802.1X を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[ログイン名]	C	設定/登録の基本情報
	[認証サーバーの証明書を検証]	C	設定/登録の基本情報
	[認証サーバー名を検証]	C	設定/登録の基本情報
	[認証サーバー名]	C	設定/登録の基本情報
	[TLS を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[鍵と証明書]	×	×

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
	[TTLS を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[PEAP を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[ユーザー名]	C	設定/登録の基本情報
	[パスワード]	C	設定/登録の基本情報
	[ユーザー名にログイン名を使用]	C	設定/登録の基本情報
[ファイアウォール設定]	[IPv4 アドレスフィルタ]	C	設定/登録の基本情報
	[IPv6 アドレスフィルタ]	C	設定/登録の基本情報
	[MAC アドレスフィルタ]	C	設定/登録の基本情報
	[IP アドレスブロック履歴]	×	×
[Mopria を使用]		C	設定/登録の基本情報
[AirPrint を使用]		C	設定/登録の基本情報
[AirPrint のエラーを表示]		C	設定/登録の基本情報
[IPP Everywhere を使用]		C	設定/登録の基本情報
[Universal Print の設定]	[基本設定]	C*1	設定/登録の基本情報
	[登録状況]	×	×
[デバイス位置情報の設定]		×	×
[インターフェイス選択]		C	設定/登録の基本情報
[無線 LAN]	[無線 LAN 設定]	×	×
	[無線 LAN 情報]	×	×
	[パワーセーブモード]	C	設定/登録の基本情報
[ダイレクト接続設定]	[ダイレクト接続を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[ダイレクト接続の自動切断時間]	C	設定/登録の基本情報
	[SSID/ネットワークキー設定]	C	設定/登録の基本情報 個人設定情報
	[SSID/ネットワークキー固定時に常時接続]	C	設定/登録の基本情報
	[ダイレクト接続時の IP アドレス設定]	C	設定/登録の基本情報
	[個人別 SSID/ネットワークキーの設定]	C	個人設定情報
	[プリントジョブのユーザー名をログイン名で表示]	C	設定/登録の基本情報
[副回線設定]		🔗 [副回線設定] (P. 1268)	
[静的ルーティング設定]		C	設定/登録の基本情報

*1 [プリンター名] は「A」になります。

[TCP/IP 設定]

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[IPv4 設定]	[IPv4 を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[IP アドレス設定]	C*1	設定/登録の基本情報
	[DHCP オプション設定]	C	設定/登録の基本情報
	[PING コマンド]	×	×
[IPv6 設定]	[IPv6 を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[ステートレスアドレス設定]	C	設定/登録の基本情報
	[手動アドレス設定]	A	設定/登録の基本情報
	[DHCPv6 を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[PING コマンド]	×	×
	[ステートフルアドレスのプレフィックスのみ取得]	C	設定/登録の基本情報
	[DHCP オプション設定]	C	設定/登録の基本情報
[DNS 設定]	[DNS サーバーアドレスの設定]	C	設定/登録の基本情報
	[DNS のホスト名/ドメイン名の設定]	A	設定/登録の基本情報
	[DNS の動的更新設定]	C	設定/登録の基本情報
	[mDNS 設定]	C	設定/登録の基本情報
	[DNS 暗号化設定]	C	設定/登録の基本情報
[コンピューター名/ワークグループ名の設定]		A	設定/登録の基本情報
[SMB クライアント設定]		C	設定/登録の基本情報
[SMB クライアントのバージョン指定]		C	設定/登録の基本情報
[WINS 設定]		C	設定/登録の基本情報
[LPD 印刷の設定]		C	設定/登録の基本情報
[RAW 印刷の設定]		C	設定/登録の基本情報
[SNTP 設定]	[SNTP を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[ポーリング間隔]	C	設定/登録の基本情報
	[NTP サーバーアドレス]	C	設定/登録の基本情報
	[NTP サーバー確認]	×	×
[FTP 印刷の設定]	[FTP 印刷を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[ユーザー名]	C	設定/登録の基本情報
	[パスワード]	C	設定/登録の基本情報

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[FTP 印刷時のファイル名表示に UTF-8 を使用]		C	設定/登録の基本情報
[WSD の設定]		C	設定/登録の基本情報
[FTP の PASV モードを使用]		C	設定/登録の基本情報
[BMLinkS 設定]	[BMLinkS を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[TLS を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[受け付けるジョブの種類]	C	設定/登録の基本情報
	[Discovery 送信間隔]	C	設定/登録の基本情報
	[設置場所の情報]	C	設定/登録の基本情報
[IPP 印刷の設定]	[ON] / [OFF]	C	設定/登録の基本情報
	[TLS 使用時のみ許可]	C	設定/登録の基本情報
	[認証を使用]	C	設定/登録の基本情報
[マルチキャスト探索設定]	[探索応答]	C	設定/登録の基本情報
	[スコープ名]	C	設定/登録の基本情報
[スリープ通知設定]		C	設定/登録の基本情報
[HTTP を使用]		C	設定/登録の基本情報
[WebDAV サーバーを使用]		C	設定/登録の基本情報
[TLS 設定]	[鍵と証明書]	×	×
	[使用可能なバージョン指定]	C	設定/登録の基本情報
	[暗号化アルゴリズムの設定]	C	設定/登録の基本情報
	[鍵交換アルゴリズムの設定]	C	設定/登録の基本情報
	[署名アルゴリズムの設定]	C	設定/登録の基本情報
	[HMAC アルゴリズムの設定]	C	設定/登録の基本情報
[プロキシ設定]		C	設定/登録の基本情報
[認証管理時の認証情報確認]		C	設定/登録の基本情報
[IPSec 設定]	[IPSec を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[ポリシー外パケットの受信]	C	設定/登録の基本情報
	[ポリシーの ON/OFF]	C	設定/登録の基本情報
	[ポリシー名]	C	設定/登録の基本情報
	[セレクター設定]	C	設定/登録の基本情報
	[IKE 設定]	C	設定/登録の基本情報
	[IPSec 通信設定]	C	設定/登録の基本情報
	[AES の鍵の長さを 256bit に制限]	×	×
[TCP/IP オプション設定]		C	設定/登録の基本情報
[Network Link Scan を使用]		C	設定/登録の基本情報

*1 [IP アドレス] は「A」になります。

[副回線設定]

EJ83-0U7

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[IP アドレス設定]	[DHCP]	C	設定/登録の基本情報
	[IP アドレス]	A	設定/登録の基本情報
	[サブネットマスク]	C	設定/登録の基本情報
	[ゲートウェイアドレス]	C	設定/登録の基本情報
[モバイル端末と通信時の優先回線設定]		C	設定/登録の基本情報
[Ethernet ドライバー設定]	[自動検出]	C	設定/登録の基本情報
	[通信方式]	C	設定/登録の基本情報
	[Ethernet の種類]	C	設定/登録の基本情報
	[動作中の通信速度]	×	×
	[MAC アドレス]	×	×
[IEEE 802.1X 設定]	[IEEE 802.1X を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[ログイン名]	C	設定/登録の基本情報
	[認証サーバーの証明書を検証]	C	設定/登録の基本情報
	[認証サーバー名を検証]	C	設定/登録の基本情報
	[認証サーバー名]	C	設定/登録の基本情報
	[TLS を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[鍵と証明書]	×	×
	[TTLS を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[PEAP を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[ユーザー名]	C	設定/登録の基本情報
	[パスワード]	C	設定/登録の基本情報
	[ユーザー名にログイン名を使用]	C	設定/登録の基本情報
[ファイアウォール設定]		C	設定/登録の基本情報
[システムデータ通信用設定]		C	設定/登録の基本情報

[外部インターフェイス]

EJ83-0U8

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[USB 設定]	[USB デバイスとして使用]	C	設定/登録の基本情報
	[USB 入力デバイスに MEAP ドライバーを使用]	C	設定/登録の基本情報
	[USB 外部記憶デバイスに MEAP ドライバーを使用]	C	設定/登録の基本情報
	[USB 外部記憶デバイスを使用]	C	設定/登録の基本情報
	[プリンタードライバーの自動インストール制限]	C	設定/登録の基本情報

[アクセシビリティ]

EJ83-0U9

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[キーリピート設定]	C	設定/登録の基本情報 個人設定情報
[連続キー操作を受け付けない時間の指定]	C	設定/登録の基本情報 個人設定情報
[画面色反転]	C	設定/登録の基本情報 個人設定情報
[フリック機能を使用]	C	設定/登録の基本情報

[調整/メンテナンス]

EJ83-0UA

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[画質調整]	[自動階調補正]	×	×
	[濃度補正]	C	設定/登録の基本情報
	[濃度ムラ補正]	×	×
	[用紙カセットごとの画像位置調整]	A	設定/登録の基本情報
	[ズーム微調整]	A	設定/登録の基本情報
	[ディザパターンの設定]	×	×
	[光沢ムラ補正]	A	設定/登録の基本情報
[動作調整]	[フィニッシャーのパンチャーの動作切替]	B	設定/登録の基本情報
	[ホチキスモード時のホチキス実行時間]	C	設定/登録の基本情報
	[スタートキーのタッチ判定時間]	C	設定/登録の基本情報
[メンテナンス]		×	×
[消耗品レポート出力]		×	×

[ファンクション設定]

EJ83-0UC

インポート／エクスポート対応状況を一覧で確認できます。

- ④ [共通] (P. 1273)
- ④ [コピー] (P. 1276)
- ④ [プリンター] (P. 1277)
- ④ [送信] (P. 1278)
- ④ [受信/転送] (P. 1283)
- ④ [ファイル保存/利用] (P. 1286)
- ④ [プリント] (P. 1288)

[共通]

EJ83-0UE

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。▶[対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[給紙動作]	[給紙箇所の自動選択の設定]	B	設定/登録の基本情報
	[給紙方法切替]	B	設定/登録の基本情報
	[ジョブ中断時のタイムアウト]	C	設定/登録の基本情報
[排紙動作]	[排紙トレイの設定]	A	設定/登録の基本情報
	[オプション排紙トレイの ON/OFF]	A	設定/登録の基本情報
	[ジョブ間シフト]	C	設定/登録の基本情報
	[ジョブ間仕切紙]	C	設定/登録の基本情報
	[部数間仕切紙]	C	設定/登録の基本情報
	[ホチキス枚数オーバー時の処理]	B	設定/登録の基本情報
	[1 枚ジョブのシフト]	C	設定/登録の基本情報
[印刷動作]		▶ [印刷動作] (P. 1274)	
[スキャン動作]	[フィーダー紙づまり発生時の再開方法]	B	設定/登録の基本情報
	[フィーダー重送検知のデフォルト設定]	C	設定/登録の基本情報
	[すじ汚れの除去]	B	設定/登録の基本情報
	[白黒読込時の速度/画質優先]	B	設定/登録の基本情報
	[LTRR/STMT 原稿の区別]	B	設定/登録の基本情報
	[リモートスキャン時のガンマ値]	B	設定/登録の基本情報
	[自動オンライン移行]	C	設定/登録の基本情報
	[自動オフライン移行]	C	設定/登録の基本情報
	[フィーダー使用時の原稿サイズ混載デフォルト設定]	A	設定/登録の基本情報
[ファイル生成]		▶ [ファイル生成] (P. 1275)	
[認証方式設定]	[LDAP サーバー認証で使用する情報]	C	設定/登録の基本情報
	[SMTP サーバー認証で使用する情報]	C	設定/登録の基本情報
	[ファイル送信/参照時の認証で使用する情報]	C	設定/登録の基本情報

[印刷動作]

EJ83-0UF

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[プリント優先順位]	C	設定/登録の基本情報
[レポート出力のデフォルト設定]	C	設定/登録の基本情報
[中断ジョブの自動削除]	C	設定/登録の基本情報
[トナー残量少時の動作]	B	設定/登録の基本情報
[ドラムユニット残量少時の動作]	B	設定/登録の基本情報

[ファイル生成]

EJ83-0UH

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[高圧縮時の画質レベル]	B	設定/登録の基本情報
[OCR (文字認識) 設定]	C	設定/登録の基本情報
[アウトライン設定]	C	設定/登録の基本情報
[OOXML 設定]	C	設定/登録の基本情報
[Word ファイルに背景画像を含める]	C	設定/登録の基本情報
[PDF の下限バージョン指定]	C	設定/登録の基本情報
[PDF を PDF/A 準拠にする]	C	設定/登録の基本情報
[暗号化 PDF の 256-bit AES 設定]	C	設定/登録の基本情報
[PDF 生成時の画像回転]	C	設定/登録の基本情報

[コピー]

EJ83-0UJ

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[よく使う設定の登録/編集]	C	よく使う設定
[よく使う設定呼出時の確認表示]	C	設定/登録の基本情報
[デフォルト設定の変更]	C	よく使う設定 個人設定情報
[「その他の機能」のショートカット登録]	C	よく使う設定 個人設定情報
[自動ソート]	B	設定/登録の基本情報
[オートタテヨコ回転]	C	設定/登録の基本情報
[フィーダー使用時のコピー速度優先]	B	設定/登録の基本情報
[グループ間仕切紙]	B	設定/登録の基本情報

[プリンター]

EJ83-0UK

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[レポート出力]	×	×
[プリンター設定]	▶ プリンター設定メニュー (P. 1298)	
[プリンタージョブの制限]	C	プリンター設定の仕様設定
[ページ記述言語選択 (プラグ&プレイ)]	C	プリンター設定の仕様設定
[手差し給紙の設定]	C	設定/登録の基本情報
[封筒フラップ長の設定 (長形 3 号)]	B	プリンター設定の仕様設定
[PS パスワードの設定]	C	プリンター設定の仕様設定
[仮想プリンター管理]	C	設定/登録の基本情報
[IPP 印刷のプリセット管理]	C	設定/登録の基本情報
[PCL エミュレーション利用時の給紙モード切替]	C	設定/登録の基本情報
[定型文書プリント]	C	設定/登録の基本情報

[送信]

EJ83-0UL

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[レポート出力]	×	×
[共通設定]	▶ [共通設定] (P. 1279)	
[E メール/I ファクス設定]	▶ [E メール/I ファクス設定] (P. 1280)	
[ファクス設定]	▶ [ファクス設定] (P. 1281)	

[共通設定]

EJ83-0UR

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[よく使う設定の登録] / [よく使う設定の編集]	C	よく使う設定 ^{*1}
[よく使う設定呼出時の確認表示]	C	設定/登録の基本情報
[デフォルト画面の変更]	C	設定/登録の基本情報
[アドレス帳の使用制限]	C	設定/登録の基本情報
[デフォルト設定の変更]	C	よく使う設定 個人設定情報
[「その他の機能」のショートカット登録]	C	よく使う設定 個人設定情報
[送信結果レポート]	C	設定/登録の基本情報
[通信管理レポート]	C	設定/登録の基本情報
[発信元記録]	C	設定/登録の基本情報
[エラージョブクリア]	C	設定/登録の基本情報
[リトライ回数]	C	設定/登録の基本情報
[データ圧縮率]	C	設定/登録の基本情報
[YCbCr 送信のガンマ値]	C	設定/登録の基本情報
[WebDAV 送信時にチャンク分割送信を使用]	C	設定/登録の基本情報
[WebDAV 送信時の証明書確認]	C	設定/登録の基本情報
[FTPS 送信時の証明書確認]	C	設定/登録の基本情報
[SFTP 送信時のホスト認証]	C	設定/登録の基本情報
[新規宛先の制限]	C	設定/登録の基本情報
[送信時に機器署名を必ずつける]	C	設定/登録の基本情報
[E メール送信を「自分へ送信」に限定]	C	設定/登録の基本情報
[ファイル送信を「マイフォルダー」に限定]	C	設定/登録の基本情報
[マイフォルダー指定方法]	C	設定/登録の基本情報
[履歴からの再送信を制限]	C	設定/登録の基本情報
[送信文書アーカイブの設定]	C	設定/登録の基本情報
[ジョブ受付時の確認表示]	C	設定/登録の基本情報
[ストップ押下時に中止するジョブ]	C	設定/登録の基本情報
[タイムライン履歴呼出時の宛先追加警告表示]	C	プリンター設定の仕様設定

^{*1} [コメントの表示] は「設定/登録の基本情報」になります。

[E メール/I ファクス設定]

EJ83-0US

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[ユーザー略称の登録]	C	設定/登録の基本情報
[通信設定]	C ^{*1}	設定/登録の基本情報
[SMTP 送信/POP 受信のポート番号指定]	C	設定/登録の基本情報
[S/MIME 設定]	C	設定/登録の基本情報
[SMTP 送信時の証明書確認]	C	設定/登録の基本情報
[POP 受信時の証明書確認]	C	設定/登録の基本情報
[送信データサイズ上限値]	C	設定/登録の基本情報
[省略時の件名]	C	設定/登録の基本情報
[宛先の名称を件名に使用]	C	設定/登録の基本情報
[認証ユーザー宛先を返信先に指定]	C	設定/登録の基本情報
[認証ユーザー宛先を E メール送信元に指定]	C	設定/登録の基本情報
[認証ユーザー宛先を I ファクス送信元に指定]	C	設定/登録の基本情報
[E メールアドレス未登録ユーザーによる送信を許可]	C	設定/登録の基本情報
[Full モードの送信タイムアウト]	C	設定/登録の基本情報
[MDN/DSN 受信時の印刷]	C	設定/登録の基本情報
[サーバーの経由を使用]	C	設定/登録の基本情報
[サーバーを経由しない MDN を許可]	C	設定/登録の基本情報
[送信先ドメイン制限]	C	設定/登録の基本情報
[E メールアドレスの入力補完]	C	設定/登録の基本情報
[宛先にドメインを追加]	C	設定/登録の基本情報

^{*1} 以下の項目は「A」になります。

- [SMTP 受信を使用]
- [POP ログイン名]
- [POP パスワード]

[ファクス設定]

EJ83-0UU

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[よく使う設定の登録] / [よく使う設定の編集]	C	よく使う設定 ^{*1}
[よく使う設定呼出時の確認表示]	C	設定/登録の基本情報
[デフォルト画面の変更]	C	設定/登録の基本情報
[アドレス帳の使用制限]	C	設定/登録の基本情報
[デフォルト設定の変更]	C	よく使う設定 個人設定情報
[「その他の機能」のショートカット登録]	C	よく使う設定 個人設定情報
[発信人の名称登録]	C	設定/登録の基本情報
[認証ユーザー名を発信人として使用]	C	設定/登録の基本情報
[オフフックアラーム]	C	設定/登録の基本情報
[ECM 送信]	C	設定/登録の基本情報
[ポーズ時間セット]	C	設定/登録の基本情報
[自動リダイヤルの設定]	C	設定/登録の基本情報
[送信前のダイヤルトーン確認]	C	設定/登録の基本情報
[ファクス送信結果レポート]	C	設定/登録の基本情報
[ファクス通信管理レポート]	C	設定/登録の基本情報
[回線設定]	▶ [回線設定] (P. 1282)	
[送信スタートスピード]	C	設定/登録の基本情報
[FIS スイッチ]	C	設定/登録の基本情報
[モデムダイヤルイン設定]	C	設定/登録の基本情報
[ファクス番号入力時の確認入力 (誤送信防止)]	C	設定/登録の基本情報
[ファクスドライバーからの送信を許可]	C	設定/登録の基本情報
[ファクス宛先を含む場合に確認画面を表示]	C	設定/登録の基本情報
[ファクス宛先を含む同報送信を制限]	C	設定/登録の基本情報
[リモートファクス送信設定]	C	設定/登録の基本情報
[リモートファクス設定]	C	設定/登録の基本情報
[VoIP 通信エラーの低減設定]	C	設定/登録の基本情報

^{*1} [コメントの表示] は「設定/登録の基本情報」になります。

[回線設定]

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[回線 1] ～ [回線 n] ^{*1}	[ユーザー電話番号の登録]	A	設定/登録の基本情報
	[ユーザー略称の登録]	A	設定/登録の基本情報
	[回線種類の選択]	C	設定/登録の基本情報
	[回線選択画面での回線名称の編集]	C	設定/登録の基本情報
	[回線選択時のデフォルト宛先表の選択]	C	設定/登録の基本情報
[送信回線の選択]		C	設定/登録の基本情報

^{*1} 表示される回線数は、オプションの装着状態によって異なります。

[受信/転送]

EJ83-0UW

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[レポート出力]	×	×
[共通設定]	▶ [共通設定] (P. 1284)	
[ファクス設定]	▶ [ファクス設定] (P. 1285)	

[共通設定]

EJ83-0UX

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[両面記録]		C	設定/登録の基本情報
[用紙カセット選択]		C	設定/登録の基本情報
[画像縮小]		C	設定/登録の基本情報
[受信情報記録]		C	設定/登録の基本情報
[受信ジョブの割込プリント]		C	設定/登録の基本情報
[転送設定を使用]		C	設定/登録の基本情報
[転送エラージョブの処理]		C	設定/登録の基本情報
[転送設定]		C ^{*1}	転送設定
[受信トレイ設定]	[ファクスボックスの設定/登録]	C	ボックス関連設定
	[システムボックス暗証番号]	C	ボックス関連設定
	[ファクスメモリー受信を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[I ファクスメモリー受信を使用]	C	設定/登録の基本情報
	[メモリー受信開始時刻]	C	設定/登録の基本情報
	[メモリー受信終了時刻]	C	設定/登録の基本情報
	[分割受信タイムアウト]	C	設定/登録の基本情報
	[代行受信ファイルの転送]	×	×
[受信エラーは必ず通知]		C	設定/登録の基本情報

^{*1} [受信手段]、[条件の ON/OFF] は「×」になります。

[ファクス設定]

EJ83-0UY

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[ECM 受信]		C	設定/登録の基本情報
[受信モード選択]		C	設定/登録の基本情報
[リモート受信]		C	設定/登録の基本情報
[自動受信切替]		C	設定/登録の基本情報
[ファクス受信結果レポート]		C	設定/登録の基本情報
[ファクスボックス受信レポート]		C	設定/登録の基本情報
[受信スタートスピード]		C	設定/登録の基本情報
[受信パスワード]		C	設定/登録の基本情報
[ナンバーディスプレイ設定]	[回線 1] ～ [回線 n] ^{*1}	C	設定/登録の基本情報

^{*1} 表示される回線数は、オプションの装着状態によって異なります。

[ファイル保存/利用]

EJ83-0W0

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[共通設定]	▶ [共通設定] (P. 1287)	
[ネットワーク設定]	C	設定/登録の基本情報
[メモリーメディア設定]	C	設定/登録の基本情報

[共通設定]

EJ83-0W1

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[スキャンして保存設定]	[よく使う設定の登録/編集]	C	よく使う設定
	[デフォルト設定の変更]	C	よく使う設定 個人設定情報
[保存ファイルの利用設定]	[よく使う設定の登録/編集]	C	よく使う設定
	[デフォルト設定の変更]	C	よく使う設定 個人設定情報
[ボックス暗証番号 7 桁固定/アクセス制限]		C	設定/登録の基本情報

[プリント]

EJ83-0W2

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[強制留め置き]	C ^{*1}	設定/登録の基本情報
[ジョブの保存期間]	C	設定/登録の基本情報
[プリント後ジョブ削除]	C	設定/登録の基本情報
[暗号化セキュアプリントジョブのみ受付]	C	設定/登録の基本情報
[マイジョブ判定条件にドメイン名を含める]	C	設定/登録の基本情報
[認証ユーザー以外のジョブの表示]	C	設定/登録の基本情報
[認証ユーザー以外のジョブの削除制限]	C	設定/登録の基本情報
[ユーザー名の大文字/小文字を区別する]	C	設定/登録の基本情報
[ジョブリストの表示設定]	C	設定/登録の基本情報
[留め置きジョブの警告設定]	C	設定/登録の基本情報
[セキュアプリントの暗証番号設定]	C	設定/登録の基本情報
[ログイン時自動プリント機能を使用]	C	設定/登録の基本情報
[ログイン時にマイジョブを自動でプリントする]	×	設定/登録の基本情報 個人設定情報

^{*1} 留め置きプリント対応機のみインポート可能です。

[宛先設定]

EJ83-0W3

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[宛先表リスト]	×	×
[宛先の登録]	C	アドレス帳
[宛先表の名称変更]	C	アドレス帳
[宛先表のデフォルト表示の変更]	C	設定/登録の基本情報
[ワンタッチの登録]	C	アドレス帳
[アドレス帳のデフォルト表示の変更]	C	設定/登録の基本情報
[アドレス帳の暗証番号]	C	設定/登録の基本情報
[アドレス帳のアクセス番号管理]	C	設定/登録の基本情報
[アドレス帳エクスポートの対象にパスワードを含める]	C	設定/登録の基本情報
[LDAP サーバーの登録]	B	設定/登録の基本情報
[LDAP サーバー使用時の自動検索]	C	設定/登録の基本情報
[LDAP サーバーアクセス時の証明書確認]	C	設定/登録の基本情報
[LDAP 検索条件のデフォルトの変更]	C	個人設定情報
[LDAP 検索属性の登録/編集]	B	設定/登録の基本情報
[LDAP 検索時の「名称で検索」の設定]	C	設定/登録の基本情報
[リモートアドレス帳取得設定]	C	設定/登録の基本情報
[リモートアドレス帳公開設定]	C	設定/登録の基本情報
[個人宛先表を使用]	C	設定/登録の基本情報
[ユーザーグループ宛先表を使用]	C	設定/登録の基本情報

[管理設定]

EJ83-0W4

インポート／エクスポート対応状況を一覧で確認できます。

- 🔗 [ユーザー管理] (P. 1291)
- 🔗 [デバイス管理] (P. 1293)
- 🔗 [ライセンス/その他] (P. 1295)
- 🔗 [データ管理] (P. 1296)
- 🔗 [セキュリティ設定] (P. 1297)

[ユーザー管理]

EJ83-0W5

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[認証管理]	▶ [認証管理] (P. 1292)	
[システム管理者情報の設定]	C	部門別 ID 管理設定
[部門別 ID 管理]	C ^{*1}	部門別 ID 管理設定 ^{*1}

^{*1} [カウント管理] は「**×**」になります。

[認証管理]

EJ83-0W6

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[パスワードの変更]	C	認証ユーザー管理
[暗証番号の変更]	C	認証ユーザー管理
[パターンの設定]	C	認証ユーザー管理
[認証ユーザーの登録/編集]	C	認証ユーザー管理
[ユーザー認証を使用]	C	設定/登録の基本情報
[シンプルログイン]	C	設定/登録の基本情報
[キーボード認証]	C	設定/登録の基本情報
[ログイン画面の表示設定]	C	設定/登録の基本情報
[利用を制限する機能]	C	設定/登録の基本情報
[ユーザー認証していないリモートジョブの制限]	C	設定/登録の基本情報
[ユーザー登録時のデフォルトロール]	C	設定/登録の基本情報
[ユーザー名の大文字/小文字を区別する]	C	設定/登録の基本情報
[ユーザー名に「@」の使用を許可]	C	設定/登録の基本情報

[デバイス管理]

EJ83-0W7

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[デバイス情報の設定]	A	設定/登録の基本情報
[アドレス帳管理ソフトからのインポート/エクスポート]	×	×
[機能制限モード]	×	×
[機器署名の証明書確認]	×	×
[ユーザー署名の証明書確認]	×	×
[証明書設定]	▶ [証明書設定] (P. 1294)	
[認証前のジョブ状況の表示]	C	設定/登録の基本情報
[認証ユーザー以外のジョブの操作制限]	C	設定/登録の基本情報
[ジョブ履歴の表示]	C	設定/登録の基本情報
[監査ログを取得]	C	設定/登録の基本情報
[ネットワーク経由の認証ログを取得]	C	設定/登録の基本情報
[キー操作のログの保存]	C	設定/登録の基本情報
[担当サービスの操作制限]	C	設定/登録の基本情報
[メール通知設定]	B	設定/登録の基本情報
[カスタム設定の同期 (クライアント)]	×	×
[個人設定]	C	設定/登録の基本情報
[管理者パスワードの初期化を禁止]	×	×
[特殊モード使用制限]	×	×

[証明書設定]

EJ83-0W8

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[鍵生成]	[ネットワーク通信用の鍵生成]	×	×
	[機器署名の鍵生成/更新]	C	鍵設定
[鍵と証明書リスト]		C ^{*1*2}	証明書/証明書失効リスト(CRL)設定
[CA 証明書リスト]		C ^{*1}	証明書/証明書失効リスト(CRL)設定
[証明書失効リスト (CRL)]		C ^{*1}	証明書/証明書失効リスト(CRL)設定
[鍵と証明書登録]		×	×
[CA 証明書登録]		×	×
[証明書失効確認 (OCSP)設定]		C	設定/登録の基本情報
[証明書発行要求設定(SCEP)]		C	設定/登録の基本情報

^{*1} リモート UI からインポート可能なアルゴリズムのみサポートしています。

^{*2} エクスポート時の鍵と証明書は PKCS#12 形式です。

[ライセンス/その他]

EJ83-0W9

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[ライセンス登録]	×	×
[MEAP 設定]	C ^{*1}	設定/登録の基本情報 ^{*1}
[リモート UI の設定]	C	設定/登録の基本情報
[掲示板の消去]	×	×
[ビジュアルメッセージ]	C	ビジュアルメッセージ設定
[リモートオペレーション設定]	C	設定/登録の基本情報
[ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用]	C	設定/登録の基本情報
[ソフトウェアの登録/更新]	×	×
[設定ナビの開始]	×	×
[モバイル端末からのジョブ実行を許可]	C	設定/登録の基本情報

^{*1} [システム情報のプリント] は「×」になります。

[データ管理]

EJ83-OWA

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[インポート/エクスポート]	[USB メモリーからのインポート]	×	×
	[USB メモリーへのエクスポート]	×	×
	[インポート結果レポート]	×	×
	[Web サービスからのインポート/エクスポートを制限]	C	設定/登録の基本情報
[全データ/設定の初期化]		×	×

[セキュリティ設定]

EJ83-0WC

インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[認証/パスワード設定]	C	設定/登録の基本情報
[暗号設定]	C	設定/登録の基本情報
[システム検証設定]	C	設定/登録の基本情報
[おすすりセキュリティ設定]	×	×

プリンター設定メニュー

EJ83-0WE

[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター設定] のインポート／エクスポート対応状況を
一覧で確認できます。

④ [仕様設定] (P. 1299)

④ [ユーティリティー] (P. 1302)

[仕様設定]

EJ83-125

機器情報配信／インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
[コピー部数]		C	プリンター設定の仕様設定
[両面]		C	プリンター設定の仕様設定
[給紙]	[デフォルト給紙箇所]	B	プリンター設定の仕様設定
	[デフォルト用紙サイズ]	B	プリンター設定の仕様設定
	[デフォルト用紙種類]	B	プリンター設定の仕様設定
	[用紙サイズ置換]	C	プリンター設定の仕様設定
[排紙]	[仕上げ]	C	プリンター設定の仕様設定
	[パンチ]	C	プリンター設定の仕様設定
[印字調整]	[トナー濃度]	C	プリンター設定の仕様設定
	[トナー濃度(微調整)]	C	プリンター設定の仕様設定
	[トナー節約]	C	プリンター設定の仕様設定
	[階調]	B	プリンター設定の仕様設定
	[解像度]	B	プリンター設定の仕様設定
	[ライン処理]	C	プリンター設定の仕様設定
	[太さ調整]	B	プリンター設定の仕様設定
	[アドバンスドスムージング]	C	プリンター設定の仕様設定
	[グラデーションスムージング]	C	プリンター設定の仕様設定
	[白黒モード時のテキスト強調]	C	プリンター設定の仕様設定
[レイアウト]		C	プリンター設定の仕様設定
[用紙種類未確定ジョブの動作]		C	プリンター設定の仕様設定
[自動エラースキップ]		C	プリンター設定の仕様設定
[タイムアウト]		C	プリンター設定の仕様設定
[RIP 完了後印刷]		C	プリンター設定の仕様設定
[プリンター動作モード]		C	プリンター設定の仕様設定
[優先エミュレーション]		C	プリンター設定の仕様設定
[自動切替]		C	プリンター設定の仕様設定
[コネクション認識]		×	×
[プリンター設定初期化]		×	×
[LIPS/エミュレーション設定]	[中間調選択]	B	プリンター設定の仕様設定

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
	[LIPSLX 設定]	C	プリンター設定の仕様設定
	[LIPS4 設定]	C	プリンター設定の仕様設定
	[N201 設定]	C	プリンター設定の仕様設定
	[ESC/P 設定]	C	プリンター設定の仕様設定
	[I5577 設定]	C	プリンター設定の仕様設定
	[HP-GL 設定]	C	プリンター設定の仕様設定
	[HP-GL/2 設定]	C	プリンター設定の仕様設定
[PCL 設定]	[白紙節約]	C	プリンター設定の仕様設定
	[ページの向き]	C	プリンター設定の仕様設定
	[フォントソース]	C	プリンター設定の仕様設定
	[フォント番号]	C	プリンター設定の仕様設定
	[文字サイズ]	C	プリンター設定の仕様設定
	[文字数]	C	プリンター設定の仕様設定
	[行数]	C	プリンター設定の仕様設定
	[文字コード]	C	プリンター設定の仕様設定
	[ユーザー設定用紙サイズの設定]	C	プリンター設定の仕様設定
	[単位]	C	プリンター設定の仕様設定
	[幅]	B	プリンター設定の仕様設定
	[高さ]	B	プリンター設定の仕様設定
	[LF 機能]	C	プリンター設定の仕様設定
	[A4 印字領域横幅拡大]	C	プリンター設定の仕様設定
	[中間調選択]	B	プリンター設定の仕様設定
	[BarDIMM]	C	プリンター設定の仕様設定
	[FreeScape]	C	プリンター設定の仕様設定
[PS 設定]	[白紙節約]	C	プリンター設定の仕様設定
	[ジョブタイムアウト]	C	プリンター設定の仕様設定
	[エラーページプリント]	C	プリンター設定の仕様設定
	[フォント置換]	C	プリンター設定の仕様設定
	[細線調整]	C	プリンター設定の仕様設定
	[中間調選択]	B	プリンター設定の仕様設定
	[明るさ]	C	プリンター設定の仕様設定
	[グレースケール変換方式]	C	プリンター設定の仕様設定
[Imaging]	[画像の向き]	C	プリンター設定の仕様設定
	[拡大/縮小]	C	プリンター設定の仕様設定
	[印字位置]	C	プリンター設定の仕様設定

設定項目		一括インポート	一括エクスポート
	[警告表示]	C	プリンター設定の仕様設定
	[印字領域拡大]	C	プリンター設定の仕様設定
	[中間調選択]	B	プリンター設定の仕様設定
	[グレースケール変換方式]	C	プリンター設定の仕様設定
[PDF]	[白紙節約]	C	プリンター設定の仕様設定
	[用紙サイズに拡大/縮小]	C	プリンター設定の仕様設定
	[印字領域拡大]	C	プリンター設定の仕様設定
	[ページ集約]	C	プリンター設定の仕様設定
	[注釈印刷]	C	プリンター設定の仕様設定
	[細線調整]	C	プリンター設定の仕様設定
	[中間調選択]	B	プリンター設定の仕様設定
	[明るさ]	C	プリンター設定の仕様設定
	[グレースケール変換方式]	C	プリンター設定の仕様設定
[XPS]	[白紙節約]	C	プリンター設定の仕様設定
	[中間調選択]	B	プリンター設定の仕様設定
	[グレースケール変換方式]	C	プリンター設定の仕様設定

[ユーティリティ]

EJ83-126

機器情報配信／インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [▶対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	機器情報配信	一括インポート	一括エクスポート
[PCL ストレージ初期化]	×	×	×
[PS ストレージ初期化]	×	×	×
[プリンター初期化]	×	×	×

音量調整

EJ83-0WJ

[ホーム] 画面の [音量設定] を押して表示される、音に関する設定のインポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。 [🔵対応状況一覧の見かた \(P. 1258\)](#)

設定項目	一括インポート	一括エクスポート
[アラーム音量] ^{*1}	C	設定/登録の基本情報
[通信音量] ^{*1}	C	設定/登録の基本情報
[ファクス着信呼出] ^{*1}	C	設定/登録の基本情報
[その他の音量設定] ^{*2}	C	設定/登録の基本情報

^{*1} ファクス機能が搭載されている場合にのみ表示されます。

^{*2} ファクス機能が搭載されていない場合は、[音量設定] と表示されます。

調整／メンテナンス

調整／メンテナンス	1306
本機の清掃	1308
本機の表面を清掃する	1310
原稿台ガラスを清掃する	1311
フィーダーを清掃する	1313
本機の内部を清掃する	1318
LED プリントヘッドを清掃する	1319
消耗品／消耗部品の交換	1322
トナー容器を交換する	1323
回収トナー容器を交換する	1326
ドラムユニットを交換する	1329
スタンプカートリッジを交換する（オプション）	1332
ホチキス針を補充する（オプション）	1334
インナーフィニッシャーのホチキス針を補充する	1335
消耗品／消耗部品の残量を確認する	1338
消耗品／消耗部品一覧	1339
無償保証や保守サービスについて	1342
無償保証について	1343
キヤノンサービスパック（CSP）	1344
キヤノン・ケア・ギャランティ（CCG）	1346
NETEYE について	1348
パンチくずを捨てる（オプション）	1350
インナーフィニッシャーのパンチくずを捨てる	1351
よく使用する用紙種類を登録する	1353
[詳細/編集] 画面	1355
画質の調整	1357
階調を補正する	1359
濃度を補正する	1362
濃淡のムラを補正する	1363
輪郭や階調をなめらかにする - ディザパターンの設定	1368
プリント画像の転写状態を調整する	1370
光沢のムラを補正する	1372
プリント位置を調整する	1373
給紙部ごとにプリント位置を調整する	1374

コピー画像のプリントサイズを調整する	1376
--------------------------	------

調整／メンテナンス

EJ83-0WK

本機を安全かつ快適に使用するためには、清掃や消耗品／消耗部品の交換など、日常的なメンテナンス作業が必要です。プリント品質の低下などが起きた場合は、改善するために清掃や調整を行います。本機の安定した稼働を維持するための保守サービスも用意されています。

メンテナンス作業の実施

定期的な清掃に加えて、本機の状態やプリント品質に応じて作業が必要です。

メンテナンス時の注意事項については、本機に同梱されている「安全にお使いいただくために」を確認してください。

オプション機器のメンテナンス作業を行う場合は、オプション機器使用時の注意事項も参照してください。➡**オプションについての注意事項 (P. 6)**

- ➡**本機の清掃 (P. 1308)**
- ➡**消耗品／消耗部品の交換 (P. 1322)**
- ➡**パンチくずを捨てる（オプション） (P. 1350)**

画質や仕上がりの調整

本機プリント結果や仕上がりが期待どおりにならない場合は、用紙種類の登録や症状に応じた調整を行います。

用紙の特性に合わせた用紙種類の登録

よく使用する用紙の特性に合わせた用紙種類を登録することで、特定の用紙を使用したときのプリント品質の低下を防ぐことができます。➡**よく使用する用紙種類を登録する (P. 1353)**

画質の調整

プリントしたときにグラデーションが再現されない場合などは、症状に応じて画質を調整します。

- ➡**画質の調整 (P. 1357)**

位置／サイズの調整

プリント位置がずれたり、コピーした画像のサイズが原稿と違ったりする場合は、位置／サイズを調整します。

- ➡**プリント位置を調整する (P. 1373)**
- ➡**コピー画像のプリントサイズを調整する (P. 1376)**

保守サービスの利用

キヤノンが提供する保守サービスを利用して、本機を快適な稼働環境で使します。

- ➡**無償保証や保守サービスについて (P. 1342)**

重要

保守について

- 本機の補修用性能部品およびトナー容器の最低保有期間は、製造打ち切り後7年間です。
- 操作に問題が発生した場合は、以下を参照してください。
 - ➡**困ったときは (P. 1379)**
- それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合は、販売店または担当サービスに連絡してください。➡**トラブルが解決しないときは (P. 1552)**

設置について

- お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置することをおすすめします。

- 部屋を急に暖めたり、温度や湿度が低い場所から高い場所へ本機を移動させたりすると、本体内部に水滴（結露）が発生することがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などのおそれがありますので、2時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。
- 高地（海拔 3000m 以上）で使用すると、正常に動作できない場合があります。

関連項目

症状から必要な対処方法を確認する

本機の状態やトラブルの内容から、必要なメンテナンス作業や設定を確認できます。

➡紙／ホチキス針がつまった (P. 1518)

➡プリント結果のトラブル (P. 1381)

プリントページ数や本機の使用状況を確認する

メンテナンスの目安として、カウンターでプリントページ数を確認したり、レポートやリストで使用状況を確認したりできます。

➡使用状況／設定の確認 (P. 896)

本機の清掃

EJ83-0WL

本機を快適に使用するために、各部を定期的に清掃してきれいに保ちます。

原稿や用紙が汚れたり、プリント品質が低下したりする場合は、症状に応じて原因となっている部分を清掃します。

定期的に清掃する箇所

本機の表面（**a**）と原稿台ガラス／フィーダーの裏面（**b**）は、こまめに清掃します。

▶ 本機の表面を清掃する (P. 1310)

▶ 原稿台ガラスを清掃する (P. 1311)



症状に応じて清掃する

以下のような症状が見られる場合は、フィーダー（**c**）や、本機内部／定着加圧ローラー（**d**）を清掃します。

- 原稿が汚れる／原稿がつまる／汚れが写り込む／原稿サイズが正しく検知されない

▶ フィーダーを清掃する (P. 1313)

- 用紙が汚れる／プリント品質が低下した

▶ 本機の内部を清掃する (P. 1318)



症状が改善されない場合は、LED プリントヘッド (c) を清掃します。▶ [LED プリントヘッドを清掃する \(P. 1319\)](#)



本機の表面を清掃する

EJ83-0WR

本機をきれいに保つために、定期的に表面を清掃します。

メモ

- 本機の表面に黒い点が見られる場合がありますが、再生材使用によるものであり、品質には問題ありません。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く ●電源を切る (P. 146)

- 電源を切る前に、本機の動作状況を確認します。作業中に電源を切ると、作業が中断されたり、データが破損したりすることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、操作パネルのディスプレイおよび各ランプが3秒以上消灯していることを確認してから、電源プラグを抜きます。

2 本機の表面を拭く



柔らかい布に、水または薄めた中性洗剤を含ませ、固く絞って拭きます。

3 水分が完全に乾くまで待つ

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる ●電源を入れる (P. 145)

原稿台ガラスを清掃する

EJ83-0WS

原稿の汚れや、汚れの写り込みを防ぐために、原稿台ガラスやフィーダーの裏面を定期的に清掃します。

原稿台ガラスやフィーダーの裏面に汚れが付着していると、原稿が汚れたり、スキャン／ファクス送信／コピーの結果に汚れが写り込んだりする場合があります。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く ●電源を切る (P. 146)

- 電源を切る前に、本機の動作状況を確認します。作業中に電源を切ると、作業が中断されたり、データが破損したりすることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、操作パネルのディスプレイおよび各ランプが3秒以上消灯していることを確認してから、電源プラグを抜きます。

2 フィーダーを開ける



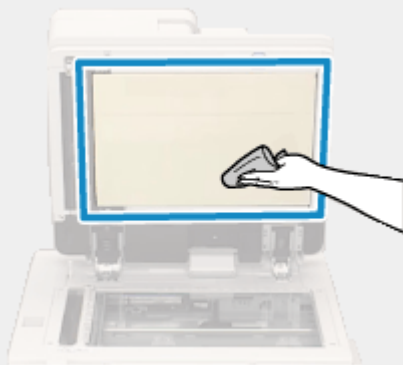
3 原稿台ガラスとフィーダーの裏面を拭く

1. 原稿台ガラスを拭く



付属のガラス清掃シートで拭きます。ガラス清掃シートが汚れている場合は、すすぎ洗いのあと、乾かしてから拭きます。

2. フィーダーの裏面を拭く



柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭きます。そのあと、乾いた柔らかい布で拭きます。

汚れが落ちない場合

柔らかい布に中性洗剤を含ませ、固く絞って拭きます。そのあと、乾いた柔らかい布で拭きます。

4 フィーダーをゆっくり閉める

5 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる ●電源を入れる (P. 145)

フィーダーを清掃する

EJ83-0WU

フィーダー使用時に以下の症状が見られる場合は、フィーダーを拭いて汚れを取り除きます。

- 原稿が汚れる
- 原稿がひんぱんにつまる
- スキャン／ファクス送信／コピーの結果に汚れが写り込む
- 原稿サイズが正しく検知されない

フィーダーを拭いてもこれらが改善されない場合は、用紙を使用して汚れを取り除きます。

② フィーダーを拭いて清掃する (P. 1313)

③ 用紙を使用してフィーダーを清掃する (P. 1316)

メモ

原稿読み取りエリアの汚れを通知する

- 原稿読み取りエリアが汚れている場合に、清掃が必要であることを通知するメッセージを操作パネルの画面に表示するように設定できます。④ [原稿読み取り部の清掃表示] (P. 969)

フィーダーを拭いて清掃する

フィーダー内部のローラーや原稿読み取りエリアを拭いて、付着している鉛筆の粉／ホコリなどの汚れを取り除きます。

ローラーは回しながら清掃します。

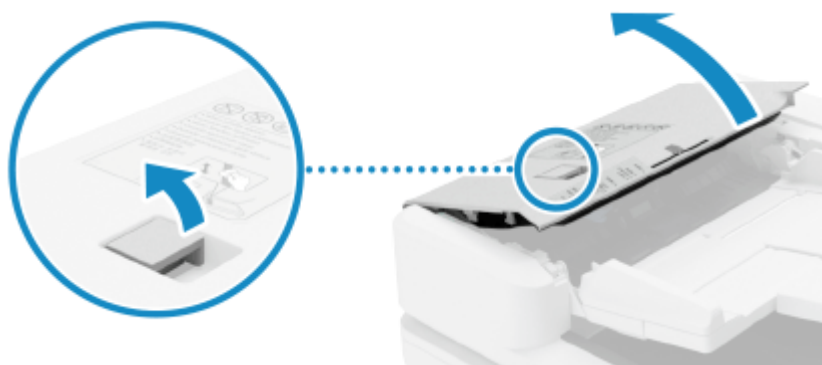
1

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く ④ 電源を切る (P. 146)

- 電源を切る前に、本機の動作状況を確認します。作業中に電源を切ると、作業が中断されたり、データが破損したりすることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、操作パネルのディスプレイおよび各ランプが3秒以上消灯していることを確認してから、電源プラグを抜きます。

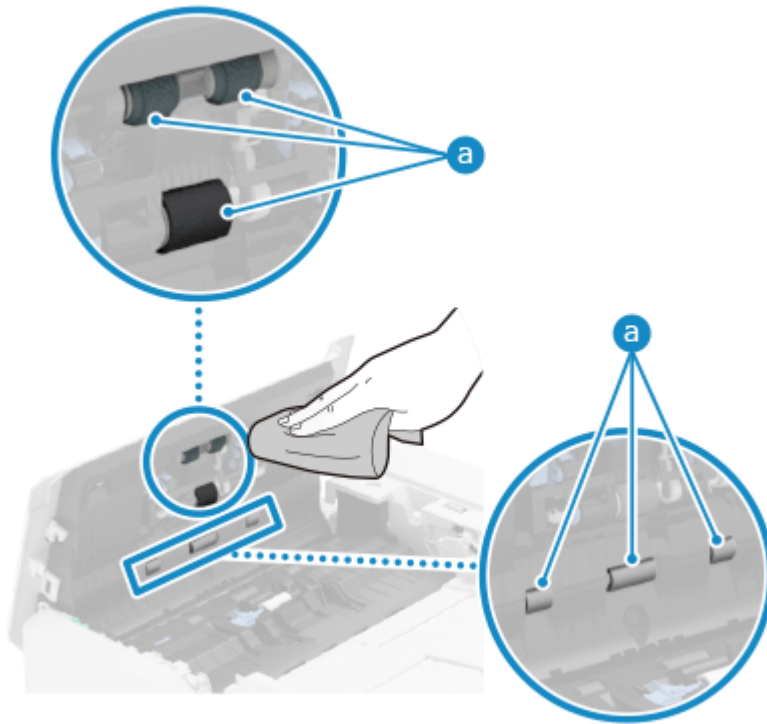
2

フィーダーカバーを開ける



フィーダーカバーのレバーを引いて開けます。

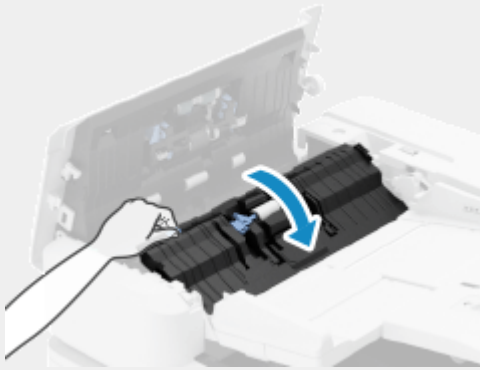
3 フィーダー内部のローラー（a）とその周辺を拭く



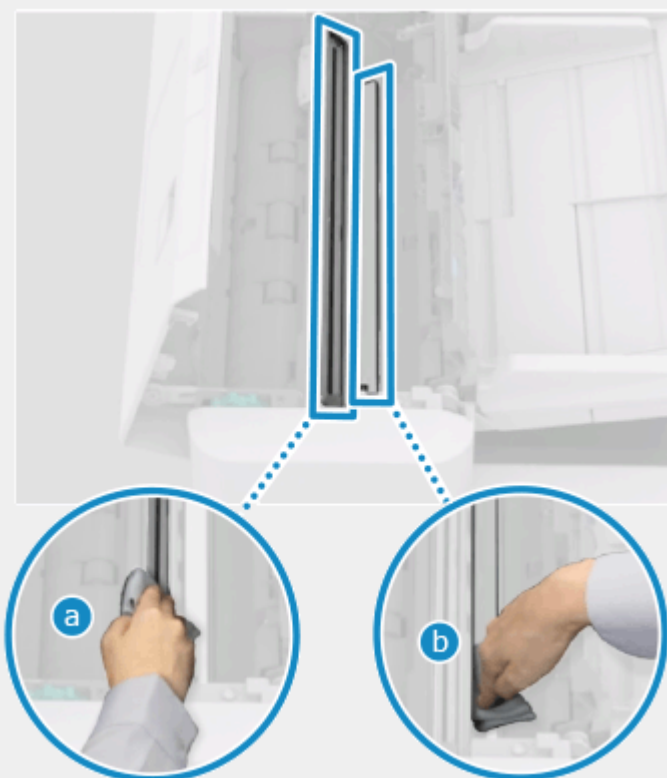
布に水を含ませ、固く絞って拭きます。そのあと、乾いた柔らかい布で拭きます。

4 フィーダー内カバーの内部を清掃する

1. フィーダー内カバーを開ける



2. 付属のガラス清掃シートで、細長いガラス部 (a) と白いプレート部 (b) を拭く



- 布に水を含ませ、固く絞って拭きます。そのあと、乾いた柔らかい布で拭きます。
- 水分が完全に乾いてから、次の手順に進みます。

3. フィーダー内カバーを閉める

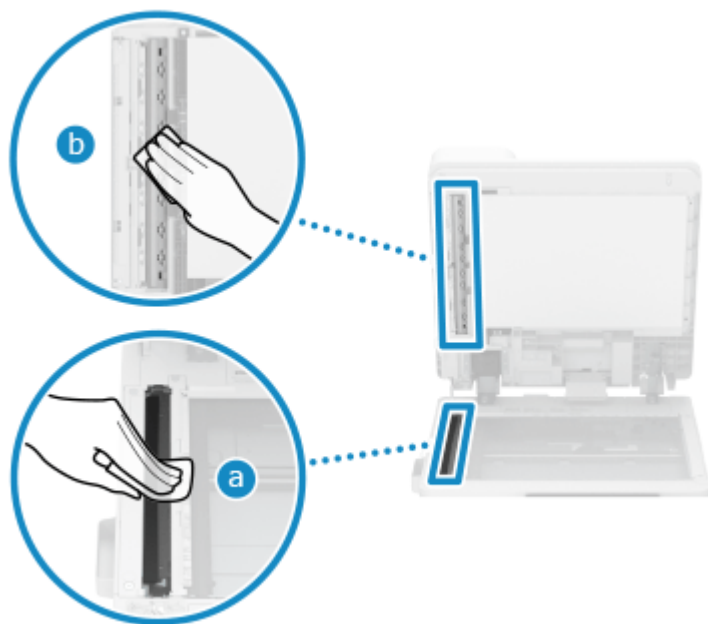
フィーダー内カバーを閉めるときは、すき間に指をはさまないようにします。

5 フィーダーカバーをゆっくり閉める

6 フィーダーを開ける



- 7 付属のガラス清掃シートで、細長いガラス部 (a) と白いプレート部 (b) を拭く



- 汚れが落ちないときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭きます。そのあと、乾いた柔らかい布で拭きます。
- 水分が完全に乾いてから、次の手順に進みます。

- 8 フィーダーをゆっくり閉める

- 9 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる ▶ 電源を入れる (P. 145)

用紙を使用してフィーダーを清掃する

フィーダー内に用紙を通過させて清掃します。

- 1 フィーダーに、A4 またはレターサイズの普通紙 10 枚をセットする ▶ 原稿のセット方法 (P. 196)



- 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[設定/登録] を押す ▶ [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

- 3 [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス] ▶ [フィーダーのクリーニング] を押す

→ [フィーダーのクリーニング] 画面が表示されます。

4

[開始] を押す

→ フィーダーにセットした用紙が給紙されて、清掃が開始されます。

清掃には約 20 秒かかります。

清掃が完了すると、用紙が排紙されます。

本機の内部を清掃する

EJ83-0WW

プリントした用紙が汚れたり、部分的にプリントされなかったりする場合は、本機の内部が汚れている可能性があります。その場合は、本機の内部を清掃します。

待機中のプリントデータがある場合や、トナー残量がない場合は、本機の内部を清掃できません。

本機の内部の清掃には、本体内の清掃と定着加圧ローラーの清掃の2種類があります。

- 本体内の清掃
プリントした用紙にすじや汚れが付いたり、プリント画像の一部が欠けたりする場合に清掃します。
- 定着加圧ローラーの清掃
プリントした用紙が汚れる場合に清掃します。

必要な準備

- トナーの残量があることを確認します。 [🔗 消耗品／消耗部品の残量を確認する \(P. 1338\)](#)

1 操作パネルの〔ホーム〕画面などで、 設定/登録 を押す [▶](#) **〔ホーム〕画面 (P. 156)**

→ 〔設定/登録〕画面が表示されます。

2 〔調整/メンテナンス〕 [▶](#) 〔メンテナンス〕 [▶](#) 〔本体内のクリーニング〕 または 〔定着加圧ローラーのクリーニング〕 を押す

→ 〔本体内のクリーニング〕画面または 〔定着加圧ローラーのクリーニング〕画面が表示されます。

定着加圧ローラーを清掃する場合

使用できる用紙が手差しトレイにセットされていることを確認します。

3 〔開始〕を押す

→ 清掃が開始されます。

清掃が完了すると、〔クリーニングが終了しました。〕と表示されます。

定着加圧ローラーを清掃した場合は、画像（パターン）がプリントされた用紙が1枚排紙されます。

LED プリントヘッドを清掃する

EJ83-0WX

本機の表面、原稿台、フィーダーを清掃しても、まだ用紙が汚れたり、プリント結果に白いすじ（線）が入ったり白く抜けたりする場合は、LED プリントヘッドが汚れている可能性があります。その場合は、LED プリントヘッドを清掃します。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く ●電源を切る (P. 146)

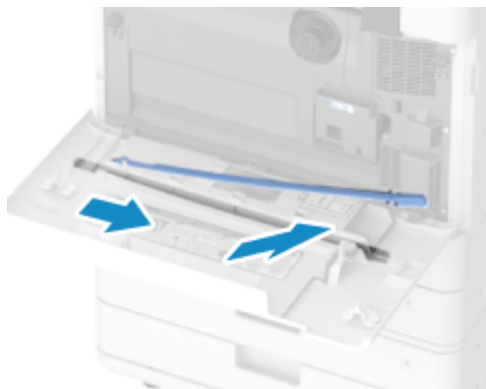
- 電源を切る前に、本機の動作状況を確認します。作業中に電源を切ると、作業が中断されたり、データが破損したりすることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、操作パネルのディスプレイおよび各ランプが3秒以上消灯していることを確認してから、電源プラグを抜きます。

2 本体前カバーを開ける



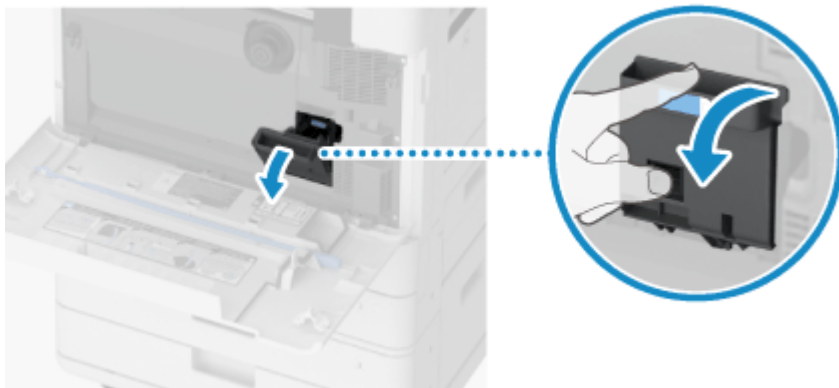
カバーの左右の端を持って開けます。

3 本体前カバーの裏面から、清掃棒を取り出す

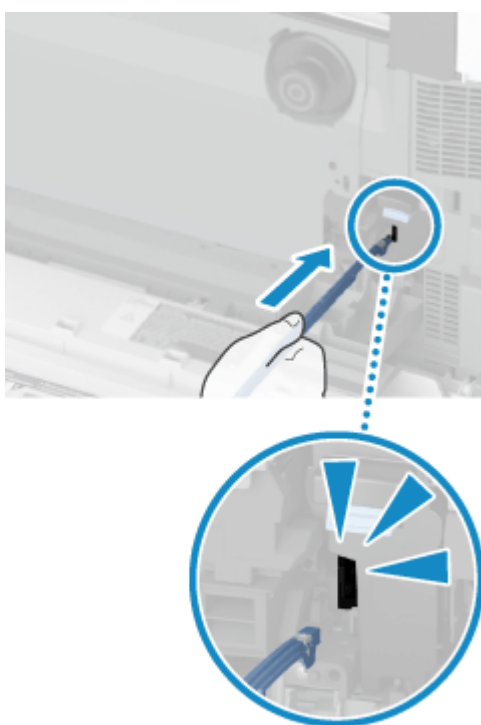


取り出すときは、清掃棒を右にスライドさせます。

4 ドラムカバーを開ける

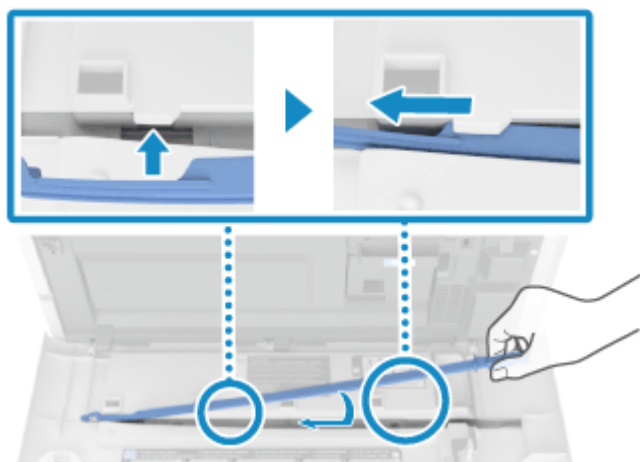


5 清掃棒を穴に差し込んで清掃する



- 清掃棒の先端のゴムを下に向けて穴の奥に突き当たるまで、ゆっくりとまっすぐに差し込んで引き抜きます。
- 清掃棒を途中で止めたり、前後に動かしたりしないでください。画像不良が起こる可能性があります。

6 ドラムカバーを閉める

7 清掃棒を本体前カバーの裏面に戻す

清掃棒の先端を左側にし、本体前カバーの突起部と清掃棒のくぼみを合わせてから清掃棒を左にスライドさせます。

8 本体前カバーを閉める**9** 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる ●電源を入れる (P. 145)

消耗品／消耗部品の交換

EJ83-0WY

操作パネルやリモート UI の画面にメッセージが表示された場合は、消耗品／消耗部品の交換します。

- ① トナー容器を交換する (P. 1323)
- ② 回収トナー容器を交換する (P. 1326)
- ③ ドラムユニットを交換する (P. 1329)
- ④ スタンプカートリッジを交換する（オプション） (P. 1332)
- ⑤ ホチキス針を補充する（オプション） (P. 1334)

また、現在の消耗品／消耗部品の残量は、操作パネルやリモート UI で確認できます。消耗品／消耗部品の型番については、消耗品／消耗部品一覧を参照してください。

- ① 消耗品／消耗部品の残量を確認する (P. 1338)
- ② 消耗品／消耗部品一覧 (P. 1339)

トナー容器を交換する

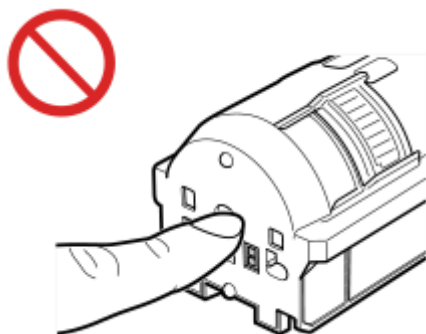
トナー残量が少なくなったり、トナーがなくなったりすると、操作パネルにメッセージが表示されます。その場合は、メッセージに従ってトナー容器を交換します。

- トナーがなくなりプリントが中断した場合は、トナー容器を交換すると自動的に再開されます。
- トナー容器の交換手順の動画は、[ホーム] 画面などの [⚙️ 設定/登録] からいつでも表示できます。▶ [【トナー容器の交換】 \(P. 1039\)](#)

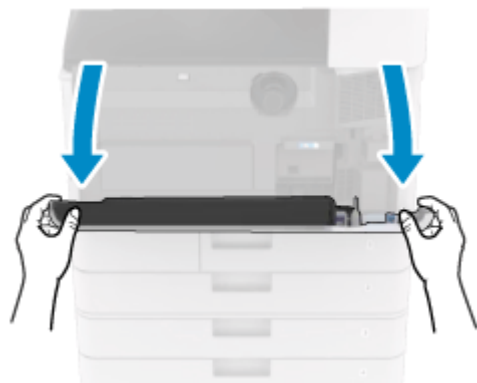
トナー容器を交換する前に、本機に同梱されている「安全にお使いいただくために」の注意事項を確認してください。

⚠️ 注意

- トナー容器の奥側（トナーの色のラベルが貼られていない方）の電気接点部には触れないでください。



1 本体前カバーを開ける



カバーの左右の端を持って開けます。

2 トナー容器を引き出す



- トナー容器の先端部に触れたり、ぶつけて衝撃を与えたりしないように注意してください。トナーが漏れることがあります。
- 取り出したトナー容器は、汚れてもよい紙や布などを準備し、その上に一時的に置いてください。

3 新しいトナー容器を箱から取り出す



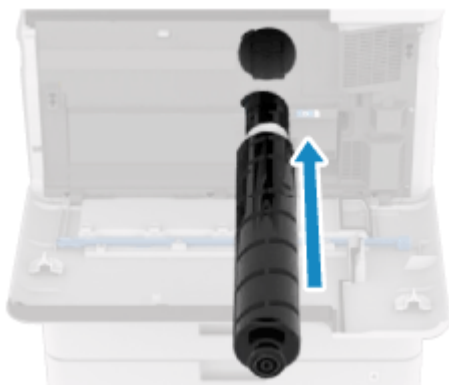
4 トナー容器の白い部分を上にして持ち、タテ方向に 10 回程度振ってトナーを均一にならす



トナー容器の白い部分を下に向けないでください。トナーがうまく供給されない場合があります。



5 新しいトナー容器を取り付ける



- トナー容器の平らになっている面を下にして、奥まで押し込みます。
- トナーが均一になっていないと、エラーメッセージが表示されます。この場合は、トナー容器を引き出し、再度振ってなします。

6 本体前カバーを閉める

メモ

階調や濃度を補正する

- プリントの階調や濃度がトナー容器を交換する前と異なる場合は、補正します。
 - ➡ 階調を補正する (P. 1359)
 - ➡ 濃度を補正する (P. 1362)

回収トナー容器を交換する

EJ83-0X1

回収トナー容器とは、回収トナー（プリント時に発生する余分なトナー）を溜めておくための容器です。回収トナー容器の空き容量が少なくなったり、回収トナー容器がいっぱいになると、操作パネルにメッセージが表示されます。その場合は、メッセージに従って回収トナー容器を交換します。

- 操作パネルにメッセージが表示される前に回収トナー容器を交換しないでください。
- 回収トナーは再利用できません。新しいトナーと混ぜないでください。
- 画面右下の [] を押すと、回収トナー容器の交換手順の動画を表示できます。

※交換手順の動画は、[ホーム] 画面などの [ 設定/登録] からいつでも表示できます。  **【回収トナー容器の交換】 (P. 1039)**

回収トナー容器を交換する前に、本機に同梱されている「安全にお使いいただくために」の注意事項を確認してください。

1 回収トナーカバーを開ける



カバーの左側を持って開けます。

2 回収トナー容器を取り出す

1. 回収トナー容器を途中まで引き出す

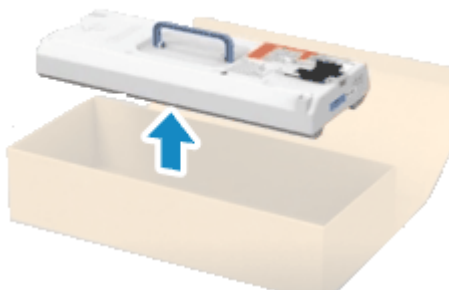


2. 上部の取っ手を持ち、容器内のトナーがこぼれないようにまっすぐ取り出す



取り出した回収トナー容器は、汚れてもよい紙や布などを準備し、その上に一時的に置いてください。

3 新しい回収トナー容器を箱から取り出す



4 使用済みの回収トナー容器を袋に包み、箱に入れる



- 袋は、新しい回収トナー容器の箱に入っています。
- 回収トナー容器を袋に包んだら、トナーがこぼれないように、袋の口をしっかりとねじってから箱に入れます。

5 新しい回収トナー容器を取り付ける



Canon ロゴを奥側にしてセットし、奥までしっかりと押し込みます。奥まで押し込まれていないと、回収トナー容器を取り外したときにトナーが飛散することがあります。

6 回収トナーカバーを閉める

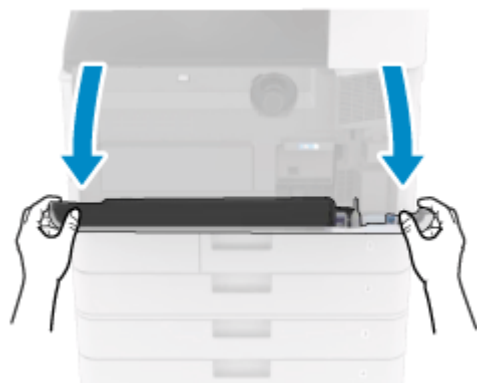
ドラムユニットを交換する

ドラムユニットの寿命が近づくと、画面右下にメッセージが表示されます。メッセージに従ってドラムユニットを交換してください。

※交換手順の動画は、[ホーム] 画面などの [⚙️ 設定/登録] からいつでも表示できます。🔵 **【ドラムユニットの交換】 (P. 1039)**

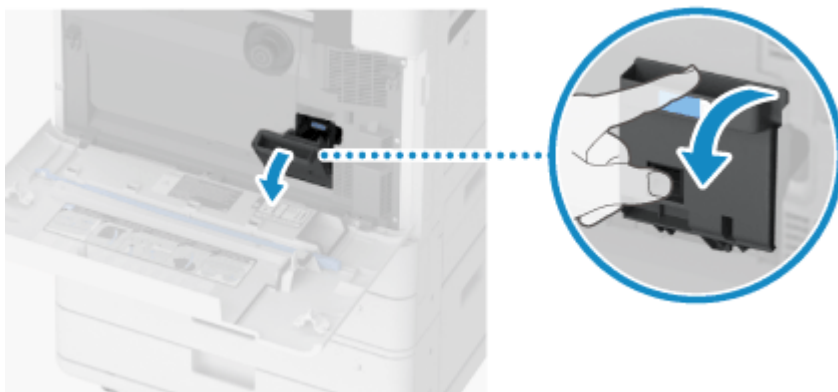
ドラムユニットを交換する前に、本機に同梱されている「安全にお使いいただくために」の注意事項を確認してください。

1 本体前カバーを開ける

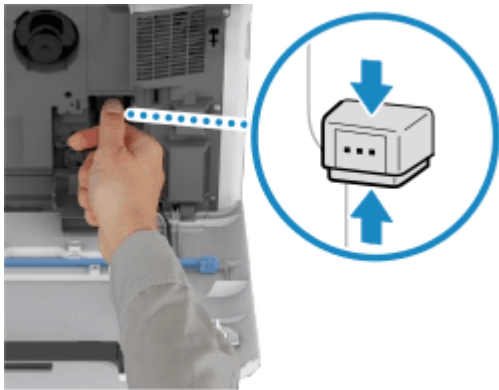


カバーの左右の端を持って開けます。

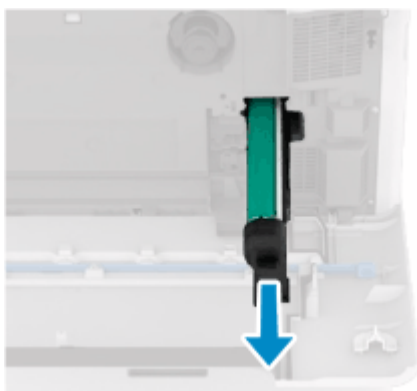
2 ドラムユニットのカバーを開ける



3 ドラムユニットのハンドルを握り、ロックを解除する



4 ドラムユニットを引き出す

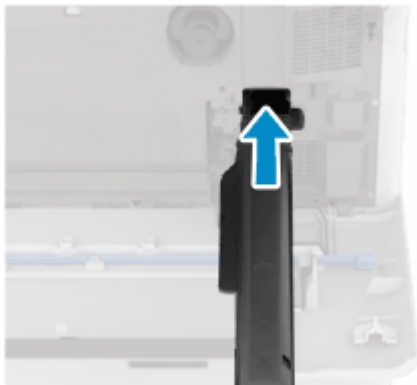


- ドラムユニットを手で支えながら引き出します。
- ドラムユニットを傾けないでください。ドラム内のトナーがこぼれることがあります。
- 取り出したドラムユニットは、汚れてもよい紙や布などを準備し、その上に一時的に置いてください。

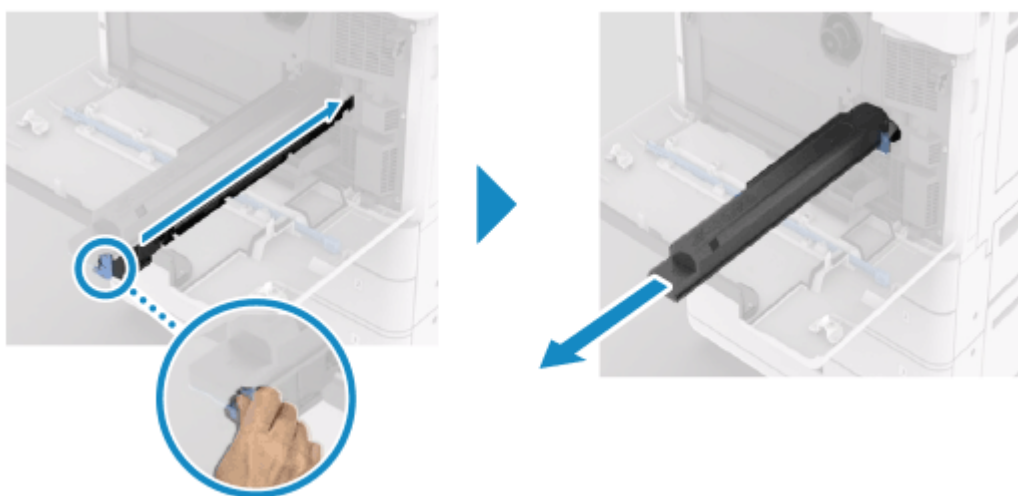
5 新しいドラムユニットを箱から取り出す



6 新しいドラムユニットを取り付ける



7 保護カバーを取り外す



- 黒色の保護カバーの右側にあるスライダーを本体奥へ向かって押し込み、それ以上進まなくなるまで押し込んでから、保護カバーを引き出します。
- 保護カバーを外した後は、ドラムユニットが本体に完全に押し込まれているか確認してください。ドラムユニットを完全に押し込まないと、誤動作の原因となります。

8 ドラムユニットのカバーを閉める

9 本体前カバーを閉める

10 [閉じる] を押す

メモ

階調と濃度を補正する

- プリントの階調と濃度がドラムユニットを交換する前と異なる場合は、補正します。

▶ 階調を補正する (P. 1359)

▶ 濃度を補正する (P. 1362)

スタンプカートリッジを交換する（オプション）

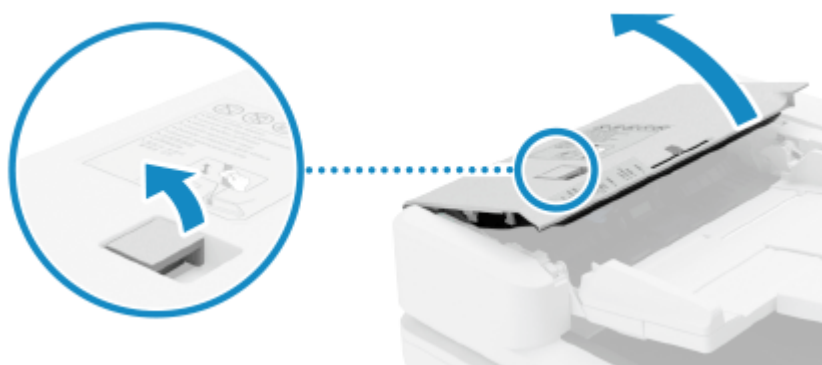
EJ83-0X2

フィーダーでスキャンした原稿に付けたスタンプがかすれてきたときは、フィーダー内部のスタンプカートリッジを交換します。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く ●電源を切る (P. 146)

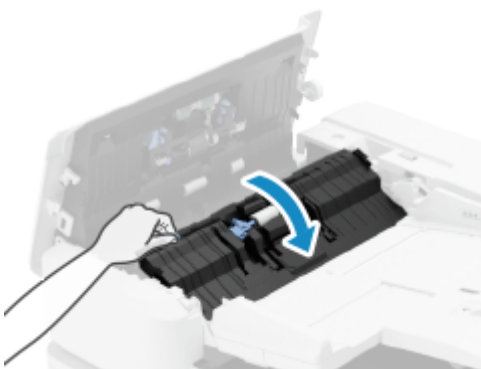
- 電源を切る前に、本機の動作状況を確認します。作業中に電源を切ると、作業が中断されたり、データが破損したりすることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、操作パネルのディスプレイおよび各ランプが3秒以上消灯していることを確認してから、電源プラグを抜きます。

2 フィーダーカバーを開ける



フィーダーカバーのレバーを引いて開けます。

3 フィーダー内カバーを開ける



4 スタンプカートリッジに付属のピンセットを使用して、スタンプカートリッジを交換する

1. スタンプカートリッジを取り外す



2. 新しいスタンプカートリッジを、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込む



- スタンプ面が突き出ないようにセットします。
- 傾けて取り付けると、紙づまりの原因になります。

5 フィーダー内カバーを閉める

「カチッ」と音がするまでしっかりと閉めます。

6 フィーダーカバーをゆっくり閉める

7 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる ●電源を入れる (P. 145)

ホチキス針を補充する（オプション）

EJ83-0X3

ホチキス針がなくなると、画面右下に [] が表示されます。その場合は、新しい針ケースに交換してホチキス針を補充します。

④ インナーフィニッシャーのホチキス針を補充する (P. 1335)

重要

- 針ケースの交換中でも、用紙が出力されてオプション機器が動作する場合があります。オプション機器の取り扱いには注意してください。

インナーフィニッシャーのホチキス針を補充する

EJ83-0X4

インナーフィニッシャーのホチキス針がなくなると、画面右下に [] が表示されます。その場合は、新しい針ケースに交換してホチキス針を補充します。

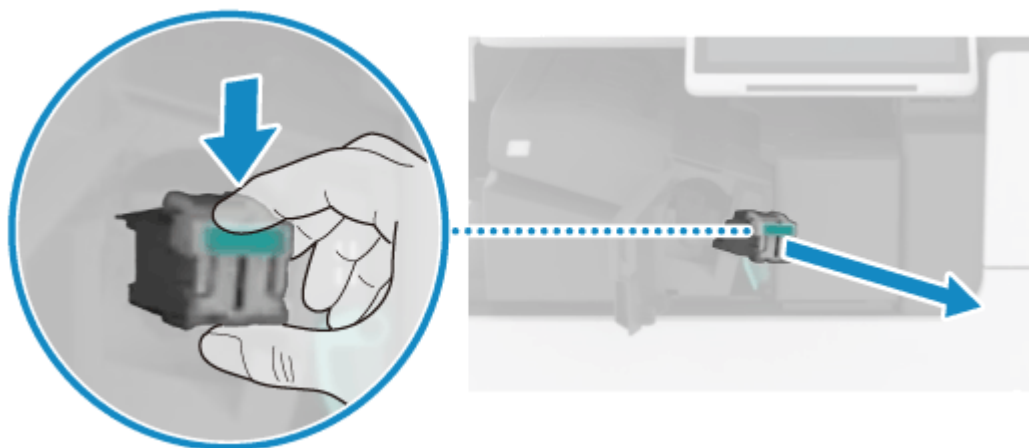
[] を押すと、針ケースの交換手順の動画を表示できます。

※交換手順の動画は、[ホーム] 画面などの [ 設定/登録] からいつでも表示できます。▶ [\[針の補給 \(ホチキス針\)\] \(P. 1039\)](#)

1 フィニッシャーの左カバーを開ける

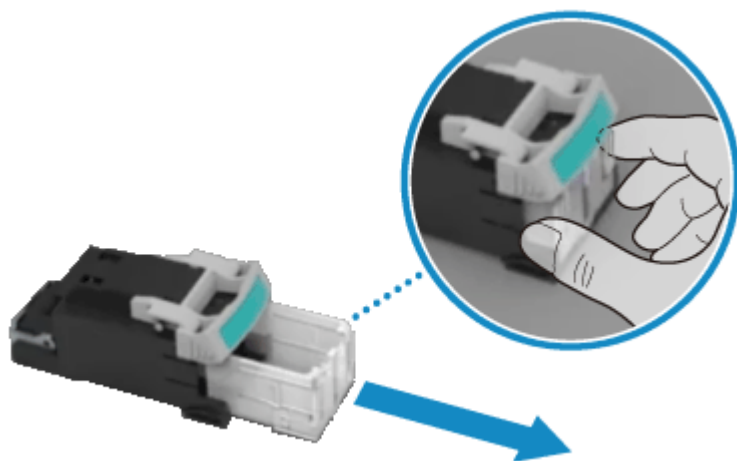


2 針カートリッジを取り外す



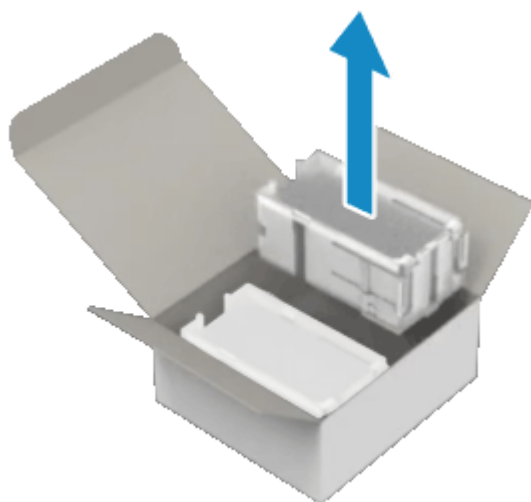
針カートリッジの緑色のマーク部分を下げてロックを外し、まっすぐに引き出します。

3 針カートリッジから針ケースを取り外す

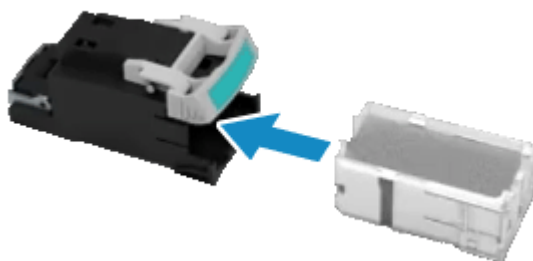


針ケースの両側の爪をつまんでロックを外し、上の図の矢印の方向に取り外します。

4 新しい針ケースを箱から取り出す



5 針カートリッジに新しい針ケースをセットする



針ケース先端を針カートリッジに差し込み、カチッと音がするまでゆっくりと針ケースに押し込みます。

6 針カートリッジをフィニッシャーに取り付ける



針カートリッジの緑色のマーク部分を手前側にして奥までしっかりと押し込みます。

7 フィニッシャーの左カバーを閉める

メモ

- 針ケースを交換したあと、ホチキス針の頭出しのために自動的に空打ちすることがあります。

消耗品／消耗部品の残量を確認する

EJ83-0X5

現在のトナー残量を 10 % 刻みで確認したり、回収トナー容器の空き容量を確認したりできます。オプションのフィニッシャーを使用している場合は、ホチキス針の残量も確認できます。
大量にプリントする前には、新しいトナーや回収トナー容器、ホチキス針などの準備が必要かどうかを判断する目安として、消耗品／消耗部品の残量を確認します。

※表示される消耗品／消耗部品の残量の数値は目安であり、実際と異なる場合があります。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [状況確認] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [状況確認] 画面が表示されます。

2 [消耗品/その他] を押し、消耗品／消耗部品の残量を確認する

- [その他の情報] で以下を確認できます。
 - トナー残量
 - 回収トナー容器の空き容量
 - ホチキス針の補給状況（フィニッシャー使用時）
 - パンチくず量（フィニッシャー使用時）
- トナーの残量や回収トナー容器の空き容量が少なく、交換の準備が必要な場合は、[消耗品確認] を押して消耗品／消耗部品の型番を確認します。

※消耗品／消耗部品の残量は [状況確認] 画面下部の [稼働状況] を押しても確認できます。

メモ

トナーやドラムユニットの交換時期を通知する

- トナーやドラムユニットの交換時期が近づくと、操作パネルに交換予告メッセージを表示するように設定できます。
 - ▶ [\[トナー残量少時の動作\] \(P. 1052\)](#)
 - ▶ [\[ドラムユニット寿命間近時の動作\] \(P. 1052\)](#)

また、トナーやドラムユニットの残量がどのくらいになったら交換を予告するかを設定できます。

- ▶ [\[トナー交換予告時期\] \(P. 971\)](#)
- ▶ [\[ドラムユニット交換予告時期\] \(P. 971\)](#)

消耗品／消耗部品一覧

EJ83-0X6

本機の消耗品／消耗部品を交換したり、準備したりする場合は、それぞれの型番を確認して、本機をお買い上げの販売店にてお買い求めください。

現在の消耗品／消耗部品の残量は、操作パネルやリモート UI で確認できます。 [●消耗品／消耗部品の残量を確認する \(P. 1338\)](#)

また、消耗品／消耗部品の取り扱い／保管には注意が必要です。本機に同梱されている「安全にお使いいただくために」の注意事項も、併せて参照してください。

最適な印刷品位のため、交換用トナー、トナー容器及びパーツは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします。



[●消耗品 \(P. 1339\)](#)

[●消耗部品 \(P. 1341\)](#)

消耗品

交換用トナー

機種名	キヤノン純正トナー
MF7825F	● Canon Toner 083 (キヤノン トナー 083)

注意

トナー容器は次のとおり保管する

- 使用する直前まで未開封の状態で保管する
- 次の環境で保管する
 - 保管温度範囲：10～30℃
 - 保管湿度範囲：20～80%RH（相対湿度／結露しないこと）*

* 保管湿度範囲内でも、外気温との差がある場合は内部に水滴が付着することがあり（結露）、印字品質に悪影響を及ぼす。
- 次の場所に保管しない
 - 火気のある場所
 - 直射日光が当たる場所
 - 空気中に塩分を多く含む場所
 - 腐食性ガス（エアゾールスプレーやアンモニアなど）が充満している場所
 - 高温多湿の場所
 - 温度変化および湿度変化が激しく、結露が生じやすい場所

- ホコリの多い場所
- 幼児の手の届く場所
- 磁気を発生する製品の近く
- トナー容器を保管する場合は、立てたり、裏返したり、逆さにしたりしない

重要

トナーの偽造品に関するご注意

- キヤノン製トナーの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://global.canon/ctc/>

メモ

- 使用済みトナー容器の回収については、本機に同梱されている「安全にお使いいただくために」を参照してください。

ドラムユニット

機種名	型番
MF7825F	• キヤノン NPG-1011 ドラムユニット

注意

ドラムユニットは次のとおり保管する

- 誤った場所や環境で保管すると、データ破損などのおそれがあります。
- 使用する直前まで未開封の状態で保管する
- 次の環境で保管する
 - 保管温度範囲：10～30℃
 - 保管湿度範囲：20～80%RH（相対湿度／結露しないこと）*
- * 保管湿度範囲内でも、外気温との差がある場合は内部に水滴が付着することがあり（結露）、印字品質に悪影響を及ぼす。
- 次の場所に保管しない
 - 火気のある場所
 - 直射日光が当たる場所
 - 空気中に塩分を多く含む場所
 - 腐食性ガス（エアゾールスプレーやアンモニアなど）が充満している場所
 - 高温多湿の場所
 - 温度変化および湿度変化が激しく、結露が生じやすい場所
 - ホコリの多い場所
 - 幼児の手の届く場所
 - 磁気を発生する製品の近く
- ドラムユニットを保管する場合は、立てたり、裏返したり、逆さにしたりしない

重要

ドラムの偽造品に関するご注意

- キヤノン製ドラムユニットの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://global.canon/ctc/>

スタンプカートリッジ



スタンプインクカートリッジ・C とピンセット

交換用針ケース

交換用針ケースは必ず本機専用のものをお使いください。なお、フィニッシャーの種類によって、針ケースの型番が異なります。

フィニッシャー名	キャノン純正針ケース
インナーフィニッシャー・N	ステイブル・Z 1

消耗部品

回収トナー容器

回収トナー容器は必ず本機専用のものをお使いください。



WT-202

無償保証や保守サービスについて

EJ83-0XW

ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

ご愛用いただく製品向けに、保守サービスをパッケージ化した「キャノンサービスパック（CSP）」と契約型の保守サービス制度「キャノン・ケア・ギャランティ（CCG）」を用意しています。

「キャノンサービスパック（CSP）」や「キャノン・ケア・ギャランティ（CCG）」は、電話による障害の解決支援や設置先での修理対応、安定した運用稼働のための定期点検（CCG のみ）を実施します。

- ④無償保証について (P. 1343)
- ④キャノンサービスパック（CSP） (P. 1344)
- ④キャノン・ケア・ギャランティ（CCG） (P. 1346)

無償保証について

EJ83-0XX

本製品につきましては、弊社の機器登録用ウェブサイトにお客様が機器をご登録いただくことで、お買い上げ日から一定期間の無償保証サービスを提供いたします。無償保証期間については、機種ごとに異なりますので、ご登録の上ご確認ください。

下記の内容をご確認いただき、ご購入いただいた機器情報の登録をお願いいたします。なお、故障修理の際にお客様情報のご確認にお時間を頂戴するなど、お客様にご不便をおかけする場合がございますので、お買い上げ後、速やかにご登録をお願いいたします。本製品には保証書は同梱しておりません。機器情報をご登録いただくことにより製品保証書を電子発行（ウェブサイト上での閲覧および印刷）いたします。

ご購入後のお客様向けサービス「カスタマープレミアサイト」のご案内

「カスタマープレミアサイト」は、ご購入いただいた機器情報をご登録いただくことにより、ご使用中の機器情報を一覧で閲覧できるほか、登録機器の保証期間の有無をご確認いただくことができます。また、お客様がご使用中の製品、その他キヤノンからの最新情報をご提供いたします。

機器情報のご登録にあたって「カスタマープレミアサイト」へのお客様登録が必要となります。

カスタマープレミアサイトの登録方法

下記の手順に従って、お客様ご自身で「カスタマープレミアサイト」にアクセスし、お客様および本製品に関する情報をご登録ください。登録にあたって、本体に記載の「機種名、シリアルナンバー」が必要となります。なお、製品登録完了まで本書を大切に保管ください。「機種名、シリアルナンバー」が記載されている定格銘板の場所がご不明の場合は、機種ごとのオンラインマニュアルでご確認ください。

<https://cmj-crmsystem.my.salesforce-sites.com/customerps>

その他のご注意

1. 無償修理に際しては、本製品のお買い上げ日が確認出来る書面（納品書、領収書等）が必要になりますので、機器ご登録後も大切に保管ください。
2. カスタマープレミアサイトでの製品登録に要する通信費等はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
3. カスタマープレミアサイトに一度登録された製品を保証期間満了後に再登録しても、無償保証期間は延長・更新されません。
4. カスタマープレミアサイトに登録された情報は登録の確認に時間を要す場合があります。あらかじめご了承ください。
5. スマートフォン、携帯電話からは登録いただけません。

キャノンサービスパック（CSP）

EJ83-0XY

キャノンサービスパック（以下 CSP）は、万一故障した場合の訪問料、作業料、部品代^{*1} がパッケージ化された保守サービス商品です。

^{*1} キャノンマーケティングジャパンが別途定める特定の部品料金はこの限りではありません。

CSP のメリット

安心 1：予期せぬ出費を防ぐ

修理復旧作業にかかる費用は CSP の料金に含まれているため、部品代^{*1} やその交換にかかる費用は発生しません。あらかじめ保守料金を予算化でき、予期せぬ出費を防ぐことができます。
（CSP は、故障が発生した際に修理・調整をおこなうサービスです）

安心 2：安心の技術力

キャノン認定のカスタマーエンジニアがお客様先へ訪問し、機器の診断から修理作業まできめ細やかなサービスを提供します。お客様に部品の交換作業をお願いすることはありません。

安心 3：コールセンターの的確な対応

CSP は保守専用のコールセンターで障害の内容を承ります。障害の内容に応じて復旧方法のアドバイスやサービス実施店への修理手配などの確な対応を行います。

修理受付時間：月～金曜日 9:00～17:30

- ご連絡先の電話番号はお客様 ID シールに記載しております。
- 祝祭日、年末年始等のキャノンマーケティングジャパンが指定する休日を除きます。

安心 4：簡単購入、簡単登録

CSP はパッケージ化された商品のため簡単に購入することができます。

また、契約書による契約手続きは不要で、CSP 購入後速やかに登録をお願いします。保守登録は WEB、FAX、郵送で申請できます。

メモ

- 詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
canon.jp/csp

購入時の注意

購入タイミング

CSP スタンダードは対象製品を購入したタイミングで一緒にご購入ください。

サービス提供可能期間

CSP のサービス提供可能期間は、対象製品お買い上げより 5 年間です。

CSP の登録期間

CSP のご購入後お早めにご登録ください。

CSP の登録申請後に発送する ID シールに障害発生時の電話連絡先を記載しています。

購入後の注意

1. 下記の事由による対象製品の故障または損傷については、CSP の対象外とさせていただきます。

- 対象製品取り扱い上の不注意または誤用
- 火災、天災地変等の不可抗力、その他キャノン MJ またはサービス実施店の責によらざる事由
- キャノン MJ 指定以外の製品、部品、付属品、消耗品（キャノン MJ の定める規格に適合しない用紙や再生品のトナー容器等）の使用
- キャノン MJ またはサービス実施店以外の者が実施した改造、修理、分解、加工、設置、輸送・移動
- 電氣的ノイズ、公衆回線障害、その他外的要因

2. 前項の他、下記の作業についても本サービスの対象外とさせていただきます。

- 対象製品の移動及び撤去作業
- 対象製品のオーバーホール及び改造作業

キヤノン・ケア・ギャランティ（CCG）

EJ83-0Y0

キヤノン・ケア・ギャランティ（以下 CCG）は製品購入後いつでも締結可能^{*1} な年間契約型の保守サービス制度で、万一故障した場合の訪問料、作業料、部品代^{*2} が含まれています。

^{*1} ご契約を申し込まれる機器が正常に稼働していない場合は、ご契約できません。

^{*2} キヤノンマーケティングジャパンが別途定める特定の部品料金はこの限りではありません。

キヤノン保守契約制度のメリット

安心 1：予期せぬ出費を防ぐ

修理復旧作業にかかる費用は CCG の料金に含まれているため、部品代^{*2} やその交換にかかる費用は発生しません。あらかじめ保守料金を予算化でき、予期せぬ出費を防ぐことができます。（CCG は、故障が発生した際に修理・調整を行うサービスです）

安心 2：安心の技術力

キヤノン認定のカスタマーエンジニアがお客様先へ訪問し、製品の診断から修理作業まできめ細やかなサービスを提供します。お客様に部品の交換作業をお願いすることはありません。

安心 3：保守内容のカスタマイズ

保守料金の支払い方法（一括払い／月払い）や契約の自動更新、点検作業の追加など、お客様のご要望に合わせて契約内容をカスタマイズすることが可能です。^{*3}

安心 4：時間外サービス

土日や夜間など、サービス実施時間を延長することができます。

- 別途追加契約が必要になります。^{*3}

^{*2} キヤノンマーケティングジャパンが別途定める特定の部品料金はこの限りではありません。

^{*3} 条件によっては契約をお受けできない場合があります。

メモ

- 詳しくは、下記ホームページをご覧ください

canon.jp/ccg

購入後の注意

1. 下記の事由による対象製品の故障または損傷については、CCG の対象外とさせていただきます。

- 対象製品取り扱い上の不注意または誤用
- 火災、天災地変等の不可抗力、その他キヤノン MJ またはサービス実施店の責によらざる事由
- キヤノン MJ 指定以外の製品、部品、付属品、消耗品（キヤノン MJ の定める規格に適合しない用紙や再生品のトナー容器等）の使用
- キヤノン MJ またはサービス実施店以外の者が実施した改造、修理、分解、加工、設置、輸送・移動

- 電氣的ノイズ、公衆回線障害、その他外的要因

2.前項の他、下記の作業についても本サービスの対象外とさせていただきます。

- 対象製品の移動及び撤去作業
- 対象製品のオーバーホール及び改造作業

NETEYE について

EJ83-0Y1

NETEYE（ネットアイ）は、インターネットを利用してレーザービームプリンター／スモールオフィス向け複合機の状態を常に見守り、快適な使用環境をご提供するオンラインサポートサービスです。デバイス（機器）の稼働状態や消耗品残量などをリアルタイムで把握することで、故障・予兆監視、消耗品の自動配送などの迅速な修理・保守サービスを提供し、お客さまの管理負担軽減を実現します。また、お客さまの機器と NETEYE サーバー間の通信内容は完全暗号化されていますので、さまざまなデータ送受信を安全に行うことができます。

サービス内容

カートリッジ・自動配送サービス

消耗品^{*1}の交換タイミングが近づくと自動的にお客さま先へ交換用の消耗品を配送。配送と同時に使用済み容器も回収。

^{*1}レーザービームプリンター：トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、回収トナーボックス
スモールオフィス向け複合機：トナー容器／トナーカートリッジ、ドラムユニット、回収トナーボックス

カートリッジ・クイック発注サービス

トナーの残量を検知し、弊社通販サイトをメールでご案内。ご案内メールに記載の URL からトナーを手軽に発注可能。

稼働状況 Web 確認サービス

機器の使用状況を専用 Web サイトで閲覧・集計が可能。

モニタリングサービス

異常時には状況確認のご連絡をし、復旧サポート。必要に応じてサービス担当者も手配。

ファームウェア・プリンタードライバー更新案内サービス

ファームウェアやプリンタードライバーのリリース情報をメールでご案内。

FAQ 案内サービス

よくある質問や商品トラブルの対処方法を定期的にメールマガジン形式でご案内。

メモ

- 詳しくは、サービスサイトをご参照ください。

canon.jp/neteye

サービス開始方法

お申し込み

カスタマープレミアサイトからお申し込みください。

<https://canon.jp/support/support-info/biz-product/user-resigt>

本機の準備

ご利用にはサービスを提供するサーバーと本機が通信できるようにする必要があります。なお、通信の確認操作はお申し込み前に実施して頂いても構いません。▶ **ネットワークの設定 (P. 91)**

パンチくずを捨てる（オプション）

EJ83-0X7

フィニッシャー内部のパンチくず入れには、パンチ穴をあけたときの紙片が溜まります。パンチくずがいっぱいになり、操作パネルにパンチくずの処理を知らせるアイコンが表示されたときは、パンチくずを捨てます。

大量にパンチ穴をあける前には、パンチくずの処理が必要かどうかを判断する目安として、パンチくず量を確認します。パンチくず量は、消耗品／消耗部品の残量と同様に確認できます。▶[消耗品／消耗部品の残量を確認する \(P. 1338\)](#)

④ インナーフィニッシャーのパンチくずを捨てる (P. 1351)

重要

- パンチくずの処理中でも、用紙が出力されてオプション機器が動作する場合があります。オプション機器の取り扱いには注意してください。

インナーフィニッシャーのパンチくずを捨てる

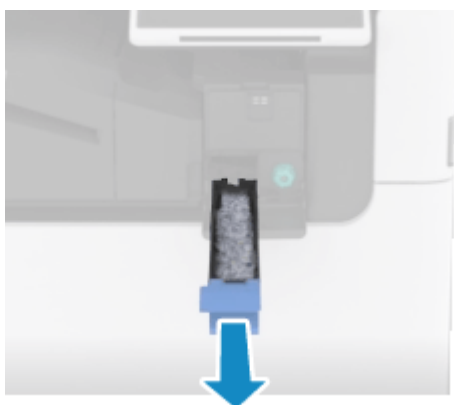
EJ83-0X8

インナーフィニッシャーのパンチくずがいっぱいになり、操作パネルにパンチくずの処理をお知らせするアイコンが表示されたときは、パンチくずを捨てます。

1 フィニッシャーの右カバーを開ける



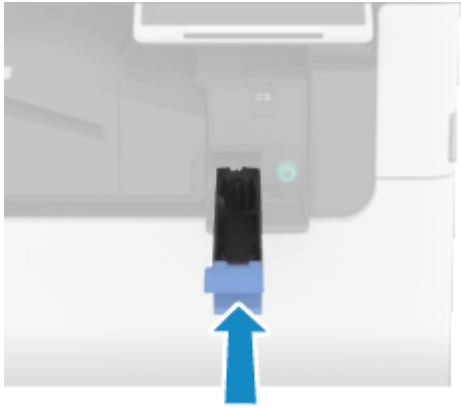
2 パンチくず入れを引き出す



3 パンチくずを捨てる



4 パンチくず入れをフィニッシャーに取り付ける



奥までしっかりと押し込みます。

5 フィニッシャーの右カバーを閉める

よく使用する用紙種類を登録する

本機にあらかじめ登録されている用紙種類を複製し、名称や用紙情報を変更して、新しい用紙種類（ユーザー設定用紙）として登録できます。

特定の用紙で搬送不良やプリント品質の低下が起きる場合は、用紙の特性に合わせて用紙情報を変更したユーザー設定用紙を使用することで、症状が改善されることがあります。

ここでは、操作パネルを使用して登録する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して登録することもできます。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)
Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

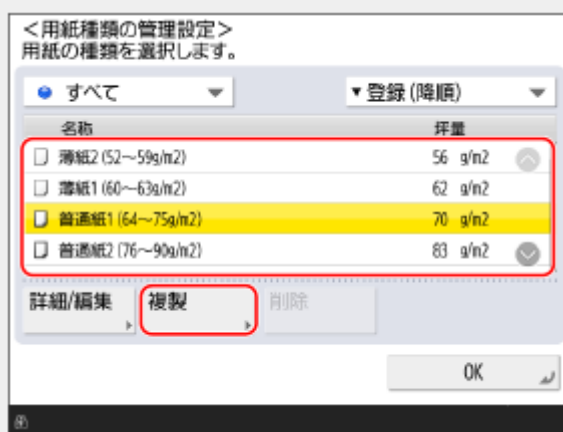
→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [用紙設定] ▶ [用紙種類の管理設定] を押す

→ [用紙種類の管理設定] 画面が表示されます。

4 用紙種類を複製する

1. 一覧から用紙種類を選択し、[複製] を押す



→ [複製後の名称 (半角 100 文字まで)] 画面が表示されます。

- ユーザー設定用紙として登録したい用紙に似た性質の用紙種類を選択します。
- 画面左上のプルダウンメニューで、一覧に表示される用紙種類を基本用紙（初期設定で登録されている用紙種類）のみ、またはユーザー設定用紙のみに絞り込むことができます。
- 画面右上のプルダウンメニューで、用紙種類の表示順を並べ替えることができます。

2. ユーザー設定用紙の名称を入力する

既存の用紙種類と重複しない名称を入力します。

3. [OK] を押す

→ ユーザー設定用紙が登録されます。

4. 一覧から登録したユーザー設定用紙を選択し、[詳細/編集] を押す



→ [詳細/編集] 画面が表示されます。

5. 変更したい項目の[変更] を押し、用紙情報を変更する ➡ **【詳細/編集】画面 (P. 1355)**
用紙の坪量や特徴などの情報を変更できるほか、用紙の特性に合わせて画質やプリント位置を調整できます。
6. [OK] を押す

→ 変更が反映されます。

5 [OK] を押す

メモ

- 登録したユーザー設定用紙を使用する場合は、その用紙がセットされている給紙部の用紙種類を設定します。
 - ➡ 給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 247)
 - ➡ 手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 251)
- 初期設定で登録されている用紙種類は削除できません。

[詳細/編集] 画面

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [用紙設定] ▶ [用紙種類の管理設定] を押し、用紙種類を選択して [詳細/編集] を押すと、[詳細/編集] 画面が表示されます。

この画面では、用紙種類の情報を確認／変更することができます。

※初期設定で登録されている用紙種類の情報は変更できません。

※リモート UI で同様の画面を表示して、用紙種類の情報を確認／変更することもできます。  **パソコンによる本機管理 - リモート UI (P. 886)**

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。



各項目の [変更] を押すと、用紙種類の情報を変更できます。

重要

- 以下の情報が実際に使用する用紙と異なると、紙づまりやプリント不良の原因になることがあります。
 - [坪量]
 - [表面性]
 - [特徴]
 - [色]

[名称]

用紙種類の名称を変更します。

[坪量]

用紙の坪量を変更します。

[表面性]

用紙の表面性（上質紙や再生紙など）を変更します。

[特徴]

用紙の特徴（レターヘッドや封筒など）を変更します。

[色]

用紙の色を変更します。

[プレプリント用紙]

ロゴなどが入った用紙の場合に、[ON] に設定します。

※ [ON] に設定した用紙をセットしたときは、以下の場合、自動選択されません。

- プリント時に、使用する用紙種類を自動選択するように設定されている場合
- コピー時に、[給紙箇所の自動選択の設定] が [ON]、[用紙の種類を考慮する] が [OFF] に設定されている場合 
[給紙箇所の自動選択の設定] (P. 1046)

※ [ON] に設定した用紙をセットするときは、用紙の向きと面に注意します。  **ロゴ入り用紙をセットする向き (P. 240)**

[光沢性の調整]

普通紙やコート紙などの場合に、プリント画像の光沢性を調整します。

- 光沢を弱くする場合は [－] に、強くする場合は [+] に設定します。
- 調整値を大幅に変更すると、不具合の原因になることがあるため、段階的に調整します。
- 用紙によっては、[－] に設定すると定着不良やプリント不良が起きたり、[+] に設定すると紙づまりが起きたりする場合があります。

[二次転写電圧の調整]

標準紙にプリントした場合と比較して、全体的に画像が薄くなったり、乱れたりするときに、二次転写電圧（画像を用紙に転写する際の電圧）を調整します。  **プリント画像の転写状態を調整する (P. 1370)**

[先端部二次転写電圧調整]

標準紙にプリントした場合と比較して、搬送方向に対する用紙の先端部の画像のみが薄くなったり、乱れたりするときに、先端部の二次転写電圧（画像を用紙に転写する際の電圧）を調整します。

- [調整レベル] を [+] に設定すると、プリント不良に対する効果が大きくなります。値が大きすぎると、高濃度部の白抜けが発生する場合があります。
- [調整量] を [+] に設定すると、用紙の先端から調整する距離が長くなります（+1 あたり 1 mm）。
- この調整をすると、[後端部白抜け補正] の設定に影響を与える場合があります。必要に応じて、設定を再調整します。

[後端部白抜け補正]

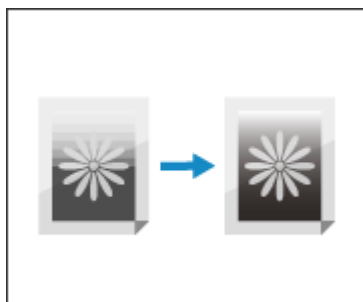
カールしている用紙や、両面プリント時にカールしやすい用紙を使用すると、搬送方向に対する用紙の後端部の画像で白抜けが起きたり、色が薄くなったりする場合があります。また、濃度の低い画像の場合は色が薄くなったり、逆に濃くなったりすることがあります。そのような場合に、後端部の白抜けを補正します。

- [補正レベル] を [+] に設定すると、プリント不良に対する効果が大きくなります。値が大きすぎると、高濃度部の白抜けが発生する場合があります。
- [補正量] を [+] に設定すると、用紙の後端から先端側に向かって補正する距離が長くなります（+1 あたり 1 mm）。
- 後端部の白抜けを補正しても症状が改善されない場合は、[二次転写電圧の調整] または [先端部二次転写電圧調整] を調整します。二次転写電圧を現在の値より小さくすることで効果が期待できますが、画像に影響が出る場合もあります。

画質の調整

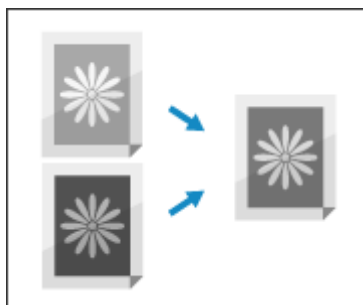
EJ83-11U

プリントしたときにグラデーションが再現されなかったりするなど、期待どおりの結果にならない場合は、症状に応じて画質を調整します。



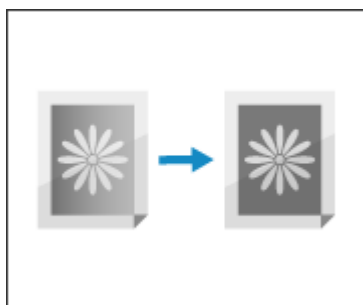
グラデーションが再現されない

① 階調を補正する (P. 1359)



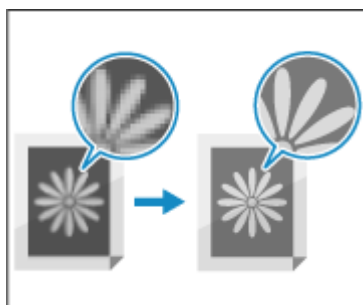
濃度が薄い／濃い

① 濃度を補正する (P. 1362)



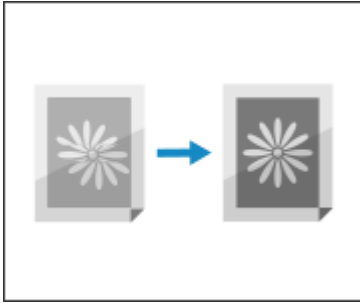
濃淡にムラがある

① 濃淡のムラを補正する (P. 1363)



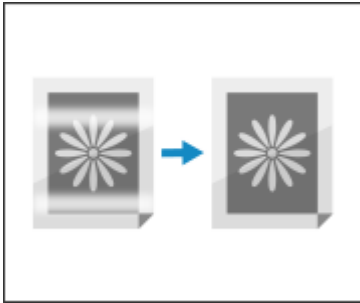
プリント画像をなめらかにしたい

① 輪郭や階調をなめらかにする - ディザパターンの設定 (P. 1368)



プリント画像が薄い／乱れる

④ プリント画像の転写状態を調整する (P. 1370)



光沢にムラがある

④ 光沢のムラを補正する (P. 1372)

階調を補正する



階調とは、色の濃さや明るさが徐々に変化するグラデーションのことです。グラデーションがきれいに再現されなくなり、プリント結果が元のデータや原稿と大きく異なる場合は、階調を補正します（キャリブレーション）。プリント／スキャンの実行中や、トナー残量がない場合は、補正できません。

階調の補正には、クイック補正／フル補正の2種類があります。

まず、簡易的に補正する「クイック補正」を試します。それでも改善されない場合に、精密に補正する「フル補正」を行います。

④簡易的に補正する - クイック補正 (P. 1359)

④精密に補正する - フル補正 (P. 1360)

重要

- 補正が実行されると、トナーが使用されます。
 - ひんぱんに補正を実行すると、トナーの寿命に影響することがあります。
 - 補正を実行しても症状が改善されない場合は、トナー残量が少ないことが考えられます。トナーの残量を確認し、残量の少ないトナー容器を交換することをおすすめします。
 - ④消耗品／消耗部品の残量を確認する (P. 1338)
 - ④トナー容器を交換する (P. 1323)
- 低温の使用環境ではフル補正ができない場合があります。その場合は、すべての用紙種類でクイック補正を行ってください。

簡易的に補正する - クイック補正

ここでは、操作パネルを使用してクイック補正する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用してクイック補正することもできます。④パソコンによる本機の管理 - リモート UI (P. 886)

補正はすべての用紙種類に適用されます。

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、 設定/登録 を押す ④［ホーム］画面 (P. 156)

→［設定/登録］画面が表示されます。

2 〔調整/メンテナンス〕▶〔画質調整〕▶〔自動階調補正〕を押す

→〔自動階調補正〕画面が表示されます。

3 〔薄紙/普通紙/再生紙〕▶〔クイック補正〕を押す

→〔クイック補正〕画面が表示されます。

4 [開始] を押す

→ 補正が実行されます。

補正が完了すると、「補正を終了しました。」と表示されます。

クイック補正を実行しても効果が不十分な場合は、フル補正を行います。▶ [精密に補正する - フル補正 \(P. 1360\)](#)

メモ

- クイック補正が定期的に自動で実行されるように設定できます。▶ [\[自動階調補正の実行時刻設定\] \(P. 979\)](#)

精密に補正する - フル補正

本機からプリントしたテストページを、フィーダーまたは原稿台ガラスでスキャンして、階調を精密に補正します。次にフル補正を行うまで、ここで補正した結果が使用されます。

補正に使用できる用紙サイズと用紙種類

- サイズ：A3、A4、11"×17"、レター、320×450mm (SRA3)、305×457mm
- 種類：薄紙 1～2、普通紙 1～3、再生紙 1～3、厚紙 1～7

フル補正は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用してフル補正することはできません。

1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

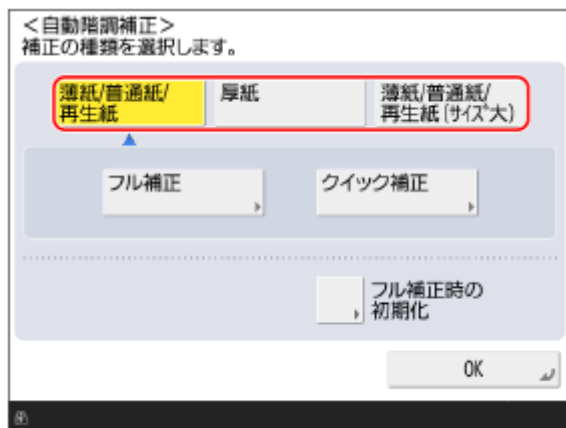
2 [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [自動階調補正] を押す

→ [自動階調補正] 画面が表示されます。

3 補正時の設定をする

[フル補正時の初期化] で [ON] を選択すると、以前行ったフル補正のデータを初期化して、補正します。

4 補正する用紙種類を選択する



320×450mm (SRA3)、305×457mm の用紙サイズを使う場合は、「薄紙/普通紙/再生紙(サイズ大)」を選択します。

5 [フル補正] を押す

→ [用紙選択] 画面が表示されます。使用できる用紙サイズと選択中の用紙種類を確認できます。

6 使用できる用紙がセットされている給紙部を選択し、[OK] を押す

7 [プリント開始] を押す

→ テストページがプリントされます。

8 テストページをスキャンして、補正を実行する

原稿台ガラスを使用してスキャンする場合

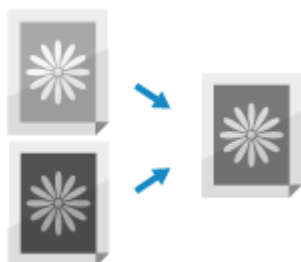
1. フィーダーを開ける
2. 画面の指示に従って、テストページを原稿台ガラスにセットする
3. フィーダーをゆっくり閉める
4. [読込開始] を押す

→ テストページがスキャンされ、補正が実行されます。
補正が完了すると、[補正を終了しました。] と表示されます。

5. 原稿台ガラスからテストページを取り除く

濃度を補正する

EJ83-0XF



スキャンしたデータやプリント結果の色の濃さが元のデータや原稿と大きく異なる場合は、スキャン時の濃度が原稿に近くなるように補正します。機能ごとに濃度を補正できます。

濃度は、操作パネルを使用して補正します。パソコンからリモート UI を使用して補正することはできません。

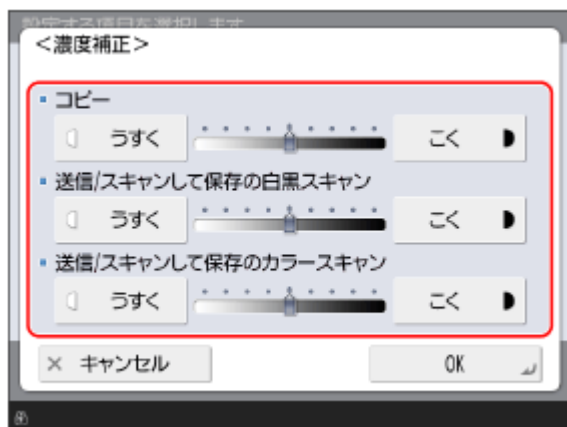
- 1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す  [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

- 2 [調整/メンテナンス]  [画質調整]  [濃度補正] を押す

→ [濃度補正] 画面が表示されます。

- 3 スライダーを左右に動かして、各機能の濃度を調整する



- [こく] に設定するほど、最大濃度でプリントされる領域が増えます。
- [うすく] は、おもに中間濃度を調整する場合に設定します。なお、塗りつぶし部分や文字、線が、ドットの抜けたハーフトーンのような状態でプリントされる場合があります。

- 4 [OK] を押す

→ 調整した内容が反映されます。

濃淡のムラを補正する

EJ83-0XH



プリント結果に濃淡のムラが発生する場合は、濃度が均一になるように補正します。
プリント／スキャンの実行中や、トナー残量がない場合は、補正できません。

プリントしたテストページを本機でスキャンして自動的に補正する方法と、濃度値を手動で入力して補正する方法があります。濃度値は濃度計で測定するか、目視で確認します。

- ④ スキャンして自動的に補正する (P. 1363)
- ④ 濃度値を入力して補正する - 濃度計で確認 (P. 1364)
- ④ 調整値を入力して補正する - 目視で確認 (P. 1366)

重要

- 補正が実行されると、トナーが使用されます。
 - 頻繁に補正を実行すると、トナーの寿命に影響することがあります。
 - 補正を実行しても症状が改善されない場合は、トナー残量が少ないことが考えられます。トナーの残量を確認し、残量の少ないトナー容器を交換することをおすすめします。
 - ④ 消耗品／消耗部品の残量を確認する (P. 1338)
 - ④ トナー容器を交換する (P. 1323)

スキャンして自動的に補正する

プリントしたテストページを本機でスキャンし、濃度値を自動的に判断して補正します。

この補正は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して補正することはできません。

- 1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[⚙️ 設定/登録] を押す ➡ [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

- 2 [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [濃度ムラ補正] を押す

→ [濃度ムラ補正] 画面が表示されます。

- 3 [スキャナーによる補正] を押す

→ [用紙選択] 画面が表示されます。使用できる用紙サイズと選択中の用紙種類を確認できます。

- 4 使用できる用紙がセットされている給紙部を選択し、[OK] を押す

5 [プリント開始] を押す

→テストページがプリントされます。

6 フィーダーを開ける**7** 画面の指示に従って、テストページを原稿台ガラスにセットする**8** フィーダーをゆっくり閉める**9** [読込開始] を押す

→テストページがスキャンされ、補正が実行されます。
補正が完了すると、[補正を終了しました。] と表示されます。

10 原稿台ガラスからテストページを取り除く**11** [OK] ▶ [閉じる] を押す

濃度値を入力して補正する - 濃度計で確認

プリントしたテストページを市販の濃度計で測定し、測定された濃度値を入力することで、ハーフトーン部分の濃度が均一になるように補正します。

この補正は、操作パネルを使用して補正します。パソコンからリモート UI を使用して補正することはできません。

1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ **[ホーム] 画面 (P. 156)**

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

2 [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [濃度ムラ補正] を押す

→ [濃度ムラ補正] 画面が表示されます。

3 [濃度計による補正] ▶ [プリント開始] を押す

→テストページがプリントされます。

4 [微調整] を押す

番号	ブラック
0	0.00
1	0.00
2	0.00
3	0.00
4	0.00
5	0.00
6	0.00

5 濃度値を入力する

0	0.00	5	0.00
1	0.00	6	0.00
2	0.00	7	0.00
3	0.00	8	0.00
4	0.00		

テストページの色見本 0～8 を濃度計で測定し、測定された濃度値を各番号に入力します。

6 [OK] を押す

→ 手順 4 の画面に戻ります。

7 [テストページの出力] ▶ [プリント開始] を押す

→ 補正された状態のテストページがプリントされます。

8 テストページを確認し、問題がなければ [保存して終了] を押す

→ 濃度値が保存されます。

補正後のテストページでも濃淡のムラが発生する場合は、目視による補正を行います。④調整値を入力して補正する - 目視で確認 (P. 1366)

9 [OK] ▶ [閉じる] を押す

調整値を入力して補正する - 目視で確認

濃度計がない場合や、濃度計を使用して補正しても効果が現れない場合は、プリントしたテストページを目視で確認し、調整値を判断して補正します。

この補正は、操作パネルを使用して補正します。パソコンからリモート UI を使用して補正することはできません。

- 1 操作パネルの「ホーム」画面などで、 「設定/登録」を押す  「ホーム」画面 (P. 156)

→「設定/登録」画面が表示されます。

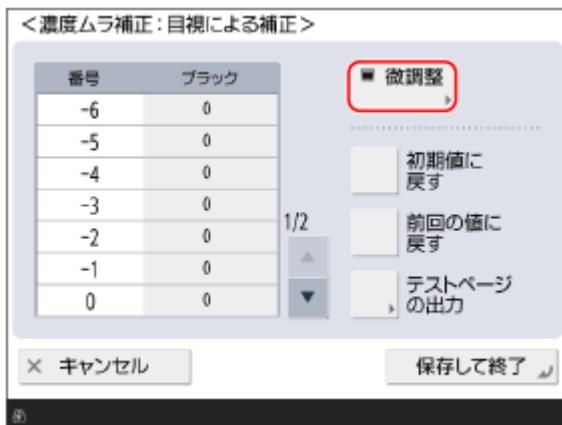
- 2 「調整/メンテナンス」  「画質調整」  「濃度ムラ補正」を押す

→「濃度ムラ補正」画面が表示されます。

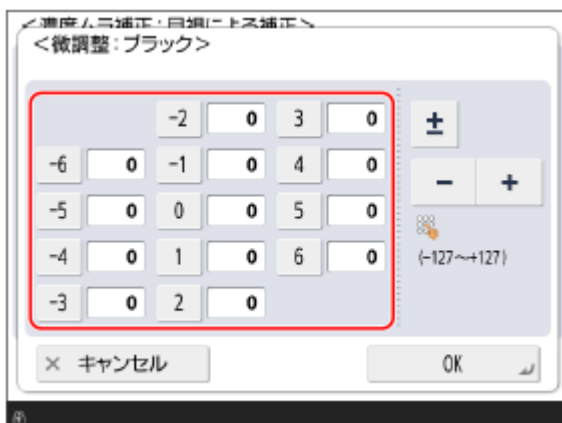
- 3 「目視による補正」  「テストページの出力」  「プリント開始」を押す

→テストページがプリントされます。

- 4 「微調整」を押す



- 5 調整値を入力する



テストページの色見本から目視で調整値を判断し、各番号に調整値を入力します。

※濃度を濃くしたい場合はプラスの値、薄くしたい場合はマイナスの値を入力します。

※テストページの色見本の番号は、「-6」～「+6」です。

6 [OK] を押す

→手順 4 の画面に戻ります。

7 [テストページの出力] ▶ [プリント開始] を押す

→補正された状態のテストページがプリントされます。

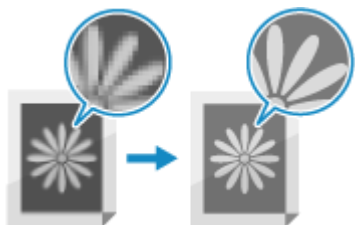
8 テストページを確認し、問題がなければ [保存して終了] を押す

→調整値が保存されます。

9 [OK] ▶ [閉じる] を押す

輪郭や階調をなめらかにする - ディザパターンの設定

EJ83-0XJ



ディザとは、色や濃淡を細かい点の集まりで表現する技術のことで、点を描く元になるデータをディザパターンと呼びます。プリントする画像に適したディザパターンを選択することで、プリント画像の階調や輪郭がなめらかになります。

ディザパターンを設定したあとは、自動階調補正（フル補正）を実行します。プリント／スキャンの実行中や、トナー残量がない場合は、補正できません。

ディザパターンは、操作パネルを使用して設定します。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする [🔵 ログイン方法 \(P. 191\)](#)
- 2 操作パネルの［ホーム］画面などで、[\[⚙️ 設定/登録\]](#) を押す [🔵 \[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 [\[調整/メンテナンス\]](#) ▶ [\[画質調整\]](#) ▶ [\[ディザパターンの設定\]](#) を押す
→ [ディザパターンの設定] 画面が表示されます。
- 4 ディザパターンを選択する
[パターン 1]：デフォルトの設定です。
[パターン 2]：ハイライト部分の表現を向上させる設定です。
- 5 [\[OK\]](#) を押す
→ 自動階調補正（フル補正）の実行確認画面が表示されます。
- 6 [\[はい\]](#) を押して、自動階調補正（フル補正）を実行する [🔵 精密に補正する - フル補正 \(P. 1360\)](#)
→ 設定が反映されます。

重要

- 補正が実行されると、トナーが使用されます。
 - ・ ひんぱんに補正を実行すると、トナーの寿命に影響することがあります。

- 補正を実行しても症状が改善されない場合は、トナー残量が少ないことが考えられます。トナーの残量を確認し、残量の少ないトナー容器を交換することをおすすめします。

➤ 消耗品／消耗部品の残量を確認する (P. 1338)

➤ トナー容器を交換する (P. 1323)

プリント画像の転写状態を調整する

標準紙にプリントした場合と比較して、全体的に画像が薄くなったり、乱れたりするときは、登録したユーザー設定用紙の二次転写電圧（画像を用紙に転写する際の電圧）を調整します。

現在の設定値よりも「+」に調整するケース

- 標準紙より用紙が厚い
- 高濃度部の濃度が不足している
- 高濃度部の画像で不均一な濃度ムラがある
- 高濃度部の画像の輪郭がぼやける

現在の設定値よりも「-」に調整するケース

- 標準紙より用紙が薄い
- 高濃度部の濃度は正常だが、低濃度部に小さな白点がでる
- 高濃度部に小さな白点がでる
- 高濃度部のトナーのり量が少なくなり、かつ小さな濃い斑点がでる
- 低濃度部に濃い斑点がでる
- 高濃度部に、用紙が排出される方向に沿ってすじ状の濃度ムラがでる

ここでは、操作パネルを使用して調整する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して調整する場合は、ポータル画面の [設定/登録] ▶ [用紙設定] ▶ [用紙種類の管理設定] から操作します。▶ [パソコンによる本機の管理 - リモート UI \(P. 886\)](#)

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

必要な準備

- 調整したい用紙種類をユーザー設定用紙として登録します。▶ [よく使用する用紙種類を登録する \(P. 1353\)](#)

1 本機に管理者ユーザーでログインする ▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

3 [環境設定] ▶ [用紙設定] ▶ [用紙種類の管理設定] を押す

→ [用紙種類の管理設定] 画面が表示されます。

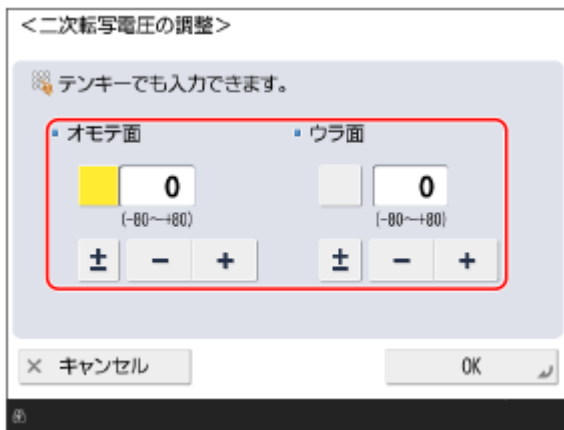
4 登録したユーザー設定用紙を選択し、[詳細/編集] を押す

→ [詳細/編集] 画面が表示されます。

5 [二次転写電圧の調整] の [変更] を押す

→ [二次転写電圧の調整] 画面が表示されます。

6 調整する数値を入力する



- [オモテ面] ／ [ウラ面] のボタンを押し、選択した状態にしてから入力します。
- [±] を押すと、入力されている数値の「+」と「-」が切り替わります。
- 以下のいずれかの場合は、[ウラ面] に数値を入力します。
 - ユーザー設定用紙の [両面 2 面目] を [ON] に設定している場合 ➡ [【詳細/編集】画面 \(P. 1355\)](#)
 - 手差しトレイに用紙をセットし、用紙の種類を設定する画面で [両面 2 面目] を設定している場合 ➡ [手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する \(P. 251\)](#)

7 [OK] を押す

→ 調整した内容が反映されます。

光沢のムラを補正する

EJ83-0XL



プリント画像に光沢ムラが発生する場合に、光沢ムラを抑えるよう補正します。

この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。
Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 **設定/登録** を押す  **[ホーム] 画面 (P. 156)**

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

2 [調整/メンテナンス]  [画質調整]  [光沢ムラ補正] を押す

→ [光沢ムラ補正] 画面が表示されます。

3 [ON] に設定し、[OK] を押す

- [ON] に設定すると、用紙によっては生産性が低下する可能性があります。
- [光沢性の調整] を設定した用紙を使用すると、光沢ムラに差が生じる場合があります。  **よく使用する用紙種類を登録する (P. 1353)**

4 [閉じる] を押す

プリント位置を調整する

プリント位置にずれが生じる場合、本機では以下の方法でずれを補正できます。

- 斜めにプリントされる場合（斜行補正）
- 平行四辺形のように斜めにゆがんでいる場合（直角補正）
- 画像が拡大／縮小されている場合（倍率調整）
- 画像の位置が搬送方向に対して左右にずれている場合（左端レジ位置調整）
- 画像の位置が搬送方向に対して前後にずれている場合（先端レジ位置調整）

プリント位置の調整は給紙部ごとに調整します。

※両面プリントできる用紙も調整できます。▶[両面プリント可能な用紙 \(P. 47\)](#)

給紙部ごとに調整する

特定の給紙部でずれが生じる場合は、給紙部を指定してプリント位置を調整します。

▶[給紙部ごとにプリント位置を調整する \(P. 1374\)](#)

給紙部ごとにプリント位置を調整する

EJ83-0XS

特定の給紙部でずれが生じる場合は、給紙部を指定してプリント位置を調整します。

プリントしたテストページで画像のずれ幅を確認してプリント位置を調整します。

この調整は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して調整することはできません。

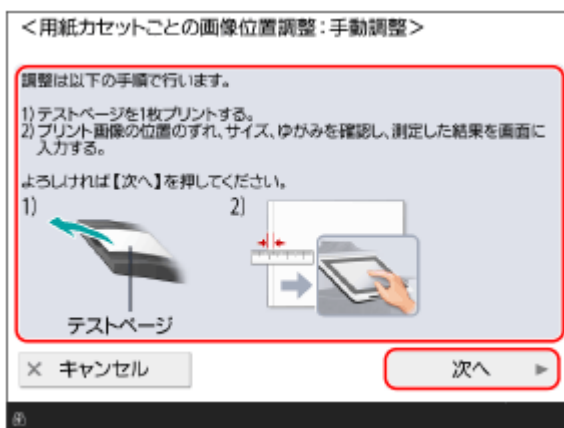
- 1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、[ 設定/登録] を押す  [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

- 2 [調整/メンテナンス]  [画質調整]  [用紙カセットごとの画像位置調整] を押す

→ 調整方法を説明する画面が表示されます。

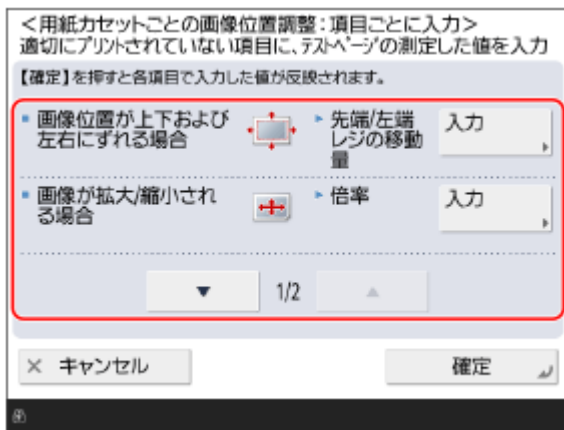
- 3 内容を確認し、[次へ] を押す



- 4 プリント位置を調整したい給紙部を選択し、[プリント開始] を押す

→ テストページがプリントされます。

5 テストページを測定し、項目ごとにプリント位置を調整する



いずれの項目でも、画面の案内に従ってテストページの「オモテ面／ウラ面」で各部を測定し、数値を入力します。「1st side」とプリントされているのがオモテ面、「2nd side」とプリントされているのがウラ面です。

1. 調整したい項目の〔入力〕を押す
2. オモテ面を測定して数値を入力し、〔次へ〕を押す
3. ウラ面を測定して数値を入力し、〔OK〕を押す

6 〔確定〕を押す

7 〔プリント開始〕を押して再度テストページをプリントし、調整結果を確認する

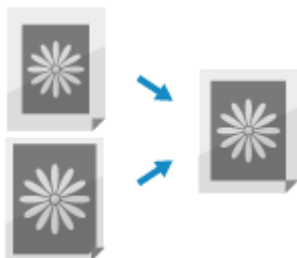
テストページをプリントせずに調整を終了する場合は、〔閉じる〕を押します。

8 〔調整終了〕を押す

さらに調整が必要な場合は、〔再調整〕を押し、手順 **5** ～ **7** を繰り返します。

コピー画像のプリントサイズを調整する

EJ83-0XU



コピーした画像のサイズが原稿とわずかに異なる場合は、タテとヨコの倍率を 0.1 %単位で調整し、原稿の画像サイズに近づけます。

コピー画像のプリントサイズは、操作パネルを使用して調整します。パソコンからリモート UI を使用して調整することはできません。

- 1 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す  [ホーム] 画面 (P. 156)

→ [設定/登録] 画面が表示されます。

- 2 [調整/メンテナンス]  [画質調整]  [ズーム微調整] を押す

→ [ズーム微調整] 画面が表示されます。

- 3 スライダーを左右に動かして、[X] (ヨコ) と [Y] (タテ) の倍率を調整する



- 4 [OK] を押す

→ 調整した内容が反映されます。

困ったときは

困ったときは	1379
プリント結果のトラブル	1381
プリントがずれる／斜めになる	1383
プリントにムラがある／かすれる	1384
プリントが汚れる／黒ずむ	1385
黒いすじ（線）が入る	1386
白いすじ（線）が入る	1387
裏写りする	1388
意図した面にプリントされない	1389
思ったとおりのサイズでプリントされない	1391
部分的に白く抜ける	1392
セットアップ／ネットワーク	1393
無線 LAN に接続できない	1394
無線 LAN への切り替えができない	1396
本機の IP アドレスがわからない	1397
プリント／コピー	1398
プリント／コピーできない	1400
プリントできない - 無線 LAN	1401
プリントできない - 有線 LAN	1403
プリントできない - USB 接続	1405
プリントできない - プリントサーバー経由	1406
接続するプリントサーバーが見つからない	1407
共有プリンターに接続できない	1408
AirPrint できない	1409
手差しトレイからはがきにプリントしたい	1410
手差しトレイから封筒にプリントしたい	1413
スキャン	1416
スキャンデータをメール送信できない	1417
スキャンデータを共有フォルダーに保存できない	1418
共有フォルダーの情報をアドレス帳に登録したい	1421
スキャンデータが裏写りする	1424
思ったとおりにスキャンできない - かんたんスキャン	1425
ファクス／電話	1427
ファクスが送信できない	1428

ファクスが受信できない	1431
電話とファクスが自動的に切り替わらない	1433
ひかり電話／IP 電話環境でファクスが送受信できない	1434
海外へファクスを送信できない	1435
相手の電話／ファクス番号がディスプレイに表示されない	1436
管理／環境設定	1437
他機からインポートした設定が一部反映されていない	1438
長尺原稿が表示されず、使用できない	1439
確認音やファクスの通信音などの音量を変更したい	1440
スリープモードになるまでの時間を変更したい	1441
システム管理者用のパスワードや ID／暗証番号がわからない	1442
通信管理レポートや送信結果レポートをプリントしないようにしたい	1443
赤い縁のエラー画面がポップアップで表示された	1444
メッセージが表示された	1446
ログイン時に 6 桁の数字が表示された	1489
終了コードが表示された (#xxx)	1493
紙／ホチキス針がつまった	1518
フィーダーに原稿がつまった	1520
本体内部に用紙がつまった	1523
本体内部に用紙がつまった（インナーフィニッシャーを装着している場合）	1533
給紙部に用紙がつまった	1538
フィニッシャーに用紙がつまった（オプション）	1543
紙づまりが繰り返し起こる	1547
ホチキス針がつまった（オプション）	1550
トラブルが解決しないときは	1552

困ったときは

EJ83-0Y2

トラブルが発生したときの対処方法や、よくあるお問い合わせについて説明します。

目次や以下の一覧から、確認したい項目を選択します。

上部の  をクリックし、操作パネルの画面に表示されたメッセージや終了コード（「#」で始まる 3 桁の番号）などを検索して、対処方法を確認することもできます。

よくあるお問い合わせ

- ① システム管理者用のパスワードや ID／暗証番号がわからない (P. 1442)
- ② 無線 LAN に接続できない (P. 1394)
- ③ 本機の IP アドレスがわからない (P. 1397)
- ④ 紙／ホチキス針がつまった (P. 1518)
- ⑤ 確認音やファクスの通信音などの音量を変更したい (P. 1440)
- ⑥ 通信管理レポートや送信結果レポートをプリントしないようにしたい (P. 1443)

トラブル解決ガイド

プリント／ファクス／スキャンして送信のトラブルを解決するためのサポート情報を本機の稼働状況の「トラブル解決ガイド」で確認できます。④ **本機の稼働状況を確認する (P. 897)**



操作に関するよくあるお問い合わせ

スキャンしたい

スキャンデータの保存先や送信方法に応じた準備をしてから、スキャンします。

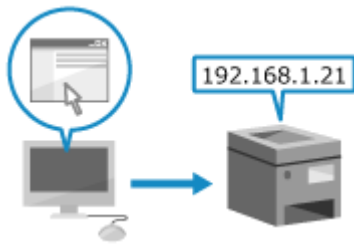
- ④ **スキャンする (P. 396)**



リモート UI を起動したい

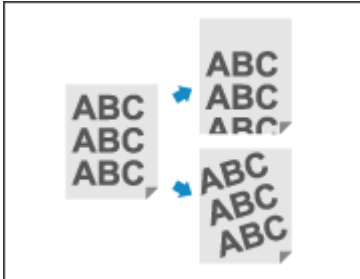
パソコンの Web ブラウザーから本機の IP アドレスにアクセスします。

➡ リモート UI を起動する (P. 887)

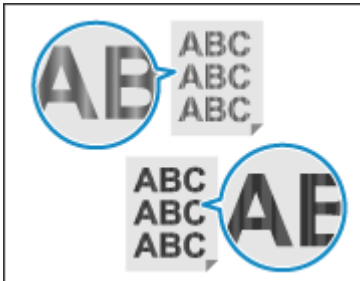


プリント結果のトラブル

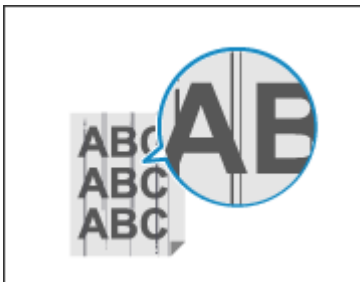
プリント結果に以下のような症状が見られる場合は、症状に応じた対処方法を確認します。



① プリントがずれる／斜めになる (P. 1383)



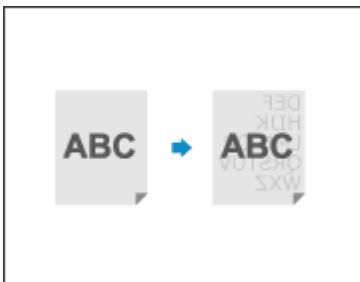
② プリントにムラがある／かすれる (P. 1384)



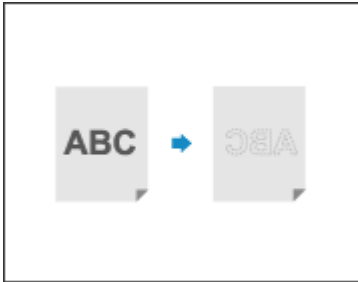
③ 黒いすじ（線）が入る (P. 1386)



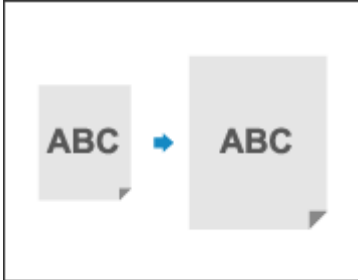
④ 白いすじ（線）が入る (P. 1387)



④裏写りする (P. 1388)



④意図した面にプリントされない (P. 1389)



④思った通りのサイズでプリントされない (P. 1391)



④部分的に白く抜ける (P. 1392)

プリントがずれる／斜めになる

EJ83-11W

用紙ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、この症状が見られることがあります。用紙ガイドを確認し、用紙の幅にぴったり合わせます。 ●[用紙のセット方法 \(P. 211\)](#)

プリントにムラがある／かすれる

EJ83-0Y4

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

- ①Step 1：用紙を確認する (P. 1384)
- ②Step 2：階調補正を行う (P. 1384)
- ③Step 3：コピーの原稿の種類を変更／調整する (P. 1384)

Step 1：用紙を確認する

用紙が湿っていませんか？

湿っていない用紙に交換します。

Step 2：階調補正を行う

階調補正を試します

階調補正を行うと、症状が改善されることがあります。④階調を補正する (P. 1359)

Step 3：コピーの原稿の種類を変更／調整する

コピーの原稿の種類を選択しなおします

〔原稿の種類〕で〔文字〕を選択するか、〔文字/写真/地図〕を選択してから〔レベル調整〕で〔文字を優先〕側への調整を行うと、文字の一部のかすれや途切れが改善されることがあります。⑤原稿の種類を選択する (P. 581)

プリントが汚れる／黒ずむ

EJ83-0Y5

定着加圧ローラーが汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、定着加圧ローラーを清掃します。▶ **本機の内部を清掃する (P. 1318)**

黒いすじ（線）が入る

EJ83-0Y6

フィーダー原稿読み取りエリアが汚れている場合は、フィーダー原稿読み取りエリアを清掃します。▶ [フィーダーを清掃する \(P. 1313\)](#)

白いすじ（線）が入る

EJ83-0Y7

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

LED プリントヘッドを清掃します

LED プリントヘッドを清掃すると、症状が改善されることがあります。▶[LED プリントヘッドを清掃する \(P. 1319\)](#)

原稿読み取りエリアは汚れていますか？

原稿読み取りエリアにゴミや汚れが付いている場合は、原稿読み取りエリアを清掃します。▶[フィーダーを清掃する \(P. 1313\)](#)

本機の内部を清掃します

本機の内部を清掃すると、症状が改善されることがあります。▶[本機の内部を清掃する \(P. 1318\)](#)

裏写りする

EJ83-0Y8

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

背景の濃度を高く設定していますか？

原稿に合わせて濃度を調整すると、症状が改善されることがあります。▶ [濃度を調整する \(P. 582\)](#)

原稿の種類は適切ですか？

原稿の内容にあった原稿の種類を選択すると、原稿のウラ面や次ページなどが写りこみにくなります。▶ [原稿の種類を選択する \(P. 581\)](#)

意図した面にプリントされない

EJ83-0Y9

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

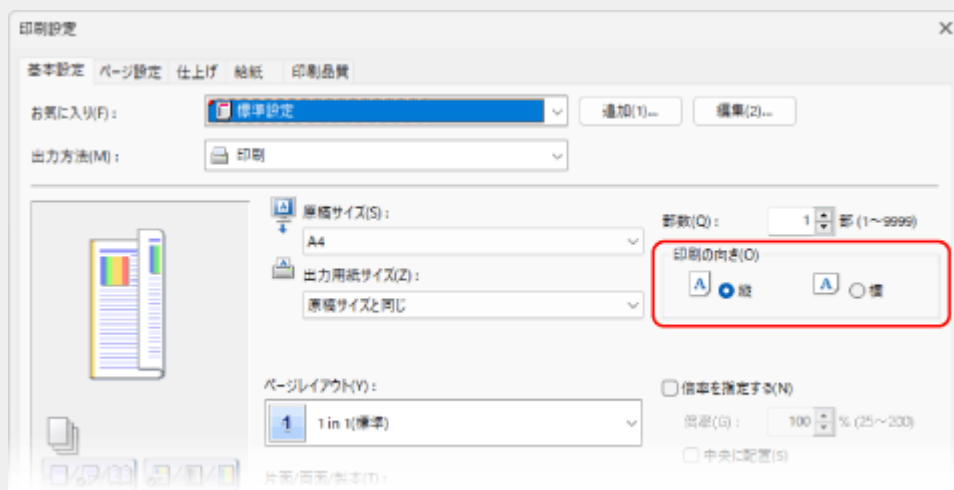
用紙のセット方法は正しいですか？

セットされている用紙の向きやオモテ／ウラを確認します。逆になっている場合は、セットしなおします。🔗[用紙のセット方法 \(P. 211\)](#)

両面プリントの設定は正しいですか？

以下の手順で確認します。

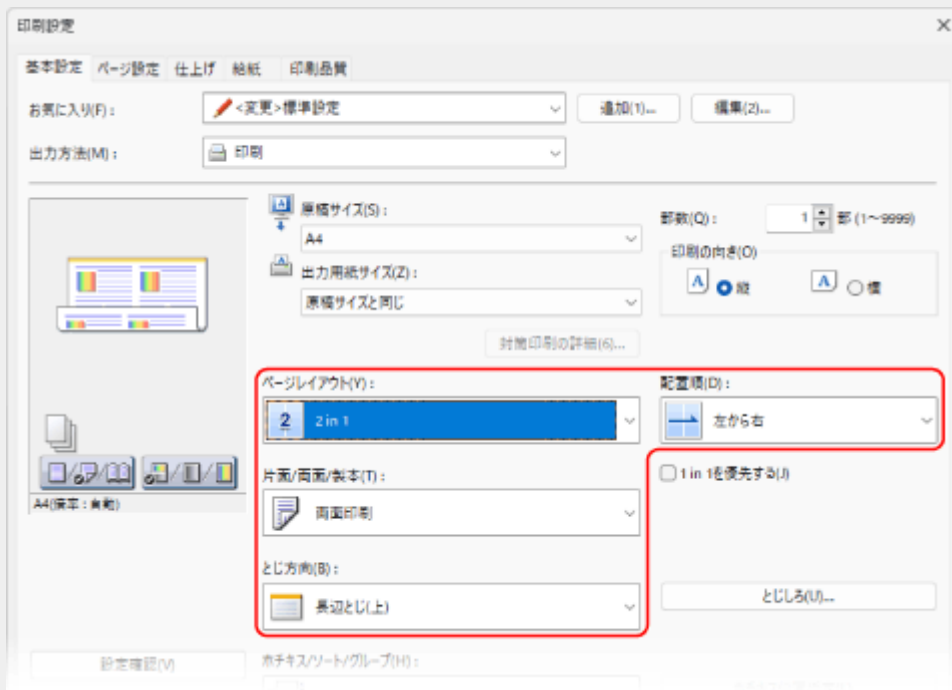
1. アプリケーションのメニューから、プリントするメニューを選択する
2. プリントする画面で、原稿の向きを確認／設定する
3. 本機のプリンタードライバーを選択し、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする
→ プリンタードライバーの [印刷設定] 画面が表示されます。
4. [基本設定] タブの [印刷の向き] で、手順 **2** と同じ向きに [印刷の向き] を確認／設定する



5. プリントイメージを見ながら、[ページレイアウト] ▶ [配置順] ▶ [片面/両面/製本] ▶ [とじ方向] の順に確認／設定する

困ったときは

「[配置順]」は、「[ページレイアウト]」を「1 in 1(標準)」以外に設定したときに表示されます。



思ったとおりのサイズでプリントされない

EJ83-0YA

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

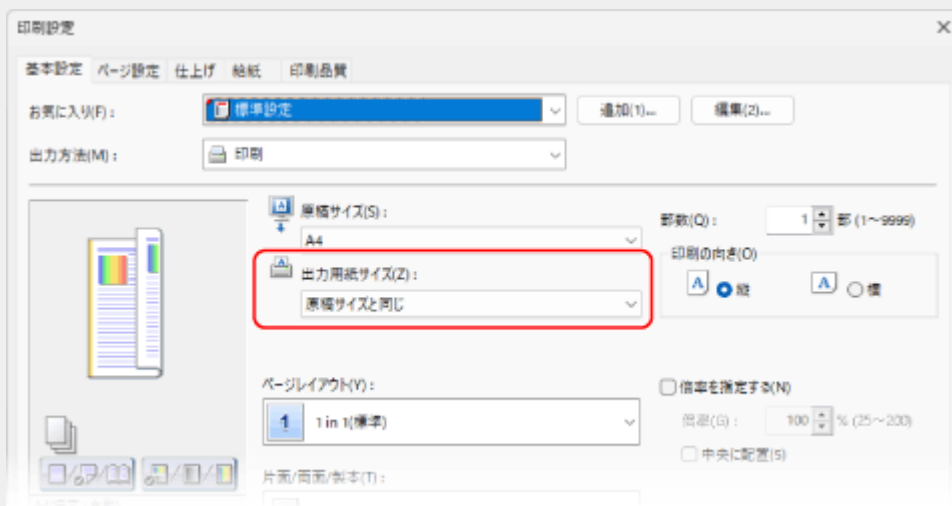
セットされている用紙のサイズは正しいですか？

プリントしたい用紙のサイズと異なる場合は、用紙を交換します。

プリントする用紙サイズの設定は正しいですか？

以下の手順で確認します。

1. アプリケーションのメニューから、プリントするメニューを選択する
2. 本機のプリンタードライバーを選択し、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする
→ プリンタードライバーの [印刷設定] 画面が表示されます。
3. [基本設定] タブの [出力用紙サイズ] で、プリントする用紙サイズを確認／設定する



部分的に白く抜ける

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

- ④ Step 1：用紙を確認する (P. 1392)
- ④ Step 2：トナーを確認する (P. 1392)
- ④ Step 3：本機の内部を清掃する (P. 1392)

Step 1：用紙を確認する

使用している用紙は適切ですか？

本機で利用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

- ④ 使用可能な用紙 (P. 44)
- ④ 用紙のセット方法 (P. 211)

用紙が湿っていませんか？

湿っていない用紙に交換します。

Step 2：トナーを確認する

トナー残量を確認します

トナー容器を交換します。

※本機の使用状況によっては、実際の残量が表示よりも少なかったり、部品が劣化していたりすることがあります。

- ④ 消耗品／消耗部品の残量を確認する (P. 1338)
- ④ トナー容器を交換する (P. 1323)

Step 3：本機の内部を清掃する

本体内部が紙粉などで汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、搬送経路の紙粉などを清掃します。④

本機の内部を清掃する (P. 1318)

セットアップ／ネットワーク

EJ83-0YE

本機のセットアップ／ネットワークに関するトラブルの一覧です。該当するトラブルから対処方法を確認します。

- ④ 無線 LAN に接続できない (P. 1394)
- ④ 無線 LAN への切り替えができない (P. 1396)
- ④ 本機の IP アドレスがわからない (P. 1397)

無線 LAN に接続できない

EJ83-0YF

以下の順に、パソコンと無線 LAN ルーター（アクセスポイント）、および本機の状態を確認して、トラブルを解消します。

- ① Step 1：パソコンと無線 LAN ルーターの状態を確認する (P. 1394)
- ② Step 2：本機と無線 LAN ルーターの状態を確認する (P. 1394)
- ③ Step 3：無線 LAN に接続しなおす (P. 1394)

Step 1：パソコンと無線 LAN ルーターの状態を確認する

パソコンと無線 LAN ルーターの設定は完了していますか？

完了していない場合は、必要な設定を行います。

電源ケーブルや LAN ケーブルなどのケーブル類は正しく接続されていますか？

ケーブル類の配線が間違っていたり、外れていたりする場合は、正しく接続します。

無線 LAN ルーターは電源が入っていますか？

電源が入っていても接続できない場合は、各機器の電源をいったん切ってから、再度電源を入れます。

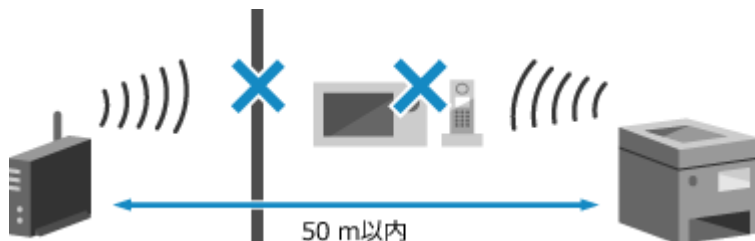
Step 2：本機と無線 LAN ルーターの状態を確認する

本機は電源が入っていますか？

電源が入っている場合は、いったん切ってから、再度電源を入れます。

設置場所は適切ですか？

- 本機と無線 LAN ルーターは、壁などの障害物のない場所で、50 m 以内の距離に設置します。
- 電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器を、近くに置かないようにします。



Step 3：無線 LAN に接続しなおす

使用する無線 LAN ルーターに応じた接続方式で、無線 LAN に接続します。➡無線 LAN に接続する (P. 101)

メモ

- 接続できない場合は、手動入力方式を使用して接続を試します。🔗[詳細を設定して無線 LAN に接続する - 手動入力方式 \(P. 108\)](#)
- 無線 LAN ルーターが次のように設定されているときは、ルーター側の設定を変更してください。
 - MAC アドレスフィルタリングが設定されている
 - IEEE 802.11n のみで通信している状態で、WEP を選択しているか、WPA/WPA2 の暗号化方式を TKIP に設定している

無線 LAN への切り替えができない

EJ83-0YH

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

- 1 本機に管理者ユーザーでログインする [🔗ログイン方法 \(P. 191\)](#)
- 2 操作パネルの [ホーム] 画面などで、 [設定/登録] を押す
→ [設定/登録] 画面が表示されます。
- 3 [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [インターフェイス選択] を押す
- 4 インターフェイスを選択する
→ 以下のどちらかを選択します。
 - [主回線] で [有線 LAN]、[副回線] で [無線 LAN] を選択
 - [主回線] で [無線 LAN]、[副回線] で [使用しない] / [有線 LAN] を選択
- 5 [OK] を押す
- 6 本機を無線 LAN に接続する [🔗無線 LAN に接続する \(P. 101\)](#)

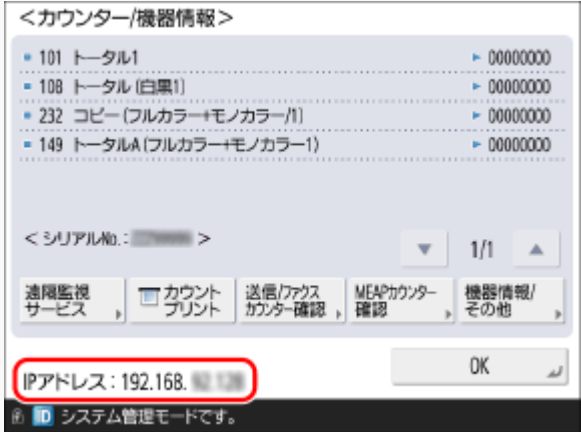
本機の IP アドレスがわからない

EJ83-0YJ

以下の方法で IP アドレスを確認します。

IPv4 アドレスの確認方法

操作パネルの [カウンター/機器情報] キーを押すと表示される、[カウンター/機器情報] 画面で確認できます。



※本機を 2 系統のネットワークに接続している場合は、主回線と副回線の IPv4 アドレスが左右に並んで表示されます

IPv6 アドレスの確認方法

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

本機に管理者ユーザーでログイン ▶ [ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv6 設定]
▶ IPv6 アドレスの設定を選択 ▶ IPv6 アドレスを確認

メモ

IP アドレスが「0.0.0.0」や「取得できませんでした。」と表示される場合

- IP アドレスが適切に設定されていません。IP アドレスを設定しなおします。
 - ▶ IPv4 アドレスを設定する (P. 110)
 - ▶ IPv6 アドレスを設定する (P. 114)

プリント／コピー

EJ83-0YK

プリント／コピーに関するトラブルの一覧です。該当するトラブルから対処方法を確認します。

- ① プリント／コピーできない (P. 1400)
- ② 接続するプリントサーバーが見つからない (P. 1407)
- ③ 共有プリンターに接続できない (P. 1408)
- ④ AirPrint できない (P. 1409)

プリント結果のトラブル

プリント／コピーしたときに期待どおりの結果にならない場合は、以下を参照してください。

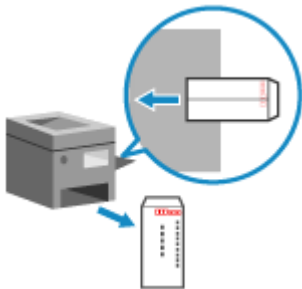
- ① プリント結果のトラブル (P. 1381)

操作に関するよくあるお問い合わせ

手差しトレイから封筒にプリントしたい

手差しトレイに封筒を正しい向きでセットし、用紙サイズや用紙種類を設定してからプリントします。

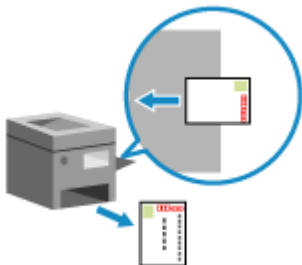
- ➡ 手差しトレイから封筒にプリントしたい (P. 1413)



手差しトレイからはがきにプリントしたい

手差しトレイにはがきを正しい向きでセットし、用紙サイズや用紙種類を設定してからプリントします。

- ➡ 手差しトレイからはがきにプリントしたい (P. 1410)



USB メモリーのデータをプリントしたい

本機の設定を変更してから、USB メモリーを差し込みます。

- ➡ USB メモリーのファイルをプリントする (P. 639)

困ったときは



プリント／コピーできない

EJ83-0YL

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

実行/メモリーランプ（操作パネル）が点滅または点灯していませんか？

点滅または点灯している場合は、処理中または処理待ちのプリントデータがあります。処理が終わるのを待つか、プリント状況を確認する画面でプリントしたいデータの優先順位を変更します。

- ① プリント状況や履歴を確認する (P. 392)
- ② 強制的に留め置かれた文書をプリントする (P. 384)

エラーが起きていませんか？

プリント／コピーの処理状況や履歴を確認し、「#」で始まる3桁の番号（終了コード）が表示されている場合は、終了コードに応じた対処方法を確認します。

- ① プリント状況や履歴を確認する (P. 392)
- ② コピー状況や履歴を確認する (P. 617)
- ③ 終了コードが表示された（#xxx） (P. 1493)

テストページをプリントできますか？

プリントできる場合は、アプリケーションのプリント設定が正しいかどうかを確認します。

- ① テストページをプリントする (P. 1567)

使用する動作モードが自動切り替えの対象になっていますか？

使用するすべての動作モードを切り替え対象に設定します。①【自動切替】 (P. 1189)

強制留め置き設定が有効になっていますか？

有効になっている場合、条件に該当するプリントデータは強制的に留め置かれるため、本機を操作してプリントを実行する必要があります。

- ① 強制留め置きを設定する (P. 819)
- ② 強制的に留め置かれた文書をプリントする (P. 384)

ネットワークの接続状況や設定を確認します

使用環境に応じて、必要な項目を確認します。

- ① プリントできない - 無線 LAN (P. 1401)
- ② プリントできない - 有線 LAN (P. 1403)
- ③ プリントできない - USB 接続 (P. 1405)
- ④ プリントできない - プリントサーバー経由 (P. 1406)

プリントできない - 無線 LAN

EJ83-0YR

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

無線 LAN の接続状態を確認します

本機の接続状態を確認し、状態に応じて対応します。🔗[無線 LAN の MAC アドレスや接続情報を確認する \(P. 139\)](#)

無線 LAN に接続されていない場合

パソコンと無線 LAN ルーター（アクセスポイント）、および本機の状態を確認したあと、無線 LAN に接続しなおします。🔗[無線 LAN に接続できない \(P. 1394\)](#)

接続状態が悪い場合

無線 LAN ルーターで以下の設定を変更し、プリントを試します。

- 無線 LAN ルーターのチャンネルを変更します。複数の無線 LAN ルーターがある場合は、チャンネルの間隔を 5 チャンネル以上離します。
- 無線 LAN ルーターの電波出力を変更できる場合は、出力を上げます。

本機とパソコンは同じ無線 LAN ルーターに接続されていますか？

- 無線 LAN 接続したパソコンを使用している場合は、本機とパソコンが接続している SSID（ネットワーク名）が一致しているかどうかを確認します。

🔗[無線 LAN の MAC アドレスや接続情報を確認する \(P. 139\)](#)

🔗[パソコンのネットワーク接続情報を確認する \(P. 1563\)](#)

- 本機とパソコンが接続している SSID が一致していない場合は、本機の無線 LAN 接続の設定をやりなおして、パソコンが接続している SSID に本機を接続します。🔗[無線 LAN に接続する \(P. 101\)](#)

パソコンのプリンターポートは正しく設定されていますか？（Windows のみ）

正しく設定されていない場合は、設定を変更します。使用するポートがない場合は、新しいポートを追加します。

🔗[プリンターポートを確認する \(P. 1566\)](#)

🔗[パソコンのネットワーク接続情報を確認する \(P. 1563\)](#)

リモート UI にアクセスできますか？

アクセスできない場合は、本機のファイアウォールの設定が間違っているため、パソコンと通信できない可能性があります。

以下の手順で、操作パネルでファイアウォールの設定を無効にしてから、再度リモート UI でファイアウォールを設定しなおします。

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

1. 本機に管理者ユーザーでログインする 🔗[ログイン方法 \(P. 191\)](#)
2. ファイアウォールの設定を無効にする

IPv4 アドレスフィルタを無効にする場合

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [IPv4 アドレスフィルター]
▶ [送信フィルター] または [受信フィルター] ▶ [フィルターを使用] を [OFF] ▶ [OK] ▶ [ 設定/登録]
▶ [はい]

IPv6 アドレスフィルターを無効にする場合

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [IPv6 アドレスフィルター]
▶ [送信フィルター] または [受信フィルター] ▶ [フィルターを使用] を [OFF] ▶ [OK] ▶ [ 設定/登録]
▶ [はい]

MAC アドレスフィルターを無効にする場合

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [MAC アドレスフィルター]
▶ [送信フィルター] または [受信フィルター] ▶ [フィルターを使用] を [OFF] ▶ [OK] ▶ [ 設定/登録]
▶ [はい]

3. ファイアウォールを正しく設定しなおす ➡ **ファイアウォールを設定する (P. 765)**

プリンタードライバーをインストールしなおします

すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおします。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

常駐ソフトウェアを使用していますか？

セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを使用している場合は、無効にしてプリントを試します。

ネットワーク上の他のパソコンからプリントできますか？

他のパソコンからもプリントできない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 ➡ **トラブルが解決しないときは (P. 1552)**

プリントできない - 有線 LAN

EJ83-0YS

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

パソコンのプリンターポートは正しく設定されていますか？（Windows のみ）

正しく設定されていない場合は、設定を変更します。使用するポートがない場合は、新しいポートを追加します。

- ① プリンターポートを確認する (P. 1566)
- ② プリンターポートを設定する（Windows のみ） (P. 340)

リモート UI にアクセスできますか？

アクセスできない場合は、本機のファイアウォールの設定が間違っているため、パソコンと通信できない可能性があります。

以下の手順で、操作パネルでファイアウォールの設定を無効にしてから、再度リモート UI でファイアウォールを設定しなおします。

Administrator 権限または NetworkAdmin 権限が必要です。

1. 本機に管理者ユーザーでログインする ④ ログイン方法 (P. 191)
2. ファイアウォールの設定を無効にする

IPv4 アドレスフィルターを無効にする場合

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [IPv4 アドレスフィルター]
▶ [送信フィルター] または [受信フィルター] ▶ [フィルターを使用] を [OFF] ▶ [OK] ▶ [ 設定/登録]
▶ [はい]

IPv6 アドレスフィルターを無効にする場合

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [IPv6 アドレスフィルター]
▶ [送信フィルター] または [受信フィルター] ▶ [フィルターを使用] を [OFF] ▶ [OK] ▶ [ 設定/登録]
▶ [はい]

MAC アドレスフィルターを無効にする場合

[ 設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [MAC アドレスフィルター]
▶ [送信フィルター] または [受信フィルター] ▶ [フィルターを使用] を [OFF] ▶ [OK] ▶ [ 設定/登録]
▶ [はい]

3. ファイアウォールを正しく設定しなおす ④ ファイアウォールを設定する (P. 765)

プリンタードライバーをインストールしなおします

すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおします。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

常駐ソフトウェアを使用していますか？

セキュリティーソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを使用している場合は、無効にしてプリントを試します。

ネットワーク上の他のパソコンからプリントできますか？

他のパソコンからもプリントできない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 ➡ **トラブルが解決しないときは (P. 1552)**

プリントできない - USB 接続

EJ83-0YU

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

USB ケーブルを確認します

- 長い USB ケーブルを使用している場合は、短い USB ケーブルに交換します。
- 短い USB ケーブルを使用していてもプリントできない場合は、ケーブルが破損している可能性があります。新しい USB ケーブルに交換して、プリントを試します。

USB ハブを使用していますか？

該当する場合は、本機とパソコンを USB ケーブルで直接接続します。

他の USB ポートを試します

使用するパソコンの他の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。

パソコンのプリンターポートは正しく設定されていますか？（Windows のみ）

正しく設定されていない場合や、使用するポートがない場合は、プリンタードライバーをインストールしなおします。ドライバーをインストールしなおすと、自動的に正しいポートが設定されます。➡ **プリンターポートを確認する (P. 1566)** ドライバーをインストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

本機とパソコンの双方向通信が有効になっていますか？（Windows のみ）

有効になっていない場合は、有効に設定したあと、パソコンと本機を再起動します。➡ **双方向通信を確認する (P. 1567)**

本機をパソコンと USB 接続できない設定にしていますか？

本機の右側面奥にあるパソコン接続用の USB ポートの使用を制限している場合は、制限を解除します。➡ **パソコンと USB 接続できないようにする (P. 841)**

常駐ソフトウェアを使用していますか？

セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを使用している場合は、無効にしてプリントを試します。

他のパソコンから USB 接続でプリントできますか？

他のパソコンからもプリントできない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。➡ **トラブルが解決しないときは (P. 1552)**

プリントできない - プリントサーバー経由

EJ83-0YW

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

プリントサーバーからプリントできますか？

プリントできる場合は、使用するパソコンとプリントサーバーの接続を確認します。🔗**接続するプリントサーバーが見つからない (P. 1407)**

プリンタードライバーをインストールしなおします

すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおします。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

Windows の場合のインストール方法

プリントサーバーを介してインストールします。

プリントサーバー内の共有プリンターをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールします。🔗**プリントサーバー内の共有プリンターを表示する (P. 1561)**

常駐ソフトウェアを使用していますか？

セキュリティソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを使用している場合は、無効にしてプリントを試します。

他のパソコンからプリントサーバー経由でプリントできますか？

他のパソコンからもプリントできない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。🔗**トラブルが解決しないときは (P. 1552)**

接続するプリントサーバーが見つからない

EJ83-0YX

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

プリントサーバーとパソコンが正しく接続されていますか？

- プrintサーバーとパソコンのネットワーク設定を確認し、正しく接続します。
- LAN ケーブルで接続している場合は、正しく配線します。

プリントサーバーは起動していますか？

起動していない場合は、プリントサーバーを起動します。

プリントサーバーに接続する権限はありますか？

プリントサーバーの管理者に確認し、必要に応じて権限の付与を依頼します。

ネットワーク探索は有効になっていますか？（Windows のみ）

ネットワーク探索が有効になっていない場合は、有効にします。 ● [ネットワーク探索を有効にする \(P. 1560\)](#)

共有プリンターに接続できない

EJ83-0YY

ネットワーク上のパソコンで、共有プリンターが表示されているかどうかを確認します。 [▶ プリントサーバー内の共有プリンターを表示する \(P. 1561\)](#)

表示されない場合は、ネットワークやプリントサーバーの管理者にお問い合わせください。

AirPrint できない

EJ83-100

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

本機の電源が入っていますか？

電源が入っている場合は、本機を再起動してから AirPrint を試します。➡[再起動する \(P. 148\)](#)

操作パネルの画面にエラーメッセージが表示されていますか？

表示されている場合は、エラーメッセージに従って対処します。➡[メッセージが表示された \(P. 1446\)](#)

Mac の場合は、本機と正しく接続していますか？

本機と同一の LAN にネットワーク接続します。➡[ネットワークの設定 \(P. 91\)](#)

USB 接続の場合は、本機の右側面奥にあるパソコン接続用の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。➡[背面 \(P. 35\)](#)

パソコンからユーザー情報や部門 ID を入力せずにプリントできますか？（本機がユーザー認証／部門別 ID 管理中の場合）

入力が必要な場合は、ユーザー情報や部門 ID が不明なプリントができないように制限されているため、AirPrint を使用できません。使用できるようにするには、制限を解除します。➡[部門別 ID 管理を有効にする \(P. 737\)](#)

AirPrint で使用できる機能を制限していますか？

AirPrint で使用するプロトコル（IPP/Network Link Scan）を無効にして機能を制限している場合、AirPrint を使用できるようにするには、制限を解除します。➡[AirPrint で使用する機能やセキュリティを設定する \(P. 657\)](#)

Apple 製機器で Bonjour が有効になっていますか？

有効になっていない場合は、有効に設定します。詳しくは、Apple 製機器のマニュアルを参照してください。

手差しトレイからはがきにプリントしたい

EJ83-101

以下の順に操作して、はがきの片面にプリントします。はがきの両面にプリントしたい場合は、片面をプリントしてから手差しトレイにセットしなおし、反対面をプリントします。

🔹Step 1：手差しトレイにはがきをセットする (P. 1410)

🔹Step 2：用紙サイズと種類を設定する (P. 1410)

🔹Step 3：パソコンからプリントする (P. 1410)

Step 1：手差しトレイにはがきをセットする

はがきの向きと面に注意して、手差しトレイにはがきをセットします。🔹[はがきをセットする向き \(P. 236\)](#)

Step 2：用紙サイズと種類を設定する

セットしたはがきに合わせて、用紙サイズと用紙種類を設定します。🔹[手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する \(P. 251\)](#)

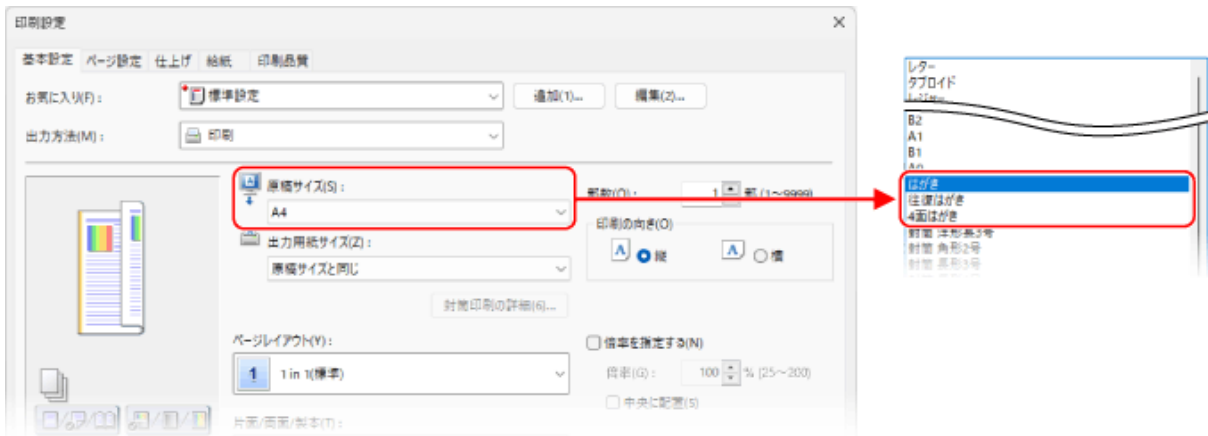
Step 3：パソコンからプリントする

パソコンからプリンタードライバーで、給紙部や文書の用紙サイズ、プリントする用紙サイズを正しく設定してプリントします。

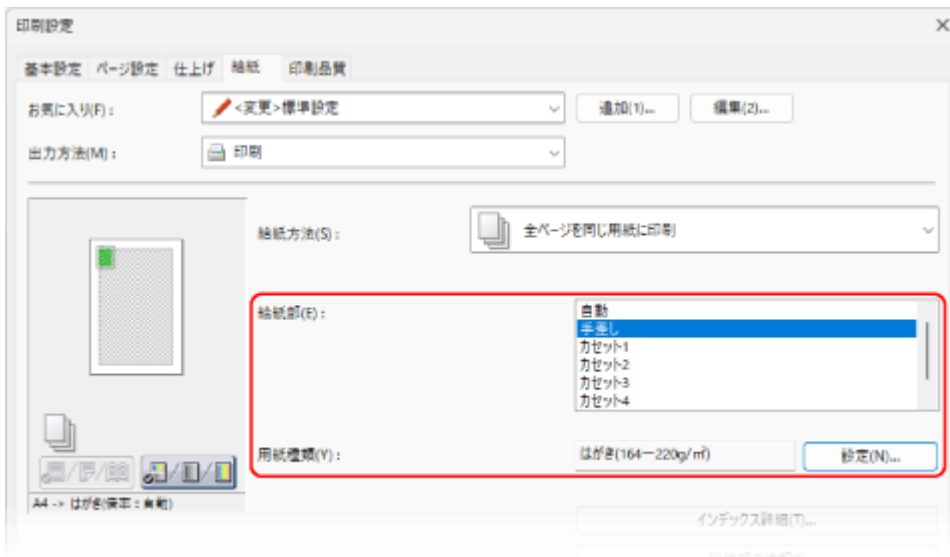
Windows の場合

- 1 パソコンで、プリントする文書を開く
- 2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、プリントするメニューを選択する
- 3 本機のプリンタードライバーを選択し、[その他の設定] または [プロパティ] をクリックする
→ プリンタードライバーの [印刷設定] 画面が表示されます。

4 [基本設定] タブの [原稿サイズ] で、はがきのサイズを選択する



5 [給紙] タブの [給紙部] と [用紙種類] で、手差しトレイとはがきを選択する



- [給紙部] で [手差し] を選択します。
- [用紙種類] で [はがき] を選択します。

6 [OK] をクリックし、[印刷] または [OK] をクリックする

→ プリントが開始されます。

macOS の場合

1 パソコンで、プリントする文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、[プリント] を選択する

→ プリントダイアログが表示されます。

3 [プリンタ] で、本機のプリンタドライバを選択する

4 [用紙サイズ] で、セットしたはがきのサイズを選択する



5 [プリンタオプション] ▶ [給紙] をクリックする



6 [給紙部] で [手差し] を選択する

7 [用紙種類] の [設定] をクリックして、はがきを選択し、[OK] をクリックする

8 [OK] をクリックし、[プリント] をクリックする

→ プリントが開始されます。

手差しトレイから封筒にプリントしたい

EJ83-102

以下の順に操作して、封筒にプリントします。封筒はオモテ面（貼り合わせがない面）のみプリントできます。

- ④Step 1：手差しトレイに封筒をセットする (P. 1413)
- ④Step 2：用紙サイズと種類を設定する (P. 1413)
- ④Step 3：パソコンからプリントする (P. 1413)

Step 1：手差しトレイに封筒をセットする

封筒の向きと面に注意して、手差しトレイに封筒をセットします。④封筒をセットする向き - 手差しトレイ (P. 233)

Step 2：用紙サイズと種類を設定する

セットした封筒に合わせて、用紙サイズと用紙種類を設定します。④手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 251)

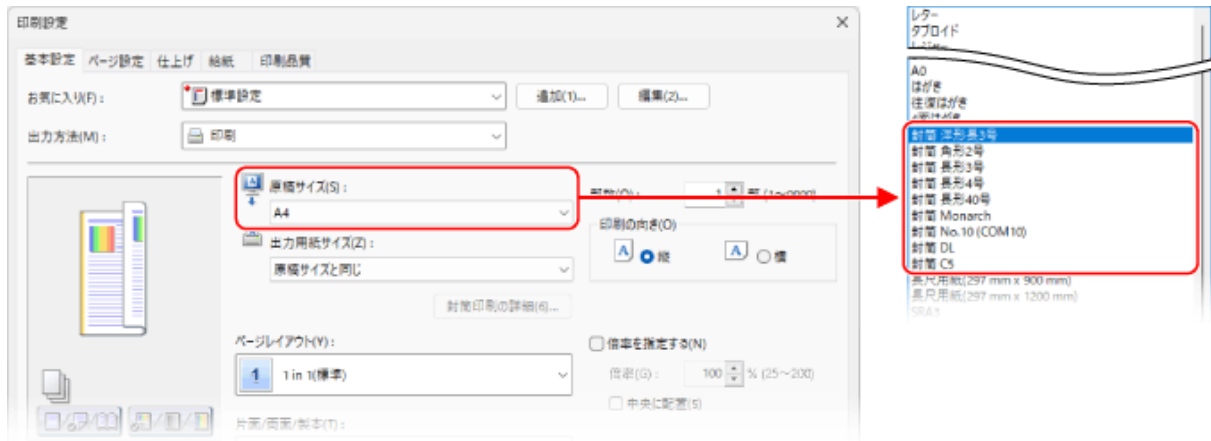
Step 3：パソコンからプリントする

パソコンからプリンタードライバーで、給紙部や文書の用紙サイズ、プリントする用紙サイズを正しく設定してプリントします。

Windows の場合

- 1 パソコンで、プリントする文書を開く
- 2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、プリントするメニューを選択する
- 3 本機のプリンタードライバーを選択し、[その他の設定] または [プロパティ] をクリックする
→ プリンタードライバーの [印刷設定] 画面が表示されます。

4 [基本設定] タブの [原稿サイズ] で、封筒のサイズを選択する



→ [情報] 画面が表示されます。

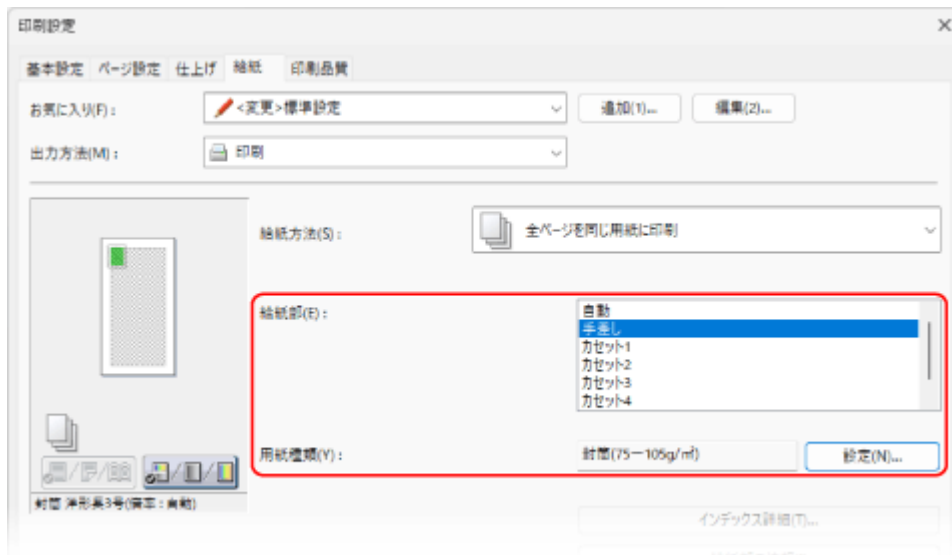
5 [はい] をクリックする

→ [封筒に印刷] 画面が表示されます

6 用紙設定と印刷データの向きを確認し、[次へ] をクリックする

7 [完了] をクリックする

8 [給紙] タブの [給紙部] と [用紙種類] で、手差しトレイと封筒を選択する



- [給紙部] で [手差し] を選択します。
- [用紙種類] で [封筒] を選択します。

9 [OK] をクリックし、[印刷] または [OK] をクリックする

→ プリントが開始されます。

macOS の場合

1 パソコンで、プリントする文書を開く

2 アプリケーションのメニューから、プリントするメニューを選択する

→ プリントダイアログが表示されます。

3 [プリンタ] で、本機のプリンタードライバーを選択する

4 [用紙サイズ] で、セットした封筒のサイズを選択する



5 [プリンタオプション] ▶ [給紙] をクリックする



6 [給紙部] で [手差し] を選択する

7 [用紙種類] の [設定] をクリックして、封筒を選択し、[OK] をクリックする

8 [OK] をクリックし、[プリント] をクリックする

→ プリントが開始されます。

スキャン

EJ83-103

スキャンに関するトラブルの一覧です。該当するトラブルから対処方法を確認します。

- ① スキャンデータをメール送信できない (P. 1417)
- ② スキャンデータを共有フォルダーに保存できない (P. 1418)
- ③ 共有フォルダーの情報をアドレス帳に登録したい (P. 1421)
- ④ スキャンデータが裏写りする (P. 1424)
- ⑤ 思ったとおりにスキャンできない - かんたんスキャン (P. 1425)

操作に関するよくあるお問い合わせ

スキャンしたい

スキャンデータの保存先や送信方法に応じた準備をしてから、スキャンします。

- ② スキャンする (P. 396)



USB メモリーにデータを保存したい

USB メモリーにスキャンデータを保存できるように設定してから、本機に USB メモリーを差し込みます。

- ② USB メモリーを利用する (P. 634)



スキャンデータをメール送信できない

EJ83-104

以下の順に、保存先のパソコンや本機の状態を確認します。

- ① Step 1：問題の発生状況を確認する (P. 1417)
- ② Step 2：宛先の情報を確認する (P. 1417)

Step 1：問題の発生状況を確認する

メールサーバーの情報を確認します

すべてのメールが送信できない場合は、本機のメールサーバーの情報を確認します。本機がメールサーバーに接続できていない場合は、メールサーバーの情報を設定しなおします。

- ② メールサーバーの情報を設定する (P. 400)

Step 2：宛先の情報を確認する

宛先の情報は正しいですか？

特定のメールアドレスに送信できない場合は、宛先の情報を確認します。アドレス帳やワンタッチボタンの登録内容を必要に応じて変更します。

- ② アドレス帳の宛先を編集／削除する - 操作パネル (P. 288)
- ② アドレス帳の宛先を編集／削除する - リモート UI (P. 301)

スキャンデータを共有フォルダーに保存できない

EJ83-105

以下の順に、保存方法や保存先の共有フォルダーや本機の状態を確認します。

- ① Step 1：保存方法を確認する (P. 1418)
- ② Step 2：問題の発生状況を確認する (P. 1419)
- ③ Step 3：共有フォルダーがあるパソコンの状態を確認する (P. 1419)
- ④ Step 4：本機の状態を確認する (P. 1419)
- ⑤ Step 5：共有フォルダーを確認する (P. 1419)

Step 1：保存方法を確認する

スキャンデータを共有フォルダーに保存するには、操作パネルの [ホーム] 画面で [スキャンして送信] を押して、宛先に共有フォルダーを指定し、スキャンします。

※ [ホーム] 画面の [スキャンして保存] からは共有フォルダーに保存できません。以下の順に確認します。

事前にスキャンデータの保存先となる共有フォルダーを用意します

共有フォルダーは新しく作成することもできます。④ 共有フォルダーを作成する (P. 1557)

用意した共有フォルダーを宛先に指定します

[スキャンして送信] の画面で [新規に入力] ▶ [ファイル] を押して、以下の情報を指定します。

※保存先の共有フォルダーがアドレス帳に登録されている場合は、[アドレス帳] を押して、共有フォルダーを選択します。

[プロトコル]

[Windows (SMB)] を選択します。

[ホスト名]

先頭に「\\」を付けて、共有フォルダーがあるパソコンのコンピューター名または IP アドレスを入力します。

入力例：

\\192.168.100.50

\\[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]

※コンピューター名や IP アドレスは、パソコンで確認できます。

④ パソコンのシステム情報を確認する (P. 1562)

④ パソコンのネットワーク接続情報を確認する (P. 1563)

[フォルダーのパス]

ファイルを保存するフォルダーへのパスを入力します。区切り文字は「\」を使用します。

[ユーザー名] / [パスワード]

共有フォルダーにアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。

※共有フォルダーがあるパソコンのログインユーザー名を使用する場合は、そのパソコンでユーザー名を確認できます。

④ パソコンのログインユーザー名を確認する (P. 1562)

メモ

- 保存先の共有フォルダーの情報は、あらかじめ本機のアドレス帳に登録しておく、送信するたびに情報を入力する手間が省けます。④ 共有フォルダーの情報をアドレス帳に登録したい (P. 1421)

Step 2：問題の発生状況を確認する

どの共有フォルダーでも問題が起こりますか？

該当する場合は、本機のネットワークの接続状況や設定を確認します。本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をします。

- ④ ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)
- ④ ネットワークの設定 (P. 91)

Step 3：共有フォルダーがあるパソコンの状態を確認する

共有フォルダーがあるパソコンのパスワードを変更しましたか？

該当する場合は、アドレス帳に登録されている共有フォルダーの情報で、共有フォルダーへのアクセスに使用するパスワードを変更します。

- ④ アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル (P. 276)
- ④ アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI (P. 291)

Windows アップデートを行いましたか？

該当する場合は、セキュリティが強化されて、本機とパソコンが通信できなくなった可能性があります。パソコンにパスワードを設定していない場合は、パスワードを設定し、共有フォルダーにアクセスするための情報を、本機のアドレス帳に登録します。④ スキャンして送信／保存するための準備 (P. 399)

セキュリティソフトウェアを導入／バージョンアップしましたか？

該当する場合は、セキュリティが強化されて、本機とパソコンが通信できなくなった可能性があります。回避方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

Step 4：本機の状態を確認する

本機と他機の IP アドレスを変更しましたか？

該当する場合は、本機と他機に同じ IP アドレスが設定されているかどうかを確認します。同じ IP アドレスが設定されている場合は、異なる IP アドレスに変更します。

- ④ IPv4 アドレスを設定する (P. 110)
- ④ IPv6 アドレスを設定する (P. 114)

Step 5：共有フォルダーを確認する

共有フォルダーへのアクセス権限はありますか？

アクセス権限がない場合は、パソコンで、スキャンデータを保存できるように権限を変更します。

Windows の場合

1. 保存先の共有フォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

→ 共有フォルダーのプロパティ画面が表示されます。

2. [セキュリティ] タブで、[Everyone] に [変更] のアクセス権限があることを確認する
3. アクセス権限がない場合は、[Everyone] のアクセス権限で [変更] を [許可] に設定する

macOS の場合

1. [🍏] ▶ [システム設定] ▶ [一般] ▶ [共有] をクリックする

→ [共有] 画面が表示されます。

2. [ファイル共有] をオンにし、 ⓘ をクリックする



3. [共有フォルダ] で保存先の共有フォルダーを選択する
4. [ユーザ] で、[すべての人] ▶ [読み/書き] を選択する

共有フォルダーの属性を確認します

パソコンで、共有フォルダーの属性が読み取り専用になっていないことを確認します。

Windows の場合

1. 保存先の共有フォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
→ 共有フォルダーのプロパティ画面が表示されます。
2. [全般] タブで、[属性] の [読み取り専用] にチェックマークが付いていないことを確認する
3. チェックマークが付いている場合は、[読み取り専用] のチェックマークを外す

共有フォルダーの情報をアドレス帳に登録したい

EJ83-106

特定の共有フォルダーに繰り返しスキャンデータを保存する場合は、あらかじめ本機のアドレス帳に宛先（共有フォルダーの情報）を登録しておく、送信するたびに情報を入力する手間が省けます。

ここでは、操作パネルを使用して、ユーザー共通の宛先表（宛先表 1～宛先表 10）に登録する方法を説明します。

パソコンからリモート UI を使用して登録することもできます。▶ [アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI \(P. 291\)](#)

※ユーザー固有の宛先表（個人宛先表／ユーザーグループ宛先表）に登録する場合は、本機にログインしてから登録します。

▶ [宛先表の種類 \(P. 273\)](#)

▶ [ログイン方法 \(P. 191\)](#)

1 共有フォルダーを準備する

スキャンデータの送信先となる共有フォルダーを用意します。

共有フォルダーは新しく作成することもできます。▶ [共有フォルダーを作成する \(P. 1557\)](#)

2 準備した共有フォルダーの情報を確認する

手順 1 で準備した共有フォルダーの以下の情報を確認します。

- 共有フォルダーがあるパソコンのコンピューター名または IP アドレス

▶ [パソコンのシステム情報を確認する \(P. 1562\)](#)

▶ [パソコンのネットワーク接続情報を確認する \(P. 1563\)](#)

- 共有フォルダーへのパス
- 共有フォルダーにアクセスするためのユーザー名とパスワード

※共有フォルダーがあるパソコンのログインユーザー名を使用する場合は、そのパソコンでユーザー名を確認できます。▶ [パソコンのログインユーザー名を確認する \(P. 1562\)](#)

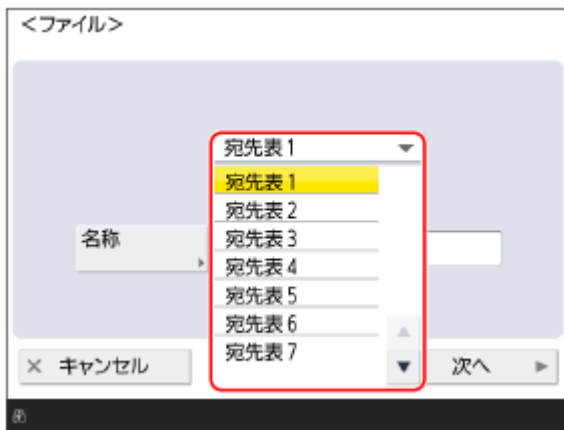
3 操作パネルの [ホーム] 画面で、[宛先/転送の設定] を押す ▶ [\[ホーム\] 画面 \(P. 156\)](#)

4 [宛先の登録] を押す

- 暗証番号の入力画面が表示された場合は、アドレス帳に設定されている暗証番号を入力し、[OK] を押します。

5 [新規宛先の登録] ▶ [\[ファイル\]](#) を押す

6 宛先を登録する宛先表を選択する ➡ 宛先表の種類 (P. 273)



7 宛先の名称とフリガナを入力し、[次へ] を押す

名称とフリガナは入力しなくても登録できますが、入力しておくことで、宛先指定時に頭文字や名称で検索できます。

1. [名称] を押す
2. 名称を入力し、[次へ] を押す
3. 必要に応じてフリガナを入力し、[OK] を押す
手順2で入力した名称に応じたフリガナが自動的に入力されているので、必要に応じて入力しなおします。

8 [プロトコル] で [Windows (SMB)] を選択する

9 共有フォルダーの情報を設定する

手順2で確認した共有フォルダーの情報を設定します。

[ホスト名]

先頭に\\を付けて、共有フォルダーがあるパソコンのコンピューター名または IP アドレスを入力します。

入力例：

\\192.168.100.50

\\[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]

[フォルダーのパス]

ファイルを保存するフォルダーへのパスを入力します。区切り文字は「\」を使用します。

[ユーザー名] / [パスワード]

共有フォルダーにアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。

※ [ユーザー名] に Microsoft アカウントを設定する場合は、ドメイン名（アカウントの@以降）も含めて入力します。

10 [OK] を押す

➔ アドレス帳に宛先が登録されます。

宛先をアクセス番号で管理している場合は、[次へ] を押し、登録する宛先を表示するためのアクセス番号を入力して、[OK] を押します。

メモ

共有フォルダーの情報を確認しながら設定する

- 手順 9 で、[ホスト検索] を選択して共有フォルダーの情報を設定することもできます。以下の手順で設定します。

[ホスト検索] ▶ 手順 2 で確認したコンピューター名または IP アドレスを入力 ▶ [OK] ▶ [検索開始] ▶ 表示されたパソコンを選択 ▶ 手順 2 で確認したユーザー名とパスワードを入力 ▶ [OK] ▶ 準備した共有フォルダーを選択 ▶ [OK]

※検索されたパソコンの情報を選択したときに、[サーバーから応答がありませんでした。] と表示された場合は、Windows またはセキュリティソフトウェアのセキュリティ機能によって、パソコンと通信できない可能性があります。

宛先として登録した共有フォルダーが変更／削除された場合

- 宛先の登録内容を変更するか、宛先を削除して、新しい宛先として登録しなおします。▶ [アドレス帳の宛先を編集／削除する - 操作パネル \(P. 288\)](#)

スキャンデータが裏写りする

EJ83-107

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

背景の濃度を高く設定していますか？

原稿に合わせて濃度を調整すると、症状が改善されることがあります。▶ [濃度を調整する \(P. 452\)](#)

原稿の種類は適切ですか？

原稿の内容にあった原稿の種類を選択すると、原稿のウラ面や次ページなどが写りこみにくなります。▶ [原稿の種類を選択する \(P. 452\)](#)

思ったとおりにスキャンできない - かんたんスキャン

EJ83-108

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

必要なページがスキャンされない

白紙ページをスキャンしたい場合

片面原稿のウラ面や、両面原稿の白紙ページもスキャンしたい場合は、[かんたんスキャン] の両面スキャンの設定で [両面スキャン左右開き] または [両面スキャン上下開き] を選びます。▶[かんたんスキャンで送信する \(P. 412\)](#)

両面原稿なのに裏面がスキャンされない場合

[かんたんスキャン] の両面スキャンの設定で [両面スキャン左右開き] または [両面スキャン上下開き] を選びます。▶[かんたんスキャンで送信する \(P. 412\)](#)

不要なページがスキャンされる

白紙ページがスキャンされる場合

フィーダー原稿読み取りエリアを清掃します。▶[フィーダーを清掃する \(P. 1313\)](#)

それでも改善されない場合は、以下の操作を行います。

- 片面原稿の場合は、[かんたんスキャン] の両面スキャンの設定で [片面] を選択します。▶[かんたんスキャンで送信する \(P. 412\)](#)
- 両面原稿の場合は、白紙スキップを設定し、[スキャンして送信] からスキャンします。
 - ▶[白紙ページをスキャンしないようにする - 白紙スキップ \(P. 459\)](#)
 - ▶[詳細な設定をして送信する \(P. 417\)](#)

両面原稿で片面だけスキャンしたい場合

[かんたんスキャン] の両面スキャンの設定で [片面] を選択します。▶[かんたんスキャンで送信する \(P. 412\)](#)

期待どおりのサイズにならない

スキャンデータの読取サイズを確認し、状態に応じて対応します。

- 定形外サイズ of 原稿をセットした場合に、[かんたんスキャン] の読取サイズの設定で [フリーサイズ] を選択すると、原稿と同じサイズでスキャンします。▶[かんたんスキャンで送信する \(P. 412\)](#)
- 特定の原稿サイズを指定する場合は、原稿サイズを設定し、[スキャンして送信] からスキャンします。
 - ▶[原稿サイズを設定する \(P. 522\)](#)
 - ▶[詳細な設定をして送信する \(P. 417\)](#)

カラーにならない／白黒にならない

スキャンデータの色を確認し、状態に応じて対応します。▶[かんたんスキャンで送信する \(P. 412\)](#)

- [かんたんスキャン] のカラー選択の設定で [カラー] を選択すると、原稿の色にかかわらず、カラーでスキャンします。
- [かんたんスキャン] のカラー選択の設定で [白黒] を選択すると、原稿の色にかかわらず、白と黒の2色でスキャンします。

より詳細なスキャン設定して送信したい

かんたんスキャンは、すばやく簡単にスキャンするための機能です。ファイル形式を指定したり、アドレス帳に登録されていない宛先に送信したい場合など、より詳細な設定をしたい場合は「スキャンして送信」からスキャンします。「スキャンして送信」の操作方法や設定については、以下を参照してください。

- [詳細な設定をして送信する \(P. 417\)](#)
- [スキャンの設定 \(P. 441\)](#)

ファクス／電話

EJ83-109

ファクス／電話に関するよくあるお問い合わせの一覧です。該当する項目を確認します。

- ④ファクスが送信できない (P. 1428)
- ④ファクスが受信できない (P. 1431)
- ④電話とファクスが自動的に切り替わらない (P. 1433)
- ④ひかり電話／IP 電話環境でファクスが送受信できない (P. 1434)
- ④海外へファクスを送信できない (P. 1435)
- ④相手の電話／ファクス番号がディスプレイに表示されない (P. 1436)

操作に関するよくあるお問い合わせ

ファクスを送受信したい

本機でファクスを送受信するための準備が必要です。

- ④ファクスする (P. 483)

受信したファクスを転送／保存したい

ファクスを受信したときに、その内容がパソコンや他のファクスなどに自動的に転送／保存されるように設定します。

- ④受信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 497)

パソコンからファクスを送信したい

パソコンからファクスドライバーを使用して、文書をファクスとして送信します。

- ④パソコンからファクスを送信する - PC ファクス (P. 515)

ファクスが送信できない

EJ83-10A

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

- ① Step 1：原稿を確認する (P. 1428)
- ② Step 2：本機の状態を確認する (P. 1428)
- ③ Step 3：送信状況を確認する (P. 1429)

Step 1：原稿を確認する

原稿は正しくセットされていますか？

スキャンする面の向きに注意して、原稿を正しくセットしなおします。

原稿台ガラスにセットする場合

スキャンする面を下にしてセットします。➡ [原稿台ガラスに原稿をセットする \(P. 196\)](#)



フィーダーにセットする場合

スキャンする面を上にしてセットします。➡ [フィーダーに原稿をセットする \(P. 198\)](#)



Step 2：本機の状態を確認する

操作パネルの実行/メモリーランプが点灯または点滅していますか？

実行/メモリーランプは通信中／プリント中など、何らかの動作を行っているときに点滅し、処理待ちのデータがあるときは点灯します。実行/メモリーランプが消灯したあと送信します。➡ [操作パネル \(P. 37\)](#)

電話コードは正しく接続されていますか？

付属の電話コードが本機の電話回線端子（LINE）と壁側の電話回線コネクタに正しく接続されているかどうかを確認し、必要に応じて接続しなおします。

本機に接続された電話機を使用して通話中ですか？

該当する場合は、通話が終了したあと送信します。

エラーが起きていませんか？

ファクス送信の処理状況や履歴を確認し、「#」で始まる 3 桁の番号（終了コード）が表示されている場合は、終了コードに応じた対処方法を確認します。

🔍 **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 551)**

🔍 **終了コードが表示された（#xxx） (P. 1493)**

操作パネルの画面に「メモリーがいっぱいのため送信できません。しばらくたってからもう一度実行してください。」と表示されていますか？

該当する場合、メモリー内に空き容量が十分でないため、原稿を送信できません。
以下を試します。

- プリント待ちや送信待ちのデータがある場合は、処理が終了するまで待ちます。
- ページ数の多い原稿を送信する場合は、原稿を分割して送信します。
- 原稿をスキャンするときの解像度を、設定していた解像度よりも低い解像度に変更します。 🔍 **解像度を設定する (P. 525)**
- メモリー内の不要なファイルを削除して、空き容量を増やします。
🔍 **メモリー受信したファクスを確認／プリント／転送する (P. 545)**

Step 3：送信状況を確認する

正しい宛先を指定していますか？

電話番号を指定していたり、ファクス番号が間違っていたりする可能性があります。指定した宛先が正しいことを確認してから送信します。

ひかり電話（光回線）／IP 電話（IP 回線）に接続してファクスを送信していますか？

回線品質によって通信エラーが起きることがあります。送信スピードを遅くすると、通信エラーを低減できる場合があります。 🔍 **ひかり電話／IP 電話環境でファクスが送受信できない (P. 1434)**

電話回線の種類は正しく設定されていますか？

電話回線の種類が正しく自動設定されていない可能性があります。電話回線の種類を手動で設定します。

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [送信] ▶ [回線設定] ▶ 使用している回線で電話回線の種類を選択 ▶ [OK]

操作パネルでは、[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。 🔍 **[回線種類の選択] (P. 1102)**

※電話回線の種類がわからない場合は、電話会社にお問い合わせください。

海外の宛先を指定していますか？

該当する場合は、宛先にうまくつながらなかった可能性があります。国際アクセス番号や国番号のあとに待ち時間（ポーズ）を入れたり、通信開始速度を下げたりしてから送信します。📞**海外へファクスを送信できない (P. 1435)**

相手機はファクスを受信できる状態ですか？

相手機の電源が入っていないか、受信モードが正しく設定されていない可能性があります。相手に確認してもらいます。

ファクスが受信できない

EJ83-10C

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

- ① Step 1：トナーの残量を確認する (P. 1431)
- ② Step 2：受信モードの設定を確認する (P. 1431)
- ③ Step 3：ファクスの受信環境を確認する (P. 1431)
- ④ Step 4：本機のメモリーの空き容量を確保する (P. 1432)
- ⑤ Step 5：エラーを確認する (P. 1432)

Step 1：トナーの残量を確認する

トナーの残量が少ない状態でファクスを受信した場合は、不鮮明なプリントを防ぐため、受信データはプリントされずにメモリーに保存されます。

トナーの残量を確認し、残量が少ないトナー容器を交換します。

- ① 消耗品／消耗部品の残量を確認する (P. 1338)
- ② トナー容器を交換する (P. 1323)

Step 2：受信モードの設定を確認する

受信モードは適切に設定されていますか？

ファクスの用途に応じた受信モードが設定されているかどうかを確認し、必要に応じて設定を変更します。➡ **受信の初期設定 (P. 487)**

Step 3：ファクスの受信環境を確認する

ひかり電話（光回線）／IP 電話（IP 回線）環境でファクスを受信していますか？

回線品質によって通信エラーが起きることがあります。受信スピードを遅くすると、通信エラーを低減できる場合があります。➡ **ひかり電話／IP 電話環境でファクスが送受信できない (P. 1434)**

ファクス情報サービスからファクスを受信していますか？

該当する場合は、本機を接続している電話回線の種類に応じて、以下の操作をします。

プッシュ回線の場合

電話回線の種類を手動で設定してから、サービス提供元に電話をかけます。

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [送信] ▶ [回線設定] ▶ 使用している回線で [プッシュ(トーン)] を選択 ▶ [OK]

操作パネルでは、[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。➡ **[回線種類の選択] (P. 1102)**

ダイヤル回線の場合

サービス提供元に電話をかけたあと、テンキーの [✱] (トーン) を押してから、サービスを受けるための番号を入力します。

※電話回線の種類がわからない場合は、電話会社にお問い合わせください。

Step 4：本機のメモリーの空き容量を確保する

メモリー内の不要なファイルを削除して、空き容量を増やします。

④メモリー受信したファクスを確認／プリント／転送する (P. 545)

Step 5：エラーを確認する

ファクス受信の処理状況や履歴を確認し、「#」で始まる3桁の番号（終了コード）が表示されている場合は、終了コードに応じた対処方法を確認します。

④ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 551)

④終了コードが表示された（#xxx） (P. 1493)

電話とファクスが自動的に切り替わらない

EJ83-10E

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

受信モードは適切に設定されていますか？

- ファクスの用途に応じた受信モードが設定されているかどうかを確認し、必要に応じて設定を変更します。➡ **【受信モード選択】 (P. 1116)**
- 一般の電話機またはオプションのハンドセットを接続している場合は、**【FAX/TEL 切替】** に設定します。

受信モードが **【FAX/TEL 切替】** の場合、呼出開始時間が短く設定されていませんか？

着信後に呼出を開始するまでの時間が短いと、受信時にファクスと判定されず、着信音が鳴る場合があります。**【呼出開始時間】** の設定を確認し、必要に応じて時間を長くします。➡ **受信の初期設定 (P. 487)**

相手先の回線状態は良いですか？

相手先の回線状態が悪い場合、通信開始速度が速いとファクスに切り替わらないことがあります。**【受信スタートスピード】** の設定を確認し、必要に応じて速度を下げます。

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ **【設定/登録】** ▶ **【受信/転送】** ▶ **【受信スタートスピード/受信パスワード】** ▶ **【受信スタートスピード】** で速度を選択 ▶ **【OK】**

操作パネルでは、**【 設定/登録】** ▶ **【ファンクション設定】** から設定します。➡ **【受信スタートスピード】 (P. 1118)**

メモリー内に十分な空き容量がありますか？

メモリー内の不要なファイルを削除して、空き容量を増やします。

➡ **メモリー受信したファクスを確認／プリント／転送する (P. 545)**

ひかり電話／IP 電話環境でファクスが送受信できない

EJ83-10F

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

ひかり電話や IP 電話の事業者を確認します

回線品質によって通信エラーが発生する場合があります。回線事業者にお問い合わせください。

通信開始速度を下げて送受信を確認します

以下の手順で通信開始速度を段階的に下げて、ファクスを送受信できるかどうかを確認します。

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

送信できない場合

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [送信] ▶ [通信管理設定-ファクス設定] ▶ [送信スタートスピード] で速度を選択 ▶ [OK]

操作パネルでは、[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。🔍 [送信スタートスピード]
(P. 1099)

受信できない場合

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [受信/転送] ▶ [受信スタートスピード/受信パスワード] ▶ [受信スタートスピード] で速度を選択 ▶ [OK]

操作パネルでは、[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。🔍 [受信スタートスピード]
(P. 1118)

メモ

- アドレス帳やワンタッチボタンの詳細設定からも、宛先ごとに送信速度を設定できます。

- 🔍 アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル (P. 276)
- 🔍 アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI (P. 291)

VoIP 通信エラーを低減するように設定します

通信エラーが発生しやすい VoIP 通信環境で、より確実にファクスを送受信したい場合に設定します。

管理者権限が必要です。

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [送信] ▶ [VoIP 通信エラーの低減設定] ▶ [VoIP 通信エラーを低減する] にチェックマークを付ける ▶ [OK]

操作パネルでは、[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。🔍 [VoIP 通信エラーの低減設定]
(P. 1101)

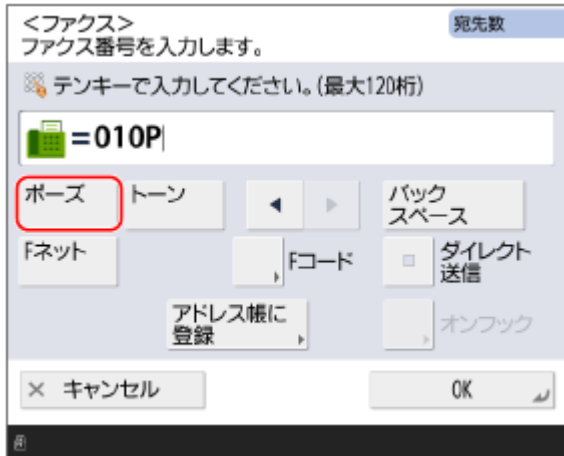
海外へファクスを送信できない

EJ83-10H

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

待ち時間（ポーズ）を入れる

- 海外にファクスを送信する場合は、国際アクセス番号、国番号、ファクス番号の順に宛先を入力します。そのときに、番号と番号の間で「ポーズ」を押して、待ち時間（ポーズ）を入れます。



- ポーズを入れても送信できない場合は、ポーズの時間を変更します。

リモート UI にログイン ▶ [設定/登録] ▶ [送信] ▶ [送信機能設定-ファクス設定] ▶ [ポーズ時間セット] でポーズ時間を入力 ▶ [OK]

操作パネルでは、[設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。▶ [ポーズ時間セット] (P. 1097)

通信開始速度を下げる

通信開始速度を段階的に下げて送信を試みます。

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [送信] ▶ [通信管理設定-ファクス設定] ▶ [送信スタートスピード] で速度を選択 ▶ [OK]

操作パネルでは、[設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。▶ [送信スタートスピード] (P. 1099)

相手の電話／ファクス番号がディスプレイに表示されない

EJ83-10J

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

ナンバーディスプレイ機能を有効に設定していますか？

本機の画面に相手の電話／ファクス番号を表示するには、使用する回線ごとにナンバーディスプレイ機能を有効に設定する必要があります。🔍 **【ナンバーディスプレイ設定】 (P. 1118)**

※ナンバーディスプレイを利用するには、契約電話会社と別途契約する必要があります。

ファクスの着信時に呼び出し音を鳴らすように設定していますか？

ファクスの着信時に呼び出し音を鳴らすように設定すると、呼び出し音が鳴っている間、ナンバーディスプレイ対応の電話機に相手の番号を表示できます。

操作パネルの [ホーム] 画面 ▶ [音量設定] ▶ [ファクス着信呼出] ▶ [ON] を選択し、呼出回数を選択 ▶ [OK]

管理／環境設定

EJ83-10K

管理／設定に関するよくあるお問い合わせの一覧です。該当する項目を確認します。

- ① 他機からインポートした設定が一部反映されていない (P. 1438)
- ② 長尺原稿が表示されず、使用できない (P. 1439)
- ③ 確認音やファクスの通信音などの音量を変更したい (P. 1440)
- ④ スリープモードになるまでの時間を変更したい (P. 1441)
- ⑤ システム管理者用のパスワードや ID／暗証番号がわからない (P. 1442)
- ⑥ 通信管理レポートや送信結果レポートをプリントしないようにしたい (P. 1443)

他機からインポートした設定が一部反映されていない

EJ83-10L

本機にセキュリティーポリシーが適用されている場合、セキュリティーポリシーに反する設定はインポートできません。

- 本機に適用されているセキュリティーポリシーを確認する (P. 854)

長尺原稿が表示されず、使用できない

EJ83-10R

本機の設定を変更すると、長尺原稿を使用できるようになります。販売店または担当サービスにお問い合わせください。

確認音やファクスの通信音などの音量を変更したい

EJ83-10S

ファクス機能がある機種とない機種で、操作手順が異なります。

- ① 音量を調整する（ファクス機能がある場合）（P. 328）
- ② 音量を調整する（ファクス機能がない場合）（P. 330）

スリープモードになるまでの時間を変更したい

EJ83-10U

スリープモードになるまでの時間を変更するほか、指定した時刻にスリープモードになるように設定することもできます。

🔵消費電力を抑える - スリープモード (P. 150)

システム管理者用のパスワードや ID／暗証番号がわからない

EJ83-10W

管理者ユーザー「Administrator」のパスワードや、部門別 ID 管理中の「システム管理部門 ID」／「システム管理暗証番号」が初期設定から変更されているかどうかを、管理者にお問い合わせください。

初期設定から変更されていない場合

- 「Administrator」のパスワード：7654321
- システム管理部門 ID：7654321
- システム管理暗証番号：7654321

※初期設定から変更されていない場合は、セキュリティ向上のため、変更して特定の管理者のみがこれらを知っている体制で運用します。

➡管理者権限とパスワード (P. 29)

➡管理者用の部門 ID／暗証番号を変更する (P. 730)

「Administrator」のパスワードがわからない場合

操作パネルから以下の手順で、管理者ユーザー「Administrator」のパスワードを初期化することができます。

[カウンター/機器情報] ▶ [機器情報/その他] ▶ [管理者パスワードの初期化] ▶ ライセンスキーを入力 ▶ [実行] ▶ [OK]

管理者ユーザー「Administrator」が無効になっていた場合は有効に戻り、初期設定のパスワードでログインできるようになります。

メモ

- 上記を確認しても「Administrator」のパスワードを初期化できなかったり、システム管理部門 ID／暗証番号がわからなかったりする場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 ➡トラブルが解決しないときは (P. 1552)

通信管理レポートや送信結果レポートをプリントしないようにしたい

EJ83-10X

通信管理レポートは、初期設定では、スキャンデータ送信とファクス送受信の通信結果が指定した通信数に達したときに、自動的にプリントされます。また、送信エラーが発生したときは、送信結果レポートがプリントされます。
設定によっては、ファクスの送受信や送信結果についてのみでも、同様にレポートがプリントされます（ファクス通信管理レポート、ファクス送信結果レポート）。

これらをプリントしないようにするには、以下のように設定します。

※通信管理レポート／ファクス通信管理レポートは、プリントする代わりに、各レポートのデータを送信するよう設定することもできます。

Administrator 権限または DeviceAdmin 権限が必要です。

通信管理レポート

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [送信] ▶ [送信結果レポート/通信管理レポート] ▶ [指定通信数] で [OFF] を選択 ▶ [指定時刻] で [OFF] を選択 ▶ [OK]

操作パネルでは、[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。▶ [通信管理レポート] (P. 1076)

ファクス通信管理レポート

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [送信] ▶ [ファクス送信結果レポート/ファクス通信管理レポート] ▶ [指定通信数] で [OFF] を選択 ▶ [指定時刻] で [OFF] を選択 ▶ [OK]

操作パネルでは、[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。▶ [ファクス通信管理レポート] (P. 1098)

送信結果レポート

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [送信] ▶ [送信結果レポート/通信管理レポート] ▶ [送信結果レポート] で [OFF] を選択 ▶ [OK]

操作パネルでは、[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。▶ [送信結果レポート] (P. 1075)

ファクス送信結果レポート

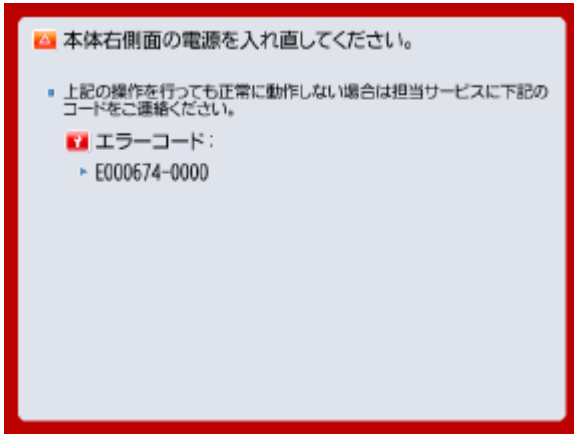
リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [送信] ▶ [ファクス送信結果レポート/ファクス通信管理レポート] ▶ [ファクス送信結果レポート] で [OFF] を選択 ▶ [OK]

操作パネルでは、[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から設定します。▶ [ファクス送信結果レポート] (P. 1098)

赤い縁のエラー画面がポップアップで表示された

EJ83-10Y

何らかのトラブルによって、赤い縁のエラー画面が表示された場合、本機が正常に動作しなくなっている可能性があります。



- ① 販売店または担当サービスに連絡するときは (P. 1444)
- ② エラー時に機能を制限して本機を使用する (P. 1445)

販売店または担当サービスに連絡するときは

販売店または担当サービスに連絡する前に、本機を再起動してエラーメッセージが消えるかどうかを確認します。エラーメッセージが再び表示される場合は、販売店または担当サービスに連絡して症状を伝えます。

警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。

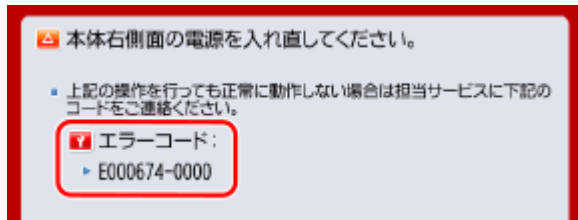
重要

- 電源を切ると、待機中のデータは消去されます。
- エラーによっては、エラー発生後にシステム情報を保存する処理が行われるため、画面に主電源を切らないようにメッセージが表示されます。この場合は、処理が完了するまでは、本機の電源は切らないようにします。

1 本機を再起動する ②再起動する (P. 148)

2 メッセージが再び表示された場合は、表示されたエラーコードを書き留める

エラーコードは複数表示される場合があります。



3 本機の電源を切り、電源プラグを抜く

4 販売店または担当サービスに連絡する

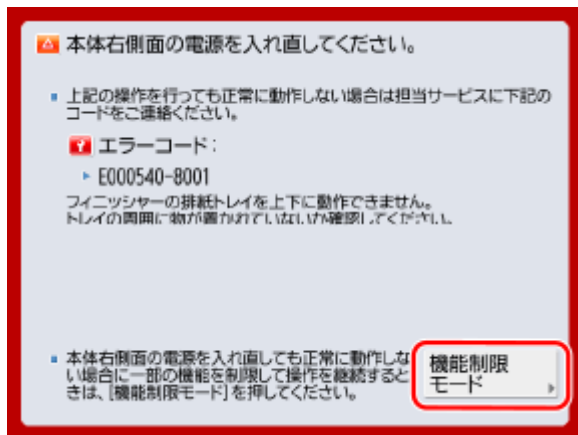
以下の情報を伝えます。

- 製品名
- 購入先の販売店または担当サービス
- トラブルの内容（具体的な操作内容とその結果、現象など）
- 表示されたエラーコード

エラー時に機能を制限して本機を使用する

画面に「機能制限モード」が表示されている場合は、これを押すと、トラブル解決前でも本機の使用を継続できます。ただし、使用できる機能は制限されます。

1 「機能制限モード」を押す



2 「はい」を押す

→ 本機が再起動し、機能制限モードになります。

トラブルが解決すると、画面左下のメッセージ「担当サービスに連絡」は消えます。

プリント機能制限時に使用できる機能

ファクス、スキャン、リモートスキャナー、MEAP アプリケーション、状況確認、リモート UI

スキャン機能制限時に使用できる機能

保存ファイルの利用、受信トレイ、プリント、MEAP アプリケーション、状況確認、リモート UI

メッセージが表示された

EJ83-110

操作パネルの画面にメッセージが表示された場合は、以下の一覧からメッセージを選択して、対処方法を確認します。

- ④ 英数字 (P. 1446)
- ④ あ行 (P. 1456)
- ④ か行 (P. 1459)
- ④ さ行 (P. 1465)
- ④ た行 (P. 1471)
- ④ な行 (P. 1474)
- ④ は行 (P. 1477)
- ④ ま行 (P. 1484)
- ④ や行 (P. 1486)
- ④ ら行 (P. 1487)

英数字

23 ダウンロード フル

オーバーレイフォームや外字などを登録するメモリーが不足しています。

[\[エラースキップ\]](#) を押して、[プリントを続けます](#)

エラースキップした場合、メモリー不足で登録できなかったデータはプリントされません。

[プリントを中止し、プリンター機能を初期化してからプリントしなおします](#)

プリンター機能を初期化すると、メモリーの空き容量を増やすことができます。ただし、本機のメモリー内のプリントデータはすべて削除されます。④ [\[プリンター初期化\]](#) (P. 1256)

27 ジョブ開始 不可能

指定したエミュレーションが存在しません。

[\[エラースキップ\]](#) を押して、[プリントを続けます](#)

エラースキップした場合、エラーの原因となっているデータはプリントされません。

[指定したエミュレーションは本機に対応していますか？](#)

対応している場合は、動作モードを指定してプリントしなおします。④ [\[プリンター動作モード\]](#) (P. 1189)

33 ワークメモリー フル

専用のワークメモリーが不足したため、プリントできませんでした。

[\[エラースキップ\]](#) を押して、[プリントを続けます](#)

エラースキップした場合、エラーが表示されたデータは正しくプリントされません。

※登録済みのオーバーレイやマクロなどのデータが削除されることがあります。

[プリントを中止し、プリンターを初期化してからプリントしなおします](#)

プリンターを初期化すると、メモリーの空き容量を増やすことができます。ただし、本機のメモリー内のプリントデータはすべて削除されます。🔗 [【プリンター初期化】 \(P. 1256\)](#)

52 イメージモード不可

イメージを印刷中に、処理できない画像データを受信しました。

[\[エラースキップ\]](#) を押して、プリントを続けます

エラースキップした場合、エラーの原因となっているデータはプリントされません。

[プリンタードライバーが画像データの形式に対応していますか？](#)

画像データの形式に対応したプリンタードライバーでプリントしなおします。

Active Directory のサイト情報が不正です。システム管理者に問い合わせてください。

Active Directory のサイト情報が正しく設定されていません。

[Active Directory のサイト情報を設定しなおします](#)

リモート UI で [\[サイト情報の取得タイミング\]](#) と [\[サイトのアクセス範囲\]](#) が正しく設定されているか確認します。🔗 [認証サーバー情報を登録する \(P. 707\)](#)

ADF メンテナンスキットが寿命になりました。(交換を推奨)

ADF メンテナンスキットが寿命になりました。

原稿読み込みは可能ですが、読み込み精度が低下します。早めの交換をおすすめします。ADF メンテナンスキットの交換は、販売店または担当サービスにご連絡ください。

ADF メンテナンスキットを準備してください。

ADF メンテナンスキットの寿命が近づいています。

ADF メンテナンスキットの交換は、販売店または担当サービスにご連絡ください。

CRL が確認できませんでした。

CRL（証明書失効リスト）を発行した認証局の CA 証明書が確認できませんでした。

[CRL を発行した認証局の CA 証明書を登録します](#)

🔗 [発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する \(P. 802\)](#)

D0-nn エラー（nn は 2 桁の英数字）

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔗 [電源スイッチを使用して再起動する \(P. 148\)](#)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

D1 再描画バッファ フル

リプロットバッファに登録できなかったため、再描画できませんでした。

[\[エラースキップ\]](#) を押して、プリントを続けます

エラースキップした場合、エラーの原因となっているデータは正しくプリントされません。

※リプロットバッファについては、オンラインマニュアルサイトから「エミュレーション」を参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

D1 分割印刷バッファ フル

分割印刷用のバッファに登録できなかったため、分割プリントできませんでした。

※分割印刷モードについては、オンラインマニュアルサイトから「エミュレーション」を参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

[\[エラースキップ\]](#) を押して、プリントを続けます

エラースキップした場合、登録できなかったデータは正しくプリントされません。

[プリントを中止し、HP-GL の設定を変更してからプリントしなおします](#)

[HP-GL 設定] の [分割印刷] を [しない]、[拡大/縮小] を [自動] に設定し、プリント時に出力用紙サイズを指定します。➡ [\[レイアウト\] \(P. 1233\)](#)

※データは拡大／縮小されてプリントされます。詳しくは、オンラインマニュアルサイトから「エミュレーション」を参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

D1 ポリゴンバッファ フル

ポリゴンバッファに登録できなかったため、描画できませんでした。

※ポリゴンバッファについては、オンラインマニュアルサイトから「エミュレーション」を参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

[\[エラースキップ\]](#) を押して、プリントを続けます

エラースキップした場合、登録できなかったデータは正しくプリントされません。

E メールを送信できませんでした。設定を確認してください。

暗証番号をリセットするメールや新しいパターンがプリントされた添付ファイルが送信できませんでした。

[ログインユーザーのメールアドレスは正しく設定されていますか？](#)

ログインユーザーのメールアドレスを確認します。➡ [ユーザー情報を登録する \(P. 687\)](#)

[ネットワークやメール送信の設定は正しいですか？](#)

➡ [ネットワークの設定 \(P. 91\)](#)

➡ [メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

FF フォント フル

登録するフォントの数が多すぎて、フォントの情報の保存領域（フォントテーブル）に登録できませんでした。

[\[エラースキップ\]](#) を押して、プリントを続けます

エラースキップした場合、登録できなかったデータは正しくプリントされません。

[LIPS のコマンドをプログラミングしてプリントしていますか？](#)

不要な文字セットを削除し、プリントしなおしてください。詳しくは、プログラマーズマニュアルの「コマンドリファレンス 4.2」を参照してください。

[プリントを中止し、プリンターを初期化してからプリントしなおします](#)

プリンターを初期化すると、メモリーの空き容量を増やすことができます。ただし、本機のメモリー内のプリントデータはすべて削除されます。➡ [\[プリンター初期化\] \(P. 1256\)](#)

FM DL サイズエラー n (n は 1 桁の英数字)

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

④電源スイッチを使用して再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

FM DL スケールエラー n (n は 1 桁の英数字)

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

④電源スイッチを使用して再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

FM DL フォントメモリーフル

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

④電源スイッチを使用して再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

FM FILE アクセスエラー

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

④電源スイッチを使用して再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

FM SC ワークメモリーエラー n (n は 1 桁の英数字)

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

④電源スイッチを使用して再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

FM アライメントエラー

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

④電源スイッチを使用して再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

FM フォントカイセキエラー

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

①電源スイッチを使用して再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

FM フォントメモリーフル

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

①電源スイッチを使用して再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

FM ワークメモリーエラー

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

①電源スイッチを使用して再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

IEEE 802.1X エラー 正しい認証情報を設定してください。

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

[認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）を設定しなおします](#)

①IEEE 802.1X を設定する (P. 786)

②鍵と証明書を管理／検証する (P. 789)

IEEE 802.1X エラー 通信先から応答がありませんでした。

オーセンティケーター（LAN スイッチ）との通信中にエラーが発生しました。

[オーセンティケーター（LAN スイッチ）の接続状況を確認します](#)

LAN ケーブルとスイッチの状況を確認します。

[認証サーバーの設定を確認します](#)

①IEEE 802.1X を設定する (P. 786)

IEEE 802.1X エラー 認証サーバーの証明書が解析できません。

認証サーバーから送信されたサーバー証明書の解析に失敗しました。

[認証サーバーの証明書を確認し、必要に応じて設定を変更します](#)

①IEEE 802.1X を設定する (P. 786)

IEEE 802.1X エラー 認証サーバーの証明書が信頼できません。

認証サーバーの証明書に対応する CA 証明書が本機に登録されていません。

[認証サーバーの証明書の情報を確認し、対応する CA 証明書を登録します](#)

② IEEE 802.1X を設定する (P. 786)

③ 発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する (P. 802)

IEEE 802.1X エラー 認証サーバーの証明書は期限切れです。

認証サーバーから送信されたサーバー証明書の有効期限が切れています。

[認証サーバーの証明書の有効期限を確認します](#)

② IEEE 802.1X を設定する (P. 786)

IEEE 802.1X エラー 認証パスワードを変更してください。

パスワードの有効期限が切れています。

[新しいパスワードを設定します](#)

② IEEE 802.1X を設定する (P. 786)

IEEE 802.1X エラー 認証方式の設定を確認してください。

本機で設定されている認証方式と認証サーバーで設定されている認証方式が一致していません。

[認証サーバーで設定されている認証方式を確認し、設定しなおします](#)

② IEEE 802.1X を設定する (P. 786)

IP アドレスを設定してください。

本機の IP アドレスが設定されていません。

[IP アドレスを設定したあと、本機を再起動します](#)

② IPv4 アドレスを設定する (P. 110)

③ IPv6 アドレスを設定する (P. 114)

ITB ユニットが寿命になりました。(交換を推奨)

ITB ユニットが寿命になりました。

印刷は可能ですが、プリント品質が低下します。早めの交換をおすすめします。ITB ユニットの交換は、販売店または担当サービスにご連絡ください。

Microsoft Entra ID から情報が取得できませんでした。設定情報が正しくありません。システム管理者に問い合わせてください。

Microsoft Entra ID サーバー情報が正しく設定されていません。

[Microsoft Entra ID サーバー情報を確認し、必要に応じて設定を変更します。](#)

② 認証サーバー情報を登録する (P. 707)

Microsoft Entra ID から情報が取得できませんでした。本機のアクセス権が不足しています。システム管理者に問い合わせてください。

Microsoft Entra ID サーバー情報が正しく設定されていません。

Microsoft Entra ID サーバー情報を確認し、必要に応じて設定を変更します。

🔗 認証サーバー情報を登録する (P. 707)

Microsoft Entra ID から情報が取得できませんでした。ユーザーのアクセス権が不足しています。システム管理者に問い合わせてください。

Microsoft Entra ID サーバー情報が正しく設定されていません。

Microsoft Entra ID サーバー情報を確認し、必要に応じて設定を変更します。

🔗 認証サーバー情報を登録する (P. 707)

Microsoft Entra ID でエラーが発生したため、ログインできませんでした。システム管理者に問い合わせてください。

Microsoft Entra ID サーバーに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

本機を再起動します

🔗 電源スイッチを使用して再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

Microsoft Entra ID で何らかのエラーが発生しました。システム管理者に問い合わせてください。

Microsoft Entra ID サーバーに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

本機を再起動します。

🔗 電源スイッチを使用して再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

Microsoft Entra ID と接続できません。Microsoft Entra ID から取得したサーバー証明書の検証に失敗しました。システム管理者に問い合わせてください。

Microsoft Entra ID サーバー情報が正しく設定されていません。

Microsoft Entra ID サーバー情報を確認し、必要に応じて設定を変更します。

🔗 認証サーバー情報を登録する (P. 707)

n ローラーキットが寿命になりました。(交換を推奨)

ローラーキットが寿命になりました。

※メッセージの (n) には、給紙カセットの段数が表示されます。

用紙の給紙は可能ですが、用紙の給紙能力が低下します。早めの交換をおすすめします。ローラーキットの交換は、販売店または担当サービスにご連絡ください。

n ローラーキットを準備してください。

ローラーキットの寿命が近づいています。

※メッセージの (n) には、給紙カセットの段数が表示されます。

ローラーキットの交換は、販売店または担当サービスにご連絡ください。

「PDF (PDF/A 準拠にする)」の設定はデフォルト設定に登録できません。「PDF (PDF/A 準拠にする)」以外の設定を登録しました。

PDF 形式の設定を「PDF/A 準拠にする」にした状態で、各機能の初期設定に登録しようとした。[PDF/A 準拠にする] は初期設定には登録できません。

➡初期設定を変更する (P. 186)

➡ファイル形式／分割の設定をする (P. 461)

※各機能ではなく、本機の初期設定とすることができます。 ➡ [PDF を PDF/A 準拠にする] (P. 1059)

SMB サーバー名の設定を確認してください。

ネットワーク上で本機を識別するための名前であるコンピューター名と同じ名前のパソコンやプリンターが WINS データベースまたは本機が属するワークグループ内に存在します。

パソコンやプリンターと同じコンピューター名で、本機が登録されていないかを確認します

➡コンピューター名とワークグループ名を設定する (P. 122)

TCP/IP エラー

IP アドレスが正しく設定されていないか、自動取得できません。

DHCP、Auto IP によるアドレスの自動取得ができていない可能性があります

IPv4 アドレスを自動取得する設定にしているのに関わらず、IP アドレスが「0.0.0.0」と表示されている場合は、アドレスを自動取得できていません。LAN ケーブルの接続や DHCP サーバーの設定を確認します。

副回線を使用している場合は、副回線の IPv4 アドレスも正しく設定します

➡副回線の IPv4 アドレスを設定する (P. 112)

IPv4 アドレスを手動で設定している場合は、正しい IPv4 アドレスを設定します

➡IPv4 アドレスを設定する (P. 110)

➡副回線の IPv4 アドレスを設定する (P. 112)

ステートレスアドレスを使用する場合、それぞれのアドレスが取得できていることを確認します

➡IPv6 アドレスを設定する (P. 114)

アドレスを取得できていない場合は、ルーターや DHCPv6 サーバーの設定を確認します。

※ステートレスアドレスが決定するまでには、数分かかる場合があります。

DNS サーバーのアドレスは正しく設定されていますか？

IPv4 および IPv6 の DNS サーバーのアドレスを確認します。 ➡DNS を設定する (P. 118)

TCP/IP のリソース不足です。しばらくたってから、もう一度操作してください。

FTP や Windows (SMB) で連続送信中または連続送信終了後、TCP/IP のリソースが不足しました。しばらく時間をおいてから、操作をお願いします。

TCP/IP を確認してください。

本機の TCP/IP が動作していません。

IPv4 アドレス、DHCP、Auto IP の設定を確認します

➡IPv4 アドレスを設定する (P. 110)

副回線を使用している場合は、副回線の IPv4 アドレス、DHCP の設定も確認します

➡副回線の IPv4 アドレスを設定する (P. 112)

TCP/IP を確認してください。(主回線)

主回線の IPv4 アドレスが「0.0.0.0」に設定されています。

[正しい IPv4 アドレスを設定します](#)

➡ [IPv4 アドレスを設定する \(P. 110\)](#)

TCP/IP を確認してください。(副回線)

副回線の IPv4 アドレスが「0.0.0.0」に設定されています。

[正しい IPv4 アドレスを設定します](#)

➡ [副回線の IPv4 アドレスを設定する \(P. 112\)](#)

TLS エラー

WebDAV サーバーまたはプロキシサーバーが TLS 暗号化通信をサポートしていません。

[WebDAV サーバーの設定を確認します](#)

TLS 暗号化通信する場合は、WebDAV サーバーで TLS 暗号化通信を設定します。

[プロキシサーバーを経由している場合は、プロキシサーバーの設定を確認します](#)

TLS 暗号化通信する場合は、プロキシサーバーで TLS 暗号化通信を設定します。

TLS の設定などで使用されているため、削除することができません。設定を確認してください。

削除しようとした鍵と証明書が、TLS 暗号化通信で使用されています。

[TLS 暗号化通信を使用する機能を確認します](#)

削除しようとした鍵と証明書を使用している機能があった場合、TLS 暗号化通信の設定を解除します。 ➡

[TLS を使用する \(P. 777\)](#)

Universal Print サーバーと通信できません。

ネットワークの接続やサーバーで問題が発生している可能性があります。

[ネットワークの接続状況や設定を確認します](#)

本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をします。

➡ [ネットワークの接続状況や設定を確認する \(P. 137\)](#)

➡ [ネットワークの設定 \(P. 91\)](#)

無線 LAN ルーターのネットワークキー（パスワード）を確認し、本機に正しく設定します。

[サーバーでエラーが発生していませんか？](#)

サーバーが正常に動作しているか確認します。

[サーバーとの通信がファイアウォールによってブロックされていませんか？](#)

ファイアウォールのブロックを解除します。

Universal Print サーバー認証エラー

サーバー認証時にエラーが発生しました。

[本機を再起動します](#)

➡ [再起動する \(P. 148\)](#)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

Universal Print 証明書が有効期限切れです。

証明書の有効期限が切れています。

Microsoft Entra ID とパソコンから本機を削除し、再登録後に証明書を更新します。

Universal Print 内部エラー

本機に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔗 [再起動する \(P. 148\)](#)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

Universal Print プリンターが登録されていません。

Microsoft Entra ID から本機が削除されたため、通信ができませんでした。

Microsoft Entra ID に本機を登録しなおします。

🔗 [クラウドサービスに本機を登録する \(P. 357\)](#)

USB ポートに接続された有線 LAN アダプターを確認して下さい。

複数の USB-LAN アダプターが接続されている、または USB-LAN アダプターが接続／認識されていません。

[USB-LAN アダプターの接続を確認します](#)

🔗 [有線 LAN に接続する \(P. 99\)](#)

[USB-LAN アダプターを接続しなおした場合は、本機を再起動します。](#)

🔗 [再起動する \(P. 148\)](#)

X と Y の値が組み合わせできません。再設定してください。詳細は取扱説明書を参照してください。

サポートされていない数値の組み合わせを X と Y に設定しました。

X と Y の数値を確認して、設定しなおします。

XPS 印刷範囲エラー

指定したプリント範囲内に処理できるページがありません。

ページ範囲を正しく指定して、プリントしなおします。

XPS 画像データエラー

画像データの引き延ばしに失敗しました。

XPS ファイル内の画像データを差し替え、プリントしなおします。

XPS スプールメモリーフル

XPS データを処理するためのメモリー領域が不足しています。

本機を再起動してからプリントしなおします。それでもプリントできない場合は、ページを分割し、複数のデータに分けてプリントしなおします。

XPS データエラー

データが壊れているなどの要因によって不正な命令が指定され、処理を継続できません。

本機に対応した形式の XPS データでプリントしなおします。

XPS 非サポート画像エラー

サポートしていないデータ形式が含まれています。
TIFF や JPEG 形式に変換してプリントしなおします。

XPS フォントエラー

フォントデータの解析に失敗しました。
XPS ファイル内のフォントデータを差し替え、プリントしなおします。

XPS ページデータエラー

記述内容が正しくないため、ページを生成できません。
本機に対応した形式の XPS データでプリントしなおします。

XPS メモリーフル

XPS データを処理するためのメモリー領域が不足しています。

[\[エラースキップ\]](#) を押して、プリントを続けます

エラースキップした場合、エラーの原因となっているページは正しくプリントされない可能性があります。

XXX のページへアクセスする権限がありません。

権限のないユーザーでログインしようとしてしました。
権限のあるユーザーでログインしなおします。

あ行

アカウントの有効期限が切れています。システム管理者に問い合わせてください。

証明書またはアカウントの有効期限が切れている可能性があります。

[本機に登録されている証明書の有効期限を確認します](#)

有効期限が切れている場合、新たな証明書を登録しなおします。 [🔗発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する \(P. 802\)](#)

[アカウントの有効期限を確認します](#)

有効期限が切れている場合、ユーザーアカウントの有効期限を設定しなおします。 [🔗ローカルデバイスにユーザー情報を登録する \(P. 687\)](#)

アクセスポイント接続エラー。「無線 LAN 情報」を確認して下さい。

アクセスポイントが見つかりませんでした。

[無線 LAN の設定を確認します](#)

[🔗無線 LAN の MAC アドレスや接続情報を確認する \(P. 139\)](#)

アクセスポイントモード エラーが発生したため終了しました。

接続中のモバイル機器との間でデータの送受信が 3 分以上行われませんでした。

モバイル機器と接続しなおします

🔗モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続 (P. 663)

アクセスポイントモード 接続相手が見つかりませんでした。

接続可能なモバイル機器が見つかりません。

モバイル機器で Wi-Fi を有効にして接続操作をします

- モバイル機器の Wi-Fi が無効な場合は、有効にします。
 - 本機にモバイル機器を近づけて接続操作をします。 🔗モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続 (P. 663)
 - 正常に接続できない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。
- ※モバイル機器によっては、正しく動作しないことがあります。

アクセスポイントモード 接続可能な最大数に達しています。

モバイル機器との同時接続数の上限に達しているため、接続できません。

不要なモバイル機器との接続を解除します

他のモバイル機器の接続が解除されたら再接続します。 🔗モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続 (P. 663)

アクセスポイントモード 他のデバイスと接続中です。

他のモバイル機器と接続中のため、接続できません。

他のモバイル機器の接続が解除されたら再接続します。 🔗モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続 (P. 663)

新しい ITB ユニットを準備してください。

ITB ユニットの寿命が近づいています。

ITB ユニットの交換は、販売店または担当サービスにご連絡ください。

新しいトナー を準備してください。

トナー容器内のトナー残量が少なくなりました。

いつでも交換できるように新しいトナー容器を準備します。

この時点ではトナー容器を交換する必要はありません。

新しい定着器を準備してください。

定着器の寿命が近づいています。

定着器の交換は、販売店または担当サービスにご連絡ください。

新しい二次転写外ローラーを準備してください。

二次転写外ローラーの寿命が近づいています。

二次転写外ローラーの交換は、販売店または担当サービスにご連絡ください。

アプリケーションの開始に必要なシステム資源(メモリー、スレッド、ソケット、ファイル記述子、ディスク容量またはスクリーンサイズ)が確保できない可能性があるため、アプリケーションを開始できません。

<Resources>

メモリーやディスク容量など、必要なシステムを確保できない可能性があるため、アプリケーションを使用できません。

他のアプリケーションを終了すると、目的のアプリケーションが使用できることがあります。

アプリケーションのログが存在しないため、ダウンロードできません。

アプリケーションのログが存在しません。

ログがないため操作できません。[戻る]を押すと、操作元の画面へ戻ります。

インストールするアプリケーションのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

指定したファイルの内容が正しくないか、情報が不足しているため、アプリケーションをインストールできません。ファイルの内容が正しくないと、アプリケーションをインストールできません。ファイルの内容を確認しても問題がない場合は、アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

インストールするライセンスのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

指定したファイルの内容が正しくないか、情報が不足しているため、ライセンスファイルをインストールできません。

ファイルの内容が正しくないと、ライセンスファイルをインストールできません。ファイルの内容を確認しても問題がない場合は、アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

インターネット接続によりセキュリティ-のリスクが高まっています。

リモート UI から不正アクセスされる可能性があります。

[リモート UI の二要素認証を使用することをおすすめします。](#)

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [基本設定] ▶ [編集...] ▶ [リモート UI 認証] の [二要素認証を必ず使用:] で [すべてのユーザー] または [管理者ユーザーのみ] を選択

※二要素認証を使用しない場合でも、インターネットからの接続時の通知を無効にすることで、このメッセージを表示しないようにできます。

[🔒 セキュリティ通知を設定する \(P. 848\)](#)

エラーが発生したため、アプリケーションのログを削除できませんでした。

何らかの原因でエラーが発生したため、ログを削除できませんでした。

[戻る]を押すと、操作元の画面へ戻ります。

エラーが発生したため、アプリケーションのログをダウンロードできませんでした。

何らかの原因でエラーが発生したため、ログをダウンロードできませんでした。

[戻る]を押すと、操作元の画面へ戻ります。

エラーが発生したため、削除できませんでした。

何らかの原因でエラーが発生したため、認証情報を削除できませんでした。

販売店または担当サービスにお問い合わせください。

エラーが発生したため、設定できませんでした。

何らかの原因でエラーが発生したため、認証情報を設定できませんでした。

販売店または担当サービスにお問い合わせください。

エラーが発生しました。システム管理者に問い合わせてください。

選択したユーザーはすでに削除されています。または、予期せぬエラーが発生しました。
再度ログインするか、Administrator 権限を持つ管理者ユーザーでログインして、ユーザー情報を編集しなおしてください。
ログインできない場合は、管理者にお問い合わせください。

応答がありません。

サーバーまたは TCP/IP でエラーが発生したため、送信できませんでした。

[ネットワークの接続状況や設定を確認します](#)

本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をします。

② [ネットワークの接続状況や設定を確認する \(P. 137\)](#)

② [ネットワークの設定 \(P. 91\)](#)

[サーバーでエラーが発生していませんか？](#)

サーバーが正常に動作しているか確認します。

「おすすめセキュリティ設定」の環境タイプを見直して下さい。

おすすめセキュリティ設定で環境タイプの推定を行ったか、接続環境の変更などにより、その推定結果が変更されました。

[推定された環境タイプを確認し、必要に応じてそのセキュリティ設定に変更することをおすすめします。](#)

※セキュリティ設定を変更しない場合も、推奨環境タイプの更新時の通知を無効にすることで、このメッセージを表示しないようにできます。

② [セキュリティ通知を設定する \(P. 848\)](#)

か行

回収トナー容器の準備が必要です。(継続プリント可)

回収トナー容器の空き容量が少なくなりました。

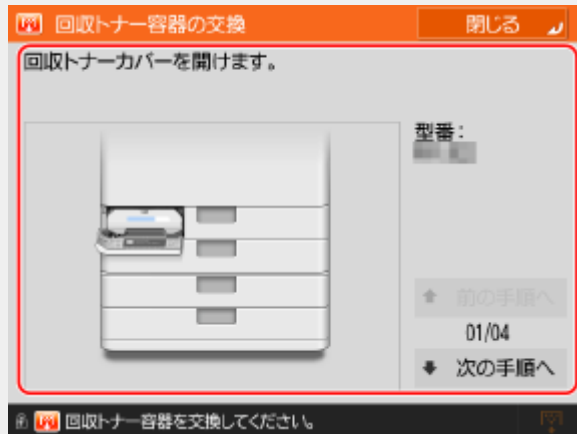
[新しい回収トナー容器を用意して、必要に応じて交換します](#)

いつでも交換できるように、新しい回収トナー容器を準備します。この時点で回収トナー容器を交換する場合は、画面右下に表示されたアイコン押して、動画に従って交換します。② [回収トナー容器を交換する \(P. 1326\)](#)



回収トナー容器を交換してください。

回収トナー容器の空き容量がなくなり、プリントできなくなりました。
画面の指示に従って回収トナー容器を交換します。▶[回収トナー容器を交換する \(P. 1326\)](#)



何らかの原因で、ボタンの設定を呼び出せません。

本機では対応していない機能が含まれるマイボタン／共有ボタンを使用しました。

[本機でマイボタン／共有ボタンを登録しなおします](#)

他のキヤノン複合機からインポートしたマイボタン／共有ボタンを使用できない場合は、本機で登録しなおします。▶[【ホーム】画面にボタンを追加する - マイボタン／共有ボタン \(P. 174\)](#)

該当のファンクションから応答がないため、このボタンの設定を呼び出せません。

使用する機能が停止しているため、ボタンを押しても操作を実行できませんでした。
停止している機能を使用できる状態にしてから、再度ボタンを押します。

拡張ストレージにエラーが発生しました。このファンクションは使用できません。

データストレージキットが正しく認識できませんでした。

[【デバイス構成確認】画面にオプションのデータストレージキットが表示されているか確認します](#)

表示されていない場合は、販売店または担当サービスにご連絡ください。▶[本機に装着しているオプションを確認する \(P. 910\)](#)

カスタム設定の同期 一部の機能が無効です。

パーソナライズデータの同期中、サーバー機の電源が切れているか、正常に動作していません。

※メッセージ表示中は、同期データ不具合により設定が正しく行えない場合があります。

[サーバー機は起動していますか？](#)

起動していない場合は、サーバー機の電源を入れます。

[サーバー機は接続可能な状態ですか？](#)

LAN ケーブルが正しく接続されている場合は、サーバー機のネットワークの接続状況や設定を確認します。

カスタム設定の同期 エラーが発生しました。

同期開始処理で何らかの異常が発生しました。

[クライアント機で設定や同期の状態を確認します](#)

- 接続先サーバーのアドレスが正しいか確認します。
- 同期が開始されているか確認し、終了している場合は開始します。▶[同期を開始／終了する（クライアント機） \(P. 758\)](#)

本機を再起動します

🔗再起動する (P. 148)

本機を再起動しても問題が解消されない場合は、接続先に設定する IP アドレスに対して PING コマンドを実行してエラーがないことを確認します。

カスタム設定の同期 開始処理中です。

カスタム設定の同期を開始するための処理が行われています。
処理が完了するまで、しばらく待ちます。

カスタム設定の同期 完了するためログインし直してください。

カスタム設定の同期をしているサーバー機とクライアント機で同期データの不整合が起きています。
一度ログアウトしてから、ログインしなおします。

カスタム設定の同期 サーバーが見つかりません。

カスタム設定の同期のサーバー機を自動探索で見つけることができませんでした。

サーバー機は起動していますか？

起動していない場合は、サーバー機の電源を入れます。

サーバー機のネットワークケーブルは抜けていませんか？

ネットワークケーブルに問題がない場合は、ネットワークの設定を確認します。

クライアント機で設定や同期の状態を確認します。

- サーバー機が自動探索できる条件に該当するか確認します。自動探索できない場合は、接続先サーバーのアドレスと探索の深さ（ルーター）を設定します。🔗同期を開始／終了する（クライアント機） (P. 758)
- 同期が開始されているか確認し、終了している場合は開始します。🔗同期を開始／終了する（クライアント機） (P. 758)

本機を再起動します

🔗再起動する (P. 148)

カスタム設定の同期 サーバー認証エラーです。

サーバー機で認証できませんでした。

クライアント機で正しい認証ユーザーアカウントを設定しましたか？

サーバー機で Administrator 権限を持つユーザーを設定します。🔗クライアント機の同期を開始する (P. 758)

カスタム設定の同期が終了になっていませんか？

🔗 [カスタム設定の同期 (クライアント)] (P. 1159)

本機を再起動します

🔗再起動する (P. 148)

カスタム設定の同期 サーバーを特定できません。

カスタム設定の同期のサーバー機が、自動探索で複数見つかりました。

サーバー機が特定できるように、クライアント機で接続先サーバーの情報を設定するか、不要なサーバー機を終了します

クライアント機で、接続先サーバーのアドレスと探索の深さ（ルーター）を設定します。🔗同期を開始／終了する（クライアント機）(P. 758)

不要なサーバー機を終了します

同一ネットワークにサーバー機が1台のみ起動した状態にします。

カバーが開いています。

オプション機器のカバーが開いています。

オプション機器のカバーを閉めます。

監査ログの自動エクスポートでエラーが発生しました。

監査ログがエクスポートできませんでした。サーバーでエラーが発生したか、サーバーに接続できないか、自動エクスポートの設定が正しくありません。

サーバーでエラーが発生していませんか？

サーバーが正常に動作しているか確認します。

ネットワークの接続状況や設定を確認します

本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をします。

🔗ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)

🔗ネットワークの設定 (P. 91)

自動エクスポートの設定は正しいですか？

🔗ログを自動でエクスポートする (P. 862)

機器署名の鍵の生成に失敗しました。「通信設定」でEメールアドレスを設定してください。

機器署名を使用するときに、本機のメールアドレスが設定されていませんでした。

機器署名用の鍵を生成する前に本機のメールアドレスを設定します

🔗メールサーバーの情報を設定する (P. 400)

🔗機器署名用の鍵と証明書を生成／登録する (P. 830)

機能が停止している可能性があります。インポートできないボタンがありました。

インポートを行ったとき、本機で対応していない機能のボタンが含まれていました。

必要なボタンがすべてインポートされているか、本機を確認します。

経路登録に失敗。「静的ルーティング設定」を確認して下さい。

静的ルーティングの設定で、ルーティングテーブルの登録に失敗しているエントリーがあります。

静的ルーティングのIPアドレスとゲートウェイアドレスが正しく設定されているかを確認します

🔗静的ルーティングを設定する (P. 131)

原稿台の原稿を取り除いてください。

原稿台ガラスに原稿が残っています。

原稿台ガラスの原稿を取り除いたあと、原稿をセットします。

原稿読み取り部 (フィーダー側) が汚れています。

フィーダー原稿読み取りエリアにゴミなどが付着して汚れています。

[フィーダー原稿読み取りエリアを清掃します](#)

④ [フィーダーを清掃する \(P. 1313\)](#)

原稿読み取り部 (細長いガラス面) が汚れています。

フィーダー原稿読み取りエリアの細長いガラス部にゴミなどが付着して汚れています。

[フィーダー原稿読み取りエリアを清掃します](#)

④ [フィーダーを清掃する \(P. 1313\)](#)

原稿を 1 枚目に戻して [スタート] キーを押してください。

フィーダーに何らかのトラブルが発生したため、スキャンを中止しました。

[すべての原稿をセットしなおして、\[スタート\] を押します](#)

④ [フィーダーに原稿をセットする \(P. 198\)](#)

原稿を 1 枚目に戻して [スタート] キーを押してください。(読み込んだ原稿のデータが本機で扱えるサイズの上限を超えました。自動的に設定を補正して再度読み込みを行います。)

読み取った原稿のデータが、本機で扱えるサイズの上限を超えたため、スキャンを中止しました。

[すべての原稿をセットしなおして、\[スタート\] を押します](#)

④ [フィーダーに原稿をセットする \(P. 198\)](#)

※メッセージが繰り返し表示される場合は、シャープネスを弱く調整し、原稿の種類を [文字] に設定すると、スキャンできることがあります。

現在、他のユーザがデバイスを使用中です。しばらく待ってから、操作してください。

他のユーザーが本機を使用しています。

しばらく時間をおいてから、操作しなおします。

検索上限数を超えました。目的の宛先が検索結果に表示されない場合は、検索条件を変更してください。

検索条件に該当する宛先が、検索上限数を超えています。

[検索条件を変更して、検索しなおします](#)

④ [宛先を指定する - LDAP サーバー \(P. 320\)](#)

[検索する宛先の上限数を増やします](#)

④ [LDAP サーバーを登録する \(P. 125\)](#)

検索条件に、選択したサーバーでは使用できない文字が含まれています。

検索条件に使用できない文字、または文字の組み合わせが指定されています。

[検索条件に"¥"が含まれていませんか？](#)

検索条件から"¥"を除いて、検索しなおします。

[括弧の組み合わせやアスタリスクの位置は正しいですか？](#)

以下を確認して、検索しなおします。

- " ("と") " は同数含めます。
- "*" は " () " 内に含めます。

ASCII コード以外の文字が含まれていませんか？

サーバーの LDAP バージョンと文字コードが「ver.2 (JIS)」の場合は、ASCII コード (0x20-0x7E) 以外の文字が使用できません。使用できない文字を除いて、検索しなおします。

検証時にエラーが発生しました。

証明書が正しくありません。

[正しい証明書を登録後、設定しなおします](#)

- ①発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する (P. 802)
- ②TLS を使用する (P. 777)

この CRL は不正です。

CRL (証明書失効リスト) が壊れているか、本機で使用できない署名アルゴリズムを使用している可能性があります。

[CRL を登録します](#)

- ①CRL (証明書失効リスト) を登録して検証する (P. 805)

この CRL は有効期限切れです。

CRL (証明書失効リスト) の有効開始日が、未来の日付に設定されている可能性があります。

[本機に登録されている CRL の有効開始日を確認します](#)

有効開始日が未来の日付に設定されている場合、有効開始日以降に利用します。②CRL (証明書失効リスト) を登録して検証する (P. 805)

[本機の日時が正しく設定されているかを確認します](#)

- ①日付／時刻を設定する (P. 870)

このアプリケーションはセキュリティーポリシー機能に対応していません。

開始しようとした MEAP アプリケーションは、本機のセキュリティーポリシーに従わない動作をする可能性があります。

アプリケーションのセキュリティー機能を確認したうえで、使用するかどうかを判断します。

この鍵のアルゴリズムはサポートされていないため登録することができません。

サポートされていない暗号アルゴリズムの鍵と証明書ファイルを登録しようとしてしました。

[サポートされている暗号アルゴリズムの鍵と証明書ファイルを登録します](#)

- ①鍵と証明書 (P. 67)
- ②発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する (P. 802)

この鍵は壊れているか無効のため使用鍵に設定できません。

本機に登録されている鍵が壊れているため設定できませんでした。

[鍵を登録しなおします](#)

- ①発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する (P. 802)

この証明書は失効しています。

証明書が CRL (証明書失効リスト) に含まれています。

[新しい証明書を登録します](#)

④発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する (P. 802)

この証明書は不正です。

証明書が正しくありません。

[正しい証明書を登録後、設定しなおします](#)

④発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する (P. 802)

④TLS を使用する (P. 777)

この証明書は有効期限切れです。

証明書の有効期限が切れている可能性があります。

[本機に登録されている証明書の有効期限を確認します](#)

有効期限が切れている場合、有効期限内の証明書を登録します。④発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する (P. 802)

[本機の日時が正しく設定されているかを確認します](#)

④日付／時刻を設定する (P. 870)

このジョブはプリントできません。

ホチキス可能な枚数を超えているため、ジョブを中止しました。

[ホチキス可能な用紙の枚数を確認してから、もう一度実行します](#)

④対応オプション一覧 (P. 4)

※ホチキス可能な枚数を超えた場合の処理方法は変更できます。

④【ホチキス枚数オーバー時の処理】 (P. 1049)

このデバイスには、指定したアプリケーションをインストールできません。

拡張システムアプリケーション以外のアプリケーションをインストールしようとしてしました。

インストールするアプリケーションを指定しなおします。

このファンクションは現在使用できません。[ホーム] から他のファンクションを使用できます。

機能制限モード中に制限されている機能を選択しました。

使用できる機能を選択します。④エラー時に機能を制限して本機を使用する (P. 1445)

さ行

サーバーから応答がありませんでした。設定を確認してください。

指定したサーバーが、正しく設定されていない、電源が入っていない、リソースが不足しているなどの原因が考えられます。

しばらく時間をおいてから、もう一度サーバーを指定します。それでもサーバーから応答がない場合は、他のサーバーを選択します。

サーバーのバージョン設定が間違っているため検索できません。設定を確認してください。

LDAP サーバーと本機で、LDAP バージョンの設定が異なります。

[LDAP サーバーの LDAP バージョンと文字コードの組み合わせを確認します](#)

LDAP サーバーを確認して、LDAP バージョンを設定します。 ➤ [LDAP サーバーを登録する \(P. 125\)](#)

サーバーを確認してください。

WebDAV サーバーとの通信に失敗しました。または、WebDAV サーバーのディスクスペースが不十分です。

[WebDAV サーバーおよびプロキシサーバーの設定を確認します](#)

- プロキシを経由して WebDAV サーバーにアクセスするように正しく設定します。
- 送信先へのアクセスを許可するように設定します。
- プロキシサーバーが上流サーバーとの通信に失敗した可能性があるため、通信できる設定になっているかを確認します。

[チャンク分割送信を無効にします](#)

➤ [\[WebDAV 送信時にチャンク分割送信を使用\] \(P. 1078\)](#)

[WebDAV サーバーのディスクスペースを確保します](#)

WebDAV サーバー上に、本機のリクエストに対する十分なディスクスペースを確保します。

最適サイズの XX がありません。

最適なサイズの下紙がセットされていません。または、給紙部の自動選択で選択できない種類の下紙がセットされています。

※メッセージの XX には、下紙サイズが表示されます。

[表示されているサイズの下紙をセットします](#)

➤ [下紙のセット方法 \(P. 211\)](#)

[手動で給紙部を指定します](#)

表示されているサイズの下紙がセットされた給紙部を指定します。

[最適なサイズの下紙がセットされている給紙部が自動選択の対象になるように設定します](#)

➤ [機能ごとに適切な給紙部を使用する \(P. 265\)](#)

サブネットの競合を検出したため副回線を停止しました。

主回線と副回線のネットワークアドレスが競合しています。

[主回線と副回線の IP アドレス、サブネットマスク設定を確認します](#)

➤ [IPv4 アドレスを設定する \(P. 110\)](#)

➤ [副回線の IPv4 アドレスを設定する \(P. 112\)](#)

サポートする有線 LAN アダプターが接続されていません。

USB-LAN アダプターが接続されていない、または本機では使用できない USB-LAN アダプターが接続されています。

[USB-LAN アダプターの接続を確認します](#)

➤ [有線 LAN に接続する \(P. 99\)](#)

[使用できる USB-LAN アダプターを確認します](#)

使用可能な USB-LAN アダプターについては、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

参照先の階層が深すぎます。

階層が深すぎるため、設定できる文字数を超過しました。
他の宛先を指定しなおします。

出力された用紙をすべて取り出してください。

排紙トレイに用紙がたまっています。

排紙トレイから、出力された用紙をすべて取り除きます。

指定されたアプリケーションに含まれるアプレットがデバイスのパネルで表示できる領域を超えるため、インストールできません。

アプレットの表示が、本機の画面で表示できる領域を超えているため、インストールできません。

本機の表示領域に収まるアプレットのアプリケーションをインストールします。

指定されたアプリケーションのファイルに、以下の情報が不足しています。ファイルを確認してください。

<Missing information>

アプリケーションに必要な情報がファイルに含まれていないため、インストールできません。

ファイルの内容を確認しても問題がない場合は、画面に表示された足りない情報について、アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

指定されたアプリケーションは、このデバイスをサポートしていません。

指定されたアプリケーションを本機にインストールできません。

アプリケーションによっては、インストールできる機種が決められています。本機に対応しているアプリケーションをインストールします。

指定されたファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

指定したファイルがライセンスファイルでないか、ファイルの情報が不足しています。

正しいライセンスファイルを指定しなおします。

指定したアプリケーションが見つかりません。他のユーザーによってアンインストールされた可能性があります。

指定したアプリケーションが本機にインストールされていません。

〔戻る〕を押すと、操作元の画面へ戻ります。

指定したファイルの内容が正しくない可能性があります。

インポートを行ったとき、異なるファイルを指定してボタンを登録しようとしてしました。

正しいファイルを指定して、インポートしなおします。

指定したライセンスは、このデバイスには対応していません。インストール可能なライセンスを指定してください。

指定したライセンスファイルは、本機にはインストールできません。

本機に対応したライセンスファイルを指定しなおします。

使用鍵が設定されていません。「TLS 設定」を確認してください。

鍵と証明書（TLS サーバー証明書）が登録されていません。

[TLS 暗号化通信に使用する鍵と証明書を設定します](#)

🔑 TLS を使用する (P. 777)

使用鍵が設定されていません。「証明書設定」の「鍵と証明書リスト」で設定を確認してください。

鍵と証明書（TLS サーバー証明書）が登録されていません。

[TLS 暗号化通信に使用する鍵と証明書を登録します](#)

🔗 [鍵と証明書を管理／検証する \(P. 789\)](#)

使用可能なバージョンと選択されているアルゴリズムの組み合わせが正しくありません。再設定してください。

TLS バージョンとアルゴリズムが、設定できない組み合わせです。

[TLS バージョンとアルゴリズムの組み合わせを確認して設定しなおします](#)

🔗 [TLS を使用する \(P. 777\)](#)

使用できない有線 LAN アダプターが接続されています。

本機では使用できない USB-LAN アダプターが接続されています。

使用可能な USB-LAN アダプターについては、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

証明書が確認できませんでした。

認証局の CA 証明書が確認できませんでした。

[認証局が発行した CA 証明書を登録します](#)

🔗 [発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する \(P. 802\)](#)

シンタックスエラー

LIPS LX モードでプリント中に、処理できないデータが送られてきました。

[\[エラースキップ\] を押して、プリントを続けます](#)

エラースキップした場合、エラーの原因となっているデータは正しくプリントされません。

推奨の環境タイプが更新されました。

おすすめセキュリティ設定で環境タイプの推定を行ったか、接続環境の変更などにより、その推定結果が変更されました。

[推定された環境タイプを確認し、必要に応じてそのセキュリティ設定に変更することをおすすめします。](#)

※セキュリティ設定を変更しない場合も、推奨環境タイプの更新時の通知を無効にすることで、このメッセージを表示しないようにできます。

🔗 [セキュリティ通知を設定する \(P. 848\)](#)

すべてのページが白紙のため、実行できませんでした。

スキャンした原稿がすべて白紙と判定されました。

[原稿に白紙ではないページが含まれている場合、白紙節約の設定を確認します](#)

🔗 [白紙ページをコピーしないようにする - 白紙節約 \(P. 602\)](#)

接続できません。

プロキシ認証に失敗しました。

[プロキシが正しく設定されているか確認します](#)

🔗 [プロキシを使用する \(P. 773\)](#)

「設定/登録」で使用されている用紙のため、編集または削除できません。

他の設定で登録されている用紙を、[用紙種類の管理設定] で編集または削除しようとした。

「よく使う用紙」として登録している場合は、登録を解除します

①手差しトレイでよく使用する用紙を登録する (P. 259)

補正の対象用紙として設定している場合は、別の用紙を補正対象に設定しなおします

①階調を補正する (P. 1359)

設定が確定される前にジョブが実行されました。設定を見直してください。

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類が設定されていない状態で、[スタート] が押されました。[OK] を押すと、用紙設定の画面に戻ります。

用紙サイズと用紙種類を設定します

①手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 251)

設定/登録の「コンピューター名」を確認してください。

WINS データベースや本機が属するワークグループ内に、同じ名前のパソコンやプリンターが存在します。

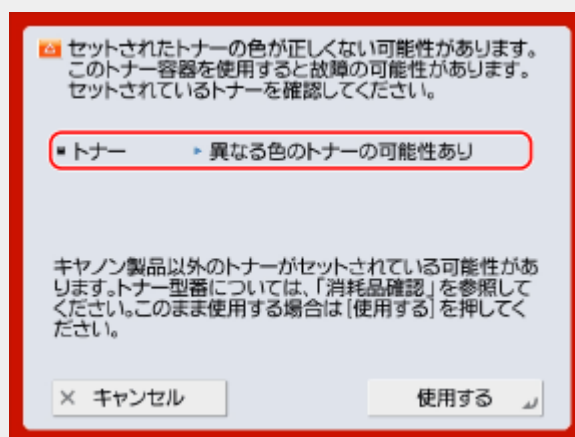
[コンピューター名/ワークグループ名の設定] を他のパソコンやプリンターと同じ名前にならないように設定します

① [コンピューター名/ワークグループ名の設定] (P. 991)

セットされたトナーの色が正しくない可能性があります。このトナー容器を使用すると故障の可能性があります。セットされているトナーを確認してください。

セットしたトナーの色が間違っている可能性があります。

表示されたトナー容器の状態を確認します



- トナー容器を交換する場合は [キャンセル] を押します。
- このままの状態で使用し続ける場合は [使用する] を押します。ただし、本機の故障や機能の一部が正しく動作しないなどの問題が発生しても、保証の対象外です。
- 対処方法が不明な場合は、トナー容器を購入した販売店または担当サービスにお問い合わせください。

選択した鍵は使用中のため変更できません。

削除しようとした鍵と証明書が、TLS 暗号化通信で使用されています。

TLS 暗号化通信を使用する機能を確認します

削除しようとした鍵と証明書を使用している機能があった場合、TLS 暗号化通信の設定を解除します。 ➡
TLS を使用する (P. 777)

選択したサーバーが見つかりませんでした。設定を確認してください。

IP アドレスを特定できませんでした。または、LDAP サーバーの認証情報を [使用する (セキュリティ認証)] に設定しているため、ホスト名を特定できませんでした。

本機の DNS 設定と DNS サーバー側の設定が正しいか確認します
➡DNS を設定する (P. 118)

選択したサーバーに接続できません。設定を確認してください。

LDAP サーバーに接続できませんでした。

LDAP サーバーの設定や稼働状況を確認します

- LDAP サーバーのサーバーアドレス、ポート番号が正しく設定されているか確認します。 ➡LDAP サーバーを登録する (P. 125)
- LDAP サーバーの [認証情報] を [使用する (セキュリティ認証)] に設定している場合は、UDP パケットがフィルターで遮断されていないか確認します。 ➡LDAP サーバーを登録する (P. 125)
- LDAP サーバーが正常に動作しているか確認します。

TCP/IP 設定のゲートウェイアドレスが正しく設定されているか確認します
➡IPv4 アドレスを設定する (P. 110)

選択した設定メニューは使用できません。システム管理者にお問い合わせしてください。

選択した設定メニューは変更不可あるいは非対応です。
システム管理者にお問い合わせください。

選択したボタンは無効の可能性があります。システム管理者にお問い合わせください。

選択したユーザーは存在しません。または、管理者権限が無効になっています。

- 管理者権限を持つ他のユーザーを選択します。
- 管理者でログインしてからボタンを登録しなおします。

送信できませんでした。

送信データやサーバーに問題があるため、送信できませんでした。

WebDAV サーバーまたはプロキシサーバーにエラーが発生していませんか？

エラーが発生している場合は、WebDAV サーバーの設定またはプロキシサーバーの設定を確認します。

指定したファイル／フォルダーへのアクセスや、フォルダーへのパスを確認します

- 指定したファイル／フォルダーに外部からアクセスできるよう、WebDAV サーバーが正しく設定されているか確認します。
- 宛先が正しく設定されているか、サーバー（ホスト名）／フォルダーのパスが長すぎないか、確認します。

➡共有フォルダー／ファイルサーバー／アドバンスドボックスの宛先の設定 (P. 308)

しばらく時間をおいてから、送信しなおします

WebDAV サーバーへのアクセスが混み合っていることがあります。

チャック分割送信を無効にします

🔗 [WebDAV 送信時にチャンク分割送信を使用] (P. 1078)

送信データのサイズを小さくして、送信しなおします

🔗 スキャンの設定 (P. 441)

た行

タイムアウトが発生しました。しばらく待ってからアクセスしなおしてください。

一定時間が経過したため、セッションがタイムアウトしました。

しばらく時間をおいてから、アクセスしなおします

セッションのタイムアウトが続く場合は、本機を再起動します。🔗再起動する (P. 148)

タイムアウトにより検索を終了できませんでした。設定を確認してください。

指定した時間内に検索が終了できませんでした。

検索のタイムアウトの時間を長く設定します

🔗 LDAP サーバーを登録する (P. 125)

対応していないデータがファイルに含まれているため、実行できませんでした。

記述内容が正しくないため、ページを生成できません。

本機に対応した形式のデータでプリントしなおします。

ダイレクト接続 エラーが発生したため終了しました。

モバイル機器との接続に失敗したか、接続中のモバイル機器との間でデータの送受信が一定時間以上行われませんでした。

モバイル機器と接続しなおします

🔗 モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続 (P. 663)

ダイレクト接続 接続相手が見つかりませんでした。

接続可能なモバイル機器が見つかりません。

モバイル機器の Wi-Fi が有効になっていることを確認します

- モバイル機器の Wi-Fi が無効な場合は、有効にします。
- 本機にモバイル機器を近づけて接続操作をします。
- 正常に接続できない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

※モバイル機器によっては、正しく動作しないことがあります。

多要素認証が有効になっているため、ログインできません。システム管理者に問い合わせてください。

Microsoft Entra ID サーバー情報が正しく設定されていません。

Microsoft Entra ID サーバー情報を確認し、必要に応じて設定を変更します。

🔗 認証サーバー情報を登録する (P. 707)

調整中です。しばらくお待ちください。

本機内部で自動調整中です。

調整が終わると、自動的にプリントが再開されます。

定着器が寿命になりました。(交換を推奨)

定着器が寿命になりました。

印刷は可能ですが、プリント品質が低下します。早めの交換をおすすめします。定着器の交換は、販売店または担当サービスにご連絡ください。

データベースにアクセスできませんでした。デバイスを再起動してください。

ユーザーデータベースの破損などにより、ユーザーデータベースへのアクセスに失敗しました。

[本機を再起動します](#)

①再起動する (P. 148)

電子署名の証明書アクセスエラー

ユーザー署名または機器署名の送信時に、該当の証明書にアクセスできませんでした。

[本機に登録されているユーザー証明書または機器証明書の内容を確認します](#)

①ユーザー署名用の鍵と証明書を登録する (P. 831)

②機器署名用の鍵と証明書を生成／登録する (P. 830)

電子署名の証明書期限エラー

証明書の有効期限が切れています。

[本機に登録されている証明書の有効期限を確認します](#)

有効期限が切れている場合、有効期限内の証明書を登録します。①発行機関から取得した鍵と証明書／CA証明書を登録する (P. 802)

[本機の日時が正しく設定されているかを確認します](#)

①日付／時刻を設定する (P. 870)

同一ユーザーが複数登録されているため、ログインできません。システム管理者に問い合わせてください。

ユーザー名の大文字／小文字を区別しない設定になっているため、ユーザー名の判別ができませんでした。

[ユーザー名の太文字／小文字を区別するように設定します](#)

①「ユーザー名の太文字/小文字を区別する」 (P. 1147)

[別の名前でユーザーを登録します](#)

①ローカルデバイスにユーザー情報を登録する (P. 687)

登録可能なボタンデータの上限に達しているため、登録できません。

登録可能なボタンの数の上限を超えるため、登録できません。

[登録済みのボタンに上書き登録するか、不要なボタンを削除します](#)

①「ホーム」画面をカスタマイズする (P. 172)

登録可能なボタンの上限を超えるため、インポートできません。

インポートを行ったとき、登録可能なマイボタン／共有ボタンの数の上限を超えるため、登録できませんでした。

[不要なマイボタン／共有ボタンを削除してから、インポートします](#)

④ [ホーム] 画面をカスタマイズする (P. 172)

登録可能なユーザー数の上限に達しているため、登録できませんでした。

ユーザー数が上限を超えるため、登録できません。

[不要なユーザーを削除します](#)

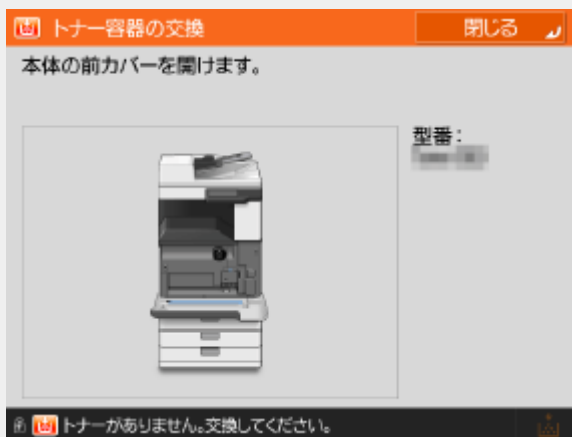
④ [認証ユーザーの登録/編集] (P. 1145)

トナーがありません。交換してください。

トナーがなくなりました。

[新しいトナー容器に交換します](#)

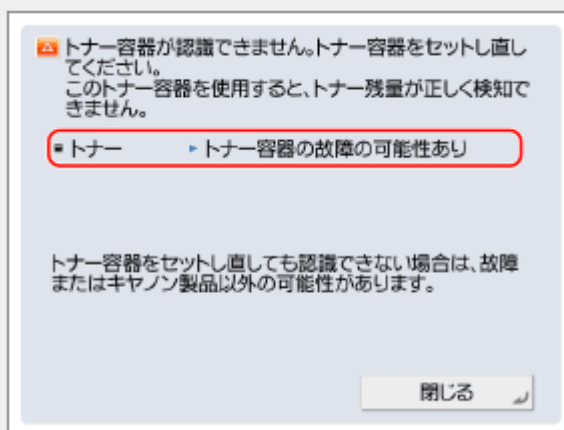
画面の指示に従ってトナー容器を交換します。④ トナー容器を交換する (P. 1323)



トナー容器が認識できません。トナー容器をセットし直してください。このトナー容器を使用すると、トナー残量が正しく検知できません。

トナー容器が正しくセットされていません。または、トナー容器が故障しているか、間違った型番のトナーがセットされている可能性があります。

[表示されたトナー容器の状態を確認します](#)



- トナー容器をセットしなおします。
- このままの状態で使用し続ける場合は「閉じる」を押します。ただし、本機の故障や機能の一部が正しく動作しないなどの問題が発生しても、保証の対象外です。
- 対処方法が不明な場合は、トナー容器を購入した販売店または担当サービスにお問い合わせください。

トナー容器の準備が必要です。(継続プリント可)

トナー容器内のトナー残量が少なくなりました。

いつでも交換できるように新しいトナー容器を準備します
この時点ではトナー容器を交換する必要はありません。

ドラムのクリーニング中です。お待ちください。

本機内部でドラムのクリーニング中です。
クリーニングが終わると、自動的にプリントが再開されます。

な行

二次転写外ローラーが寿命になりました。(交換を推奨)

二次転写外ローラーが寿命になりました。
印刷は可能ですが、プリント品質が低下します。早めの交換をおすすめします。二次転写外ローラーの交換は、販売店または担当サービスにご連絡ください。

入力された暗証番号が正しくありません。

間違った暗証番号が入力されました。

暗証番号を入力しなおします
正しい暗証番号がわからない場合は、管理者にお問い合わせください。

認証サーバーが動作していません。システム管理者に問い合わせてください。

何らかの理由で、認証サーバーと通信できませんでした。

本機の LAN ケーブルが外れていませんか？

●有線 LAN に接続する (P. 99)

Active Directory サーバーは起動していますか？

起動していない場合は、Active Directory サーバーを起動します。

Active Directory の KDC (Key Distribution Center) サービスが停止していませんか？

以下の方法でサービスの状況を確認します。

1. Active Directory の Windows の管理ツールからサービスを起動する
2. Active Directory ドメインサービスの状態を確認し、開始されていない場合はサービスを開始する

Active Directory サーバーとの通信がファイアウォールによってブロックされているかどうかを確認します
Active Directory の Kerberos サービスのポート（初期設定：88）がブロックされていたら、解除します。

※Active Directory をログイン先に指定した場合は、通常は 88 ポートに対して UDP プロトコルで通信を行いますが、通信を行うデータが一定以上の大きさに達した場合、TCP プロトコルで処理されることがあります。

認証サーバーが見つかりません。システム管理者に問い合わせてください。

何らかの理由で、認証サーバーと通信できませんでした。

本機の LAN ケーブルが外れていませんか？

●有線 LAN に接続する (P. 99)

DNS サーバーは正しく設定されていますか？

本機の DNS サーバーの設定を確認し、設定しなおします。セカンダリー DNS サーバーを使用している場合は、その設定も確認します。 ➡ **DNS を設定する (P. 118)**

指定した DNS サーバーは起動していますか？

起動していない場合は、DNS サーバーを起動します。

指定した DNS サーバーのサービスが停止していませんか？

以下の方法で DNS サーバーの状態を確認します。

1. DNS サーバーの Windows の管理ツールからサービスを起動する
2. DNS サーバーの状態を確認し、開始されていない場合はサービスを開始する

DNS サーバーにホストレコードが存在するか確認します

DNS サーバーにホストレコードが存在するかと、フォワーダーの設定が適切かどうかを確認します。

認証サーバー側でパスワードが設定されていません。システム管理者に問い合わせてください。

Active Directory の構築やバージョンアップをしたときに、サーバー側で適切なパスワードが設定されていません。該当アカウントのパスワードをリセットし、再設定します。

認証サーバーへの匿名アクセスが許可されていないため、ログインできません。システム管理者に問い合わせてください。

LDAP サーバーで匿名アクセスが許可されていません。

LDAP サーバーにアクセスするための認証情報を設定します

LDAP サーバーの情報入力画面で「認証情報を使用する」にチェックマークを付け、LDAP サーバーに登録されている内容に合わせて、ユーザー名とパスワードを設定します。 ➡ **認証サーバー情報を登録する (P. 707)**

認証サーバーへのログインに必要なアカウント情報が不正です。システム管理者に問い合わせてください。

管理者としてログインできませんでした。

ユーザー名とパスワードが正しいですか？

管理者権限を持つアカウント情報を正しく設定します。

属性が正しく設定されているか確認します

正しく設定されている場合は、サーバーで登録されている各属性の値が正しいか確認します。 ➡ **認証サーバー情報を登録する (P. 707)**

ネットワーク上に競合する IP アドレスを検出しました。

本機に設定した IPv4 アドレスと同じ IPv4 アドレスが、本機と同じネットワーク上にあります。

本機の IP アドレスを他のデバイスと同じにならないように変更します

➡ **IPv4 アドレスを設定する (P. 110)**

ネットワーク上に競合する IP アドレスを検出しました。(主回線)

本機の主回線に設定した IPv4 アドレスと同じ IPv4 アドレスが、本機と同じネットワーク上にあります。

本機の主回線の IP アドレスを他のデバイスと同じにならないように変更します

➡ **IPv4 アドレスを設定する (P. 110)**

ネットワーク上に競合する IP アドレスを検出しました。(副回線)

本機の副回線に設定した IPv4 アドレスと同じ IPv4 アドレスが、本機と同じネットワーク上にあります。

本機の副回線の IP アドレスを他のデバイスと同じにならないように変更します

🔗副回線の IPv4 アドレスを設定する (P. 112)

ネットワークでエラーが発生したため実行できませんでした。

接続先のアドバンスドボックスにスキャンデータやパソコン上のファイルを保存できませんでした。

保存先のアドバンスドボックス設定で、外部からのフォルダー作成やファイル保存が禁止されていないか確認します

保存先のアドバンスドボックス設定で、外部からの書込禁止を OFF に設定します。

共有スペースまたは個人スペース直下にファイルを保存しようとしたか？

アドバンスドボックスの共有スペース (share) または個人スペース (users) 直下には、ファイルを保存できません。配下のフォルダー内にファイルを保存します。

保存先のフルパス（ファイル名と保存場所を示すフォルダー名）が長すぎませんか？

パスの文字数が「/share」または「/users」を含めて 256 文字以内に収まるように、フォルダー名やファイル名を短くするか、保存先を変更します。

保存先の不要なファイルを削除するか、保存先を変更します

保存可能なファイル／フォルダー数の上限を超えたか、ストレージの容量が不足している可能性があります。

ネットワークの接続を確認してください。

本機と LAN ケーブルが正しく接続されていません。

本機の LAN ケーブルが外れていませんか？

🔗有線 LAN に接続する (P. 99)

LAN ケーブルを接続しなおした場合は、本機を再起動します。 🔗再起動する (P. 148)

本機をネットワークに接続しないで使用する場合は、[ネットワークの設定変更/接続の確認表示] を [OFF] に設定します

🔗 [ネットワークの設定変更/接続の確認表示] (P. 981)

ネットワークの接続を確認してください。(主回線)

本機と主回線の LAN ケーブルが正しく接続されていません。

本機の LAN ケーブルが外れていませんか？

🔗有線 LAN に接続する (P. 99)

LAN ケーブルを接続しなおした場合は、本機を再起動します。 🔗再起動する (P. 148)

本機をネットワークに接続しないで使用する場合は、[ネットワークの設定変更/接続の確認表示] を [OFF] に設定します

🔗 [ネットワークの設定変更/接続の確認表示] (P. 981)

ネットワークの接続を確認してください。(副回線)

本機と副回線の LAN ケーブルが正しく接続されていません。

本機の LAN ケーブルが外れていませんか？

🔗有線 LAN に接続する (P. 99)

LAN ケーブルを接続しなおした場合は、本機を再起動します。 🔗再起動する (P. 148)

本機をネットワークに接続しないで使用する場合は、[ネットワークの設定変更/接続の確認表示] を [OFF] に設定します

➡ [ネットワークの設定変更/接続の確認表示] (P. 981)

は行

パスワードの有効期間よりも長い期間が設定されています。再設定してください。

パスワード変更禁止期間が、パスワードの有効期限よりも長く設定されています。

パスワード変更禁止期間を、パスワードの有効期限よりも短く設定します。

➡ [パスワード変更禁止期間の設定] (P. 1152)

針なしとじは現在使用できません。

針なしとじユニットが故障しています。

販売店または担当サービスにお問い合わせください。

「針なしとじ」と組み合わせできない機能が設定されているため、ジョブを中止しました。設定を変更して、もう一度実行してください。ホチキスの位置、または用紙の種類を変更することで「針なしとじ」を実行できる場合があります。

用紙の種類によっては、ホチキスの位置が限定されます。

ホチキスの位置を [左上] または [右下] にするか、用紙の種類を変更します。

フィーダーから原稿を正常に給紙できないため、スキャンを中止しました。

原稿が重なって給紙されたか、使用できない種類の原稿が給紙されたため、フィーダーに原稿がつまりました。

フィーダーの原稿を取り除いたあと、原稿をセットしなおします

- つまった原稿を取り除きます。 ➡ **フィーダーに原稿が詰まった (P. 1520)**
- 適切な原稿を確認し、セットしなおします。 ➡ **原稿のセット方法 (P. 196)**

フィーダーにつまっていた原稿と原稿給紙トレイに残っていた原稿とをあわせて、再度原稿給紙トレイにセットして [スタート] キーを押してください。

フィーダーに原稿が詰まったため、スキャンを中止しました。

つまっていた原稿以降をセットしなおして、[ スタート] を押します

➡ **フィーダーに原稿をセットする (P. 198)**

フィーダーの原稿を取り除いてください。

フィーダーではスキャンできない機能を使用しています。

フィーダーの原稿を原稿台ガラスにセットしなおします。

複数の宛先が指定されているため送信できません。

同報送信が制限されています。

[ファクス宛先を含む同報送信を制限] を [OFF] に設定します。

➡ [ファクス宛先を含む同報送信を制限] (P. 1100)

複数のジョブを実行中です。

スキャンと並行して、プリント、送信など複数のジョブが実行中です。
スキャンが再開されるまで、しばらく待ちます。

「部門別 ID 管理」の認証エラーのためログインできません。システム管理者に問い合わせてください。

User Authentication 運用時に、ユーザーに部門 ID が割り当てられない状態で部門別 ID 管理が有効になっています。

[ユーザーに部門 ID を割り当てます](#)

🔗 [ユーザーに部門 ID を設定する \(P. 733\)](#)

どの管理者ユーザーもログインできない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター DLG 入力不正

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔗 [再起動する \(P. 148\)](#)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター DLG 描画エラー

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔗 [再起動する \(P. 148\)](#)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター DLG 不明エラー

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔗 [再起動する \(P. 148\)](#)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター DLG メモリーフル

システムがデータ処理（主に図形処理や文字処理）をしているときに、必要なワークメモリーが不足しました。

[\[エラースキップ\]](#)を押して、[プリントを続けます](#)

エラースキップした場合、エラーの原因となっているデータが含まれるページは正しくプリントされない可能性があります。

プリンター DLG メモリー割当 NG

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔵再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター GL 原点位置不明

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔵再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター GL 座標エラー

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔵再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター GL 入力不正

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔵再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター GL 範囲確認

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔵再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター GL メモリーフル

システムがデータ処理（主に図形処理や文字処理）をしているときに、必要なワークメモリーが不足しました。

[\[エラースキップ\]](#) を押して、[プリントを続けます](#)

エラースキップした場合、エラーの原因となっているデータが含まれるページは正しくプリントされない可能性があります。

プリンター GL メモリー割当 NG

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔵 [再起動する \(P. 148\)](#)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター IMG 参照データ NG

TIFF または JPEG データに本機で処理できないデータが含まれています。

[プリントを中止し、プリンターを初期化してからプリントしなおします](#)

プリンターを初期化すると、メモリーの空き容量を増やすことができます。ただし、本機のメモリー内のプリントデータはすべて削除されます。🔵 [【プリンター初期化】 \(P. 1256\)](#)

プリンター IMG 初期化エラー

TIFF または JPEG データをプリントするために必要なメモリーが不足しました。

[プリントを中止し、プリンターを初期化してからプリントしなおします](#)

プリンターを初期化すると、メモリーの空き容量を増やすことができます。ただし、本機のメモリー内のプリントデータはすべて削除されます。🔵 [【プリンター初期化】 \(P. 1256\)](#)

プリンター IMG 処理エラー

TIFF または JPEG データの処理中に、何らかの異常が発生しました。

[プリントを中止し、プリンターを初期化してからプリントしなおします](#)

本機のメモリー内のプリントデータはすべて削除されます。🔵 [【プリンター初期化】 \(P. 1256\)](#)

プリンター IMG データ不正

TIFF または JPEG データの中に、本機では処理できないデータが含まれています。また、本機に設定した IP アドレスと同じ IP アドレスが、本機と同じネットワーク上にあるなどの理由で、本機が処理できないデータが送信されることがあります。

[本機の IP アドレスを他のデバイスと同じにならないように変更します](#)

🔵 [IPv4 アドレスを設定する \(P. 110\)](#)

🔵 [IPv6 アドレスを設定する \(P. 114\)](#)

[\[エラースキップ\] を押して、プリントを続けます](#)

エラースキップした場合、エラーの原因となっているデータはプリントされません。

プリンター IMG ワークフル

TIFF または JPEG データを処理するために必要なメモリーが不足しました。

[プリントを中止し、プリンターを初期化してからプリントしなおします](#)

プリンターを初期化すると、メモリーの空き容量を増やすことができます。ただし、本機のメモリー内のプリントデータはすべて削除されます。🔵 [【プリンター初期化】 \(P. 1256\)](#)

[\[エラースキップ\] を押して、プリントを続けます](#)

エラースキップした場合、エラーの原因となっているデータはプリントされません。

プリンター LIPSLX Trs.フル

プリントデータを処理するために必要なメモリーが不足しました。または、LIPS LX モード専用のワークメモリーが確保できません。

TIFF または JPEG データをプリントする場合は、イメージモードでプリントしなおします
LIPS LX プリンタードライバーの [グラフィックモード] を [イメージモード] に設定します。詳しくは、
LIPS LX プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

プリントを中止し、プリンターを初期化してからプリントしなおします

プリンターを初期化すると、メモリーの空き容量を増やすことができます。ただし、本機のメモリー内のプリントデータはすべて削除されます。➡ **【プリンター初期化】 (P. 1256)**

【エラースキップ】 を押して、プリントを続けます

エラースキップした場合、エラーの原因となっているデータは正しくプリントされません。

プリンター LIPSLX Ver. NG

本機が対応していないバージョンの LIPS LX データを受信しました。

本機用の LIPS LX プリンタードライバーをインストールして、プリントしなおします

➡ **パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール (P. 140)**

【エラースキップ】 を押して、プリントを続けます

エラースキップした場合、エラーの原因となっているデータは正しくプリントされません。

プリンター LIPSLX エリア NG

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

本機を再起動します

➡ **再起動する (P. 148)**

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター LIPSLX 管理 NG

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

本機を再起動します

➡ **再起動する (P. 148)**

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター nn エラー (nn はモジュール名)

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

本機を再起動します

➡ **再起動する (P. 148)**

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター PDF エラー

本機では処理できない PDF データが送信されました。

- Adobe Acrobat で PDF の最適化を行い、プリントしなおします。
- アプリケーションで PDF ファイルを開いて、プリンタードライバーを使用してプリントしなおします。

- 上記を実施しても改善されない場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター PDF データ復号エラー

暗号化された PDF ファイルを復号できません。

[プリントするためのパスワードが間違っていないですか？](#)
正しいパスワードを入力して、プリントしなおします。

[PDF ファイルのセキュリティ設定で、プリントが許可されていますか？](#)
プリントが許可されていない場合、PDF ファイルを編集できるアプリケーションで、プリントを許可する設定に変更します。

プリンター PDF メモリーフル

PDF データを処理するのに必要なメモリーが不足しています。

- Adobe Acrobat で PDF の最適化を行い、プリントしなおします。
- Adobe Acrobat で PDF データのページを分割し、複数のデータに分けてプリントしなおします。
- アプリケーションで PDF ファイルを開いて、プリンタードライバを使用してプリントしなおします。

プリンター RIP 処理エラー

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)
🔵再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター XPS エラー

定義されていないエラーが発生しました。

[本機を再起動します](#)
🔵再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター XPS 初期化エラー

初期化するときにメモリー取得ができないなど、何らかのエラーが発生しました。

[本機を再起動します](#)
🔵再起動する (P. 148)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター XPS レンダリングエラー

レンダリングシステムでエラーが発生しました。

[本機を再起動します](#)

🔵 [再起動する \(P. 148\)](#)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター 画像圧縮エラー

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔵 [再起動する \(P. 148\)](#)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター 描画 Timeout

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔵 [再起動する \(P. 148\)](#)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター 転送エラー

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔵 [再起動する \(P. 148\)](#)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プリンター レジスターエラー

本機のプリンター機能に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなりました。

[本機を再起動します](#)

🔵 [再起動する \(P. 148\)](#)

再起動してもメッセージが表示される場合は、メッセージを書きとめ、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

プロキシサーバーと接続できません。システム管理者に問い合わせてください。

プロキシサーバー情報が正しく設定されていません。

[プロキシサーバー情報を確認し、必要に応じて設定を変更します。](#)

🔵 [プロキシを使用する \(P. 773\)](#)

変更禁止期間中のため、パスワードを変更できません。パスワード変更から@1 日は同じパスワードを使用してください。

パスワード変更禁止期間中に、パスワードを変更しようとしました。

パスワード変更禁止期間を変更するか、設定を取り消します。

② [\[パスワード変更禁止期間の設定\]](#) (P. 1152)

ボタン登録の権限がないため、「ホームに登録」をキャンセルしてファンクション画面に戻ります。管理者権限のユーザーでログイン後にもう一度実行してください。

マイボタン／共有ボタンの登録が、ユーザー認証で制限されています。

[管理者ユーザーでログインして、実行しなおします](#)

共有ボタンは、管理者ユーザーでログインすると登録できます。

[マイボタン／共有ボタンの登録を許可します](#)

ユーザーにボタンの登録を許可する場合は、以下の設定を変更します。

- [\[共有ボタンの登録と機器画面の編集を許可\]](#)
- [\[マイボタンの登録/編集を許可\]](#)

② [ユーザーに許可する操作や画面の表示を設定する](#) (P. 874)

ホチキスユニットの針を補給してください。

フィニッシャーのホチキスユニットの針ケースにホチキス針がありません。

[ホチキス針を補充（針ケースを交換）します](#)

② [ホチキス針を補充する（オプション）](#) (P. 1334)

ポリシーを満たしていないパスワードです。入力し直してください。

入力されたパスワードがパスワードポリシーに違反しています。

[パスワードポリシーに沿ったパスワードを入力します](#)

パスワードポリシーが不明な場合は、管理者にお問い合わせください。

本機と認証サーバーの日付/時刻の設定がずれています。システム管理者に問い合わせてください。

本機と認証サーバーの日付／時刻の設定が違います。

本機と認証サーバーの日付／時刻の設定を合わせます。

ま行

「無線 LAN 設定」「アクセスポイント選択」を見直して下さい。

暗号化されていないアクセスポイントや、セキュリティ規格が WEP／WPA のアクセスポイントなど、接続先の無線 LAN が安全ではありません。

[WEP／WPA 以外のセキュリティ規格に対応したアクセスポイントを使用します。](#)

② [無線 LAN に接続する](#) (P. 101)

※接続先の無線 LAN を変更しない場合でも、無線 LAN の暗号化方式の脆弱性検出時の通知を無効にすることで、このメッセージを表示しないようにできます。

② [セキュリティ通知を設定する](#) (P. 848)

無線 LAN 通信エラー。主電源を入れ直してください。

無線 LAN 接続の設定中に f 何らかのエラーが発生しました。

[本機を再起動します](#)

①電源スイッチを使用して再起動する (P. 148)

無線 LAN 通信エラー。「無線 LAN 情報」を確認して下さい。

無線 LAN 接続の設定中に何らかのエラーが発生しました。

[無線 LAN の設定を確認します](#)

①無線 LAN の MAC アドレスや接続情報を確認する (P. 139)

無線 LAN のアクセスポイント接続に脆弱性を検出しました。

暗号化されていないアクセスポイントや、セキュリティ規格が WEP/WPA のアクセスポイントなど、接続先の無線 LAN が安全ではありません。

[WEP/WPA 以外のセキュリティ規格に対応したアクセスポイントを使用します。](#)

①無線 LAN に接続する (P. 101)

※接続先の無線 LAN を変更しない場合でも、無線 LAN の暗号化方式の脆弱性検出時の通知を無効にすることで、このメッセージを表示しないようにできます。

②セキュリティ通知を設定する (P. 848)

メモリーがいっぱいのため送信できません。しばらくたってからもう一度実行してください。

メモリーが不足したため、ファクス送信できませんでした。

[原稿をスキャンするときの解像度を、設定していた解像度よりも低い解像度に変更します](#)

①画質の調整 (P. 525)

[メモリー内の不要なファイルを削除して、空き容量を増やします](#)

①メモリー受信したファクスを確認／プリント／転送する (P. 545)

※上記の対応をしてもメッセージがひんばんに表示される場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

メモリーがいっぱいのため実行できませんでした。

スキャンして保存中、原稿を読み取っているときにメモリーがいっぱいになり、スキャンを中止しました。不要なデータを削除してメモリーの空き容量を増やしてから、原稿をスキャンしなおします。

メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。しばらくたってからもう一度実行してください。

コピー中、原稿を読み取っているときにメモリーがいっぱいになり、コピーを中止しました。メモリー内のデータのプリント終了後、残りの原稿をコピーしなおします。

メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。読み込んだページを送信します。よろしいですか？

ファクス送信中またはスキャンして送信中、原稿を読み取っているときにメモリーがいっぱいになり、スキャンを中止しました。

「はい」を押すと、読み取ったページが送信されます。送信終了後、残りの原稿をスキャンしなおします。

メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。読み込んだページをプリントします。よろしいですか？

コピー中、原稿を読み取っているときにメモリーがいっぱいになり、コピーを中止しました。

「はい」を押すと、読み取ったページがプリントされます。プリント終了後、残りの原稿をコピーしなおします。

メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。読み込んだページを保存します。よろしいですか？

スキャンして保存中、原稿を読み取っているときにメモリーがいっぱいになり、スキャンを中止しました。
[はい] を押すと、読み取ったページが保存されます。保存終了後、残りの原稿をスキャンしなおします。

や行

ユーザー設定情報が上限に達しているため、個人設定を保存できません。このまま操作を続けることはできませんが、次回ログイン時に個人設定を保存するためには、他のユーザーの設定情報を削除するなどの対応が必要です。詳しくはシステム管理者に問い合わせるか、取扱説明書を参照してください。

ユーザー設定情報の上限数を越えたため、新たなユーザー設定情報の保存ができません。

[不要になったユーザー設定情報を削除します](#)

① [ユーザー設定情報を削除する \(P. 763\)](#)

※ユーザー設定情報が登録可能な上限に達したときに、自動的に削除するように設定することもできます。

② [\[登録可能なユーザー数を超えた場合の処理\] \(P. 1162\)](#)

[パーソナライズ機能を使用しない場合は、無効にします](#)

パーソナライズ機能が有効になっていると、ユーザー設定情報が保存されます。この機能を使用しない場合は、保存されたユーザー設定情報を削除してから、パーソナライズ機能を無効にします。

③ [パーソナライズ機能を有効／無効にする \(P. 725\)](#)

ユーザー認証していないため、「ホームに登録」をキャンセルしてファンクション画面に戻ります。ログイン後にもう一度実行してください。

共有ボタンの登録が、ユーザー認証で制限されています。

[管理者ユーザーでログインして、実行しなおします](#)

共有ボタンは、管理者ユーザーでログインすると登録できます。

ユーザー名とパスワード、もしくは設定を確認してください。

LDAP サーバーの認証に使用するユーザー名／パスワード、またはドメイン名が間違っています。

[LDAP サーバーの認証情報を正しく設定します](#)

LDAP サーバーに登録されている内容に合わせて、ユーザー名／パスワード／ドメイン名を正しく設定します。④ [LDAP サーバーを登録する \(P. 125\)](#)

用紙がありません。

給紙部の用紙がなくなりました。または、用紙設定がセットされた用紙と異なります。

[操作パネルに表示されている給紙部に用紙をセットします](#)

① [用紙のセット方法 \(P. 211\)](#)

[給紙部のガイドを用紙の端に合わせて調節しなおします](#)

給紙部の用紙ガイドを用紙の端に合わせて調節しなおします。

用紙ガイドを正しく合わせないと、セットした用紙のサイズが正しく検知されません。

[\[!\[\]\(b78e2d0769ad682766c36e077fde3d60_img.jpg\) 状況確認\] を押し、\[消耗品/その他\] で用紙設定を確認します](#)

用紙設定がセットした用紙と異なる場合は、用紙サイズと用紙種類を設定しなおします。

手差しトレイの場合は、セットされている用紙を取り除いてから、用紙のセットと設定をやりなおします。

② [給紙力セットの用紙サイズと用紙種類を設定する \(P. 247\)](#)

🔗手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する (P. 251)

プリンタードライバーまたはアプリケーションの用紙設定を確認します

プリンタードライバーの [印刷設定] 画面やアプリケーションのプリント画面で、用紙設定を確認します。
用紙設定がセットした用紙と異なる場合は、同じになるように設定するか、用紙をセットしなおします。

読み込んだ原稿のデータが本機で扱えるサイズの上限を超えているため読み込みを中止しました。シャープネスを弱くするか、「原稿の種類」を「文字」に設定すると、実行できる可能性があります。

読み取った原稿のデータが、本機で扱えるサイズの上限を超えたため、スキャンを中止しました。

設定を変更してスキャンしなおします

以下の設定でスキャンできるか試します。 🔗画質の調整 (P. 451)

- [シャープネス] を弱く調整する
- [原稿の種類] を [文字] 選択する

ら行

ライセンス確認が必要なアプリケーションがあります。

ライセンスファイルの有効期限がまもなく切れる MEAP アプリケーションがあります。
ライセンスファイルを追加します。

リモート UI で「二要素認証を必ず使用」の設定を推奨します。

リモート UI から不正アクセスされる可能性があります。

リモート UI の二要素認証を使用することをおすすめします。

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ユーザー管理] ▶ [認証管理] ▶ [基本設定] ▶ [編集...] ▶ [リモート UI 認証] の [二要素認証を必ず使用:] で [すべてのユーザー] または [管理者ユーザーのみ] を選択

※二要素認証を使用しない場合でも、インターネットからの接続時の通知を無効にすることで、このメッセージを表示しないようにできます。

🔗セキュリティ通知を設定する (P. 848)

冷却中です。しばらくお待ちください。

本機内部の温度が上昇したため冷却中です。
処理が完了するまで、しばらく待ちます。

ログイン中ユーザーの情報は保存されません。

ユーザー設定情報の上限数を越えたため、新たなユーザー設定情報の保存ができません。

不要になったユーザー設定情報を削除します

🔗ユーザー設定情報を削除する (P. 763)

※ユーザー設定情報が登録可能な上限に達したときに、自動的に削除するように設定することもできます。

🔗 [登録可能なユーザー数を超えた場合の処理] (P. 1162)

ログインできません。認証サーバーへの匿名アクセスは許可されていません。システム管理者に問い合わせてください。

LDAP サーバーで匿名アクセスが許可されていません。

[LDAP サーバーの認証情報を設定します](#)

LDAP サーバーの情報入力画面で「認証情報を使用する」にチェックマークを付け、LDAP サーバーに登録されている内容に合わせて、ユーザー名とパスワードを設定します。 [▶ 認証サーバー情報を登録する \(P. 707\)](#)

ログインできません。認証サーバーへのログインに必要なアカウント情報が正しくありません。システム管理者に問い合わせてください。

LDAP サーバーのユーザー名またはパスワードが正しく設定されていません。

[LDAP サーバーの認証情報を正しく設定します](#)

LDAP サーバーに登録されている内容に合わせて、ユーザー名とパスワードを正しく設定します。 [▶ 認証サーバー情報を登録する \(P. 707\)](#)

ログインできません。ログイン先を確認してください。

モバイル機器側で入力したログイン先情報が間違っています。

ログイン先を確認して、ログインしなおします。

ログインユーザー毎に保存できるパスワード数の上限に達しているため、パスワードを保存できませんでした。

ログインユーザーのパスワードの保存数が上限を超えるため、保存できません。

不要なパスワード情報を削除します。

ログイン時に 6 桁の数字が表示された

EJ83-111

ログイン時にエラーが発生したときは、メッセージの下に 6 桁の数字が表示されることがあります。以下の一覧から、該当する対処方法を確認します。

- ④ 310001～310003 (P. 1489)
- ④ 322XXX (P. 1489)
- ④ 323XXX (P. 1490)
- ④ 324XXX (P. 1490)
- ④ 325XXX (P. 1491)
- ④ 331000～332008 (P. 1491)

310001～310003

6 桁の数字	原因／対処
310001	認証サーバーとの通信に失敗しました。 ● 本機およびドメインコントローラー（Active Directory）のネットワークケーブルを確認します。 ● ドメインコントローラーが停止していないか確認します。 ● ドメインコントローラーが本機に設定した DNS で名前解決できているか確認します。 ● 認証サーバー設定で、[認証タイムアウト] のタイムアウト時間の値を現在の設定値より大きくします。④ 認証サーバー情報を登録する (P. 707)
310002	本機が [サイト内アクセスモードを利用する] を有効にしている場合に、Active Directory のサイト情報が正しく設定されていません。 Active Directory 上で正しくサイト設定がされているか確認します。
310003	ネットワーク環境の準備ができていません。 ● しばらくしてから再度確認します。 ● 指定されたドメイン名が、設定されている DNS サーバーで名前解決できるか（IP アドレスに変換できるか）、確認して、調整します。 ● 設定されている DNS サーバーが見つからないか、通信ができない状態になっています。設定および通信環境を確認します。

322XXX

Kerberos 認証時のエラーです。XXX には、Kerberos のエラーコードが表示されます。

6 桁の数字	原因／対処
322000	Kerberos 認証時にサーバーのエラーが発生しました。 Active Directory で、該当ユーザーアカウントのアカウントオプションの [Kerberos 事前認証を必要としない] を無効にします。または、Active Directory が正しく運用されているか確認します。
322006	認証サーバーに対象ユーザーが存在しません。 認証先のドメインコントローラーに認証ユーザーまたは検索ユーザーが存在するか確認します。
322012	Active Directory で、該当ユーザーアカウントのアカウントオプションの [対話型ログオンにはスマート カードが必要] が有効になっています。

6桁の数字	原因／対処
	Active Directory で、該当ユーザーアカウントのアカウントオプションの「対話型ログオンにはスマート カードが必要」を無効にし、パスワードをリセットします。 ※リセットしたときに同じパスワードを指定することもできます。
322014	Kerberos 認証時にパスワードまたは暗号化方式が正しく設定されていません。 - Active Directory の管理ツールで、認証ユーザーまたは検索ユーザーのパスワードをリセットします。 - User Authentication がサポートする Kerberos 認証時の暗号方式（AES 128 bit 暗号化と DES）をサポートしているか確認します。
322018	アカウントの有効期限が切れています。 該当アカウントの有効期限を確認します。🔗 【ユーザーの追加】 / 【ユーザー情報の編集】 画面 (P. 694)
322023	パスワードの有効期限が切れています。 - パスワードを変更します。 - Active Directory で、該当ユーザーアカウントのアカウントオプションの設定を確認します。
322024	キーボード認証時のユーザー名かパスワードが間違っています。 認証ユーザーまたは検索ユーザーのユーザー名とパスワードを確認します。
322029	書き込み可能なドメインコントローラーへの通信に失敗しました。 - 書き込み可能なドメインコントローラーのネットワークケーブルを確認します。 - 書き込み可能なドメインコントローラーが停止していないか確認します。 - 書き込み可能なドメインコントローラーが DNS で名前解決できているか確認します。 - 認証サーバー設定の「タイムアウト時間」の値を現在の設定値より大きくして、再試行します。🔗 認証サーバー情報を登録する (P. 707)
322037	本機と認証サーバーの日付／時刻設定が違います。 本機と認証サーバーの日付／時刻設定を合わせます。

323XXX

LDAP サーバー認証時（LDAPBind）のエラーです。XXX には、LDAPBind のエラーコードが表示されます。

6桁の数字	原因／対処
323000	LDAP サーバー認証時にエラーが発生しました。 Active Directory または LDAP サービスが正しく運用されているか確認します。
323008	LDAP サーバー認証時に TLS 暗号化通信関連のエラーが発生しました。 - LDAP サーバーの通信設定（TLS 暗号化通信に設定されているか）を確認します。 - 本機の設定が LDAP サーバーの通信設定と一致しているか確認します。🔗 LDAP サーバーを登録する (P. 125)
323048	LDAP サーバー認証に匿名ユーザーを使用しています。 LDAP サーバーで匿名アクセスが許可されているか確認します。
323049 323053	LDAP サーバー認証時のユーザー情報が正しく設定されていません。 - 認証ユーザーまたは検索ユーザーのユーザー名とパスワードを確認します。 - 認証ユーザーまたは検索ユーザーが無効／有効期限切れ、アカウントロックされていないか確認します。

324XXX

LDAP サーバー検索時（LDAPSearch）のエラーです。XXX には、LDAPSearch のエラーコードが表示されます。

6桁の数字	原因／対処
324000	LDAP サーバー検索時にエラーが発生しました。 Active Directory または LDAP サービスが正しく運用されているか確認します。

325XXX

LDAP サーバー更新時のエラーです。XXX には、LDAPModify のエラーコードが表示されます。

6桁の数字	原因／対処
325000	LDAP サーバー認証時にエラーが発生しました。 Active Directory または LDAP サービスが正しく運用されているか確認します。
325010	読み取り専用ドメインコントローラーに対して、登録処理を実行しました。 Active Directory 設定で設定しているドメインコントローラーが読み取り専用の場合は、ユーザー情報の編集機能（カードの登録／削除、暗証番号変更）は利用できません。ユーザー情報の登録機能を利用する場合は、書き込み可能なドメインコントローラーを設定します。
325050	管理者設定ページに設定された検索ユーザーに更新権限（書込権限）がありません。 検索ユーザーに、変更対象のユーザー属性に対する書き込み権限が付与されているか確認します。
325067	cn 属性など、相対識別名（RDN）の属性を変更しようとしています。 cn 属性など、相対識別名（RDN）の属性情報は変更できません。変更対象の属性を変更します。

331000～332008

6桁の数字	原因／対処
331000	ユーザー認証に失敗しました。 ユーザー名、パスワードを確認します。それでも解決しない場合には、システム管理者に連絡します。
331001	ユーザー名が入力されていません。 ユーザー名を入力します。
331002	ユーザーが見つかりません。 ユーザー名、パスワードを確認します。それでも解決しない場合には、システム管理者に連絡します。LDAP サーバー側で存在しないユーザーまたは検索ユーザーに該当アカウントの属性情報の読み取り権限がない可能性があります。
331003	認証サーバーに登録されていないカードを使用しています。 正しいカードを使用しているか確認します。
331004	認証サーバーにカード情報が重複して登録されています。 システム管理者に連絡します。
331005	該当ユーザーのアカウントの有効期限が切れています。 システム管理者に連絡します。
331006	カードの正当性値とサーバー側の正当性値が一致していません。 正しいカードを使用しているか確認します。それでも解決しない場合には、システム管理者に連絡します。
331007	サーバー側で範囲外の正当性値が設定されています。 正当性値の属性が正しいもので運用されているか確認します。 ▶ 認証サーバー情報を登録する (P. 707)
331008	該当ユーザーのアカウントはロックアウトされています。 システム管理者に連絡します。
331009	本機にログインするアカウントのユーザー ID が不正です。または、サーバー設定が正しくない可能性があります。 ● 必須属性などが正しく設定されているか確認します。 ▶ 認証サーバー情報を登録する (P. 707)

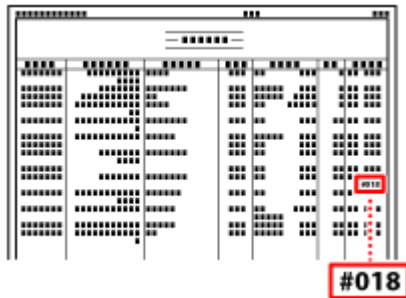
6桁の数字	原因／対処
	Active Directory で、該当ユーザーアカウントのアカウントオプションの [Kerberos 事前認証を必要としない] を外します。
331010	機能別認証時に、ファンクションの利用が許可されていないユーザーでログインしました。 システム管理者に連絡します。
331011	機能別認証のログインに失敗しました。 ログインユーザーの利用可能なファンクション情報を確認します。
331012	ログインユーザーの暗証番号が正しくありません。 暗証番号を入力しなおします。
331013	該当ユーザーのアカウントは無効です。 システム管理者に連絡します。
332000	ユーザー情報の更新に失敗しました。 ユーザー情報更新に失敗しました。正しいユーザーでユーザー確認されているか、更新情報が正しく設定されているか確認します。
332001	すでに登録されているカード情報です。 該当ユーザーのカードがすでに登録されています。正しいカードを使用しているか確認します。または、システム管理者に連絡します。
332002	ユーザー情報の更新時に不正な属性が指定されました。 カード情報の編集機能利用時には、Active Directory の sAMAccountName や、userPrincipalName の属性に対して登録する事は許可していません。他の属性を利用するなどします。
332003	ユーザー情報の更新時に不正なログイン名が指定されました。 該当ユーザーのユーザー名（ログイン名）の登録は許可されていません。ユーザー名を確認し、システム管理者に連絡します。
332004	ユーザー情報の更新時に不正な表示名が指定されました。 該当ユーザーの表示名の登録は許可されていません。参照しているサーバー側の表示名の属性値を確認し、システム管理者に連絡します。
332005	ユーザー情報の更新時に不正なドメイン名が指定されました。 該当ドメイン名の登録は許可されていません。選択しているドメイン名を確認し、システム管理者に連絡します。
332006	ユーザー情報の更新時に不正なメールアドレスが指定されました。 該当ユーザーのメールアドレスの登録は許可されていません。参照しているサーバー側のメールアドレスの属性値を確認し、システム管理者に連絡します。
332007	ユーザー情報の更新時に不正なロールが指定されました。 参照しているサーバー側の権限を判定する属性値を確認し、システム管理者に連絡します。
332008	ユーザー情報の更新時に登録可能なユーザー数の上限を超えました。 システム管理者に連絡します。

終了コードが表示された（#xxx）

EJ83-112

プリントできなかった場合や、スキャン／ファクスを送受信できなかった場合など、何らかのエラーが起こると、レポートやジョブ履歴の詳細情報画面に終了コード（「#」で始まる3桁の番号）が表示されます。

レポートの場合



ジョブ履歴の場合



以下の一覧から終了コードを選択して、対処方法を確認します。

- ④ #001～#099 (P. 1493)
- ④ #101～#199 (P. 1498)
- ④ #701～#799 (P. 1498)
- ④ #801～#899 (P. 1504)
- ④ #901～#999 (P. 1514)

メモ

- 対処方法を試してもトラブルが解消しない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。➡ [トラブルが解決しないときは \(P. 1552\)](#)

#001～#099

#001

原稿サイズ混載の設定をしないまま、サイズの異なる原稿をスキャンしました。または、フィーダーに原稿がつかっています。

[原稿と設定を確認します](#)

🔍 サイズの異なる原稿をスキャンする - 原稿サイズ混載 (P. 458)

つまった原稿を取り除きます

🔍 フィーダーに原稿がつまった (P. 1520)

#003

データ量が大きいので、規定時間（64 分）内にファクスを送受信できませんでした。

原稿を分割したり、解像度を下げたりします

- 送信できない場合
 - ページ数の多い原稿を送信する場合は、原稿を分割して送信します。
 - 原稿をスキャンするときの解像度を、設定していた解像度よりも低い解像度に変更します。 🔍 **解像度を設定する (P. 525)**
- 受信できない場合
相手に連絡し、原稿を分割したり、解像度を下げたりして、送信しなおしてもらいます。

#005

制限時間（35 秒）内に相手機の応答がありませんでした。または、相手機が G3 以外の機種です。

相手機はファクスを受信できる状態ですか？

相手機の電源が入っていないか、受信モードが正しく設定されていない可能性があります。相手に確認してもらいます。

相手機は G3 に対応していますか？

相手に確認してもらいます。

#009

用紙がなくなりました。またはペーパーデッキ／給紙カセットが奥まで押し込まれていません。

用紙を補給します

🔍 **用紙のセット方法 (P. 211)**

ペーパーデッキ／給紙カセットを奥まで押し込みます

#010

用紙がなくなりました。またはペーパーデッキ／給紙カセットが奥まで押し込まれていません。

用紙を補給します

🔍 **用紙のセット方法 (P. 211)**

ペーパーデッキ／給紙カセットを奥まで押し込みます

#012

相手機用の紙（記録紙）がなくなりました。

相手に連絡し、用紙を補給してもらいます。

#018

通話中などで相手機から応答がありませんでした。

相手機はファクスを受信できる状態ですか？

相手機の電源が入っていないか、受信モードが正しく設定されていない可能性があります。相手に確認してもらいます。

相手機と通信設定は一致していますか？

相手機の設定が本機と異なっていると、送信できない場合があります。相手に確認してもらいます。

#019

メモリー内に十分な空き容量がないため、ファクスを送信できませんでした。または、画像データが見つからないか、画像データに異常があります。

他に処理中や処理待ちのデータはありますか？

- 操作パネルの実行/メモリーランプが点滅または点灯している場合は、処理中または処理待ちのデータがあります。それらのデータの処理が終了して、実行/メモリーランプが消灯するまで待ちます。
- 送信状況を確認し、送信エラーになったデータがある場合は、再送信または削除します。➡ **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 551)**

メモリー内の不要なデータを削除します

- メモリー受信または親展受信したファクスを確認し、必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。

リモートファクスのクライアント機からファクス送信した場合は、サーバー機の状態を確認します

- サーバー機で他の送信が終了してから、送信しなおします。
- サーバー機で転送エラーになったファクスや不要なデータを削除して、メモリーの空き容量を増やします。

ファクスを送信しなおします

- 通常のファクス送信ができない場合は、ダイレクト送信を試します。➡ **相手につながったことを確認してから送信する - ダイレクト送信 (P. 509)**
- ダイレクト送信ができない場合は、もう一度ダイレクト送信を試します。

#022

パソコンからファクス送信できないように制限されています。または、送信／転送する場合に指定した宛先がアドレス帳から削除されているか、転送先として指定した宛先のグループに本機でサポートしていないユーザーボックスのみが登録されていた可能性があります。

※ユーザーボックスを含むグループを指定した場合、ユーザーボックスには転送されません。

パソコンからのファクス送信の制限を解除するには、ファクスドライバーからの送信を許可します

リモート UI に管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [送信] ▶ [ファクスドライバーからの送信を許可]
▶ [ファクスドライバーからの送信を許可する] にチェックマークを付ける ▶ [OK]

操作パネルでは、[ 設定/登録] ▶ [ファンクション設定] から変更します。➡ **[ファクスドライバーからの送信を許可] (P. 1100)**

送信／転送先を確認します

アドレス帳やグループに送信／転送先が登録されていることを確認し、宛先を指定しなおします。

- ➡ **アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル (P. 276)**
- ➡ **アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI (P. 291)**
- ➡ **アドレス帳にグループを登録する - 操作パネル (P. 284)**
- ➡ **アドレス帳にグループを登録する - リモート UI (P. 297)**

転送できなかったファクスがメモリーに保存されているかどうかを確認します

ファクスの送信状況を確認し、転送できなかったファクスがメモリーに保存されている場合は、転送しなおすことができます。🔗**ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 551)**

#025

リモートファクスのクライアント機からファクス送信するときに、サーバー機にはない回線が指定されました。クライアント機の「送信回線数」の設定を、サーバー機の回線数に合わせて設定します。

#033

相手機が親展通信、または F コードに対応していません。
親展通信や F コードを使用せずに送信します。

#034

相手機で、親展受信用の保存場所がないか、メモリー内に十分な空き容量がありません。
相手に確認してもらいます。

#035

相手機が中継機能、または F コードに対応していません。

- 相手機に直接送信します。
- F コードを使用せずに送信します。

#037

メモリー内に十分な空き容量がないか、一度に処理できるページ数を越えたため、コピーまたはファクス送受信ができませんでした。または、ファイルサイズが大きすぎるため、プリントできませんでした。

他に処理中や処理待ちのデータはありますか？

- 操作パネルの実行/メモリーランプが点滅または点灯している場合は、処理中または処理待ちのデータがあります。それらのデータの処理が終了して、実行/メモリーランプが消灯するまで待ちます。
- 送信状況を確認し、送信エラーになったデータがある場合は、再送信または削除します。🔗**ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 551)**

メモリー内の不要なデータを削除します

- メモリー受信または親展受信したファクスを確認し、必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。

コピーする場合は、原稿を分割します

100 ページを超える原稿をコピーする場合は、複数回に分けてコピーします。

999 ページのファクスを受信した場合、以降のページを送信してもらいます

相手機から送信されたファクスが 1,000 ページ以上の場合、1,000 ページ目以降のページを削除して、999 ページ目までをプリントまたはメモリー受信します。

1,000 ページ目以降のページは送信しなおしてもらいます。

ファクス送信する場合は、原稿を分割したり、解像度を下げたりします

- ページ数の多い原稿を送信する場合や複数の宛先に送信する場合は、原稿を分割して送信します。
- 原稿をスキャンするときの解像度を、設定していた解像度よりも低い解像度に変更します。🔗**解像度を設定する (P. 525)**

ファクスをタイマー送信またはリダイヤル送信した場合は、ダイレクト送信で送信しなおします

④相手につながったことを確認してから送信する - ダイレクト送信 (P. 509)

プリントする場合は、ファイルサイズを小さくしたり、ファイルを分割したりします
ファイルを最適化してサイズを小さくしたり、ファイルを分割したりしてからプリントしなおします。

#040

メモリー内に十分な空き容量がないため、ファクスを送信できませんでした。

他に処理中や処理待ちのデータはありますか？

- 操作パネルの実行/メモリーランプが点滅または点灯している場合は、処理中または処理待ちのデータがあります。それらのデータの処理が終了して、実行/メモリーランプが消灯するまで待ちます。
- 送信状況を確認し、送信エラーになったデータがある場合は、再送信または削除します。➡**ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 551)**

メモリー内の不要なデータを削除します

- メモリー受信または親展受信したファクスを確認し、必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。

原稿を分割したり、解像度を下げたりして、送信しなおします

- ページ数の多い原稿を送信する場合は、原稿を分割して送信します。
- 原稿をスキャンするときの解像度を、設定していた解像度よりも低い解像度に変更します。➡**解像度を設定する (P. 525)**

リモートファクスのクライアント機からファクス送信した場合は、サーバー機を確認します

- サーバー機の他の送信が終了するのを待ちます。
- サーバー機で転送エラーになったファクスや不要なデータを削除して、メモリーの空き容量を増やします。

#054

ファクス番号とユーザー略称が登録されていないため、送信処理を中断しました。

ユーザー電話番号とユーザー略称を登録してから送信しなおします

④**本機でファクスを送受信するための準備 (P. 486)**

#080

相手機に F コードが設定されていません。
相手に F コードを確認して、送信しなおします。

#081

相手機にパスワードが設定されていません。
相手にパスワードを確認して、送信しなおします。

#099

ジョブを中止する操作が行われました。
異常ではありません。必要に応じて、操作しなおします。

#101～#199

#102

Fコード、パスワードが一致しないか、相手機のメモリー内に十分な空き容量がありません。

- 相手にFコードとパスワードを確認し、送信しなおします。
- 相手にメモリーの空き容量を増やしてもらいます。

#701～#799

#701

部門IDや暗証番号が正しく入力されなかったため、認証できませんでした。または、部門別ID管理で制限されている操作を、部門IDを入力せずに続けようとしたためです。

正しい部門IDが設定されていますか？

User Authentication を使用している場合は、設定されている部門IDを確認し、必要に応じて部門IDを設定しなおします。

正しい部門IDと暗証番号を入力します

- リモートファクスのサーバー機で部門別ID管理中の場合は、サーバー機に登録されている部門IDと暗証番号でクライアント機にログインします。
- 部門IDと暗証番号がわからない場合は、管理者にお問い合わせください。

制限を解除するには、[部門別ID管理] の設定を変更します

リモートUIに管理者ユーザーでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ユーザー管理] ▶ [部門別ID管理] ▶ [編集] ▶ [ID不定プリンタージョブを許可する] / [ID不定リモートスキャンジョブを許可する] にチェックマークを付ける ▶ [OK]

操作パネルでは、[ 設定/登録] ▶ [管理設定] から変更します。🔍 [部門別ID管理] (P. 1142)

#702

メモリー内に十分な空き容量がなくなったため、送信できませんでした。
他の送信が終了してから、送信しなおします。

#703

メモリー内に十分な空き容量がありません。

他に処理中や処理待ちのデータはありますか？

- 操作パネルの実行/メモリーランプが点滅または点灯している場合は、処理中または処理待ちのデータがあります。それらのデータの処理が終了して、実行/メモリーランプが消灯するまで待ちます。
- 送信状況を確認し、送信エラーになったデータがある場合は、再送信または削除します。🔍 **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 551)**

メモリー内の不要なデータを削除します

- メモリー受信または親展受信したファクスを確認し、必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。

原稿を分割したり、解像度を下げたりして送信しなおします

- ページ数の多い原稿を送信する場合は、原稿を分割して送信します。
- 原稿をスキャンするときの解像度を、設定していた解像度よりも低い解像度に変更します。
 - スキャンして送信の場合 ➡ **解像度を設定する (P. 451)**
 - ファクス送信の場合 ➡ **解像度を設定する (P. 525)**

本機を再起動したあと、送信／保存しなおします

- ➡ **再起動する (P. 148)**

#704

アドレス帳から宛先情報を取得するときに、何らかのエラーが発生しました。

宛先の設定を確認します

- ➡ **アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル (P. 276)**
- ➡ **アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI (P. 291)**

本機を再起動します

- ➡ **再起動する (P. 148)**

#705

送信したファイルのデータサイズが上限を超えていたため、送信処理を中断しました。

送信データサイズの上限值を変更します

- ➡ **〔送信データサイズ上限値〕 (P. 1087)**

解像度を下げて、送信しなおします

原稿をスキャンするときの解像度を、設定していた解像度よりも低い解像度に変更します。 ➡ **解像度を設定する (P. 451)**

Iファクスの場合は、原稿やデータを分割して送信しなおします

- ページ数の多い原稿を送信する場合は、原稿を分割して送信します。
- 相手先の条件によっては、Iファクスの宛先の設定で、データを分割して送信するように設定します。

#706

リモート UI からアドレス帳をインポート／エクスポート中です。または、他で送信処理中です。他の処理が終了してから、送信しなおします。

#711

メモリー内に十分な空き容量がありません。

メモリー内の不要なデータを削除します

- メモリー受信または親展受信したファクスを確認し、必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。

#712

メモリー内に十分な空き容量がありません。

メモリー内の不要なデータを削除します

- メモリー受信または親展受信したファクスを確認し、必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。

#713

URL を送信する前に、受信トレイ内の文書が削除された可能性があります。

- 受信トレイ内を確認します。
- 必要な文書を受信トレイ内に保存しなおします。

#715

メールに電子署名を付けて送信するときに、使用できる証明書が見つかりませんでした。

機器署名を使用する場合は、本機のメールアドレスを先に設定したあと、機器署名用の鍵と証明書を生成／登録します

- ① メールサーバーの情報を設定する (P. 400)
- ② 機器署名用の鍵と証明書を生成／登録する (P. 830)

ユーザー署名を使用する場合は、ユーザー署名用の証明書を登録しなおします

- ② ユーザー署名用の鍵と証明書を登録する (P. 831)

証明書は有効ですか？

期限切れの証明書や失効した証明書を使用していないか確認します。また、証明書チェーンが不正でないか確認します。

#716

送信先の公開鍵証明書が見つかりませんでした。

送信先の公開鍵証明書を本機に登録します

- ② S/MIME 証明書を登録する (P. 804)

証明書は有効ですか？

期限切れの証明書や失効した証明書を使用していないか確認します。また、証明書チェーンが不正でないか確認します。

#751

保存先に接続できないか、途中で断線したためネットワークに接続できませんでした。または、SMB サーバー（SMB で外部公開された他機のアドバンスドボックスを含む）に送信できませんでした。

保存先を確認します

- 保存先が正常に動作しているか確認します。
- 宛先として指定したフォルダーまたはファイルが、変更／削除されていないか確認します。

保存先に書き込み／上書きできますか？

- サーバー側の設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。または、サーバー管理者に連絡します。
- 同じ名前のファイルが開かれているために上書きできない場合は、送信時のファイル名を変更します。上書き可能な場合は、ファイルを閉じてから、送信しなおします。

ネットワークの接続状況を確認します

- ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。

- 本機の操作パネルで、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをすることもできます。➡ **ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)**
- 本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をします。➡ **ネットワークの設定 (P. 91)**

SMB サーバーに送信／転送設定していますか？

- SMB サーバーにタイマー送信した場合は、SMB サーバー指定時に表示した [参照] 画面を閉じてから送信します。
- SMB サーバーに転送設定している場合は、受信ファイルのプリントをスキャンして、転送先に送信します。➡ **スキャンして送信する (P. 412)**
- SMB クライアントの [タイムアウト] の設定時間を長く設定します。➡ **SMB クライアントの設定をする (P. 122)**

#752

メールサーバーが正しく設定されていないか、正常に動作していません。または、本機がネットワークに正しく接続されていません。

メールサーバーの情報を設定します

- SMTP/POP3 サーバー名と、本機のメールアドレス／ドメイン名を設定します。
- SMTP 送信／POP 受信時に使用するポート番号を設定します。

メールサーバーの状態を確認します

SMTP/POP3 サーバーが正常に動作しているか確認します。SMTP/POP3 サーバーの状態については、プロバイダーにお問い合わせください。

ネットワークの接続状況を確認します

- ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。
- 本機の操作パネルで、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをすることもできます。➡ **ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)**
- 本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をします。➡ **ネットワークの設定 (P. 91)**

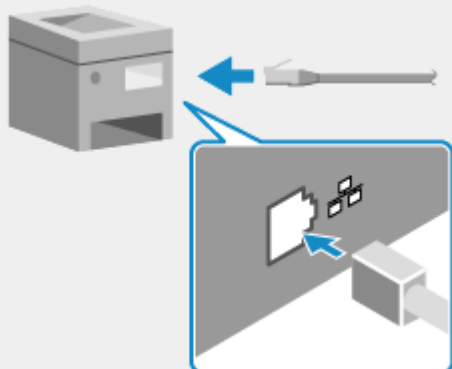
#753

送信したファイルのデータサイズが上限を超えていたため、送信できませんでした。または、LAN ケーブルが抜けているなどの理由で、ネットワークに接続できませんでした。

送信データサイズの上限値を変更します

- ➡ **[送信データサイズ上限値] (P. 1087)**

LAN ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します



本機を再起動します
 ④再起動する (P. 148)

#755

TCP/IP が正しく設定されていないか、通信開始までの待機時間が設定されているため、ネットワークに接続できませんでした。または、TCP/IP が正しく動作していないため、リモートファクスのクライアント機からファクスを送信できませんでした。

ネットワークの接続状況を確認します

- ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。
- 本機の操作パネルで、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをすることもできます。④ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)
- 本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をします。④ネットワークの設定 (P. 91)

※副回線を使用している場合は、副回線の設定も確認します。

※リモートファクスのクライアント機からファクスを送信できない場合は、クライアント機の設定も確認します。

通信開始までの待機時間は設定されていますか？

待機時間が設定されているかどうかを確認します。④【起動時の接続待機時間】 (P. 984)

- 本機をスイッチングハブなどに接続している場合は、本機の設定が正しくてもネットワークに接続できないことがあります。その場合は、通信開始までの待機時間を設定して接続します。
- 待機時間が設定されている場合は、本機の電源を入れてもすぐに通信できません。待機時間が経過したあと、送信します。

#759

ファイルを保存したボックスの URL 送信時にエラーが発生しました。

転送／保存時に URL 送信しないように設定します

④受信したファクスを自動転送／バックアップする (P. 497)

該当するボックスの URL 送信設定を取り消します

- ファクスボックスの場合 ④ファクスボックスを設定する (P. 827)

#761

本機に設定されている証明書または鍵ペアが壊れているか、アクセスできないため、電子署名を付加した PDF/XPS を送信できませんでした。

機器署名を使用する場合は、機器署名用の鍵と証明書を生成／登録します

④機器署名用の鍵と証明書を生成／登録する (P. 830)

ユーザー署名を使用する場合は、ユーザー署名用の鍵と証明書を登録します

④ユーザー署名用の鍵と証明書を登録する (P. 831)

#762

メールやファクスの送信先が特定ドメインのアドレスに制限されているため、送信できませんでした。

送信先のドメイン制限を解除するか、送信許可ドメインとして登録してから、送信します

④送信先を特定ドメインに限定する (P. 809)

#766

電子署名付きの PDF/XPS ファイル送信時に使用するユーザー証明書の有効期限が切れています。

ユーザー証明書の有効期限を確認します

- 管理者ユーザーでログインしている場合は、本機に登録されているすべてのユーザー署名用の鍵と証明書が一覧に表示されます。管理者以外のユーザーでログインしている場合は、ログインユーザー個人の鍵と証明書のみが表示されます。
- 有効期限が切れていた場合は、登録されている鍵と証明書を削除し、有効期限内の鍵と証明書に登録しておします。④ユーザー署名用の鍵と証明書を登録する (P. 831)

本機の現在日時は正しいですか？

日付／時刻の設定を確認します。正しく設定されていない場合は、タイムゾーンを設定したあとに、現在日時を設定します。④日付／時刻を設定する (P. 870)

#771

リモートファクスのサーバー機に接続できませんでした。

サーバーアドレスの設定を確認します

クライアント機の [リモートファクスサーバーアドレス] の設定を確認します。④ [リモートファクスサーバーアドレス] (P. 1104)

サーバー機の状態を確認します

サーバー機が正常に動作しているかを確認します。

ネットワークの接続状況を確認します

- ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。
- 本機の操作パネルで、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをすることもできます。④ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)
- 本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をしておします。④ネットワークの設定 (P. 91)

DNS を確認します

- 本機の DNS 設定を確認します。④DNS を設定する (P. 118)
- DNS サーバーが正常に動作しているかを確認します。

#773

PDF を作成するときに、同時に設定できない機能が設定されていました。

設定している PDF の機能を確認します

- [PDF を PDF/A 準拠にする] が [ON] の場合、以下の機能は使用できません。④ [PDF を PDF/A 準拠にする] (P. 1059)
 - 暗号化
 - 可視署名
 - OCR (PDF/A-1b を除く)

#801～#899

#801

送信先／保存先に応じた対処方法を確認します。

メール／I ファクス送信の場合

SMTP サーバーに接続できないか、SMTP サーバーの情報が正しく設定されていません。または、送信データサイズや送信メール数が上限を超えていたため、送信できませんでした。

ネットワークの接続状況を確認します

- ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。
- 本機の操作パネルで、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをすることもできます。▶ **ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)**
- 本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をします。▶ **ネットワークの設定 (P. 91)**

DNS のホスト名の設定に、スペース（空白）が含まれていないか確認します

- ▶ **【DNS のホスト名/ドメイン名の設定】 (P. 1006)**

SMTP サーバーの情報を設定します

- ▶ **メールサーバーの情報を設定する (P. 400)**

送信先のメールアドレスを指定します

宛先の設定で、正しいメールアドレスを指定します。

※アドレス帳の宛先を使用した場合は、アドレス帳に登録されているメールアドレスが正しいか確認します。

送信元のメールアドレスの設定を確認します

- 送信元のメールアドレスがヘッダーとメール本文で異なるため、エラーとなった可能性があります。ログインユーザーのメールアドレスをヘッダーで使用するよう設定します。▶ **【認証ユーザー宛先を Eメールの送信元に指定】 (P. 1088)**
- 不正な MAIL FROM アドレスを使用したため、エラーとなった可能性があります。送信元として指定しているメールアドレスの権限を確認します。

SMTP サーバーの状態を確認します

- I ファクスを Full モードで送信した場合に、SMTP サーバーからエラーメッセージが届いている場合は、内容を確認して対応します。
- SMTP サーバーが正常に動作しているか確認します。SMTP サーバーの状態については、プロバイダーにお問い合わせください。

送信データサイズの上限值を変更します

- ▶ **【送信データサイズ上限値】 (P. 1087)**

MTU サイズ（送信パケットの最大サイズ）の設定を確認します

使用環境によっては、MTU サイズの設定を変更する必要があります。使用環境に合った MTU サイズに設定されているか確認します。詳しくは、プロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ▶ **【TCP/IP オプション設定】 (P. 999)**

1 日に送信可能なメール数の上限を超えていませんか？

メールサーバーによっては、1 日に送信可能なメール数の上限が決められている場合があります。詳しくは、プロバイダーにお問い合わせください。

共有フォルダー／ファイルサーバーへの保存の場合

保存先に接続できないか、保存先へのアクセスに使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されていません。または、SMB バージョンや認証タイプが正しく設定されていません。

ネットワークの接続状況を確認します

- ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。
- 本機の操作パネルで、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをすることもできます。🔗**ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)**
- 本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をします。🔗**ネットワークの設定 (P. 91)**

保存先へのアクセスに使用するユーザー名とパスワードを設定します

- 宛先の設定で、該当の保存先へのアクセスに使用するユーザー名とパスワードを設定します。
※アドレス帳の宛先を使用した場合は、アドレス帳に登録されている情報が正しいか確認します。
- 正しく設定しなおしても保存できない場合は、アカウントが一定時間ログインできない状態（ロックアウト）になっている可能性があります。
しばらく時間をおいてから、保存します。または、サーバー管理者に連絡します。

保存先の状態を確認します

保存先が正常に動作しているか確認します。

保存先に書き込み／上書きできますか？

- サーバー側の設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。または、サーバー管理者に連絡します。
- 上書きできない場合は、ファイル名の変更を試みます。

SMB サーバーに保存する場合は、SMB の設定を確認します

- SMB バージョンの設定が、接続する SMB サーバーと同じバージョンに設定されているか確認します。
🔗**【SMB クライアントのバージョン指定】 (P. 991)**
- 認証タイプの設定が、接続する SMB サーバーと同じ認証タイプに設定されているか確認します。
🔗**【SMB クライアント設定】 (P. 991)**
※SMB サーバーがキヤノン複合機の場合は、サーバー機能の SMB バージョンや認証タイプを確認し、必要に応じて設定を変更します。または、サーバー管理者に連絡します。

#802

SMTP/POP3/FTP/SFTP サーバー名が正しく設定されていません。または、DNS サーバーとの接続ができませんでした。

SMTP/POP3 サーバー名を設定します

- 🔗**メールサーバーの情報を設定する (P. 400)**

DNS サーバーを確認します

- DNS サーバーアドレスの設定を確認します。🔗**DNS を設定する (P. 118)**
- DNS サーバーが正常に動作しているかを確認します。

#804

宛先が正しく設定されていません。

保存先へのパスを設定します

宛先の設定で、該当の保存先へのパスを設定します。

※アドレス帳の宛先を使用した場合は、アドレス帳に登録されている情報が正しいか確認します。

ネットワークの接続状況を確認します

- ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。
- 本機の操作パネルで、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをすることもできます。🔗**ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)**
- 本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をします。🔗**ネットワークの設定 (P. 91)**

保存先の状態を確認します

保存先が正常に動作しているか確認します。

#805

SMB サーバーに送信したとき、サーバー側に空き容量がないため、送信できませんでした。

SMB サーバーの空き容量を増やします

サーバー側でエラー文書や不要な文書を削除して、空き容量を増やします。または、サーバー管理者に連絡します。

#806

メール／I ファクスの宛先が正しく設定されていません。または、保存先へのアクセスに使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されていません。

メール／I ファクスを送信する場合

- 宛先の設定で、正しいメールアドレスを指定します。
※アドレス帳の宛先を使用した場合は、アドレス帳に登録されているメールアドレスが正しいか確認します。
- 正しく指定しなくても送信できない場合は、本機の IP アドレスがブラックリスト（DNSBL）に登録されている可能性があります。
本機の IP アドレスがブラックリストに登録されていないか確認します。詳しくは、ブラックリストの管理団体や送信先のプロバイダーにお問い合わせください。

共有フォルダー／ファイルサーバーに保存する場合

- 宛先の設定で、該当の保存先へのアクセスに使用するユーザー名とパスワードを設定します。
※アドレス帳の宛先を使用した場合は、アドレス帳に登録されている情報が正しいか確認します。
- 正しく設定しなくても保存できない場合は、アカウントが一定時間ログインできない状態（ロックアウト）になっている可能性があります。
しばらく時間をおいてから、保存します。または、サーバー管理者に連絡します。

#807

指定されたフォルダーへのアクセス権がありません。

- サーバーのフォルダーへのアクセス権を設定します。または、サーバー管理者に連絡します。
- アクセス権のあるフォルダーに送信します。

#809

FTP サーバー／SFTP サーバー／SMB サーバーに同名のファイルがあったため、保存できませんでした。

上書きしないでファイルを保存します

- 同名のファイルを削除してから、スキャンします。

- ファイル名を変更します。

[同名のファイルを上書きして保存します](#)

同名のファイルを上書き可能に設定します。またはサーバー管理者に連絡します。

#810

I ファクスを受信したときに POP3 サーバーに接続できないか、POP3 サーバーの情報が正しく設定されていません。

[ネットワークの接続状況を確認します](#)

- ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。
- 本機の操作パネルで、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをすることもできます。🔗[ネットワークの接続状況や設定を確認する \(P. 137\)](#)
- 本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をします。🔗[ネットワークの設定 \(P. 91\)](#)

[POP3 サーバーの情報を正しく設定します](#)

- 🔗[メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

[POP3 サーバーの状態を確認します](#)

- Full モードの I ファクスを受信した場合に、POP3 サーバーからエラーメッセージが届いているときは、内容を確認して対応します。
- POP3 サーバーがネットワークで正常に動作しているか確認します。POP3 サーバーの状態については、プロバイダーにお問い合わせください。

#813

I ファクスを受信したときに POP3 サーバーの認証で使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されていません。

[ユーザー名とパスワードを正しく設定します](#)

- 🔗[メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

#816

部門に設定されているプリントページ数制限の上限に達しました。

[使用状況を確認し、カウントをゼロに戻します](#)

- 🔗[部門 ID ごとの使用状況を確認する \(P. 739\)](#)

#818

受信したデータは、プリントできないファイル形式でした。
相手に連絡し、ファイル形式を変更して送信しなおしてもらいます。

#819

受信したデータは MIME 情報が不正のため、扱うことができませんでした。
相手に連絡し、設定を確認して送信しなおしてもらいます。

#820

受信したデータは BASE64 または uuencode が不正のため、扱うことができませんでした。

相手に連絡し、設定を確認して送信しなおしてもらいます。

#821

受信したデータに TIFF 解析エラーが発生したため、扱うことができませんでした。
相手に連絡し、設定を確認して送信しなおしてもらいます。

#822

受信したデータの画像をデコードできないため、扱うことができませんでした。
相手に連絡し、設定を確認して送信しなおしてもらいます。

#827

受信したデータにはサポート外の MIME 情報が含まれているため、扱うことができませんでした。
相手に連絡し、設定を確認して送信しなおしてもらいます。

#828

HTML のデータを受信しました。
相手に連絡し、HTML 以外の形式で送信しなおしてもらいます。

#829

最大受信可能サイズを超えるデータを受信しました。

[相手に連絡し、データを確認して送信しなおしてもらいます](#)

- ファクス受信の場合
相手機から送信されたファクスが 1,000 ページ以上の場合、1,000 ページ目以降のページを削除して、999 ページ目までをプリントまたはメモリー受信します。
1,000 ページ目以降のページは送信しなおしてもらいます。
- I ファクス受信の場合
メールのサイズが 2 GB を超える場合は受信できません。メールのサイズを 2 GB 以下にして送信しなおしてもらいます。

#830

I ファクスアドレスや相手先の条件の設定が間違っていたか、送信したファイルのデータサイズが上限を超えていたため、DSN エラー通知を受信しました。

[指定した I ファクスアドレスと、相手先の条件を確認します](#)

🔗 [I ファクスを送信する \(P. 554\)](#)

[送信データサイズの上限の設定を変更します](#)

🔗 [\[送信データサイズ上限値\] \(P. 1087\)](#)

[ネットワークの接続状況を確認します](#)

- ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。
- 本機の操作パネルで、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをすることもできます。🔗 [ネットワークの接続状況や設定を確認する \(P. 137\)](#)
- 本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をしなおします。🔗 [ネットワークの設定 \(P. 91\)](#)

メールサーバー、DNS サーバーの状態を確認します

メールサーバー、DNS サーバーが正常に動作しているかどうかを確認します。メールサーバーの状態については、プロバイダーにお問い合わせください。

#832

メール設定やネットワーク設定がされていなかったか、メールサーバーや DNS サーバーのトラブルのため、DSN メールを送信できませんでした。

メールサーバーの情報の設定、ネットワークの DNS 設定／IP アドレス設定を確認します

➡メールサーバーの情報を設定する (P. 400)

➡DNS を設定する (P. 118)

➡IPv4 アドレスを設定する (P. 110)

➡IPv6 アドレスを設定する (P. 114)

メールサーバーと DNS サーバーの状態を確認します

メールサーバーと DNS サーバーがネットワークで正常に動作しているかどうかを確認します。メールサーバーの状態については、プロバイダーにお問い合わせください。

#833

TCP/IP 設定がされていなかったか、メールサーバーや DNS サーバーのトラブルのため、MDN（送達確認）メールを送信できませんでした。

メールサーバーの情報の設定、ネットワークの DNS 設定／IP アドレス設定を確認します

➡メールサーバーの情報を設定する (P. 400)

➡DNS を設定する (P. 118)

➡IPv4 アドレスを設定する (P. 110)

➡IPv6 アドレスを設定する (P. 114)

メールサーバーと DNS サーバーの状態を確認します

メールサーバーと DNS サーバーがネットワークで正常に動作しているかどうかを確認します。メールサーバーの状態については、プロバイダーにお問い合わせください。

#834

I ファクスアドレスや相手先の条件の設定が間違っていたか、メールサーバーやネットワーク、相手先にトラブルが発生したため、MDN エラー通知を受信しました。

指定した I ファクスアドレスと、相手先の条件を確認します

➡I ファクスを送信する (P. 554)

ネットワークの接続状況を確認します

- ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。
- 本機の操作パネルで、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをすることもできます。➡**ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)**
- 本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をします。➡**ネットワークの設定 (P. 91)**

メールサーバーの状態を確認します

メールサーバーがネットワークで正常に動作しているかどうかを確認します。メールサーバーの状態については、プロバイダーにお問い合わせください。

相手先の状態を確認します

相手先でメモリーフルなどのエラーが発生していないかを確認します。

#835

Iファクスで受信できる最大テキスト行数を超えました。
相手に連絡し、本文のテキスト行を減らして送信しなおしてもらいます。

#838

送信機能の利用に必要なライセンスの期限が切れました。
送信機能のライセンスを購入します。

#839

SMTP 認証 (SMTP AUTH) や OAuth2.0 認証で使用する情報が正しく設定されていません。または、以下の可能性があります。

- メールサーバーと共通の認証方式が存在しない
- メールサーバーが SMTP 認証を無効化している
- メールサーバーによって本機が不正な端末として扱われている

SMTP 認証を使用する場合は、ユーザー名とパスワードを設定しなおします

🔗 [メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

OAuth2.0 認証を使用する場合は、OAuth2.0 認証の設定をしなおします

🔗 [OAuth2.0 を利用してクラウドメールサーバーを使用する \(P. 403\)](#)

メールサーバーが対応している認証方式を確認します

メールサーバー側で制限されている認証方式がある場合、認証に失敗することがあります。メールサーバーが対応している認証方式については、プロバイダーにお問い合わせください。

SMTP 認証を無効にします

メールサーバーが SMTP 認証を無効化している場合は、SMTP 認証を使用しないように設定します。🔗 [\[通信設定\] \(P. 1084\)](#)

メールサーバーによって本機が不正な端末として扱われていないか確認します

詳しくは、プロバイダーにお問い合わせください。

#841

メールサーバーとの通信を暗号化するように設定されていますが、メールサーバーと共通の TLS のバージョンやアルゴリズムが存在しないため、暗号化通信できませんでした。

メールサーバーが対応しているバージョン／アルゴリズムと、本機が対応しているバージョン／アルゴリズムを確認します

- メールサーバーが対応しているバージョン／アルゴリズムについては、プロバイダーにお問い合わせください。
- 本機が対応しているバージョン／アルゴリズムについては、TLS の設定で確認します。🔗 [\[TLS 設定\] \(P. 997\)](#)

SMTP サーバーとの通信を暗号化しないように設定します

🔗 [メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

#842

SMTP サーバーから、クライアント証明書を使用した認証を要求されました。または、証明書の検証エラーが発生しました。

クライアント証明書を要求しないように設定します

SMTP サーバーの設定で、クライアント証明書を要求しないように変更します。

適切な CA 証明書が登録されていますか？

SMTP サーバーの認証に使用する CA 証明書が、本機に登録されていることを確認します。🔗[発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する \(P. 802\)](#)

SMTP サーバーのサーバー証明書を確認します

- サーバー証明書が正しいものであり、自己証明書ではないことを確認します。
- サーバー証明書の有効期限が切れていないことを確認します。

本機の現在日時は正しいですか？

日付／時刻の設定を確認します。正しく設定されていない場合は、タイムゾーンを設定したあとに、現在日時を設定します。🔗[日付／時刻を設定する \(P. 870\)](#)

SMTP サーバーとの通信を暗号化しないように設定します

🔗[メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

#843

KDC (Key Distribution Center) サーバーの時刻と本機に設定されている時刻が大きく異なっています。

本機の現在日時は正しいですか？

日付／時刻の設定を確認します。正しく設定されていない場合は、タイムゾーンを設定したあとに、現在日時を設定します。🔗[日付／時刻を設定する \(P. 870\)](#)

KDC サーバーの日時は正しいですか？

KDC サーバーの時刻を確認します。

#844

送信前の POP 認証 (POP before SMTP) で、POP3 サーバーとの通信を暗号化するように設定されていますが、暗号化通信できませんでした。または、証明書の検証エラーが発生しました。

適切な CA 証明書が登録されていますか？

POP3 サーバーの認証に使用する CA 証明書が、本機に登録されていることを確認します。🔗[発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する \(P. 802\)](#)

POP3 サーバーのサーバー証明書を確認します

サーバー証明書が正しいものであり、自己証明書ではないことを確認します。

POP3 サーバーとの通信を暗号化しないように設定します

🔗[メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

解決しないときは、[通信設定] で [送信前の POP 認証] を [OFF] に設定して、POP before SMTP 以外の設定に切り替えます。🔗[\[通信設定\] \(P. 1084\)](#)

#845

送信前の POP 認証 (POP before SMTP) で、サーバーと認証プロトコルの交換を行ってから認証する POP 認証 (POP AUTH) を使用するように設定されていますが、POP 認証できませんでした。

POP3 サーバーが対応している認証方式を確認します

POP3 サーバーが対応している認証方式については、プロバイダーにお問い合わせください。

POP3 サーバーの設定、および POP3 サーバーの認証に使用するユーザー名とパスワードを確認します

🔗[メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

POP3 サーバーの POP 認証設定を確認します

🔗 [メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

POP 認証方式を変更します

[POP 認証方式] を [標準] または [APOP] に変更します。それでも解決しない場合は、送信前の POP 認証を使用しないように設定します。🔗 [メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

#846

送信前の POP 認証 (POP before SMTP) で、認証時にパスワードを暗号化する APOP 認証を使用するように設定されていますが、APOP 認証できませんでした。

POP3 サーバーが対応している認証方式を確認します

POP3 サーバーが対応している認証方式については、プロバイダーにお問い合わせください。

POP3 サーバーの設定、および POP3 サーバーの認証に使用するユーザー名とパスワードを確認します

🔗 [メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

POP3 サーバーの POP 認証設定を確認します

🔗 [メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

POP 認証方式を変更します

[POP 認証方式] を [標準] または [POP AUTH] に変更します。それでも解決しない場合は、送信前の POP 認証を使用しないように設定します。🔗 [メールサーバーの情報を設定する \(P. 400\)](#)

#847

メモリー内に十分な空き容量がないため、受信したファイルをファクスボックスに保存できません。

メモリー内の不要なデータを削除します

- メモリー受信または親展受信したファクスを確認し、必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。

🔗 [メモリー受信したファクスを確認／プリント／転送する \(P. 545\)](#)

🔗 [親展受信したファクスを確認／プリントする \(P. 547\)](#)

#848

分割して送信されたメールの結合時にエラーが発生しました。分割データが削除された可能性があります。

相手に連絡し、送信しなおしてもらいます

分割データを削除した場合は、あとから残りの分割データが届いても結合することはできません。

#851

メモリー内に十分な空き容量がないため、プリンタージョブを保存できませんでした。

メモリーの空き容量を確認してから、実行しなおします。

#852

使用中に何らかの原因で本機の電源が切れました。

本機の電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれているかどうかを確認します。

#853

メモリーがいっぱいです。

一度にプリントするページを減らすか、待機中のプリントデータが少ないときにプリントします。

#856

ストレージの一時的な保存データ用の領域がいっぱいになったため、実行した操作がキャンセルされました。管理者にお問い合わせください。

#857

ジョブの受信中に、以下のいずれかの状況が生じたため、ジョブの受信を完了できませんでした。

- パソコンからジョブの中止指示があった
- パソコンからの送信が中断されてタイムアウトが発生した

パソコンやネットワークの状態を確認します。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

#858

プリントデータが欠落または破損している可能性があります。
パソコンやネットワークの状態を確認します。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

#860

紙がつまった後、リカバリーできなかったか、使用できないページ記述言語や組み合わせできない設定が含まれています。
用紙やプリントデータの設定を確認します。

#861

プリントデータ、画像データの処理中にエラーが発生しました。
画像サイズと用紙サイズや、カラーなどの設定を確認します。

#862

本機が対応していない、または組み合わせできない設定が含まれています。
プリントデータの設定を確認します。

※本機が対応していない、または組み合わせできない設定例は以下のとおりです。

- 製本プリントする場合に、製本プリントできない用紙を指定している。
- 現在の機器構成では使用できない用紙を指定している。

#863

プリント中に初期化が行われたため、プリントできませんでした。
プリントしなおします。

#865

プリントを実行するために必要な機能が制限されています。
管理者によって、以下のとおり設定／制限されている可能性があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

- 強制留め置きが設定されている
※強制留め置きが設定されている場合、ユーザーが不明な文書は削除されます。
- パソコンからのプリントが禁止されている
- パソコンからのプリントが暗号化セキュアプリントのみに制限されている
- 平文認証が禁止されている

データストレージキットが正しく認識できません。

[デバイス構成確認] 画面にオプションのデータストレージキットが表示されているか確認します。

表示されていない場合は、販売店または担当サービスにご連絡ください。 **▶本機に装着しているオプションを確認する (P. 910)**

#866

セキュリティに関する設定が有効なため、プリントがキャンセルされました。

適切な権限のユーザーでプリントを実行します

- プリンタードライバーからプリントする場合は、適切な権限のユーザー認証情報を設定します。
- 操作パネルからプリントする場合は、適切な権限のユーザーでログインします。

メモ

セキュリティに関する設定

- セキュリティに関する設定は、以下の設定が該当します。
 - **▶ [ユーザー認証していないリモートジョブの制限] (P. 1147)**
 - **▶ [部門 ID と暗証番号による認証の禁止] (P. 1177)**
- ACCESS MANAGEMENT SYSTEM を使用している場合は、以下の設定も該当します。
 - [AMS Printer Driver Add-in を使用しないドライバーからのプリント] **▶ [利用を制限する機能] (P. 1147)**
- ユーザーのロール設定でのプリント機能の制限
 - ※ユーザーのロール設定については、オンラインマニュアルサイトで ACCESS MANAGEMENT SYSTEM のマニュアルを参照してください。
<https://oip.manual.canon/>

#889

ジョブ制限情報が埋め込まれた原稿のため、読み取ったりプリントしたりできません。
埋め込まれているジョブ制限情報を確認します。

#899

本機から正常に送信しましたが、送信データがサーバーを中継するため、相手先が受信できていない場合があります。

相手先に届いているか確認します

正常に受信できたか、必要に応じて相手先に確認します。

リモートファクスで送信しましたか？

- リモートファクスのサーバー機の送信結果で相手先に送信できたか確認します。
- サーバーやネットワークの状態を確認します。

#901～#999

#919

構文エラーや本機の制限を超えるなどの PostScript エラーを検知しました。

エラー内容をプリントするように設定して原因を解消します

発生したエラーの内容をプリントするように設定したあと、プリントしなおします。➡ **【エラーページプリント】 (P. 1245)**

エラー内容がプリントされたら、原因を確認して解消します。

#923

製本の表紙の指定面、または本文の用紙にプリントできません。

両面プリント可能な用紙種類に変更してから、実行しなおします

➡ **使用可能な用紙 (P. 44)**

#924

針なしとじと組み合わせできない機能が設定されています。

ホチキスの位置、または用紙の種類を変更すると、針なしとじできる可能性があります。

#925

ファクスドライバーから送信されたデータの受信時に、エラーが発生しました。ファクスドライバーで送信できない画像サイズが指定されています。

送信できるサイズに指定しなおします。

#927

ファクスドライバーから送信されたデータの受信時に、エラーが発生しました。送信されたデータに本機が処理できないフォントが含まれています。

送信データを確認します。

#928

ファクスドライバーから送信されたデータの受信時に、エラーが発生しました。メモリー内に十分な空き容量がないか、一度に処理できるデータサイズを超えています。

不要なデータを削除するか、データサイズを変更します。

#929

ファクスドライバーから送信されたデータの受信時に、ネットワークでエラーが発生しました。

ネットワークの接続状況を確認します

- ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。
- 本機の操作パネルで、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをすることもできます。➡ **ネットワークの接続状況や設定を確認する (P. 137)**
- 本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をしなおします。➡ **ネットワークの設定 (P. 91)**

#932

針なしとじできる用紙の枚数を超えています。

用紙の枚数を少なくすると、針なしとじできる可能性があります。針なしとじ可能な用紙の枚数を確認してから、実行しなおします。➡ **対応オプション一覧 (P. 4)**

#933

ホチキスできる用紙の枚数を超えています。

用紙の枚数を少なくすると、ホチキスできる可能性があります。ホチキス可能な用紙の枚数を確認してから、実行します。▶[対応オプション一覧 \(P. 4\)](#)

#934

中断ジョブの自動削除機能によって、ジョブが削除されました。

ジョブ中断の原因を解消してから、プリントやコピーを実行します。

※中断ジョブの自動削除機能を無効にしたり、自動削除されるまでの時間を変更したりできます。▶[\[中断ジョブの自動削除\] \(P. 1051\)](#)

#935

針なしとじできる用紙の枚数を超えているため、針なしとじせずに 1 部プリントし、プリントを中止しました。

針なしとじ可能な用紙の枚数を確認してから、実行します。▶[対応オプション一覧 \(P. 4\)](#)

※同時にホチキス可能な枚数を超えた場合の処理方法の設定ができます。▶[\[ホチキス枚数オーバー時の処理\] \(P. 1049\)](#)

#936

ホチキスできる用紙の枚数を超えているため、ホチキスせずに 1 部出力し、プリントを中止しました。

ホチキス可能な用紙の枚数を確認してから、実行します。▶[対応オプション一覧 \(P. 4\)](#)

※同時にホチキス可能な枚数を超えた場合の処理方法の設定ができます。▶[\[ホチキス枚数オーバー時の処理\] \(P. 1049\)](#)

#939

画像データの処理中にエラーが発生したため、プリントを中止しました。

ジョブを実行します。

#943

XPS データの処理中にエラーが発生したため、プリントを中止しました。

本機を再起動したあと、ジョブを実行します。

#944

検知した用紙種類と組み合わせできない機能が設定されていたため、ジョブを中止しました。

使用する用紙や設定を変更してから、実行します。

#945

SFTP サーバーに接続できませんでした。

SFTP ホスト認証用の公開鍵の設定を確認します。

#946

本機と SFTP サーバーのユーザー認証方式が一致しません。

SFTP サーバーでパスワード認証方式を有効にします。

#995

待機中のジョブの送受信が中止されました。

必要に応じて、送受信しなします。

紙／ホチキス針がつまった

EJ83-113

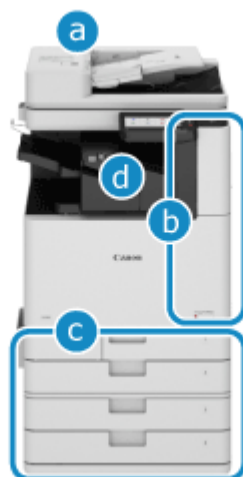
紙やホチキスの針がつまると、操作パネルの画面にメッセージとつまった位置、および対処方法が表示されます。

※画面は紙づまりや針づまりの処理が終了するまで繰り返し表示されます。[閉じる]を押すと、画面は一時的に閉じて、他の操作や設定ができる場合があります。



紙やホチキスの針がつまった場所に応じた、より詳細な対処方法については、以下を参照してください。

画面の表示に従って、紙づまりや針づまり位置を確認して、紙やホチキス針を取り除きます。実際には紙やホチキス針がつまっていない場合もありますが、すべての位置を確認します。



a フィーダー

- フィーダーに原稿がつまった (P. 1520)

b 本体内部

- 本体内部に用紙がつまった (P. 1523)
- 本体内部に用紙がつまった (インナーフィニッシャーを装着している場合) (P. 1533)

c 給紙カセット

- 給紙部に用紙がつまった (P. 1538)

d インナーフィニッシャー

- 本体内部に用紙がつまった (インナーフィニッシャーを装着している場合) (P. 1533)

▶ インナーフィニッシャーに用紙がつまった (P. 1543)

▶ インナーフィニッシャーにホチキス針がつまった (P. 1550)

注意

つまった用紙を無理に取り除かない

- 無理に取り除こうとすると、けがをしたり、部品などを損傷したりするおそれがあります。紙がつまったときの対処方法で取り除けない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。▶ **トラブルが解決しないときは (P. 1552)**

紙づまりの処理が完了したら

- 本機／オプション機器から、すぐに手を離してください。本機のローラーに衣服や手が巻き込まれるおそれがあります。

重要

紙づまり／針づまりを処理するときの注意事項

- 作業するときは電源を切らないでください。電源を切ると、プリント中のデータや、ファクスの受信中のデータが消去されるおそれがあります。
- 画面に表示されている紙づまり位置と別の位置の紙を取り除くと、紙づまりや出力物の落丁の原因となります。
- 用紙が破れたときは、本機／オプション機器内部に切れ端が残らないように取り除いてください。
- 紙づまり／針づまりの処理中でも、オプション機器でプリントが実行されることがあります。装着しているオプション機器の取り扱いにはご注意ください。

フィーダーに原稿がつまった

EJ83-114

フィーダー内部やフィーダーの裏側につまった原稿を、取り除きます。操作パネルの画面の表示に従って、紙づまり位置を確認して紙を取り除きます。

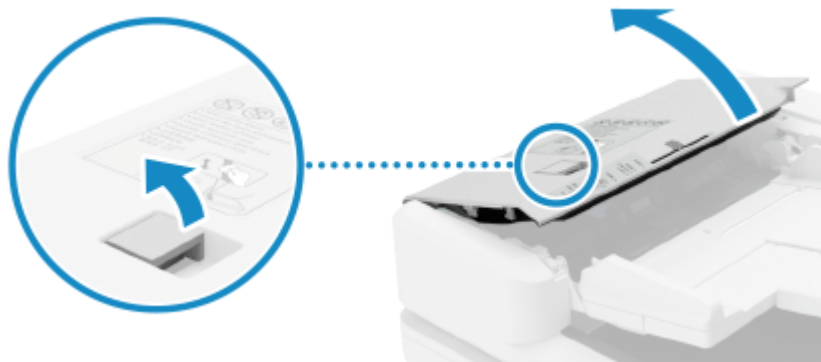
原稿が破れたときは、切れ端が残らないように取り除きます。

原稿が取り除けない場合は無理に引き抜こうとせずに、画面を確認して、別の場所につまった原稿を取り除きます。

1 原稿給紙トレイ上の原稿を取り除く



2 レバーを引いて、フィーダーカバーを開ける



3 フィーダーカバー内部に原稿がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



4 排紙トレイに原稿がつまっているか確認する

1. 緑色のノブを回す



2. 原稿が排出された場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



5. フィーダーカバーを閉める

6. フィーダーの裏側に原稿がつまっているか確認する

1. フィーダーを開ける



2. 原稿がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



3. フィーダーを閉める

→ 紙づまりが解消されると、紙づまりの画面が消えて、原稿のスキャンが可能な状態になります。
紙づまり発生時の再開方法の設定に応じて、フィーダーに原稿をセットしなおします。▶ **【フィーダー紙づまり発生時の再開方法】 (P. 1054)**

メモ

紙づまりが繰り返し起こる場合

- 本機や原稿の状態を確認します。➡紙づまりが繰り返し起こる (P. 1547)

本体内部に用紙がつまった

EJ83-115

本体内部につまった用紙を取り除きます。操作パネルの画面の表示に従って、紙づまり位置を確認して紙を取り除きます。用紙が破れたときは、切れ端が残らないように取り除きます。用紙が取り除けない場合は無理に引き抜こうとせずに、画面を確認して、別の場所につまった用紙を取り除きます。

長尺用紙を使用している場合は操作手順が異なります。

①長尺用紙以外の用紙がつまった場合 (P. 1523)

②長尺用紙がつまった場合 (P. 1527)

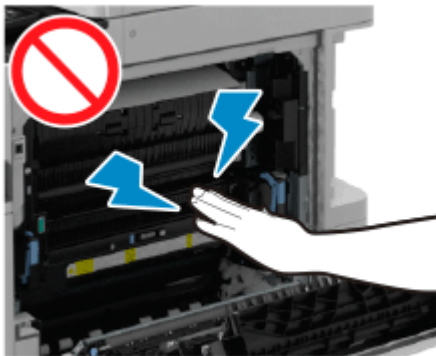
※オプションのインナーフィニッシャーを装着している場合は、以下を参照してください。

③本体内部に用紙がつまった（インナーフィニッシャーを装着している場合） (P. 1533)

重要

本体右カバーを開く場合は

- 静電気を帯びた手で本体内部を触ると、部品が故障する恐れがあります。本体内部にある消耗品の交換や紙づまりの作業を行う前に、取っ手をしっかり握って本体右カバーを開いてください（電気をアースへ逃がすための金属板が取っ手の裏に装着されています）。
- 消耗品の交換や紙づまりの作業を中断するときは、静電気を帯びた手で作業の再開を防ぐため、いったん本体右カバーを閉じてください。作業を再開する場合は、再度取っ手をしっかり握って本体右カバーを開いてください。

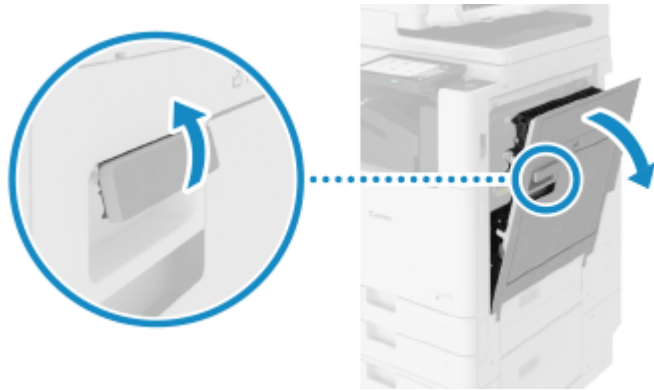


長尺用紙以外の用紙がつまった場合

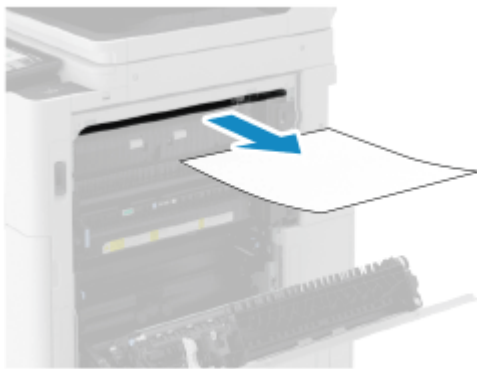
必要な準備

- 開いているカバーやカセットがあれば、閉めます。

- 1 レバーを引いて、本体右カバーを開ける



- 2 反転部に用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



- 3 排紙部に用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く

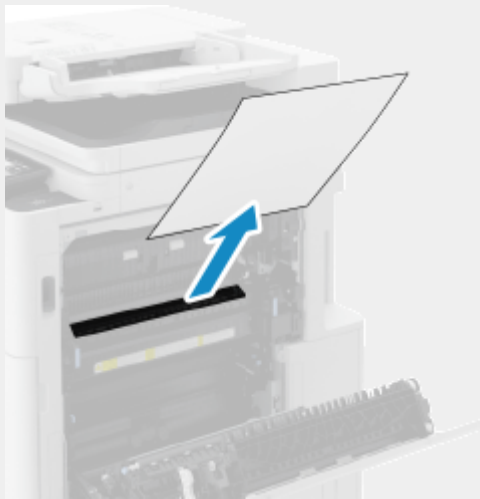


- 4 定着器に用紙がつまっているか確認する

1. 定着器の上部カバーを開ける

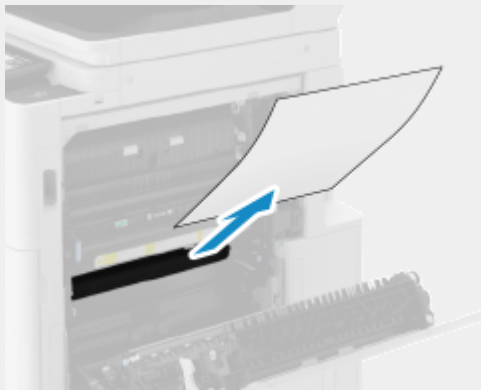


2. 用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



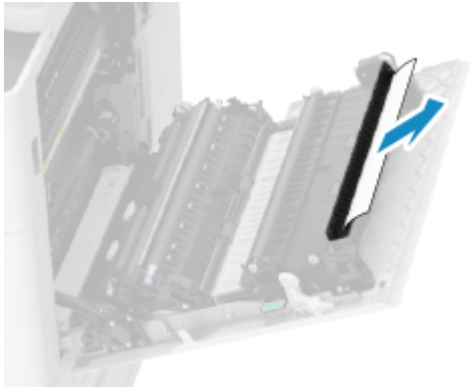
用紙を取り除けない場合

下側から用紙をゆっくり引き抜きます。



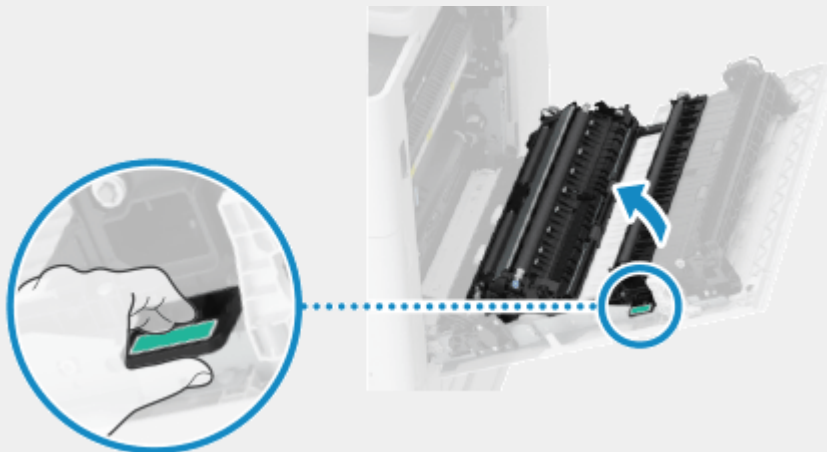
3. 定着器の上部カバーを閉める

- 5 本体右カバー側の排紙部に用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く

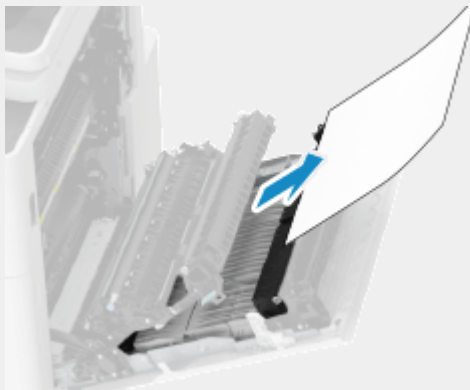


- 6 両面ユニットに用紙がつまっているか確認する

1. 緑色のレバーを持ち上げて、両面ユニットを開ける

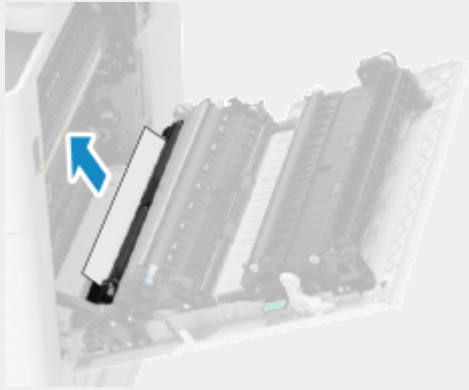


2. 用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



3. 両面ユニットを閉める

4. 両面ユニットの下部に用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



- 7 給紙カセット 1 付近に用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



- 8 本体右カバーを、カチッと音がするまでゆっくり閉める

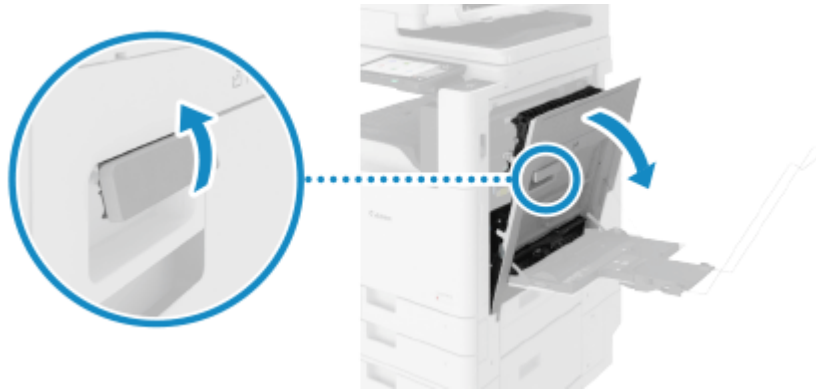
→ 紙づまりが解消されると、紙づまりの画面が消えて、プリントが自動的に再開されます。

別の場所の紙づまり処理画面が表示されている場合は、画面の指示に従って紙づまりの処理を続けます。

長尺用紙がつまった場合

- 1 手差しトレイに用紙がセットされている場合は、その用紙を取り除く

2 レバーを引いて、本体右カバーを開ける



3 手差しトレイに用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く

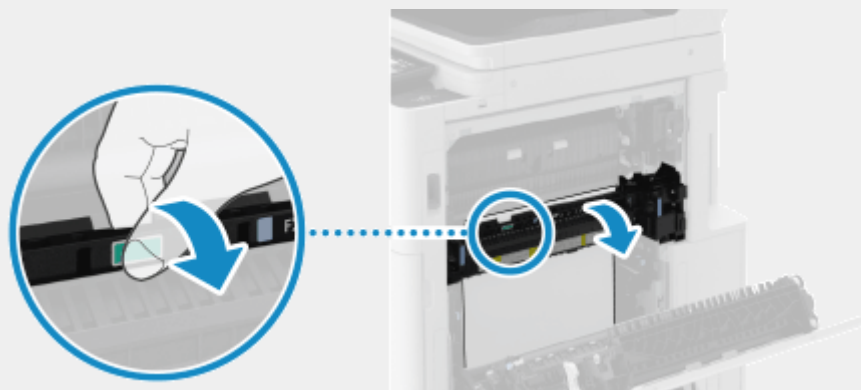


4 定着器に用紙がつまっているか確認する

用紙の上端を持ってない場合



1. 緑色のレバーを持って、定着器を開ける



2. 用紙の下端が出るまで矢印の方向にゆっくり引き抜く

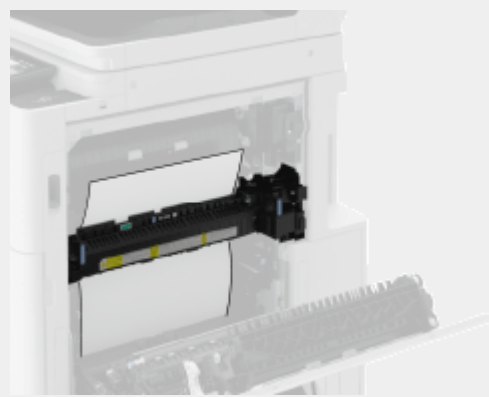


3. 残りの用紙を矢印の方向にゆっくり引き抜く

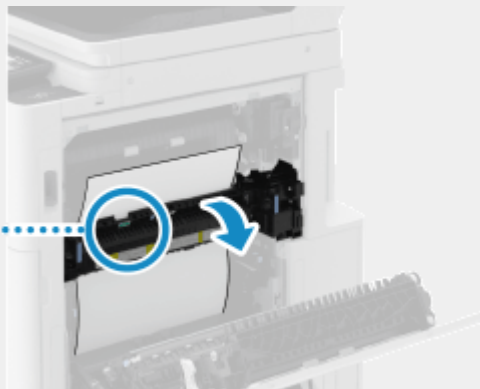


4. 定着器を閉める

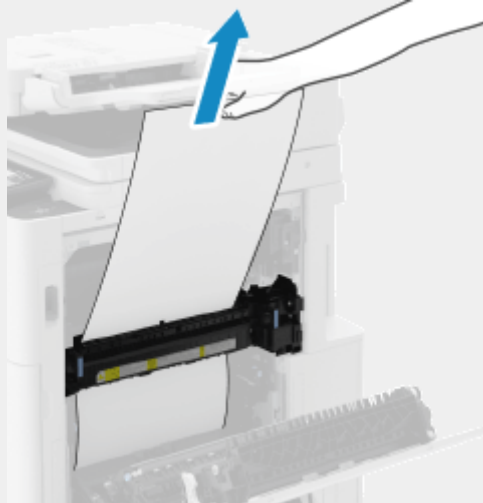
用紙の上端を持てる場合



1. 緑色のレバーを持って、定着器を開ける



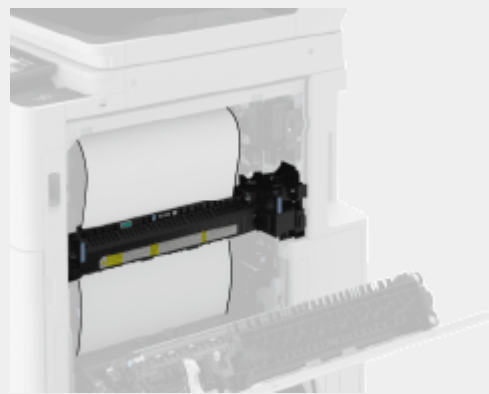
2. 用紙を矢印の方向にゆっくり引き抜く



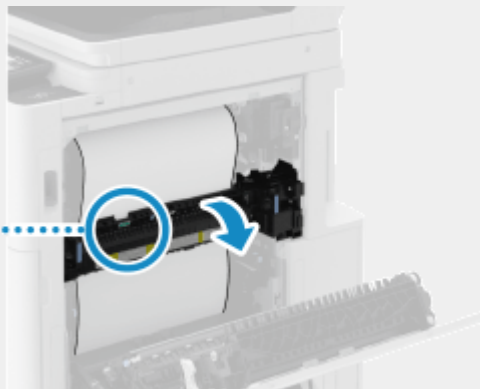
3. 定着器を閉める

5 排紙ユニットに用紙がつまっているか確認する

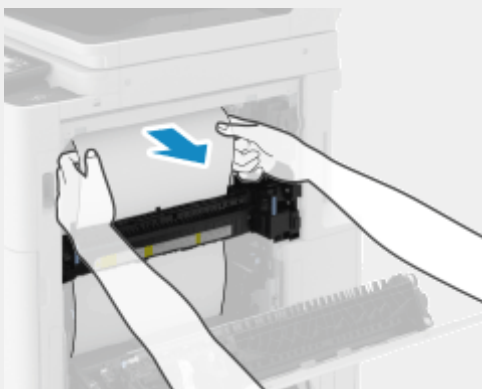
排紙ユニットの途中につまっている場合



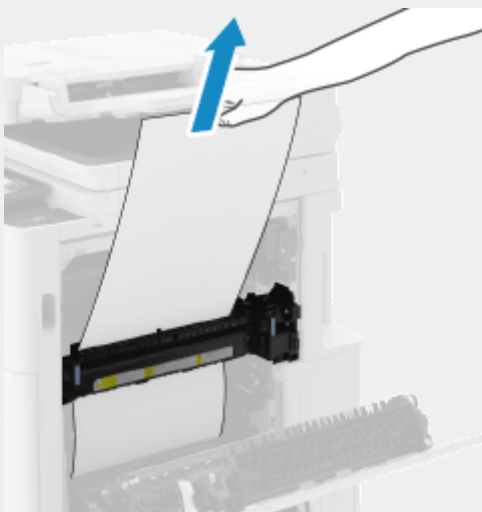
1. 緑色のレバーを持って、定着器を開ける



2. 用紙の端が上部に引き込まれている場合は、用紙の端が出るまで矢印の方向にゆっくり引き抜く



3. 残りの用紙を矢印の方向にゆっくり引き抜く



4. 定着器を閉める

排紙ユニットから用紙の端だけ出ている場合



1. 排紙トレイ側から矢印の方向にゆっくり引き抜く



6 本体右カバーを、カチッと音がするまでゆっくり閉める

→ 紙づまりが解消されると、紙づまりの画面が消えて、プリントが自動的に再開されます。別の場所の紙づまり処理画面が表示されている場合は、画面の指示に従って紙づまりの処理を続けます。

メモ

紙づまりが繰り返し起こる場合

- 本機や用紙の状態を確認します。▶ 紙づまりが繰り返し起こる (P. 1547)

本体内部に用紙がつまった（インナーフィニッシャーを装着している場合）

EJ83-116

インナーフィニッシャーを装着しているときに、本体内部やインナーフィニッシャーにつまった用紙を取り除きます。操作パネルの画面の表示に従って、紙づまり位置を確認して紙を取り除きます。

用紙が破れたときは、切れ端が残らないように取り除きます。

用紙が取り除けない場合は無理に引き抜こうとせず、画面を確認して、別の場所につまった用紙を取り除きます。

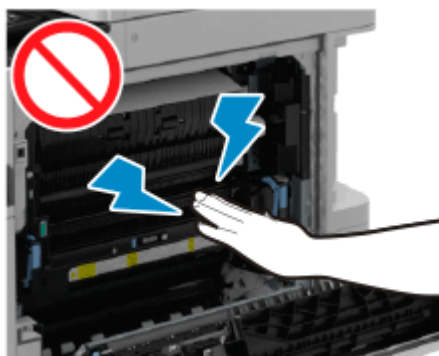
※長尺用紙を使用している場合は、以下を参照してください。

④長尺用紙がつまった場合 (P. 1527)

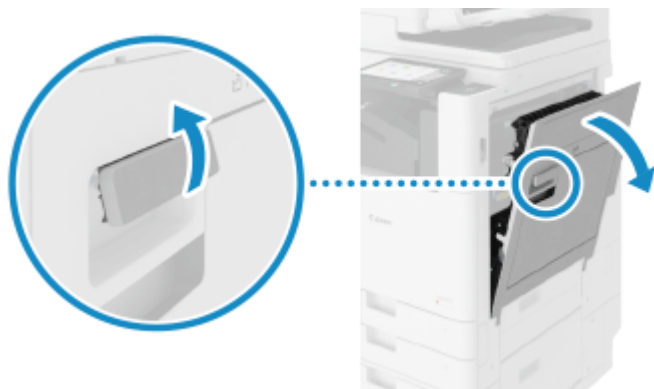
重要

本体右カバーを開く場合は

- 静電気を帯びた手で本体内部を触ると、部品が故障する恐れがあります。本体内部にある消耗品の交換や紙づまりの作業を行う前に、取っ手をしっかり握って本体右カバーを開いてください（電気をアースへ逃がすための金属板が取っ手の裏に装着されています）。
- 消耗品の交換や紙づまりの作業を中断するときは、静電気を帯びた手で作業の再開を防ぐため、いったん本体右カバーを閉じてください。作業を再開する場合は、再度取っ手をしっかり握って本体右カバーを開いてください。



1 レバーを引いて、本体右カバーを開ける



- 2 反転部に用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



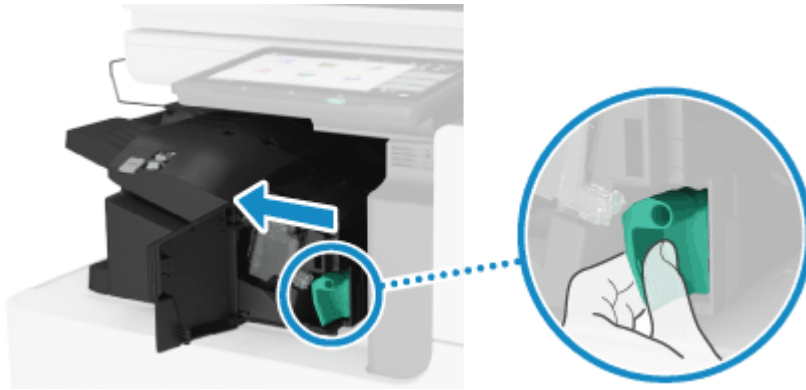
- 3 排紙部に用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



- 4 インナーフィニッシャーの左カバーを開ける

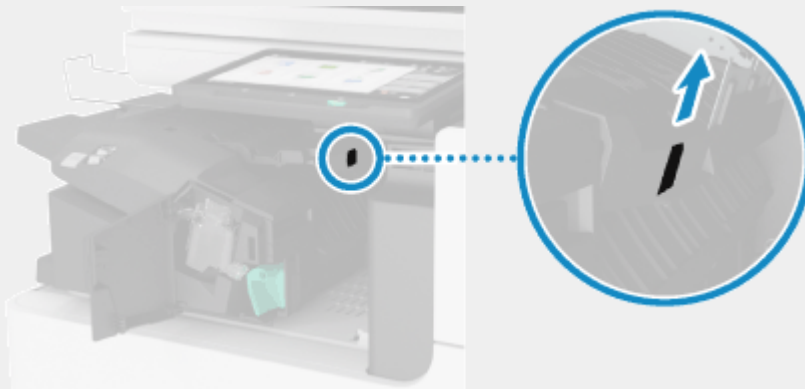


5 緑色のレバーを持って、インナーフィニッシャーを左にスライドさせる



6 インナーフィニッシャー内に用紙がつまっているか確認する

1. 緑色のガイドを上げる



2. 用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



3. 緑色のガイドを下げる

パンチャーユニットを装着している場合
パンチャーユニット内に用紙がつまっているか確認します。

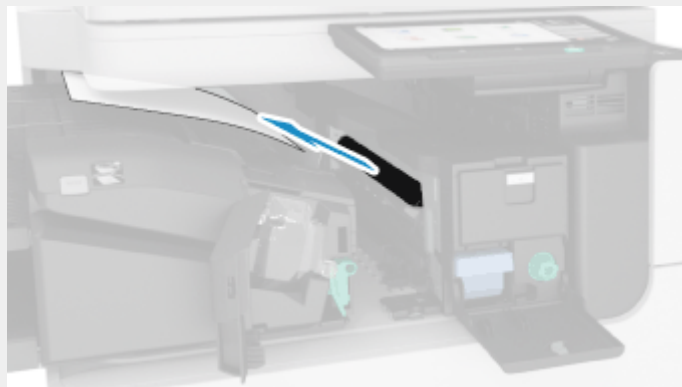
1.パンチャーユニットの前カバーを開ける



2. 緑色のノブを回す

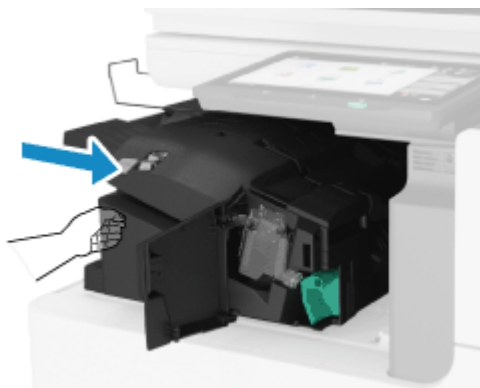


3. 用紙が排出された場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



4. パンチャーユニットの前カバーを閉める

7 インナーフィニッシャーを右にスライドさせて押し込む



インナーフィニッシャーを押し込むときは、すき間に指をはさまないようにします。

8 インナーフィニッシャーの左カバーを閉める

9 本体右カバーを、カチッと音がするまでゆっくり閉める

→紙づまりが解消されると、紙づまりの画面が消えて、プリントが自動的に再開されます。

別の場所の紙づまり処理画面が表示されている場合は、画面の指示に従って紙づまりの処理を続けます。

給紙部に用紙がつまった

EJ83-117

給紙部につまった用紙を取り除きます。操作パネルの画面の表示に従って、紙づまり位置を確認して紙を取り除きます。
用紙が破れたときは、切れ端が残らないように取り除きます。
用紙が取り除けない場合は無理に引き抜こうとせずに、画面を確認して、別の場所につまった用紙を取り除きます。

- ① 給紙カセット 1 に用紙がつまった (P. 1538)
- ② 給紙カセット 2 に用紙がつまった (P. 1539)
- ③ 給紙カセット 3／給紙カセット 4 に用紙がつまった (オプション) (P. 1540)

給紙カセット 1 に用紙がつまった

ここでは、給紙カセット 1 の紙づまりの対処方法を説明します。操作パネルの画面の表示に従って、紙づまり位置を確認して紙を取り除きます。

必要な準備

- 開いているカバーやカセットがあれば、閉めます。

1 給紙カセット 1 を手前に引き出す



2 給紙カセット 1 に用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



3 給紙カセット 1 をカチッと音がするまでゆっくりと本機に押し込む

→ 紙づまりが解消されると、紙づまりの画面が消えて、プリントが自動的に再開されます。

別の場所の紙づまり処理画面が表示されている場合は、画面の指示に従って紙づまりの処理を続けます。

給紙カセットを押し込むときは、すき間に指をはさまないようにします。

メモ

紙づまりが繰り返し起こる場合

- 本機や用紙の状態を確認します。➡ [紙づまりが繰り返し起こる \(P. 1547\)](#)

給紙カセット 2 に用紙がつまった

ここでは、給紙カセット 2 の紙づまりの対処方法を説明します。操作パネルの画面の表示に従って、紙づまり位置を確認して紙を取り除きます。

必要な準備

- 開いているカバーやカセットがあれば、閉めます。

1 カセット右カバー内に用紙がつまっているか確認する

1. カセット右カバーを開く



2. 用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



3. カセット右カバーを、カチッと音がするまでゆっくり閉める

➡ 紙づまりの画面が消えた場合は、以降の手順は不要です。プリントが自動的に再開されます。
紙づまりの画面が表示されたままの場合は、以降の手順に従って紙づまりの処理を続けます。

2 給紙カセット 2 内に用紙がつまっているか確認する

1. 給紙カセット 2 を手前に引き出す



2. 用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



3. 給紙カセット 2 をカチッと音がするまでゆっくりと本機に押し込む

→ 紙づまりが解消されると、紙づまりの画面が消えて、プリントが自動的に再開されます。
別の場所の紙づまり処理画面が表示されている場合は、画面の指示に従って紙づまりの処理を続けます。

給紙カセットを押し込むときは、すき間に指をはさまないようにします。

メモ

紙づまりが繰り返し起こる場合

- 本機や用紙の状態を確認します。▶ [紙づまりが繰り返し起こる \(P. 1547\)](#)

給紙カセット 3／給紙カセット 4 に用紙がつまった（オプション）

ここでは、給紙カセット 3／給紙カセット 4 の紙づまりの対処方法を説明します。操作パネルの画面の表示に従って、紙づまり位置を確認して紙を取り除きます。

必要な準備

- 開いているカバーやカセットがあれば、閉めます。

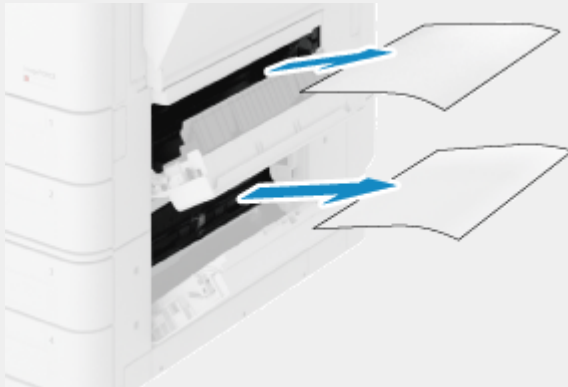
1

カセット右カバーとカセット右下カバーに用紙がつまっているか確認する

1. カセット右カバーとカセット右下カバーを開ける



2. 用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



3. カセット右カバーと右下カバーを、カチッと音がするまでゆっくり閉める

→ 紙づまりの画面が消えた場合は、以降の手順は不要です。プリントが自動的に再開されます。
紙づまりの画面が表示されたままの場合は、以降の手順に従って紙づまりの処理を続けます。

2

給紙カセット 3 または給紙カセット 4 に用紙がつまっているか確認する

1. 給紙カセット 3 または給紙カセット 4 を手前に引き出す



2. 用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



3. 給紙カセット 3 または給紙カセット 4 をカチッと音がするまでゆっくりと本機に押し込む

→ 紙づまりが解消されると、紙づまりの画面が消えて、プリントが自動的に再開されます。
別の場所の紙づまり処理画面が表示されている場合は、画面の指示に従って紙づまりの処理を続けます。

給紙カセットを押し込むときは、すき間に指をはさまないようにします。

メモ

紙づまりが繰り返し起こる場合

- 本機や用紙の状態を確認します。▶ [紙づまりが繰り返し起こる \(P. 1547\)](#)

フィニッシャーに用紙がつまった（オプション）

EJ83-118

フィニッシャーにつまった用紙を取り除きます。操作パネルの画面の表示に従って、紙づまり位置を確認して紙を取り除きます。

用紙が破れたときは、切れ端が残らないように取り除きます。

用紙が取り除けない場合は無理に引き抜こうとせずに、画面を確認して、別の場所につまった用紙を取り除きます。

① インナーフィニッシャーに用紙がつまった (P. 1543)

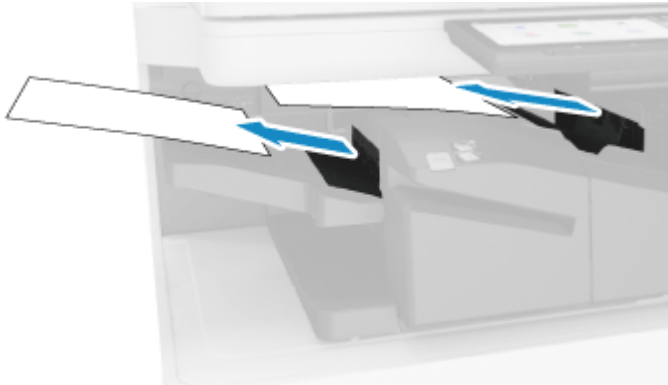
インナーフィニッシャーに用紙がつまった

ここでは、インナーフィニッシャーの紙づまりの対処方法を説明します。操作パネルの画面の表示に従って、紙づまり位置を確認して紙を取り除きます。

必要な準備

- トレイ上に用紙がセットされている場合は、用紙を取り除きます。
- 開いているカバーやカセットがあれば、閉めます。

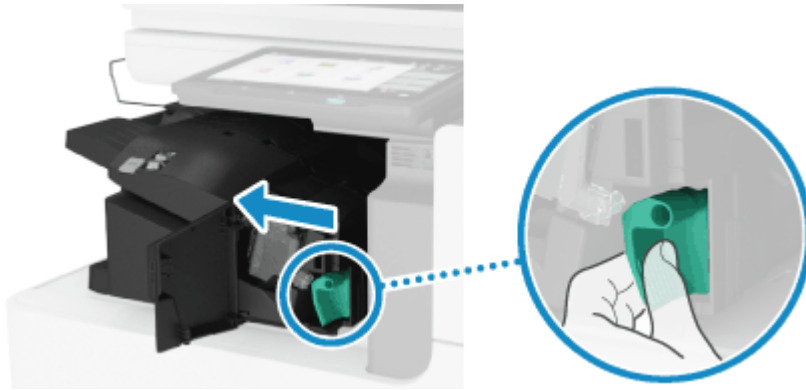
- 1 インナーフィニッシャーの排紙トレイに用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



- 2 インナーフィニッシャーの左カバーを開ける

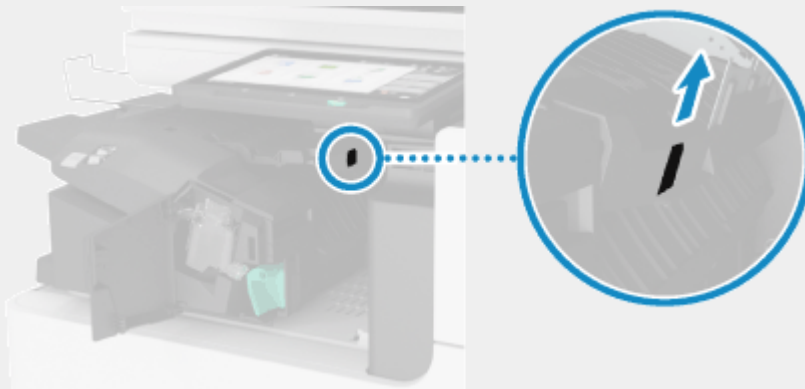


3 緑色のレバーを持って、インナーフィニッシャーを左にスライドさせる



4 インナーフィニッシャー内に用紙がつまっているか確認する

1. 緑色のガイドを上上げる



2. 用紙がつまっている場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



3. 緑色のガイドを下げる

パンチャーユニットを装着している場合
パンチャーユニット内に用紙がつまっているか確認します。

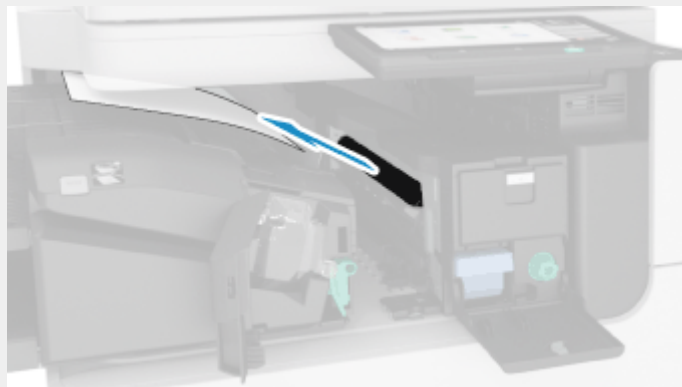
1. パンチャーユニットの前カバーを開ける



2. 緑色のノブを回す

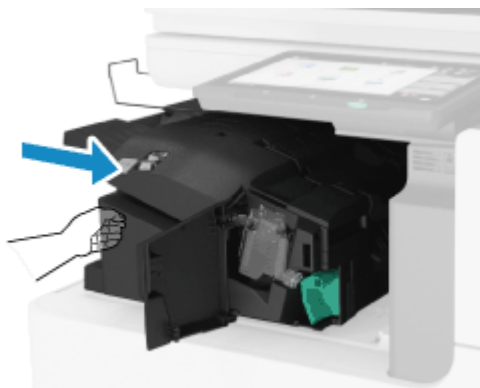


3. 用紙が排出された場合は、矢印の方向にゆっくり引き抜く



4. パンチャーユニットの前カバーを閉める

5 インナーフィニッシャーを右にスライドさせて押し込む



インナーフィニッシャーを押し込むときは、すき間に指をはさまないようにします。

6

インナーフィニッシャーの左カバーを閉める

→紙づまりが解消されると、紙づまりの画面が消えて、プリントが自動的に再開されます。
別の場所の紙づまり処理画面が表示されている場合は、画面の指示に従って紙づまりの処理を続けます。

メモ

紙づまりが繰り返し起こる場合

- 本機や用紙の状態を確認します。▶ [紙づまりが繰り返し起こる \(P. 1547\)](#)

紙づまりが繰り返し起こる

EJ83-119

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

本機の内部に紙片や異物がありませんか？

紙片や異物がある場合は取り除きます。用紙を取り除くときは無理に引っ張らないようにします。▶紙／ホチキス針が
つまった (P. 1518)

適切な用紙を使用していますか？

- 本機で利用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。
 - ▶使用可能な用紙 (P. 44)
 - ▶用紙のセット方法 (P. 211)
- セットされている用紙と用紙種類の設定が異なっている場合は、設定しなおします。用紙種類の設定は、操作パネルの
[ 状況確認] ▶ [消耗品/その他] を押して確認します。

用紙は正しくセットされていますか？

- 用紙を少量ずつよくさばき、用紙が貼りつかないようにします。
- 用紙を平らな場所で数回たたいて、端をそろえてからセットします。▶用紙のセット方法 (P. 211)
- 用紙が積載制限マーク (、 ) *を超えないようにセットします。

* 給紙カセットの場合は ( : 封筒以外、  : 封筒) となります。

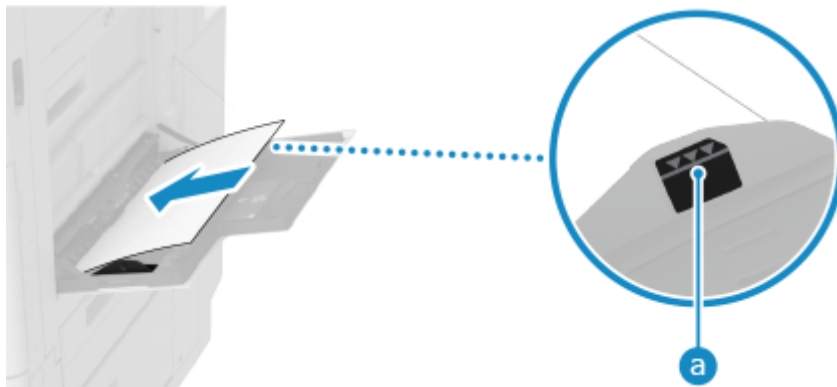
給紙カセット 1



給紙カセット 2

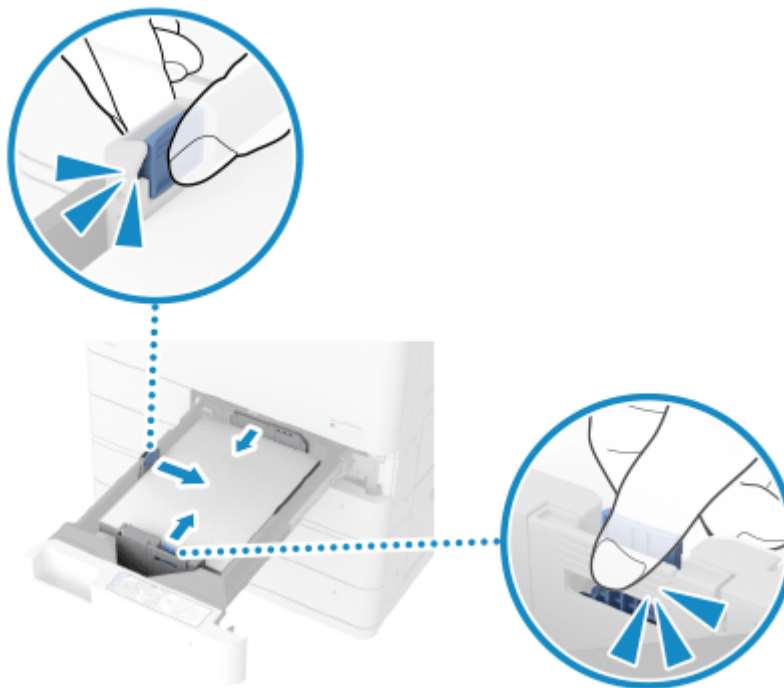


手差しトレイ

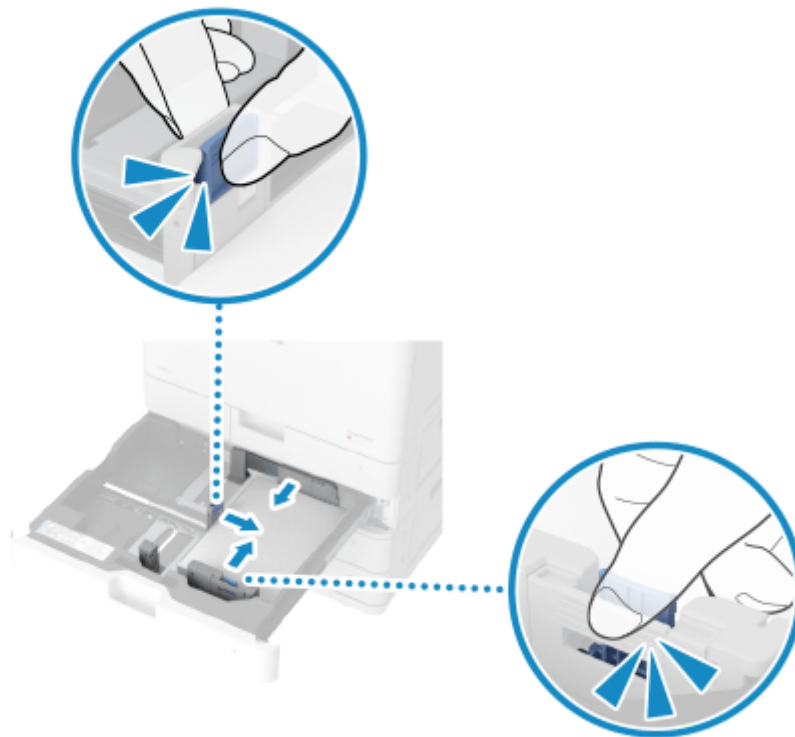


- 給紙部にセットされている用紙と用紙ガイドをぴったり合わせます。

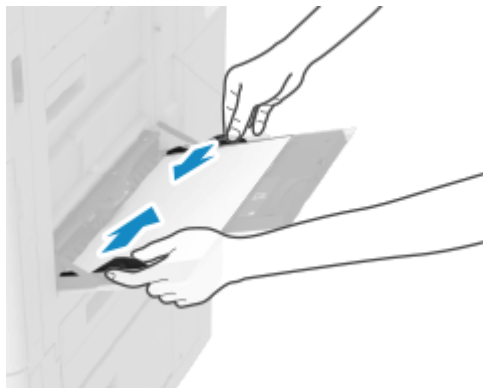
給紙カセット 1



給紙カセット 2



手差しトレイ



用紙が重なって送られていませんか？

用紙の裁断面の状態によっては、用紙が重なった状態で給紙されて紙づまりが起こる場合があります。用紙の向きを変えてセットしなおすと、裁断面の影響を軽減できることがあります。👉[用紙のセット方法 \(P. 211\)](#)

ホチキス針がつまった（オプション）

EJ83-11A

ホチキス針がつまった場所から、ホチキス針を取り除きます。操作パネルの画面の表示に従って、針づまり位置を確認してホチキス針を取り除きます。

① インナーフィニッシャーにホチキス針がつまった (P. 1550)

インナーフィニッシャーにホチキス針がつまった

ここでは、インナーフィニッシャーの針づまりの対処方法を説明します。操作パネルの画面の表示に従って、針づまり位置を確認してホチキス針を取り除きます。

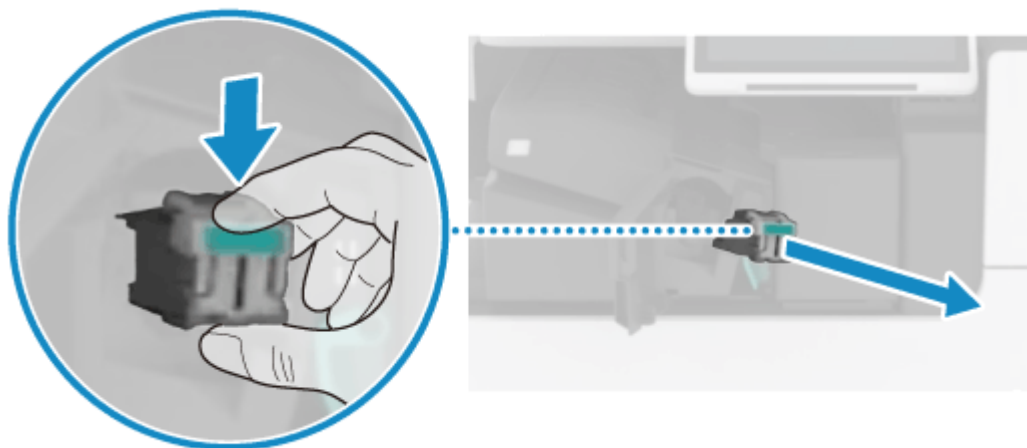
必要な準備

- 開いているカバーやカセットがあれば、閉めます。

1 フィニッシャーの左カバーを開ける



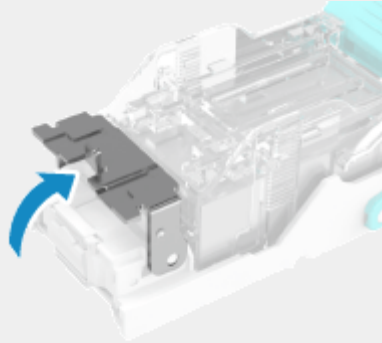
2 針カートリッジを取り外す



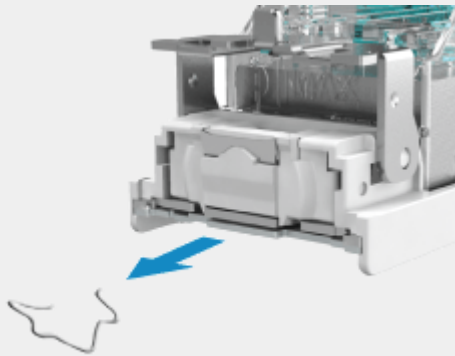
針カートリッジの緑色のマーク部分を下げてロックを外し、まっすぐに引き出します。

3 針カートリッジから、つまっている針束を取り除く

1. 針カートリッジのつまみを上げる



2. つまっている針束および露出しているホチキス針をすべて取り除く



3. 針カートリッジのつまみを下げる

4 針カートリッジをフィニッシャーに取り付ける



針カートリッジの緑色のマーク部分を手前側にして奥までしっかりと押し込み、緑色のマーク部分を上げてロックします。

5 フィニッシャーの左カバーを閉める

→ ホチキス針の頭出しのため、自動的に空打ちされることがあります。

トラブルが解決しないときは

EJ83-11C

トラブルが解決しない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

重要

お客様ご自身で分解修理しない

- お客様ご自身で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

お問い合わせの前に確認すること

- 製品名 (MF7825F)
- 購入先の販売店
- トラブルの内容 (具体的な操作内容とその結果など)
- シリアルナンバー

シリアルナンバーの確認方法

シリアルナンバーは、操作パネルの [カウンター/機器情報] キーを押すと、画面に表示されます。

- リモート UI のポータル画面で確認することもできます。▶ [リモート UI のポータル画面 \(P. 890\)](#)
- 本機背面のラベルでも確認できます。



付録

付録	1554
ユーザズガイドの使いかた	1555
パソコンの操作例	1557
環境情報／法規制／規格	1569
おことわり	1571

付録

EJ83-11E

ユーザーズガイド（本マニュアル）や、本機を使用するときに必要なパソコンの基本操作を確認できます。

ユーザーズガイド

本機のすべての機能やメンテナンス方法／仕様について記載しています。知りたい情報を検索したり、文字サイズやレイアウトを変更したりできます。

➡ **ユーザーズガイドの使いかた (P. 1555)**

パソコンの基本操作

本機をパソコンから利用したり、本機に設定する情報を確認したりするために、パソコンでの操作が必要になることがあります。Windows/macOS の操作例を紹介しています。

➡ **パソコンの操作例 (P. 1557)**

その他の情報

➡ **環境情報／法規制／規格 (P. 1569)**

➡ **おことわり (P. 1571)**

ユーザーズガイドの使いかた

EJ83-11F

ユーザーズガイド（本マニュアル）は、本機のすべての機能やメンテナンス方法／仕様について記載しています。ユーザーズガイドでは、目次や検索機能を使用して知りたい情報を見つけることができます。

※画面上部の  /  をクリックすると、目次／検索キーワード入力欄の表示が切り替わります。

①機能／オプションの記載について (P. 1555)

②イラスト／画面について (P. 1555)

③マークの意味 (P. 1555)

④ボタンの表記 (P. 1556)

⑤検索のしかた (P. 1556)

機能／オプションの記載について

ユーザーズガイドは、複数の機種シリーズの機能を説明しています。お使いの機種やオプションによっては、対応していない機能などが記載されている場合がございますが、あらかじめご了承ください。

※本機が対応しているオプションは一覧で確認できます。 [④対応オプション一覧 \(P. 4\)](#)

プリンター専用モデルをお使いの場合

プリンター専用モデルではプリント以外の機能は使用できません。

ユーザーズガイドには、スキャン／ファクス／コピーの機能や操作説明も記載されています。プリンター専用モデルで必要な記載のみお読みください。

イラスト／画面について

ユーザーズガイドでは、特に記載がないかぎり、以下を使用して説明しています。

機種

イラストは、MF7825F を使用しています。

画面は、複数の機種シリーズの中から代表的な機種を使用しています。

パソコンの OS

Windows 11

macOS 13

- 機種やオプションによっては、画面が異なる場合があります。
- パソコンの OS によっては、操作や画面が異なる場合があります。
- ドライバーやソフトウェアのバージョンアップによって、画面が変更される場合があります。

マークの意味

警告事項や注意事項は、本機に同梱されている「安全にお使いいただくために」にも掲載されています。併せてご確認ください。

マーク	意味
 警告	製品の取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
 注意	製品の取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや製品故障以外の物的損害を防ぐための注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。
重要	セキュリティ／データ保全に関わる重要事項や制限事項、守っていただきたい注意事項が記載されています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。
メモ	操作の補足説明や参考となる情報、便利な関連機能などが記載されています。

ボタンの表記

操作パネル／パソコンの画面に表示されるボタンなどは、[] で囲んで表記しています。

表記例：

[ 設定/登録]

[ ストップ]

[中止] ▶ [はい]

[安全に取り外すことができます。]

検索のしかた

1 画面上部の [] をクリックする

→ 画面左上に検索キーワード入力欄が表示されます。

2 キーワードを入力し、[] をクリックするかパソコンの [Enter] キーを押す

- 複数のキーワードをスペース（空白）で区切ると、すべてのキーワードを含むページを検索できます。
- キーワードをダブルクォーテーション (") で囲むと、スペースを含めて完全に一致するページのみを検索できます。

3 検索結果をクリックし、目的のページを探す

- [] をクリックすると、検索結果の表示／非表示が切り替わります。
- [] をクリックすると、目次の表示／非表示が切り替わります。

パソコンの操作例

EJ83-11J

本機をパソコンから利用する場合、機能によってはパソコンの設定が必要です。また、本機に設定する情報を確認するために、パソコンの情報が必要になることもあります。

そのような場合は、以下の操作例を参考に、パソコンで必要な設定や情報の確認をします。

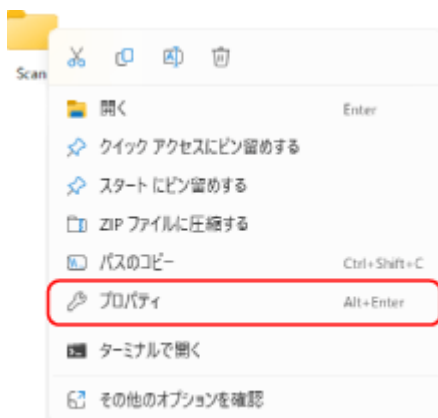
- ① 共有フォルダーを作成する (P. 1557)
- ② ネットワーク探索を有効にする (P. 1560)
- ③ プリントサーバー内の共有プリンターを表示する (P. 1561)
- ④ パソコンのログインユーザー名を確認する (P. 1562)
- ⑤ パソコンのシステム情報を確認する (P. 1562)
- ⑥ パソコンのネットワーク接続情報を確認する (P. 1563)
- ⑦ プリンターポートを確認する (P. 1566)
- ⑧ 双方向通信を確認する (P. 1567)
- ⑨ テストページをプリントする (P. 1567)

共有フォルダーを作成する

- ① Windows の場合 (P. 1557)
- ② macOS の場合 (P. 1559)

Windows の場合

- 1 任意の場所（デスクトップなど）にフォルダーを作成する
- 2 作成したフォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

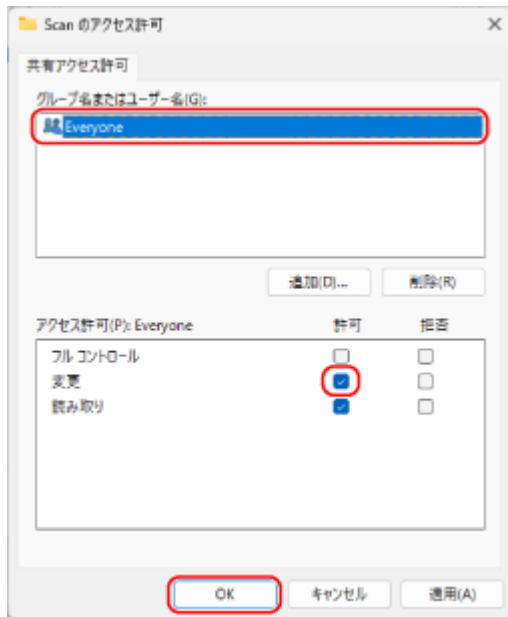


- 3 [共有] タブで、[詳細な共有] をクリックする

→ [詳細な共有] 画面が表示されます。

- 4 [このフォルダーを共有する] にチェックマークを付け、[アクセス許可] をクリックする

5 アクセス許可の設定をする



1. [グループ名またはユーザー名] で、[Everyone] を選択する
2. [アクセス許可] で、[変更] の [許可] にチェックマークを付ける
3. [OK] をクリックする

6 [OK] ▶ [閉じる] をクリックする

→ 作成したフォルダーが共有フォルダーとして使用できるようになります。

7 ファイルとプリンターの共有設定を確認する

1. [] (スタート) ▶ [] (設定) ▶ [ネットワークとインターネット] をクリックする
→ [ネットワークとインターネット] 画面が表示されます。
2. [ネットワークの詳細設定] をクリックする
→ [ネットワークの詳細設定] 画面が表示されます。
3. [その他の設定] の [共有の詳細設定] をクリックする

4. 接続中のネットワーク（現在のプロファイル）の「ファイルとプリンターの共有」が「オン」に設定されていることを確認する



メモ

- 作成した共有フォルダーの情報は、あらかじめ本機のアドレス帳に登録しておく、送信するたびに情報を入力する手間が省けます。▶ [共有フォルダーの情報をアドレス帳に登録したい \(P. 1421\)](#)

macOS の場合

- 1 [🍏] ▶ [システム設定] ▶ [一般] ▶ [共有] をクリックする

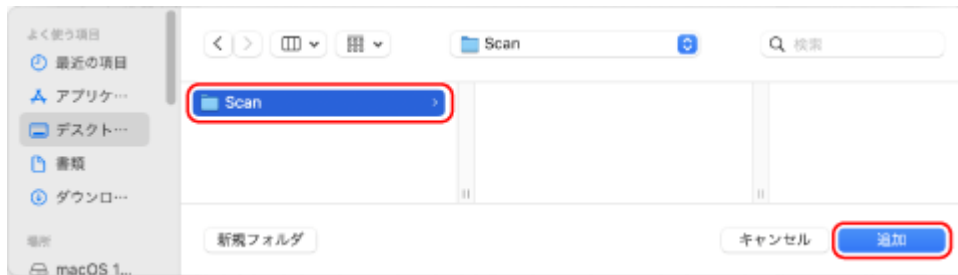
→ [共有] 画面が表示されます。

- 2 [ファイル共有] をオンにし、[ⓘ] をクリックする



- 3 [共有フォルダ] の [+] をクリックする

4 任意の場所（デスクトップなど）にフォルダーを作成し、[追加] をクリックする



5 アクセス許可の設定をする



1. [共有フォルダ] で、作成したフォルダーを選択する
2. [ユーザ] で、[すべての人] ▶ [読み/書き] を選択する

6 [完了] をクリックする

→ 作成したフォルダーが共有フォルダーとして使用できるようになります。

メモ

- 作成した共有フォルダーの情報は、あらかじめ本機のアドレス帳に登録しておく、送信するたびに情報を入力する手間が省けます。▶ [共有フォルダーの情報をアドレス帳に登録したい \(P. 1421\)](#)

ネットワーク探索を有効にする

1 [] (スタート) を右クリックし、[ネットワーク接続] をクリックする

→ [ネットワークとインターネット] 画面が表示されます。

2 [ネットワークの詳細設定] ▶ [共有の詳細設定] をクリックする

→ [共有の詳細設定] 画面が表示されます。

3 [ネットワーク探索] を [オン] に設定する

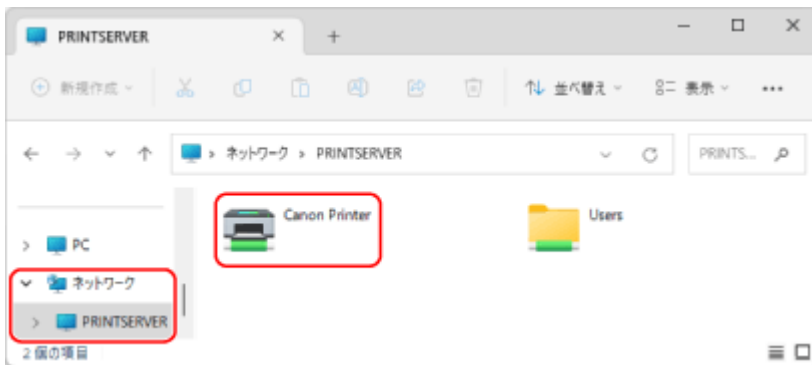
プリントサーバー内の共有プリンターを表示する

④ Windows の場合 (P. 1561)

④ macOS の場合 (P. 1561)

Windows の場合

- 1 [] (スタート) を右クリックし、[エクスプローラー] をクリックする
- 2 [ネットワーク] からプリントサーバーを選択して、共有プリンターを表示する



[ネットワーク] に何も表示されない場合は、ネットワーク探索を有効に設定します。④ ネットワーク探索を有効にする (P. 1560)

macOS の場合

- 1 [] ▶ [システム設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする
→ [プリンタとスキャナ] 画面が表示されます。
- 2 [プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加] をクリックする
→ [プリンタを追加] 画面が表示されます。
- 3 [] をクリックし、共有プリンターを表示する



パソコンのログインユーザー名を確認する

④Windows の場合 (P. 1562)

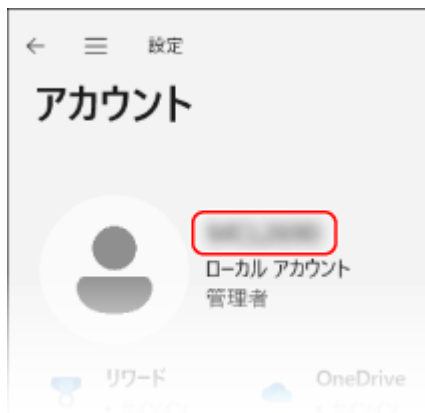
④macOS の場合 (P. 1562)

Windows の場合

- 1 [] (スタート) ▶ [] (設定) ▶ [アカウント] をクリックする

→ [ユーザーの情報] 画面が表示されます。

- 2 アイコン画像の右に表示されているユーザー名を確認する

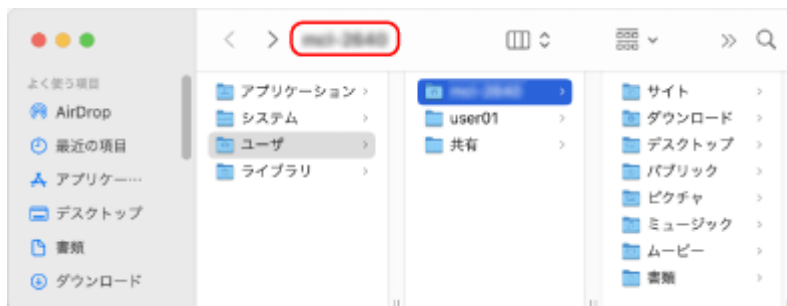


macOS の場合

- 1 デスクトップで、[移動] ▶ [ホーム] をクリックする

→ ホームフォルダーの画面が表示されます。

- 2 画面の上部に表示されているユーザー名を確認する



パソコンのシステム情報を確認する

④Windows の場合 (P. 1563)

④macOS の場合 (P. 1563)

Windows の場合

1 [] (スタート) を右クリックし、[システム] をクリックする

→ [バージョン情報] 画面が表示されます。

2 [デバイスの仕様] で、コンピューター名やプロセッサバージョンを確認する



- コンピューター名は、[デバイス名] で確認します。
- プロセッサバージョンは、[システムの種類] で確認します。
 - 32 bit 版の場合は、[32 ビットオペレーティングシステム] と表示されます。
 - 64 bit 版の場合は、[64 ビットオペレーティングシステム] と表示されます。

macOS の場合

1 [] ▶ [システム設定] ▶ [一般] ▶ [共有] をクリックする

→ [共有] 画面が表示されます。

2 [ローカルホスト名] で、コンピューター名を確認する



ローカルホスト名の最後の「.local」は、コンピューター名に含まれません。

パソコンのネットワーク接続情報を確認する

- 🔗 Windows の場合 (P. 1564)
- 🔗 macOS の場合 (P. 1564)

Windows の場合

- 1 [] (スタート) を右クリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
→ [ネットワークとインターネット] 画面が表示されます。

- 2 ネットワーク接続情報を確認する

無線 LAN の SSID (ネットワーク名) を確認する場合

[Wi-Fi] で確認します。



IP アドレスや DNS サーバーを確認する場合

1. 接続中のネットワークの [プロパティ] をクリックする
2. [プロパティ] で、IP アドレスや DNS サーバーを確認する



macOS の場合

- 1 [] ▶ [システム設定] ▶ [ネットワーク] をクリックする
→ [ネットワーク] 画面が表示されます。

- 2 ネットワーク接続情報を確認する

有線 LAN の場合

確認したいネットワーク接続をクリックし、IP アドレスや DNS サーバーを確認します。



無線 LAN の場合

1. [Wi-Fi] をクリックする
→ [Wi-Fi] 画面が表示されます。
2. ネットワーク接続情報を確認する

SSID（ネットワーク名）を確認する場合

[Wi-Fi] 画面で確認します。



IP アドレスや DNS サーバーを確認する場合

- IP アドレスは、[詳細] をクリックして表示される画面で確認します。



- DNS サーバーは、[詳細] ▶ [DNS] をクリックして表示される画面で確認します。



プリンターポートを確認する

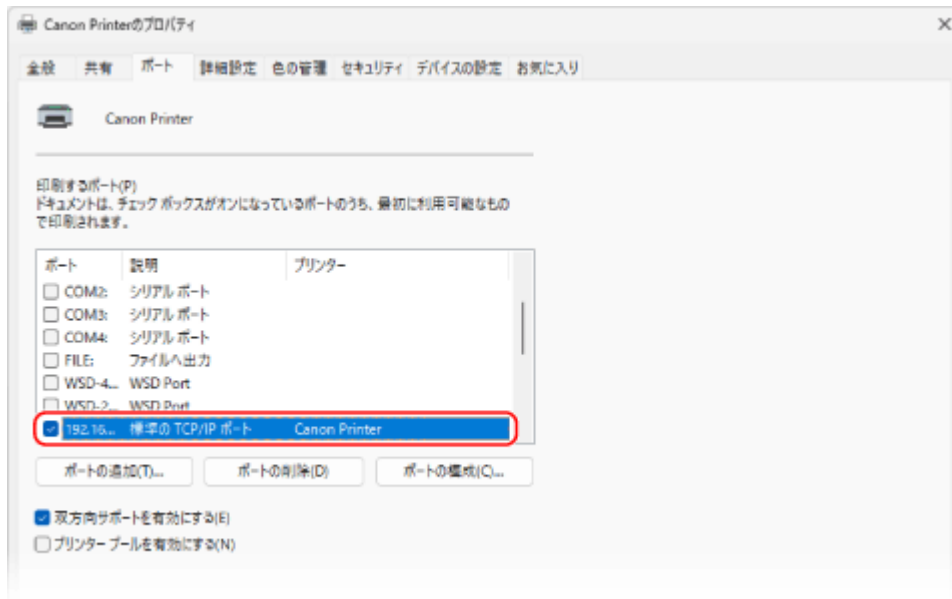
- 1 [] (スタート) ▶ [] (設定) ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

→ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

- 2 本機のプリンタードライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

→ プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

3 [ポート] タブで、使用しているポートを確認する



メモ

- プリンタードライバーのインストール後に本機の IP アドレスを変更した場合は、新しいポートを追加する必要があります。▶ [ポートを追加する \(P. 340\)](#)

双方向通信を確認する

- 1 [スタート] (スタート) ▶ [設定] (設定) ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

→ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

- 2 本機のプリンタードライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

→ プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

- 3 [ポート] タブで、[双方向サポートを有効にする] にチェックマークが付いていることを確認する

テストページをプリントする

必要な準備

- 給紙カセットに A4 サイズの用紙をセットします。▶ [給紙カセットに用紙をセットする \(P. 212\)](#)

▶ Windows の場合 (P. 1568)

▶ macOS の場合 (P. 1568)

Windows の場合

- 1  (スタート) ▶  (設定) ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

→ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

- 2 本機のプリンタードライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

→ プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

- 3 [全般] タブで、[テストページの印刷] をクリックする

→ プリントデータが正常に送信された場合は、本機からテストページがプリントされます。

macOS の場合

- 1  ▶ [システム設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする

→ [プリンタとスキャナ] 画面が表示されます。

- 2 本機を選択し、[プリントキュー] をクリックする

- 3 [プリンタ] メニューから、[テストページをプリント] をクリックする

→ プリントデータが正常に送信された場合は、本機からテストページがプリントされます。

環境情報／法規制／規格

EJ83-11K

化学安全情報について

製品の安全データシート（SDS）は <https://canon.jp/SDS> にて提供しております。

国際エネルギースタープログラムについて



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。

IPv6 Ready Logo について



本製品搭載のプロトコルスタックは、IPv6 Forum が定める IPv6 Ready Logo Phase-2 を取得しています。

物質エミッションの拡散に関する認定基準について

本製品は、エコマーク基準の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品推奨トナーを使用し、印刷を行った場合について、エコマーク基準に基づき試験を実施しました。）

資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

使用済み複合機・プリンターの受け入れ場所について

使用済みとなった複合機・プリンターにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複合機・プリンターのリサイクルを推進しています。使用済みの複合機・プリンターの回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相

談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

使用済みドラムユニット、トナー容器（カートリッジを含む）などの回収について

使用済みとなったトナー容器などにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みドラムユニットおよび使用済みトナー容器の回収とリサイクルを推進しています。使用済みドラムユニット、トナー容器の回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

おことわり

EJ83-11L

免責事項

- 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。
- PDF 形式のマニュアルを見られない場合は、Adobe Acrobat Reader をアドビシステムズ社のホームページ (<https://get.adobe.com/reader/>) からダウンロードしてください。

商標について

Adobe、Acrobat、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ 社）の商標です。

Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Mac、macOS、OS X、および Safari は、Apple Inc.の商標です。AirPrint および AirPrint ロゴは、Apple Inc.の商標です。

iOS は、米国および他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。

「MEAP」は、キヤノンの複合機ならびにプリンターに搭載された「アプリケーションプラットフォーム」についてのキヤノン株式会社の商標です。

Mopria®, the Mopria® Logo and the Mopria® Alliance logo are registered trademarks and service marks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.

Google Chrome、Chrome OS、Chromebook、Android、Google Workspace は、Google LLC の商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの商標です。

Portions of this software are copyright © 2007 The FreeType Project (www.freetype.org).
All rights reserved.



Java is a registered trademark of Oracle and /or its affiliates.

This product contains the Universal Font Scaling Technology or UFST® under license from Monotype Imaging, Inc. UFST® is a trademark of Monotype Imaging, Inc. registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.

UFST: Copyright © 1989 - 1996, 1997, 2003, 2004, 2008, 2014, all rights reserved, by Monotype Imaging Inc.



Adobe、PostScript および PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ 社)の米国ならびに他の国における商標または商標登録です。

Copyright © 2007 -08 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Protected by U.S. Patents 5,737,599; 5,781,785; 5,819,301; 5,929,866; 5,943,063; 6,073,148; 6,515,763; 6,639,593; 6,754,382; 7,046,403; 7,213,269; 7,242,415; Patents pending in the U.S. and other countries.

All instances of the name PostScript in the text are references to the PostScript language as defined by Adobe Systems Incorporated unless otherwise stated. The name PostScript also is used as a product trademark for Adobe Systems' implementation of the PostScript language interpreter.

Except as otherwise stated, any reference to a "PostScript printing device," "PostScript display device," or similar item refers to a printing device, display device or item (respectively) that contains PostScript technology created or licensed by Adobe Systems Incorporated and not to devices or items that purport to be merely compatible with the PostScript language.

Adobe, the Adobe logo, PostScript, the PostScript logo, and PostScript 3 are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

Linux is a registered trademark of Linus Torvalds. Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

All other trademarks are the property of their respective owners.



PDF ロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ 社)の米国ならびに他の国における商標または商標登録です。

Copyright © 2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Protected by U.S. Patents 6,185,684; 6,205,549; 7,213,269; 7,272,628; 7,278,168; Patents pending in the U.S. and other countries.

All instances of the name PostScript in the text are references to the PostScript language as defined by Adobe Systems Incorporated unless otherwise stated. The name PostScript also is used as a product trademark for Adobe Systems' implementation of the PostScript language interpreter.

Except as otherwise stated, any reference to a "PostScript printing device," "PostScript display device," or similar item refers to a printing device, display device or item (respectively) that contains PostScript technology created or licensed

by Adobe Systems Incorporated and not to devices or items that purport to be merely compatible with the PostScript language.

Adobe, the Adobe logo, PostScript, the PostScript Logo, and PostScript 3 are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

All other trademarks are the property of their respective owners.

Microsoft、Calibri、Excel、PowerPoint、Microsoft 365、Microsoft Edge、Microsoft Entra、Windows、Windows Phone、Windows Server、および Windows Vista は、マイクロソフト グループの企業の商標です。

本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

第三者のソフトウェアについて

このマニュアルに含まれる第三者のソフトウェアに関する情報を知りたいときは、次のアイコンをクリックしてください。



製品の第三者ソフトウェアに関する情報を知りたいときは、オンラインマニュアルサイトで「第三者のソフトウェアについて」を参照してください。

<https://oip.manual.canon/>

著作権

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

V_260403

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.
This license is copied below, and is also available with a FAQ at:
<https://openfontlicense.org>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

1) Neither the Font Software nor any of its individual components,

in Original or Modified Versions, may be sold by itself.

2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.

3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.

4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.

5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.